様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月20日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　160-0004

住所 東京都新宿区四谷1-23

法人名 株式会社第一ヒューテック

代表者 島谷 聡

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3359-8811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 第一ヒューテック(本社)
事業場の所在地	東京都新宿区四谷1-23
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5352.51 t	全処理委託量	5352.51 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	175.68 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	5191.84 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

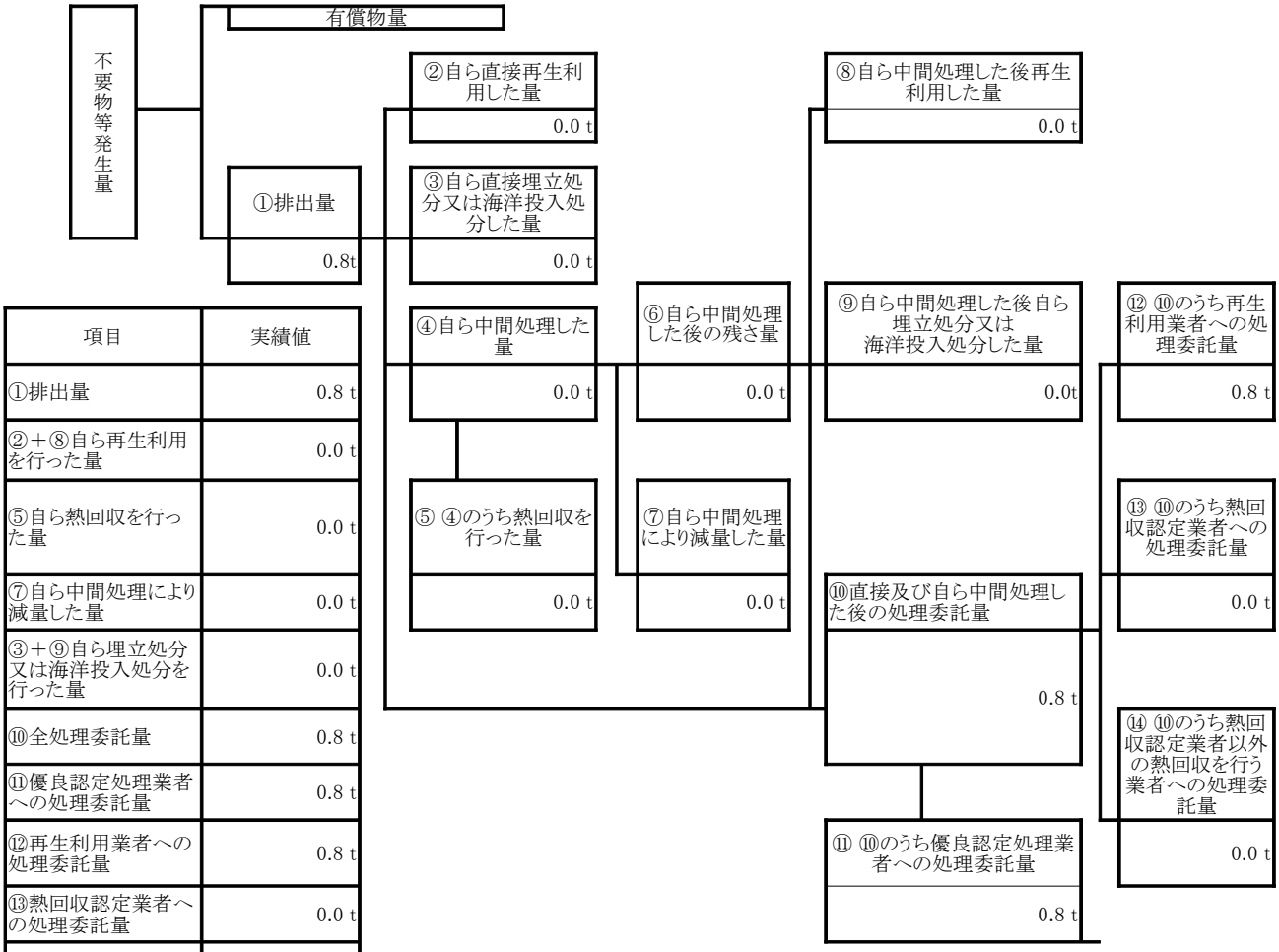
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

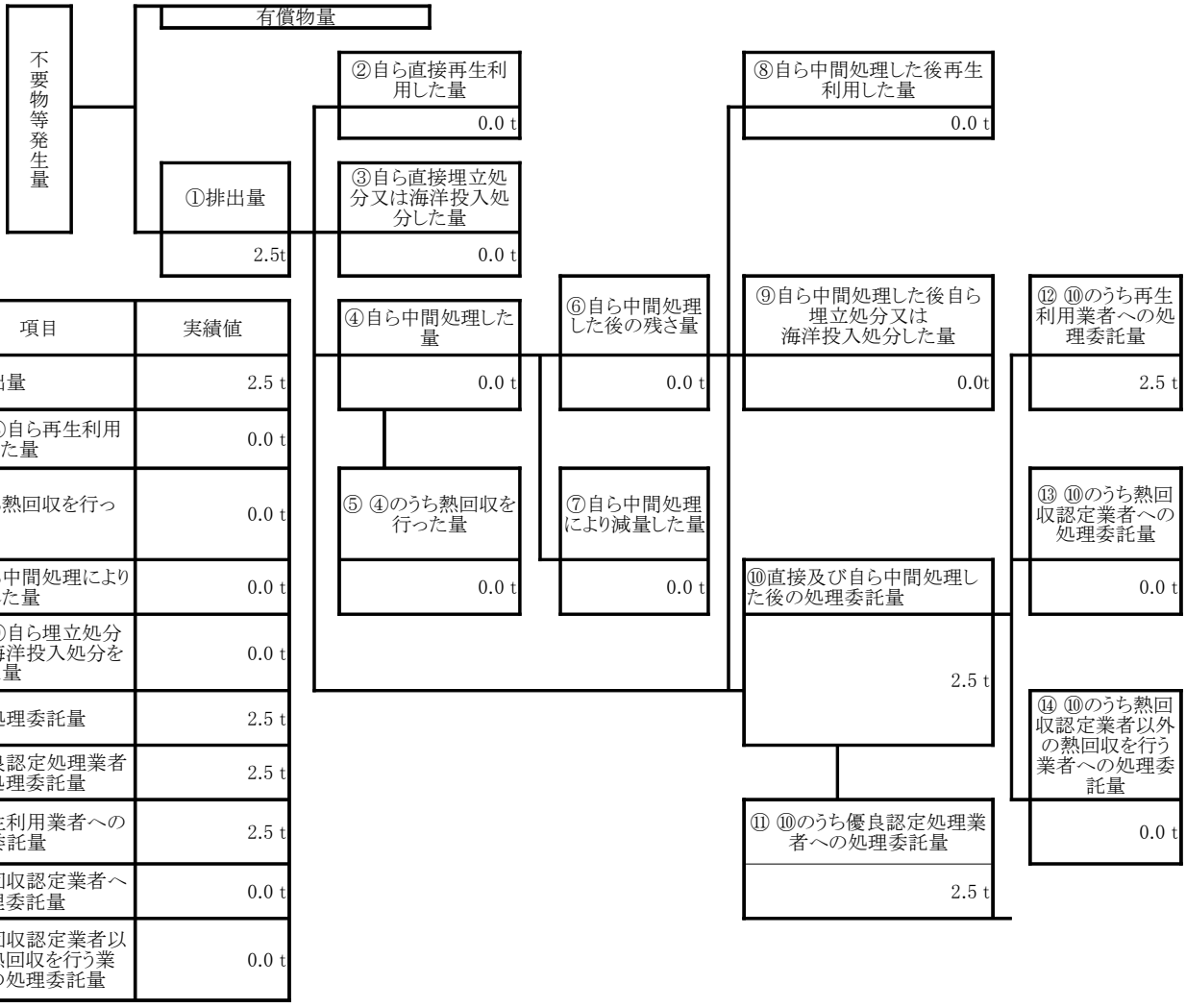


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　ガラス陶磁器等くず　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

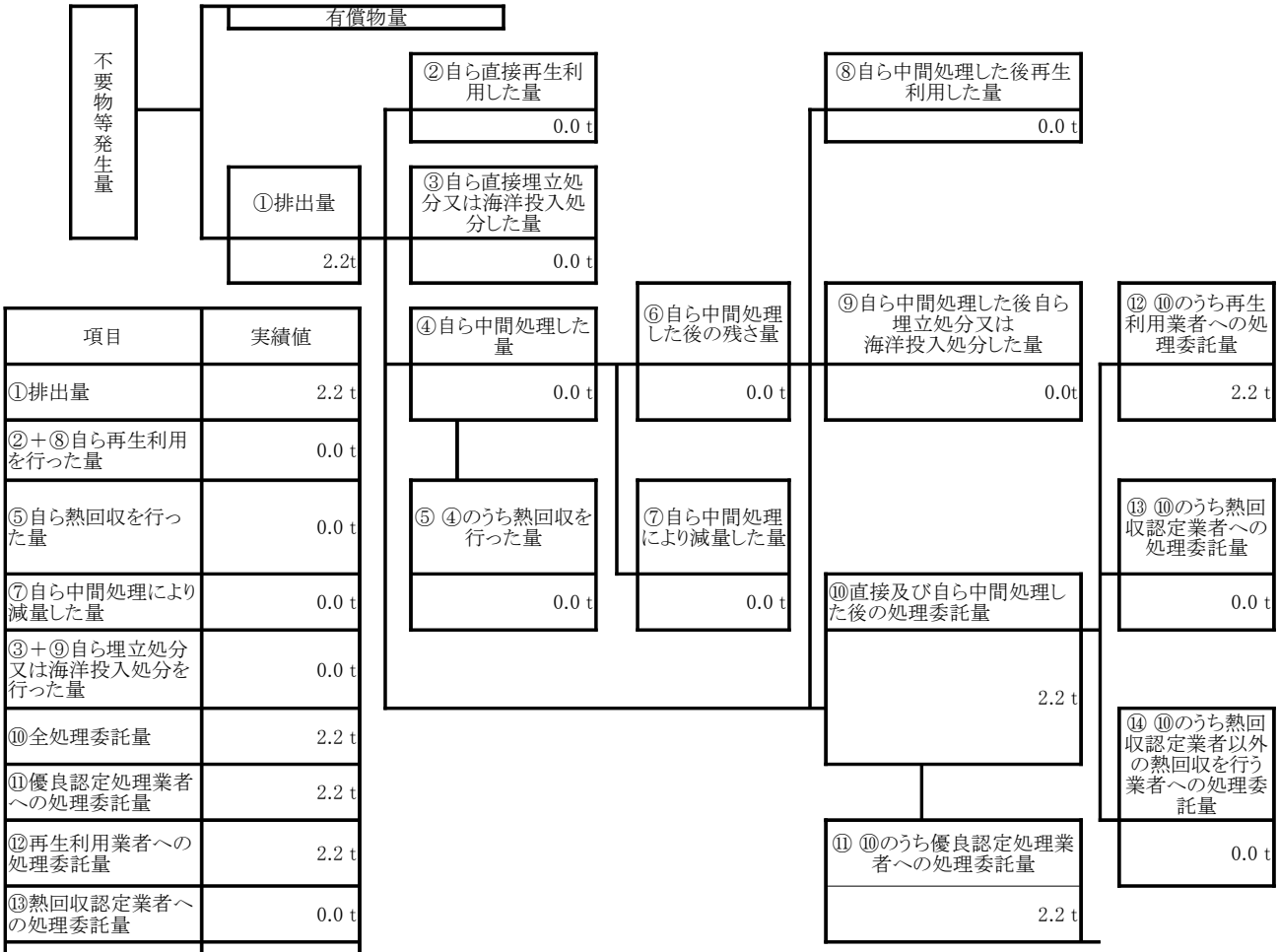


項目	実績値
①排出量	2.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

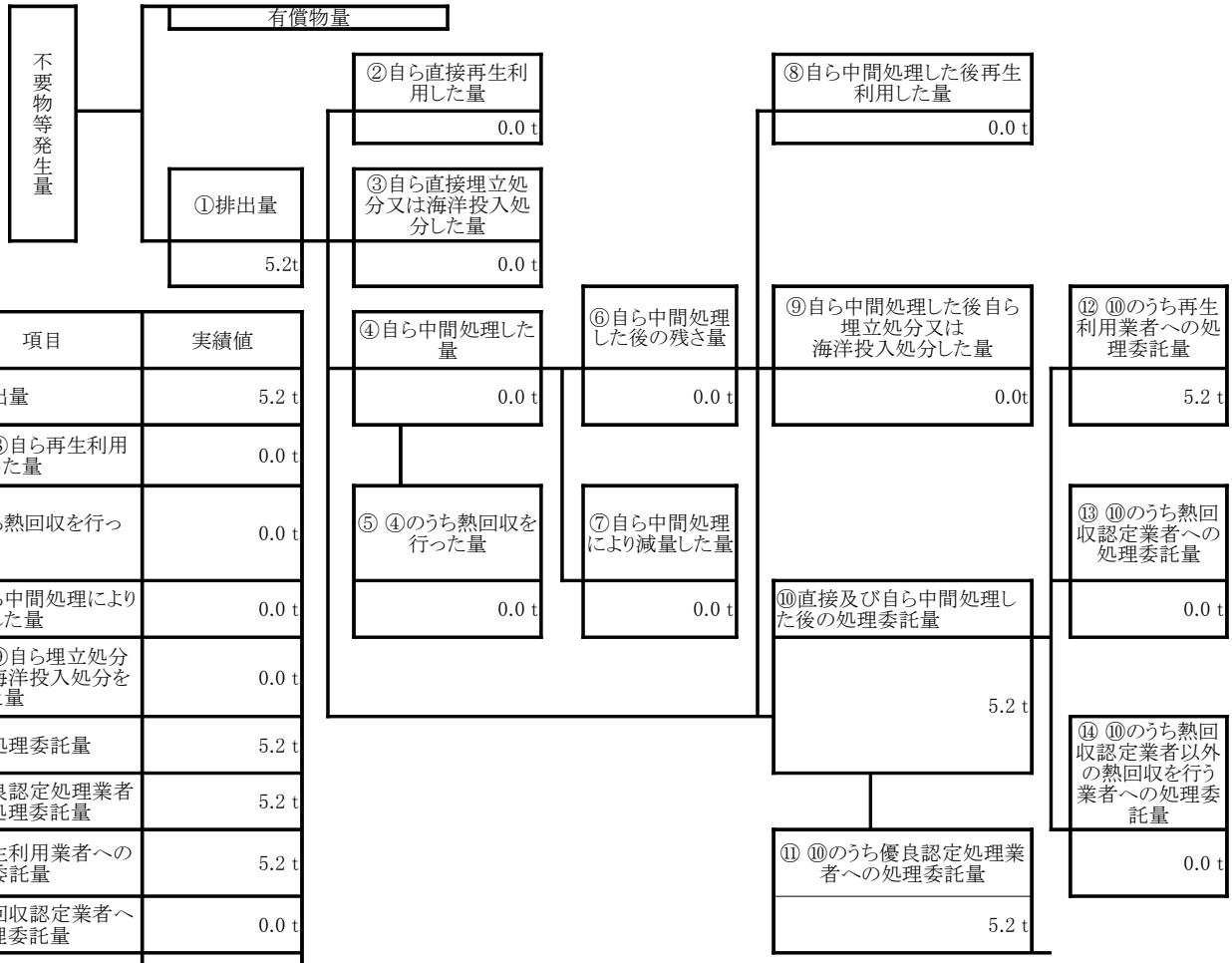


項目	実績値
①排出量	2.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

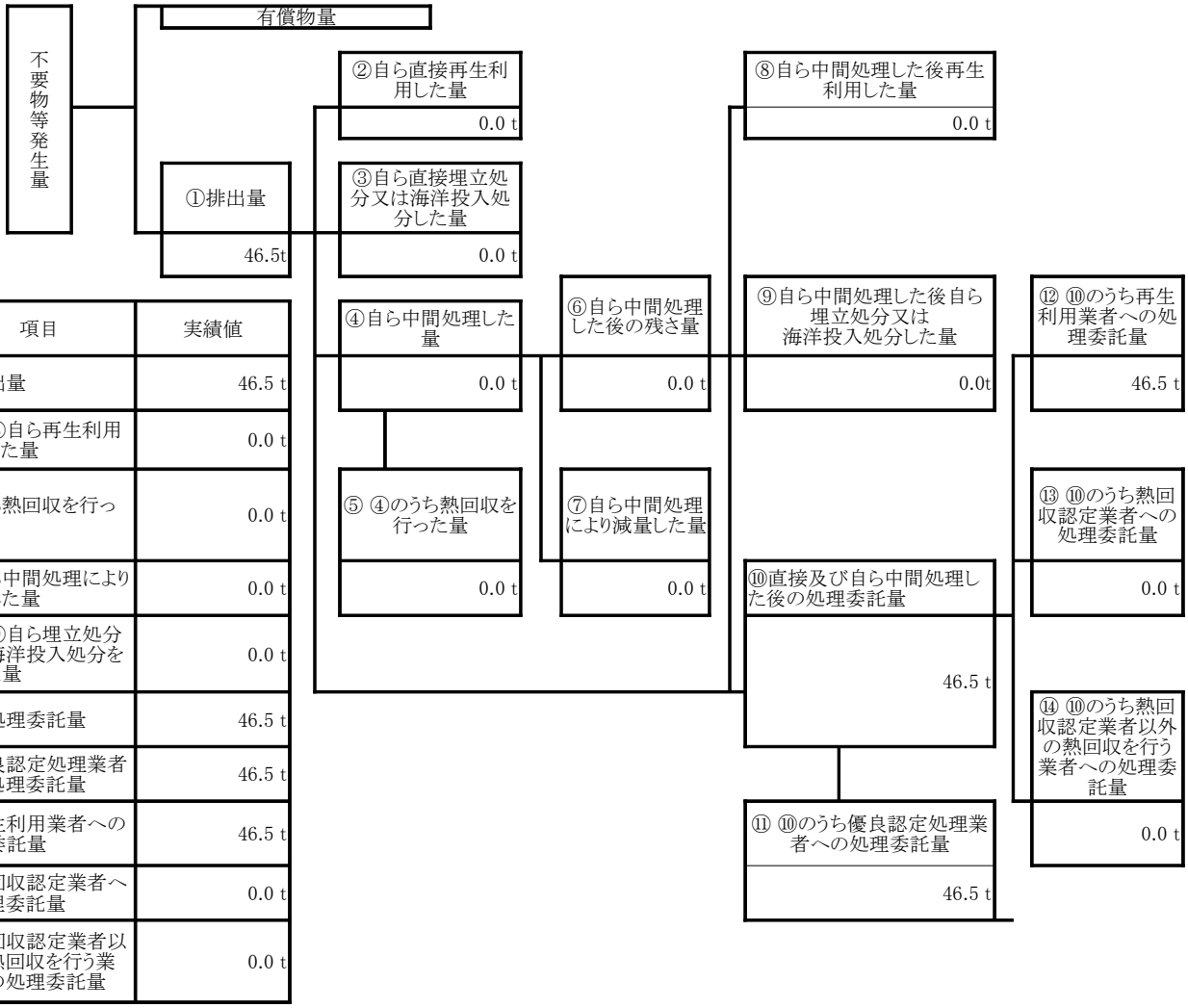


項目	実績値
①排出量	5.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

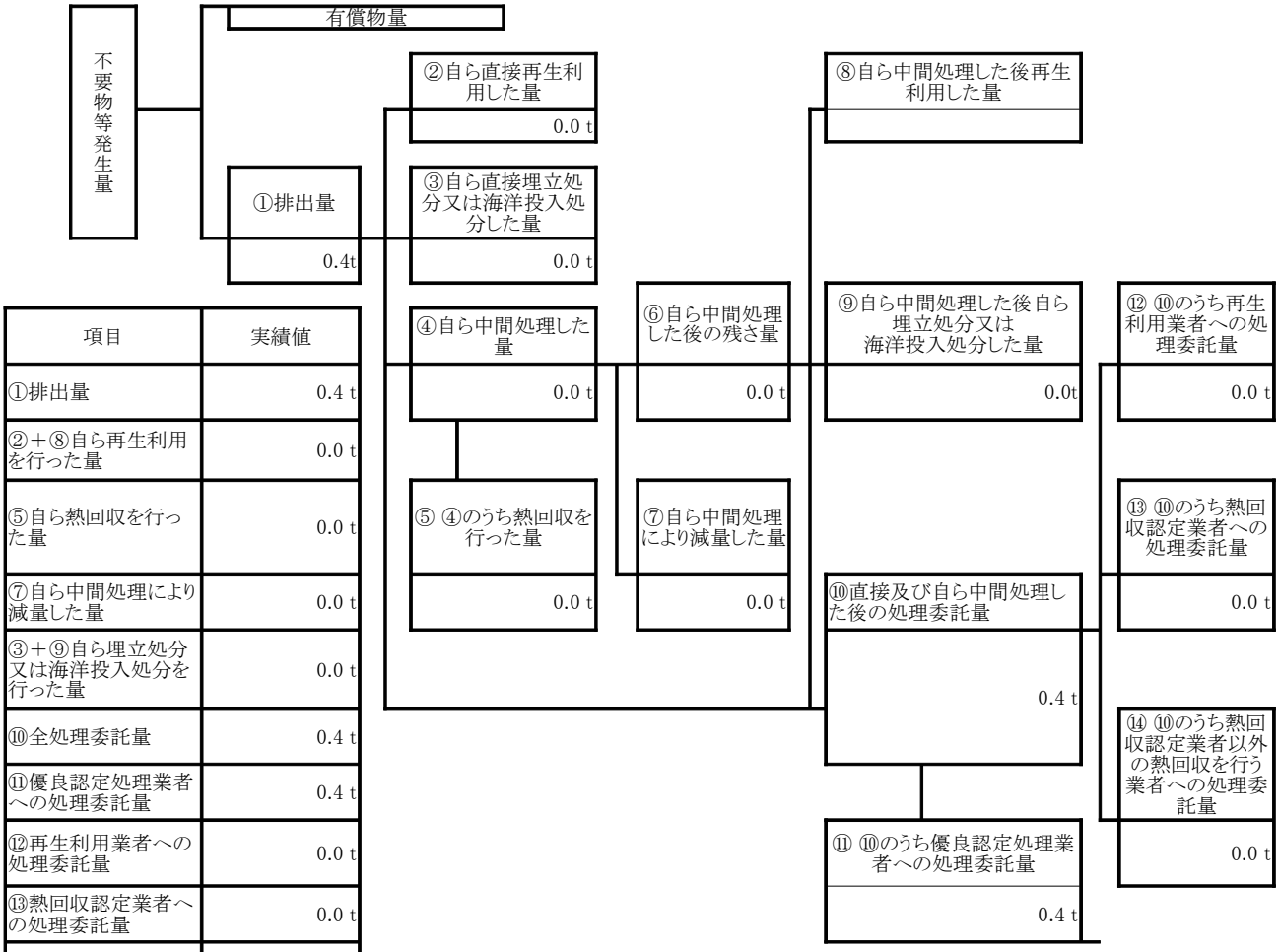


項目	実績値
①排出量	46.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	46.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　278-0006

住　所　千葉県野田市柳沢３０２－１０

法人名　大現建設株式会社

代表者　大野 照美

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　04-7124-3161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大現建設株式会社
事業場の所在地	千葉県野田市柳沢302-10
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高：364,260千円
③従業員数	５人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）	ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）
排出量	2377.8 t	3.85 t

（これまでに実施した取組）
請負工事の質と量により変動する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）	ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）
排出量	2500 t	10 t

（今後実施する予定の取組）
請負工事の質と量により変動する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
請負工事の質と量により変動する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
請負工事の質と量により変動する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）	ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）	ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）	ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）	ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）	ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）	ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）	ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）
全処理委託量		2377.8 t	3.85 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2377.8 t	3.85 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

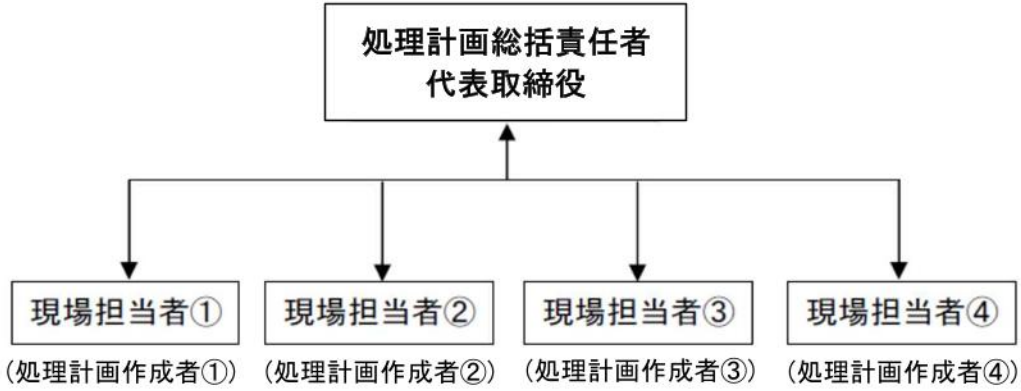
（これまでに実施した取組）

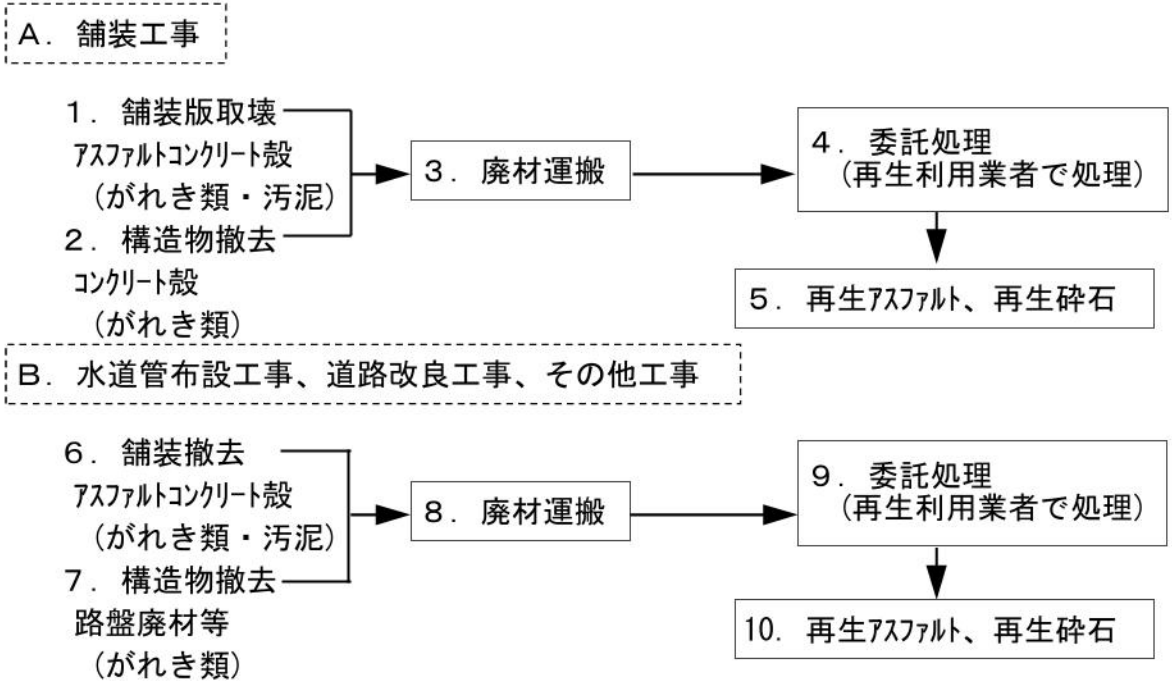
請負工事の質と量により変動する。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）</td><td>ｺﾝｸﾘｰﾄがら（がれき類）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2500 t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>2500 t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
請負工事の質と量により変動する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

（管理体制図）


処理計画総括責任者
代表取締役
現場担当者①
現場担当者②
現場担当者③
現場担当者④
（処理計画作成者①）
（処理計画作成者②）
（処理計画作成者③）
（処理計画作成者④）


A．舗装工事
1．舗装版取壊
ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ殻
（がれき類・汚泥）
2．構造物撤去
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻
（がれき類）
3．廃材運搬
4．委託処理
（再生利用業者で処理）
5．再生ｱｽﾌｧﾙﾄ、再生砕石
B．水道管布設工事、道路改良工事、その他工事
6．舗装撤去
ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ殻
（がれき類・汚泥）
7．構造物撤去
路盤廃材等
（がれき類）
8．廃材運搬
9．委託処理
（再生利用業者で処理）
10．再生ｱｽﾌｧﾙﾄ、再生砕石

セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		排　出　量	655.1 t	4.52 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】請負工事の質と量により変動する。								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		排　出　量	1000 t	5 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		全処理委託量	655.1 t	4.52 t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	655.1 t	4.52 t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】請負工事の質と量により変動する。								
		産業廃棄物の種類	路盤廃材等（がれき類）	汚泥						
		全処理委託量	1000 t	5 t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	1000 t	5 t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月19日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　278-0006

住所 千葉県野田市柳沢302－10

法人名 大現建設株式会社

代表者 大野 照美

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 04-7124-3161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大現建設株式会社
事業場の所在地	千葉県野田市柳沢302-10
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

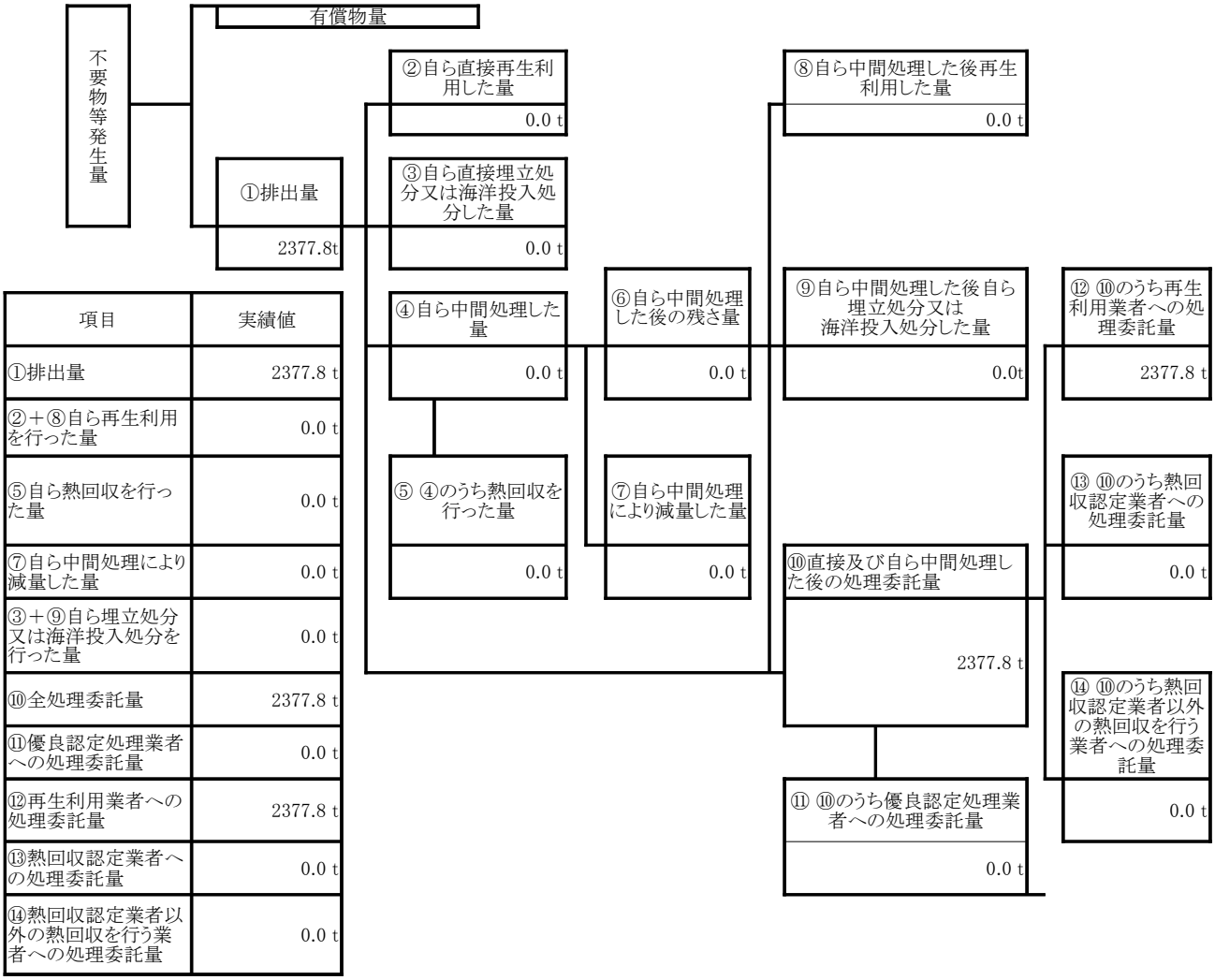
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2515 t	全処理委託量	2515 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2515 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルトコンクリートがら（がれき類））

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

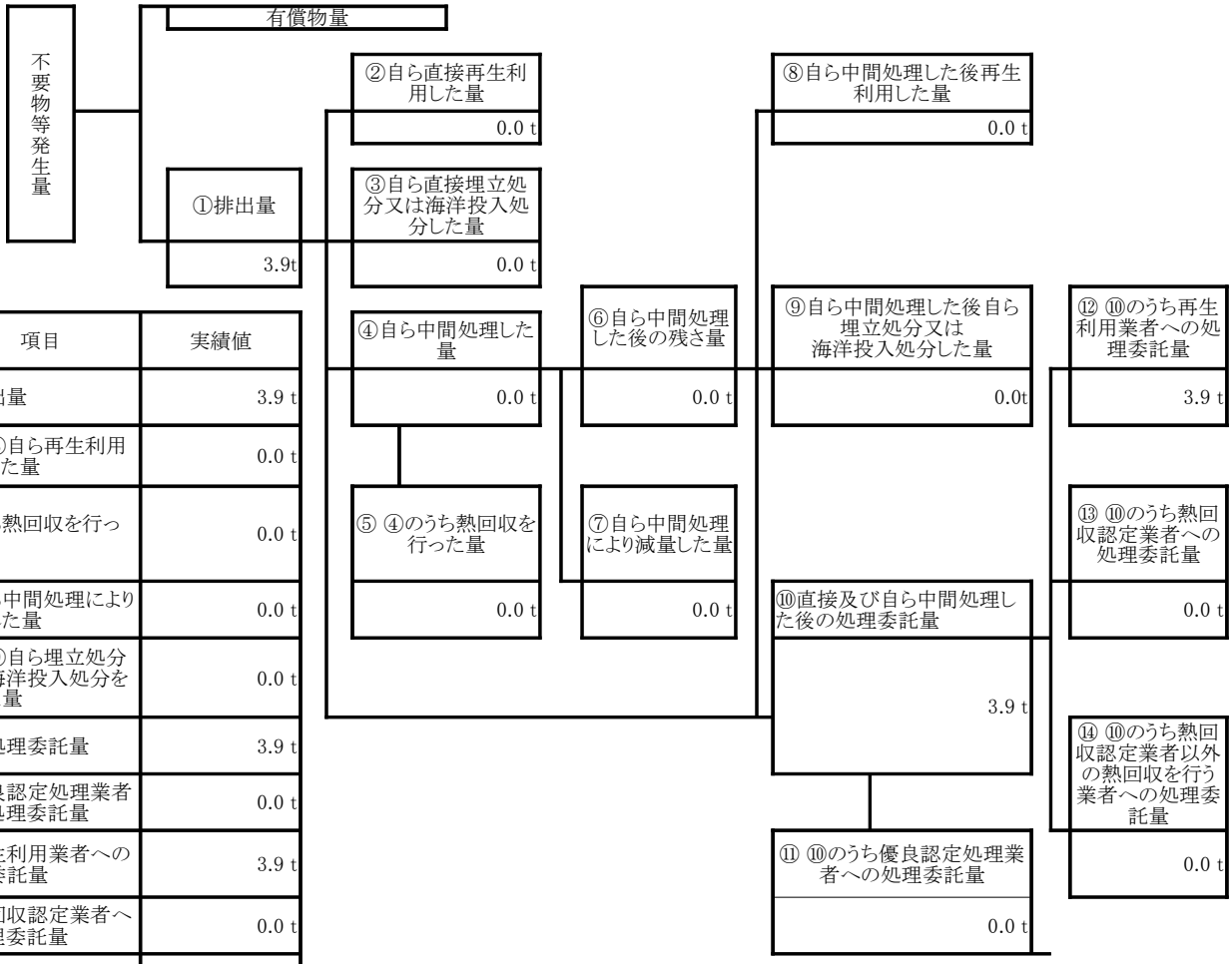


項目	実績値
①排出量	2377.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2377.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2377.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリートがら（がれき類））

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

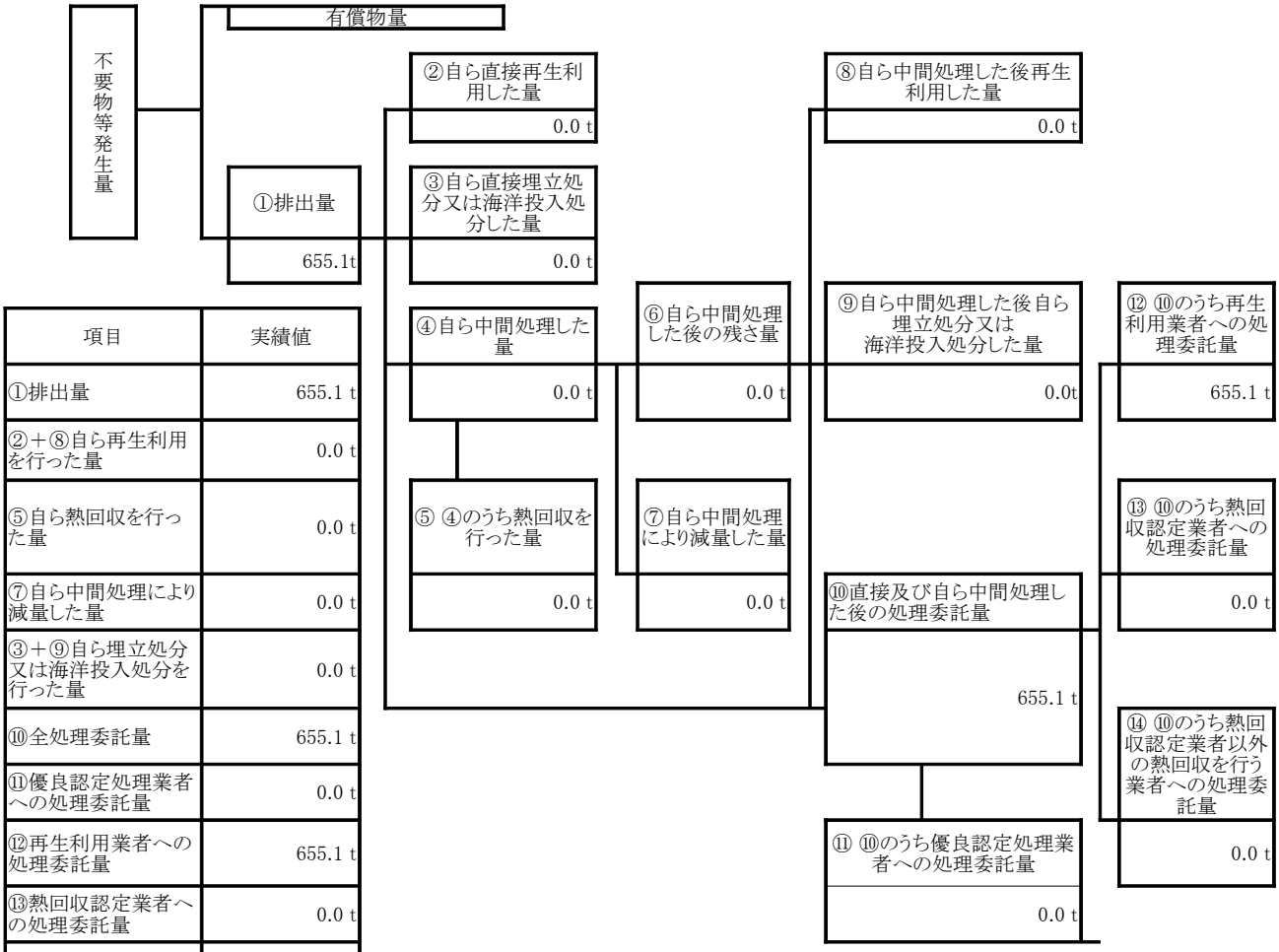


項目	実績値
①排出量	3.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**路盤廃材等（がれき類）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

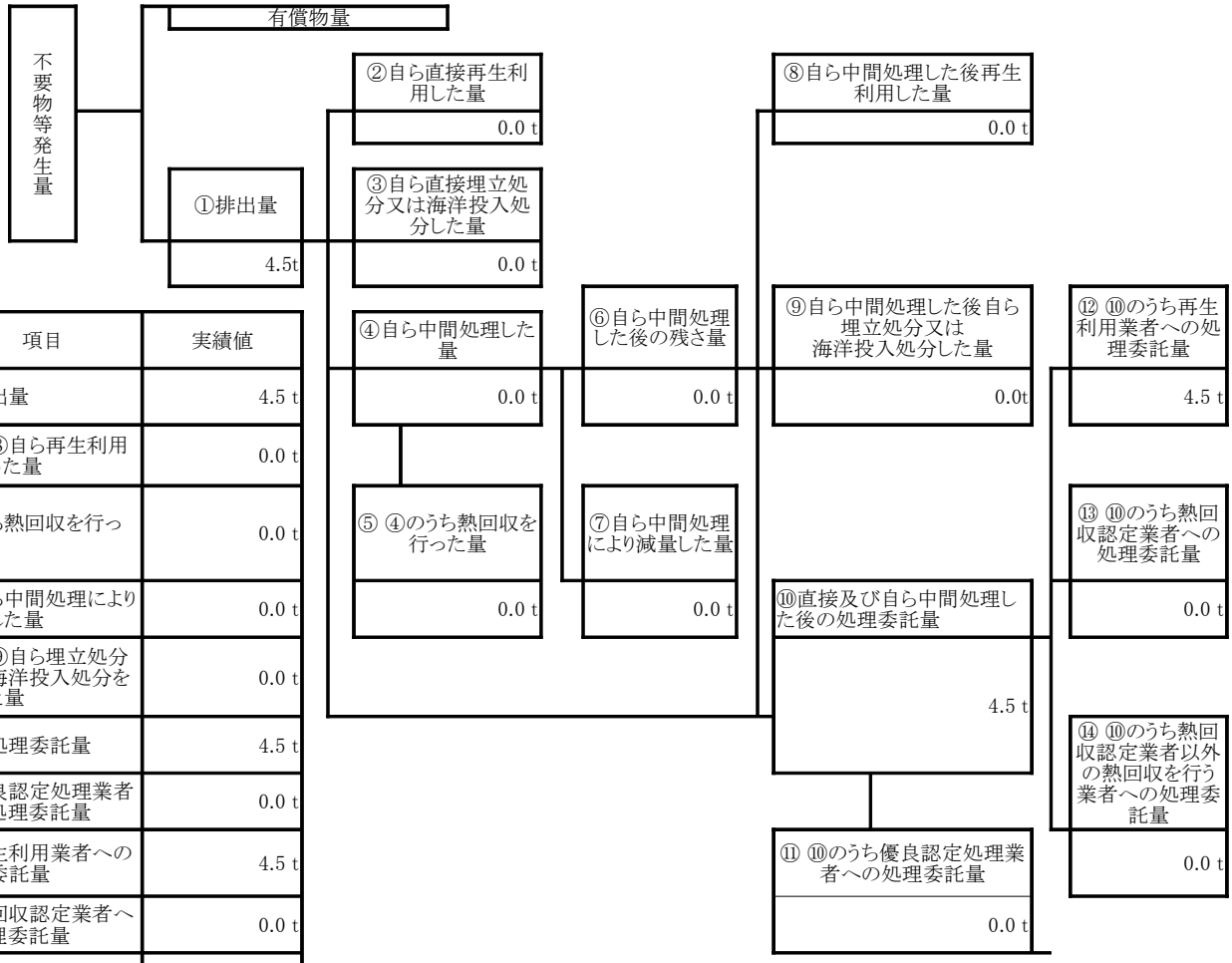


項目	実績値
①排出量	655.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	655.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	655.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	4.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 4 月 23 日

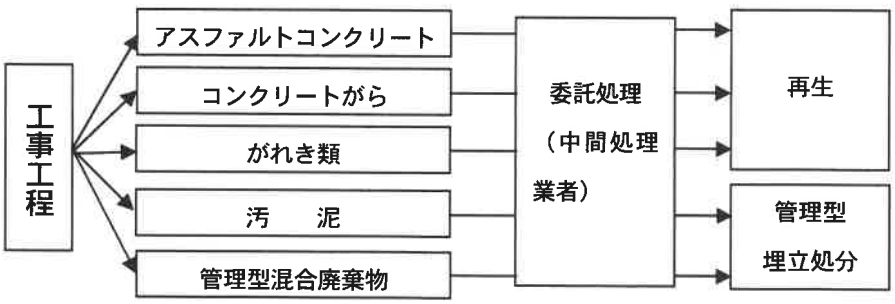
千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　　鎌ケ谷市西佐津間1丁目7番地30号
住　所　　株式会社　大幸設備
氏　名　　代表取締役　大野　兼司
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７（４４５）０１４０

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　大幸設備
事業場の所在地	鎌ケ谷市西佐津間１丁目７番地３０号
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

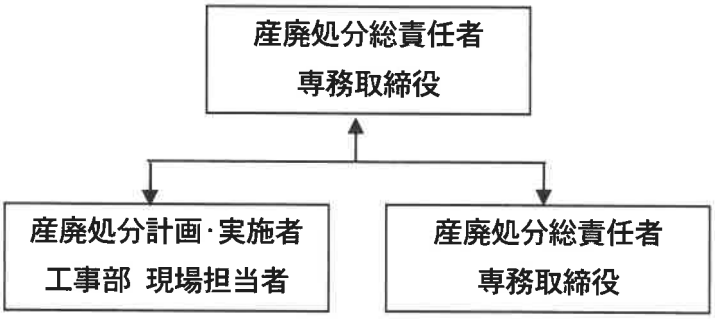
①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　1　億円
③従業員数	6　名（正社員　6　名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

千葉県
北部地域振興事務所
-7. 4.23
収受

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　６　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
排　出　量	918.75ｔ	11.0ｔ	1001.68ｔ	9.9ｔ

（これまでに実施した取組）

再資源化の促進

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
排　出　量	910.0ｔ	11.0ｔ	1000.0ｔ	9.0ｔ

（今後実施する予定の取組）

再資源化の促進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：
工事工程で生じるがら、がれき類は、種類毎に分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：
原材料として再生利用できる種類毎に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
全処理委託量	918.75ｔ	11.0ｔ	1001.68ｔ	9.9ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	ｔ		ｔ	
再生利用業者への処理委託量	918.75ｔ	11.0ｔ	1001.68ｔ	9.9ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	ｔ		ｔ	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ		ｔ	

（これまでに実施した取組）

分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託している。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類ｔ	汚泥
全処理委託量	910.0ｔ	11.0ｔ	1000.0ｔ	9.0ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	ｔ		ｔ	
再生利用業者への処理委託量	910.0ｔ	11.0ｔ	1000.0ｔ	9.0ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	ｔ		ｔ	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ		ｔ	

（今後実施する予定の取組）

分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託を行う。

※事務処理欄	

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和　７年　６月　４日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　　市川市鬼越２丁目５番４号
住　所　株式会社 大 進 工 業
氏　名　　代表取締役　五十子　祐輝
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　０４７（３３６）２８９６

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　大進工業
事業場の所在地	市川市鬼越２丁目５番４号
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

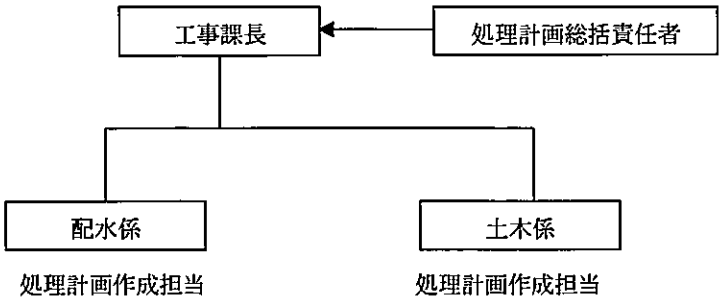
①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高　７．４億円
③従業員数	３８人（正社員３８人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事工程 → アスファルトコンクリートがら　コンクリートがら　がれき類　汚泥　木くず → 委託処理（中間処理業者） → 再生

千葉県 葛南地域振興事務所 -7.6.-6 収受

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】　別紙のとおり

産業廃棄物の種類				
排　出　量	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

② 計画

【目標】　別紙のとおり

産業廃棄物の種類				
排　出　量	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：
工事工程で生じるがら、がれき類は、種類毎に分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：
原材料として再生利用できる種類毎に分別する。

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="5">【前年度（　　6　年度）実績】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　計画</td><td colspan="5">【目標】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="5">【前年度（　　6　年度）実績】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②　計画</td><td colspan="5">【目標】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="7">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="3">①　現状</td><td colspan="6">【前年度（　　6　年度）実績】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="6">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">②　計画</td><td colspan="6">【目標】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="6">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="7">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="6">【前年度（　　6　年度）実績】　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="6">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	② 計画	【目標】	別紙のとおり			
		産業廃棄物の種類				
		全処理委託量	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
		（今後実施する予定の取組）				
※事務処理欄						

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度　）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
排出量	3540.4t	224.5t	5854.7t	35.3t	0.2t					

（これまでに実施した取組）

再資源化の促進

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
排出量	3535.0t	220.0t	5850.0t	35.0t	0t					

（今後実施する予定の取組）

再資源化の促進

別紙

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

③ 現状

【前年度（　6　年度　）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ					

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ					

（今後実施する予定の取組）

特になし

別紙

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

④ 現状

【前年度（　6　年度　）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t					

（今後実施する予定の取組）

特になし

別紙

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

⑤ 現状

【前年度（　6　　年度　）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ					

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ					

（今後実施する予定の取組）

特になし

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（ 6 年度 ）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
全処理委託量	3540.4t	224.5t	5854.7t	35.3t	0.2t					
優良認定処理業者処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					
再生利用業者への処理委託量	3540.4t	224.5t	5854.7t	35.3t	0.2t					
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					

（これまでに実施した取組）

分別を徹底し全てリサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託している。

別紙

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリトがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	木くず					
全処理委託量	3535.0t	220.0t	5850.0t	35.0t	0t					
優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					
再生利用業者への処理委託量	3535.0t	220.0t	5850.0t	35.0t	0t					
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t					

（今後実施する予定の取組）

分別を徹底し全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託を行う。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 4日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者
住所 市川市鬼越2丁目5番4号
氏名 株式会社 大進工業
代表取締役 五十子 祐輝
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047(336)2896

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 大進工業
事業場の所在地	市川市鬼越2丁目5番4号
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

千葉県 葛南地域振興事務所 -7,6,-6 収受

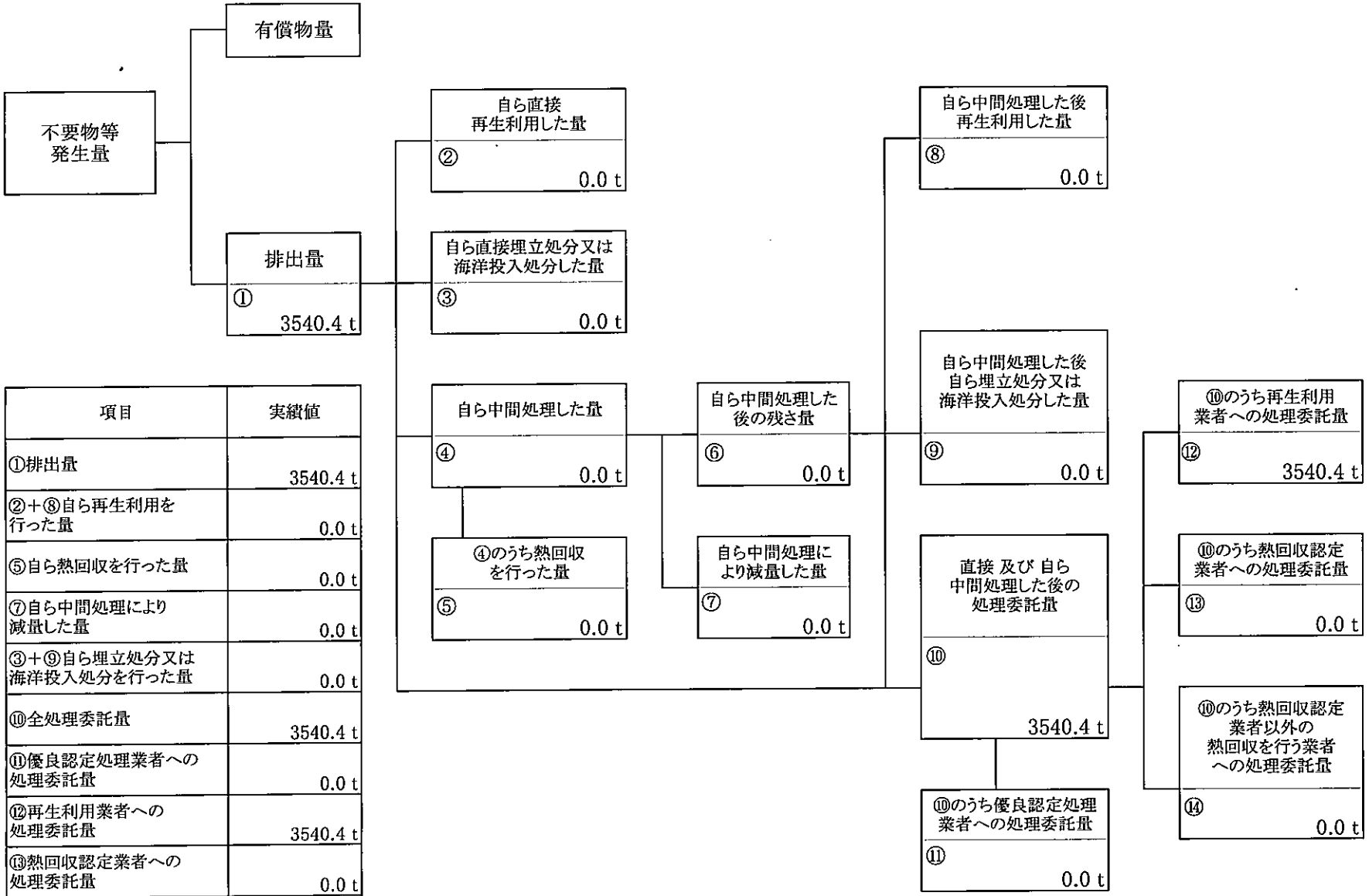
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	8,166.0 t	全処理委託量	8,166.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	8,166.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- 0.0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　アスファルト・コンクリートがら　　）

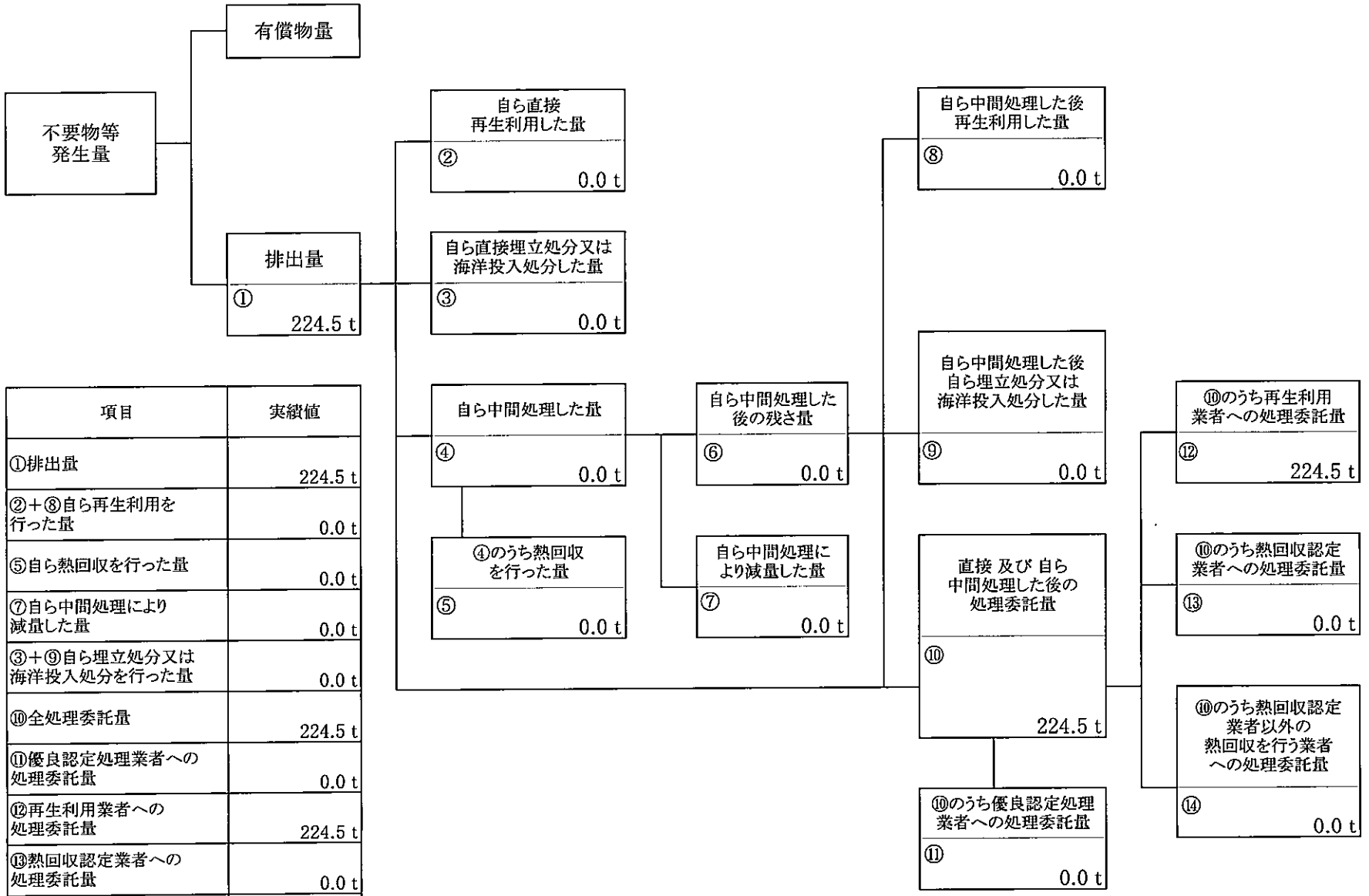


項目	実績値
①排出量	3540.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3540.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3540.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリートがら　　）

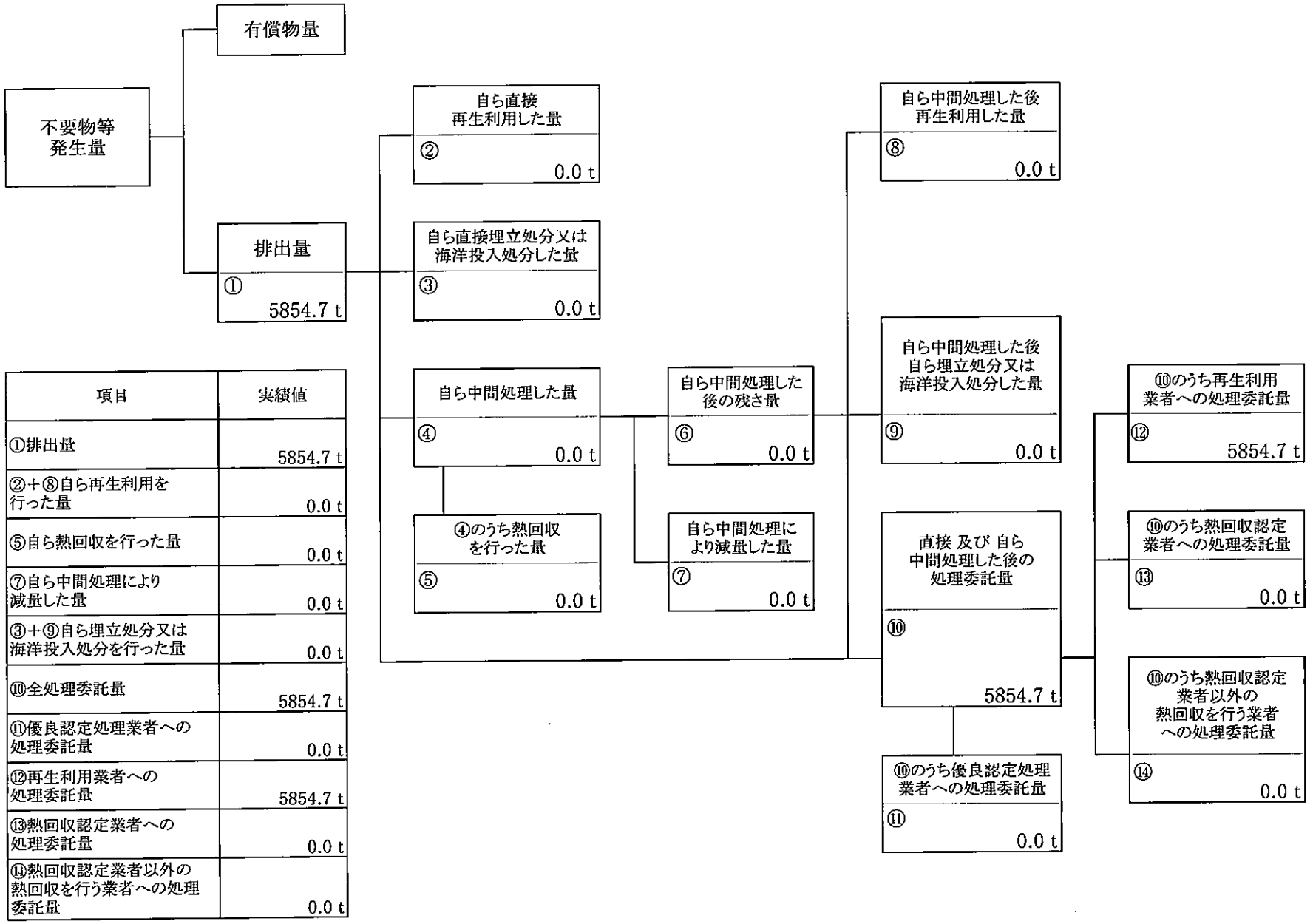


項目	実績値
①排出量	224.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	224.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	224.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類　）

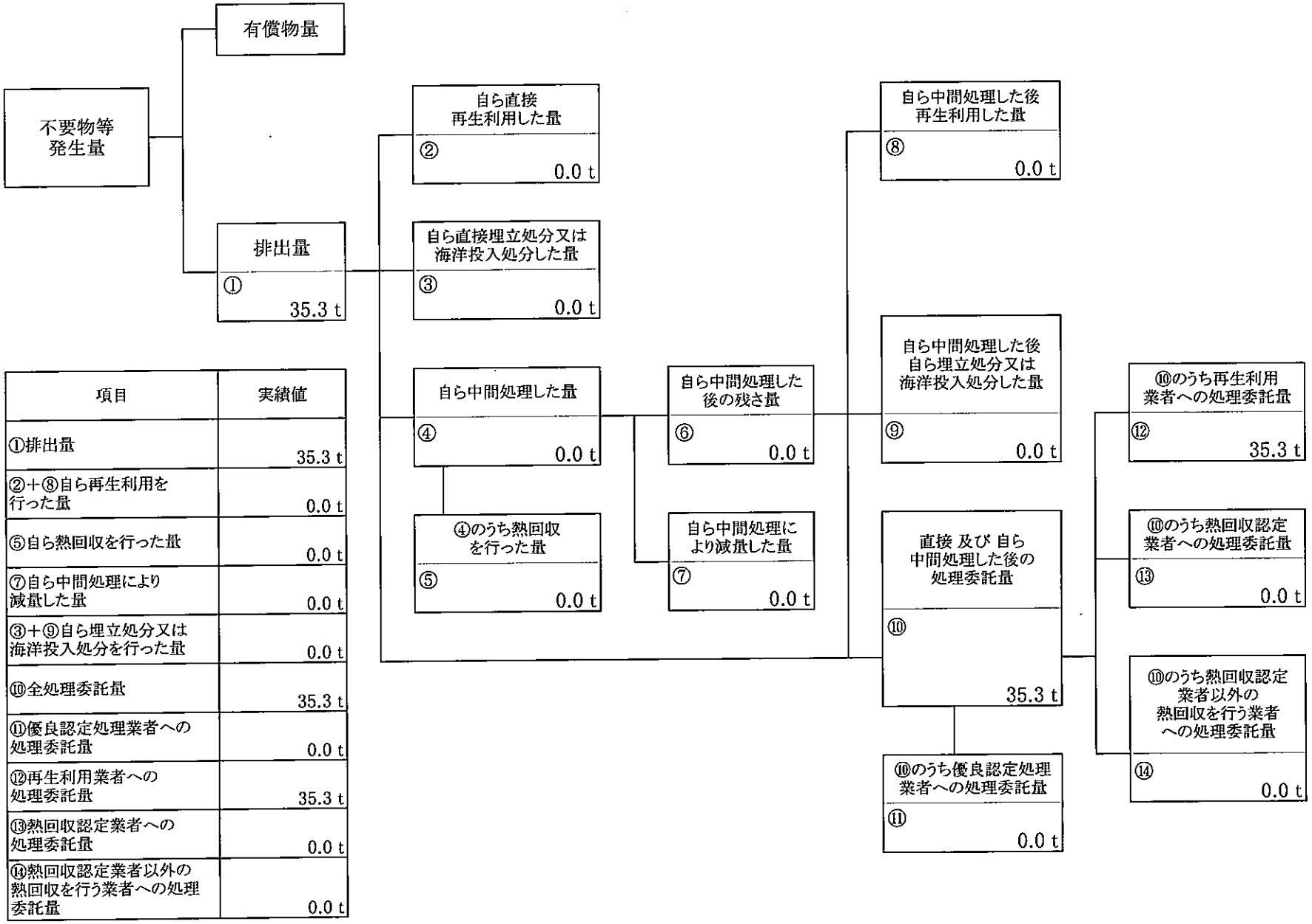


項目	実績値
①排出量	5854.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5854.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5854.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

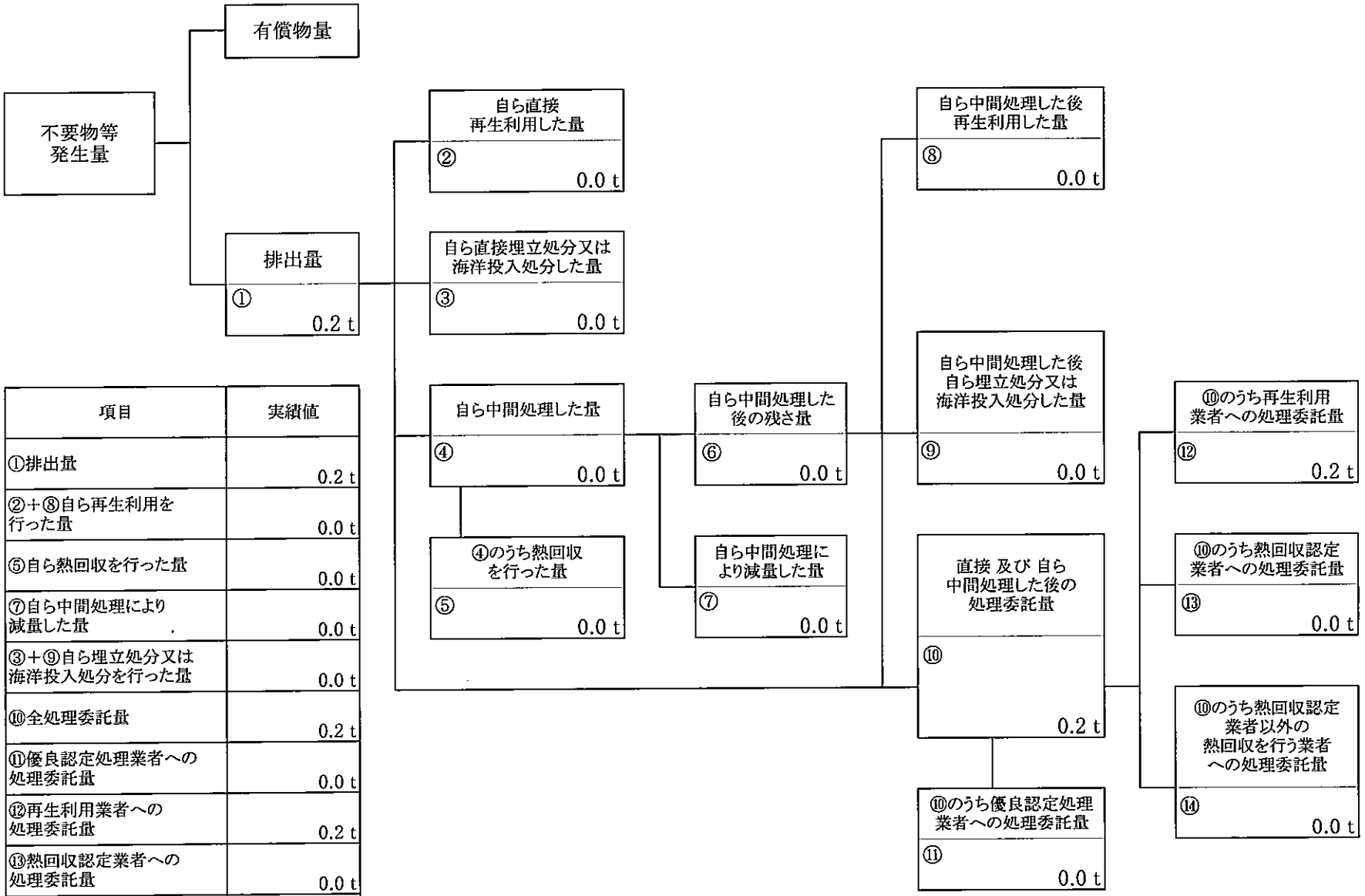


項目	実績値
①排出量	35.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	35.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）



項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　6日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒289-0517

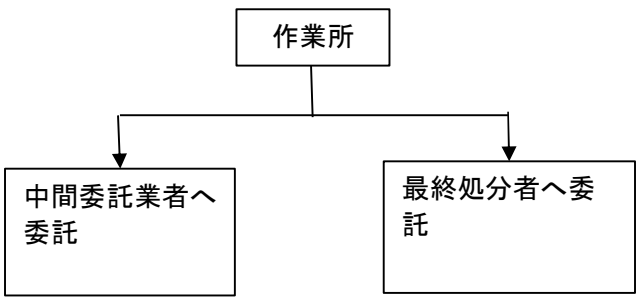
住　所　千葉県旭市萬力1370-1

氏　名　大真工業株式会社

代表取締役　伊藤 裕之

電話番号　0479-68-4331

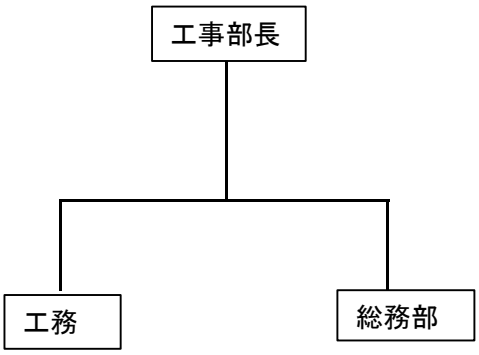
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大真工業株式会社
事業場の所在地	千葉県旭市萬力1370-1（現場：旭市）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	4億
③　従業員数	10名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリート
	排出量	1829.08 t	186.69 t
	（これまでに実施した取組） ・発生廃棄物の種類分別を徹底する ・発注者との協議で場内・他現場での再利用の検討		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリート
	排出量	1500 t	100 t
	（今後実施する予定の取組） ・現状の取組みを徹底するを継続する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場で種類ごとに分けることを徹底
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の取組みを維持継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
		産業廃棄物の種類_	アスファルト・コンクリートがら	コンクリート
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類_	アスファルト・コンクリートがら	コンクリート
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
		産業廃棄物の種類_	アスファルト・コンクリートがら	コンクリート
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類_	アスファルト・コンクリートがら	コンクリート
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリート
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリート
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリート
全処理委託量	1829.08 t	186.69 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	1829.08 t	186.69 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

特になし

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td>コンクリート</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>1500 t</td><td>100 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特になし</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 23 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒136-0075

住　所　東京都江東区新砂1-7-27

氏　名　大末建設株式会社　東京本店

取締役常務執行役員　本店長　鶴 浩一郎

電話番号　　03-5634-9015

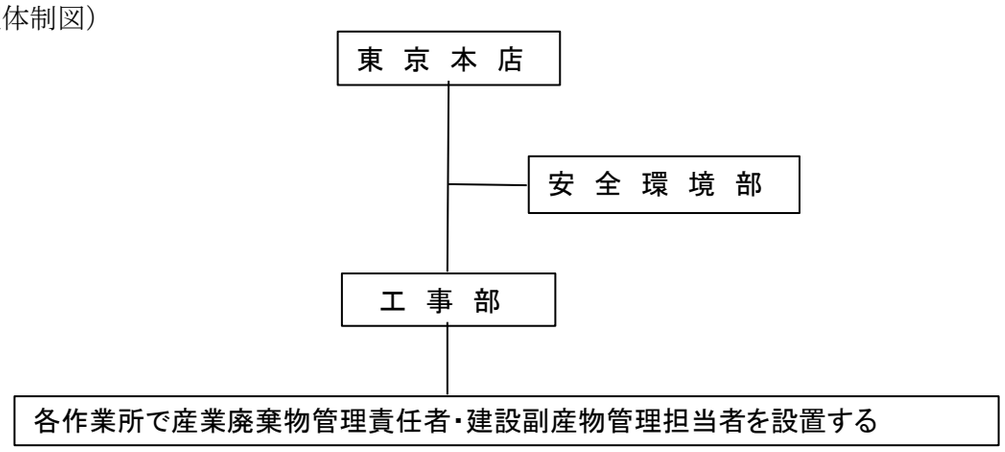
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大末建設株式会社　東京本店
事業場の所在地	東京都江東区新砂1-7-27
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	35,913 百万円（令和６年度工事完成高）
③　従業員数	295 人（令和７年３月３１日時点）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	建設汚泥　⇒脱水　⇒改良土として再生利用 木くず　⇒破砕　⇒チップ材として再生利用 コンがら　⇒破砕　⇒再生砕石として再生利用 アスがら　⇒破砕　⇒再生合材として再生利用 がれき類　⇒破砕　⇒再生砕石として再生利用 廃プラ　⇒減容固化　⇒燃料として再生利用 ｶﾞﾗｽ・陶磁器　⇒破砕　⇒焼却・焼成セメント原料 紙くず　⇒破砕　⇒燃料として再生利用 金属くず　⇒中間処分場にて破砕、有価 建設混合廃棄物　⇒破砕、圧縮　⇒埋立 蛍光灯（水銀含有）　⇒切断、破砕　⇒水銀製品やグラスウール原料に再生利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
排出量	743.6 t	11.025 t

（これまでに実施した取組）

・再利用可能な材料の引き取り

・内装材の先行加工による低減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
排出量	669.24 t	9.923 t

（今後実施する予定の取組）

・建設混合廃棄物の発生を抑制する為、
分別率向上を目指し数値目標を定め活動する
（東京本店全体目標　8.0kg/㎡以下）
＜新築工事における混合廃棄物排出原単位＞
RC造　建蔽率　50%以上：10.0kg/㎡以下
50%未満：7.5kg/㎡以下
S造　倉庫：3.0kg/㎡以下　その他：7.5kg/㎡

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・廃プラ、木くず、ダンボールの分別を徹底した。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・混合廃棄物を分別し、リサイクル率を高める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
全処理委託量	743.6 t	11.025 t
優良認定処理業者への処理委託量	743.6 t	11.025 t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・委託契約書の添付書類の不備がないように現場・社内でチェックする。
・所長、若手社員の社内研修で委託業務の研修をしている。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	建設汚泥	廃プラスチック
全処理委託量＿	669.24 t	9.923 t
優良認定処理業者への処理委託量	669.24 t	9.923 t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・優良認定業者に委託する。

・再生業者に委託する。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
		排　出　量	1.65　t	15.675　t	2.96　t	274.54　t	1.04　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
		排　出　量	1.49　t	14.108　t	2.66　t	247.09　t	0.94　t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
	全処理委託量	1.65 t	15.675 t	2.96 t	274.54 t	1.04 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.65 t	15.675 t	2.96 t	3.7 t	1.04 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1.65 t	15.675 t	2.96 t	274.54 t	1.04 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	建設混合廃棄物			
	全処理委託量	1.49 t	14.108 t	2.66 t	247.09 t	0.94 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.49 t	14.108 t	2.66 t	3.33 t	0.94 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1.49 t	14.108 t	2.66 t	247.09 t	0.94 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　104-0031

住　所　東京都中央区京橋3-7-1

法人名　株式会社泰正

代表者　代表取締役　正木 崇司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3528-6926

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社泰正
事業場の所在地	当該自治体域内の各施工工事現場
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	資本金1億円
③従業員数	15
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙（管理体制）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
現場での廃棄物分別の徹底</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
現場での廃棄物分別の徹底</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場での分別解体</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場での分別解体</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
実施していない</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
実施していない</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
実施していない</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
現場での廃棄物分別の徹底</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
現場での廃棄物分別の徹底</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

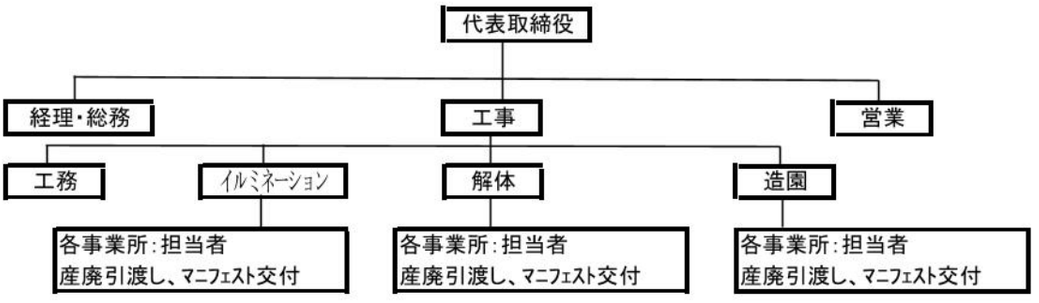
別添１ 処理工程図

【主な処理工程】

・廃油	⇒	油水分離	⇒	再利用
・廃プラ	⇒	破砕/圧縮固化	⇒	再利用/安定処理
・紙くず	⇒	破砕/圧縮固化	⇒	再利用
・木くず	⇒	破砕	⇒	再利用
・植物廃材	⇒	破砕	⇒	再利用
・繊維くず	⇒	破砕/圧縮固化	⇒	再利用
・畳	⇒	破砕	⇒	再利用
・鉄くず	⇒	破砕	⇒	再利用/安定処理
・ｶﾞﾗｽ、陶磁器くず	⇒	破砕	⇒	再利用/安定処理
・ﾌﾞﾛｯｸ、ﾚﾝｶﾞ	⇒	破砕	⇒	再利用
・石膏ボード	⇒	破砕	⇒	再利用
・ALC	⇒	破砕	⇒	再利用
・がれき類	⇒	破砕	⇒	再利用/安定処理
・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	⇒	破砕	⇒	再利用
・ｱｽﾌｧﾙﾄがら	⇒	破砕	⇒	再利用
・混合廃棄物	⇒	破砕/圧縮/切断	⇒	再利用
・安定型混合廃棄物	⇒	破砕	⇒	再利用/安定処理
・管理型建設混合廃棄物	⇒	破砕	⇒	再利用
・安定型混合廃棄物	⇒	破砕	⇒	再利用
・管理型混合廃棄物	⇒	破砕/圧縮	⇒	再利用
・石綿含有ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	⇒	破砕	⇒	再利用/安定処理
・石綿含有廃プラ	⇒	安定型埋立	⇒	安定処理
・石綿含有がれき類	⇒	安定型埋立	⇒	安定処理
・蛍光灯	⇒	破砕/圧縮/溶融/選別	⇒	再利用/安定処理
・廃石綿等（レベル１・２）	⇒	埋立	⇒	安定処理

※収集運搬および中間処分・最終処分を業者に委託

別添２ 管理体制図


代表取締役
経理・総務
工事
営業
工務
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ
解体
造園
各事業所：担当者
産廃引渡し、ﾏﾆﾌｪｽﾄ交付
各事業所：担当者
産廃引渡し、ﾏﾆﾌｪｽﾄ交付
各事業所：担当者
産廃引渡し、ﾏﾆﾌｪｽﾄ交付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物										
	排　出　量	24.95 t	356.50 t	2.75 t	252.00 t	41.55 t	5,713.54 t	3.70 t	178.23 t	41.00 t										
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物										
	排　出　量	22.46 t	320.85 t	2.48 t	226.80 t	37.40 t	5,142.19 t	3.33 t	160.41 t	36.90 t										
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物										
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物										
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物								
全処理委託量	24.95 t	356.50 t	2.75 t	252.00 t	41.55 t	5,713.54 t	3.70 t	178.23 t	41.00 t								
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	11.00 t								
再生利用業者への処理委託量	24.95 t	356.50 t	2.75 t	252.00 t	41.55 t	0.00 t	3.70 t	178.23 t	11.00 t								
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物								
全処理委託量	22.46 t	320.85 t	2.48 t	226.80 t	37.40 t	5,142.19 t	3.33 t	160.41 t	36.90 t								
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	9.90 t								
再生利用業者への処理委託量	22.46 t	320.85 t	2.48 t	226.80 t	37.40 t	0.00 t	3.33 t	160.41 t	9.90 t								
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6　月　30　日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒263-0002

住　所　千葉市稲毛区山王町94-46

氏　名　株式会社　大成

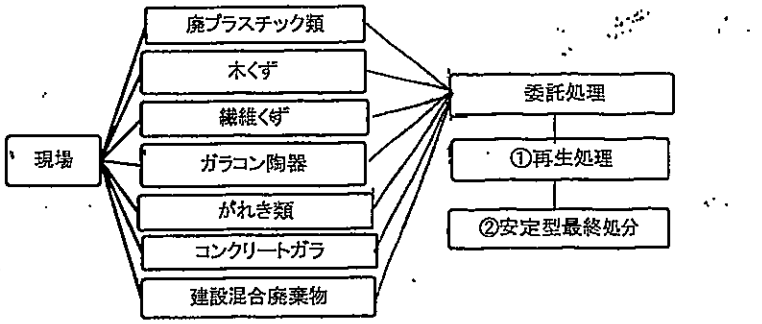
代表取締役　古野凌汰

電話番号　043-304-9200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　大　成
事業場の所在地	千葉市稲毛区山王町94-47
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

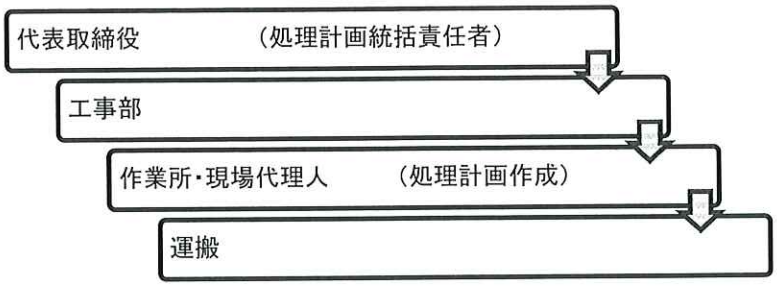
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高　5.57　億円
③ 従業員数	5人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	21.635 t	0.3 t

（これまでに実施した取組）
中間処理業者に委託して処分を行っている。廃棄物を再利用できるよう、種類ごとに分別作業を行っている。

②計画

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	21 t	0.3 t

（今後実施する予定の取組）
引き続き、工事で発生する廃棄物を、再利用できるよう種類ごとに分別作業を行っている。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
再生可能品については各品目ごとに分類を行い、混合廃棄物としての軽減に努めている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
細分化した分別処理を継続実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）
これまでに自社で行った事はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）
予定はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	― t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）
これまでに自社で行った事はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）
予定はない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t

（これまでに実施した取組）
これまでに自社で行った事はない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t

（今後実施する予定の取組）
予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量	21.635 t	0.3 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	21.635 t	0.3 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
廃棄物管理票（マニフェスト）により、最終処分までの工程の確認を行った。産業廃棄物の処理は、委託契約を終結した処分業者のみに委託することを徹底している。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>紙くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>21 t</td><td>0.3 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>21 t</td><td>0.3 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
処理の工程の確認は、廃棄物管理票（マニフェスト）により行う。
産業廃棄物の処分を委託する場合には、事前に書面により委託基本契約を終結する。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
		排　出　量	1379.179 t	4.86 t	228.18 t	458.558 t	1954.35 t	110.148 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
		排　出　量	1370 t	4 t	228 t	458 t	1954 t	110 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t	ー t	ー t	ー t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t	ー t	ー t	ー t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t	ー t	ー t	ー t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	ー t	ー t	ー t	ー t	ー t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t	ー t	ー t	ー t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ー t	ー t	ー t	ー t	ー t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t	ー t	ー t	ー t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t	ー t	ー t	ー t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	1379.179 t	4.86 t	228.18 t	458.558 t	1954.35 t	110.148 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	72.16 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1379.179 t	4.86 t	228.18 t	530.718 t	1954.35 t	110.148 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	1370 t	4 t	228 t	458 t	1954 t	110 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	80 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1370 t	4 t	228 t	378 t	1954 t	110 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月30 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者

住 所　　千葉市稲毛区山王町94-46

氏 名　　株式会社　大 成

代表取締役　古野凌汰

電話番号　　043-304-9200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　大 成
事業場の所在地	千葉市稲毛区山王町94-47
事業の種類	D07一職別工事業(設備工事業を除く)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

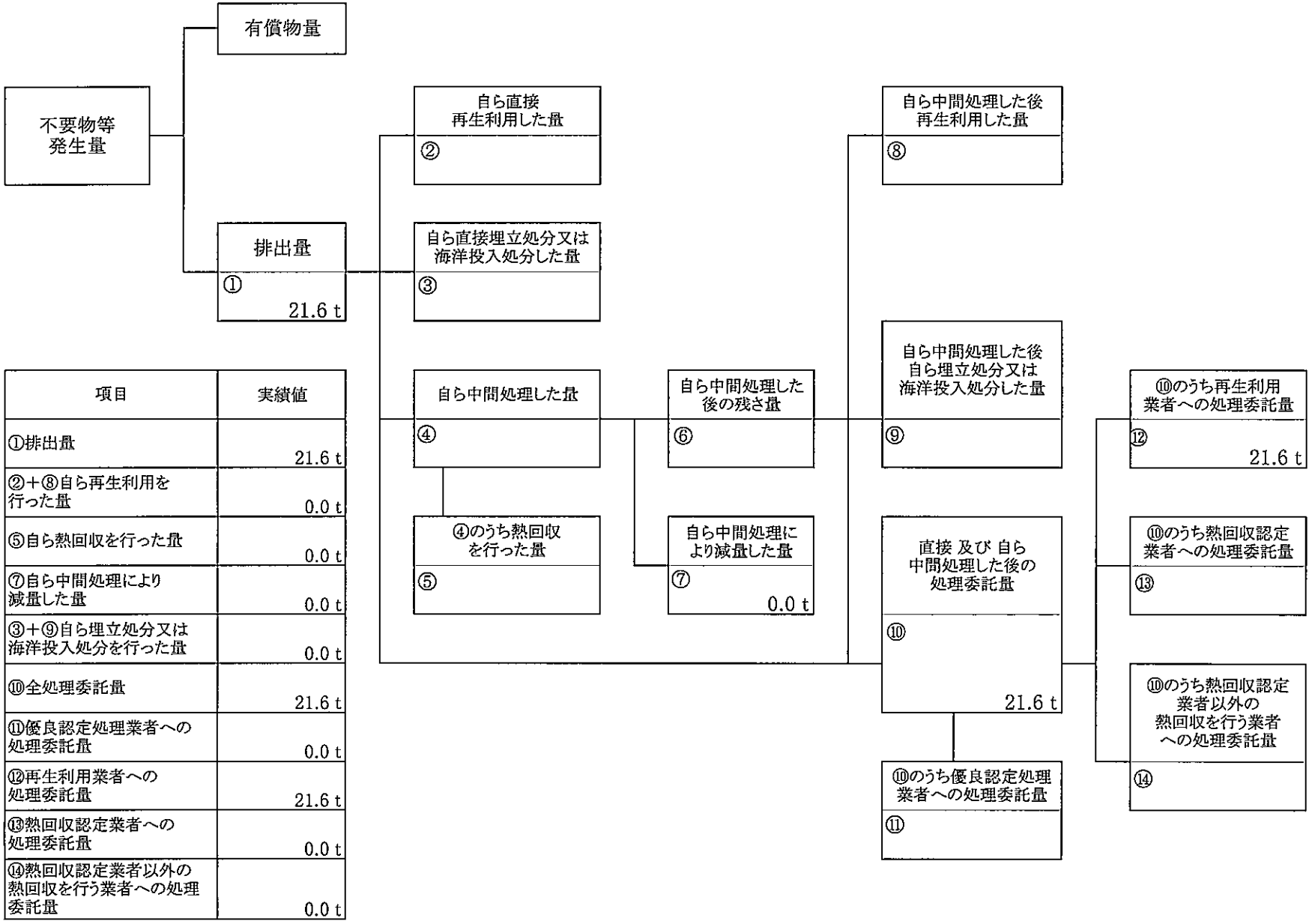
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3079.5 t	全処理委託量	3079.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3079.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

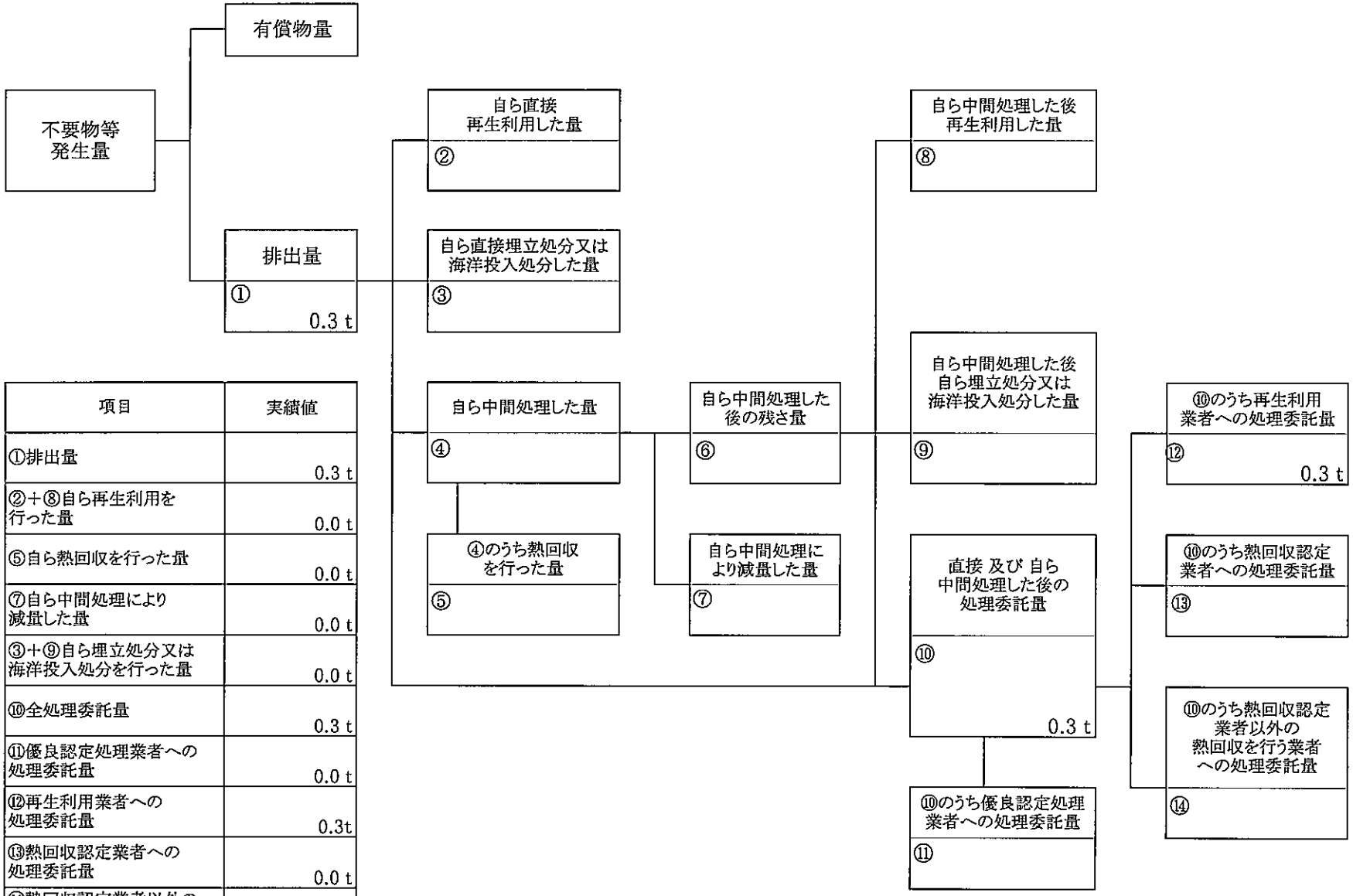


項目	実績値
①排出量	21.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	21.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

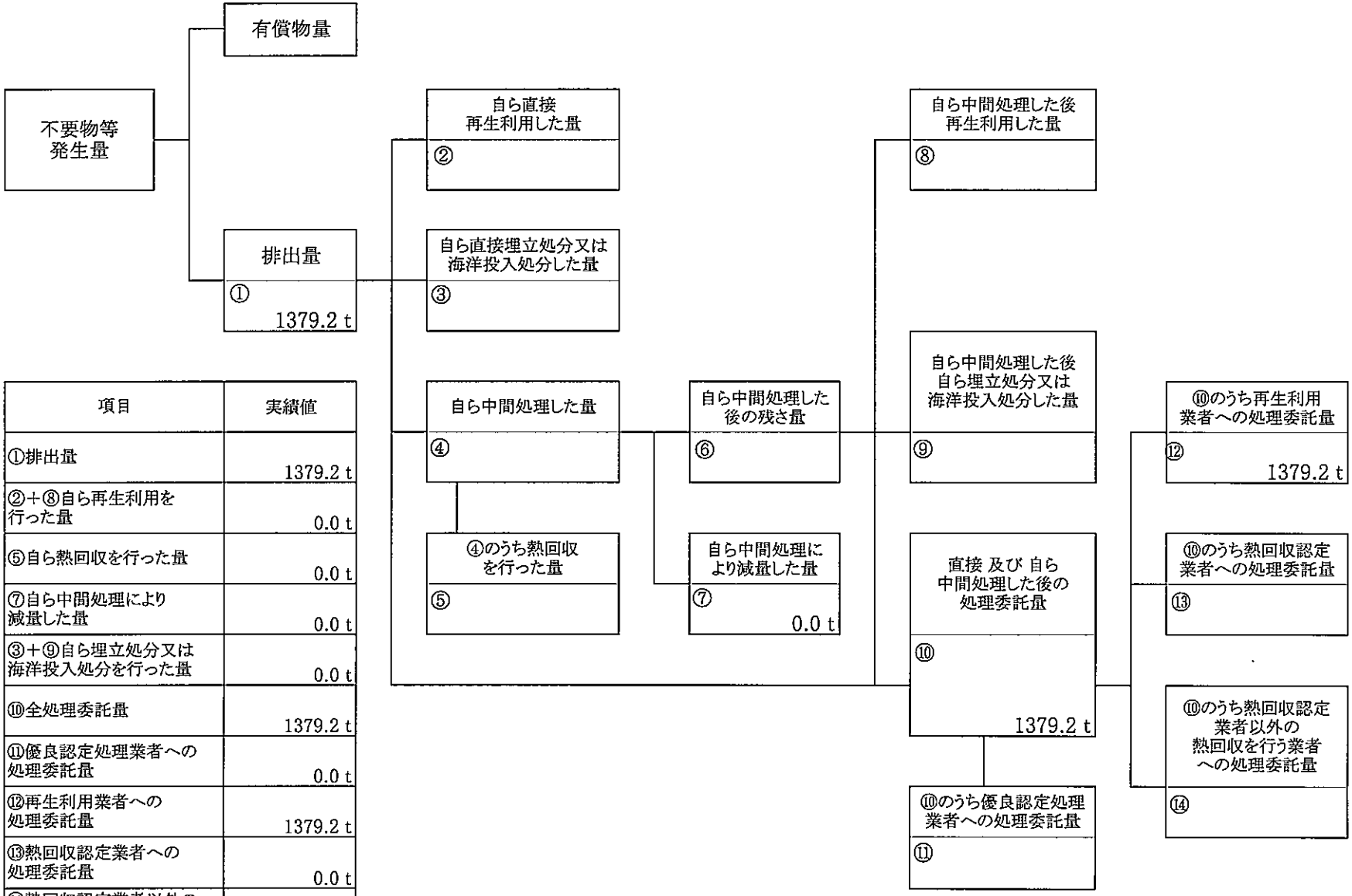


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　木くず　　）

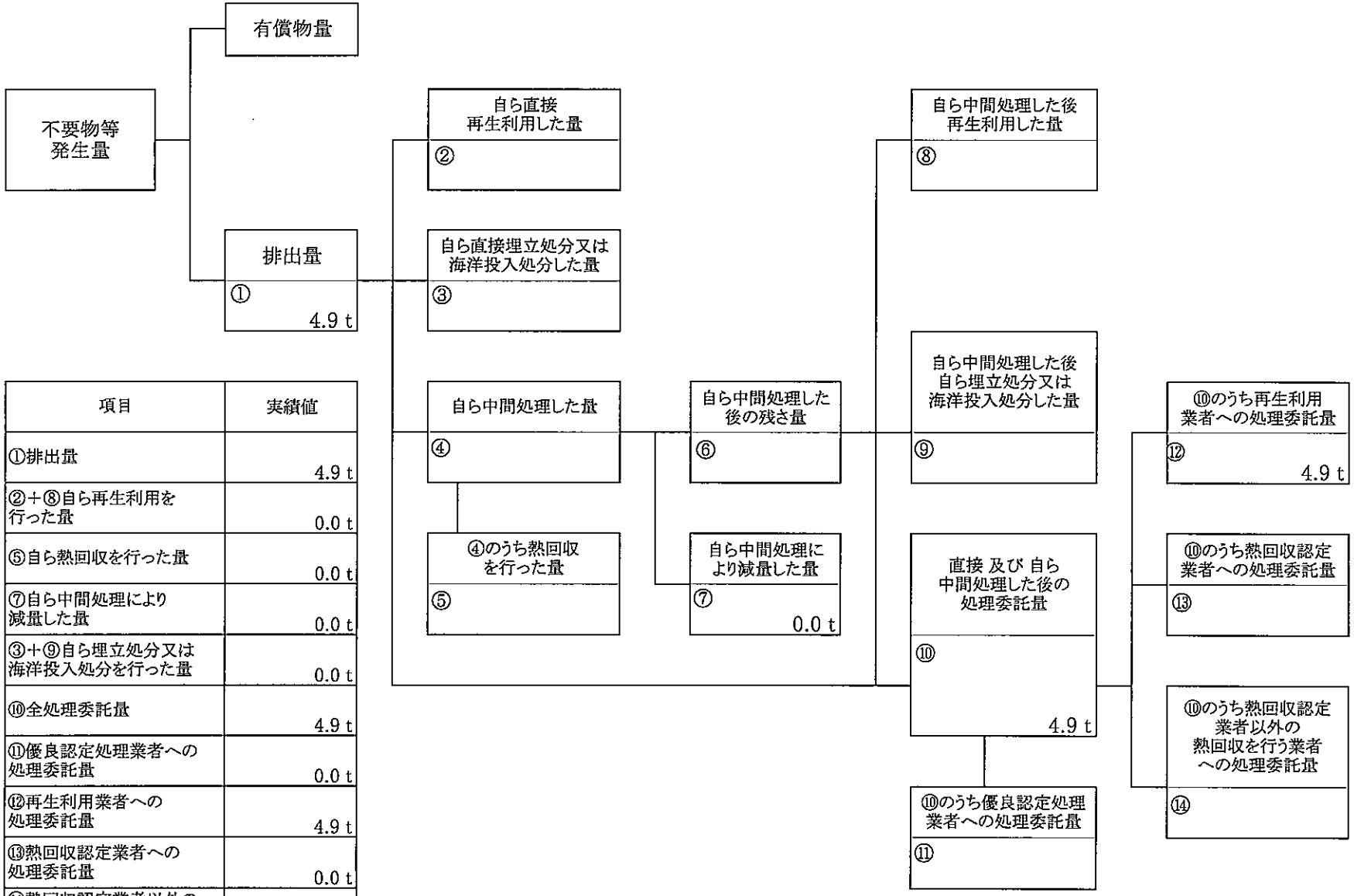


項目	実績値
①排出量	1379.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1379.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1379.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　繊維くず　　）

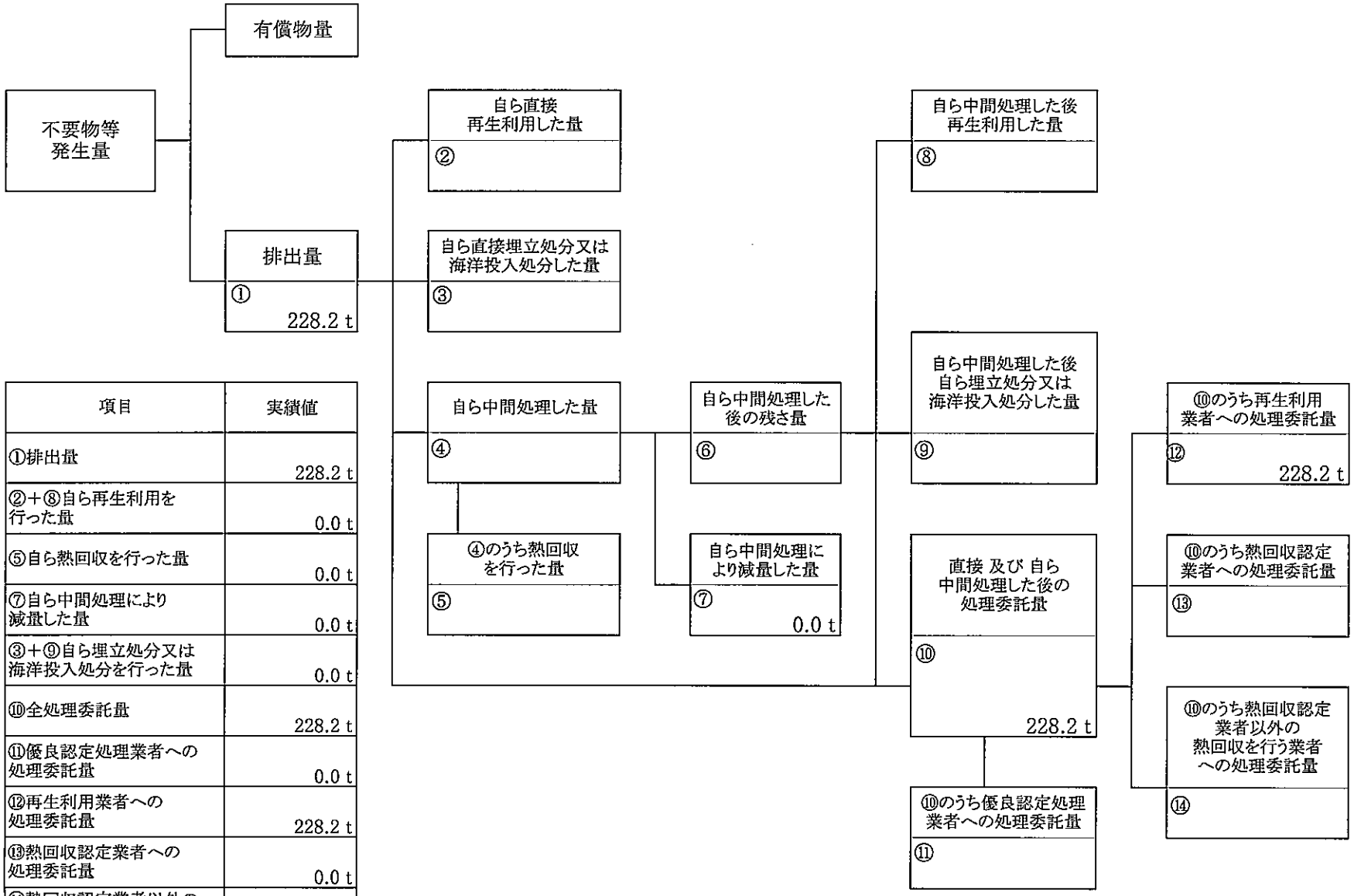


項目	実績値
①排出量	4.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶器　）

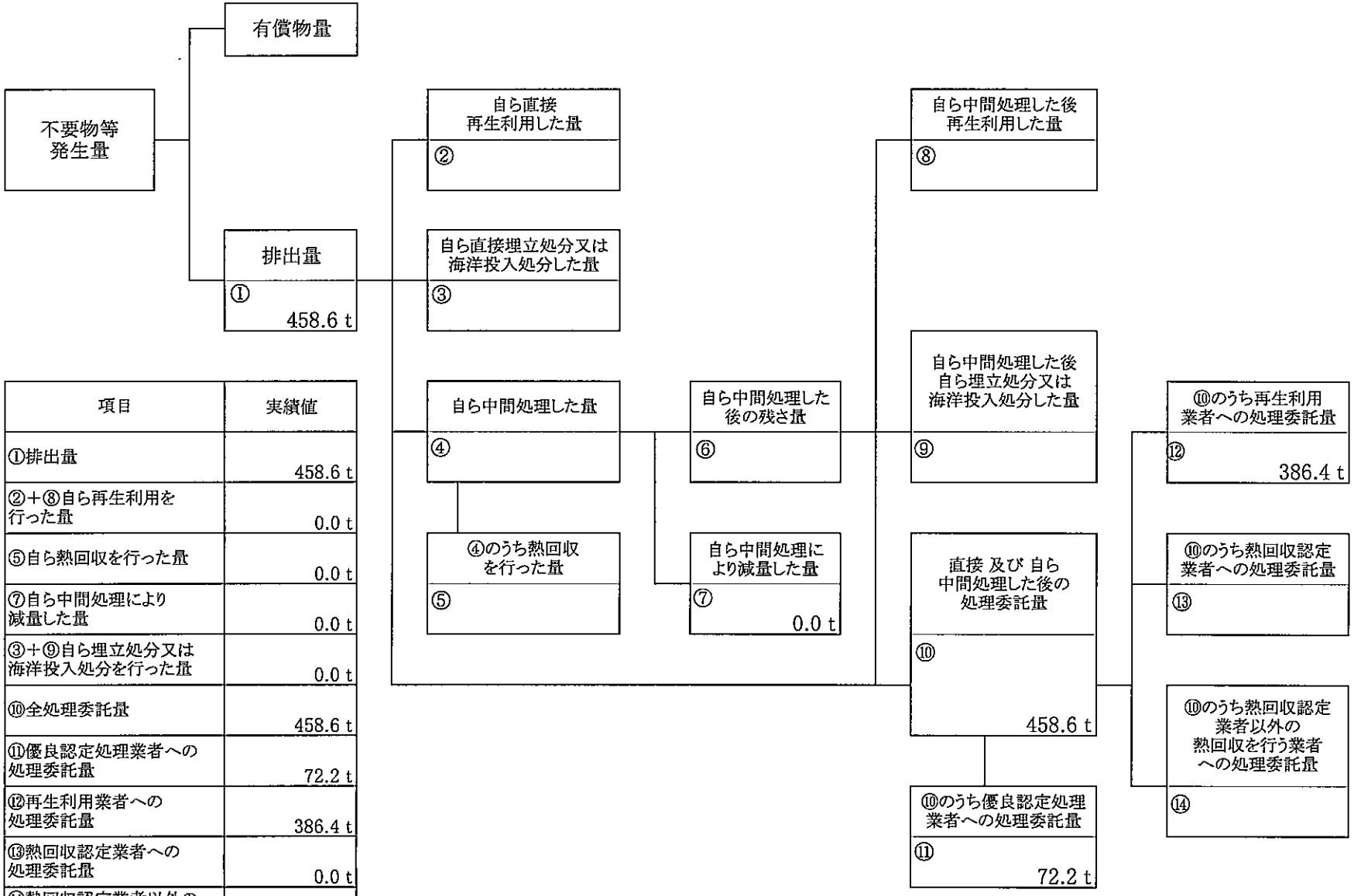


項目	実績値
①排出量	228.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	228.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	228.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

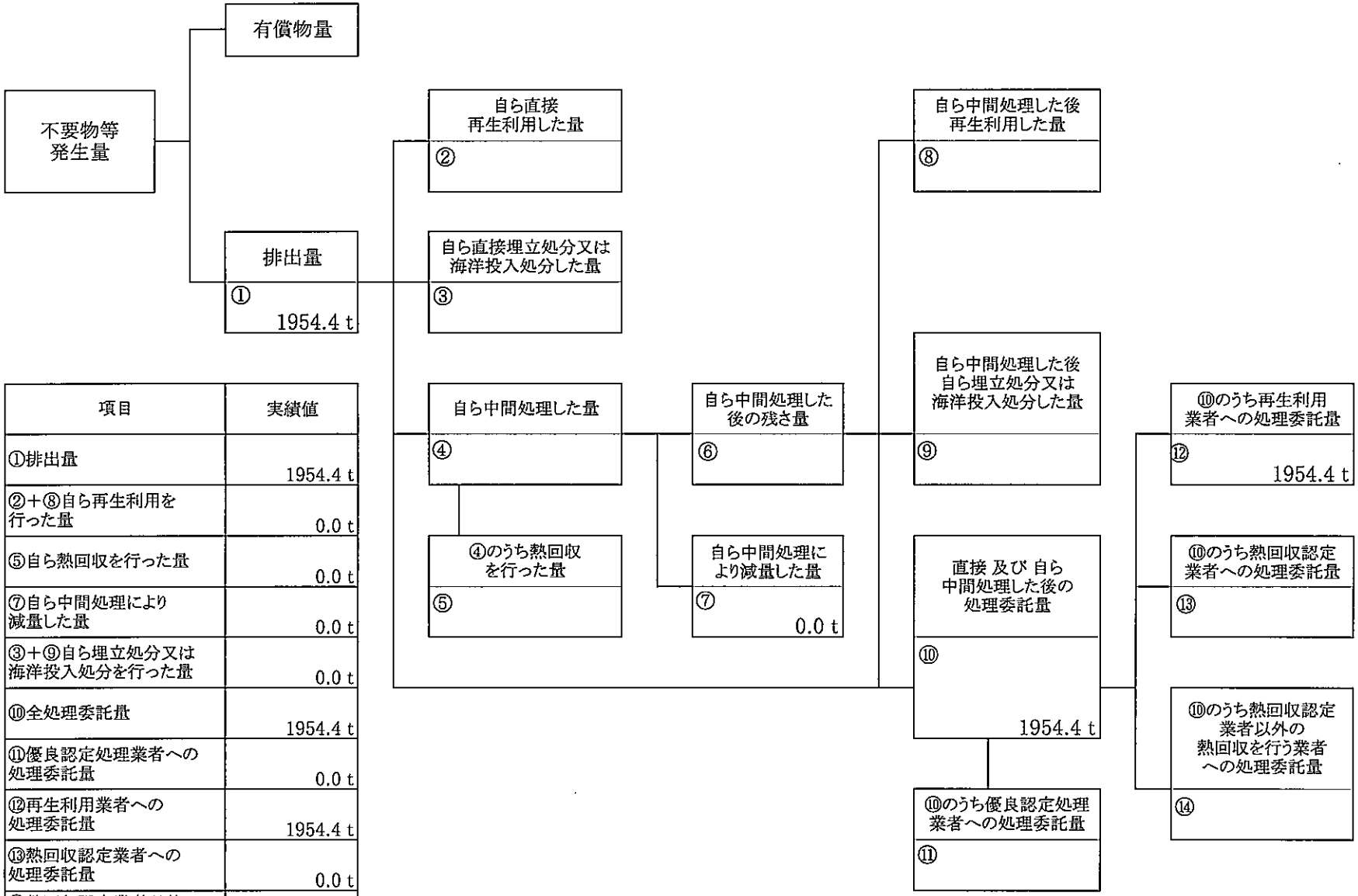


項目	実績値
①排出量	458.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	458.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	72.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	386.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリートがら　　）

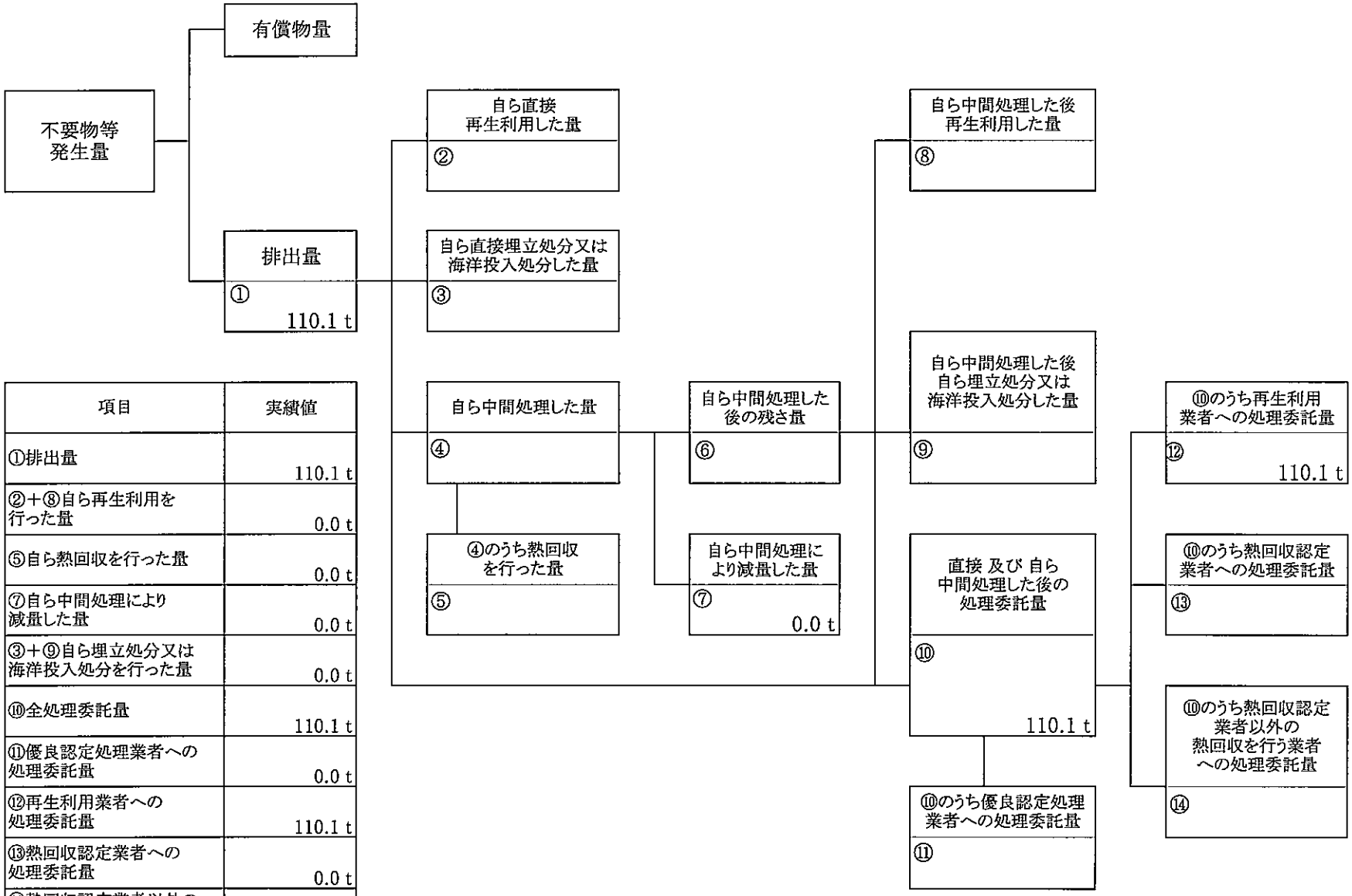


項目	実績値
①排出量	1954.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1954.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1954.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　建設混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	110.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	110.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	110.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

２０２５年　６月　１３日

千葉県知事　殿

提出者
住　所　千葉県千葉市中央区新町1000番地
大成建設株式会社　千葉支店
氏　名　　執行役員支店長　廣瀬　淳一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　043-243-3123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大成建設株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区新町１０００番地
計画期間	２０２５年　４月　１日　～　２０２６年　３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業　　総合工事業
②事業の規模	千葉県内の事業　売上高：７５３億円（２０２４年度）
③従業員数	４６２名（２０２５年　５月　１日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙－１の通り」

（日本工業規格　A列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

「別紙－２の通り」</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2024年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４－１の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>６８，７９３．８ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

「別紙３－３項の通り」</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　　計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４－２の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>５５，０４５．０ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

「別紙３－３項の継続実施」</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①　現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

「別紙３－４項の通り」</td></tr>
<tr><td>②　計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

「別紙３－４項の通り」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2024年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

「別紙３－５の通り」</td></tr>
<tr><td rowspan="4">③ 計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

「別紙３－５の通り」</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（2024年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

同処理は行なっていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行なわない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2024年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

同処理は行なっていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行なわない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2024年度）実績】　別紙４－１の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４－１の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>６８，７９３．８ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>３，６９１．９ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>５６，８８７．８ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

「別紙３－６項の通り」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②　計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙４－２の通り</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙４－２の通り</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>５５，０４５.０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>２，９５２.０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>４５，５０９.０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

「別紙３－６項の継続実施」</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

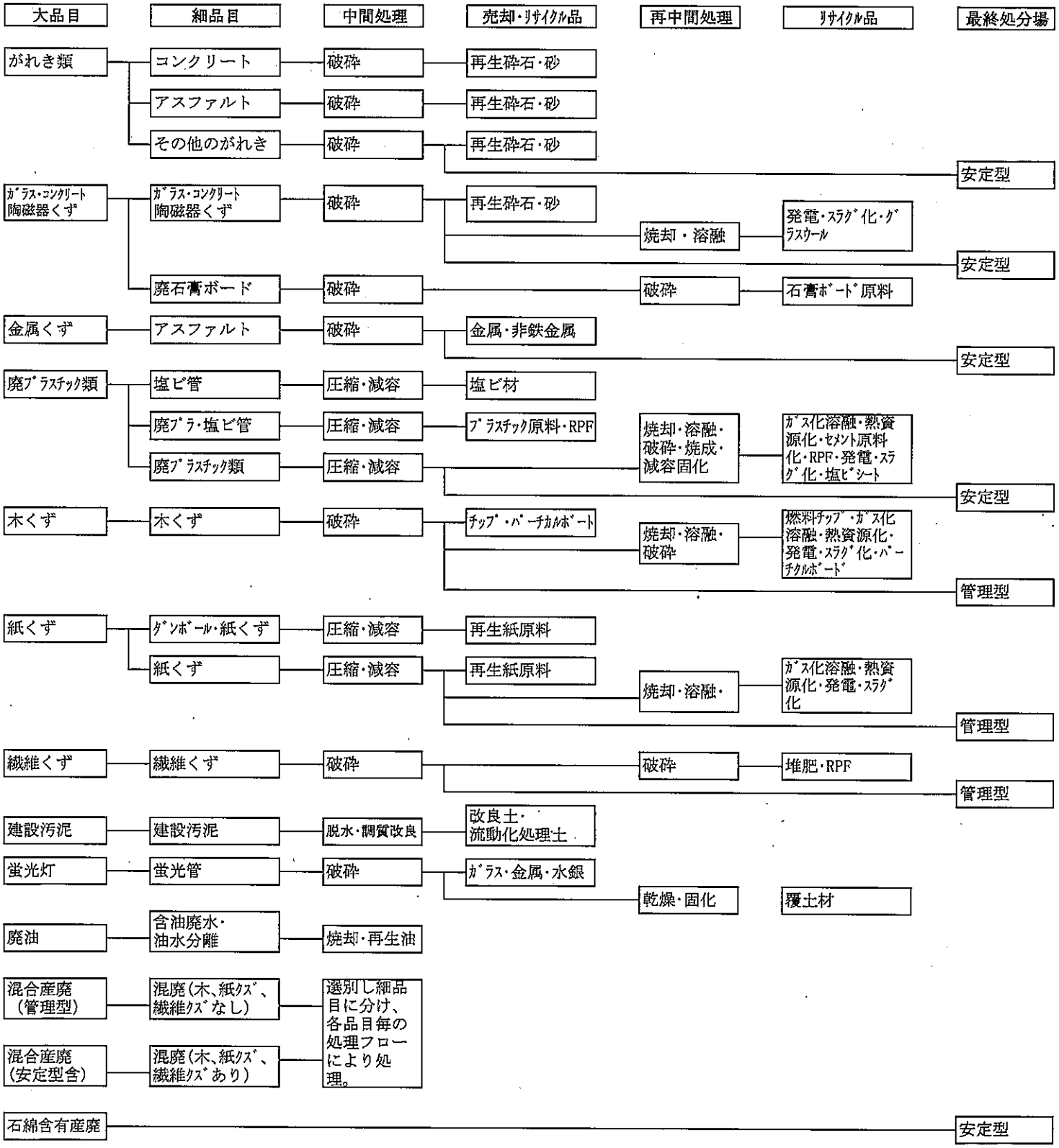
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙-1


大品目
細品目
中間処理
売却・リサイクル品
再中間処理
リサイクル品
最終処分場
がれき類
コンクリート
破砕
再生砕石・砂
アスファルト
破砕
再生砕石・砂
その他のがれき
破砕
再生砕石・砂
安定型
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
破砕
再生砕石・砂
焼却・溶融
発電・ｽﾗｸﾞ化・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ
安定型
廃石膏ボード
破砕
破砕
石膏ﾎﾞｰﾄﾞ原料
金属くず
アスファルト
破砕
金属・非鉄金属
安定型
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
塩ビ管
圧縮・減容
塩ビ材
廃ﾌﾟﾗ・塩ビ管
圧縮・減容
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ原料・RPF
焼却・溶融・破砕・焼成・減容固化
ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・ｾﾒﾝﾄ原料化・RPF・発電・ｽﾗｸﾞ化・塩ﾋﾞｼｰﾄ
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
圧縮・減容
安定型
木くず
木くず
破砕
ﾁｯﾌﾟ・ﾊﾞｰﾁｶﾙﾎﾞｰﾄ
焼却・溶融・破砕
燃料ﾁｯﾌﾟ・ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化・ﾊﾞｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
管理型
紙くず
ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ・紙くず
圧縮・減容
再生紙原料
紙くず
圧縮・減容
再生紙原料
焼却・溶融・
ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化
管理型
繊維くず
繊維くず
破砕
破砕
堆肥・RPF
管理型
建設汚泥
建設汚泥
脱水・調質改良
改良土・流動化処理土
蛍光灯
蛍光管
破砕
ｶﾞﾗｽ・金属・水銀
乾燥・固化
覆土材
廃油
含油廃水・油水分離
焼却・再生油
混合産廃（管理型）
混廃（木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞなし）
選別し細品目に分け、各品目毎の処理フローにより処理。
混合産廃（安定型含）
混廃（木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞあり）
石綿含有産廃
安定型

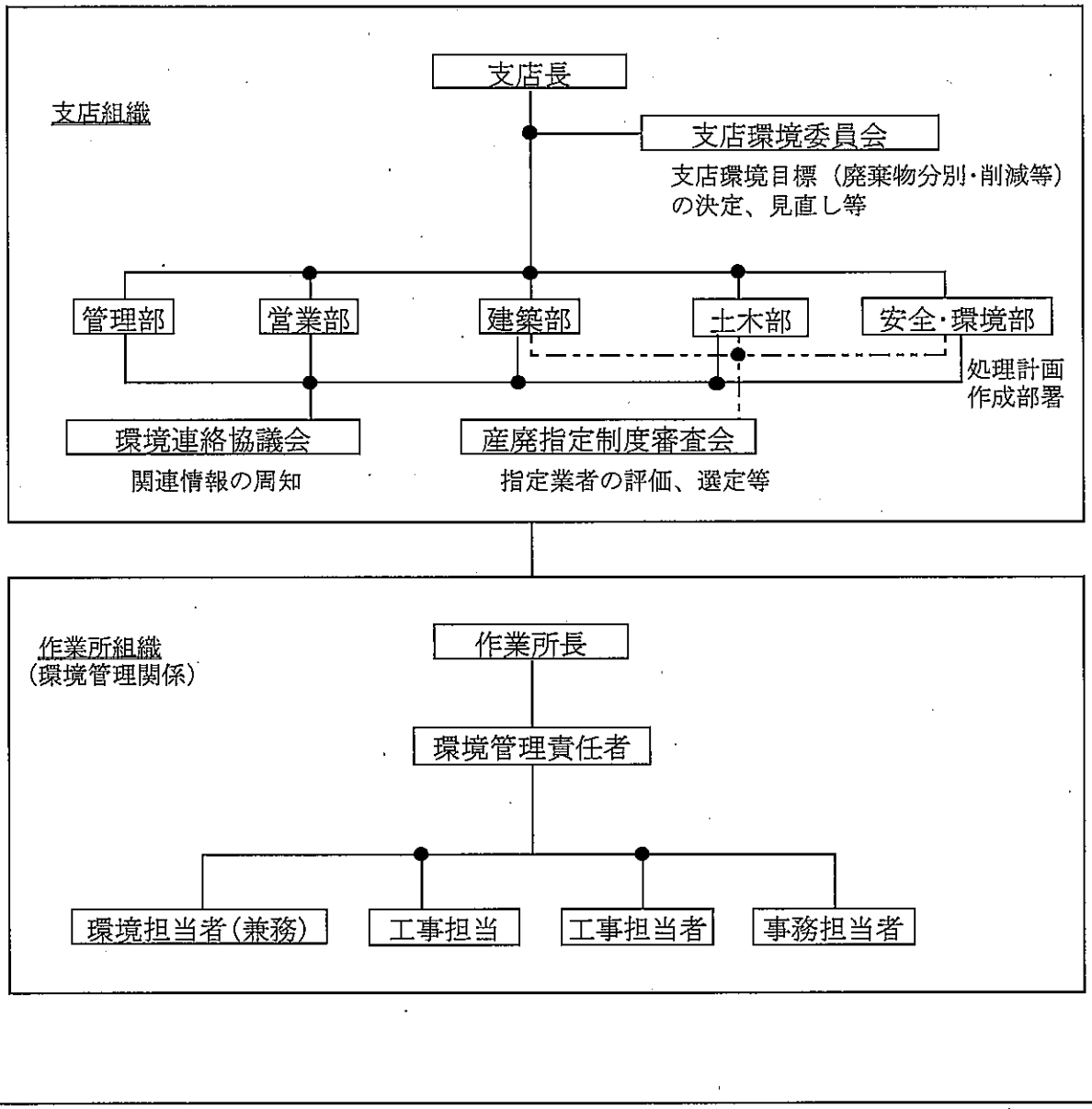
別紙－２

管理体制図

（１） 当事業における責任及び管理組織図

統括責任者		千葉支店長
	担当部署（指導）	安全･環境部
		建築部　安全･環境推進室
		土木部　安全･環境推進室
作業所	責任者	（建築、土木）作業所長または担当所長
	担当者	作業所長が指名

管理組織



別紙－３

取組みの現状(継続しての実施事項)

1. 管理体制等の強化

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行なっている。

1）建設廃棄物の分別･リサイクル等に関する環境目標の設定
2）産業廃棄物の処理に関する手順の策定
3）作業所毎の法規制等チェックシートによる関係法令の遵守
4）計画的な内部環境監査及び環境パトロールの実施
5）外部環境監査による指摘と是正（再発防止含む）
6）年度ごとの見直しを行い、継続的な改善を図る
7）環境負荷低減活動の展開
8）協力会で行なう環境パトロールによる指摘業者への指導
9）職長会による分別指導

2. 教育

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行なっている。

1）社員教育
①環境問題の概要
②環境方針、ＥＭＳを遵守することの重要性
③各業務が実際に又は、潜在的に持つ著しい環境への影響、環境管理改善の便益
④環境方針､環境目標､ＥＭＳ活動の目的・目標を達成するための役割と責任
⑤規定された環境に関する標準、要領・手順を逸脱した場合に予想される結果
⑥廃掃法はじめ、関連法改正を含めた最新環境情報の伝達
※全従業員を対象に定期的に集合教育（OFF.J.T）を行う。受講できなかった者に対しては内勤者は室長、作業所は作業所長が0.J.Tを実施する。

2）専門工事業者教育
①作業所毎、新規入場者教育時に作業所環境目標、実施手順に係る教育を実施。
②作業所へ作業員を送出す際に当社作成の環境教育資料を基に環境教育を実施。
③各種大会、講習会時に３Ｒ活動を含めた環境教育を実施。
④協力会組織の環境委員会活動により専門工事業者会員の環境意識の向上を図る。

3. 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

施工計画時において下記事項を検討し、実施可能な項目を採用している。

・建設資材のプレキャスト化等による廃材発生の削減
・搬入資機材の梱包材の削減
・工法変更による廃材の抑制
・資材の転用　その他

4. 産業廃棄物の分別に関する事項

当社の副産物処理要領書に則り、作業所において分別計画を立て実施する。
計画の策定に当っては、地域の産業廃棄物中間処理施設、リサイクル施設等の分別品目の受入れ条件を十分考慮する。

5. 産業廃棄物の再生利用に関する事項

建設リサイクル法等関係法令を遵守し、作業所毎に再生資源利用(促進)計画を策定し、実施の記録を保管する。
グリーン購入標準、グリーン調達ガイドラインに基づく環境配慮品の採用。

6. 産業廃棄物の処理に関する事項

廃掃法及び当社の副産物処理要領書に則り、保管基準、処理基準、委託基準を遵守する。特に注力する事項を下記に示す。

1）当社書式による委託契約書の作成・保管。
2）電子マニフェスト化を積極的に展開し普及率を把握（毎月）し向上を図る。
3）紙マニフェストの交付及び照合・保管。
紙マニフェストは、建設六団体副産物対策協議会発行のものを使用する。
4）支店、本社における作業所の廃棄物処理状況の把握。
作業所は「環境データ管理システム（E-DAM)」によりその都度入力する。
支店、本社は本社サーバーに集積された各作業所からのデータ（E-DAM)を閲覧し、指導する。
5）指定業者制度(混合廃棄、建設汚泥）を採用し、支店担当者がチェックシートにより毎年指定業者処理場を評価し、審査会に諮り審議することよりリスクの軽減を図っている。

別紙４－１
産業廃棄物の処理の委託に関する事項
【前年度（2024年度）実績】

単位：（トン）

副産物種類	計画・目標数値	① 排出量	②'-a 自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄあり）	②'-b 自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄなし）	② 自ら直接再生利用した量（②-a+②-b）	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後に再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩'-a 中間処理量	⑩'-b 最終処分量	⑩ 『直接及び』自ら中間処理した後処理業者への委託量（⑩-a+⑩-b）	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	有価・広域認定物売却量
廃棄物																				
コンクリートがら		10,098.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10,098.0	0.0	10,098.0	2,333.8	10,098.0	0.0	0.0	
アスファルト・コンクリートがら		11,816.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11,816.9	0.0	11,816.9	72.8	11,816.9	0.0	0.0	
その他がれき類		7,697.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7,697.1	0.0	7,697.1	162.9	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック類		325.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	325.2	0.0	325.2	155.7	0.0	0.0	0.0	
ガラスくず及び陶磁器くず		298.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	283.2	15.4	298.6	122.6	0.0	0.0	0.0	
金属くず		52.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.5	0.0	52.5	18.5	52.5	0.0	0.0	
汚泥		30,165.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30,165.4	0.0	30,165.4	0.3	30,165.4	0.0	0.0	
泥水		93.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.0	0.0	93.0	0.0	93.0	0.0	0.0	
紙くず		46.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.2	0.0	46.2	19.5	46.2	0.0	0.0	
木くず		4,615.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,615.8	0.0	4,615.8	232.5	4,615.8	0.0	0.0	
繊維くず		0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	
廃石膏ボード		247.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	247.6	0.0	247.6	10.4	0.0	0.0	0.0	
鉱さい		1,760.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,760.2	1,760.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
廃油		20.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3	0.0	20.3	20.3	0.0	0.0	0.0	
廃酸		20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
水銀使用産廃（蛍光灯）		0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
水銀使用産廃（水銀灯）		0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
混廃（安定型のみ）		25.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.6	0.0	25.6	2.8	0.0	0.0	0.0	
混廃（管理型含む）		1,047.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,047.6	0.0	1,047.6	539.1	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（がれき類）		337.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	337.0	337.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（ガラス陶磁器くず）		77.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.5	77.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（廃プラ）		47.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.5	47.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
小計	0.0	68,793.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66,556.2	2,237.6	68,793.8	3,691.9	56,887.8	0.0	0.0	

別紙４－２
産業廃棄物の処理の委託に関する事項
【目標】

単位：（トン）

副産物種類	計画・目標数値	① 排出量	②'-a 自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄあり）	②'-b 自ら処理（ﾏﾆﾌｪｽﾄなし）	② 自ら直接再生利用した量（②-a+②-b）	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後に再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩'-a 中間処理量	⑩'-b 最終処分量	⑩ 『直接及び』自ら中間処理した後処理業者への委託量（⑩-a+⑩-b）	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	有価・広域認定物売却量
廃棄物																				
コンクリートがら		8,078.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8,078.4	0.0	8,078.4	1,867.0	8,078.4	0.0	0.0	
アスファルト・コンクリートがら		9,453.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9,453.5	0.0	9,453.5	58.2	9,453.5	0.0	0.0	
その他がれき類		6,157.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,157.7	0.0	6,157.7	130.3	0.0	0.0	0.0	
廃プラスチック類		260.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	260.2	0.0	260.2	124.0	0.0	0.0	0.0	
ガラスくず及び陶磁器くず		251.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	238.9	12.3	251.2	98.1	0.0	0.0	0.0	
金属くず		42.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.0	0.0	42.0	14.8	42.0	0.0	0.0	
汚泥		24,132.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24,132.0	0.0	24,132.0	0.2	24,132.0	0.0	0.0	
泥水		74.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.0	0.0	74.0	0.0	74.1	0.0	0.0	
紙くず		37.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.0	0.0	37.0	15.0	37.0	0.0	0.0	
木くず		3,692.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,692.0	0.0	3,692.0	186.0	3,692.0	0.0	0.0	
繊維くず		0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	
廃石膏ボード		198.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	198.0	0.0	198.0	8.3	0.0	0.0	0.0	
鉱さい		1,408.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,408.0	1,408.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
廃油		16.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.2	0.0	16.2	16.2	0.0	0.0	0.0	
廃酸		16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
水銀使用産廃（蛍光灯）		0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
水銀使用産廃（水銀灯）		0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
混廃（安定型のみ）		20.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.5	0.0	20.5	2.0	0.0	0.0	0.0	
混廃（管理型含む）		838.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	838.0	0.0	838.0	431.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（がれき類）		268.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	268.9	268.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（ガラス陶磁器くず）		62.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.0	62.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
石綿含有産廃（廃プラ）		38.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.0	38.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小計	0.0	55,045.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53,255.8	1,789.2	55,045.0	2,952.0	45,509.0	0.0	0.0	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

２０２５年　６月　１３日

千葉県知事　殿

提出者
住所　　千葉県千葉市中央区新町1000番地
　　大成建設株式会社　千葉支店
氏名　　執行役員支店長　廣瀬　淳一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-243-3123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、２０２４年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大成建設株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区新町１０００番地
事業の種類	建設業　　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	２０２４年　４月　１日～２０２５年　３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

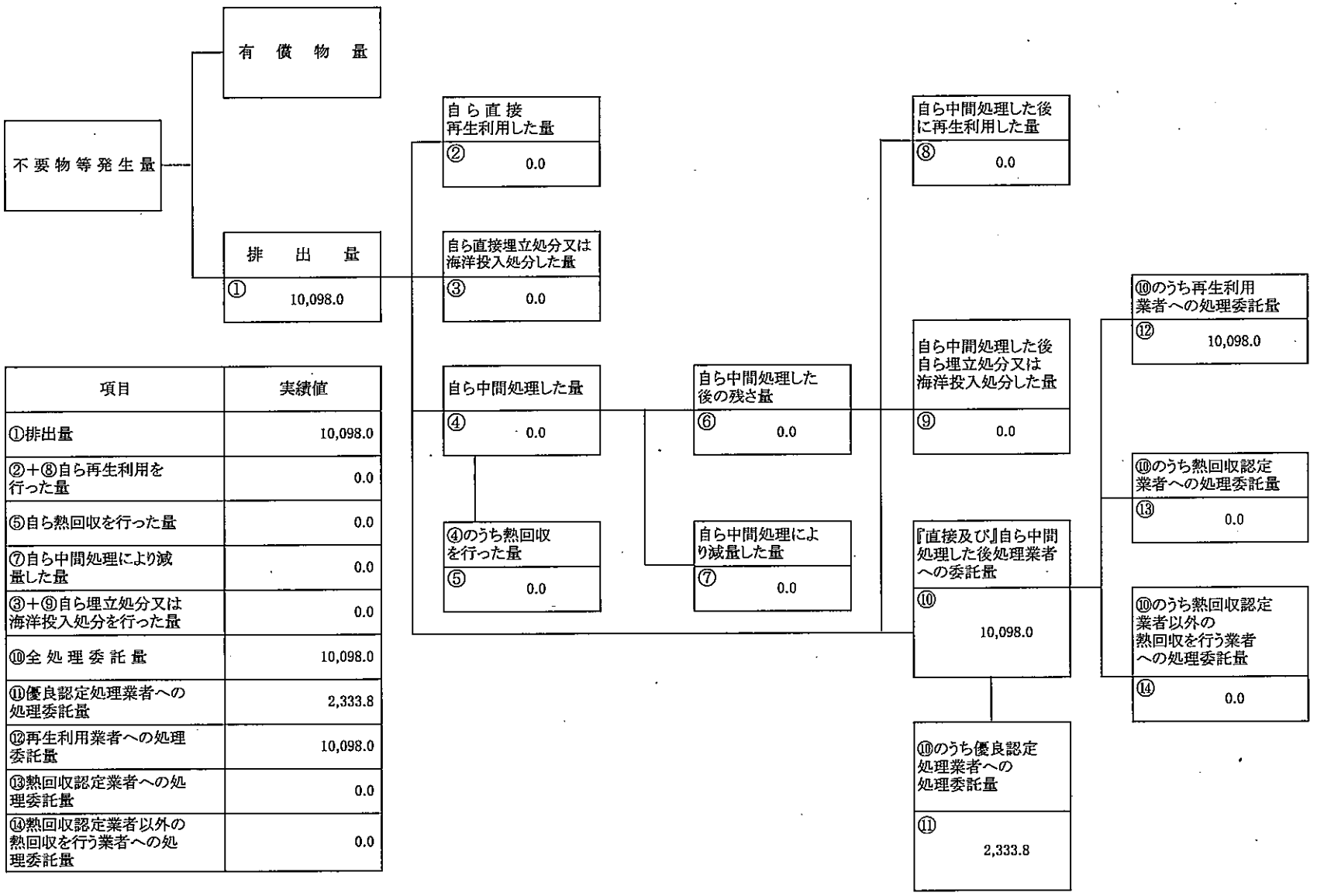
項目	目標値	項目	目標値
排出量	５９，３６６ｔ	全処理委託量	５９，３６６ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	１，２７４．０ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ｔ	再生利用業者への処理委託量	５２，４８９．０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ

※事務処理欄	

(日本工業規格　A列４番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリートがら　　）

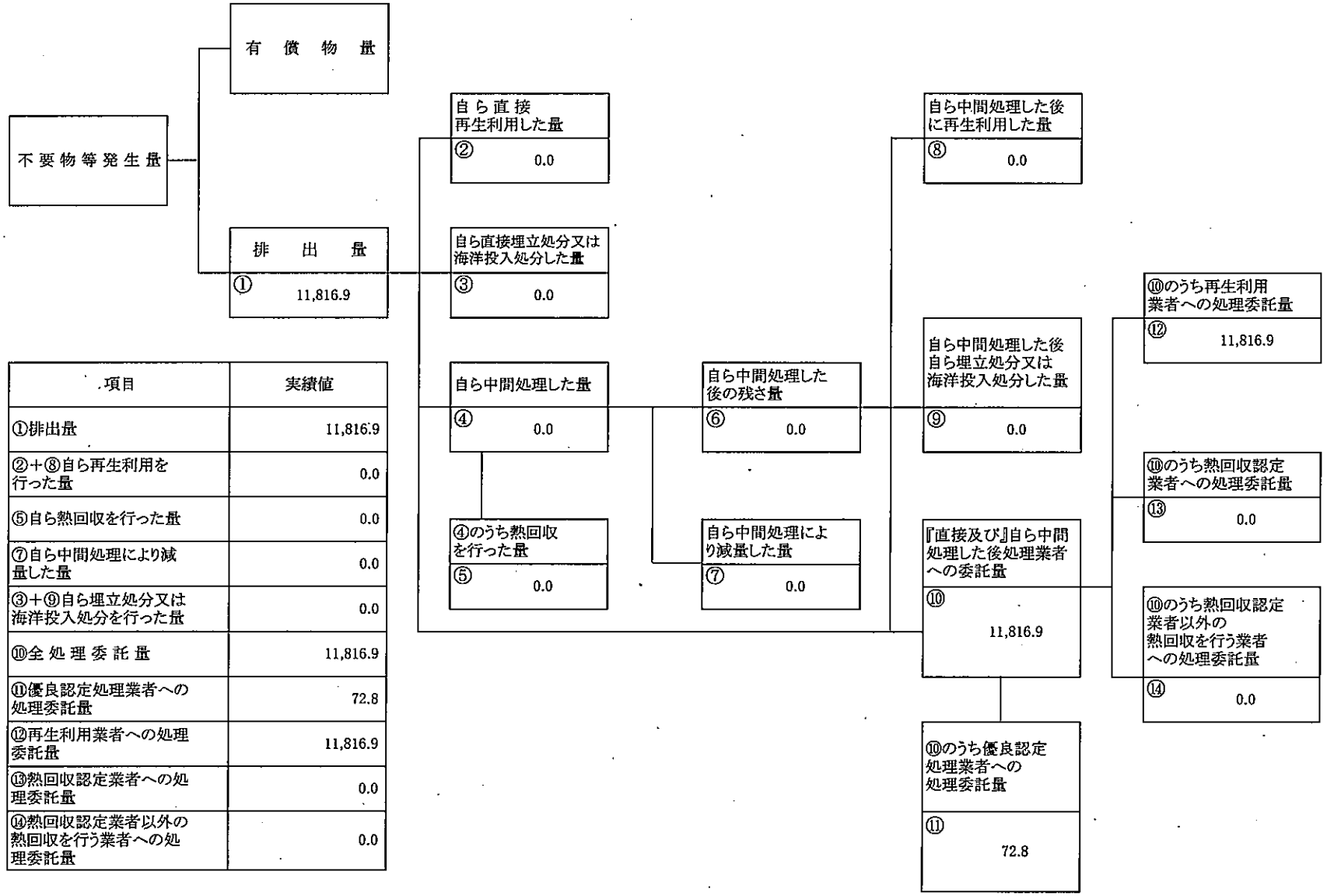


項目	実績値
①排出量	10,098.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	10,098.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,333.8
⑫再生利用業者への処理委託量	10,098.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリートがら　　）

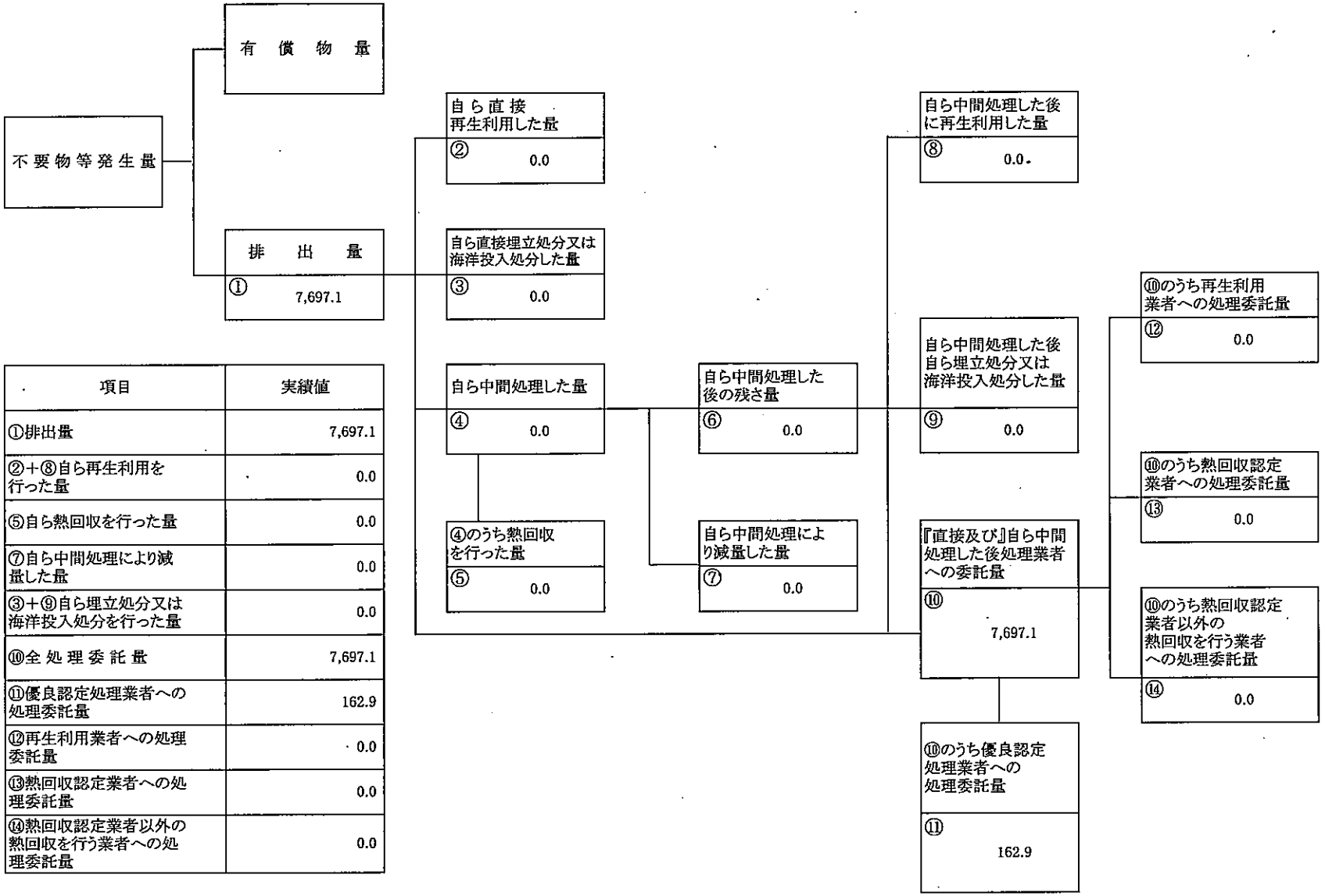


項目	実績値
①排出量	11,816.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	11,816.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	72.8
⑫再生利用業者への処理委託量	11,816.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　その他がれき類　　）

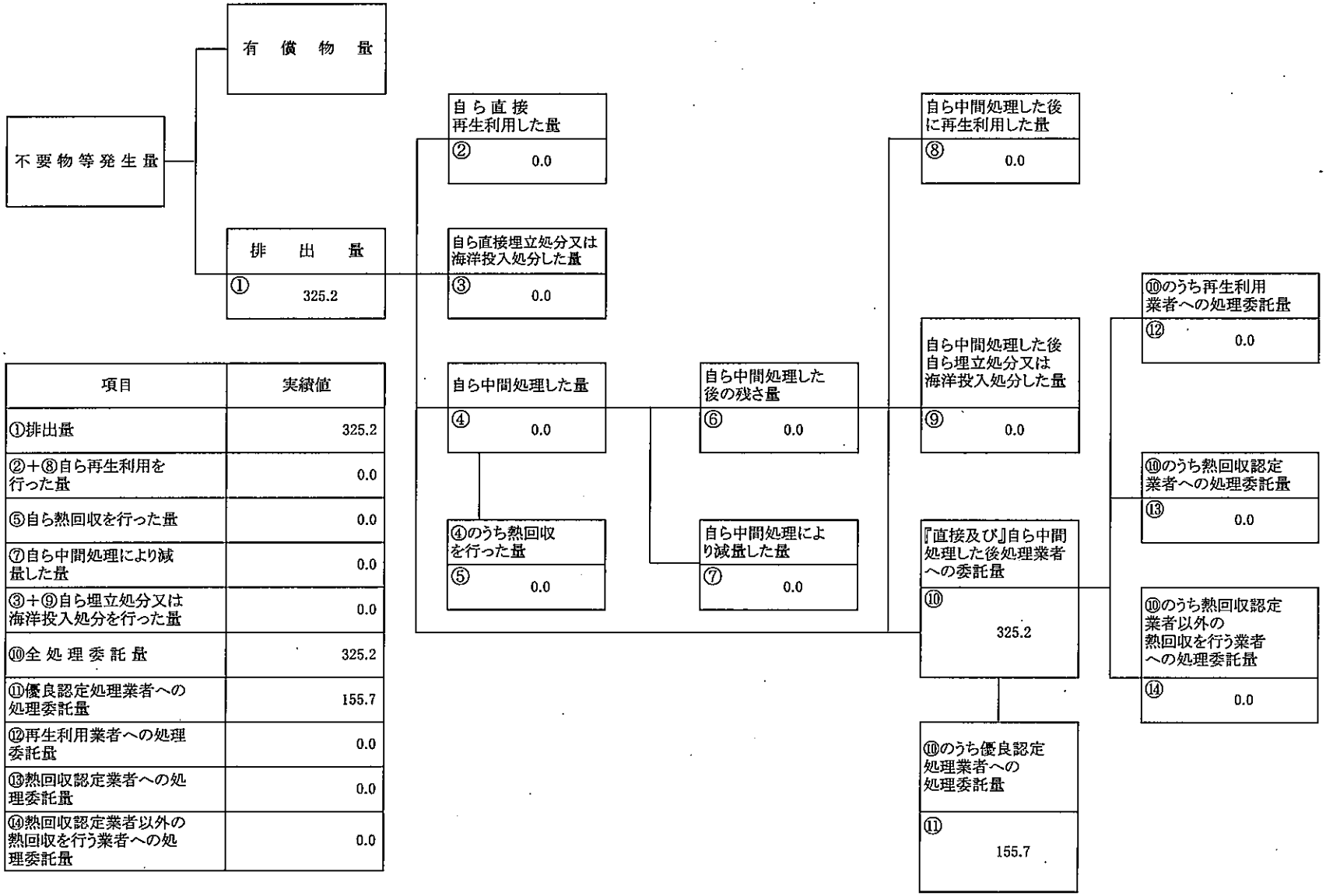


項目	実績値
①排出量	7,697.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	7,697.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	162.9
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　）

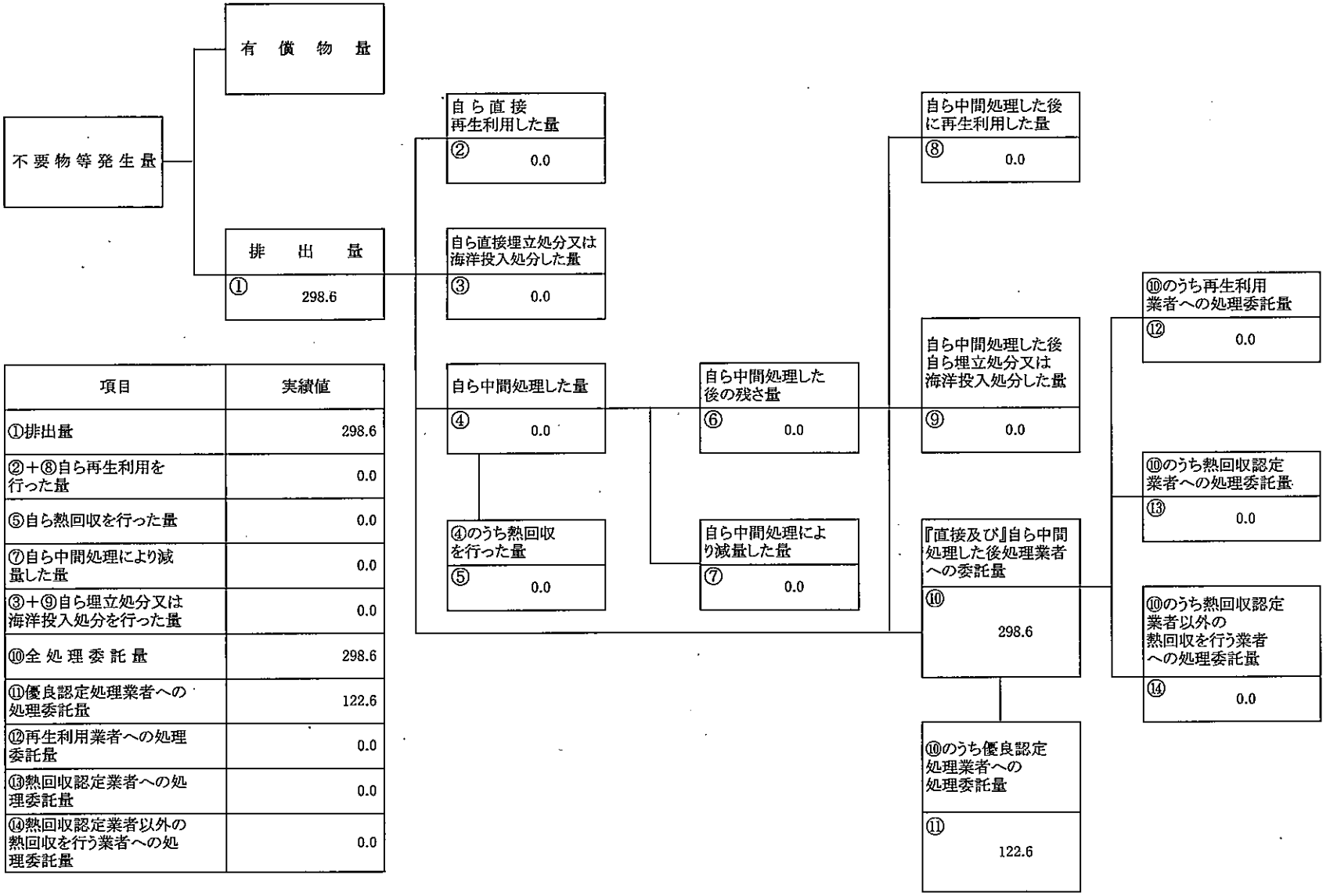


項目	実績値
①排出量	325.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	325.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	155.7
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　ガラスくず及び陶磁器くず　　）

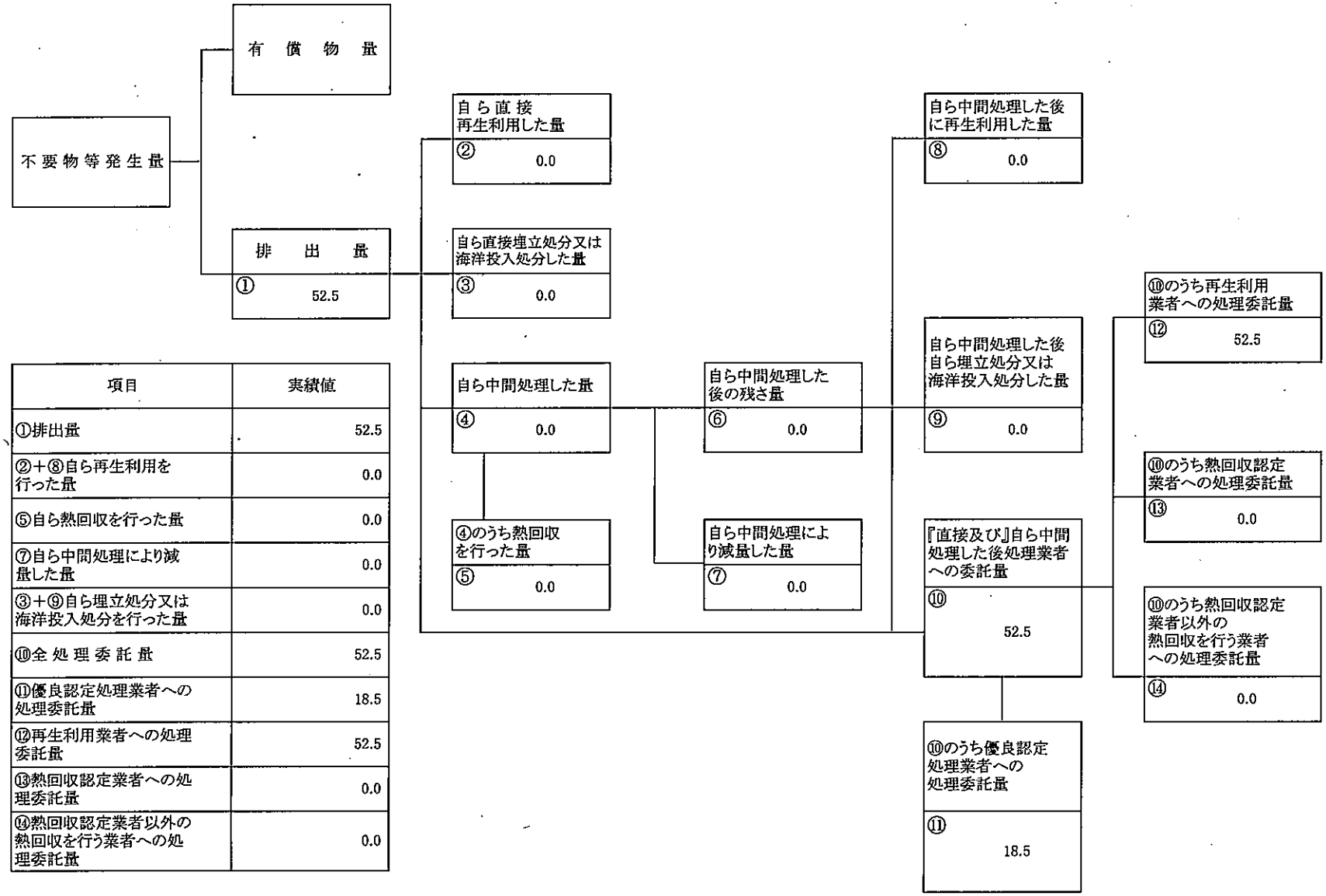


項目	実績値
①排出量	298.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	298.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	122.6
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

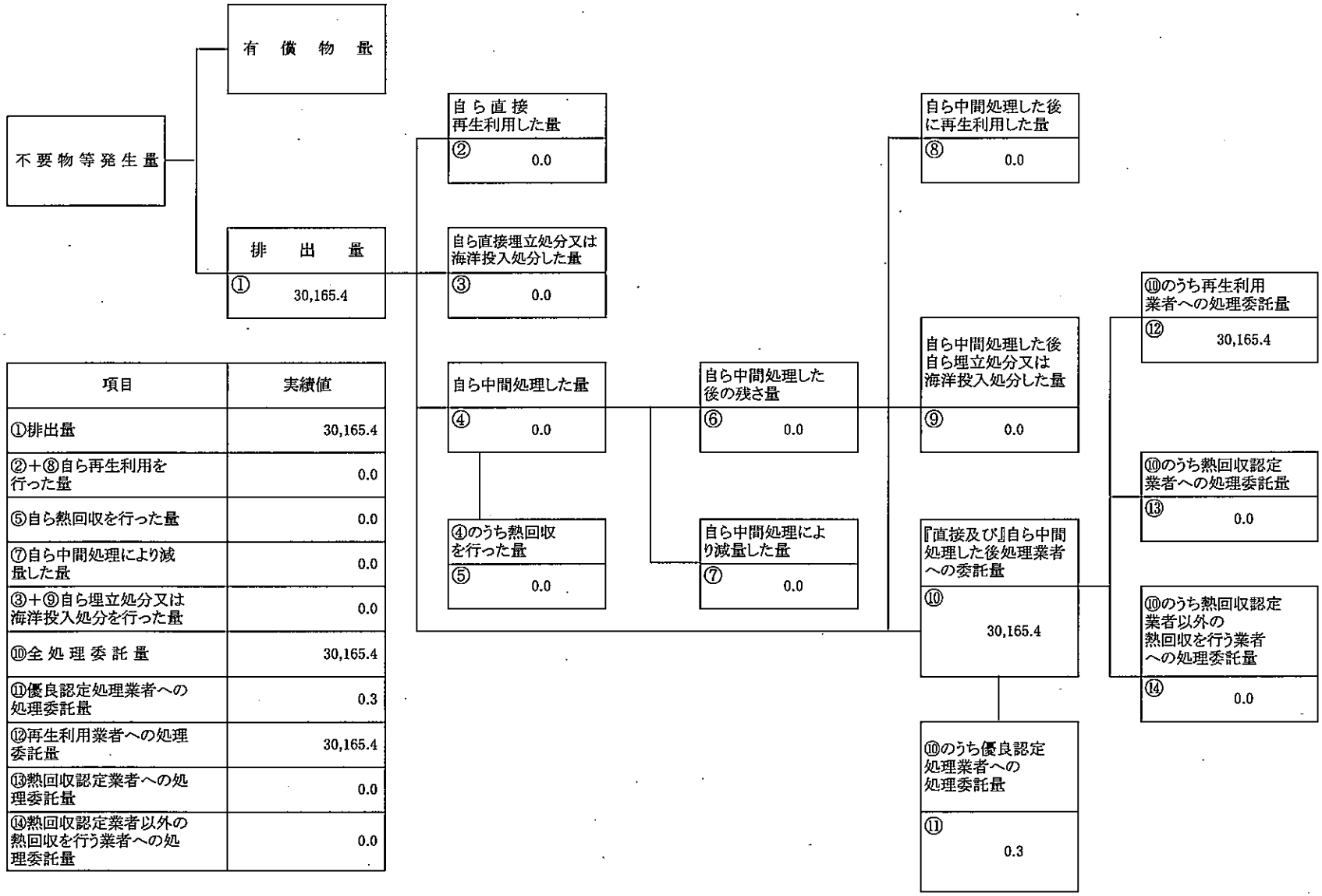


項目	実績値
①排出量	52.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	52.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.5
⑫再生利用業者への処理委託量	52.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　　）

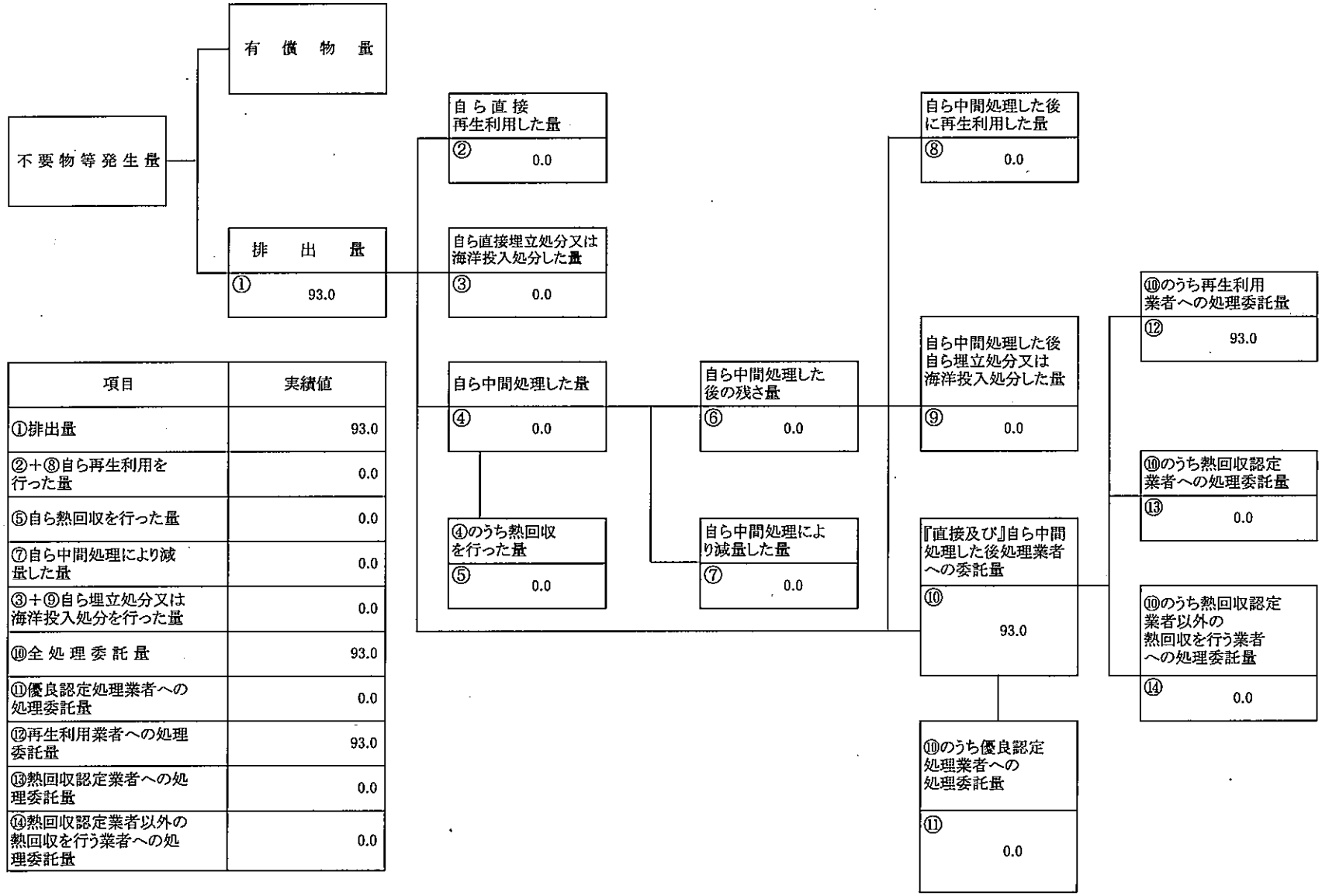


項目	実績値
①排出量	30,165.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	30,165.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3
⑫再生利用業者への処理委託量	30,165.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　泥水　　）

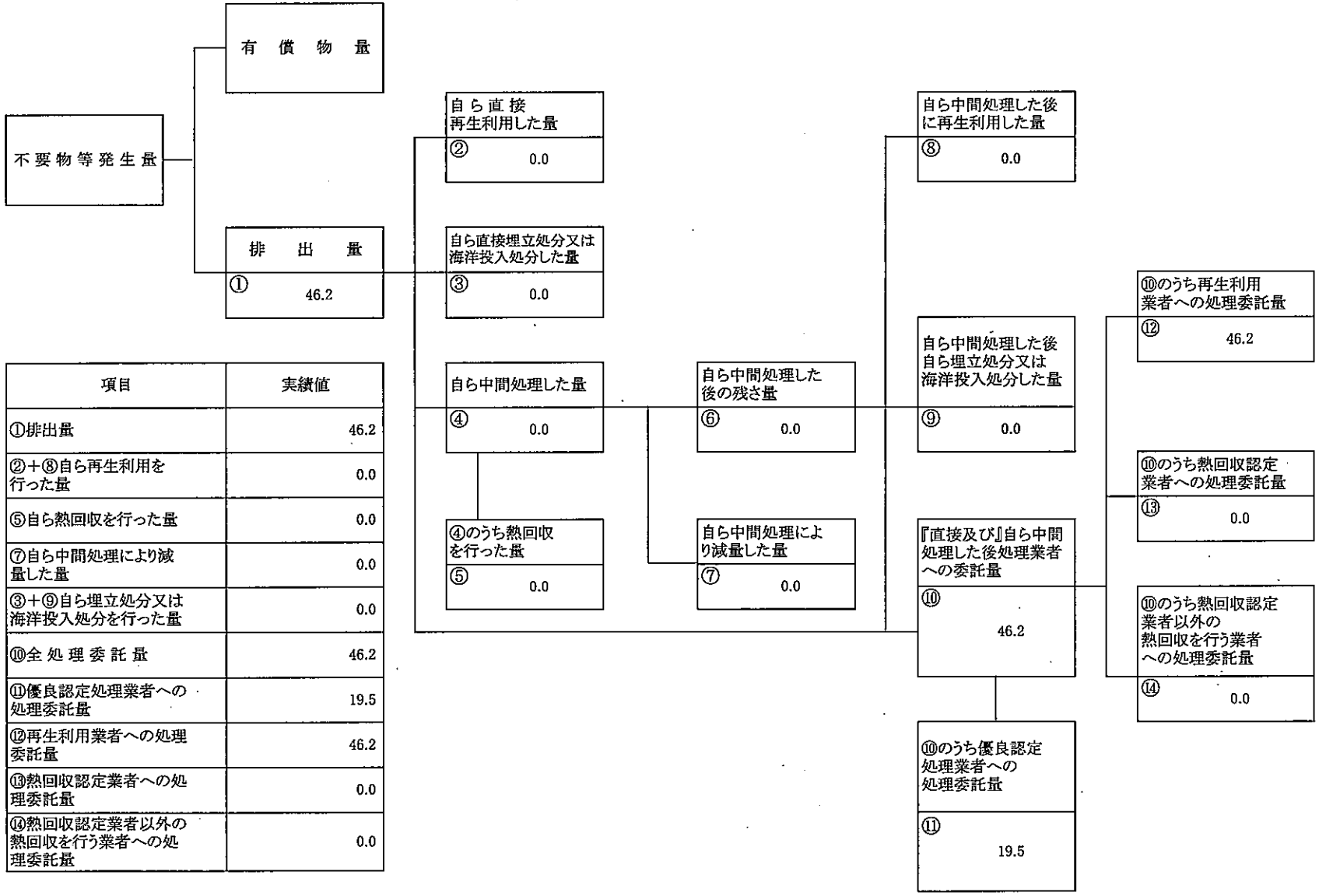


項目	実績値
①排出量	93.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	93.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	93.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

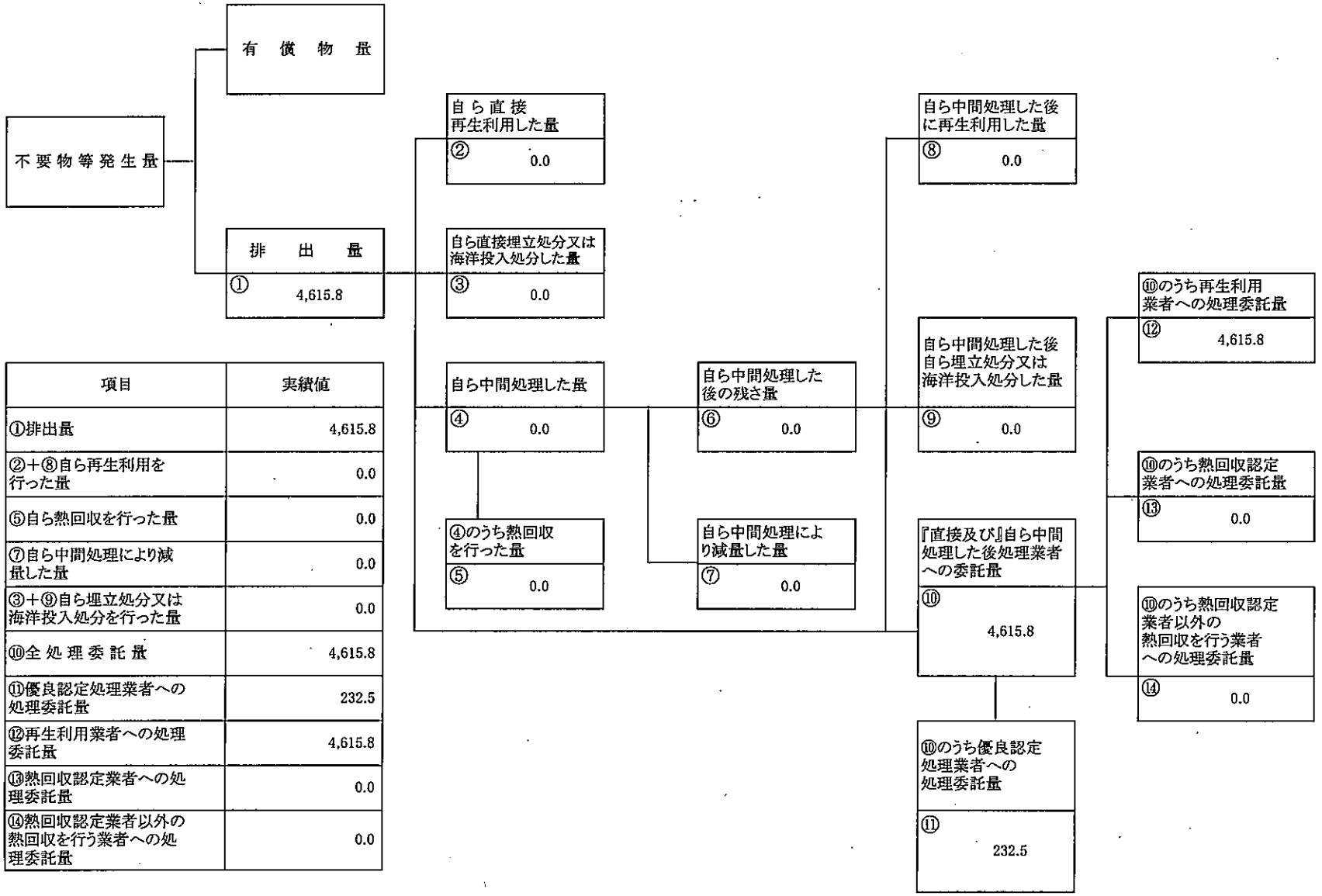


項目	実績値
①排出量	46.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	46.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.5
⑫再生利用業者への処理委託量	46.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　　）

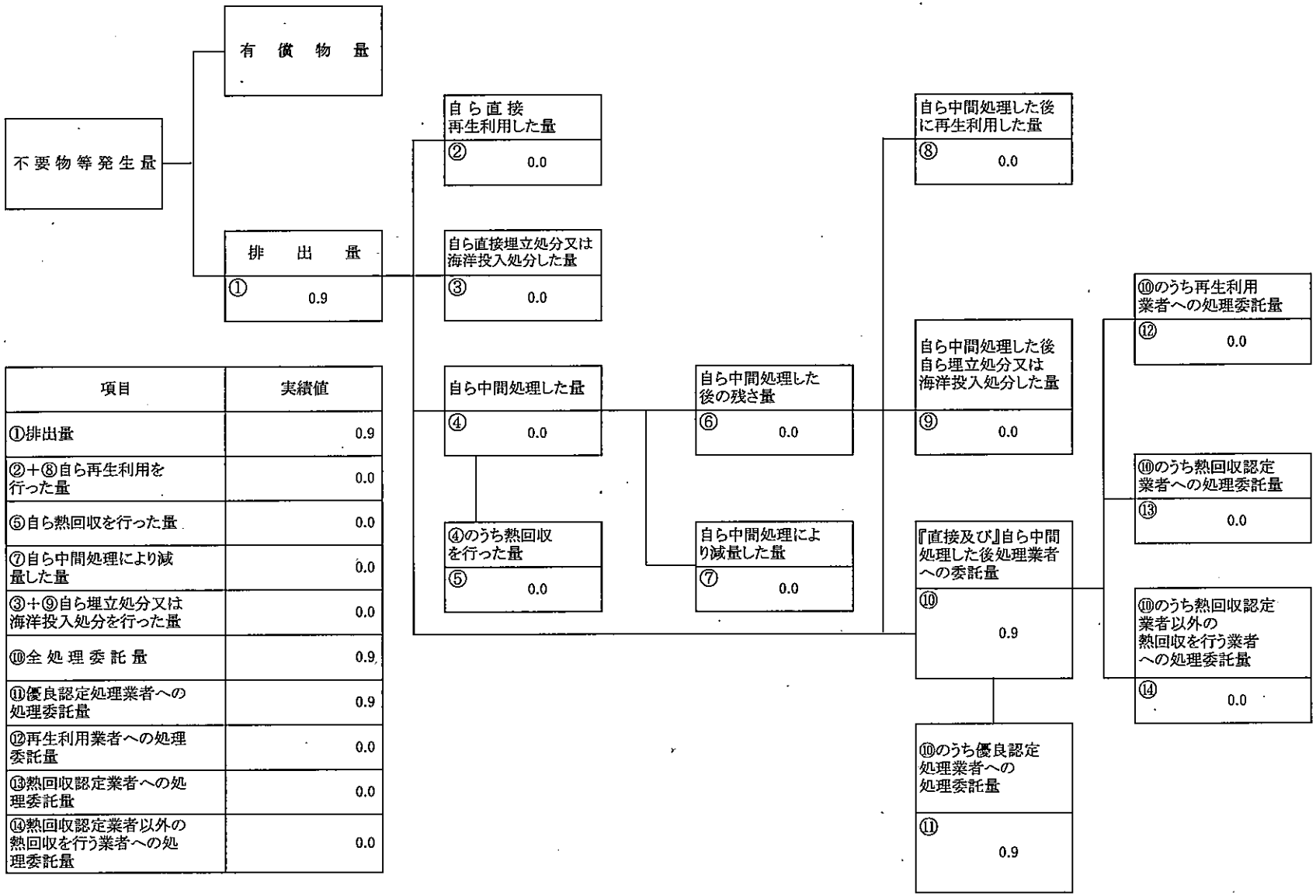


項目	実績値
①排出量	4,615.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	4,615.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	232.5
⑫再生利用業者への処理委託量	4,615.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　繊維くず　　）

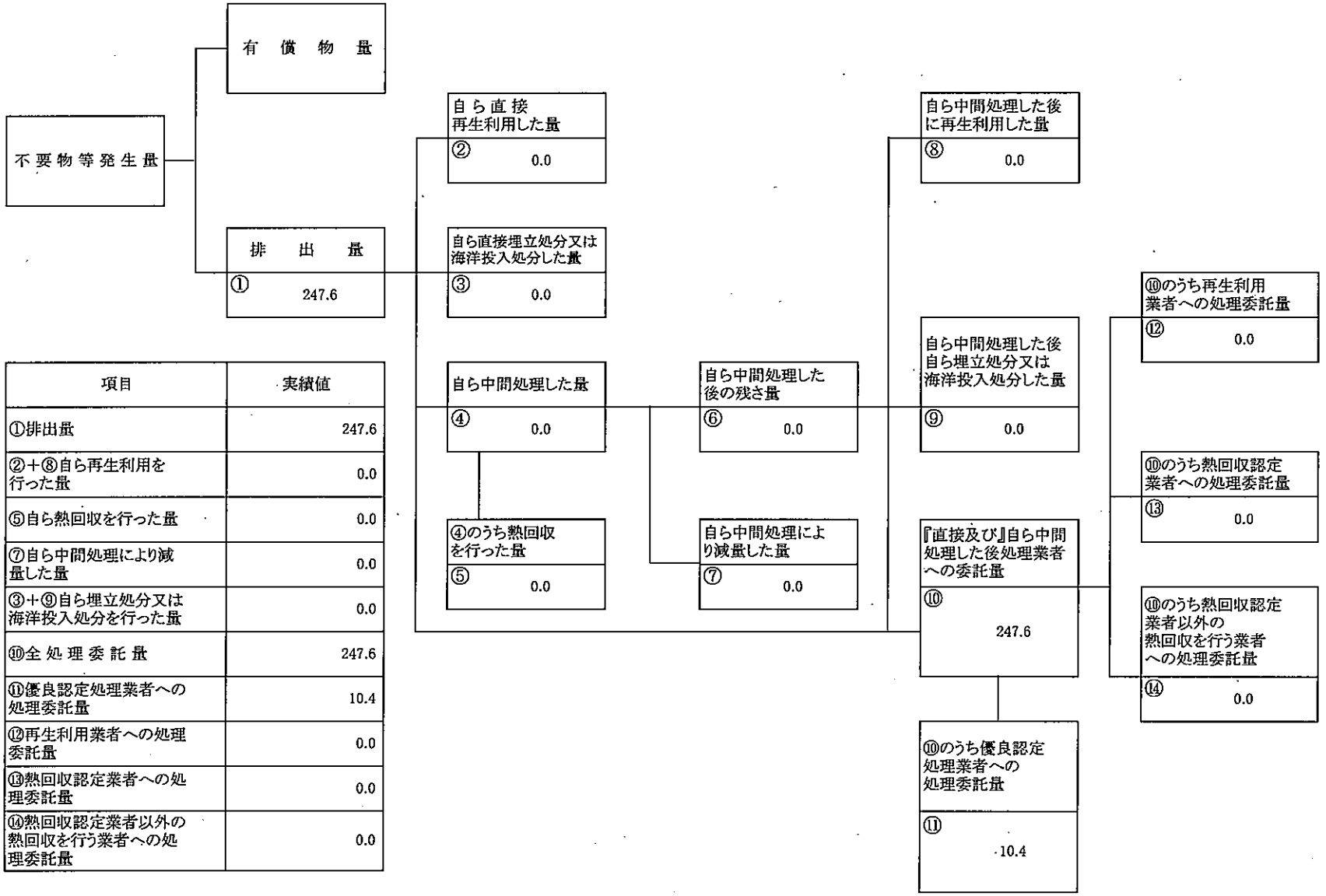


項目	実績値
①排出量	0.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃石膏ボード　　）

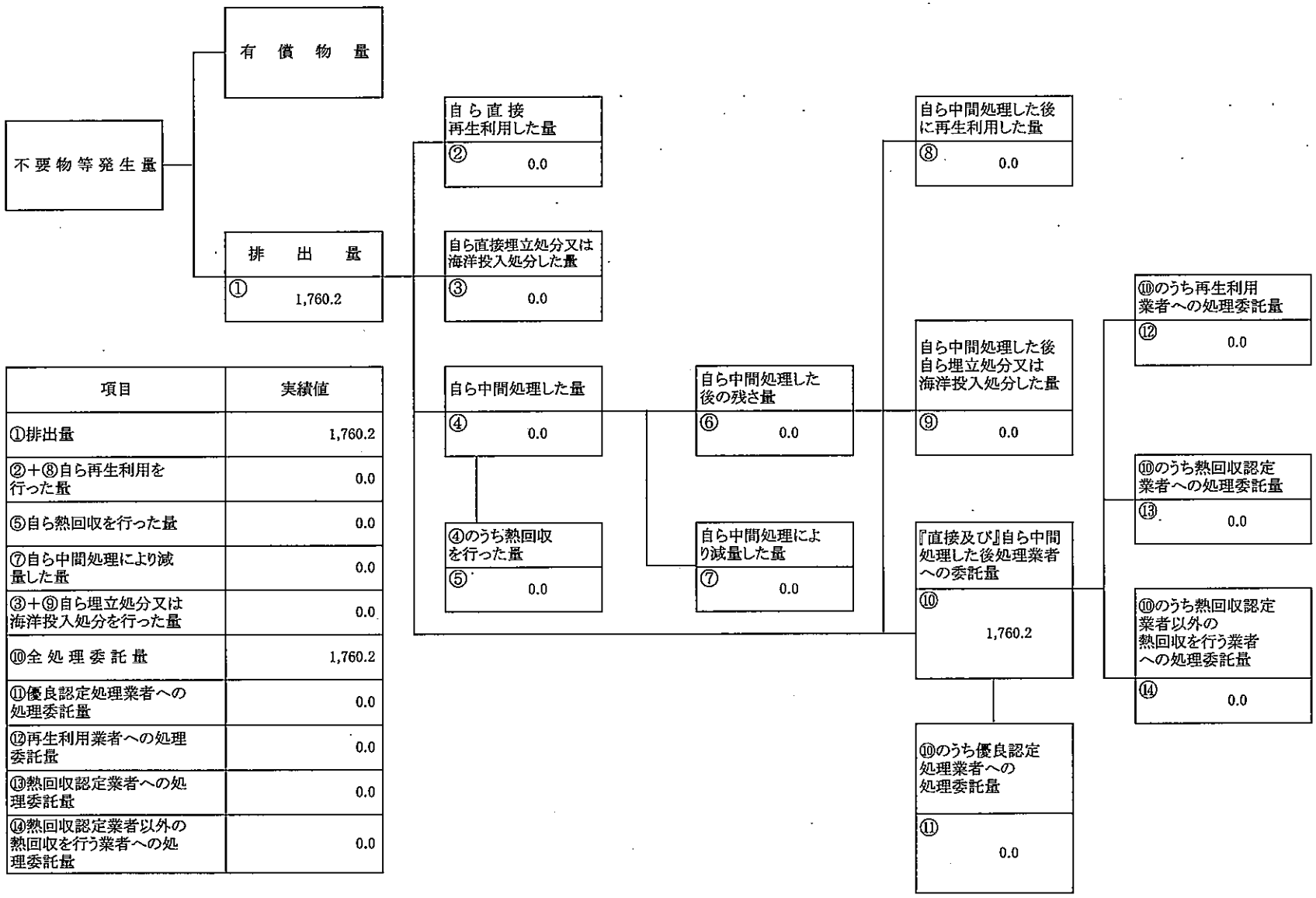


項目	実績値
①排出量	247.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	247.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.4
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　鉱さい　　）

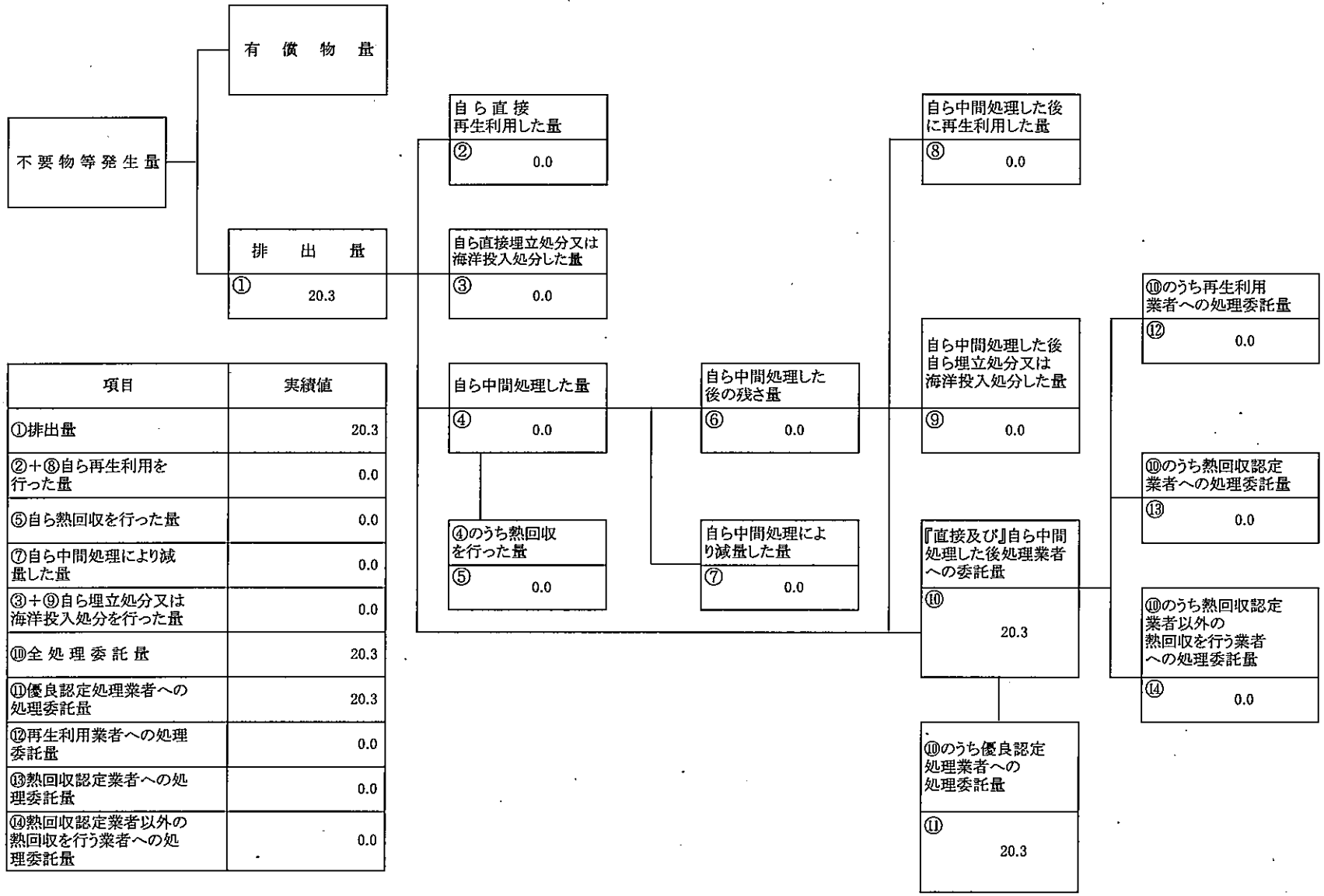


項目	実績値
①排出量	1,760.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1,760.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃油　　）

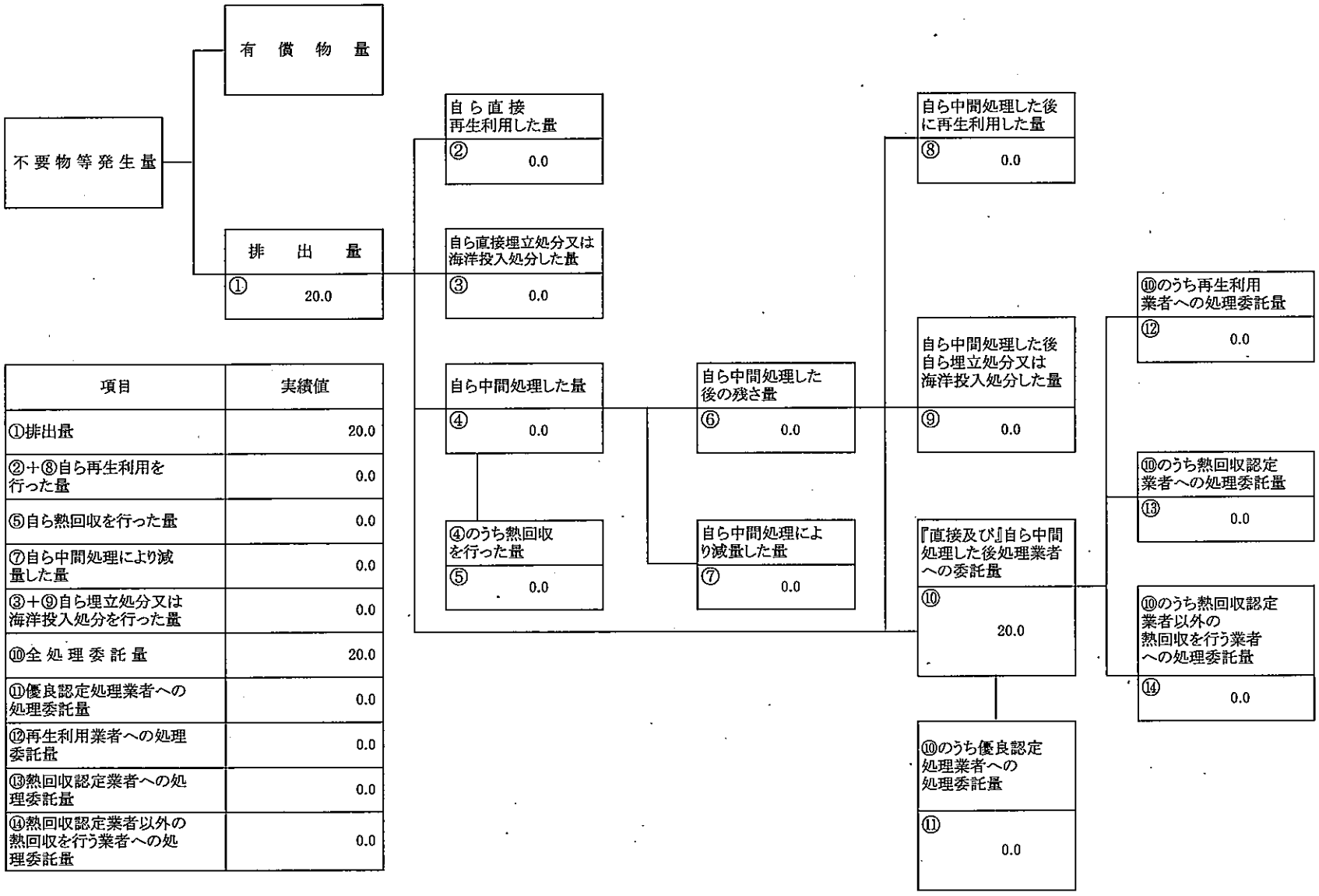


項目	実績値
①排出量	20.3
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	20.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.3
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃酸　　）

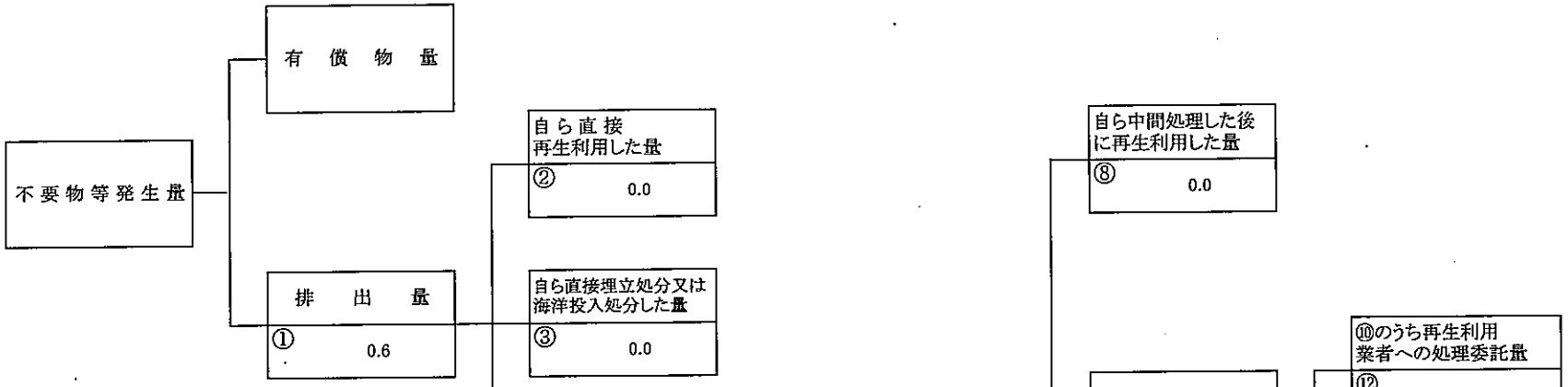


項目	実績値
①排出量	20.0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	20.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　水銀使用産廃(蛍光灯)　）

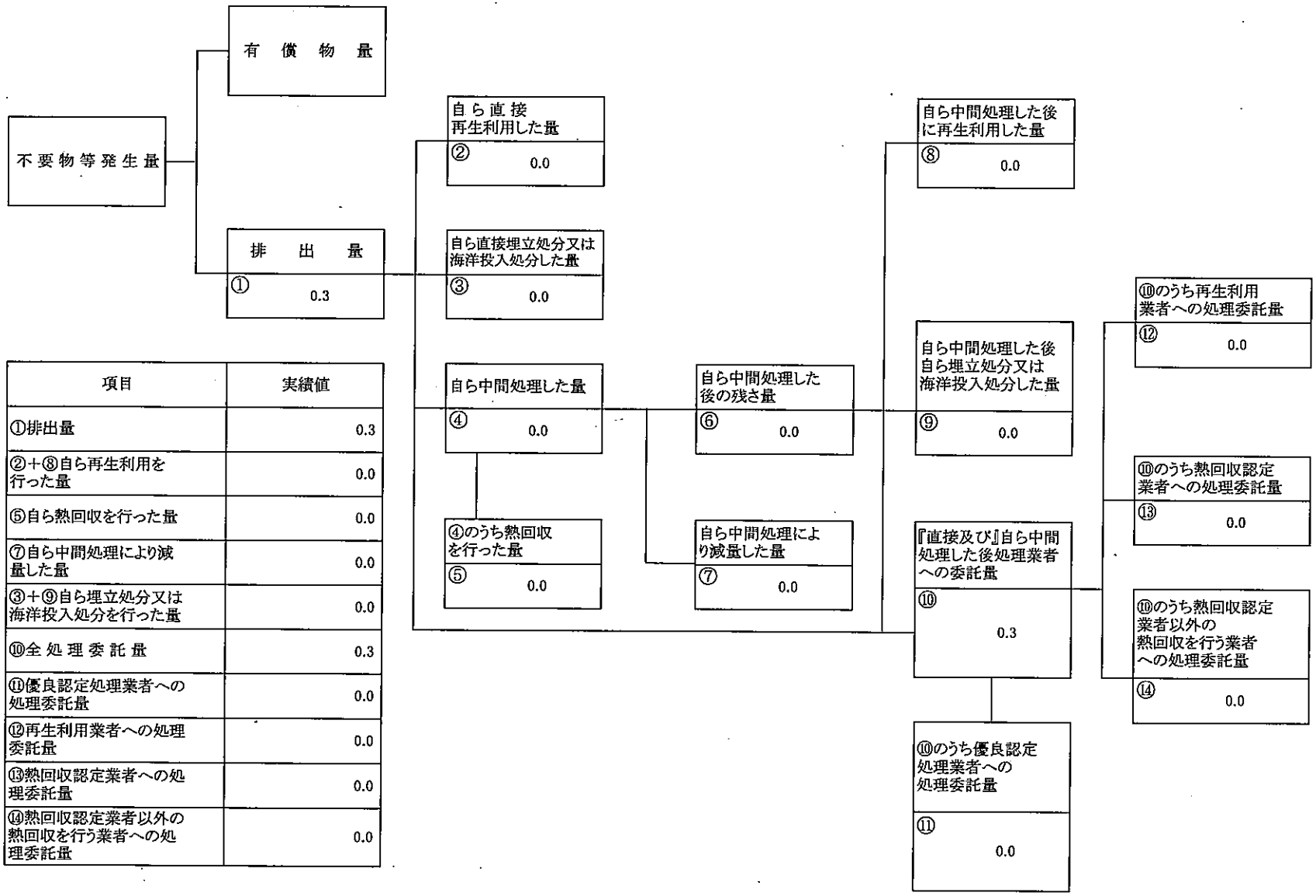


項目	実績値
①排出量	0.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　水銀使用産廃(水銀灯)　　）

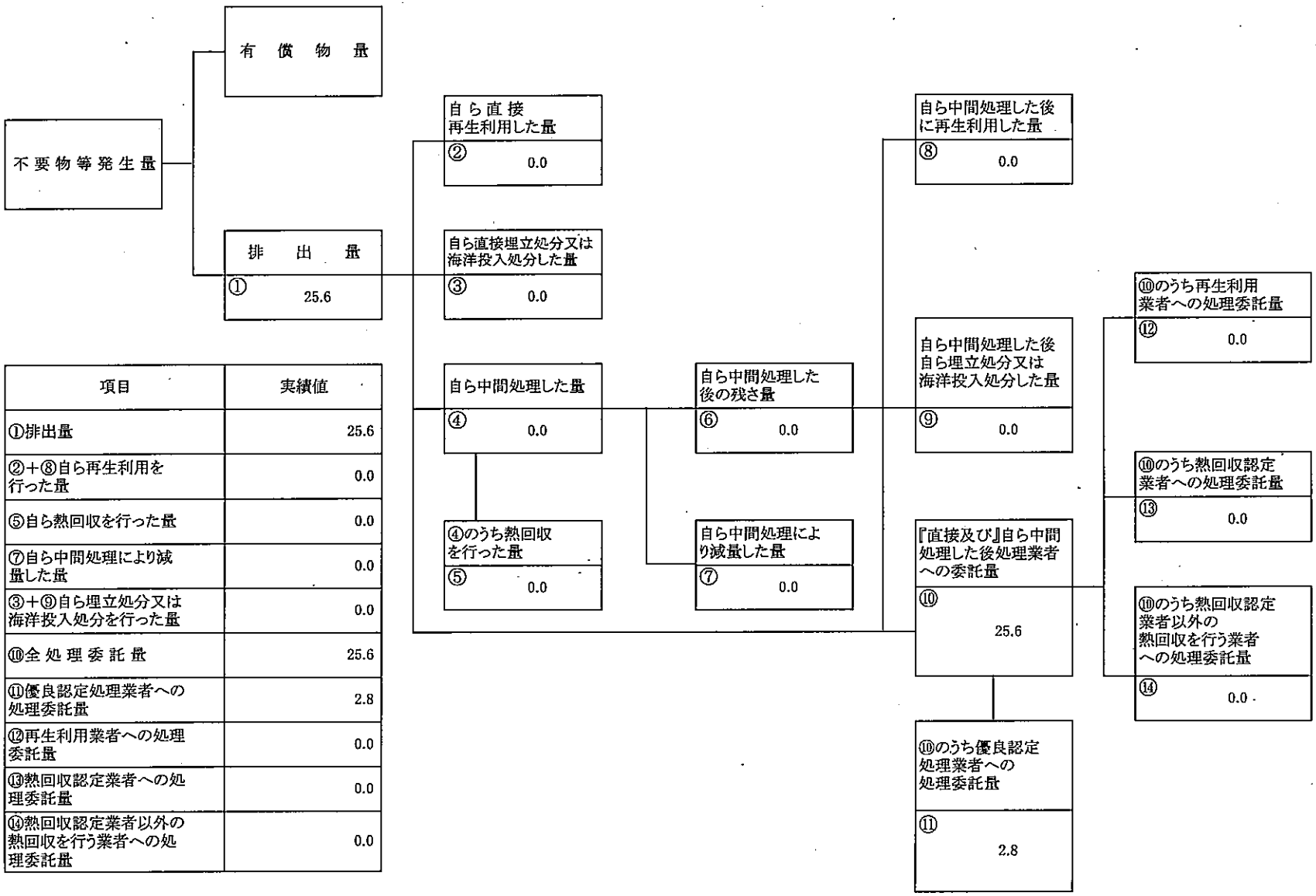


項目	実績値
①排出量	0.3
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　混廃（安定型のみ）　）

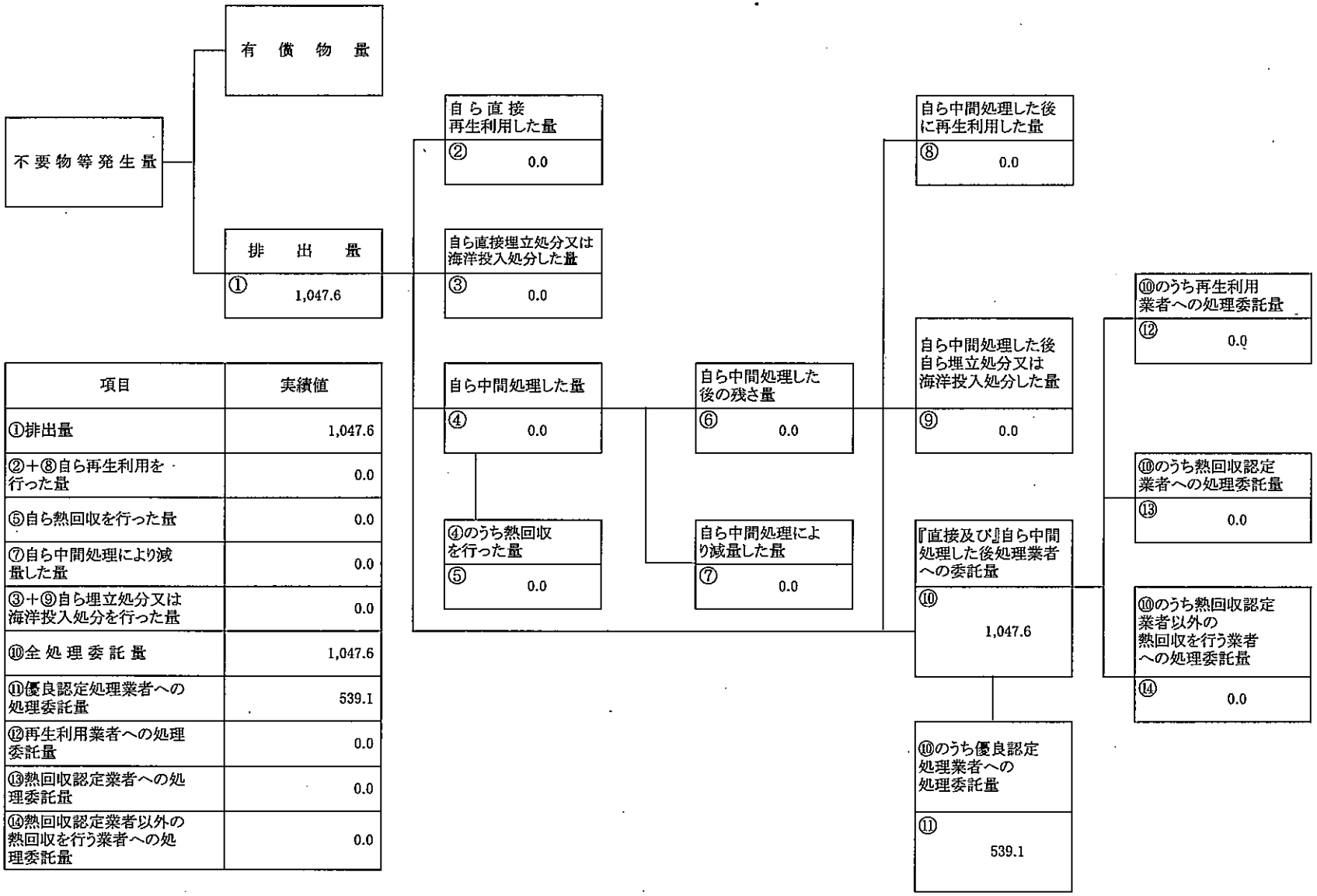


項目	実績値
①排出量	25.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	25.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.8
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　混廃（管理型含む）　）

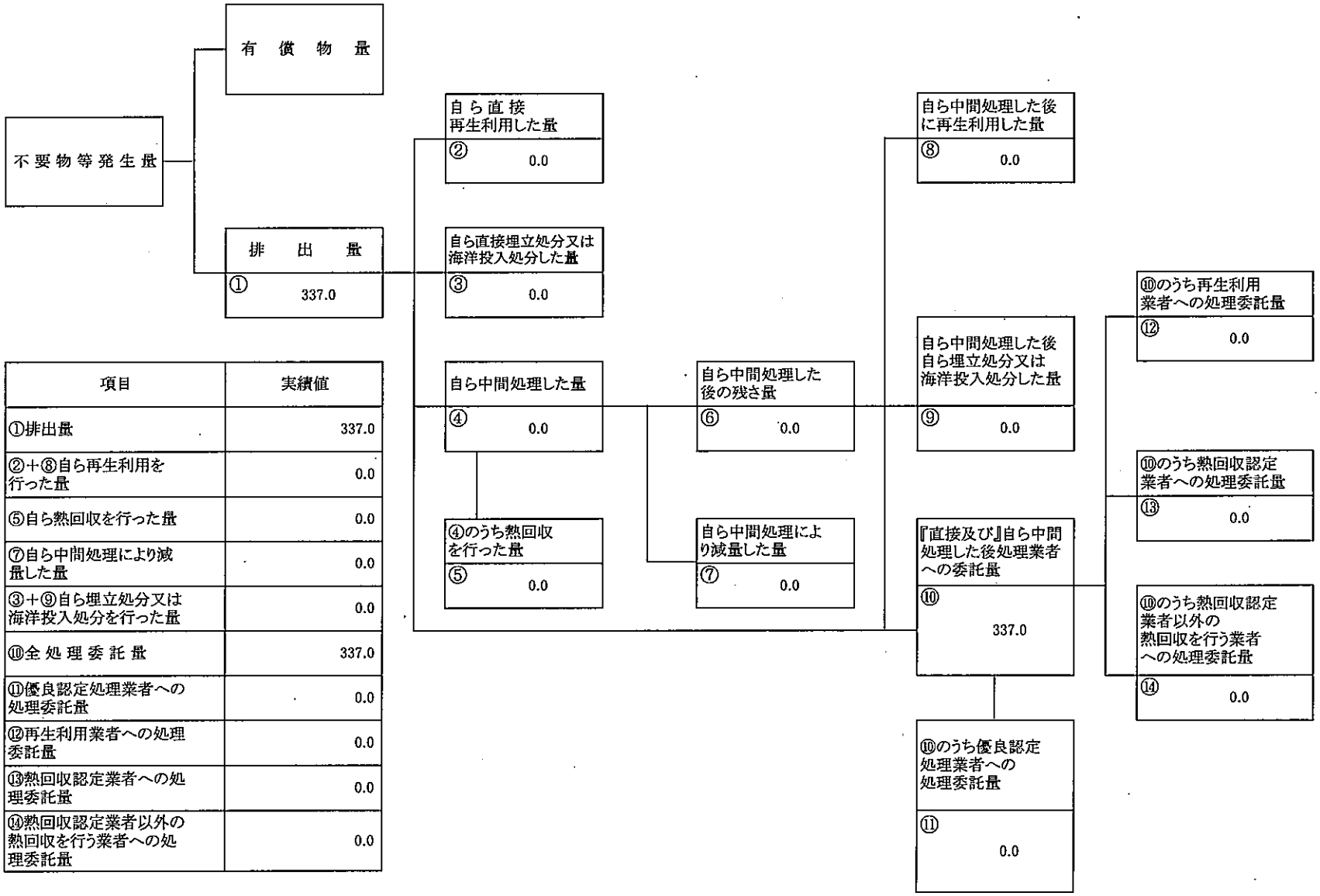


項目	実績値
①排出量	1,047.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1,047.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	539.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有産廃（がれき類）　）

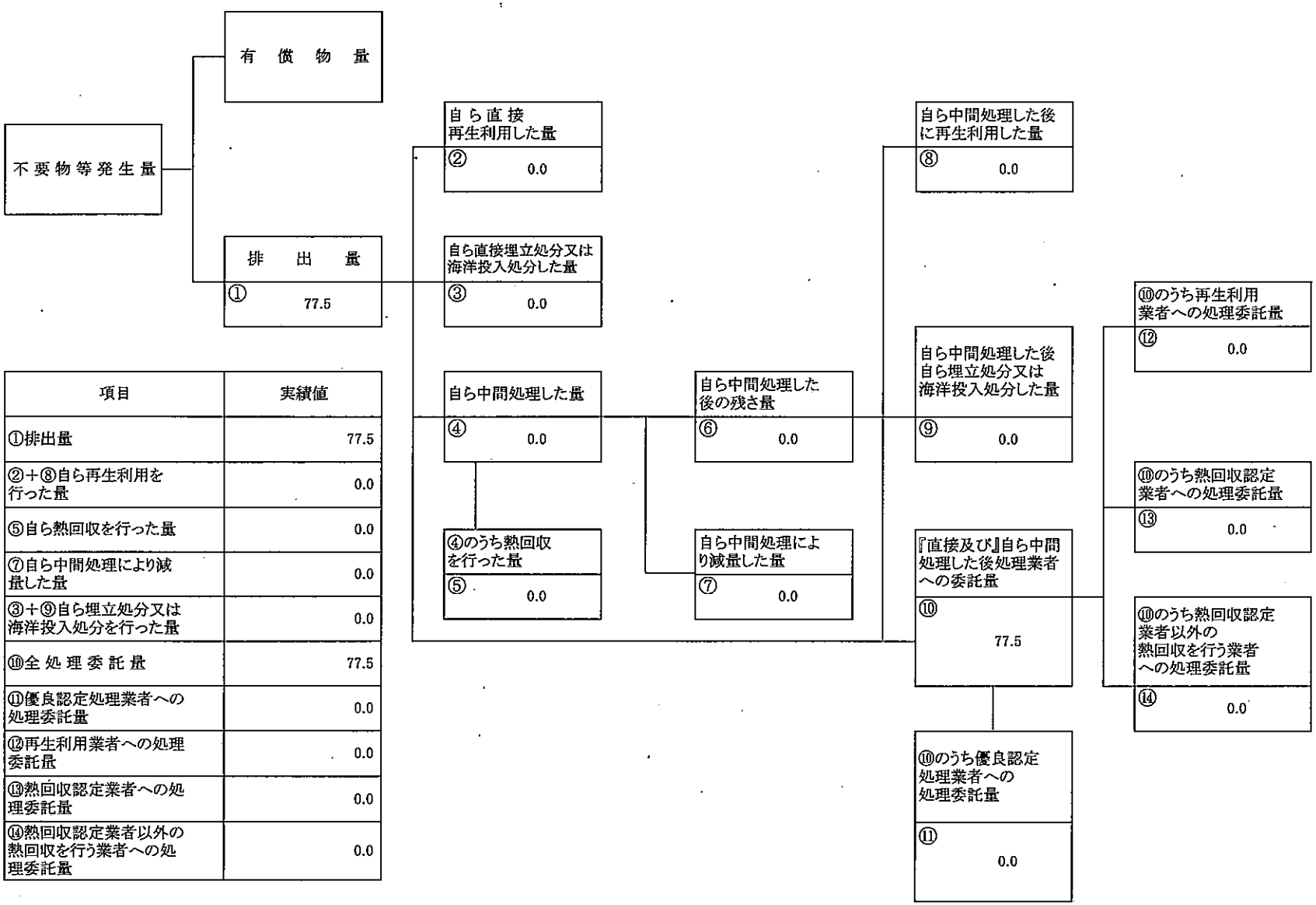


項目	実績値
①排出量	337.0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	337.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有産廃（ガラス陶磁器くず）　）

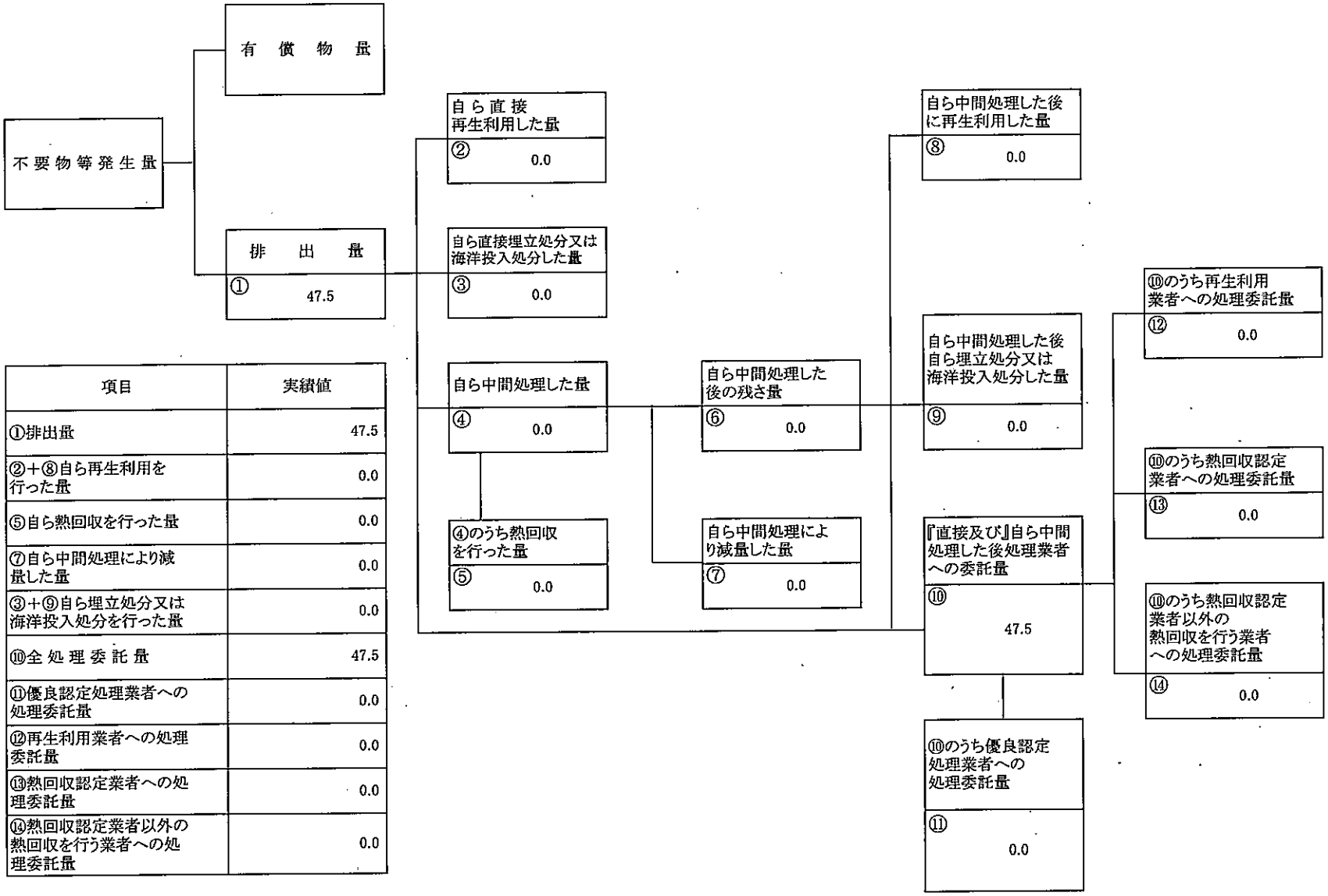


項目	実績値
①排出量	77.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	77.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有産廃（廃プラ）　）



項目	実績値
①排出量	47.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	47.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

熊

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

ず き、(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒163-6007

住　所　東京都新宿区西新宿六丁目８番１号

氏　名　大成建設株式会社 東京支店
専務執行役員 支店長　中村 有孝

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5381-5372

千葉県 -7.6.30 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大成建設株式会社　東京支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿6-8-1(新宿オークタワー)
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	4,896億円
③従業員数	1,883人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙-1の通り」

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

「別紙-2の通り」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	その他がれき類
排出量	480.75 t	16.8 t

（これまでに実施した取組）

「別紙3-3項の通り」

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	その他がれき類
排出量	300 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

「別紙3-3項の継続実施」

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

「別紙3-4項の通り」

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

「別紙3-4項の継続実施」

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	その他がれき類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

「別紙3-5項の通り」

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	その他がれき類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

「別紙3-5項の継続実施」

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	その他がれき類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

同処理は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	その他がれき類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行わない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	その他がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

同処理は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	その他がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行わない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	その他がれき類
全処理委託量	480.75 t	16.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	480.75 t	16.8 t
再生利用業者への処理委託量	480.75 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

「別紙3-6項の通り」

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら		その他がれき類	
全処理委託量	300	t	0	t
優良認定処理業者への処理委託量	300	t	0	t
再生利用業者への処理委託量	300	t	0	t
認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0	t

（今後実施する予定の取組）

「別紙3-6項の継続実施」

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	スくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
		排　出　量	11 t	921.78 t	110.4 t	46.5 t	7.05 t	68.85 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	スくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
		排　出　量	0 t	0 t	70 t	20 t	0 t	10 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	スくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	スくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	スくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	スくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

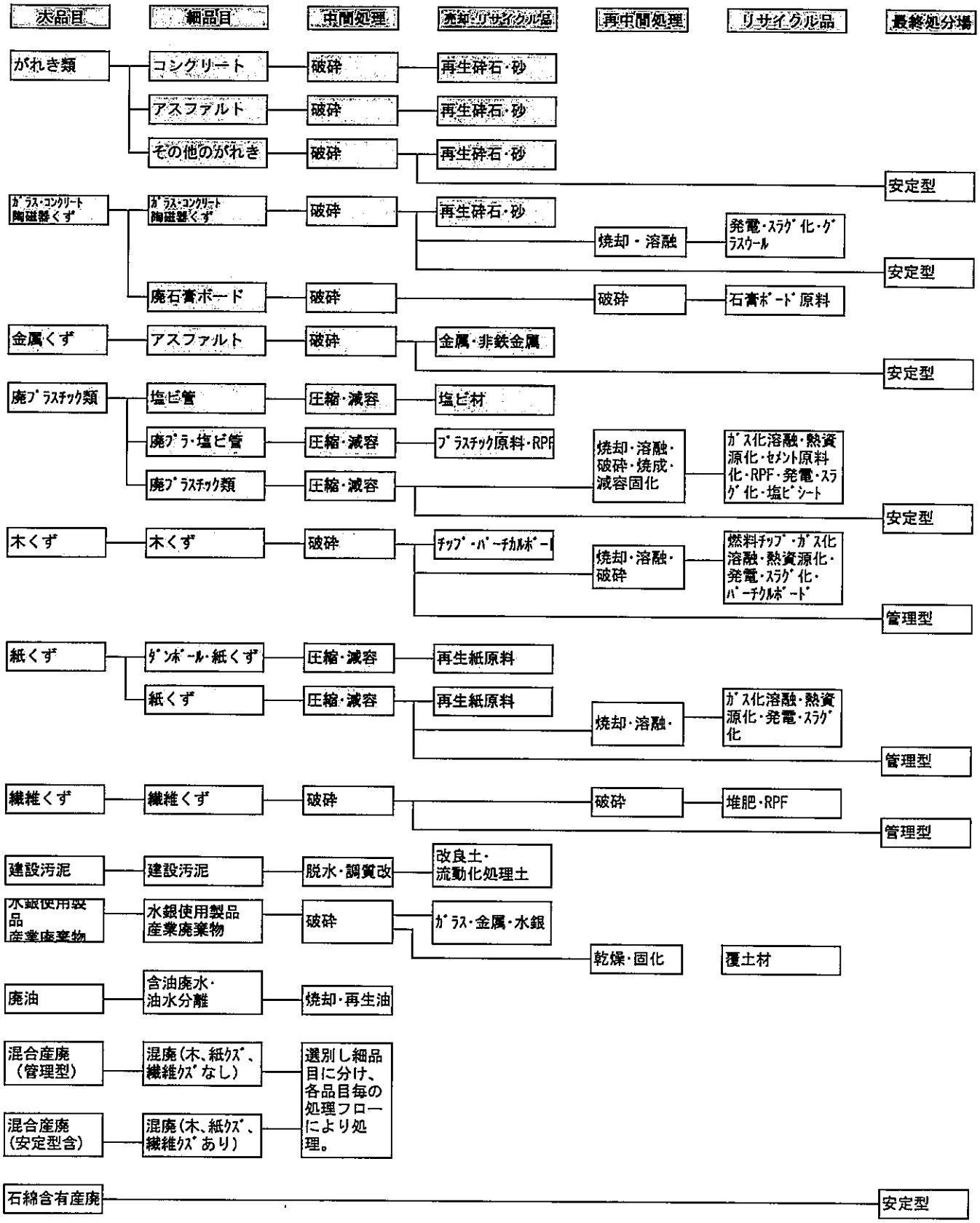
【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
①現状	全処理委託量	11 t	921.78 t	110.4 t	46.5 t	7.05 t	68.85 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	11 t	921.78 t	110.4 t	46.5 t	7.05 t	68.85 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	110.4 t	46.5 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず及び陶磁器	汚泥	木くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物		
②計画	全処理委託量	0 t	0 t	70 t	20 t	0 t	10 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	70 t	20 t	0 t	10 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	70 t	20 t	0 t	10 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

別紙-1


大品目
細品目
中間処理
売却・リサイクル品
再中間処理
リサイクル品
最終処分場
がれき類
コンクリート
破砕
再生砕石・砂
アスファルト
破砕
再生砕石・砂
その他のがれき
破砕
再生砕石・砂
安定型
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
破砕
再生砕石・砂
焼却・溶融
発電・ｽﾗｸﾞ化・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ
安定型
廃石膏ボード
破砕
破砕
石膏ﾎﾞｰﾄﾞ原料
金属くず
アスファルト
破砕
金属・非鉄金属
安定型
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
塩ビ管
圧縮・減容
塩ビ材
廃ﾌﾟﾗ・塩ビ管
圧縮・減容
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ原料・RPF
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
圧縮・減容
焼却・溶融・破砕・焼成・減容固化
ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・ｾﾒﾝﾄ原料化・RPF・発電・ｽﾗｸﾞ化・塩ﾋﾞｼｰﾄ
安定型
木くず
木くず
破砕
ﾁｯﾌﾟ・ﾊﾞｰﾁｶﾙﾎﾞｰ
焼却・溶融・破砕
燃料ﾁｯﾌﾟ・ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化・ﾊﾞｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄ
管理型
紙くず
ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ・紙くず
圧縮・減容
再生紙原料
紙くず
圧縮・減容
再生紙原料
焼却・溶融・
ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化
管理型
繊維くず
繊維くず
破砕
破砕
堆肥・RPF
管理型
建設汚泥
建設汚泥
脱水・調質改
改良土・流動化処理土
水銀使用製品産業廃棄物
水銀使用製品産業廃棄物
破砕
ｶﾞﾗｽ・金属・水銀
乾燥・固化
覆土材
廃油
含油廃水・油水分離
焼却・再生油
混合産廃（管理型）
混廃（木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞなし）
選別し細品目に分け、各品目毎の処理フローにより処理。
混合産廃（安定型含）
混廃（木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞあり）
石綿含有産廃
安定型

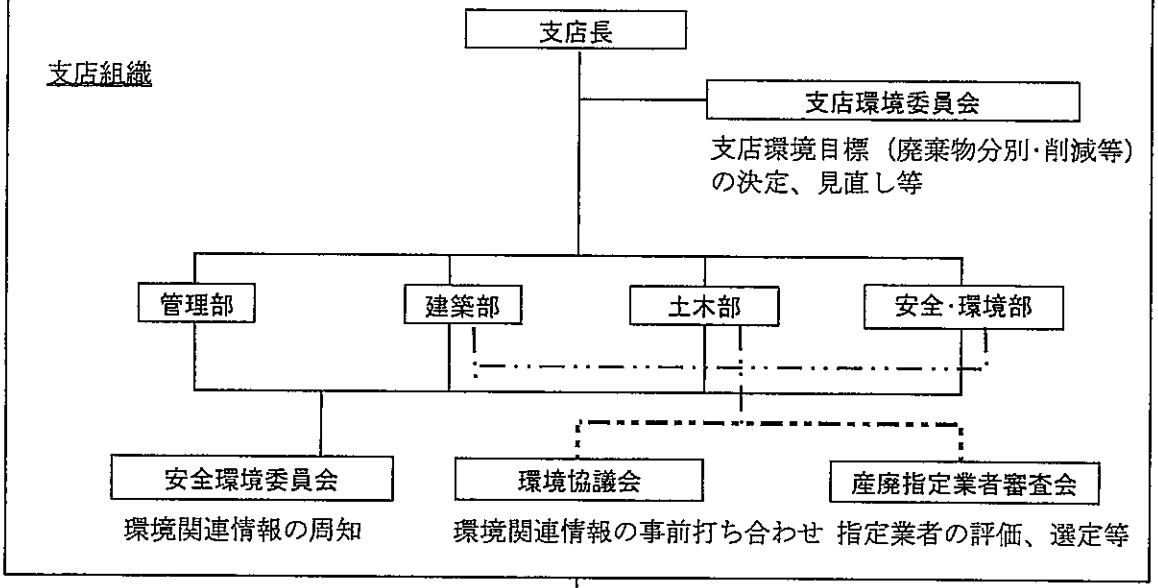
別紙-２

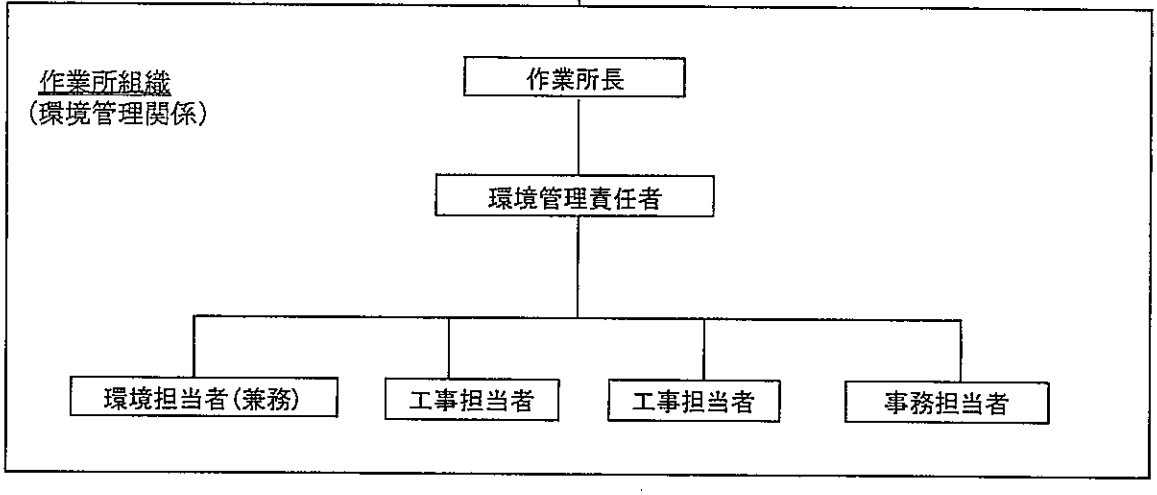
管理体制図

当事業における責任及び管理組織図

統括責任者		東京支店長
	担当部署（指導）	安全･環境部　安全･環境管理室
		建築部　安全･環境推進室
		土木部　安全･環境推進室
作業所	責任者	（建築、土木）作業所長
	担当者	作業所長が指名

管理組織





別紙-３

取組みの現状(継続しての実施事項)

1. 管理体制等の強化

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行なっている。

１）建設廃棄物の分別･リサイクル等に関する環境目標の設定
２）産業廃棄物の処理に関する手順の策定
３）作業所毎の法規制等チェックシートによる関係法令の遵守
４）計画的な内部環境監査及び環境パトロールの実施
５）外部環境監査による指摘と是正（再発防止含む）
６）年度ごとの見直しを行い、継続的な改善を図る
７）ゼロエミッション重点実施作業所の継続した設置と推進
８）環境負荷低減活動(TAISEI Sustainable Action)による環境配慮型社会の展開
９）協力会で行なう環境パトロールによる指摘業者への指導
10）職長会による分別指導

2. 教育

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行なっている。

１）社員教育
①環境問題の概要
②環境方針、ＥＭＳを遵守することの重要性
③各業務が実際に又は、潜在的に持つ著しい環境への影響、環境管理改善の便益
④環境方針､環境目標､ＥＭＳ活動の目的・目標を達成するための役割と責任
⑤規定された環境に関する標準、要領・手順を逸脱した場合に予想される結果
⑥廃掃法はじめ、関連法改正を含めた最新環境情報の伝達
※全従業員を対象に定期的に集合教育（O.J.T）を行う。受講できなかった者に対しては内勤者は室長、作業所は作業所長がO.J.Tを実施する。

２）専門工事業者教育
①作業所毎、新規入場者教育時に作業所環境目標、実施手順に係る教育を実施。
②作業所へ作業員を送出す際に当社作成の環境教育資料を基に環境教育を実施。
③各種大会、講習会時に３Ｒ活動を含めた環境教育を実施。
④協力会組織の環境委員会活動により専門工事業者会員の環境意識の向上を図る。

3. 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

施工計画時において下記事項を検討し、実施可能な項目を採用している。

・建設資材のプレキャスト化等による廃材発生の削減
・搬入資機材の梱包材の削減
・工法変更による廃材の抑制
・資材の転用　その他

4. 産業廃棄物の分別に関する事項

・当社の副産物処理要領書に則り、作業所において分別計画を立て実施する。
・計画の策定に当っては、地域の産業廃棄物中間処理施設、リサイクル施設等の分別品目の受入れ条件を十分考慮する。

5. 産業廃棄物の再生利用に関する事項

・建設リサイクル法等関係法令を遵守し、作業所毎に再生資源利用(促進)計画を策定し、実施の記録を保管する。
・グリーン購入標準、グリーン調達ガイドラインに基づく環境配慮品の採用。

6. 産業廃棄物の処理に関する事項

・廃掃法及び当社の副産物処理要領書に則り、保管基準、処理基準、委託基準を遵守する。特に注力する事項を下記に示す。

1）当社書式による委託契約書の作成・保管。
2）紙マニフェストの交付及び照合・保管。
紙マニフェストは、建設六団体副産物対策協議会発行のものを使用する。
3）電子マニフェスト化を積極的に展開し普及率を把握（毎月）し向上を図る。
4）支店、本社における作業所の廃棄物処理状況の把握。
作業所は「環境データ管理システム（E-DAM)」によりその都度入力する。
支店、本社は本社サーバーに集積された各作業所からのデータ（E-DAM)を閲覧し、指導する。
5）指定業者制度(混合廃棄、建設汚泥）を採用し、支店担当者がチェックシートにより毎年指定業者処理場を評価し、審査会に諮り審議することよりリスクの軽減を図っている。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒163-6007
住 所　東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
氏 名　大成建設株式会社 東京支店
専務執行役員 支店長 中村 有孝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5381-5372

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大成建設株式会社 東京支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿6-8-1(新宿オークタワー)
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

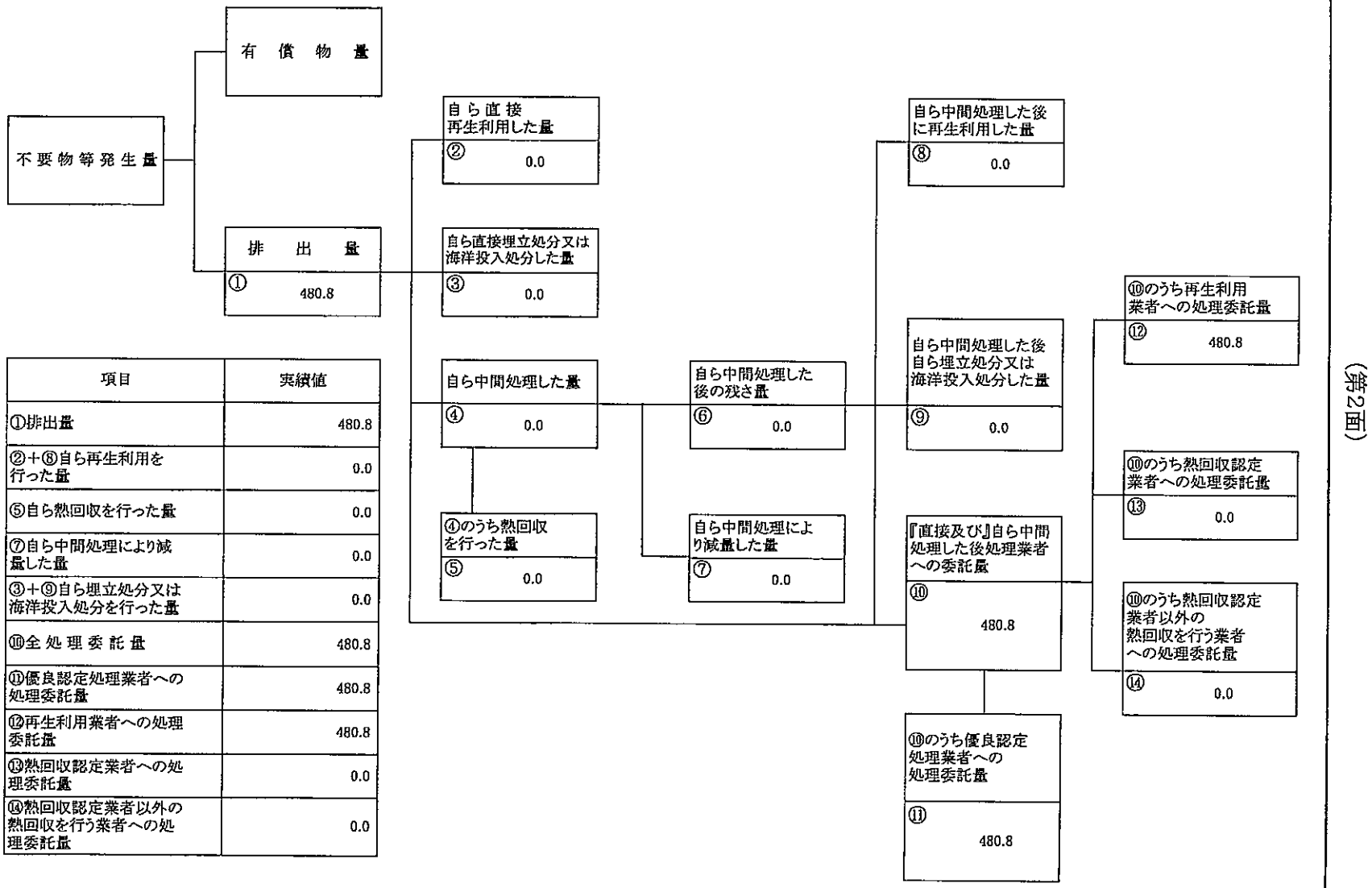
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1700.0 t	全処理委託量	1700.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1523.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1443.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリートがら　　）

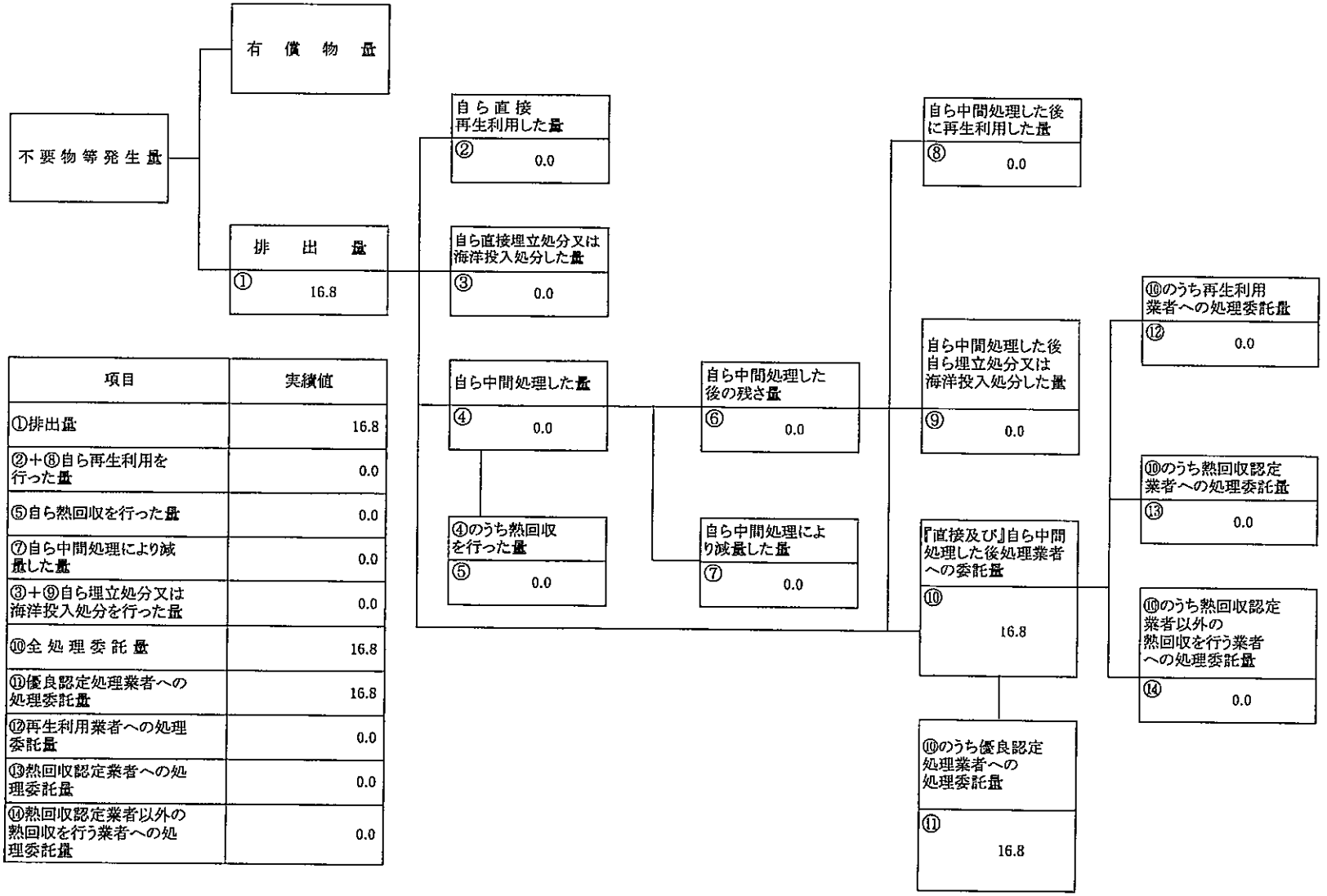


項目	実績値
①排出量	480.8
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	480.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	480.8
⑫再生利用業者への処理委託量	480.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　その他がれき類　　）

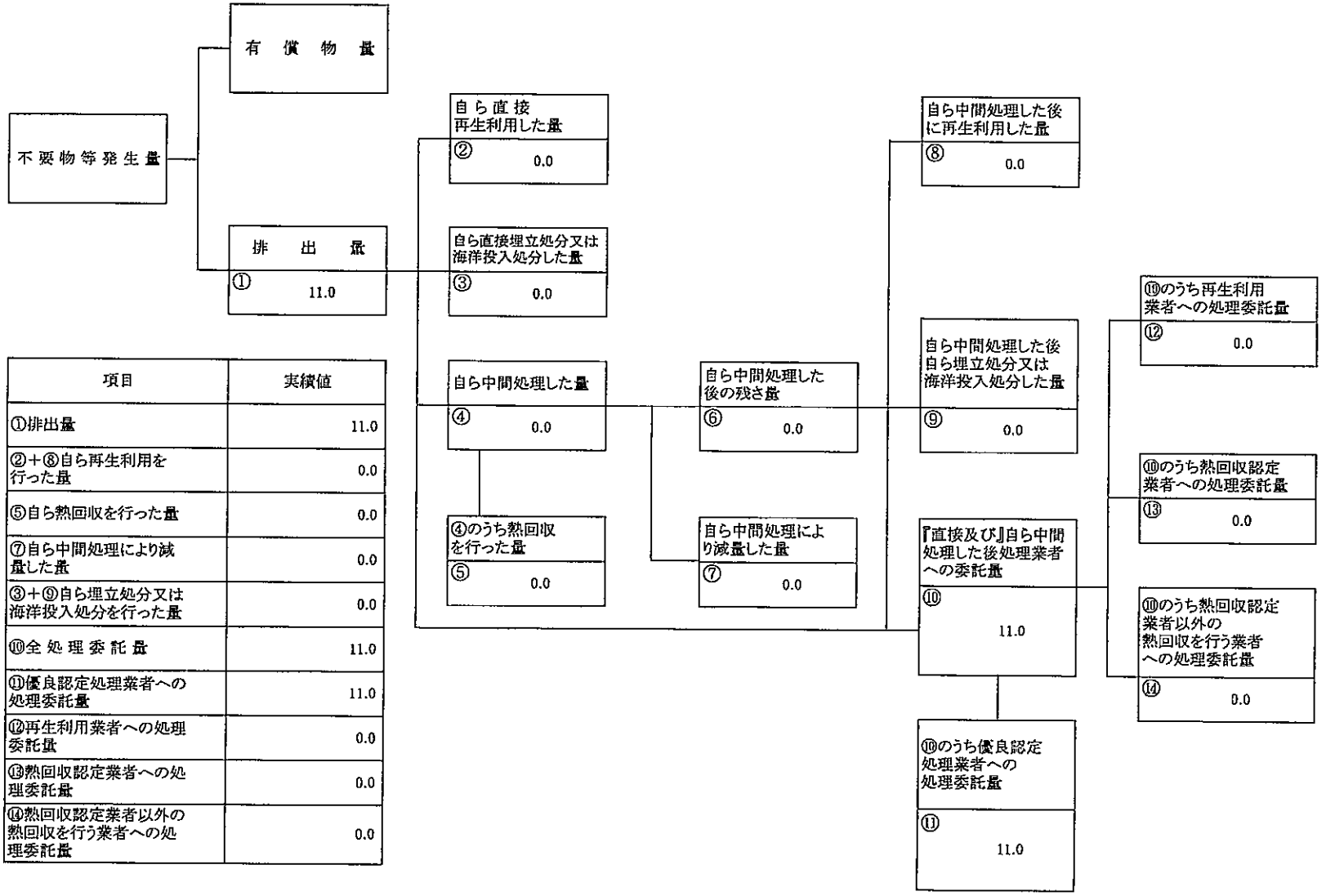


項目	実績値
①排出量	16.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	16.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.8
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック類　）

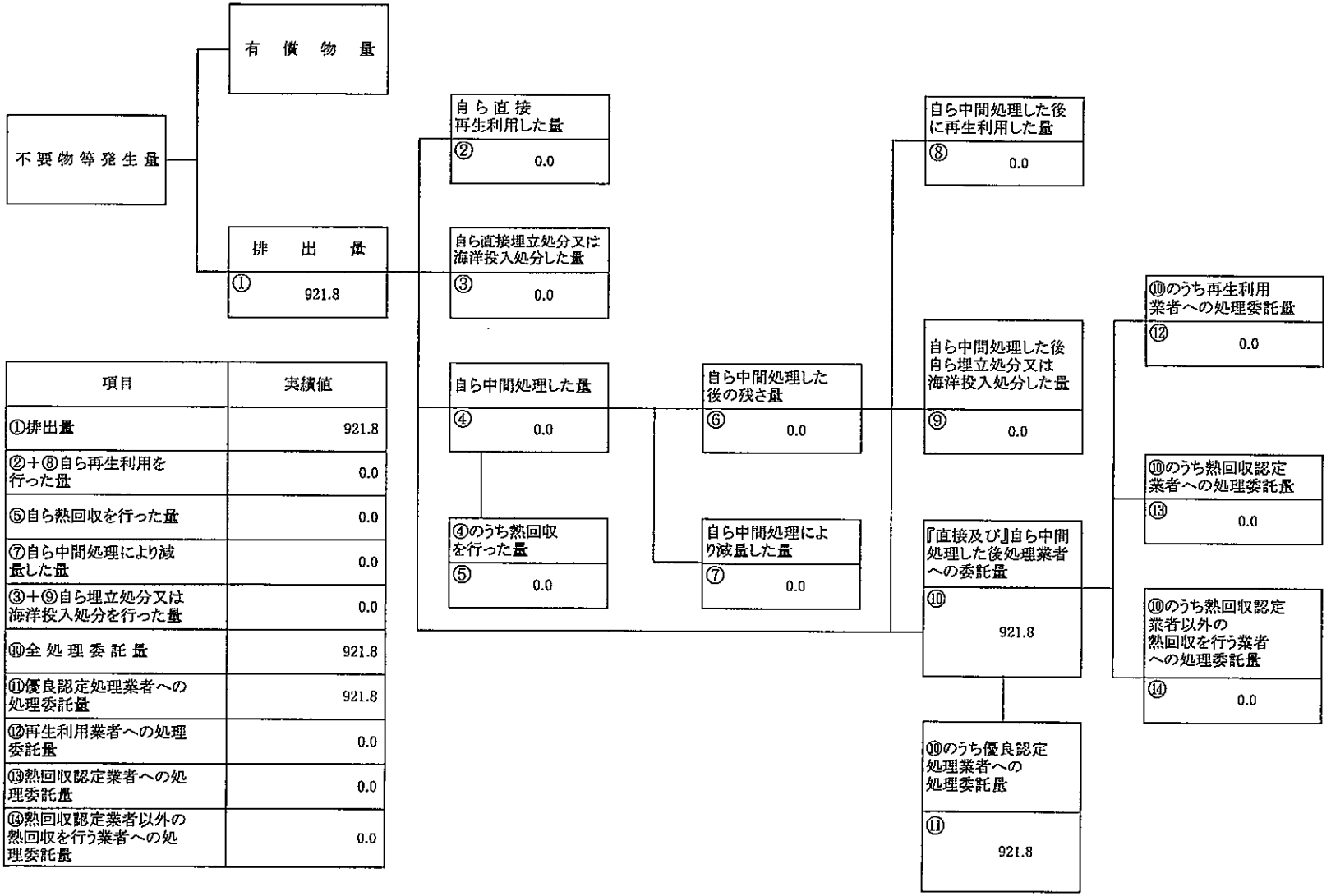


項目	実績値
①排出量	11.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	11.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラスくず及び陶磁器くず　　）

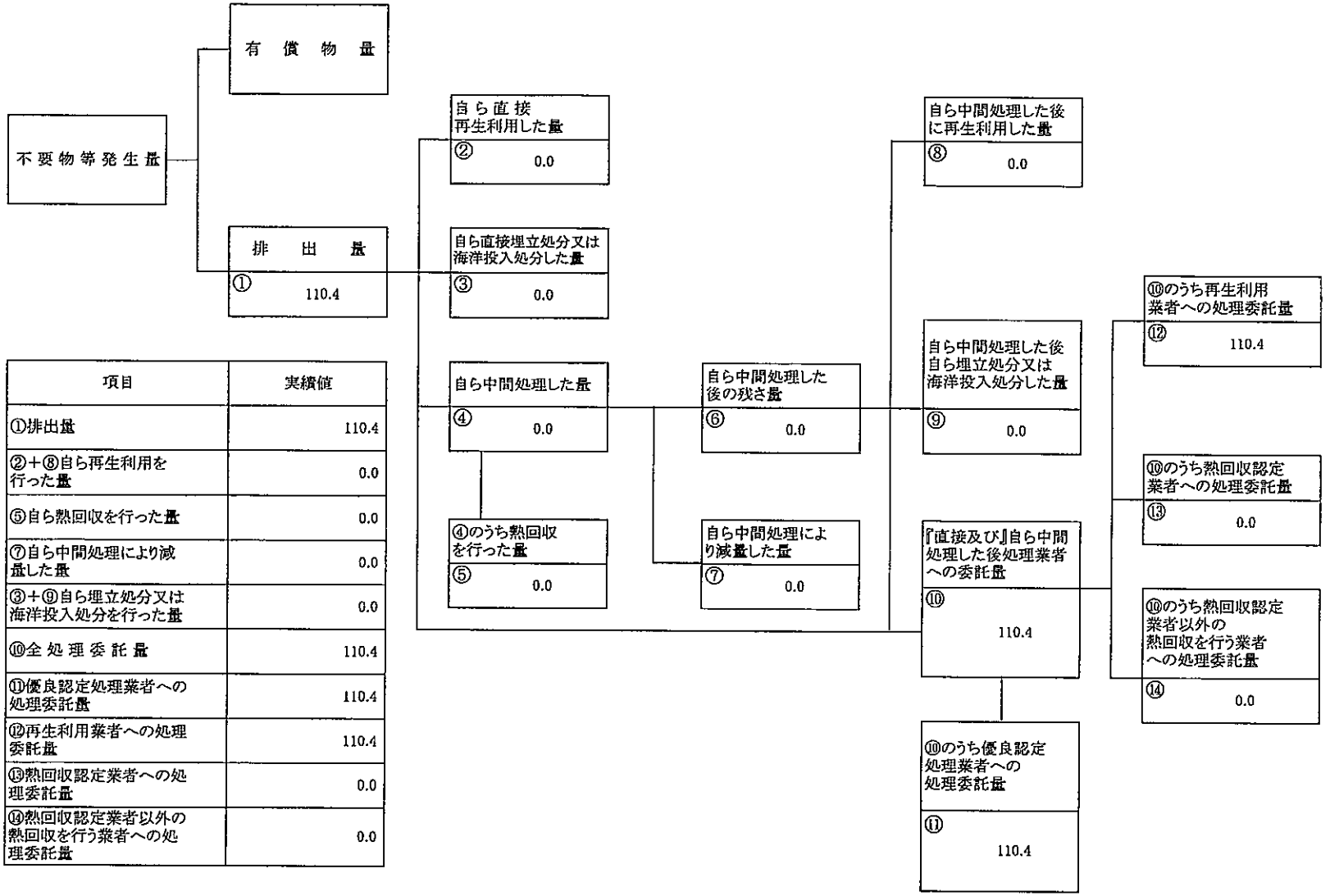


項目	実績値
①排出量	921.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	921.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	921.8
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　　）

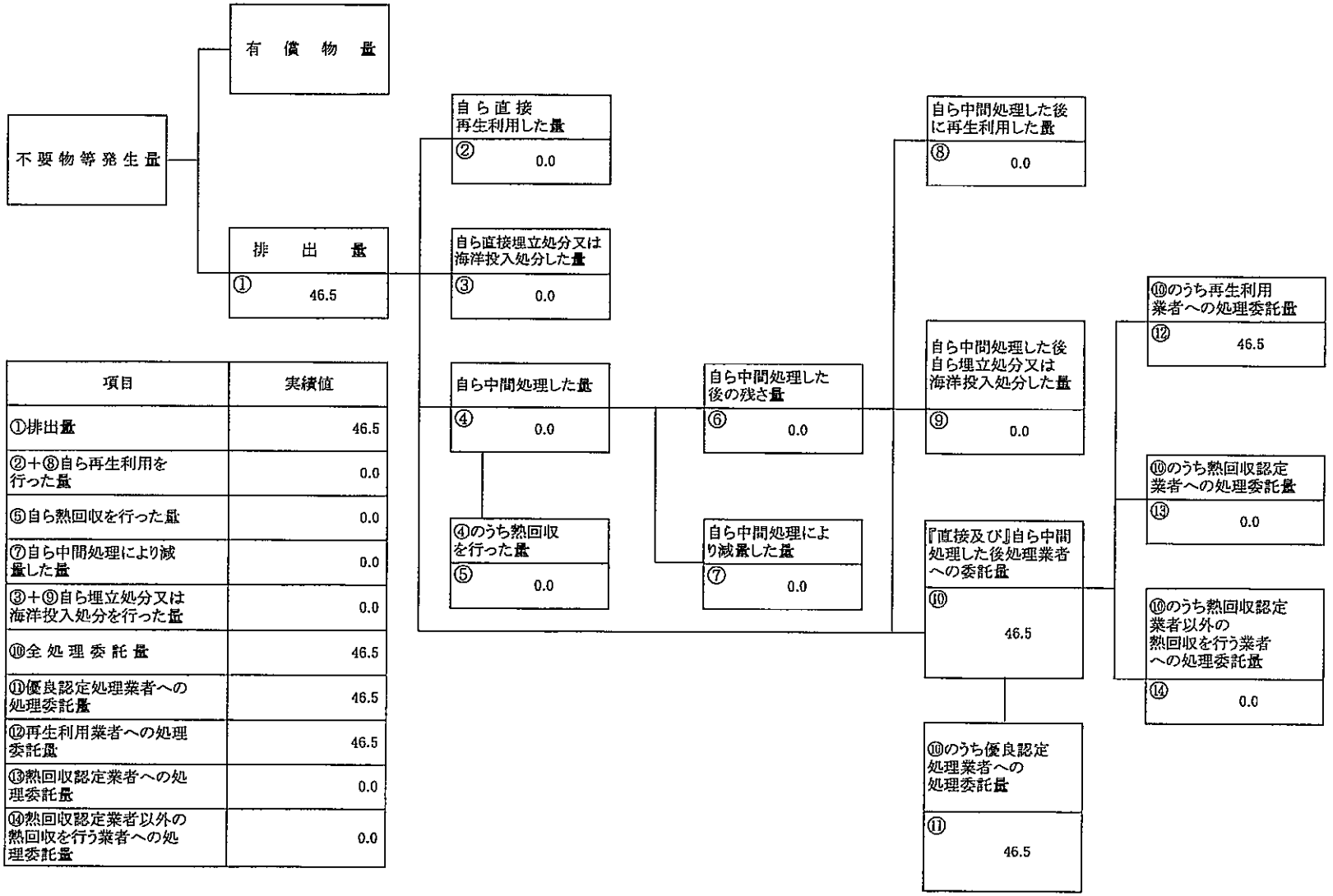


項目	実績値
①排出量	110.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	110.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	110.4
⑫再生利用業者への処理委託量	110.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

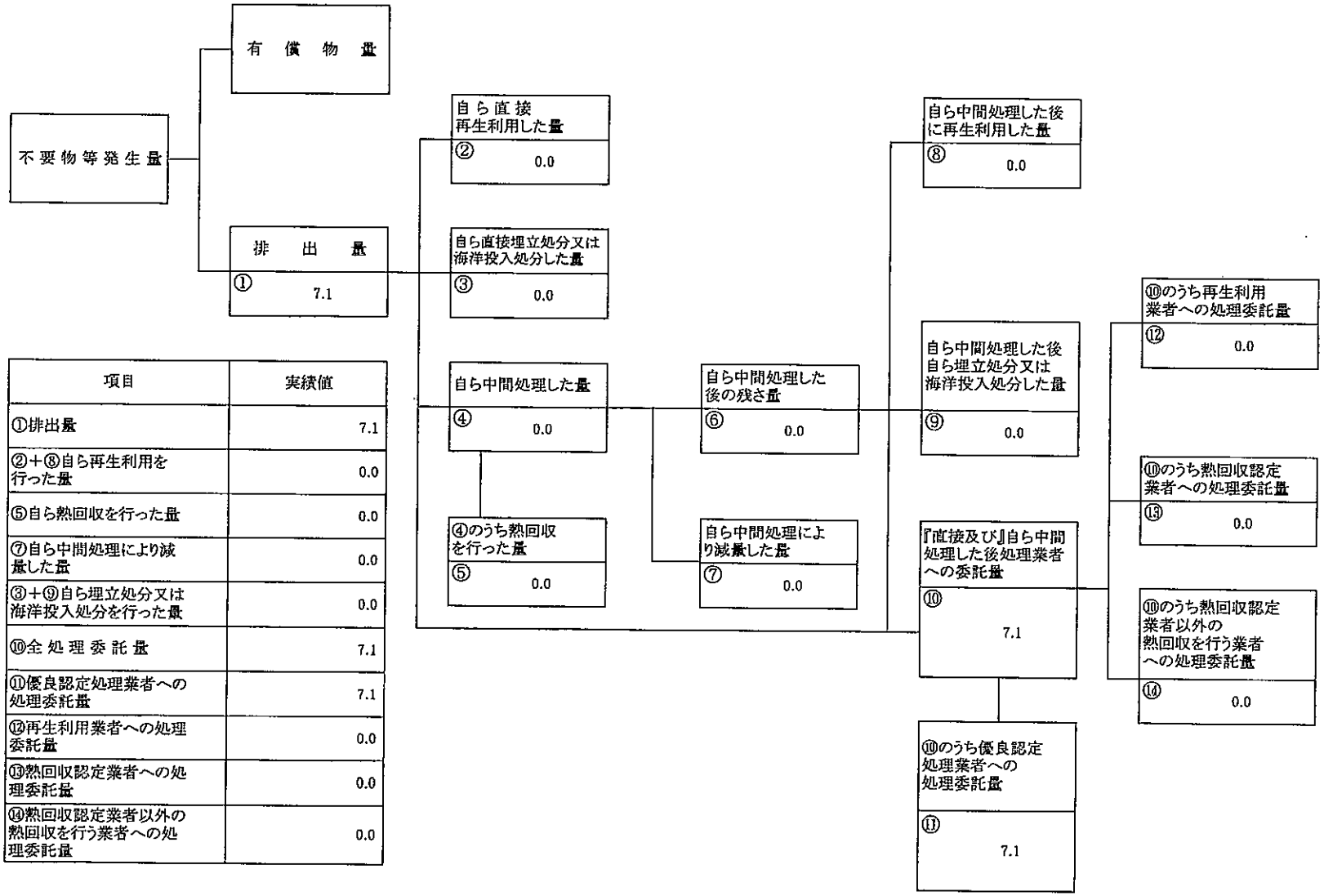


項目	実績値
①排出量	46.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	46.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.5
⑫再生利用業者への処理委託量	46.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃石膏ボード　）

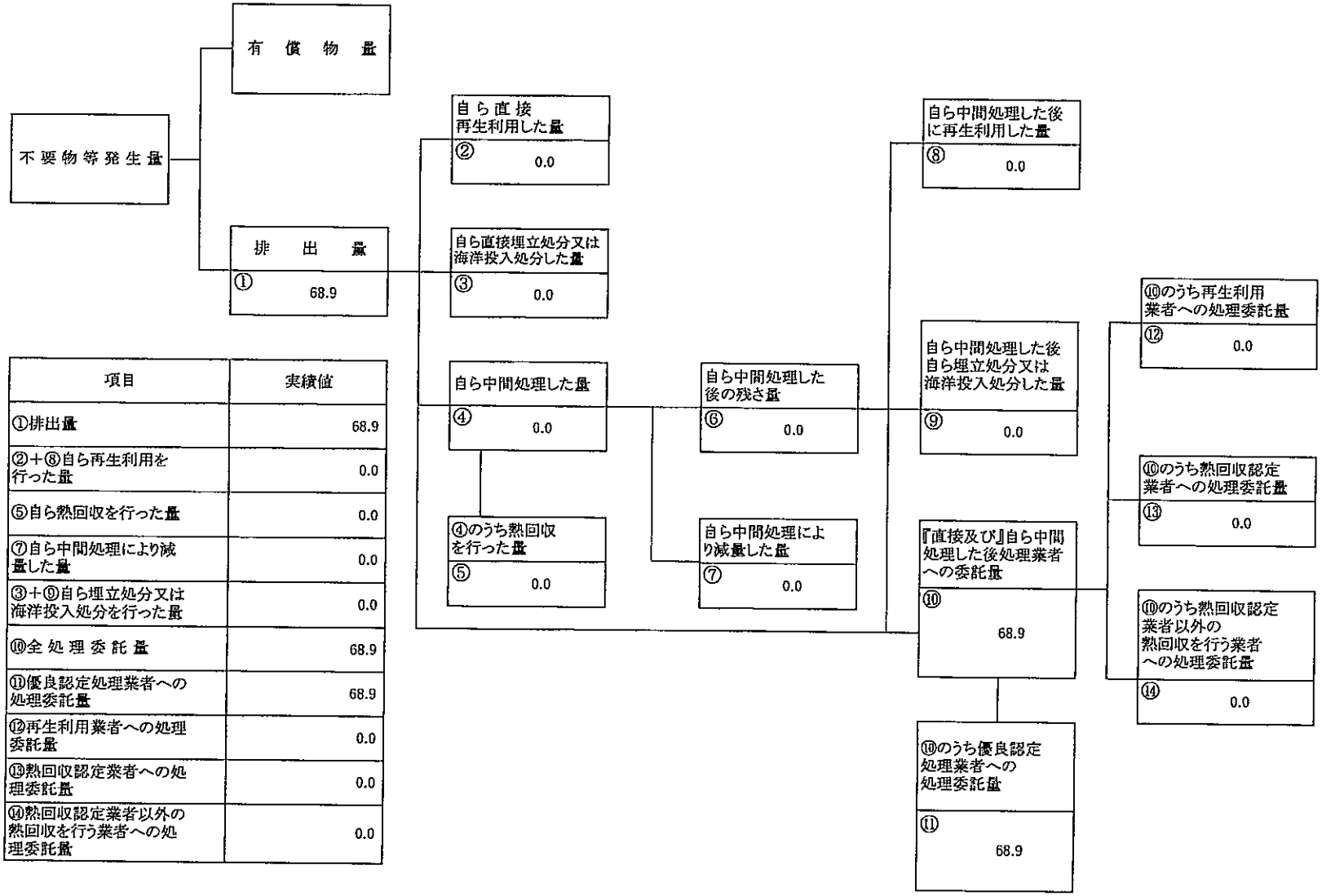


項目	実績値
①排出量	7.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	7.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	68.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	68.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.9
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月2日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　千葉県千葉市中央区新町1000番地

氏 名　大成ロテック株式会社　東関東支社

支社長　浜田　　裕

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号　043-238-6311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大成ロテック株式会社　東関東支社
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区新町1000番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	10,000,000千円
③従業員数	116人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	－
排　出　量	t	t

（これまでに実施した取組）
発注者と施工計画段階で排出を抑制する工法を協議・検討を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	－
排　出　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
発注者と施工計画段階で排出を抑制する工法を協議・検討を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
As廃材、Co廃材、プラスチック廃材、可燃物等

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
As廃材、Co廃材、プラスチック廃材、木くず、紙くず等

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材としての再生利用に努めた。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材としての再生利用に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で熱回収を行ったことはない。
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場での破砕に努めた。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き、熱回収する予定は無い。
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場での破砕に努める。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き、埋立処分又は海洋投入処分をする予定は無い。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材として再生利用し、その他の廃棄物についてはすべて再生利用業者へ処理委託しました。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材として再生利用し、その他の廃棄物についてはすべて再生利用業者へ処理委託に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

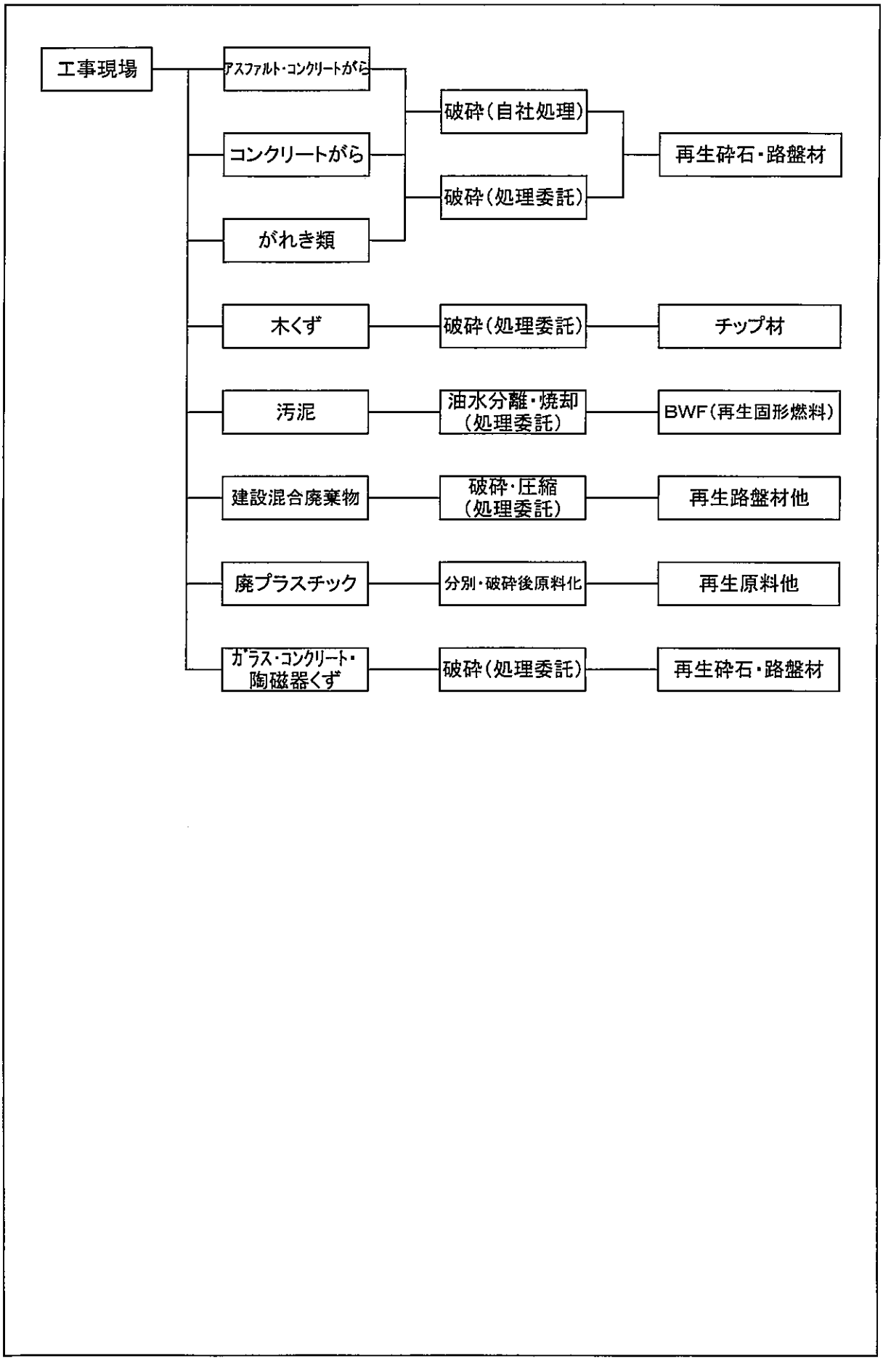
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

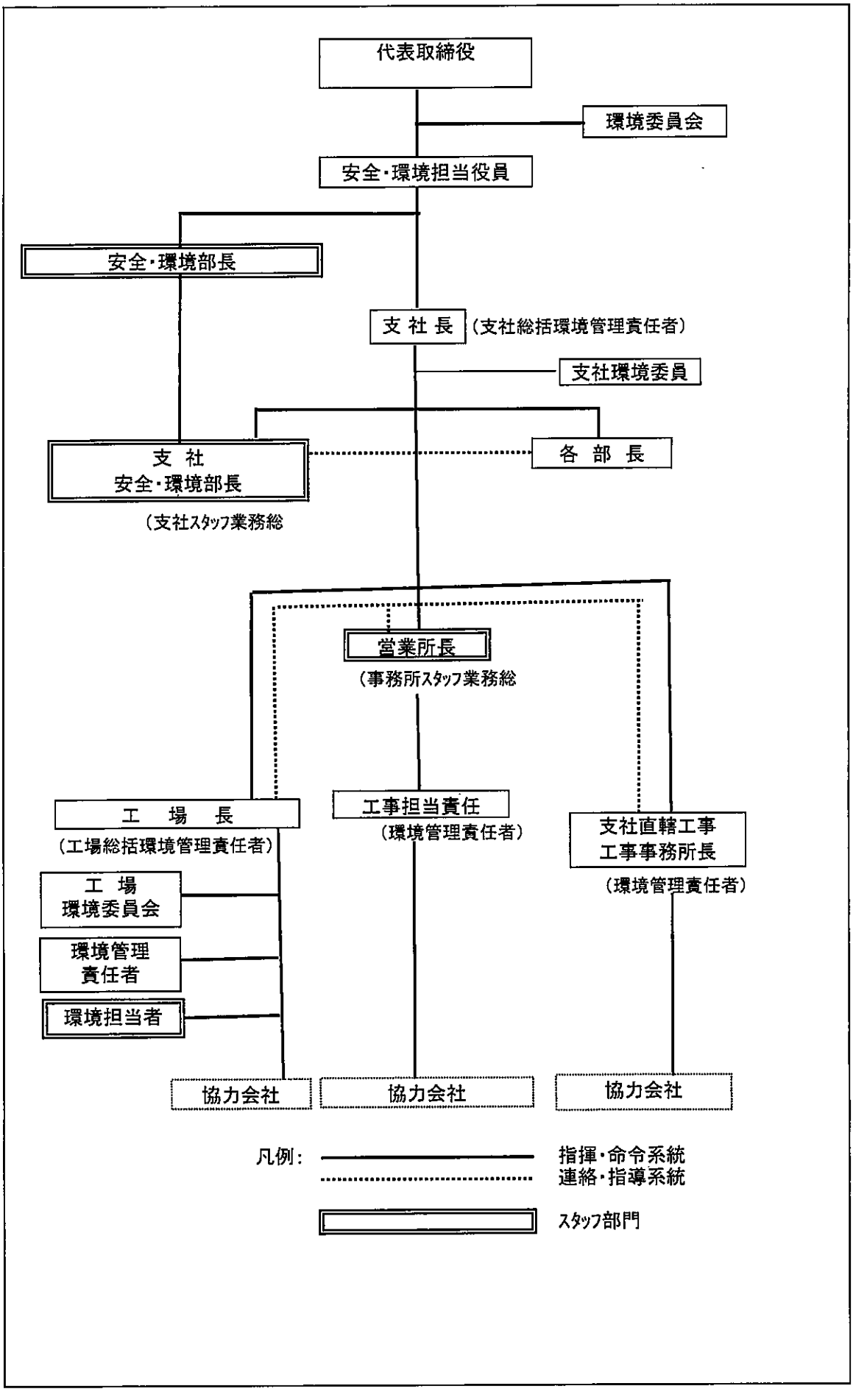
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図


工事現場
ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄがら
コンクリートがら
がれき類
破砕（自社処理）
破砕（処理委託）
再生砕石・路盤材
木くず
破砕（処理委託）
チップ材
汚泥
油水分離・焼却
（処理委託）
BWF（再生固形燃料）
建設混合廃棄物
破砕・圧縮
（処理委託）
再生路盤材他
廃プラスチック
分別・破砕後原料化
再生原料他
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・
陶磁器くず
破砕（処理委託）
再生砕石・路盤材

別添２ 管理体制図


代表取締役
環境委員会
安全・環境担当役員
安全・環境部長
支 社 長
（支社総括環境管理責任者）
支社環境委員
支 社
安全・環境部長
（支社スタッフ業務総
各 部 長
営業所長
（事務所スタッフ業務総
工 場 長
（工場総括環境管理責任者）
工事担当責任
（環境管理責任者）
支社直轄工事
工事事務所長
（環境管理責任者）
工 場
環境委員会
環境管理
責任者
環境担当者
協力会社
協力会社
協力会社
凡例：
指揮・命令系統
連絡・指導系統
スタッフ部門

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
排出量	27.26 t	0.67 t	42.18 t	4.05 t	269.05 t	1.32 t	8.48 t	97.00 t	905.94 t	6,485.00 t	221.44 t	55.90 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
排出量	24.53 t	0.60 t	37.96 t	3.65 t	242.15 t	1.19 t	7.63 t	87.30 t	815.35 t	5,836.50 t	199.30 t	50.31 t						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	48.00 t	444.98 t	3,235.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	43.20 t	400.48 t	2,911.50 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
全処理委託量	27.26 t	0.67 t	42.18 t	4.05 t	269.05 t	1.32 t	8.48 t	49.00 t	460.96 t	3,250.00 t	221.44 t	55.90 t						
当該認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	42.18 t	4.05 t	72.33 t	1.32 t	8.48 t	1.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	55.90 t						
再生利用業者への処理委託量	26.16 t	0.67 t	42.18 t	4.05 t	269.05 t	1.32 t	8.48 t	49.00 t	459.48 t	3,250.00 t	180.00 t	55.90 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
全処理委託量	24.53 t	0.60 t	37.96 t	3.65 t	242.15 t	1.19 t	7.63 t	44.10 t	414.87 t	2,925.00 t	199.30 t	50.31 t						
当該認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	37.96 t	3.65 t	65.10 t	1.19 t	7.63 t	0.90 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	50.31 t						
再生利用業者への処理委託量	23.54 t	0.60 t	37.96 t	3.65 t	242.15 t	1.19 t	7.63 t	44.10 t	413.53 t	2,925.00 t	162.00 t	50.31 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月2日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 千葉県千葉市中央区新町1000番地

氏 名 大成ロテック株式会社 東関東支社

支社長 浜田 裕

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-238-6311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大成ロテック株式会社 東関東支社
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区新町1000番地
事業の種類	06：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

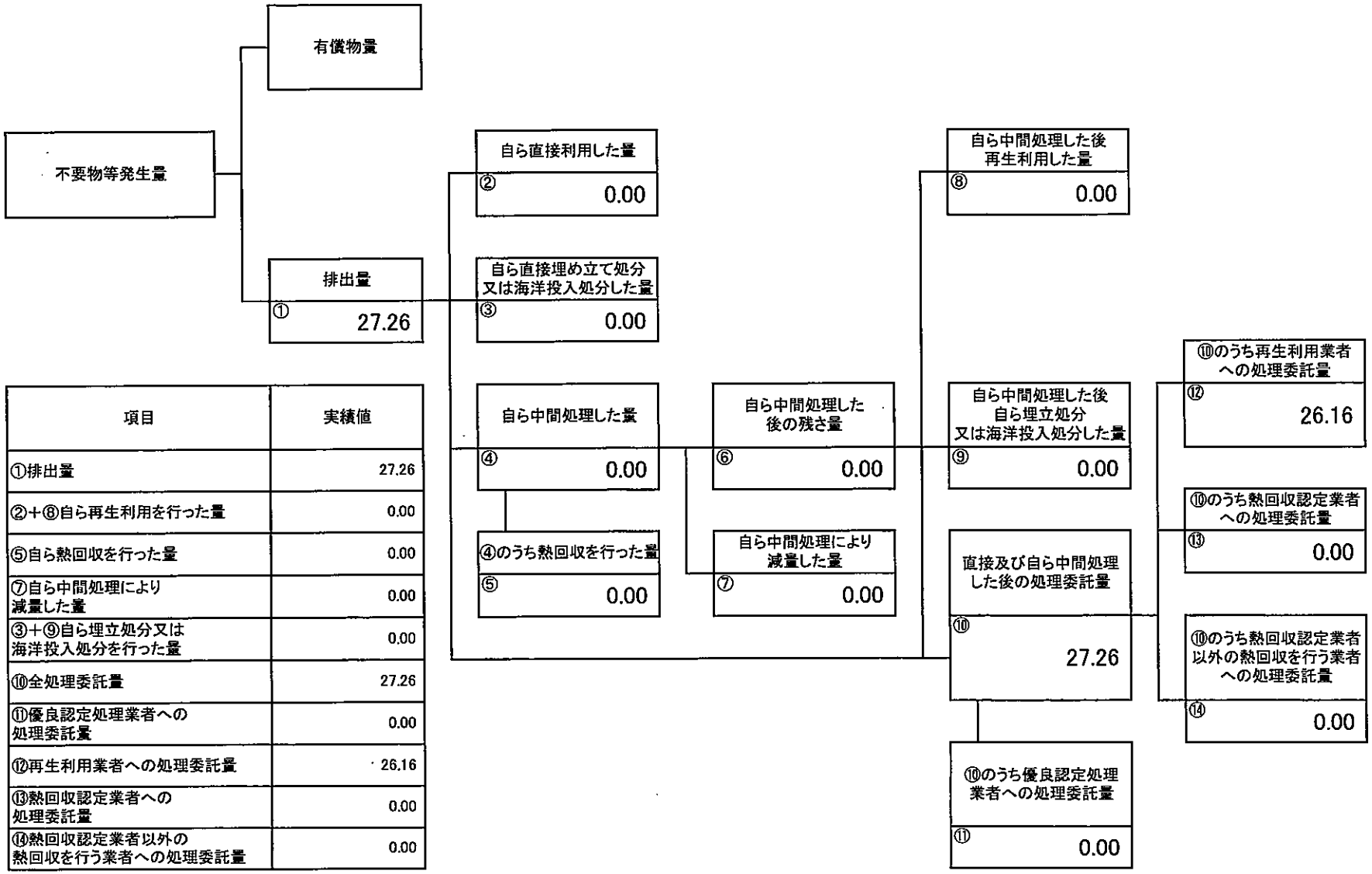
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,717.29 t	全処理委託量	1,178.29 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,539.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	40.83 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	1,178.29 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類汚泥　　）

（単位：トン）

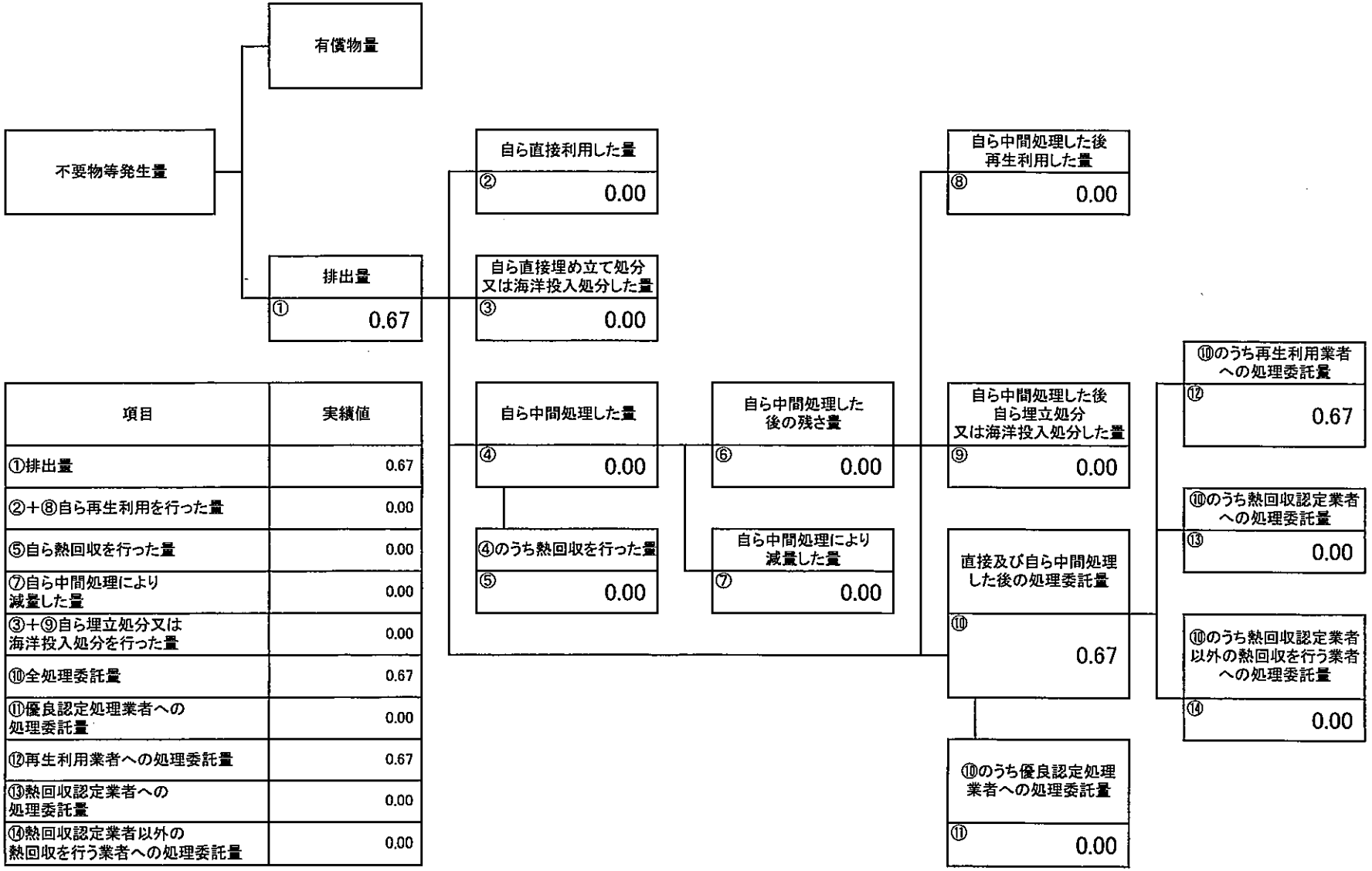


項目	実績値
①排出量	27.26
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	27.26
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	26.16
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃油　　）

（単位：トン）

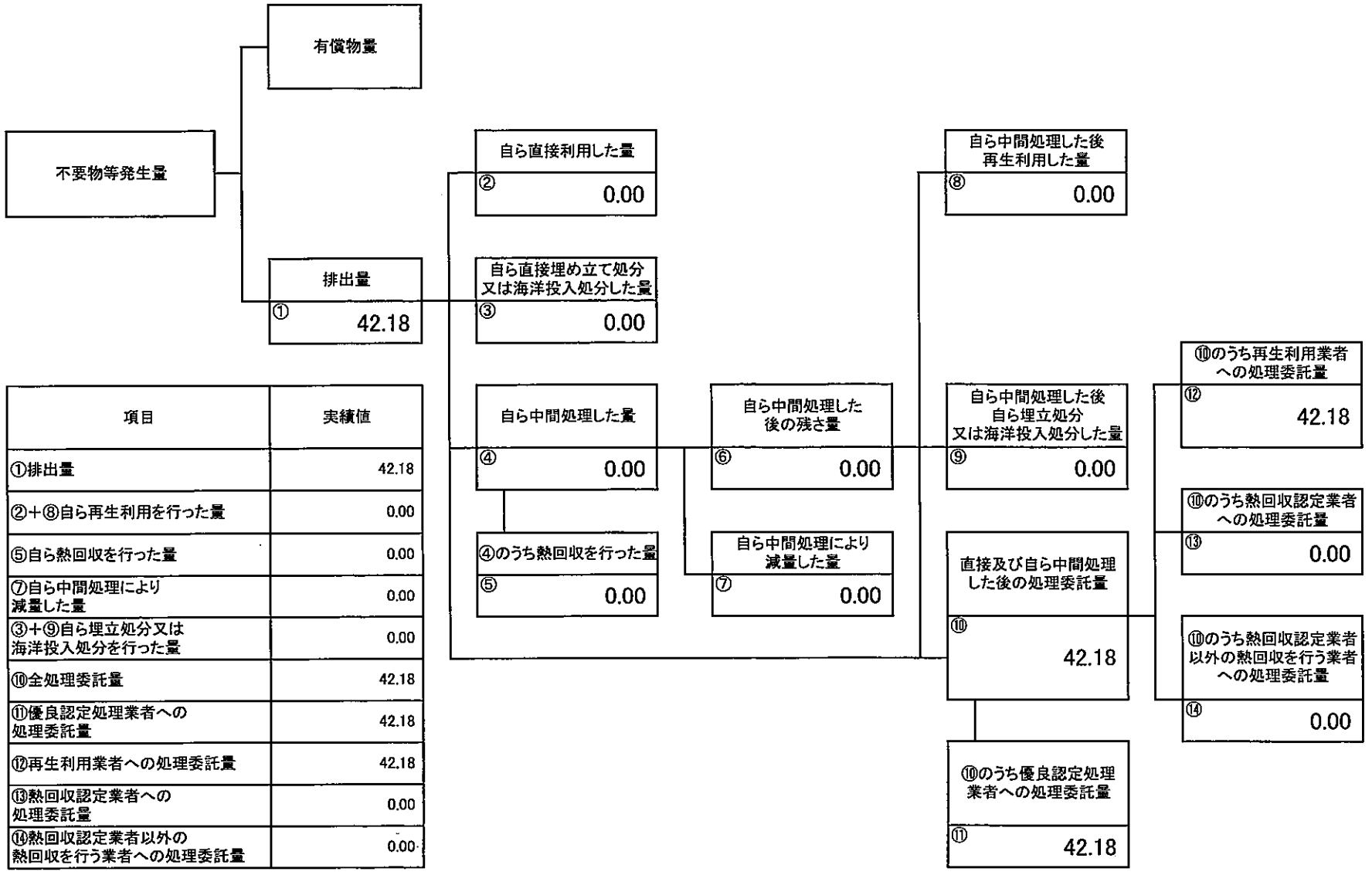


項目	実績値
①排出量	0.67
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.67
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.67
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

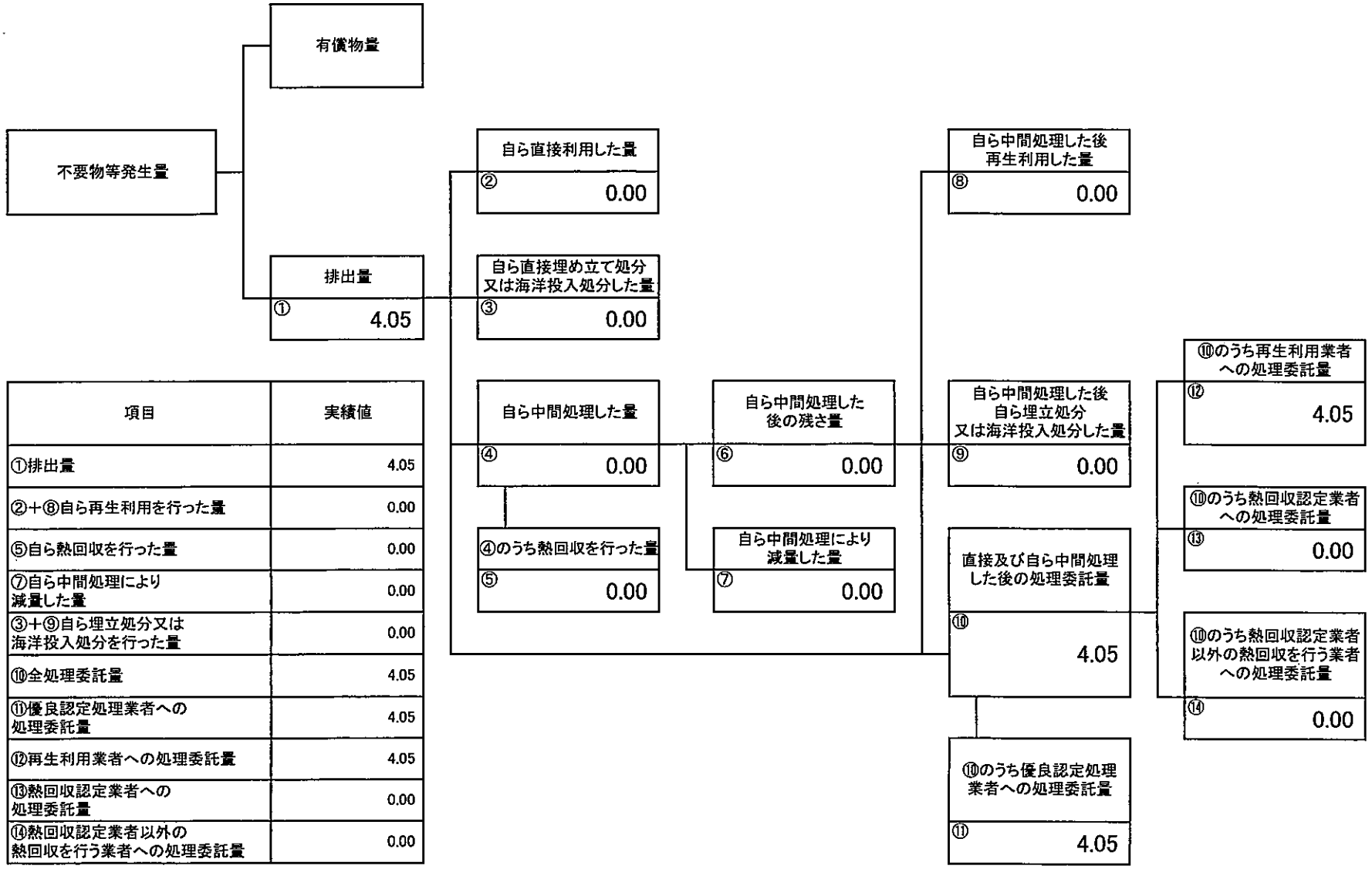


項目	実績値
①排出量	42.18
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	42.18
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.18
⑫再生利用業者への処理委託量	42.18
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類紙くず　　）

（単位：トン）

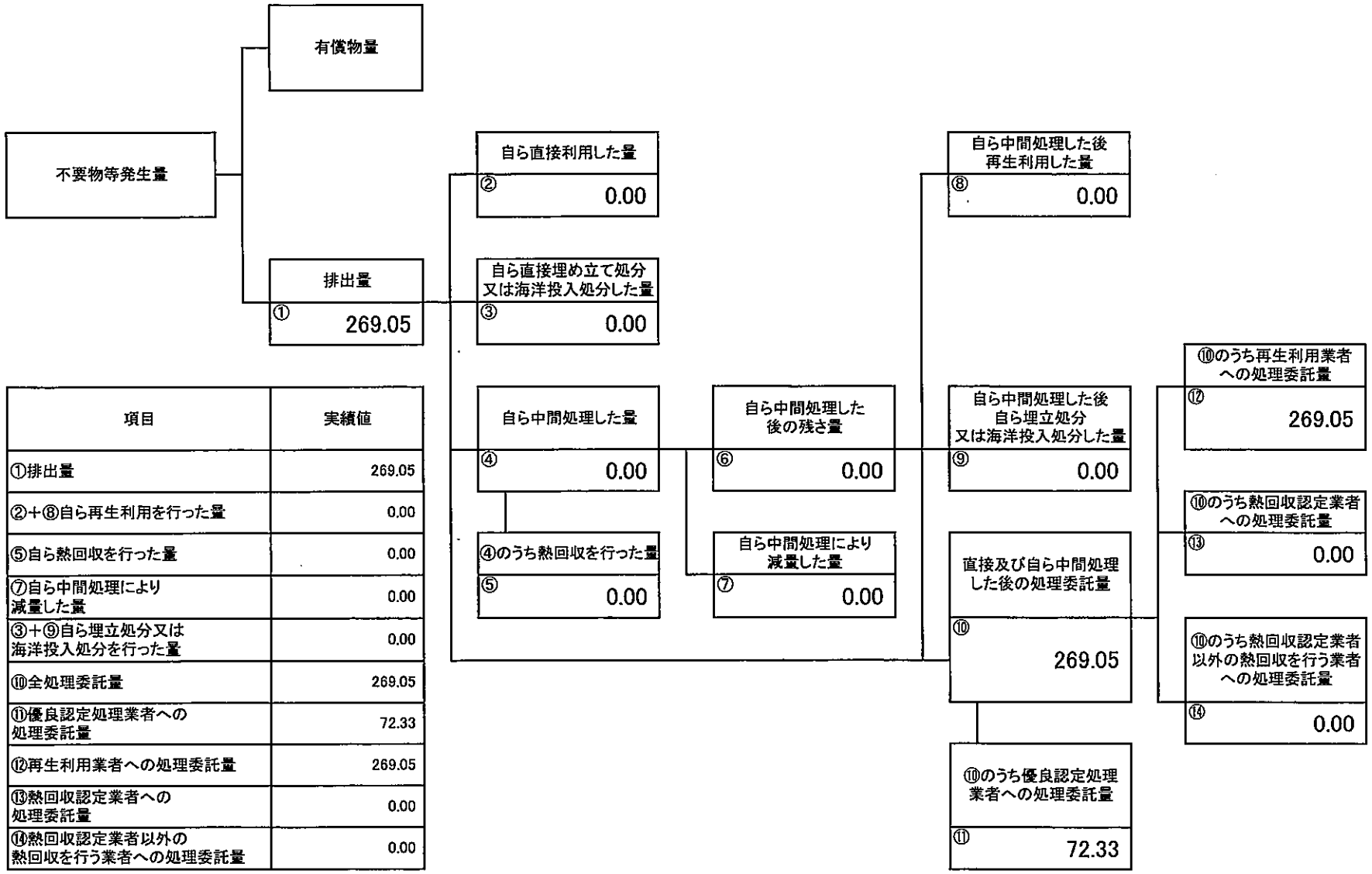


項目	実績値
①排出量	4.05
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.05
⑫再生利用業者への処理委託量	4.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず ）

（単位：トン）

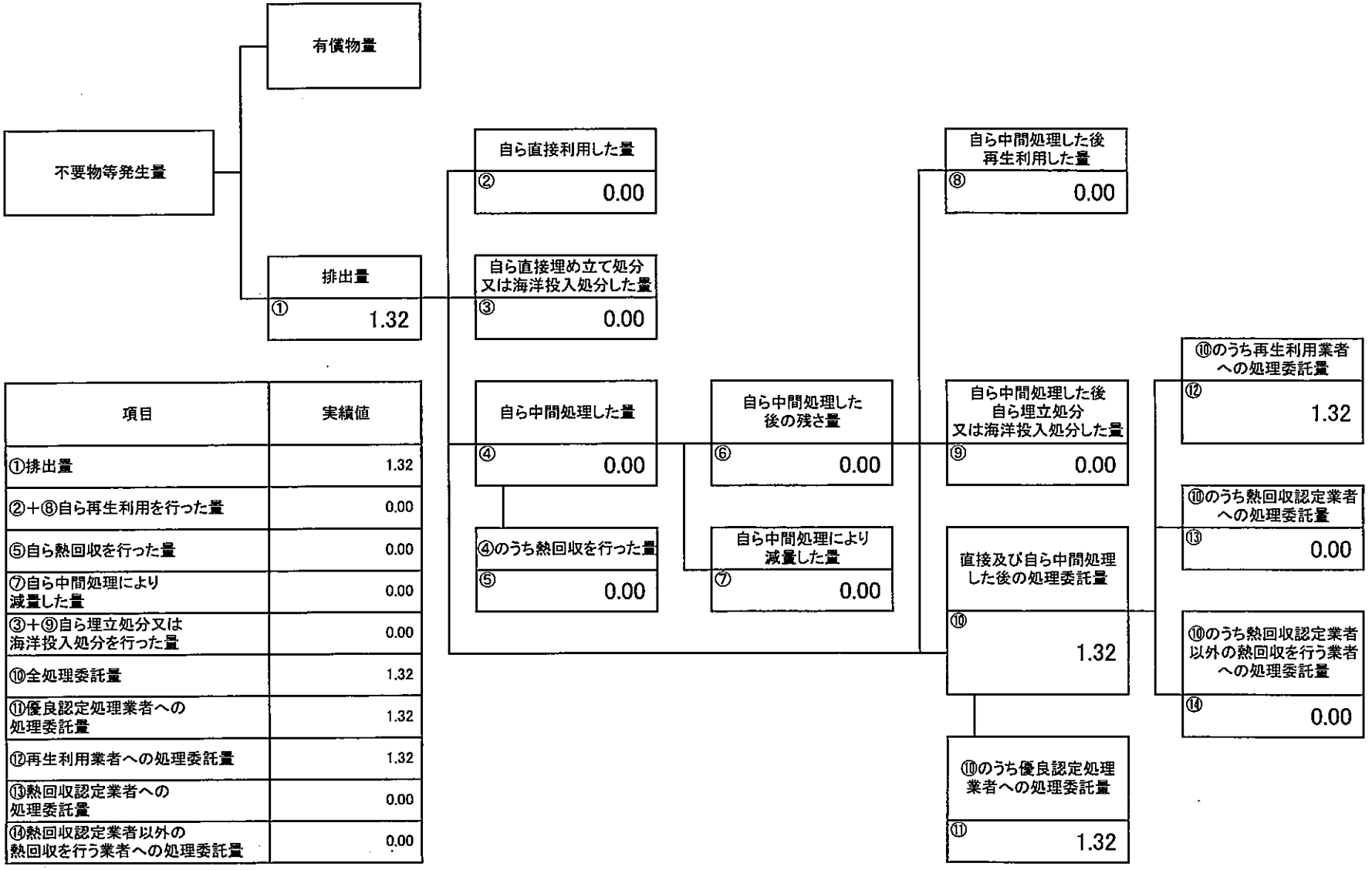


項目	実績値
①排出量	269.05
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	269.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	72.33
⑫再生利用業者への処理委託量	269.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類繊維くず　　）

（単位：トン）

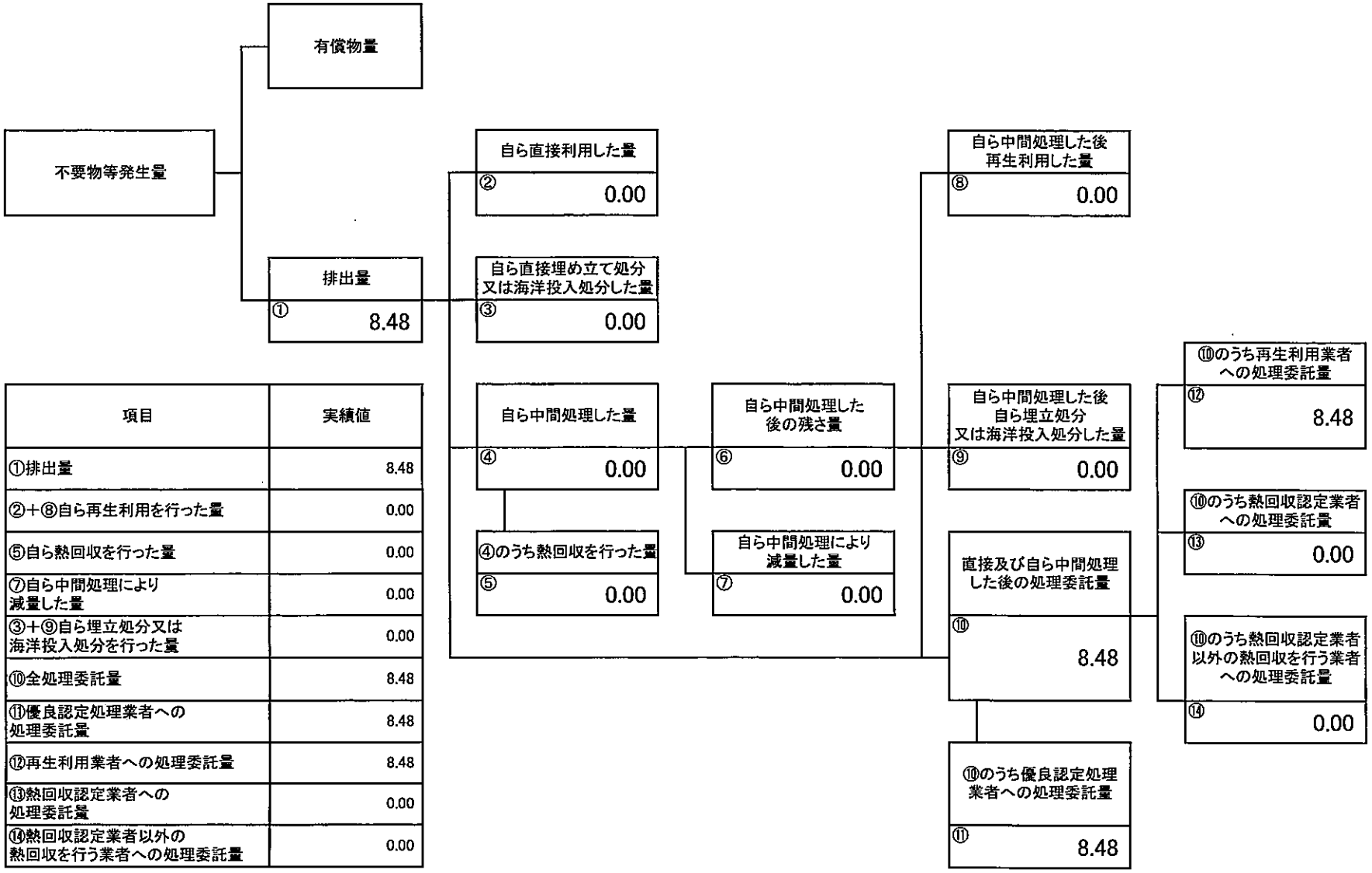


項目	実績値
①排出量	1.32
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.32
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.32
⑫再生利用業者への処理委託量	1.32
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず ）

（単位：トン）

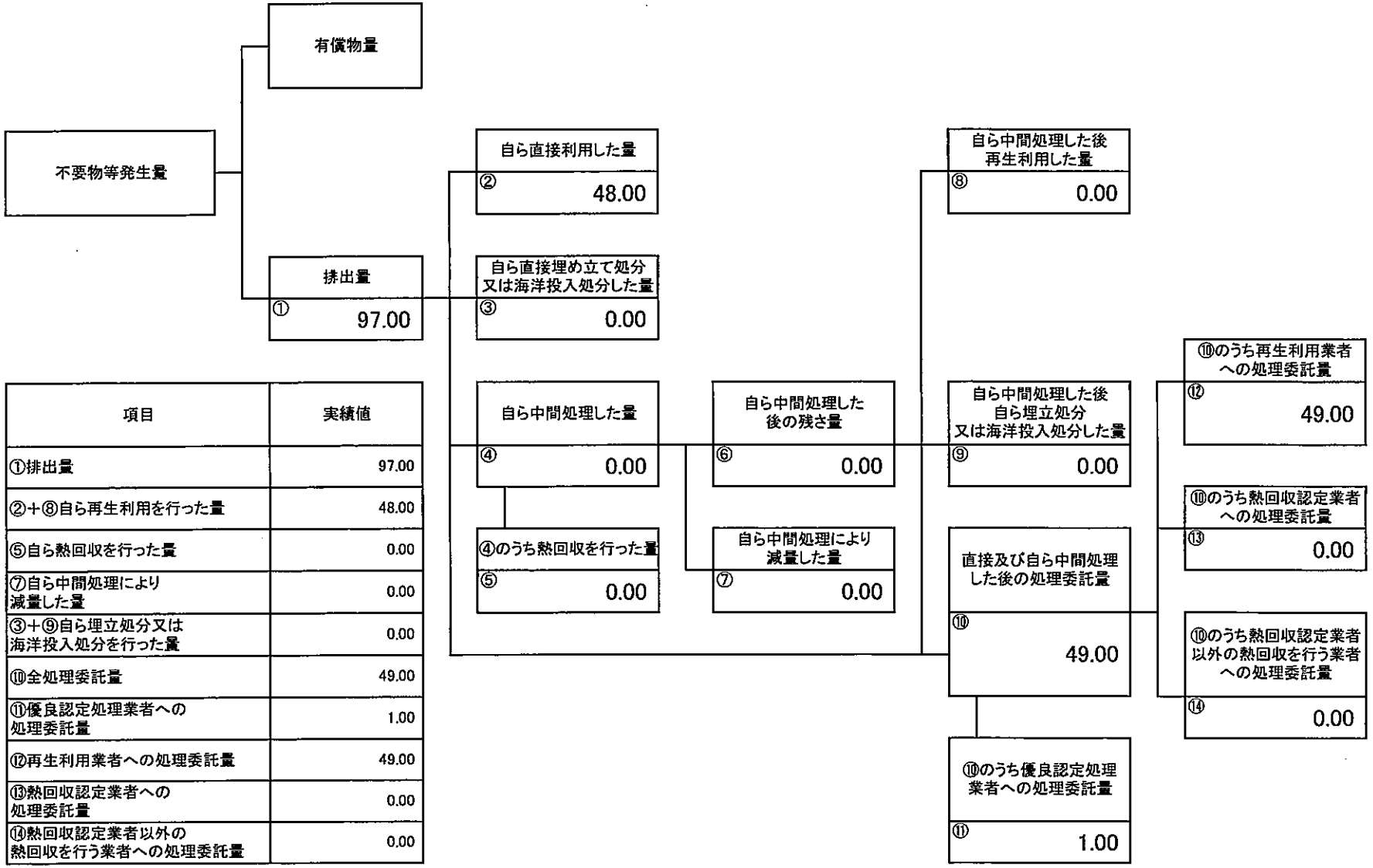


項目	実績値
①排出量	8.48
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	8.48
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.48
⑫再生利用業者への処理委託量	8.48
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

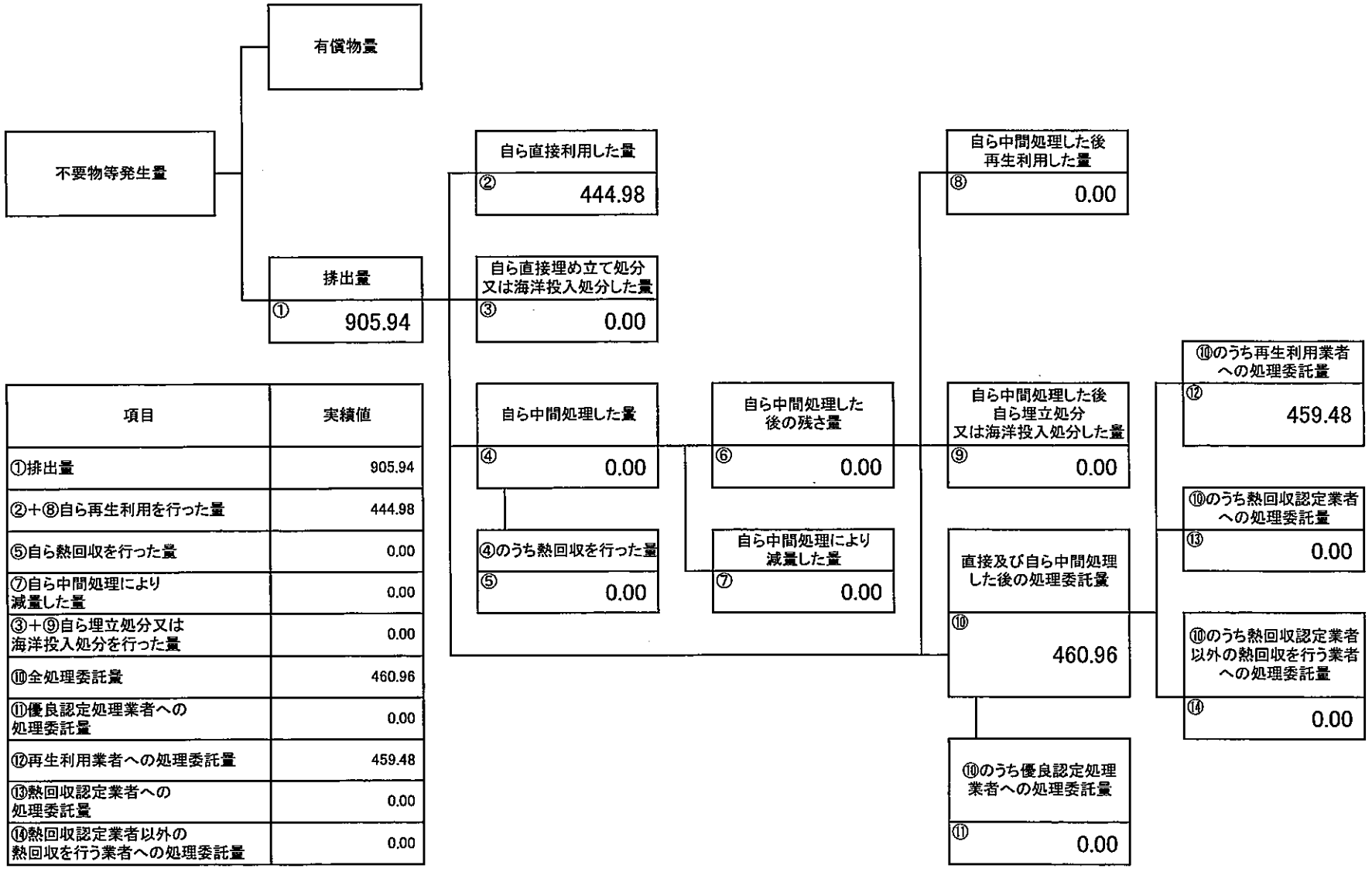


項目	実績値
①排出量	97.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	48.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	49.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.00
⑫再生利用業者への処理委託量	49.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

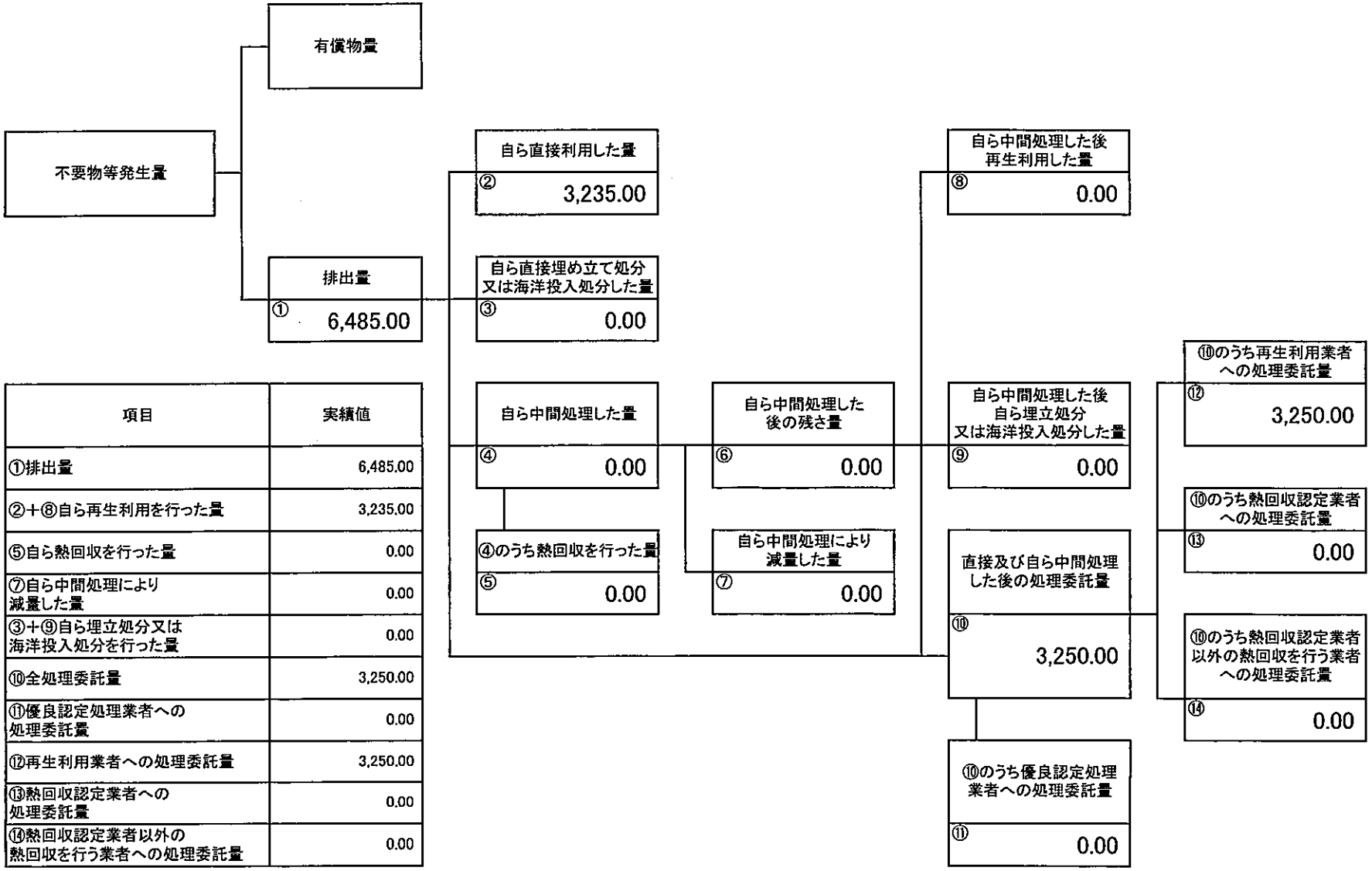


項目	実績値
①排出量	905.94
②+⑧自ら再生利用を行った量	444.98
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	460.96
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	459.48
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

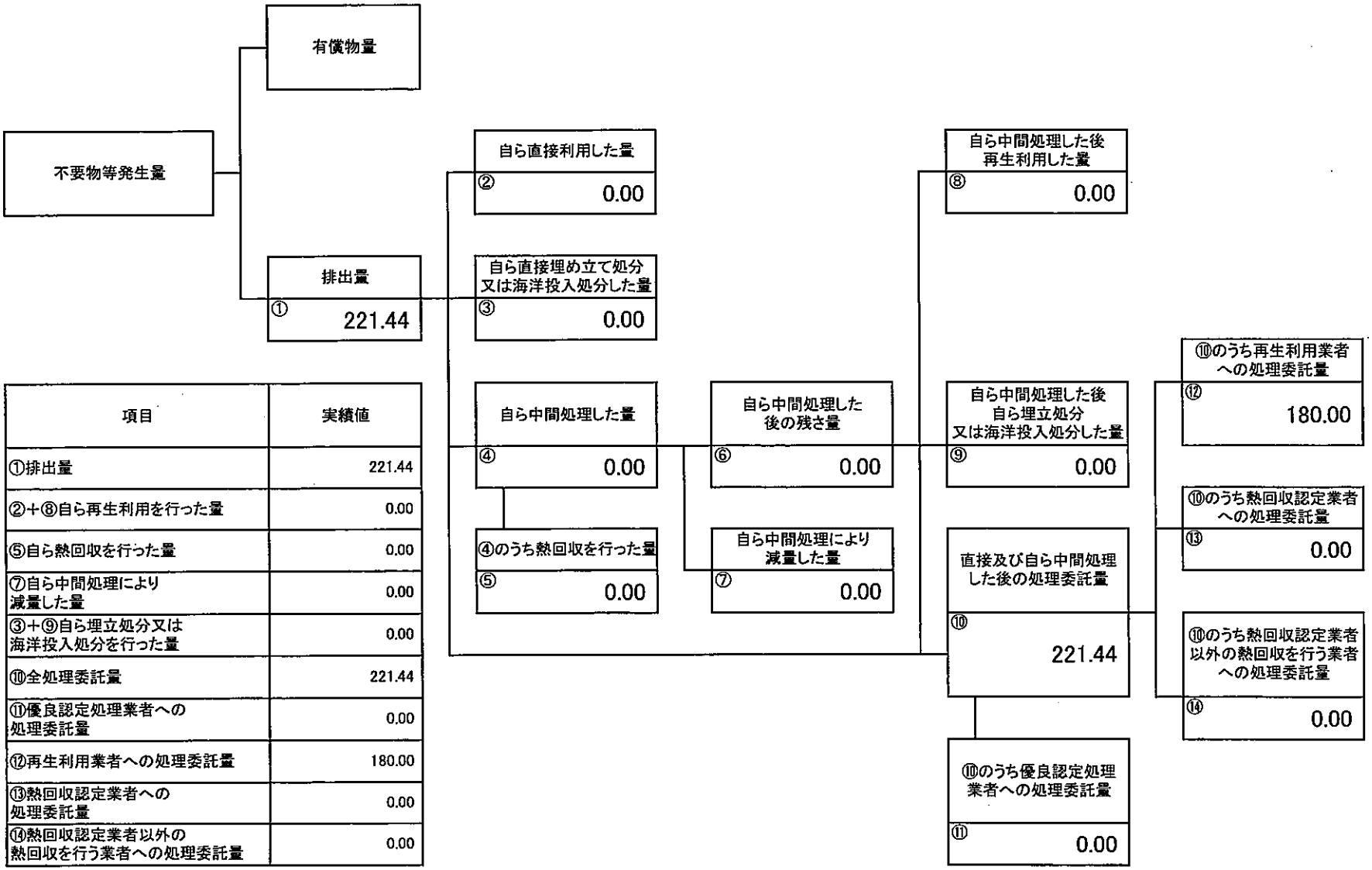


項目	実績値
①排出量	6,485.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	3,235.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3,250.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	3,250.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

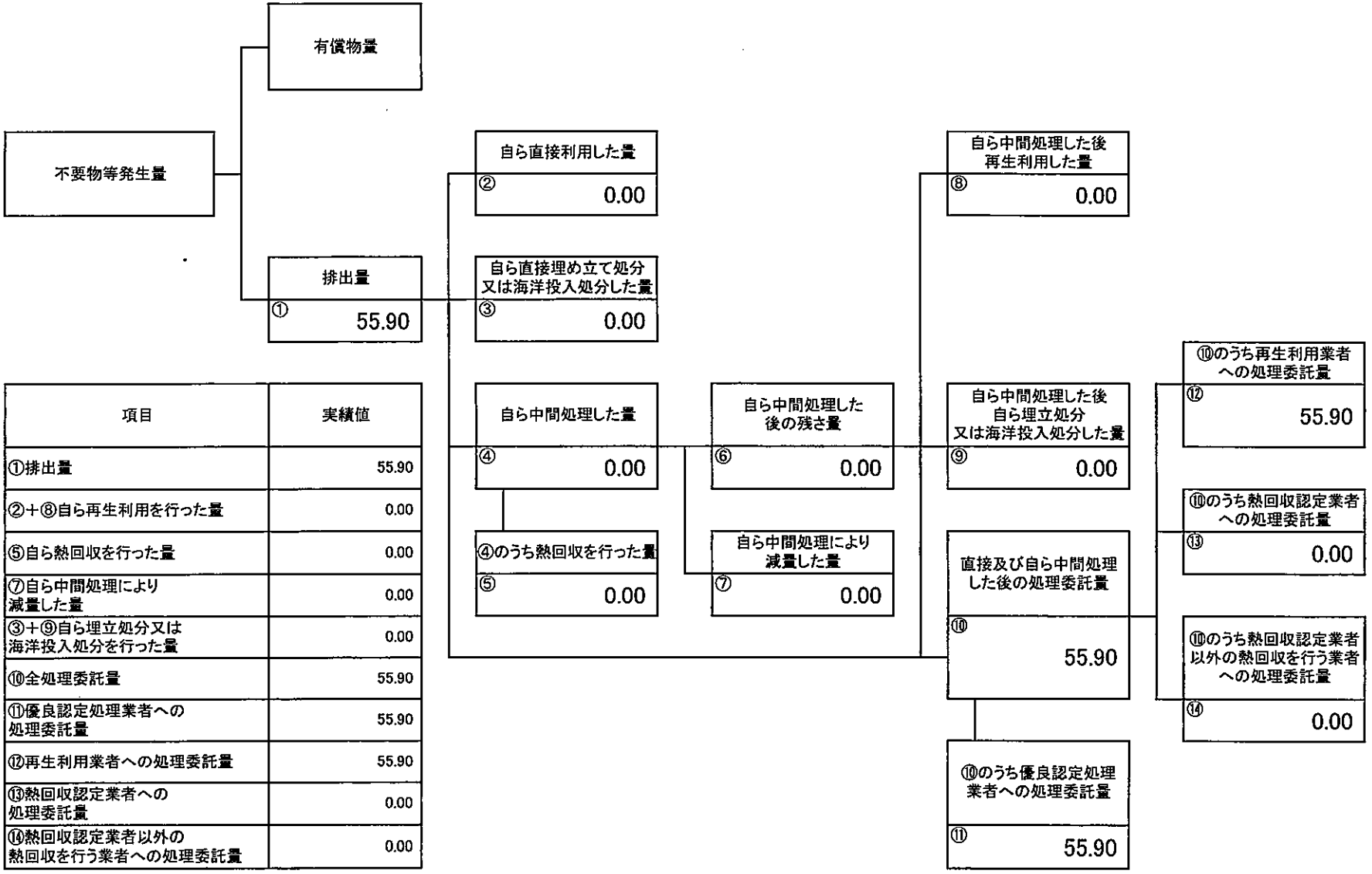


項目	実績値
①排出量	221.44
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	221.44
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	180.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	55.90
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	55.90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.90
⑫再生利用業者への処理委託量	55.90
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月5日

千葉県　　殿

提出者

住所　千葉県柏市若柴226－1中央146街区5エクセレントファミリー柏の葉

氏名　大東建託株式会社　柏 支店
支店長　石垣　孝憲
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　04-7133-7272

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大東建託株式会社　柏支店
事業場の所在地	千葉県柏市若柴２２６－１中央１４６街区５エクセレントファミリー柏の葉
計画期間	令和7年4月1日　から　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	Ｄ０６　総合工事業
②事業の規模	13,360　百万円（前年度完工高）
③従業員数	69　人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥　→ 脱水・調質改良 → 改良土として再生利用又は埋立 がれき類　→ 破砕 → 再生砕石として再生利用 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ → 破砕、圧縮梱包 → 原料、燃料として再生利用 → 埋立 金属くず　→ 切断、破砕　→　原料として再利用 紙くず　→ 圧縮梱包 → 製紙原料等として再生利用 木くず　→ 破砕 → ﾁｯﾌﾟ・燃料等として再生利用 ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず　→　破砕　→　再利用または埋立

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本　社	・全社的な廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用（再使用・再生利用）、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・全社的な廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（責任者）	・支店における廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用（再使用・再生利用）、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・支店における廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（担当者）	・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・産廃協力業者に対する教育、指導 ・委託契約の締結、契約書の管理 ・その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度　（ 令和 6 年度 ）　実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　出　量	－　t	449.635　t

（これまでに実施した取組）
・電子マニフェストの導入。
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　出　量	－　t	373.862　t

（今後実施する予定の取組）
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。
・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・狭小現場での分別の仕組をつくる。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　出　量	171.540 t	3,203.720 t	1.716 t	135.487 t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　出　量	142.632 t	2,663.826 t	1.427 t	112.655 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　出　量	503.900 t	218.880 t	1,227.956 t	1,320.030 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　出　量	418.982 t	181.994 t	1,021.020 t	1,097.577 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　出　量	101.972 t	18.950 t	0.875 t	79.920 t

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　出　量	84.788 t	15.757 t	0.728 t	66.452 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　出　量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　出　量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　出　量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　出　量	－ t	－ t	－ t	－ t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度　（ 令和 6 年度 ）　実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度　（ 令和 6 年度 ）　実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
全処理委託量	0.000 t	449.635 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.346 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	444.162 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	171.540 t	3,203.720 t	1.716 t	135.487 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	51.200 t	1.320 t	1.695 t
再生利用業者への処理委託量	171.540 t	3,152.520 t	0.396 t	133.792 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	503.900 t	218.880 t	1,227.956 t	1,320.030 t
優良認定処理業者への処理委託量	19.618 t	8.250 t	89.146 t	2.220 t
再生利用業者への処理委託量	451.127 t	210.630 t	982.797 t	1,317.810 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	101.972 t	18.950 t	0.875 t	79.920 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	101.972 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 （ 令和 6 年度 ） 実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
全処理委託量	0.000 t	373.862 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.288 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	369.312 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

（今後実施する予定の取組）

・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・現場作業、現場加工の削減。

※事務処理欄

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	142.632 t	2,663.826 t	1.427 t	112.655 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	42.572 t	1.098 t	1.409 t
再生利用業者への処理委託量	142.632 t	2,621.254 t	0.329 t	111.245 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	418.982 t	181.994 t	1,021.020 t	1,097.577 t
優良認定処理業者への処理委託量	16.312 t	6.860 t	74.123 t	1.846 t
再生利用業者への処理委託量	375.103 t	175.134 t	817.175 t	1,095.731 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	84.788 t	15.757 t	0.728 t	66.452 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	84.788 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿	0	0	
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画内訳

整 理 番 号 ：

（単位:トン）

廃棄物の種類	前年度の産業廃棄物発生量	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	⑧直接委託及び自己処理後委託処分量
汚泥	0.000	0.000							0.000
廃プラスチック	449.635	373.862							373.862
紙くず	171.540	142.632							142.632
木くず	3,203.720	2,663.826							2,663.826
繊維くず	1.716	1.427							1.427
金属くず	135.487	112.655							112.655
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	503.900	418.982							418.982
石膏ボード	218.880	181.994							181.994
がれき類	1,227.956	1,021.020							1,021.020
コンクリート破片	1,320.030	1,097.577							1,097.577
アスファルト・コンクリート破片	101.972	84.788							84.788
【石綿含有】ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	18.950	15.757							15.757
【石綿含有】廃プラスチック	0.875	0.728							0.728
【石綿含有】がれき類	79.920	66.452							66.452
【石綿含有】紙くず	0.000	0.000							0.000
混合（安定型）	0.000	0.000							0.000
混合（管理型）	0.000	0.000							0.000
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）	0.000	0.000							0.000
廃石綿	0.000	0.000							0.000
合計	7,434.581	6,181.698	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	6,181.698

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月5日

千葉県　　殿

提出者
住　所　千葉県柏市若柴226－1中央146街区5エクセレントファミリー柏の葉
氏　名　大東建託株式会社　柏　支店
支店長　石垣　孝憲
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　04-7133-7272

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

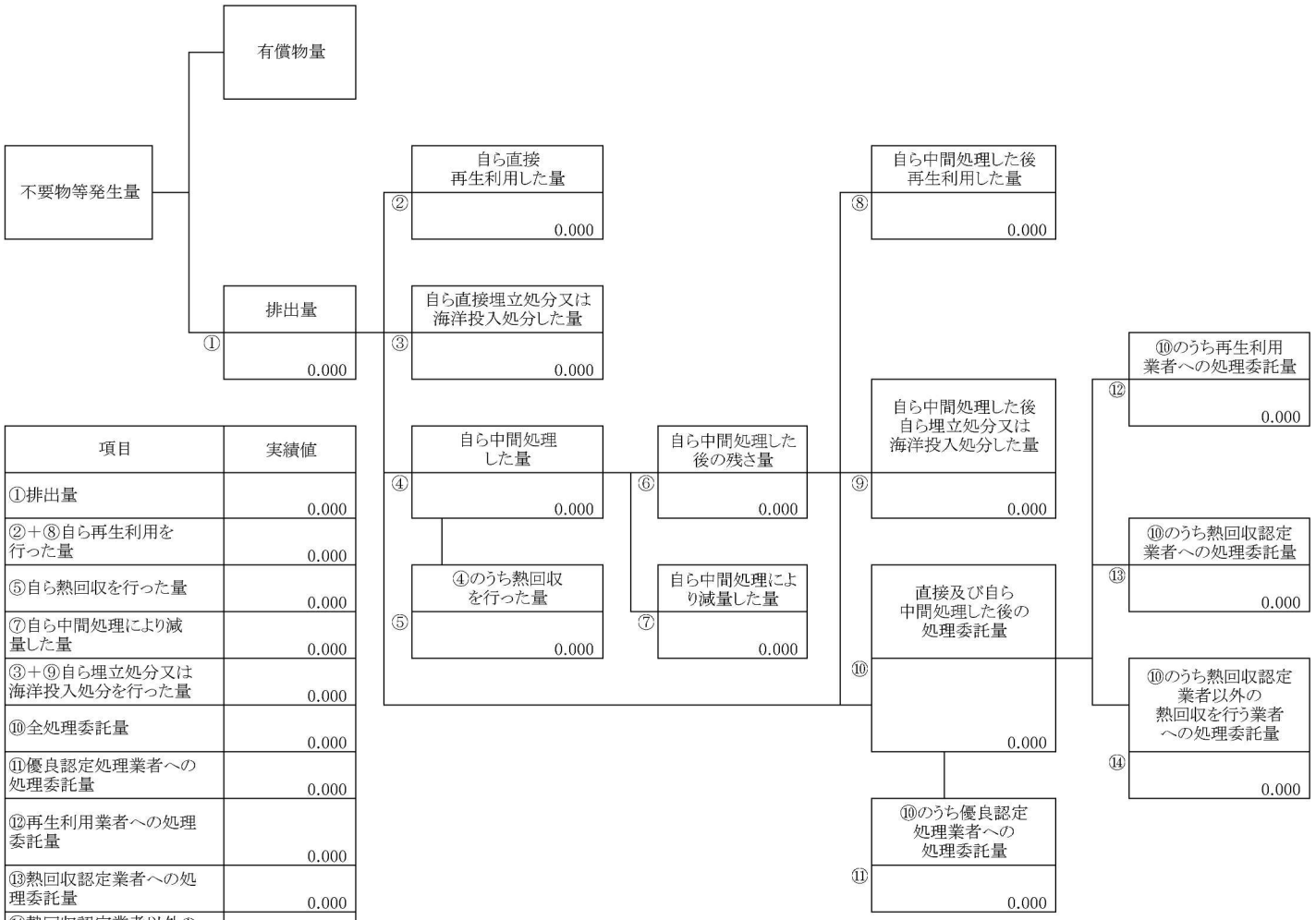
事業場の名称	大東建託株式会社　柏 支店
事業場の所在地	千葉県柏市若柴226－1中央146街区5エクセレントファミリー柏の葉
事業の種類	D06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年 4月 1日から令和7年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	10381.300t	全処理委託量	10381.300t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	0.000t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	9.596.600t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0.000t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

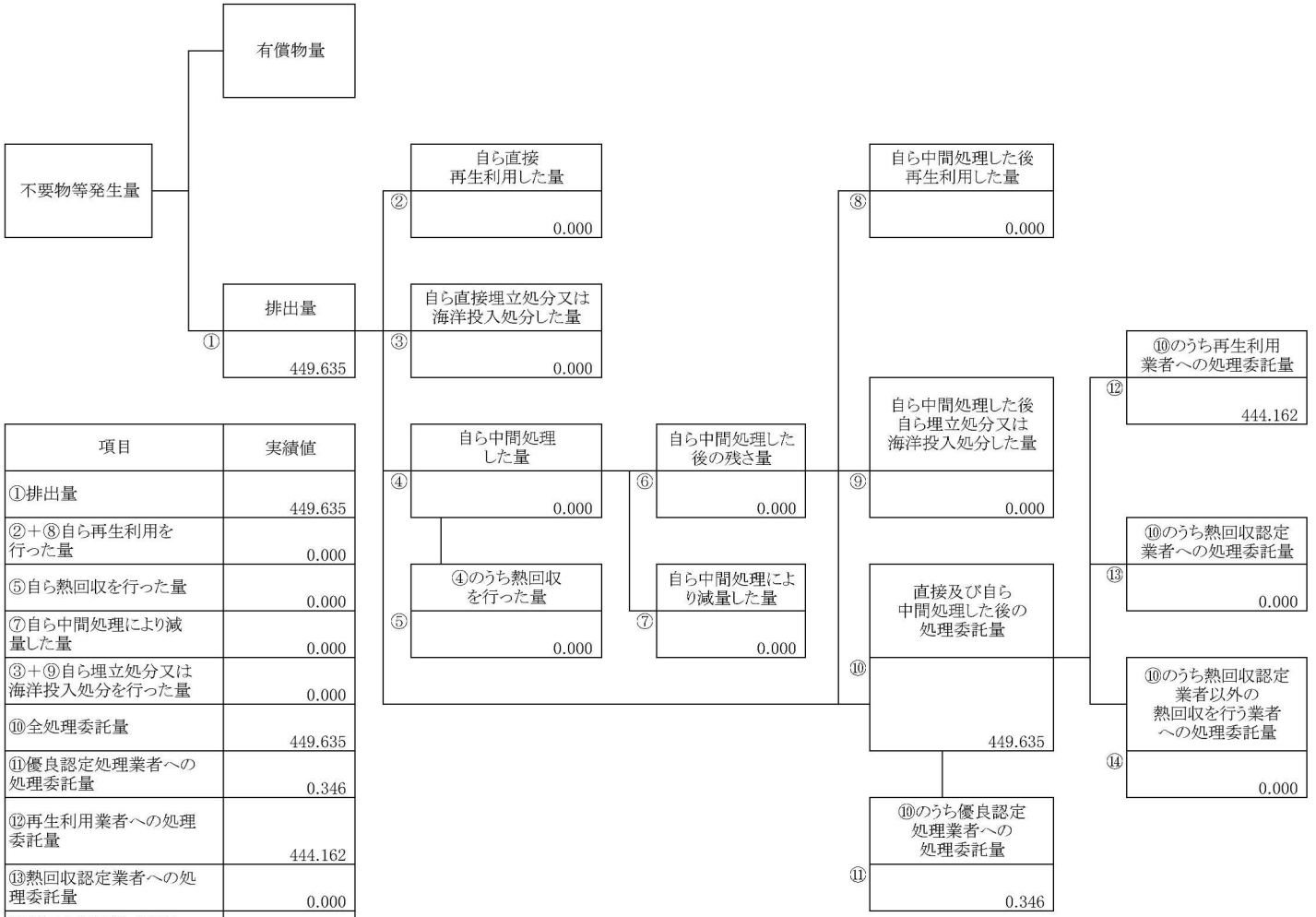
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：建設汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

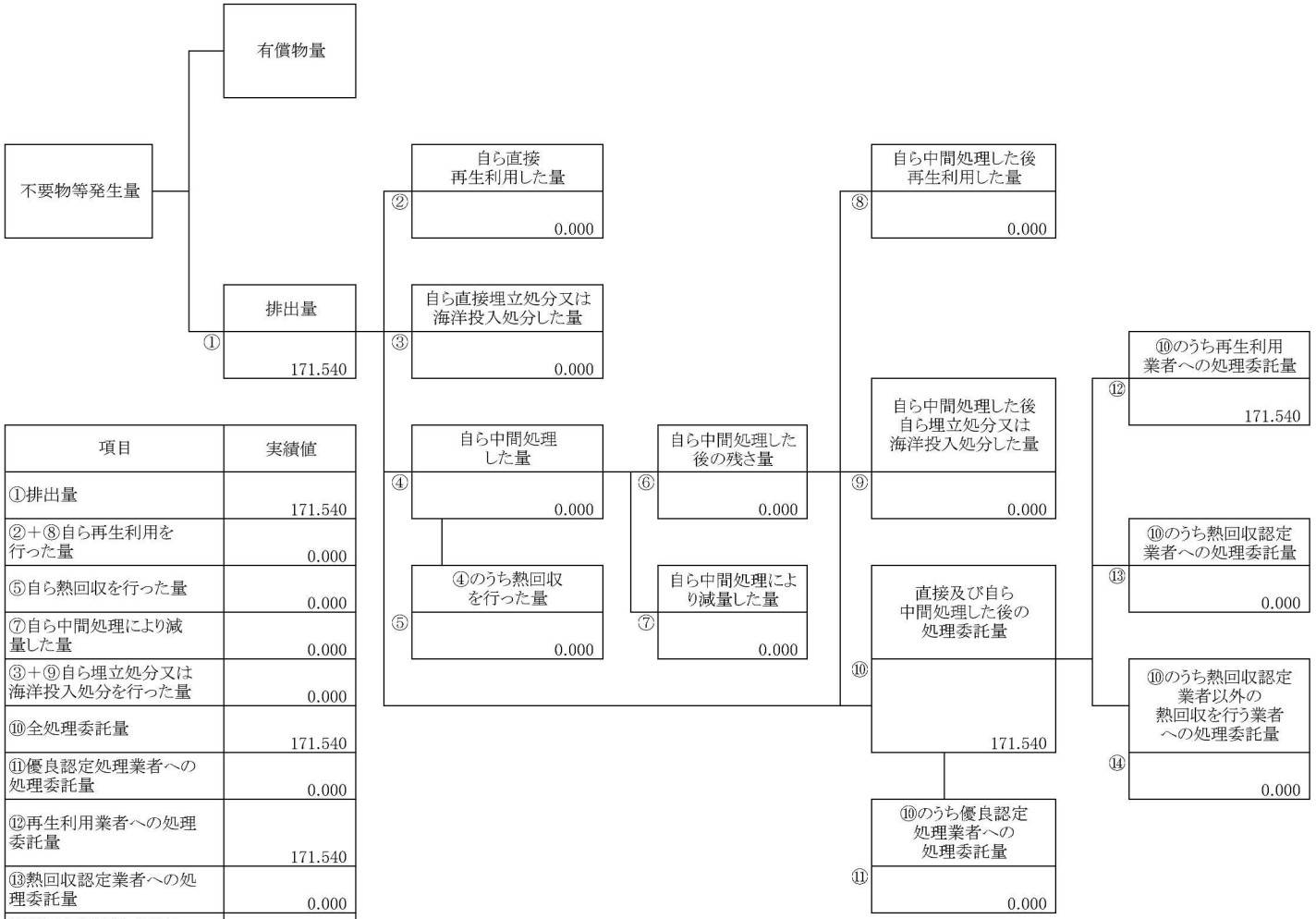
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	449.635
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	449.635
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.346
⑫再生利用業者への処理委託量	444.162
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

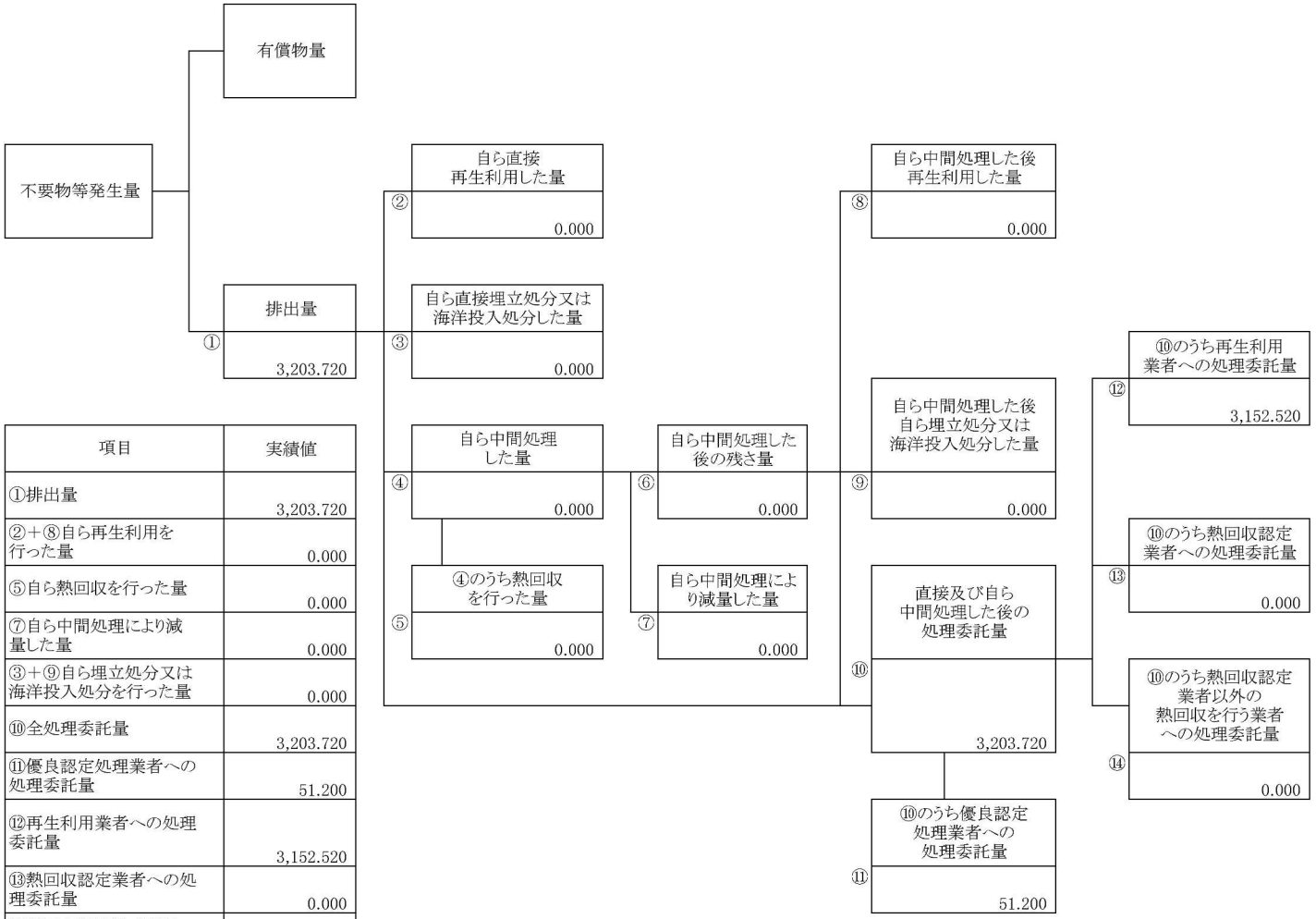
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	171.540
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	171.540
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	171.540
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

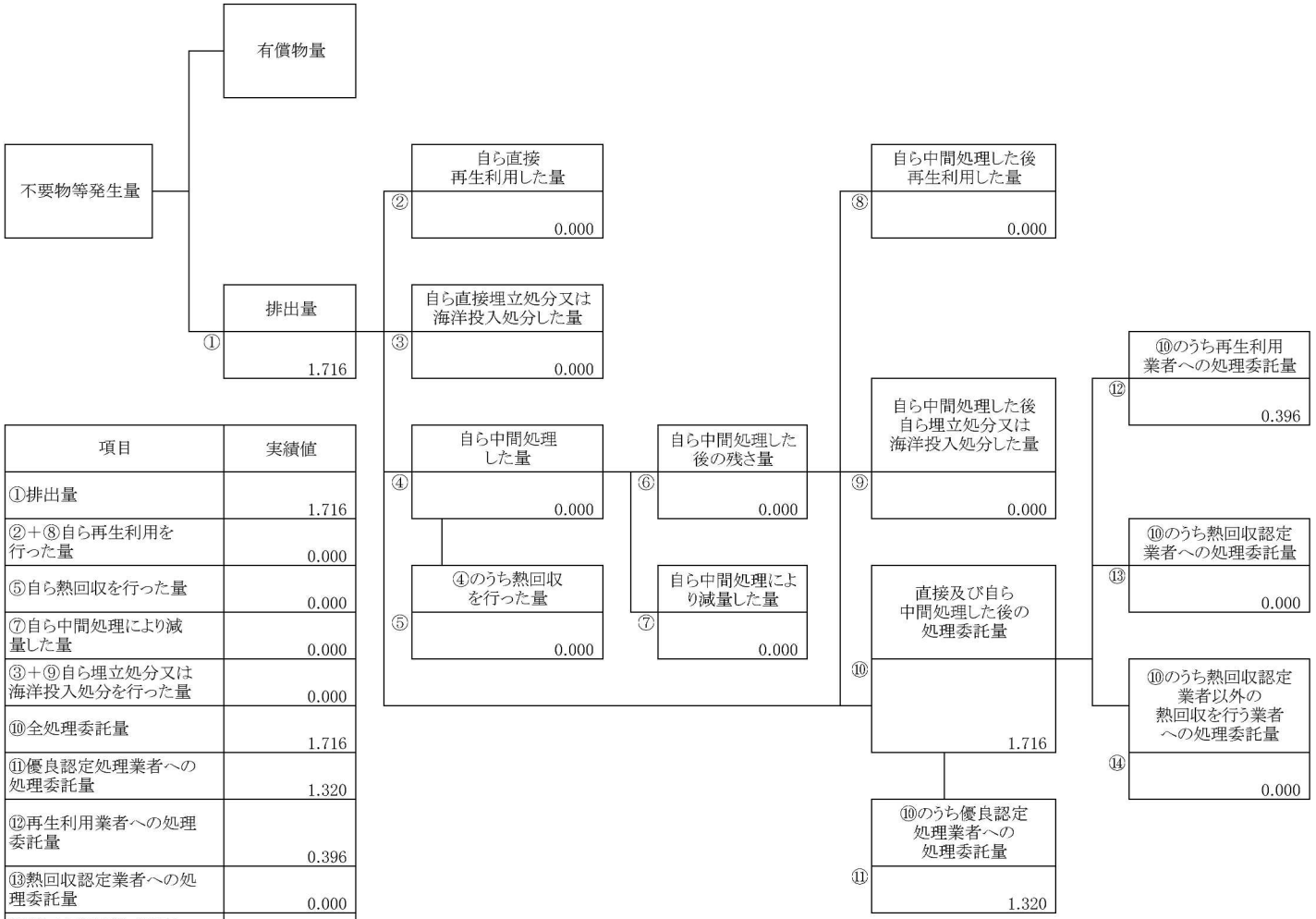
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	3,203.720
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	3,203.720
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.200
⑫再生利用業者への処理委託量	3,152.520
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

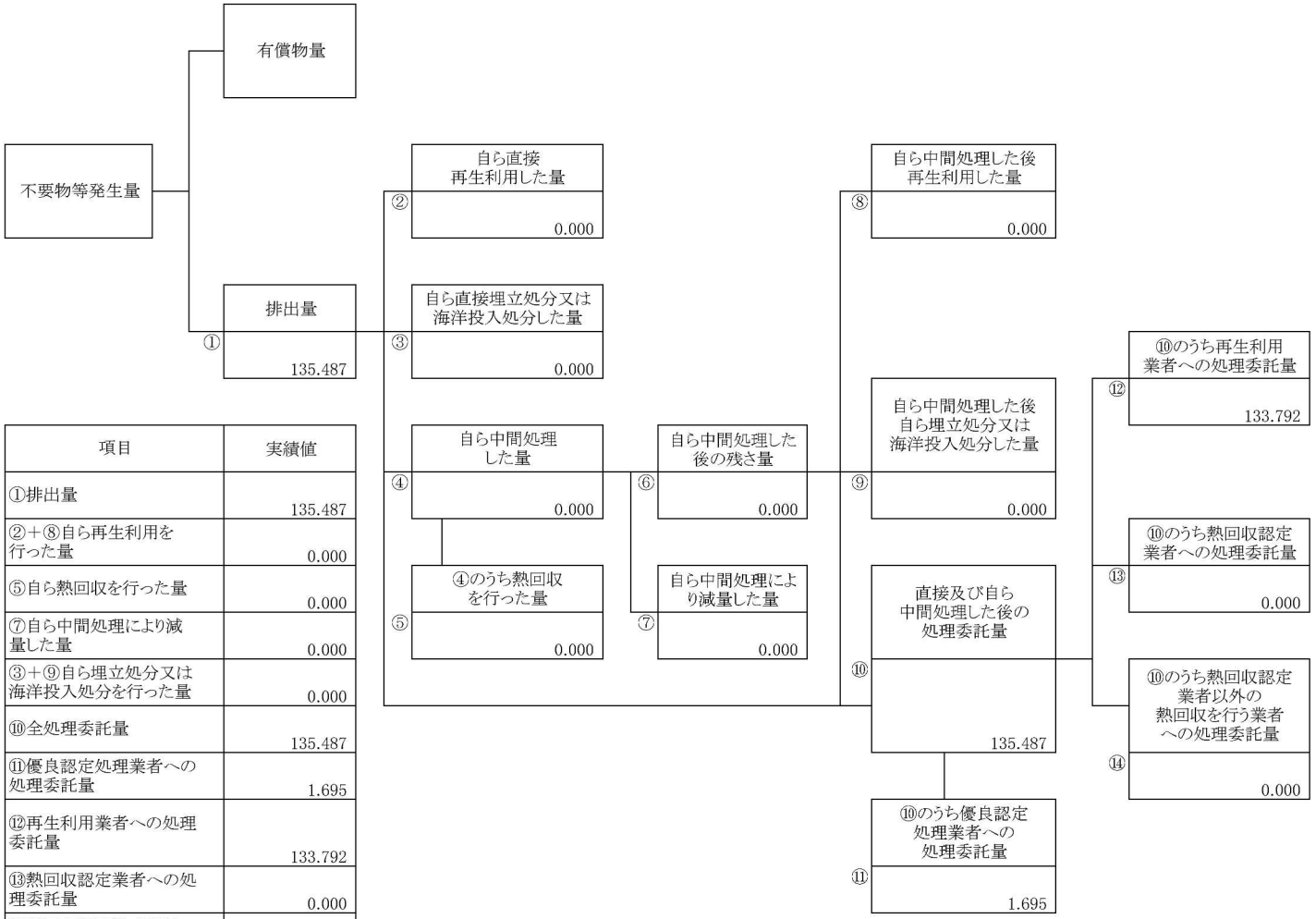
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）



項目	実績値
①排出量	1.716
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1.716
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.320
⑫再生利用業者への処理委託量	0.396
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）

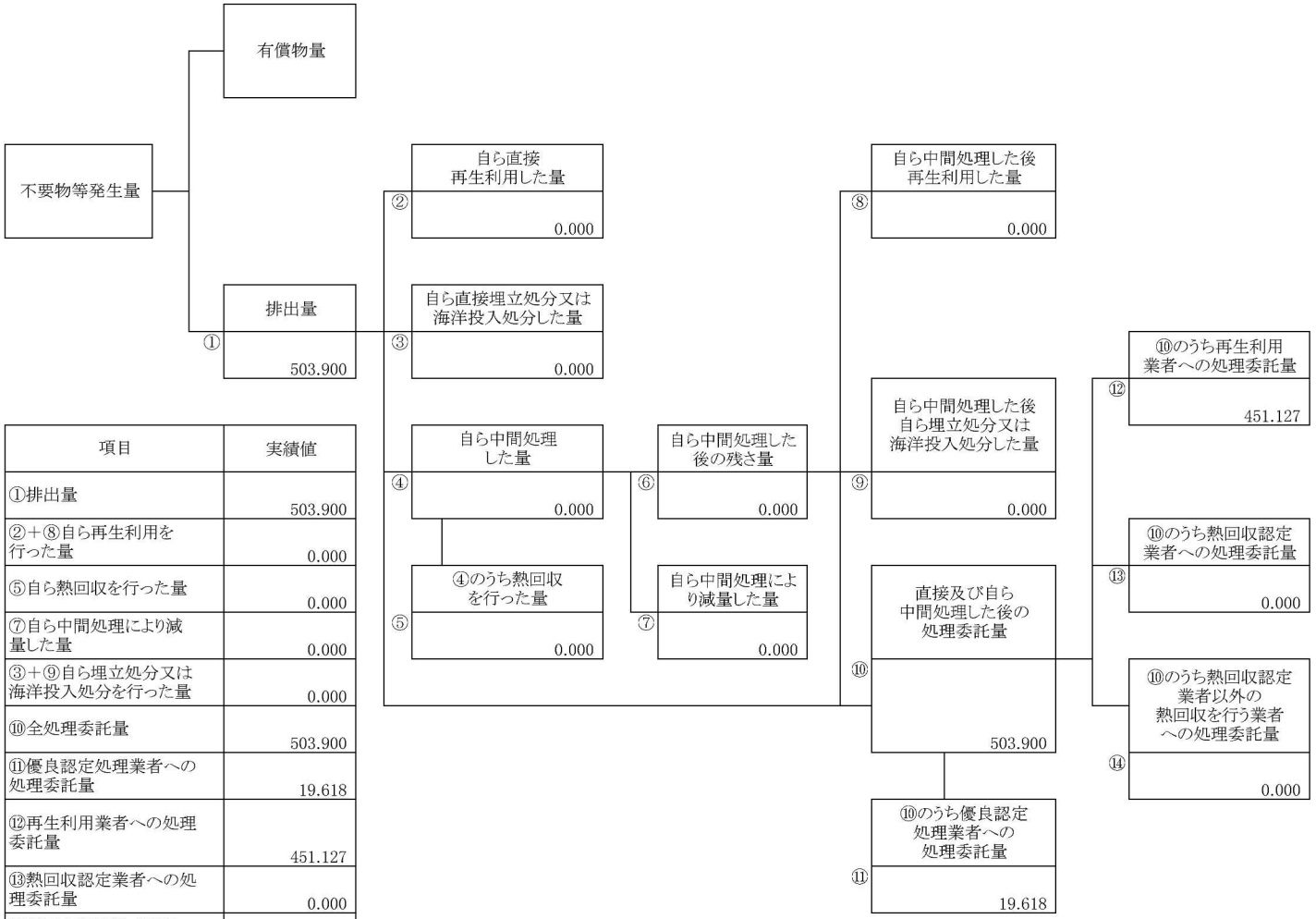


項目	実績値
①排出量	135.487
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	135.487
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.695
⑫再生利用業者への処理委託量	133.792
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

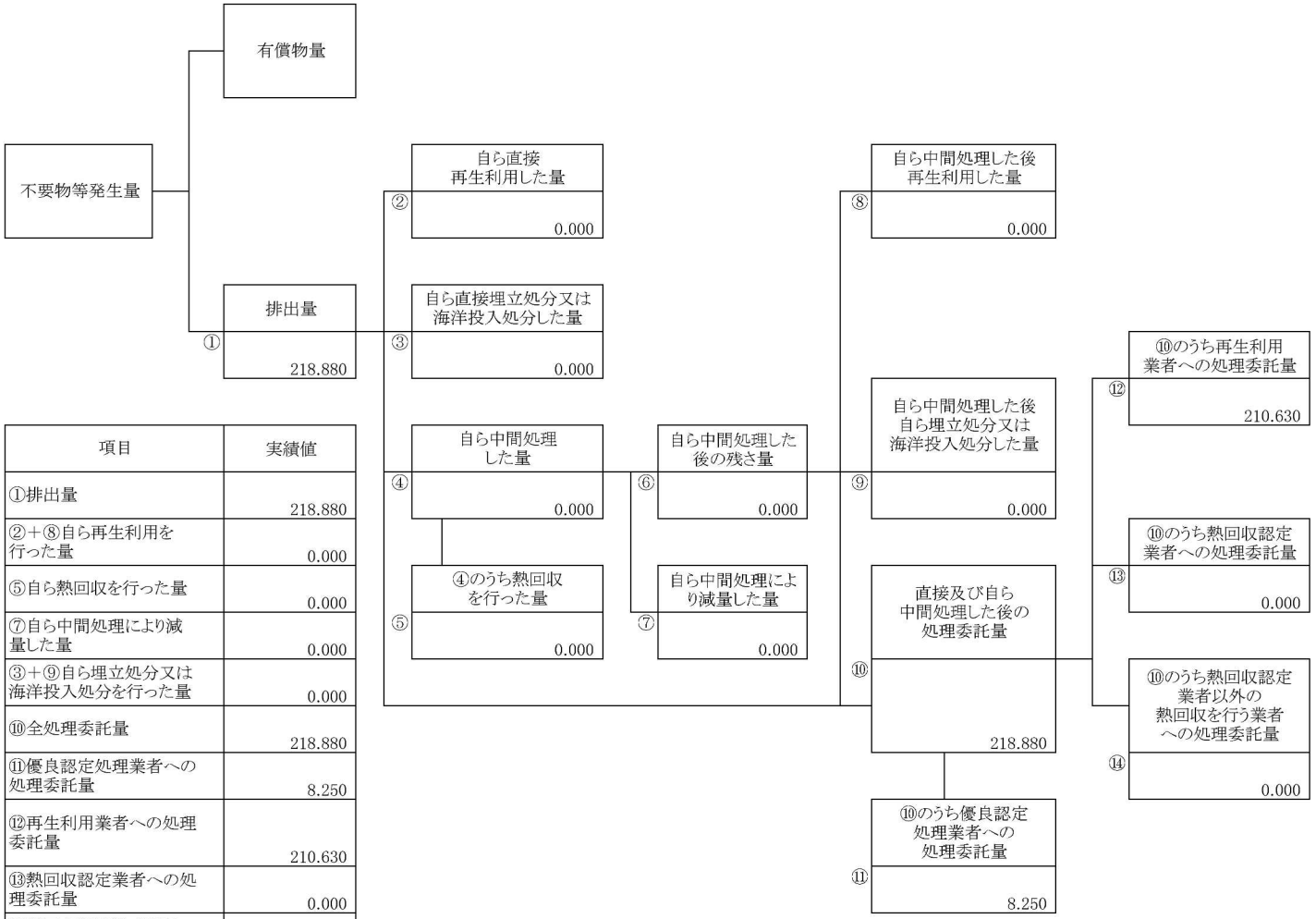
（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）



項目	実績値
①排出量	503.900
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	503.900
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.618
⑫再生利用業者への処理委託量	451.127
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

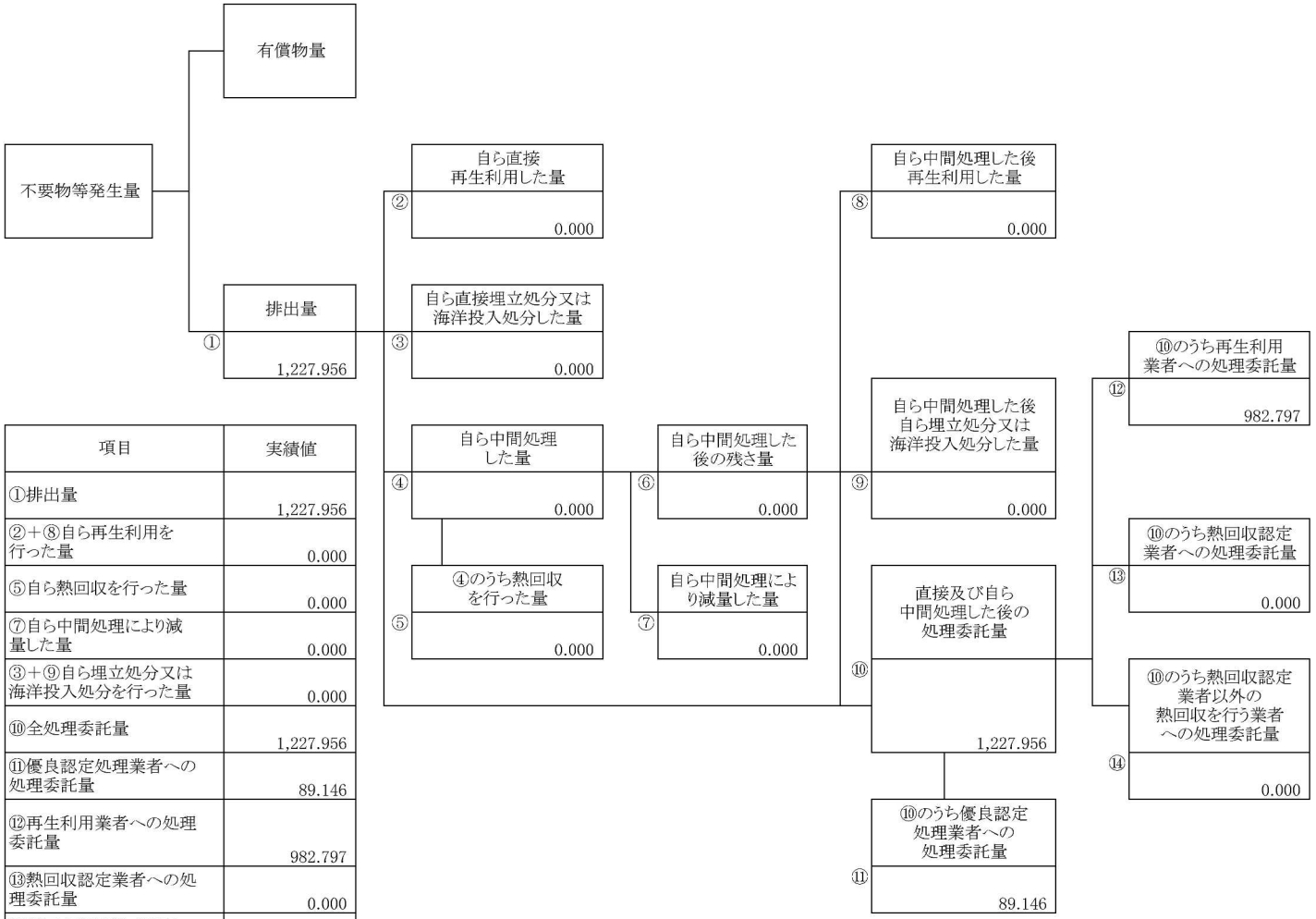
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：石膏ボード　　）



項目	実績値
①排出量	218.880
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	218.880
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.250
⑫再生利用業者への処理委託量	210.630
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

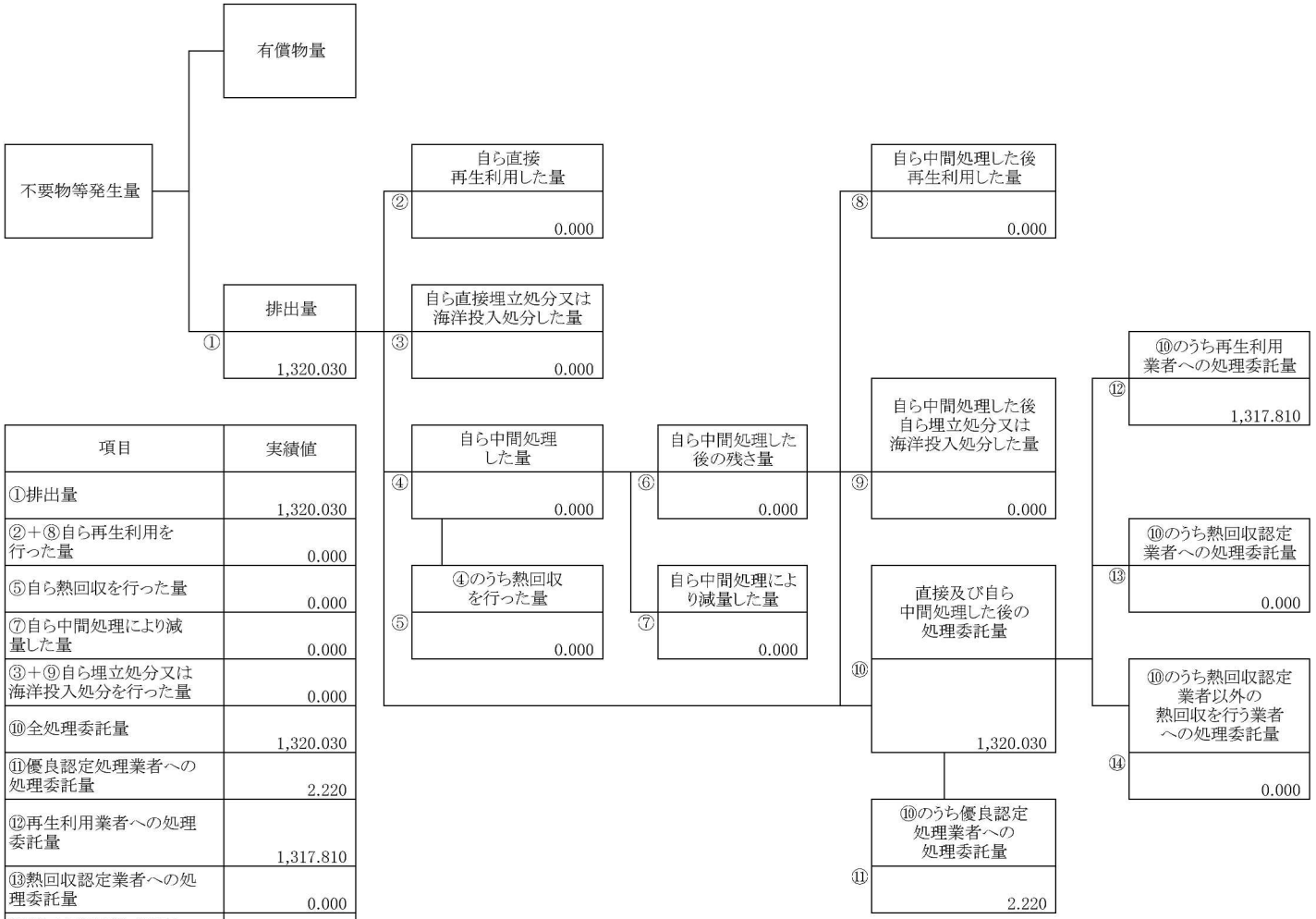
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	1,227.956
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1,227.956
⑪優良認定処理業者への処理委託量	89.146
⑫再生利用業者への処理委託量	982.797
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

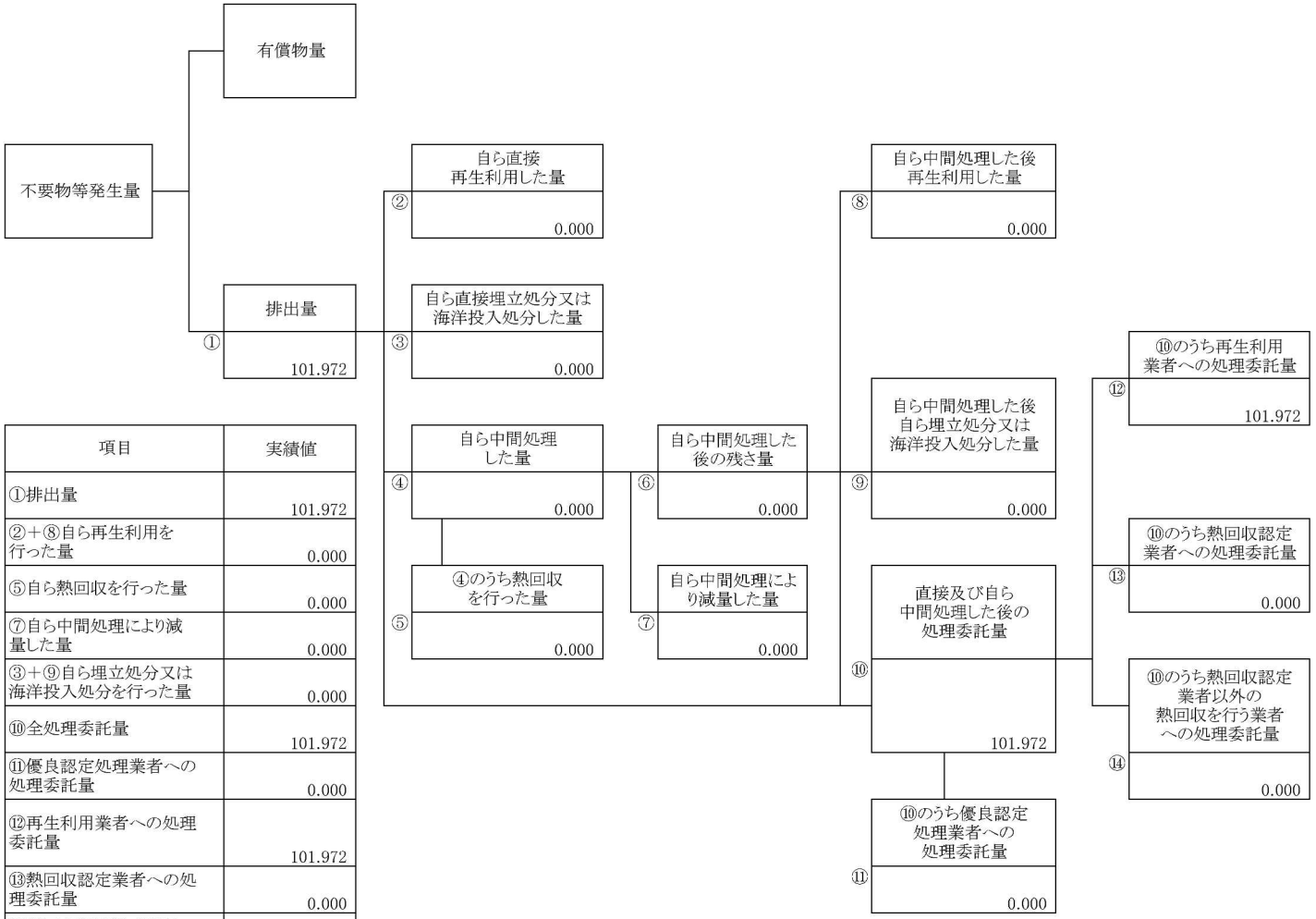
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：コンクリート破片　　）



項目	実績値
①排出量	1,320.030
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1,320.030
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.220
⑫再生利用業者への処理委託量	1,317.810
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：アスファルト破片　　）

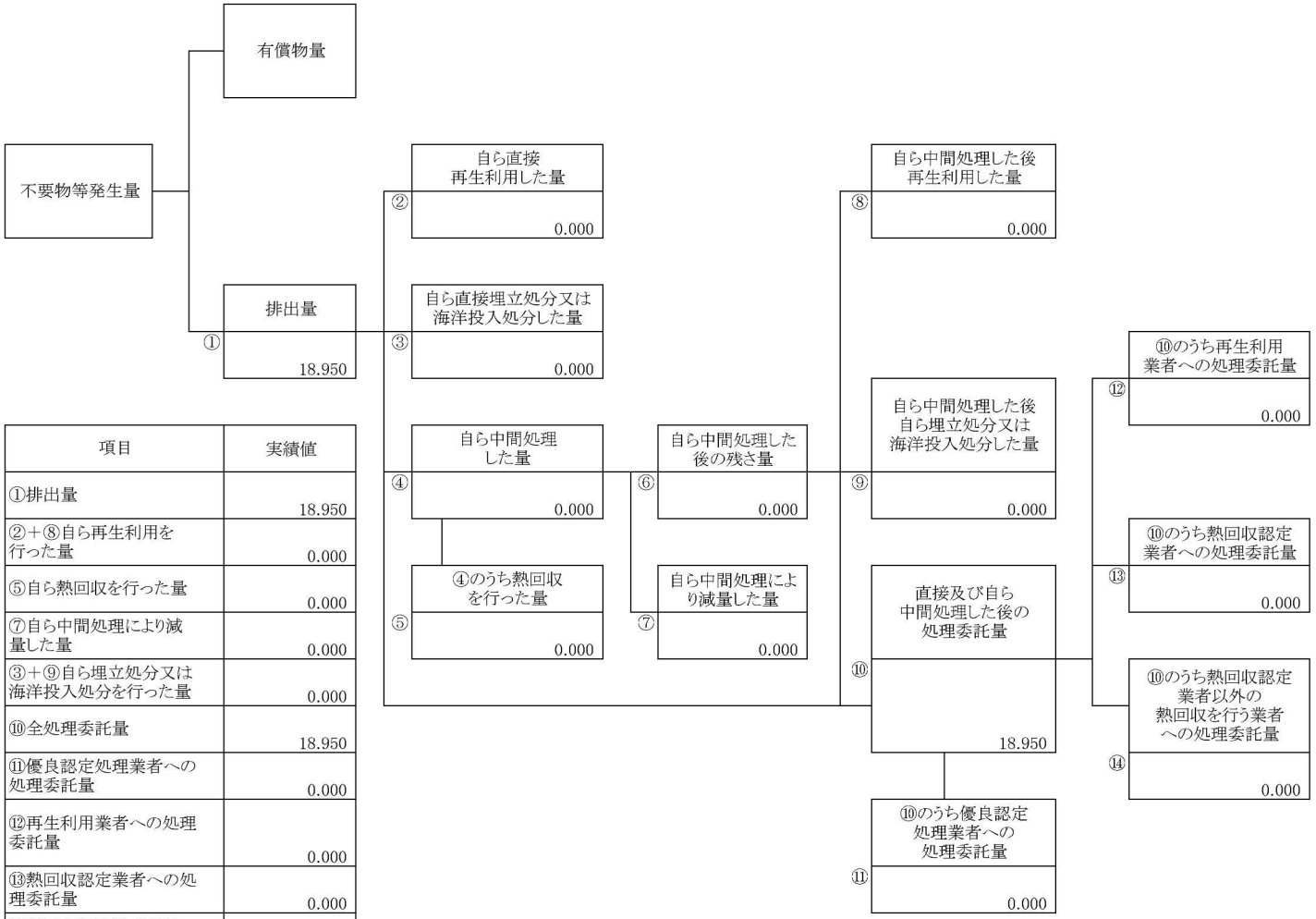


項目	実績値
①排出量	101.972
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	101.972
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	101.972
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

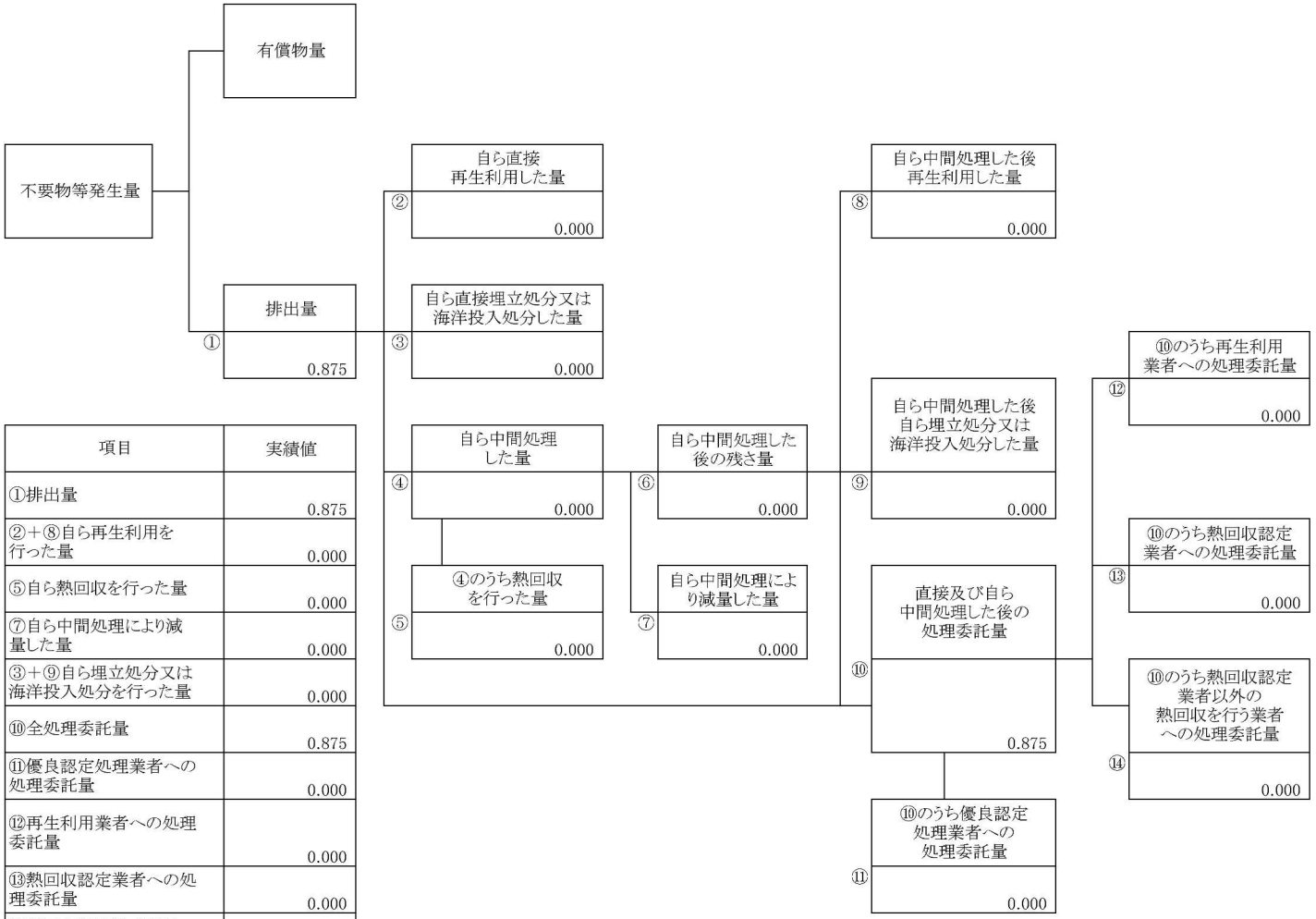
（産業廃棄物の種類：【石綿含有】ガラスくず、陶磁器くず　　）



項目	実績値
①排出量	18.950
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	18.950
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

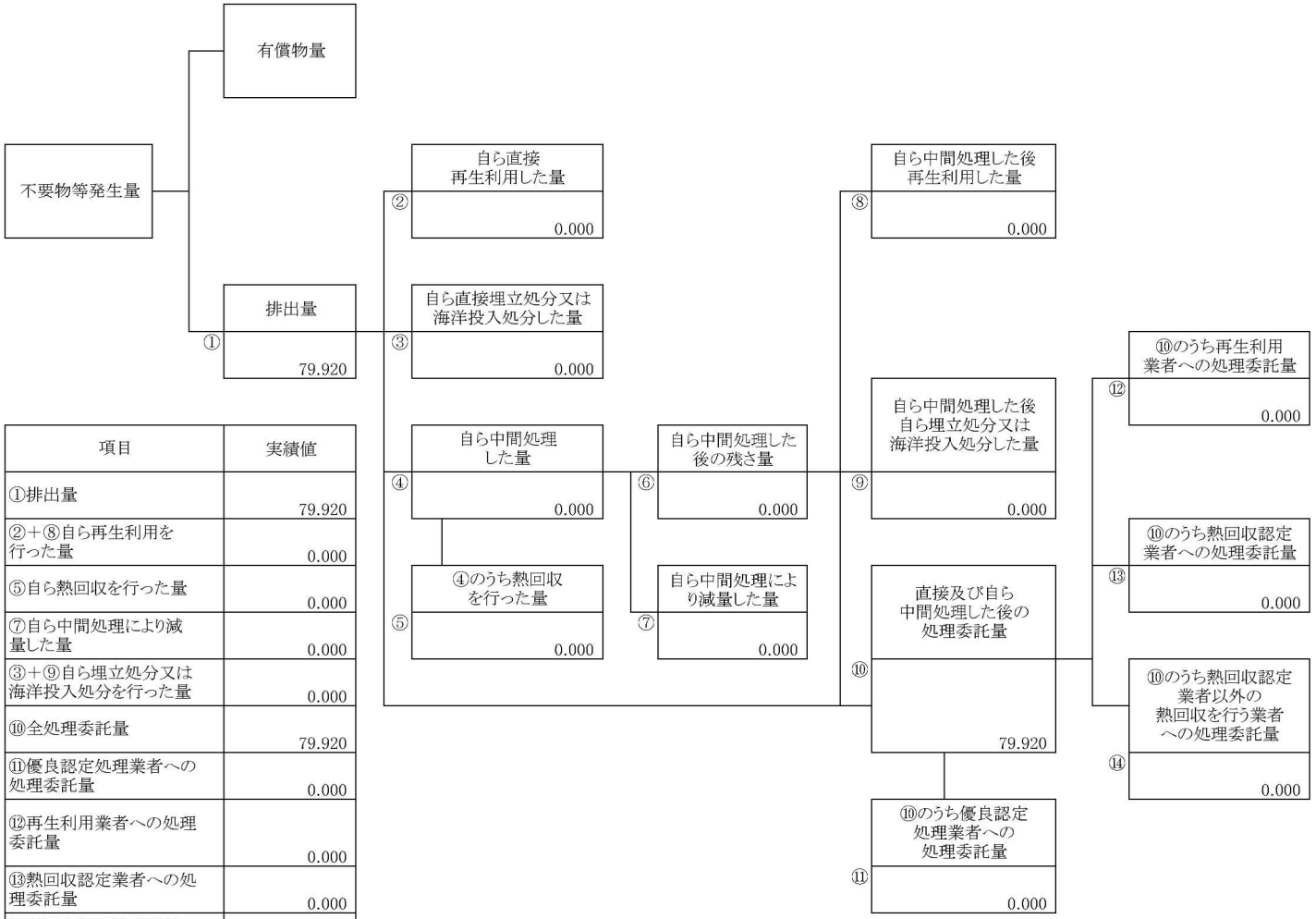
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：【石綿含有】廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	0.875
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.875
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

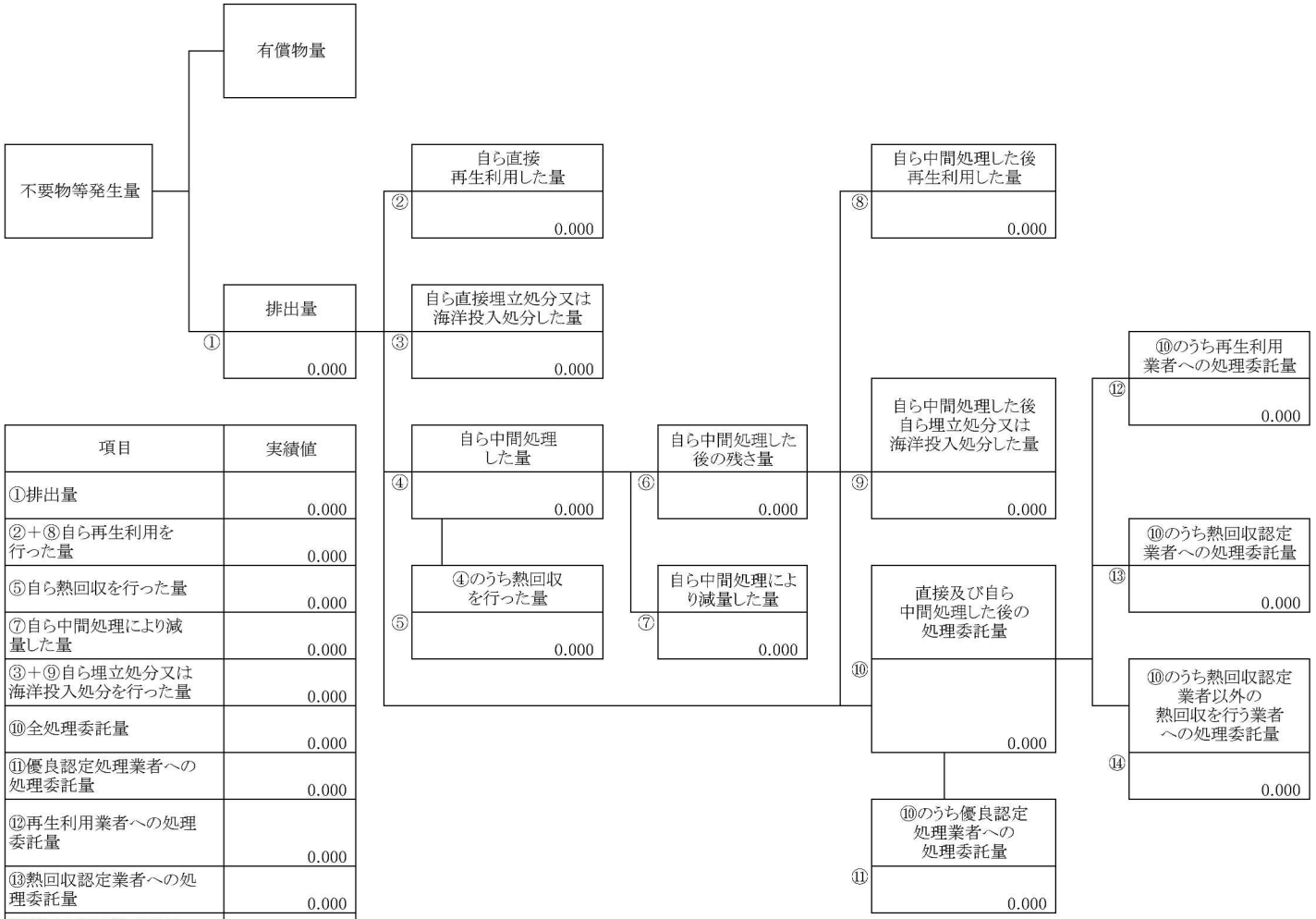
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：【石綿含有】がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	79.920
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	79.920
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

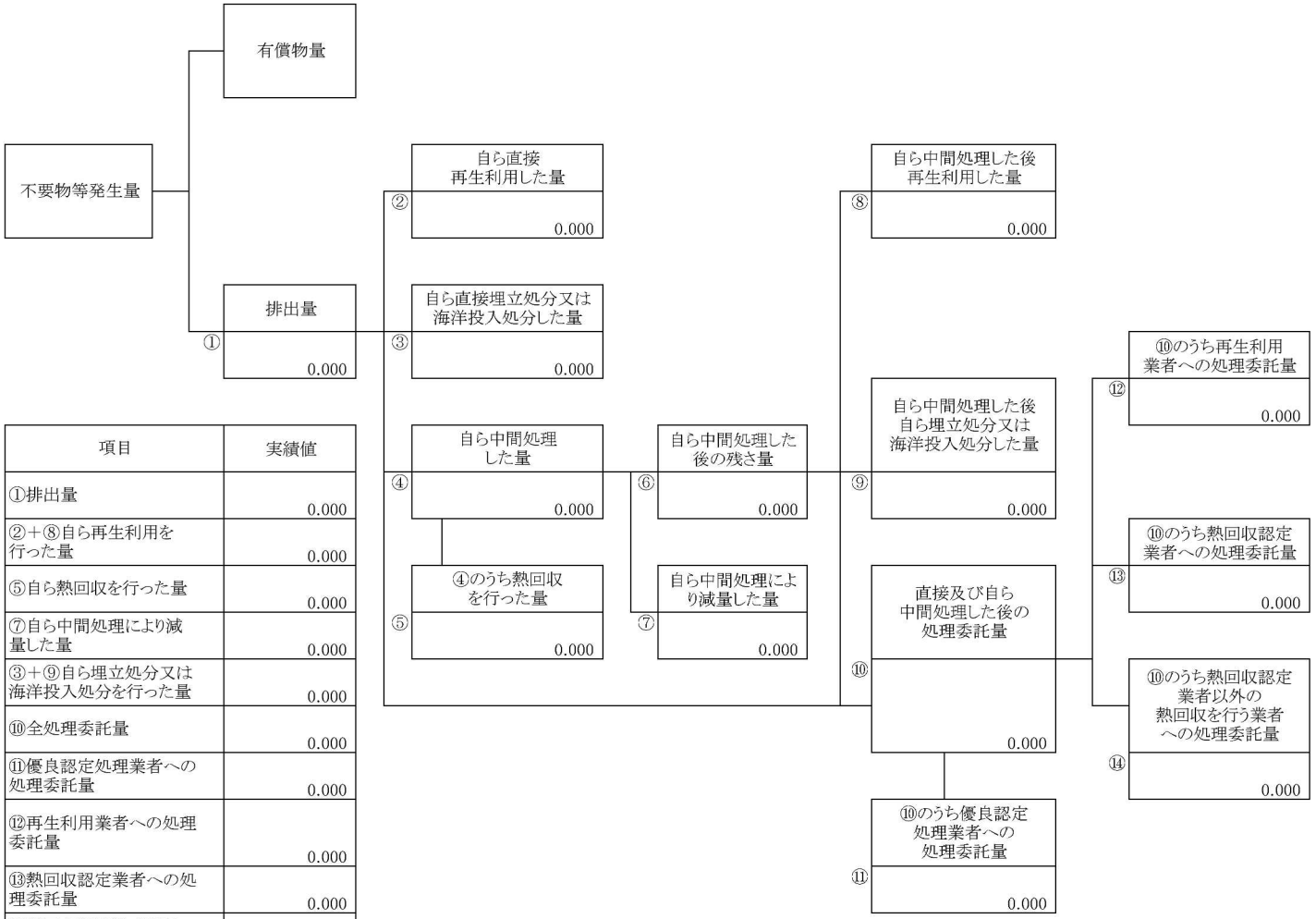
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：【石綿含有】紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

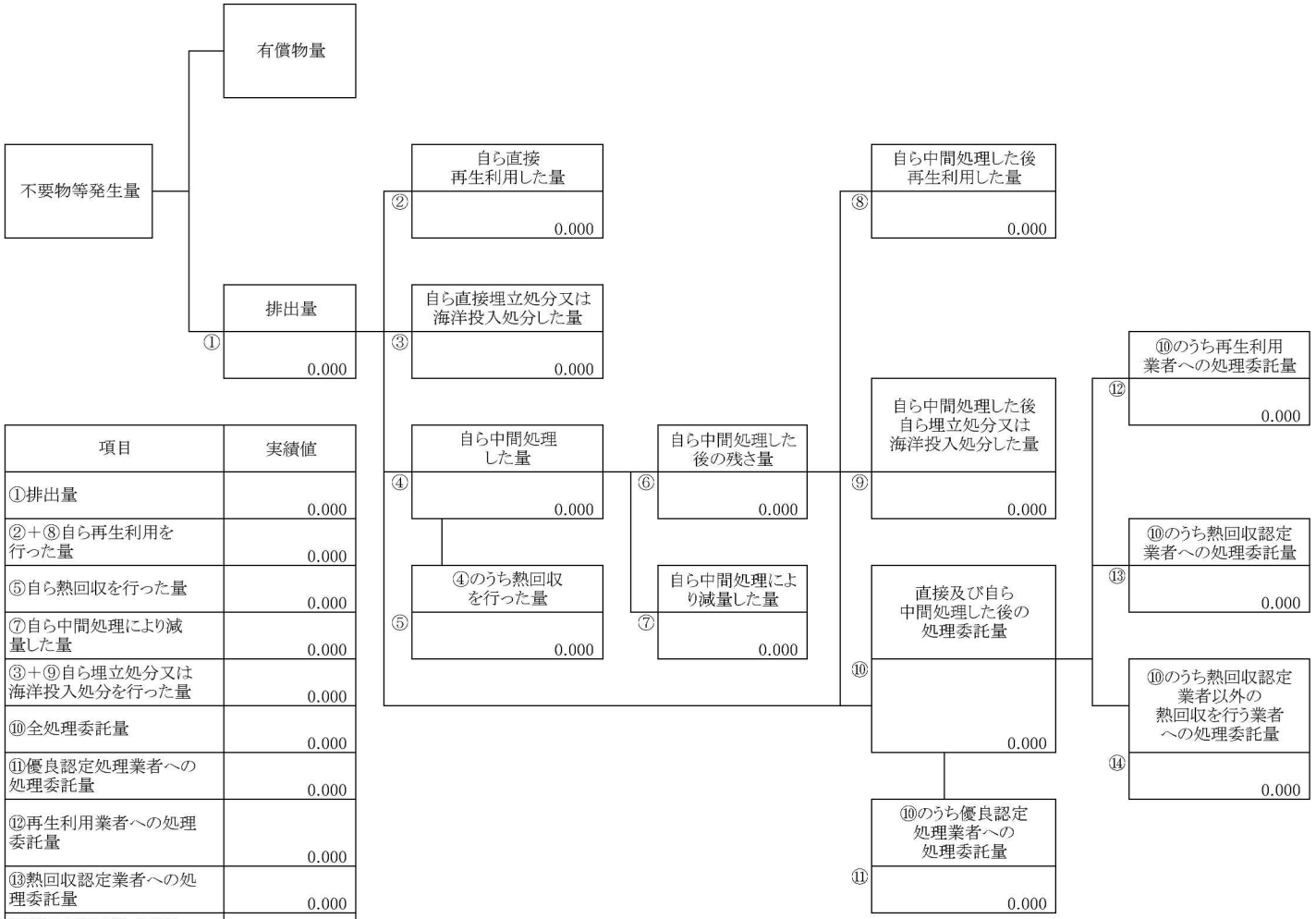
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：混合（安定型）　　）



項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：混合（管理型）　　）

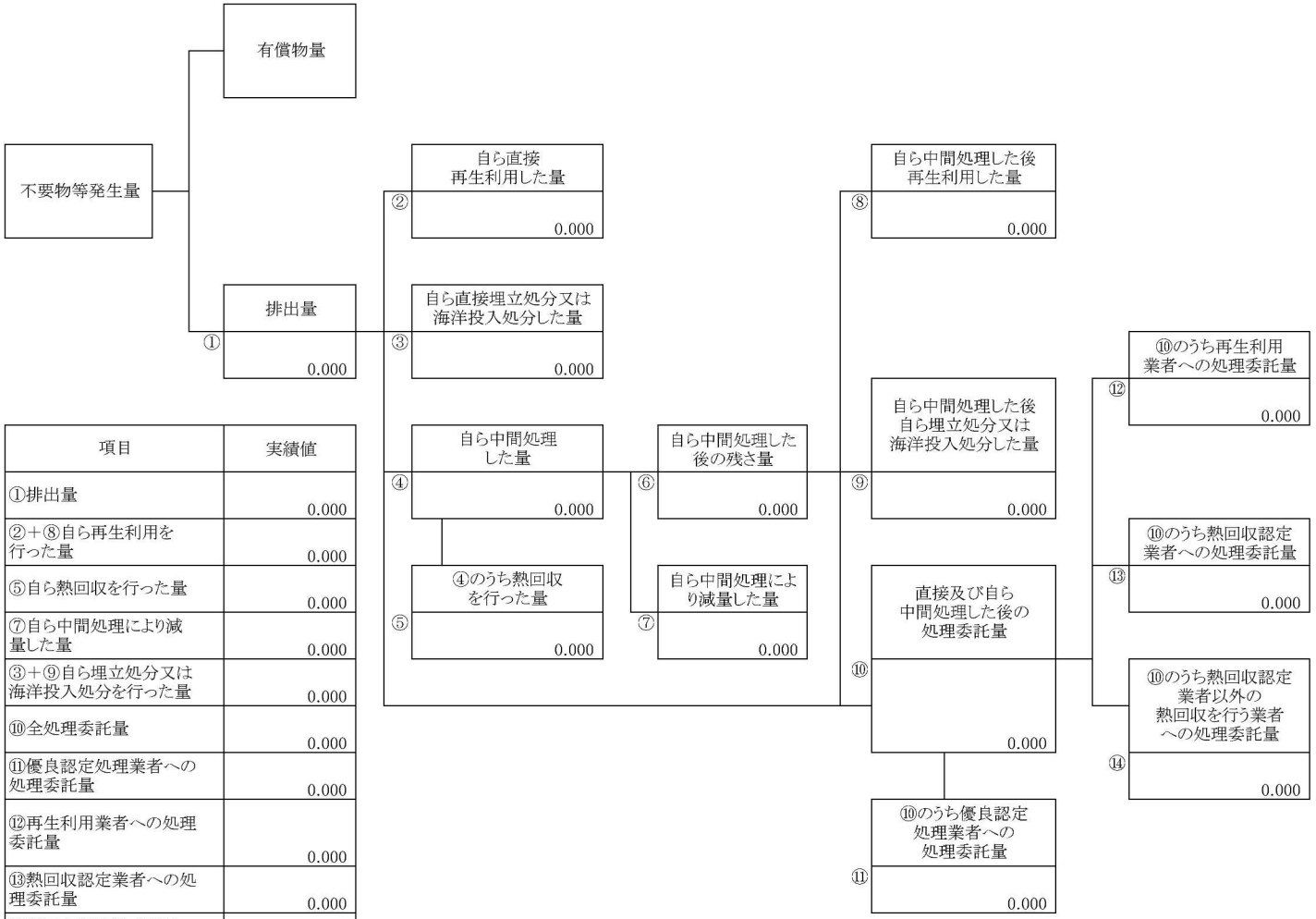


項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

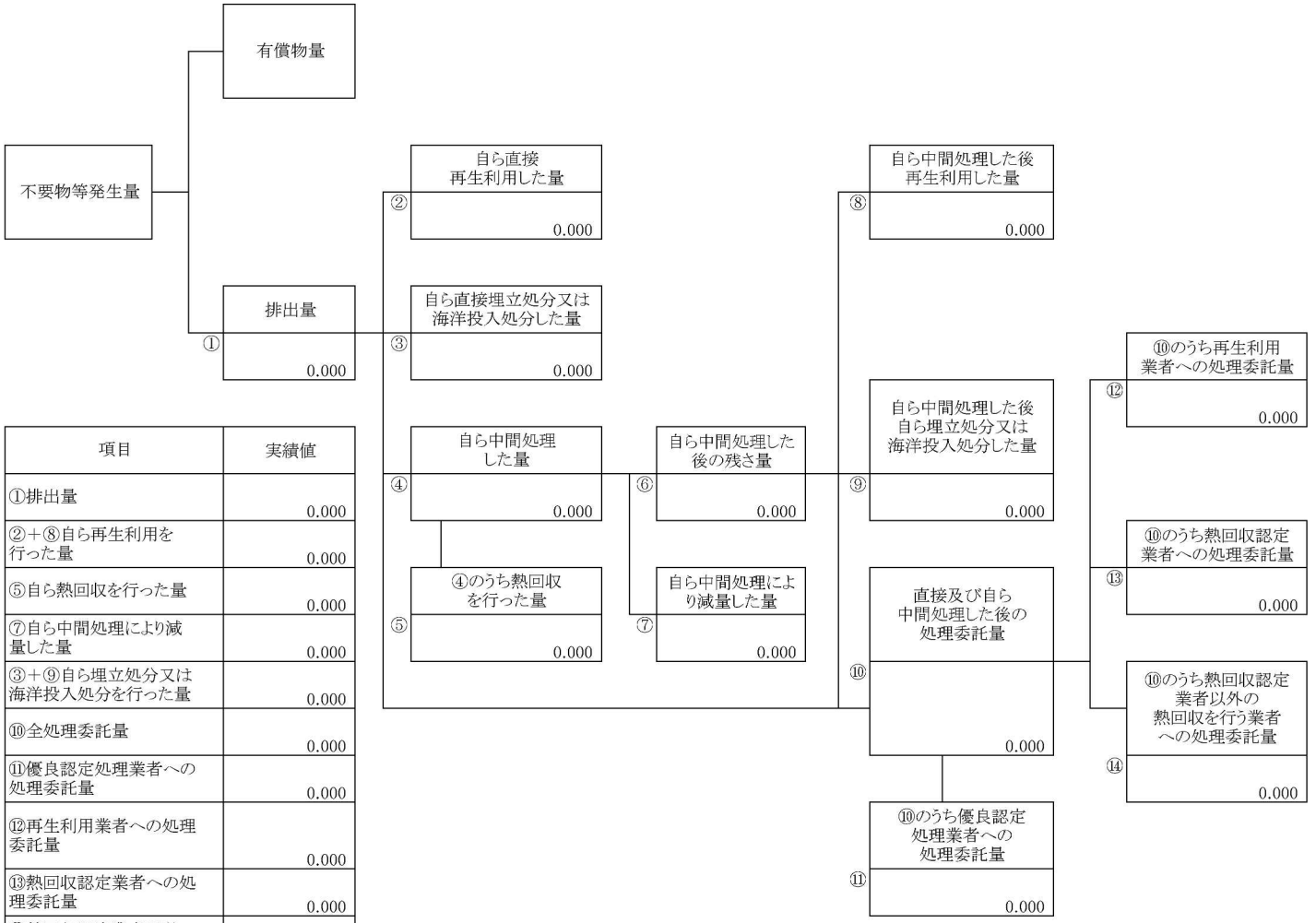
（産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）　　）



項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃石綿　　）



項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況内訳

整 理 番 号 ：

（単位：トン）

廃棄物の種類 項目	詳細	発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分	⑧直接委託及び自己処理後委託
汚泥										
	小計	385.706	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
廃プラスチック										
	小計	716.707	449.635	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	449.635
紙くず										
	小計	195.145	171.540	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	171.540
木くず										
	小計	4,422.628	3,203.720	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3,203.720
繊維くず										
	小計	0.987	1.716	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.716
金属くず										
	小計	234.057	135.487	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	135.487
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず										
	小計	552.147	503.900	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	503.900
石膏ボード										
	小計	319.574	218.880	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	218.880
がれき類										
	小計	1,078.103	1,227.956	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,227.956
コンクリート破片										
	小計	2,101.125	1,320.030	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,320.030
アスファルト・コンクリート破片										
	小計	114.034	101.972	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	101.972
【石綿含有】ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず										
	小計	16.977	18.950	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	18.950

（単位：トン）

廃棄物の種類 項目	詳細	発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分	⑧直接委託及び自己処理後委託
【石綿含有】廃プラスチック										
	小計	0.000	0.875	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.875
【石綿含有】がれき類										
	小計	244.110	79.920	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	79.920
【石綿含有】紙くず										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
混合（安定型）										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
混合（管理型）										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
廃石綿										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	小計			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	小計			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	小計		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
合　計		10,381.300	7,434.581	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7,434.581

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月4日

千葉県知事　　殿

提出者

住所　**東京都江東区亀戸7丁目41番9号SKYHOUSEGRANDE1階**

氏名　大東建託株式会社　　江東 支店
支店長　　稲若　玲史
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5609-7464

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大東建託株式会社　江東支店
事業場の所在地	東京都江東区亀戸７丁目４１番９号ＳＫＹＨＯＵＳＥＧＲＡＮＤＥ１階
計画期間	令和７年４月１日　から　令和８年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	Ｄ０６　総合工事業
②事業の規模	11,419　百万円（前年度完工高）
③従業員数	119　人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥　→ 脱水・調質改良 → 改良土として再生利用又は埋立 がれき類　→ 破砕 → 再生砕石として再生利用 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ → 破砕､圧縮梱包 → 原料、燃料として再生利用 → 埋立 金属くず　→ 切断、破砕　→　原料として再利用 紙くず　→ 圧縮梱包 → 製紙原料等として再生利用 木くず　→ 破砕 → ﾁｯﾌﾟ・燃料等として再生利用 ｶﾞﾗｽくず､ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず　→　破砕　→　再利用または埋立

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本　社	・全社的な廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・全社的な廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（責任者）	・支店における廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・支店における廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（担当者）	・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・産廃協力業者に対する教育、指導 ・委託契約の締結、契約書の管理 ・その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　　出　　量	192.500　t	10.325　t

（これまでに実施した取組）
・電子マニフェストの導入。
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　　出　　量	176.254　t	9.454　t

（今後実施する予定の取組）
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。
・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・狭小現場での分別の仕組をつくる。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　　出　　量	7.140　t	11.550　t	－　t	12.656　t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　　出　　量	6.537　t	10.575　t	－　t	11.588　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　　出　　量	0.500　t	2.700　t	1,822.620　t	4.440　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　　出　　量	0.458　t	2.472　t	1,668.797　t	4.065　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　　出　　量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	【前年度（　令和　５　年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―　t	―　t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	―　t	―　t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	【前年度（　令和　５　年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―　t	―　t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	―　t	―　t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	―　t	―　t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―　t	―　t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
全処理委託量	192.500 t	10.325 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	8.056 t
再生利用業者への処理委託量	192.500 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	7.140 t	11.550 t	0.000 t	12.656 t
優良認定処理業者への処理委託量	6.373 t	10.937 t	0.000 t	12.656 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	0.500 t	2.700 t	1,822.620 t	4.440 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.306 t	2.635 t	1,603.523 t	4.440 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　５　年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>176.254　t</td><td>9.454　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0.000　t</td><td>7.376　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>176.254　t</td><td>0.000　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0.000　t</td><td>0.000　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0.000　t</td><td>0.000　t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）

・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・現場作業、現場加工の削減。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	6.537 t	10.575 t	0.000 t	11.588 t
優良認定処理業者への処理委託量	5.835 t	10.014 t	0.000 t	11.588 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	0.458 t	2.472 t	1,668.797 t	4.065 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.280 t	2.413 t	1,468.191 t	4.065 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類		アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量		0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿	0	0	
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画内訳

整 理 番 号 ：

（単位:トン）

廃棄物の種類	前年度の産業廃棄物発生量	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	⑧直接委託及び自己処理後委託処分量
汚泥	192.500	176.254							176.254
廃プラスチック	10.325	9.454							9.454
紙くず	7.140	6.537							6.537
木くず	11.550	10.575							10.575
繊維くず	0.000	0.000							0.000
金属くず	12.656	11.588							11.588
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.500	0.458							0.458
石膏ボード	2.700	2.472							2.472
がれき類	1,822.620	1,668.797							1,668.797
コンクリート破片	4.440	4.065							4.065
アスファルト・コンクリート破片	0.000	0.000							0.000
【石綿含有】ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.000	0.000							0.000
【石綿含有】廃プラスチック	0.000	0.000							0.000
【石綿含有】がれき類	0.000	0.000							0.000
【石綿含有】紙くず	0.000	0.000							0.000
混合（安定型）	0.000	0.000							0.000
混合（管理型）	0.000	0.000							0.000
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）	0.000	0.000							0.000
廃石綿	0.000	0.000							0.000
合計	2,064.431	1,890.200	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,890.200

産業廃棄物処理計画書

事業場の名称	大東建託株式会社　江東支店
事業場の所在地	東京都江東区亀戸７丁目４１番９号ＳＫＹＨＯＵＳＥＧＲＡＮＤＥ１階
①当該事業場における事業の概要	別添のとおり
②計画期間	令和７年４月１日　から　令和８年３月３１日
③産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
④産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑤産業廃棄物の分別に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑥産業廃棄物の再生利用に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑦産業廃棄物の処理に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
備考	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月11日

千葉県知事　　殿

提出者

住所　　千葉県千葉市中央区旭町24番12号ブライトン1F

氏名　大東建託株式会社　　千葉 支店

支店長　　篠原　聡

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-202-1002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大東建託株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区旭町２４番１２号ブライトン１Ｆ
計画期間	令和７年４月１日　から　令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	Ｄ０６　総合工事業
②事業の規模	14,835　百万円（前年度完工高）
③従業員数	75　人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥　→ 脱水・調質改良 → 改良土として再生利用又は埋立 がれき類 → 破砕 → 再生砕石として再生利用 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ → 破砕、圧縮梱包 → 原料、燃料として再生利用 → 埋立 金属くず → 切断、破砕 → 原料として再利用 紙くず → 圧縮梱包 → 製紙原料等として再生利用 木くず → 破砕 → ﾁｯﾌﾟ・燃料等として再生利用 ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず → 破砕 → 再利用または埋立

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本　社	・全社的な廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用（再使用・再生利用）、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・全社的な廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（責任者）	・支店における廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用（再使用・再生利用）、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・支店における廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
支店（担当者）	・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・産廃協力業者に対する教育、指導 ・委託契約の締結、契約書の管理 ・その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　出　量	－　t	1,176.900　t

（これまでに実施した取組）
・電子マニフェストの導入。
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排　出　量	－　t	1,138.910　t

（今後実施する予定の取組）
・古紙のゼロエミッションの取り組み。
・協力業者へ分別の指導・教育を実施。
・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。
・広域認定での再資源化促進。
・端材の有効利用による処分量削減。
・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・狭小現場での分別の仕組をつくる。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　出　量	129.450 t	1,770.520 t	6.180 t	124.413 t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排　出　量	125.271 t	1,713.369 t	5.981 t	120.397 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　出　量	738.370 t	366.742 t	1,473.488 t	1,014.615 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排　出　量	714.536 t	354.904 t	1,425.925 t	981.864 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　出　量	221.510　t	31.900　t	－　t	139.416　t

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排　出　量	214.360　t	30.870　t	－　t	134.916　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　出　量	－　t	－　t	12.350　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排　出　量	－　t	－　t	11.951　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　出　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
排　出　量	－　t	－　t	－　t	－　t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　6 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　6 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
全処理委託量	0.000 t	1,176.900 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	5.393 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	1,127.965 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）
・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	129.450 t	1,770.520 t	6.180 t	124.413 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.480 t	86.675 t	0.383 t	5.198 t
再生利用業者への処理委託量	128.866 t	1,509.368 t	5.415 t	119.215 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	738.370　t	366.742　t	1,473.488　t	1,014.615　t
優良認定処理業者への処理委託量	12.171　t	23.599　t	199.345　t	10.192　t
再生利用業者への処理委託量	653.491　t	326.085　t	856.337　t	1,004.423　t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	221.510　t	31.900　t	0.000　t	139.416　t
優良認定処理業者への処理委託量	15.303　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
再生利用業者への処理委託量	177.630　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.000　t	0.000　t	12.350　t	0.000　t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
再生利用業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　令和　6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿			
全処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
再生利用業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>0.000 t</td><td>1,138.910 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0.000 t</td><td>5.219 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0.000 t</td><td>1,091.555 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0.000 t</td><td>0.000 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0.000 t</td><td>0.000 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）

・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。
・分別推進看板の現場掲示。
・現場での作業員への直接指導。
・現場作業、現場加工の削減。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	125.271 t	1,713.369 t	5.981 t	120.397 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.464 t	83.877 t	0.370 t	5.030 t
再生利用業者への処理委託量	124.707 t	1,460.646 t	5.240 t	115.367 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	714.536 t	354.904 t	1,425.925 t	981.864 t
優良認定処理業者への処理委託量	11.778 t	22.837 t	192.911 t	9.863 t
再生利用業者への処理委託量	632.396 t	315.559 t	828.695 t	972.001 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
全処理委託量	214.360 t	30.870 t	0.000 t	134.916 t
優良認定処理業者への処理委託量	14.809 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	171.896 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	11.951 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿	0	0	
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画内訳

整 理 番 号 ：

（単位:トン）

廃棄物の種類	前年度の産業廃棄物発生量	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	⑧直接委託及び自己処理後委託処分量
汚泥	0.000	0.000							0.000
廃プラスチック	1,176.900	1,138.910							1,138.910
紙くず	129.450	125.271							125.271
木くず	1,770.520	1,713.369							1,713.369
繊維くず	6.180	5.981							5.981
金属くず	124.413	120.397							120.397
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	738.370	714.536							714.536
石膏ボード	366.742	354.904							354.904
がれき類	1,473.488	1,425.925							1,425.925
コンクリート破片	1,014.615	981.864							981.864
アスファルト・コンクリート破片	221.510	214.360							214.360
【石綿含有】ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	31.900	30.870							30.870
【石綿含有】廃プラスチック	0.000	0.000							0.000
【石綿含有】がれき類	139.416	134.916							134.916
【石綿含有】紙くず	0.000	0.000							0.000
混合（安定型）	0.000	0.000							0.000
混合（管理型）	12.350	11.951							11.951
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）	0.000	0.000							0.000
合計	7,205.854	6,973.253	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	6,973.253

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月20日

千葉県知事　　殿

提出者
住 所　千葉県千葉市中央区旭町24番12号ブライトン1F
氏 名　大東建託株式会社　千葉　支店
支店長　篠原　聡
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-202-1002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

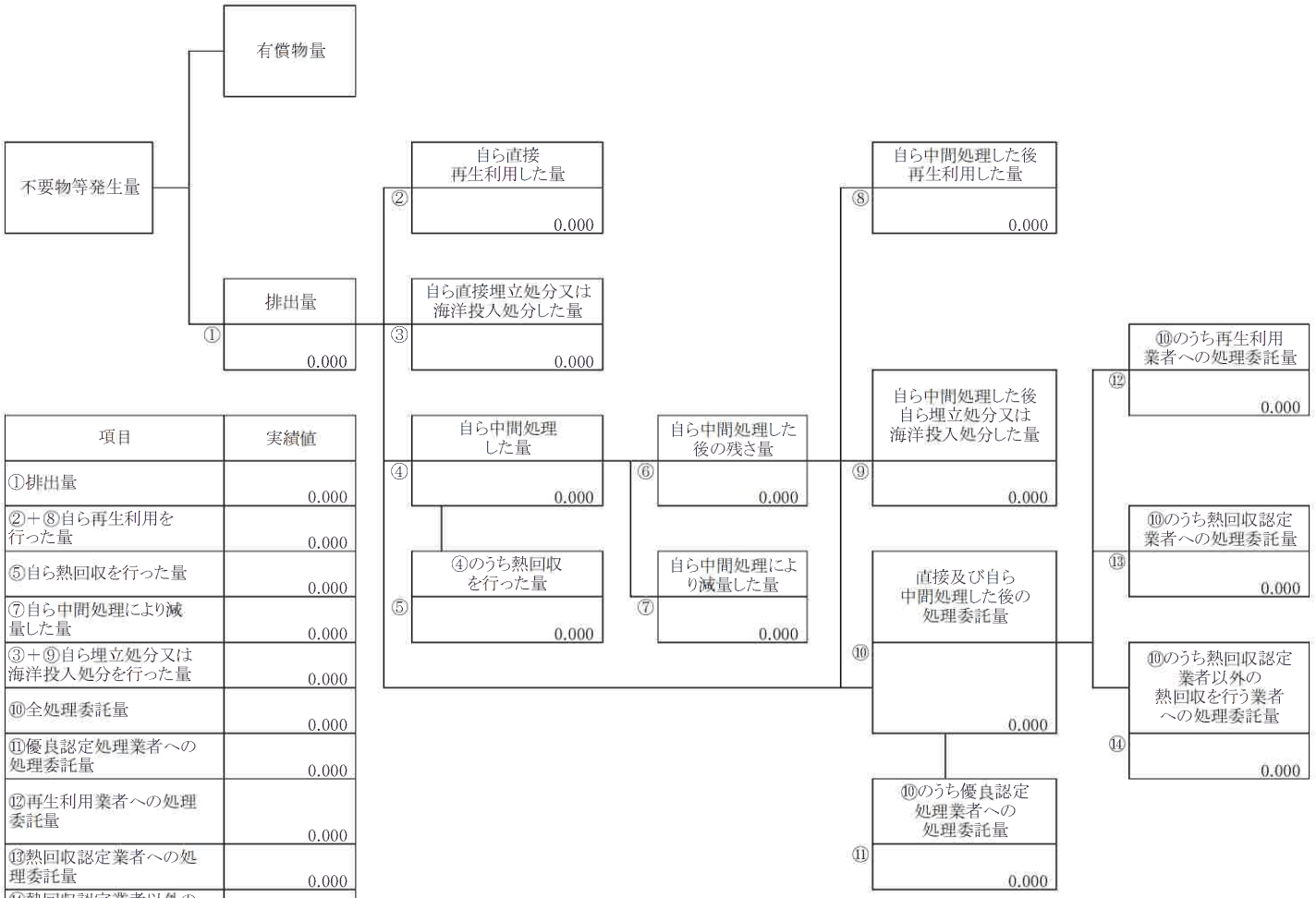
事業場の名称	大東建託株式会社　千葉 支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区旭町24番12号ブライトン1F
事業の種類	D06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年 4月 1日から令和7年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2493.200t	全処理委託量	2493.200t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.000t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2258.700t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.000t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：建設汚泥　　）

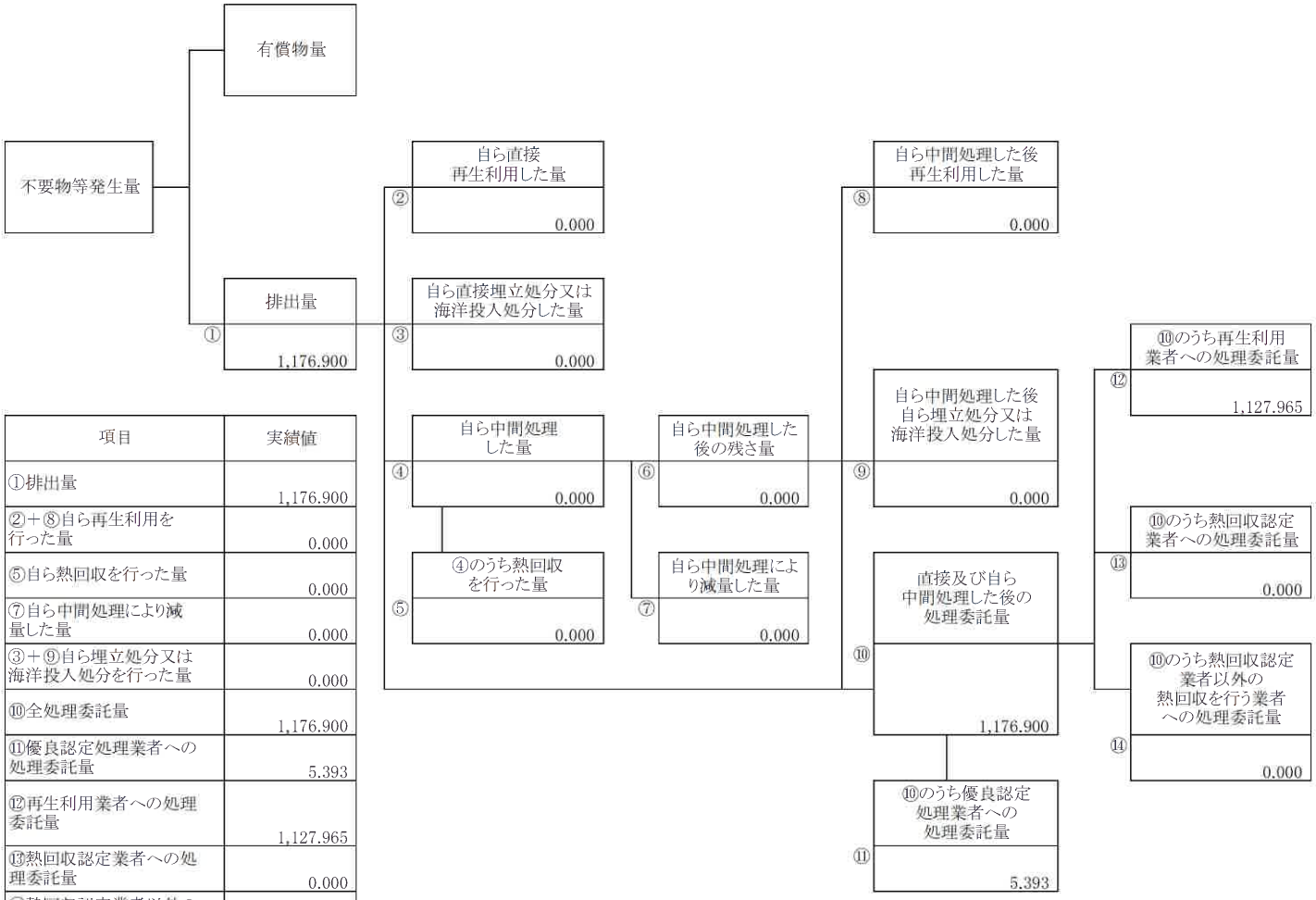


項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

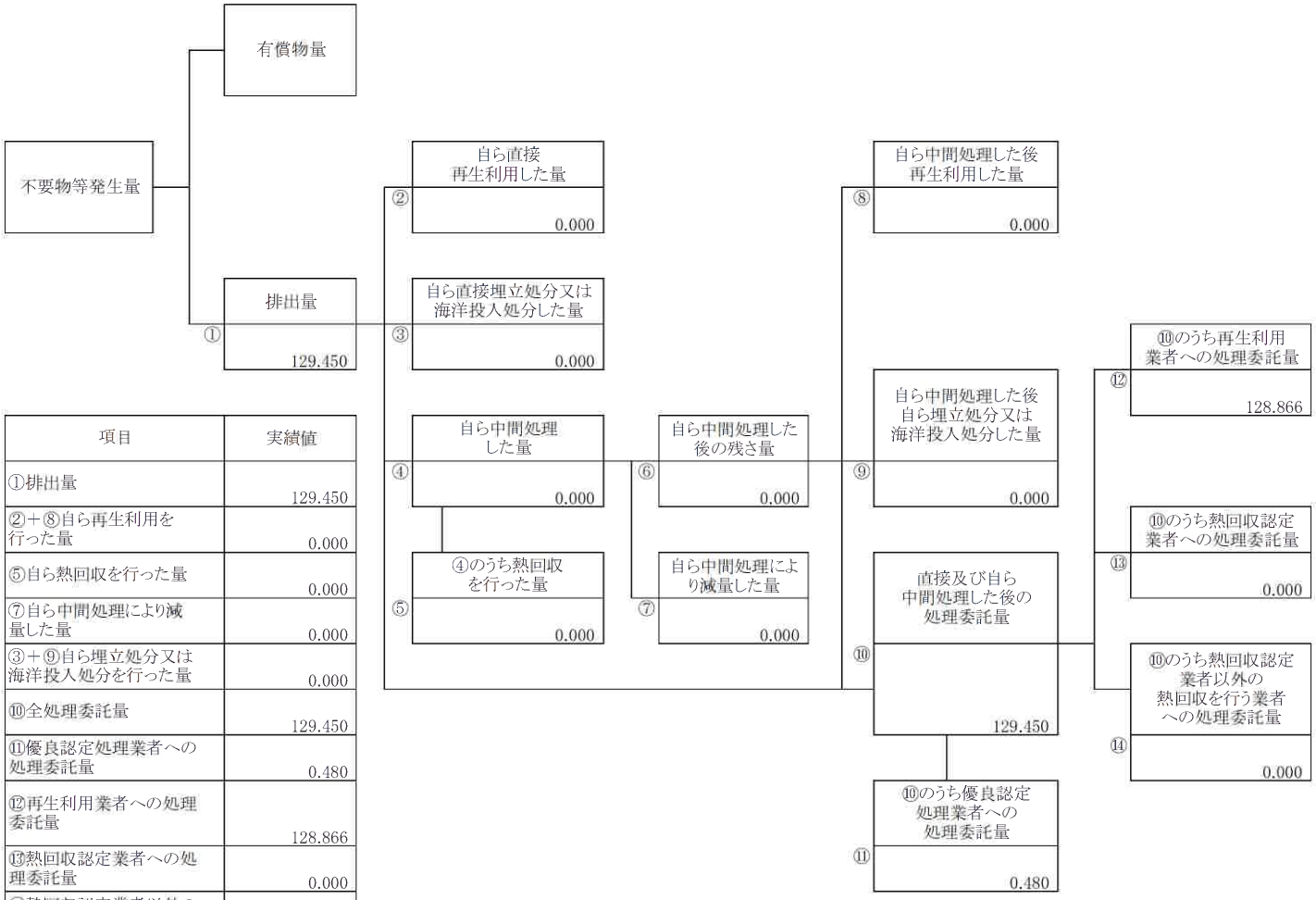
（産業廃棄物の種類：廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	1,176.900
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1,176.900
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.393
⑫再生利用業者への処理委託量	1,127.965
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：紙くず　　）

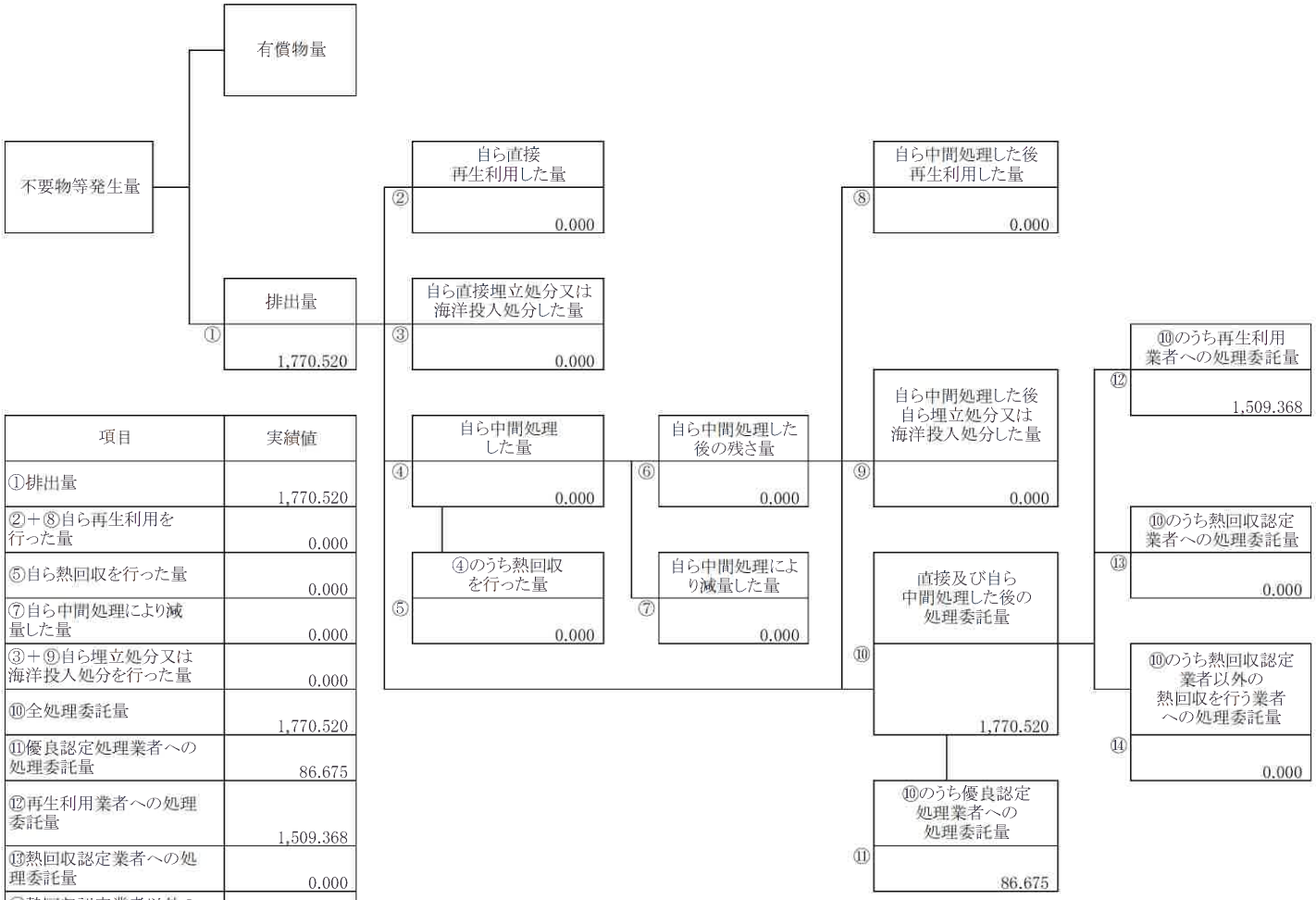


項目	実績値
①排出量	129.450
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	129.450
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.480
⑫再生利用業者への処理委託量	128.866
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

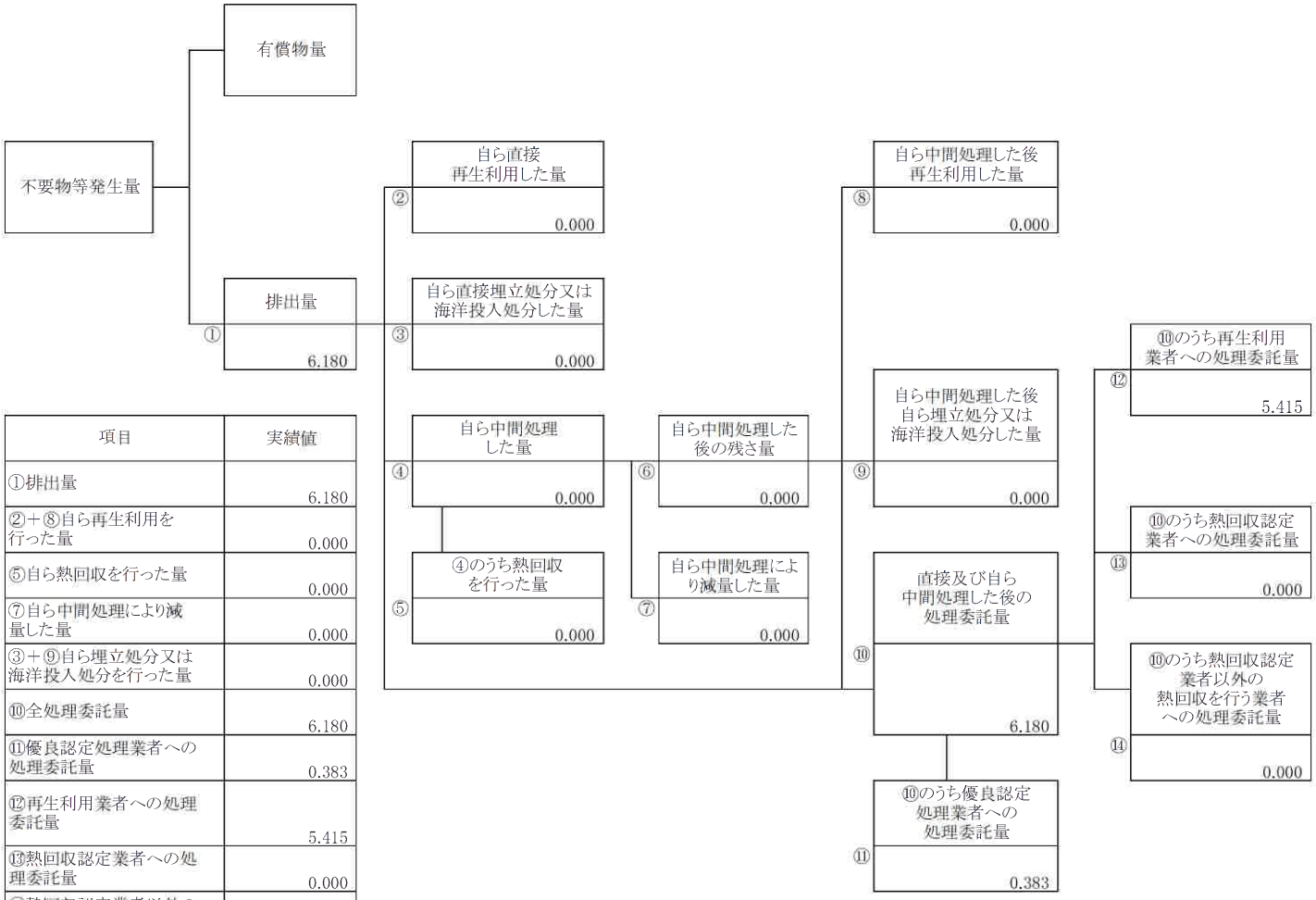
（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	1,770.520
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1,770.520
⑪優良認定処理業者への処理委託量	86.675
⑫再生利用業者への処理委託量	1,509.368
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）

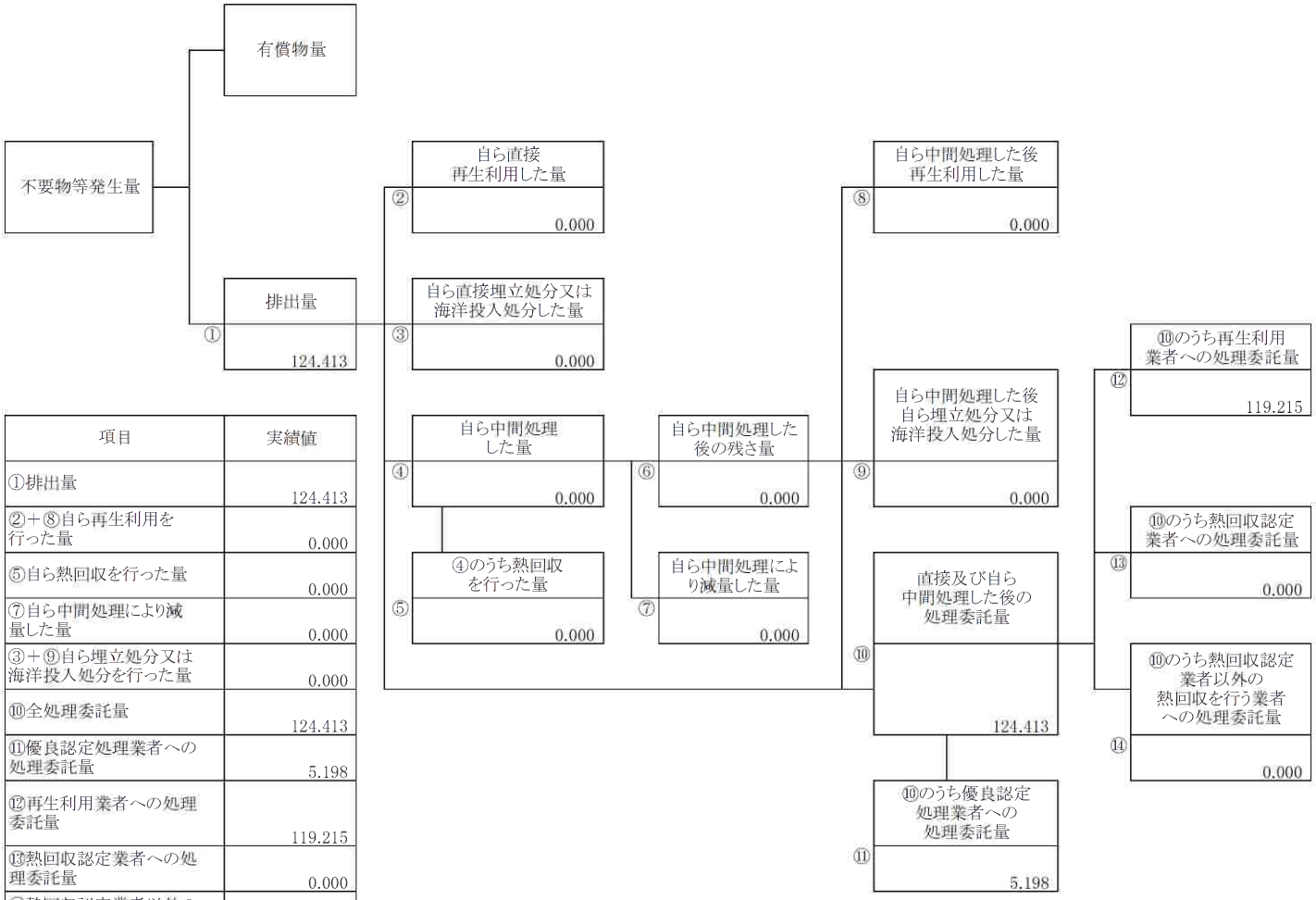


項目	実績値
①排出量	6.180
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	6.180
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.383
⑫再生利用業者への処理委託量	5.415
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：金属くず　　）

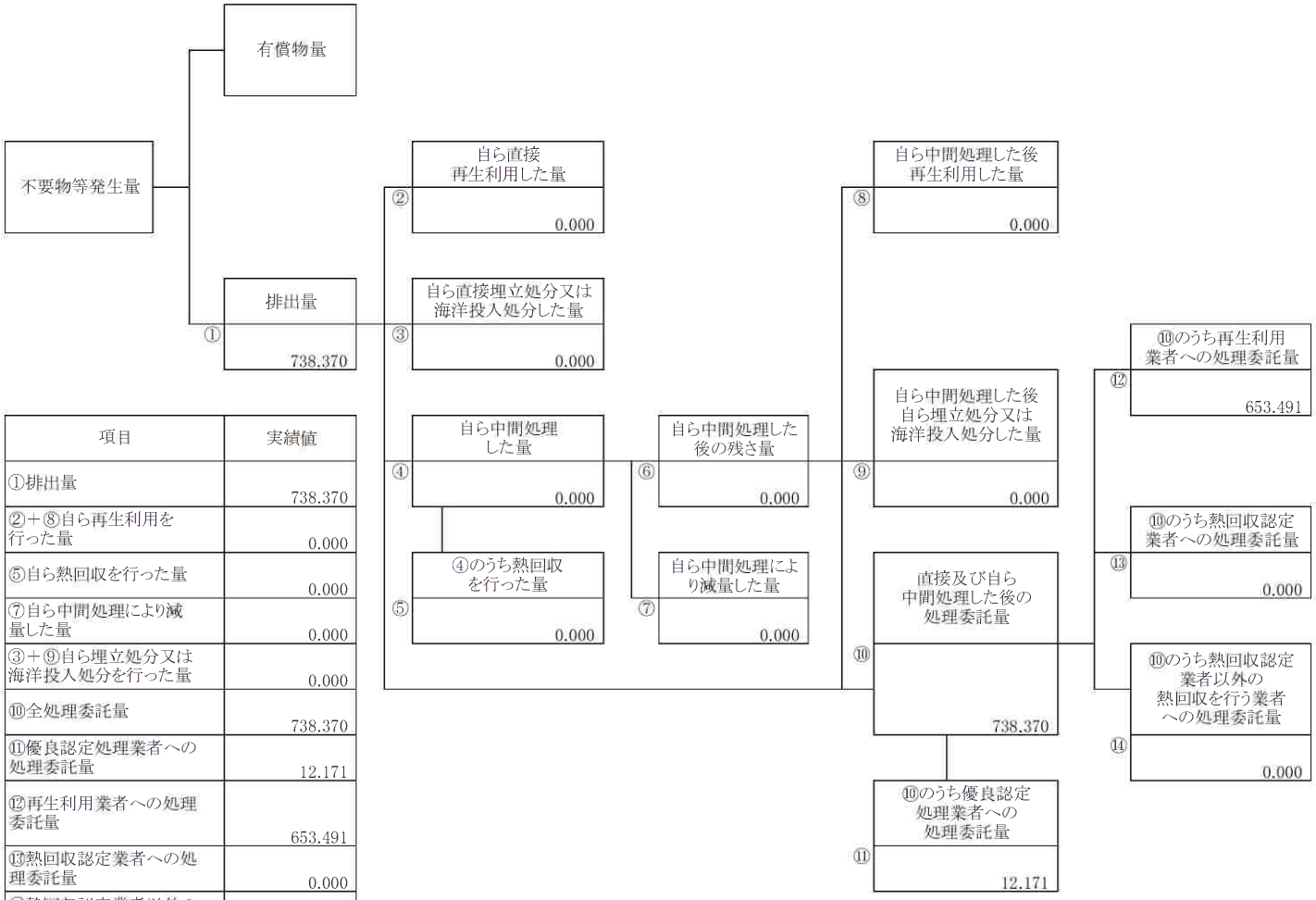


項目	実績値
①排出量	124.413
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	124.413
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.198
⑫再生利用業者への処理委託量	119.215
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）

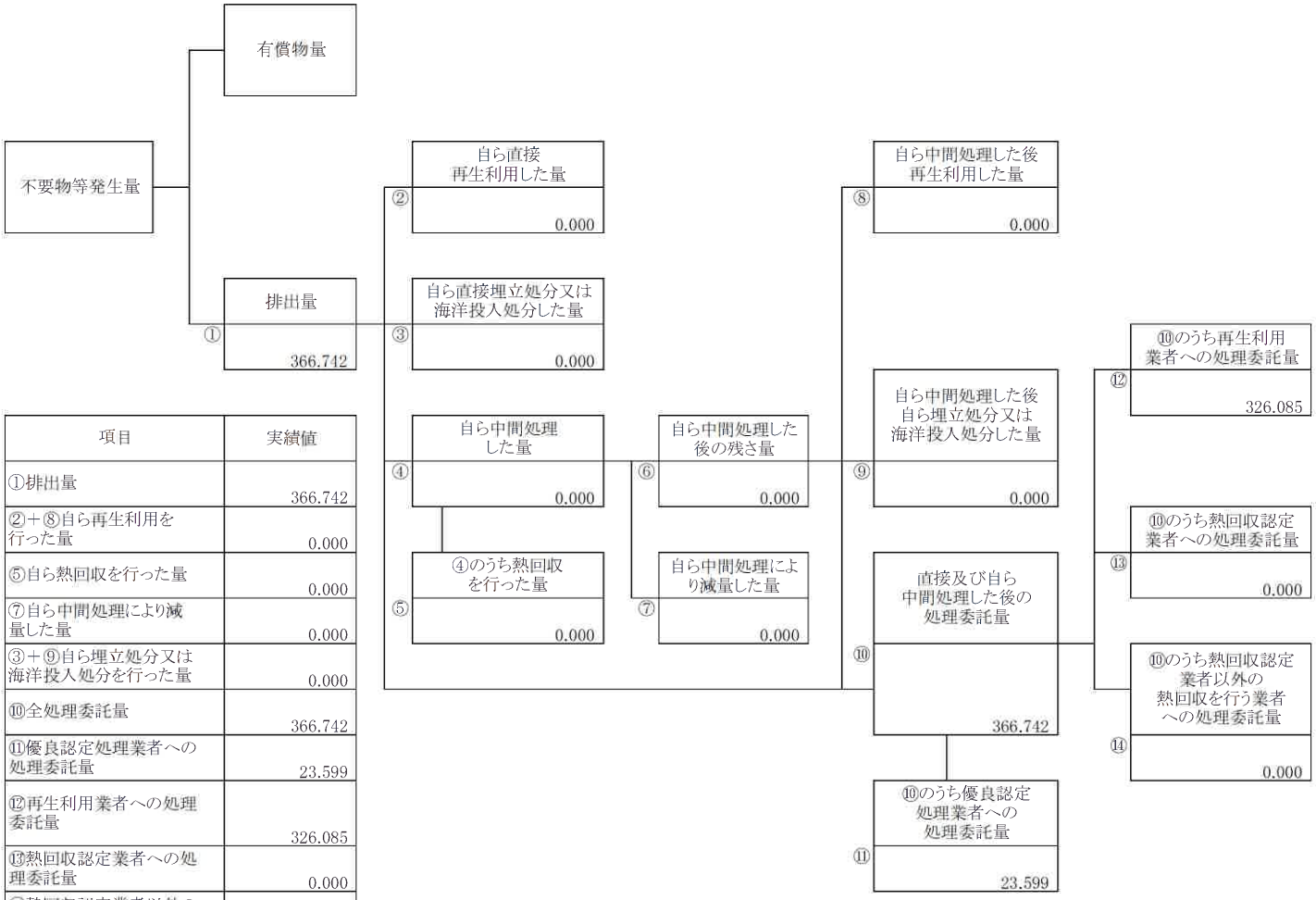


項目	実績値
①排出量	738.370
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	738.370
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.171
⑫再生利用業者への処理委託量	653.491
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

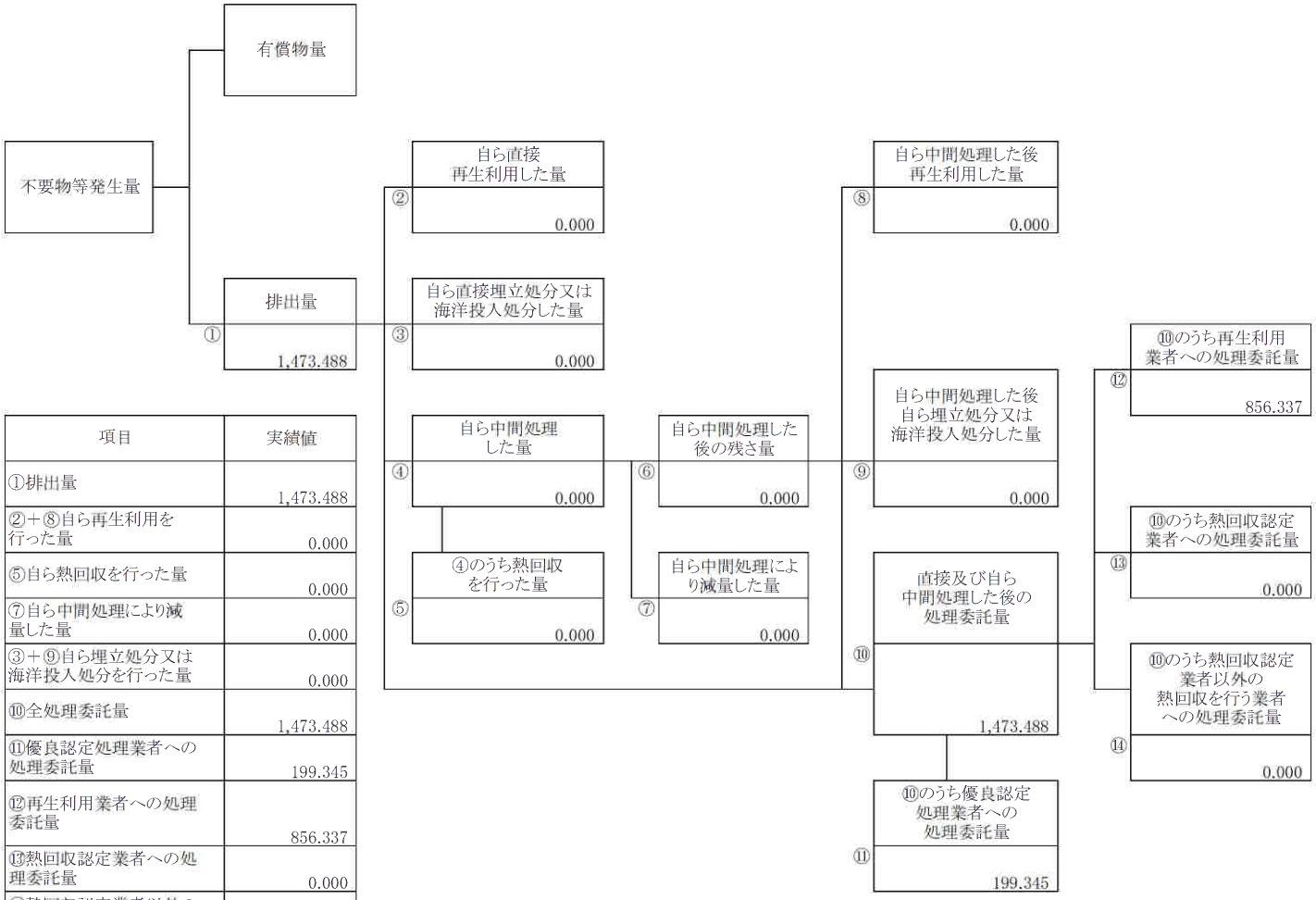
（産業廃棄物の種類：石膏ボード　　）



項目	実績値
①排出量	366.742
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	366.742
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.599
⑫再生利用業者への処理委託量	326.085
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

計画の実施状況

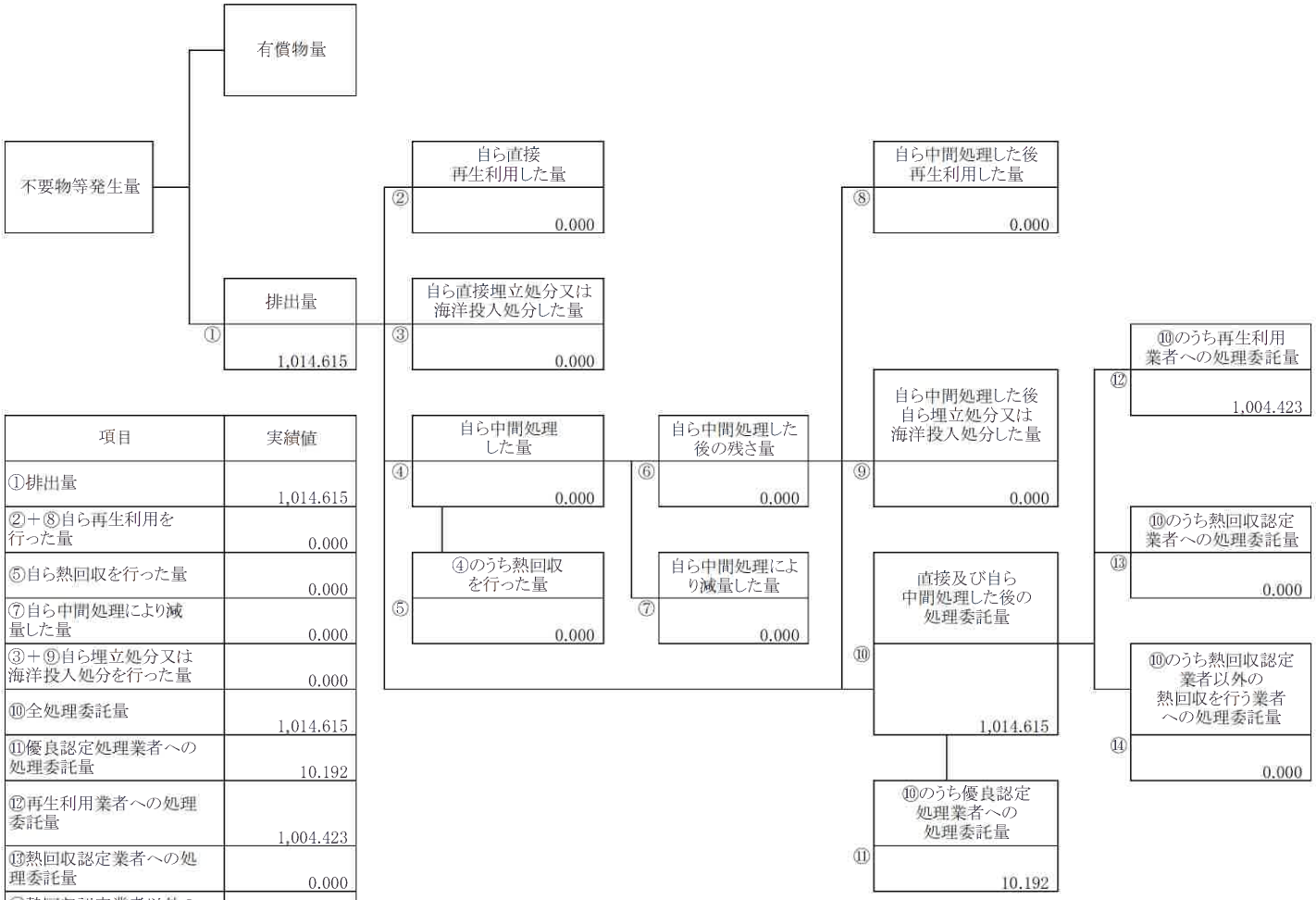
（産業廃棄物の種類：がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	1,473.488
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1,473.488
⑪優良認定処理業者への処理委託量	199.345
⑫再生利用業者への処理委託量	856.337
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

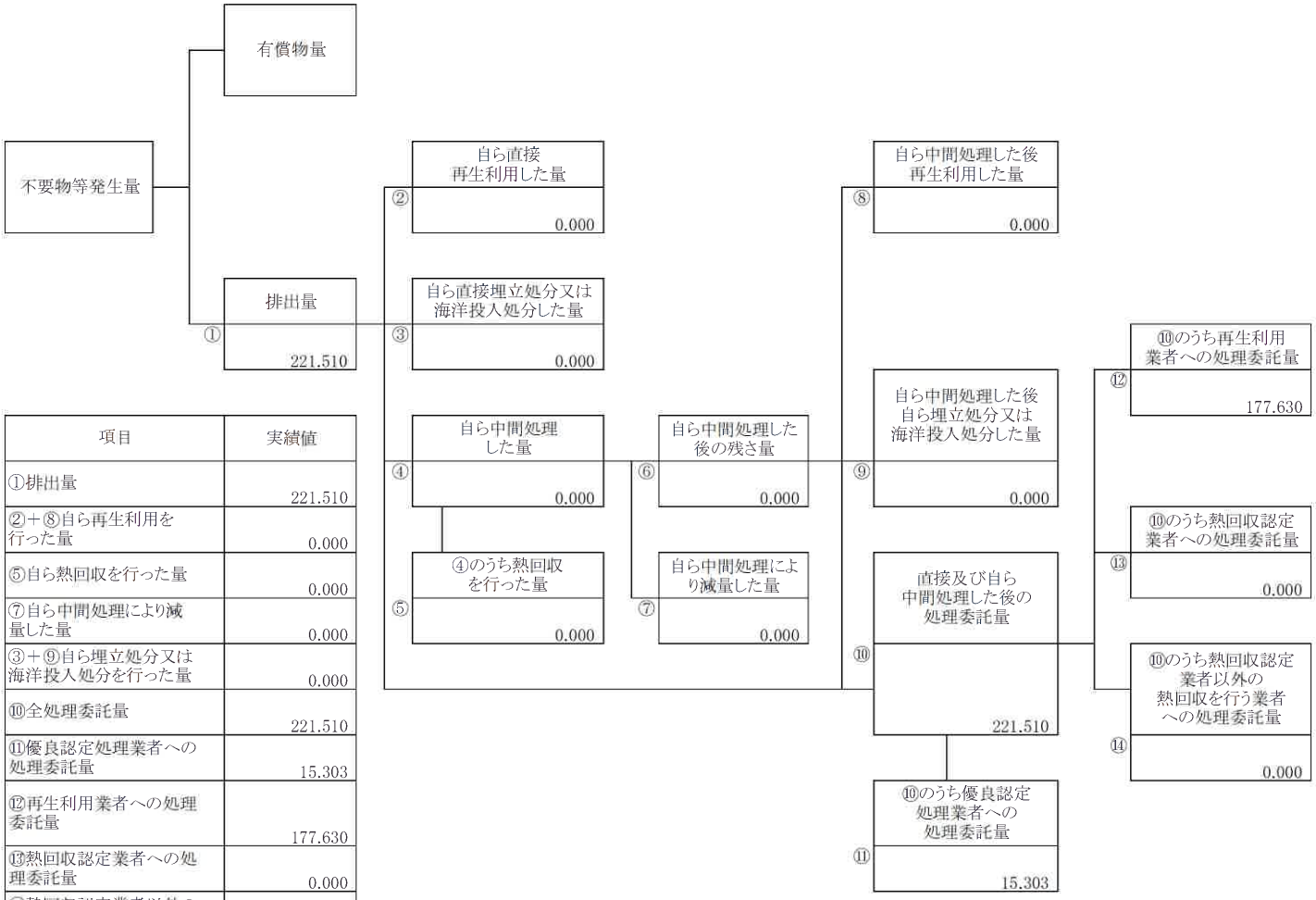
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：コンクリート破片　　）



項目	実績値
①排出量	1,014.615
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1,014.615
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.192
⑫再生利用業者への処理委託量	1,004.423
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：アスファルト破片　　）

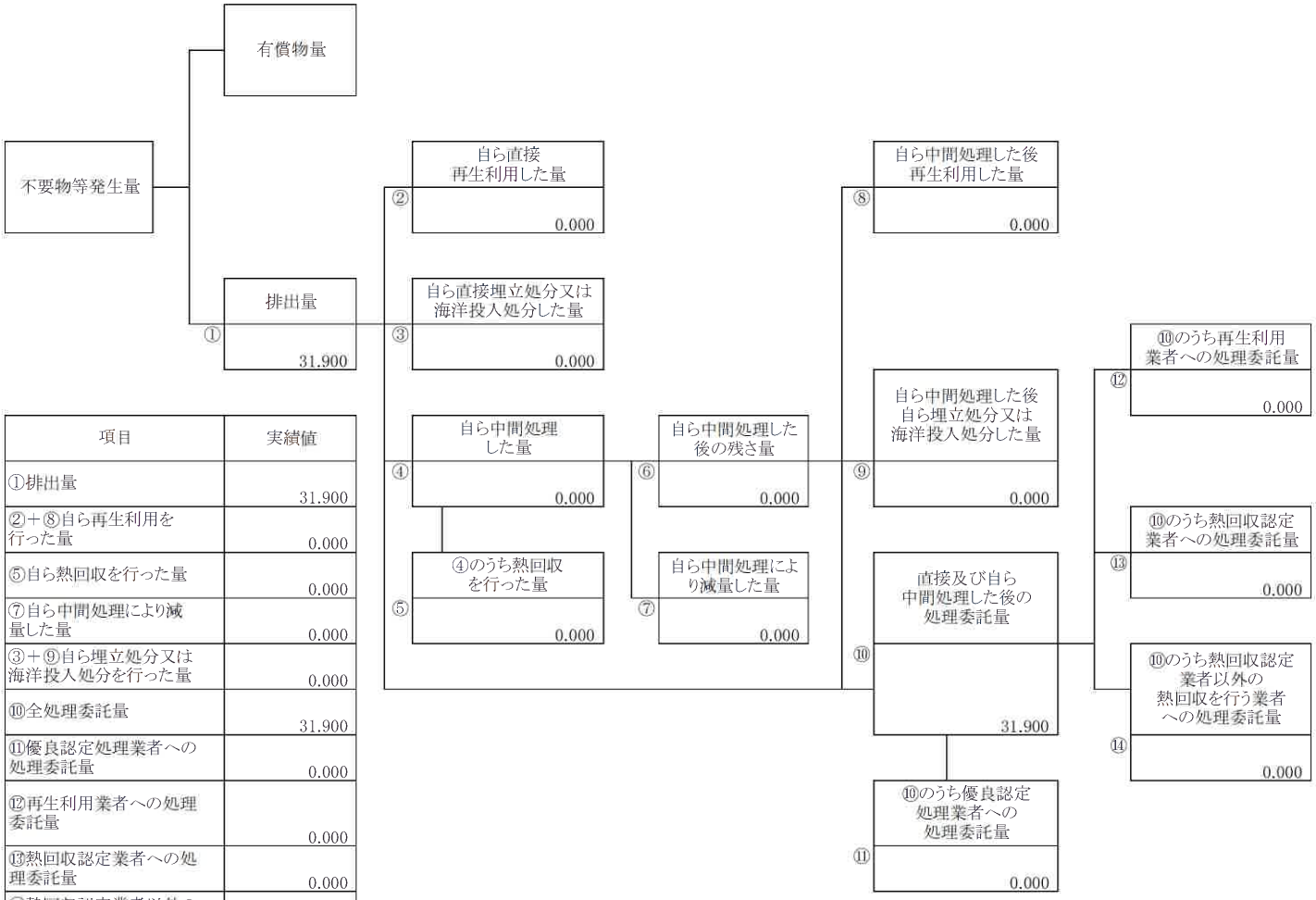


項目	実績値
①排出量	221.510
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	221.510
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.303
⑫再生利用業者への処理委託量	177.630
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：【石綿含有】ガラスくず、陶磁器くず　　）

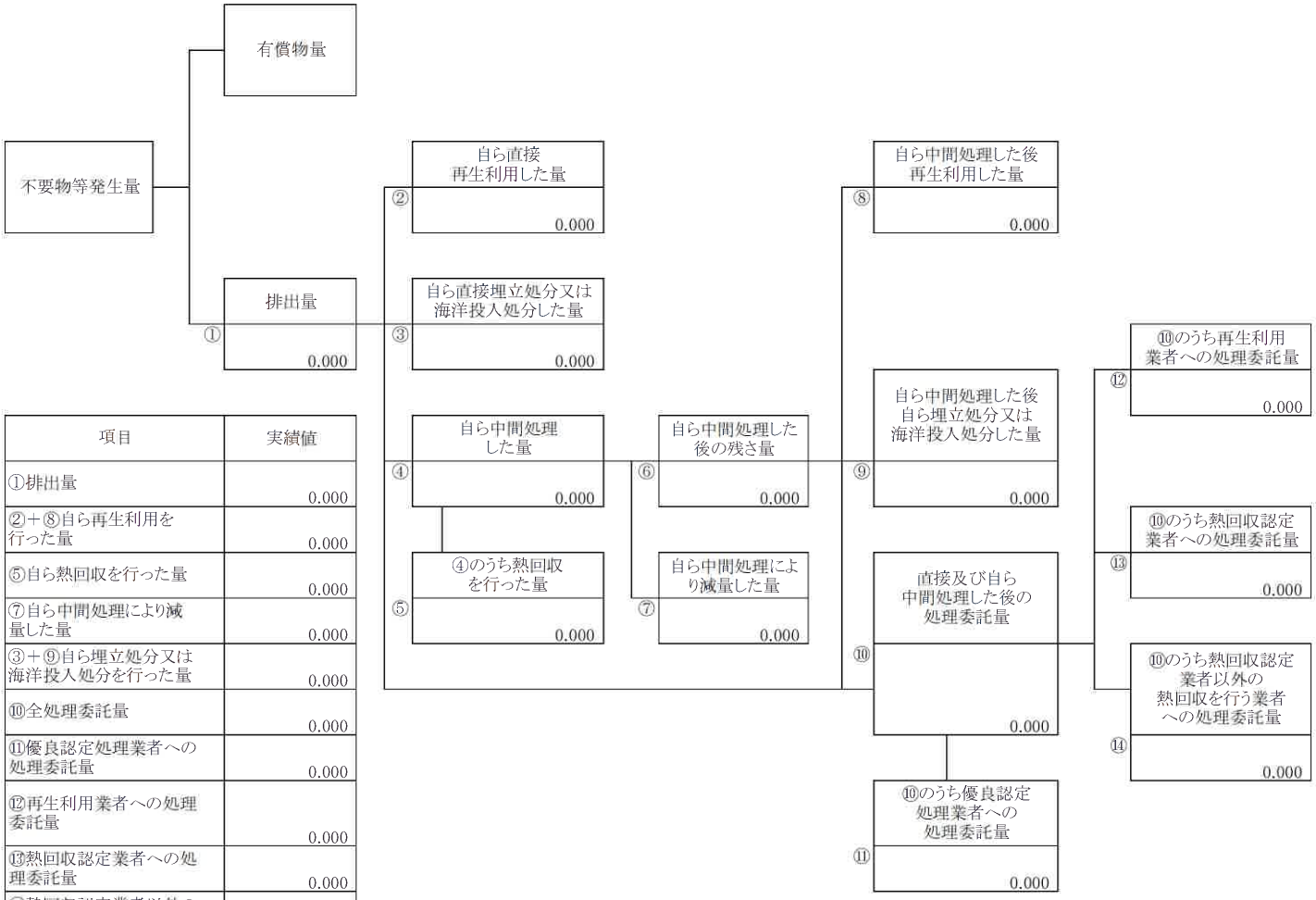


項目	実績値
①排出量	31.900
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	31.900
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：【石綿含有】廃プラスチック　　）

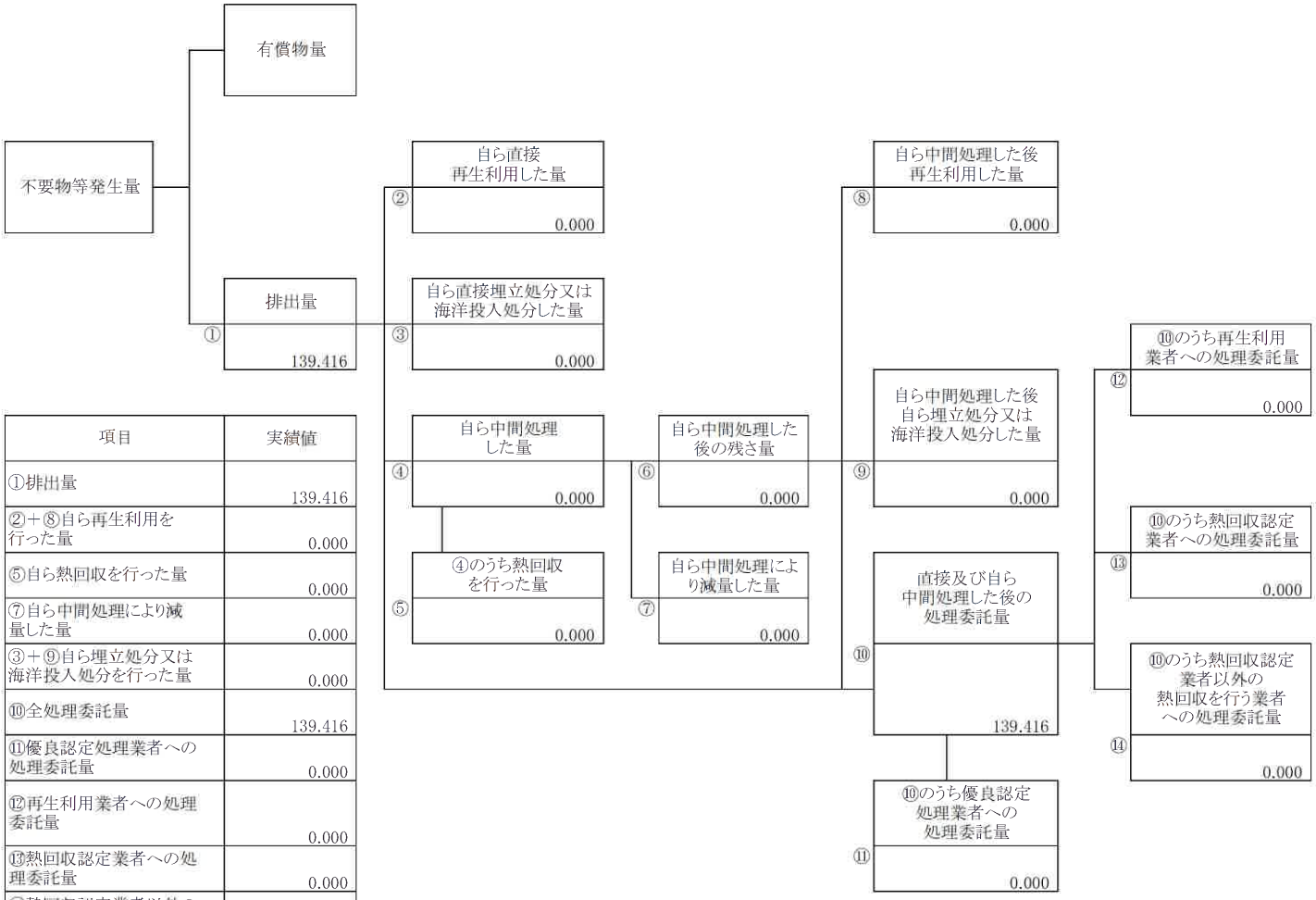


項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

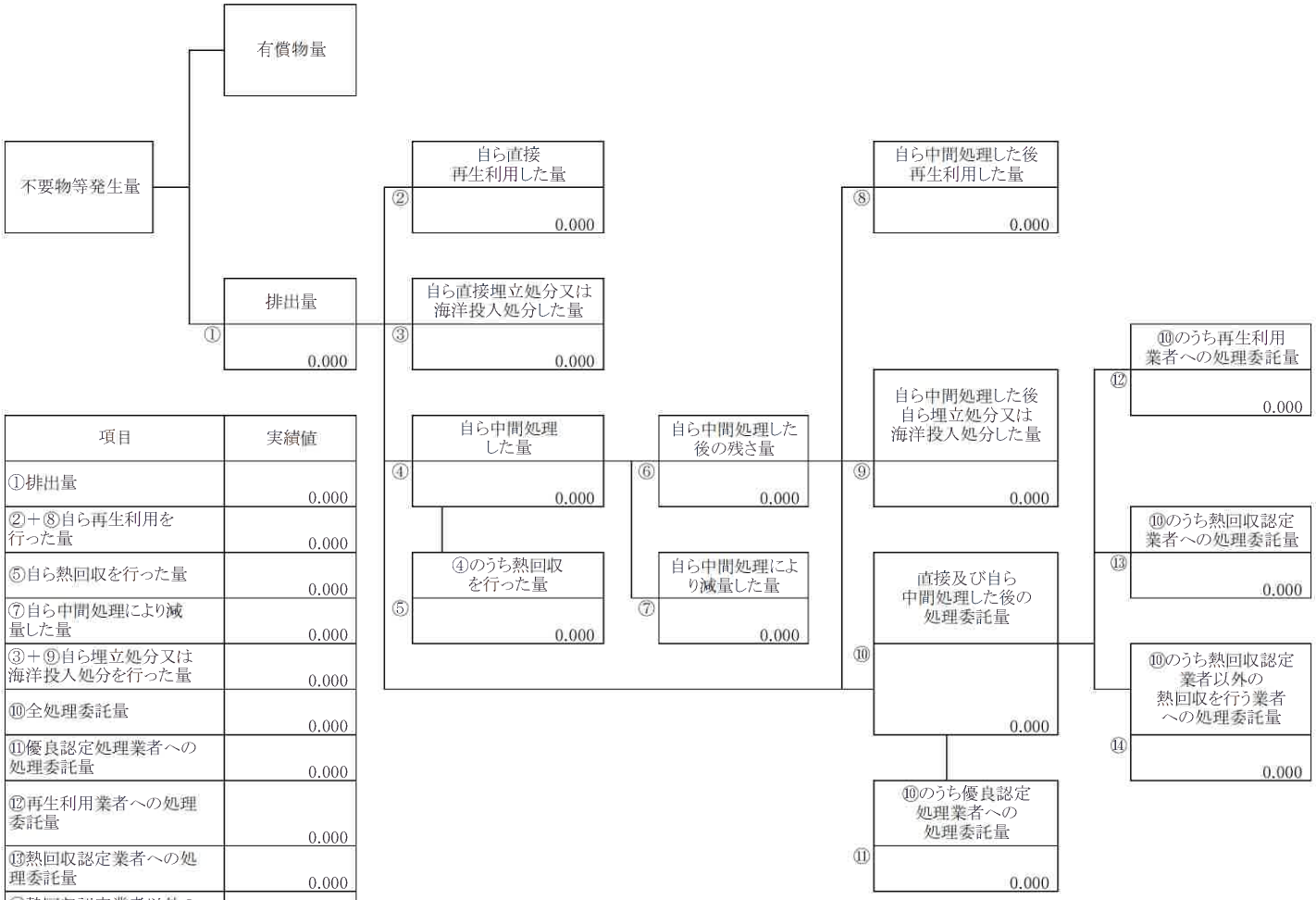
（産業廃棄物の種類：【石綿含有】がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	139.416
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	139.416
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

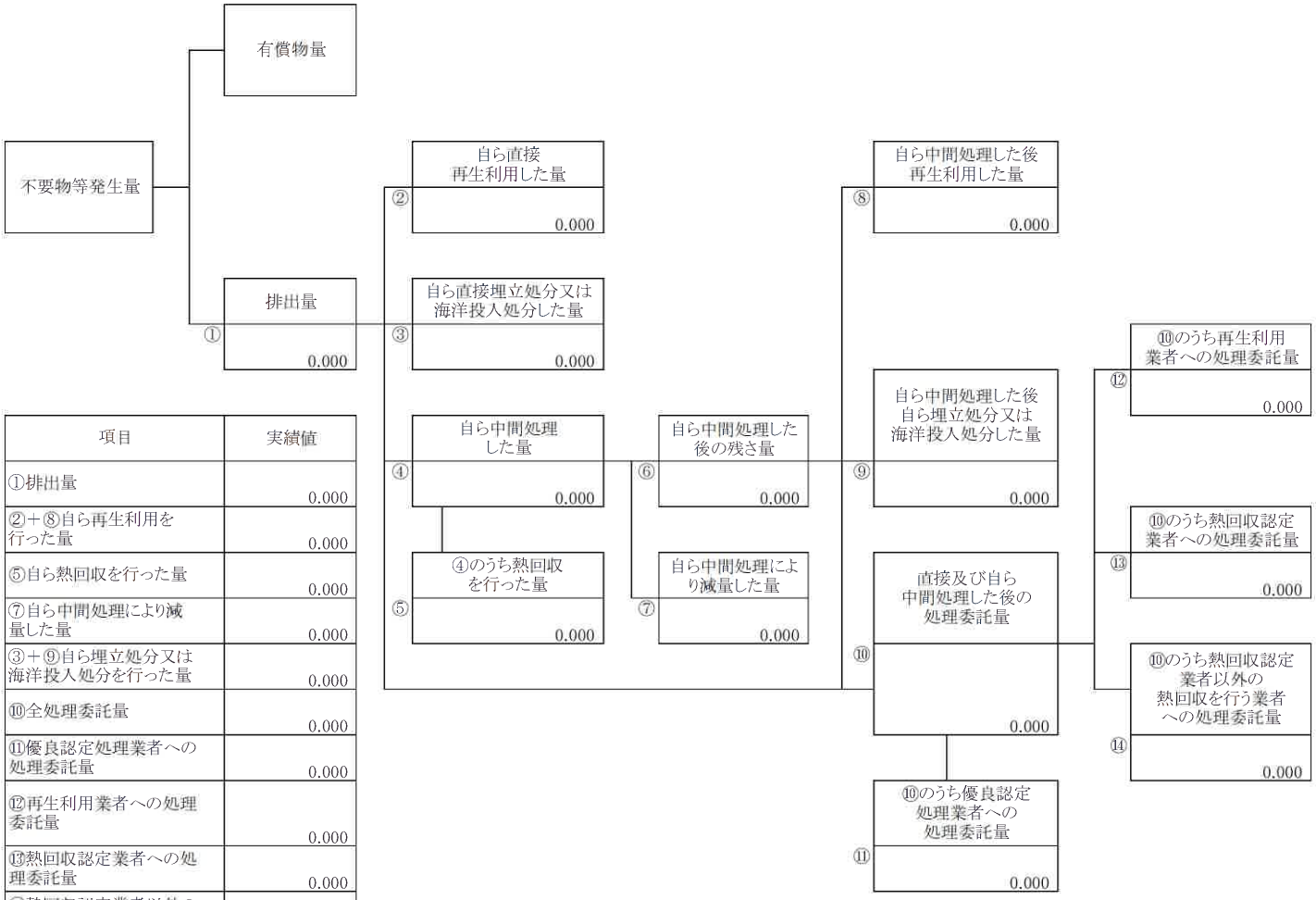
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：【石綿含有】紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：混合(安定型)　　）

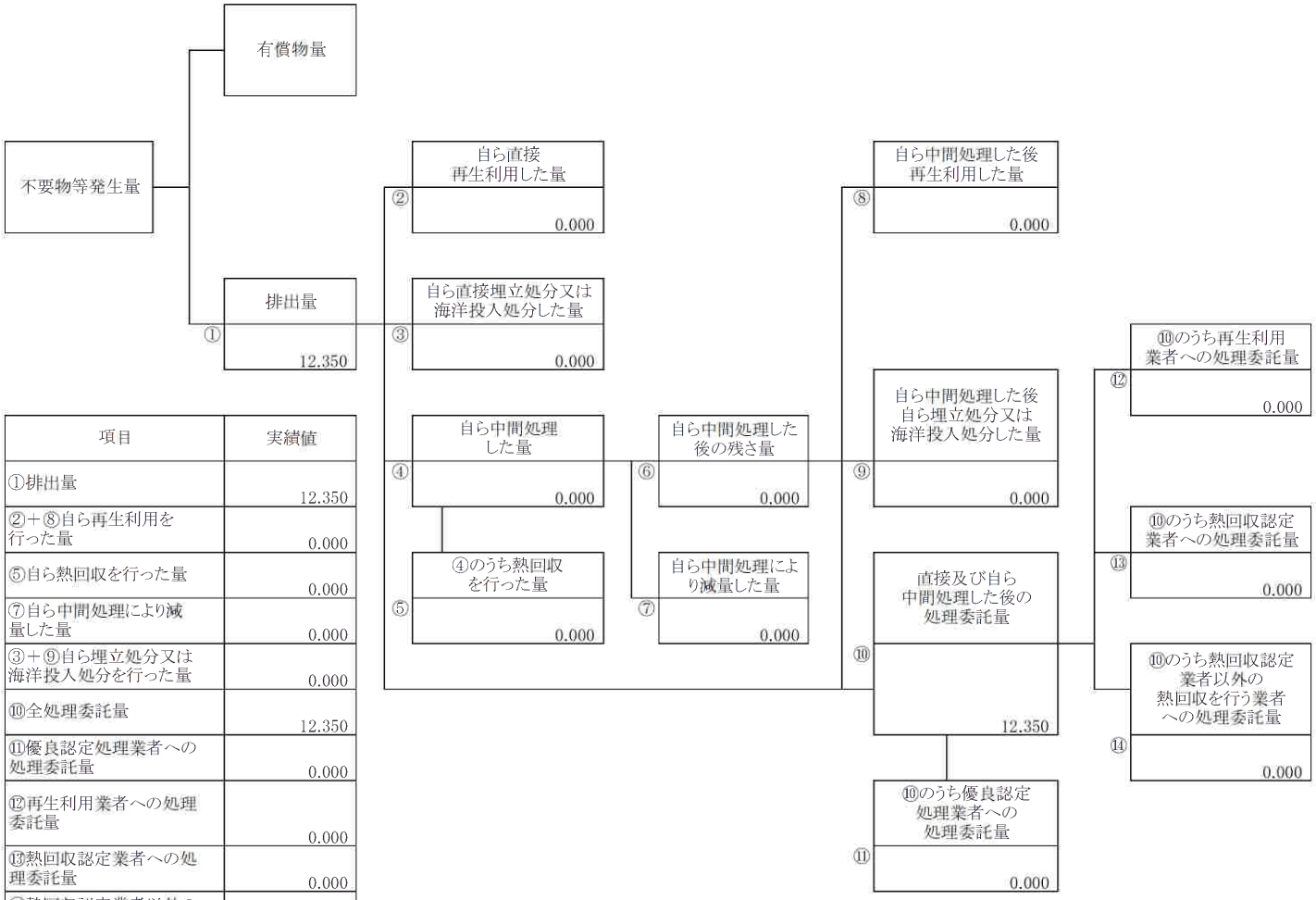


項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：混合(管理型)　　）

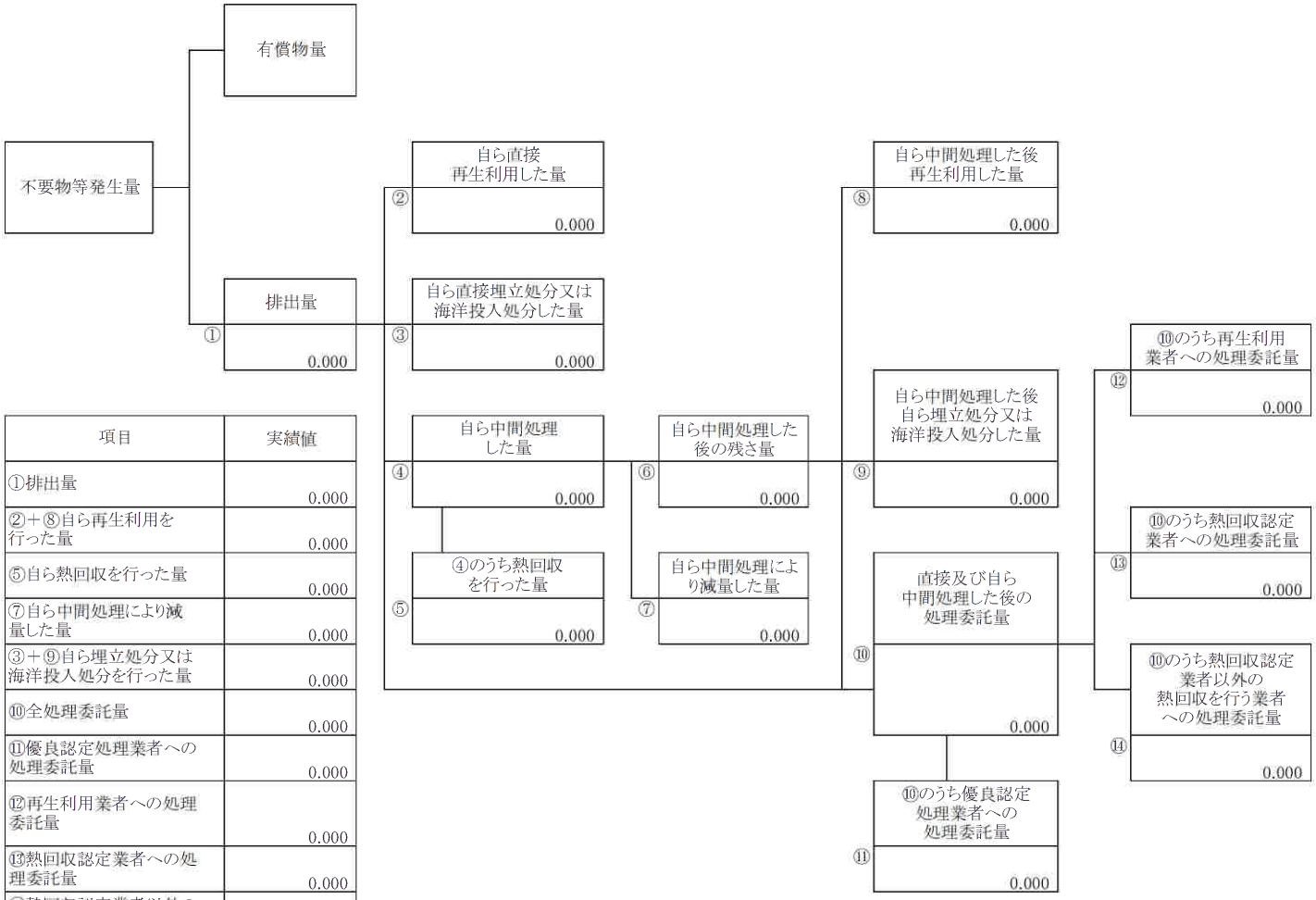


項目	実績値
①排出量	12.350
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	12.350
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

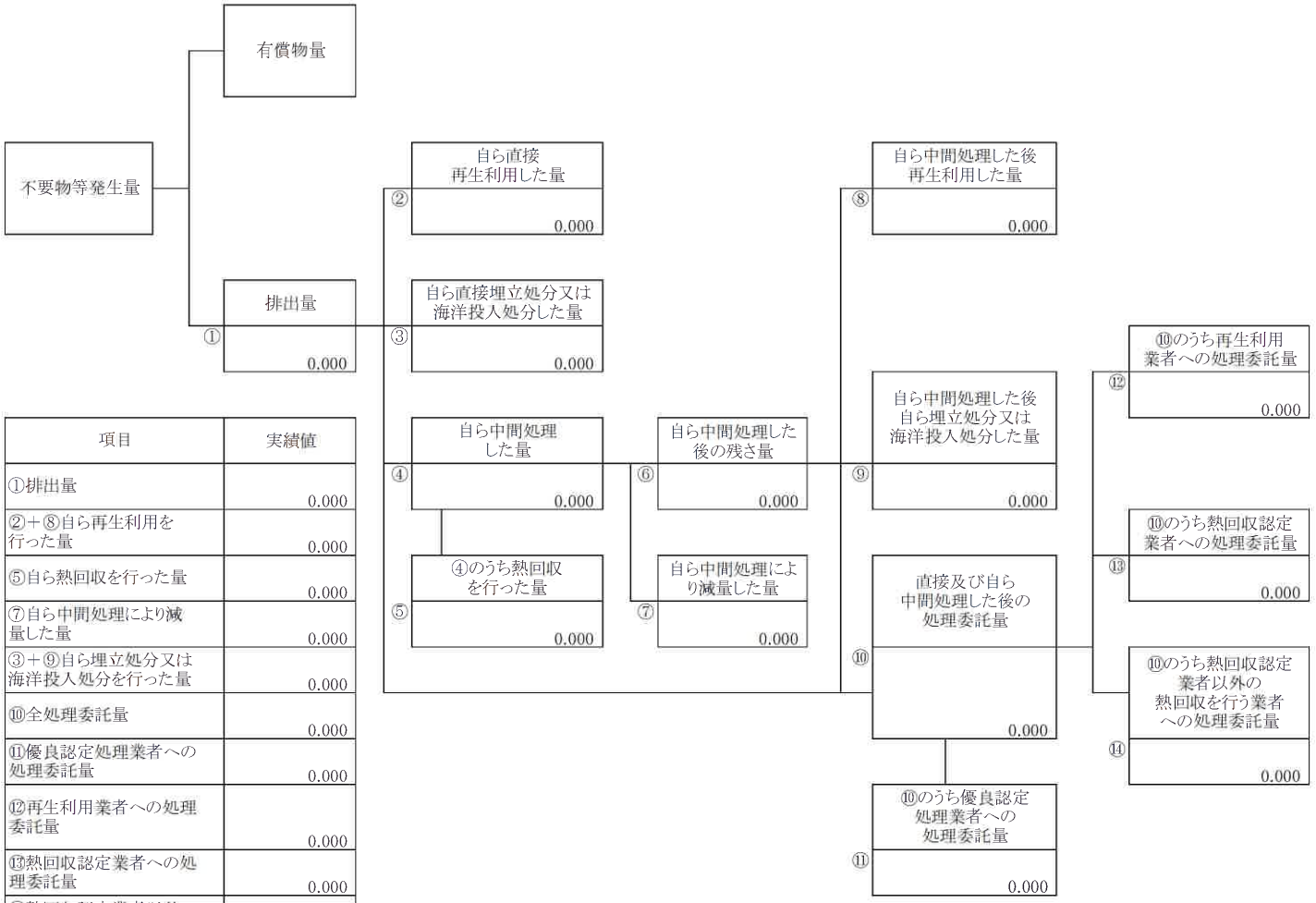
（産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）　　）



項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃石綿　　）



項目	実績値
①排出量	0.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況内訳

整 理 番 号 ：

（単位：トン）

廃棄物の種類 項目	詳細	発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分	⑧直接委託及び自己処理後委託
汚泥										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
廃プラスチック										
	小計	305.700	1,176.900	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,176.900
紙くず										
	小計	2.900	129.450	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	129.450
木くず										
	小計	1,416.800	1,770.520	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,770.520
繊維くず										
	小計	2.700	6.180	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	6.180
金属くず										
	小計	25.600	124.413	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	124.413
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず										
	小計	139.700	738.370	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	738.370
石膏ボード										
	小計	76.200	366.742	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	366.742
がれき類										
	小計	148.700	1,473.488	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,473.488
コンクリート破片										
	小計	275.700	1,014.615	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,014.615
アスファルト・コンクリート破片										
	小計	0.000	221.510	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	221.510
【石綿含有】ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず										
	小計	21.000	31.900	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	31.900

（単位：トン）

廃棄物の種類 項目	詳細	発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後自己埋立処分	⑧直接委託及び自己処理後委託
【石綿含有】廃プラスチック										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
【石綿含有】がれき類										
	小計	78.200	139.416	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	139.416
【石綿含有】紙くず										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
混合（安定型）										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
混合（管理型）										
	小計	0.000	12.350	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	12.350
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）										
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	小計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	小計			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	小計			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	小計		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
合　計		2,493.200	7,205.854	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7,205.854

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月12日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　286-0811

住所 千葉県成田市磯部541番地1

法人名 大徳産業株式会社

代表者 大徳 静夫

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0476-36-1514

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大徳産業株式会社
事業場の所在地	千葉県成田市磯部541番地1(現場:成田市)
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1000 t	全処理委託量	1000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

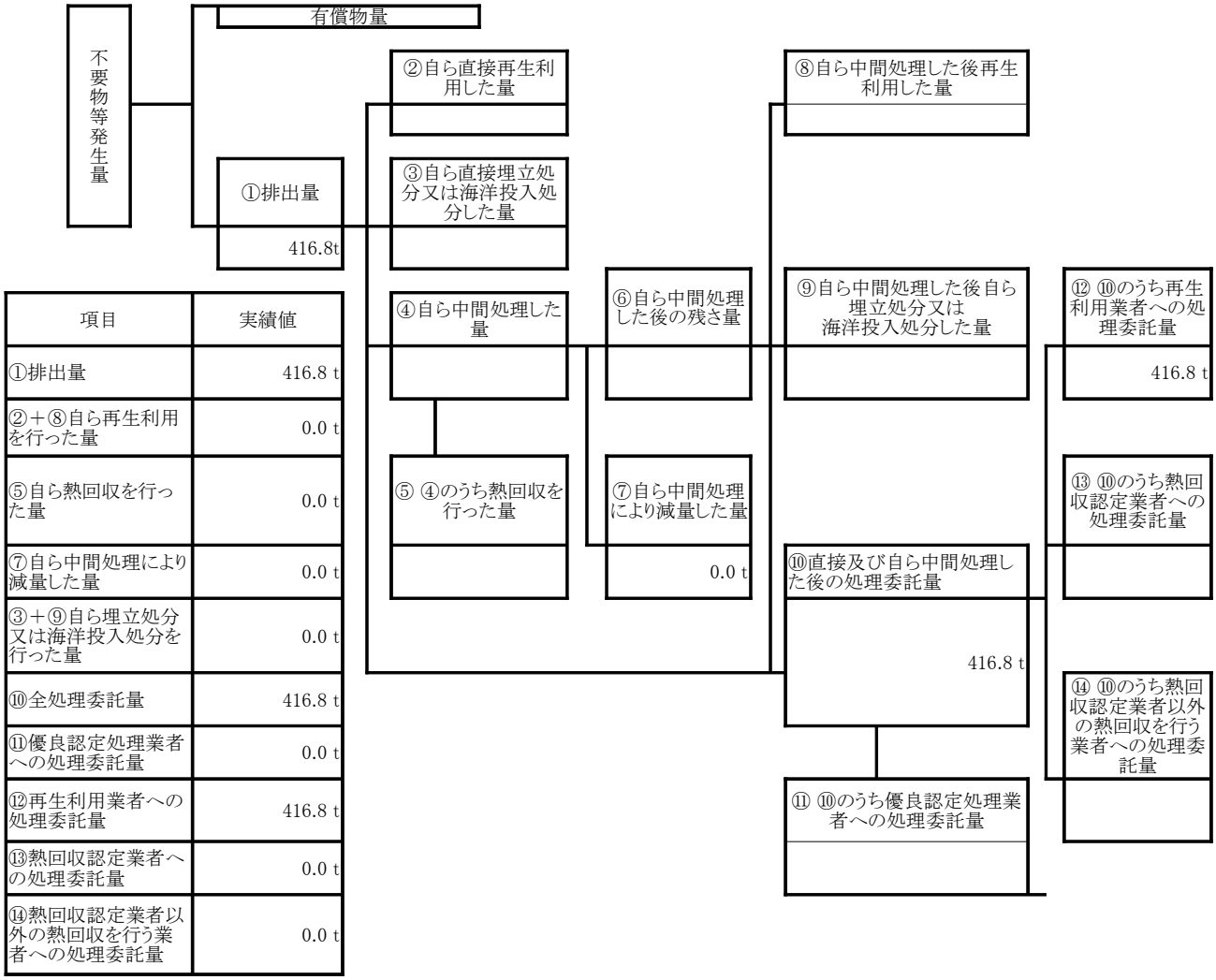
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスコン殻　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	416.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	416.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	416.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月12日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　135-0042

住所 東京都江東区木場2-17-12 SAビルディング5階

法人名 太平洋エンジニアリング株式会社

代表者 伊澤 良仁

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5639-6070

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	太平洋エンジニアリング株式会社
事業場の所在地	東京都江東区木場2-17-12 SAビルディング5階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0 t	全処理委託量	0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

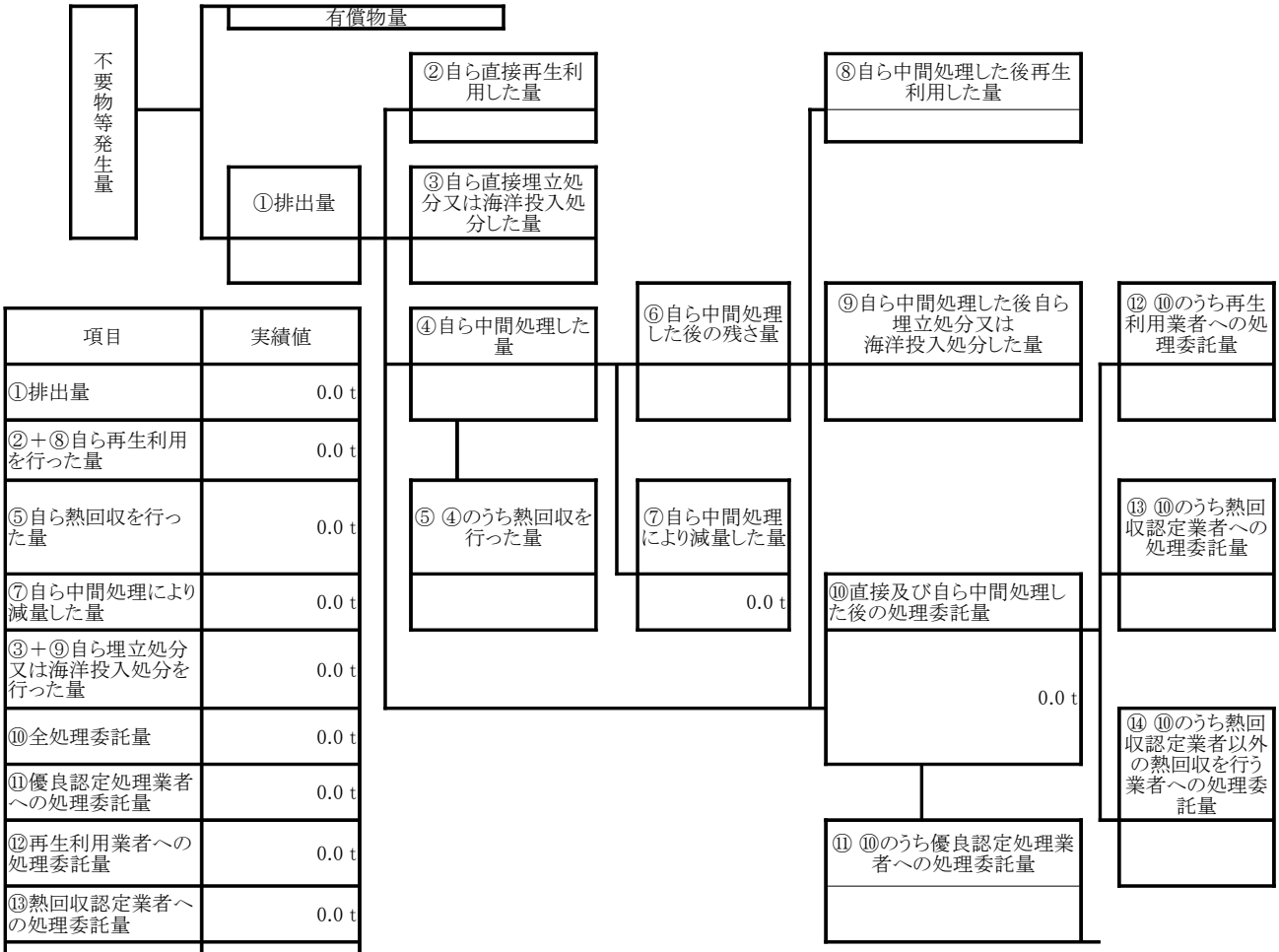
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　5日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　大豊建設株式会社　東京建築支店

住　所　東京都中央区新川1-24-4

氏　名　執行役員支店長　塩田　雅紀

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-5541-5017

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大豊建設株式会社　東京建築支店
事業場の所在地	東京都中央区新川1-24-4
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	3,916（百万円）
③　従業員数	192名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類→破砕→圧縮→梱包→溶融→(RPF若しくはｾﾒﾝﾄ原料) 紙くず、ｶﾞﾗｽ陶磁器→破砕→圧縮→梱包→再生資源料 金属くず→破砕→再販売 混合廃棄物→破砕→分別後(ﾘｻｲｸﾙ資源or廃棄物は埋立) 石綿含有(がれき)→埋立 ｺﾝｸﾘｰﾄがら、ｱｽｺﾝがら→破砕→ﾘｻｲｸﾙ 木くず→破砕→圧縮→梱包→固形燃料RPF原料

（日本産業規格　A列4番）

千葉県 -7.6.9 収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添-1　管理体制図による

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
	排出量	111.3 t	103.5 t
	（これまでに実施した取組） 廃材を減らしﾘｻｲｸﾙ率を増やす		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
	排出量	8.2 t	2.1 t
	（今後実施する予定の取組） 再生利用業者の継続利用		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場での回収ﾎﾞｯｸｽによる分別
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
全処理委託量	111.3 t	103.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	111.3 t	103.5 t
再生利用業者への処理委託量	100.2 t	103.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	11.1 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

再生利用業者の継続利用

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず
		全処理委託量		8.2 t	2.1 t
			優良認定処理業者への処理委託量	5.2 t	2.1 t
			再生利用業者への処理委託量	3.2 t	0.1 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 再生利用業者の継続利用			
※事務処理欄					

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		排　出　量	2.8 t	221.4 t	22.2 t	89.5 t	1068.3 t
	②計画	【目標】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		排　出　量	17.2 t	6 t	0 t	1 t	5.2 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		全処理委託量	2.8 t	221.4 t	22.2 t	89.5 t	1068.3 t
		優良認定処理業者への処理委託量	2.8 t	221.4 t	22.2 t	30.3 t	542.9 t
		再生利用業者への処理委託量	2.8 t	206.1 t	0 t	89.5 t	1068.2 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	15.3 t	22.2 t	t	0.1 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】					
		産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物	石綿含有がれき	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
		全処理委託量	17.2 t	6 t	－ t	1 t	5.2 t
		優良認定処理業者への処理委託量	15.2 t	6 t	－ t	1 t	1 t
		再生利用業者への処理委託量	2.2 t	1 t	－ t	1 t	5 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	排　出　量	358.7 t	297.2 t	149.3 t	0 t
②計画					
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	排　出　量	0.3 t	6.3 t	0.6 t	2.1 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
②計画					
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状					
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
②計画					
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t

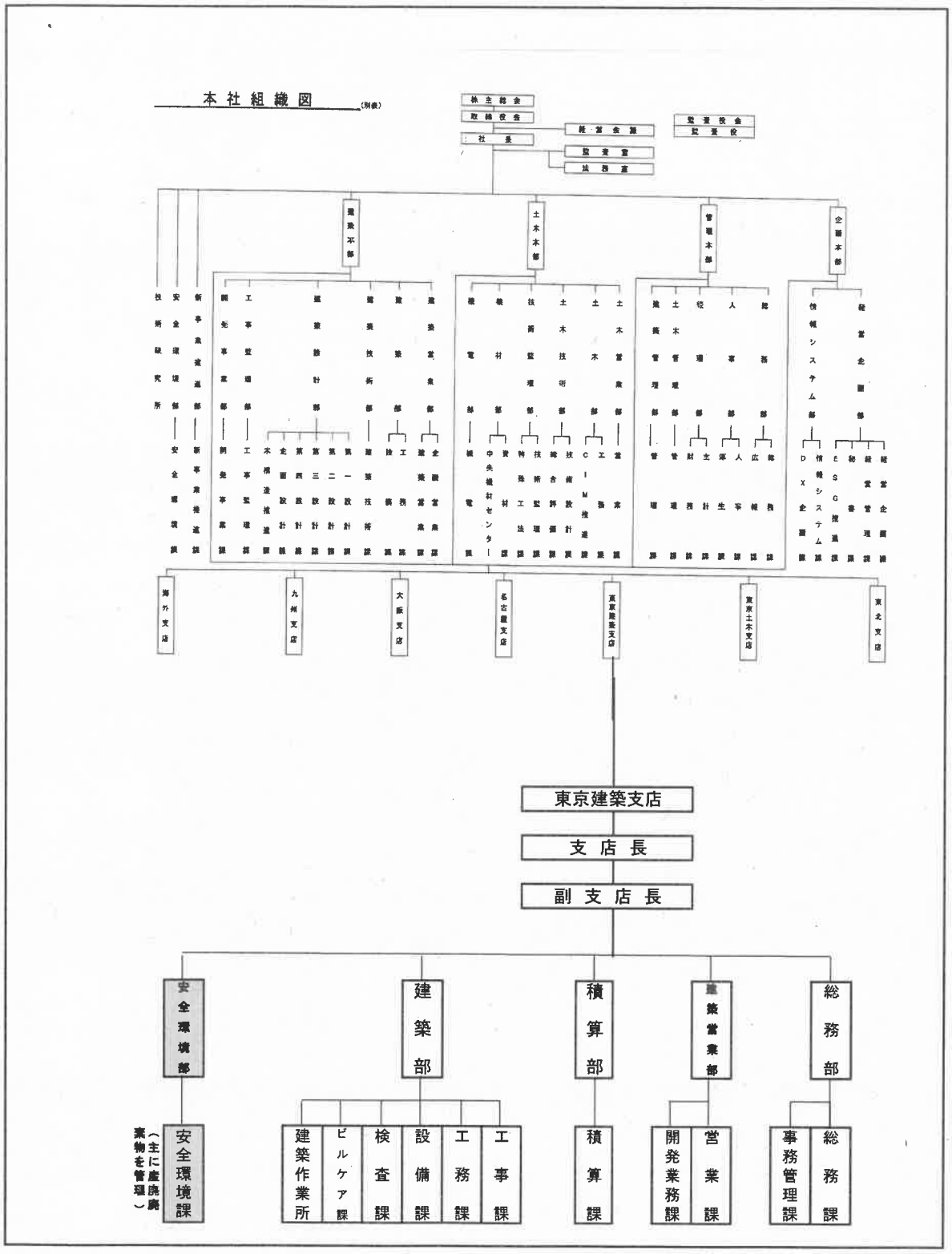
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
②計画					
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	全処理委託量	358.7 t	297.2 t	149.3 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	358.7 t	188.3 t	149.3 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	358.3 t	296.8 t	141.1 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.4 t	0.4 t	8.2 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	その他のがれき	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	木くず	繊維くず
	全処理委託量	0.3 t	6.3 t	0.6 t	2.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t	2.3 t	0.6 t	0.1 t
	再生利用業者への処理委託量	0.3 t	4.3 t	0.6 t	2.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

別添1 管理体制図


本社組織図
東京建築支店
支店長
副支店長
安全環境部
安全環境課
（主に産廃物を管理）
建築部
建築作業所
ビルケア課
検査課
設備課
工務課
工事課
積算部
積算課
建築営業部
開発業務課
営業課
総務部
事務管理課
総務課

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 5日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　大豊建設株式会社 東京建築支店
住 所　東京都中央区新川1-24-4
氏 名　執行役員支店長 塩田 雅紀
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-5541-5017

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大豊建設株式会社 東京建築支店
事業場の所在地	東京都中央区新川1-24-4
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

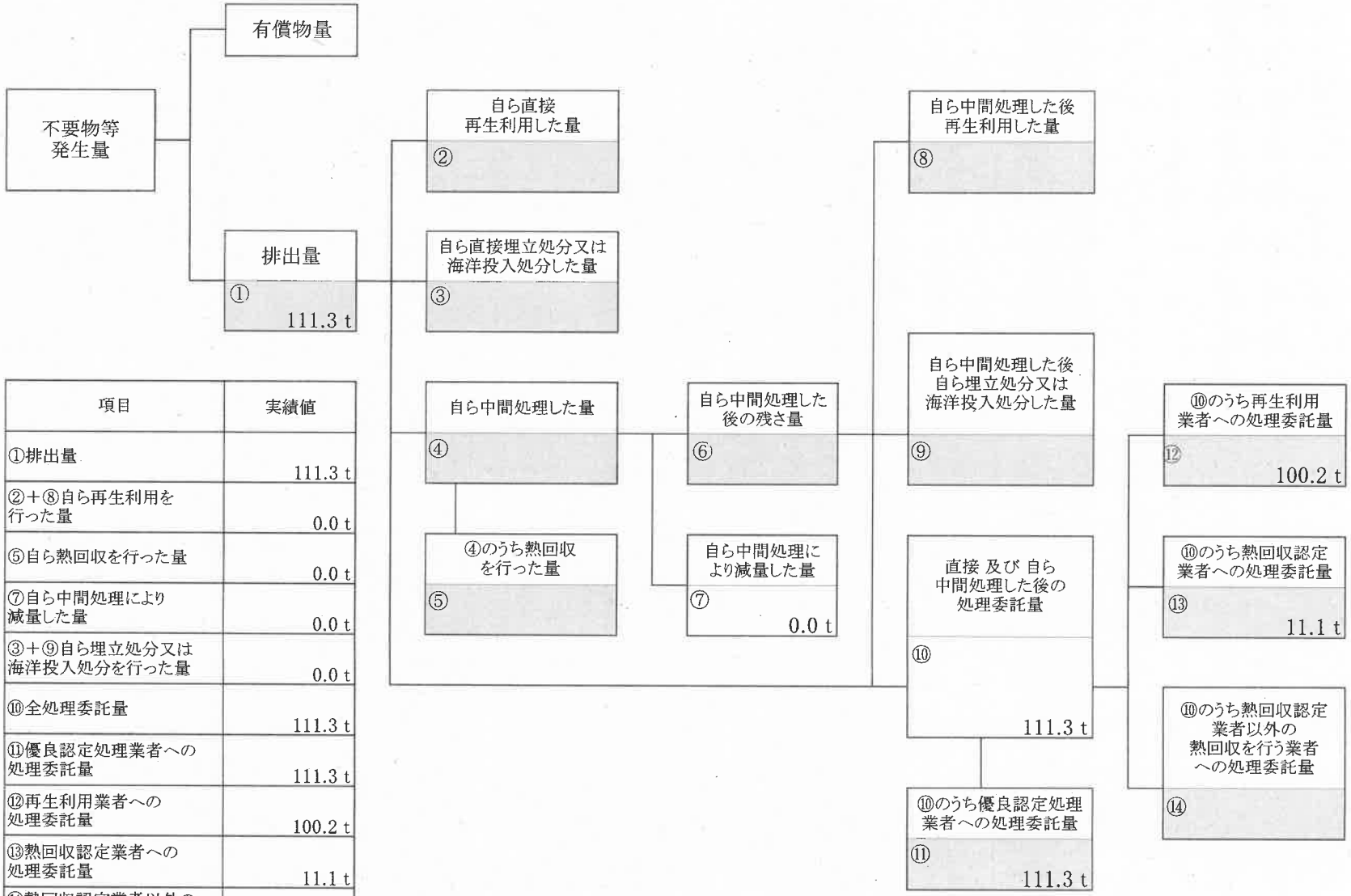
項目	目標値	項目	目標値
排出量	756.6 t	全処理委託量	756.6 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	736.6 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

千葉県 -7.6.9 収受

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類）

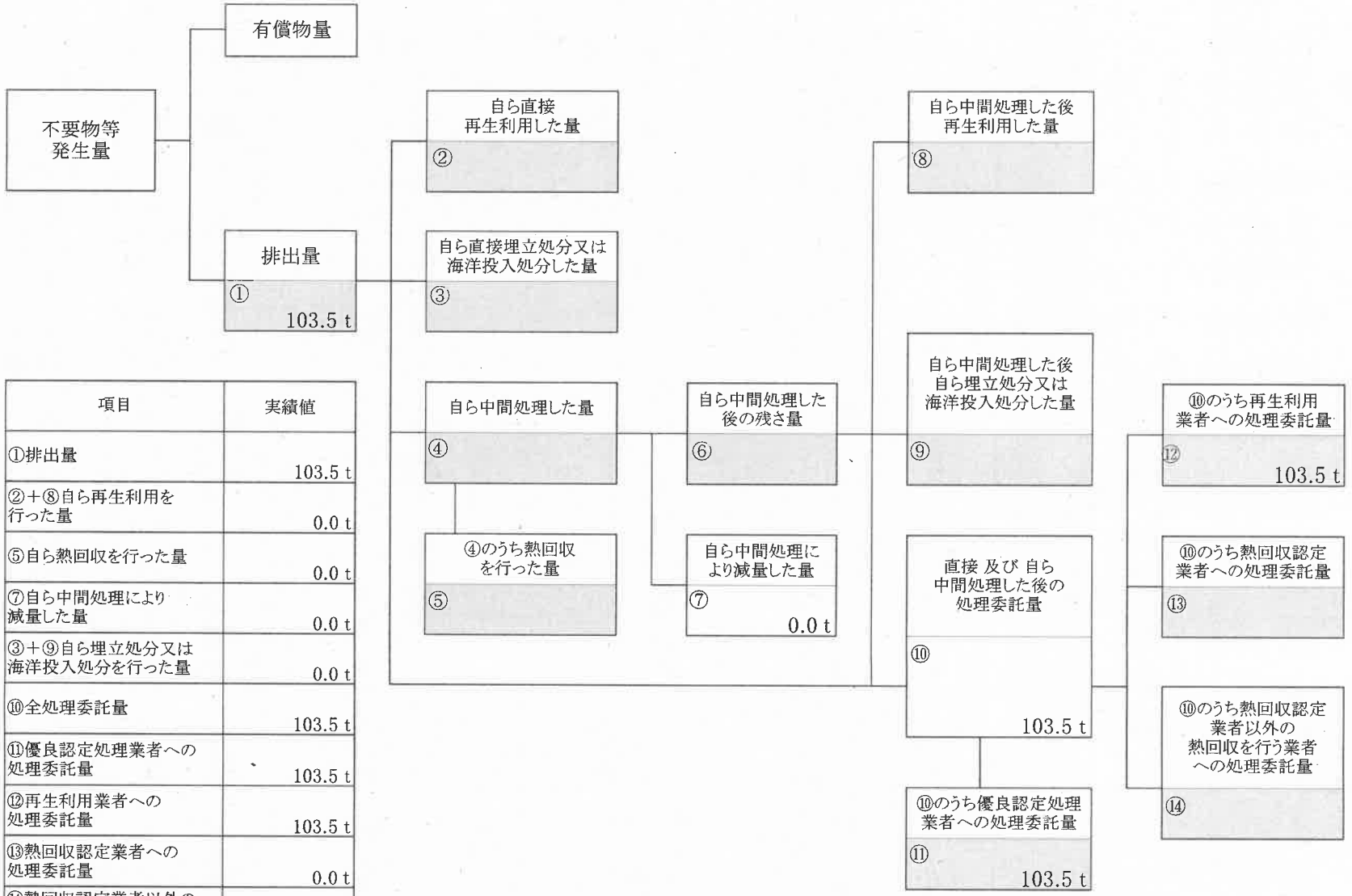


項目	実績値
①排出量	111.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	111.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	111.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	100.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	11.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

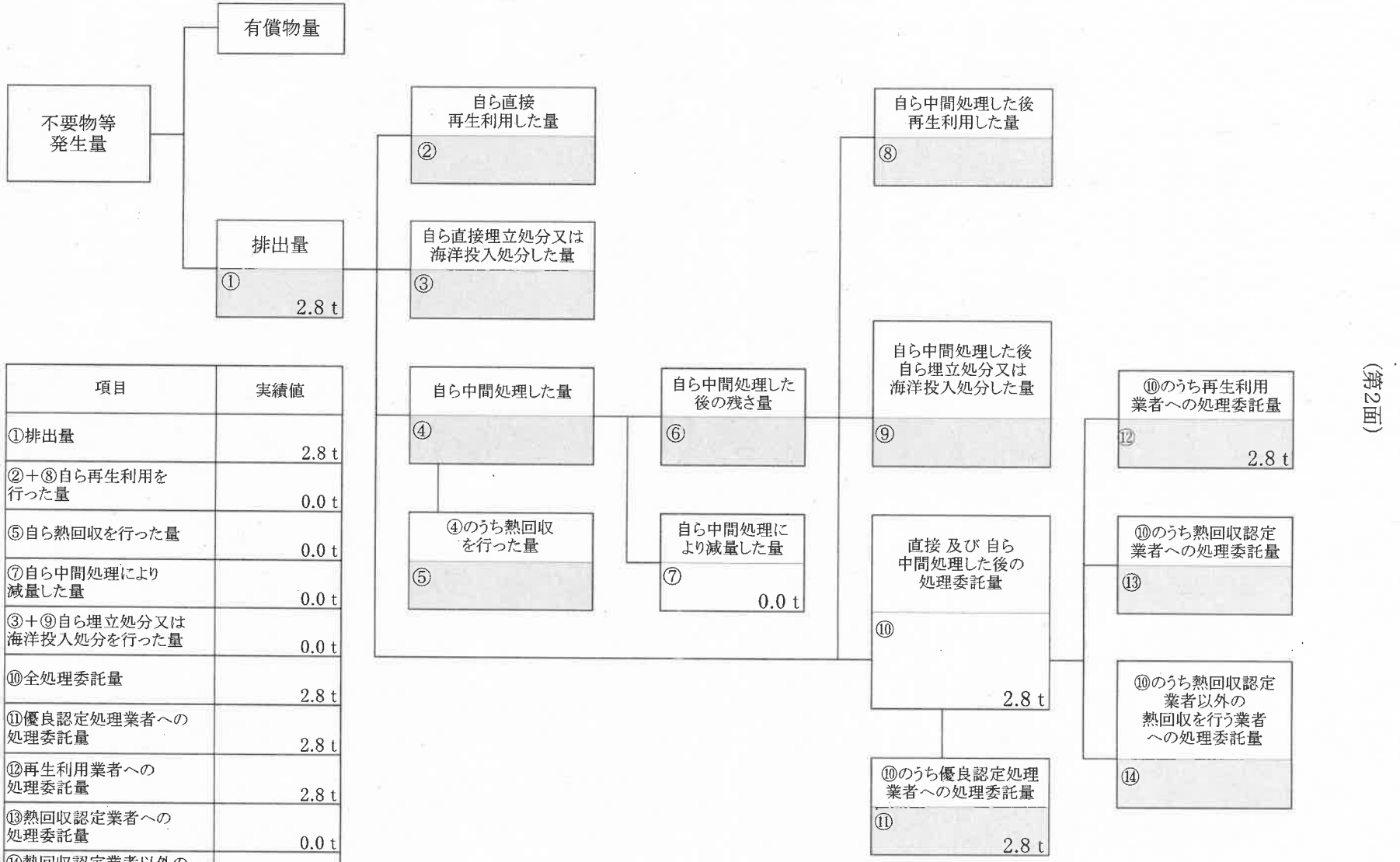


項目	実績値
①排出量	103.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	103.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	103.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	103.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：金属くず）

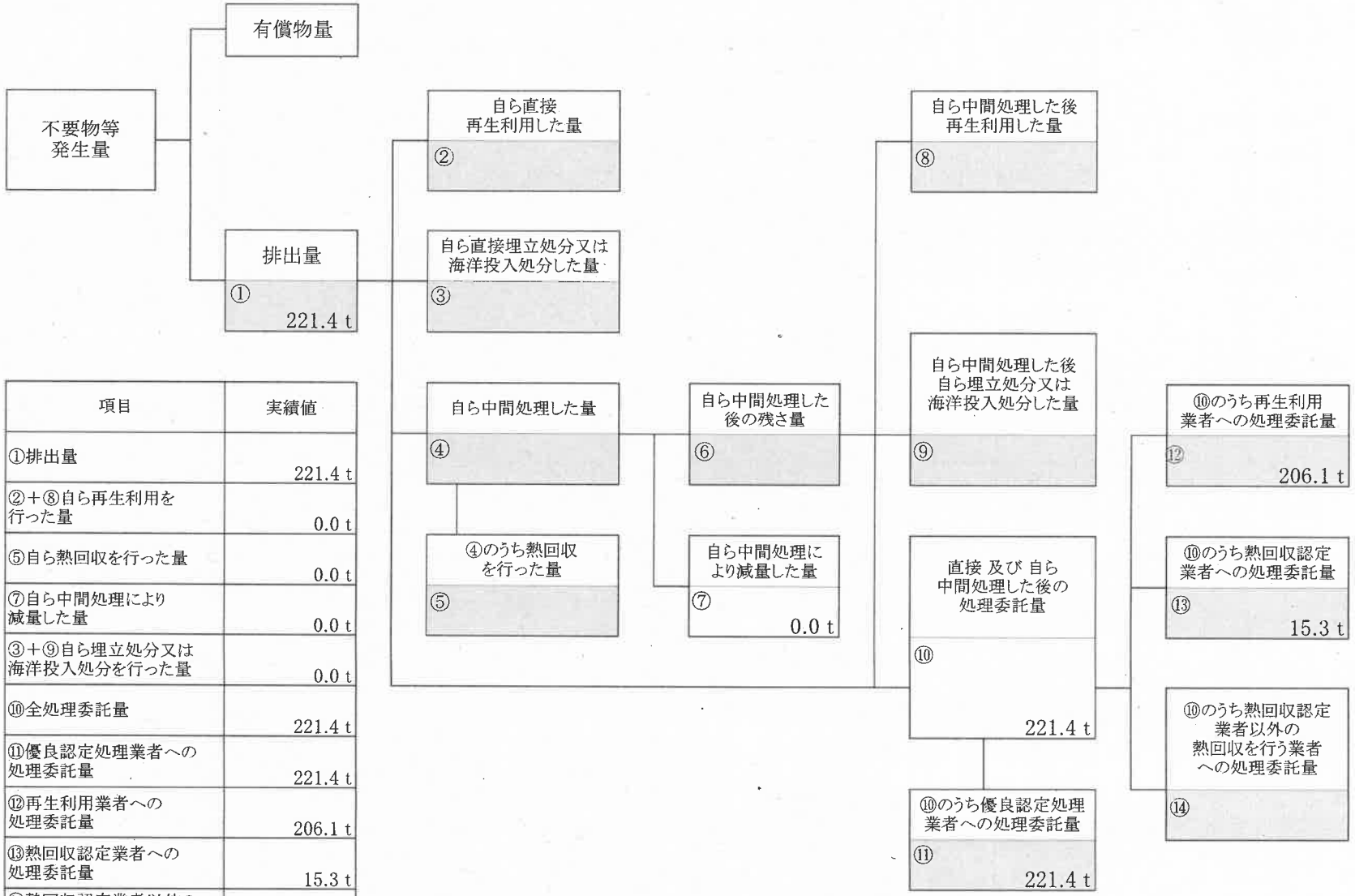


項目	実績値
①排出量	2.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

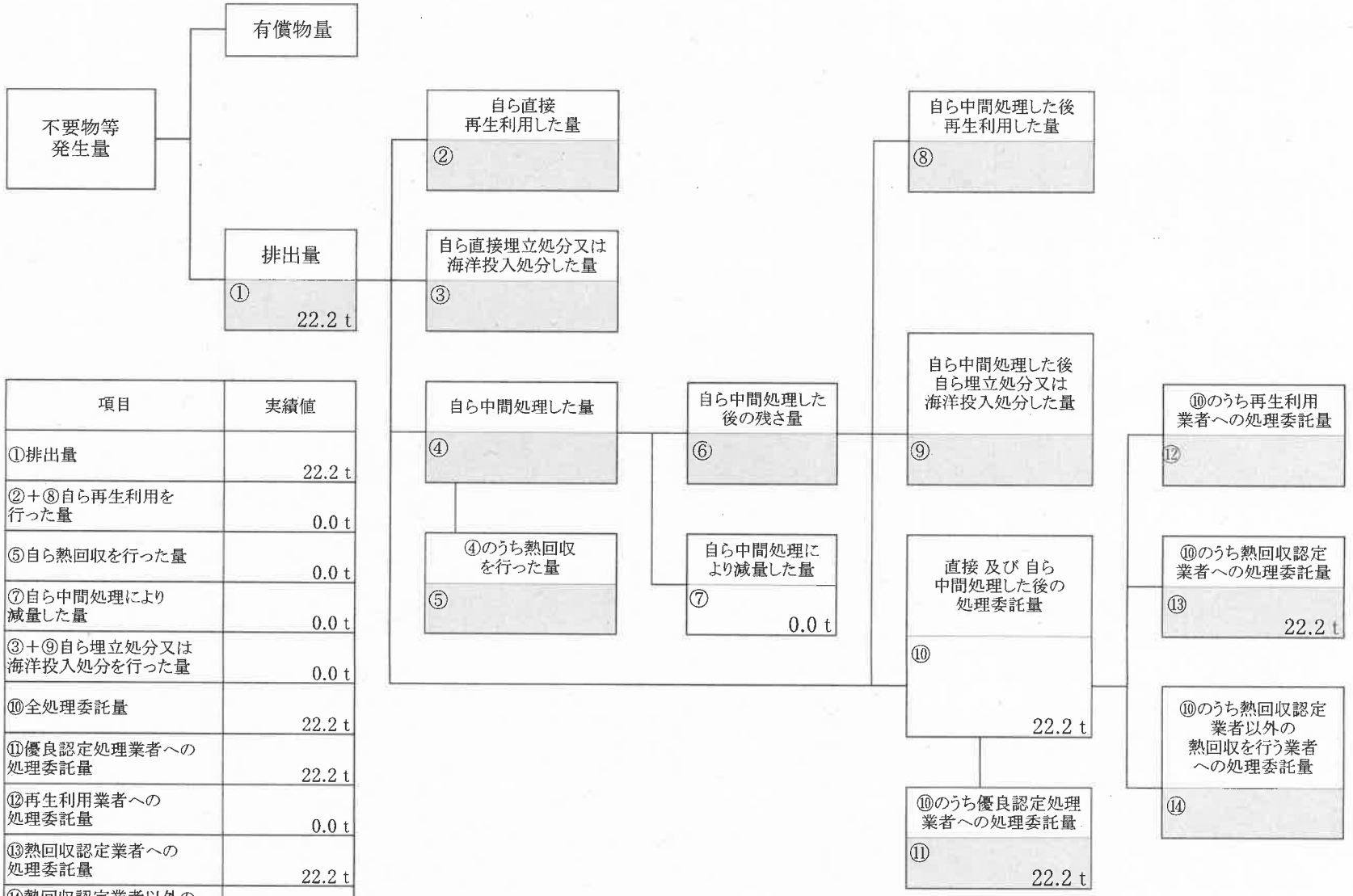


項目	実績値
①排出量	221.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	221.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	221.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	206.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	15.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（石綿含有）**）

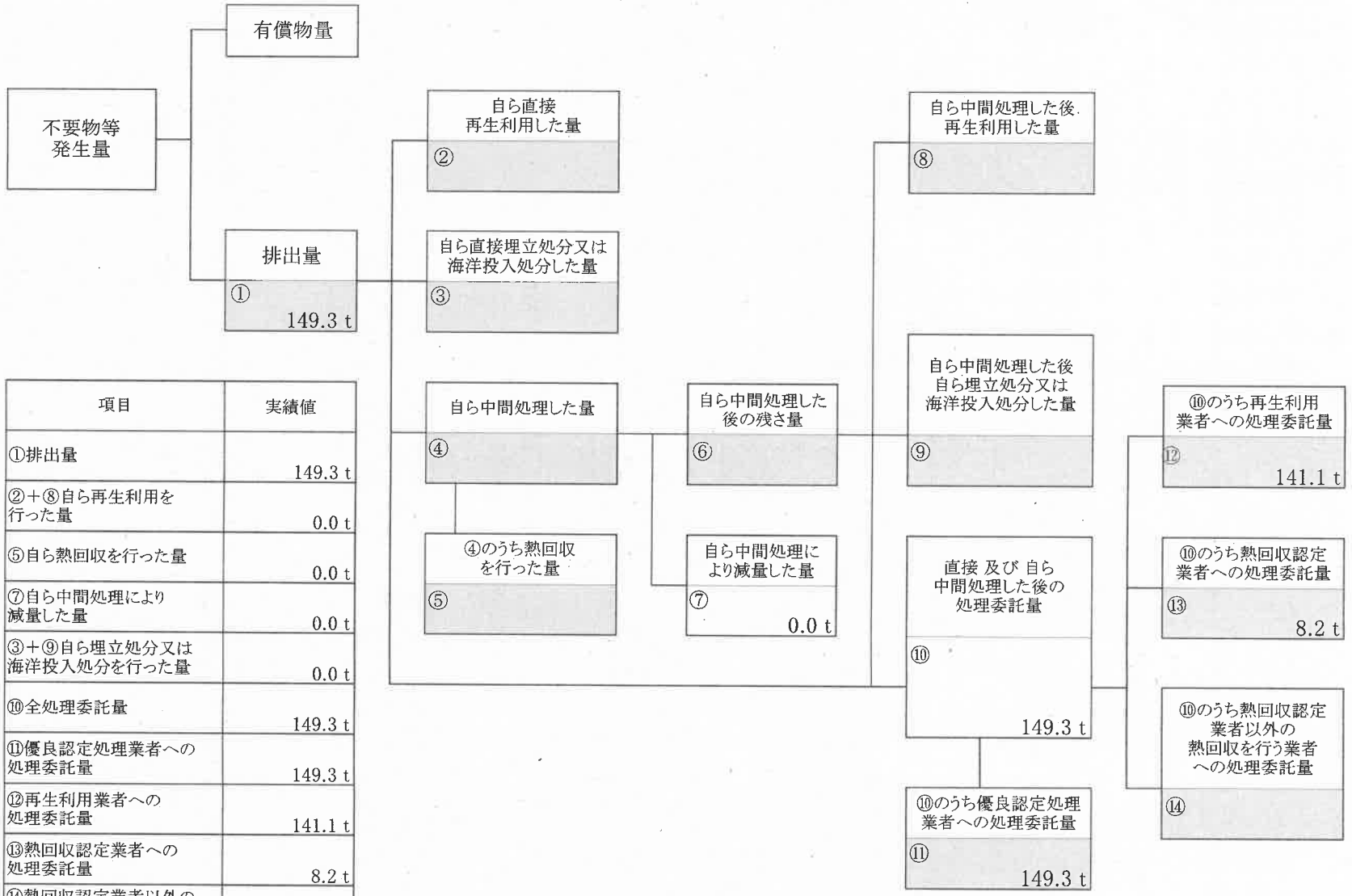


項目	実績値
①排出量	22.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	22.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

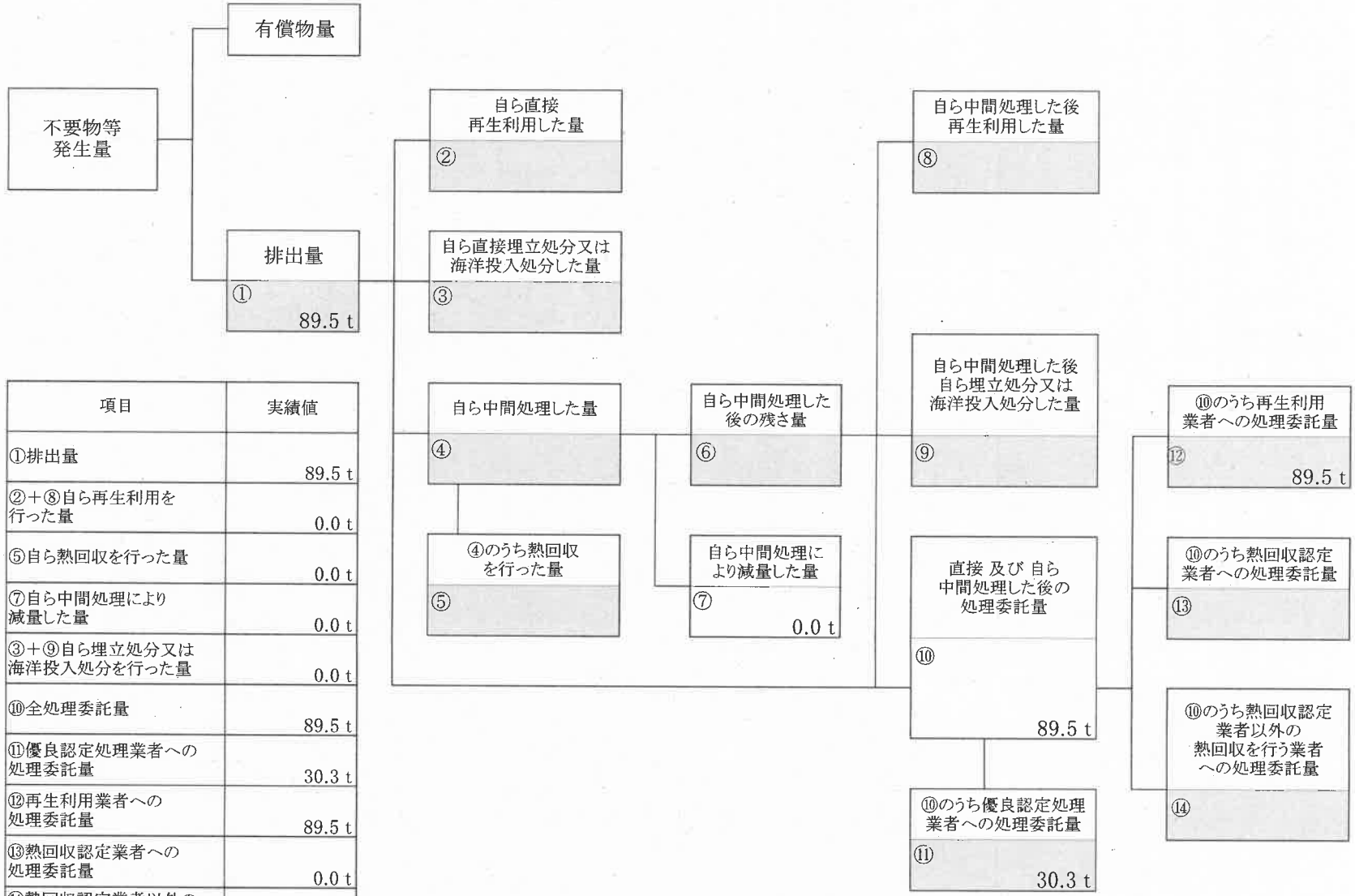


項目	実績値
①排出量	149.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	149.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	149.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	141.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	8.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルトがら）

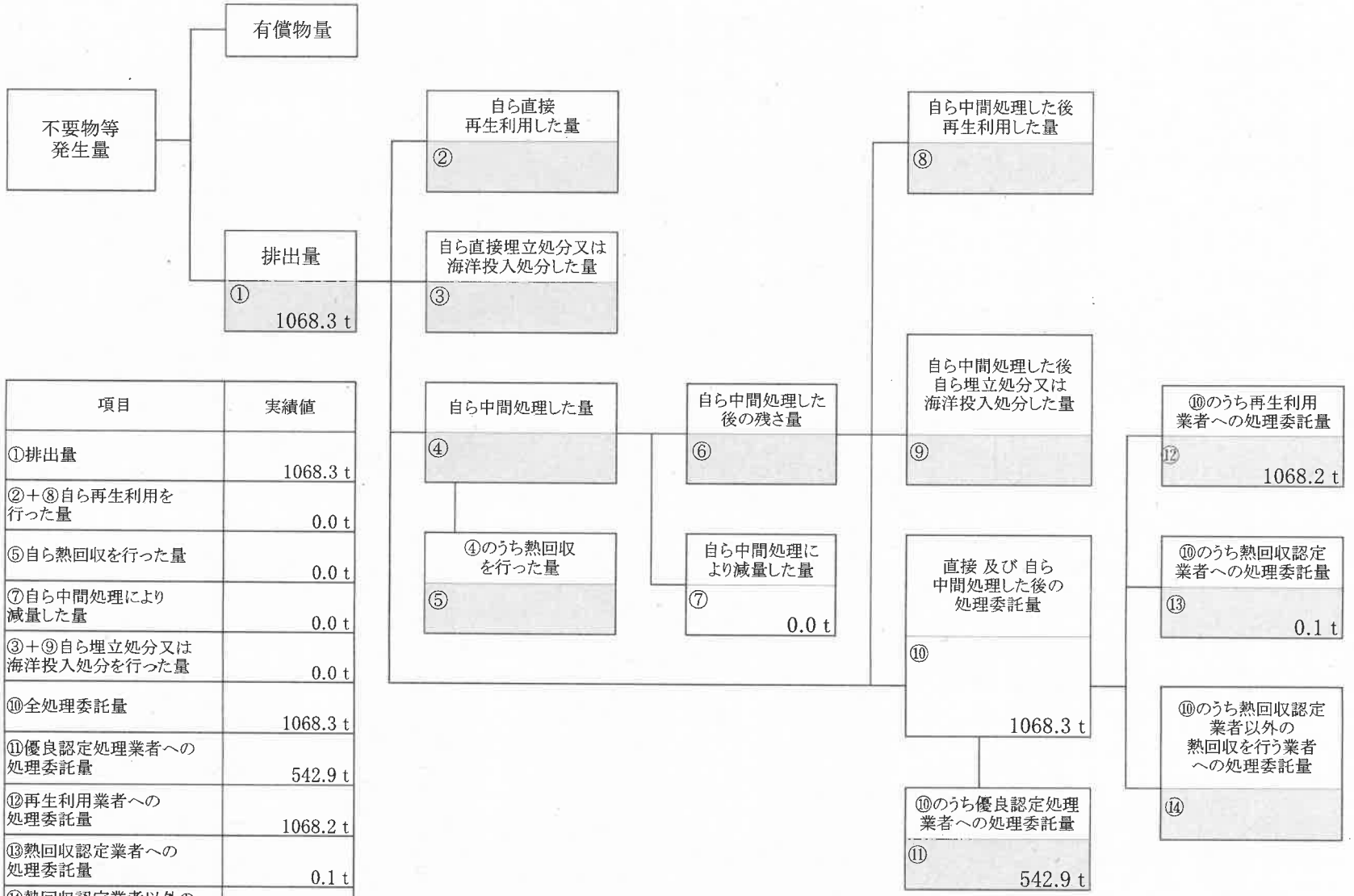


項目	実績値
①排出量	89.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	89.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	89.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

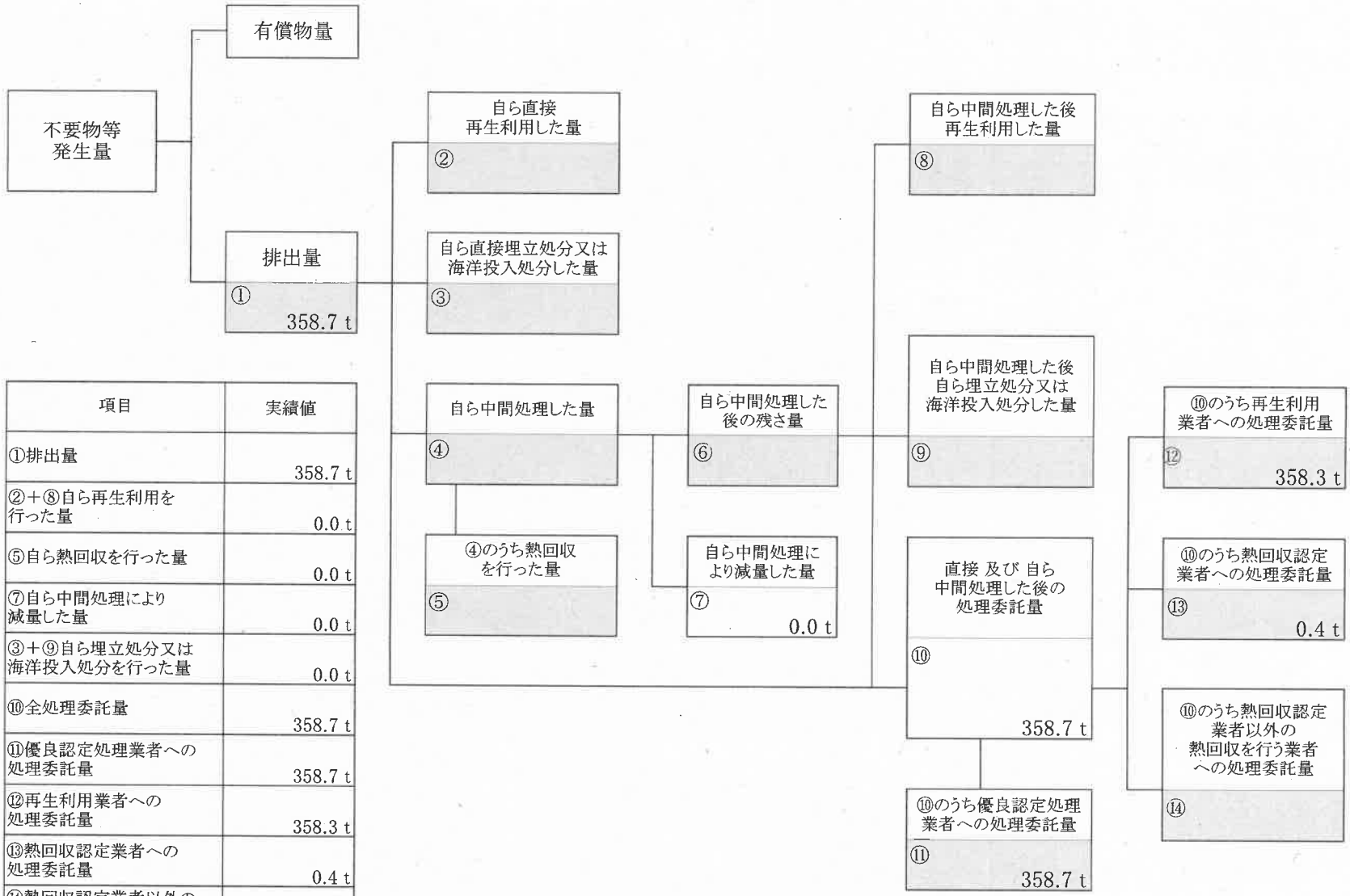


項目	実績値
①排出量	1068.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1068.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	542.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1068.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　その他がれき　）

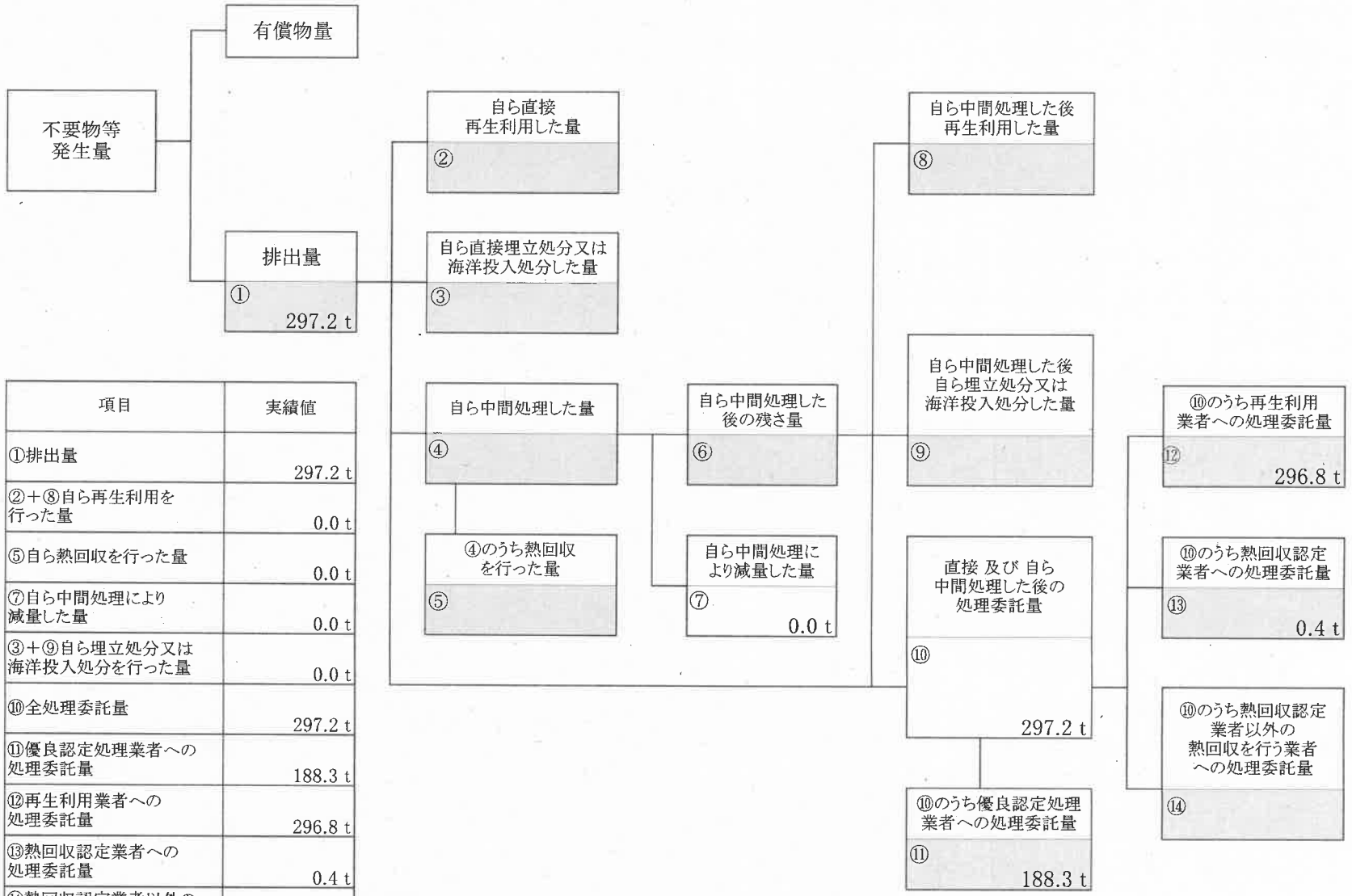


項目	実績値
①排出量	358.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	358.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	358.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	358.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず）



項目	実績値
①排出量	297.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	297.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	188.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	296.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　104-0041

住　所　東京都中央区新富２－１４－４

法人名　大豊建設株式会社東京土木支店

代表者　岩崎 延宏

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-5541-5031

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大豊建設株式会社　東京土木支店
事業場の所在地	東京都中央区新富２－１４－４
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建築業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	完成工事高（16,364百万円）
③従業員数	2025年3月度　158人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排出量	2704.55 t	t

（これまでに実施した取組）

工法の改善や余剰材の引き取りを実施する
協力業者へ分別の指導・教育を実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）

今後も同様に排出抑制を図る

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

がれき類、廃プラ、金属、木くず、現場での分別徹底を図るとともに
他の廃棄物が混入しないように保管する。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

今後も同様に分別排出の徹底を心掛ける。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・委託処理のため、実施していない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
産業廃棄物は全て委託処理する。
処理方法は出来るだけ再利用できる業者に委託する。
また、優良認定処理業者を優先する。
電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・現状同様、産業廃棄物は全て委託処理する。
・処理方法は出来るだけ再利用できる業者に委託する。
・可能な限り優良認定処理業者から選定する。
・電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

産業廃棄物は全て委託処理する。
処理方法は出来る限り再生利用できる業者に委託する。
また、優良認定処理業者を優先して委託する。

1 建設汚泥
汚泥再生処理業者に委託契約→路盤材、埋め戻し材として再資源化

2 がれき類（コンクリート、アスコン）
がれき類再生処理会社に委託契約→再生砕石、再生砂として再資源化

3 木くず
再生処理業者に委託契約→破砕チップ化、堆肥化として再資源化

4 金属くず
スクラップ業者に委託契約、売却→再製鉄として再資源化

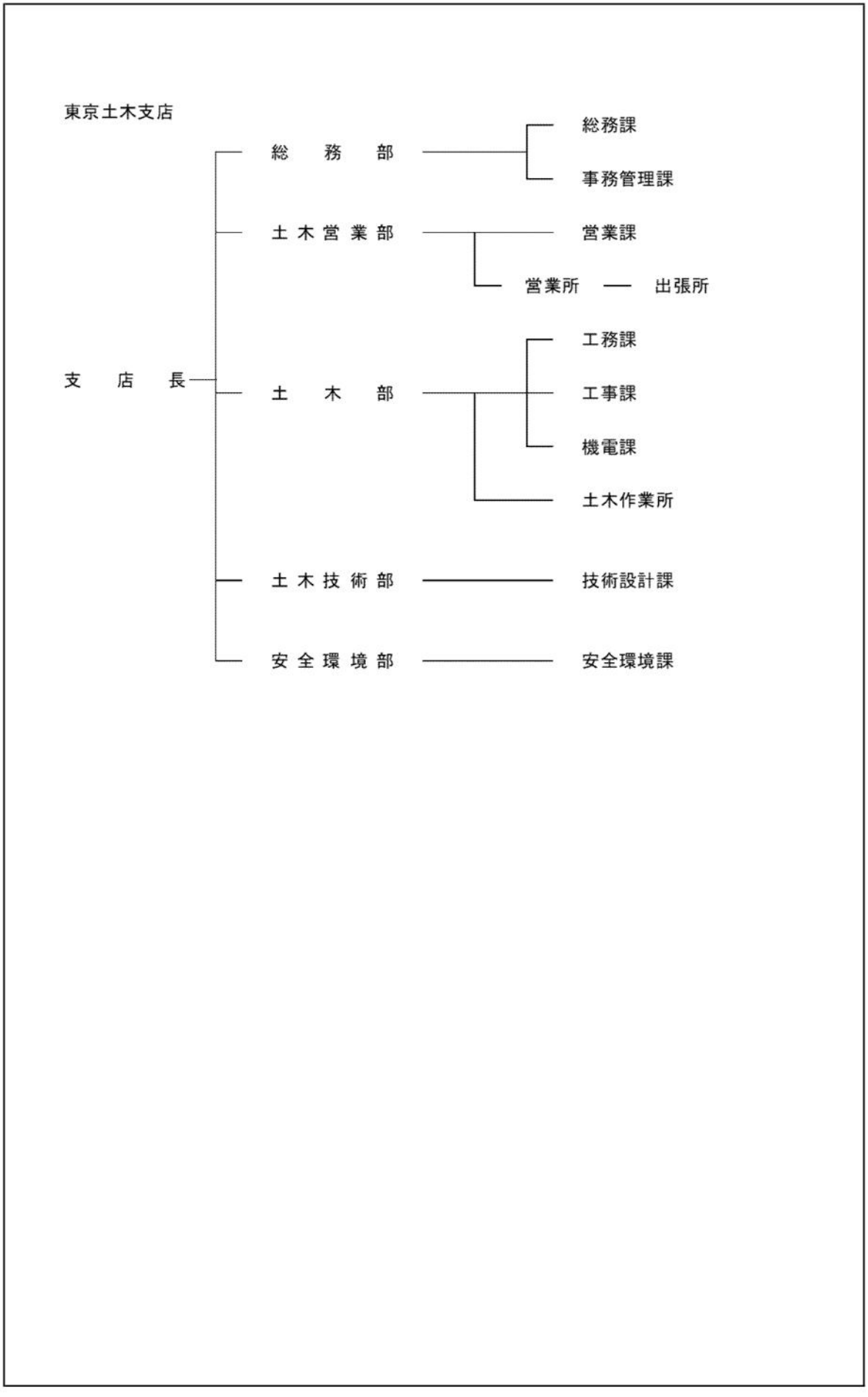
5 紙くず
再生処理業者に委託契約 → 選別・圧縮・梱包 → 製紙原料として再資源化

6 廃プラスチック
破砕、選別、焼却業者に委託契約→再生原料、他埋立処分

7 混合廃棄物その他
破砕、選別、焼却業者に委託契約→再生原料、チップ、燃料等に再資源化し、燃えがら等は最終処分

8 石綿含有産業廃棄物
特別管理産業廃棄物として適正保管 → 許可を受けた処分業者に委託契約 → 飛散防止措置を講じた上で密閉容器搬送 → 管理型最終処分場にて埋立処分（再資源化不可）

別添２ 管理体制図


東京土木支店
支　店　長
総　務　部
総務課
事務管理課
土木営業部
営業課
営業所
出張所
土　木　部
工務課
工事課
機電課
土木作業所
土木技術部
技術設計課
安全環境部
安全環境課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
排出量	2,704.55 t	1.40 t	0.75 t	1.93 t	6.10 t	185.11 t	240.93 t	3.90 t	1.48 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
排出量	2,434.10 t	1.26 t	0.68 t	1.74 t	5.49 t	166.60 t	216.84 t	3.51 t	1.33 t									

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
全処理委託量	2,704.55 t	1.40 t	0.75 t	1.93 t	6.10 t	185.11 t	240.93 t	3.90 t	1.48 t									
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	1.40 t	0.75 t	1.93 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	3.90 t	0.00 t									
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物									
全処理委託量	2,434.10 t	1.26 t	0.68 t	1.74 t	5.49 t	166.60 t	216.84 t	3.51 t	1.33 t									
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	1.26 t	0.68 t	1.74 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	3.51 t	0.00 t									
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月26日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　104-0041

住所 東京都中央区新富2－14－4

法人名 大豊建設株式会社 東京土木支店

代表者 岩崎 延宏

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5541-5031

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大豊建設株式会社 東京土木支店
事業場の所在地	東京都中央区新富2－14－4
事業の種類	大分類　建築業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

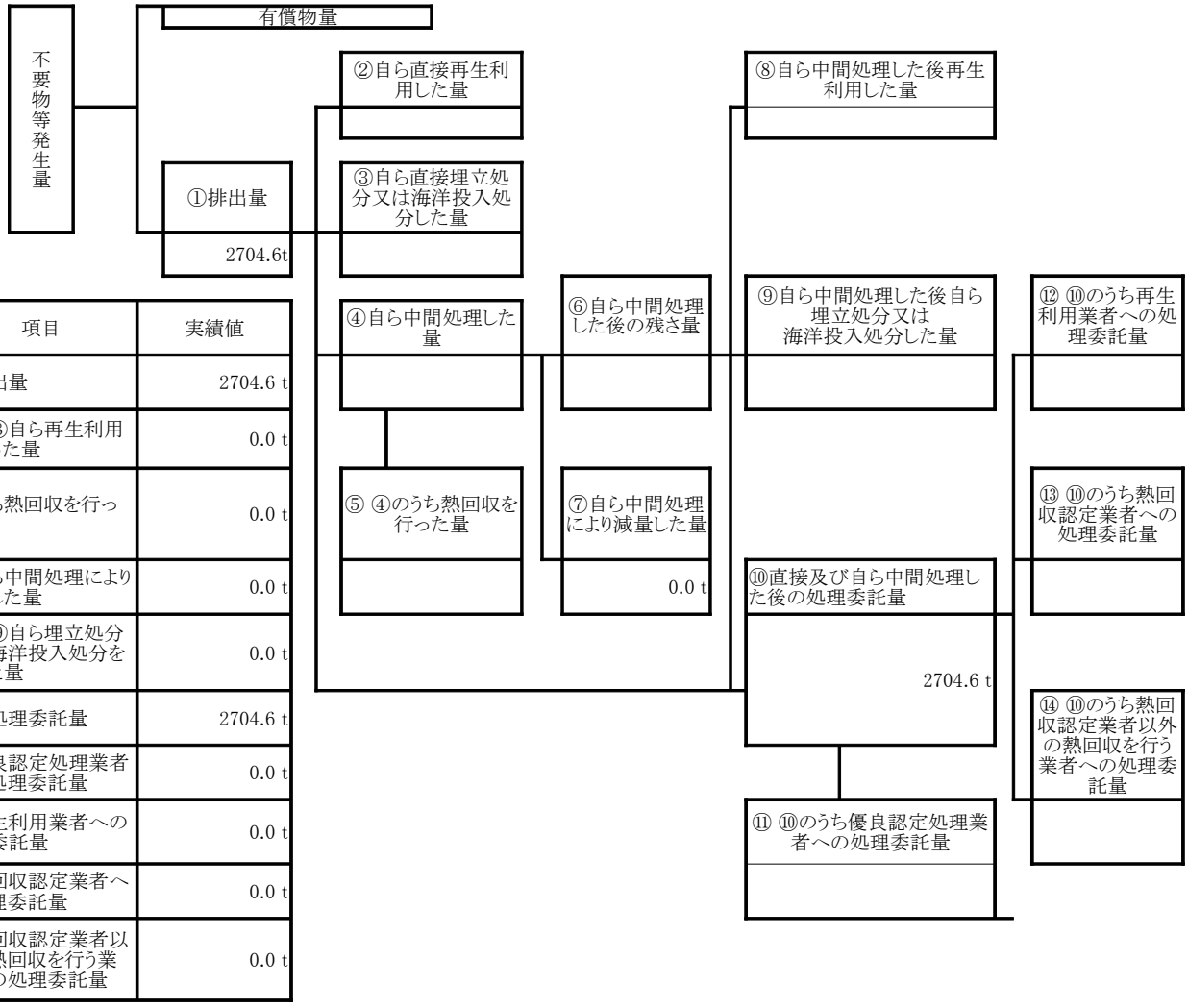
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1414.82 t	全処理委託量	1414.82 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	9.59 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

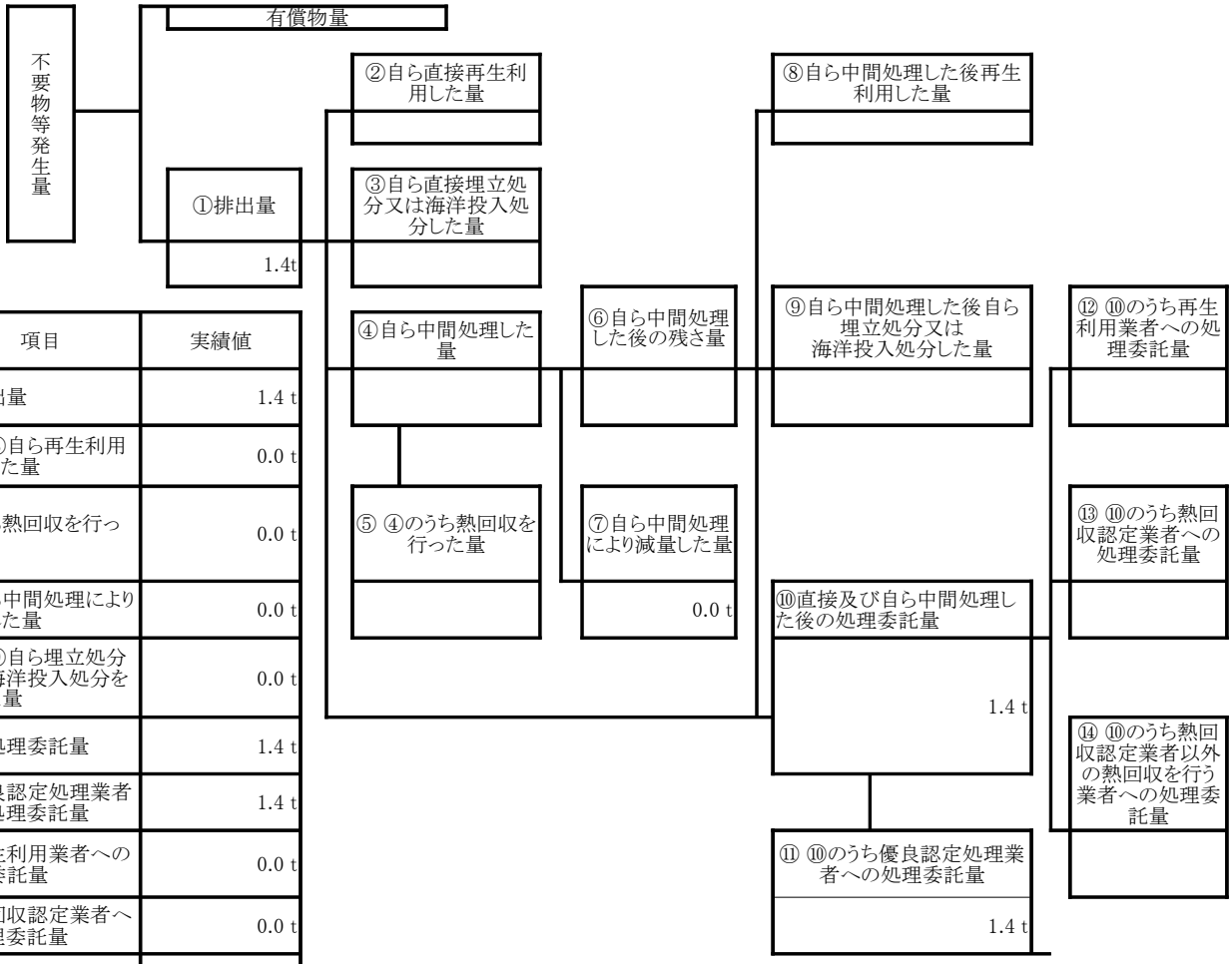


項目	実績値
①排出量	2704.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2704.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



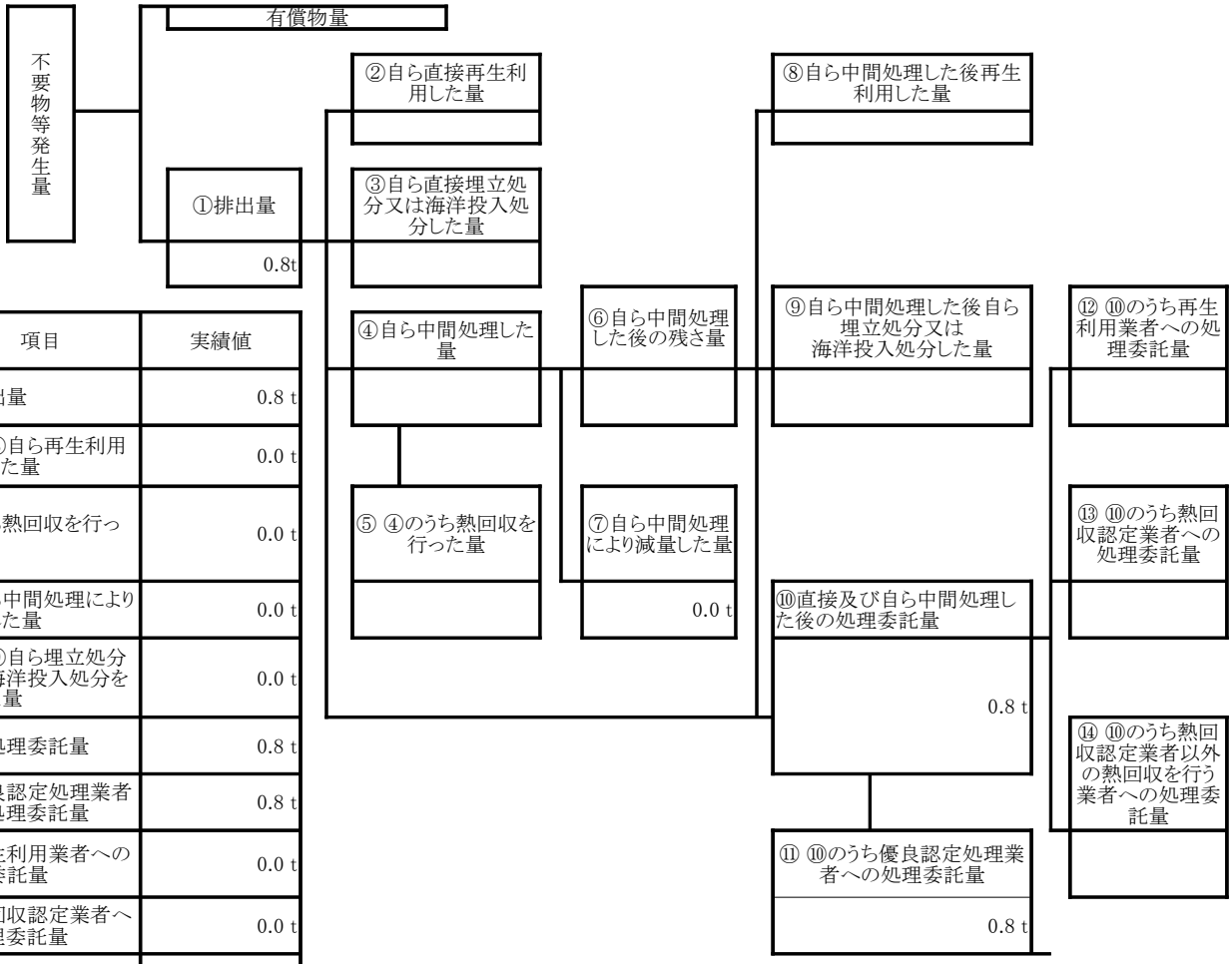
項目	実績値
①排出量	1.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



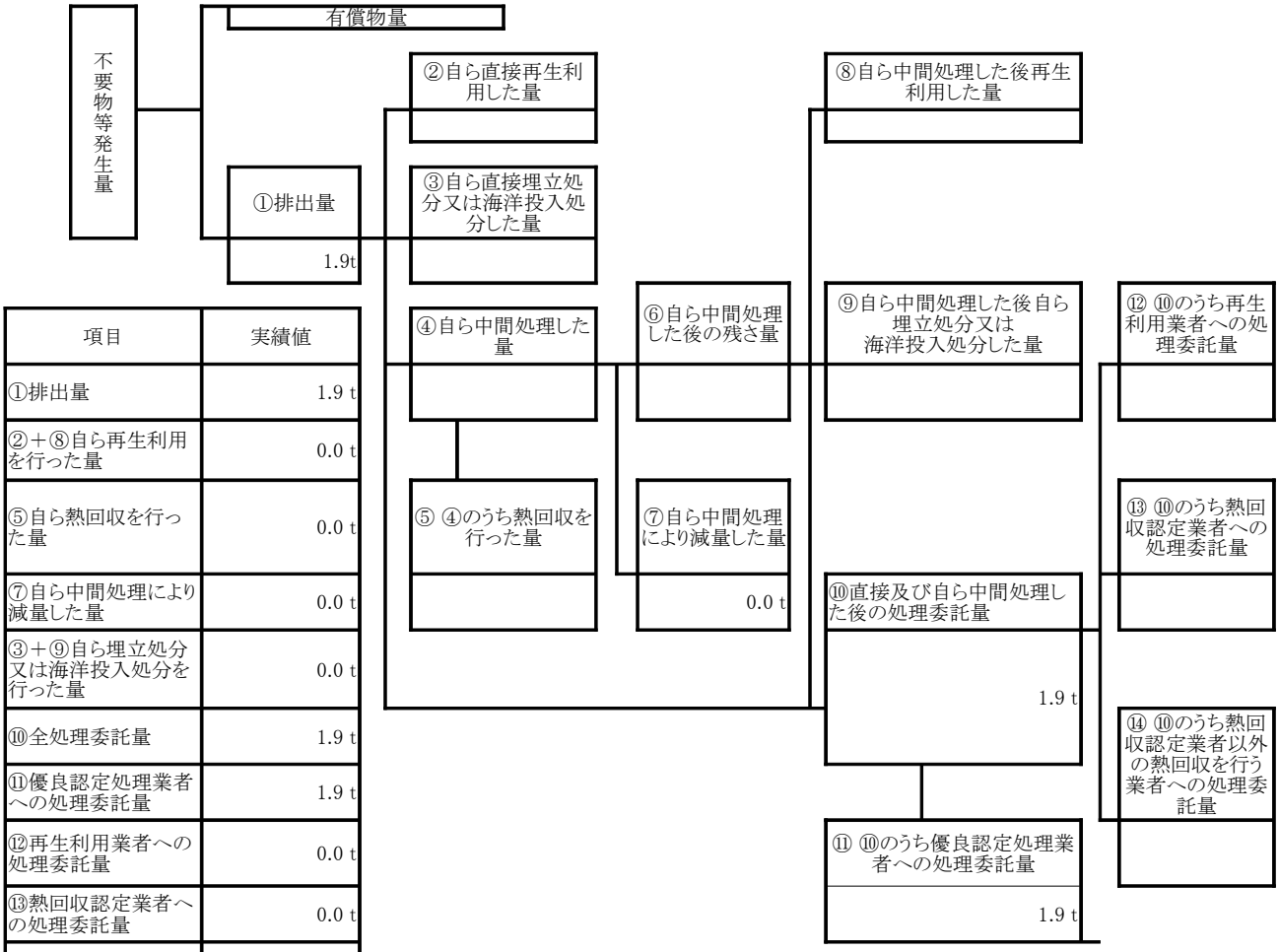
項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



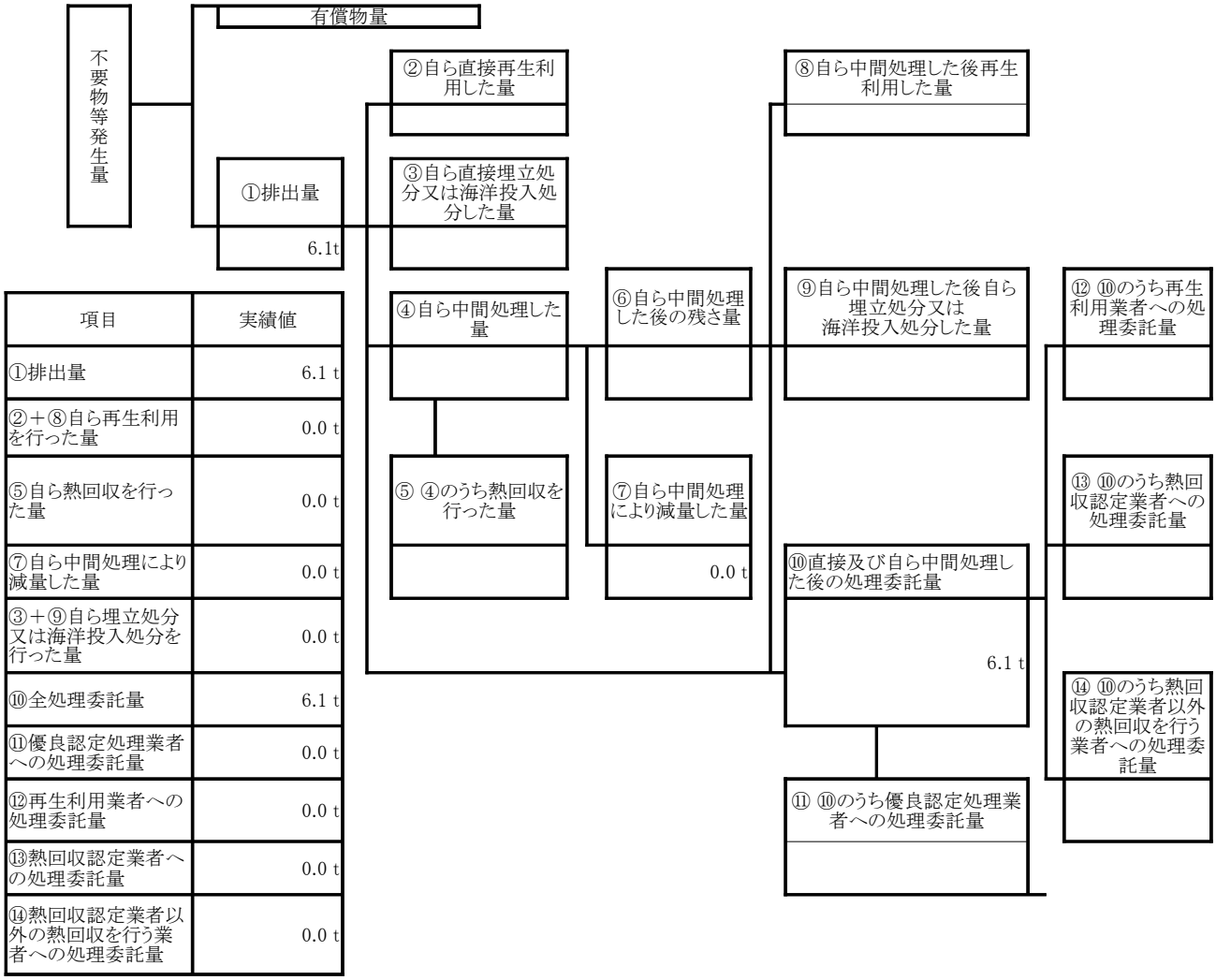
項目	実績値
①排出量	1.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

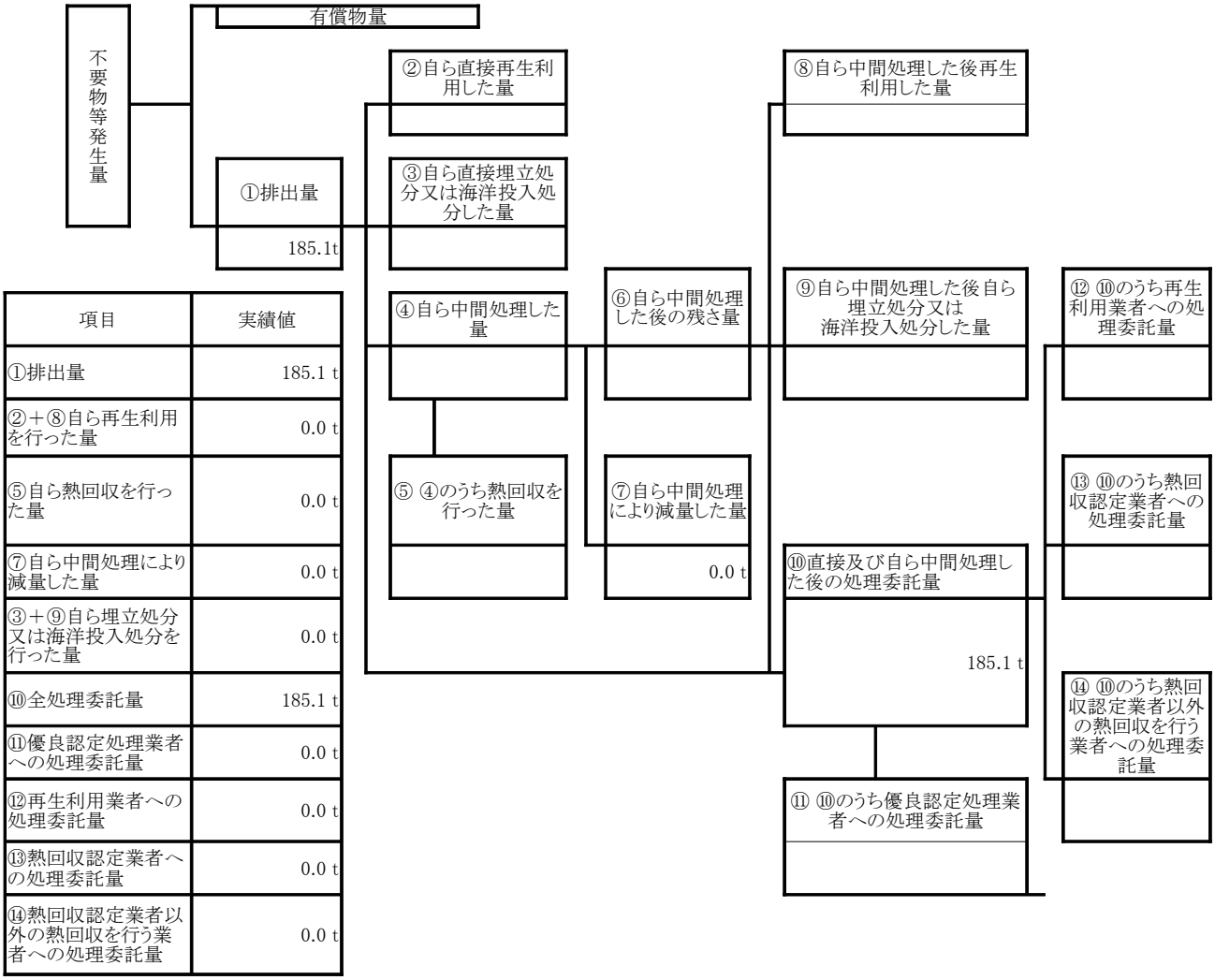


項目	実績値
①排出量	6.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アス・コン片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

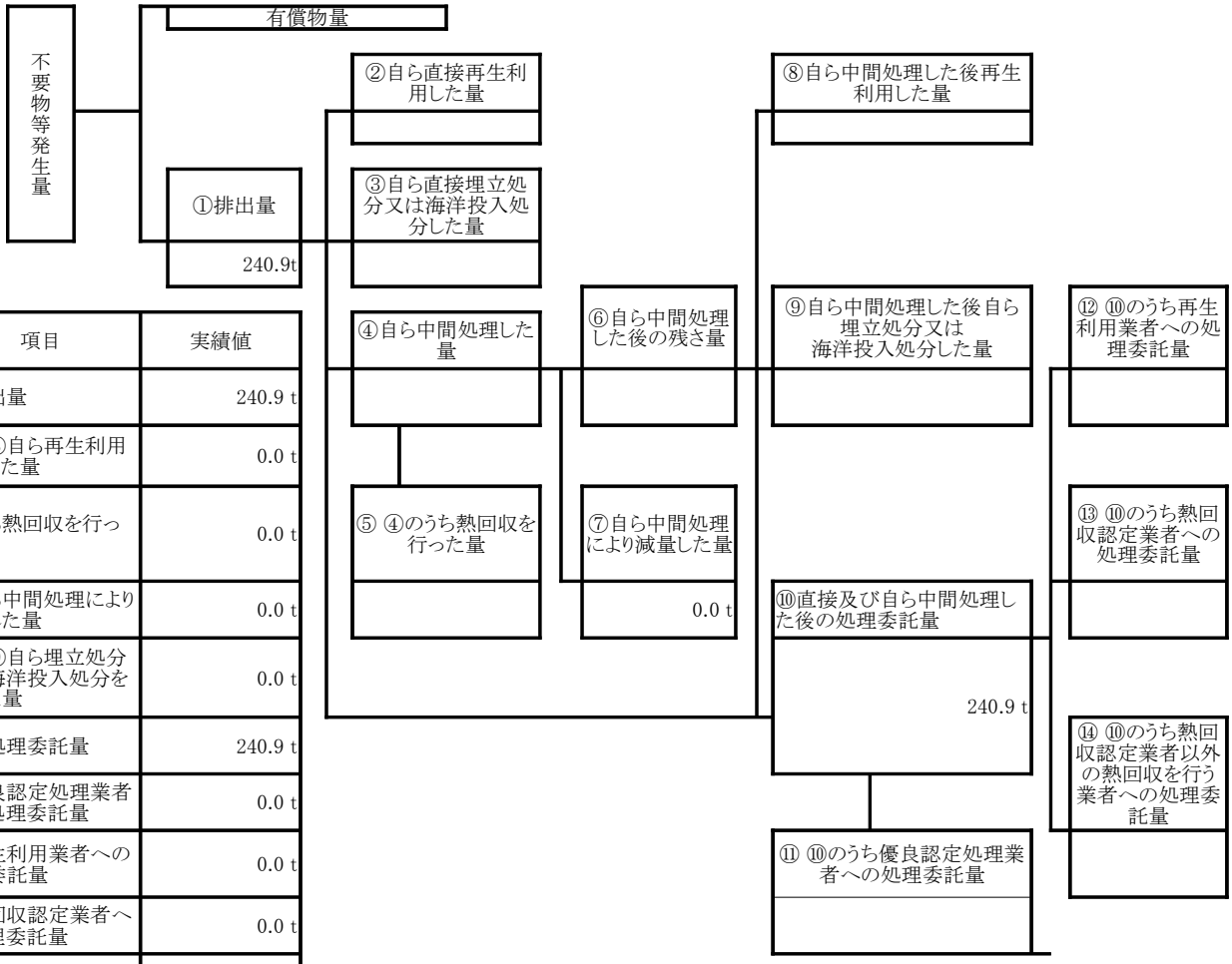


項目	実績値
①排出量	185.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	185.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



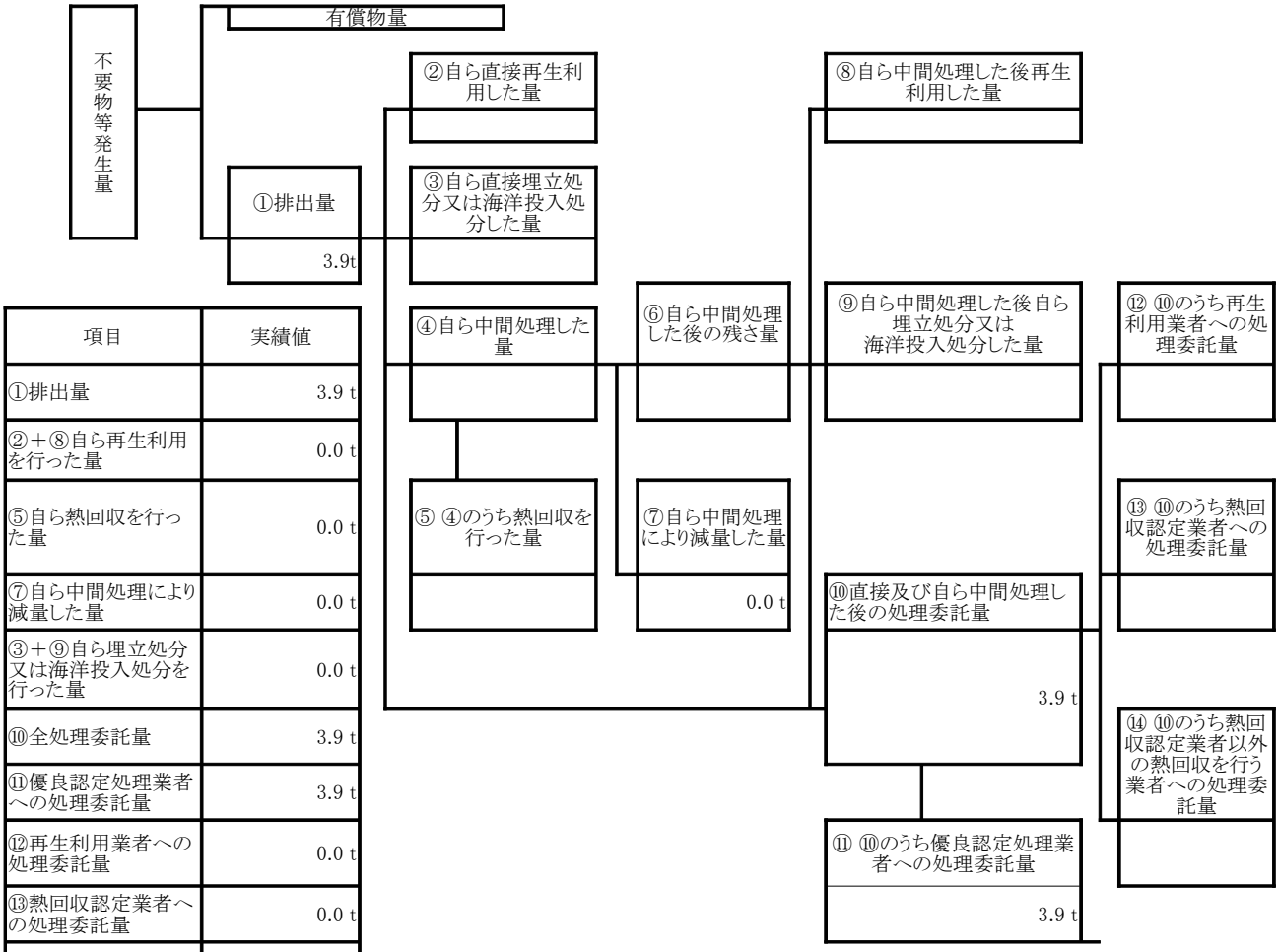
項目	実績値
①排出量	240.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	240.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

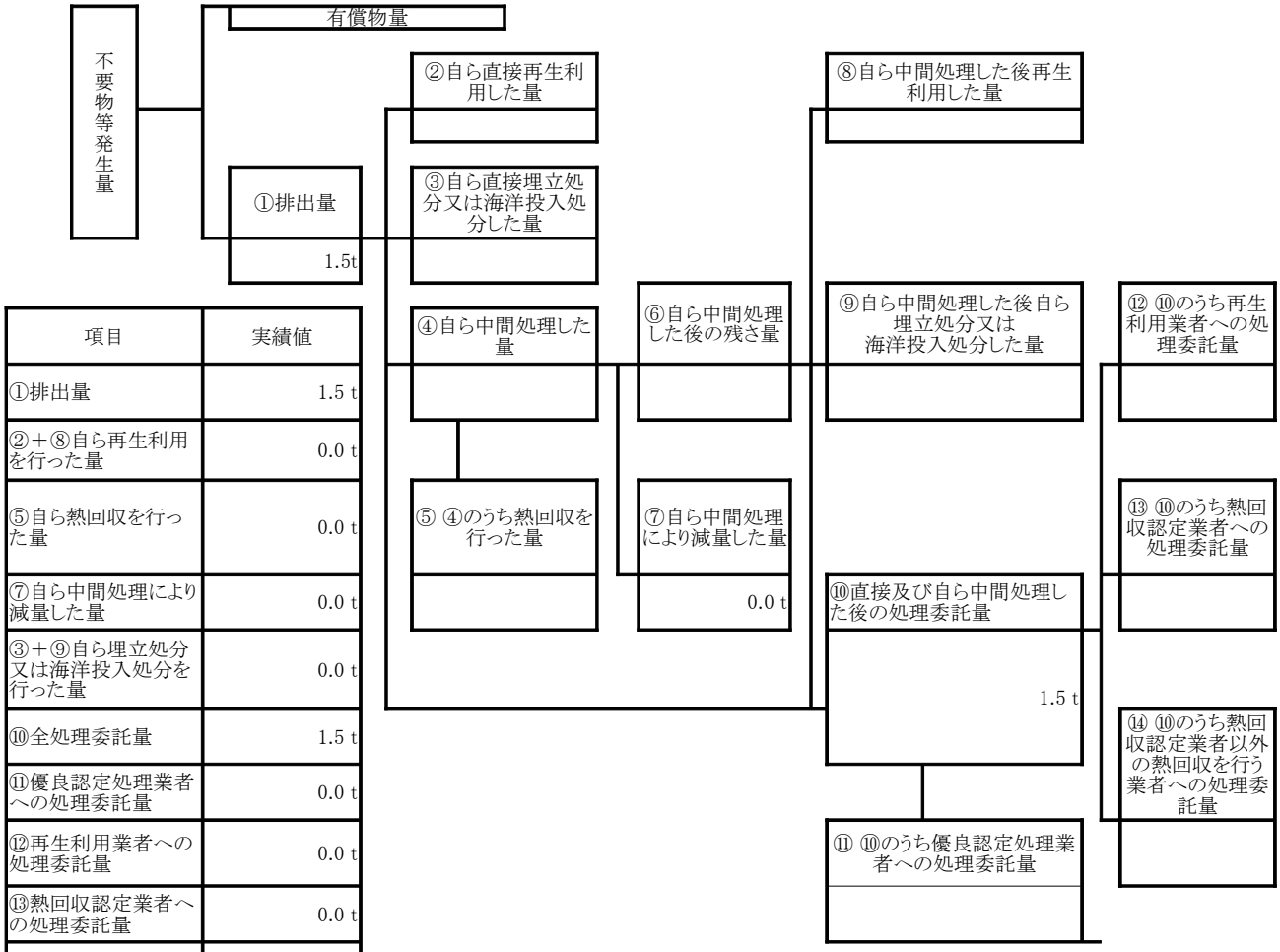


項目	実績値
①排出量	3.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　310-0851

住　所　茨城県水戸市千波町1950ウェーブ21ビル3階A

法人名　株式会社大洋

代表者　勝山 純至

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　029-305-3321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大洋
事業場の所在地	千葉県内（千葉市、船橋市、柏市を除く）各工事現場
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　1,969,545千円(前年度実績)
③従業員数	30名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	13.83 t	0.15 t

（これまでに実施した取組）
・分別を徹底し、排出量を抑制する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	12.45 t	0.14 t

（今後実施する予定の取組）
同上

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・コンクリートガラと金属をできる限り分別する。
・混合廃棄物をできる限り少なくする。
・木くずが大量に出る物件では、種類別に分別する。
・石綿含有建材の分別の徹底。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量		13.83 ｔ	0.15 ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	13.83 ｔ	0.15 ｔ
	再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

・委託基準に従って、適正な許可業者に委託する。
・マニフェスト伝票の管理を適正に行う。
・電子マニフェストを活用し、データの透明性、事務処理の適正化を図る。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>紙くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>12.45 t</td><td>0.14 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>12.45 t</td><td>0.14 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・現在取り組んでいる事項の徹底、継続実施。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

各解体工事現場より排出
↓
産業廃棄物処理業者に全量委託して処分
・コンクリートがら、アスがら、木くず、ガラス・陶磁器くず
　廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、石膏ボード　｝破砕、溶融、焼却　⇒　再利用

・建設混合廃棄物　⇒　分別　⇒　破砕、溶融　⇒　再利用

・石綿含有建材　⇒埋立

別添２ 管理体制図

【工事部】 ⇒ 廃棄物処理方針の策定

⇓

工事本部長(廃棄物管理担当部長)

・廃棄物処理方針の策定

⇓ ・廃棄物処理方針の策定処理業者の選定及び管理

・委託契約の締結

各作業所長

⇓ ・廃棄物の委託、監視

・マニフェスト伝票(紙・電子)の交付・管理

社内にて、マニフェスト伝票(紙・電子)の集計、管理、保管

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
	排　出　量	13.83 t	0.15 t	36.85 t	12.50 t	10.95 t	1,376.00 t	456.00 t	343.84 t	5.46 t	4.71 t	0.50 t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
	排　出　量	12.45 t	0.14 t	33.17 t	11.25 t	9.86 t	1,238.40 t	410.40 t	309.46 t	4.91 t	4.24 t	0.45 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
全処理委託量	13.83 t	0.15 t	36.85 t	12.50 t	10.95 t	1,376.00 t	456.00 t	343.84 t	5.46 t	4.71 t	0.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	13.83 t	0.15 t	0.00 t	12.50 t	10.95 t	0.00 t	0.00 t	159.84 t	5.46 t	4.71 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.50 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品
全処理委託量	12.45 t	0.14 t	33.17 t	11.25 t	9.86 t	1,238.40 t	410.40 t	309.46 t	4.91 t	4.24 t	0.45 t
優良認定処理業者への処理委託量	12.45 t	0.14 t	0.00 t	11.25 t	9.86 t	0.00 t	0.00 t	143.86 t	4.91 t	4.24 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.45 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月30日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　310-0851

住所 茨城県水戸市千波町1950ウェーブ21ビル3階A

法人名 株式会社大洋

代表者 勝山 純至

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 029-305-3321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社大洋
事業場の所在地	千葉県内(千葉市、船橋市、柏市を除く)各工事現場
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

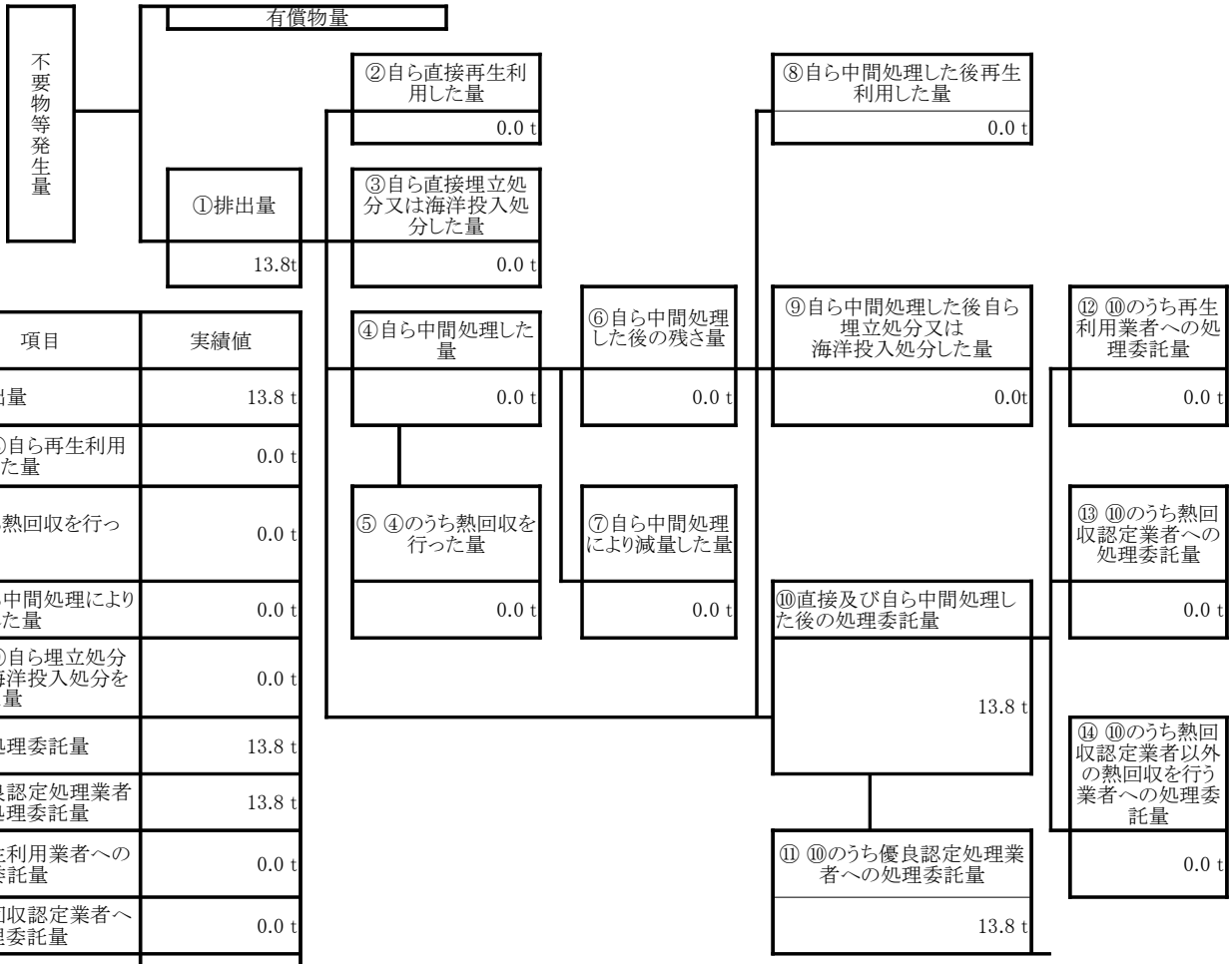
項目	目標値	項目	目標値
排出量	11393.2 t	全処理委託量	11393.2 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	2754.06 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1081.35 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

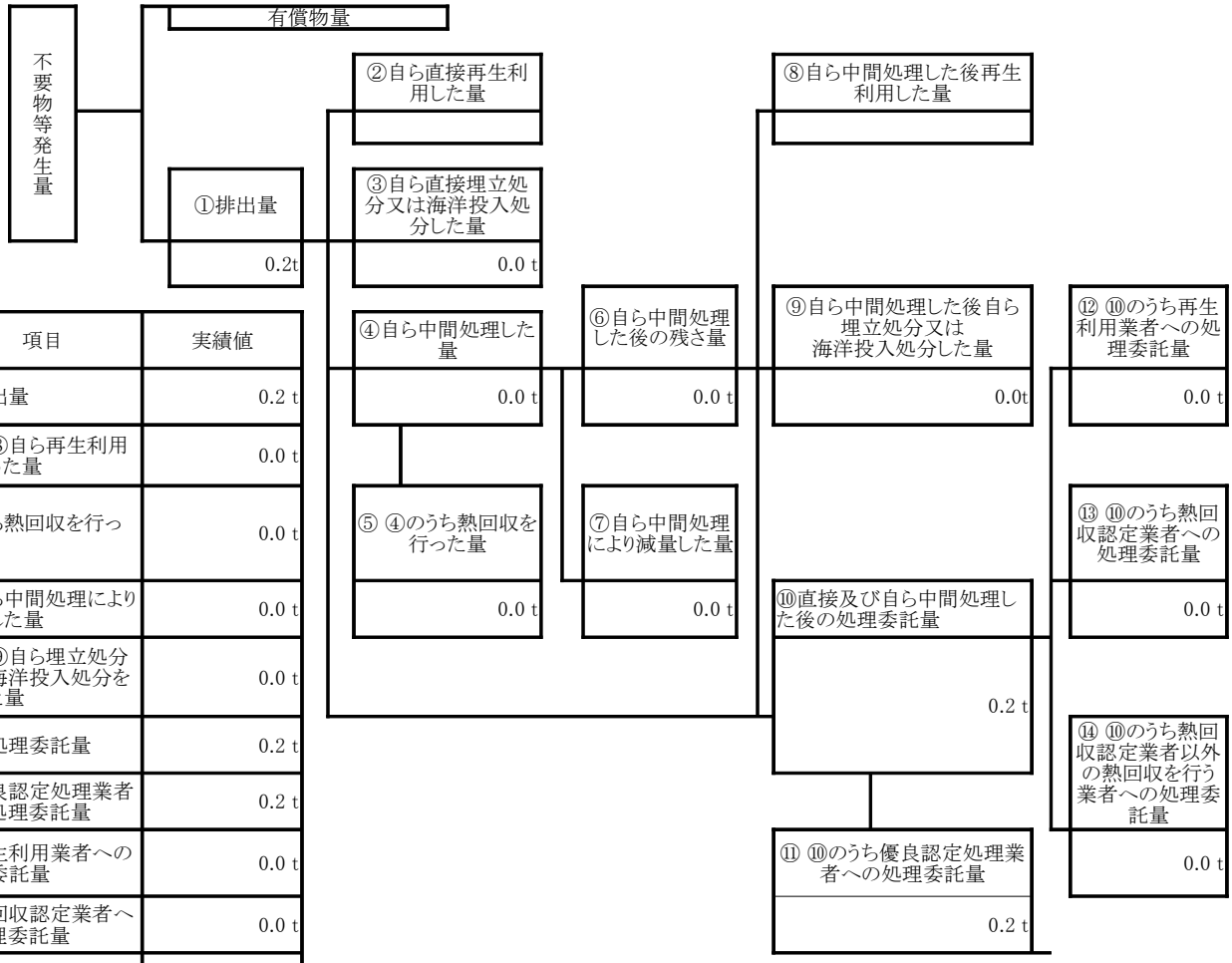


項目	実績値
①排出量	13.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

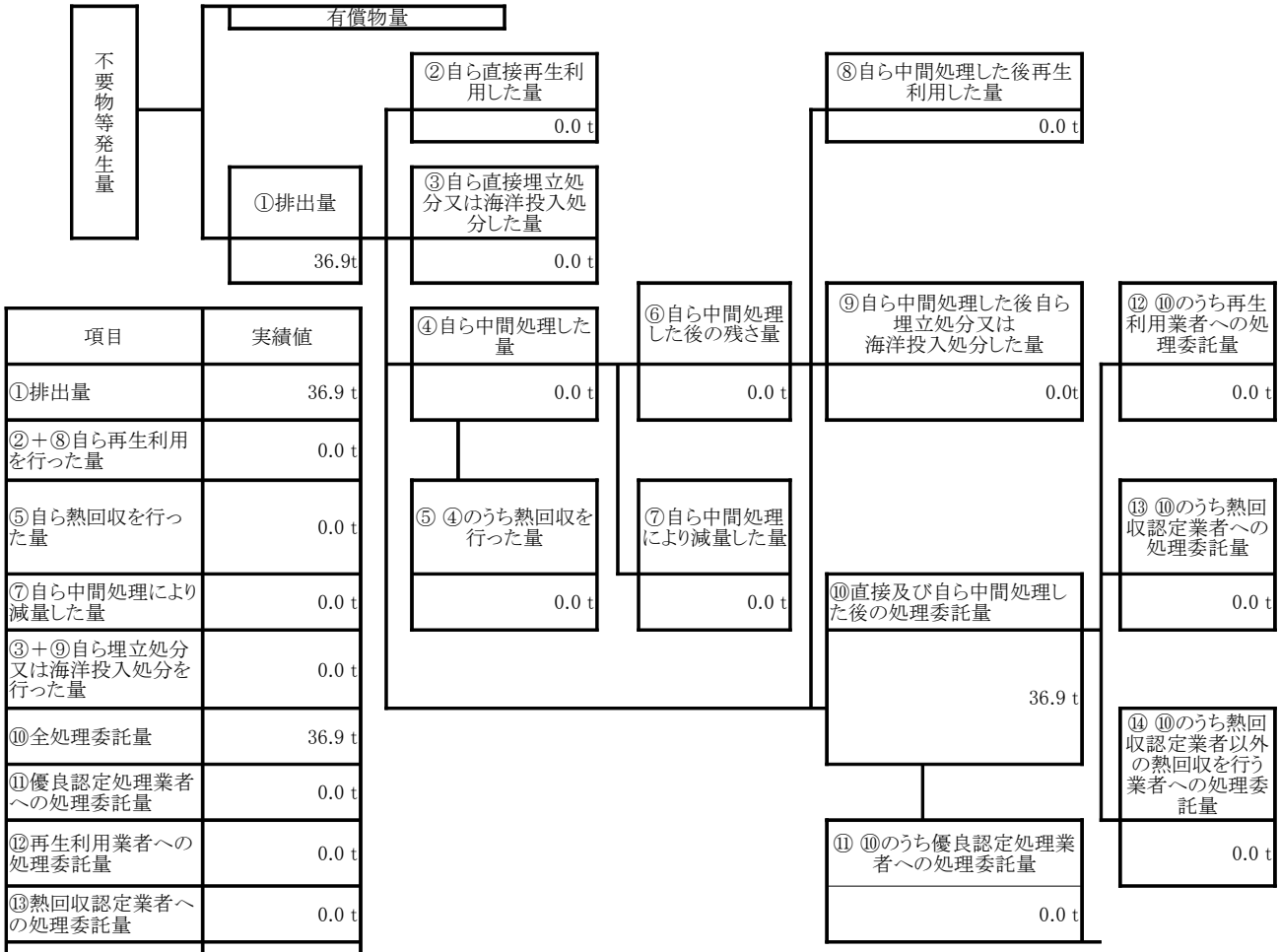


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

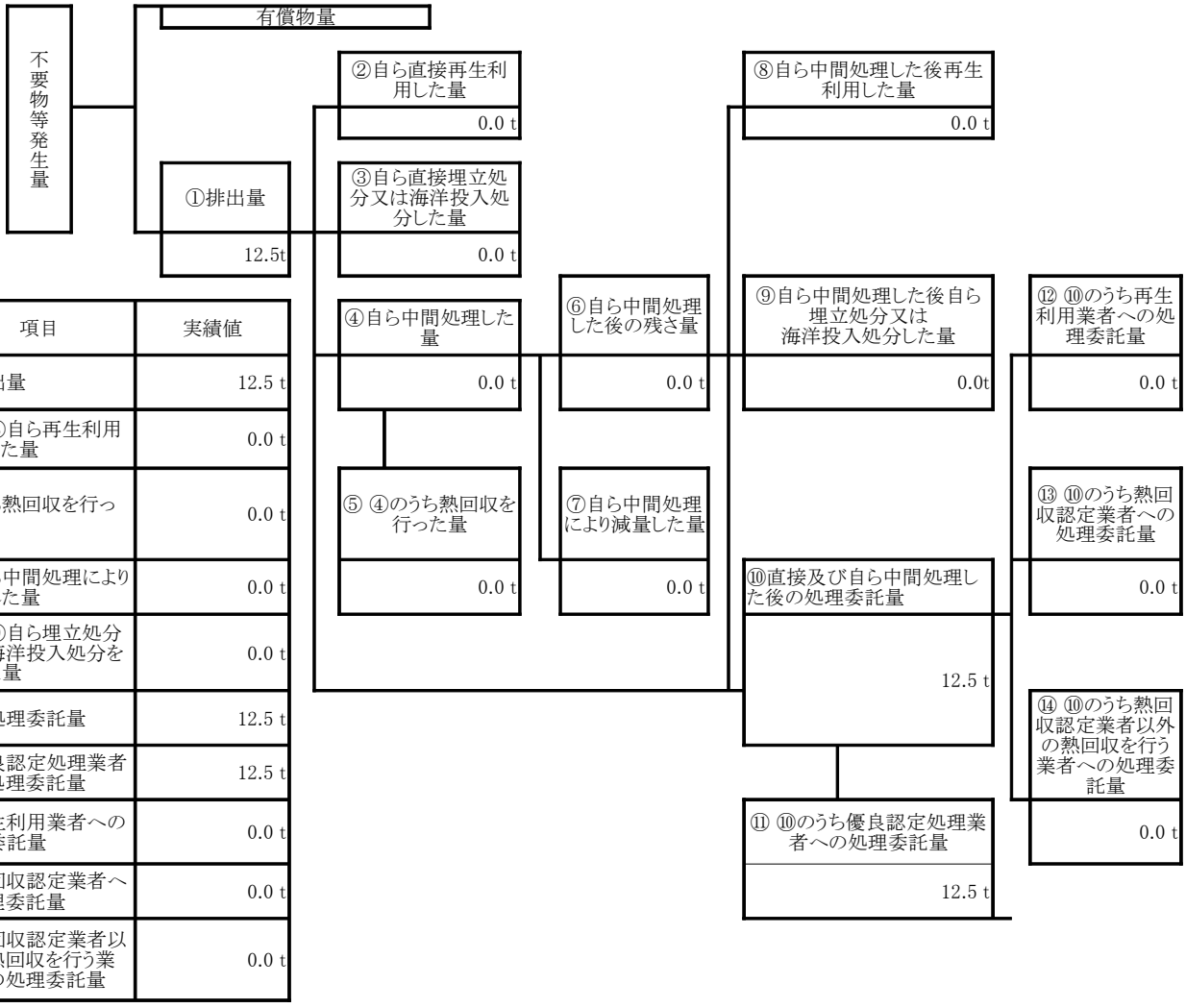


項目	実績値
①排出量	36.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	36.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラス陶磁器等くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



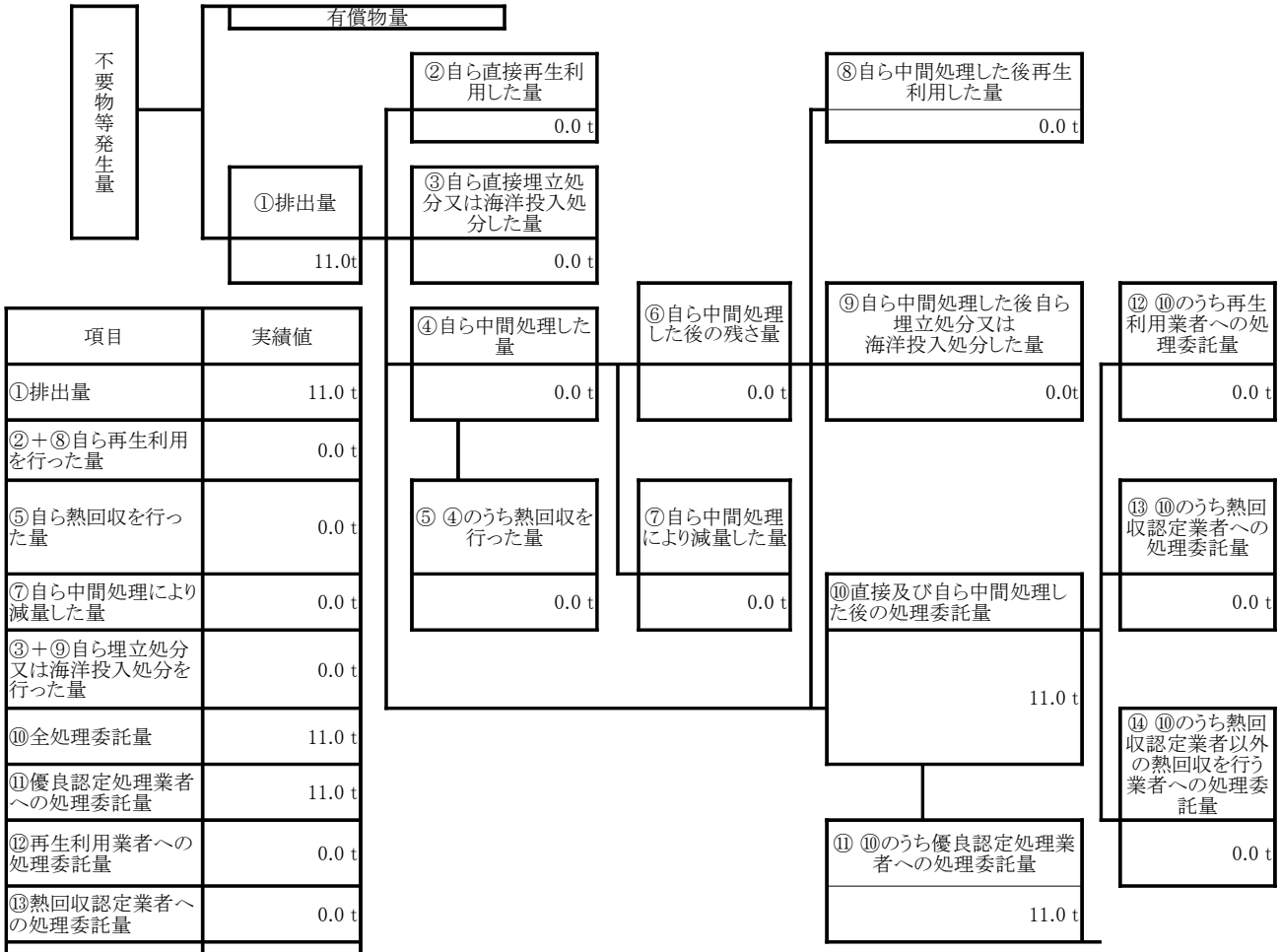
項目	実績値
①排出量	12.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



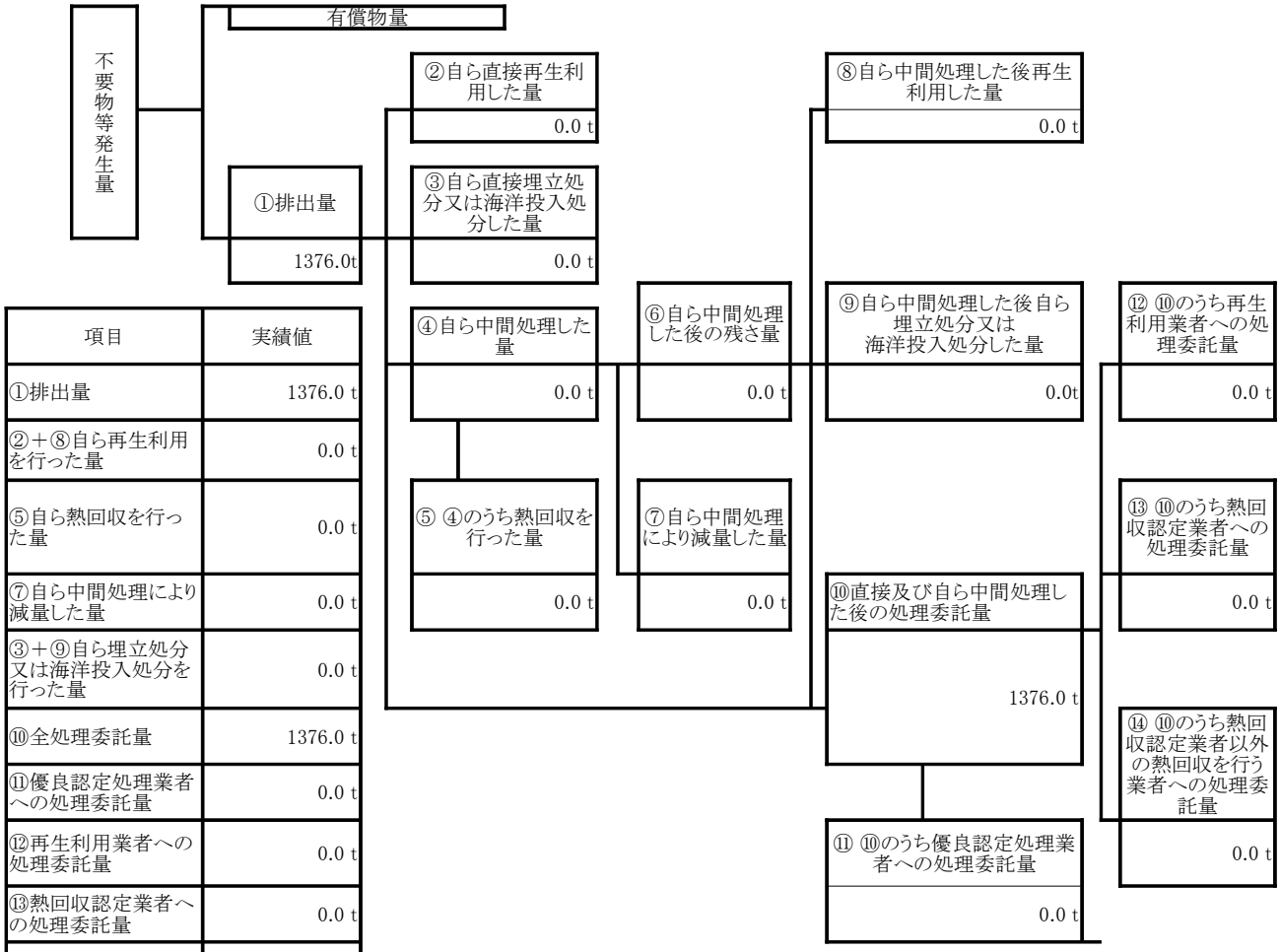
項目	実績値
①排出量	11.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

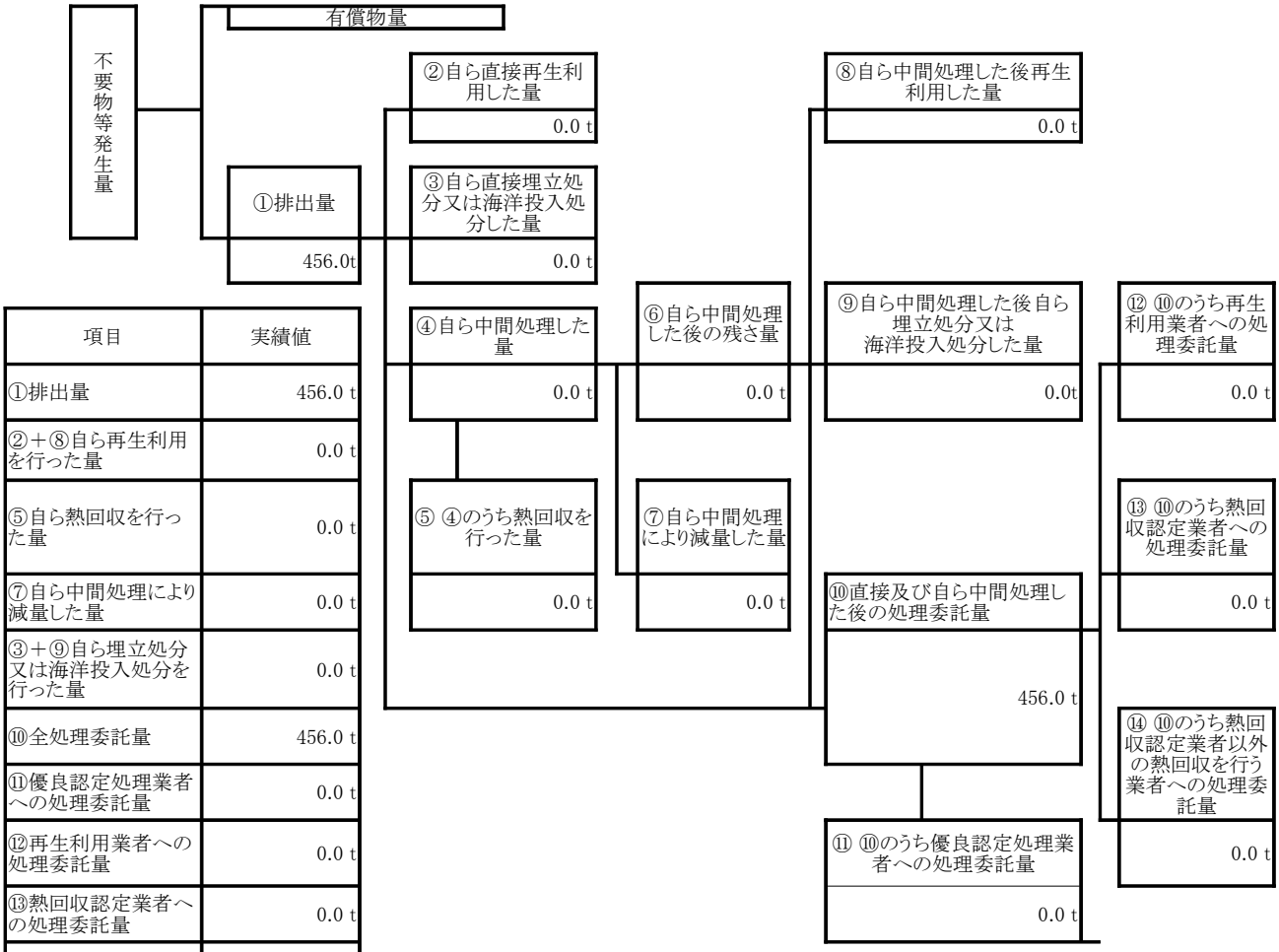


項目	実績値
①排出量	1376.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1376.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: アス・コン片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



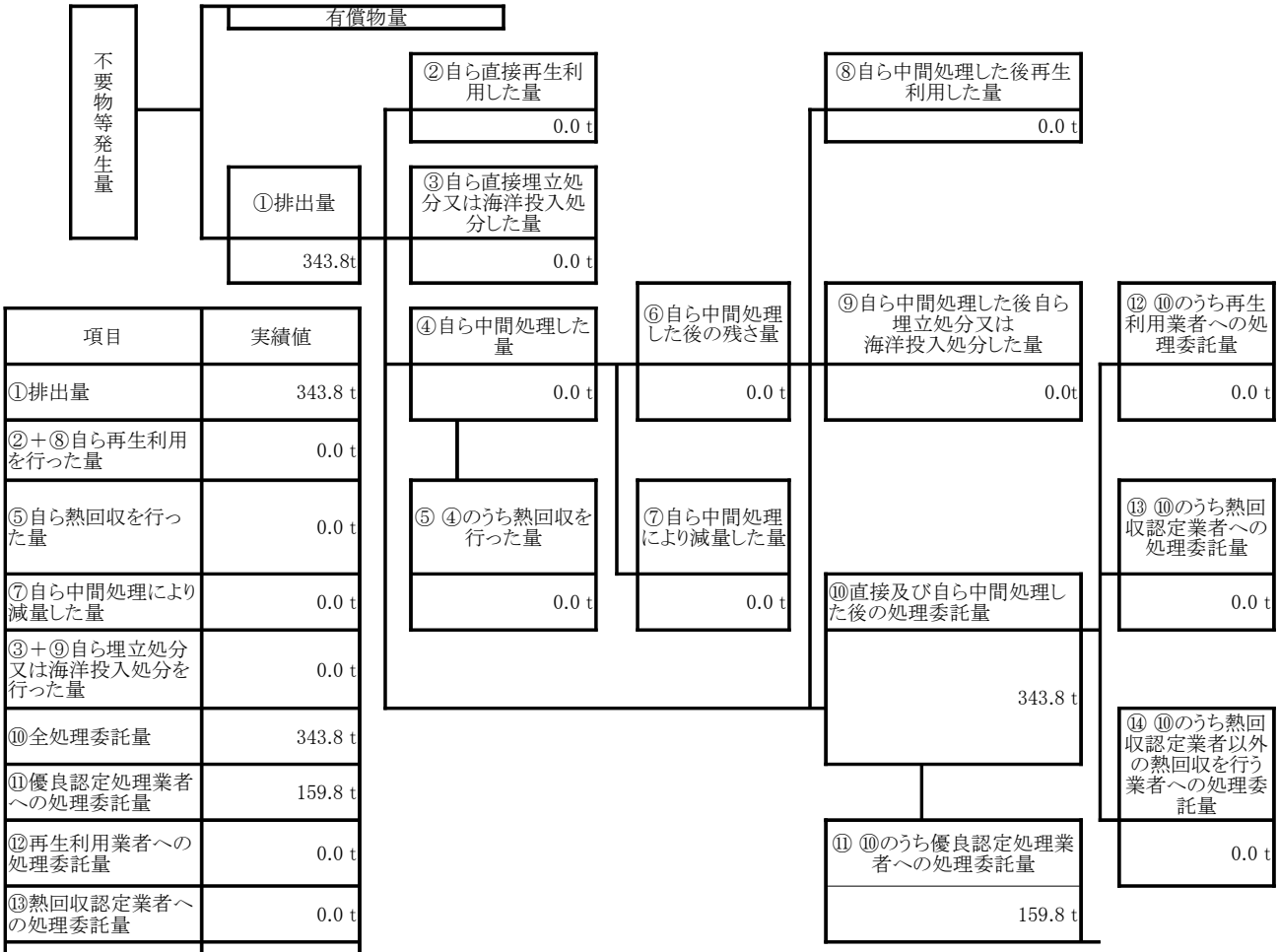
項目	実績値
①排出量	456.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	456.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



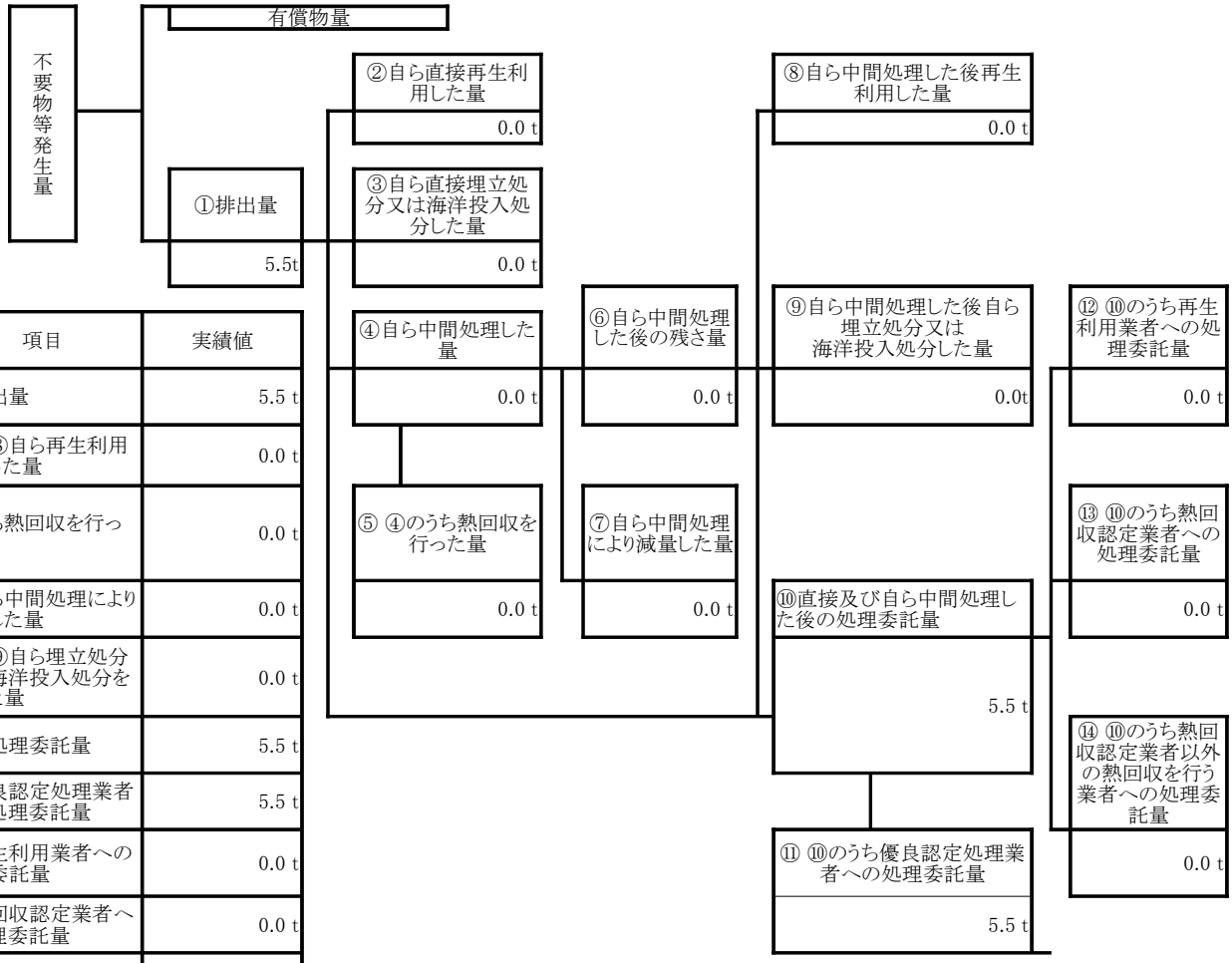
項目	実績値
①排出量	343.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	343.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	159.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

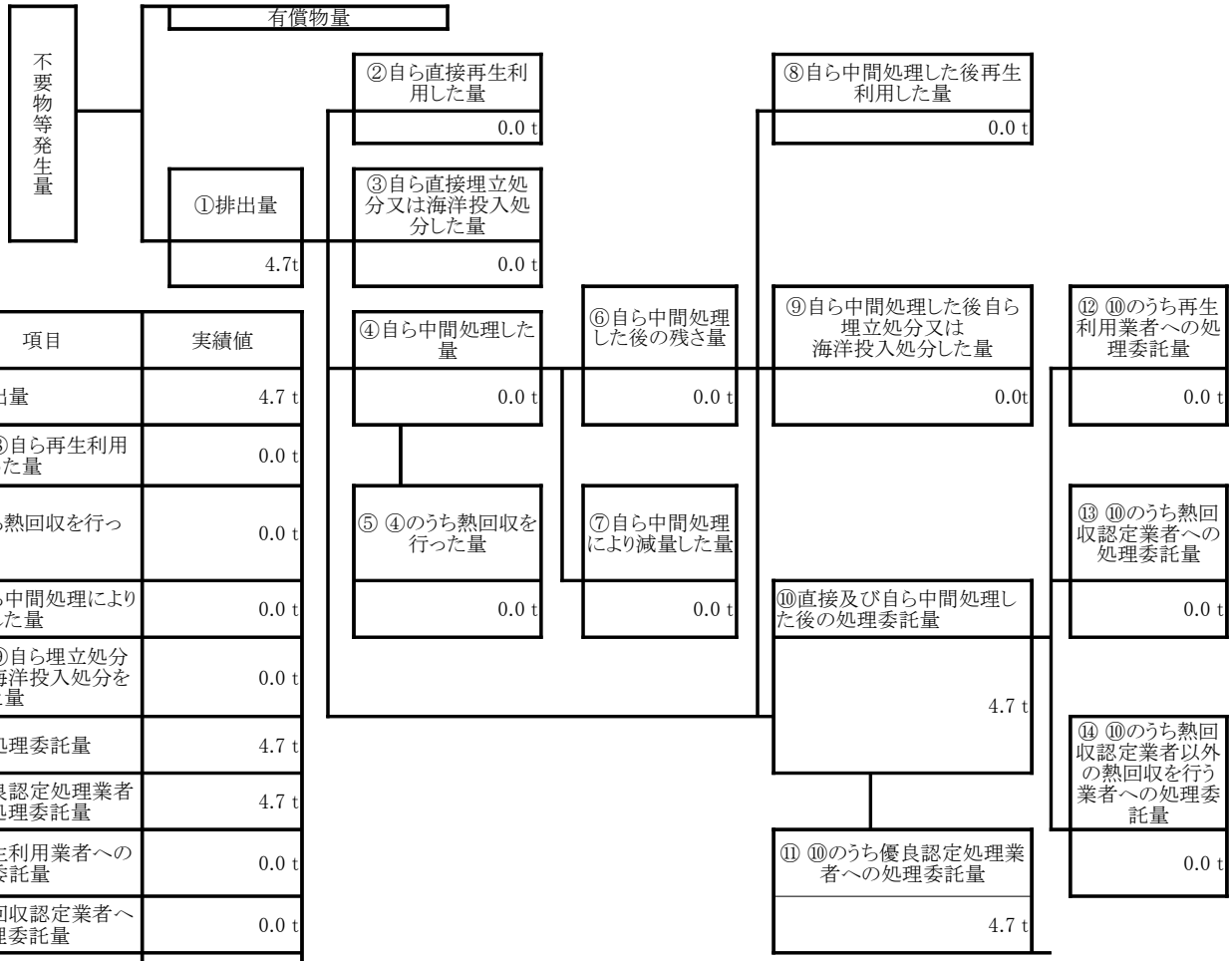


項目	実績値
①排出量	5.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

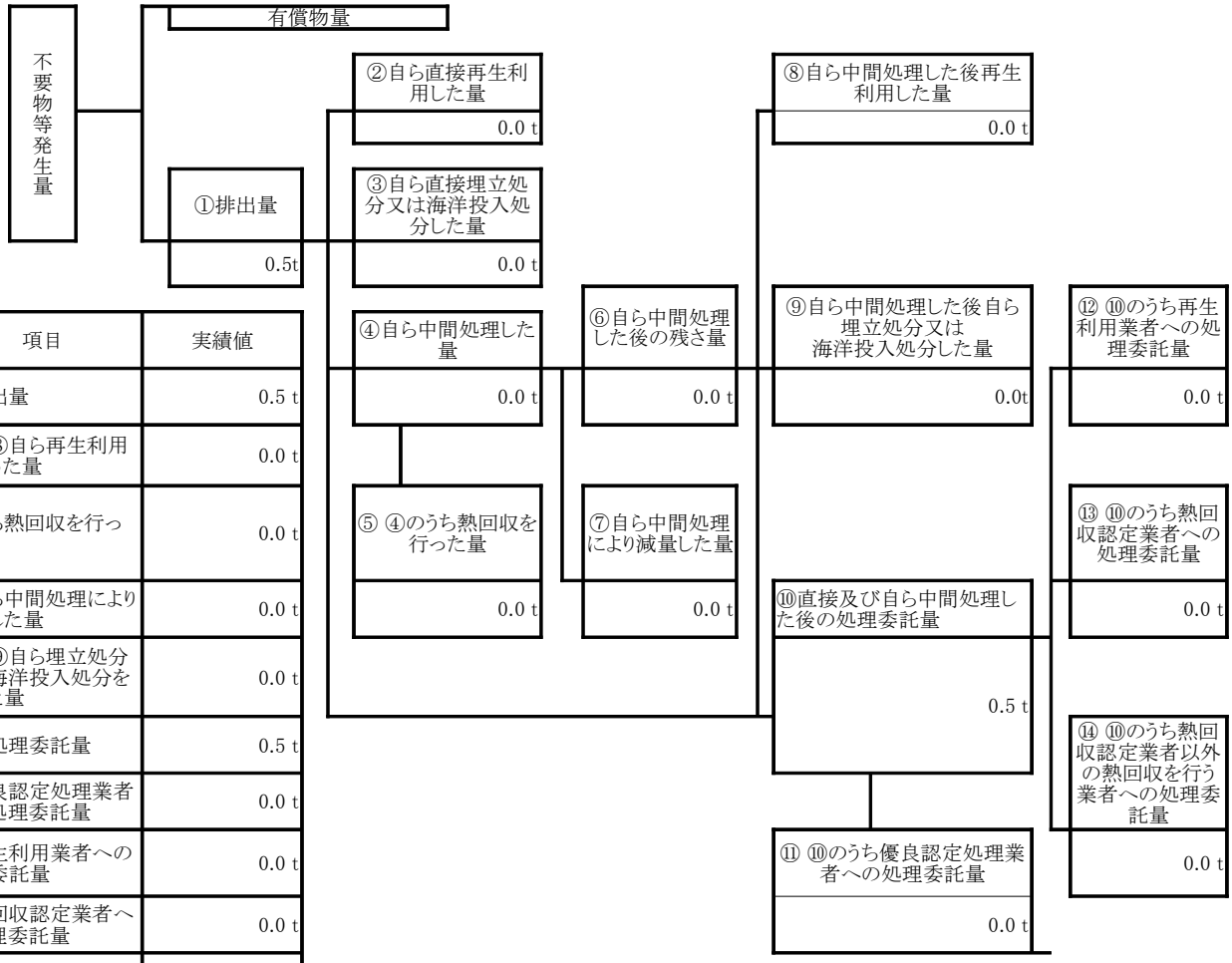


項目	実績値
①排出量	4.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**水銀使用製品**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　７年　６月　５日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒314-0028

住　所　茨城県鹿嶋市大字木滝111番地1

氏　名　株式会社　大洋工事

代表取締役　大野　景史

電話番号　0299-83-7818

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　大洋工事
事業場の所在地	千葉県内
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　404,680千円（前年度実績）
③　従業員数	27名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	・各解体工事現場より排出 ・産業廃棄物処理業者に委託して処分 ｺﾝｸﾘｰﾄがら、ｱｽがら、木くず、廃ﾌﾟﾗ類 ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず、建設混合廃棄物、紙くず 繊維くず、その他がれき類、廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、金属　→　破砕→再利用 ・石綿含有建材　→　埋立　　・ＯＹボード　→　粉砕 ・廃石綿等　→　溶融固化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

＜工事部＞
工事部長
・廃棄物処理方針の策定
↓ ・処理業者の選定及び管理
・委託契約の締結
各作業所長
・廃棄物の委託、監視
↓ ・マニフェスト伝票の交付・管理
各作業所にてマニフェスト伝票の集計、保管、管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
排出量	955.0 t	403.7 t

（これまでに実施した取組）

・分別を徹底し、できる限り再生利用する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
排出量	764.0 t	323.0 t

（今後実施する予定の取組）

・分別を徹底し、排出量を抑制する
・できる限り再生利用する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・コンクリートがらと金属をできる限り分別する
・混合廃棄物をできる限り少なくする

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・同上
・石綿含有建材の分別を徹底する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
全処理委託量	955.3 t	403.7 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	955.3 t	403.7 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・委託基準に従い、適正な許可業者に委託する
・マニフェスト伝票の管理を適正に行う

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>コンクリートがら</td><td>アスファルト・
コンクリートがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>764.0 t</td><td>323.0 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>764.0 t</td><td>323.0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）

・現在取り組んでいる事項の徹底、継続実施
・分別を徹底し、混合廃棄物の排出を減らす
・電子マニフェストを活用し、法令順守・廃棄物データの透明性を図る</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
		排　出　量	32.4 t	399.1 t	0.9 t	33.0 t	11.8 t	31.0 t	19.8 t	1.4 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	･ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
		排　出　量	26.0 t	319.0 t	0.7 t	26.0 t	9.0 t	25.0 t	16.0 t	1.0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	･ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	･ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	･ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	･ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
	全処理委託量	32.4 t	399.1 t	0.9 t	33.0 t	11.8 t	31.0 t	19.8 t	1.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	32.4 t	399.1 t	0.9 t	33.0 t	11.8 t	31.0 t	19.8 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃プラ	・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器	石膏ボード	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
	全処理委託量	26.0 t	319.0 t	0.7 t	26.0 t	9.0 t	25.0 t	16.0 t	1.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	26.0 t	319.0 t	0.7 t	26.0 t	9.0 t	25.0 t	16.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラ （石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
		排　出　量	0.6　t	8.1　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラ （石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
		排　出　量	0.5　t	6.5　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラ （石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラ （石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラ （石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラ （石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ（石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ（石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ（石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
	全処理委託量	0.6 t	8.1 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ（石綿含有産業廃棄物）	廃石綿						
	全処理委託量	0.5 t	6.5 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 5日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒314-0028
住 所　茨城県鹿嶋市大字木滝111番地1
氏 名　株式会社 大洋工事
代表取締役　大野 景史
電話番号　0299-83-7818

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 大洋工事
事業場の所在地	千葉県内
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

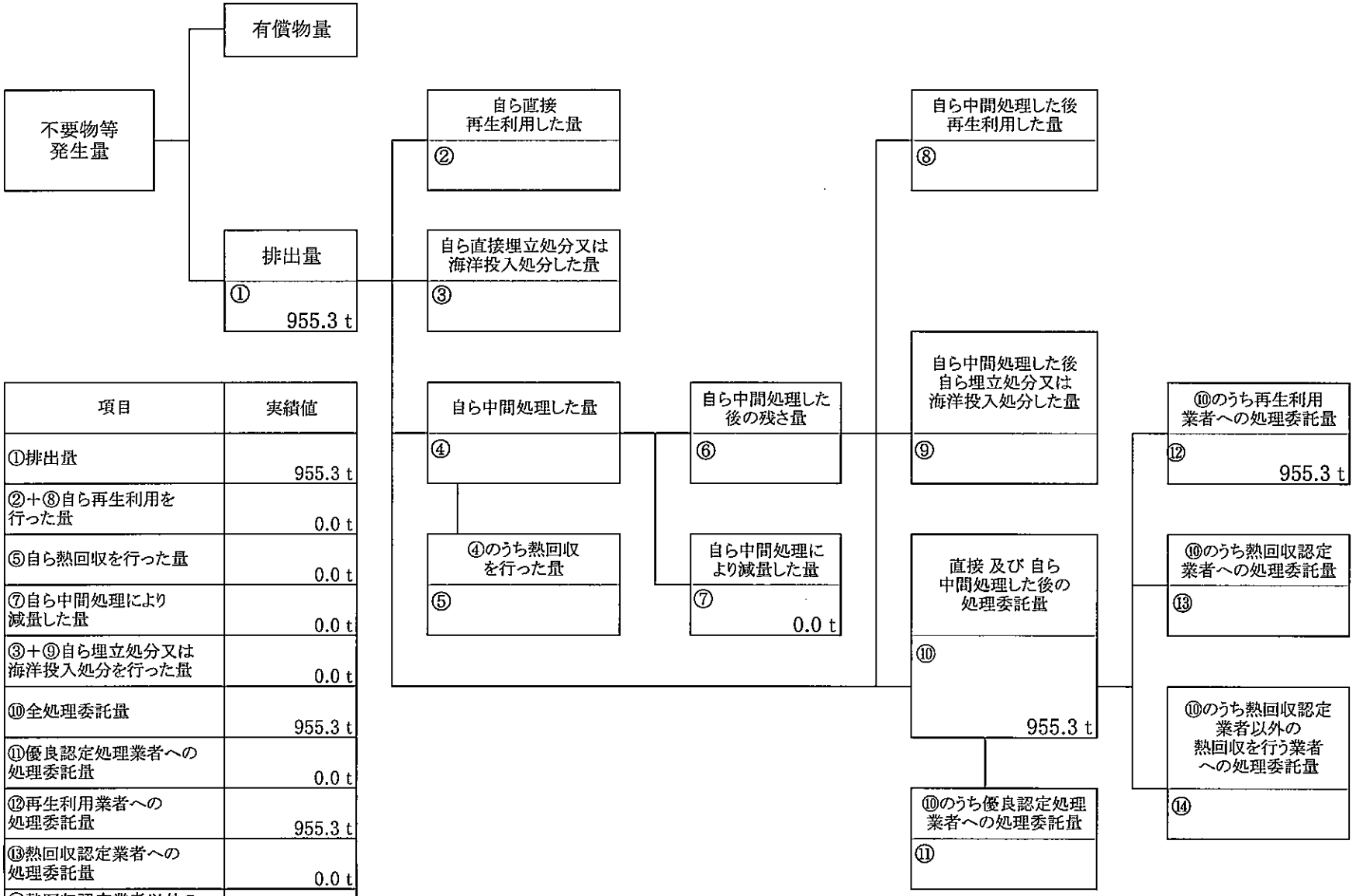
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,897.00 t	全処理委託量	1,897.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1,886.92 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

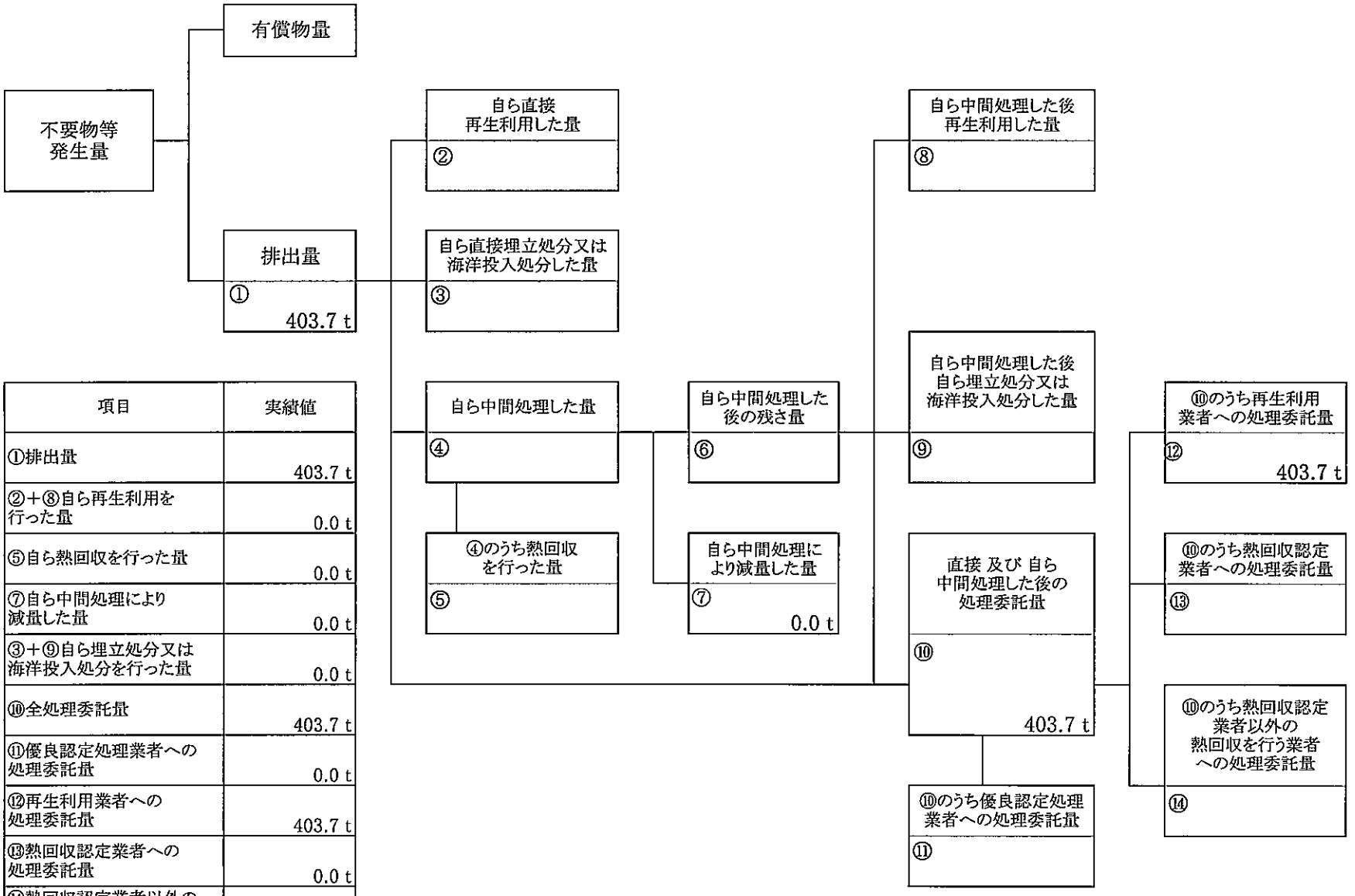


項目	実績値
①排出量	955.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	955.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	955.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

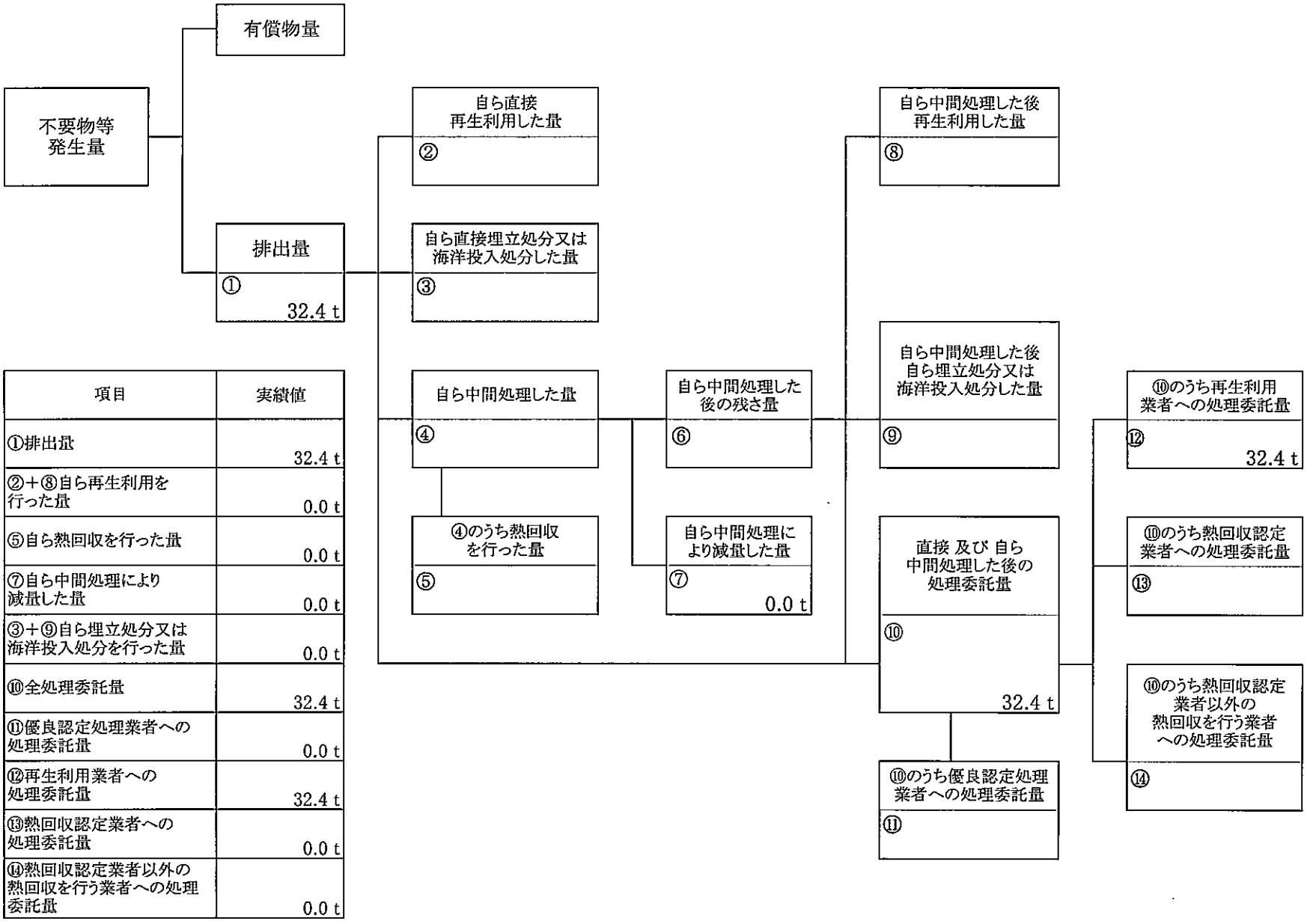


項目	実績値
①排出量	403.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	403.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	403.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

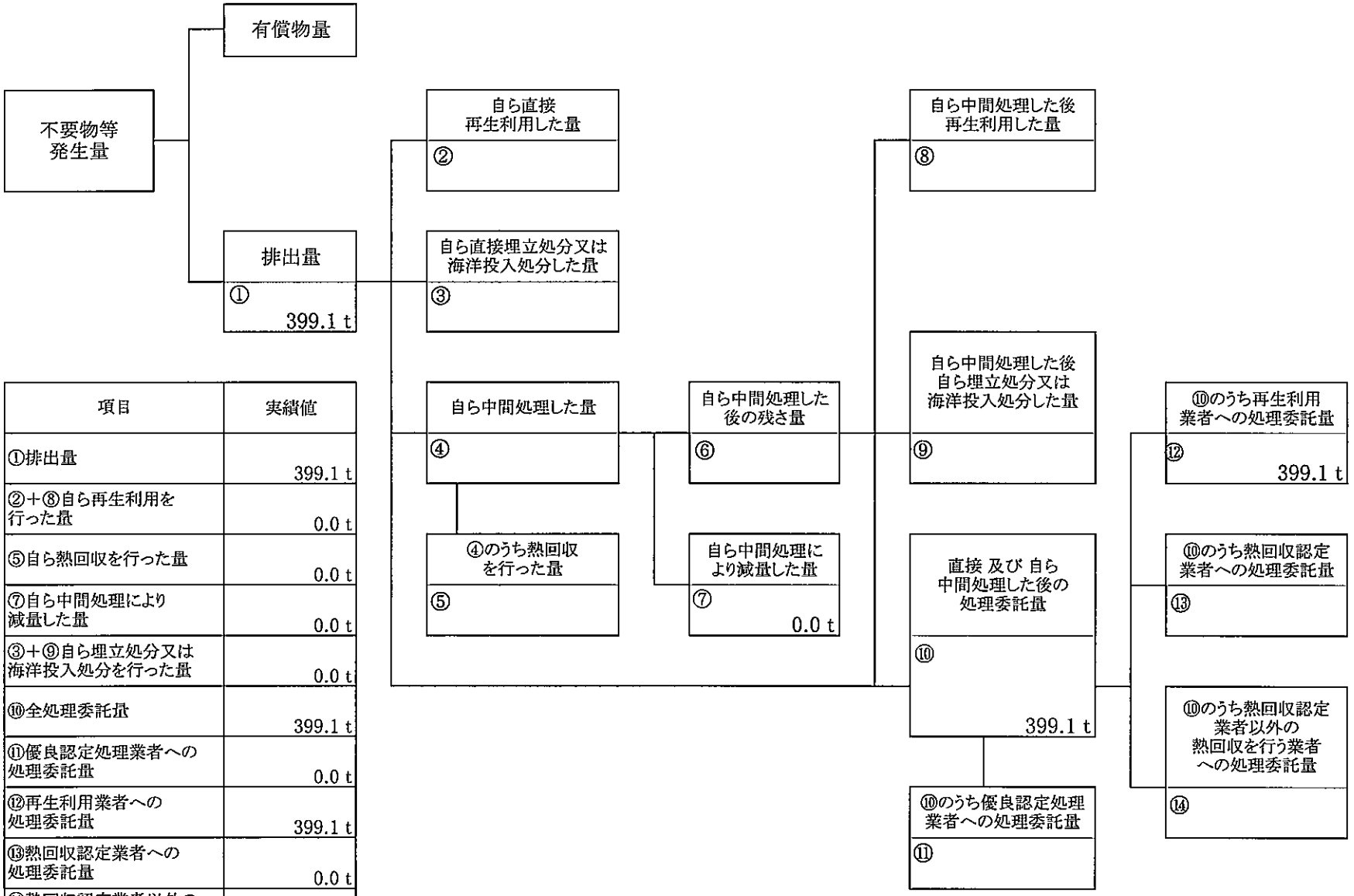


項目	実績値
①排出量	32.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：がれき類）

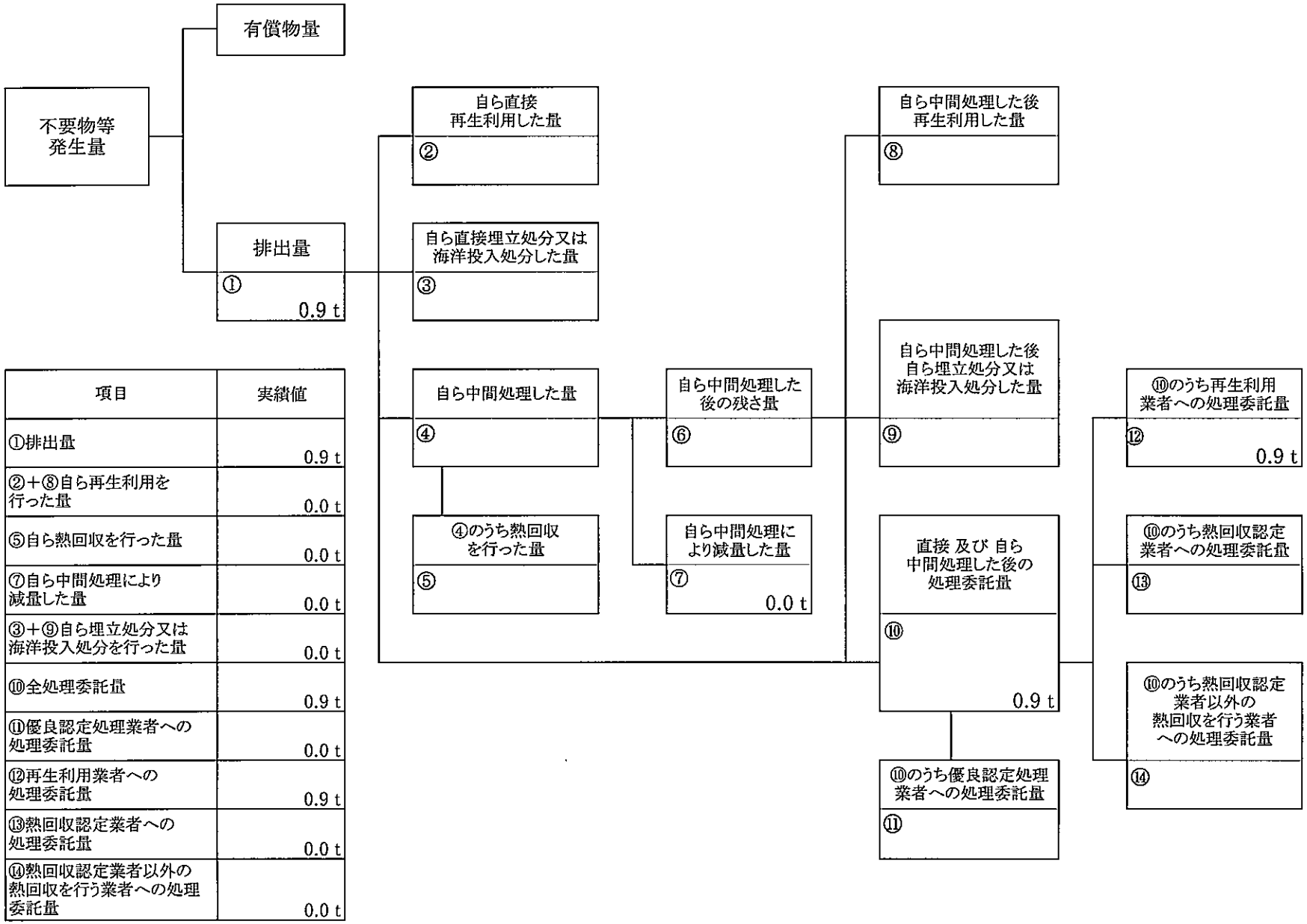


項目	実績値
①排出量	399.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	399.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	399.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：安定型混合廃棄物）

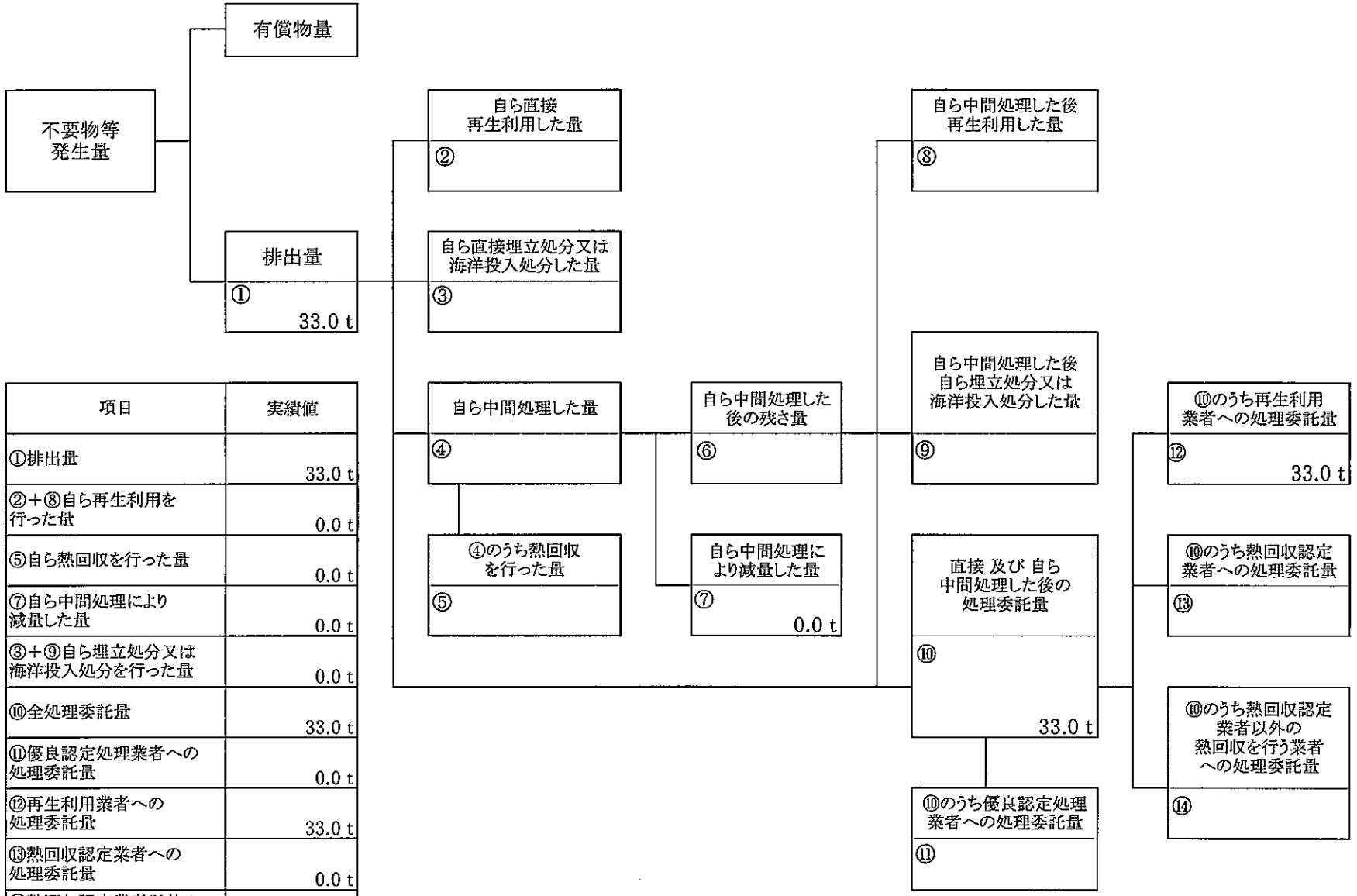


項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：管理型混合廃棄物）

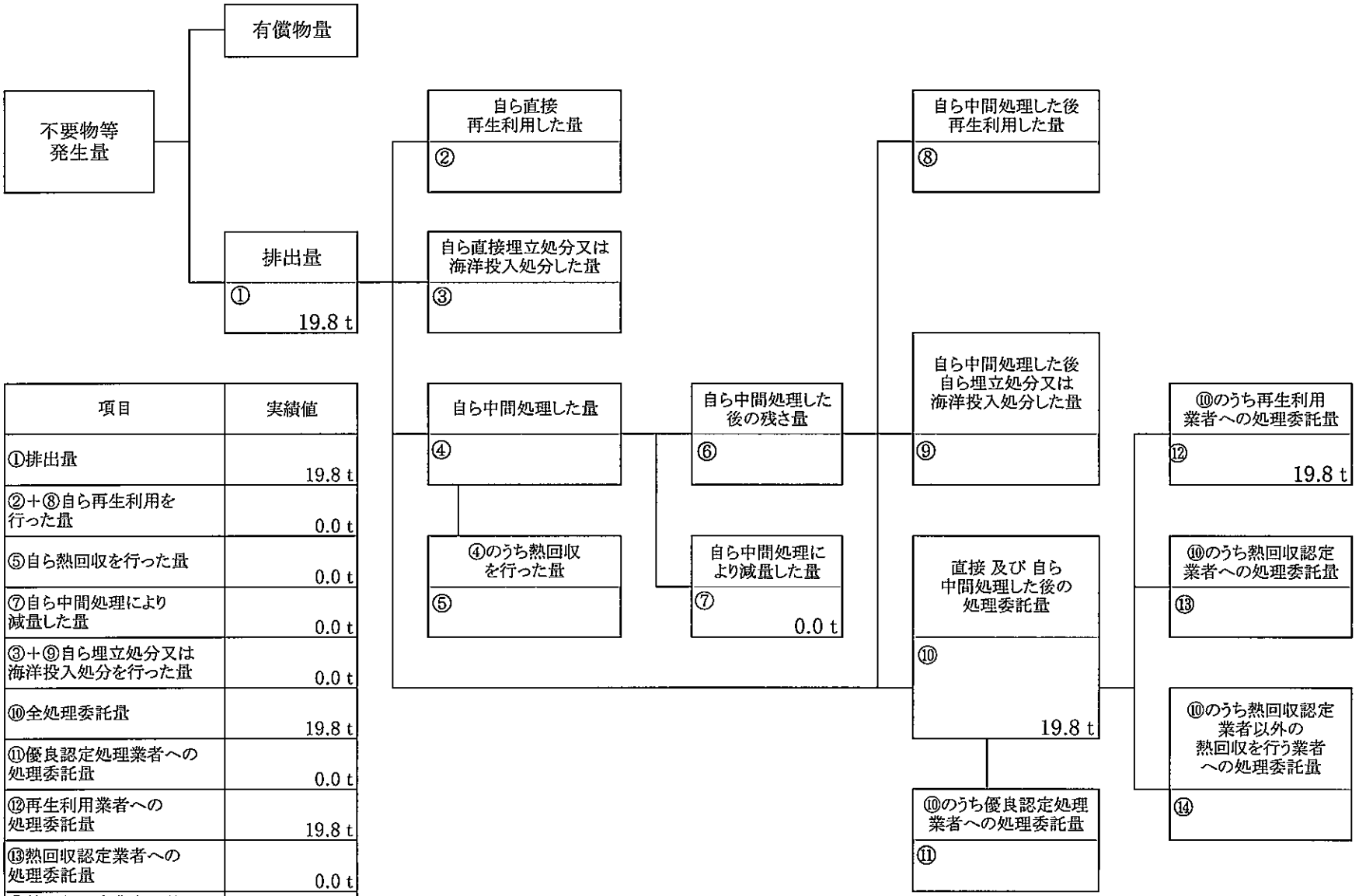


項目	実績値
①排出量	33.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	33.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃石膏ボード　）

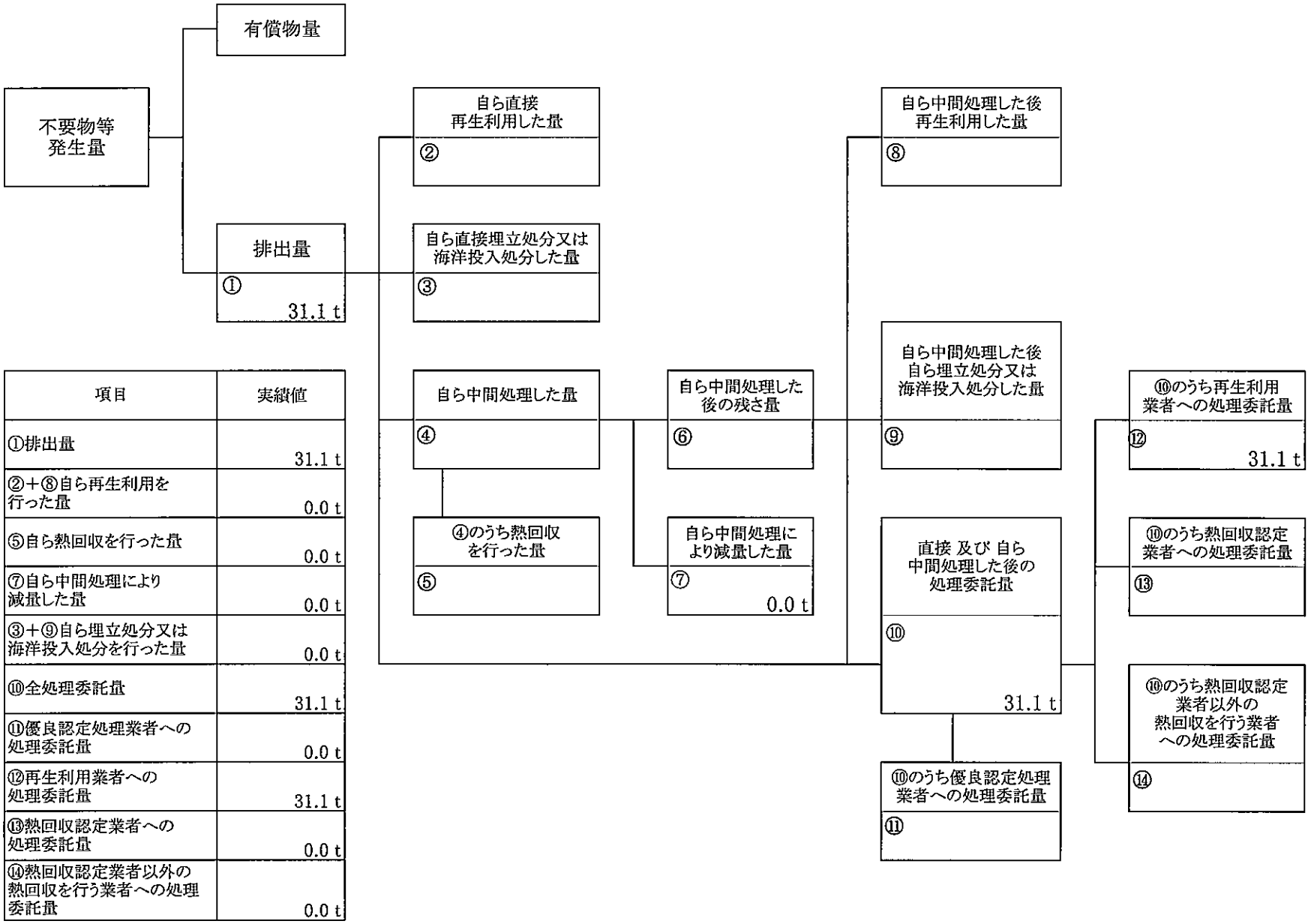


項目	実績値
①排出量	19.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート・陶磁器くず）

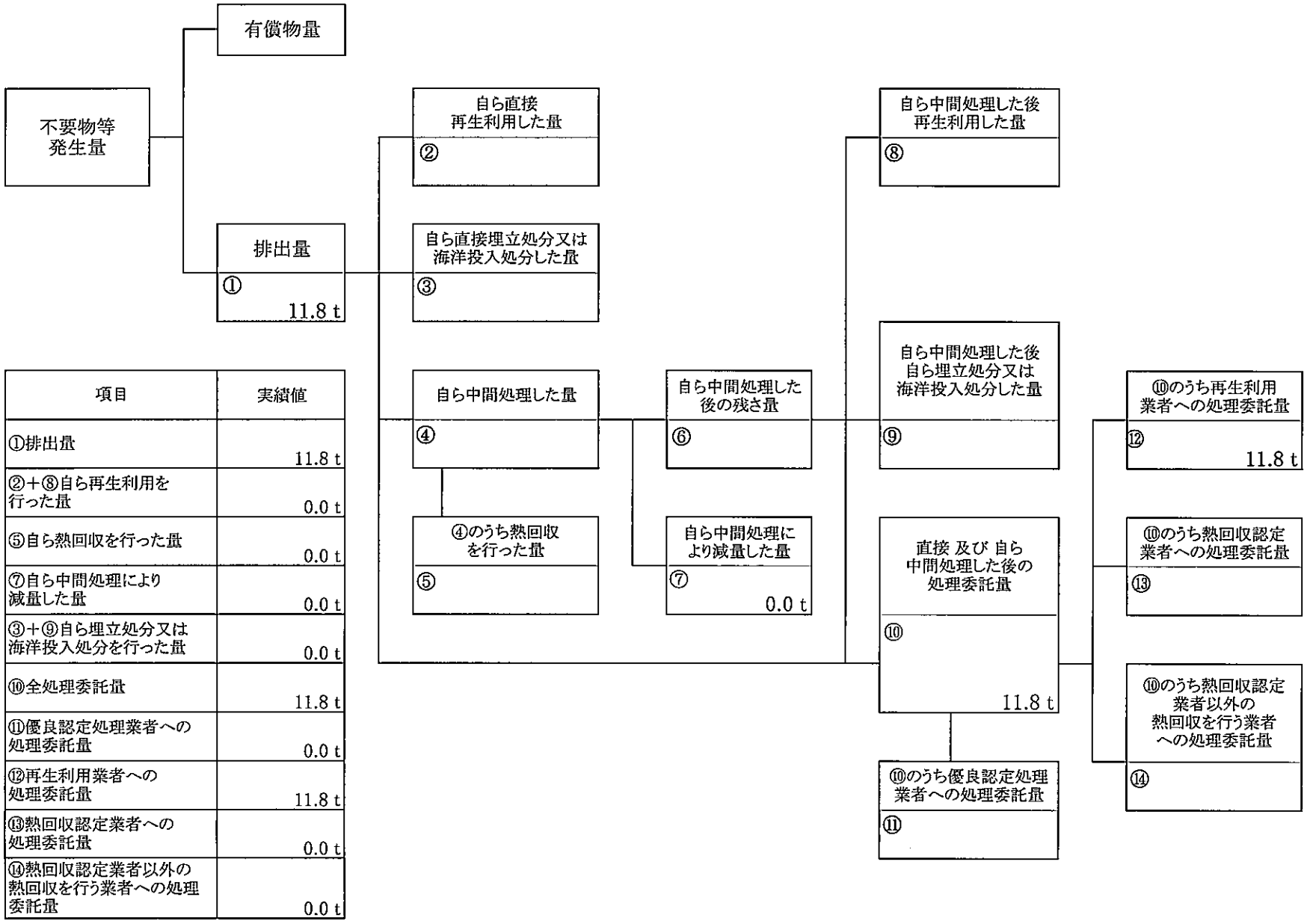


項目	実績値
①排出量	31.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	31.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	31.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃プラ）

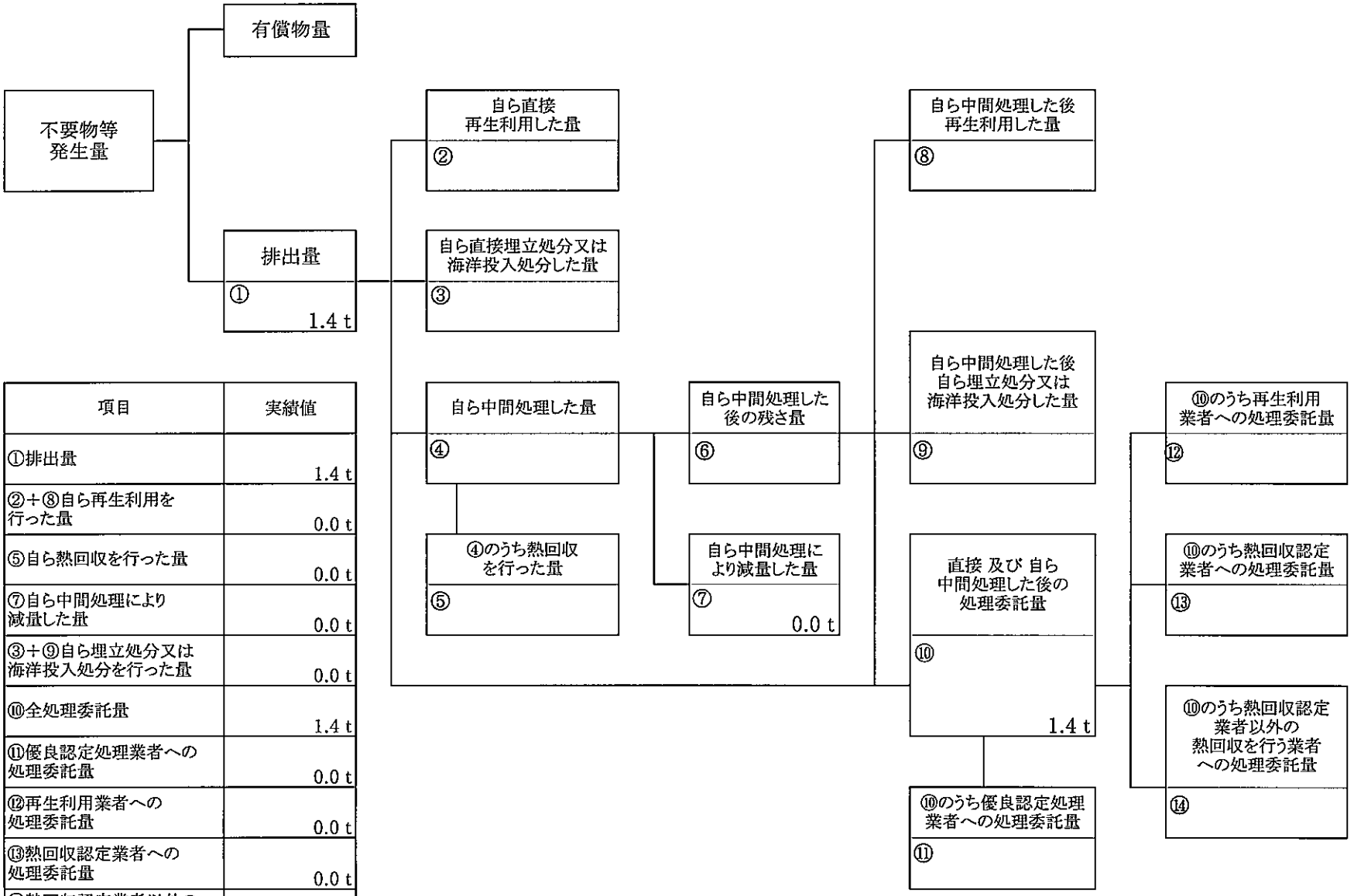


項目	実績値
①排出量	11.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類（石綿含有産業廃棄物）　）

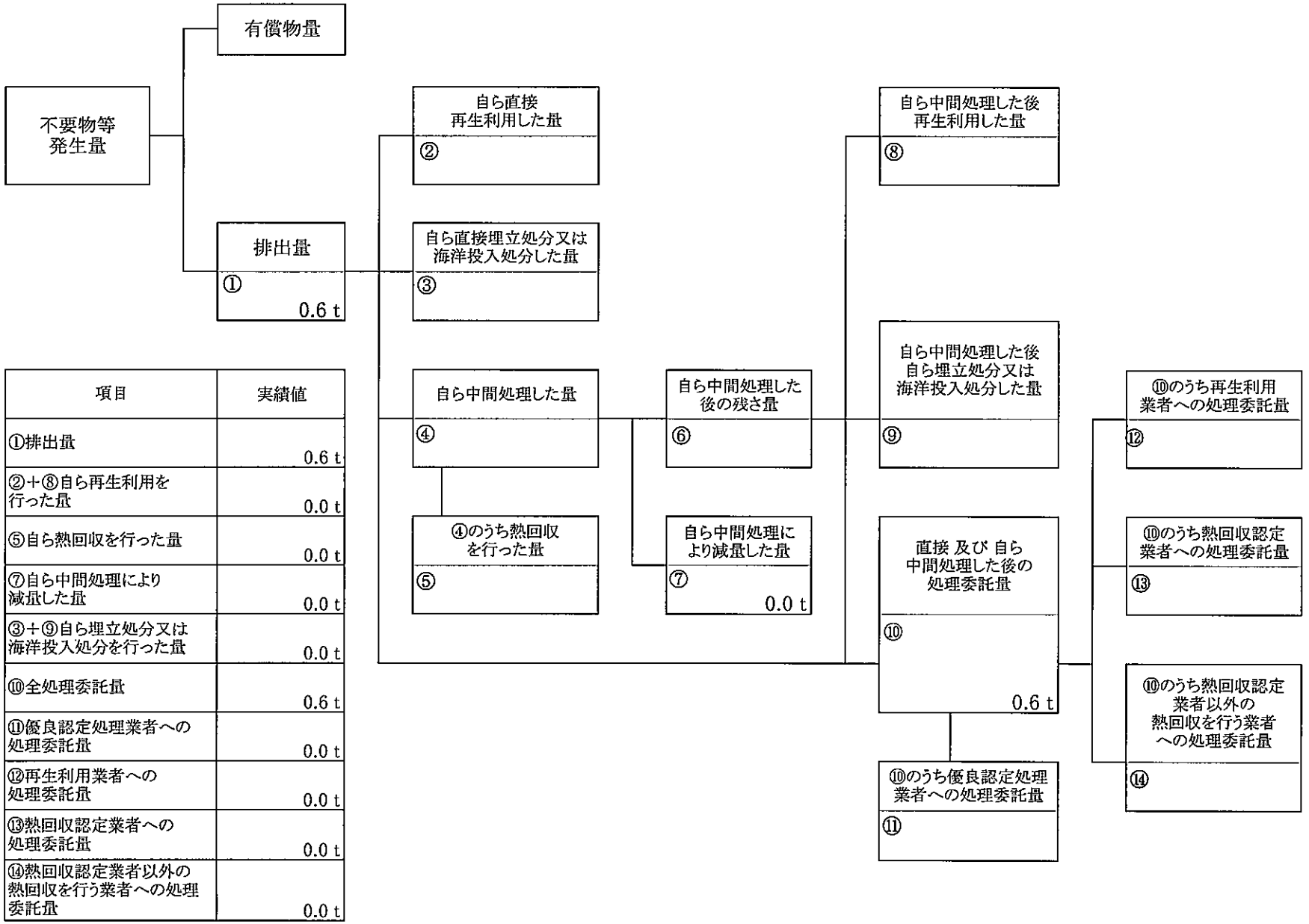


項目	実績値
①排出量	1.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃プラ（石綿含有産業廃棄物）　）

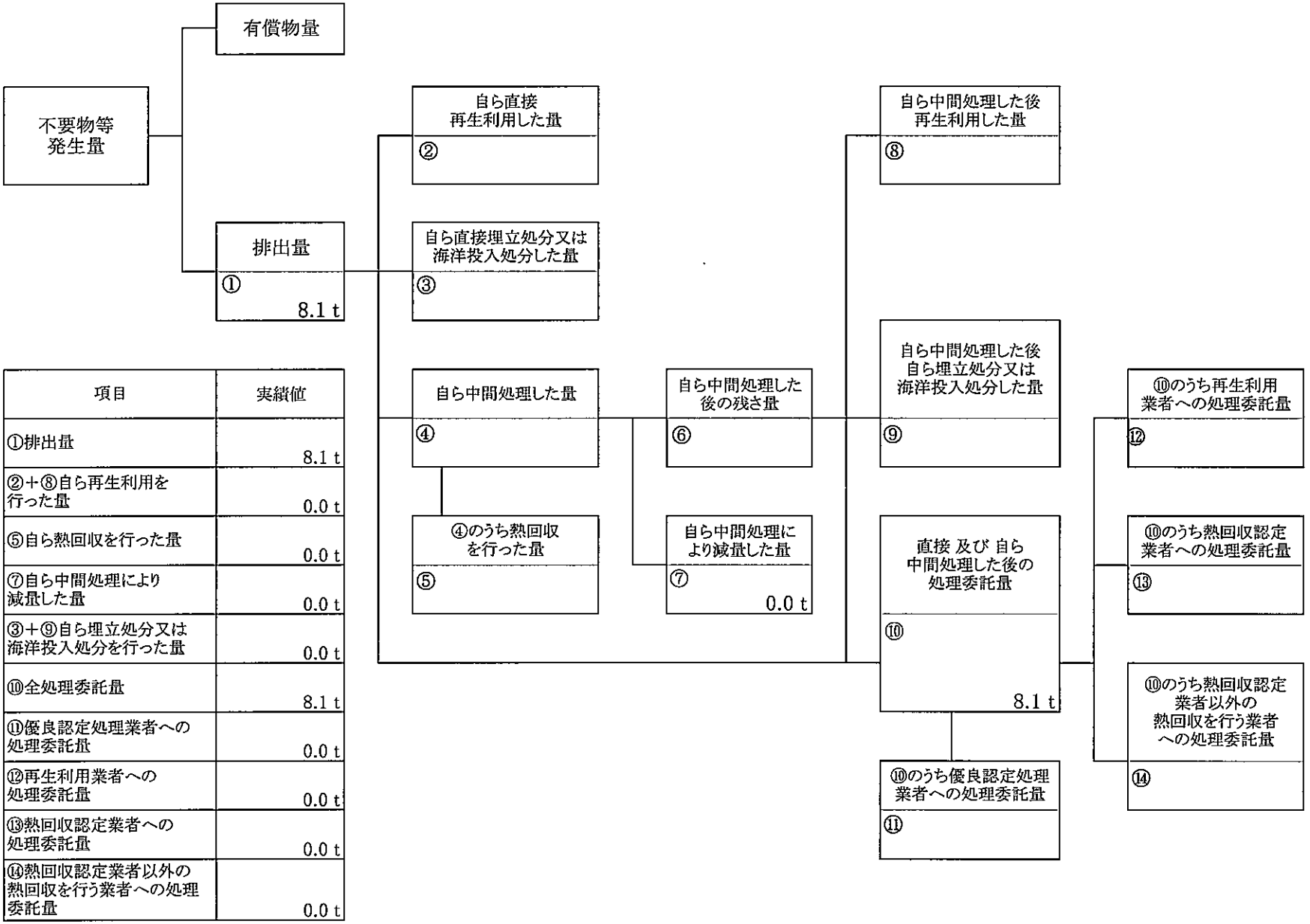


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃石綿）



項目	実績値
①排出量	8.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　６　月　１３　日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒　277-0005

住　所　千葉県柏市柏260－4

氏　名　大和ハウス工業株式会社　柏支店

支店長　西川　高信

電話番号　　04-7168-5511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　柏支店　千葉県内管轄内工事
事業場の所在地	千葉県管轄内工事（柏市を除く）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	54,645,188,649円
③　従業員数	219名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

（日本産業規格　A列4番）

Confidential

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙２の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	排出量	5,150.45 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	排出量	4,635.40 t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙3の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙4の通り
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙4の通り

Confidential

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	t
		（今後実施する予定の取組）		

Confidential

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿		
		全処理委託量＿	5,150.45 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	1,714.01 t	t
		再生利用業者への処理委託量	4,852.70 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.4 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	213.01 t	t
		（これまでに実施した取組） 別紙5の通り		

Confidential

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	4,635.40 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	1,452.62 t	t
		再生利用業者への処理委託量	4,868.43 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.36 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	191.71 t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙5の通り		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

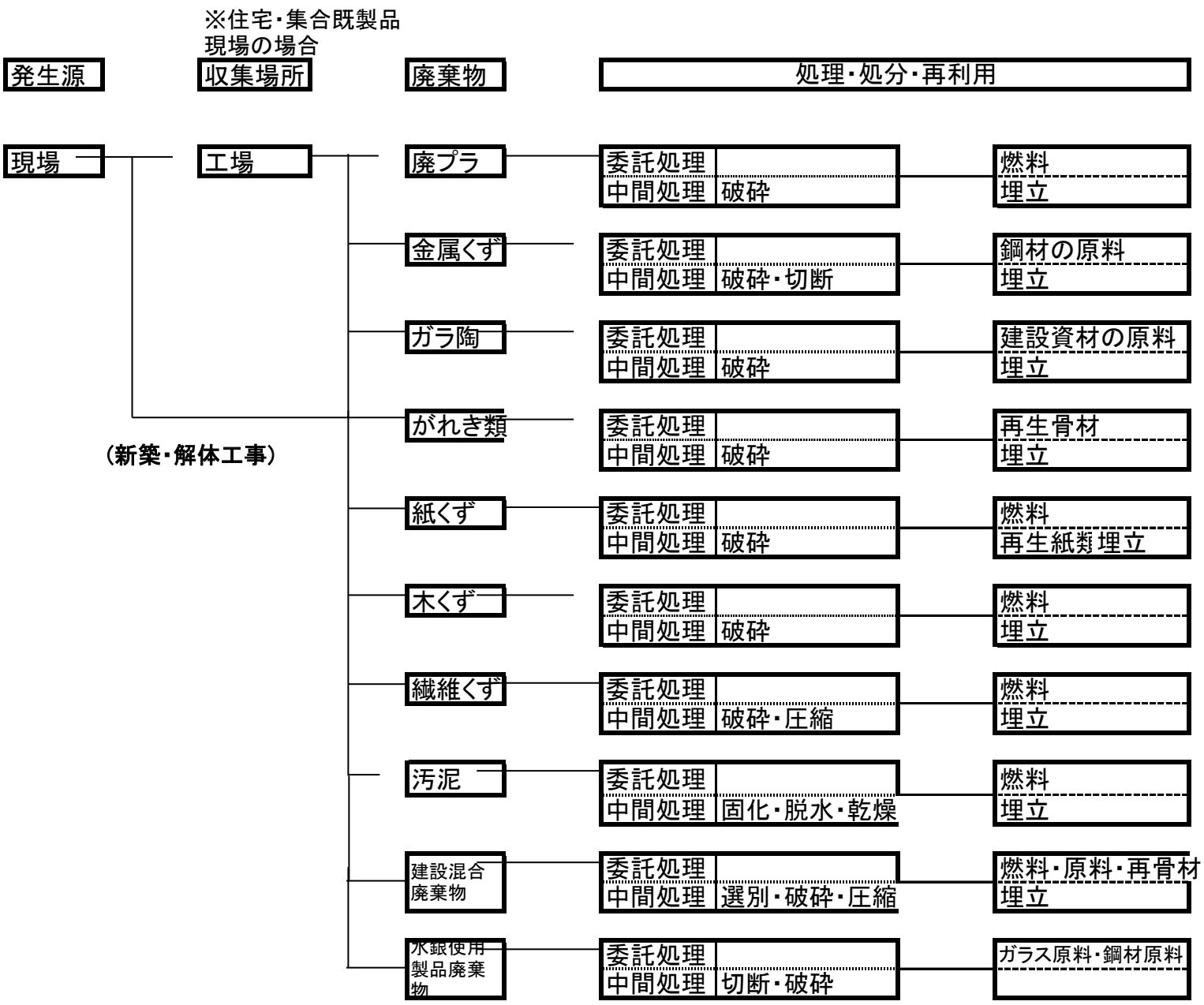
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

Confidential

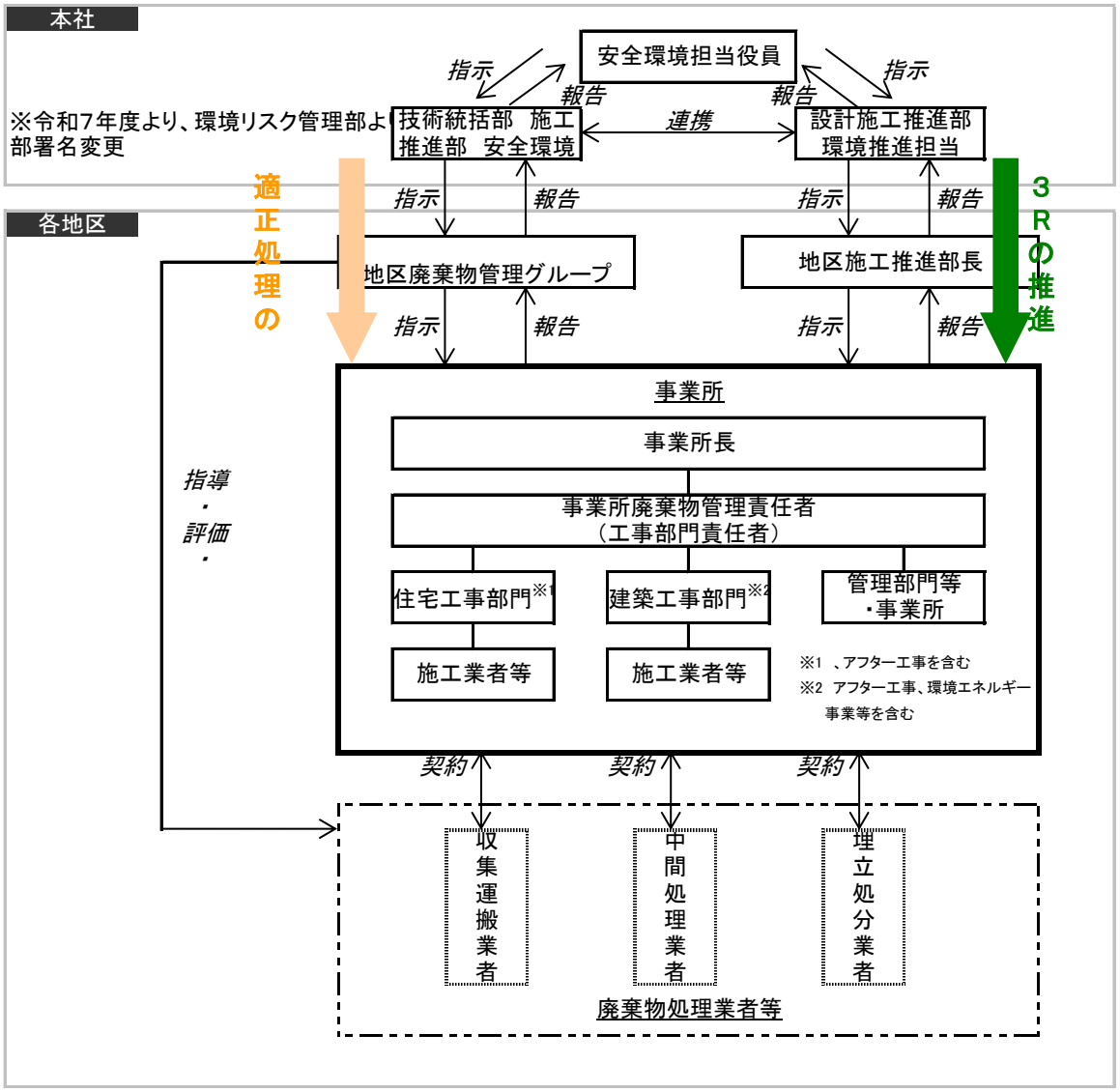
別紙1

廃棄物処理フロー図



Confidential

別紙2


本社
※令和7年度より、環境リスク管理部より部署名変更
安全環境担当役員
指示
報告
技術統括部　施工推進部　安全環境
連携
設計施工推進部　環境推進担当
各地区
適正処理の
地区廃棄物管理グループ
地区施工推進部長
3Rの推進
事業所
事業所長
事業所廃棄物管理責任者（工事部門責任者）
住宅工事部門※1
建築工事部門※2
管理部門等・事業所
施工業者等
※1　、アフター工事を含む
※2　アフター工事、環境エネルギー事業等を含む
指導・評価・
契約
収集運搬業者
中間処理業者
埋立処分業者
廃棄物処理業者等

別表3

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社工場出荷材においては製品化にして出荷 ・現場調達材のプレカットにして出荷	・製品化された部材の採用に努める ・現場調達材はプレカット化の精度を高める
金属くず	・有価物として鉄鋼原料とする処分業者に委託している	・原材料化業者に処理委託し鉄鋼原料としてマテリアルリサイクルしていく
ガラス陶磁器等くず	・外壁窯業サイディング材のプレカットで出荷 ・石膏ボードをメーカー工場よりプレカットにて出荷	・更なるプレカット納入物件を計る ・通年実績でのロス率見直しでのカット精度向上をはかる
コンクリート片	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
廃アスファルト	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
レンガ破片等		
紙くず	・専ら業者等の委託契約を締結し再生利用をしている	・専ら業者等の委託契約締結を促進して更なる再生利用をする
木くず	・当社工場出荷材はプレカットにて出荷	・更なるプレカット化の精度を高める
繊維くず		・藁タタミの採用を極力避けてスタイロタタミを採用する
石綿含有産業廃棄物	事前調査で適正処理の推進	事前調査精度向上による適正処理の継続
建設汚泥		
建設混合廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る
水銀使用製品廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る

別表4

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・単品袋詰め	・発泡スチロールの分別をする ・PPバンド等、リサイクル可能な分別品目を増やしリサイクル率向上図る
金属くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・金属くず、非鉄金属に分別する
ガラス陶磁器等くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積 ・石膏ボードは専用袋に袋詰め	・リサイクルするための用途を検討 ・石膏ボード　雨に濡らさない保管施設の確保
コンクリート片	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
廃アスファルト	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
レンガ破片等	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
紙くず	・ダンボール類は紐で縛る	・雨に濡らさない保管施設の見直し
木くず	30cm以下に切断して単品袋詰め	長尺物の再利用検討
繊維くず	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
石綿含有産業廃棄物	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み
建設汚泥	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う
建設混合廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
水銀使用製品廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
廃棄物		

別表5

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類 金属くず ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト レンガ破片等 紙くず 木くず 繊維くず 石綿含有産業廃棄物 建設汚泥 建設混合廃棄物 水銀使用製品廃棄物	・当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託する ・定期に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を技術統括部　施工推進部　安全環境推進室　廃棄物Gと同行して実施している ・委託基本契約書の定期見直し ・委託先　処理系統の見直し ・収集運搬許可書、車両一覧表、処分業許可書の有効期限を点検 ・処理後発生する廃棄物や製品の処理委託（売買）契約を適切に行っているか。	・継続していく

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
		排　出　量	－ t	786 t	－ t	－ t	－ t	286.09 t	－ t	115.38 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
		排　出　量	－ t	707.4 t	－ t	－ t	－ t	257.48 t	－ t	103.84 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	②計画									
		産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

Confidential

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	786 t	－ t	－ t	－ t	286.09 t	－ t	115.38 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	786 t	－ t	－ t	－ t	105.25 t	－ t	27.33 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	786 t	－ t	－ t	－ t	162.84 t	－ t	115.38 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	0.4 t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	122.85 t	－ t	－ t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	707.4 t	－ t	－ t	－ t	257.48 t	－ t	103.84 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	707.4 t	－ t	－ t	－ t	94.73 t	－ t	24.6 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	708.4 t	－ t	－ t	－ t	146.56 t	－ t	103.84 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	0.36 t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	110.56 t	－ t	－ t

Confidential

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排　出　量	180.52 t	－ t	263.28 t	－ t	24.75 t	－ t	1,875.72 t	608.2 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排　出　量	162.47 t	－ t	236.95 t	－ t	22.28 t	－ t	1,688.15 t	547.38 t

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	180.52 t	－ t	263.28 t	－ t	24.75 t	－ t	1,875.72 t	608.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	77.42 t	－ t	111.28 t	－ t	24.75 t	－ t	69.68 t	0.8 t
再生利用業者への処理委託量	175.79 t	－ t	263.28 t	－ t	－ t	－ t	1875.72 t	608.2 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.14 t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず(太陽光パネル)	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	162.47 t	－ t	236.95 t	－ t	22.28 t	－ t	1,688.15 t	547.38 t
優良認定処理業者への処理委託量	69.68 t	－ t	100.15 t	－ t	22.28 t	－ t	62.71 t	0.72 t
再生利用業者への処理委託量	158.21 t	－ t	236.95 t	－ t	－ t	－ t	1688.15 t	547.38 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.02 t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t

Confidential

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	類（レンガ破片がれき類（石綿）		紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
		排　出　量	303.81 t	4 t	90.16 t	397.61 t	0.93 t	214 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	類（レンガ破片がれき類（石綿）		紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
		排　出　量	273.42 t	3.6 t	81.14 t	357.85 t	0.84 t	192.6 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	類（レンガ破片がれき類（石綿）		紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	類（レンガ破片がれき類（石綿）		紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	類（レンガ破片がれき類（石綿）		紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	類（レンガ破片がれき類（石綿）		紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t

Confidential

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	類（レンガ破片	がれき類（石綿）	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	類（レンガ破片	がれき類（石綿）	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	類（レンガ破片	がれき類（石綿）	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	303.81 t	4 t	90.16 t	397.61 t	0.93 t	214 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	95.39 t	4 t	44.17 t	219.51 t	0.93 t	47.5 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	303.81 t	－ t	87.01 t	312.67 t	－ t	162 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	3.15 t	84.94 t	0.93 t	－ t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	類（レンガ破片	がれき類（石綿）	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	273.42 t	3.6 t	81.14 t	357.85 t	0.84 t	192.6 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	85.85 t	3.6 t	39.75 t	197.56 t	0.84 t	42.75 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	273.42 t	－ t	78.31 t	281.4 t	－ t	145.8 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	2.84 t	76.45 t	0.84 t	－ t	t	t

Confidential

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6 月 13日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒 277-0005
住 所　千葉県柏市柏260－4
氏 名　大和ハウス工業株式会社 柏支店
支店長 西川 高信
電話番号　04-7168-5511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 柏支店 千葉県内現場
事業場の所在地	千葉県管轄内工事（柏市を除く）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

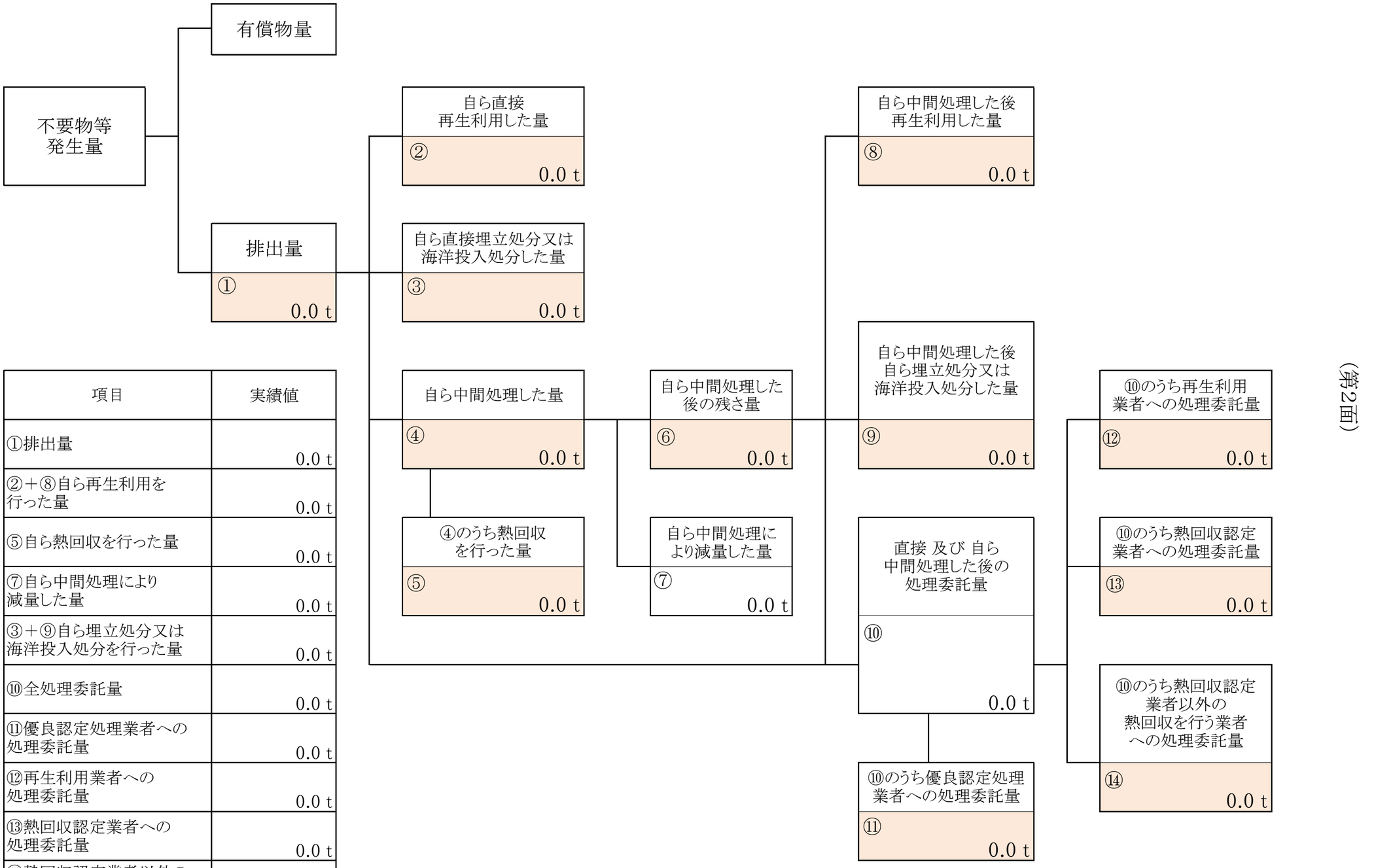
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6572.4 t	全処理委託量	6572.4 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2485.7 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	6253.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	152.6 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**燃え殻**）



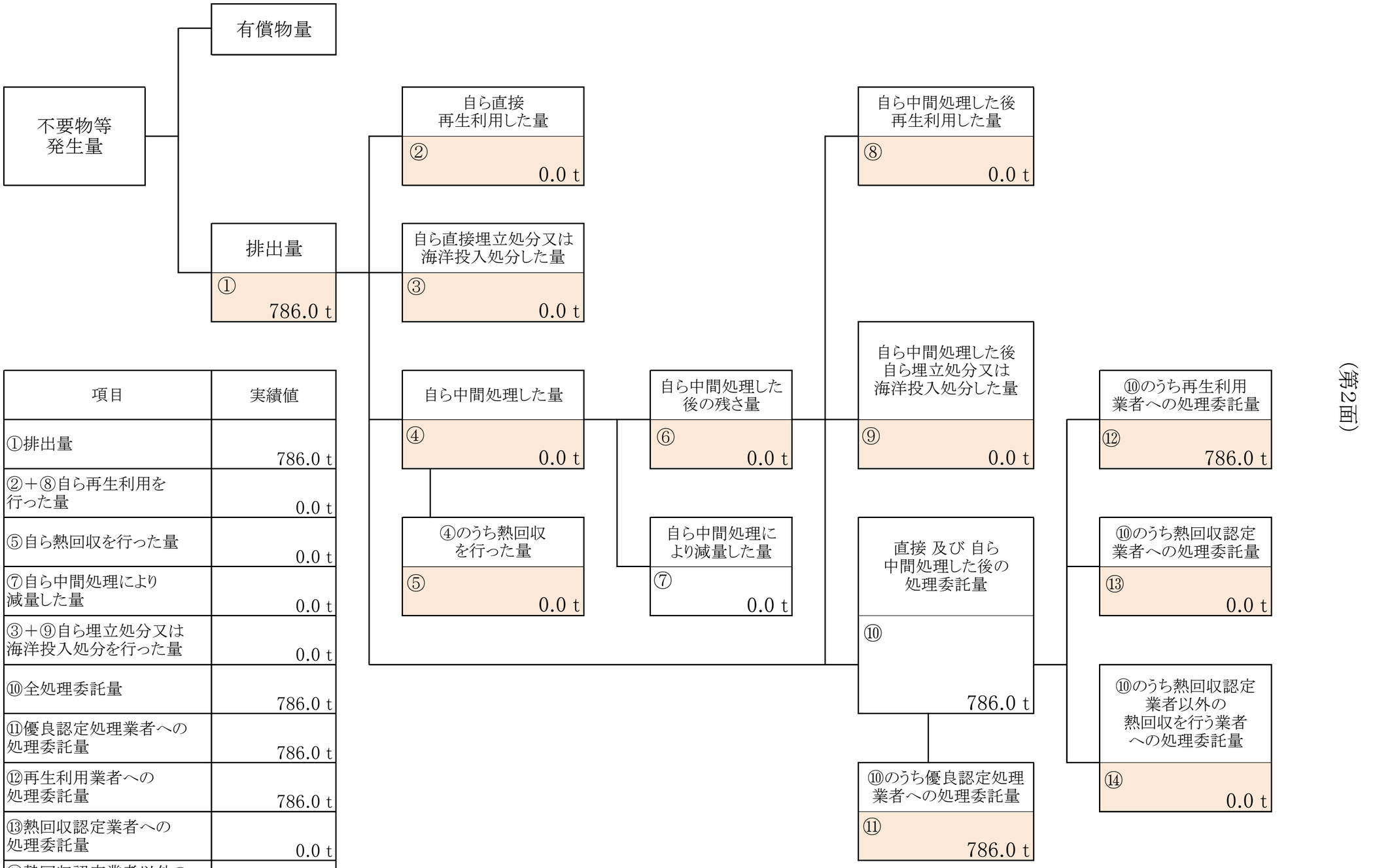
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）



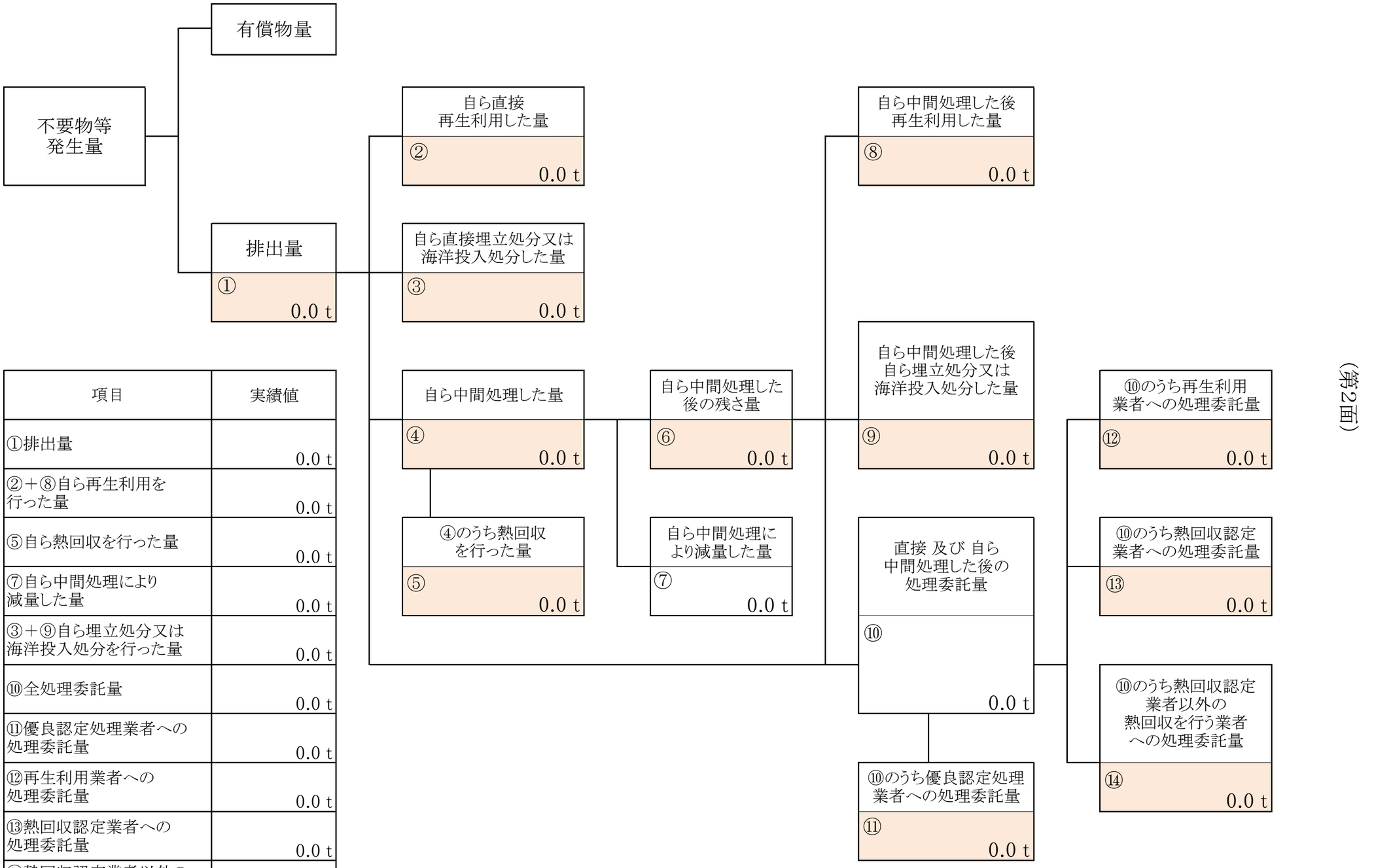
項目	実績値
①排出量	786.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	786.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	786.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	786.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）



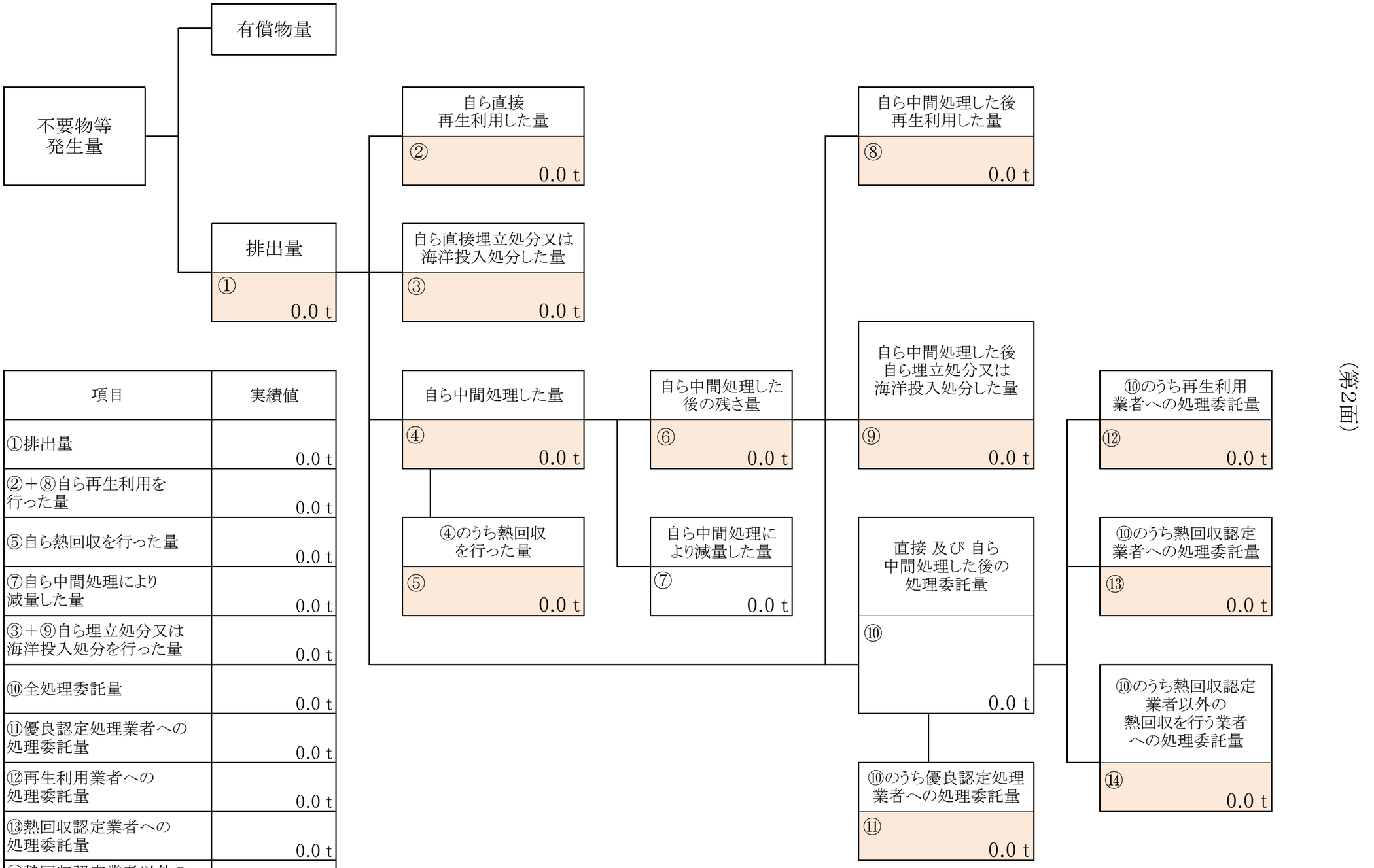
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃酸**）



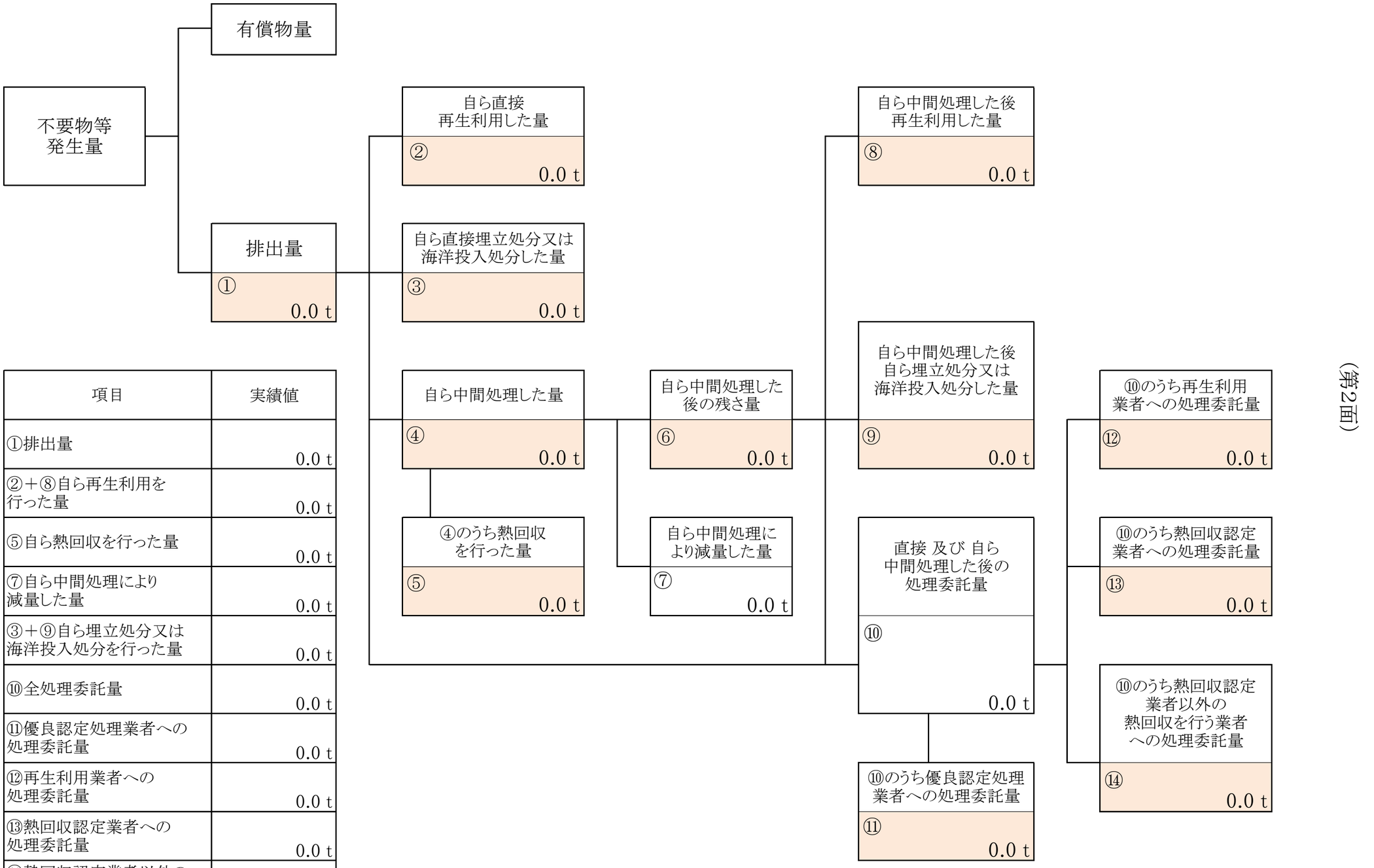
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃アルカリ**）



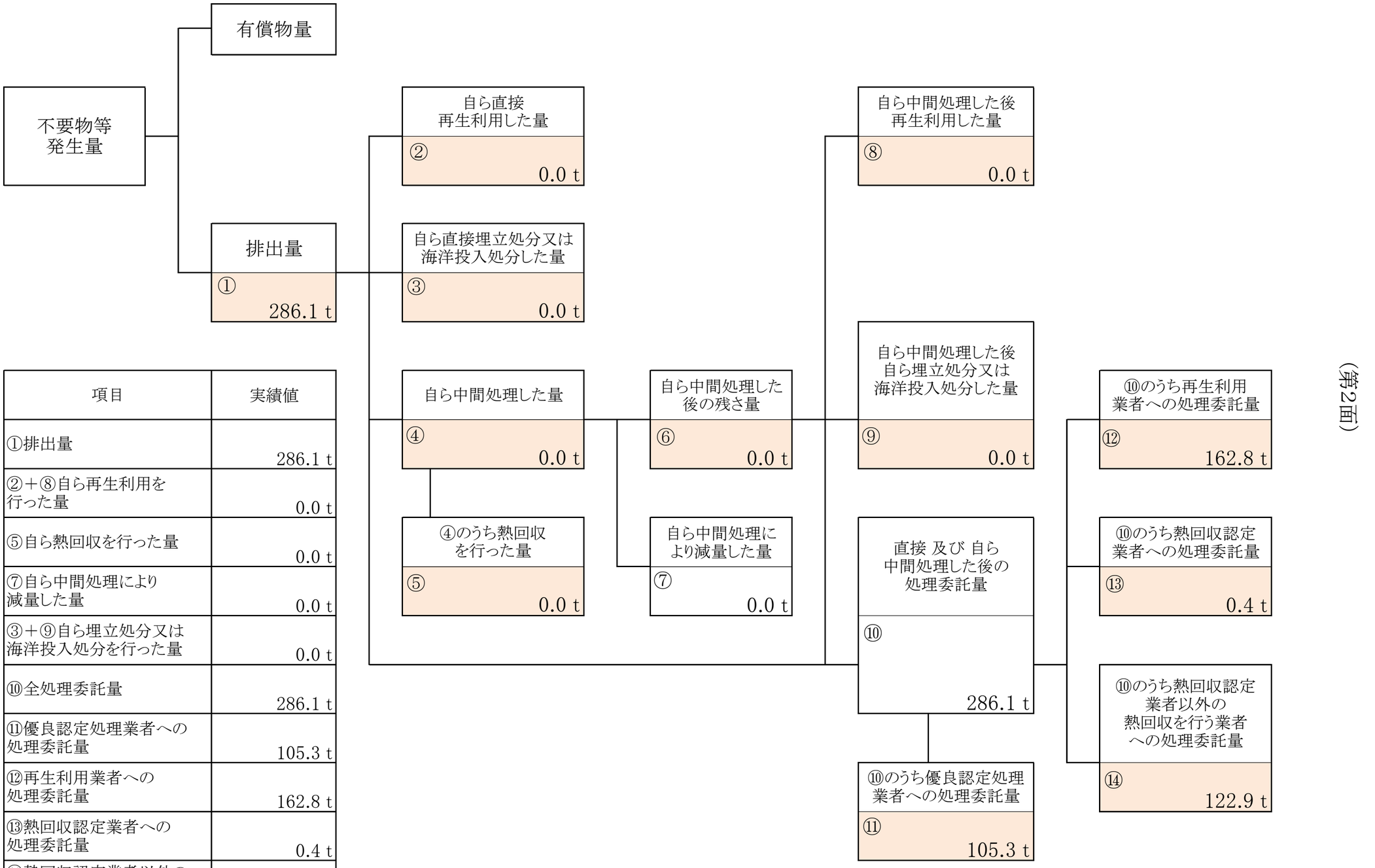
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）



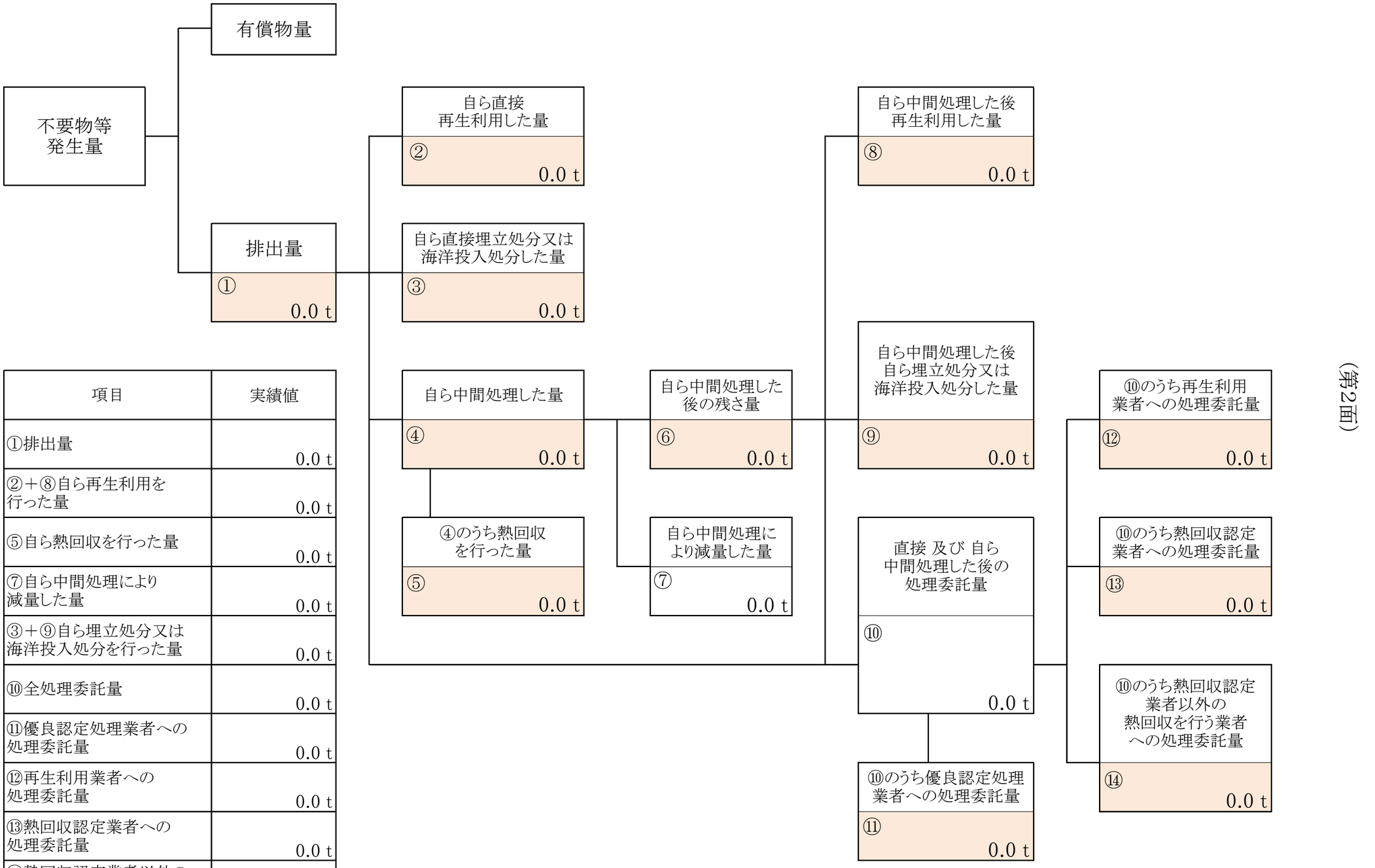
項目	実績値
①排出量	286.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	286.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	105.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	162.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	122.9 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスティック類　石綿含有産業廃棄物**）



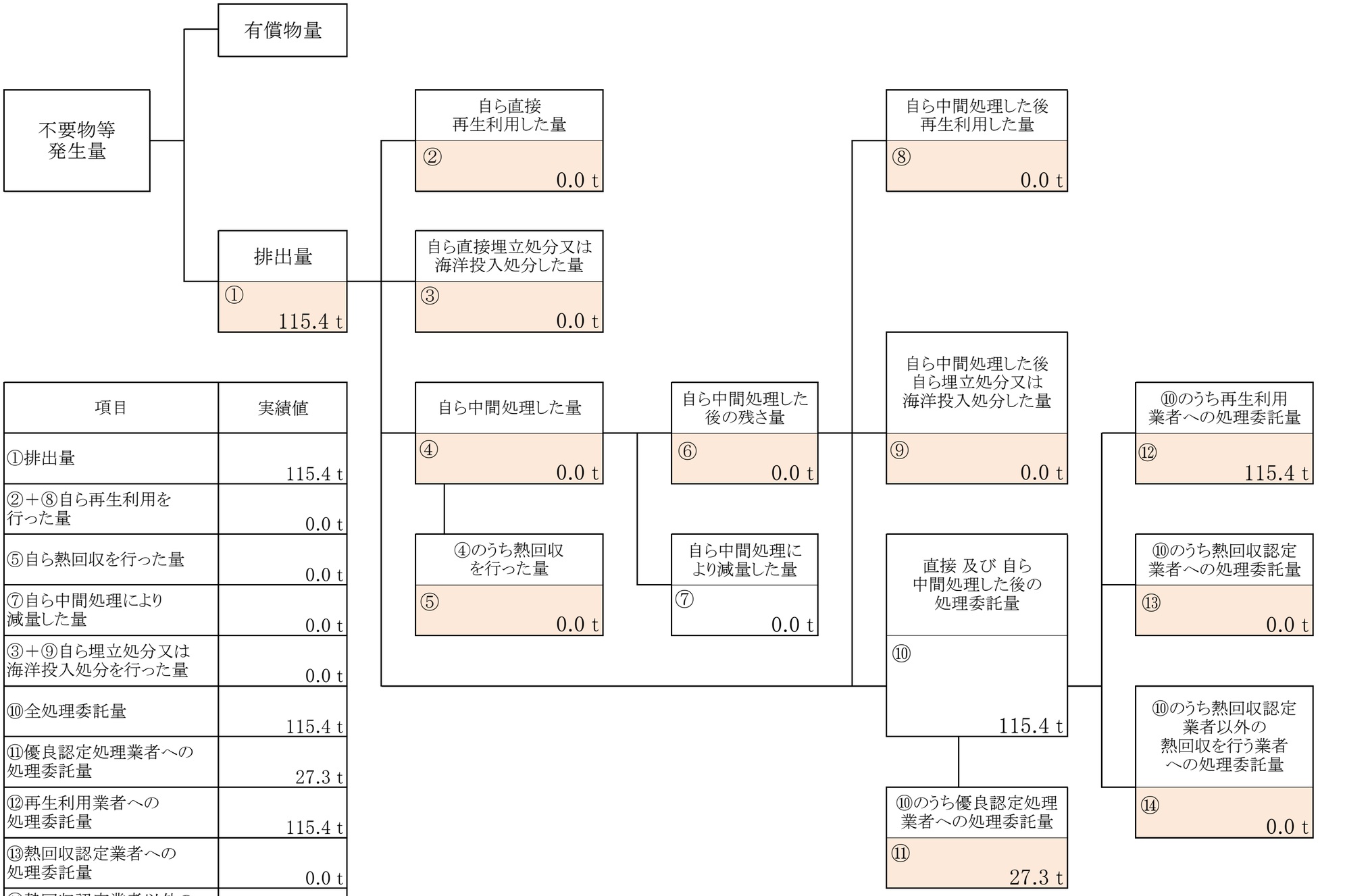
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）



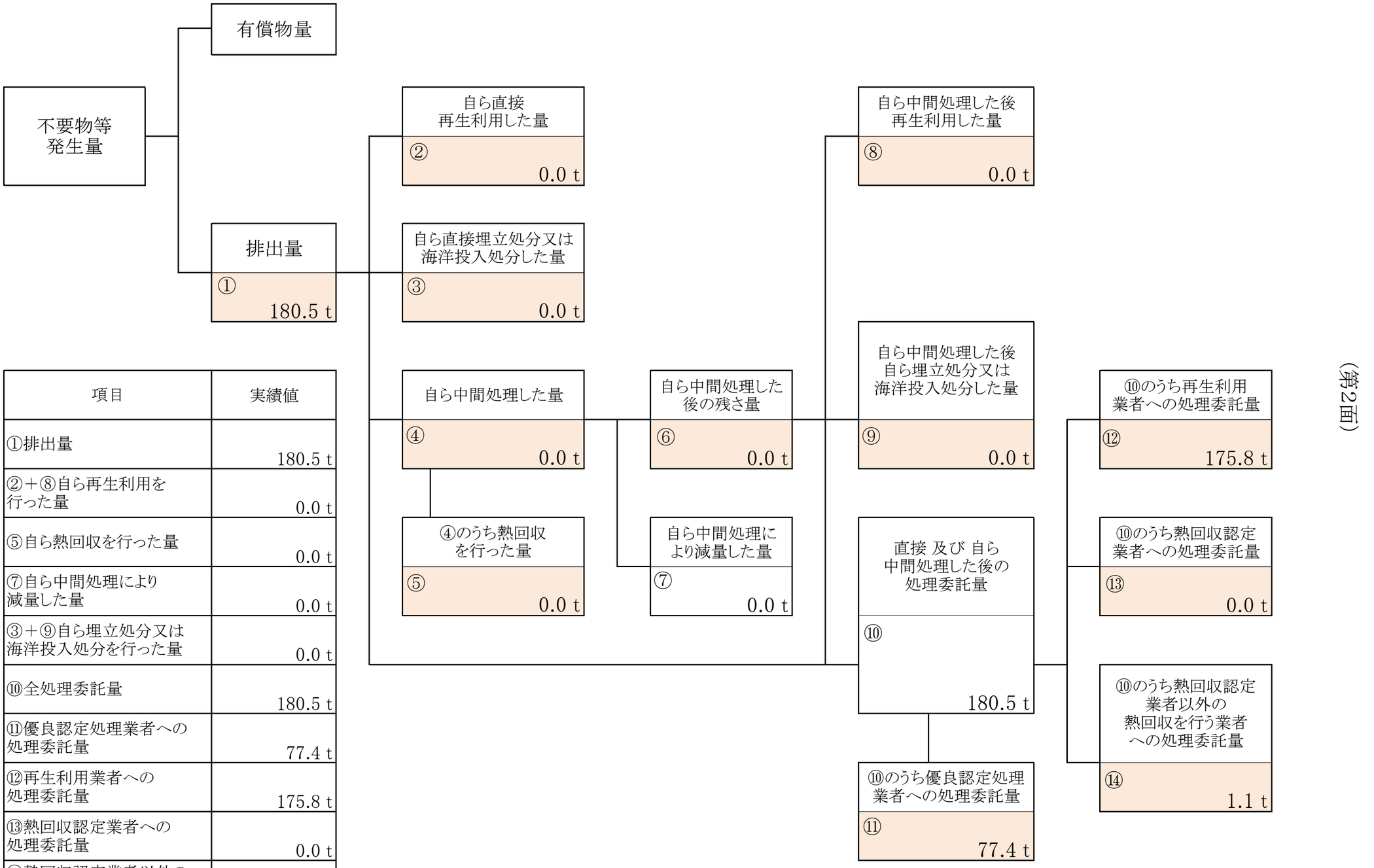
項目	実績値
①排出量	115.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	115.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	115.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器くず**）



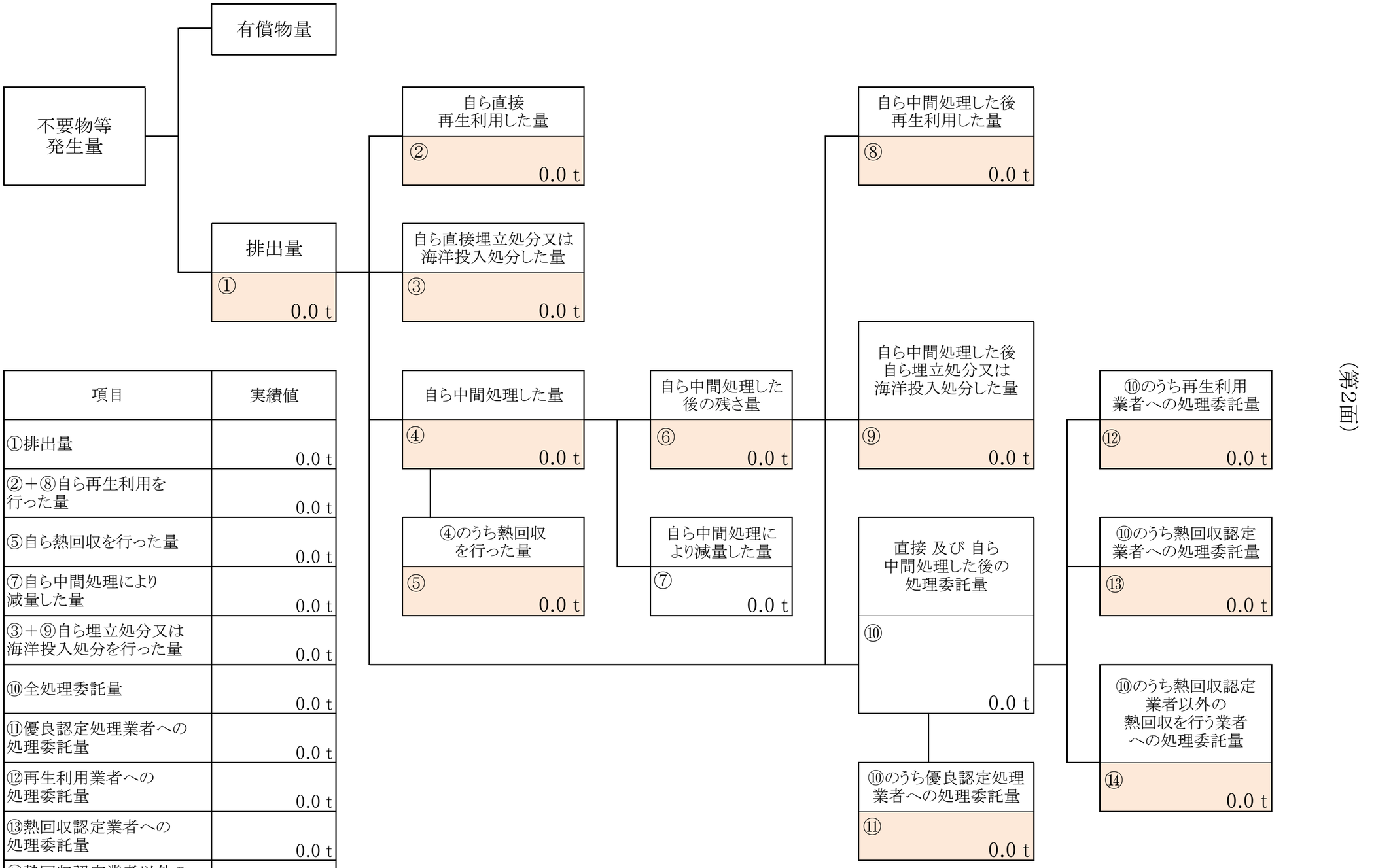
項目	実績値
①排出量	180.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	180.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	77.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	175.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.1 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　水銀使用製品産業廃棄物）



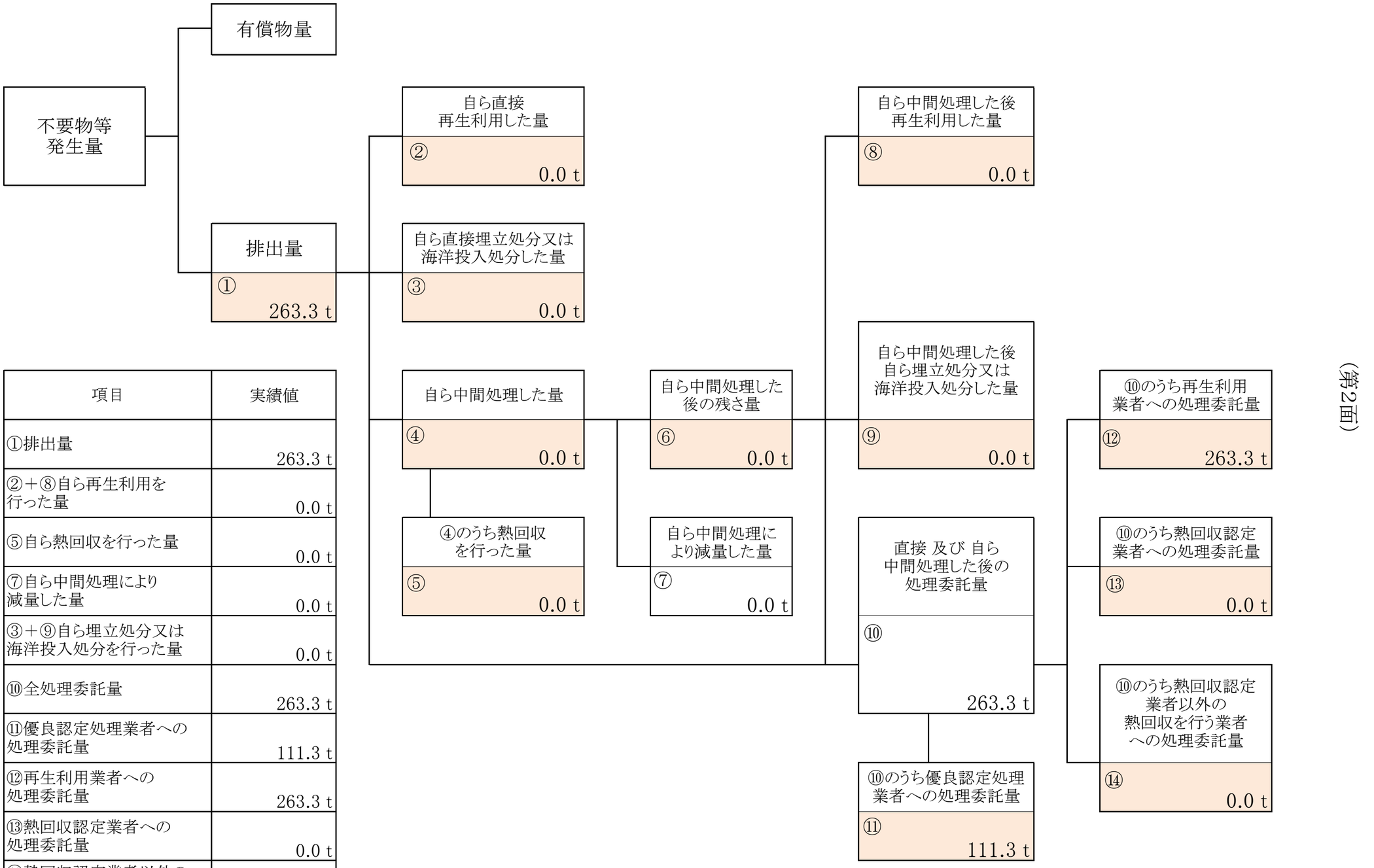
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器くず　石膏ボード**）



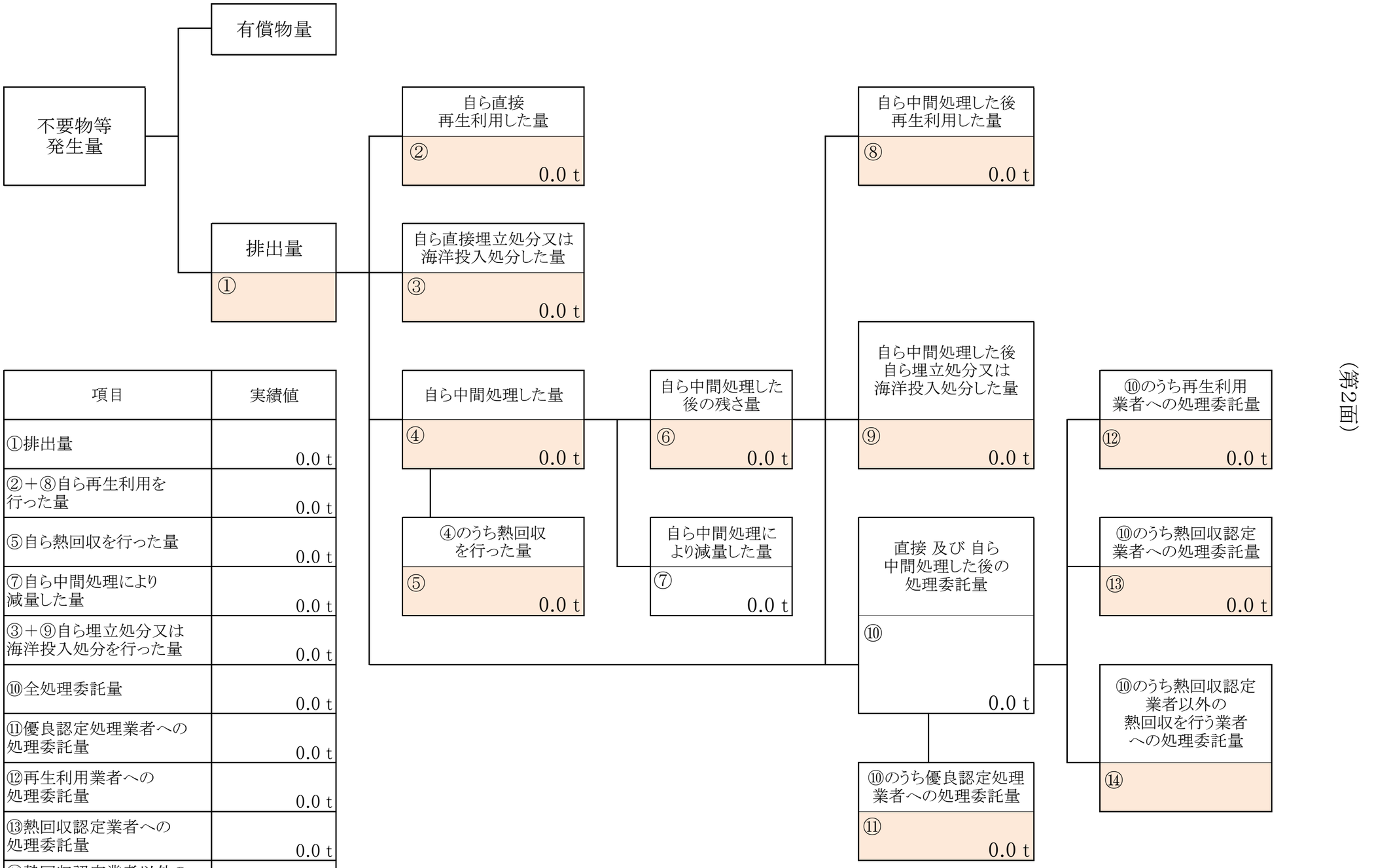
項目	実績値
①排出量	263.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	263.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	111.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	263.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器くず　廃太陽光パネル**）



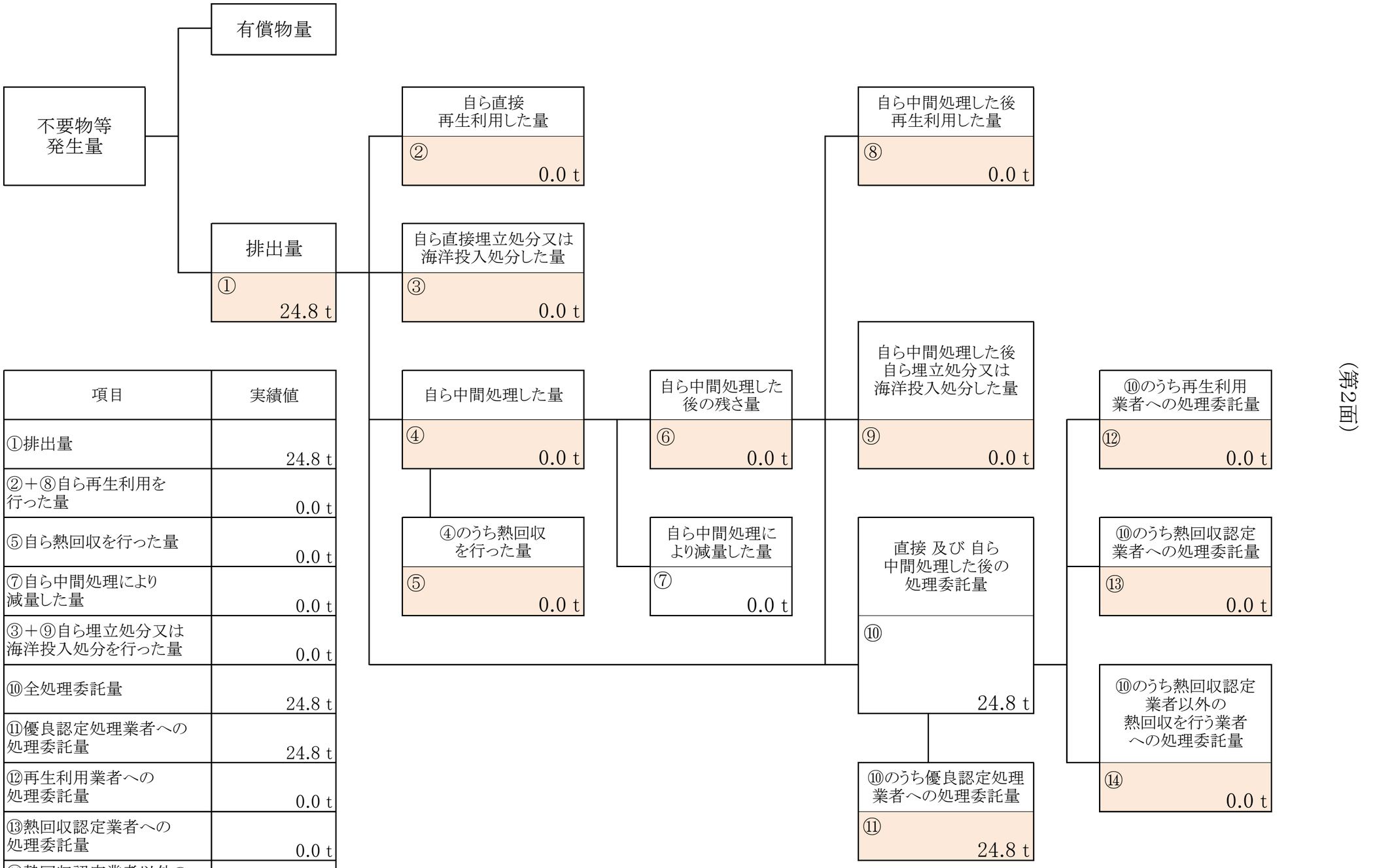
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器くず　石綿含有産業廃棄物**）



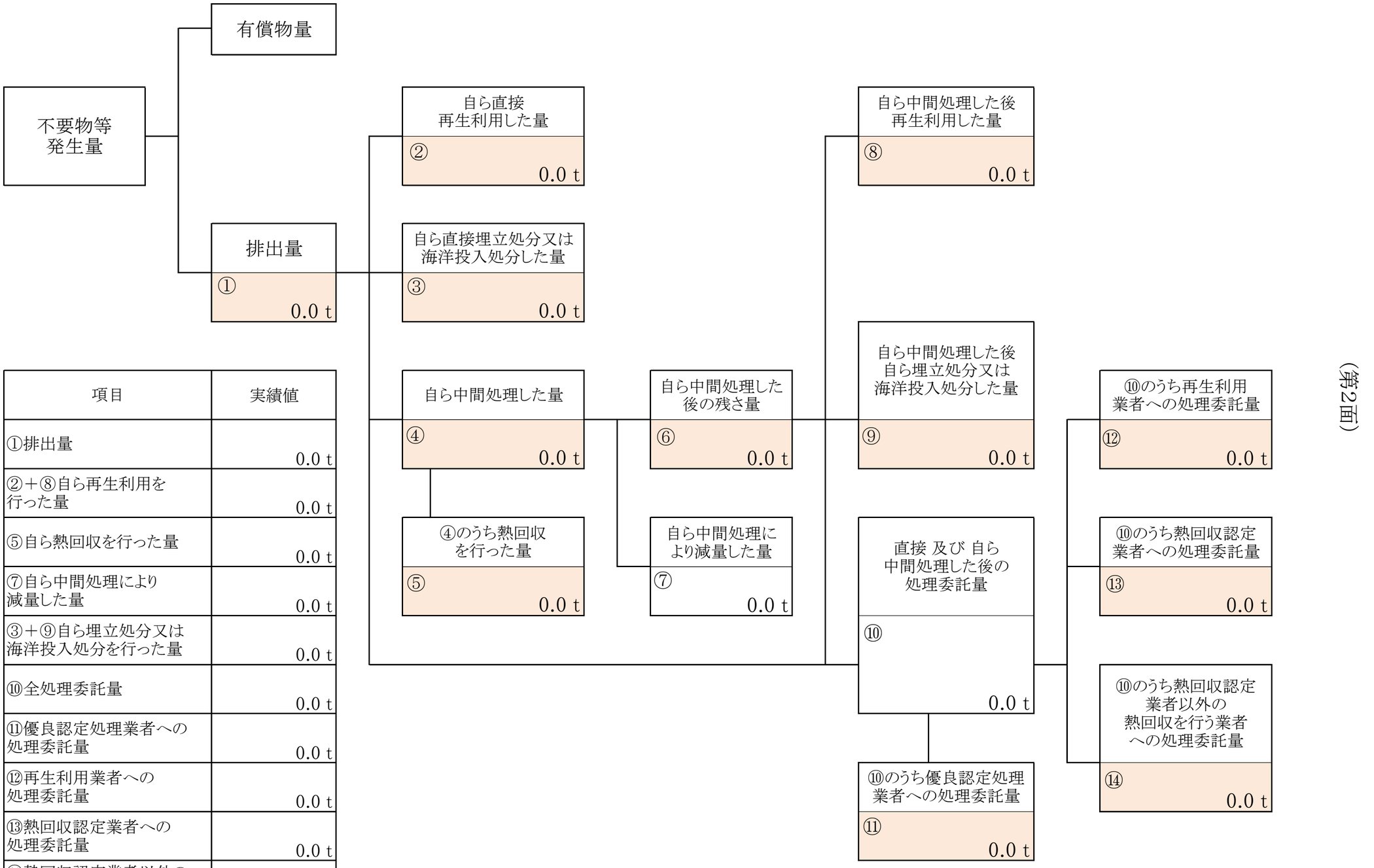
項目	実績値
①排出量	24.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	24.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	24.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**鉱さい**）



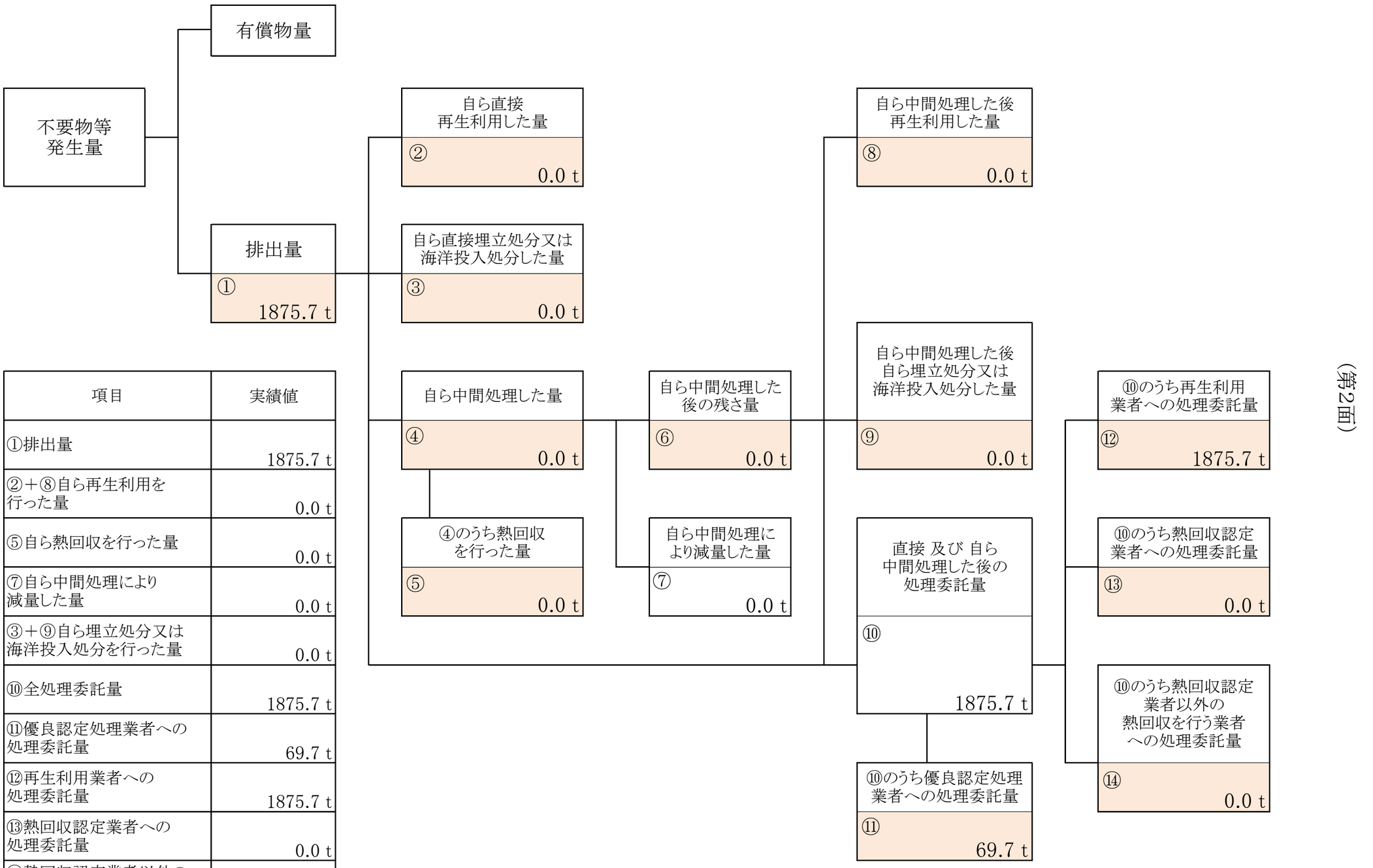
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類　コンクリート片**）



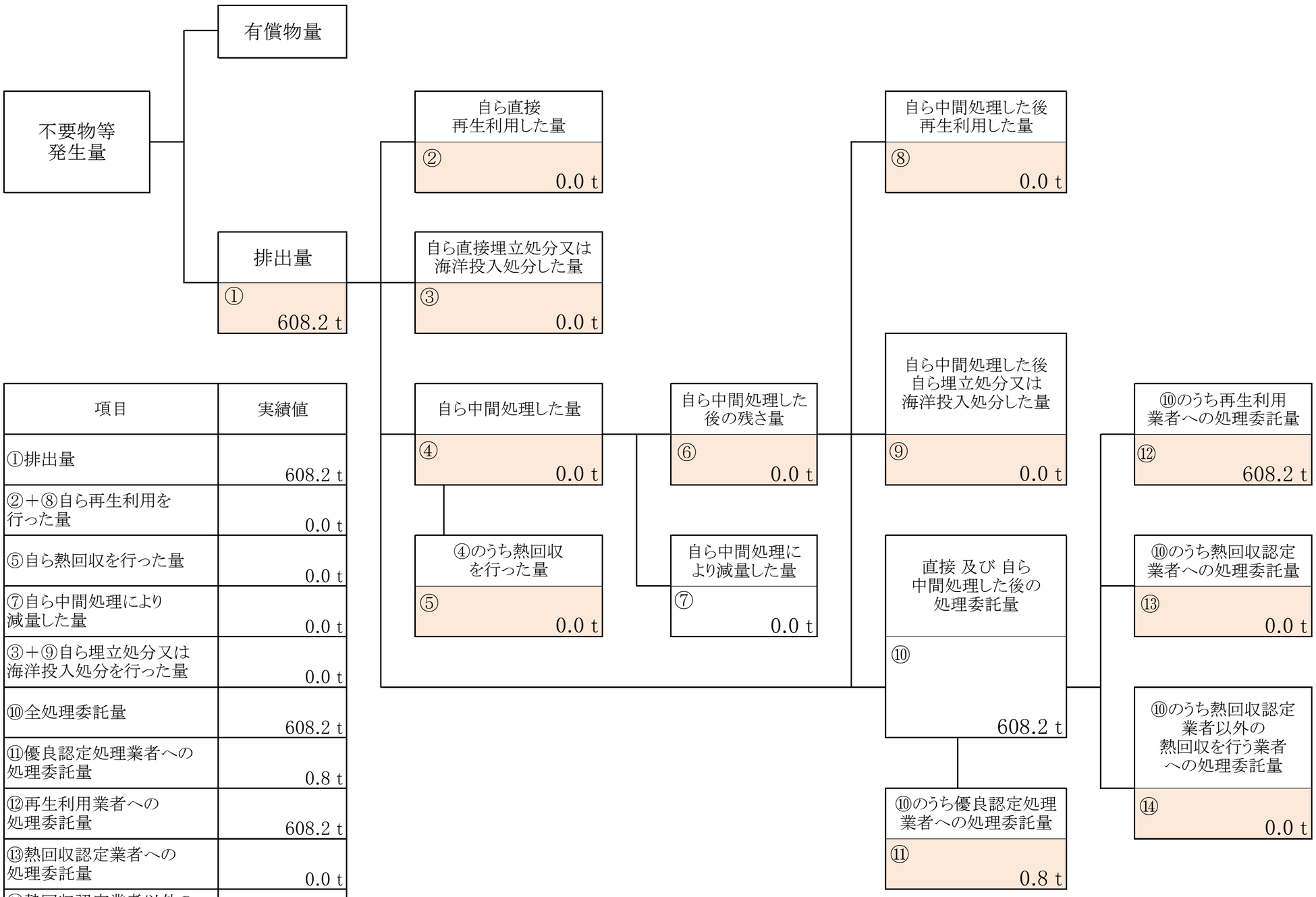
項目	実績値
①排出量	1875.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1875.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	69.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1875.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類　廃アスファルト**）



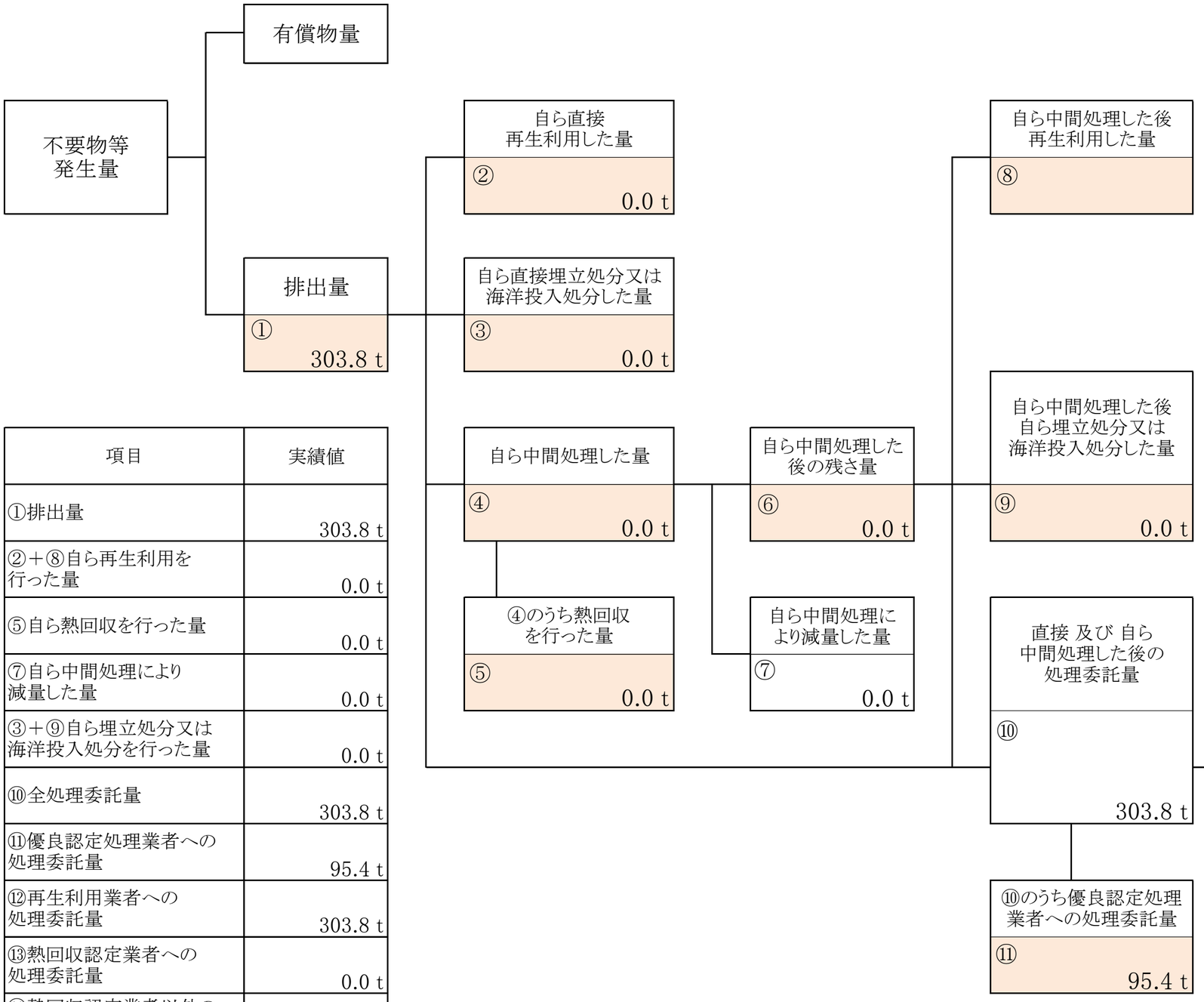
項目	実績値
①排出量	608.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	608.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	608.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類　レンガ破片など**）



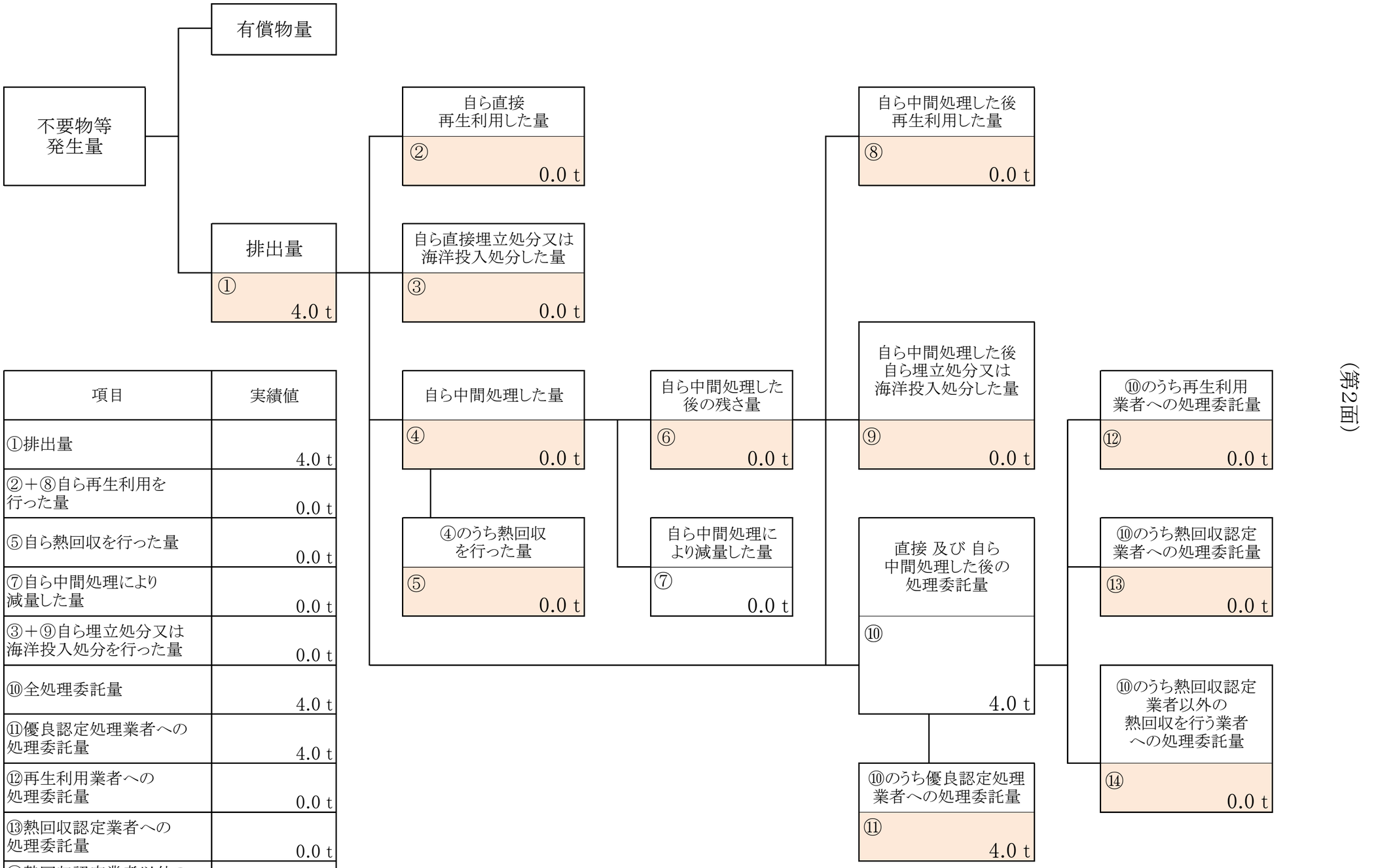
項目	実績値
①排出量	303.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	303.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	95.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	303.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類　石綿含有廃棄物**）



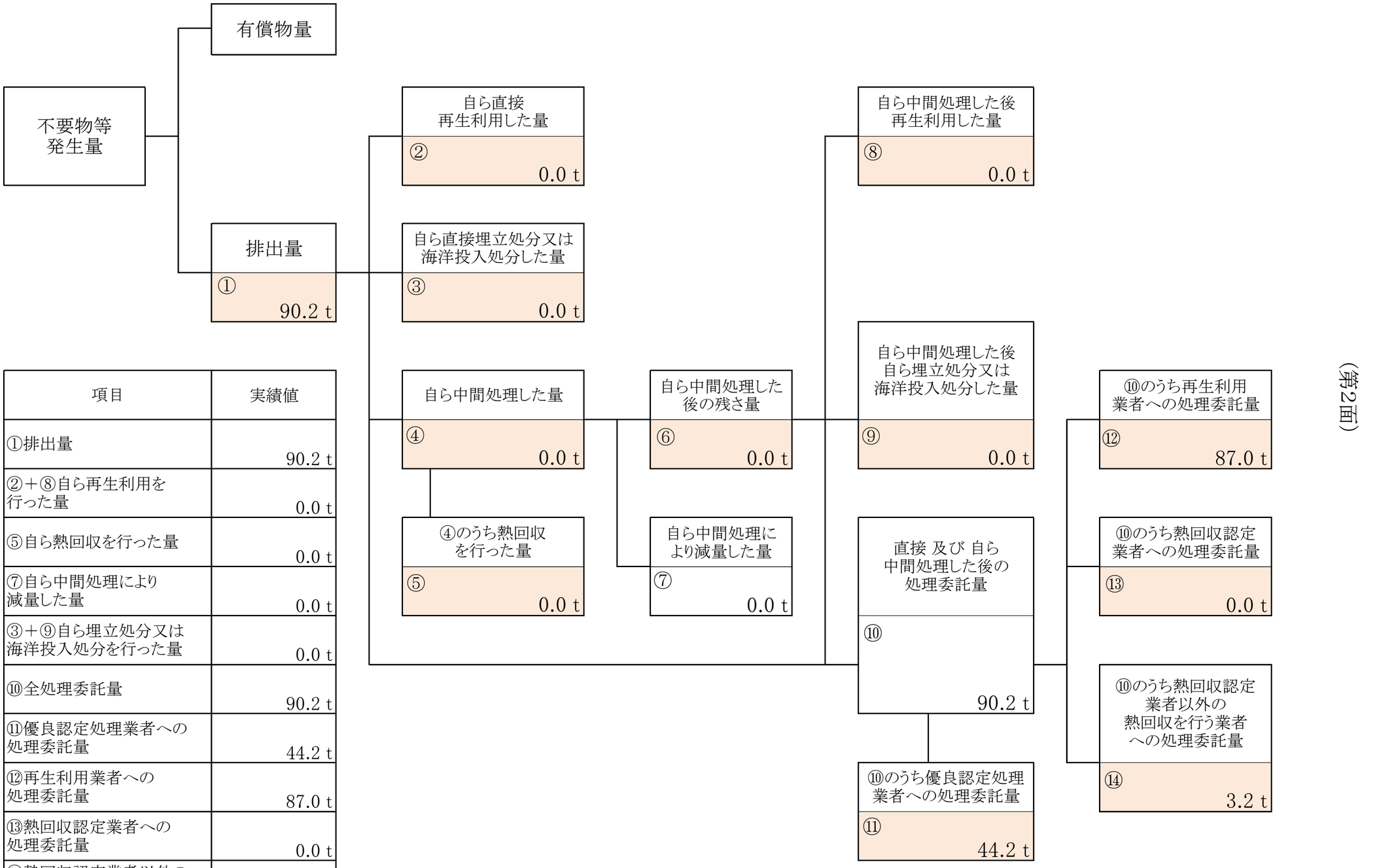
項目	実績値
①排出量	4.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）



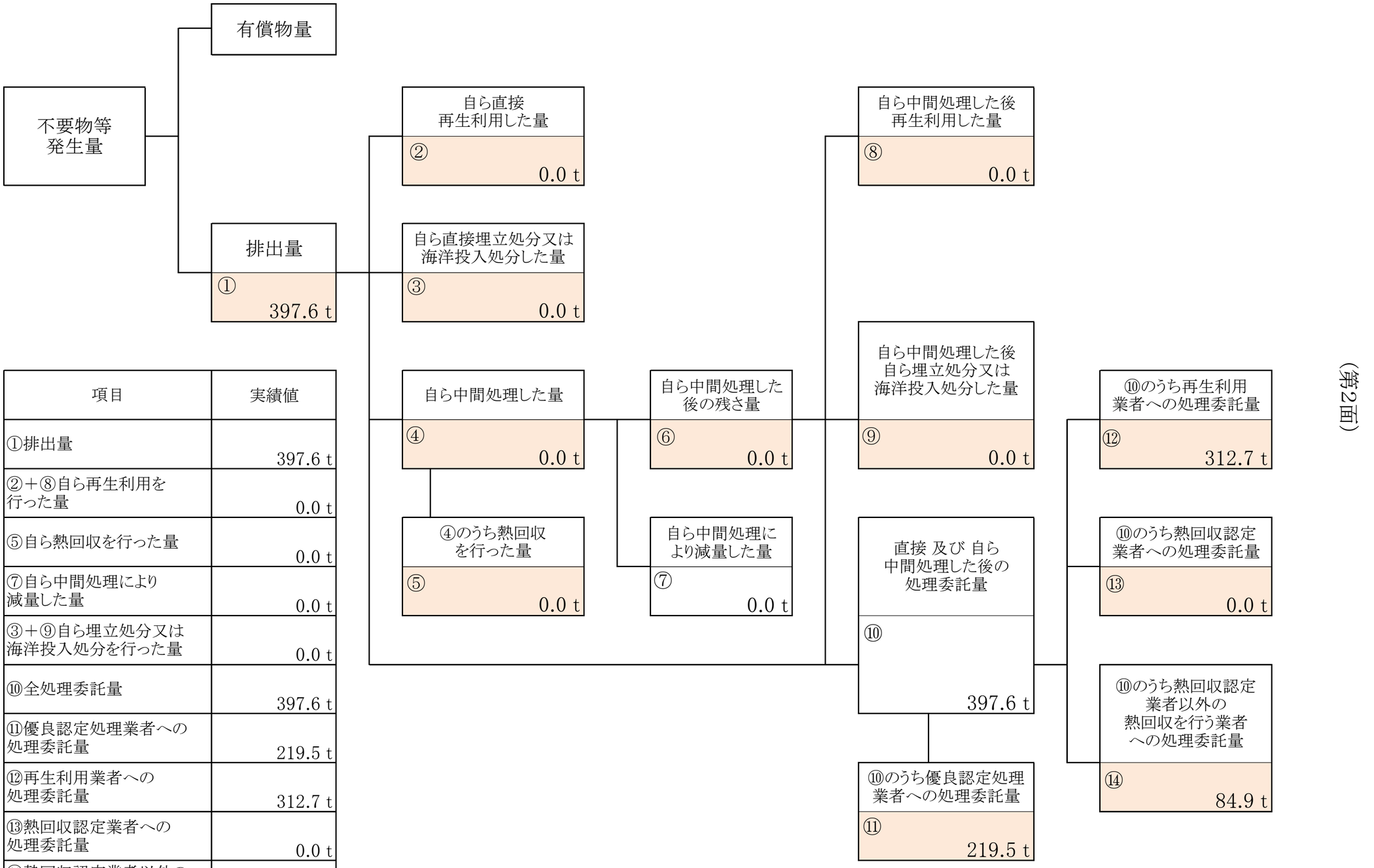
項目	実績値
①排出量	90.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	90.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	87.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.2 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）



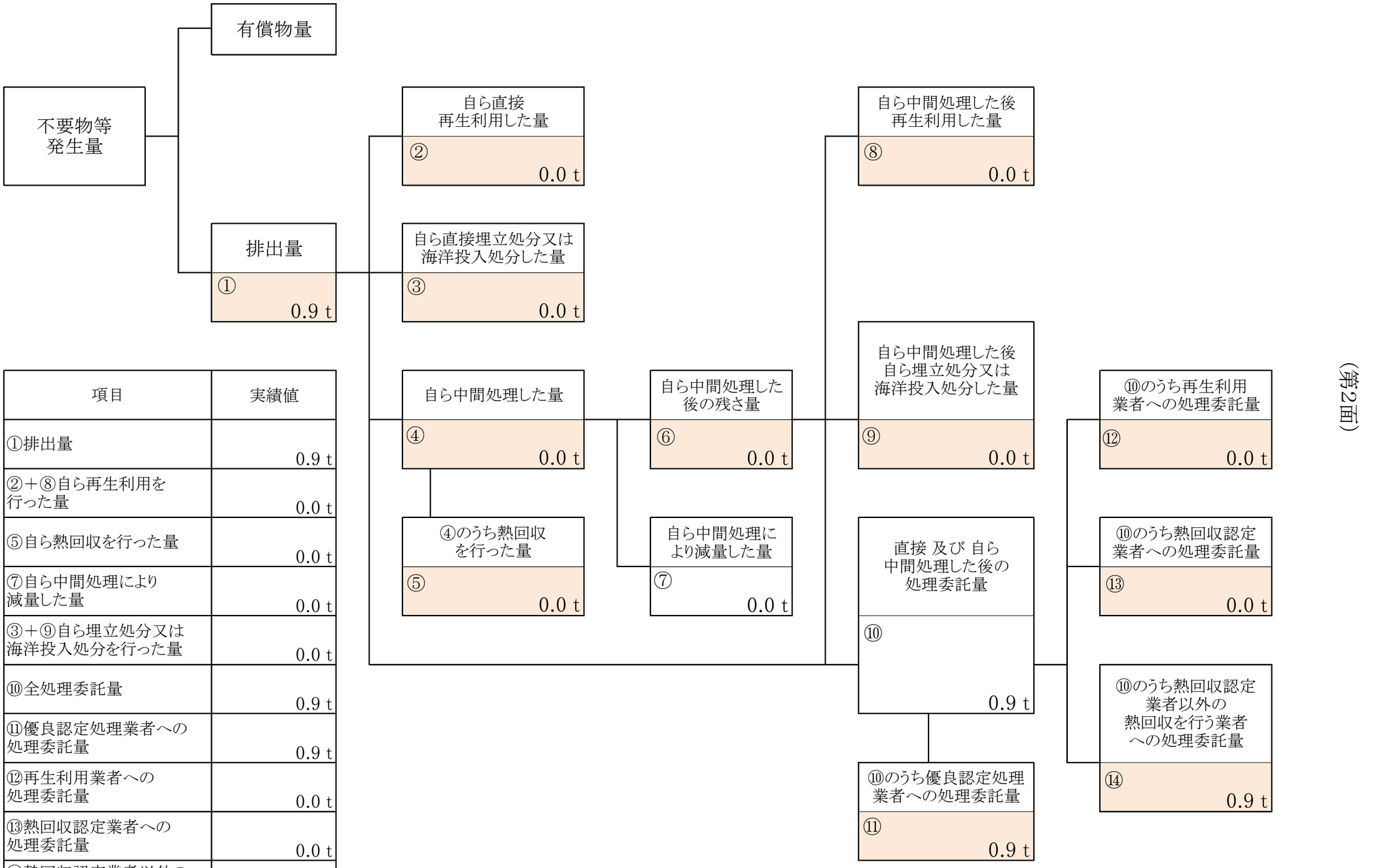
項目	実績値
①排出量	397.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	397.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	219.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	312.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	84.9 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**繊維くず**）



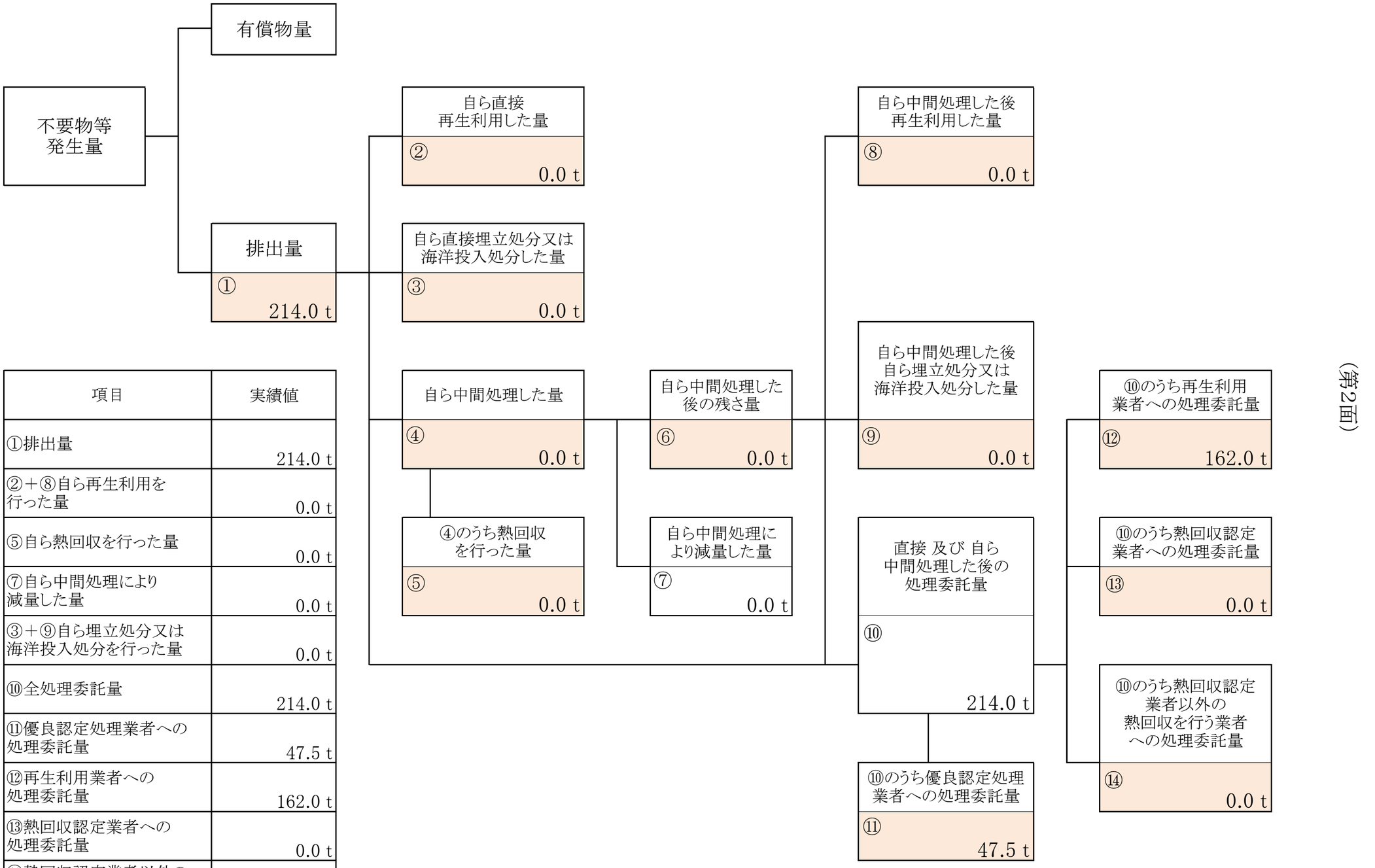
項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.9 t

（第2面）

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	214.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	214.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	47.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	162.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

Confidential

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

Confidential

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月11日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　266-0031

住　所　千葉県千葉市緑区おゆみ野３丁目１９番地４

法人名　大和ハウス工業株式会社　千葉支店

代表者　中村 隆

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-291-9633

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県各現場（千葉市を除く）
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	22,552,437千円
③従業員数	155名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
排出量	1,699.45 t	t

（これまでに実施した取組）
別紙３の通り

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
排出量	1,529.51 t	t

（今後実施する予定の取組）
別紙３の通り

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙４の通り

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙４の通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
		（これまでに実施した取組）	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
		（今後実施する予定の取組）	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
		（これまでに実施した取組）	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
		（今後実施する予定の取組）	

t	t
t	t
t	t
t	t
t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1,699.45 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	818.33 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,537.34 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	121.73 t	t
	（これまでに実施した取組）		

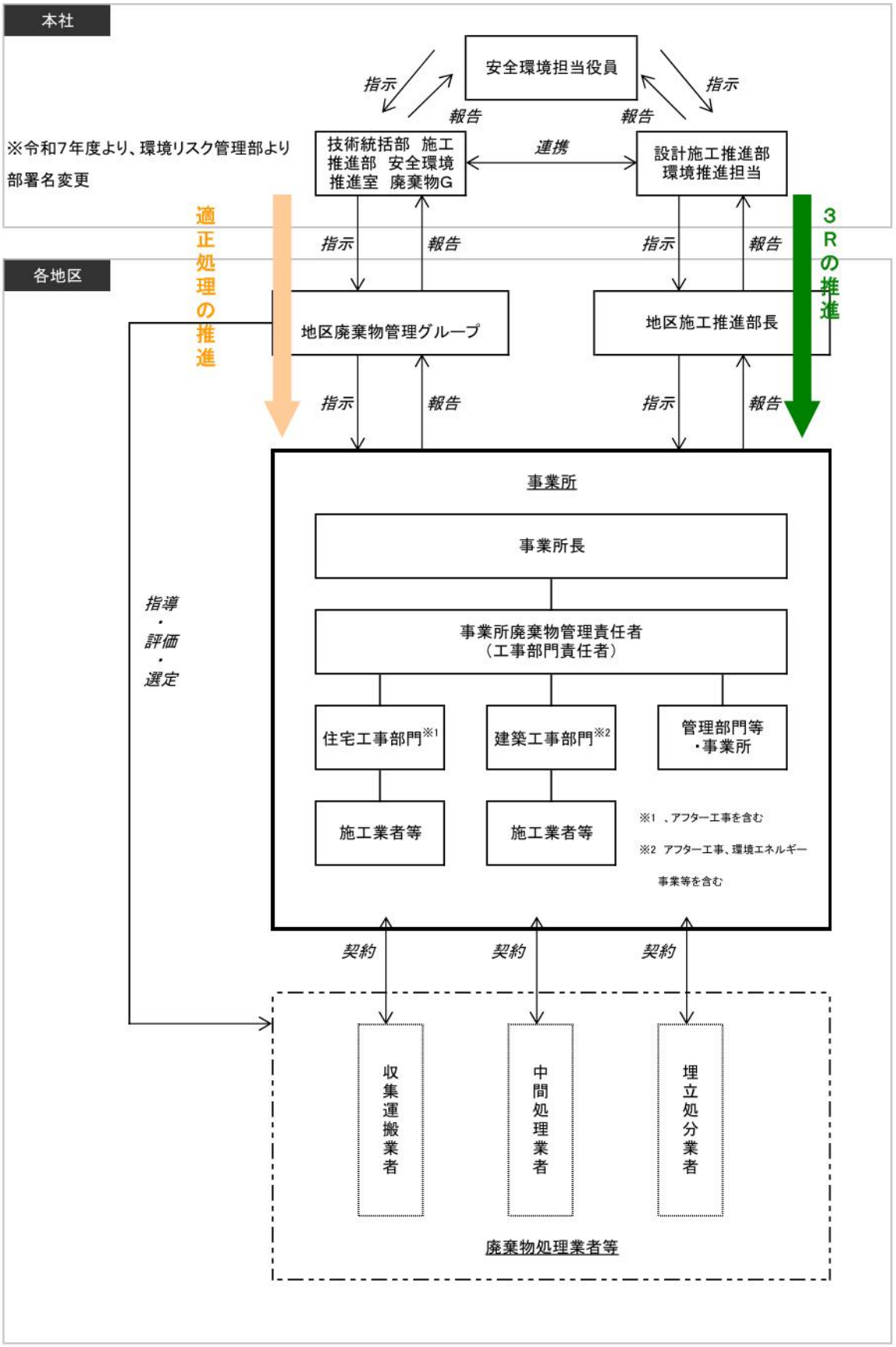
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		全 処 理 委 託 量	1,529.51 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	736.5 t	t
		再生利用業者への処理委託量	1,383.61 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	109.59 t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別紙1

廃棄物処理フロー図

別紙2


本社
安全環境担当役員
指示
報告
指示
報告
※令和7年度より、環境リスク管理部より
部署名変更
技術統括部　施工
推進部　安全環境
推進室　廃棄物G
連携
設計施工推進部
環境推進担当
適正処理の推進
3Rの推進
指示
報告
指示
報告
各地区
地区廃棄物管理グループ
地区施工推進部長
指示
報告
指示
報告
事業所
事業所長
事業所廃棄物管理責任者
（工事部門責任者）
住宅工事部門※1
建築工事部門※2
管理部門等
・事業所
施工業者等
施工業者等
※1 、アフター工事を含む
※2 アフター工事、環境エネルギー
事業等を含む
指導
・
評価
・
選定
契約
契約
契約
収集運搬業者
中間処理業者
埋立処分業者
廃棄物処理業者等

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙２の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類		
排　　出　　量	1,699.45　t	t

（これまでに実施した取組）

別紙３の通り

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
排　　出　　量	1,529.51　t	t

（今後実施する予定の取組）

別紙３の通り

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

別紙４の通り

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

別紙４の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
排　出　量	－ t	0.62 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
排　出　量	－ t	0.56 t	－ t	－ t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
排　出　量	－ t	75.36 t	－ t	29.29 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
排　出　量	－ t	67.83 t	－ t	26.36 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
排　出　量	103.49　t	－　t	45.95　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
排　出　量	93.14　t	－　t	41.35　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排出量	－ t	－ t	219.80 t	264.20 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排出量	－ t	－ t	197.82 t	237.78 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
排　出　量	245.12 t	－ t	26.16 t	443.57 t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
排　出　量	220.61 t	－ t	23.54 t	399.21 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
排　出　量	0.90　t	245.00　t	t	t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
排　出　量	0.81　t	220.50　t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類		
全処理委託量	1,699.45 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	818.33 t	t
再生利用業者への処理委託量	1,537.34 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	121.76 t	t

（これまでに実施した取組）

別紙５の通り

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
全処理委託量	－ t	0.62 t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	0.62 t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	75.36 t	－ t	29.29 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	68.76 t	－ t	18.34 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	25.99 t	－ t	29.29 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	49.37 t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
全処理委託量	103.49 t	－ t	45.95 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	100.04 t	－ t	45.95 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	99.19 t	－ t	45.95 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.86 t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	－ t	－ t	219.80 t	264.20 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	50.40 t	27.20 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	219.80 t	264.20 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
全処理委託量	245.12 t	－ t	26.16 t	443.57 t
優良認定処理業者への処理委託量	165.82 t	－ t	25.86 t	72.57 t
再生利用業者への処理委託量	210.72 t	－ t	26.16 t	372.94 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	70.63 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
全処理委託量	0.90 t	245.00 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.90 t	242.50 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	－ t	242.50 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.90 t	－ t	t	t

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	1,529.51 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	736.50 t	t
		再生利用業者への処理委託量	1,383.61 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	－ t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	109.59 t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙５の通り		
※事務処理欄				

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
全処理委託量	－ t	0.56 t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	0.56 t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	67.83 t	－ t	26.36 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	61.89 t	－ t	16.50 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	23.39 t	－ t	26.36 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	44.44 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
全処理委託量	93.14 t	－ t	41.35 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	90.04 t	－ t	41.35 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	89.27 t	－ t	41.35 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.77 t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	－ t	－ t	197.82 t	237.78 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	45.36 t	24.48 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	197.82 t	237.78 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
全処理委託量	220.61 t	－ t	23.54 t	399.21 t
優良認定処理業者への処理委託量	149.24 t	－ t	23.27 t	65.31 t
再生利用業者への処理委託量	189.65 t	－ t	23.54 t	335.64 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	63.57 t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
全処理委託量	0.81 t	220.50 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.81 t	218.25 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	－ t	218.25 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.81 t	－ t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別表3

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社工場出荷材においては製品化にして出荷 ・現場調達材のプレカットにして出荷 ・給水管のプレ加工	・製品化された部材の採用に努める ・現場調達材はプレカット化の精度を高める ・梱包レス化の推進で排出抑制を図る ・通い箱等での梱包レス化
金属くず	・有価物として鉄鋼原料とする処分業者に委託している ・基礎鉄筋のプレ加工 ・電気配線のプレ加工	・原材料化業者に処理委託し鉄鋼原料としてマテリアルリサイクルしていく
ガラス陶磁器等くず	・外壁窯業サイディング材のプレカットで出荷 ・石膏ボードをメーカー工場よりプレカットにて出荷 ・瓦材のプレ加工	・更なるプレカット納入物件を計る ・通年実績でのロス率見直しでのカット精度向上をはかる
コンクリート片	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
廃アスファルト	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
レンガ破片等		
紙くず	・専ら業者等の委託契約を締結し再生利用をしている ・	・専ら業者等の委託契約締結を促進して更なる再生利用をする
木くず	・当社工場出荷材はプレカットにて出荷 ・現場調達材のプレカットにて出荷 ・梱包材のリターナブル化	・更なるプレカット化の精度を高める ・ロス率見直しによる精度向上を図る
繊維くず		・藁タタミの採用を極力避けてスタイロタタミを採用する
石綿含有産業廃棄物	事前調査で適正処理の推進	事前調査精度向上による適正処理の継続
建設汚泥		
建設混合廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る
水銀使用製品廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る

別表4

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・単品袋詰め	・発泡スチロールの分別をする ・PPバンド等、リサイクル可能な分別品目を増やしリサイクル率向上図る
金属くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・金属くず、非鉄金属に分別する
ガラス陶磁器等くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積 ・石膏ボードは専用袋に袋詰め	・リサイクルするための用途を検討 ・石膏ボード　雨に濡らさない保管施設の確保
コンクリート片	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
廃アスファルト	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
レンガ破片等	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
紙くず	・ダンボール類は紐で縛る ・その他紙くずは、単品袋詰め	・雨に濡らさない保管施設の見直し ・雨に対して養生仕方の検討
木くず	30cm以下に切断して単品袋詰め	長尺物の再利用検討
繊維くず	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
石綿含有産業廃棄物	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み
建設汚泥	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う
建設混合廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
水銀使用製品廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底

別表5

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託する ・定期に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を技術統括部　施工推進部　安全環境推進室　廃棄物Gと同行して実施している ・委託基本契約書の定期見直し ・委託先　処理系統の見直し ・収集運搬許可書、車両一覧表、処分業許可書の有効期限を点検 ・処理後発生する廃棄物や製品の処理委託（売買）契約を適切に行っているか。 ・マニフェストの回収・返送を適切に行っているか。 ・処理施設の管理状況　（施設・車両の点検状況） ・従業員の教育状況 ・周辺の地域社会との交流の取り込み	・継続していく
金属くず		
ガラス陶磁器等くず		
コンクリート片		
廃アスファルト		
レンガ破片等		
紙くず		
木くず		
繊維くず		
石綿含有産業廃棄物		
建設汚泥		
建設混合廃棄物		
水銀使用製品廃棄物		

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月11日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　266-0031

住所 千葉県千葉市緑区おゆみ野3丁目19番地4

法人名 大和ハウス工業株式会社　千葉支店

代表者 中村 隆

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-291-9633

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 千葉支店 千葉県内現場
事業場の所在地	千葉県内一円(千葉市を除く)
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

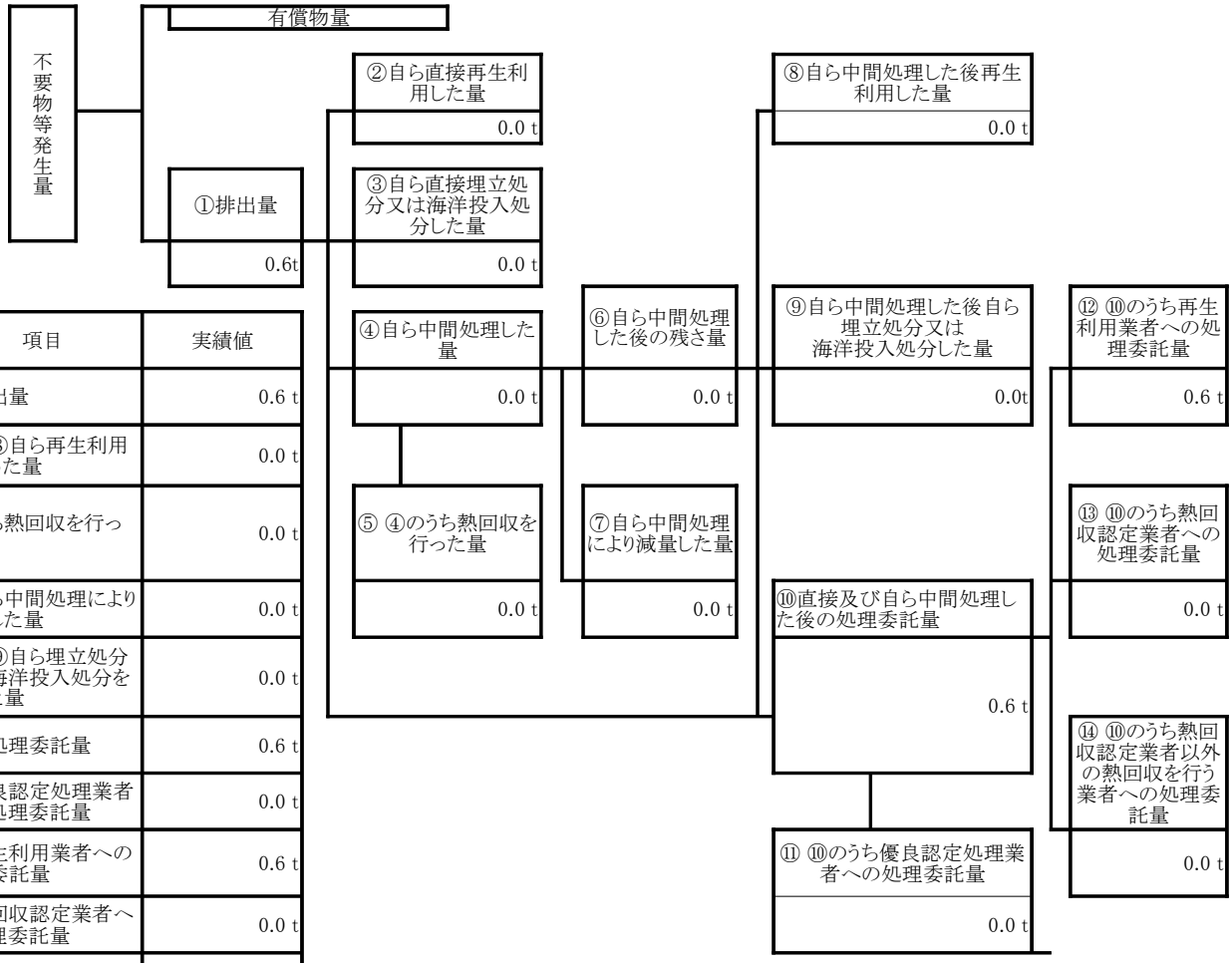
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,031.44 t	全処理委託量	4,031.44 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	644.35 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3,944.79 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	62.78 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

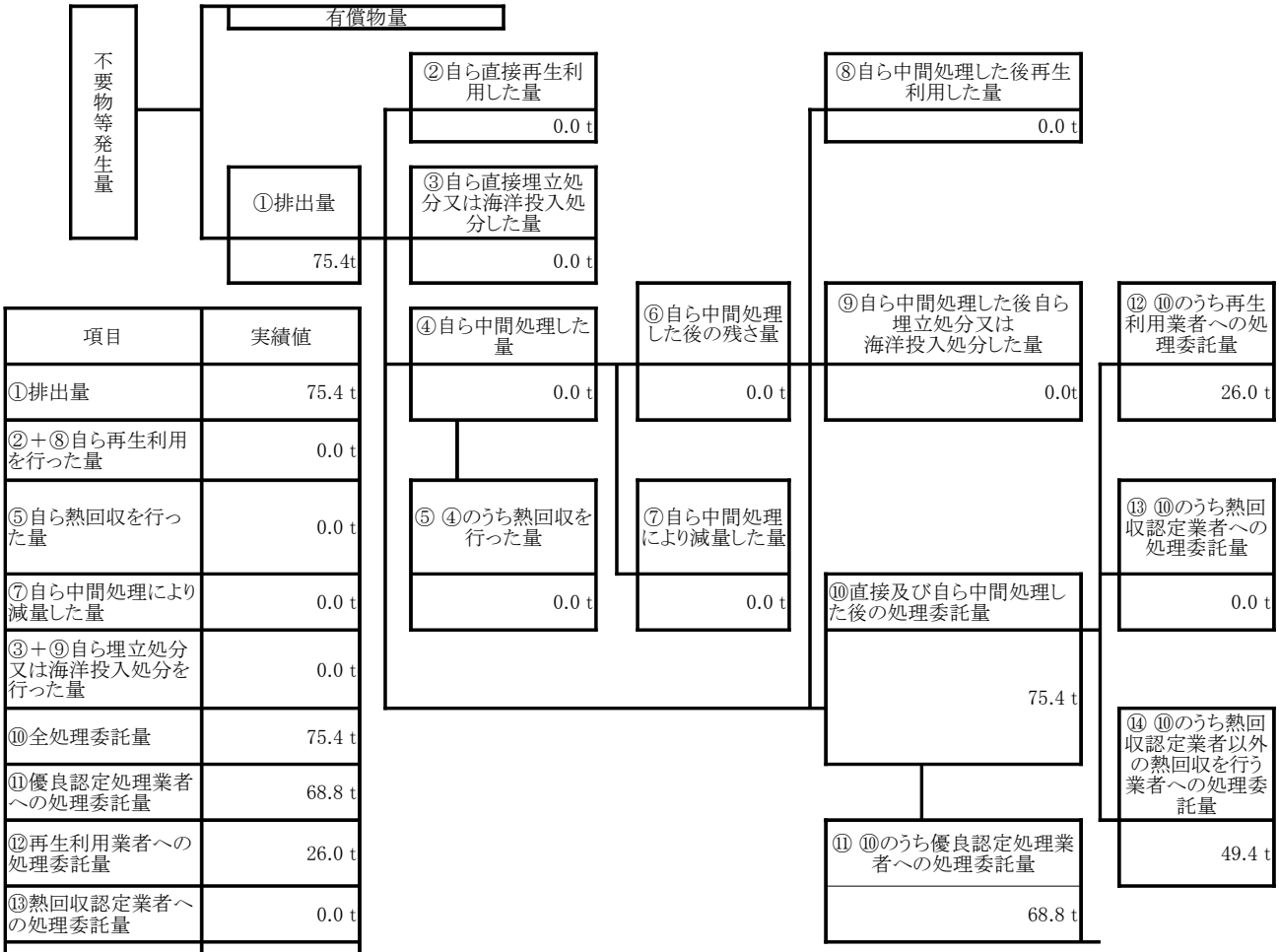


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスティック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

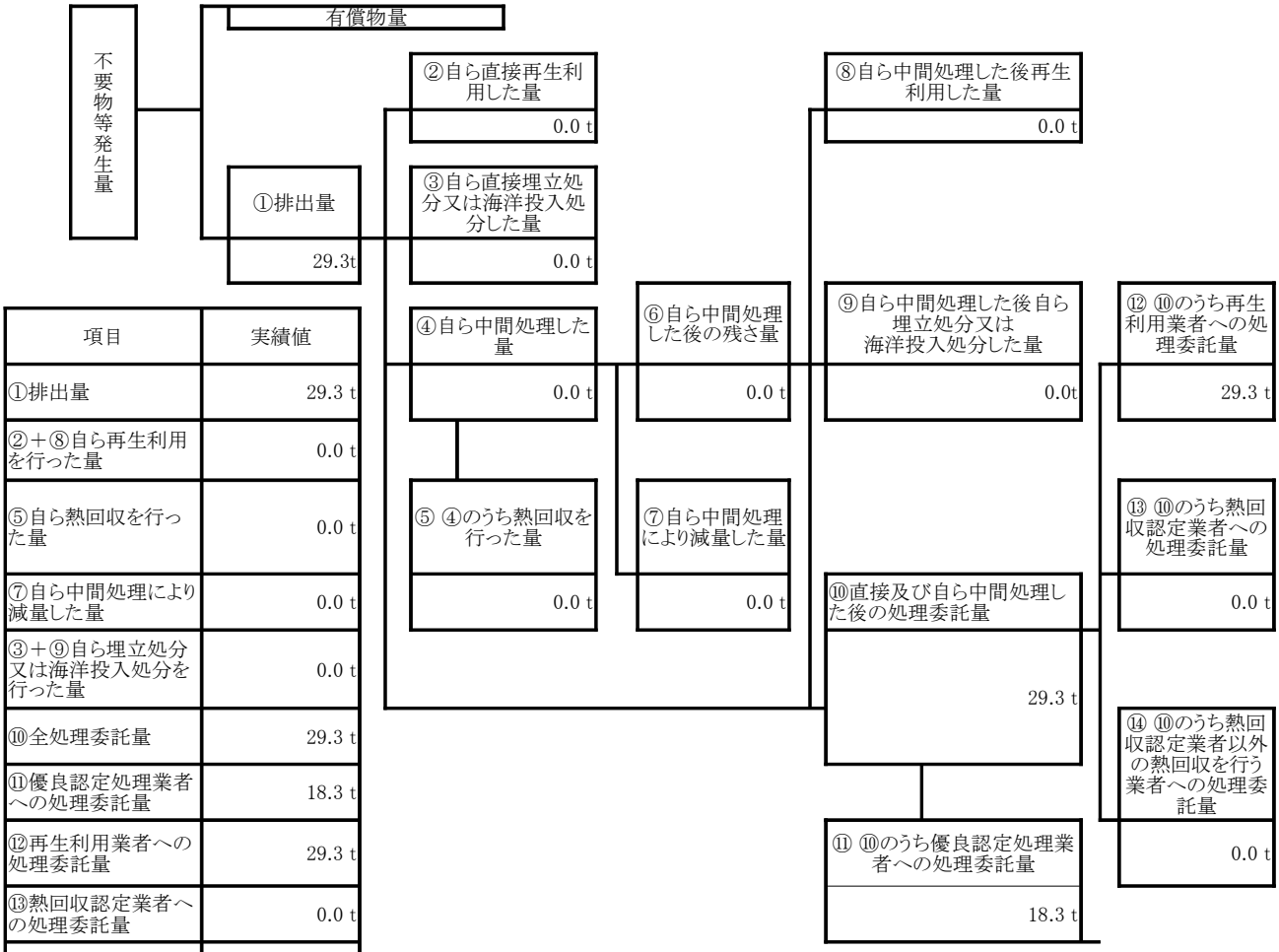


項目	実績値
①排出量	75.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	75.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	49.4 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

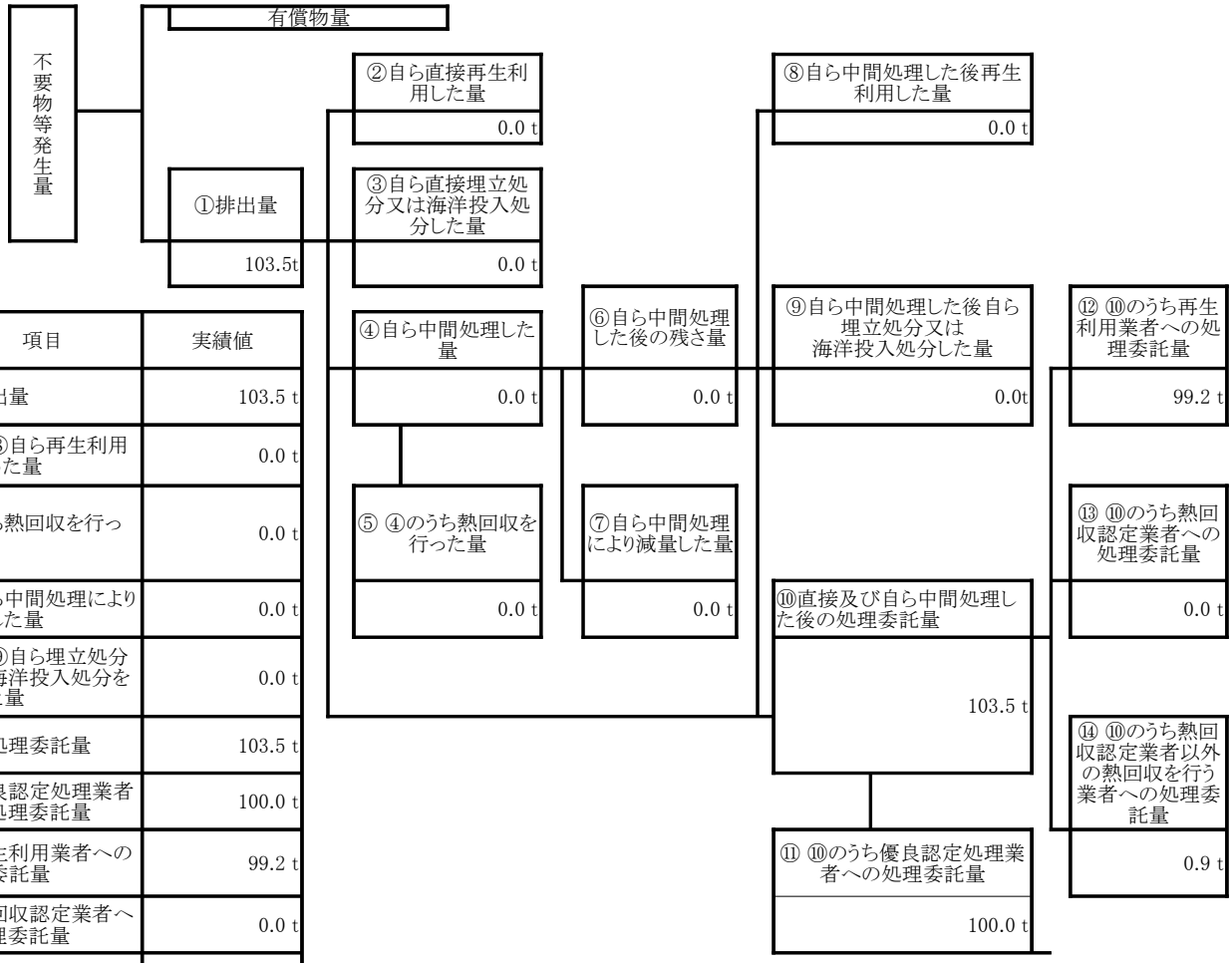


項目	実績値
①排出量	29.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	29.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス陶磁器くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

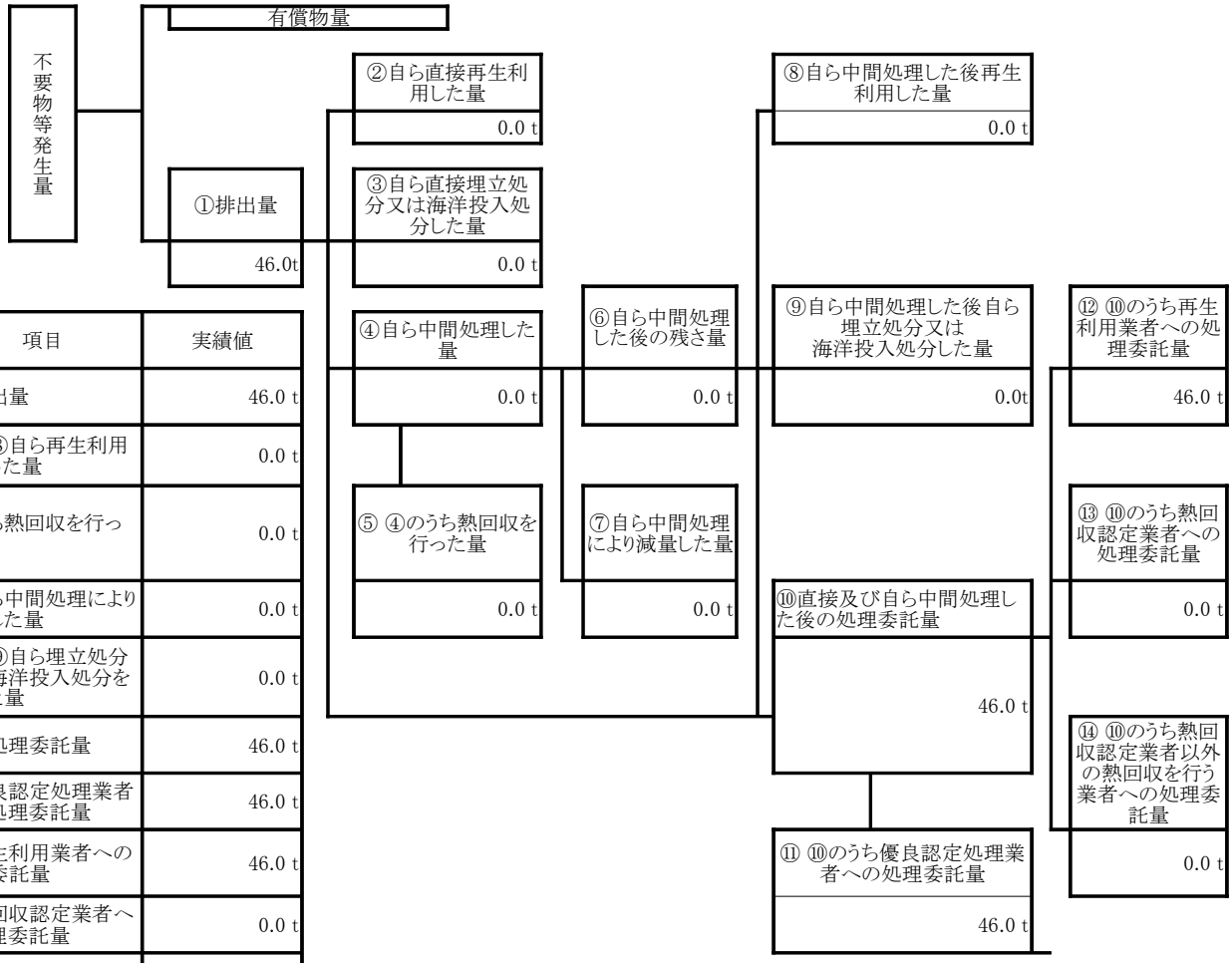


項目	実績値
①排出量	103.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	103.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	100.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	99.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.9 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

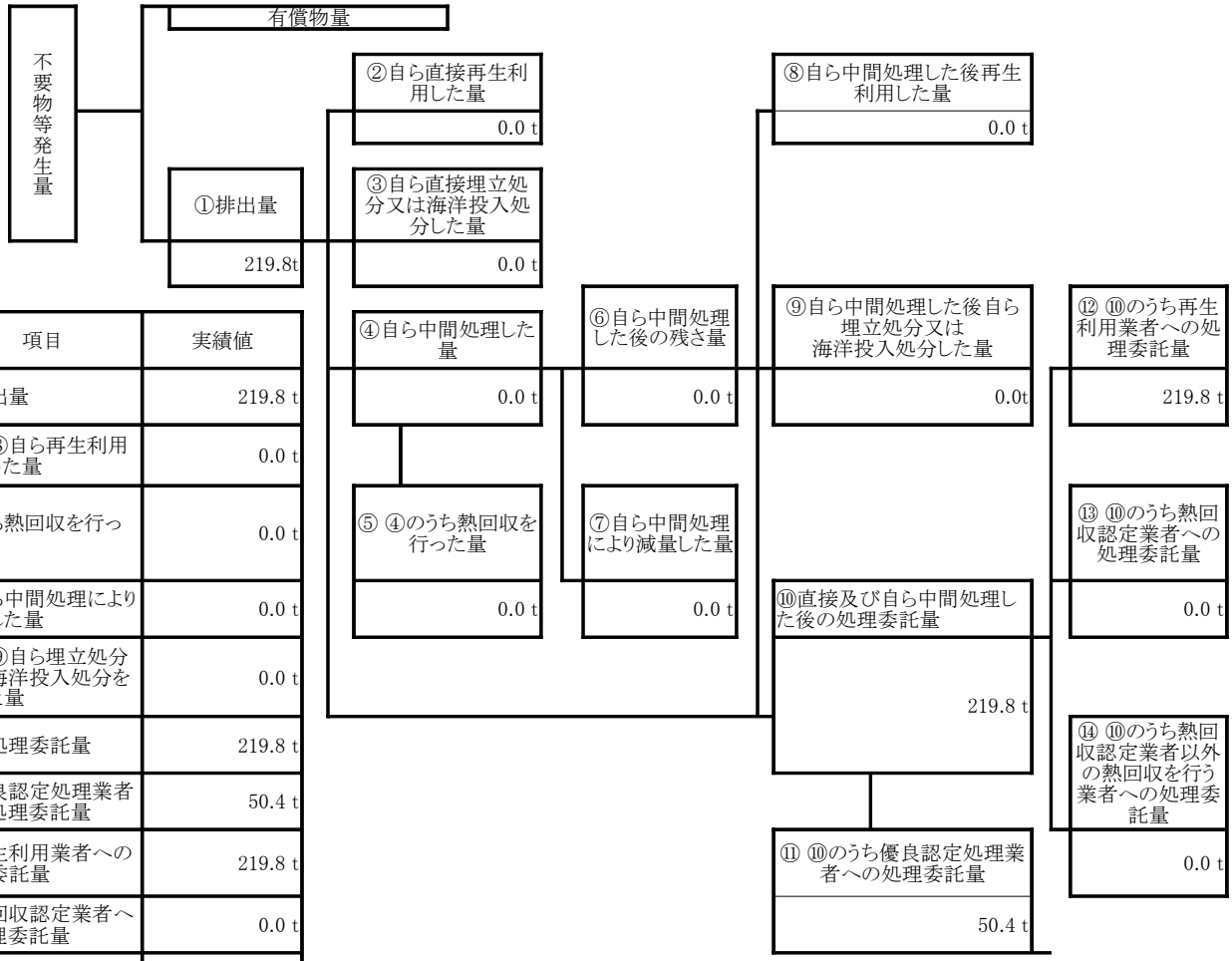


項目	実績値
①排出量	46.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	46.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類　コンクリート片**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

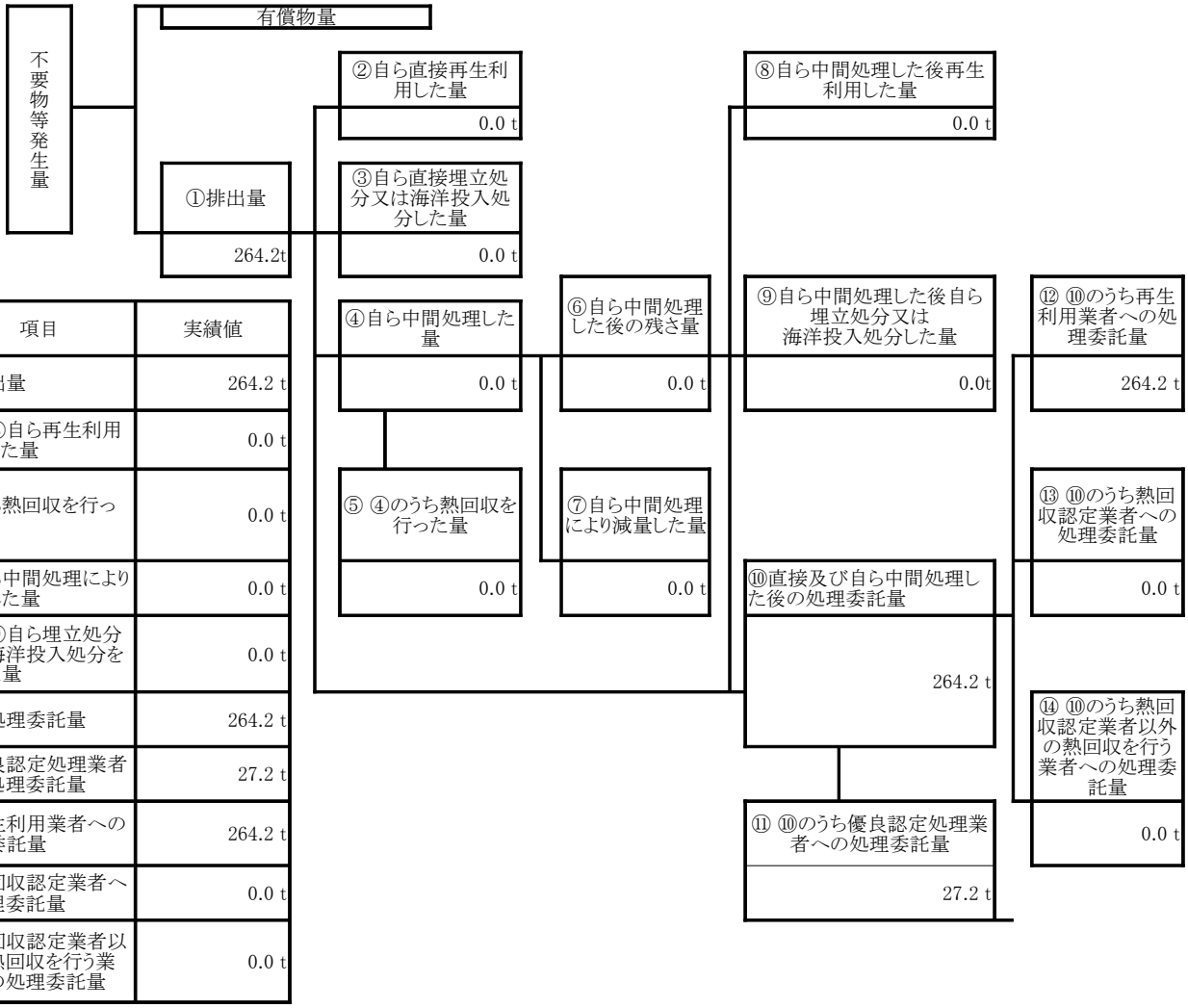


項目	実績値
①排出量	219.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	219.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	50.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	219.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類　廃アスファルト**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

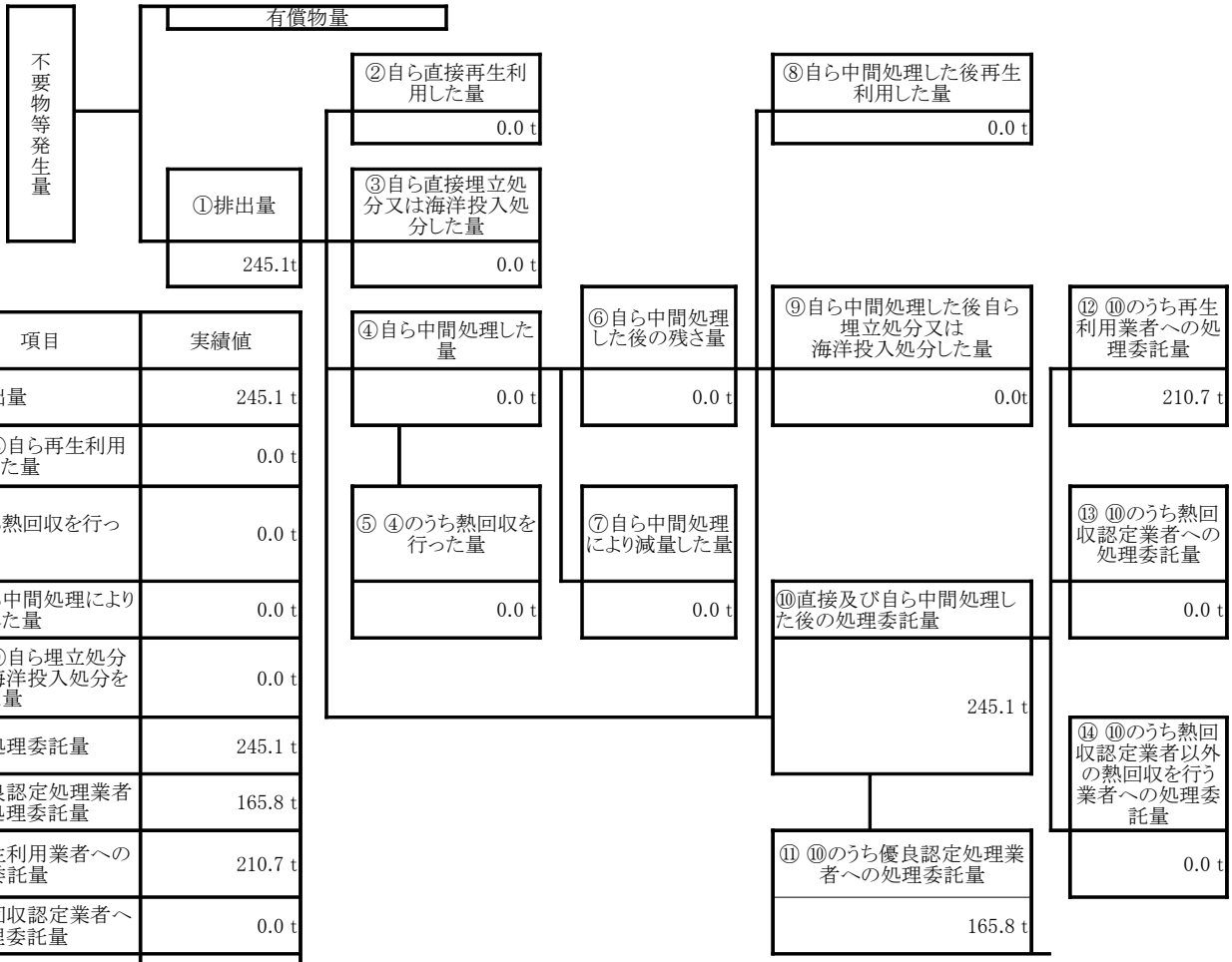


項目	実績値
①排出量	264.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	264.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	264.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類　レンガ破片など**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

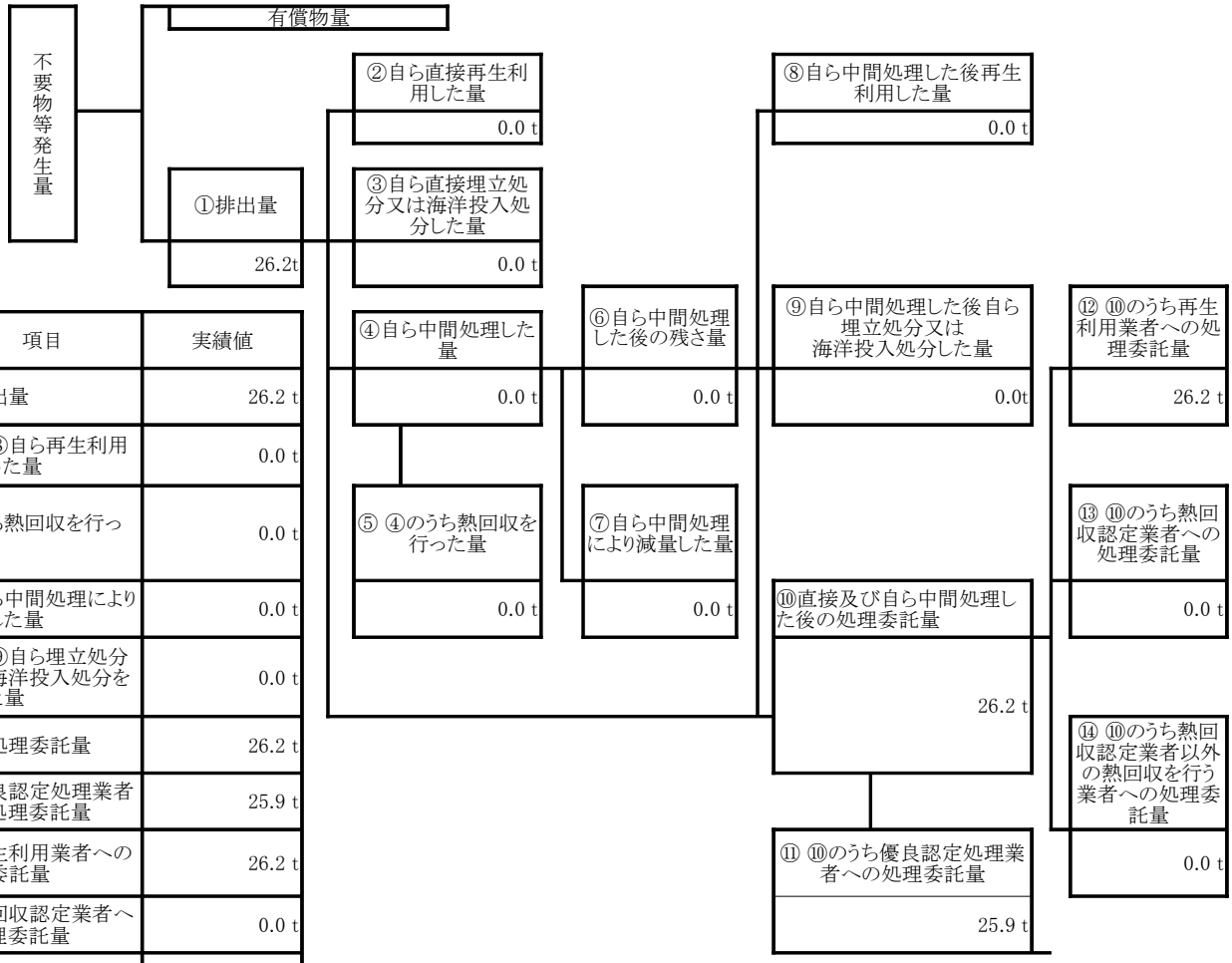


項目	実績値
①排出量	245.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	245.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	165.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	210.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



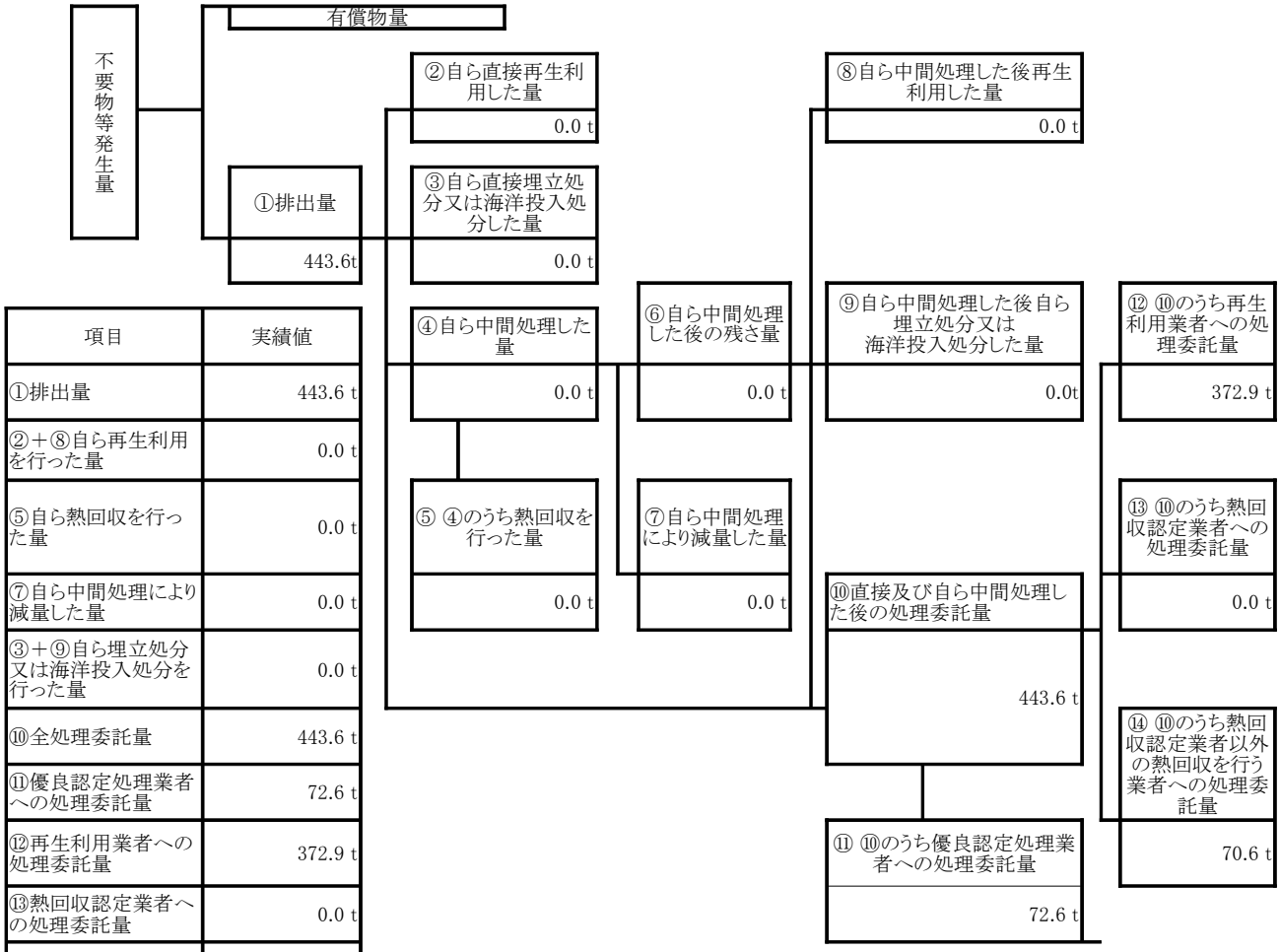
項目	実績値
①排出量	26.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

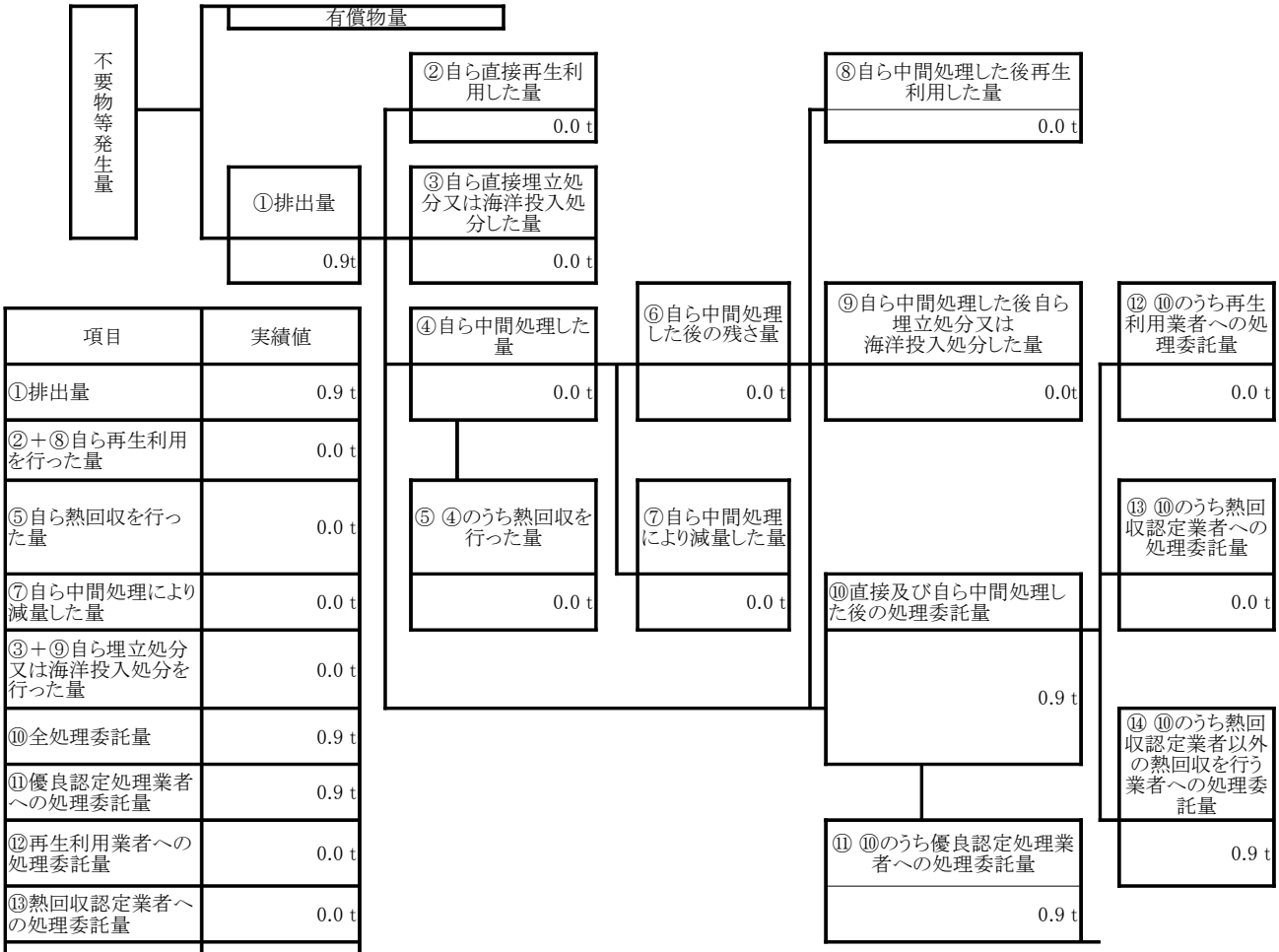


項目	実績値
①排出量	443.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	443.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	72.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	372.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	70.6 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



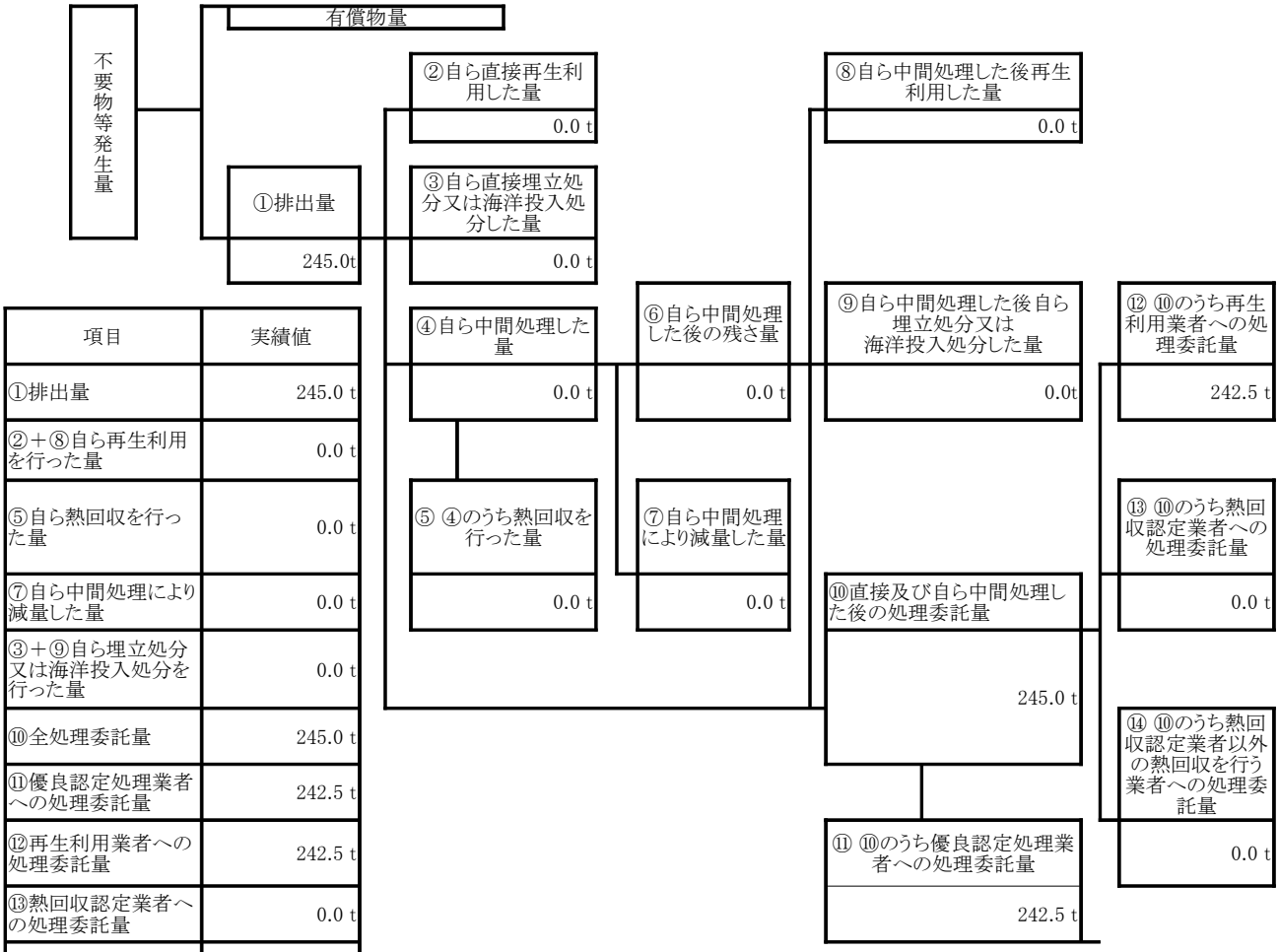
項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.9 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	245.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	245.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	242.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	242.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月12日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都千代田区飯田橋3-13-1

氏 名　大和ハウス工業株式会社　東京本社・本店

本店長　片岡　幸和

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03（5214）2157

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　東京本社・本店
事業場の所在地	当該自治体域内の各施工現場
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	売上高　2,149,973百万円（2025年3月期）
③従業員数	16,192人（2025年3月31日）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

Confidential

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
給排水配管材・屋根材・外壁材・鋼材等のプレ加工現場納入推進。簡易梱包化・リターナブル化による段ボールや廃プラスチックの削減。有価物化の推進。解体工事現場の分別精度の向上。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
上記の品目の拡大、更なる精度向上。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
単品袋詰め又はコンテナに単品集積（廃プラスチック、金属くず、ガラス陶磁器くず、コンクリート片・木くず・紙くず）。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
発泡スチロールやＰＰバンド等リサイクル可能な品目の再分別。金属くずを鉄と非鉄に再分別。

Confidential

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

Confidential

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託。定期に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を安全部と同行して実施。委託先や処理系統を定期的に見直し。</td></tr>
</table>

Confidential

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
上記の施策の継続。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

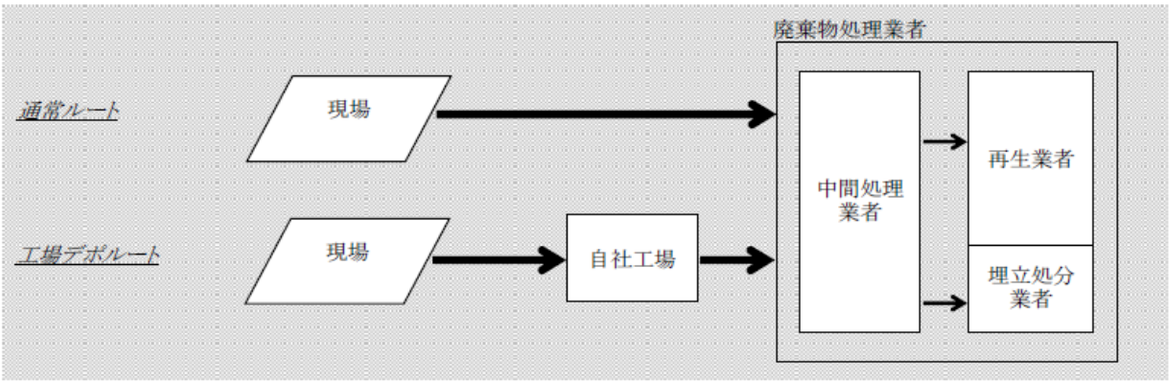
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

Confidential

別添１ 処理工程図

廃棄物処理の形態



（１）通常処理

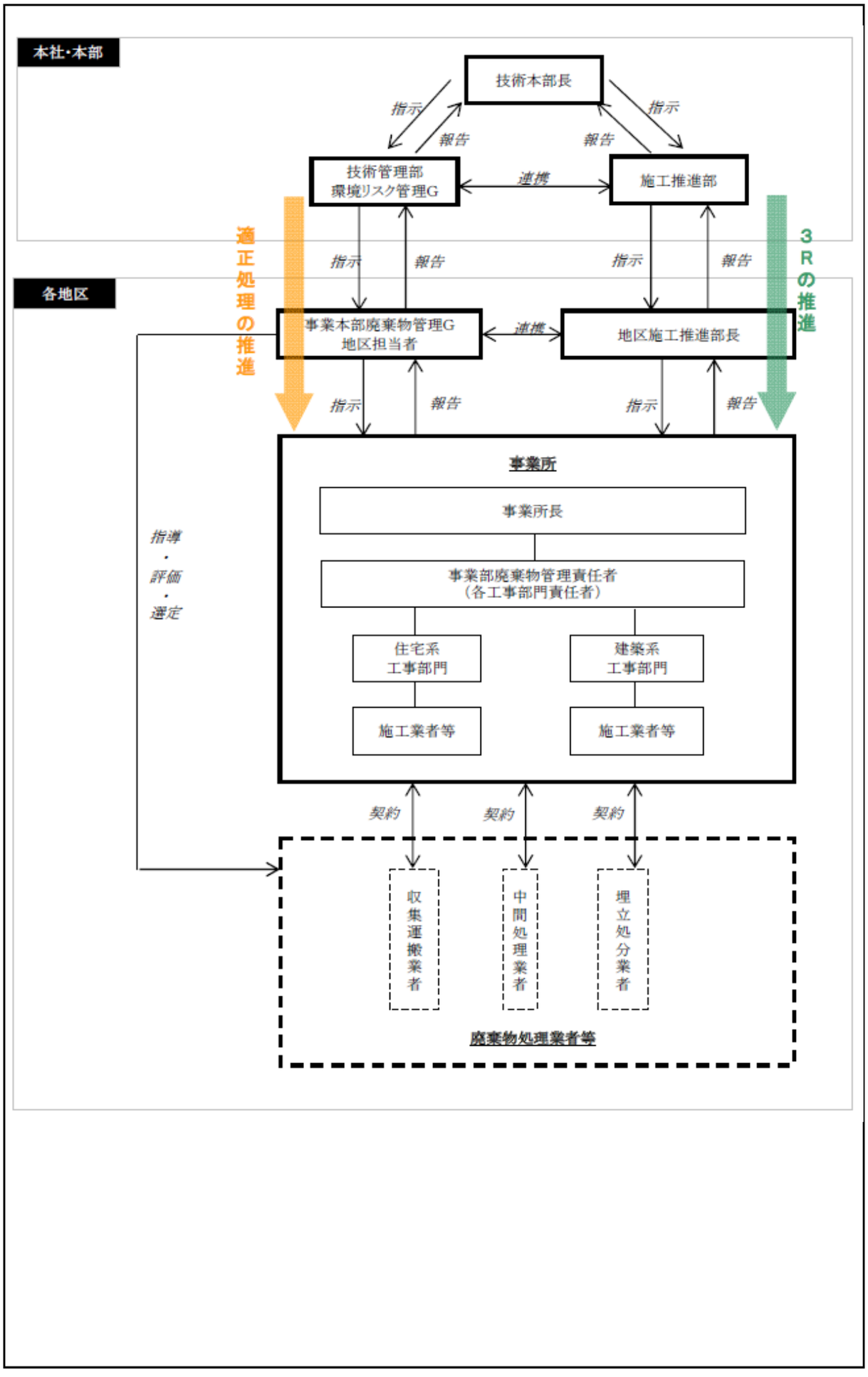
現場で発生する産業廃棄物を現場で収集運搬業者に引き渡し、中間処理業者や埋立処分業者または再生業者にて廃棄物処理を行うもの。

（２）工場デポ処理

現場で発生する産業廃棄物を自社工場に回収し、自社工場内で自己処理（選別、圧縮等）の処理を行った後、自社工場の委託処理先にてリサイクルを行うもの。なお、工場デポの運用に際しては「工場デポ基準」に基づくこと。

Confidential

別添２ 管理体制図


本社・本部
技術本部長
指示
報告
指示
報告
技術管理部
環境リスク管理G
連携
施工推進部
適正処理の推進
3Rの推進
指示
報告
指示
報告
各地区
事業本部廃棄物管理G
地区担当者
連携
地区施工推進部長
指示
報告
指示
報告
事業所
事業所長
事業部廃棄物管理責任者
（各工事部門責任者）
住宅系
工事部門
建築系
工事部門
施工業者等
施工業者等
指導
・
評価
・
選定
契約
契約
契約
収集運搬業者
中間処理業者
埋立処分業者
廃棄物処理業者等

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
		排　出　量	11,781.60 t	148.76 t	30.24 t	317.38 t	71.85 t	275.25 t	69.20 t	2,950.97 t	605.48 t	324.30 t	2,708.72 t	0.50 t						
	②計画	【目標】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
		排　出　量	10,603.44 t	133.88 t	27.22 t	285.64 t	64.67 t	247.73 t	62.28 t	2,655.87 t	544.93 t	291.87 t	2,437.85 t	0.45 t						
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	②計画	【目標】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	②計画	【目標】																	
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

Confidential

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
全処理委託量	11,781.60 t	148.76 t	30.24 t	317.38 t	71.85 t	275.25 t	69.20 t	2,950.97 t	605.48 t	324.30 t	2,708.72 t	0.50 t						
優良認定処理業者への処理委託量	2,774.40 t	148.36 t	30.24 t	317.38 t	71.70 t	275.25 t	68.80 t	0.00 t	282.08 t	159.20 t	1,146.32 t	0.50 t						
再生利用業者への処理委託量	11,781.60 t	148.76 t	30.24 t	317.38 t	71.85 t	275.25 t	69.20 t	1,117.47 t	605.48 t	324.30 t	2,708.72 t	0.50 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
全処理委託量	10,603.44 t	133.88 t	27.22 t	285.64 t	64.67 t	247.73 t	62.28 t	2,655.87 t	544.93 t	291.87 t	2,437.85 t	0.45 t						
優良認定処理業者への処理委託量	2,496.96 t	133.52 t	27.22 t	285.64 t	64.53 t	247.73 t	61.92 t	0.00 t	253.87 t	143.28 t	1,031.69 t	0.45 t						
再生利用業者への処理委託量	10,603.44 t	133.88 t	27.22 t	285.64 t	64.67 t	247.73 t	62.28 t	1,005.72 t	544.93 t	291.87 t	2,437.85 t	0.45 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

Confidential

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月12日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都千代田区飯田橋3-13-1

氏 名 大和ハウス工業株式会社 東京本社・本店

本店長 片岡 幸和

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03（5214）2157

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 東京本社・本店
事業場の所在地	当該自治体域内の各施工現場
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	16,483.42 t	全処理委託量	16,483.42 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,215.96 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	16,479.37 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

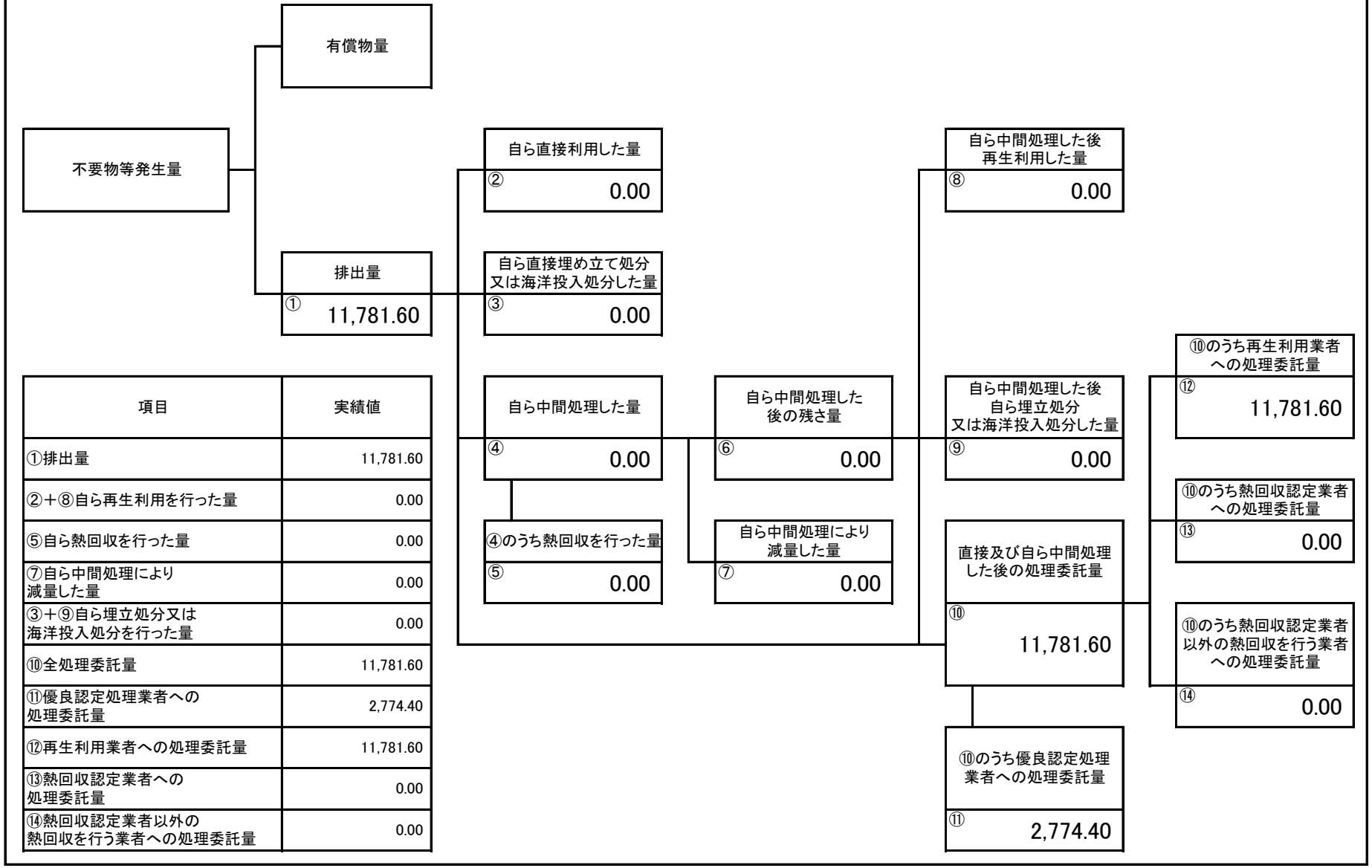
Confidential

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類汚泥　　）

（単位：トン）



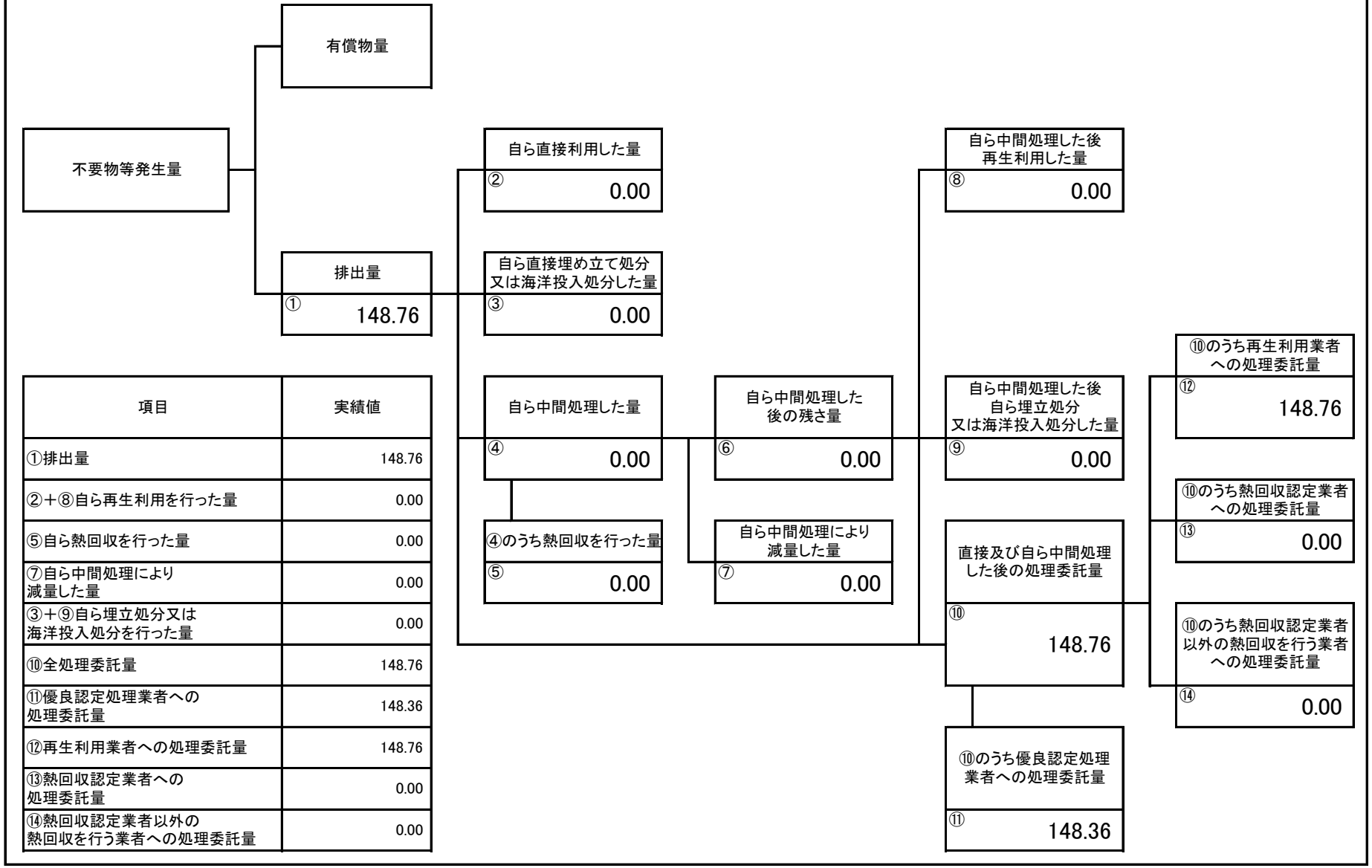
項目	実績値
①排出量	11,781.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	11,781.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,774.40
⑫再生利用業者への処理委託量	11,781.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 ）

（単位：トン）



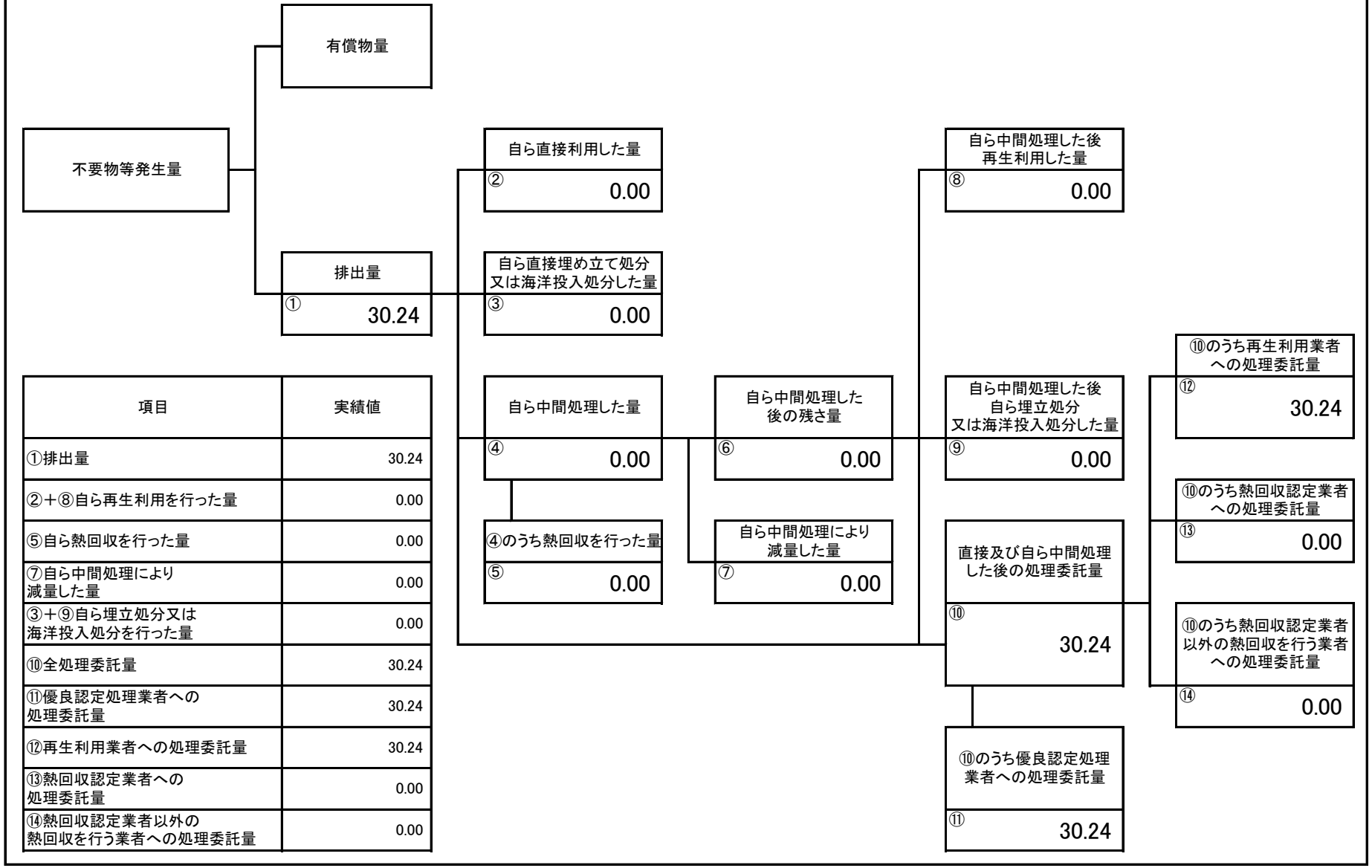
項目	実績値
①排出量	148.76
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	148.76
⑪優良認定処理業者への処理委託量	148.36
⑫再生利用業者への処理委託量	148.76
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	30.24
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	30.24
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.24
⑫再生利用業者への処理委託量	30.24
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

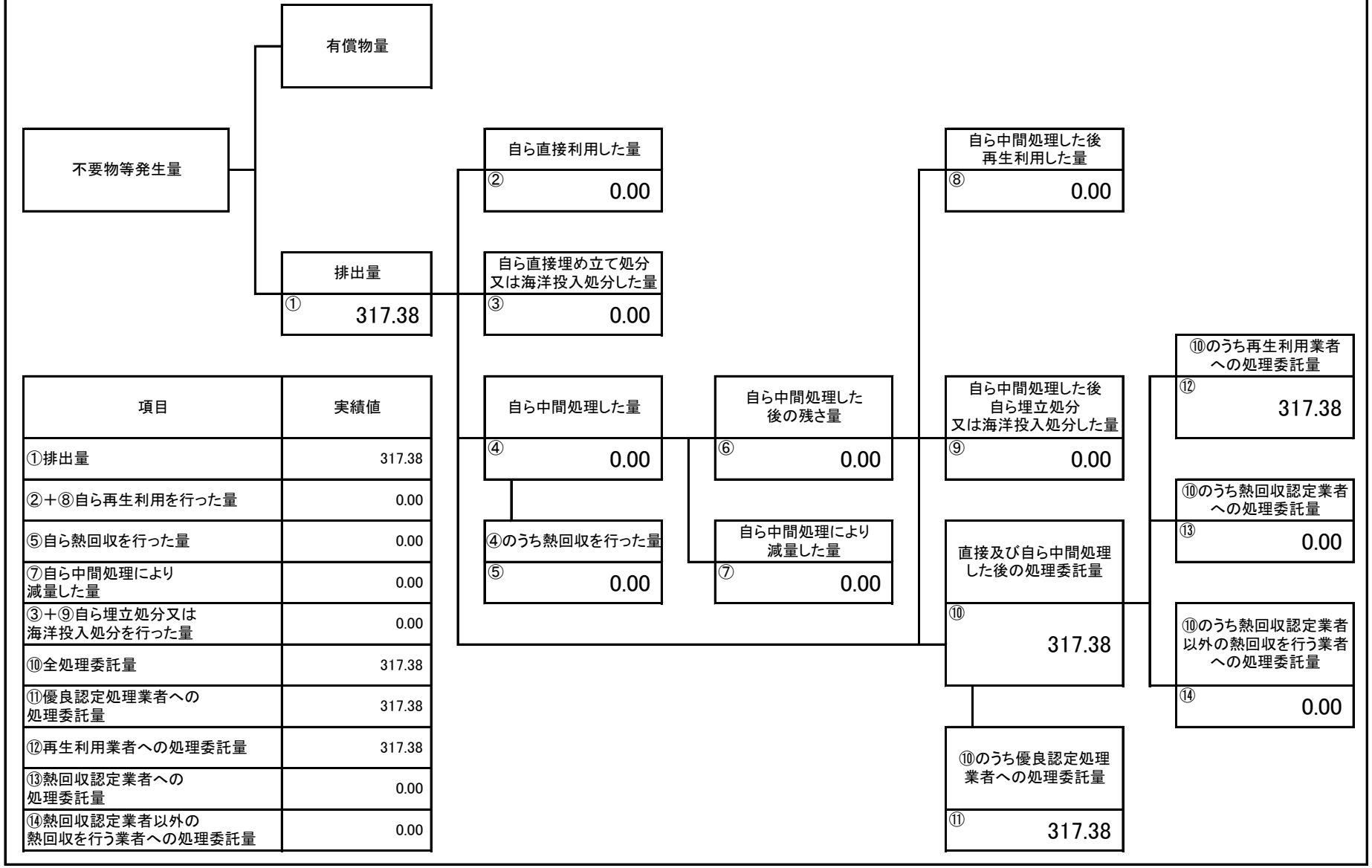
Confidential

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）



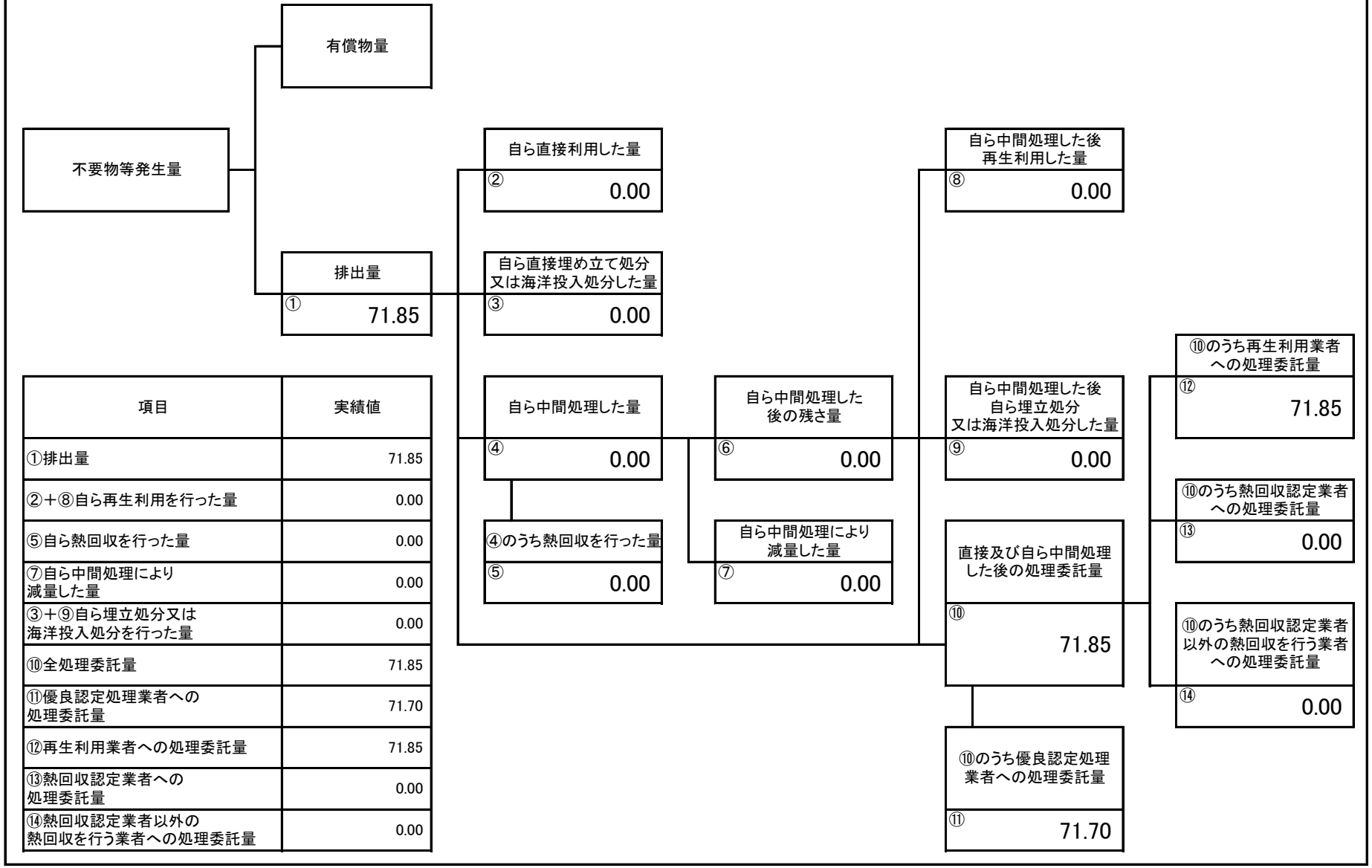
項目	実績値
①排出量	317.38
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	317.38
⑪優良認定処理業者への処理委託量	317.38
⑫再生利用業者への処理委託量	317.38
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず ）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	71.85
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	71.85
⑪優良認定処理業者への処理委託量	71.70
⑫再生利用業者への処理委託量	71.85
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

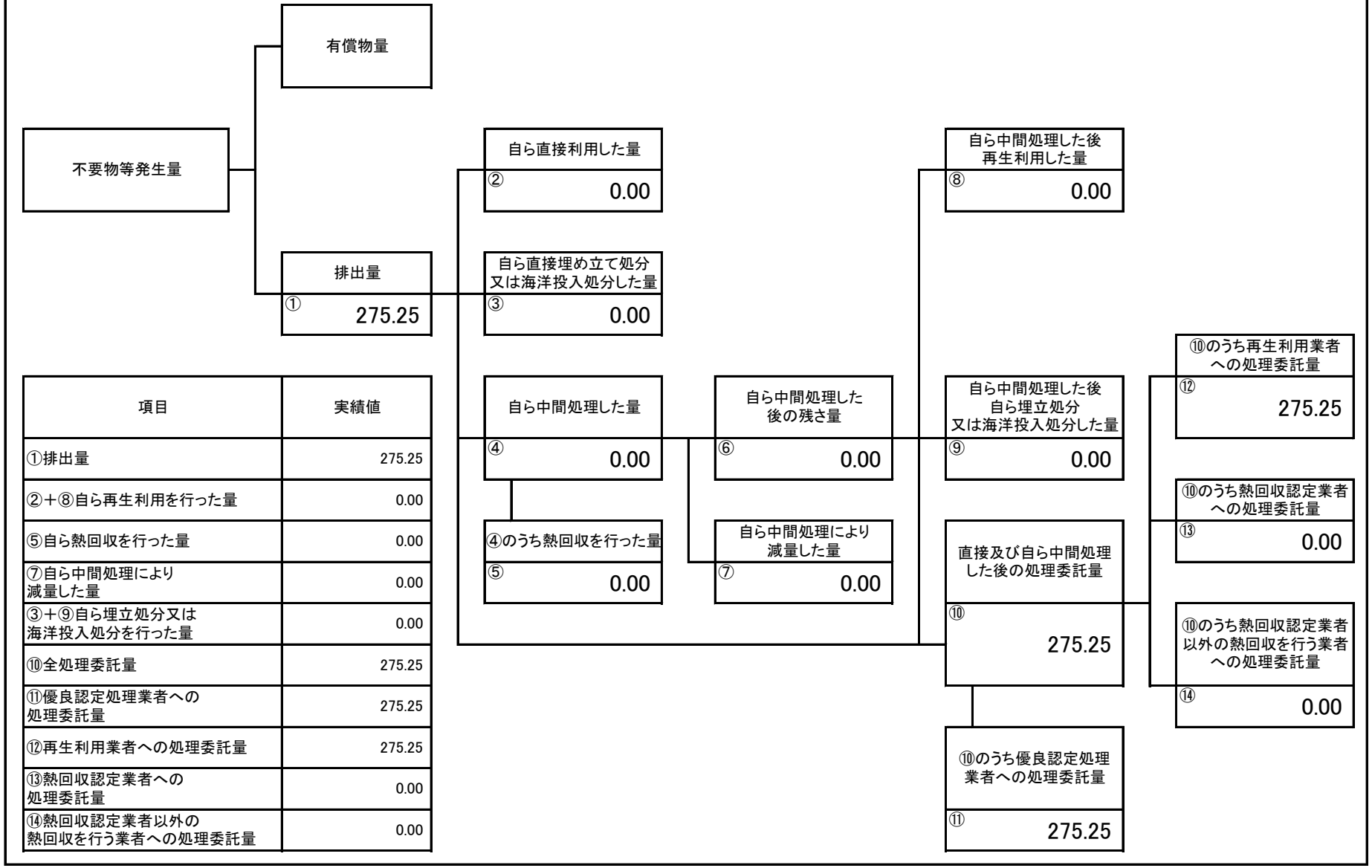
Confidential

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）



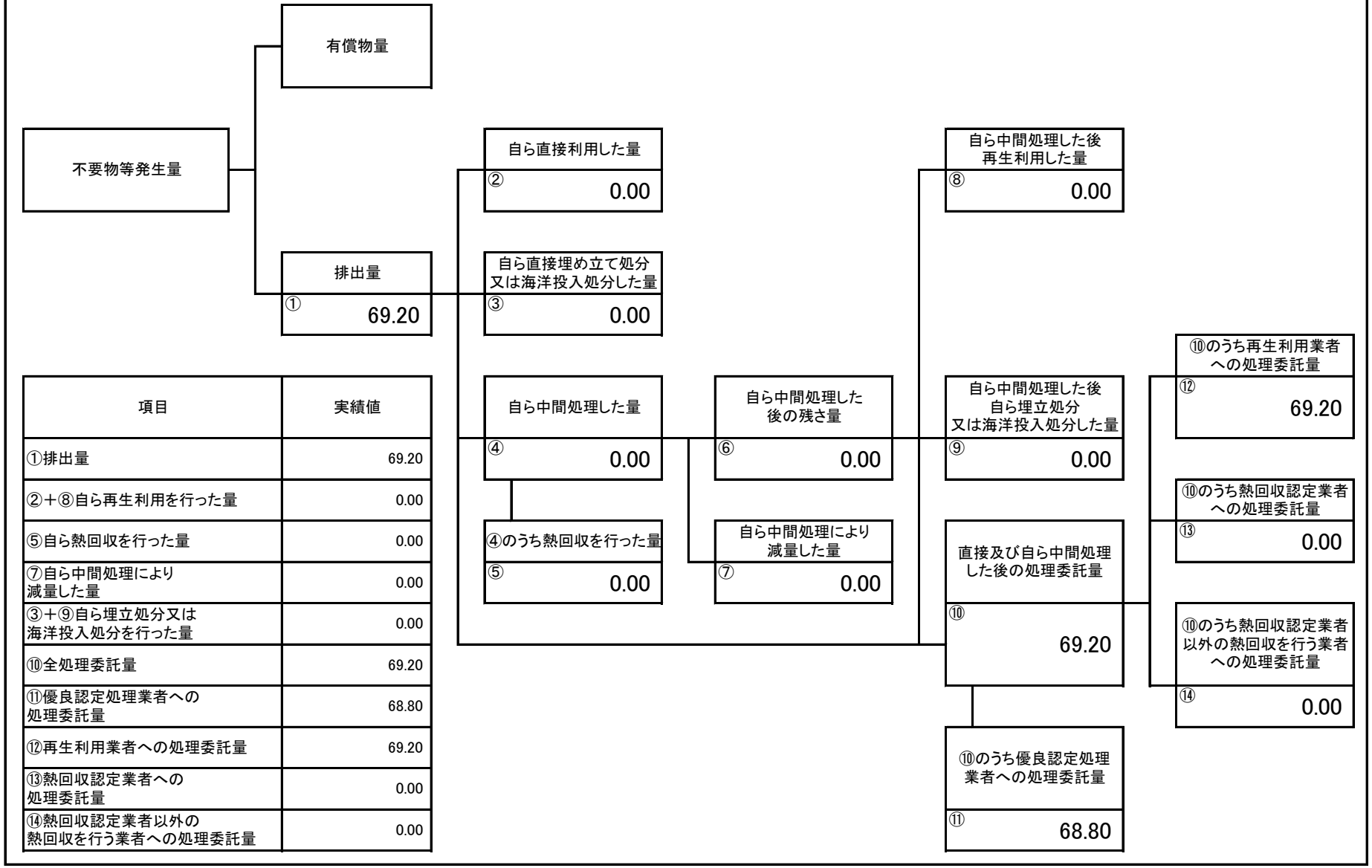
項目	実績値
①排出量	275.25
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	275.25
⑪優良認定処理業者への処理委託量	275.25
⑫再生利用業者への処理委託量	275.25
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃石膏ボード　　）

（単位：トン）



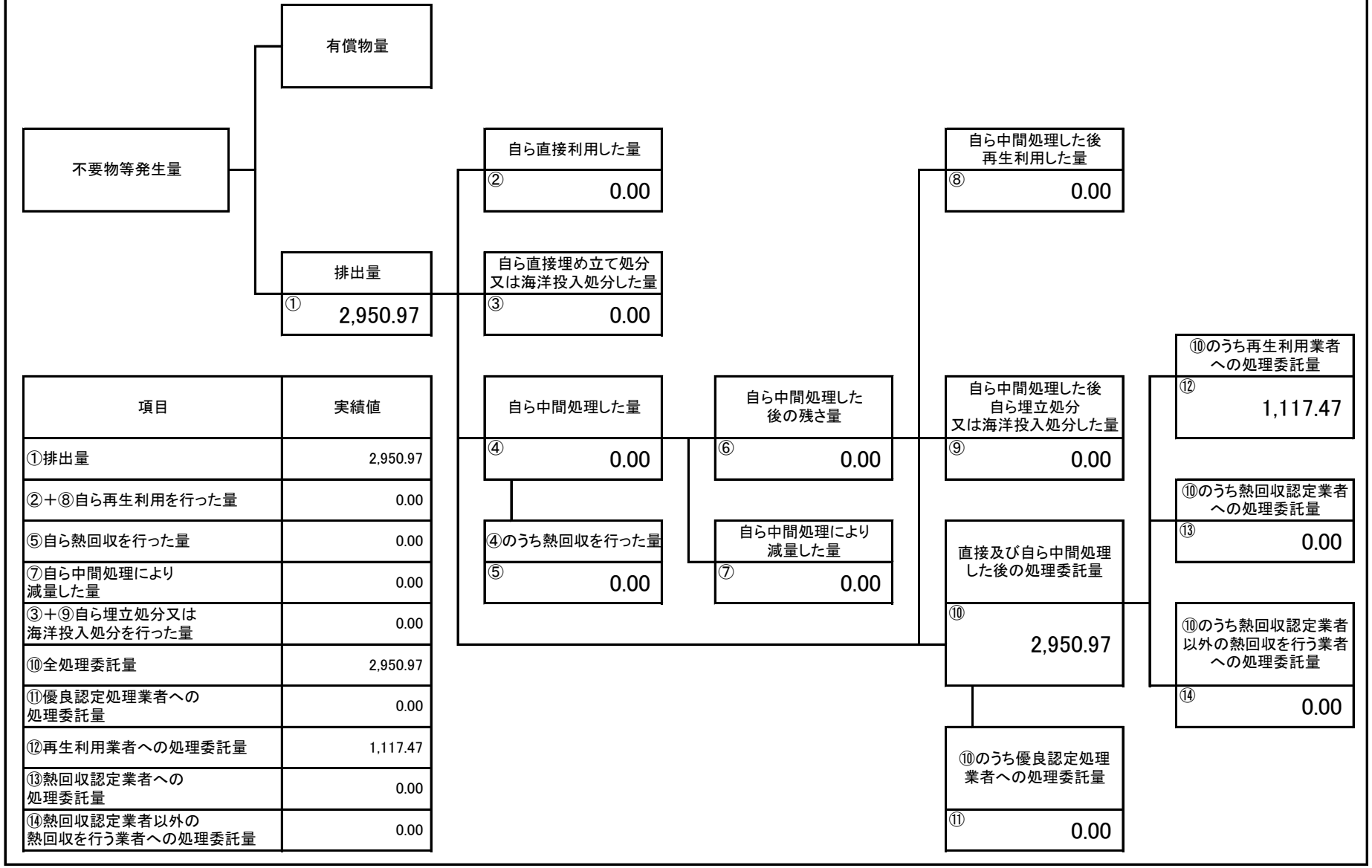
項目	実績値
①排出量	69.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	69.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.80
⑫再生利用業者への処理委託量	69.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 鉱さい ）

（単位：トン）



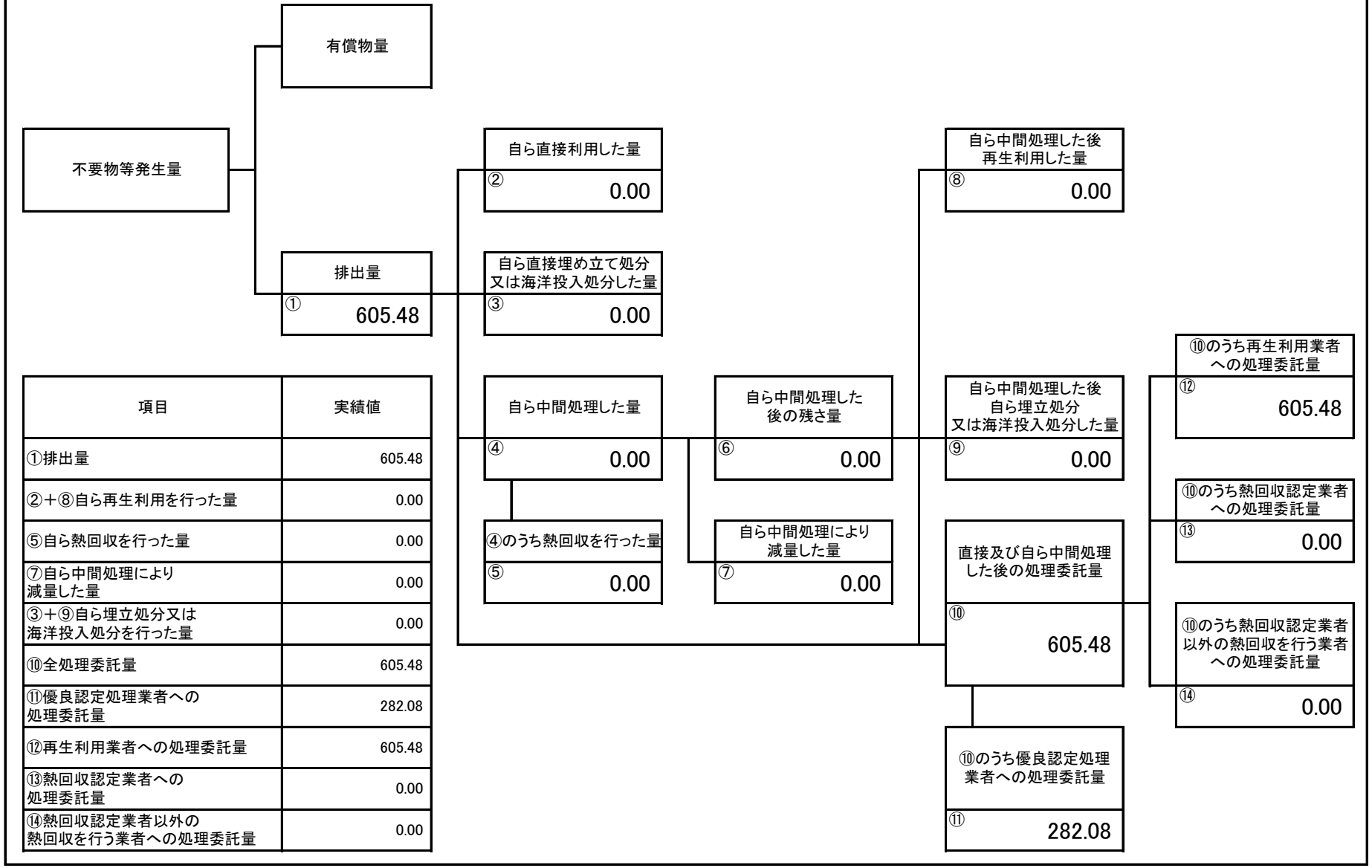
項目	実績値
①排出量	2,950.97
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2,950.97
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	1,117.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）



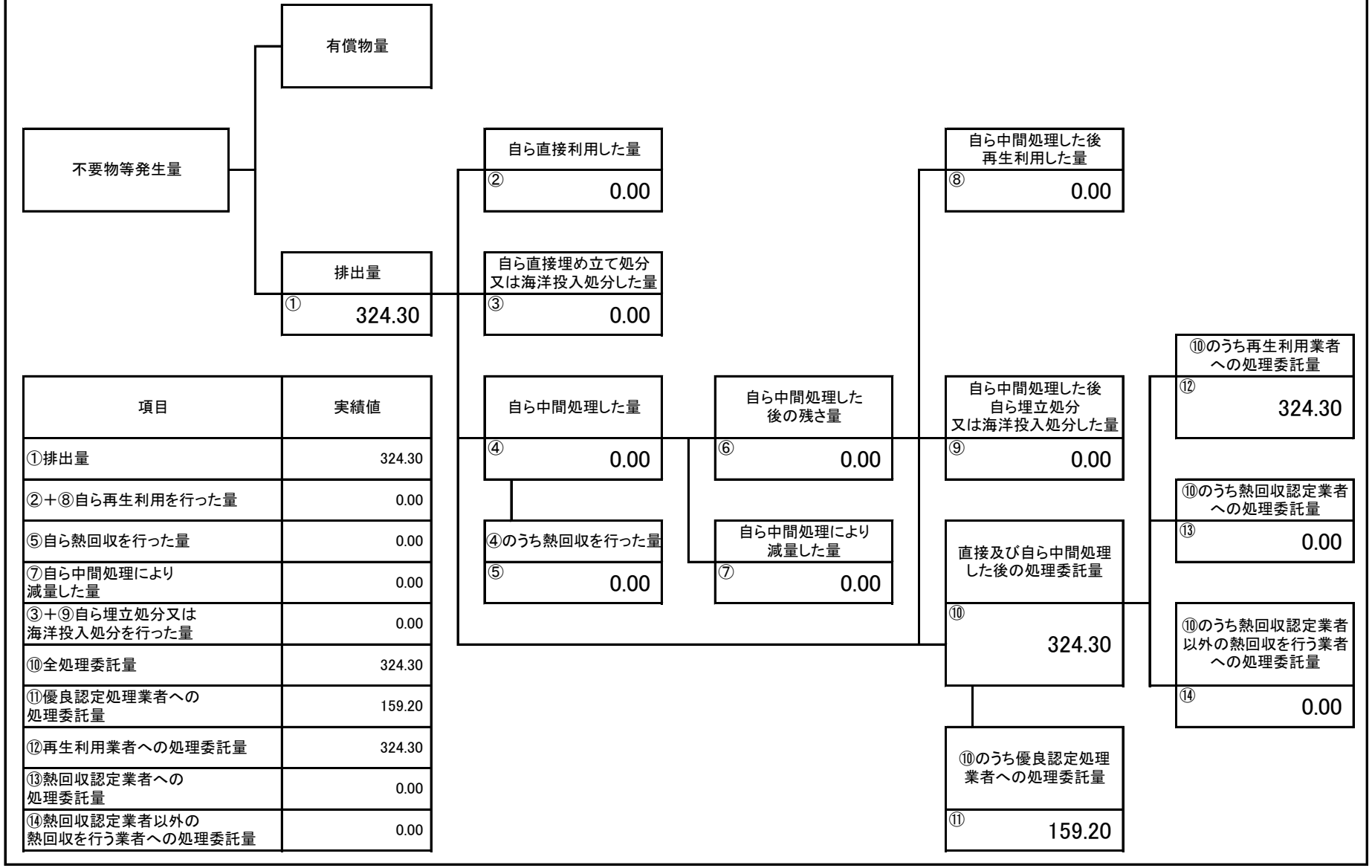
項目	実績値
①排出量	605.48
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	605.48
⑪優良認定処理業者への処理委託量	282.08
⑫再生利用業者への処理委託量	605.48
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）



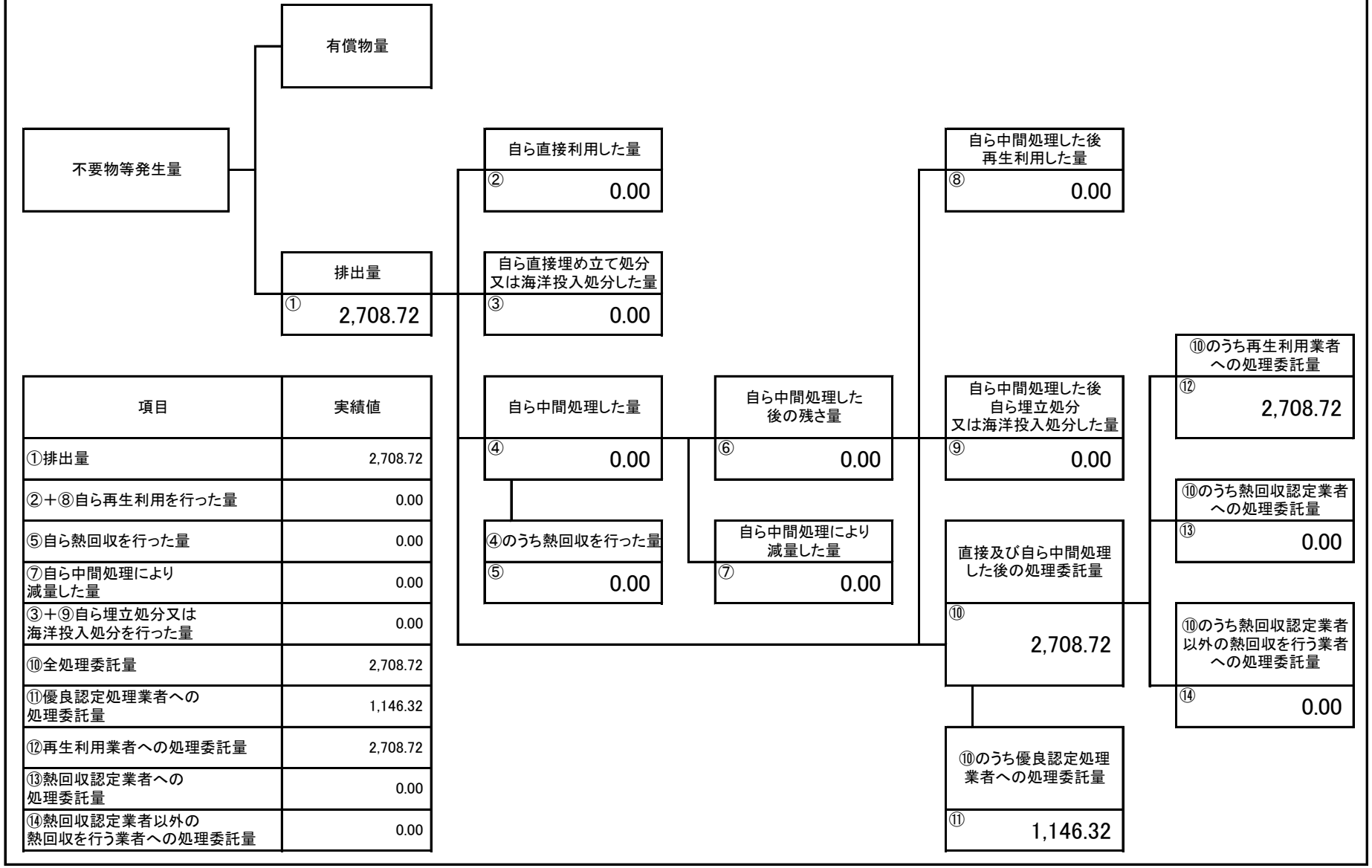
項目	実績値
①排出量	324.30
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	324.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	159.20
⑫再生利用業者への処理委託量	324.30
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）



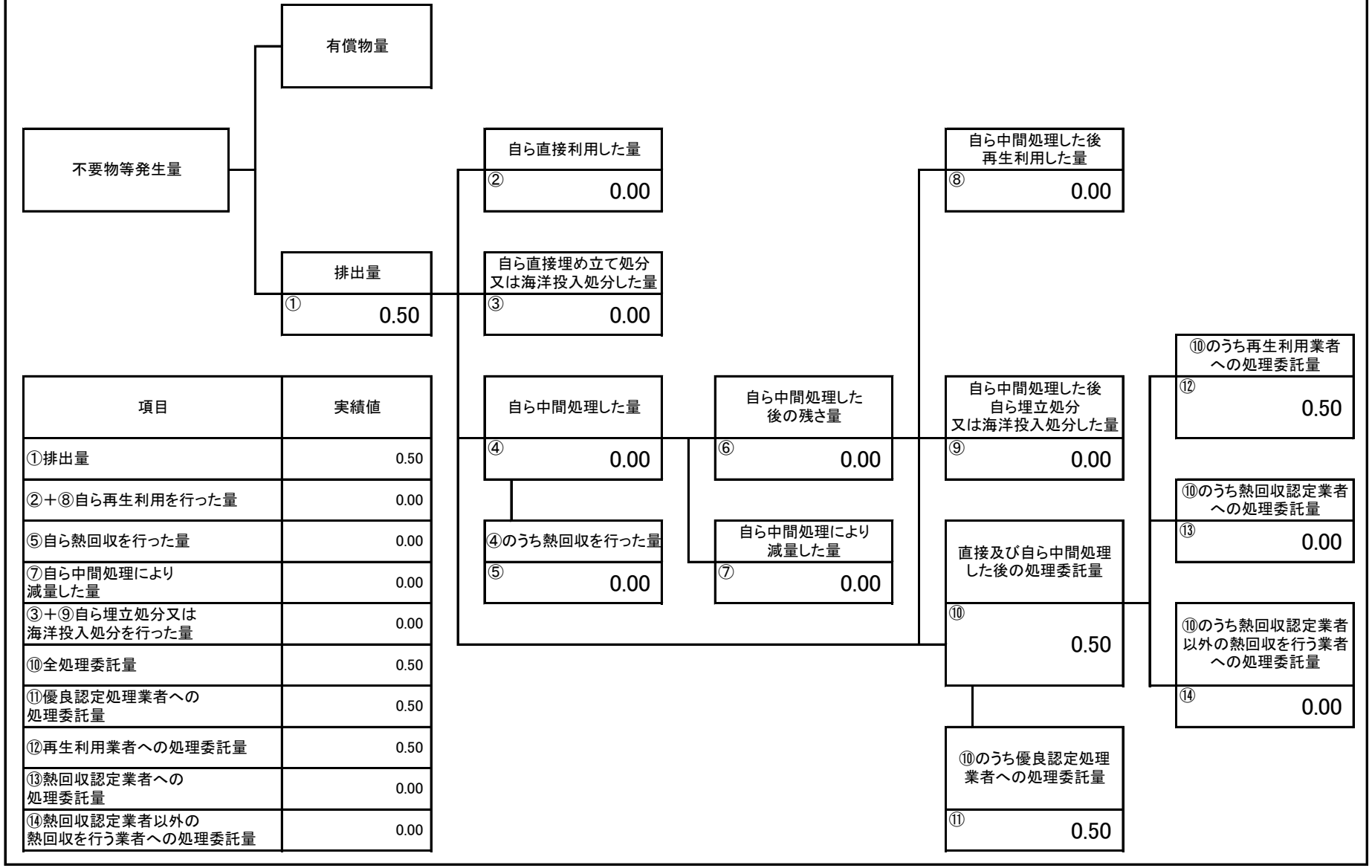
項目	実績値
①排出量	2,708.72
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2,708.72
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,146.32
⑫再生利用業者への処理委託量	2,708.72
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	0.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.50
⑫再生利用業者への処理委託量	0.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

Confidential

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

Confidential

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

千　葉　県　知　事　　令和7年6月26日

熊　谷　俊　人　殿

提出者
住　所　千葉県船橋市本町１丁目２７番１番
氏　名　大和ハウス工業株式会社　東関東支社
執行役員支社長　髙吉　忠弘
電話番号　047-406-4321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　東関東支社　千葉県内現場
事業場の所在地	千葉県管轄内（千葉市・船橋市・柏市を除く）
計画期間	令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	０６総合工事業
②事業の規模	２５，５６８，２７５千円
③従業員数	４３６名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙２の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類		
排　出　量	15,504.80　t	t

（これまでに実施した取組）

別紙３の通り

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
排　出　量	13,954.32　t	t

（今後実施する予定の取組）

別紙３の通り

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

別紙４の通り

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

別紙４の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
排　出　量	0.46 t	4,818.00 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
排　出　量	0.41 t	4,336.20 t	－ t	－ t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
排　出　量	－ t	339.86 t	3.60 t	730.14 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
排　出　量	－ t	305.88 t	3.24 t	657.13 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
排出量	455.00 t	0.17 t	757.80 t	3.75 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
排出量	409.50 t	0.15 t	682.02 t	3.38 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排出量	58.50 t	61.76 t	4,456.40 t	914.40 t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
排出量	52.65 t	55.58 t	4,010.76 t	822.96 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
排出量	776.98 t	41.12 t	113.34 t	1,121.84 t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
排出量	699.29 t	37.01 t	102.00 t	1,009.66 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
排　出　量	12.57　t	839.10　t	t	t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
排　出　量	11.31　t	755.19　t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類		
全処理委託量	15,504.80 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	3,747.85 t	t
再生利用業者への処理委託量	14,674.14 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.90 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	723.24 t	t

（これまでに実施した取組）

別紙５の通り

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
全処理委託量	0.46 t	4,818.00 t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	0.46 t	4,818.00 t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	339.86 t	3.60 t	730.14 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	118.22 t	3.60 t	678.24 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	133.87 t	－ t	730.14 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	0.90 t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	205.09 t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
全処理委託量	455.00 t	0.17 t	757.80 t	3.75 t
優良認定処理業者への処理委託量	298.85 t	0.17 t	371.88 t	3.75 t
再生利用業者への処理委託量	442.23 t	0.17 t	757.00 t	3.75 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	12.76 t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	58.50 t	61.76 t	4,456.40 t	914.40 t
優良認定処理業者への処理委託量	58.50 t	－ t	89.84 t	34.40 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	61.76 t	4,456.40 t	914.40 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
全処理委託量	776.98 t	41.12 t	113.34 t	1,121.84 t
優良認定処理業者への処理委託量	524.62 t	41.12 t	67.44 t	715.34 t
再生利用業者への処理委託量	776.98 t	－ t	85.47 t	1,055.29 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	27.87 t	66.55 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
全処理委託量	12.57 t	839.10 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	12.57 t	729.30 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	2.10 t	436.10 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10.47 t	400.50 t	t	t

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	13,954.32 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	3,373.06 t	t
		再生利用業者への処理委託量	13,206.73 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.81 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	650.91 t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙５の通り		
※事務処理欄				

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸
全処理委託量	0.41 t	4,336.20 t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	0.41 t	4,336.20 t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）	金属くず
全処理委託量	－ t	305.88 t	3.24 t	657.13 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	106.40 t	3.24 t	610.42 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	120.49 t	－ t	657.13 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	0.81 t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	184.58 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）	ガラス陶磁器くず（太陽光パネル）
全処理委託量	409.50 t	0.15 t	682.02 t	3.38 t
優良認定処理業者への処理委託量	268.96 t	0.15 t	334.70 t	3.38 t
再生利用業者への処理委託量	398.01 t	0.15 t	681.30 t	3.38 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	11.48 t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず（石綿）	鉱さい	がれき類（コンクリート片）	がれき類（廃アスファルト）
全処理委託量	52.65 t	55.58 t	4,010.76 t	822.96 t
優良認定処理業者への処理委託量	52.65 t	－ t	80.86 t	30.96 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	55.58 t	4,010.76 t	822.96 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（レンガ破片など）	がれき類（石綿）	紙くず	木くず
全処理委託量	699.29 t	37.01 t	102.00 t	1,009.66 t
優良認定処理業者への処理委託量	472.16 t	37.01 t	60.69 t	643.81 t
再生利用業者への処理委託量	699.29 t	－ t	76.92 t	949.76 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	25.08 t	59.89 t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物		
全処理委託量	11.31 t	755.19 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	11.31 t	656.37 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	1.89 t	392.49 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	9.42 t	360.45 t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

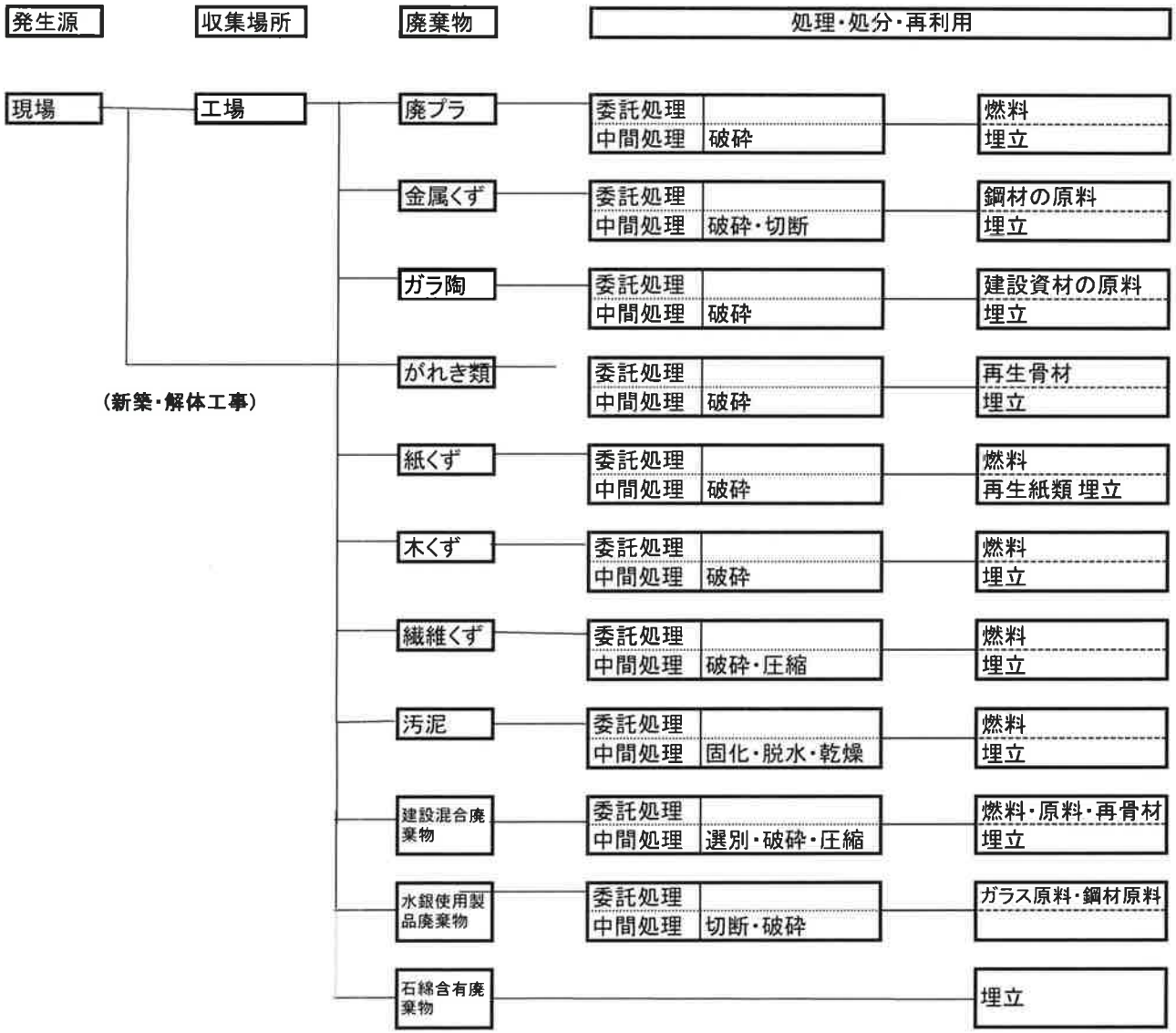
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

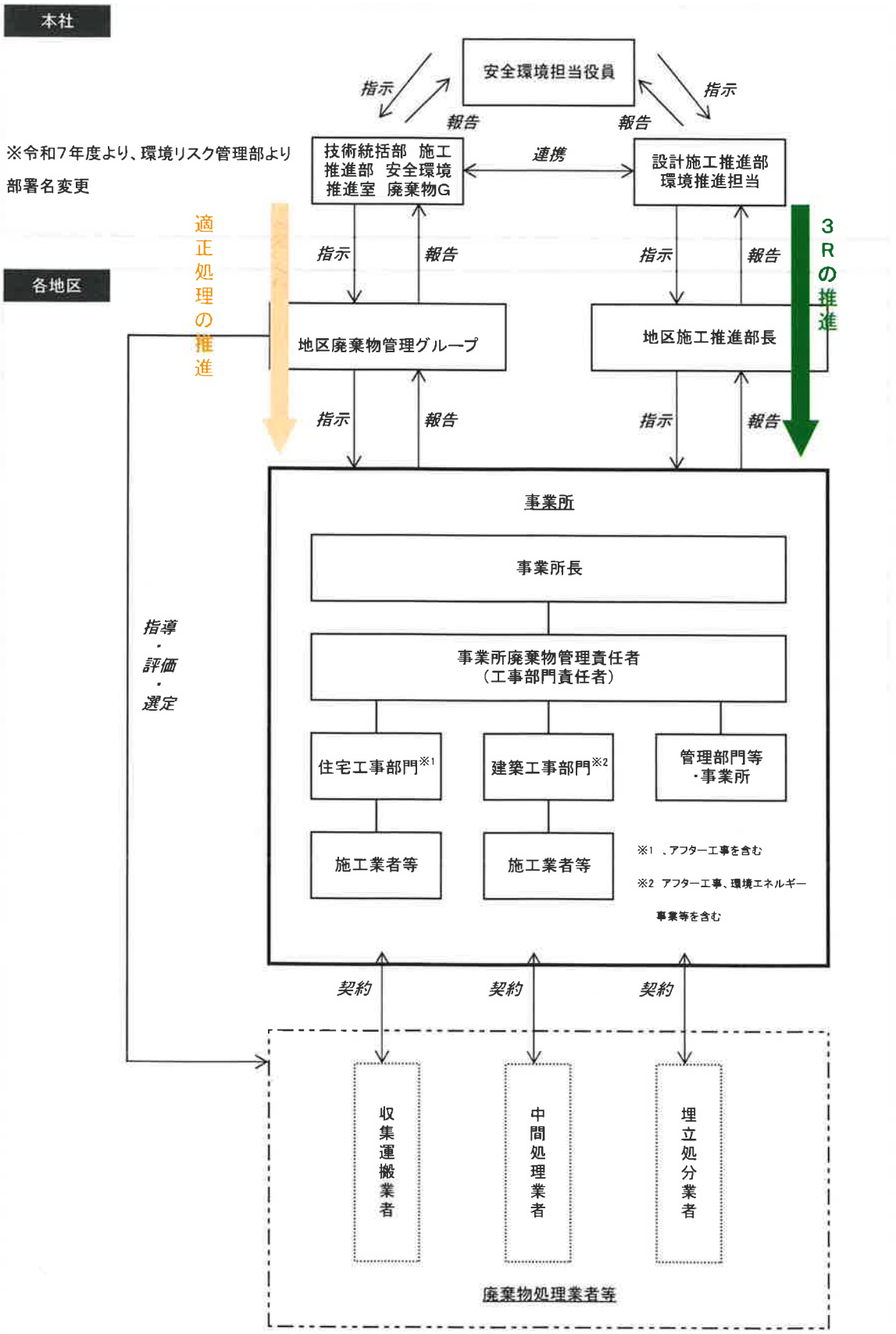
7　※欄は記入しないこと。

別紙1

廃棄物処理フロー図



別紙2


本社
安全環境担当役員
指示
報告
指示
報告
※令和7年度より、環境リスク管理部より部署名変更
技術統括部 施工推進部 安全環境推進室 廃棄物G
連携
設計施工推進部 環境推進担当
適正処理の推進
3Rの推進
各地区
指示
報告
指示
報告
地区廃棄物管理グループ
地区施工推進部長
指示
報告
指示
報告
事業所
事業所長
事業所廃棄物管理責任者（工事部門責任者）
住宅工事部門※1
建築工事部門※2
管理部門等・事業所
施工業者等
施工業者等
※1 、アフター工事を含む
※2 アフター工事、環境エネルギー事業等を含む
指導・評価・選定
契約
契約
契約
収集運搬業者
中間処理業者
埋立処分業者
廃棄物処理業者等

別表3

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社工場出荷材においては製品化にして出荷 ・現場調達材のプレカットにして出荷 ・給水管のプレ加工	・製品化された部材の採用に努める ・現場調達材はプレカット化の精度を高める ・梱包レス化の推進で排出抑制を図る ・通い箱等での梱包レス化
金属くず	・有価物として鉄鋼原料とする処分業者に委託している ・基礎鉄筋のプレ加工 ・電気配線のプレ加工	・原材料化業者に処理委託し鉄鋼原料としてマテリアルリサイクルしていく
ガラス陶磁器等くず	・外壁窯業サイディング材のプレカットで出荷 ・石膏ボードをメーカー工場よりプレカットにて出荷 ・瓦材のプレ加工	・更なるプレカット納入物件を計る ・通年実績でのロス率見直しでのカット精度向上をはかる
コンクリート片	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
廃アスファルト	・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている	・更なる精度アップを図る
レンガ破片等		
紙くず	・専ら業者等の委託契約を締結し再生利用をしている ・	・専ら業者等の委託契約締結を促進して更なる再生利用をする
木くず	・当社工場出荷材はプレカットにて出荷 ・現場調達材のプレカットにて出荷 ・梱包材のリターナブル化	・更なるプレカット化の精度を高める ・ロス率見直しによる精度向上を図る
繊維くず		・藁タタミの採用を極力避けてスタイロタタミを採用する
石綿含有産業廃棄物	事前調査で適正処理の推進	事前調査精度向上による適正処理の継続
建設汚泥		
建設混合廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る
水銀使用製品廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る

別表4

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・単品袋詰め	・発泡スチロールの分別をする ・PPバンド等、リサイクル可能な分別品目を増やしリサイクル率向上図る
金属くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・金属くず、非鉄金属に分別する
ガラス陶磁器等くず	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積 ・石膏ボードは専用袋に袋詰め	・リサイクルするための用途を検討 ・石膏ボード　雨に濡らさない保管施設の確保
コンクリート片	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
廃アスファルト	・切断し、単品袋詰め　又はコンテナに単品集積	・他品目　異物等混入の根絶
レンガ破片等	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
紙くず	・ダンボール類は紐で縛る ・その他紙くずは、単品袋詰め	・雨に濡らさない保管施設の見直し ・雨に対して養生仕方の検討
木くず	30cm以下に切断して単品袋詰め	長尺物の再利用検討
繊維くず	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
石綿含有産業廃棄物	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み
建設汚泥	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う
建設混合廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
水銀使用製品廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底

別表5

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託する ・定期に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を技術統括部　施工推進部　安全環境推進室　廃棄物Gと同行して実施している ・委託基本契約書の定期見直し ・委託先　処理系統の見直し ・収集運搬許可書、車両一覧表、処分業許可書の有効期限を点検 ・処理後発生する廃棄物や製品の処理委託（売買）契約を適切に行っているか。 ・マニフェストの回収・返送を適切に行っているか。 ・処理施設の管理状況　（施設・車両の点検状況） ・従業員の教育状況 ・周辺の地域社会との交流の取り込み	・継続していく
金属くず		
ガラス陶磁器等くず		
コンクリート片		
廃アスファルト		
レンガ破片等		
紙くず		
木くず		
繊維くず		
石綿含有産業廃棄物		
建設汚泥		
建設混合廃棄物		
水銀使用製品廃棄物		

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

千葉県知事
熊谷俊人殿

令和7年6月26日

提出者
住所　千葉県船橋市本町1丁目27番1番
氏名　大和ハウス工業株式会社　東関東支社
執行役員支社長　髙吉　忠弘
電話番号　047-406-4321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき,令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

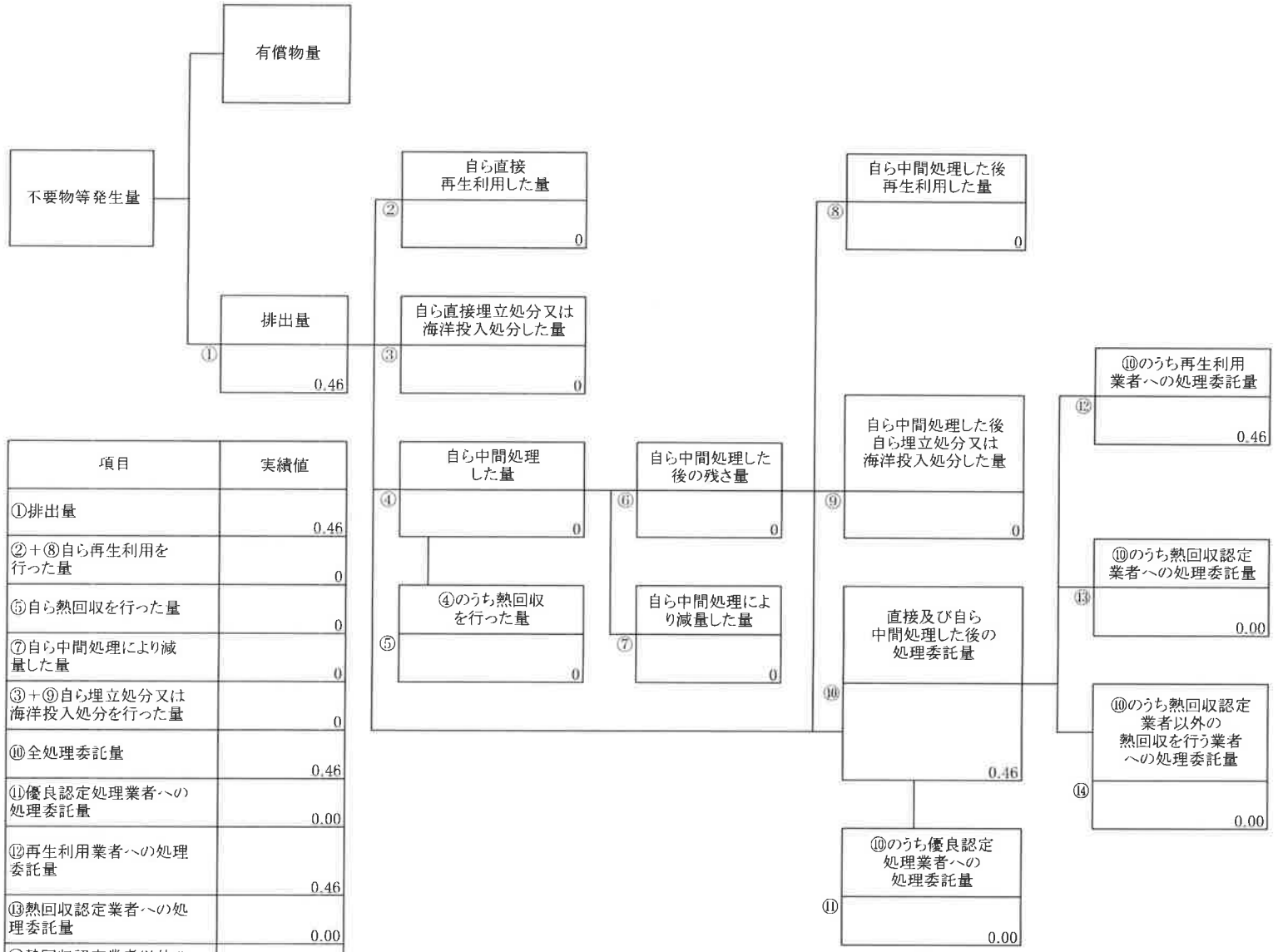
事業場の名称	大和ハウス工業株式会社　東関東支社　千葉県内現場
事業場の所在地	千葉県管轄内（千葉市・船橋市・柏市を除く）
事業の種類	06　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,944.10 t	全処理委託量	7,944.10 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	1,605.81 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	7,193.08 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0.63 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	665.84 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

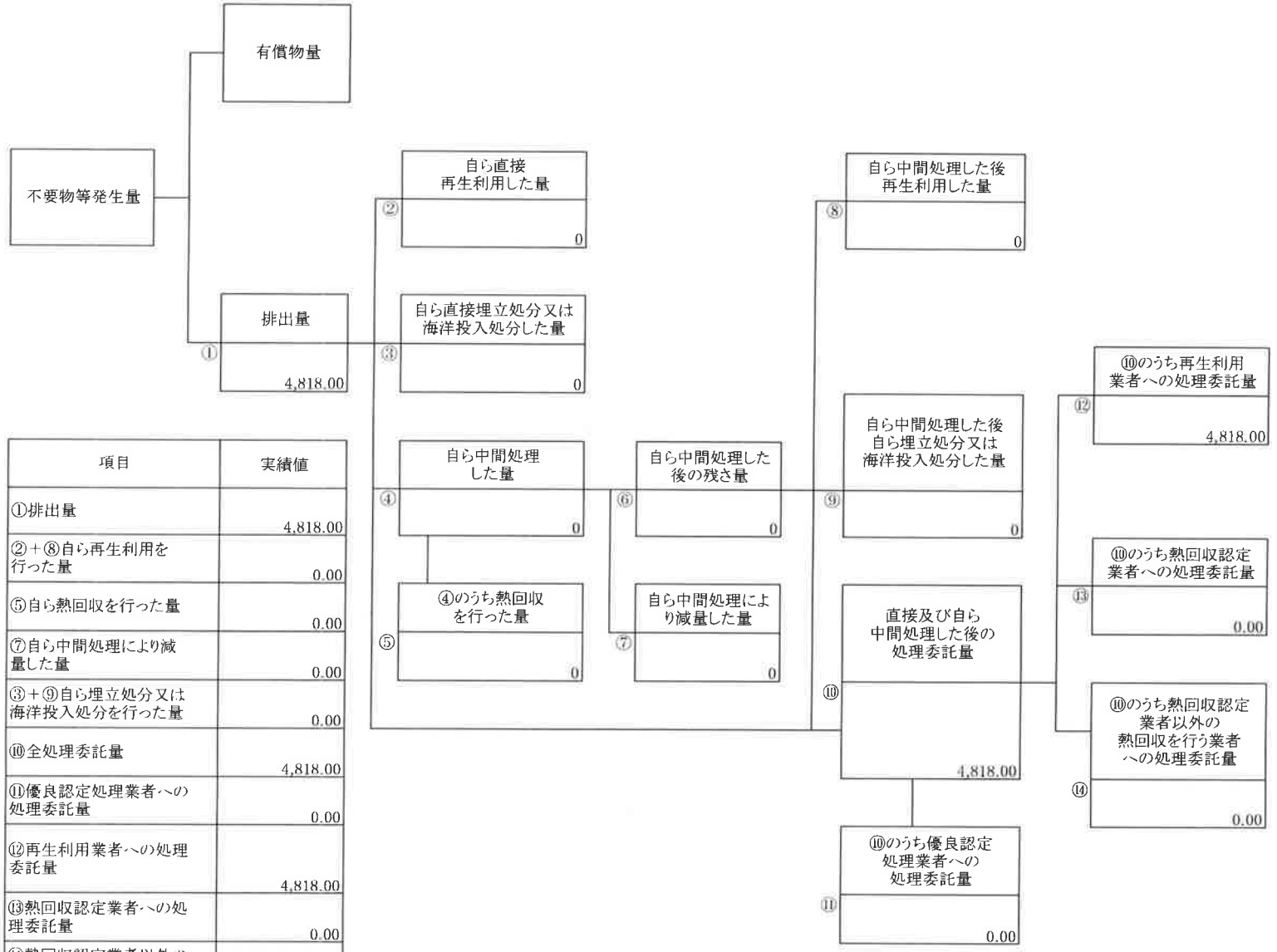
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：燃え殻　　）



項目	実績値
①排出量	0.46
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.46
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.46
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

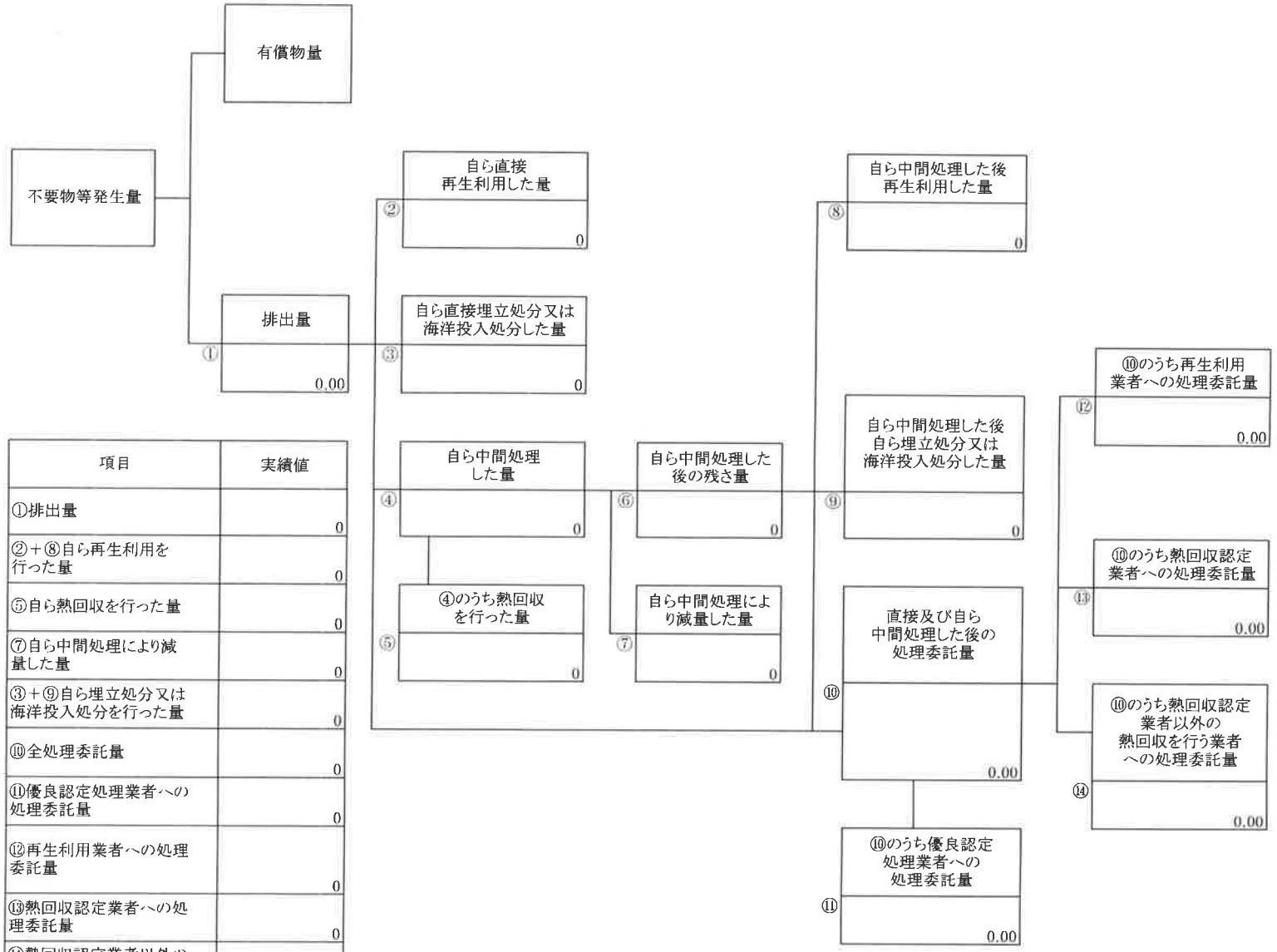
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	4,818.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4,818.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	4,818.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

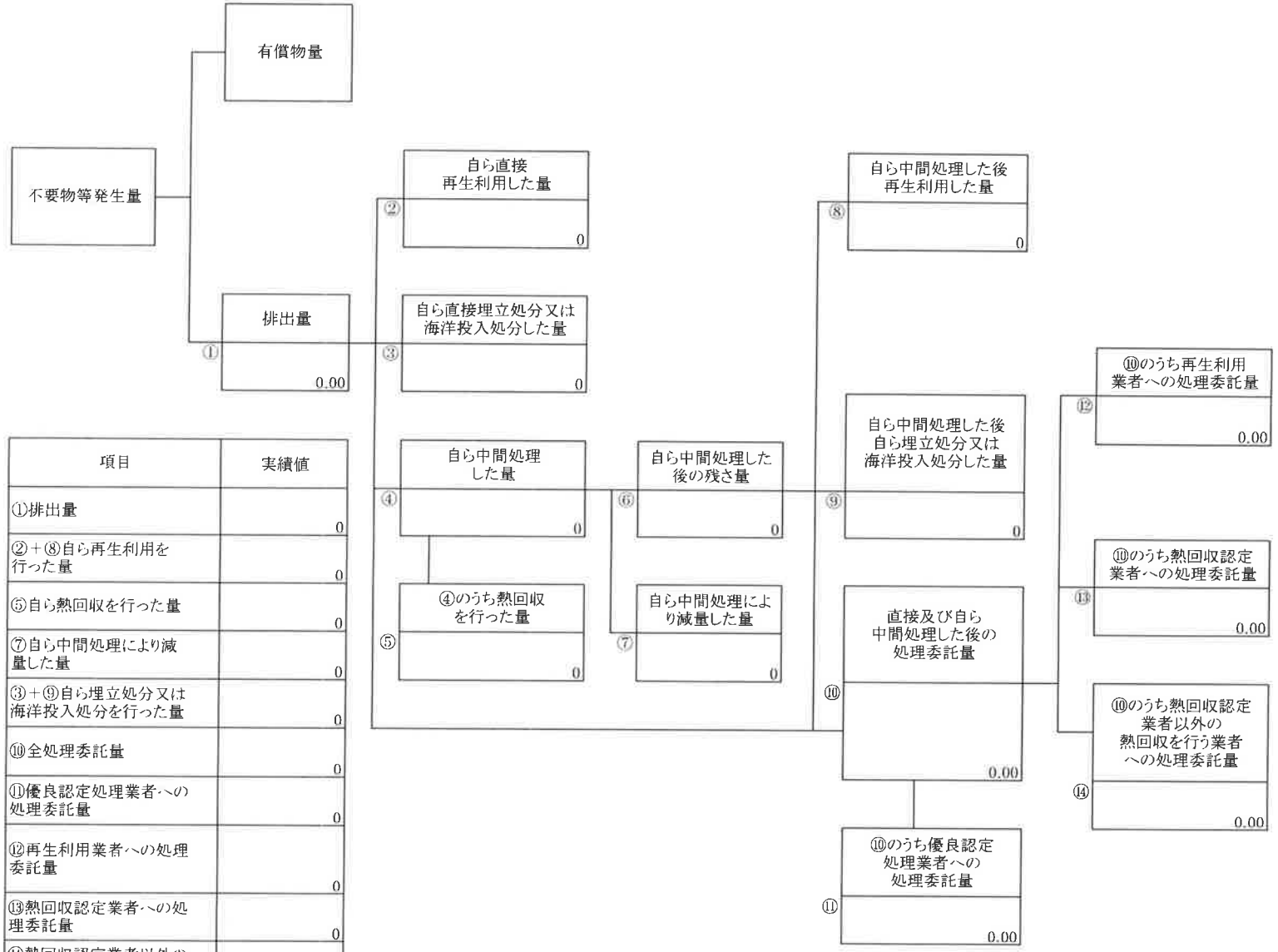
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃油　　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

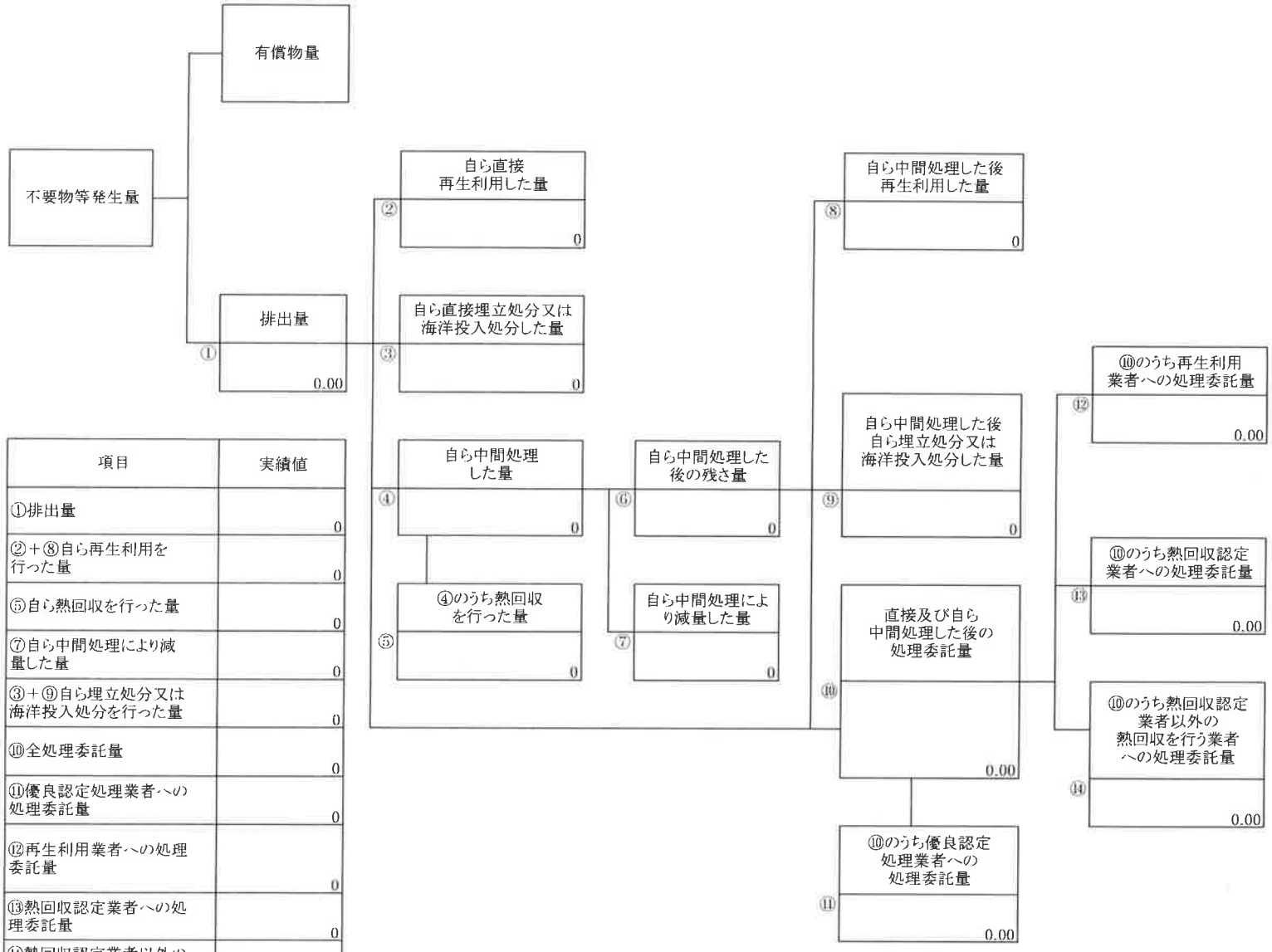
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃酸　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

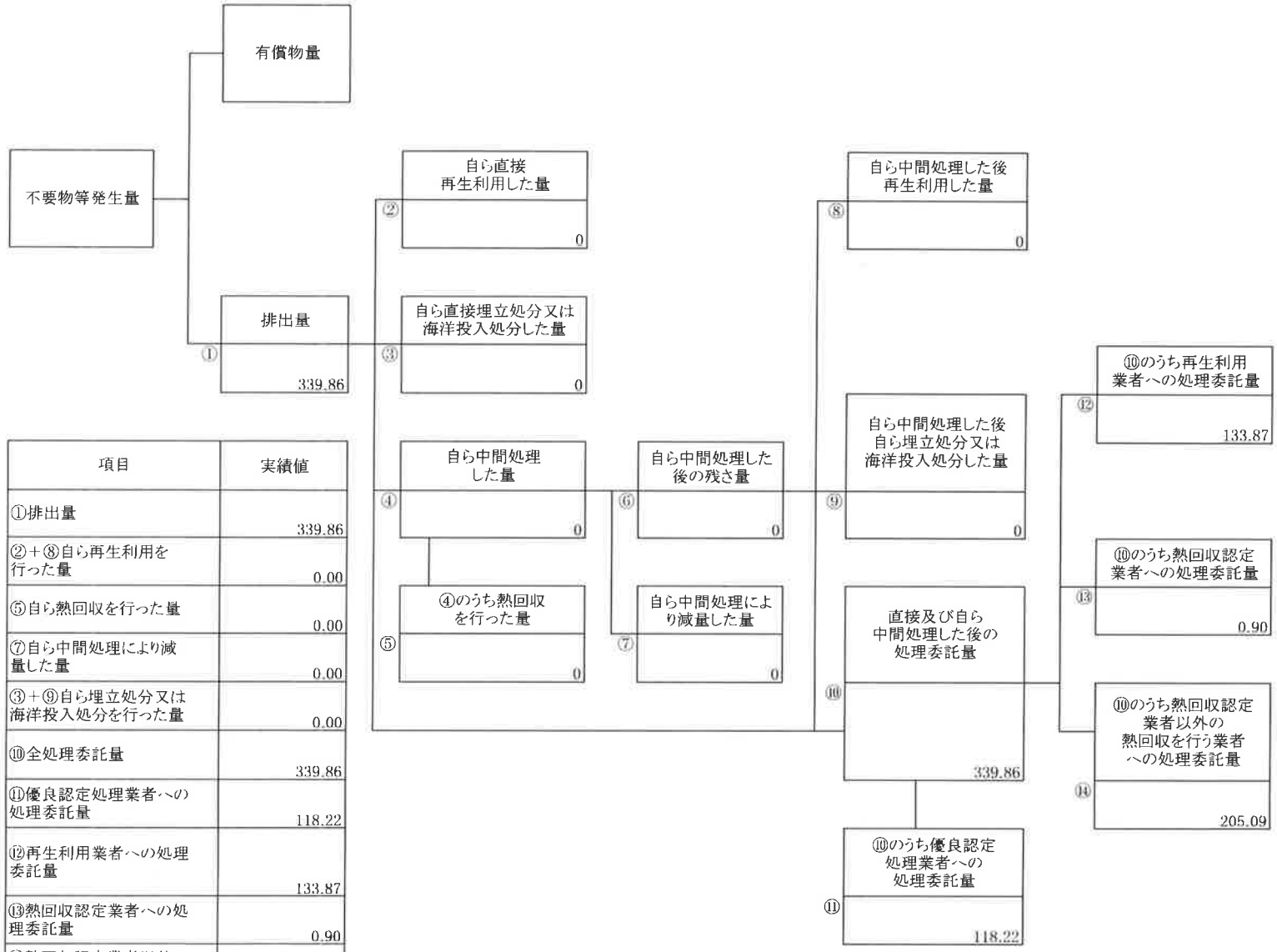
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃アルカリ　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃プラスティック類　　）

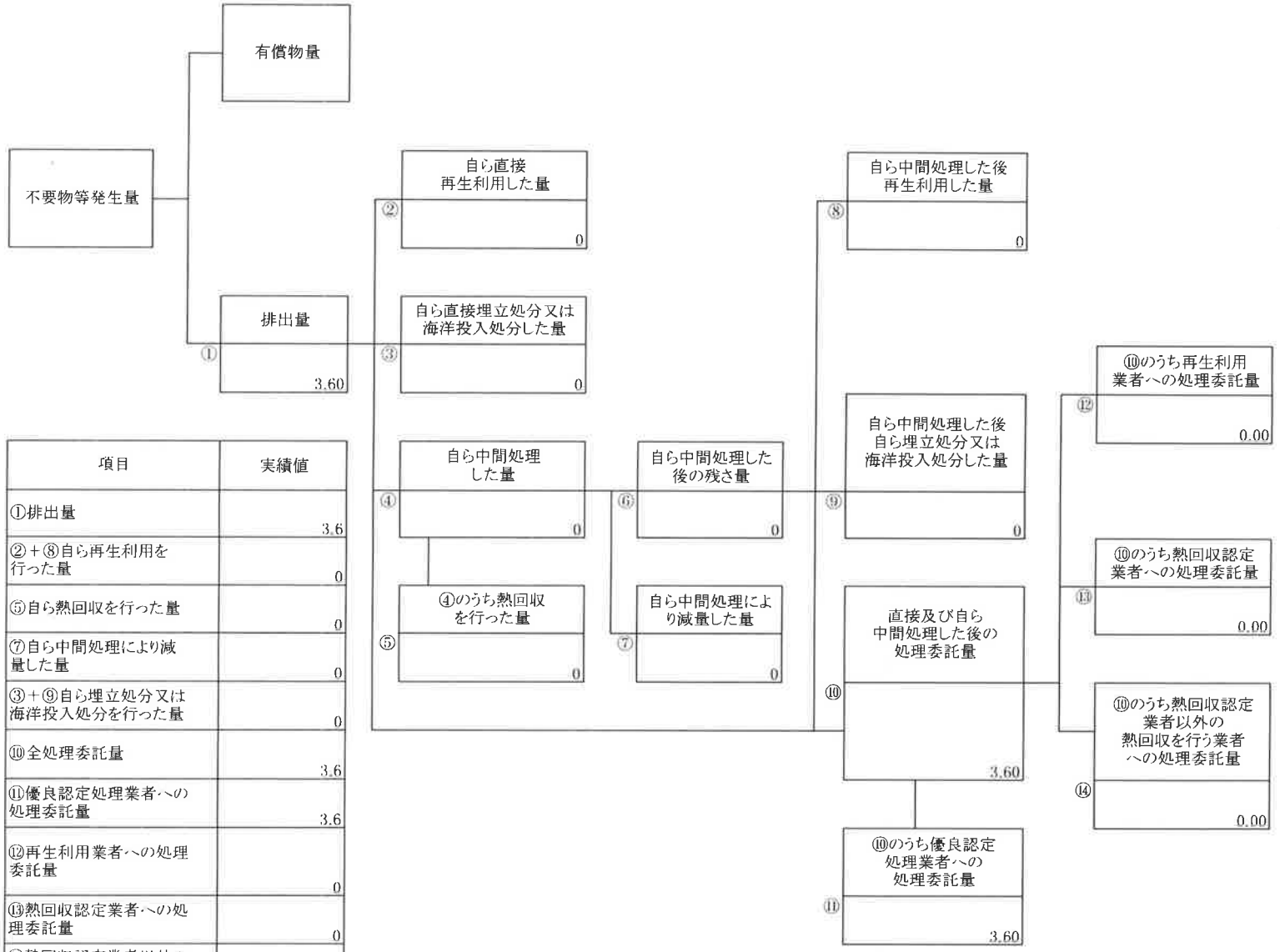


項目	実績値
①排出量	339.86
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	339.86
⑪優良認定処理業者への処理委託量	118.22
⑫再生利用業者への処理委託量	133.87
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.90
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	205.09

（第2面）

計画の実施状況

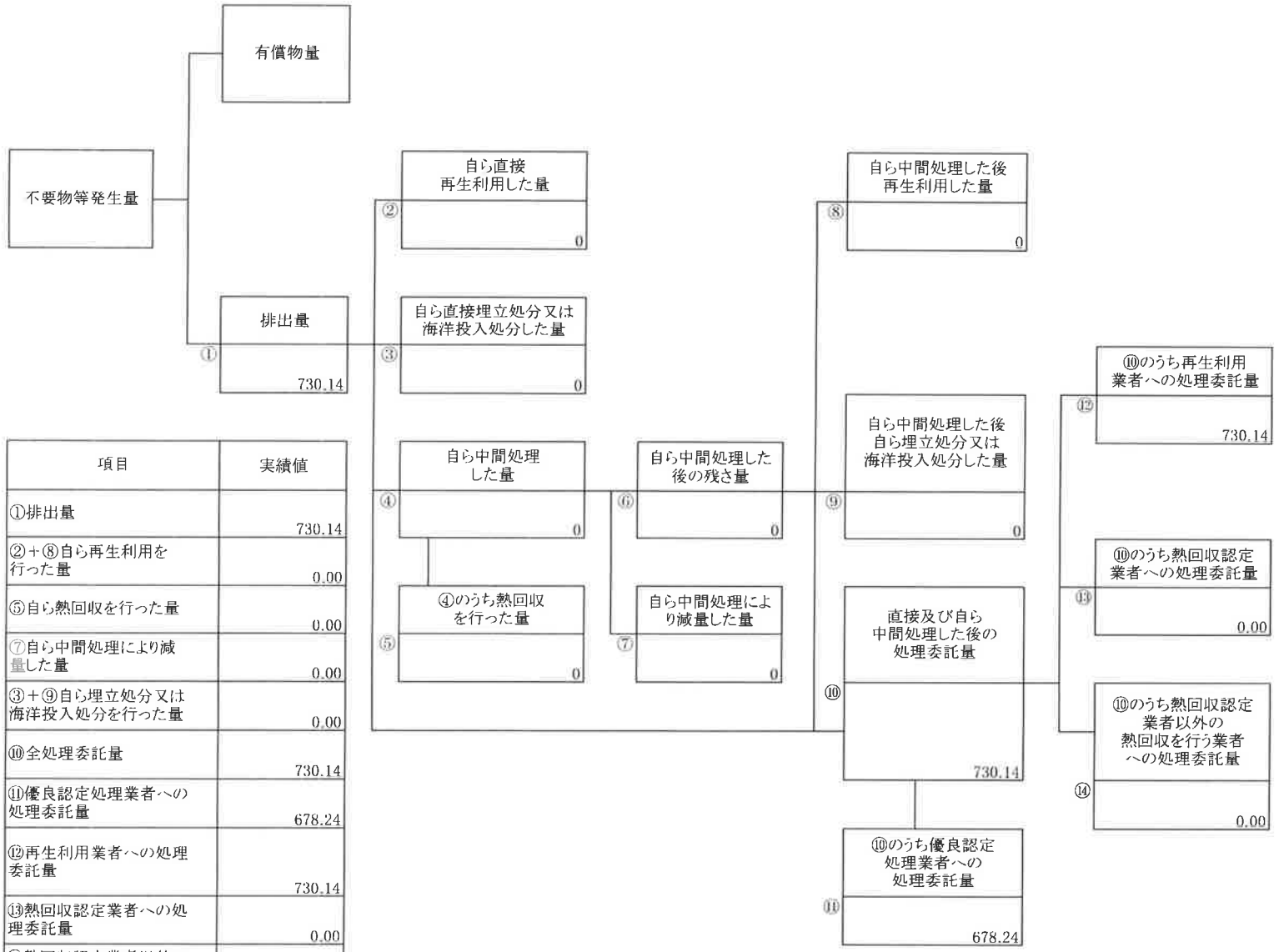
（産業廃棄物の種類：廃プラスティック類　石綿含有産業廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	3.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.6
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

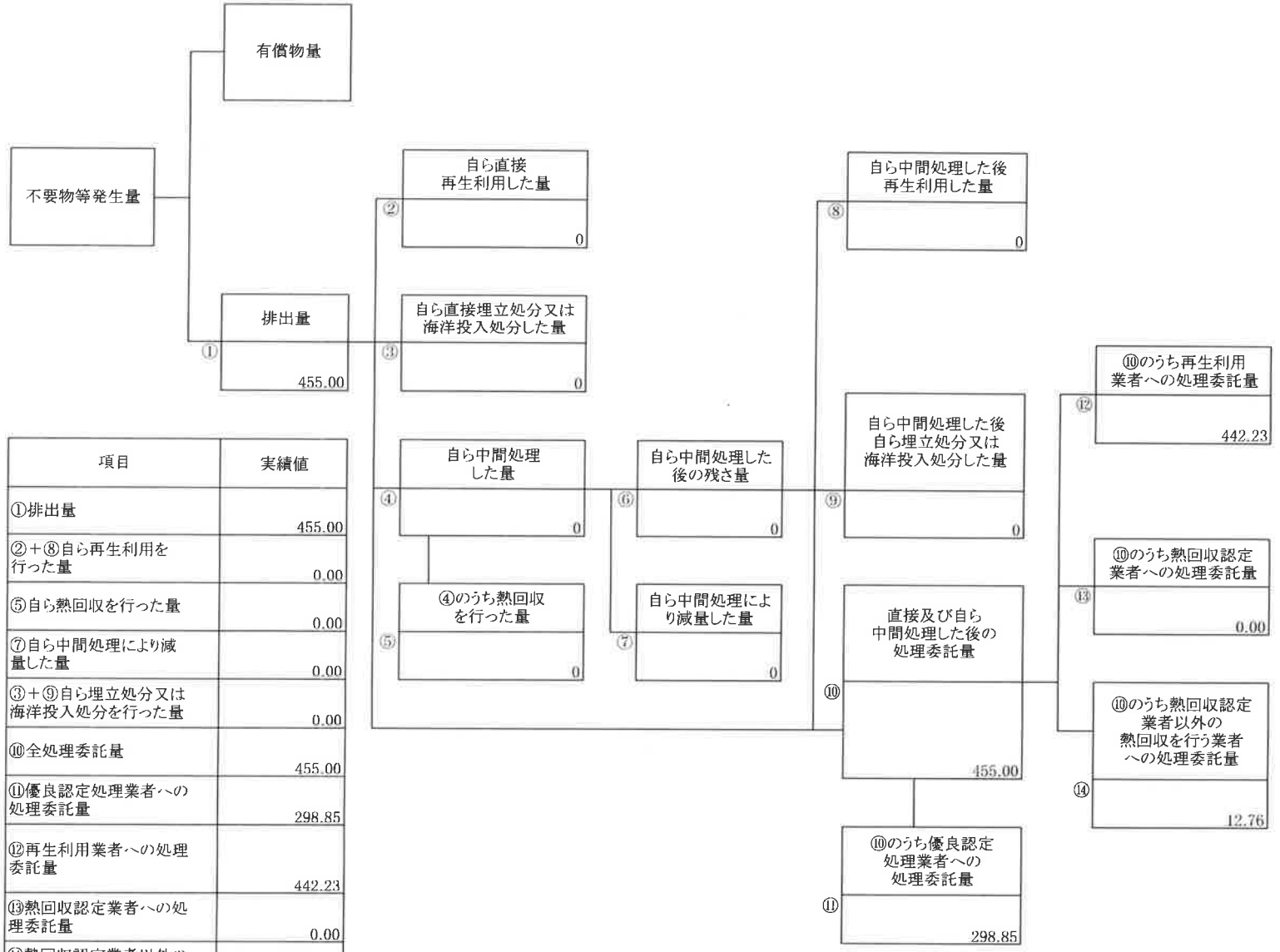
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	730.14
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	730.14
⑪優良認定処理業者への処理委託量	678.24
⑫再生利用業者への処理委託量	730.14
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　　）

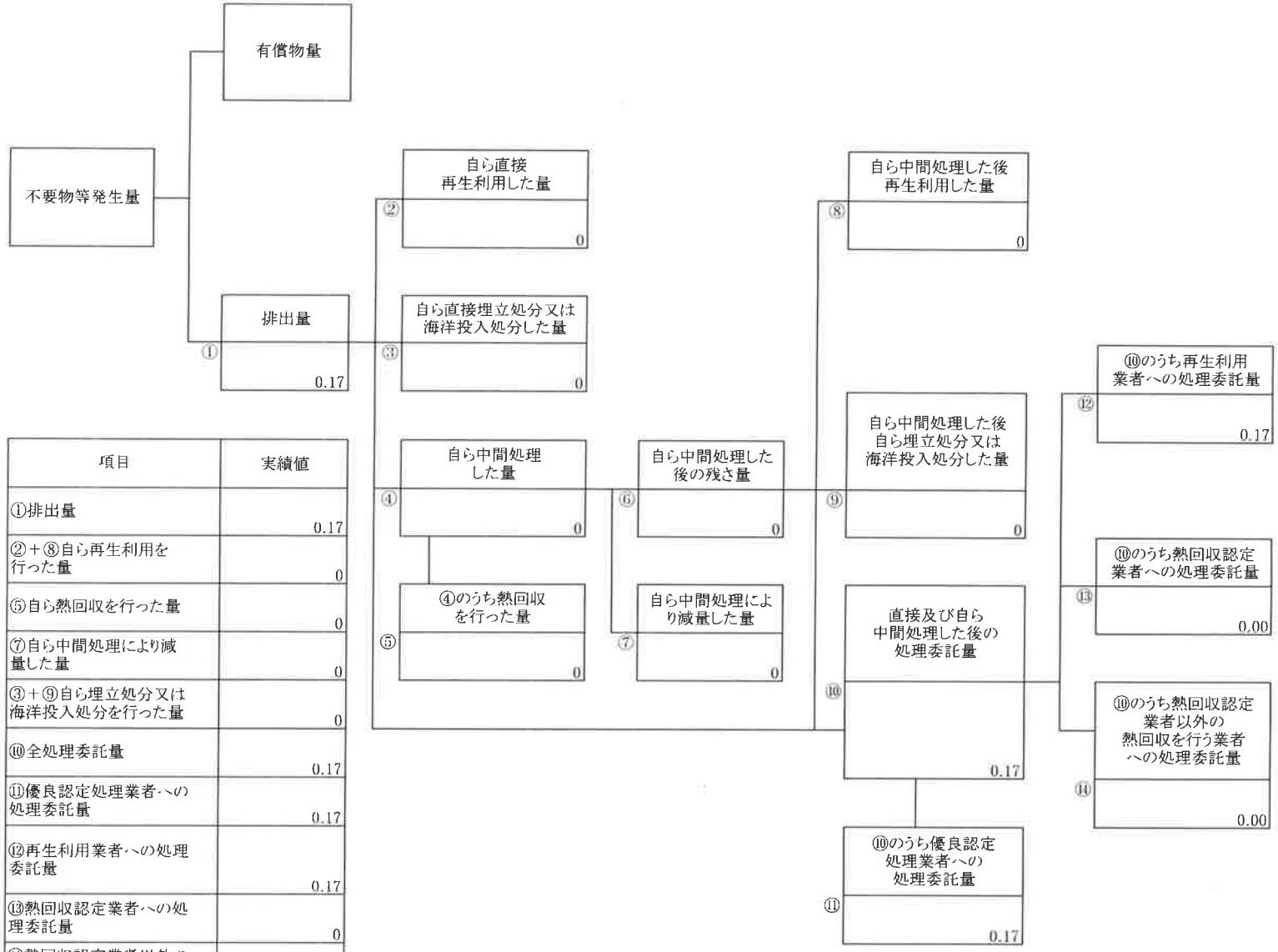


項目	実績値
①排出量	455.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	455.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	298.85
⑫再生利用業者への処理委託量	442.23
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	12.76

（第2面）

計画の実施状況

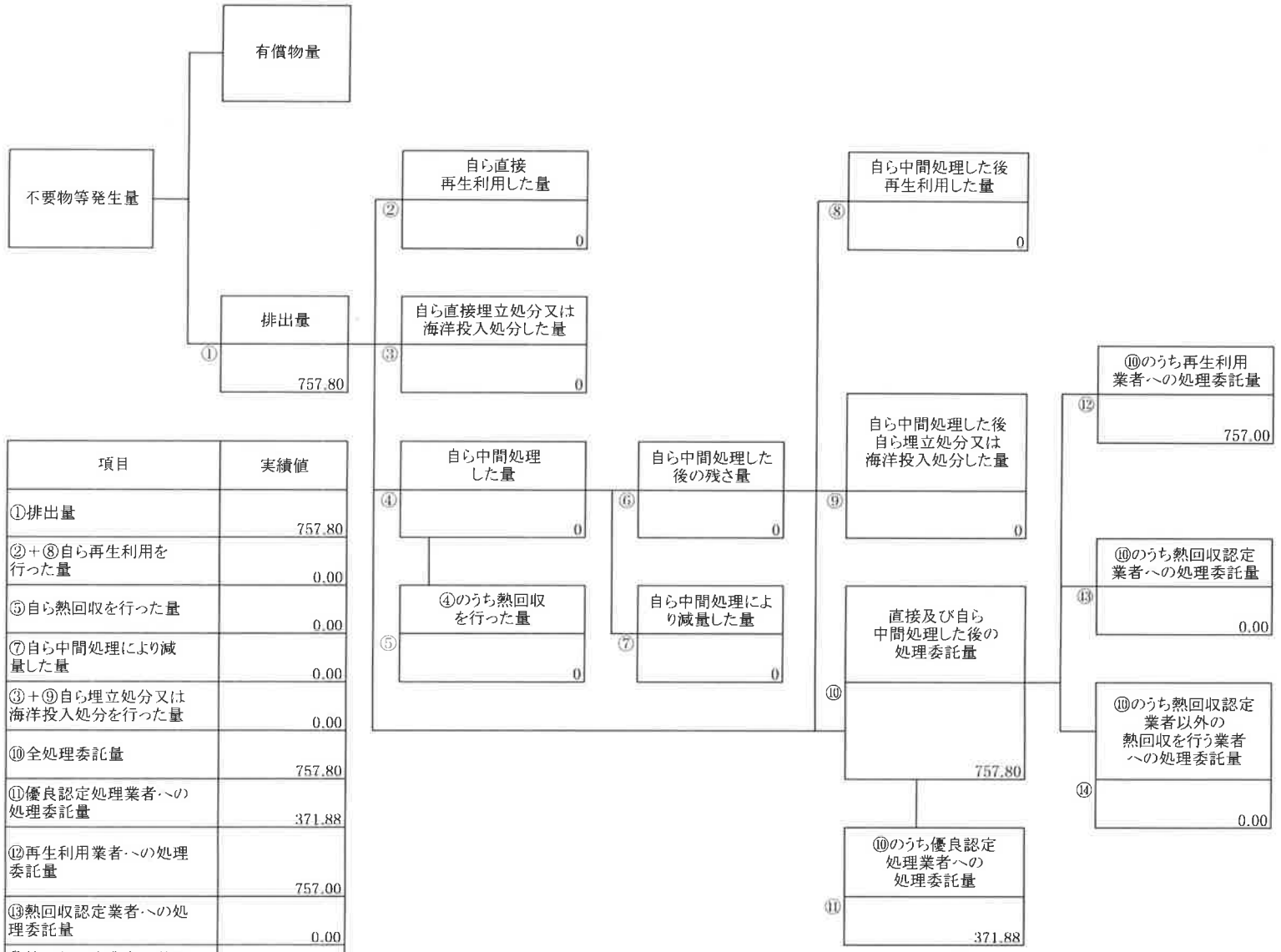
（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　水銀使用製品産業廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	0.17
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.17
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.17
⑫再生利用業者への処理委託量	0.17
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

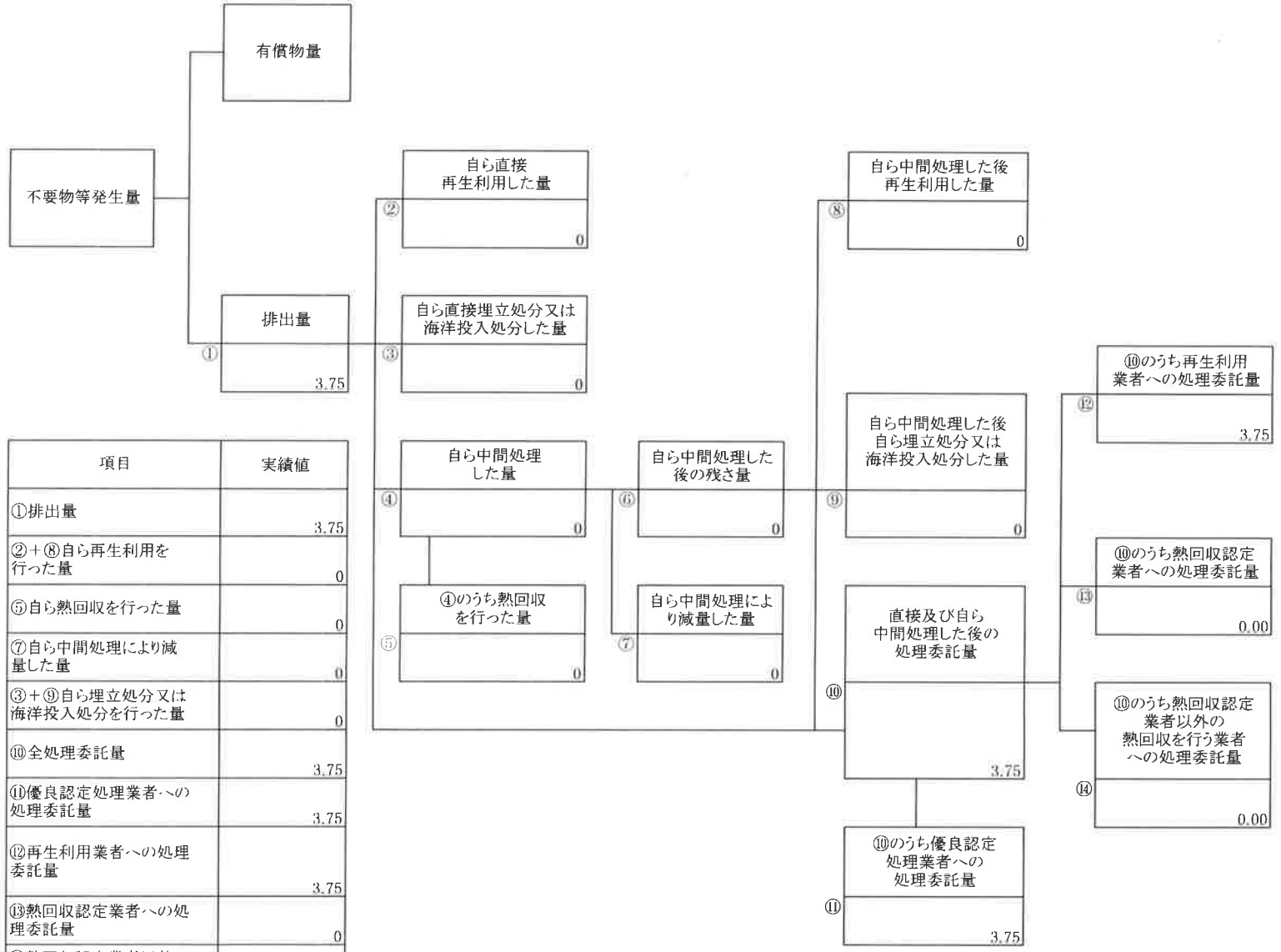
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　石膏ボード　　）



項目	実績値
①排出量	757.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	757.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	371.88
⑫再生利用業者への処理委託量	757.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

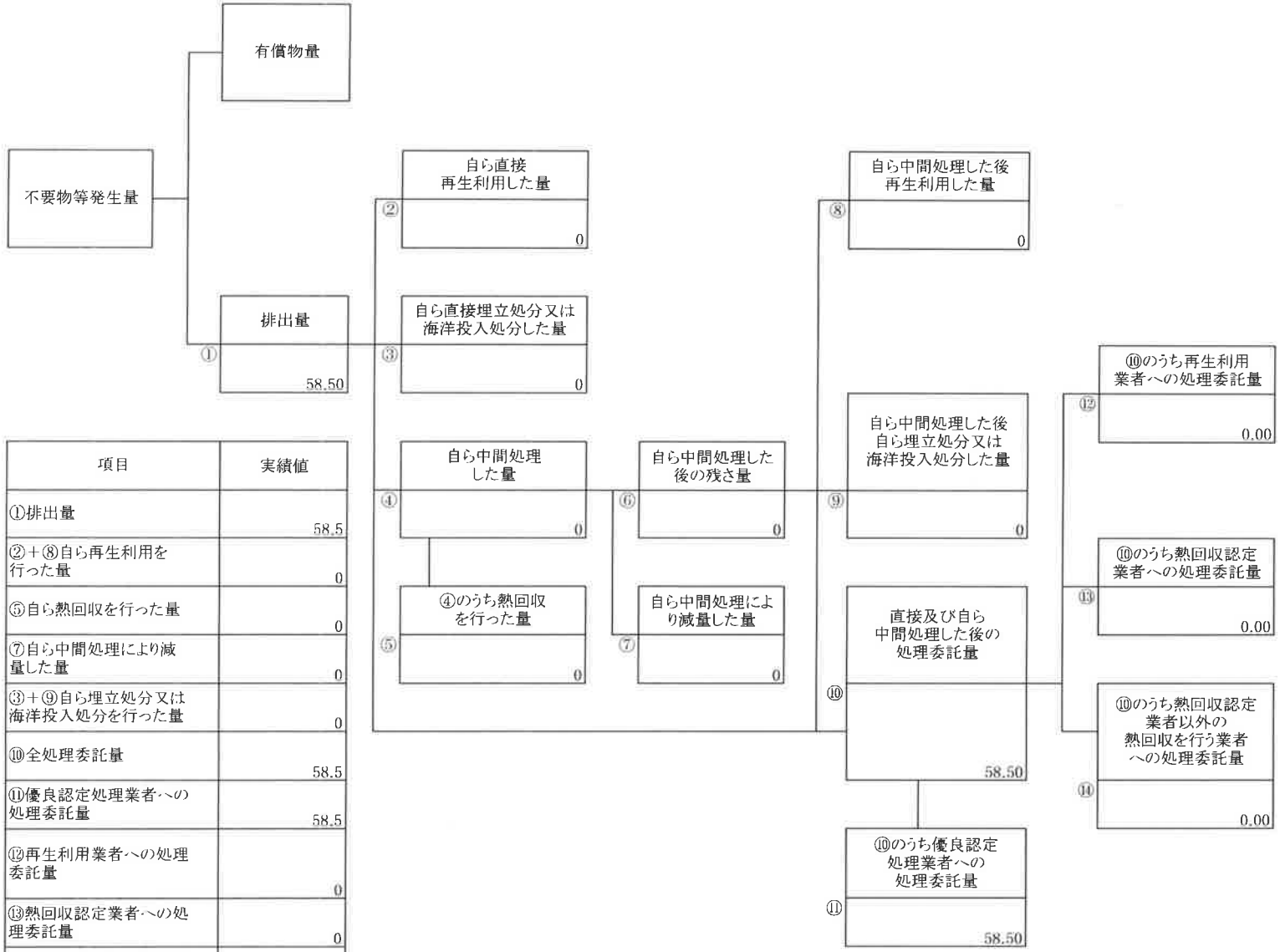
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　廃太陽光パネル　　）



項目	実績値
①排出量	3.75
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.75
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.75
⑫再生利用業者への処理委託量	3.75
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

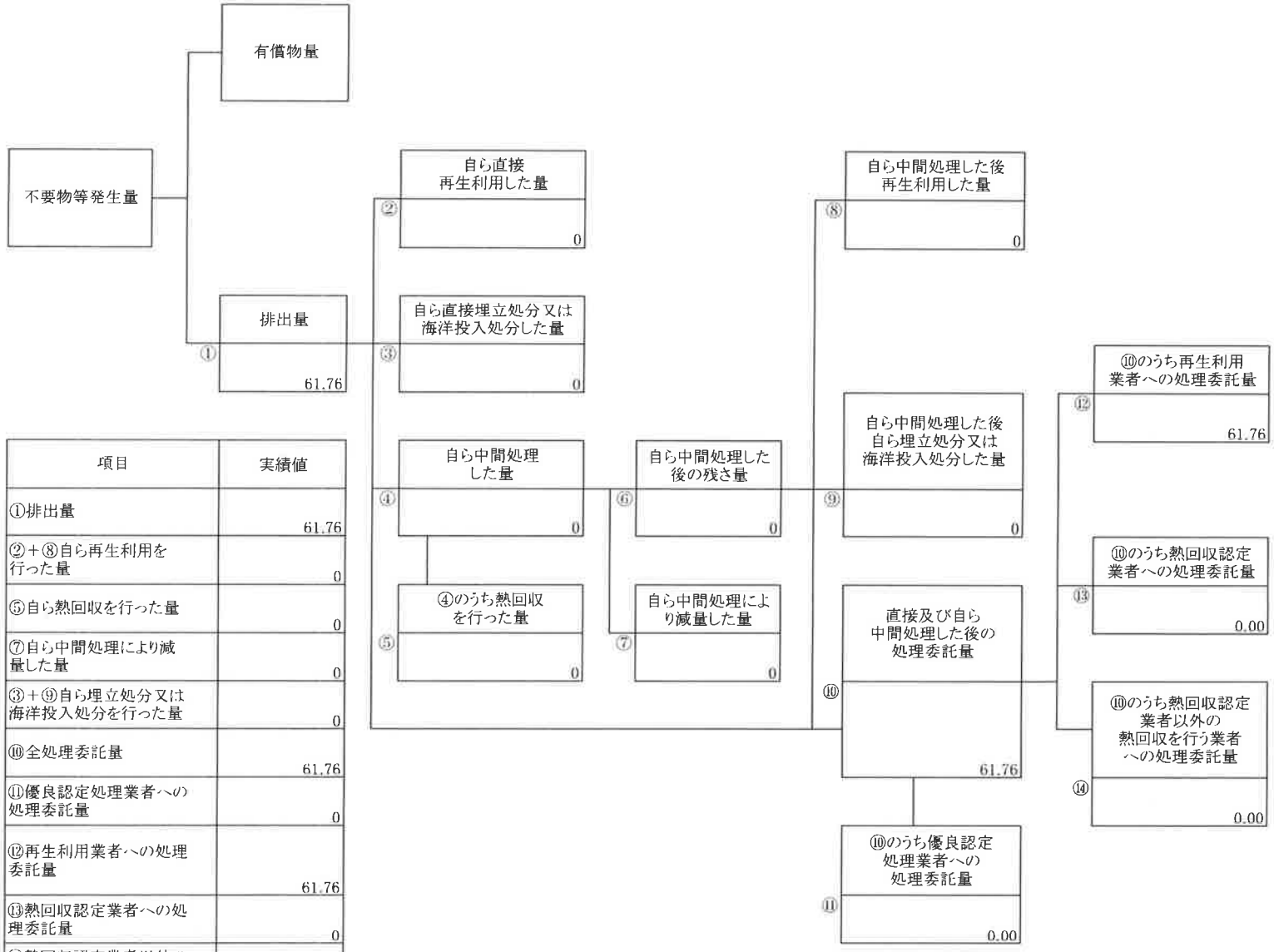
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　石綿含有産業廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	58.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	58.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：鉱さい　　）

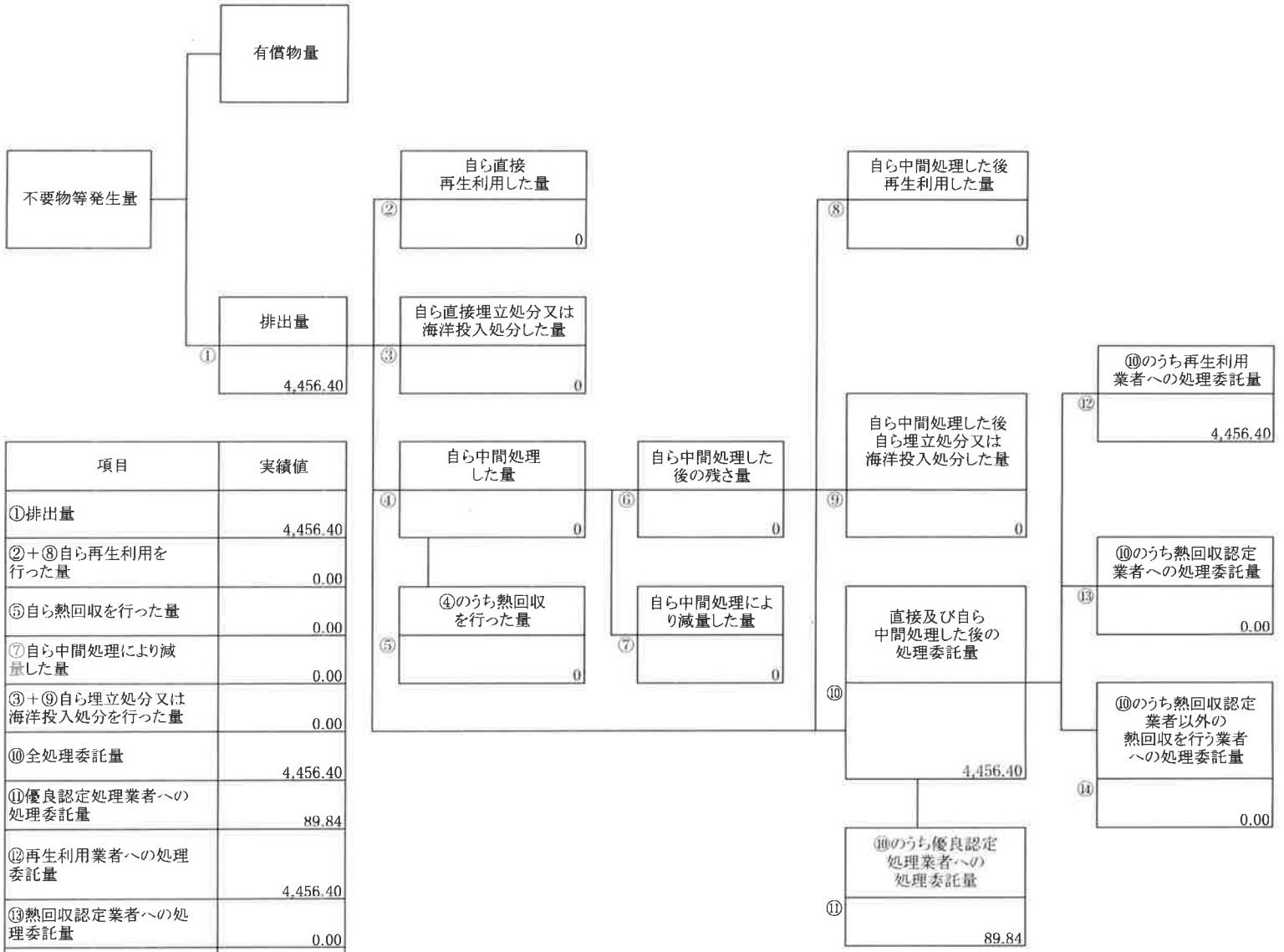


項目	実績値
①排出量	61.76
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	61.76
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	61.76
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

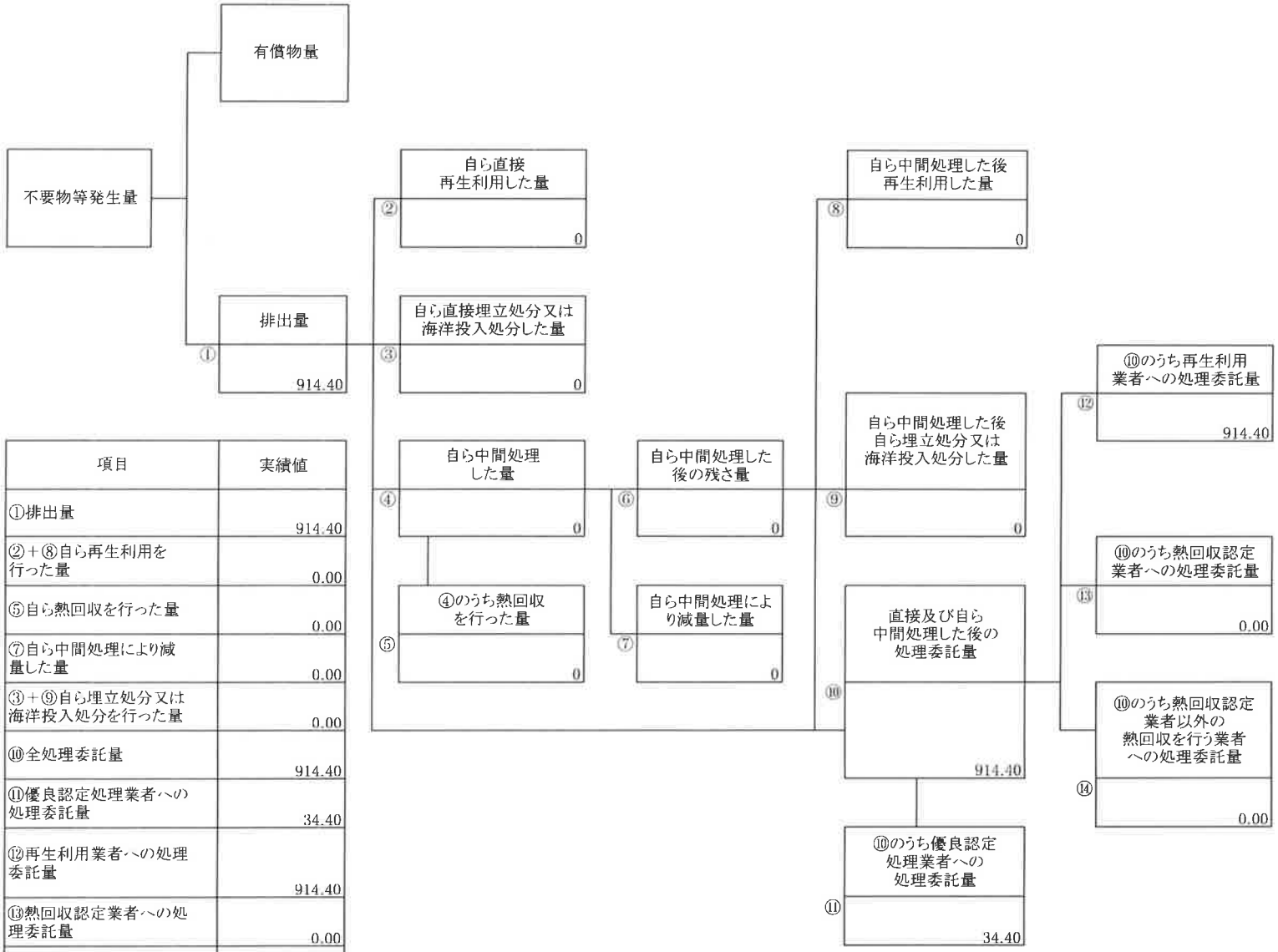
（産業廃棄物の種類：がれき類　コンクリート片　　）



項目	実績値
①排出量	4,456.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4,456.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	89.84
⑫再生利用業者への処理委託量	4,456.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

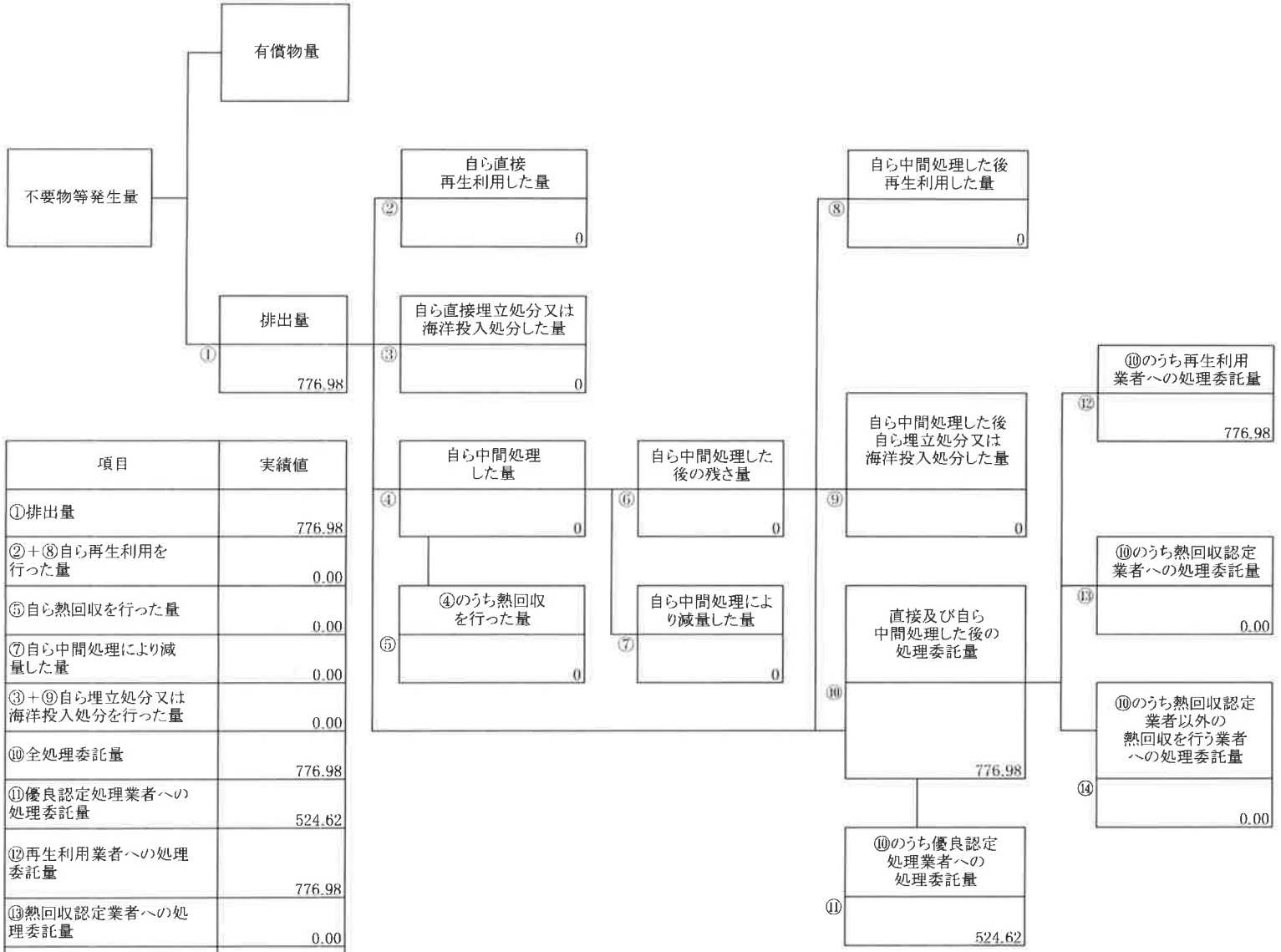
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　廃アスファルト　　）



項目	実績値
①排出量	914.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	914.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34.40
⑫再生利用業者への処理委託量	914.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　レンガ破片など　　）

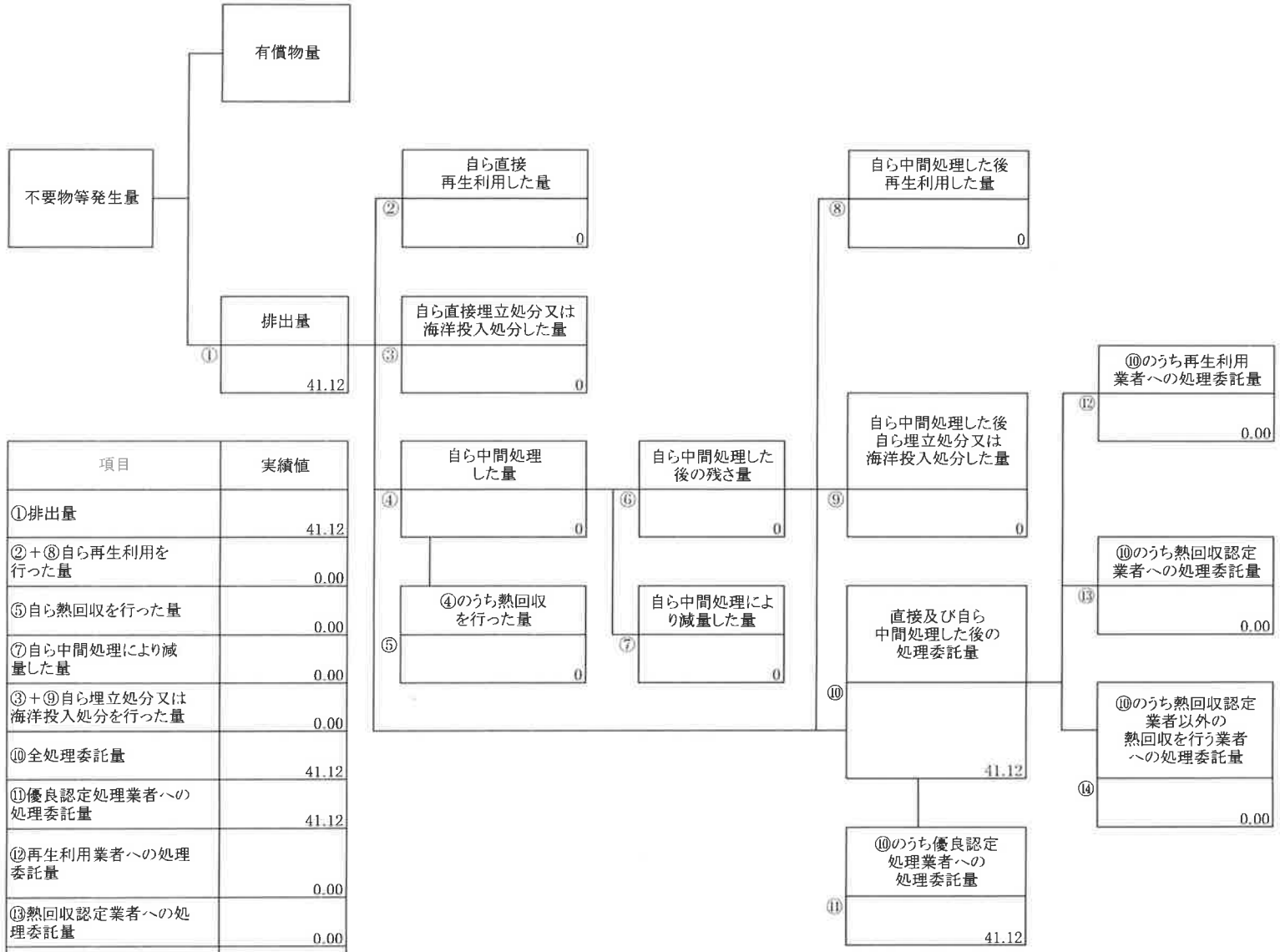


項目	実績値
①排出量	776.98
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	776.98
⑪優良認定処理業者への処理委託量	524.62
⑫再生利用業者への処理委託量	776.98
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：がれき類　石綿含有廃棄物　　）

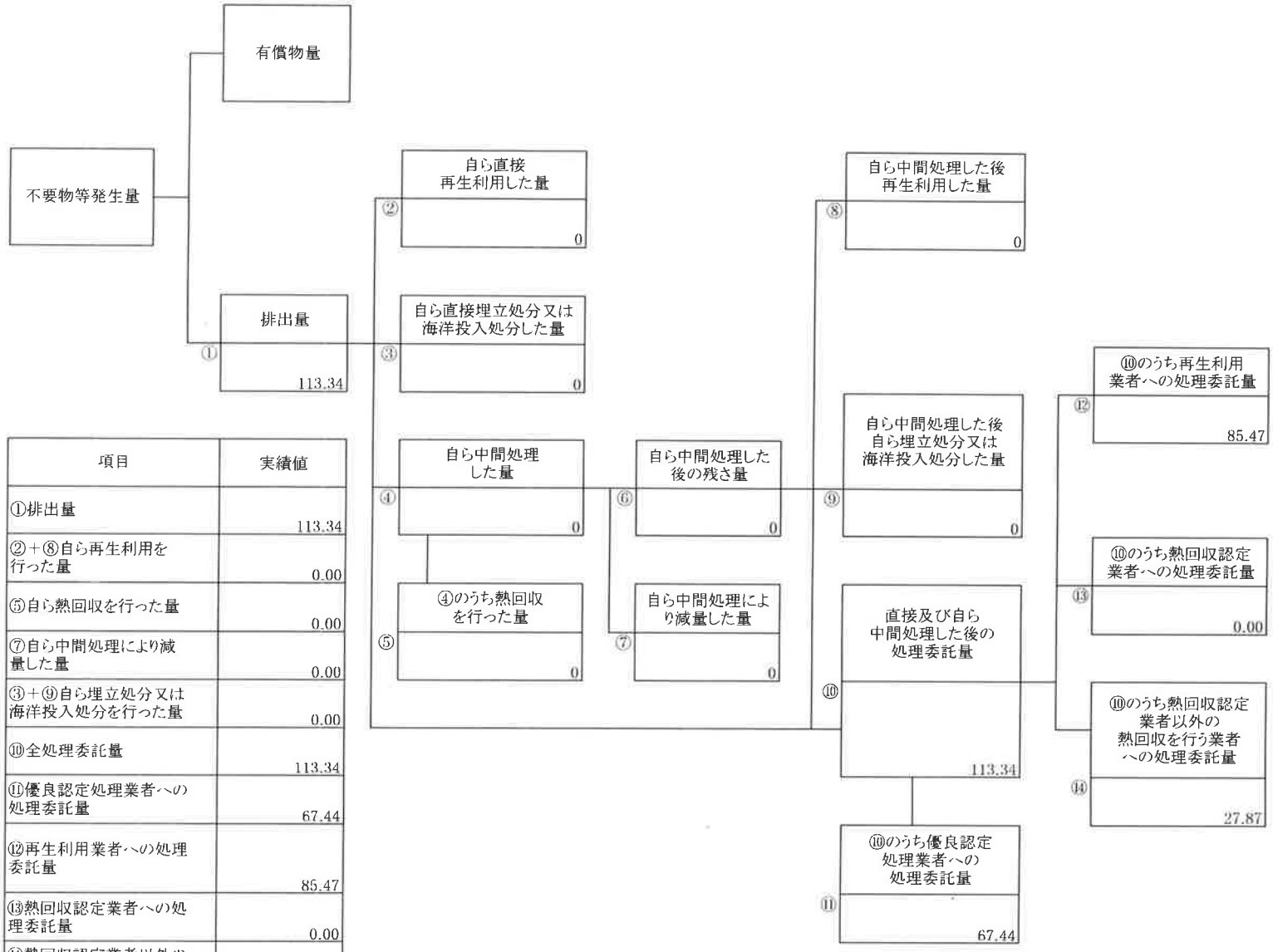


項目	実績値
①排出量	41.12
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	41.12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.12
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず　　）

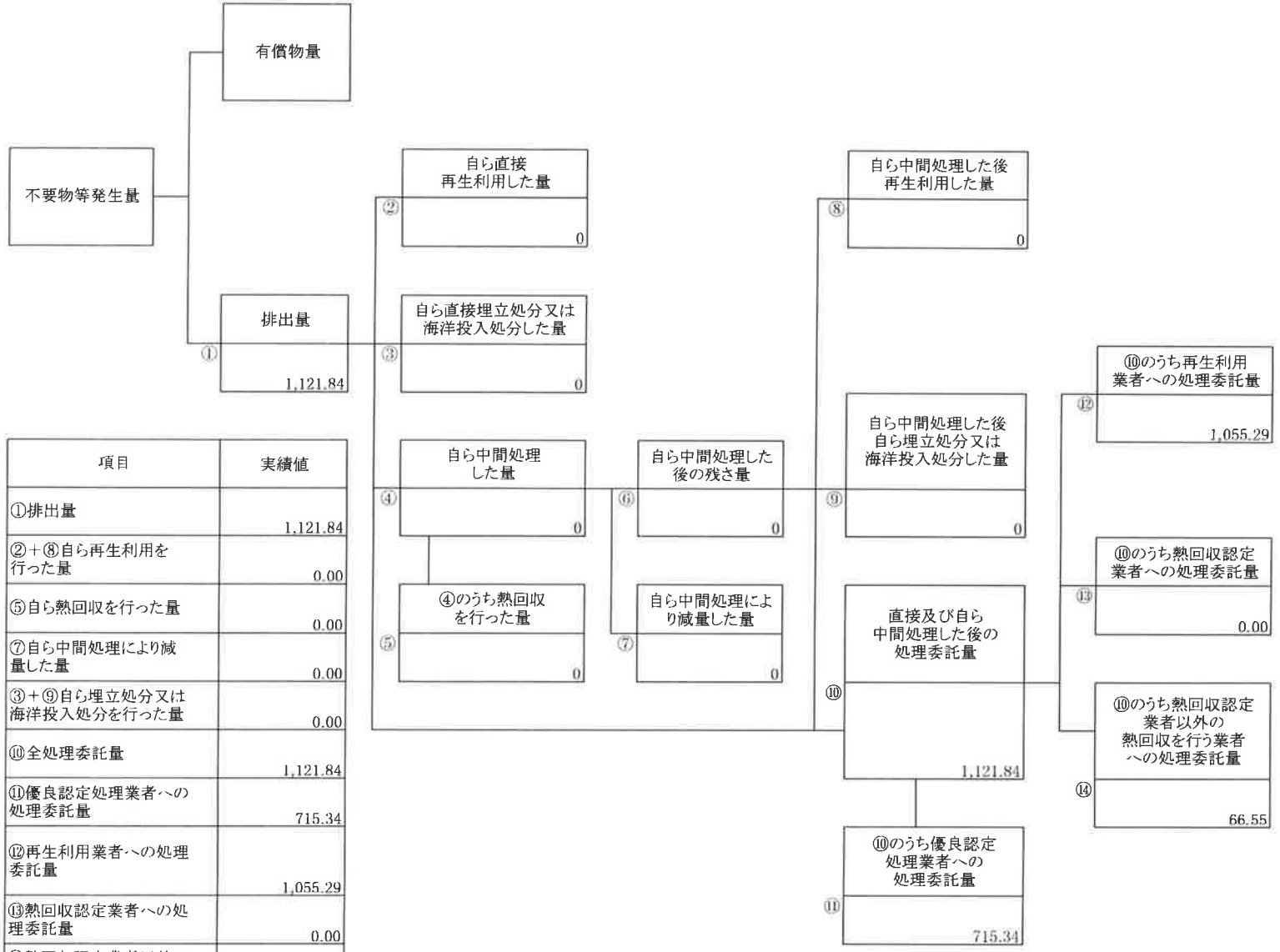


項目	実績値
①排出量	113.34
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	113.34
⑪優良認定処理業者への処理委託量	67.44
⑫再生利用業者への処理委託量	85.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	27.87

（第2面）

計画の実施状況

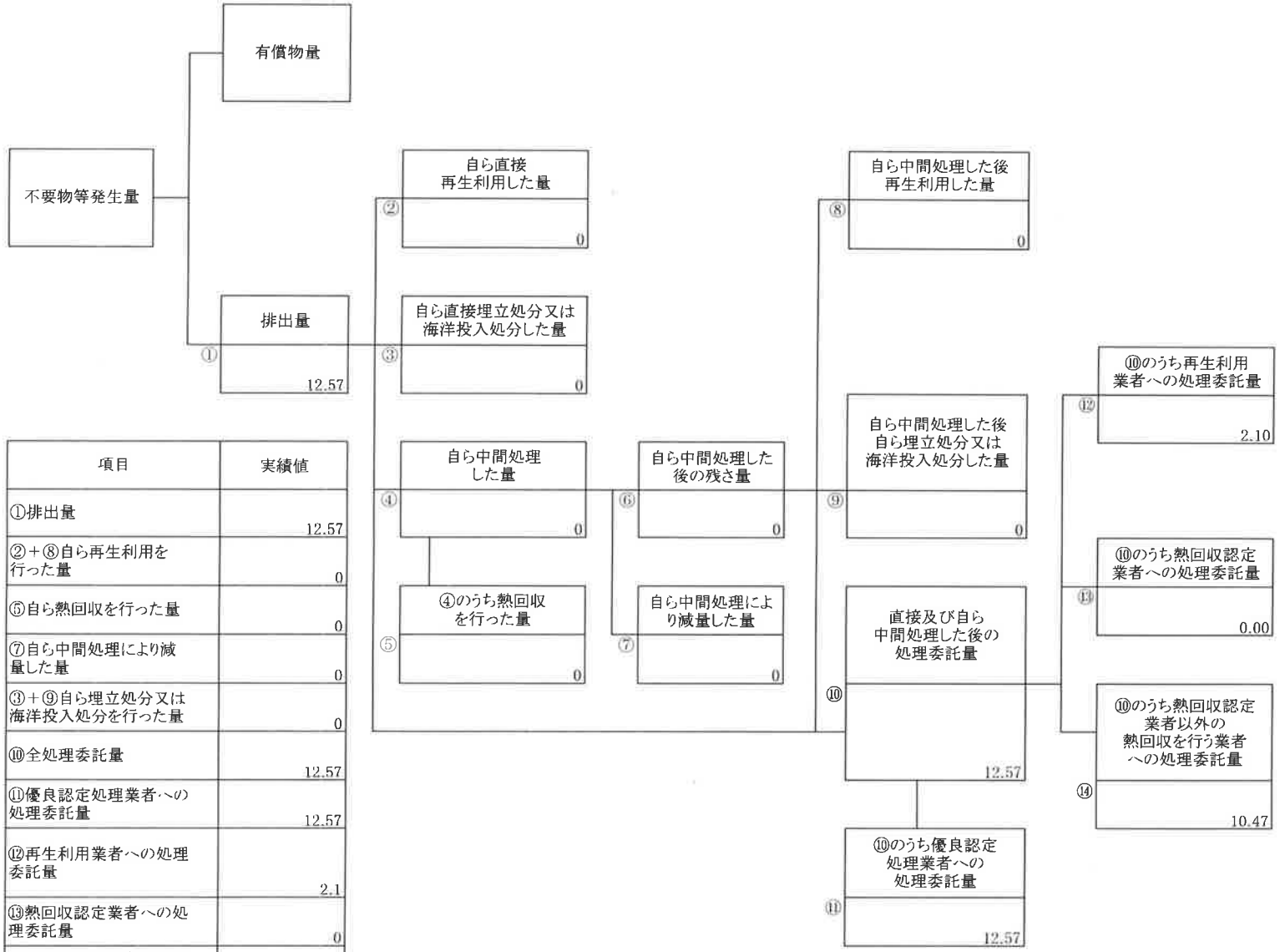
（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	1,121.84
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,121.84
⑪優良認定処理業者への処理委託量	715.34
⑫再生利用業者への処理委託量	1,055.29
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	66.55

（第2面）

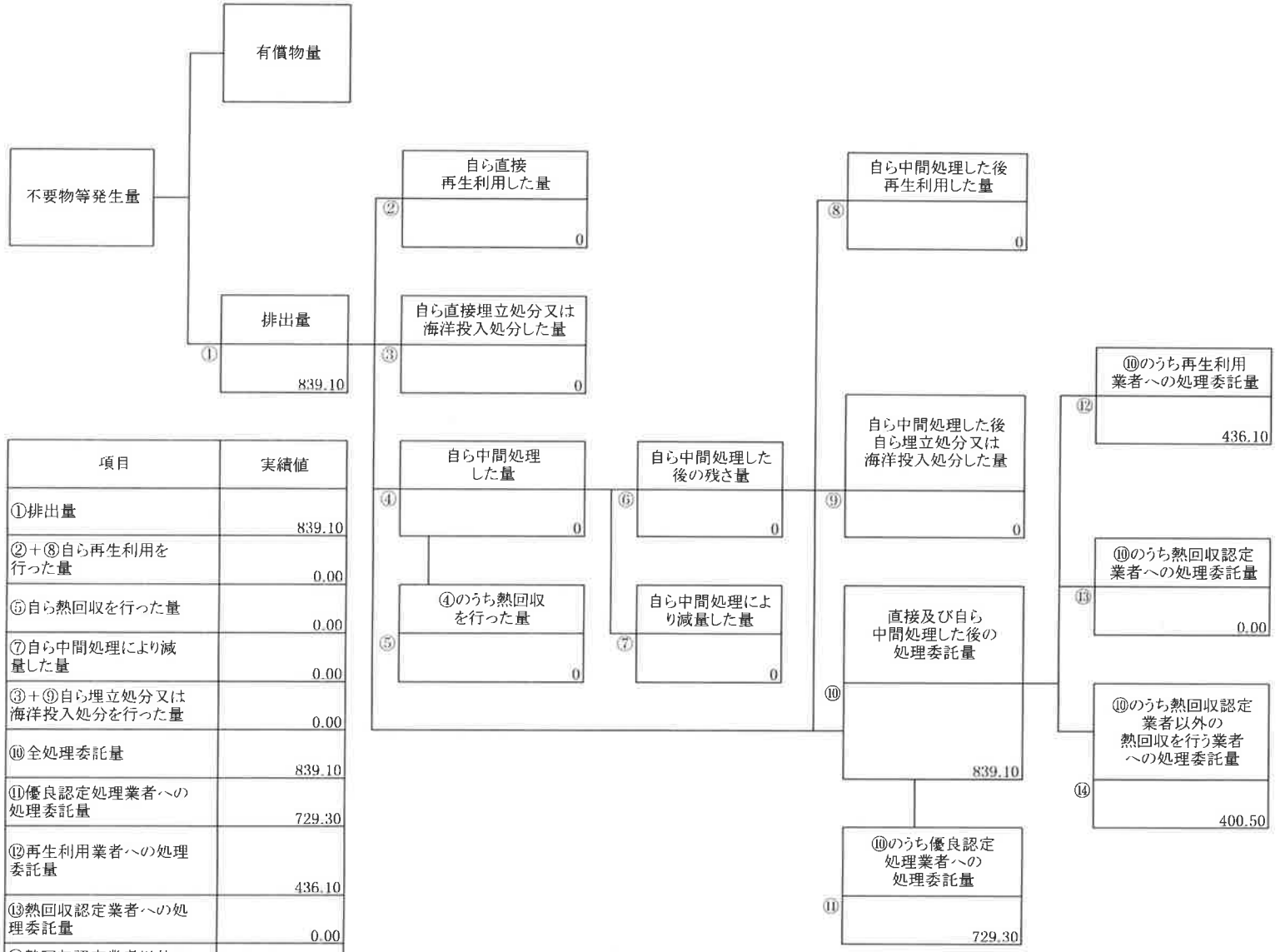
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）



項目	実績値
①排出量	12.57
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	12.57
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.57
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10.47

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	839.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	839.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	729.30
⑫再生利用業者への処理委託量	436.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	400.50

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　135-0091

住　所　東京都港区台場2丁目3-1　トレードピアお台場7階

法人名　大和ハウスリフォーム株式会社　東日本支社

代表者　越湖 大介

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-6380-7918

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウスリフォーム株式会社　東日本支社
事業場の所在地	東京都港区台場2丁目3番1号トレードピアお台場7階（当該自治体域内の
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請工事完成高（前年度実績）25,767,641,047円
③従業員数	690人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・排出事業所（現場）において納入資材の過不足がないように納入量の適正化を行う。
・搬出状況の調査と分別によるリサイクルの推進を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・継続して部材、資材の納入量の適正化の実施
・今後も継続して搬出状況の調査と分別の徹底によるリサイクルの推進を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・がれき類、木くずについて分別を行う。
・木くずは切断して単品袋詰め、石膏ボードは専用袋に袋詰めを行う</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・木くず長尺物の再利用の検討を行う。
・混合状態の廃棄物を再生可能な廃棄物への分別を行う。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・委託基準に従って認定された業者と書面による委託基本契約を締結し委託する
・電子マニフェストシステムに移行し、適正処理が行われているか定期的に確認する。
・収集運搬許可証、登録車両一覧、処分業許可証の有効期限を定期的に点検</td></tr>
</table>

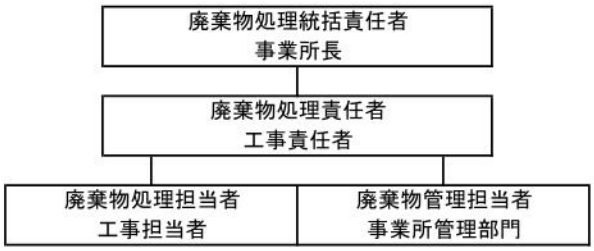
<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・今後も委託基準に従って認定された業者と書面による委託基本契約を締結し委託する。
・適正処理が行われているか定期的に工程を廃棄物管理表（電子マニフェストシステム）により確認する。
・可能な限り、優良認定処理業者から選定する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

廃プラ→委託中間処理【破砕】→燃料と埋立処分
金属くず→委託中間処理【破砕・切断】→鋼材の原料として再生利用
ガラ陶→委託中間処理【破砕】→建設資材の原料として再生利用と埋立処理
がれき類→委託中間処理【破砕】→再生骨材として再生利用と埋立処分
紙くず→委託中間処理【破砕】→燃料と再生紙として再生利用
木くず→委託中間処理【破砕】→燃料と再生原料として再生利用
繊維くず→委託中間処理【破砕・圧縮】→燃料

別添２ 管理体制図


廃棄物処理統括責任者
事業所長
廃棄物処理責任者
工事責任者
廃棄物処理担当者
工事担当者
廃棄物管理担当者
事業所管理部門

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
	排　出　量	97.12 t	37.77 t	182.78 t	3.33 t	230.70 t	51.49 t	218.08 t	82.91 t	53.12 t	14.33 t	393.77 t	157.20 t	0.83 t						
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
	排　出　量	87.41 t	33.99 t	164.50 t	3.00 t	207.63 t	46.34 t	196.27 t	74.62 t	47.81 t	12.90 t	354.39 t	141.48 t	0.75 t						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
全処理委託量	97.12 t	37.77 t	182.78 t	3.33 t	230.70 t	51.49 t	218.08 t	82.91 t	53.12 t	14.33 t	393.77 t	157.20 t	0.83 t					
優良認定処理業者への処理委託量	22.84 t	7.68 t	148.51 t	2.79 t	107.70 t	21.35 t	208.56 t	28.48 t	18.24 t	0.00 t	284.02 t	85.60 t	0.83 t					
再生利用業者への処理委託量	97.12 t	37.77 t	182.78 t	3.33 t	230.70 t	46.99 t	218.08 t	82.91 t	53.12 t	14.33 t	393.77 t	3.00 t	0.83 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
全処理委託量	87.41 t	33.99 t	164.50 t	3.00 t	207.63 t	46.34 t	196.27 t	74.62 t	47.81 t	12.90 t	354.39 t	141.48 t	0.75 t					
優良認定処理業者への処理委託量	20.56 t	6.91 t	133.66 t	2.51 t	96.93 t	19.22 t	187.70 t	25.63 t	16.42 t	0.00 t	255.62 t	77.04 t	0.75 t					
再生利用業者への処理委託量	87.41 t	33.99 t	164.50 t	3.00 t	207.63 t	42.29 t	196.27 t	74.62 t	47.81 t	12.90 t	354.39 t	2.70 t	0.75 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　16日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒260-8552

住　所　千葉市中央区弁天1丁目5番1号

氏　名　大和リース株式会社　千葉支店

支店長　　塚田　憲輝

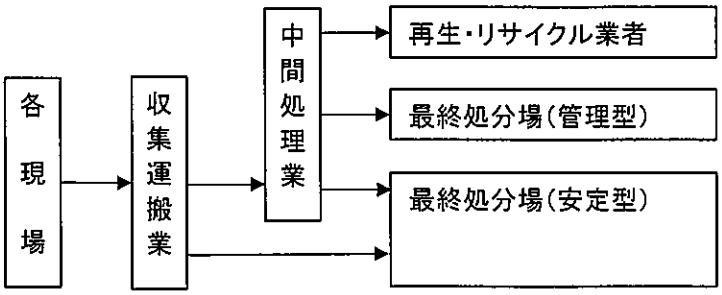
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-331-6180

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和リース株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区弁天1丁目5番1号
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

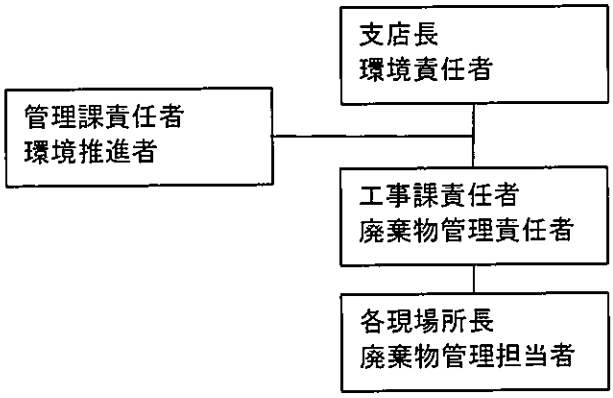
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	前年度の完工高：68億
③　従業員数	62名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙明細	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・プレカットの採用 ・窯業系サイディングの広域認定制度の活用 （産業廃棄物の減量、リサイクルサポート） ・基礎をH鋼基礎に変更し、解体時のコンクリートガラを削減 ・金属類、ダンボール、紙類を適正に分類して、有価物として取扱い産業廃棄物の削除に取り組んだ。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙明細	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、 ガラスくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、石膏ボード、汚泥、 がれき類、混合廃棄物
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記の通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙明細	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 弊社の仮設建物の基礎に「リュース基礎」（部材名：使用可能な現場にて）を使用して、解体時に回収、補修を行い再利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙明細	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記の通り		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙明細	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙明細	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	別紙明細	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙明細	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	別紙明細	
全処理委託量＿	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>別紙明細</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量＿</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
	排　出　量	364.1 t	213.7 t	21.0 t	218.6 t	0.7 t	0.8 t	1.3 t	978.5 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
	排　出　量	255.0 t	149.6 t	14.7 t	153.0 t	0.5 t	0.6 t	0.9 t	685.0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
全処理委託量	364.1 t	213.7 t	21.0 t	218.6 t	0.7 t	0.8 t	1.3 t	978.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	364.1 t	213.7 t	21.0 t	218.6 t	0.7 t	0.8 t	1.3 t	978.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	ダンボール	汚泥	金属くず	建設汚泥
全処理委託量	255.0 t	149.6 t	14.7 t	153.0 t	0.5 t	0.6 t	0.9 t	685.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	255.0 t	149.6 t	14.7 t	153.0 t	0.5 t	0.6 t	0.9 t	685.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
		排　出　量	9.7 t	35 t	51.2 t	42.1 t	29.5 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
		排　出　量	6.8 t	24.5 t	35.8 t	29.5 t	20.7 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
	全処理委託量	9.7 t	35 t	51.2 t	42.1 t	29.5 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	9.7 t	35 t	51.2 t	42.1 t	29.5 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	石膏ボード	廃プラスチック類	伐採材・伐根材			
	全処理委託量	6.8 t	24.5 t	35.8 t	29.5 t	20.7 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6.8 t	24.5 t	35.8 t	29.5 t	20.7 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6 月16日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒260-8552
住 所　千葉市中央区弁天1丁目5番1号
氏 名　大和リース株式会社 千葉支店
支店長 塚田 憲輝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-331-6180

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和リース株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区弁天1丁目5番1号
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

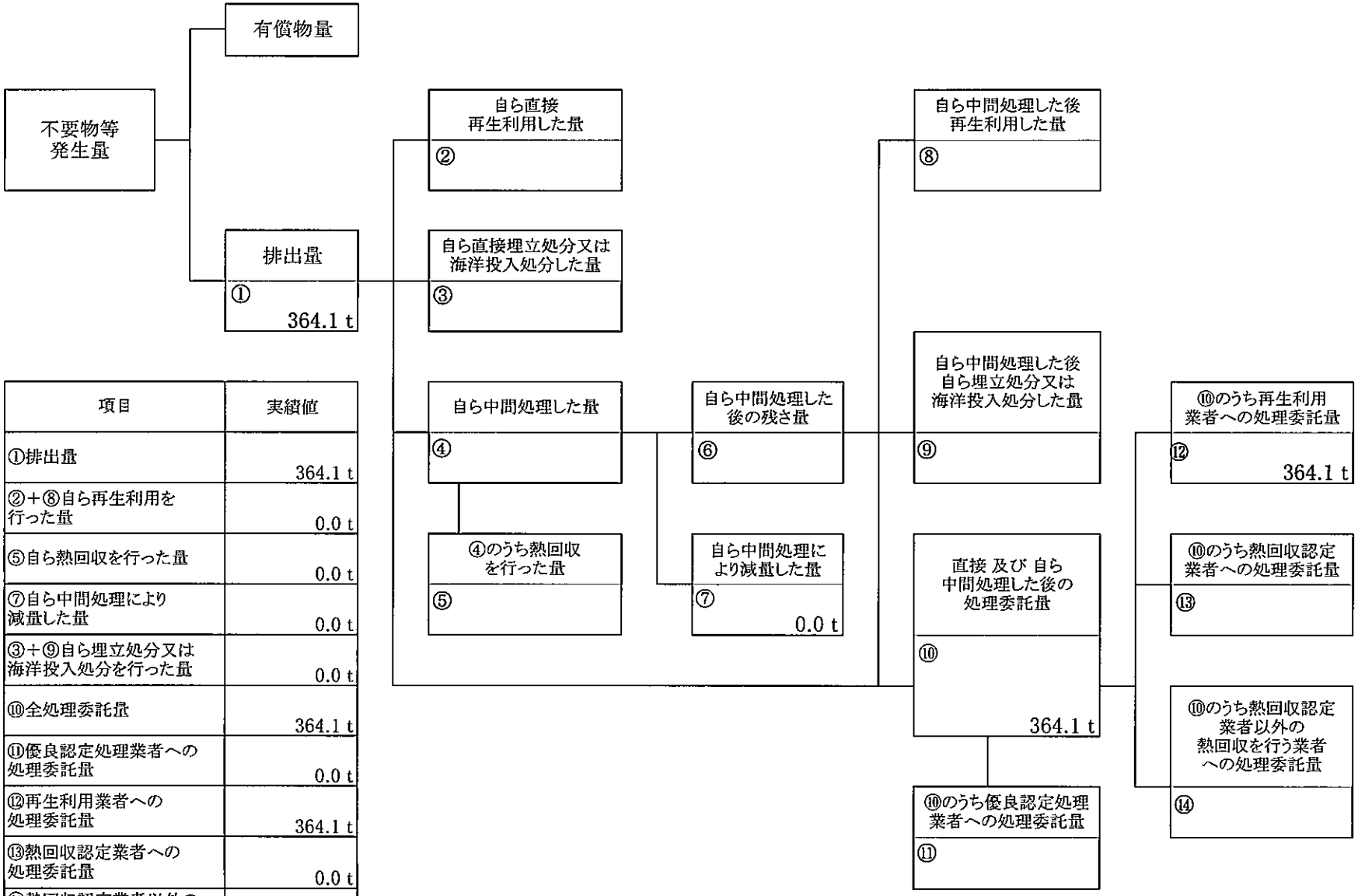
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,100.0t	全処理委託量	1,100.0t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	1,100.0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリート破片　）

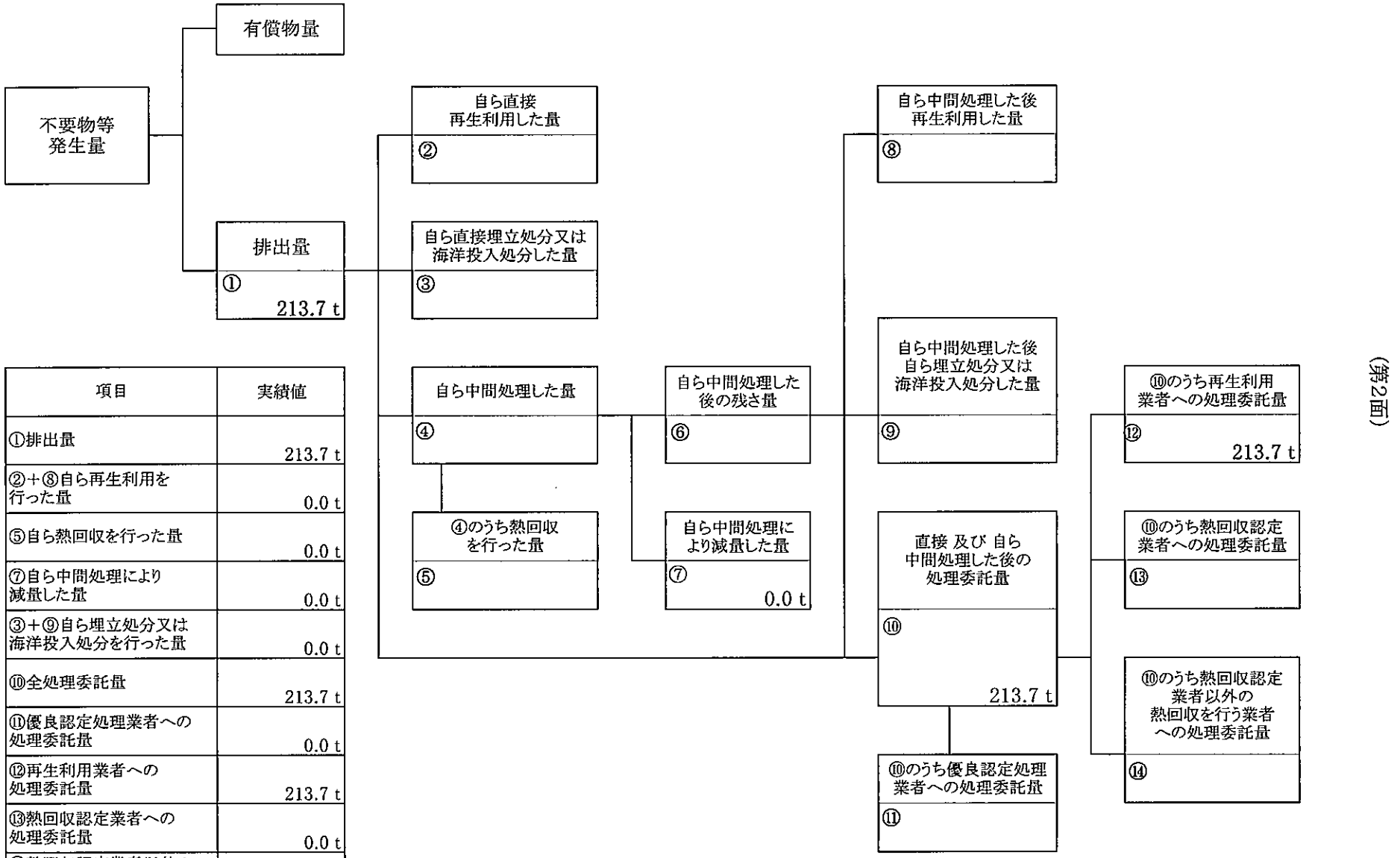


項目	実績値
①排出量	364.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	364.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	364.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず**）

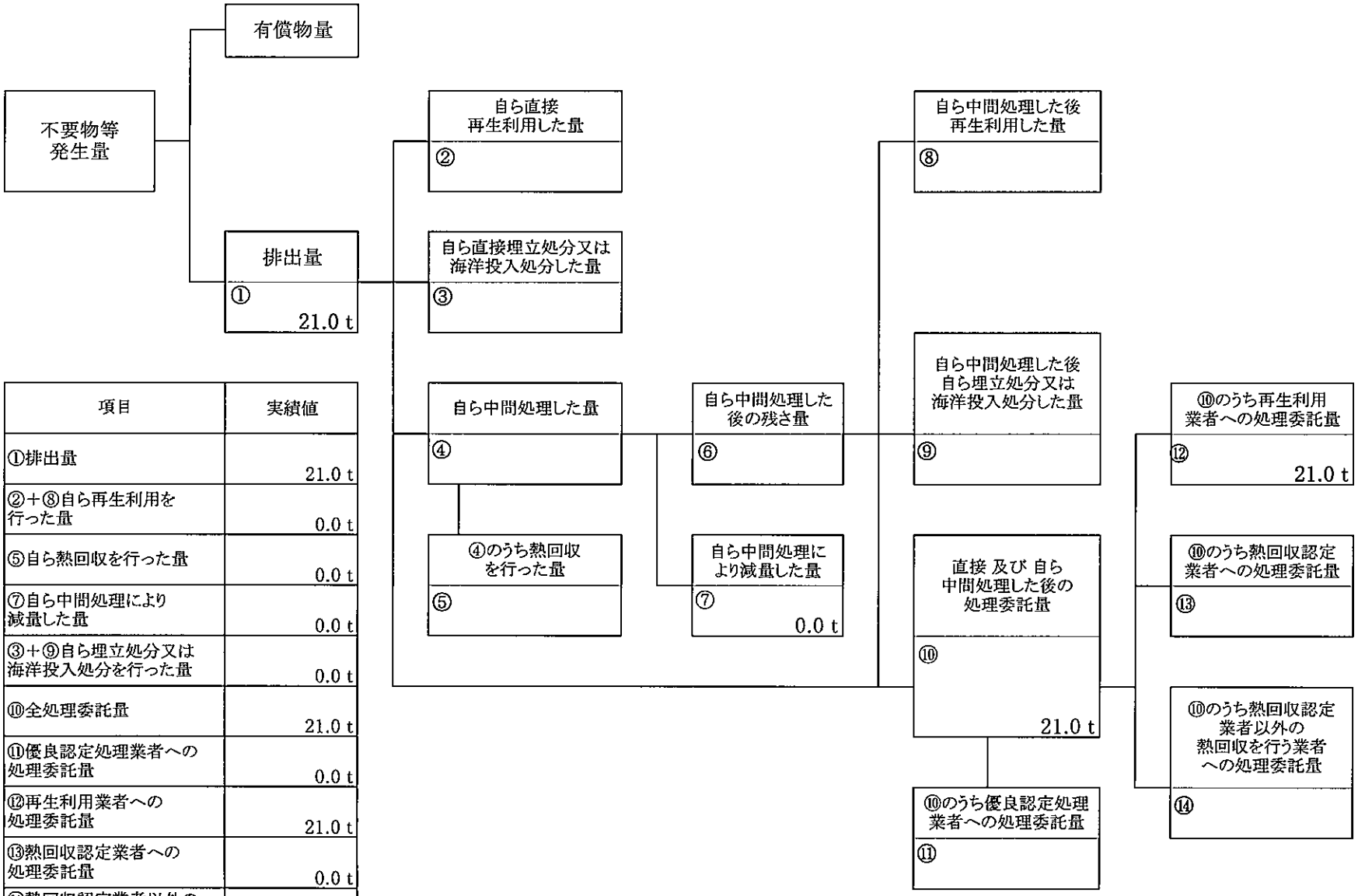


項目	実績値
①排出量	213.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	213.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	213.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**がれき類**　）

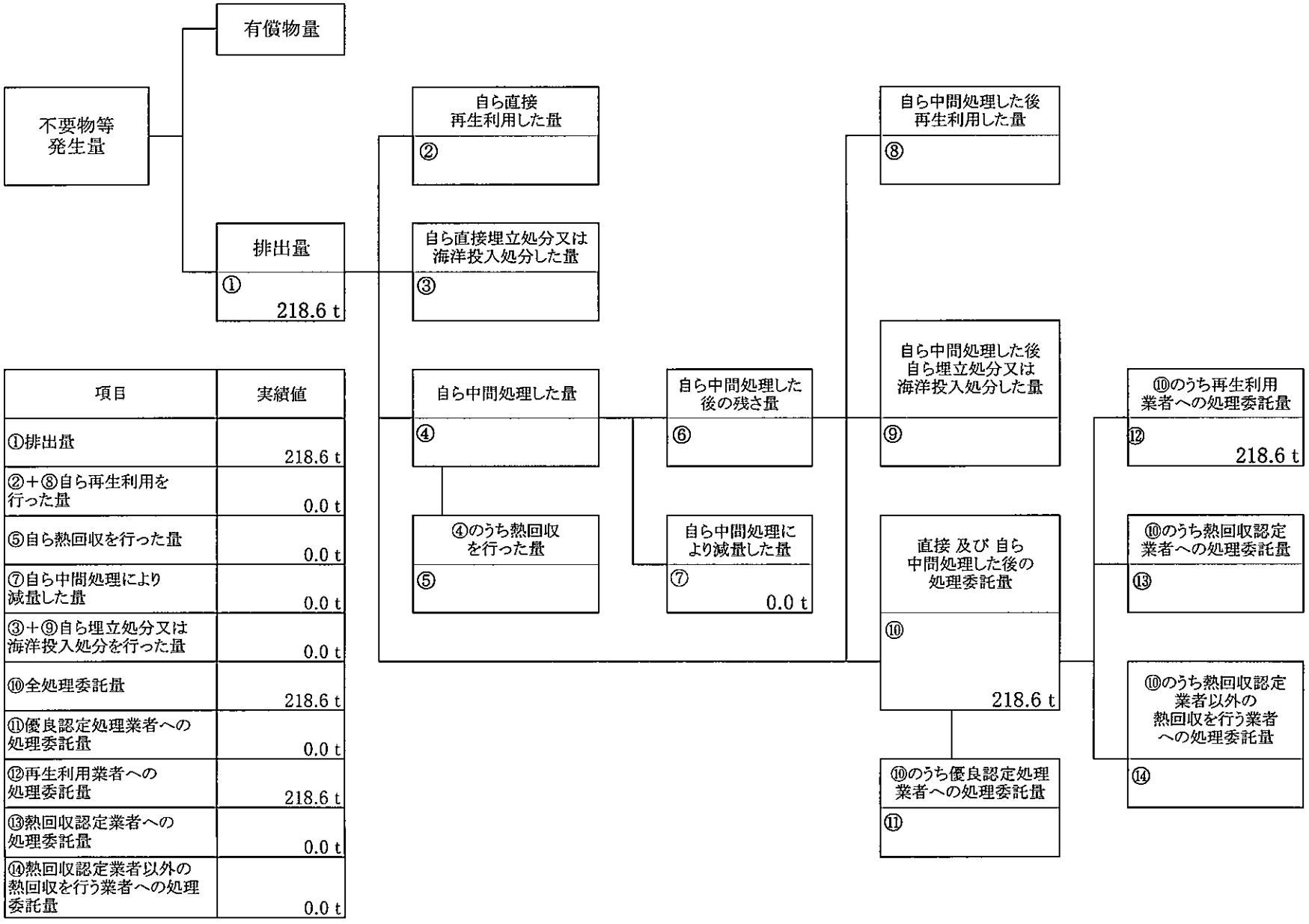


項目	実績値
①排出量	21.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	21.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリート破片　）

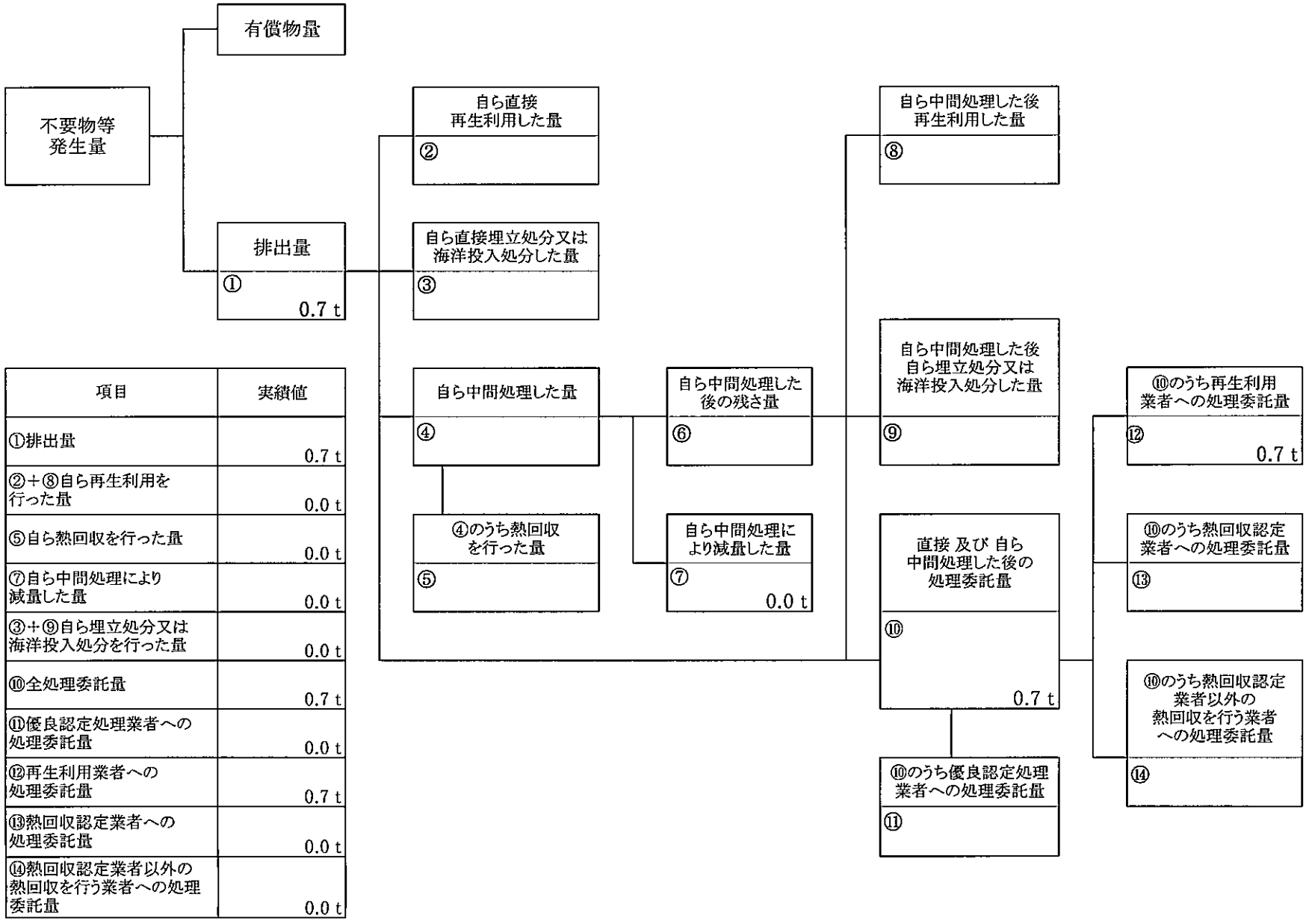


項目	実績値
①排出量	218.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	218.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	218.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**ダンボール**　）

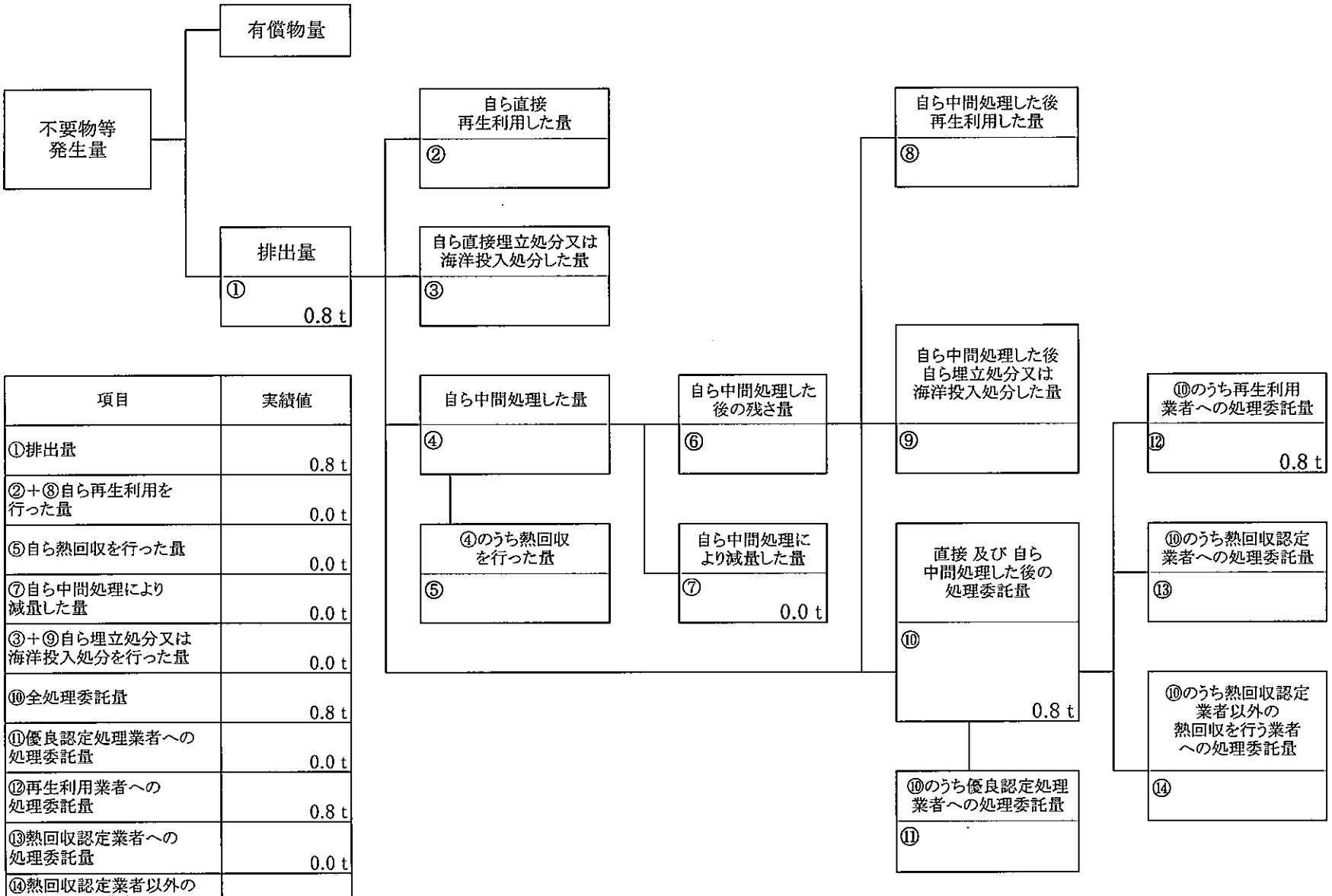


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

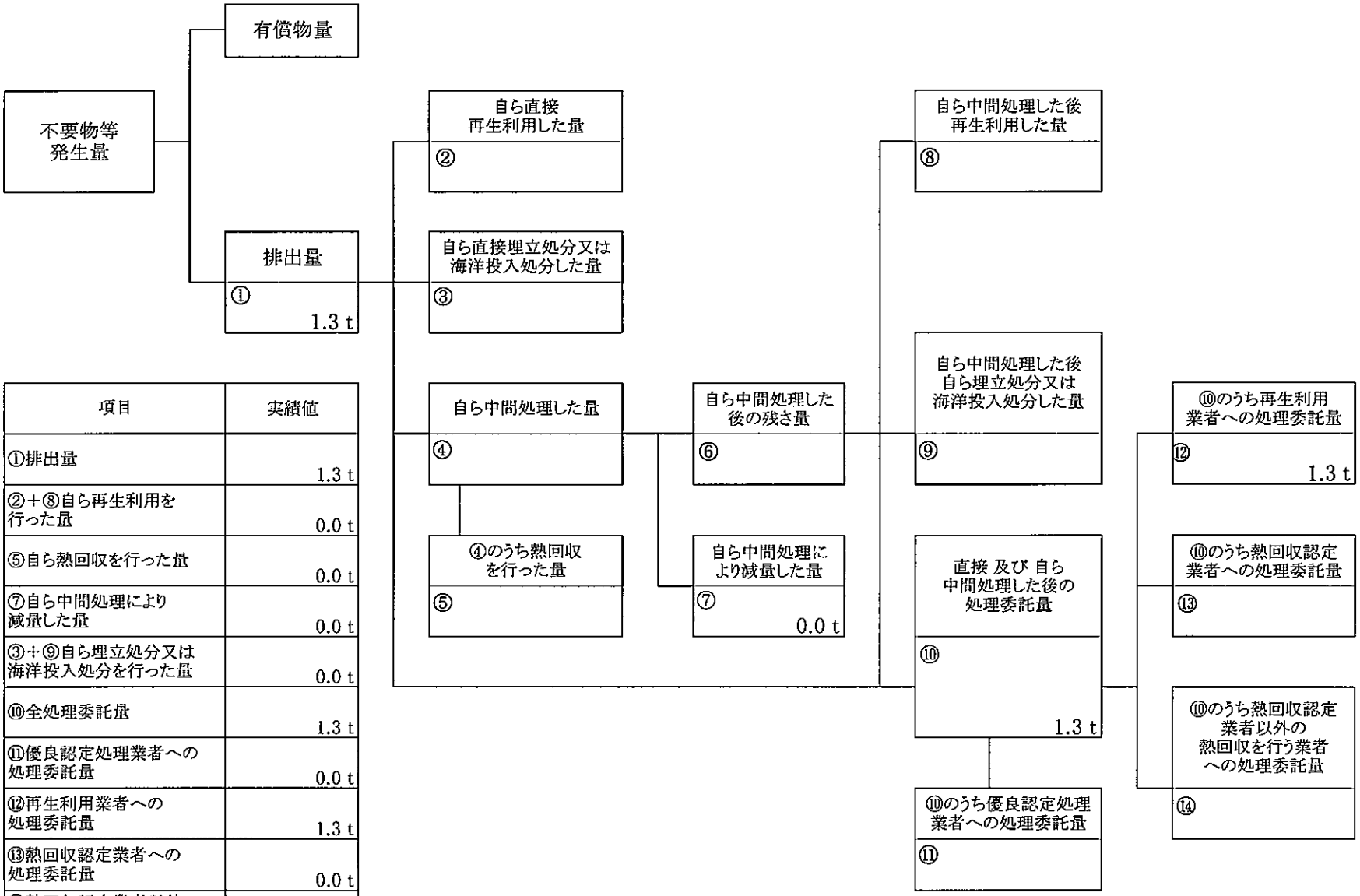


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**金属くず**　）

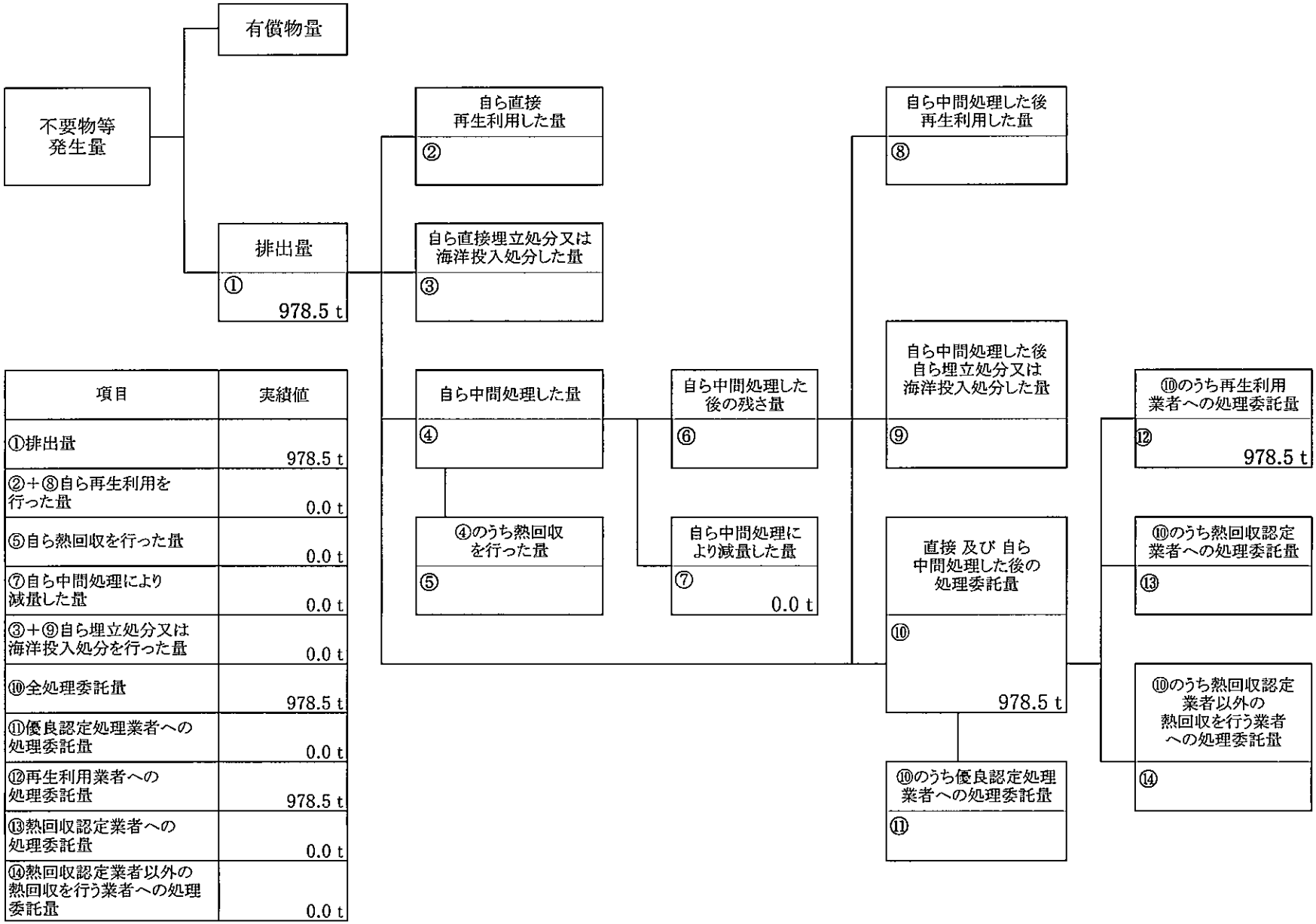


項目	実績値
①排出量	1.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設汚泥**　）

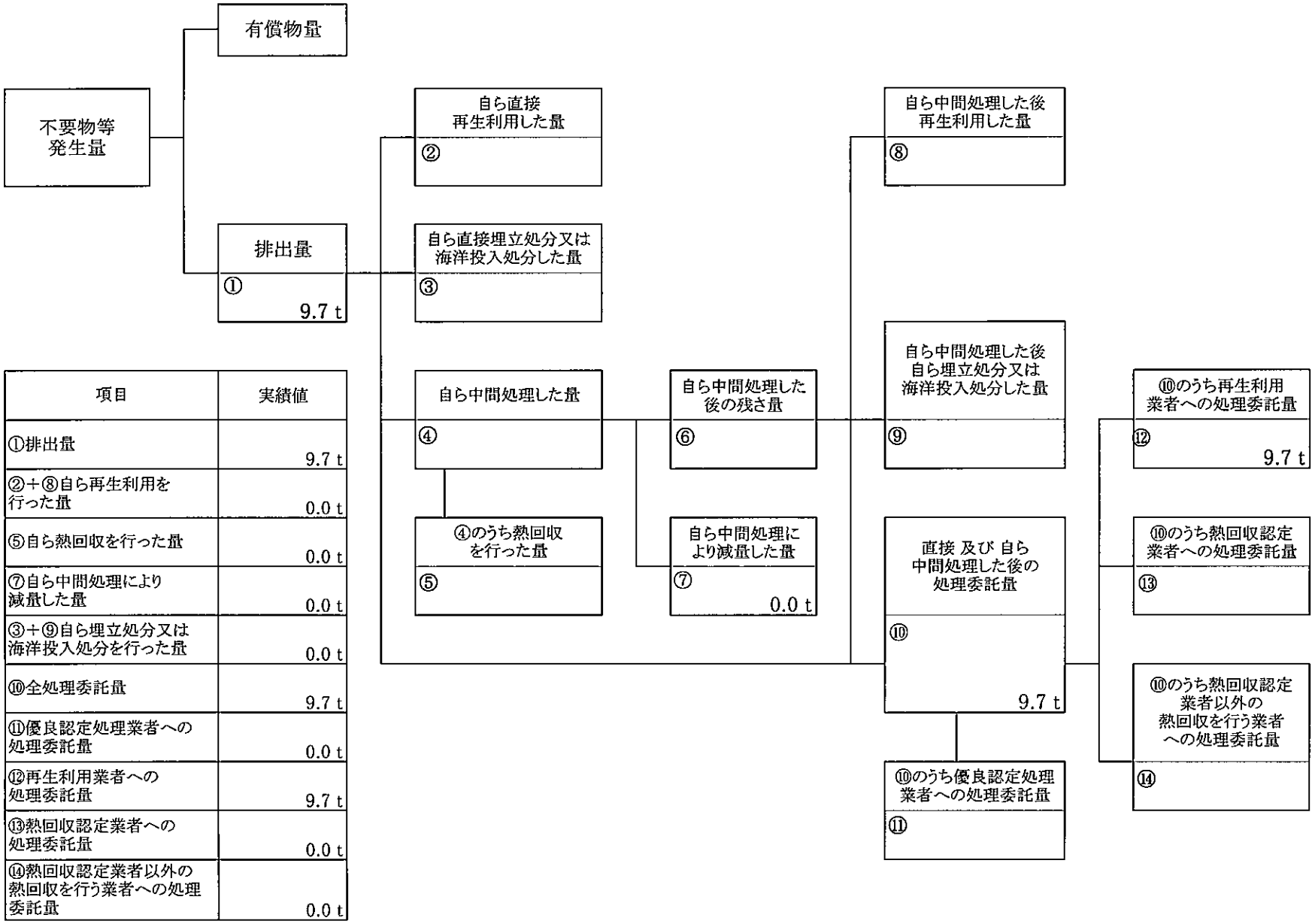


項目	実績値
①排出量	978.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	978.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	978.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設工事の紙くず**　）

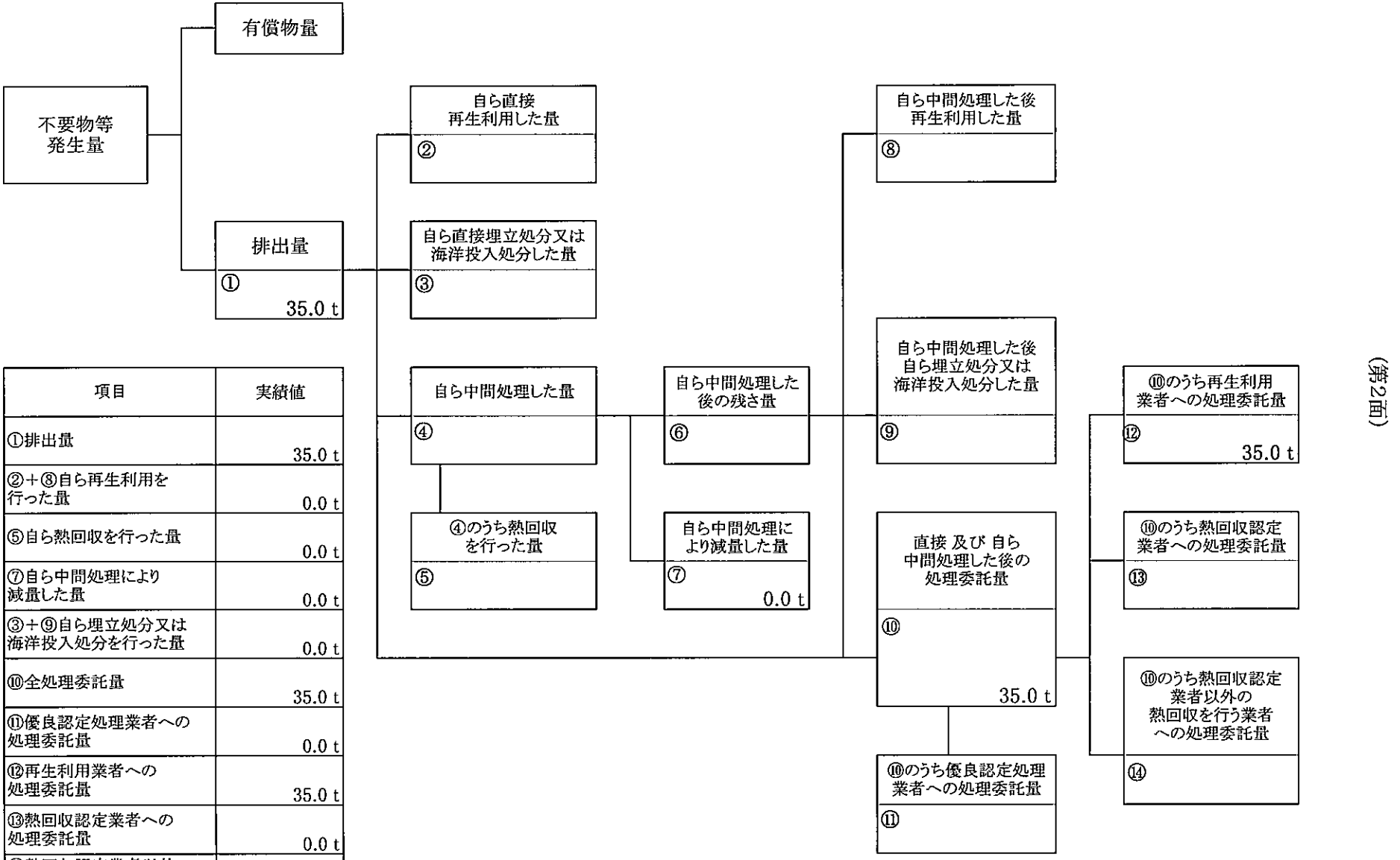


項目	実績値
①排出量	9.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設工事の木くず**　）

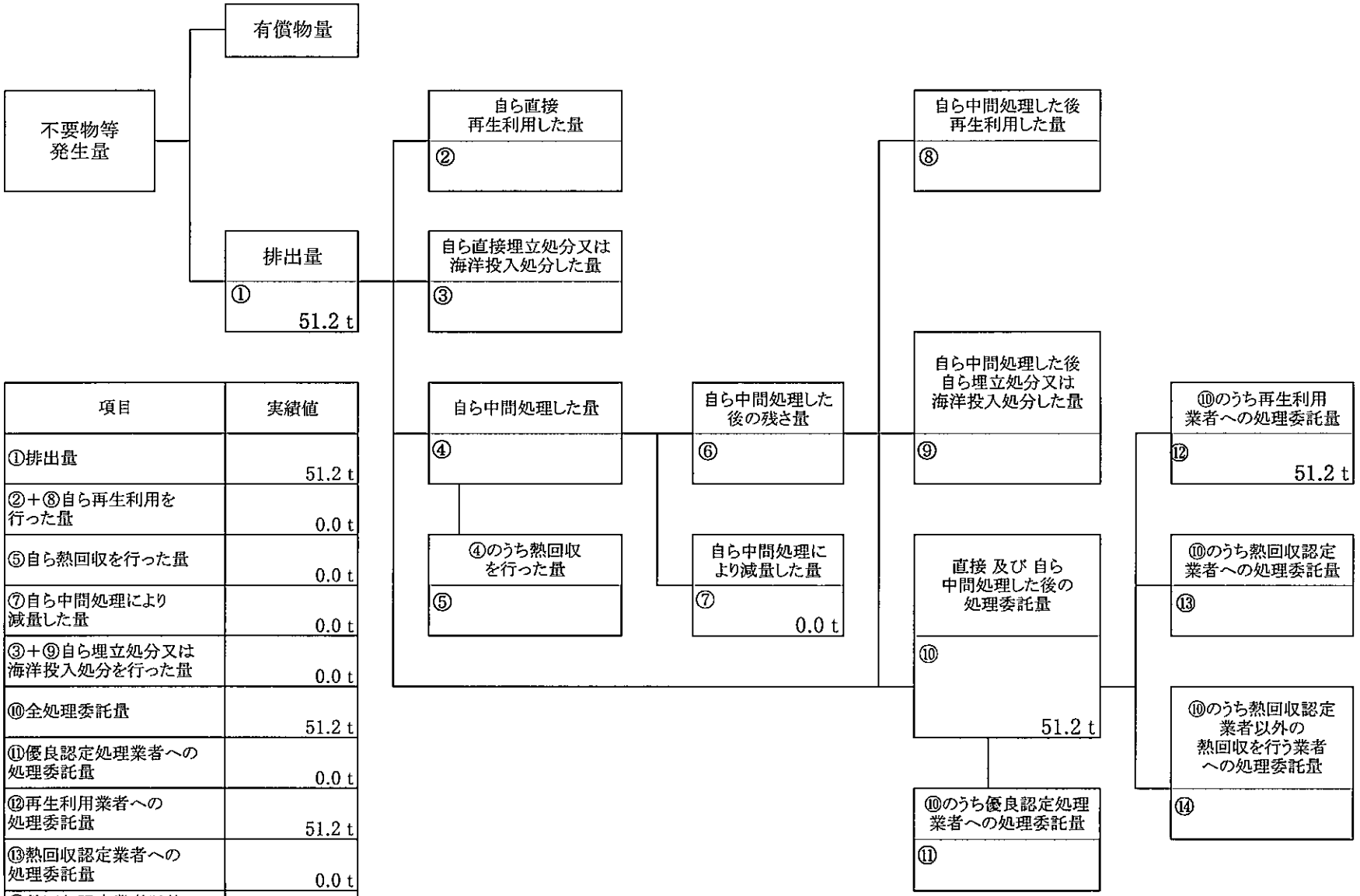


項目	実績値
①排出量	35.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	35.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石膏ボード　）

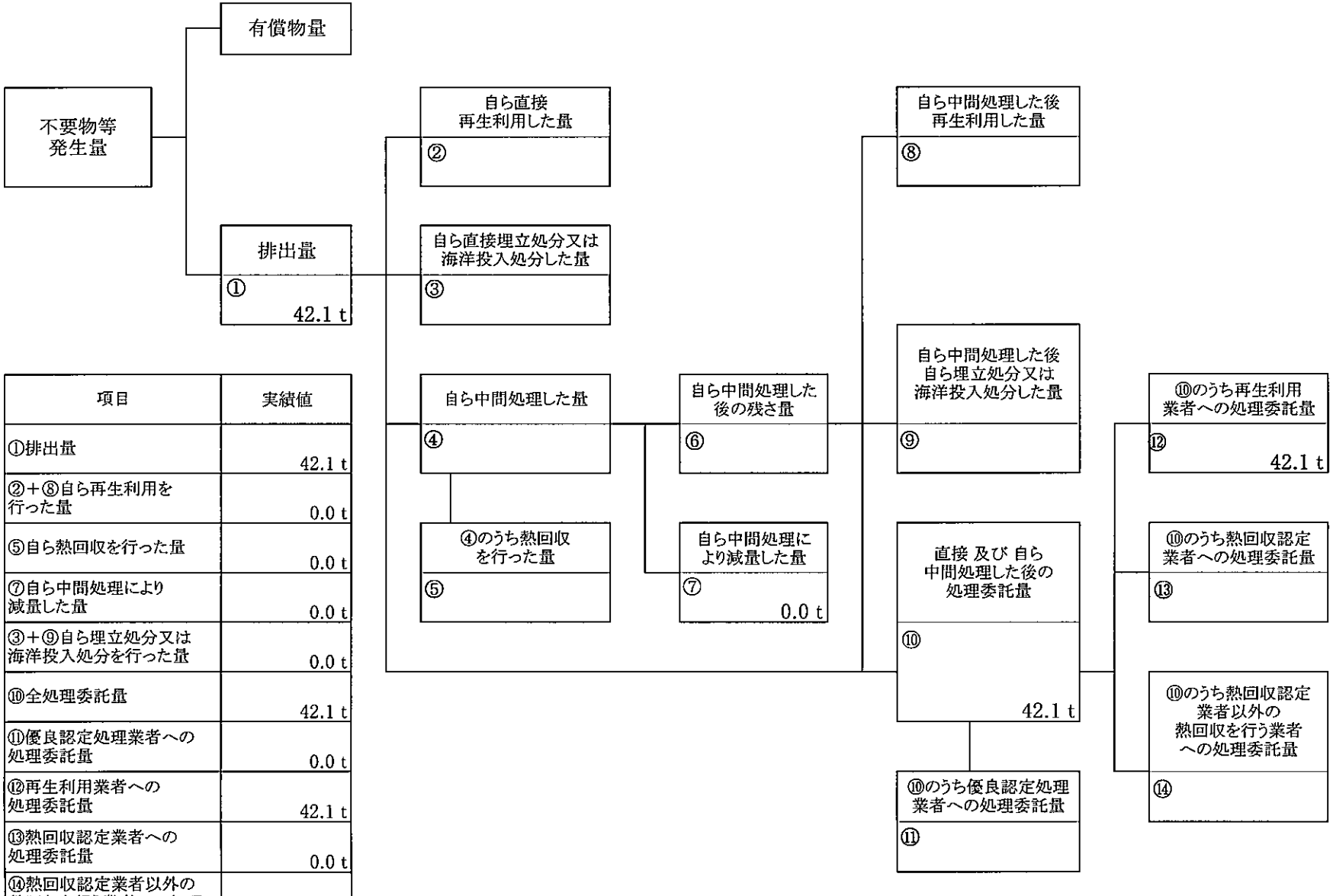


項目	実績値
①排出量	51.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	51.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	51.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

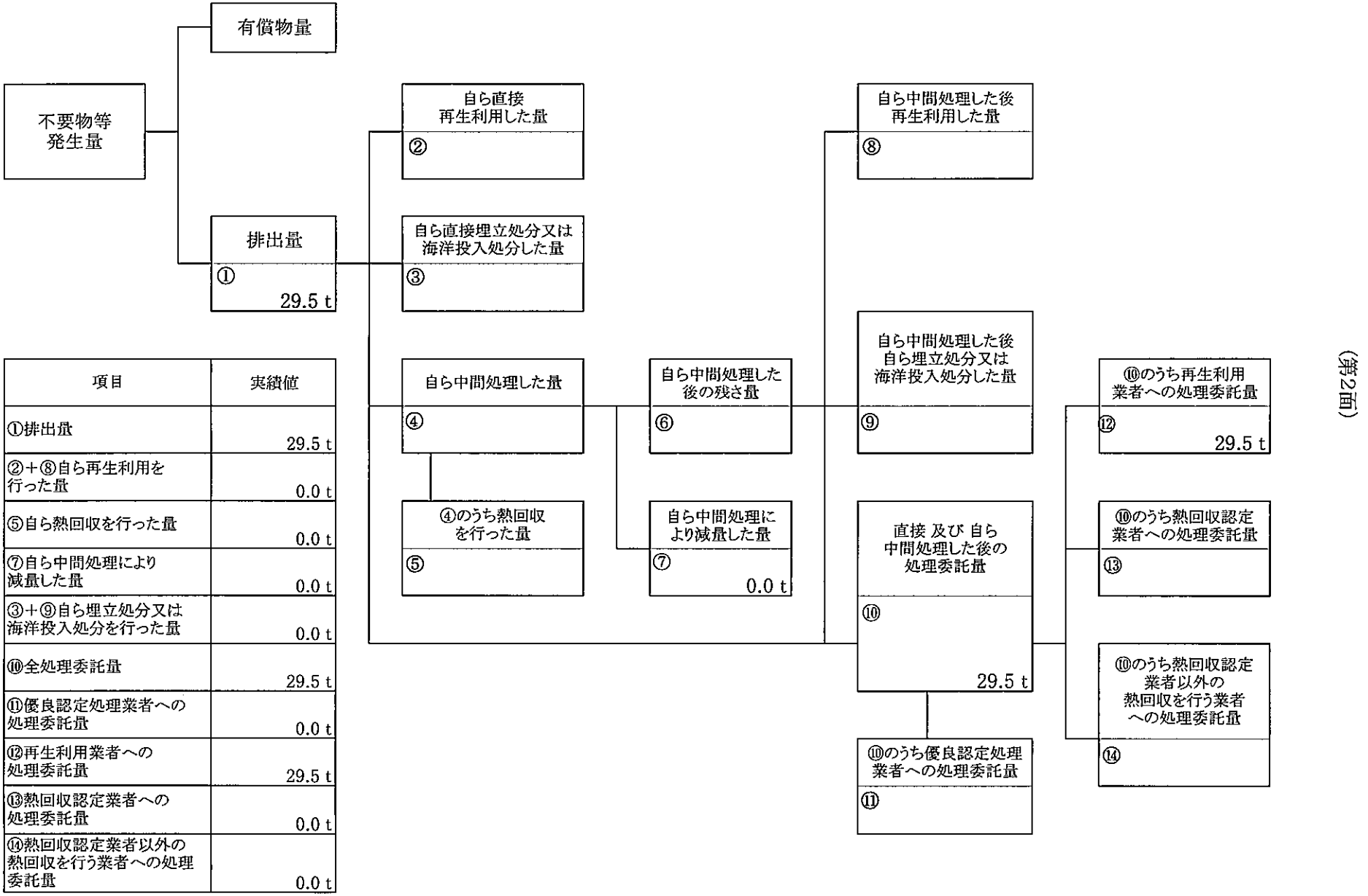


項目	実績値
①排出量	42.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	42.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	42.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**伐採材・伐根材**　）



項目	実績値
①排出量	29.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	29.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　270-0174

住　所　千葉県流山市下花輪1251

法人名　株式会社高橋工務店

代表者　高橋 順一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　04-7158-1302

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社高橋工務店
事業場の所在地	千葉県流山市下花輪1251
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高　２億４千万
③従業員数	５人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	解体現場→がれき類→委託処理（再生利用業者で処理） 発生現場→廃アルカリ→委託処理（再生利用業者で処理） 発生現場→建設混合廃棄物→委託処理（再生利用業者で処理）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

処理計画統括責任者（統括マネージャー）→技術課→廃棄物担当・処理計画作成担当（現場代理人）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
排出量	1522 t	3.4 t

（これまでに実施した取組）

請負工事の質と量により変動する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
排出量	1500 t	3 t

（今後実施する予定の取組）

請負工事の質と量により変動する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃棄物はそれぞれの種類別で処分している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

種類別に処分する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		がれき類	廃アルカリ
全処理委託量		1522 t	3.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1522 t	3.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

再生利用業者と適正に契約を締結し、委託処理を行った。

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1500 ｔ</td><td>3 ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>1500 ｔ</td><td>3 ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
再生利用業者と適正に契約を締結し、委託処理を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月30日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　270-0174

住所 千葉県流山市下花輪1251

法人名 株式会社高橋工務店

代表者 高橋 順一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 04-7158-1302

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社高橋工務店
事業場の所在地	千葉県流山市下花輪1251
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

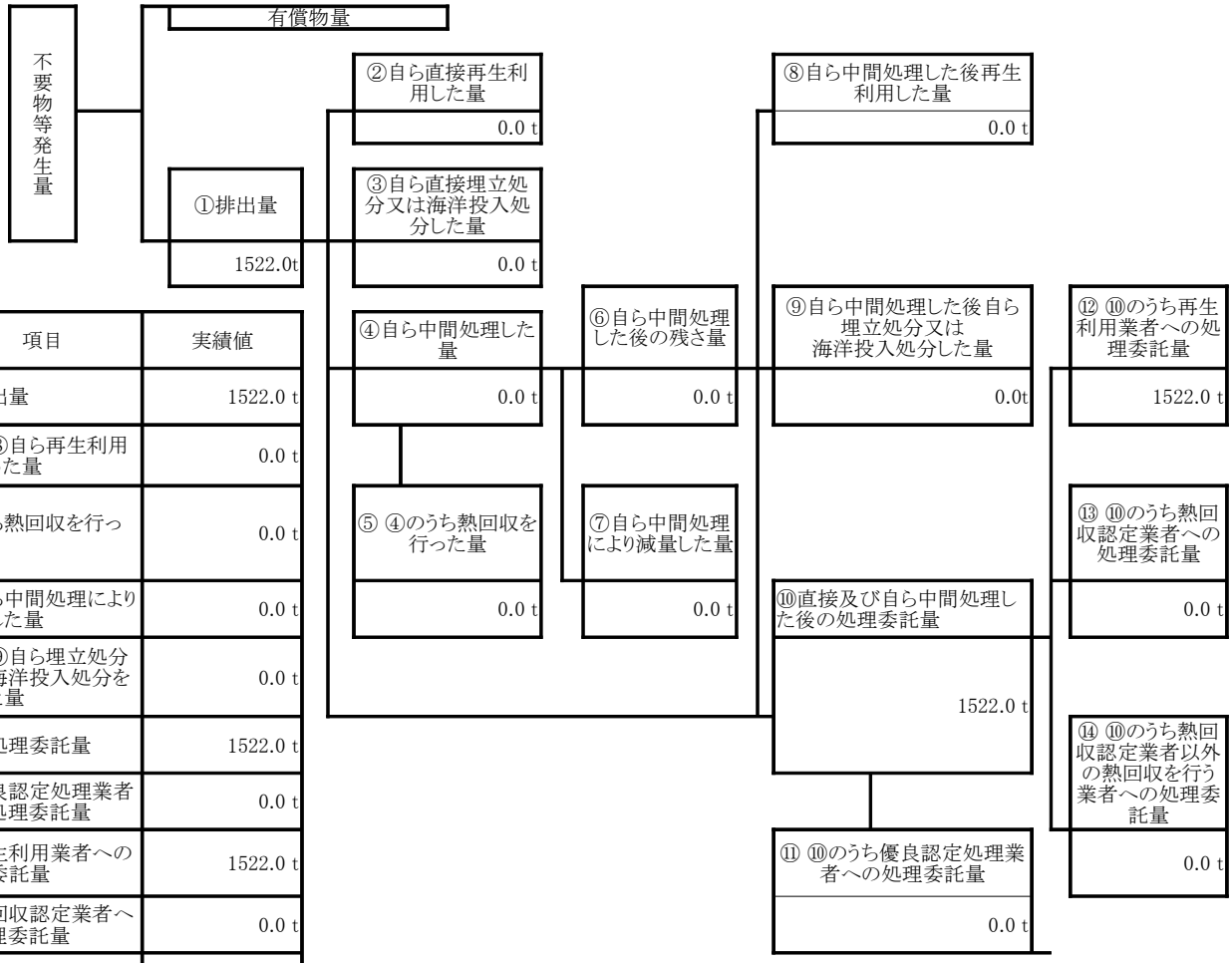
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2400 t	全処理委託量	2400 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2400 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

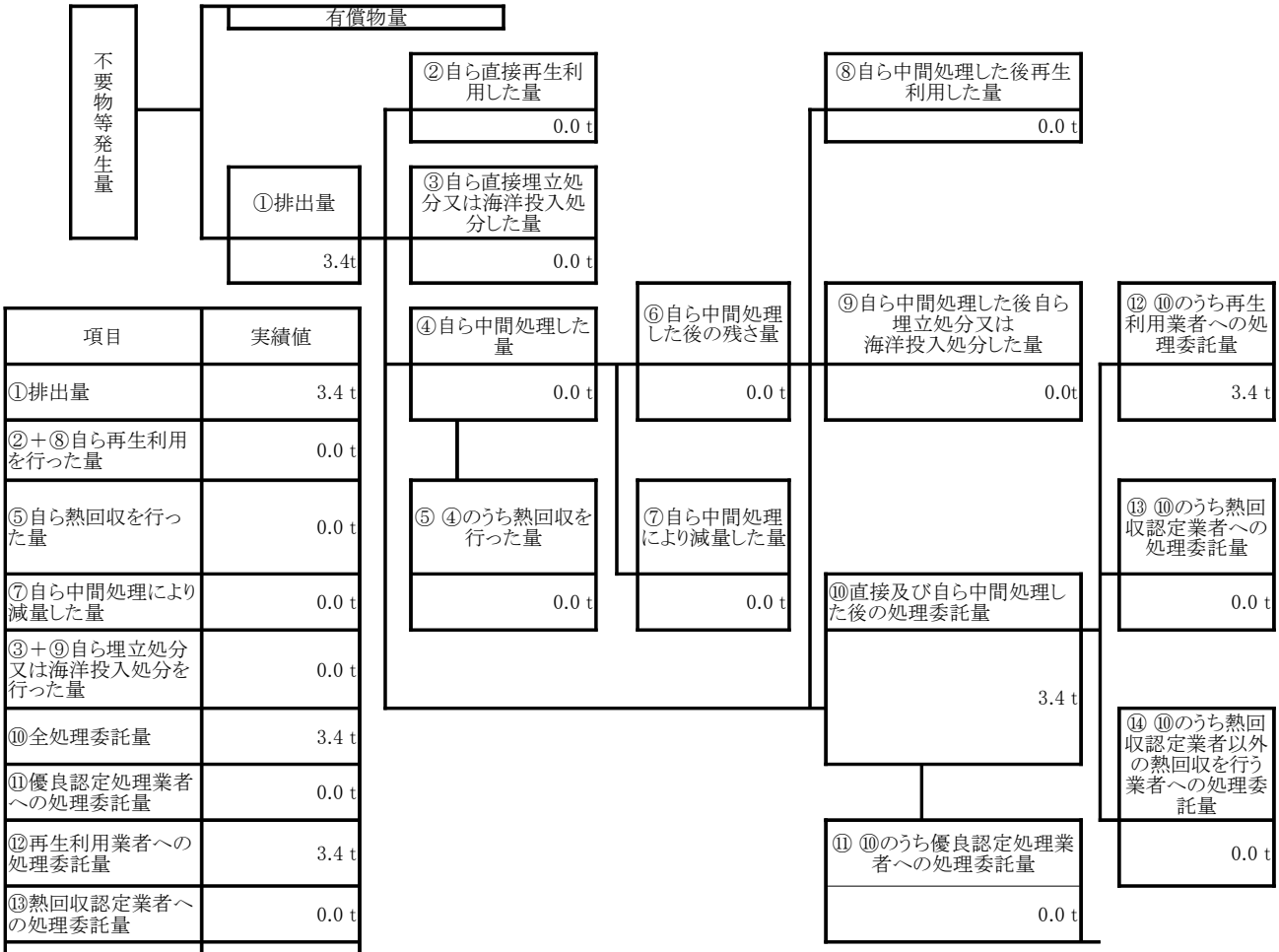


項目	実績値
①排出量	1522.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1522.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1522.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

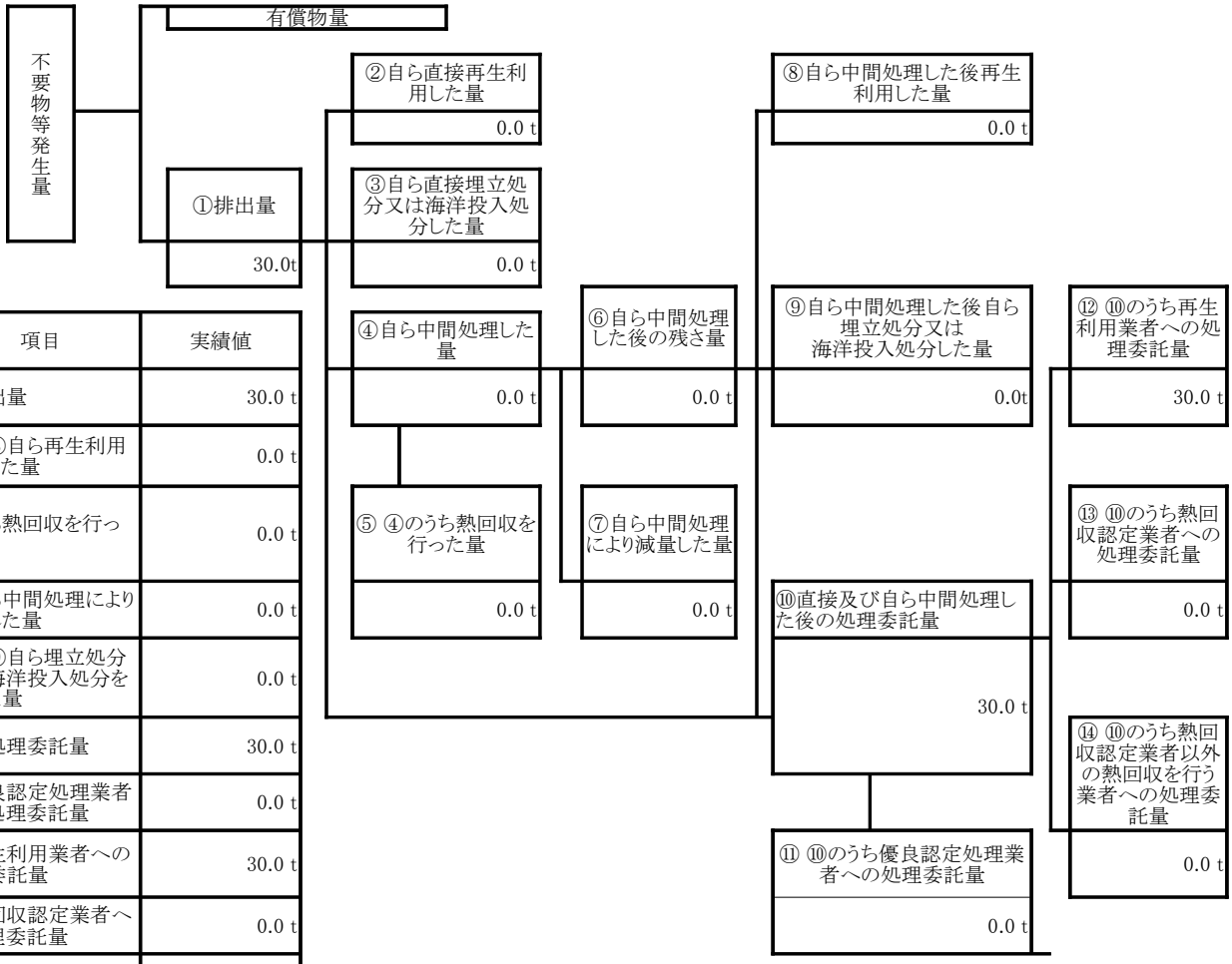


項目	実績値
①排出量	3.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	30.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	30.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月12日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区芝4-8-2

氏 名 髙松建設株式会社東京本店

取締役専務執行役員本店長 工藤孝宏

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3455-8144

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	髙松建設株式会社東京本店管轄内　各事業場
事業場の所在地	東京都港区芝4-8-2
事業の種類	D建設業　（０６　総合工事業）
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

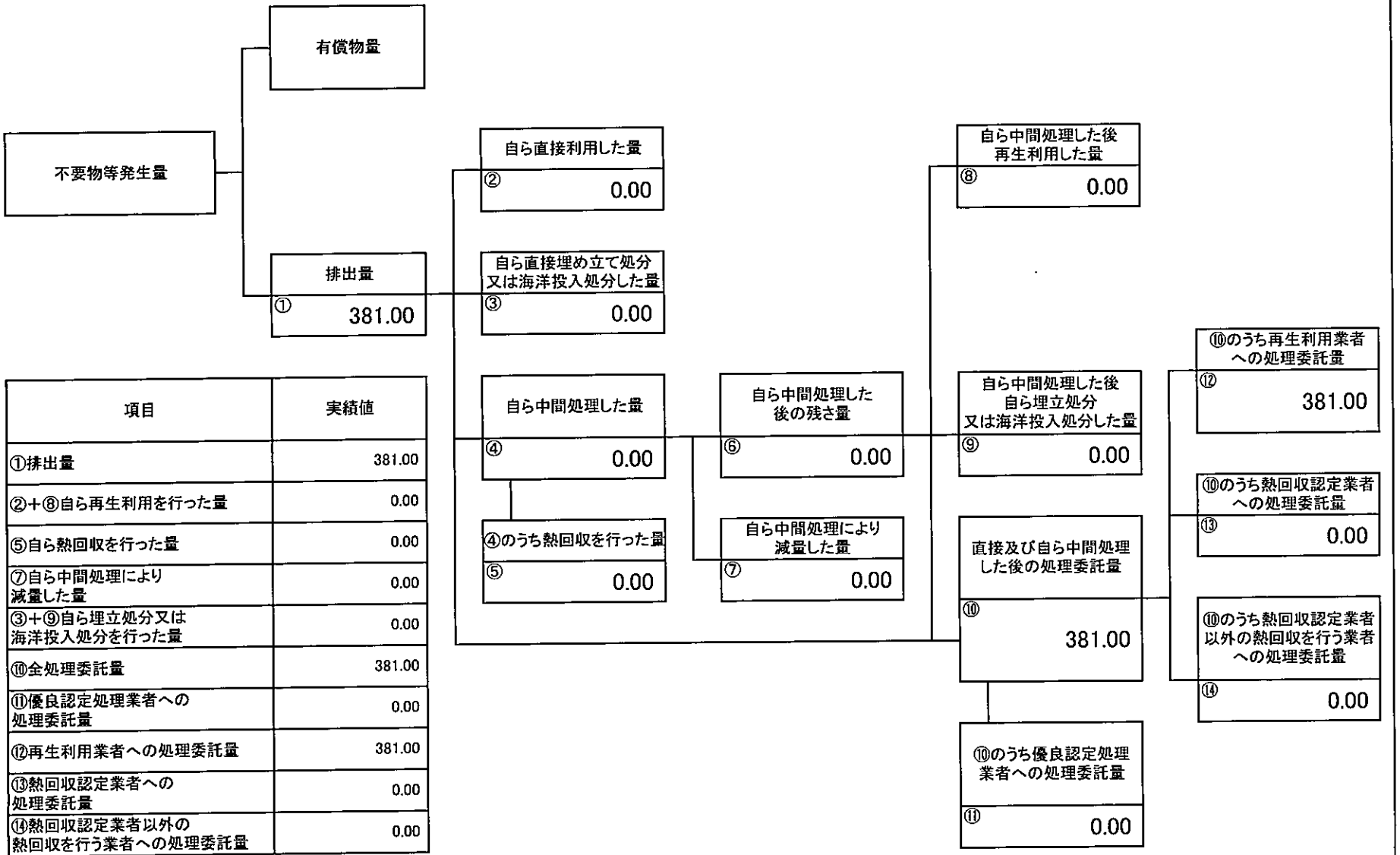
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,210.01 t	全処理委託量	7,210.01 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	4,320.05 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	2,377.61 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）



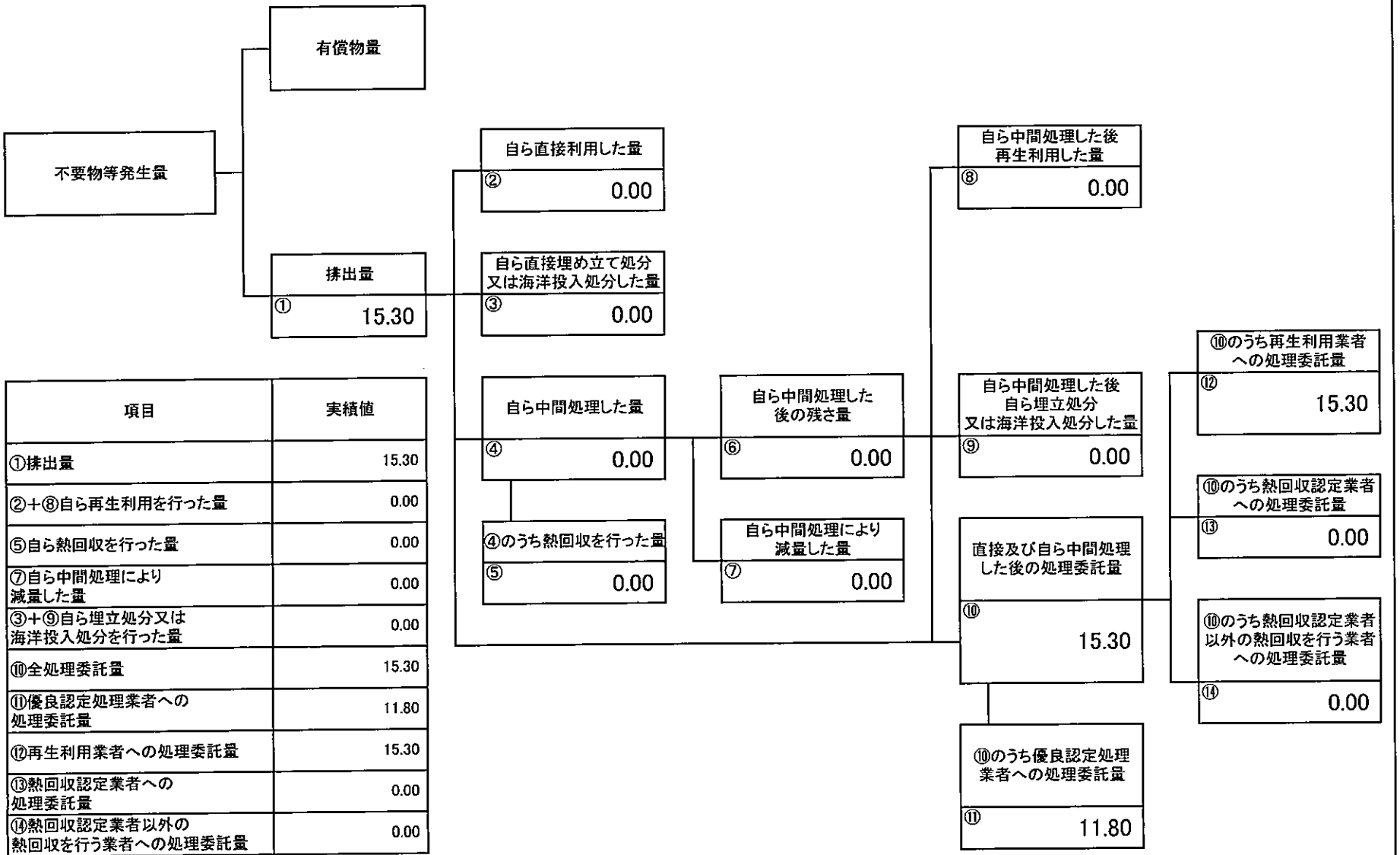
項目	実績値
①排出量	381.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	381.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	381.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類　　）

（単位：トン）



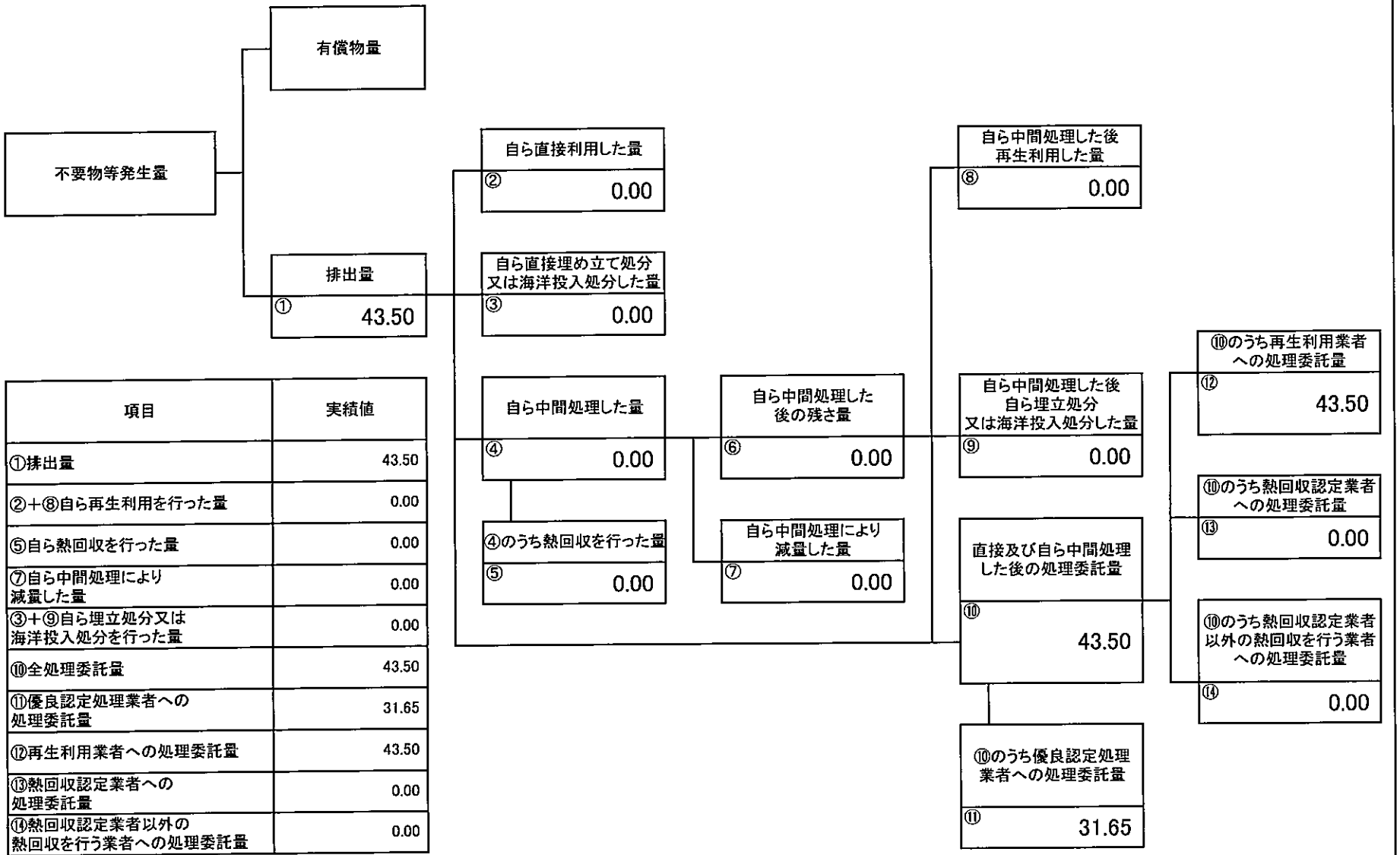
項目	実績値
①排出量	15.30
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	15.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.80
⑫再生利用業者への処理委託量	15.30
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）



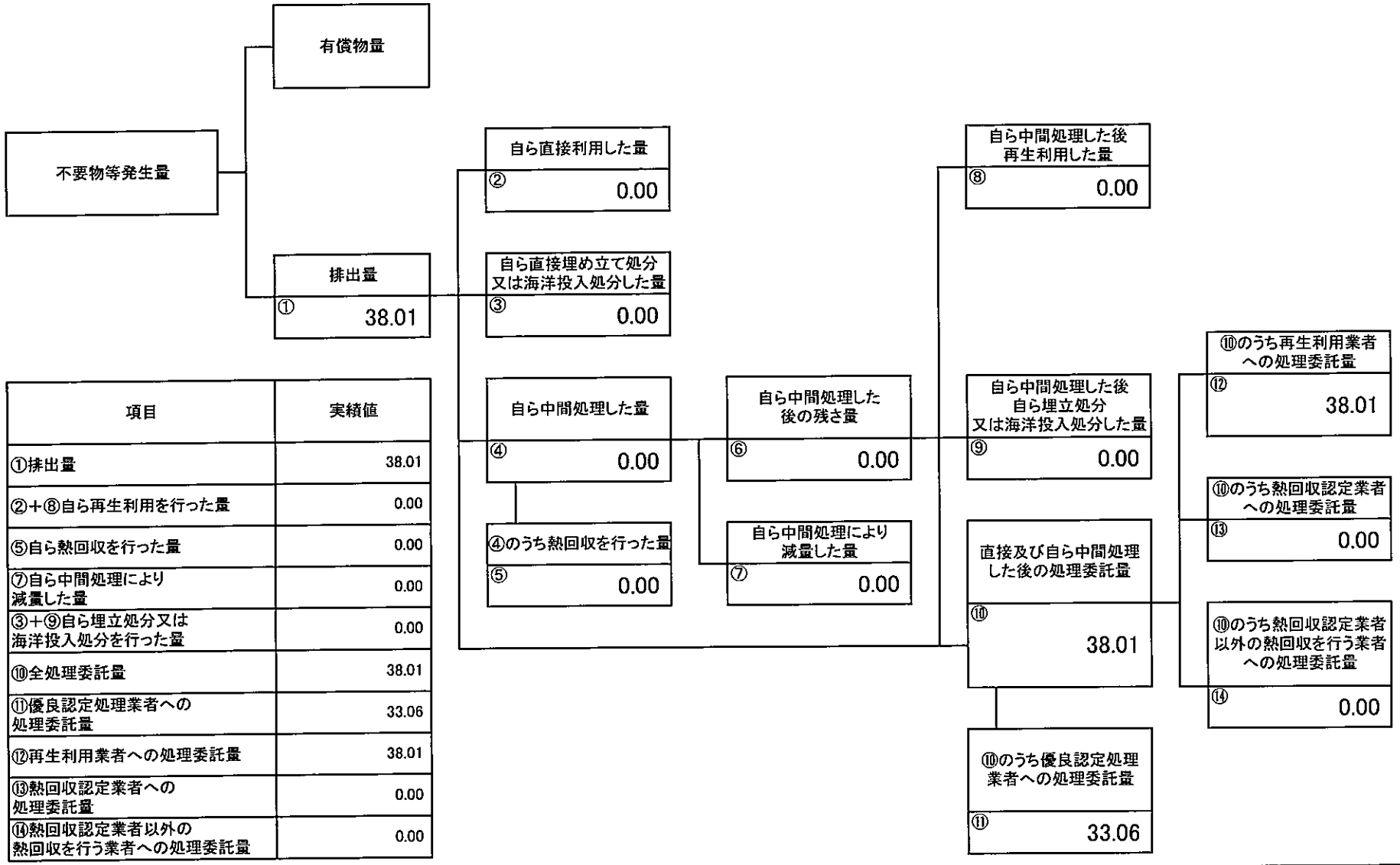
項目	実績値
①排出量	43.50
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	43.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.65
⑫再生利用業者への処理委託量	43.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

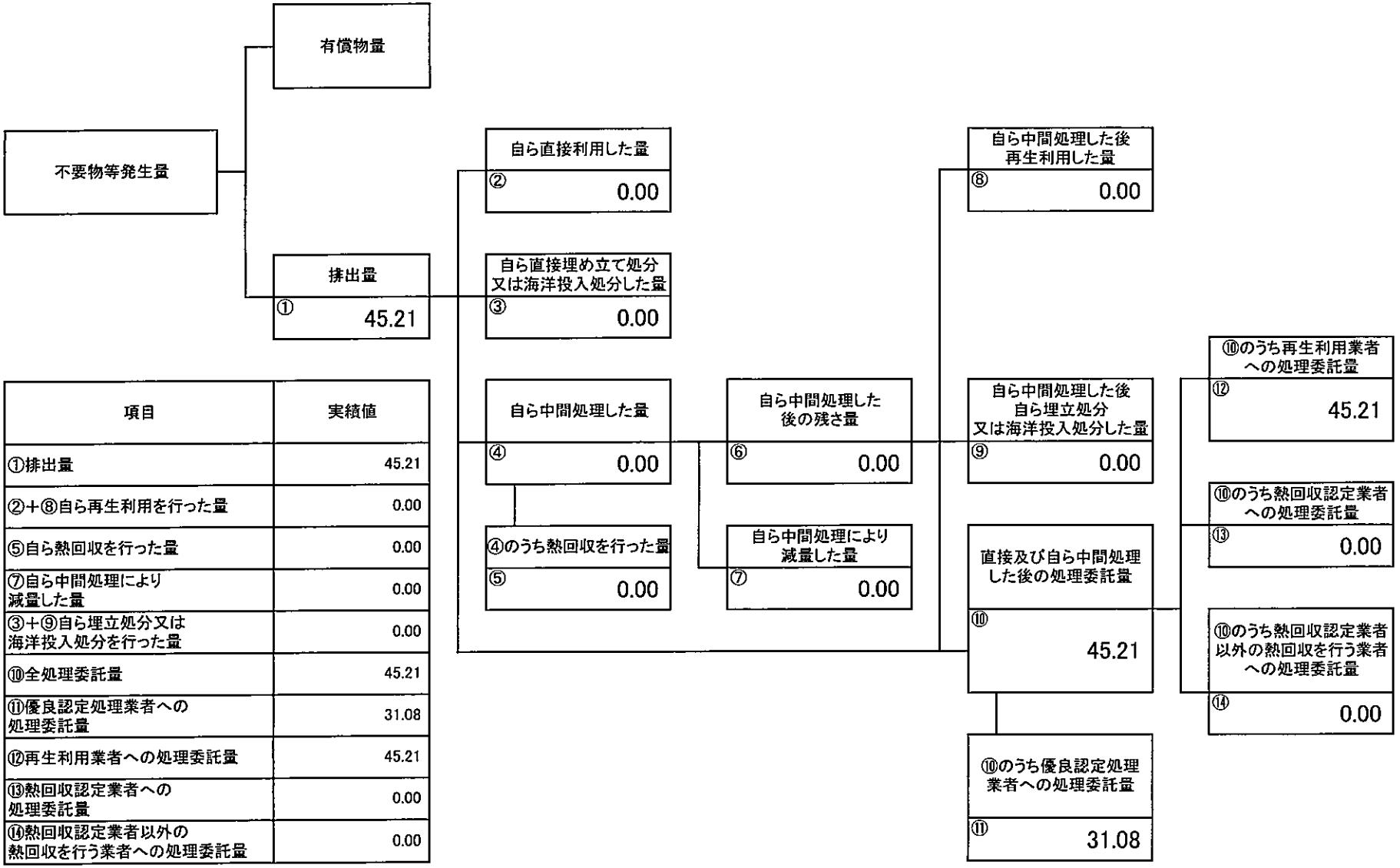


項目	実績値
①排出量	38.01
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	38.01
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.06
⑫再生利用業者への処理委託量	38.01
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず　　）

（単位：トン）



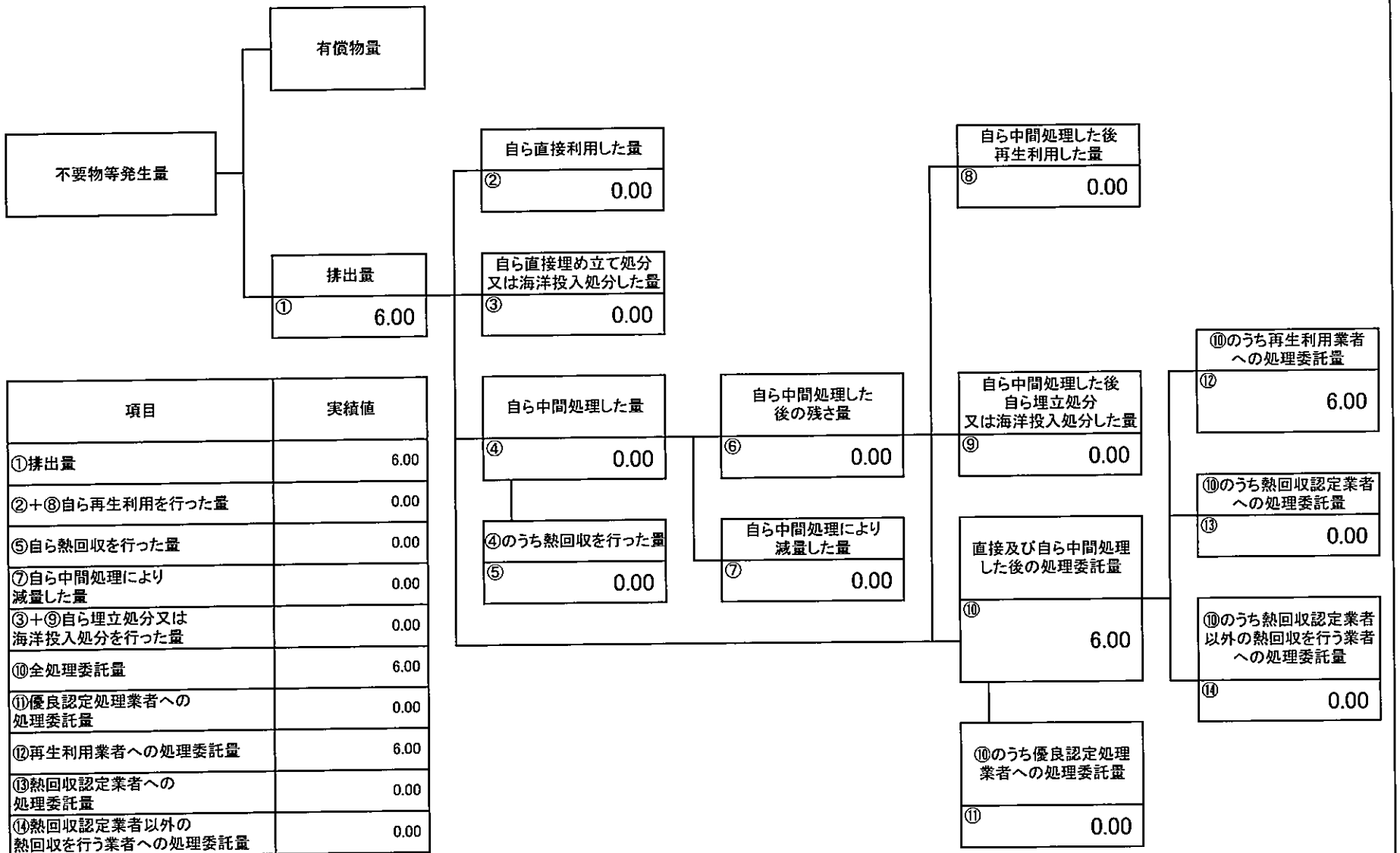
項目	実績値
①排出量	45.21
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	45.21
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.08
⑫再生利用業者への処理委託量	45.21
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）



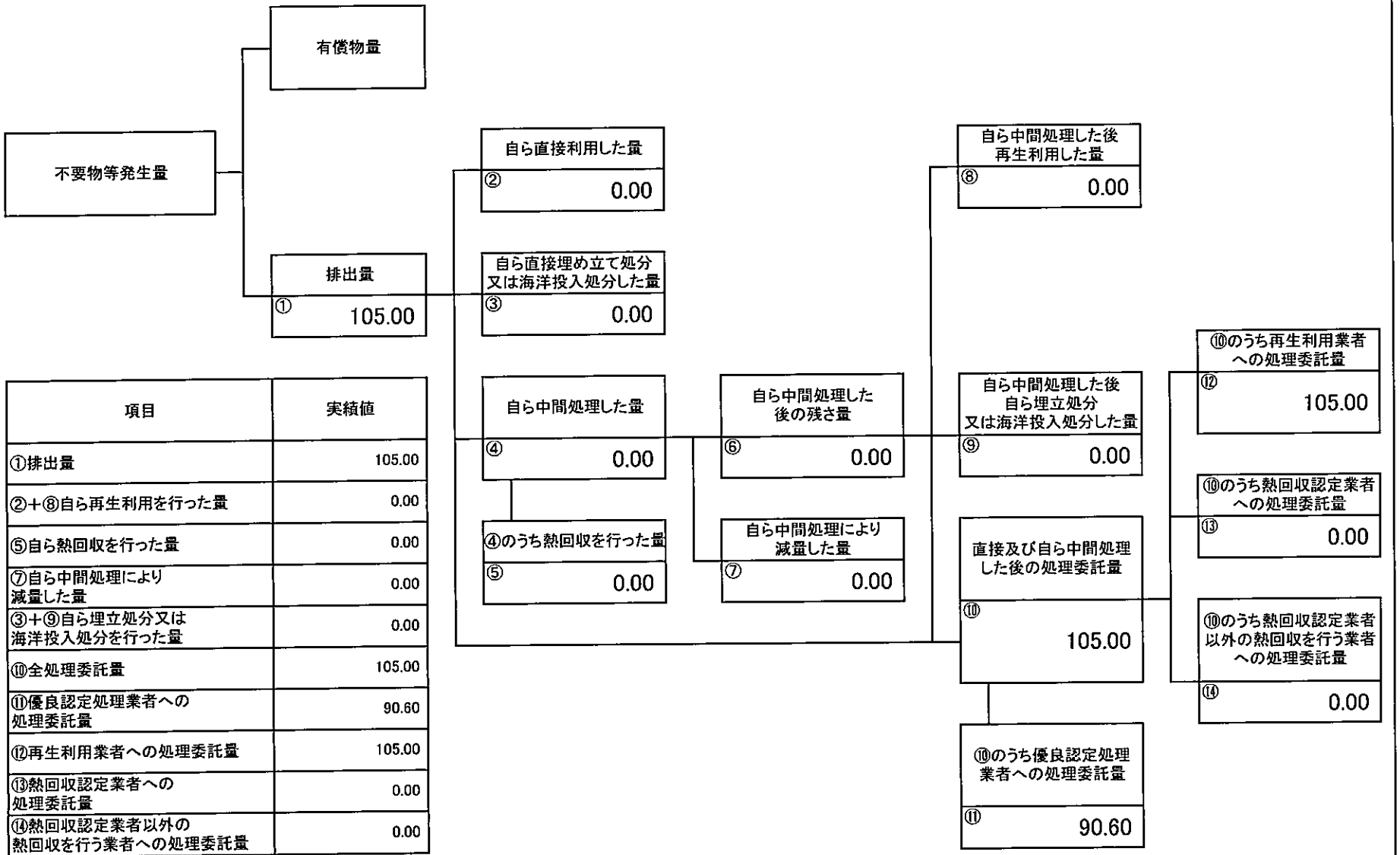
項目	実績値
①排出量	6.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	6.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	6.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

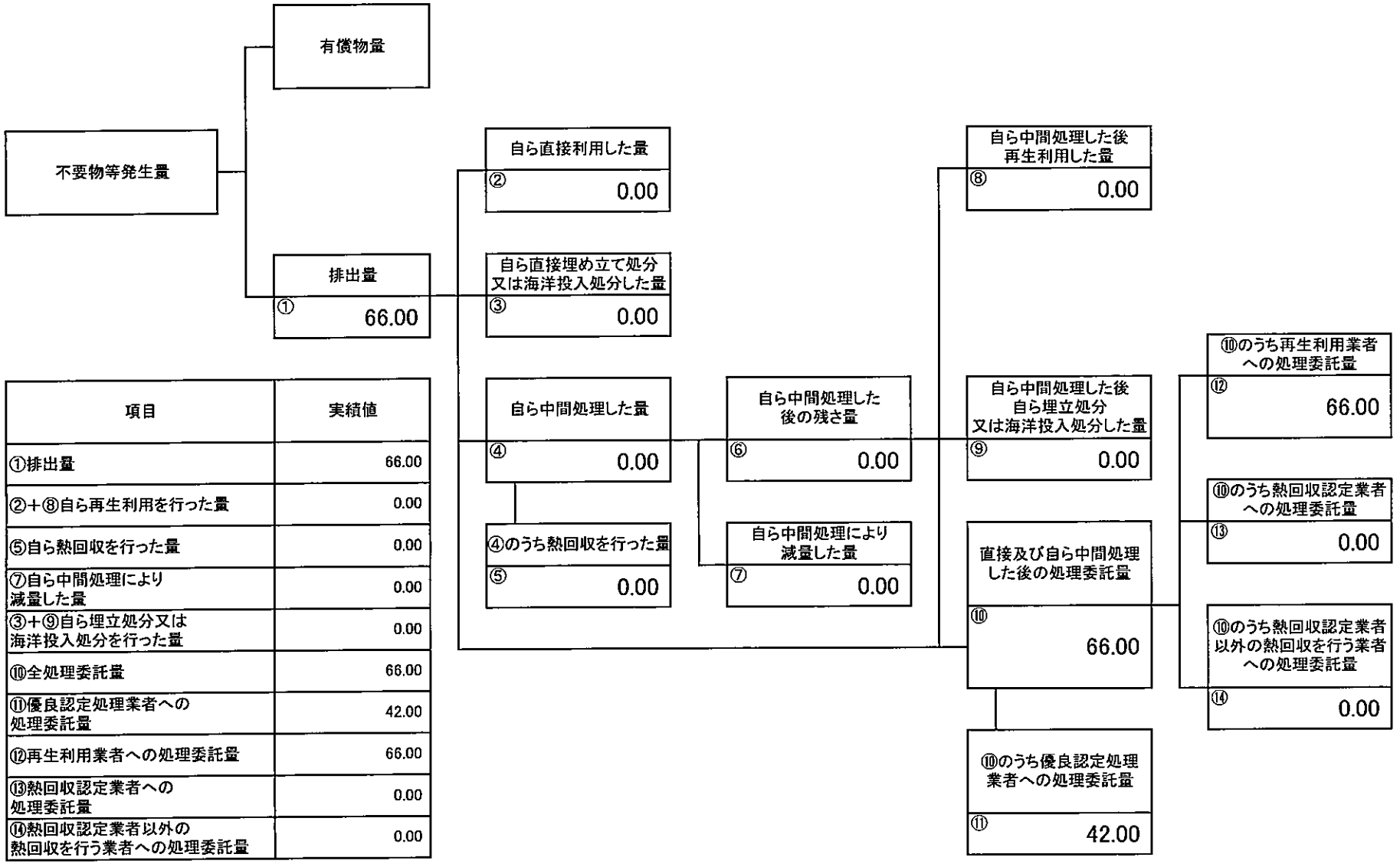


項目	実績値
①排出量	105.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	105.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	90.60
⑫再生利用業者への処理委託量	105.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

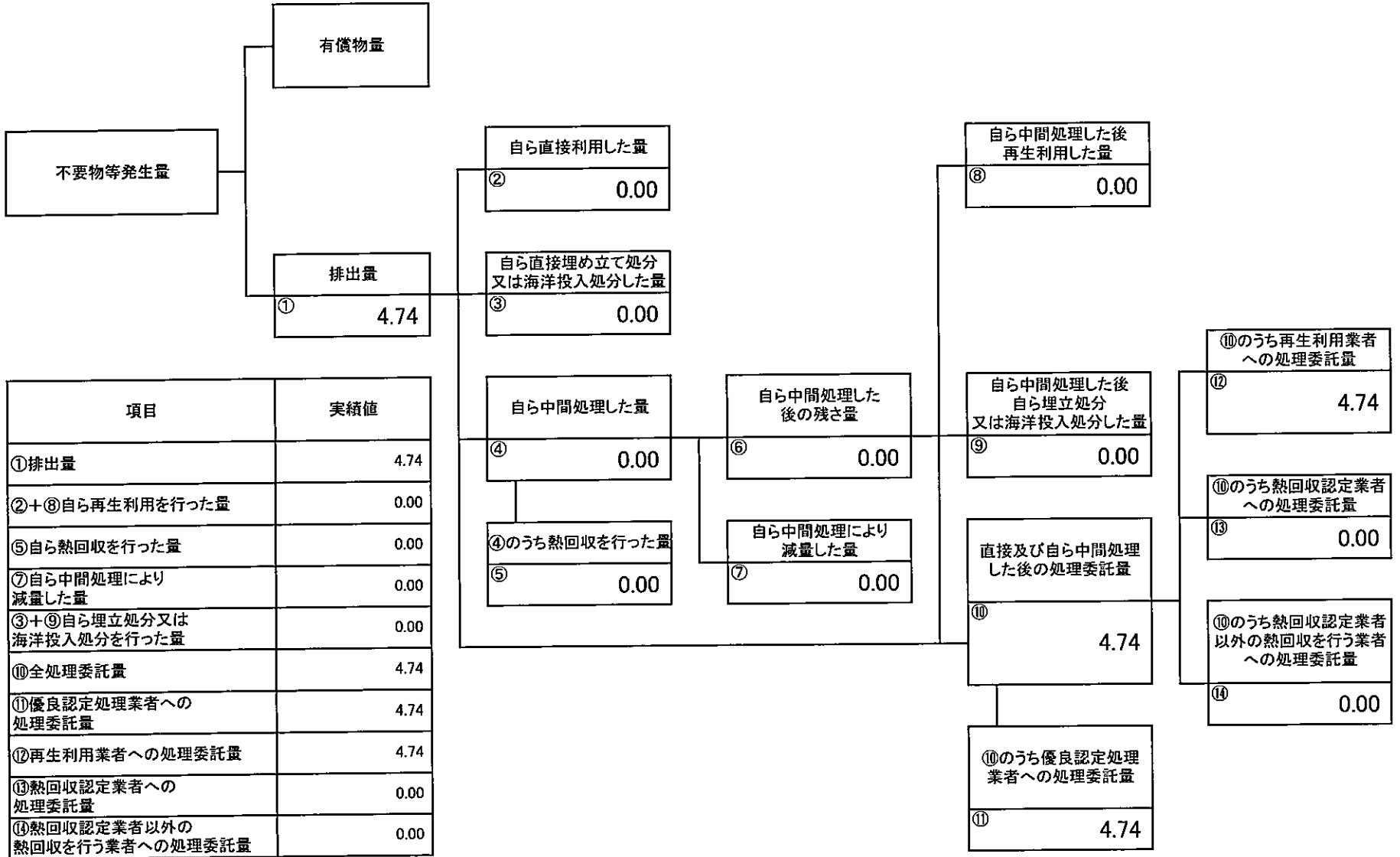


項目	実績値
①排出量	66.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	66.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.00
⑫再生利用業者への処理委託量	66.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

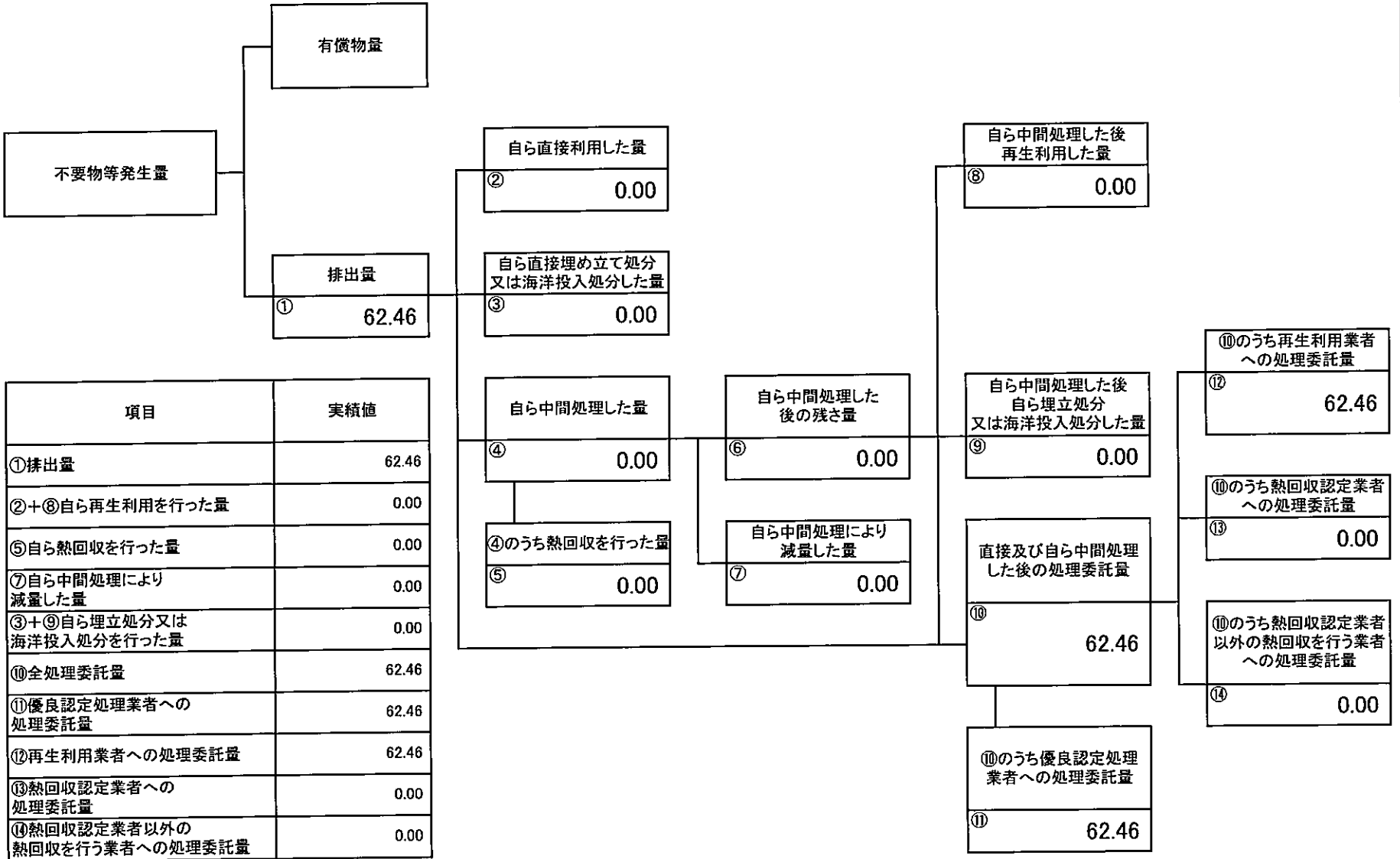


項目	実績値
①排出量	4.74
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.74
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.74
⑫再生利用業者への処理委託量	4.74
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 その他がれき類　　）

（単位：トン）

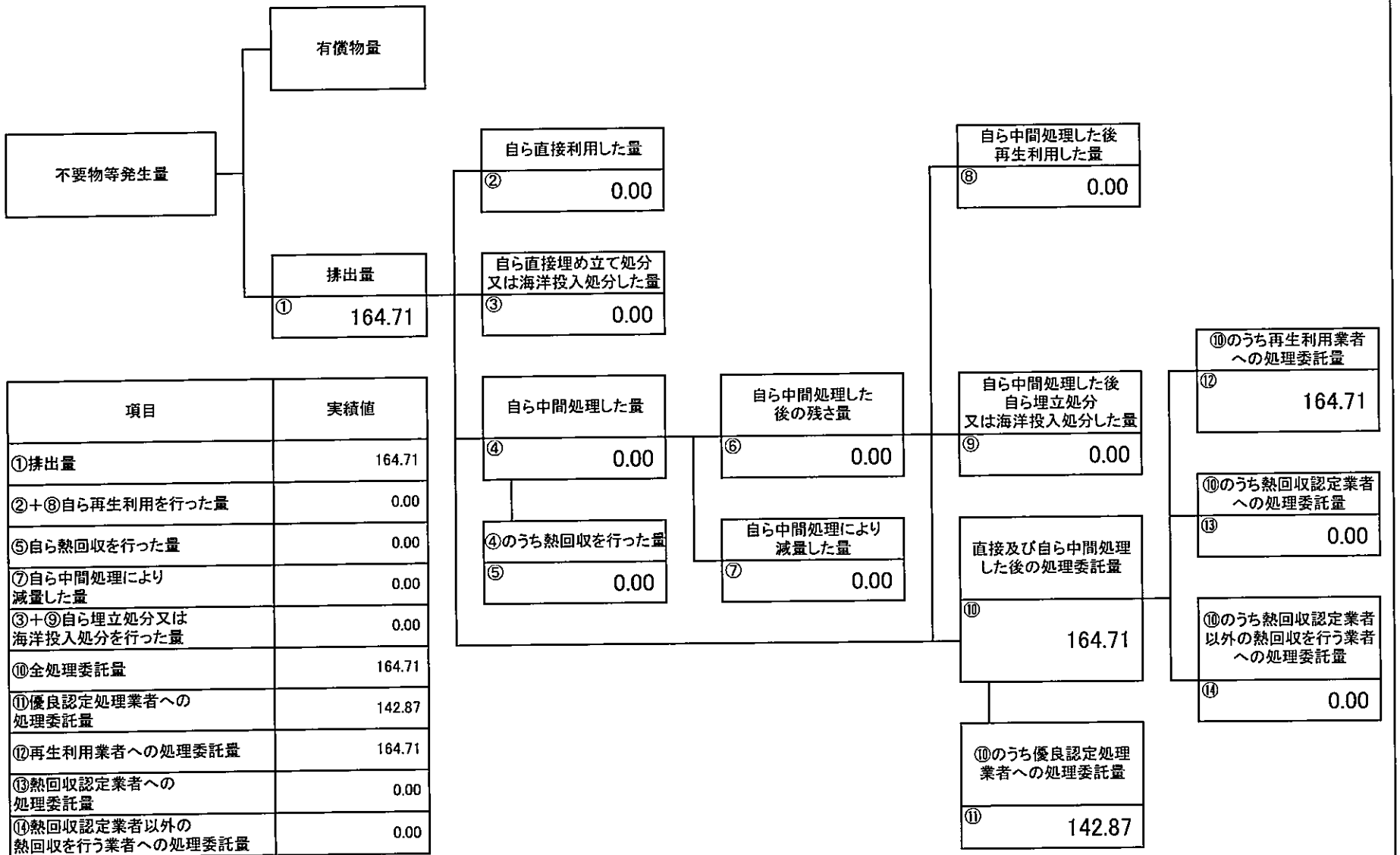


項目	実績値
①排出量	62.46
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	62.46
⑪優良認定処理業者への処理委託量	62.46
⑫再生利用業者への処理委託量	62.46
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	164.71
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	164.71
⑪優良認定処理業者への処理委託量	142.87
⑫再生利用業者への処理委託量	164.71
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月1日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　272-0111

住　所　千葉県市川市妙典3-23-11

法人名　株式会社　瀧澤興業

代表者　瀧澤 峰人

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-701-0770

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　瀧澤興業
事業場の所在地	千葉県市川市妙典3-23-11
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　２．５億円
③従業員数	４人（正社員）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(処理工程)

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	－ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 別紙の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	－ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 別紙の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工事工程で生じる産業廃棄物は、可能な限り種類毎に分別している。 建設混合廃棄物は、優良認定処理業者へ処理を委託している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 原材料として再生利用できる産業廃棄物は、種類毎に分別する。 建設混合廃棄物の全てを優良認定処理業者へ処理を委託する。

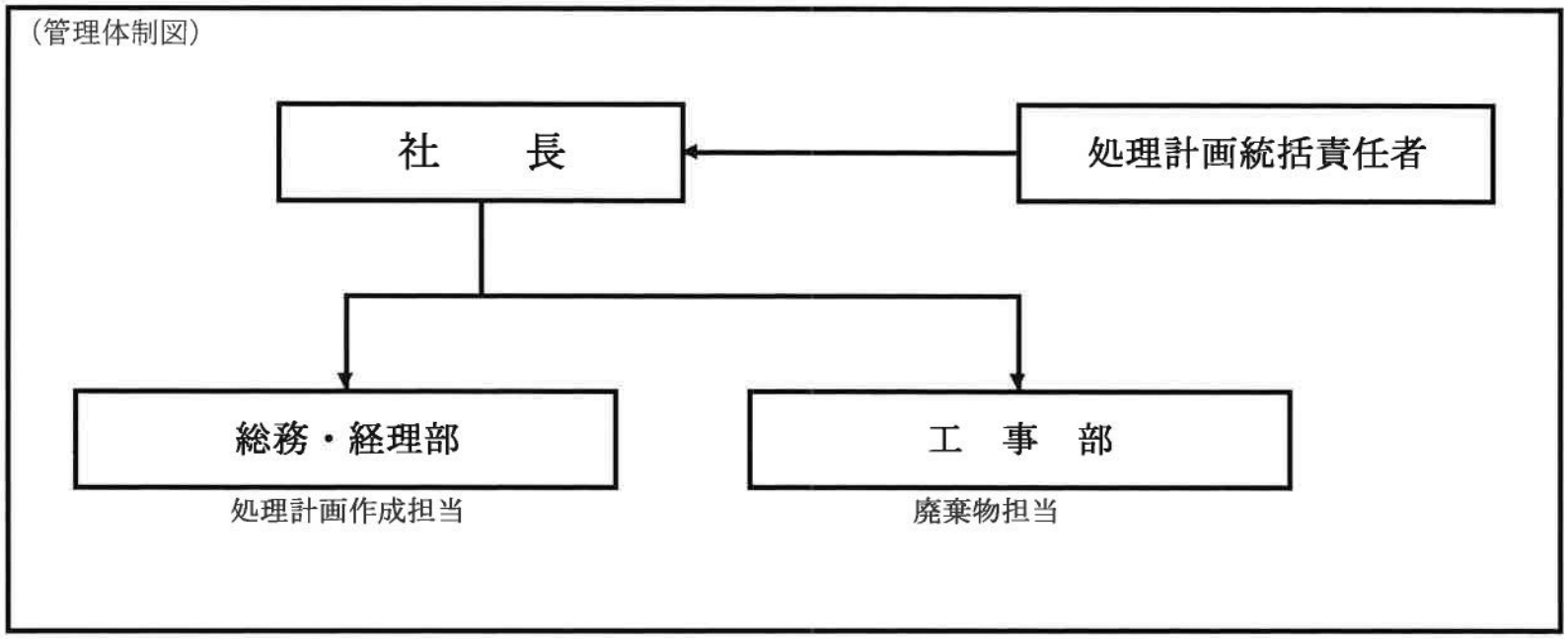
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙の通り</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙の通り</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙の通り</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙の通り</td></tr>
</table>

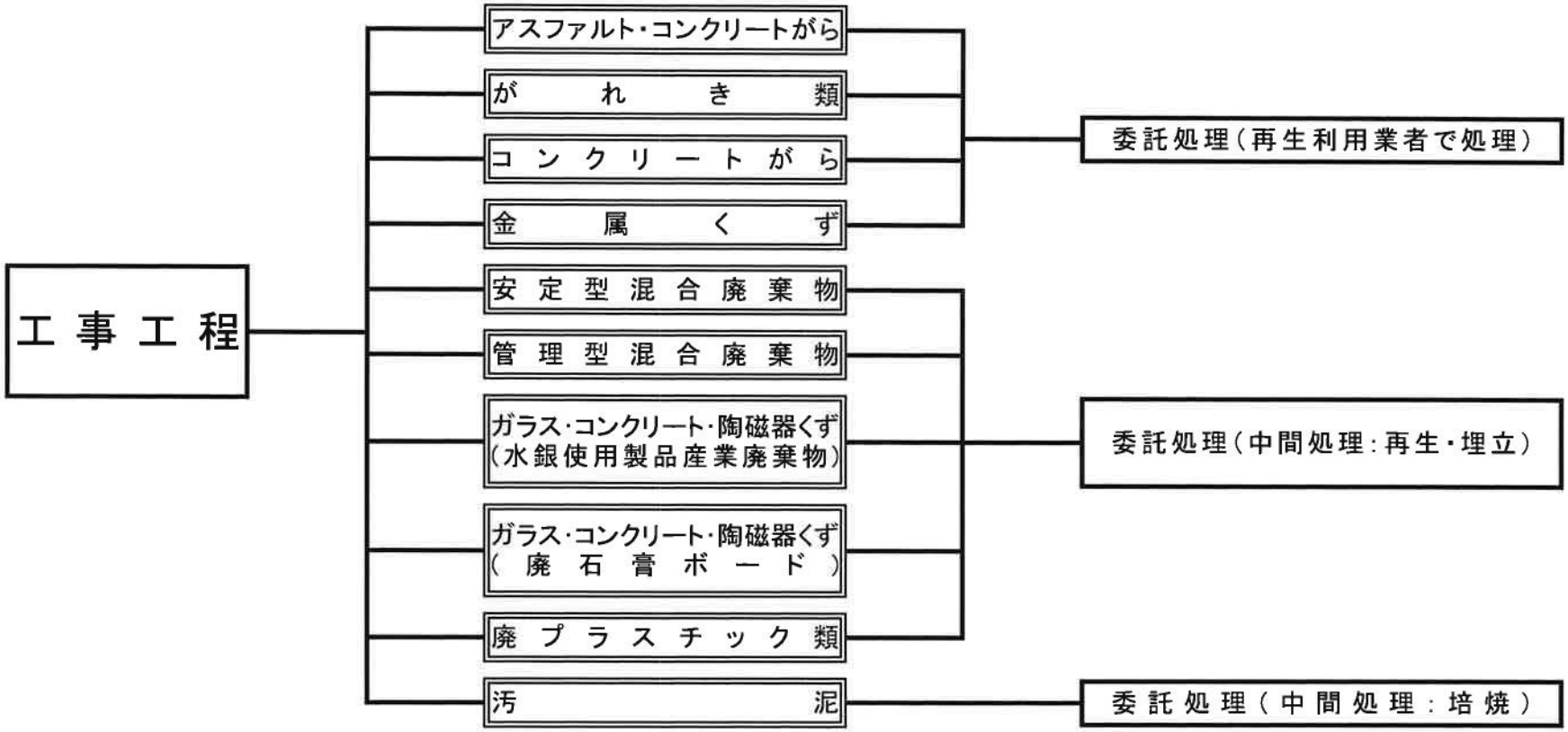
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙の通り</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙の通り</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙の通り</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>－ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
別紙の通り</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

（管理体制図）




工事工程
アスファルト・コンクリートがら
がれき類
コンクリートがら
金属くず
安定型混合廃棄物
管理型混合廃棄物
ガラス・コンクリート・陶磁器くず
(水銀使用製品産業廃棄物)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず
(廃石膏ボード)
廃プラスチック類
汚泥
委託処理(再生利用業者で処理)
委託処理(中間処理:再生・埋立)
委託処理(中間処理:培焼)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(木製使用製品産業廃棄物)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
排　出　量	729.5 t	686.6 t	2.6 t	6.4 t	2.3 t	0.7 t	0.7 t	0.2 t	0.3 t	0.4 t

（これまでに実施した取組）

再資源化の促進を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器く	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
排　出　量	700 t	650 t	2 t	6 t	2 t	1 t	1 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

再資源化の促進を計る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器く	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器く	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器く	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器く	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器く	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器く	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器く	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
全処理委託量	729.5 t	686.6 t	2.6 t	6.4 t	2.3 t	0.7 t	0.7 t	0.2 t	0.3 t	0.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0.7 t	0.7 t	0.2 t	0.3 t	0.4 t
再生利用業者への処理委託量	729.5 t	686.6 t	2.6 t	6.4 t	2.3 t	0.7 t	0.7 t	0.2 t	0.3 t	0.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

分別可能な産業廃棄物は、リサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託している。
建設混合廃棄物は、優良認定処理業者へ処理を委託している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが	がれき類	コンクリートがら	汚泥	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器く	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	廃プラスチック類
全処理委託量	700 t	650 t	2 t	6 t	2 t	1 t	1 t	0 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1 t	1 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	700 t	650 t	2 t	6 t	2 t	1 t	1 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

分別可能な産業廃棄物は、リサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託する。
建設混合廃棄物の全てを優良認定処理業者へ処理を委託する。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月1日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　272-0111

住所 千葉県市川市妙典3-23-11

法人名 株式会社 瀧澤興業

代表者 瀧澤 峰人

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-701-0770

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 瀧澤興業
事業場の所在地	千葉県市川市妙典3-23-11
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1622.8 t	全処理委託量	1622.8 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1620 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

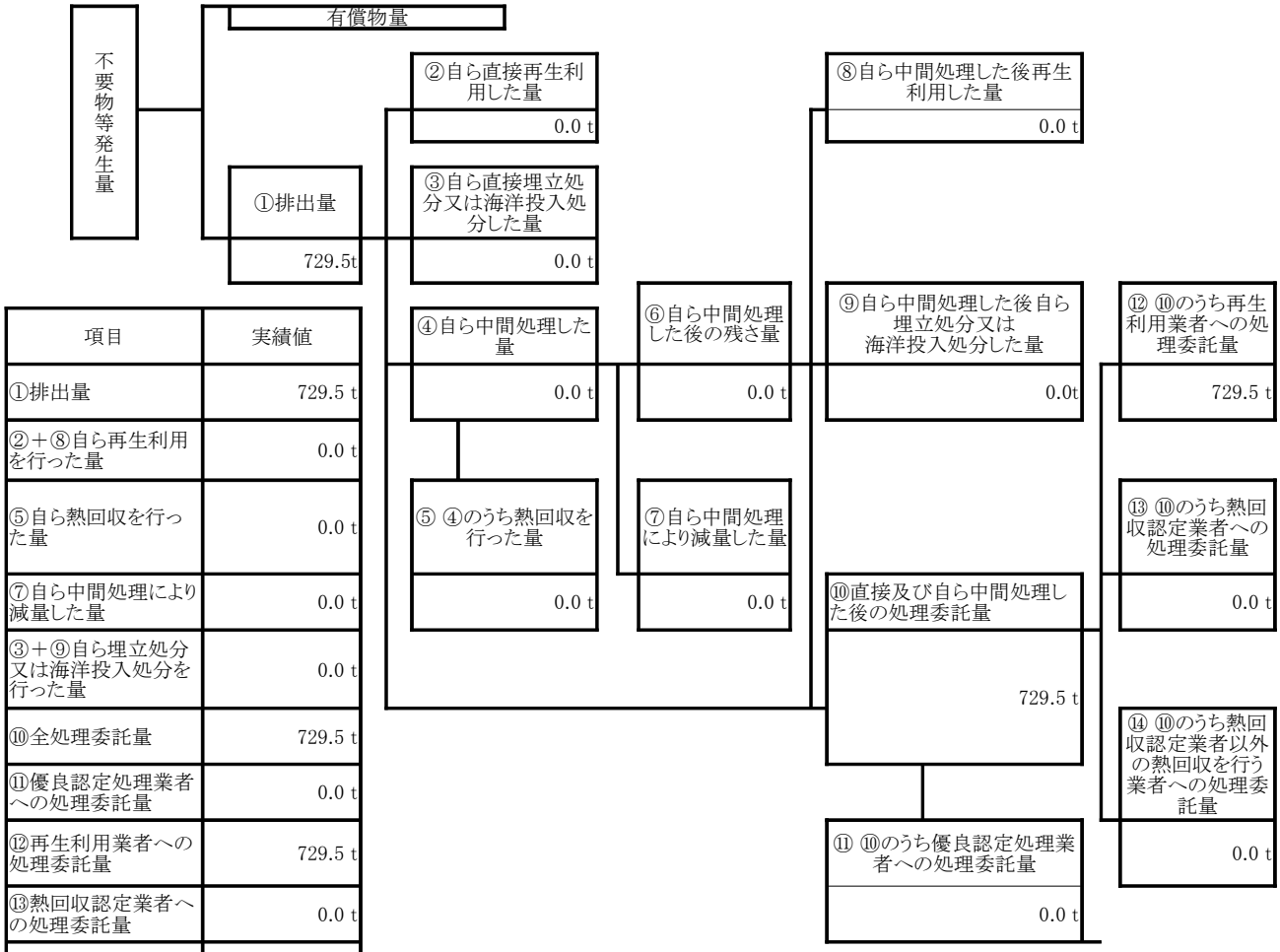
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

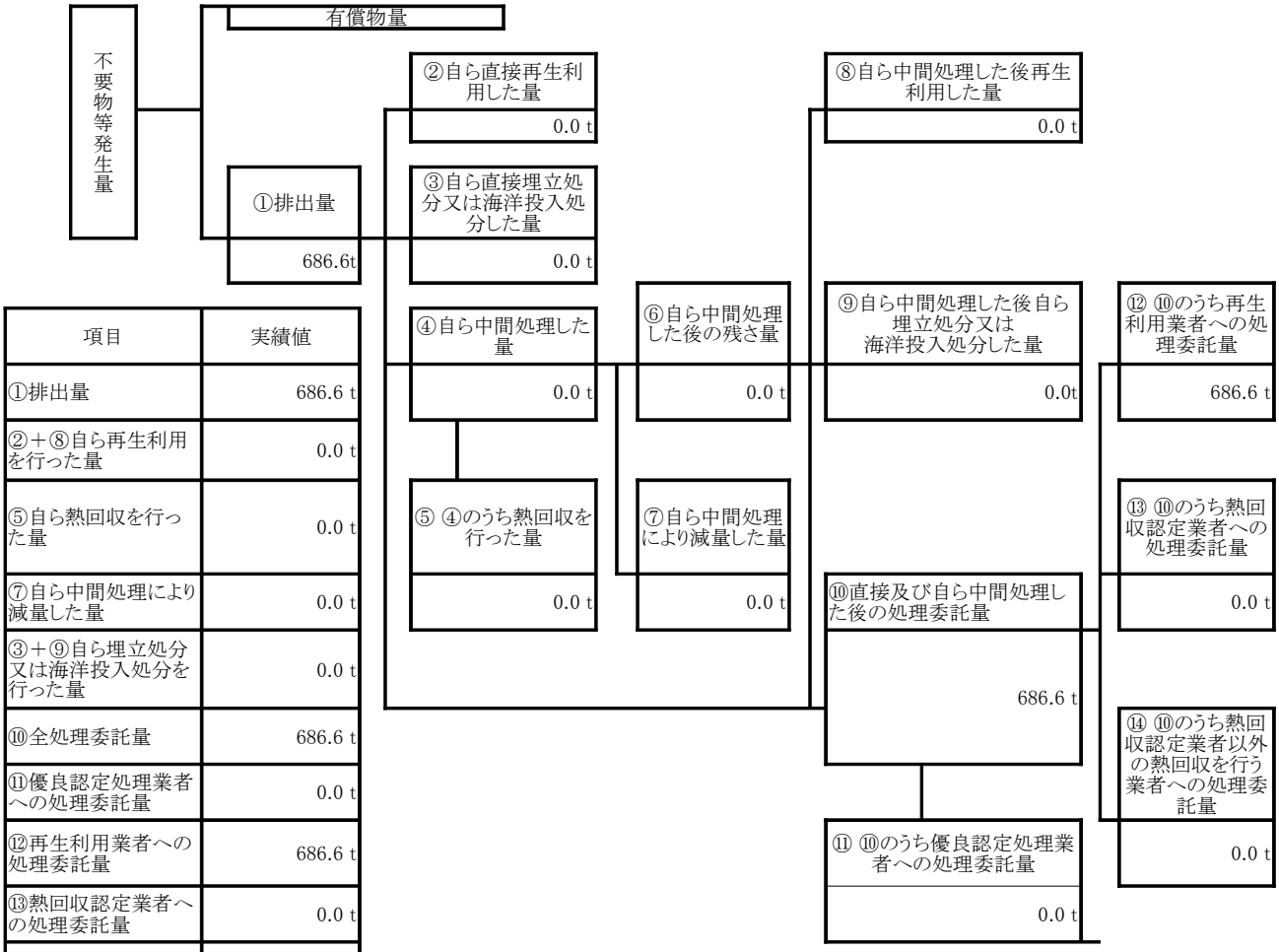


項目	実績値
①排出量	729.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	729.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	729.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

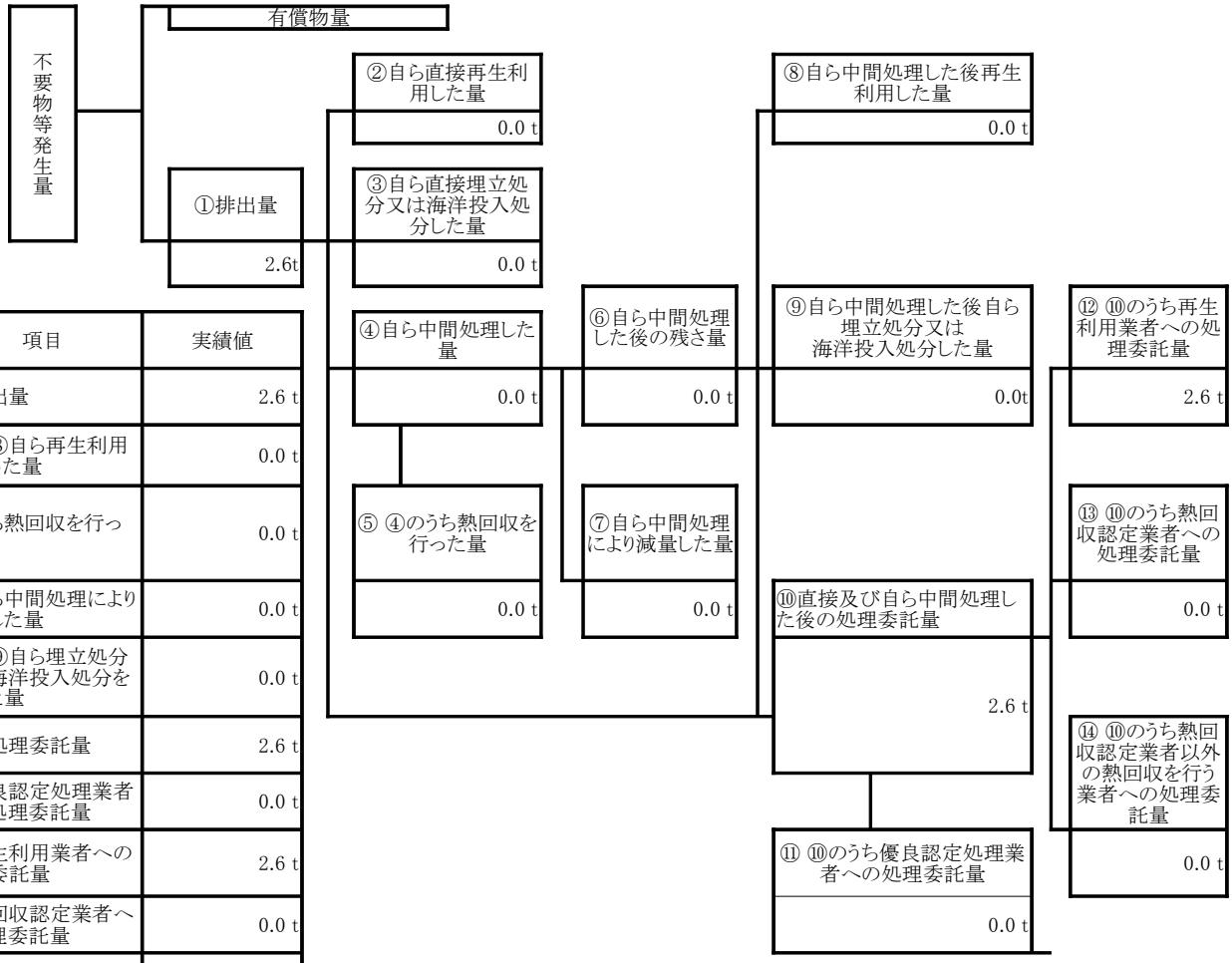


項目	実績値
①排出量	686.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	686.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	686.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

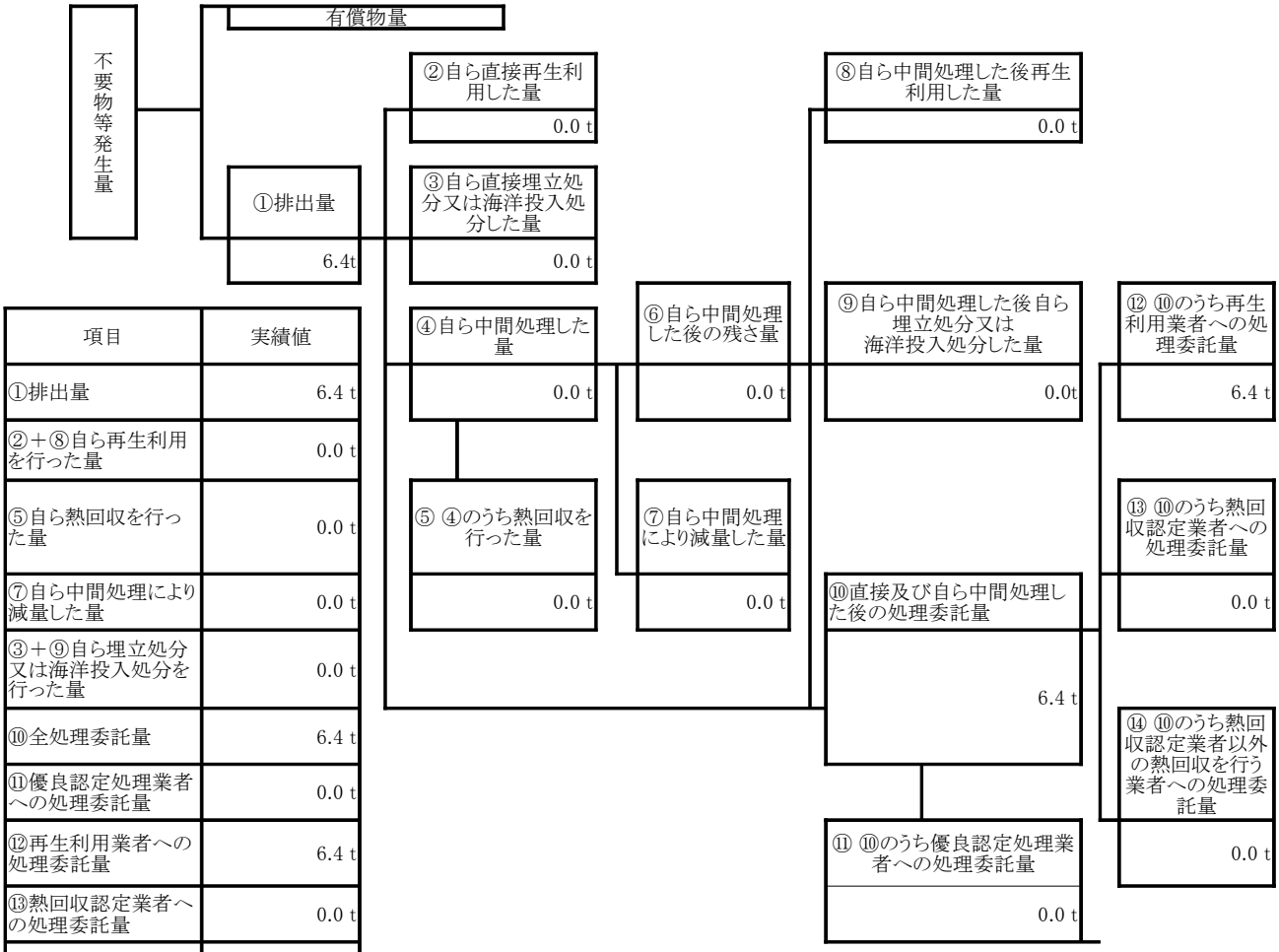


項目	実績値
①排出量	2.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

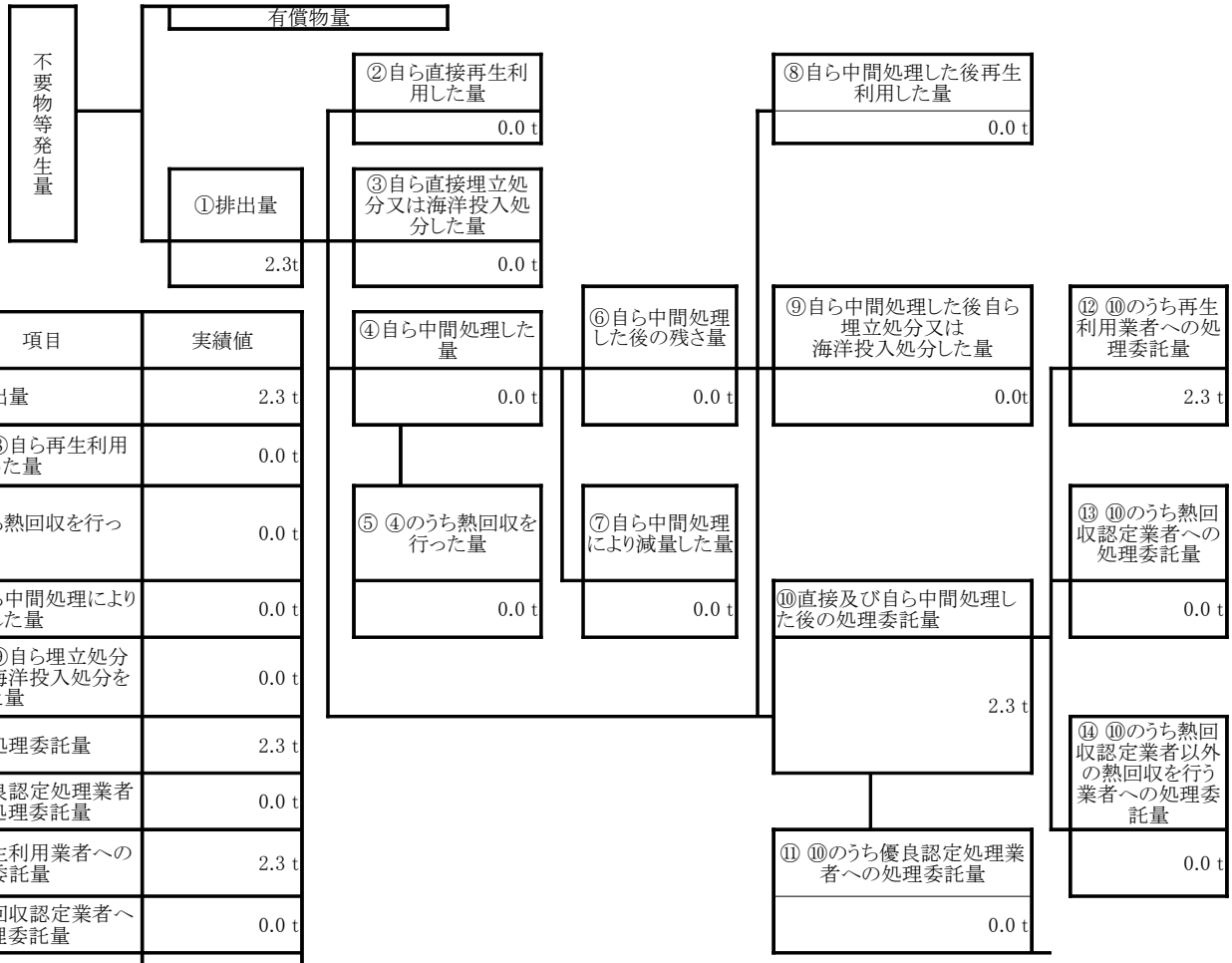


項目	実績値
①排出量	6.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

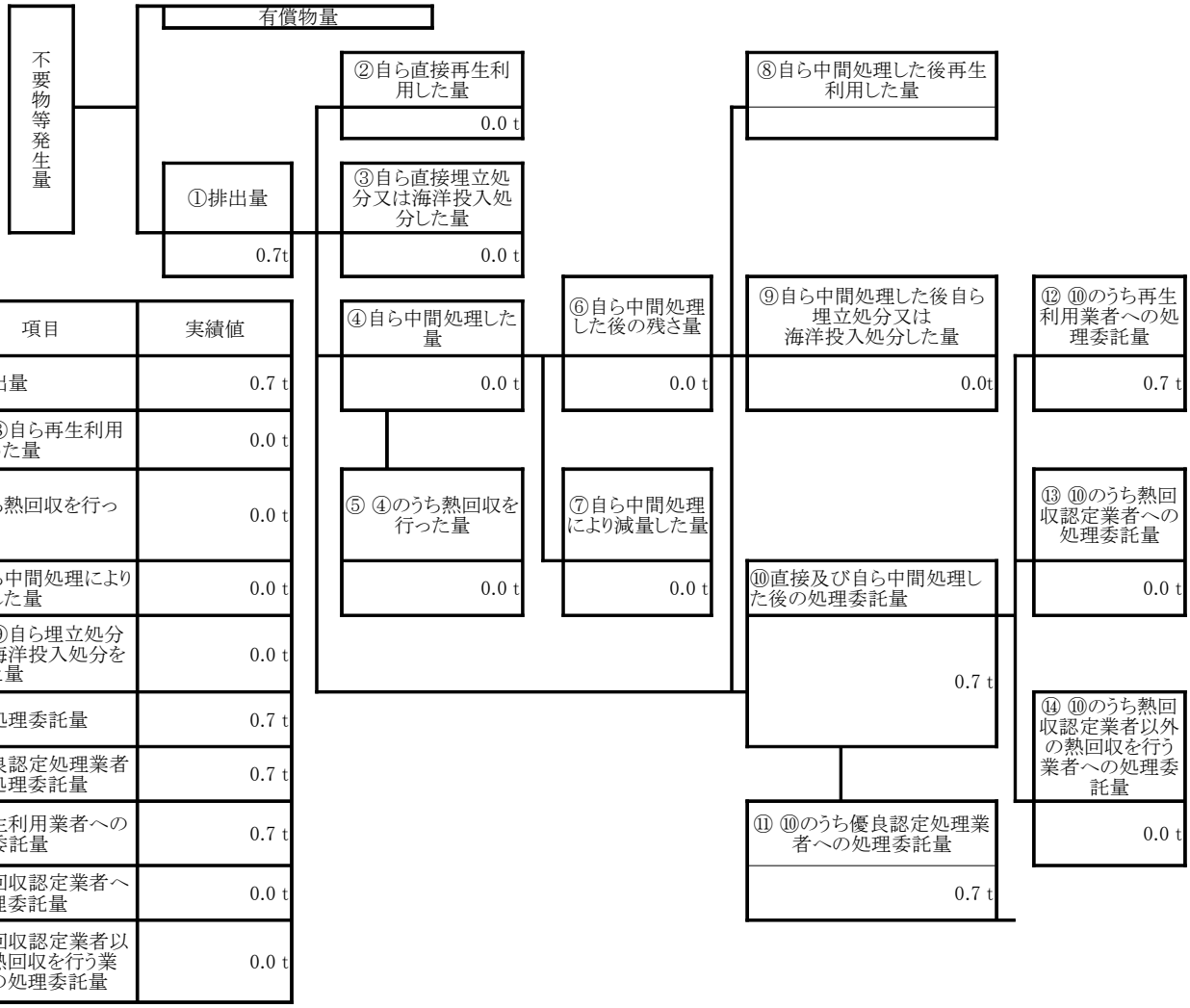


項目	実績値
①排出量	2.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

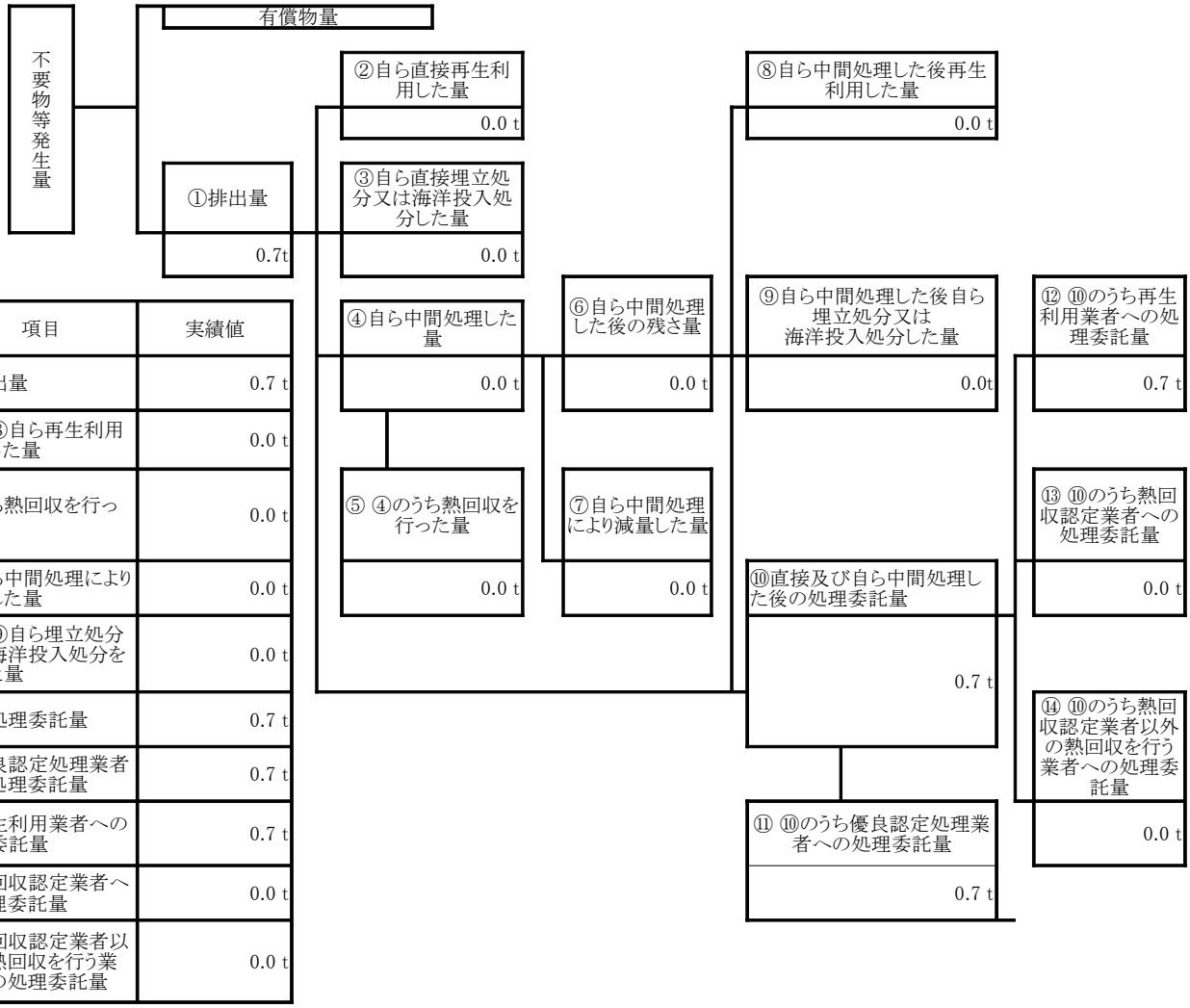


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

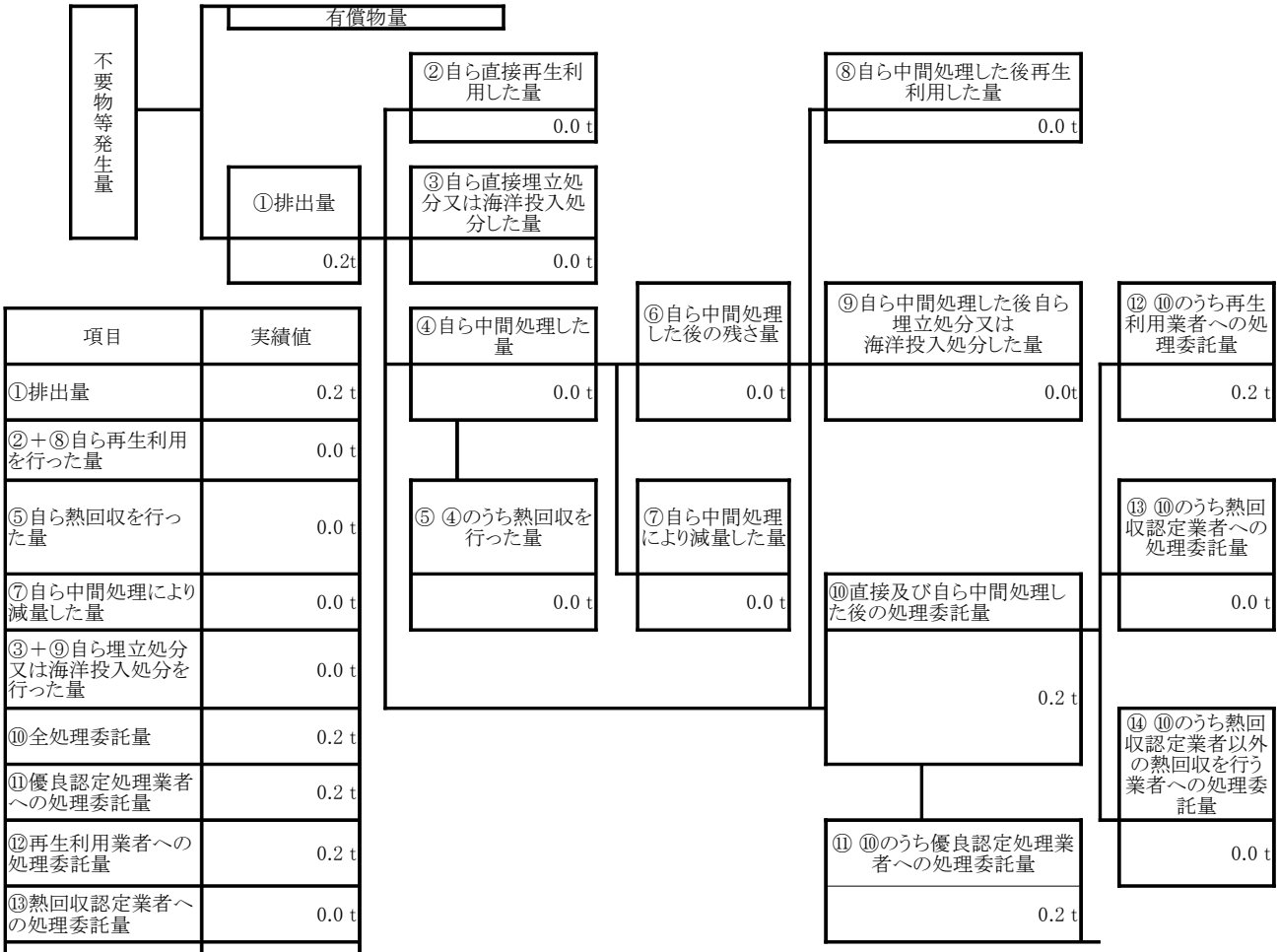
N0.8

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　リート・陶磁器くず(水銀使用製品)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

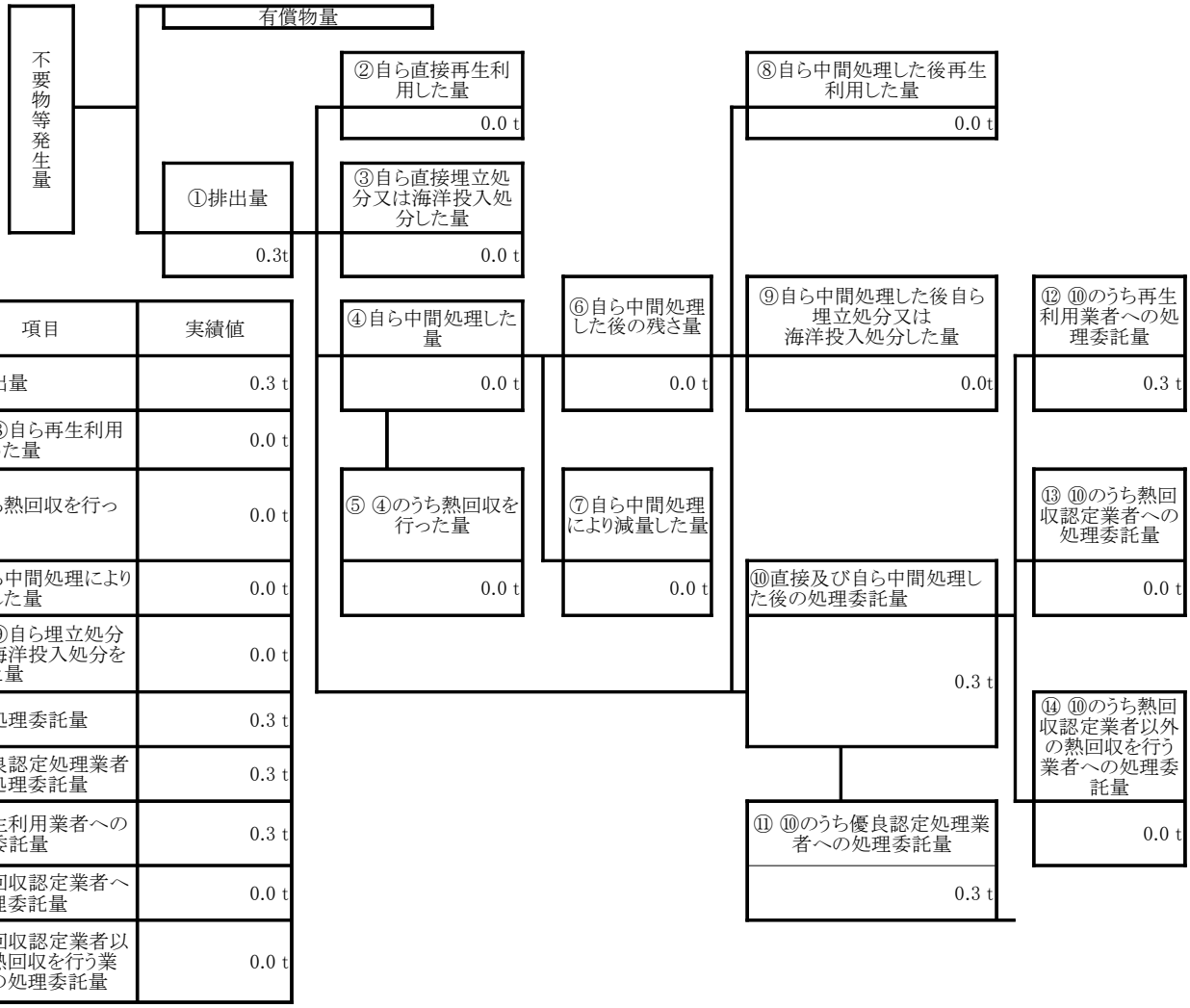


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**コンクリート・陶磁器くず(廃石膏:)**

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

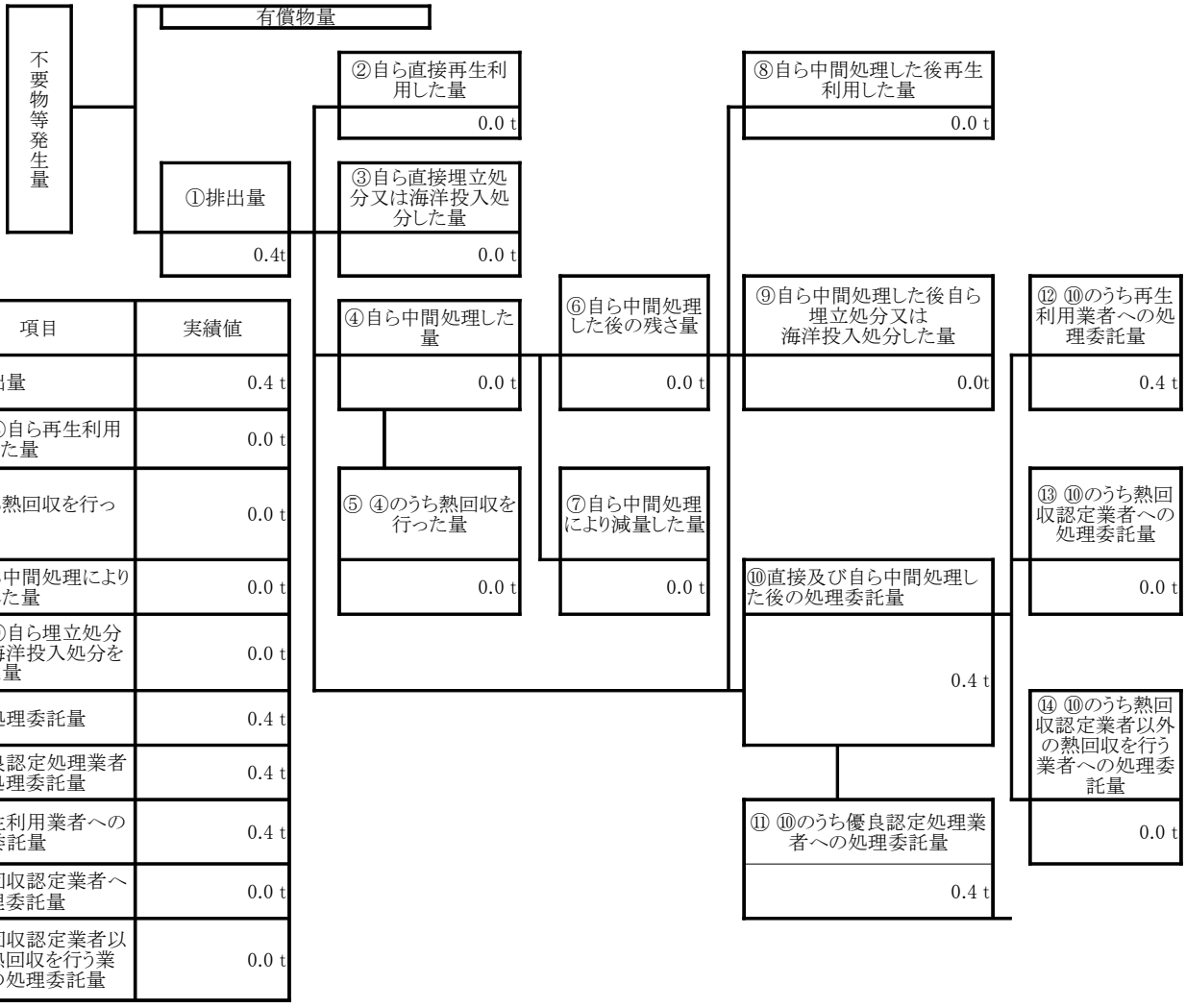


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　288-0043

住　所　千葉県銚子市東芝町7-4

法人名　田杭建設株式会社

代表者　田杭 義規

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0479-22-1792

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	田杭建設株式会社
事業場の所在地	千葉県銚子市東芝町７番地の４
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　8億
③従業員数	13
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	作業所 →　委託処理（中間処理）　→　再資源化 →　委託処理（最終処分） →　委託処理（最終処分）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

経営責任者　←　処理計画総括責任者
↓　　総務部（処理計画作成担当）
工務部
↓
作業所（廃棄物担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
排出量	822 t	184.7 t

（これまでに実施した取組）

公共工事が主であるため、各発注機関の仕様書等に従い適切に産業廃棄物の排出を行っている。
産業廃棄物の分別・削除に努める。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
排出量	500 t	150 t

（今後実施する予定の取組）

現状実施している取組を継続。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

建設廃棄物委託契約書の種類ごとに分別し、適切に処理を行っている。
再生可能品目については、可能な限り分別し混合廃棄物の削減に努める。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現状実施している取組を継続。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
全処理委託量		822 ｔ	184.7 ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	再生利用業者への処理委託量	822 ｔ	184.7 ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

委託基準に従い、業者を選定し書面による契約を実施。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートがら</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>500 t</td><td>150 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>500 t</td><td>150 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
現状実施している取組を継続。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
		排　出　量	48.2 t	4.6 t	94.5 t	705.9 t	2.2 t	18.1 t	10 t	0.1 t	0 t	0.2 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
		排　出　量	40 t	4 t	90 t	500 t	0 t	15 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	t	t	t	t	t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
全処理委託量	48.2 t	4.6 t	94.5 t	705.9 t	2.2 t	18.1 t	10 t	0.1 t	0 t	0.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	43.8 t	4.5 t	0 t	0.2 t	2.2 t	15.1 t	10 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	48.2 t	4.6 t	94.5 t	705.9 t	0 t	0 t	10 t	0.1 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	⓪ t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	汚泥	がれき（石綿含有廃棄物）	管理型混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	繊維くず	廃石綿	汚泥（特別管理産業廃棄物）
全処理委託量	40 t	4 t	90 t	500 t	0 t	15 t	0 t	0 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	40 t	4 t	90 t	500 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年8月19日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　288-0043

住所 千葉県銚子市東芝町7-4

法人名 田杭建設株式会社

代表者 田杭 義規

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0479-22--1792

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	田杭建設株式会社
事業場の所在地	千葉県銚子市東芝町7番地の4
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

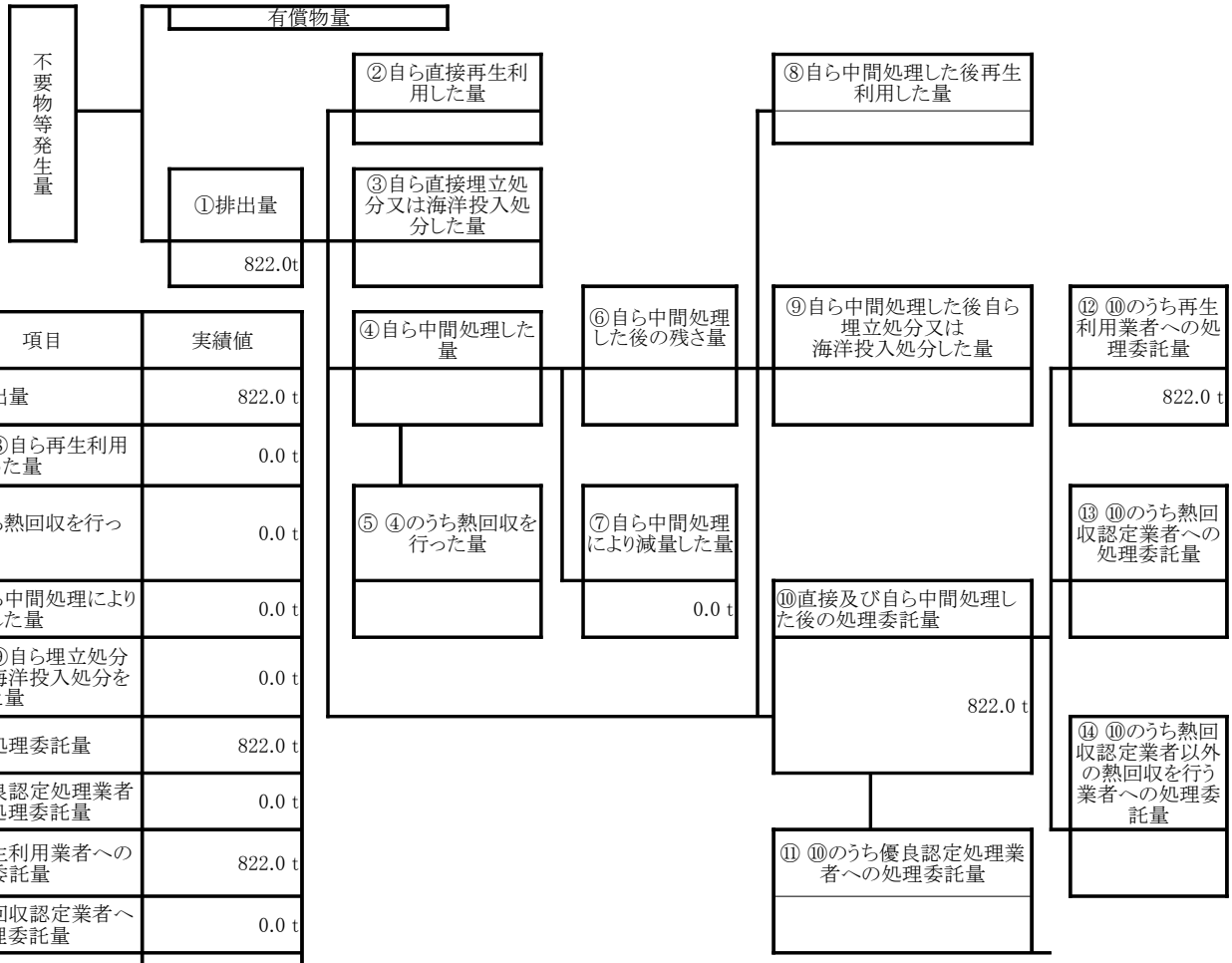
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2263 t	全処理委託量	2263 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2263 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



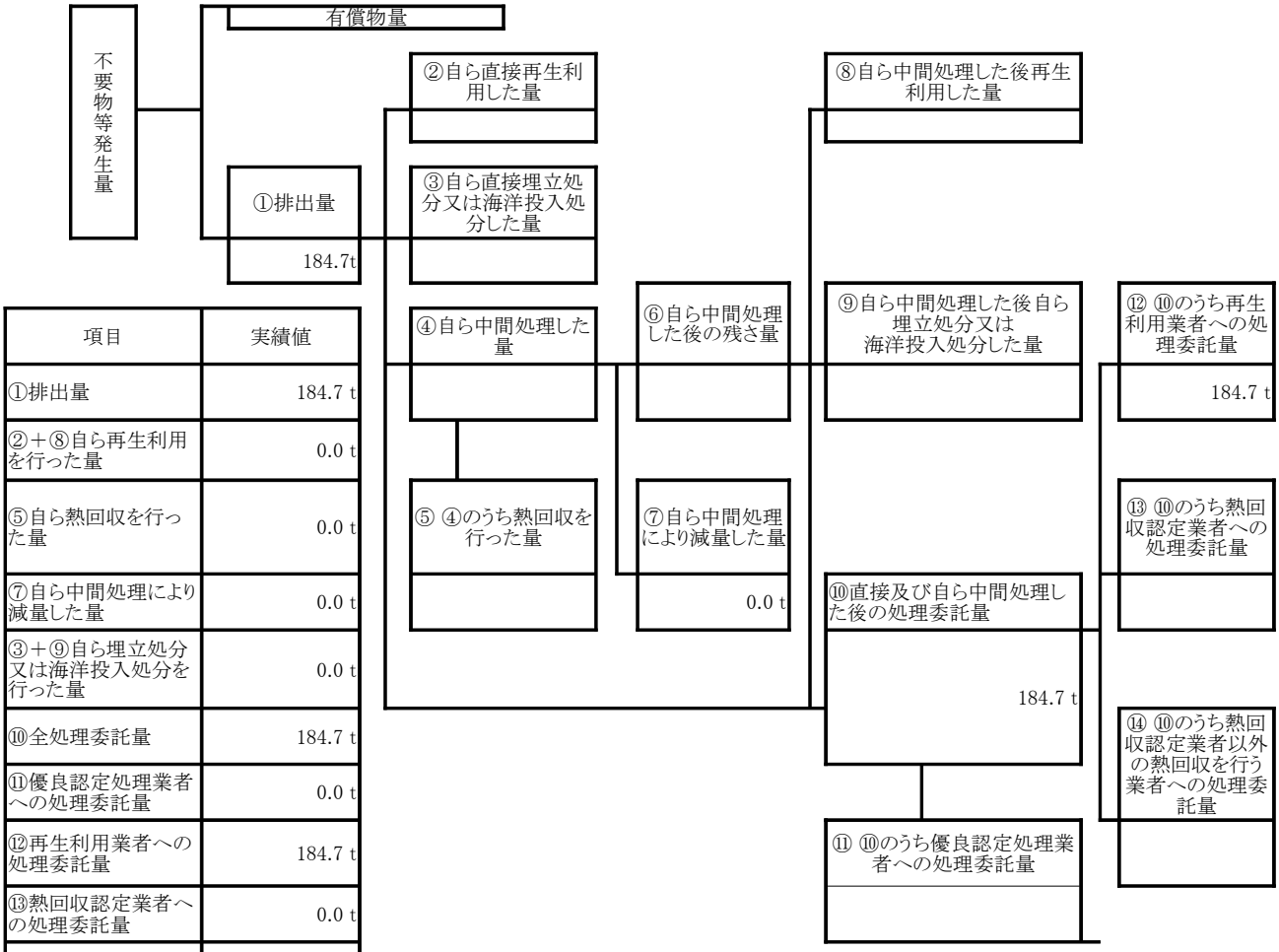
項目	実績値
①排出量	822.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	822.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	822.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

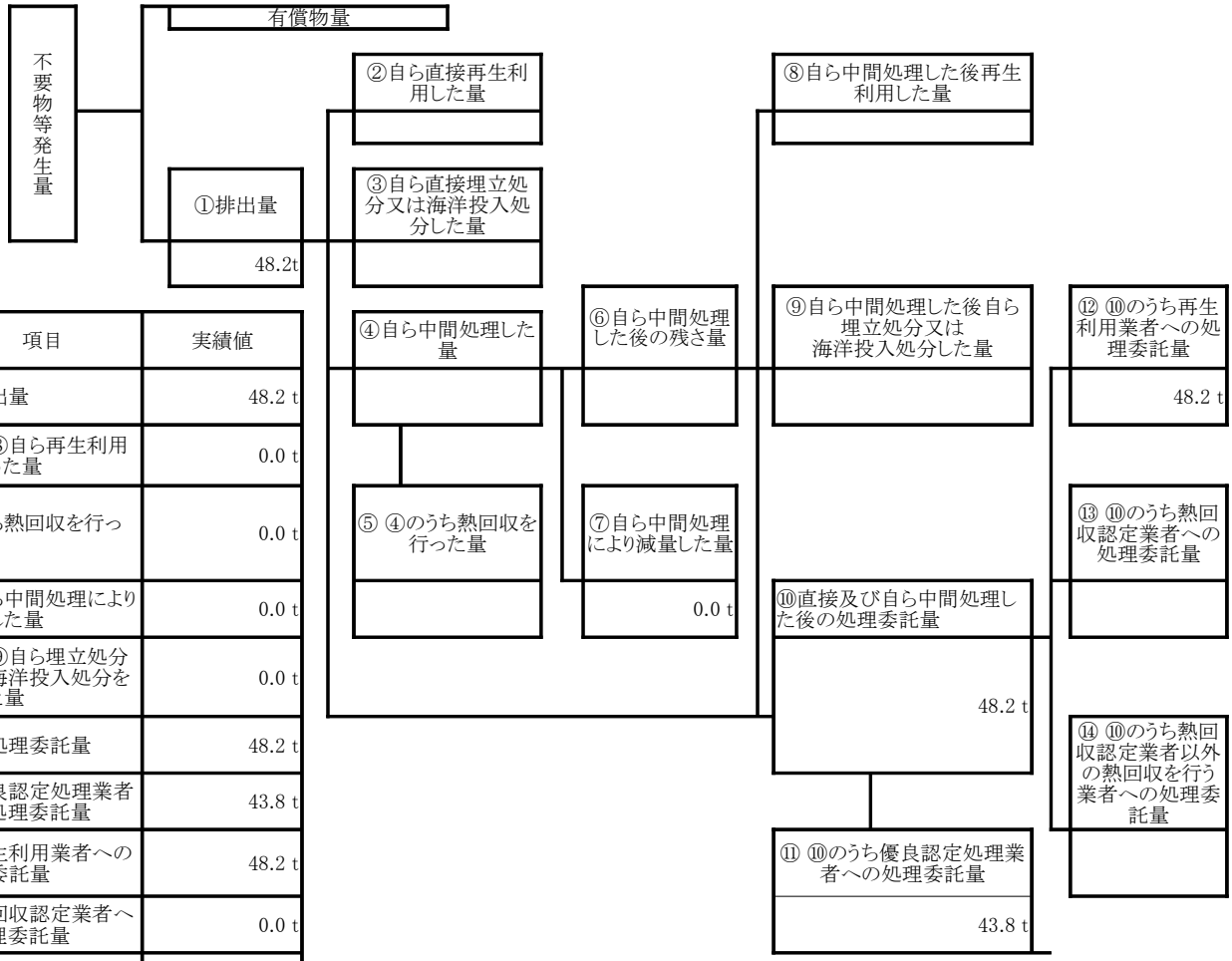


項目	実績値
①排出量	184.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	184.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	184.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

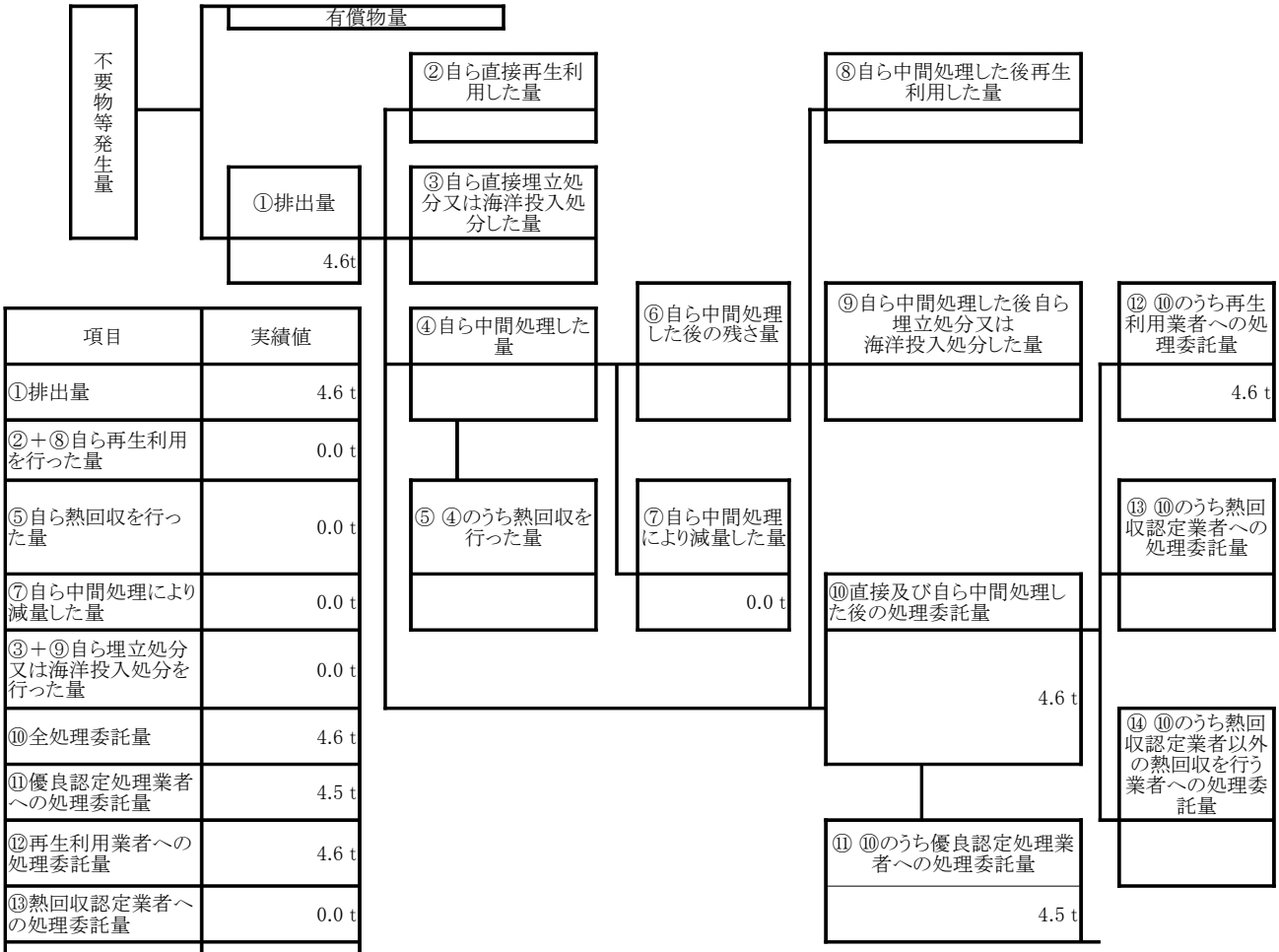


項目	実績値
①排出量	48.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	48.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	43.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	48.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



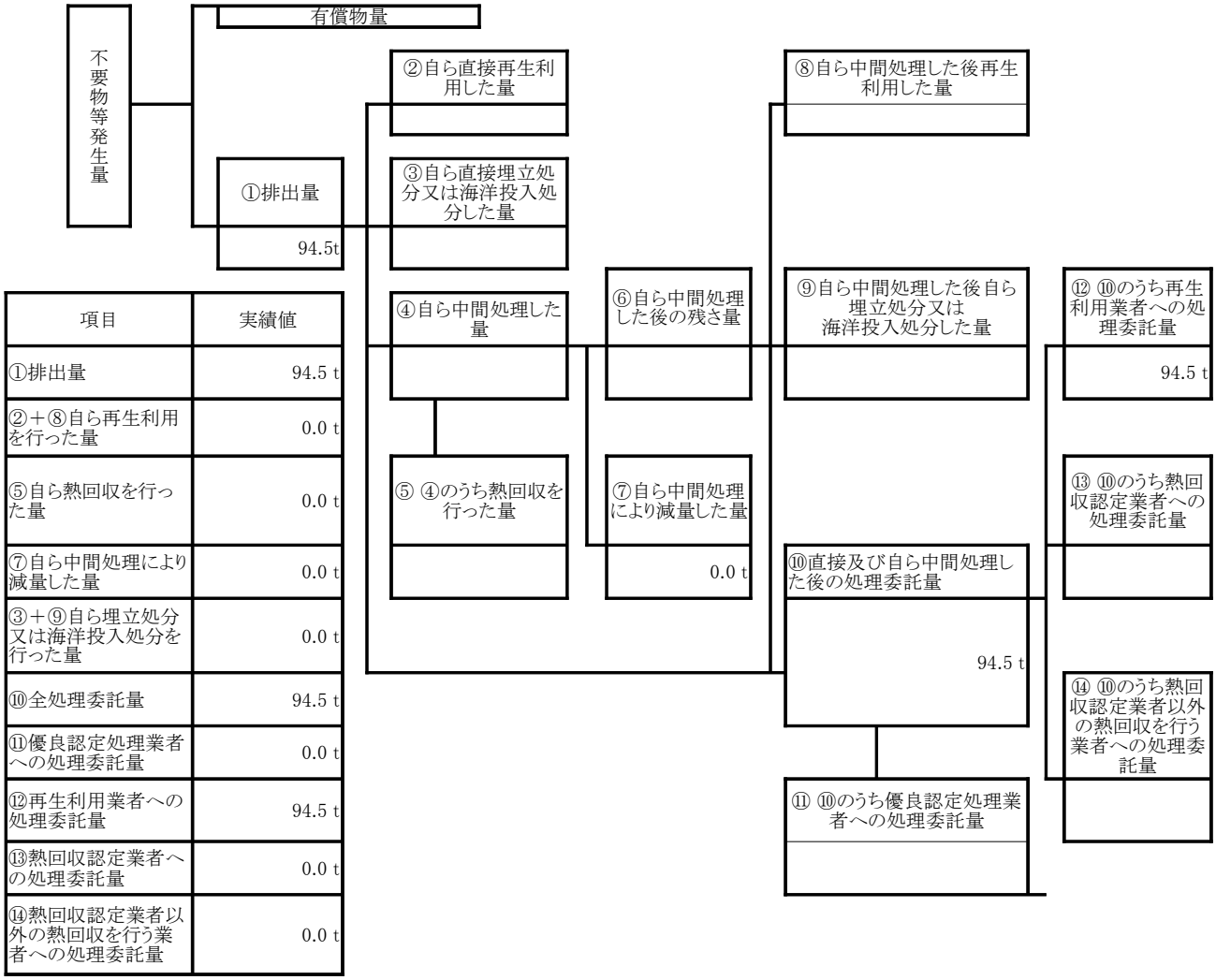
項目	実績値
①排出量	4.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

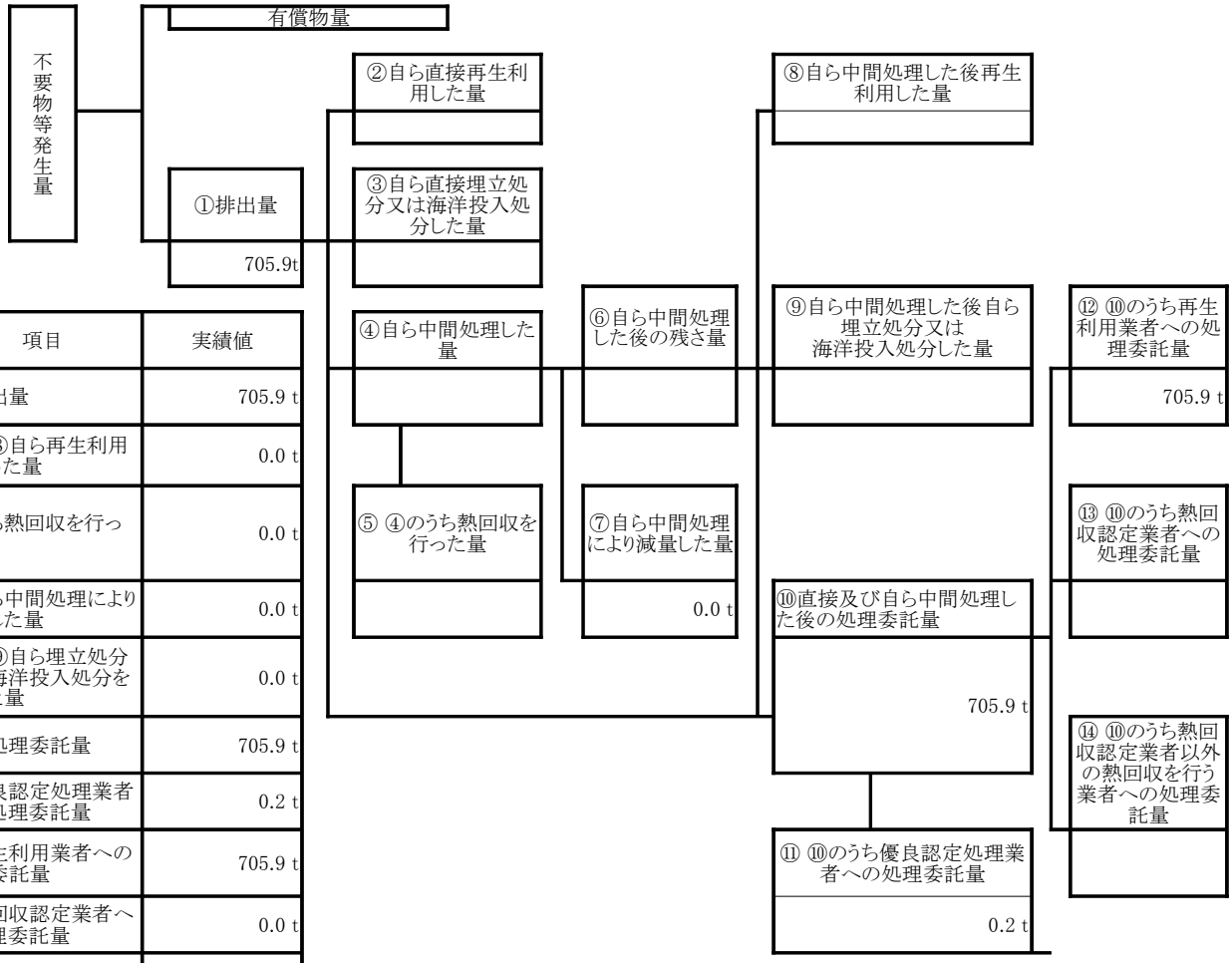


項目	実績値
①排出量	94.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	94.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	94.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

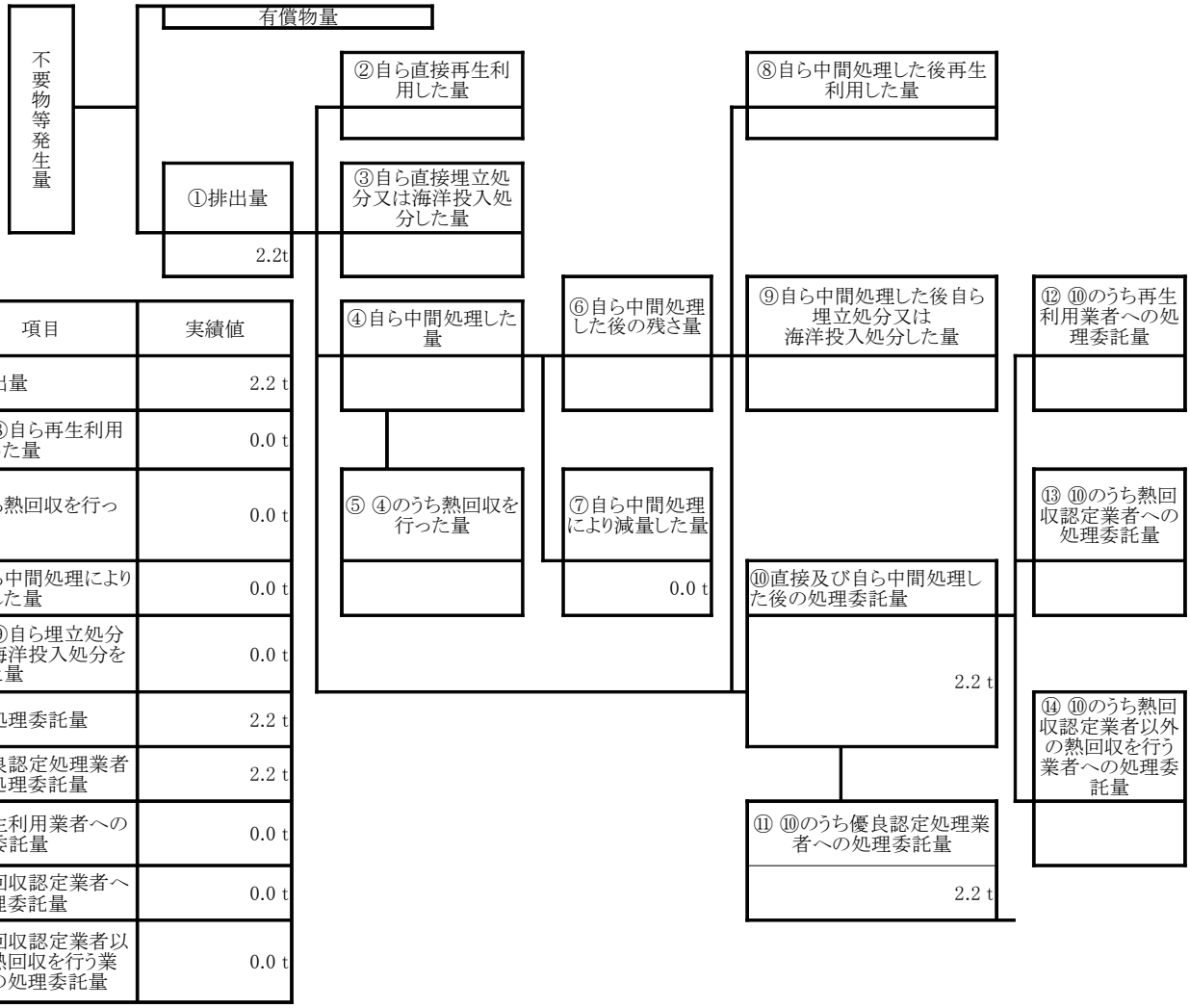


項目	実績値
①排出量	705.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	705.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	705.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類(石綿含有産業廃棄物)**）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

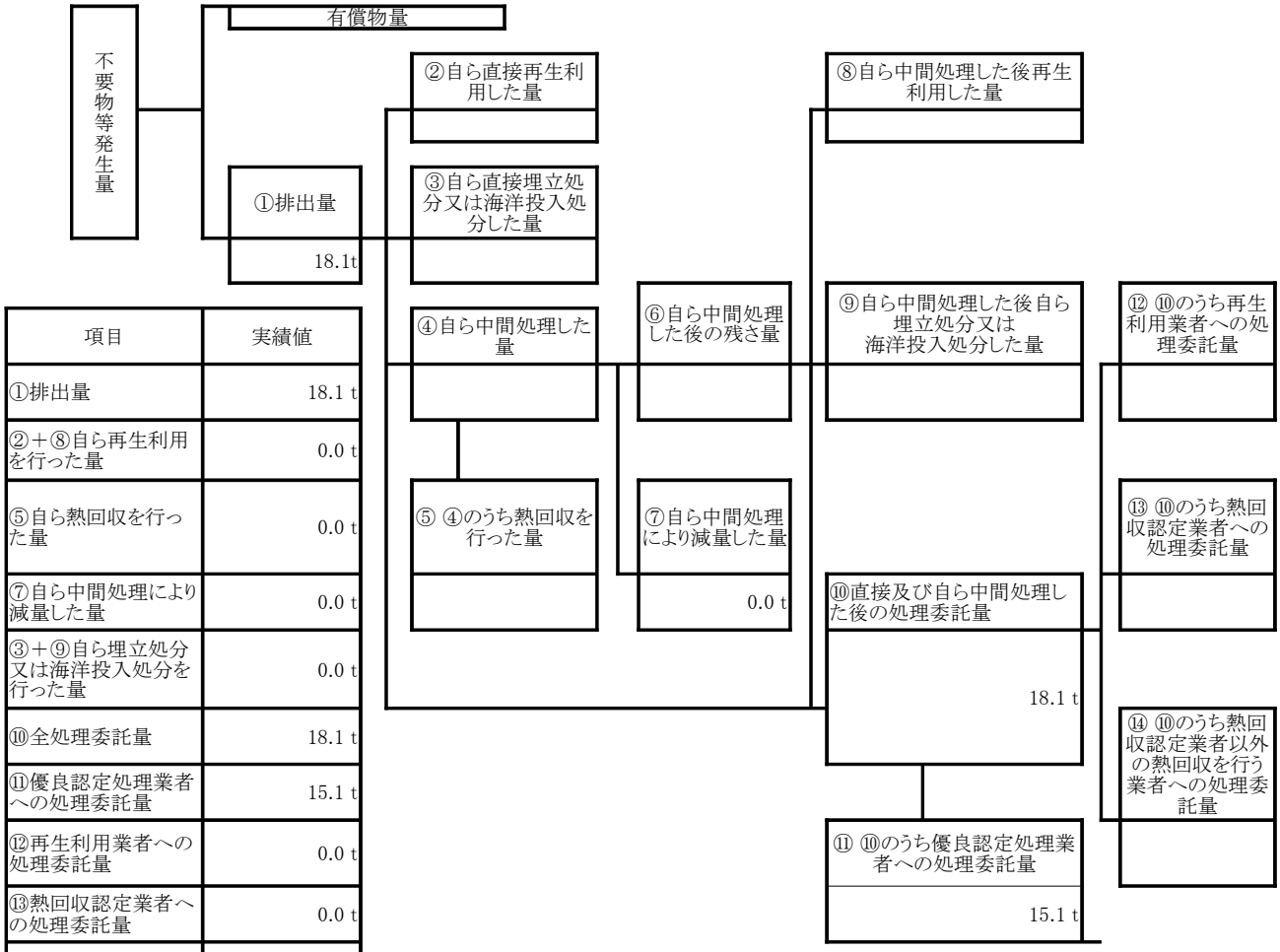


項目	実績値
①排出量	2.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

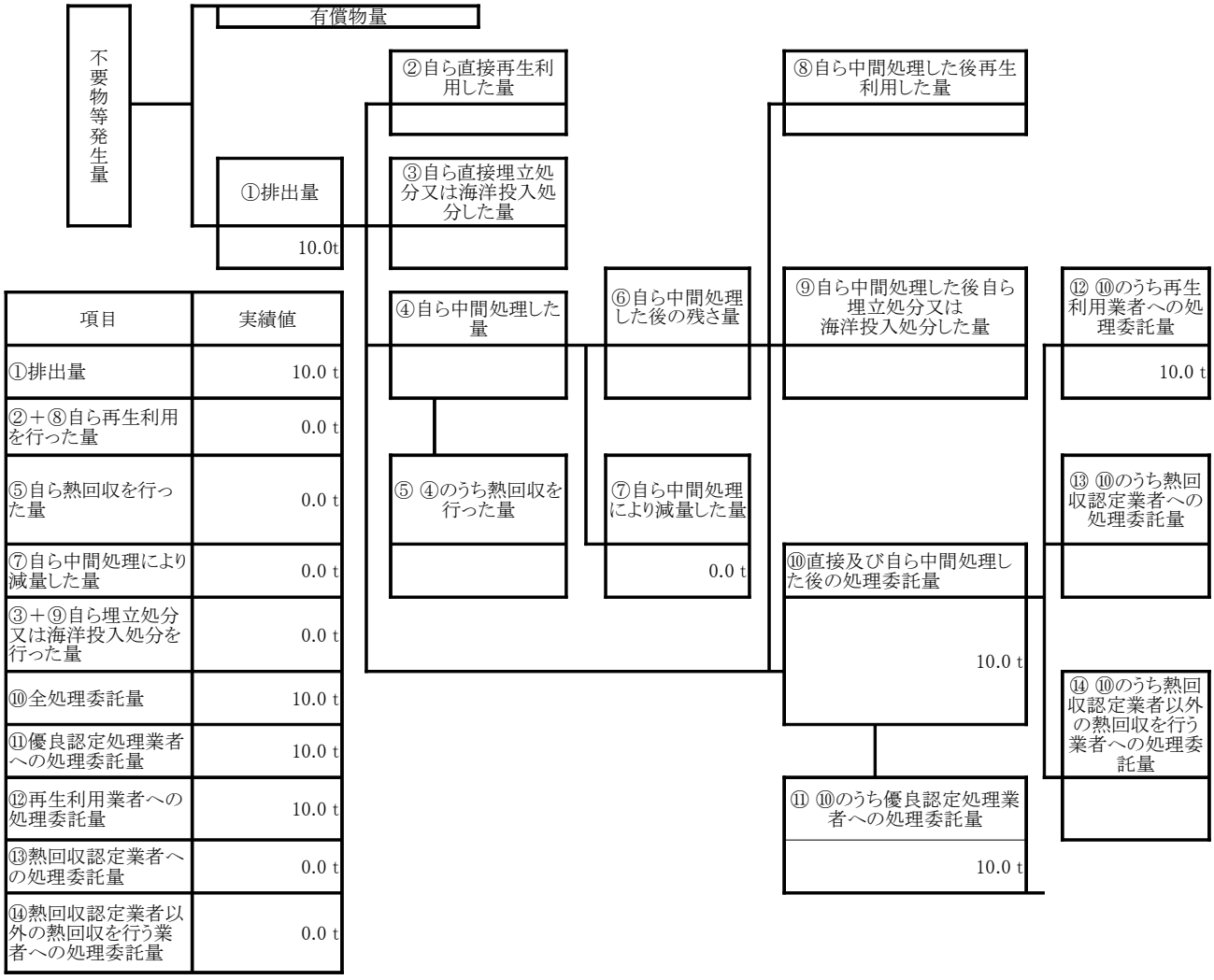


項目	実績値
①排出量	18.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

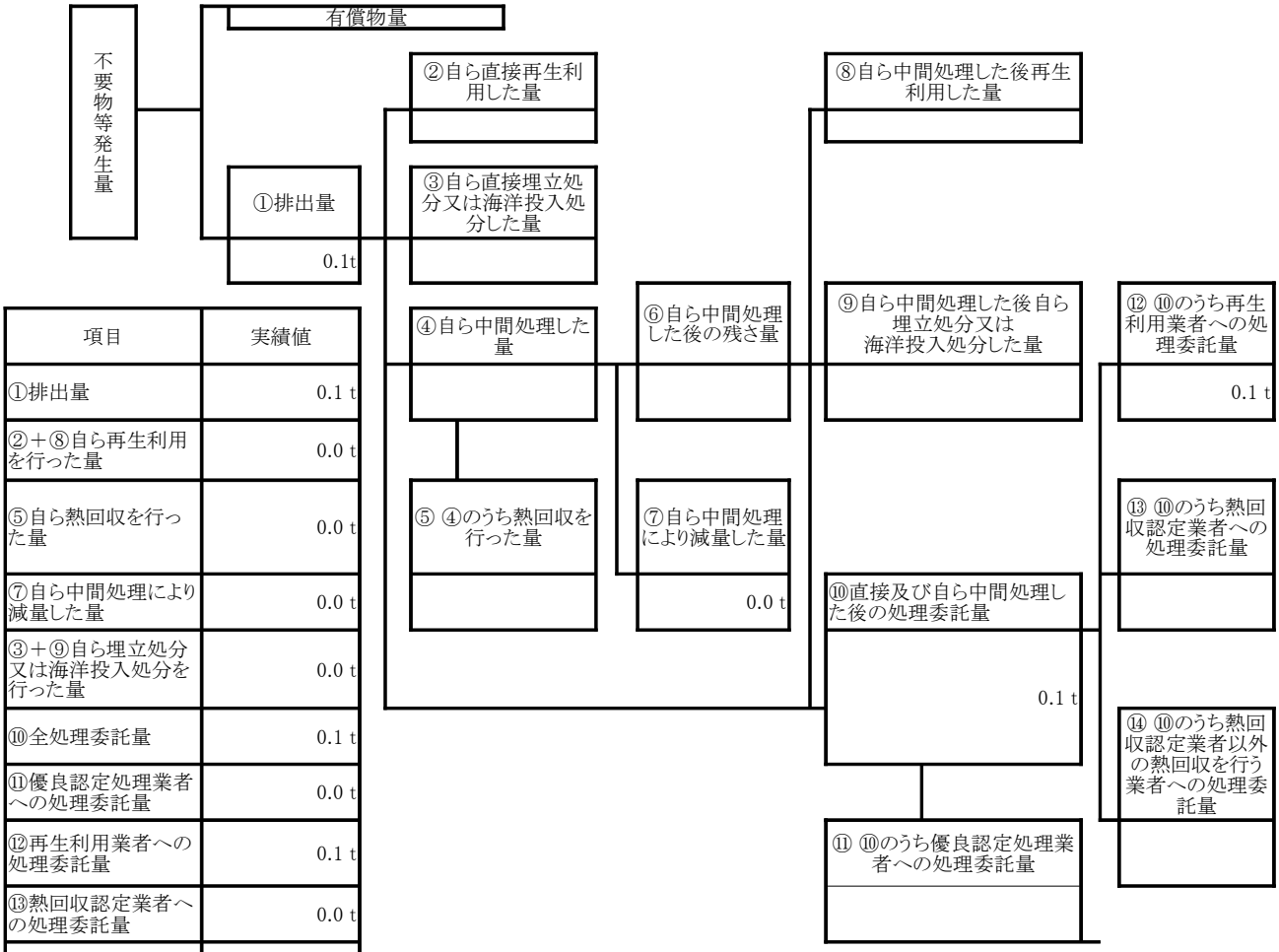


項目	実績値
①排出量	10.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

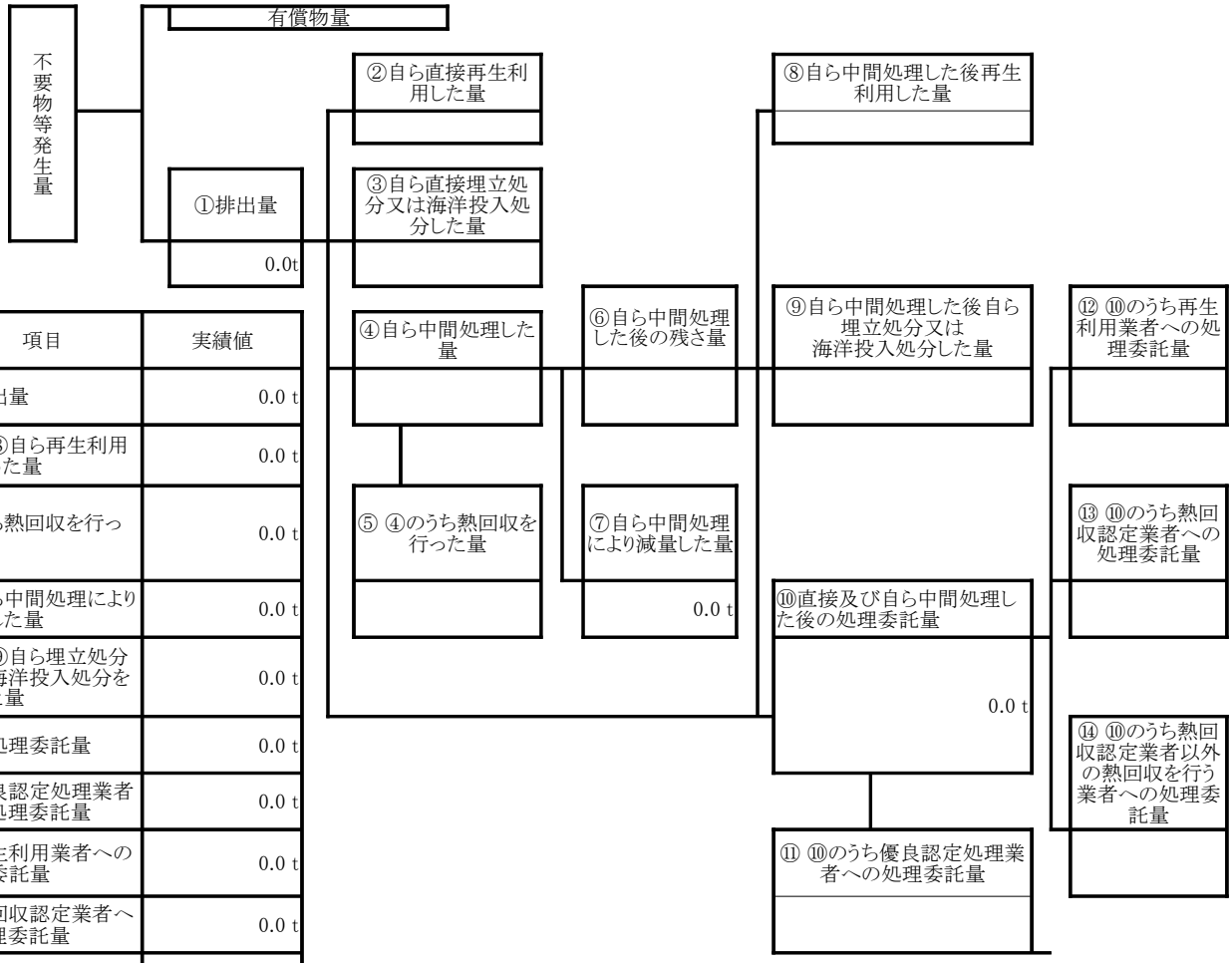


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　**廃石綿等**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



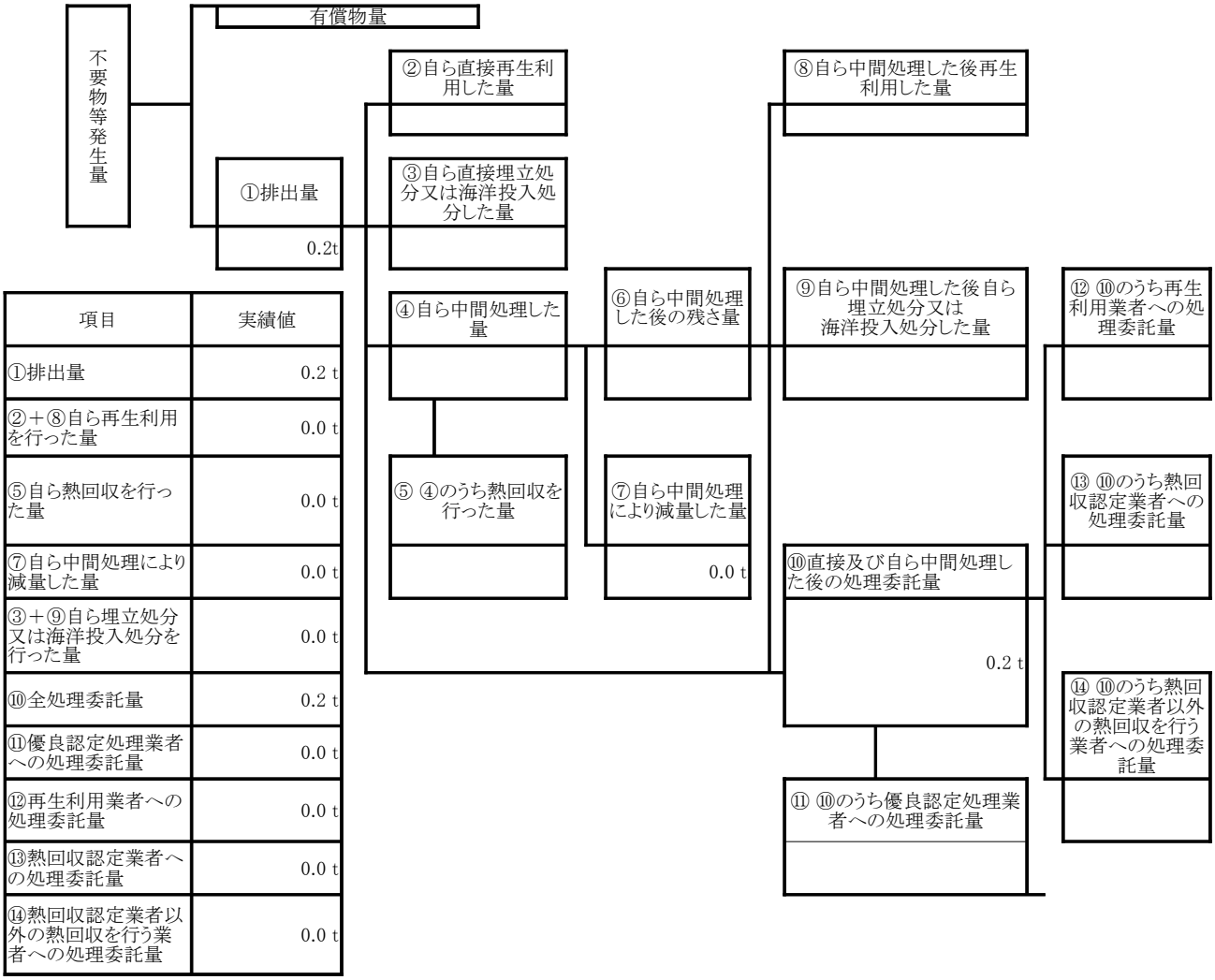
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**汚泥（特別管理産業廃棄物）**）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6　月　19　日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒202-0021

住　所　東京都西東京市東伏見３－６－１９

氏　名　タクトホーム株式会社　代表取締役　小寺一裕

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　042-464-8788

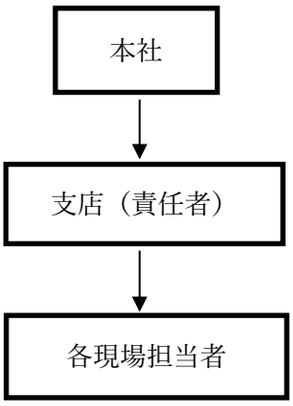
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	タクトホーム株式会社　千葉県市川市国府台　他　新築工事
事業場の所在地	東京都西東京市東伏見3-6-19
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	資本金　1,429,020,000円
③　従業員数	1,137名（2023年3月31日現在）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物は現場ごとに分別、収集を行い、搬出する。 また、産業廃棄物の運搬・収集・処分について法令に従い 適切な業者を選定し、書面契約を行い処理を行う。

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



・電子・紙マニフェスト管理
・全支店の廃棄物処理に関する検討

・適切な産廃業者の選定
・現場担当者、各業者へ産業廃棄物の分別徹底指導

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
排出量	233.2 t	652.4 t

（これまでに実施した取組）

廃プラスチック類：梱包材を最小限にする
木くず：フルプレカットの導入
金属くず：プレカット加工による軽量鉄骨天井下地導入

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
排出量	155.5 t	434.9 t

（今後実施する予定の取組）

・廃プラスチック類：梱包材を最小限にする
・木くず：フルプレカットの精度向上
・ガラス陶磁器くず（石膏ボード）：数量精算時の精度向

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場内にダストＢＯＸを設置し分別票の掲示を行い、各協力業者・大工に指導教育を行う。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場内にダストＢＯＸを設置し分別票の掲示を行い、各協力業者・大工に指導教育を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	廃プラ	木くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	廃プラ	木くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	廃プラ	木くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	廃プラ	木くず
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラ	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラ	木くず
全処理委託量＿	233.2 t	652.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	44.2 t	194.5 t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

現場内にダストＢＯＸを設置し分別票の掲示を行い、各協力業者・大工に指導教育を行う。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	廃プラ	木くず
全処理委託量＿	155.5 t	434.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	77.7 t	217.5 t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）
現場内にダストＢＯＸを設置し分別票の掲示を行い、各協力業者・大工に指導教育を行う。廃プラスチック類の再生利用ができる処理業者への委託を目指す。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

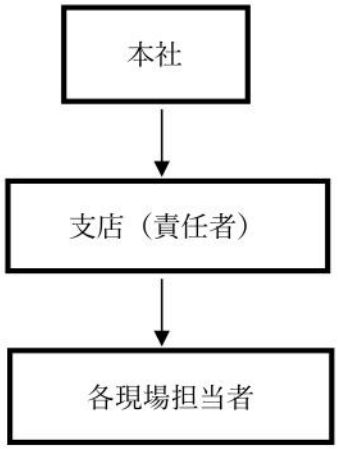
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



・電子・紙マニフェスト管理
・全支店の廃棄物処理に関する検討

・適切な産廃業者の選定
・現場担当者、各業者へ産業廃棄物の分別徹底指導

・各業者へ産業廃棄物の分別の徹底指導

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
		排　　出　　量	264.9　t	32.3　t	287.1　t	552.3　t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
		排　　出　　量	176.6　t	21.5　t	191.4　t	368.2　t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
	全処理委託量	264.9 t	32.3 t	287.1 t	552.3 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	70.3 t	0 t	28.7 t	407.3 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物				
	全処理委託量	176.6 t	21.5 t	191.4 t	368.2 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	88.3 t	10.8 t	95.7 t	184.1 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6 月 19 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒202-0021
住 所　東京都西東京市東伏見３－６－19
氏 名　タクトホーム株式会社 代表取締役 小寺一裕
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 042-464-8788

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タクトホーム株式会社 千葉県市川市国府台 他 新築工事
事業場の所在地	東京都西東京市東伏見3-6-19
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

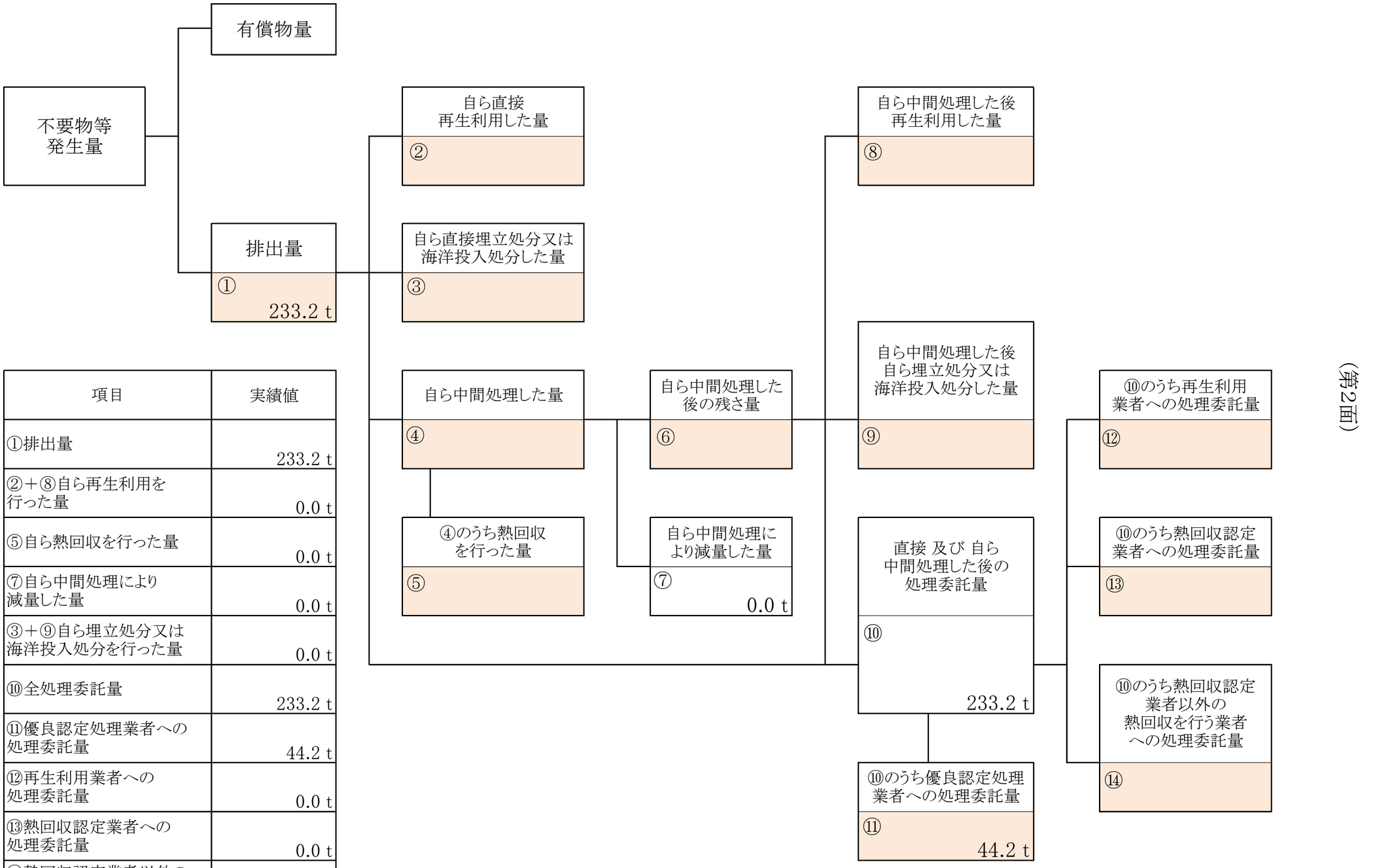
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1332.6ｔ	全処理委託量	1332.6ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	666.3ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

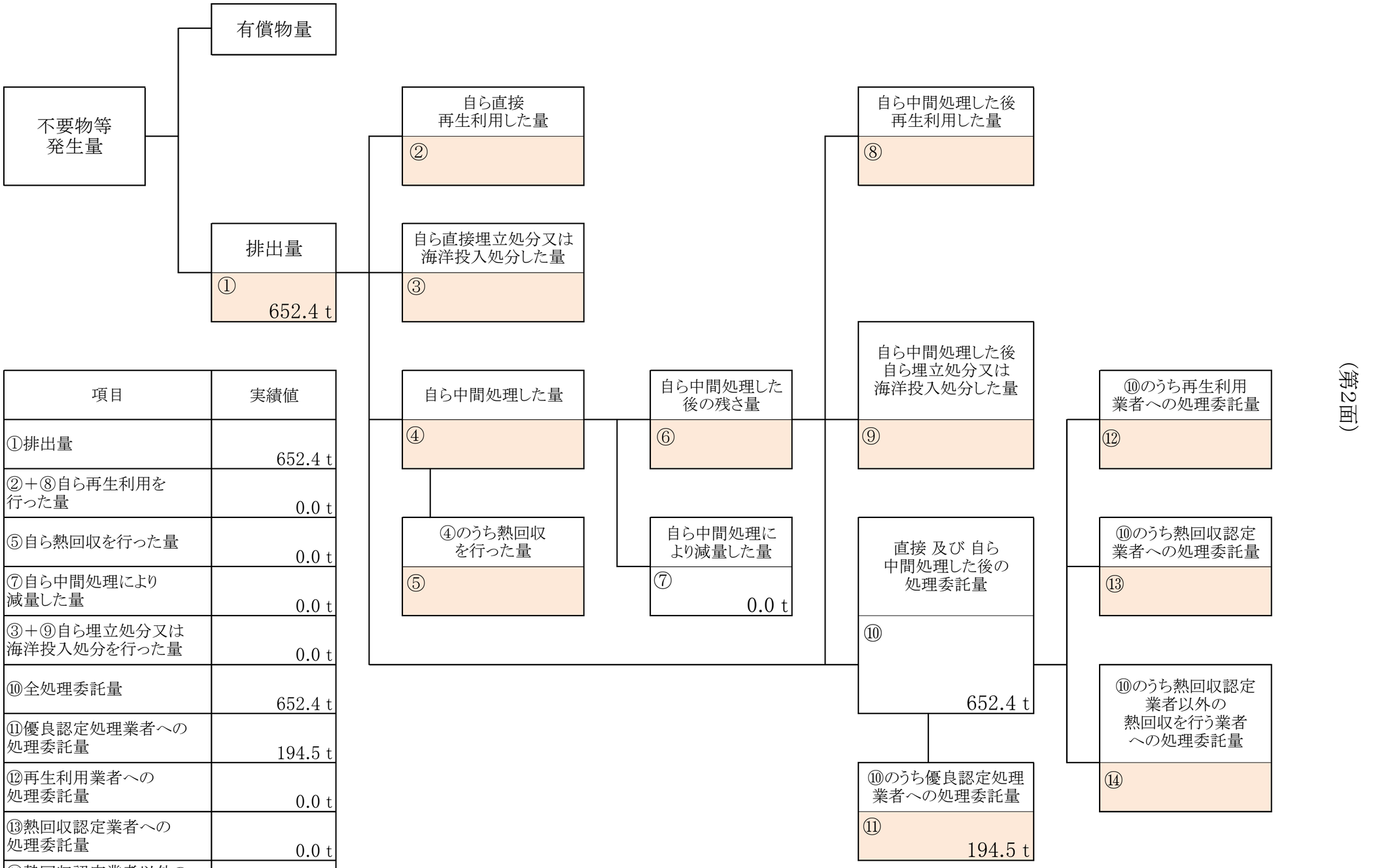


項目	実績値
①排出量	233.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	233.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

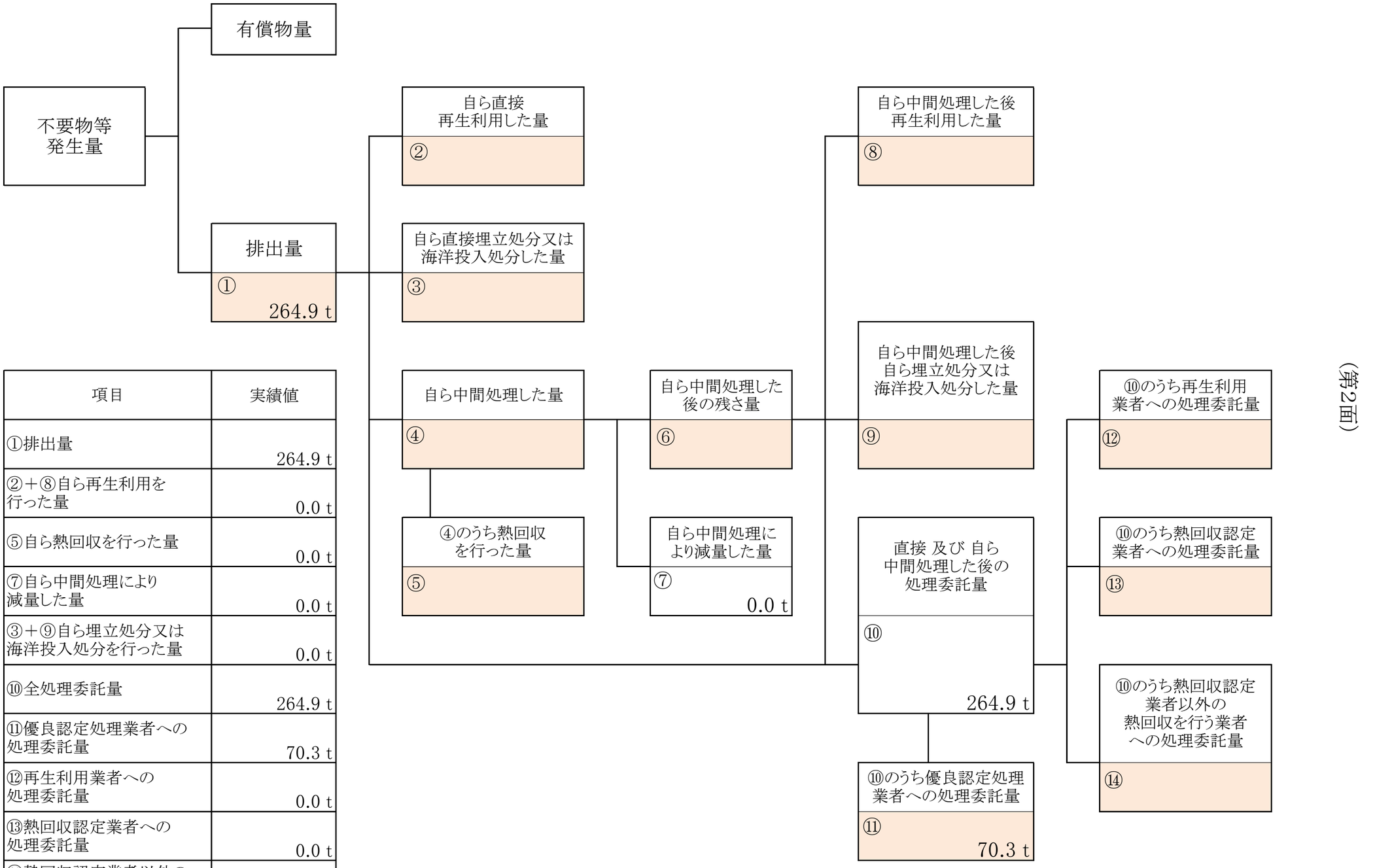


項目	実績値
①排出量	652.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	652.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	194.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**紙くず**）

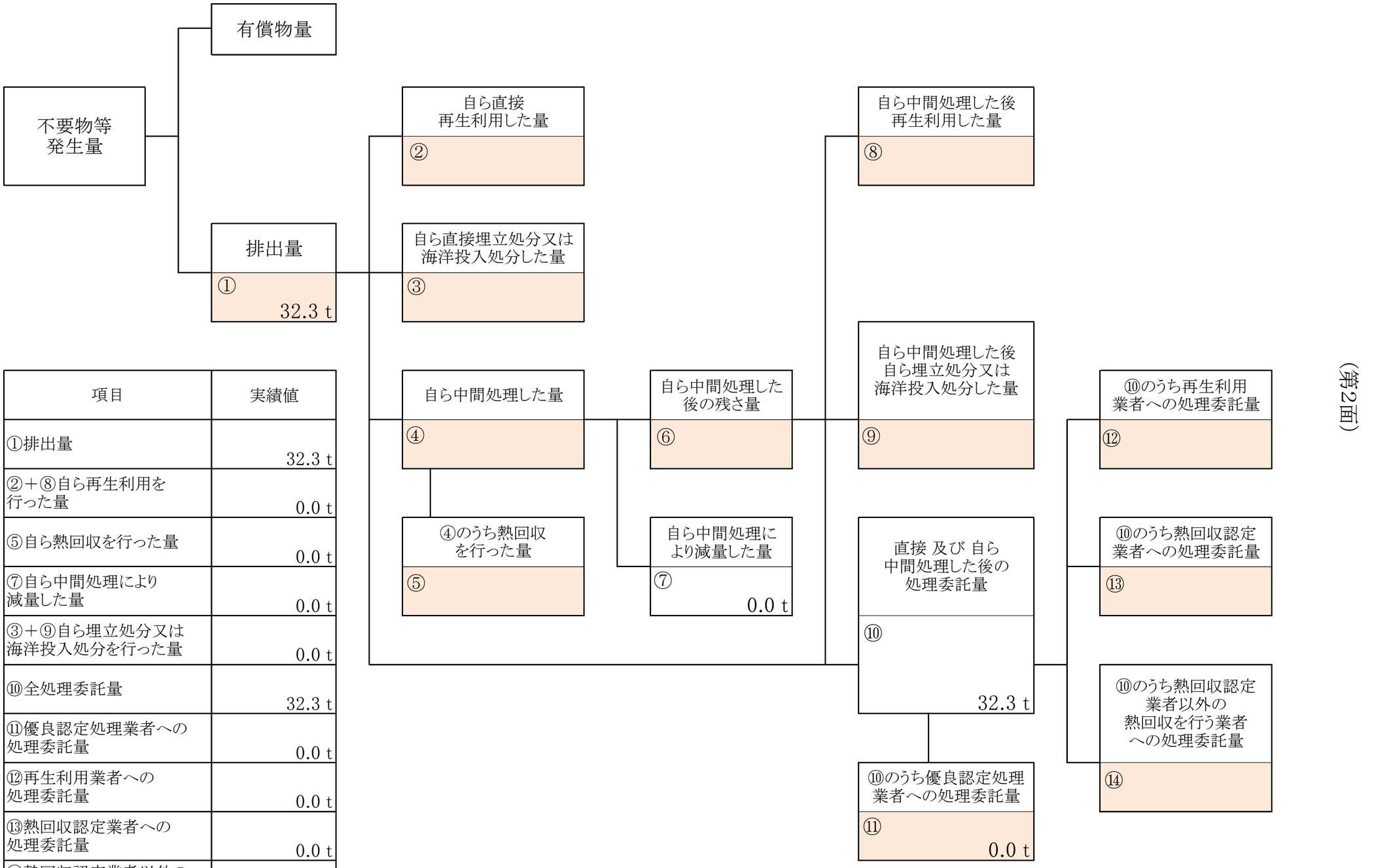


項目	実績値
①排出量	264.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	264.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	70.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

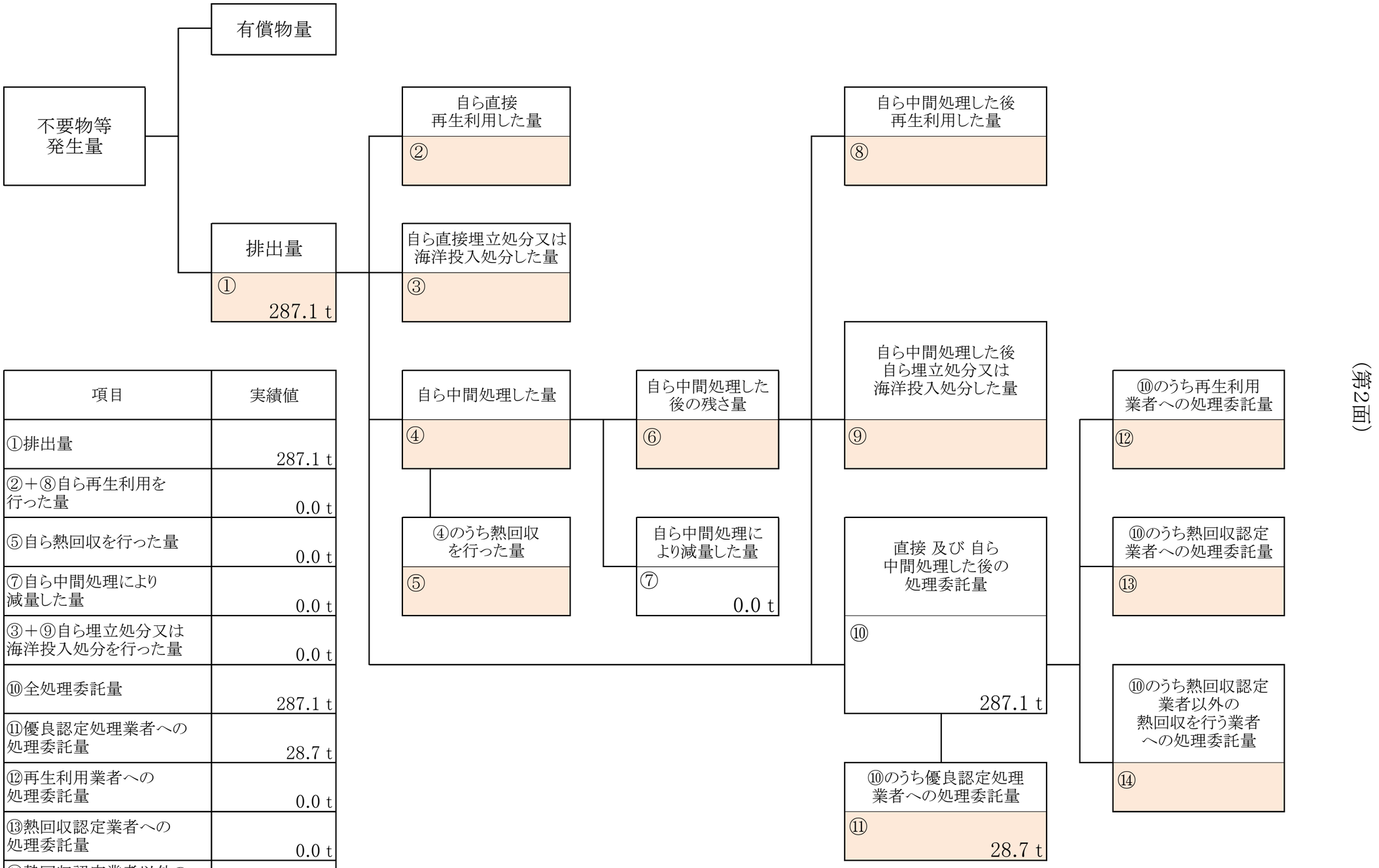


項目	実績値
①排出量	32.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラスくず、石膏ボード、コンクリートくず及び陶磁器くず　）

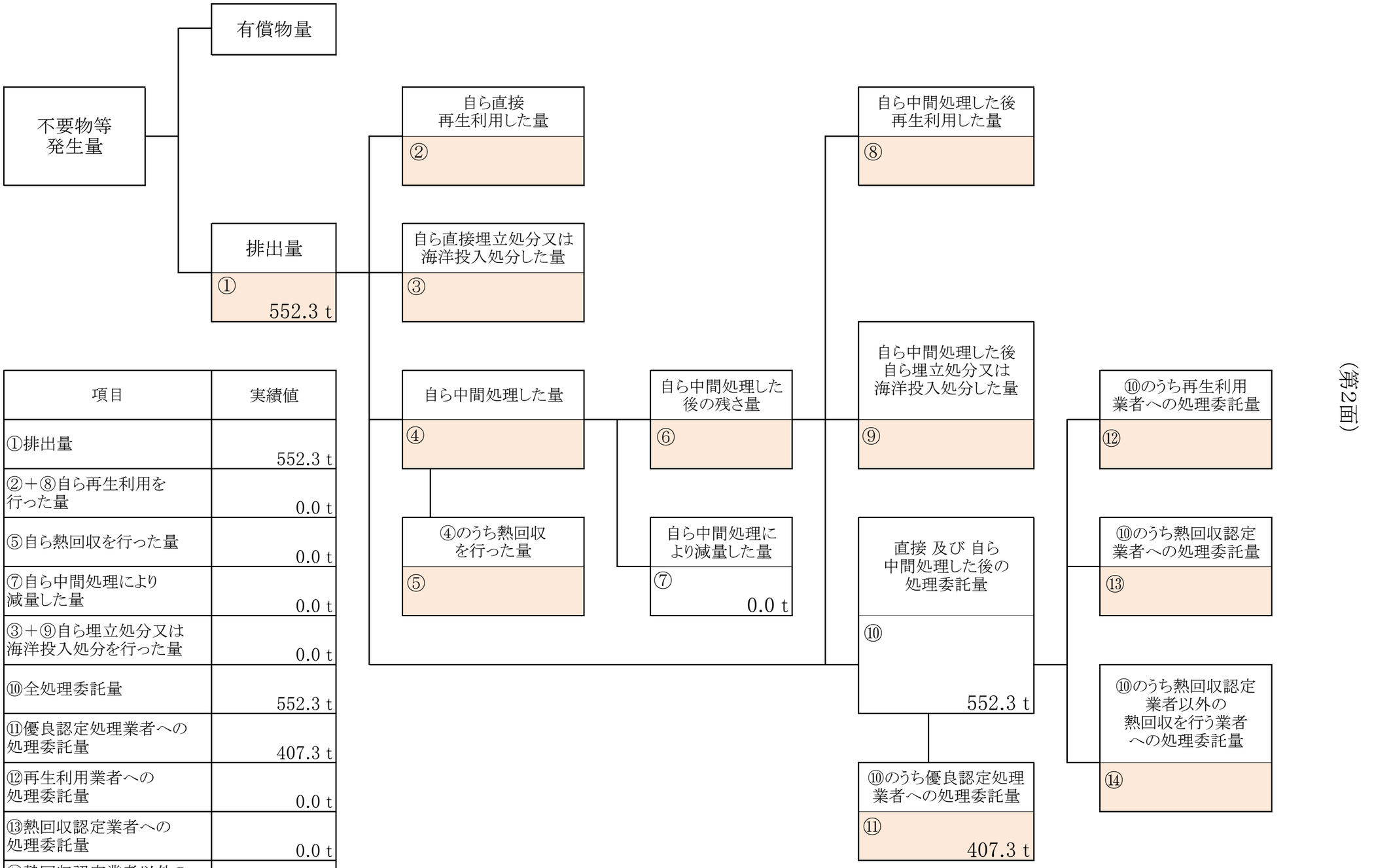


項目	実績値
①排出量	287.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	287.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	552.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	552.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	407.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 5日

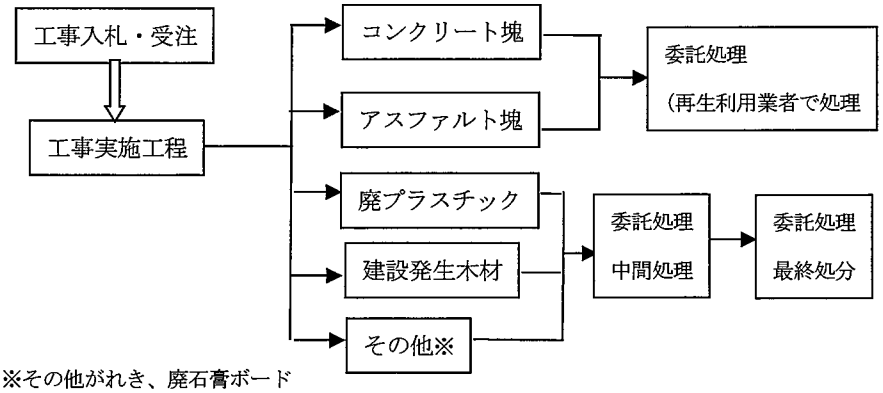
千葉県知事
熊 谷　俊 人 殿

提出者
住　所　千葉県印西市原1-1-5
氏　名　竹内建設株式会社
代表取締役　竹内　義政
電話番号　0476-40-0033

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	竹内建設株式会社
事業場の所在地	千葉県印西市原1-1-5
計画期間	令和７年４月１日　～　令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

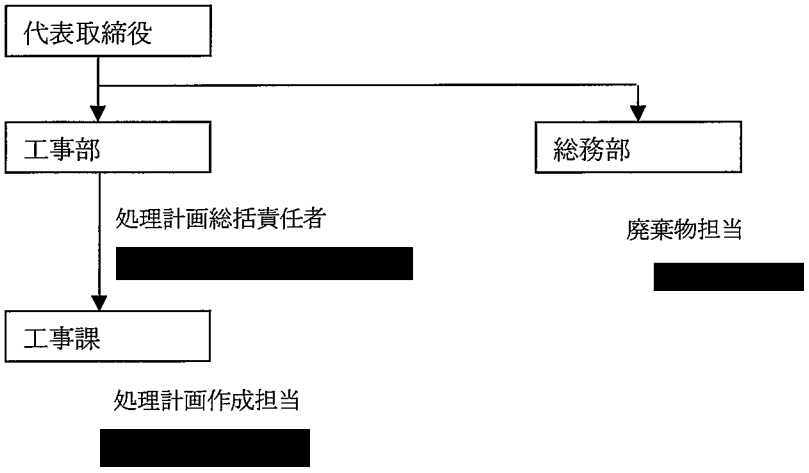
① 事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高　18.1億円
③ 従業員数	40人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	 ※その他がれき、廃石膏ボード 紙くず、汚泥など

印旛地域振興事務所
7.6.-5
収受

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和６年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】　「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】　「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】「別紙のとおり」		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙-産業廃棄物処理計画書（令和7年度）

産業廃棄物の種類			コンクリート塊	木くず	アスファルト塊	その他がれき	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	ガラス・陶磁器くず	水　銀	特別管理型　石綿	石綿含有廃棄物	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	混合廃棄物（管理型）	安定型混合廃棄物	合　計
産業廃棄物の搬出抑制に関する事項	現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		搬出量	35.55t	17.475t	117.68t	99.69t	900.35t	0.248t	6.095t	0t	0.24t	0.98t	0t	0t	0t	32.54t	0t	8.55t	1,219.3980
		（これまでに実施した取組）																	
	計画	【目標】																	
		搬出量	200.0t	50.0t	300.0t	300.0t	100.0t	1.0t	20.0t	0.0t	0.50t	1.0t	0.0t	0t	5.0t	20.0t	0.0t	20.0t	1,017.500
		（今後実施する予定の取組）		使用回数を増やし、搬出量を減らす														少量でも分別を進める	
産業廃棄物の分別に関する事項	現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	分別処理	集合処理	
	計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	引続き分別	できるだけ分別回収	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		（これまでに実施した取組）		これまで再生利用したことはない。			これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	これまで再生利用したことはない。	
	計画	【目標】																	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		（今後実施する予定の取組）		今後も再生利用する予定はない。			今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	今後も再生利用する予定はない。	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		（これまでに実施した取組）	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	これまでに、自社で熱回収を行ったことはない	
	計画	【目標】																	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		（今後実施する予定の取組）	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	業態の関係で引続き、熱回収の予定はない。	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		（これまでに実施した取組）	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	
	計画	【目標】																	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		（今後実施する予定の取組）	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
		全処理委託量 全処理委託量	35.55t	17.475t	117.68t	99.69t	900.35t	0.248t	6.095t	0.00t	0.24t	0.98t	0.0000t	0.00t	0.00t	32.54t	0.00t	8.55t	
		全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		全処理委託量 再生利用業者への処理委託量	35.55t	17.475t	117.68t	99.69t	900.35t	0.248t	6.095t	0.00t	0.24t	0.98t	0.0000t	0.00t	0.00t	32.54t	0.00t	8.55t	
		全処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		全処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		（これまでに実施した取組）	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	再生利用可能な処理業者へ委託	
	計画	【目標】																	
		全処理委託量 全処理委託量	200.0t	50.0t	300.0t	300.0t	100.0t	1.0t	20.0t	0.0t	0.50t	1.00t	0.000t	0t	5.0t	20.0t	0.0t	20.0t	
		全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		全処理委託量 再生利用業者への処理委託量	200.0t	50.0t	300.0t	300.0t	100.0t	1.0t	20.0t	0.0t	0.50t	1.00t	0.000t	0t	5.00t	20.00t	0.00t	20.00t	
		全処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		全処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
		（今後実施する予定の取組）	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	引続き再生利用できる業者へ処理を委託する	分別を徹底し、総量を減量する	分別を徹底し、総量を減量する	

竹内建設株式会社

会社方針　：　引き続き、受注する工事の種別により廃棄物の種類と量が大幅に増減する局面は拭えないが、今後も前年度同様に減量・再生利用を積極的に図っていく所存です。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6 月 5 日

千葉県知事
熊 谷 俊 人 殿

提出者
住 所 千葉県印西市原1-1-5
氏 名 竹内建設株式会社
代表取締役 竹内 義政
電話番号 0476-40-0033

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和６年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	竹内建設株式会社
事業場の所在地	千葉県印西市原1-1-5
事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和６年４月～ 令和７年３月

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,069.012ｔ	全処理委託量	3,069.012ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	再生利用業者への処理委託量	3,069.012ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ
※事務処理欄			

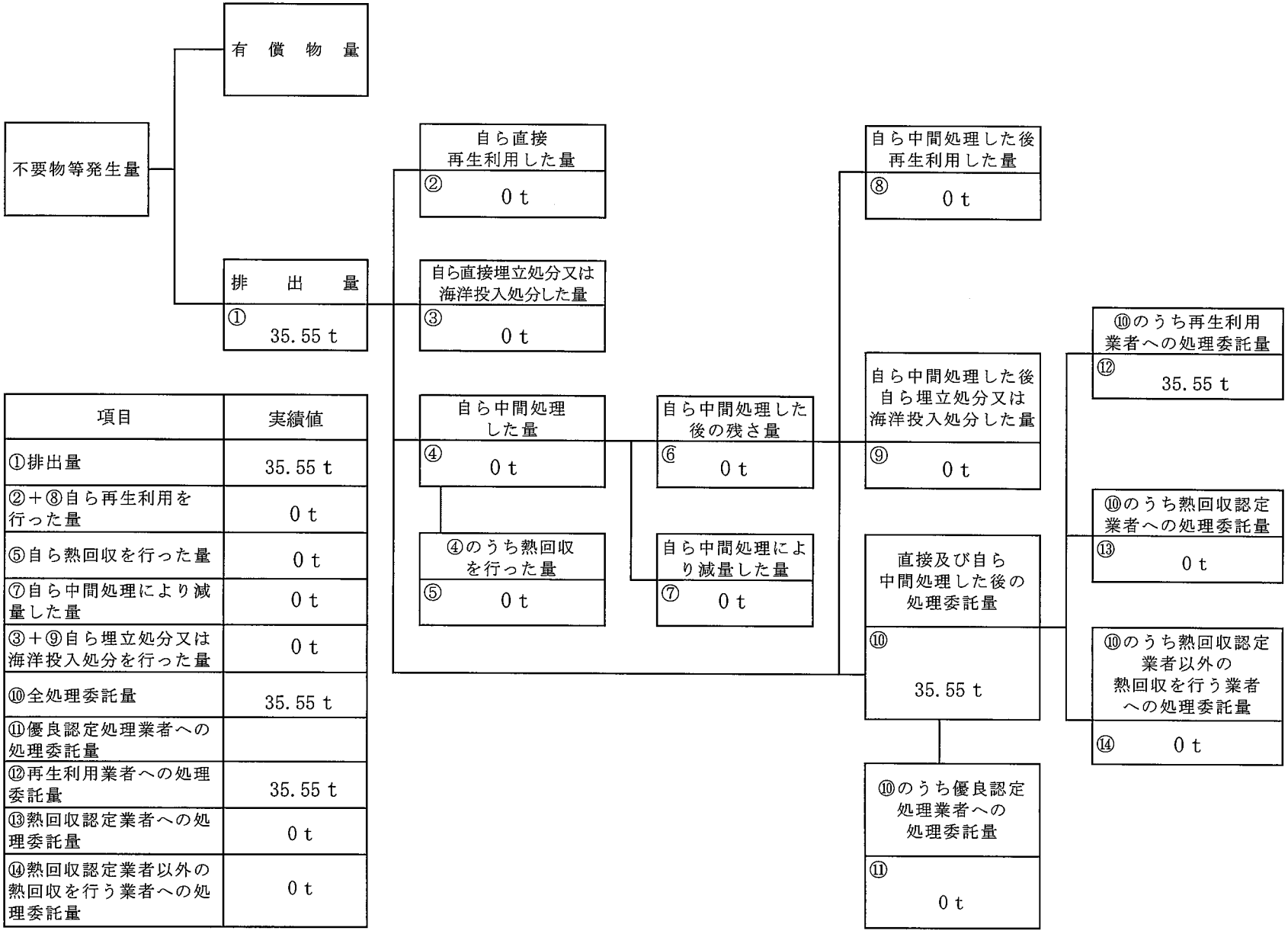
印旛 地域振興事務所 5.6.-7 収受

印旛 地域振興事務所 7.6.-5 収受

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

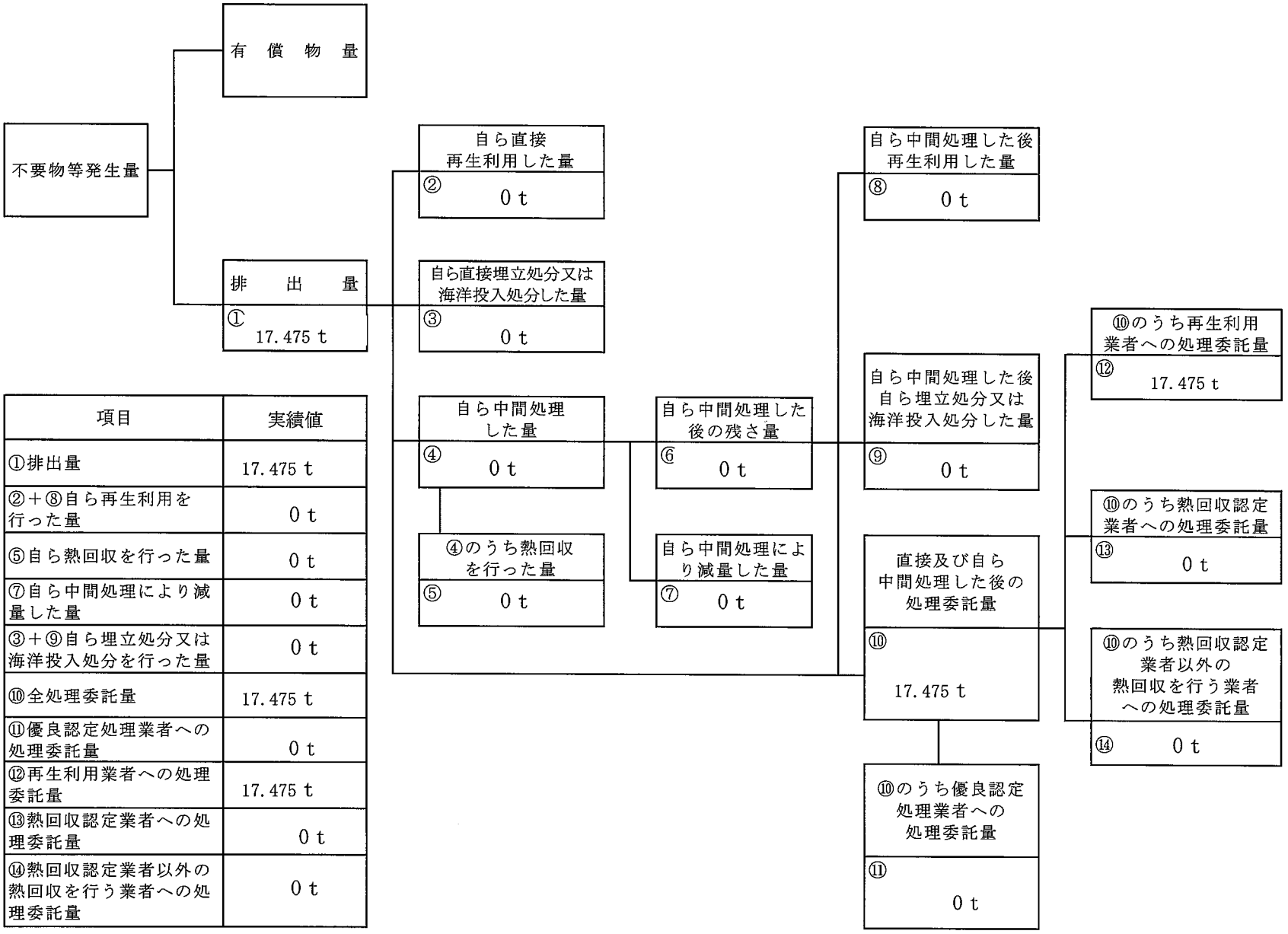
（産業廃棄物の種類：　コンクリート塊　　）



項目	実績値
①排出量	35.55ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	35.55ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	35.55ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

計画の実施状況

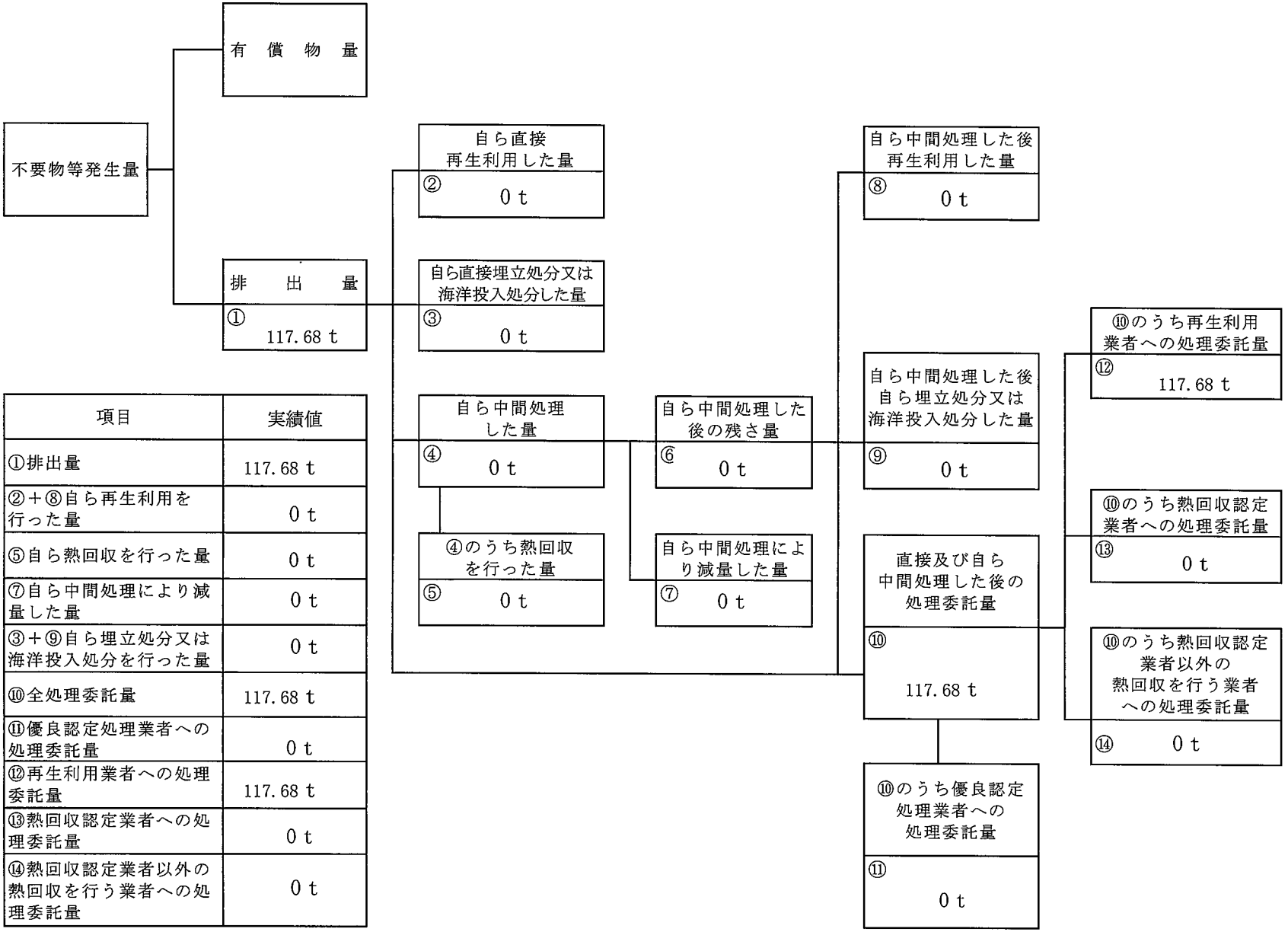
（産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	17.475ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	17.475ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	17.475ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

計画の実施状況

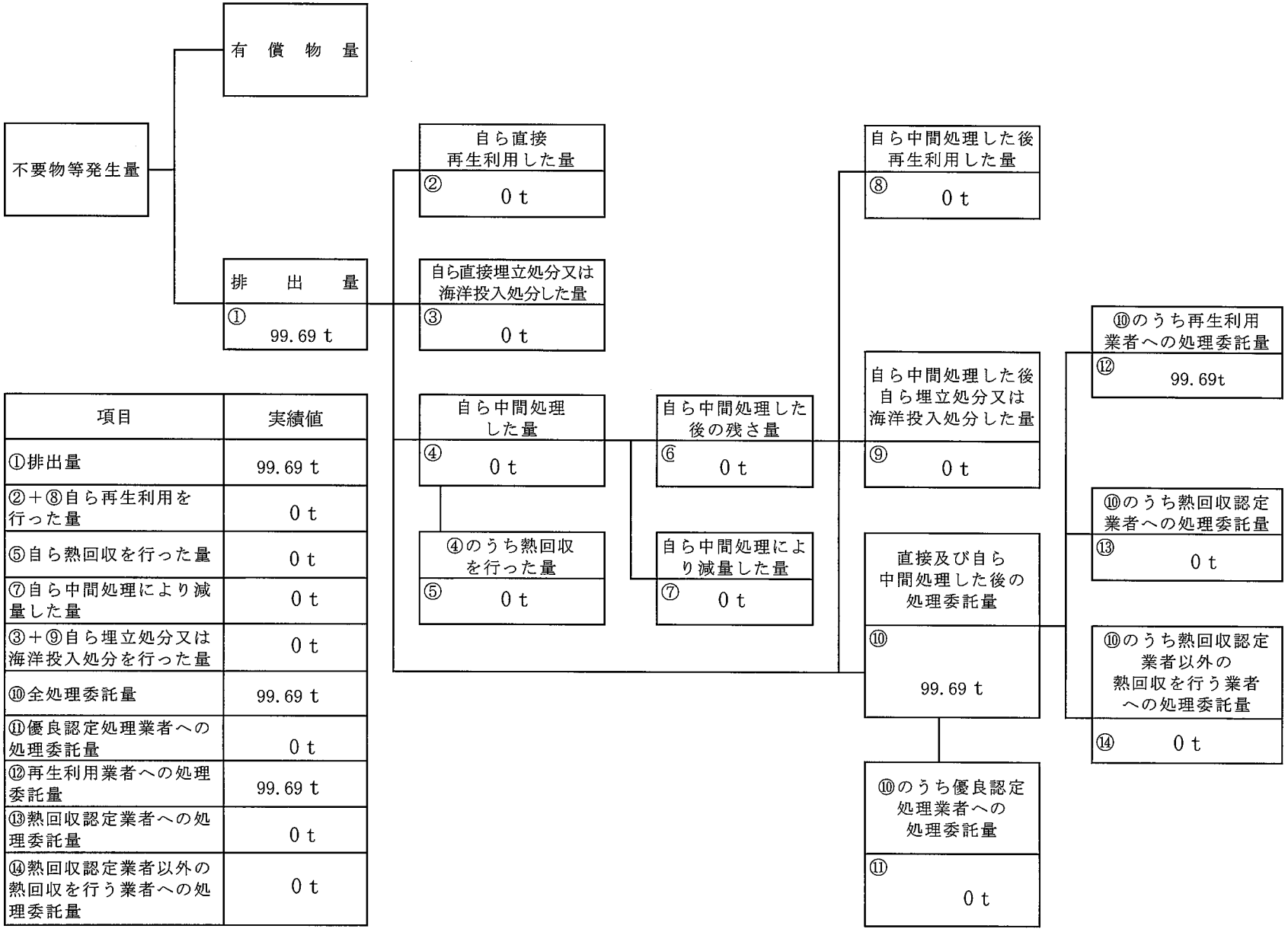
（産業廃棄物の種類：　アスファルト塊　　）



項目	実績値
①排出量	117.68ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	117.68ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	117.68ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

計画の実施状況

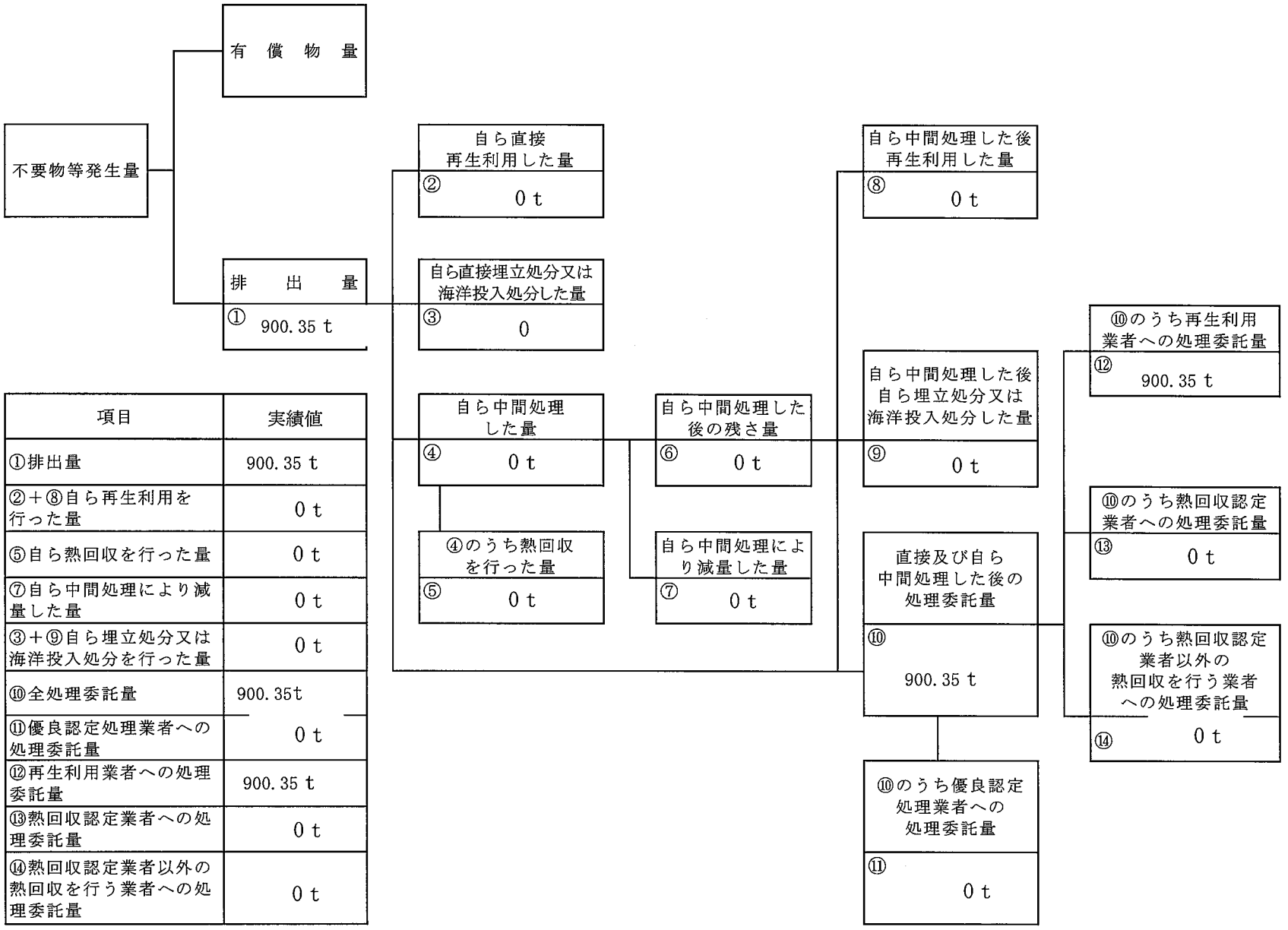
（産業廃棄物の種類：　その他がれき　　）



項目	実績値
①排出量	99.69ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	99.69ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	99.69ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

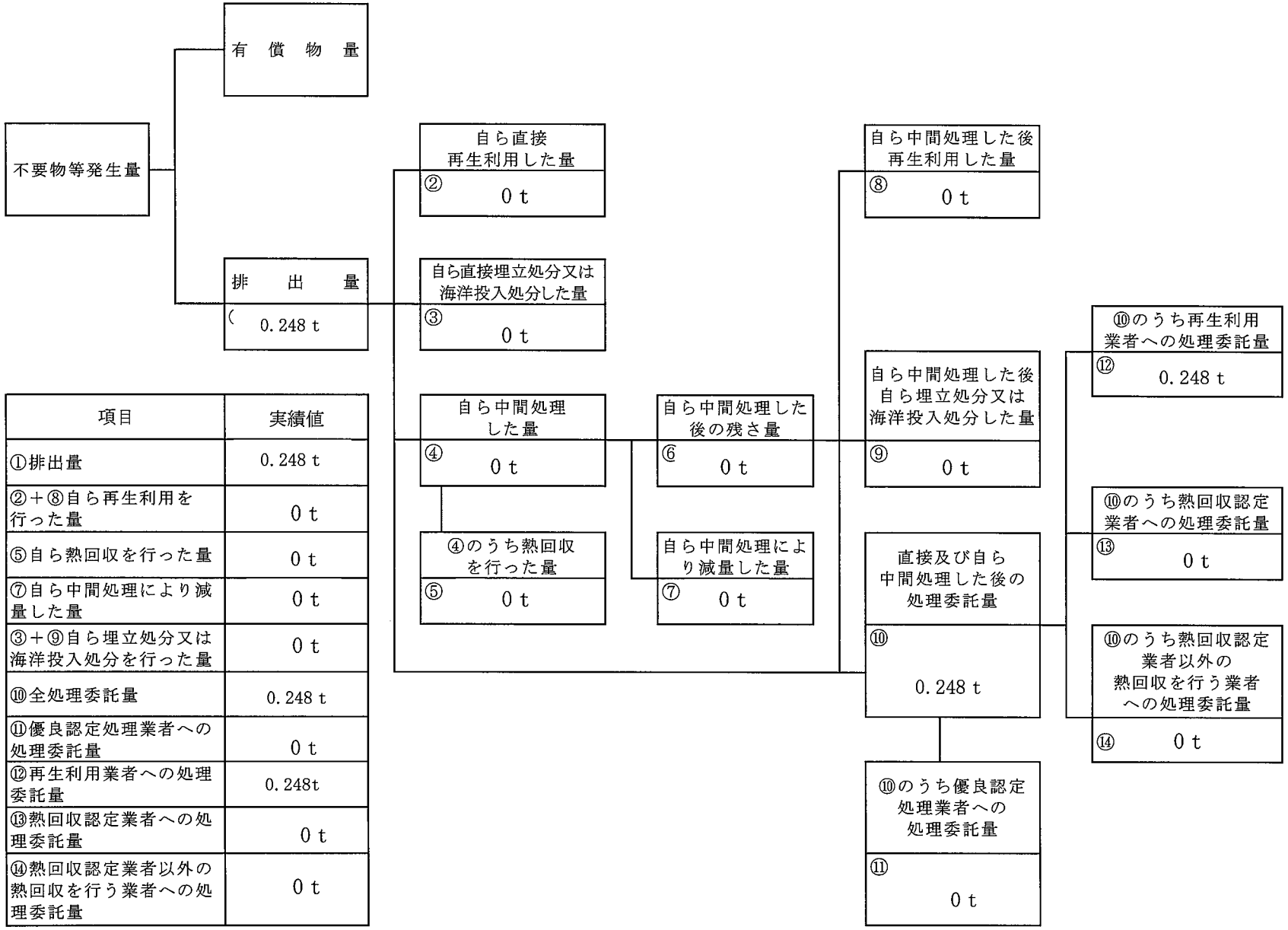
計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	900.35ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	900.35t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	900.35ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

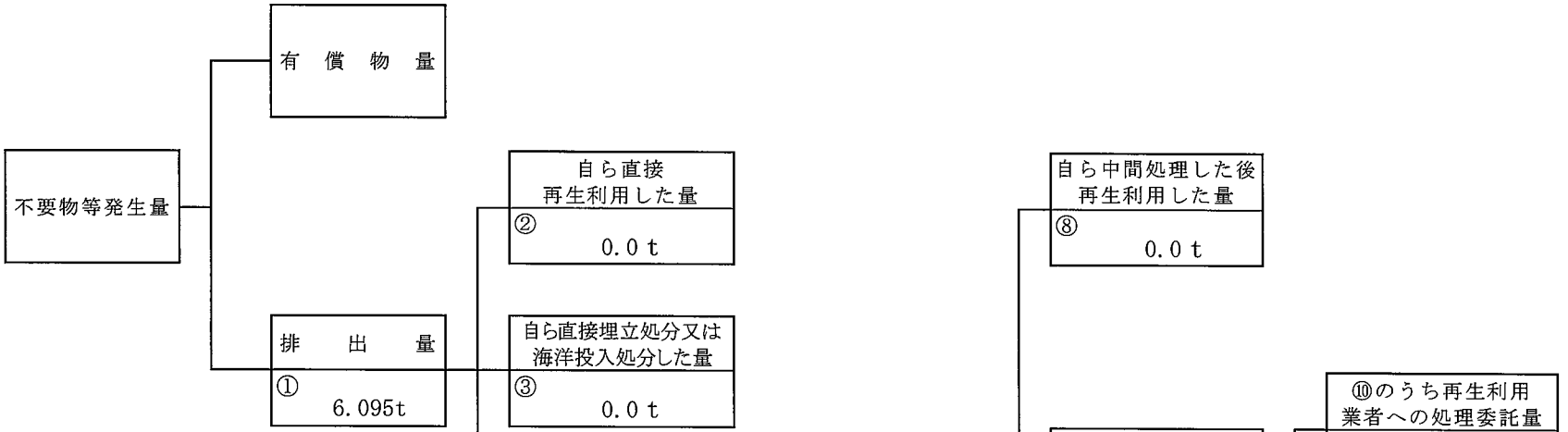
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　廃アルカリ　　）



項目	実績値
①排出量	0.248ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	0.248ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	0.248t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

計画の実施状況

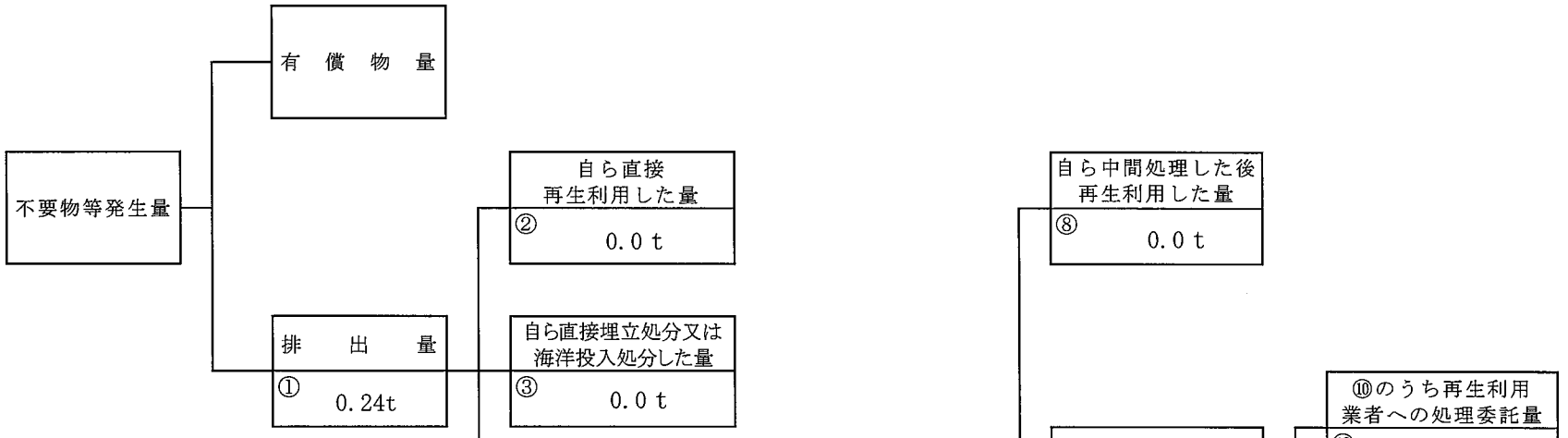
（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　　）



項目	実績値
①排出量	6.095 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.095 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.095 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

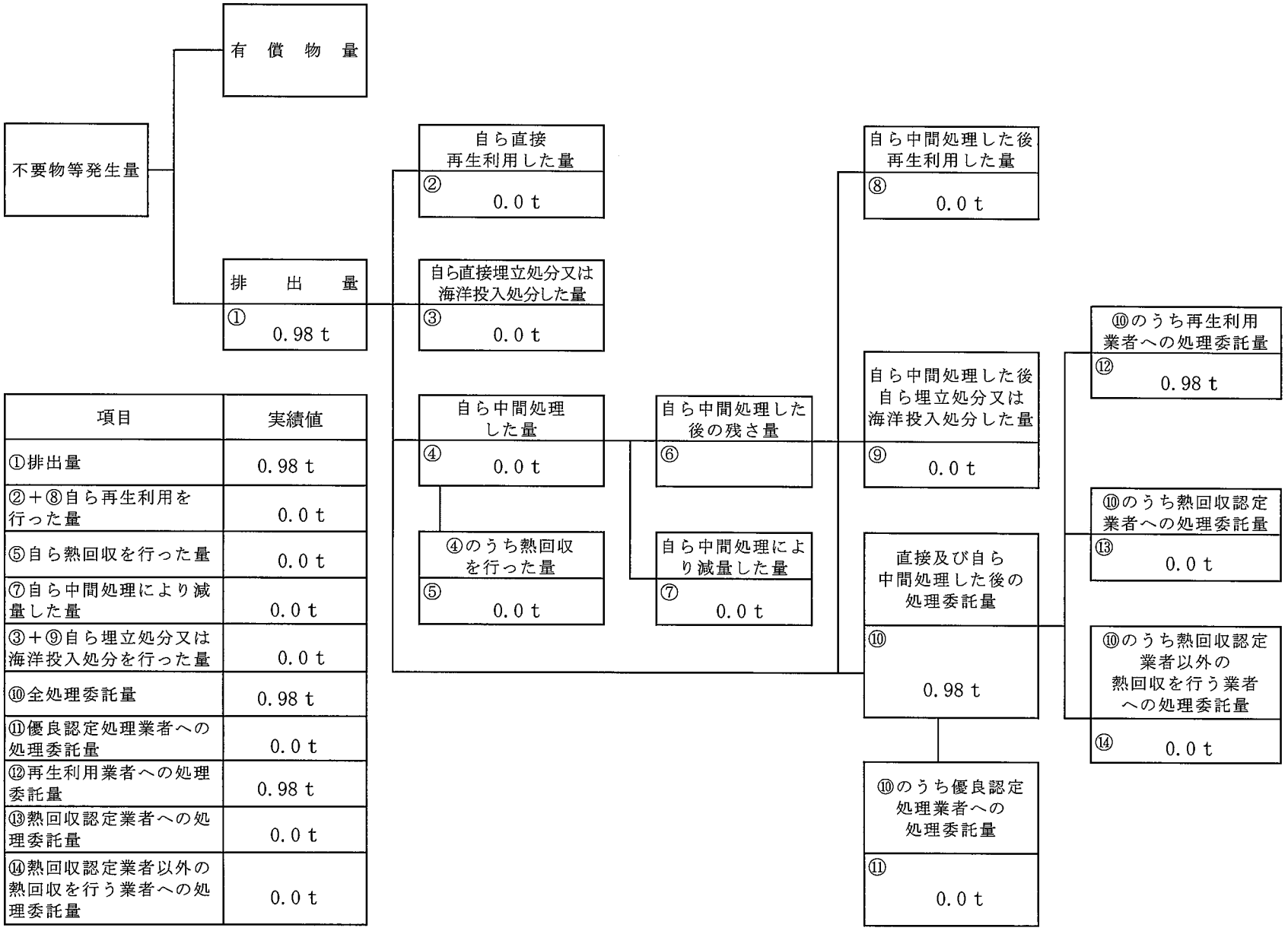
（産業廃棄物の種類：　紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	0.24t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0.0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0ｔ
⑩全処理委託量	0.24t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	0.24t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ

計画の実施状況

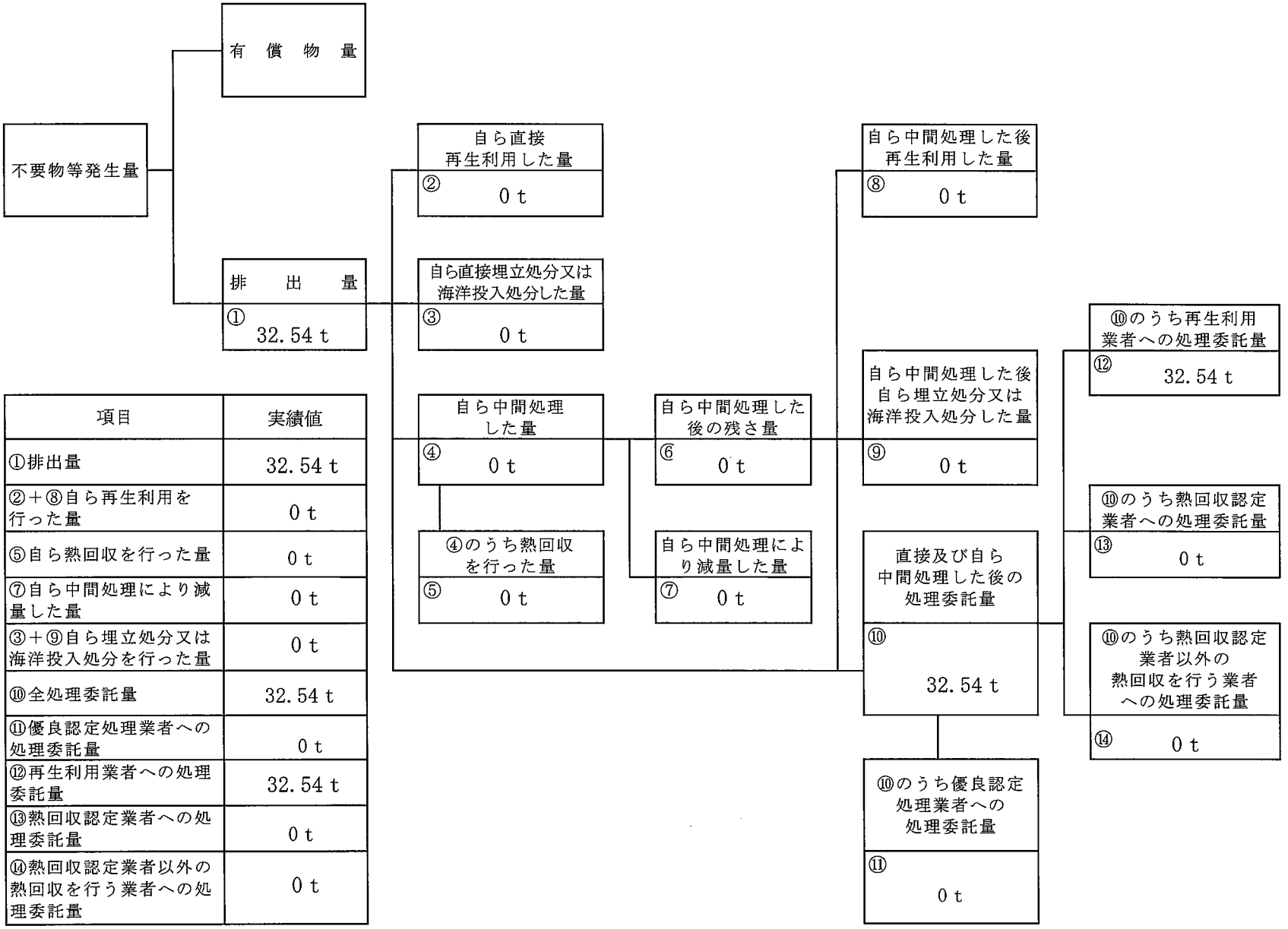
（産業廃棄物の種類：　ガラス陶磁器　　）



項目	実績値
①排出量	0.98ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0.0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0ｔ
⑩全処理委託量	0.98ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	0.98ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ

計画の実施状況

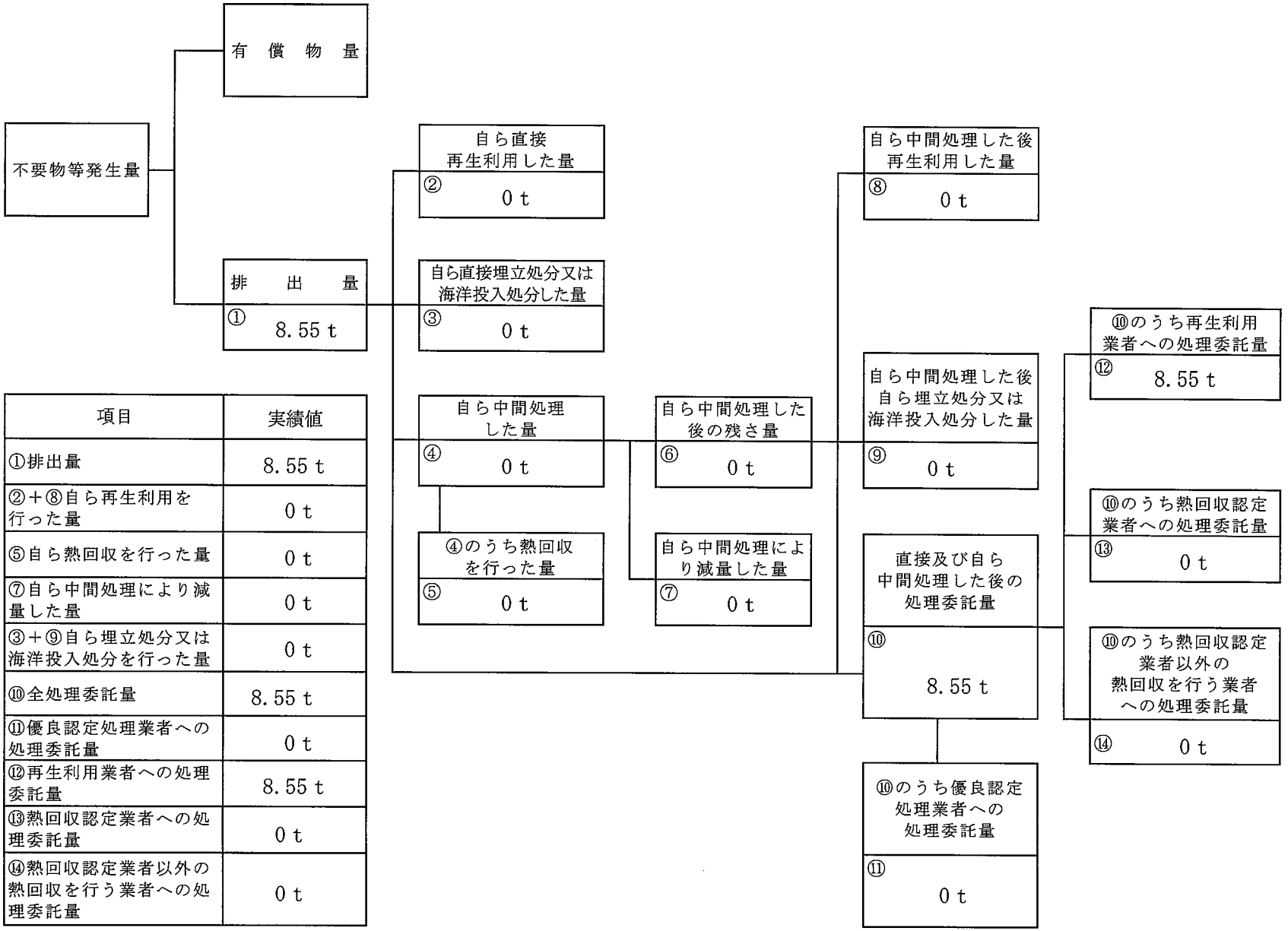
（産業廃棄物の種類：　がれき類（石綿含有産業廃棄物）



項目	実績値
①排出量	32.54ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	32.54ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	32.54ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： 混合廃棄物(安定型)　　）



項目	実績値
①排出量	8.55ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	8.55ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	8.55ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律

第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年　４月３０日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　　千葉県市川市曽谷２丁目１番５号

住　所　　株式会社　竹内水道工務店

氏　名　　代表取締役　　竹内　吉行

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号　　０４７－３７２－１９０１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　竹内水道工務店
事業場の所在地	〒272-0832 市川市曽谷2丁目１番５号
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで-

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　　２．６　億円
③従業員数	8人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事工程 → アスファルト・コンクリートがら コンクリートがら がれき類 汚泥 金属くず 廃プラスチック類 → 委託処理 （中間処理業者） → 再生 焼却 埋立

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

取締役　（処理計画統括責任者）
|
工事部長　（処理計画作成担当）
|
工事担当者　（廃棄物担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
排出量	1221.7 t	763.7 t

（これまでに実施した取組）
再資源化の促進

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
排出量	1220 t	760 t

（今後実施する予定の取組）
再資源化の促進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら、ｺﾝｸﾘｰﾄがら、がれき類：
工事工程で生じるがら、がれき類は種類毎に分別している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら、ｺﾝｸﾘｰﾄがら、がれき類：
原材料として再生利用できる種類毎に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	がれき類
全処理委託量	1221.7 t	763.7 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	1221.7 t	763.7 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら		がれき類	
全処理委託量	1220	t	760	t
優良認定処理業者への処理委託量		t		t
再生利用業者への処理委託量	1220	t	760	t
認定熱回収業者への処理委託量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

（今後実施する予定の取組）

分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託する。

※事務処理欄

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	排　出　量	6.6 t	6.4 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	排　出　量	6 t	6 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	全処理委託量	6.6 t	6.4 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6.6 t	6.4 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	汚泥						
	全処理委託量	6 t	6 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6 t	6 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　4月30日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　　千葉県市川市曽谷2丁目1番5号
住　所　　株式会社　竹内水道工務店
氏　名　　代表取締役　　竹内　吉行
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　047－372－1901

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　竹内水道工務店
事業場の所在地	千葉県市川市曽谷2丁目1番5号
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

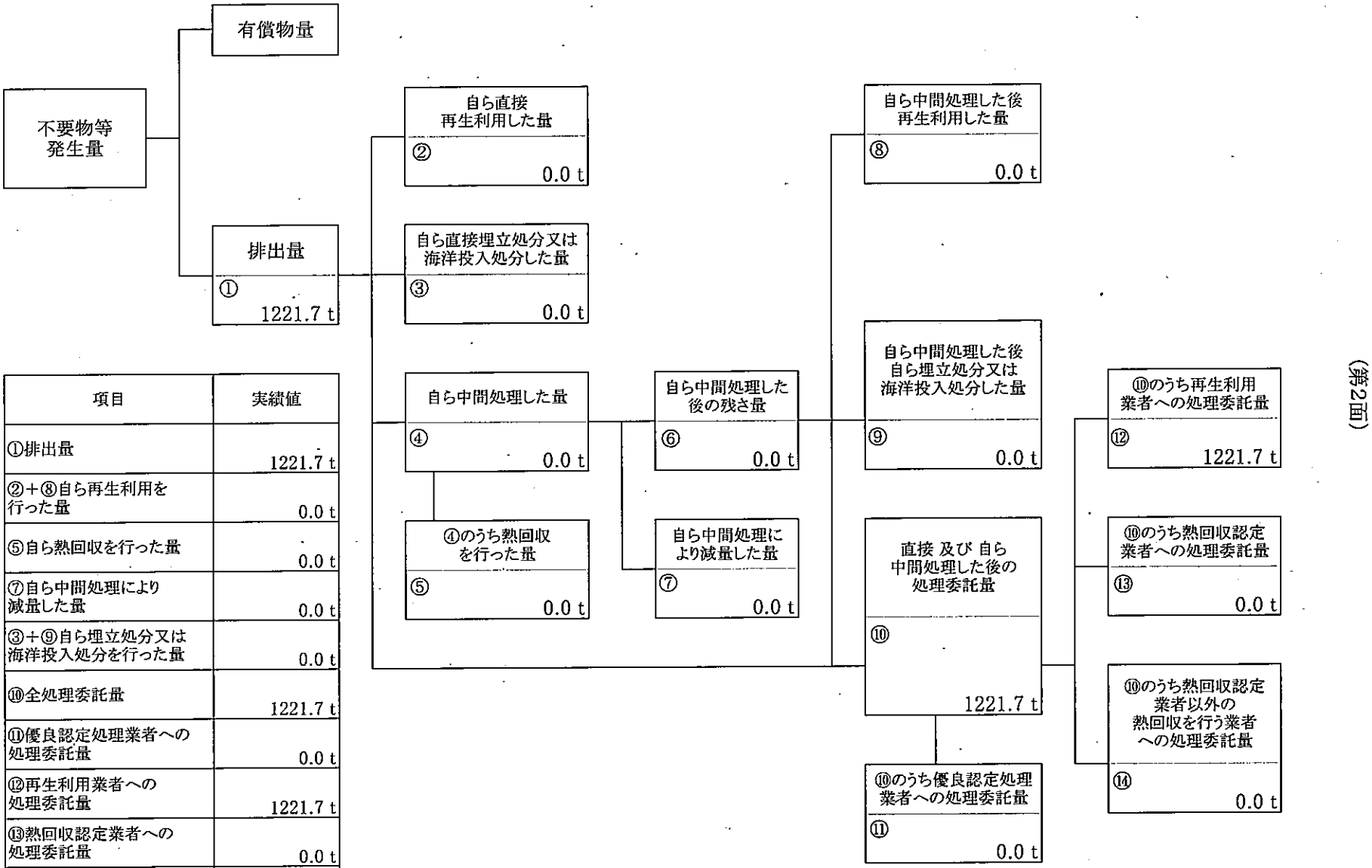
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1994.0 t	全処理委託量	1994.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1994.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリートがら　）

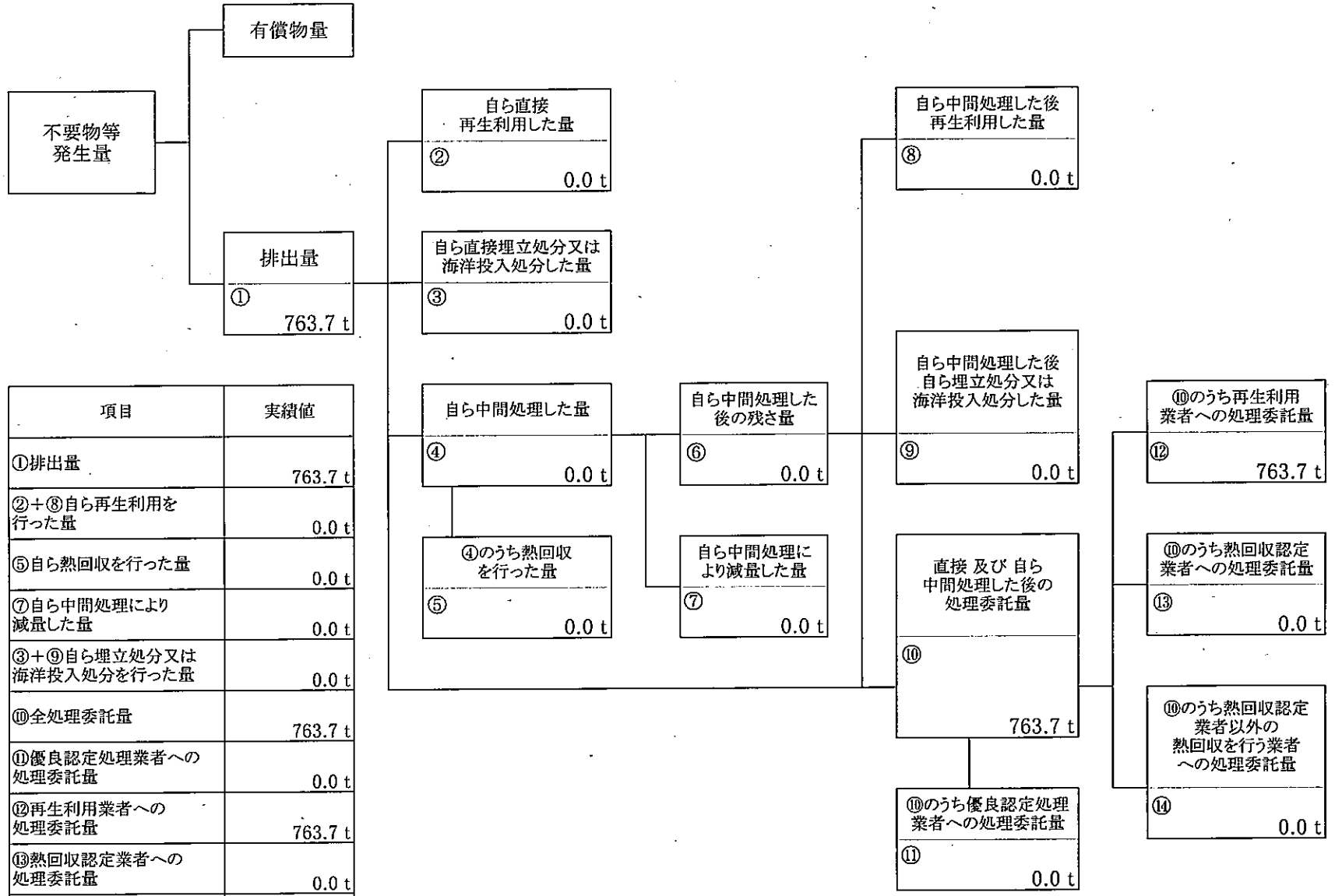


項目	実績値
①排出量	1221.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1221.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1221.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

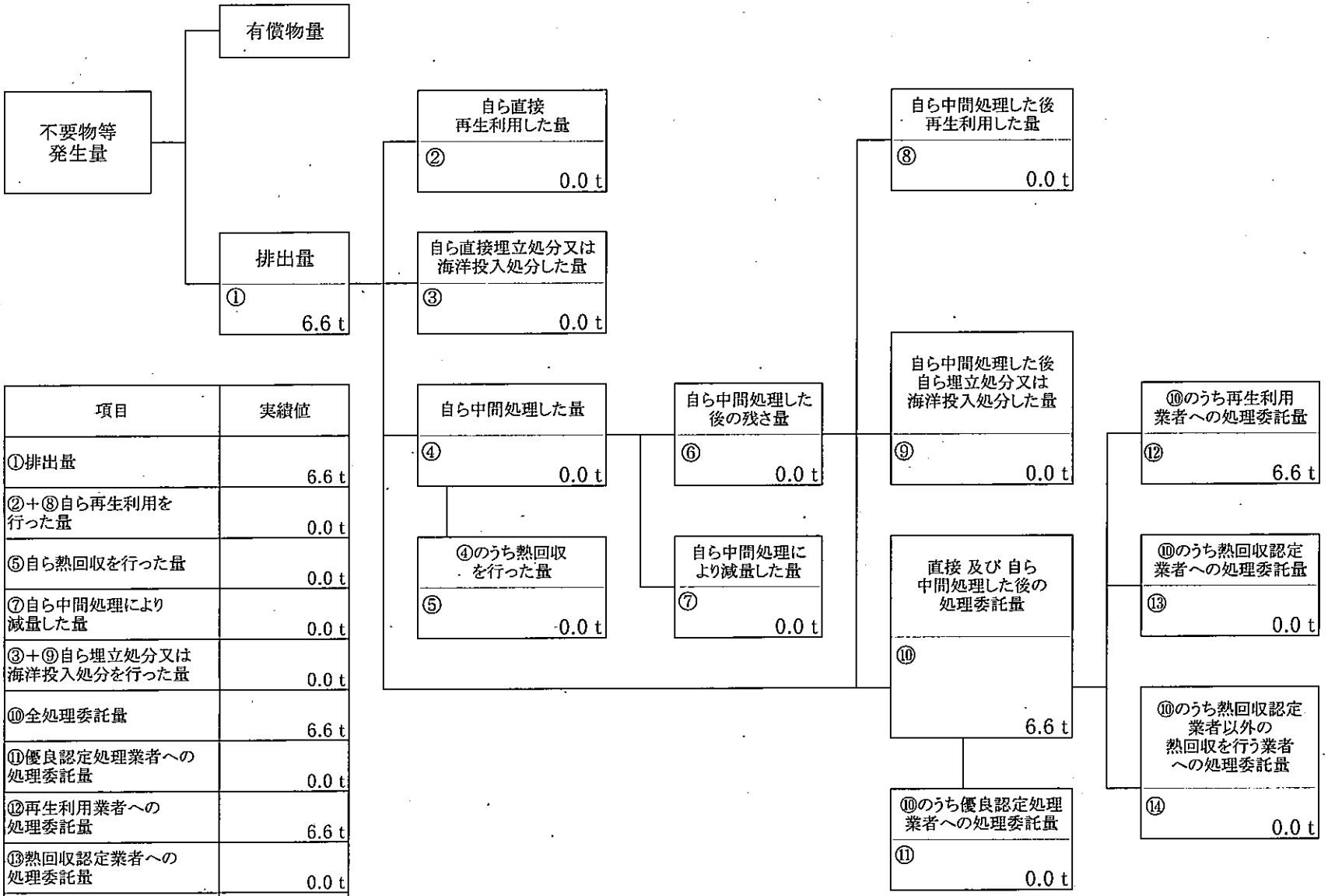


項目	実績値
①排出量	763.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	763.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	763.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリートがら　　）

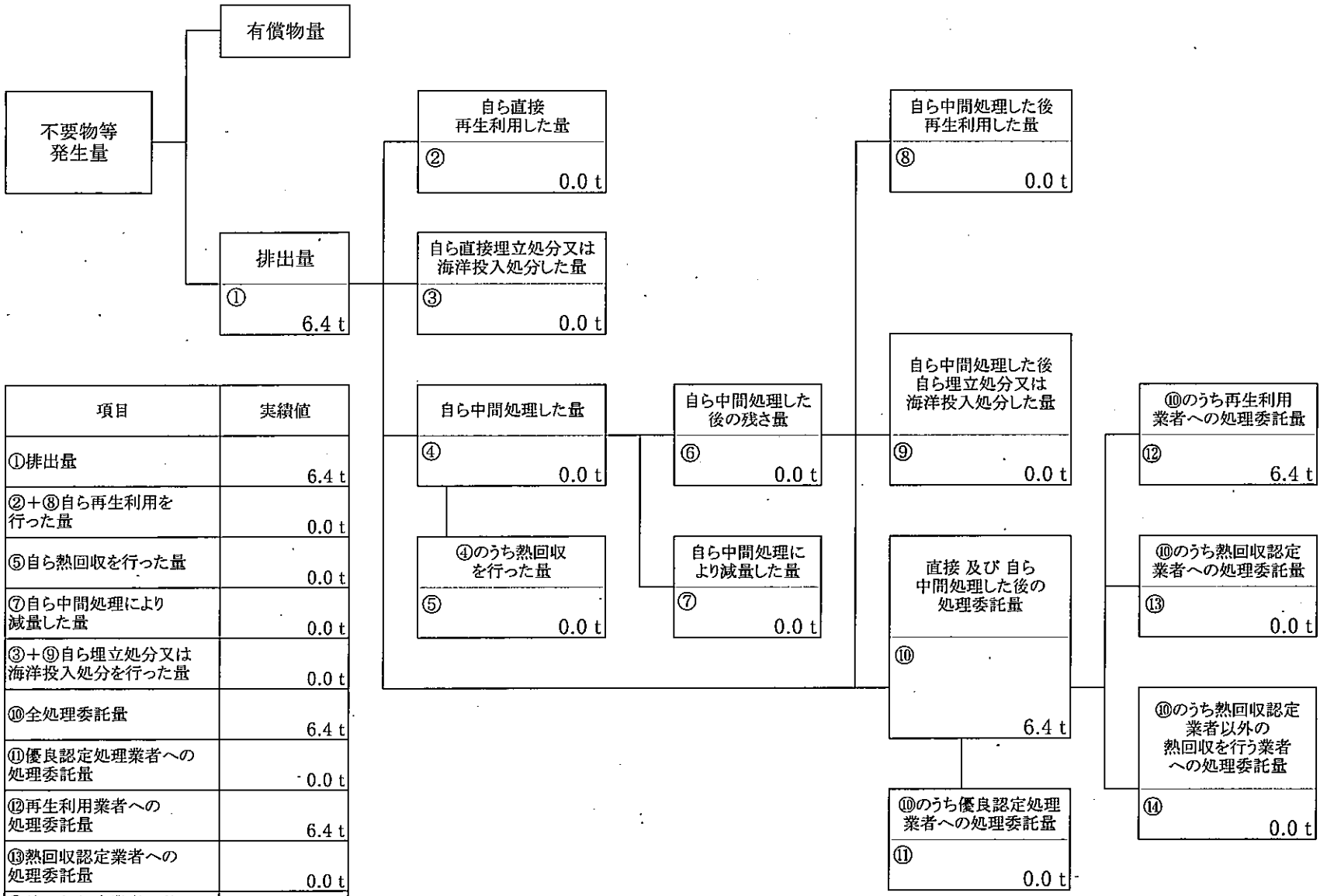


項目	実績値
①排出量	6.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	6.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　　6月　　25日

千葉県知事
　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　　東京都江東区新砂１－１－１
　　株式会社竹中工務店東京本店
氏　名　　安全環境部長　清水　　亨

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03-6810-5114

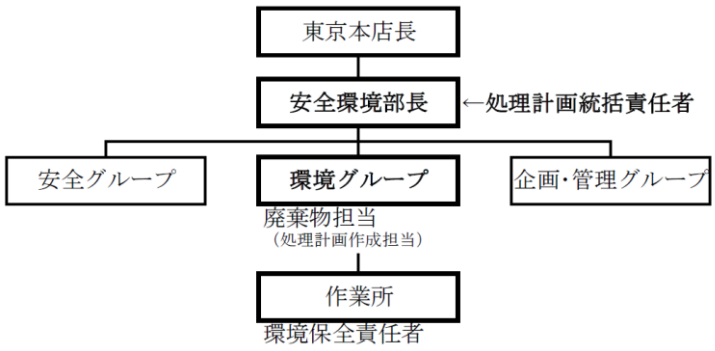
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社竹中工務店東京本店
事業場の所在地	東京都江東区新砂１－１－１
計画期間	令和7年４月１日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業、中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度（令和6年度）の完成工事高　4,300億円
③従業員数	2,596人（令和7年5月１日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】　　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 以下の項目について作業所にて活動を実施した。 ・持込む資材等が過剰にならないよう計画をたてる。 ・工場加工・製作、プレカットを推進する。 ・ﾊﾟﾚｯﾄ利用、ﾗｯｸ式・ｺﾝﾃﾅ式の採用等省梱包・無梱包を工夫する。 ・ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ化、ﾕﾆｯﾄ化、代替型枠の採用等の工法改善を推進する。		
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き以下の項目について作業所にて活動を実施する。 ・持込む資材等が過剰にならないよう計画をたてる。 ・工場加工・製作、プレカットを推進する。 ・ﾊﾟﾚｯﾄ利用、ﾗｯｸ式・ｺﾝﾃﾅ式の採用等省梱包・無梱包を工夫する。 ・ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ化、ﾕﾆｯﾄ化、代替型枠の採用等の工法改善を推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 1.0m3の専用容器（ﾌﾚｺﾝﾊﾞｯｸ）を設置し、分別を徹底した。 実施品目：ｺﾝｸﾘｰﾄ破片、ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ破片、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、金属くず、紙くず、木くず、ｶﾞﾗｽ陶磁器くず、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、可燃物、安定型混合廃棄物、石綿含有建材
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 昨年度の取り組みを継続する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項　：該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項　　：該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項　　：該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
地域別全品目分別回収システムを全作業所にて完全実施し、徹底的な分別活動を実践したことにより、新築工事を対象とした混合廃棄物排出率＝18%（令和3年末実績）を達成できた。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">② 計画</td><td colspan="3">【目標】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
本年度は、さらなるリサイクル率向上を図るべく、リサイクル率の目標値を、新築工事で昨年と同様に95%以上と設定した。作業所での分別の徹底の他、リサイクル施設へ直送、また精度の高い優良中間処理施設への搬出を継続して実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴　①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵　②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶　④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

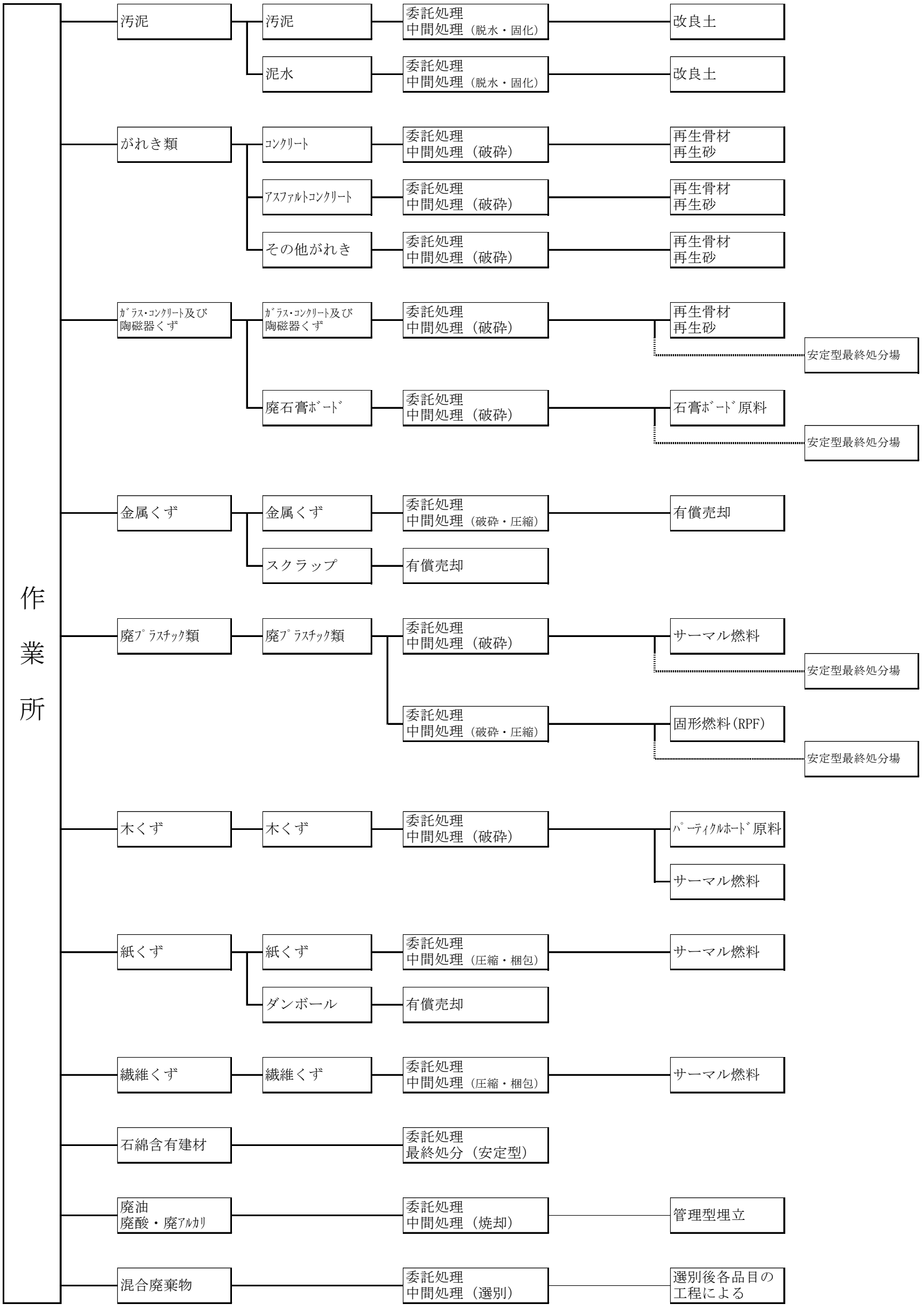
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

◎産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙1



別紙２

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】　合計：　7,303.8 t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	その他がれき類
排　出　量（t）	886.5	437.3	0.02	0.3	279.3	2.7	353.1	0.0	26.0	112.4	666.0
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	石綿含有建材	廃水銀灯	廃蛍光灯	廃電池				
排　出　量（t）	2,586.0	775.0	320.1	824.7	0.0	0.4	34.0				

②計画

【目標】　合計：　6,938.6 t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	その他がれき類
排　出　量（t）	842.2	415.5	0.02	0.3	265.3	2.6	335.4	0.0	24.7	106.7	632.7
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	石綿含有建材	廃水銀灯	廃蛍光灯	廃電池				
排　出　量（t）	2,456.7	736.3	304.1	783.5	0.0	0.4	32.3				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】　合計：　7,303.7 t　優良：　5,945.63 t　再生：　6,445.07

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	その他がれき類
全処理委託量(t)	886.5	437.3	0.02	0.3	279.3	2.7	353.1	0.0	26.0	112.4	666.0
優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.02	0.0	279.3	2.7	353.1	0.0	26.0	112.4	666.0
再生利用業者への処理委託量(t)	886.5	437.3	0.02	0.3	279.3	2.7	353.1	0.0	26.0	112.4	666.0
認定熱回収業者への処理委託量(t)											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)											
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	石綿含有建材	廃水銀灯	廃蛍光灯	廃電池				
全処理委託量(t)	2,586.0	775.0	320.1	824.7	0.0	0.4	34.0				
優良認定処理業者への処理委託量(t)	2,586.0	775.0	320.1	824.7	0.0	0.4	0.0				
再生利用業者への処理委託量(t)	2,586.0	775.0	320.1	0.0	0.0	0.4	0.0				
認定熱回収業者への処理委託量(t)											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)											

②計画

【目標】　合計：　6,938.7 t　優良：　19,980.40　再生：　40,493.30

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	その他がれき類
全処理委託量(t)	842.2	415.5	0.02	0.3	265.3	2.6	335.4	0.0	24.7	106.7	632.7
優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.00	0.0	265.3	2.6	335.4	0.0	24.7	106.7	632.7
再生利用業者への処理委託量(t)	842.2	415.5	0.02	0.3	265.3	2.6	335.4	0.0	24.7	106.7	632.7
認定熱回収業者への処理委託量(t)											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)											
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	石綿含有建材	廃水銀灯	廃蛍光灯	廃電池				
全処理委託量(t)	2,456.7	736.3	304.1	783.5	0.0	0.4	32.3				
優良認定処理業者への処理委託量(t)	2,756.7	736.3	304.1	783.5	0.0	0.4	0.0				
再生利用業者への処理委託量(t)	2,756.7	736.3	304.1	0.0	0.0	0.4	0.0				
認定熱回収業者への処理委託量(t)											
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)											

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　7年　6月　25日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒136-0075
住 所　東京都江東区新砂1-1-1
氏 名　株式会社竹中工務店 東京本店
安全環境部長 清水 亨
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-6810-5114

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社竹中工務店 東京本店
事業場の所在地	東京都江東区新砂1-1-1
事業の種類	大分類:建設業、中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　～　**令和7年3月31日**

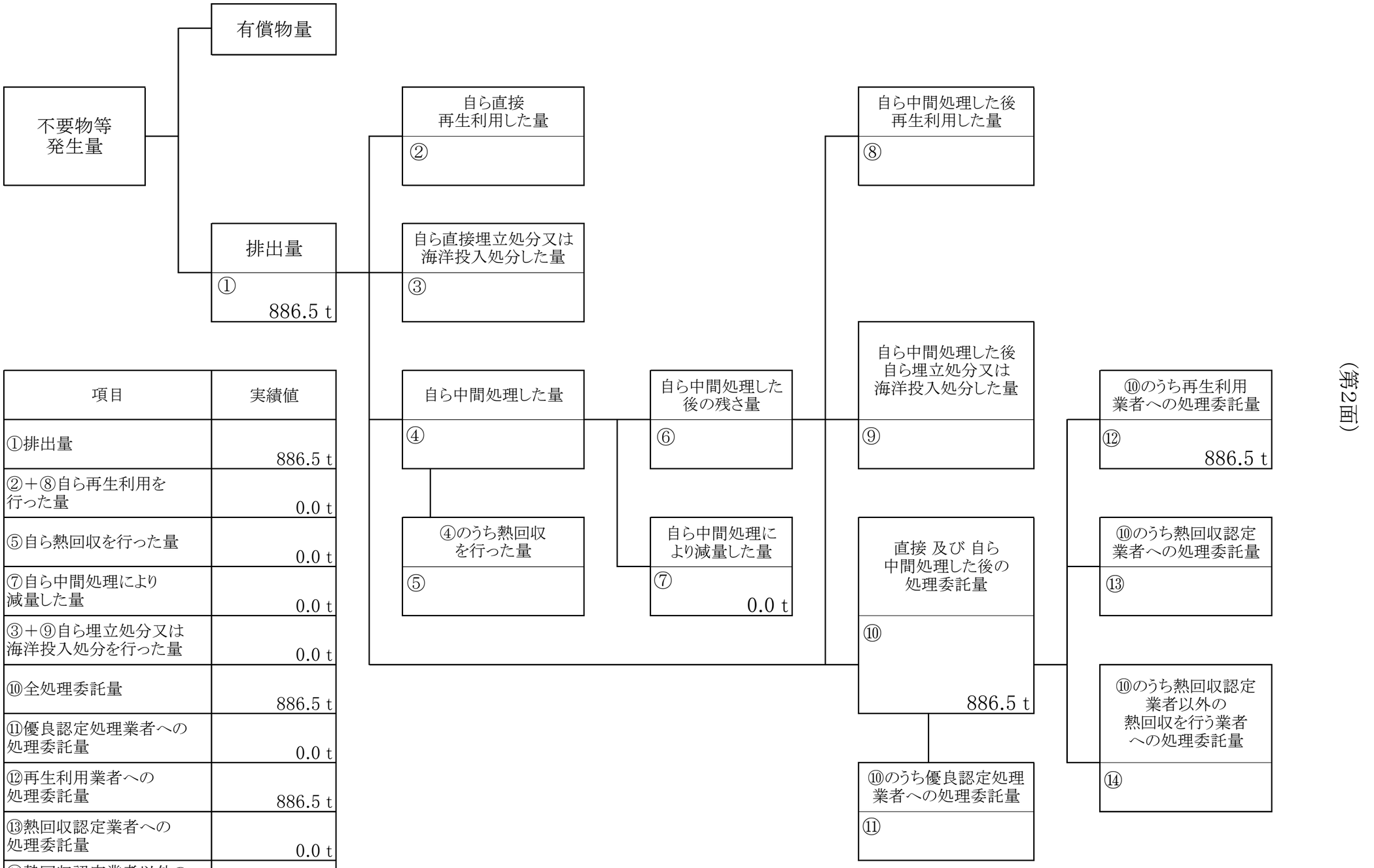
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	41,424.2t	全処理委託量	41,424.2t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	1,998.04t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	40,493.3t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**汚泥**　）

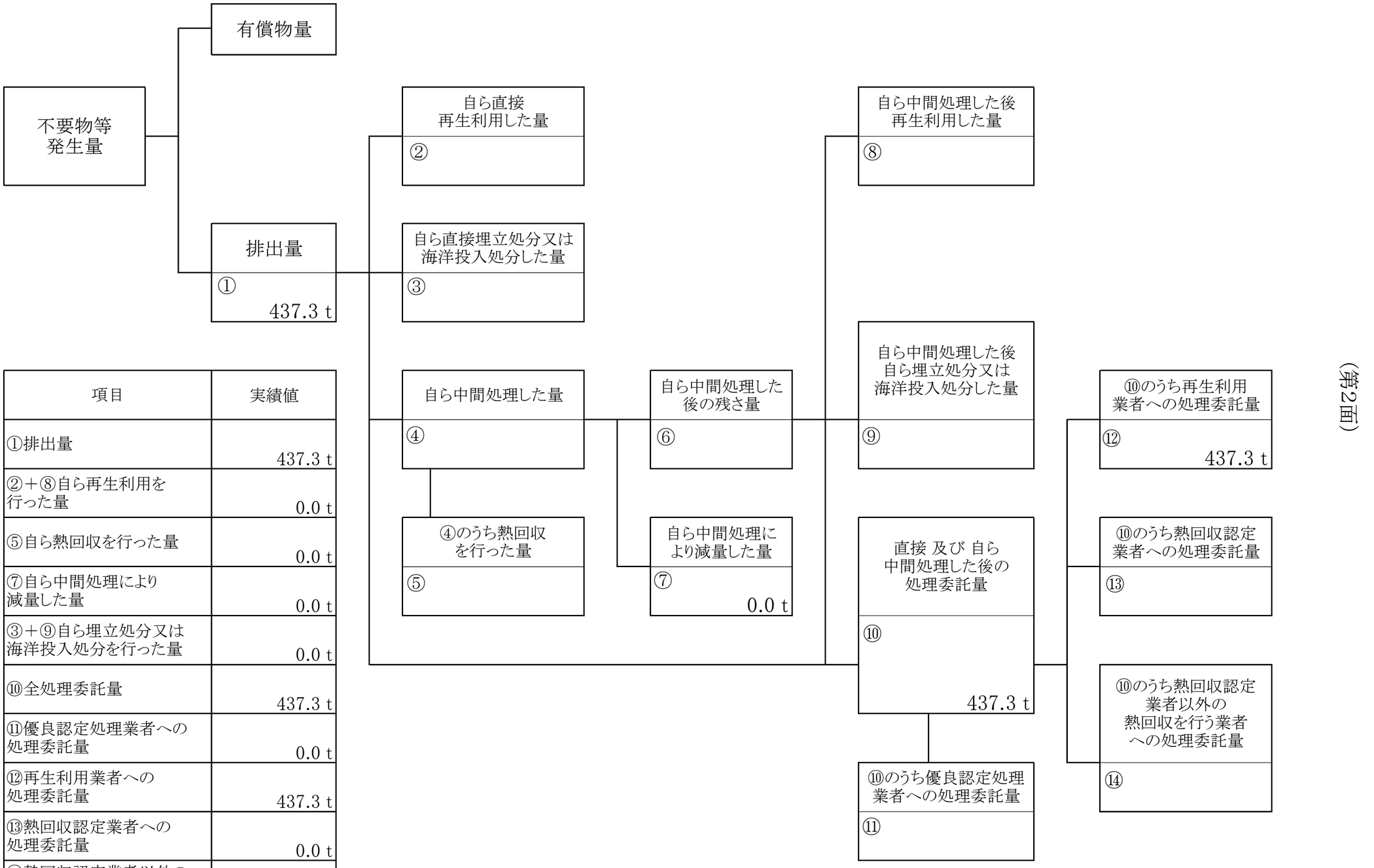


項目	実績値
①排出量	886.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	886.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	886.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃油**　）

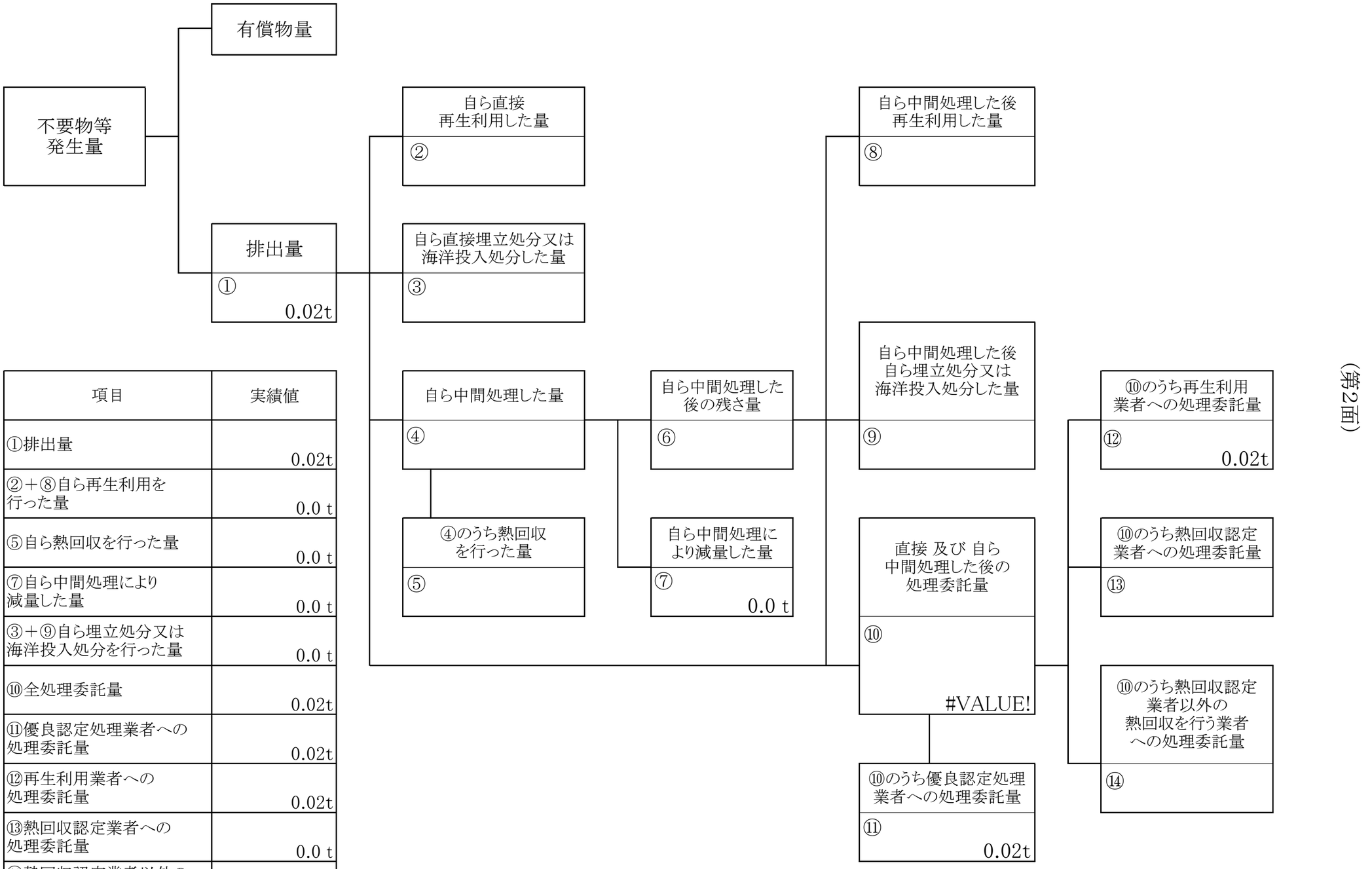


項目	実績値
①排出量	437.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	437.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	437.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　**廃酸**　　）

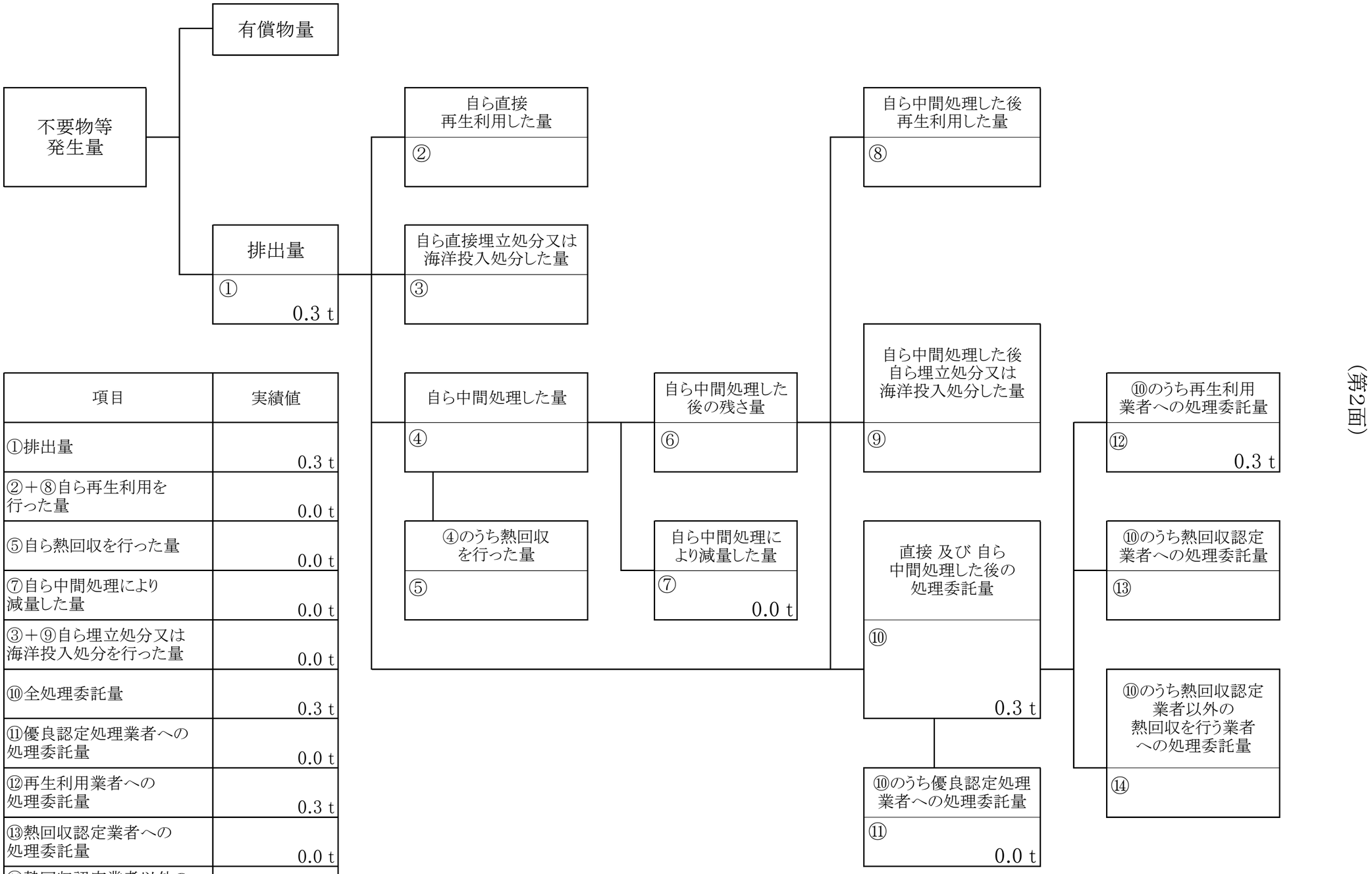


項目	実績値
①排出量	0.02t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.02t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.02t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃アルカリ**　）

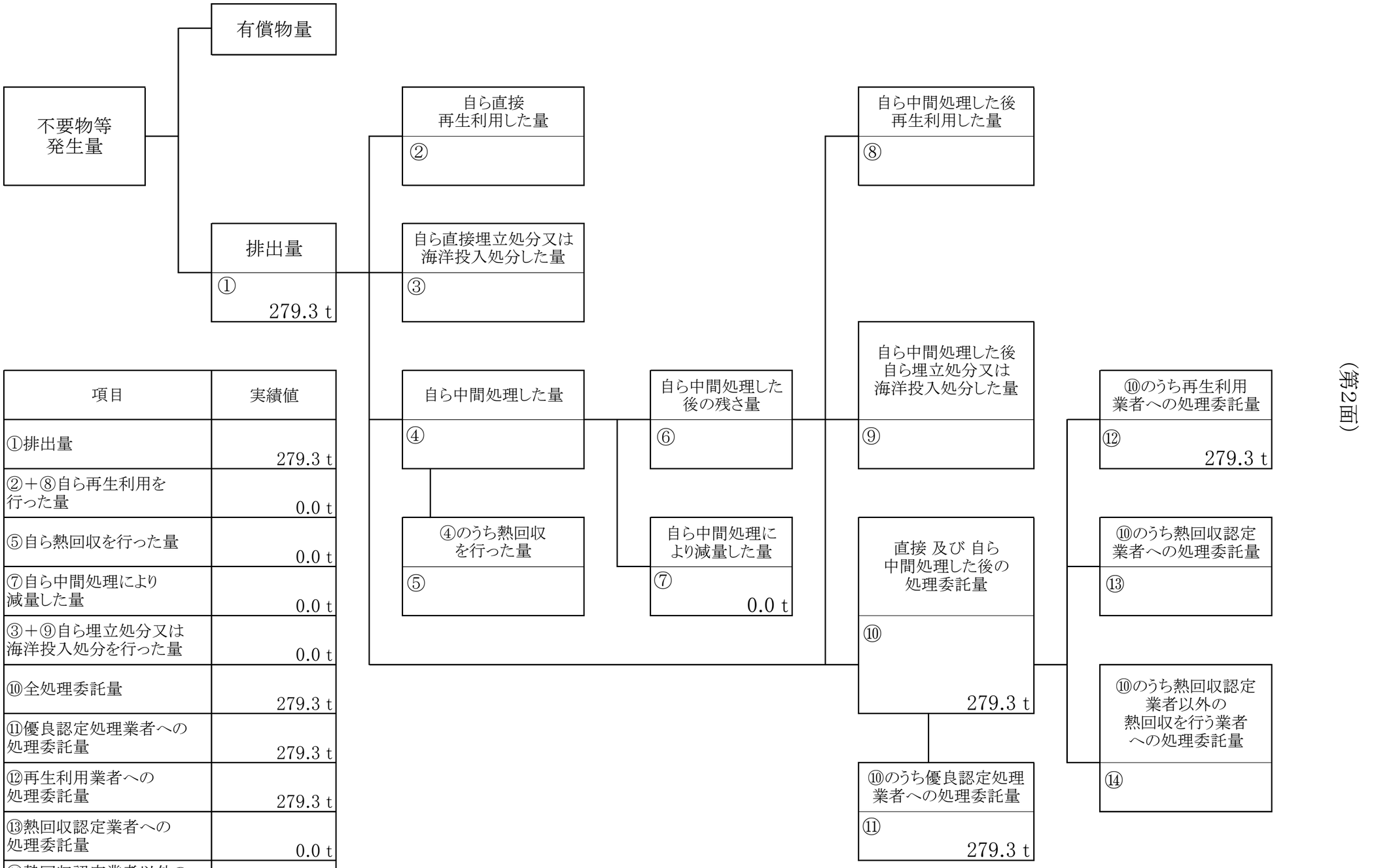


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

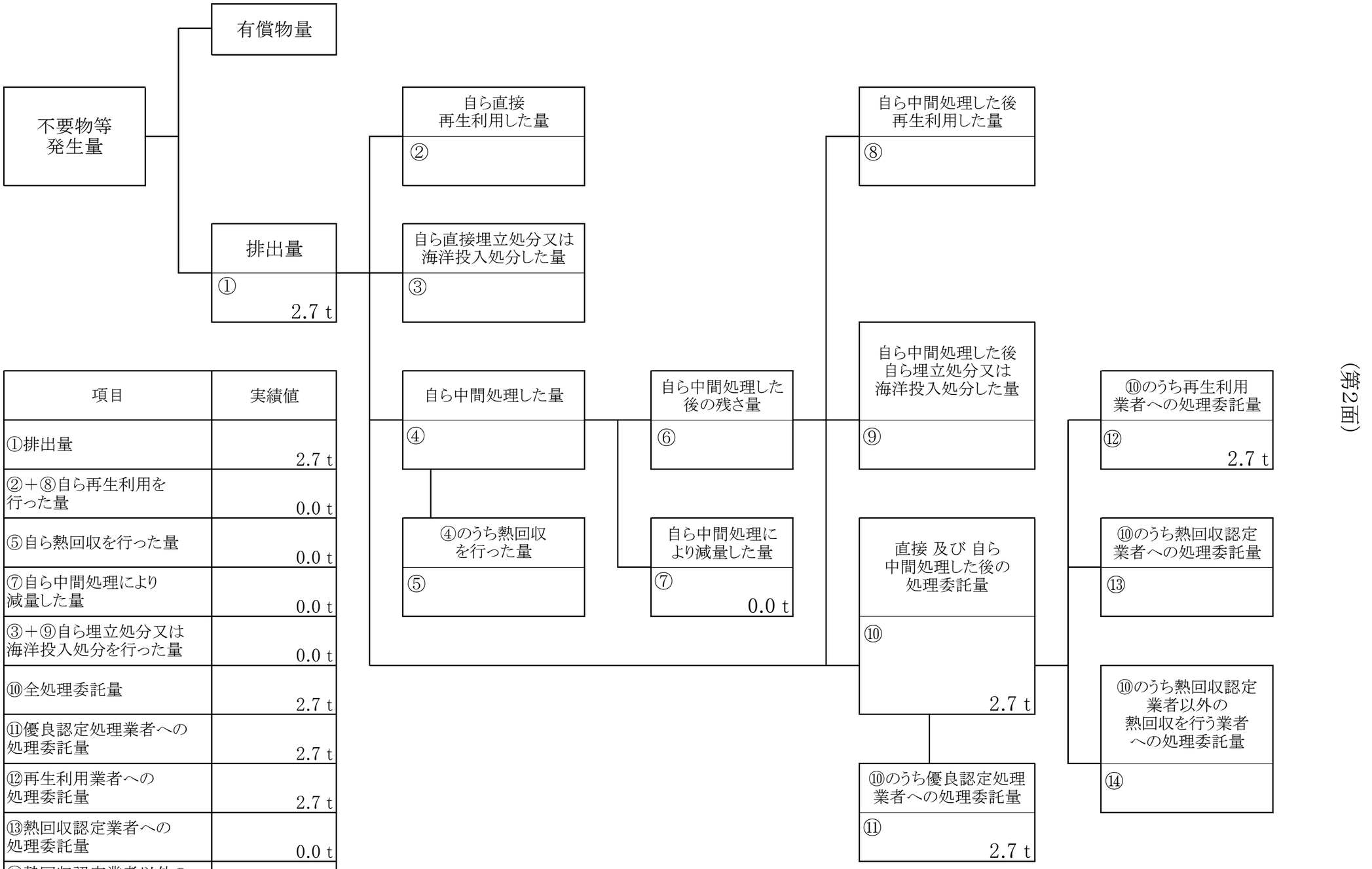


項目	実績値
①排出量	279.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	279.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	279.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	279.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

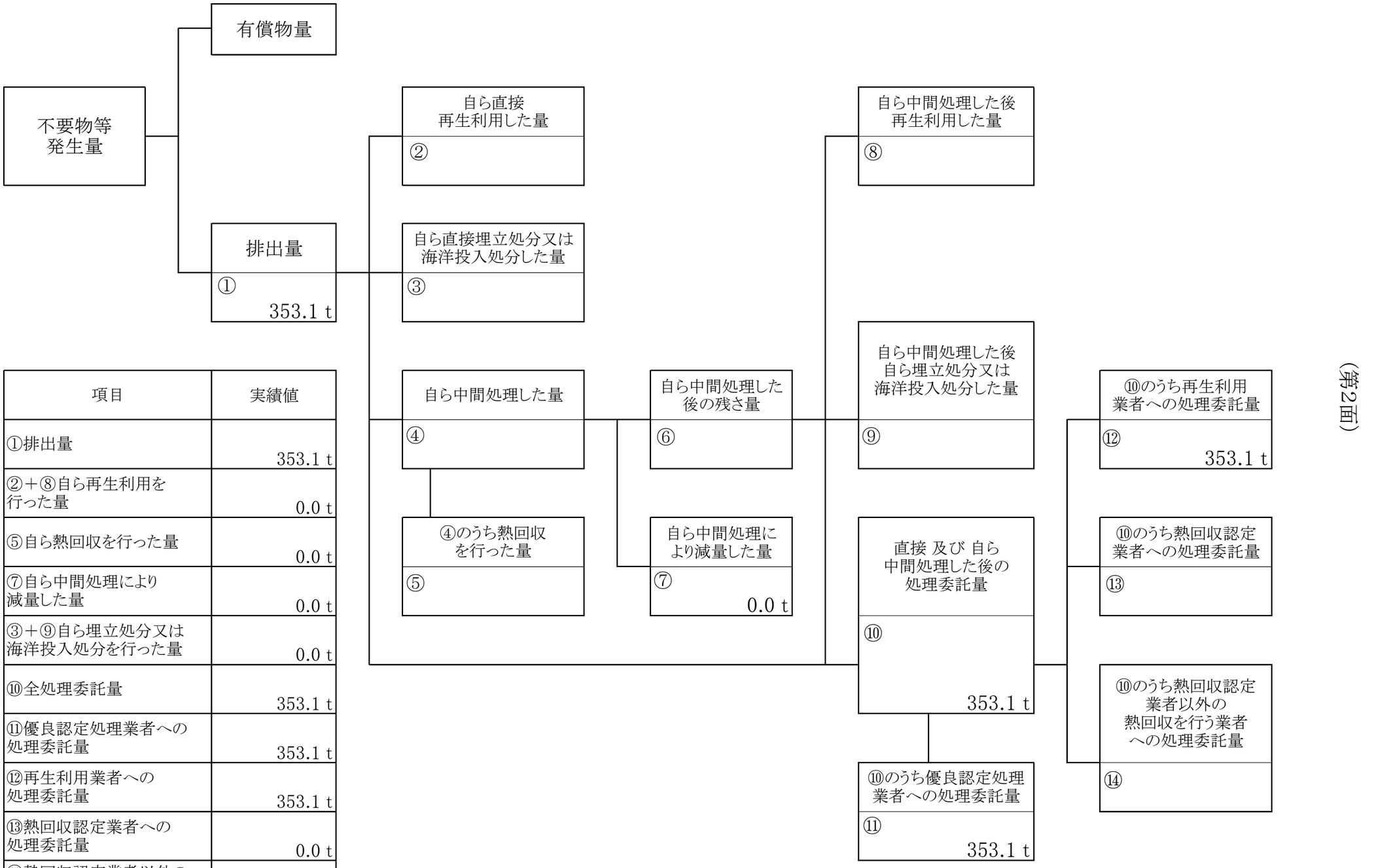


項目	実績値
①排出量	2.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

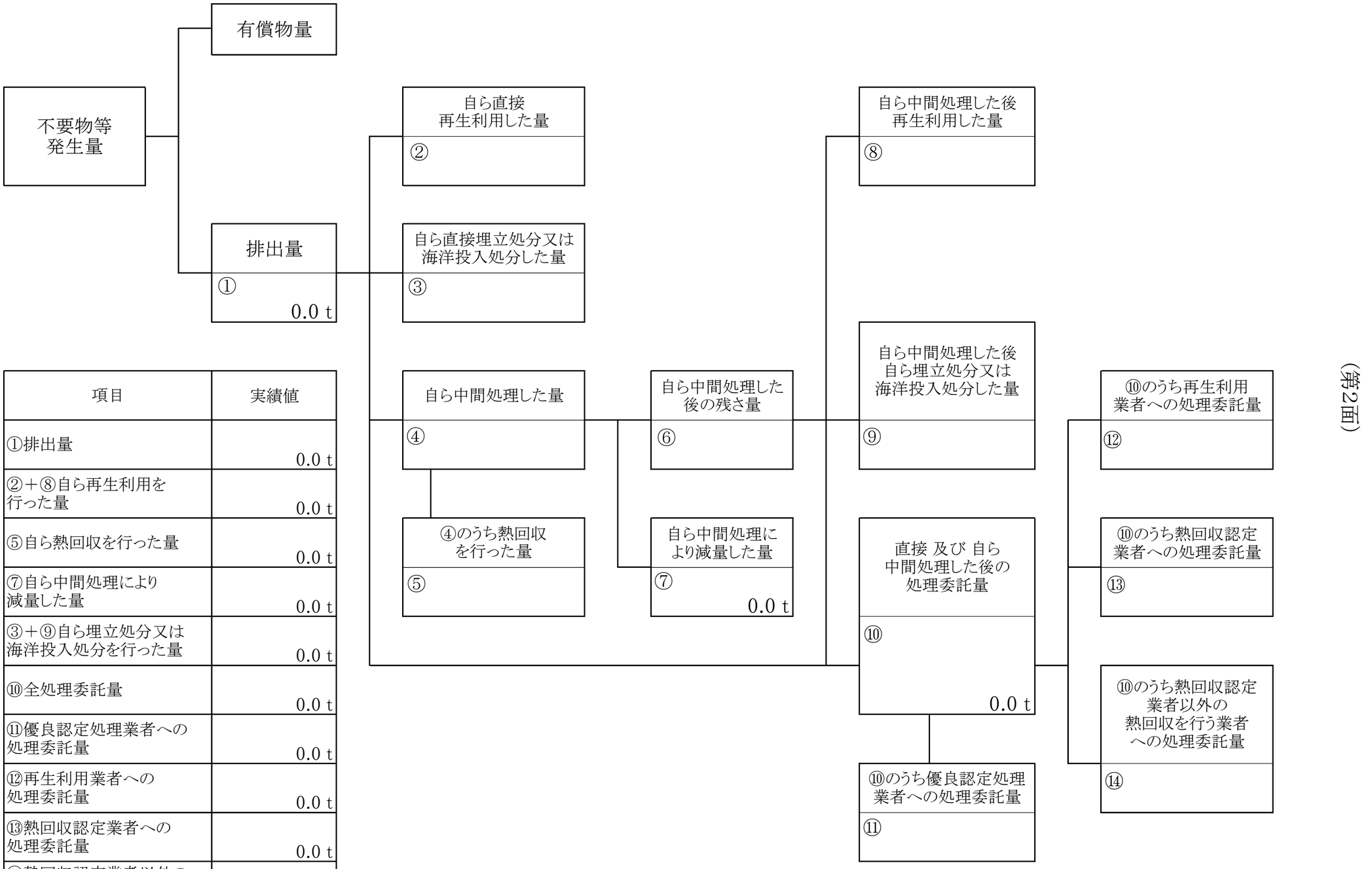


項目	実績値
①排出量	353.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	353.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	353.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	353.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**繊維くず**　）

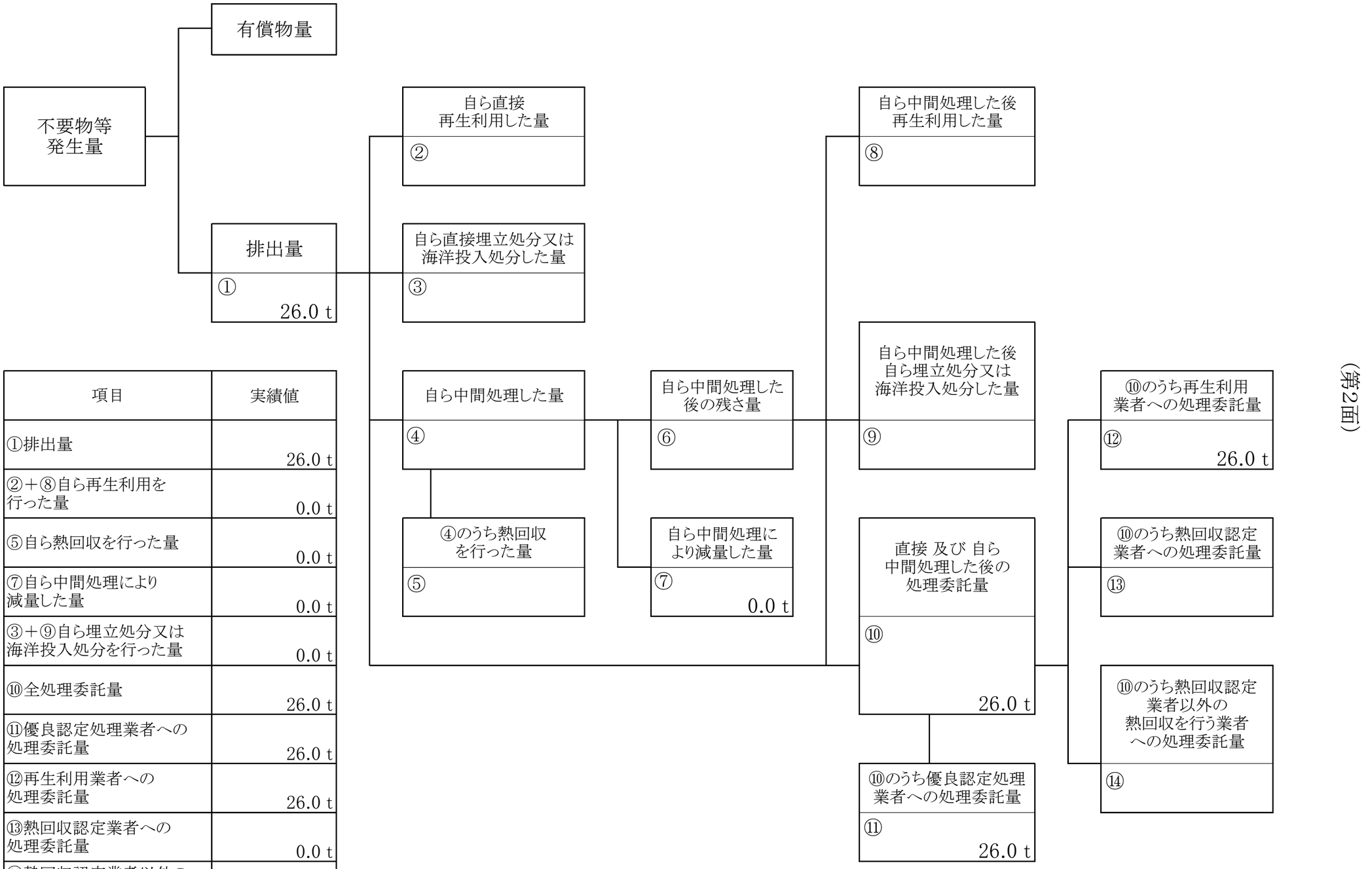


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**金属くず**　）

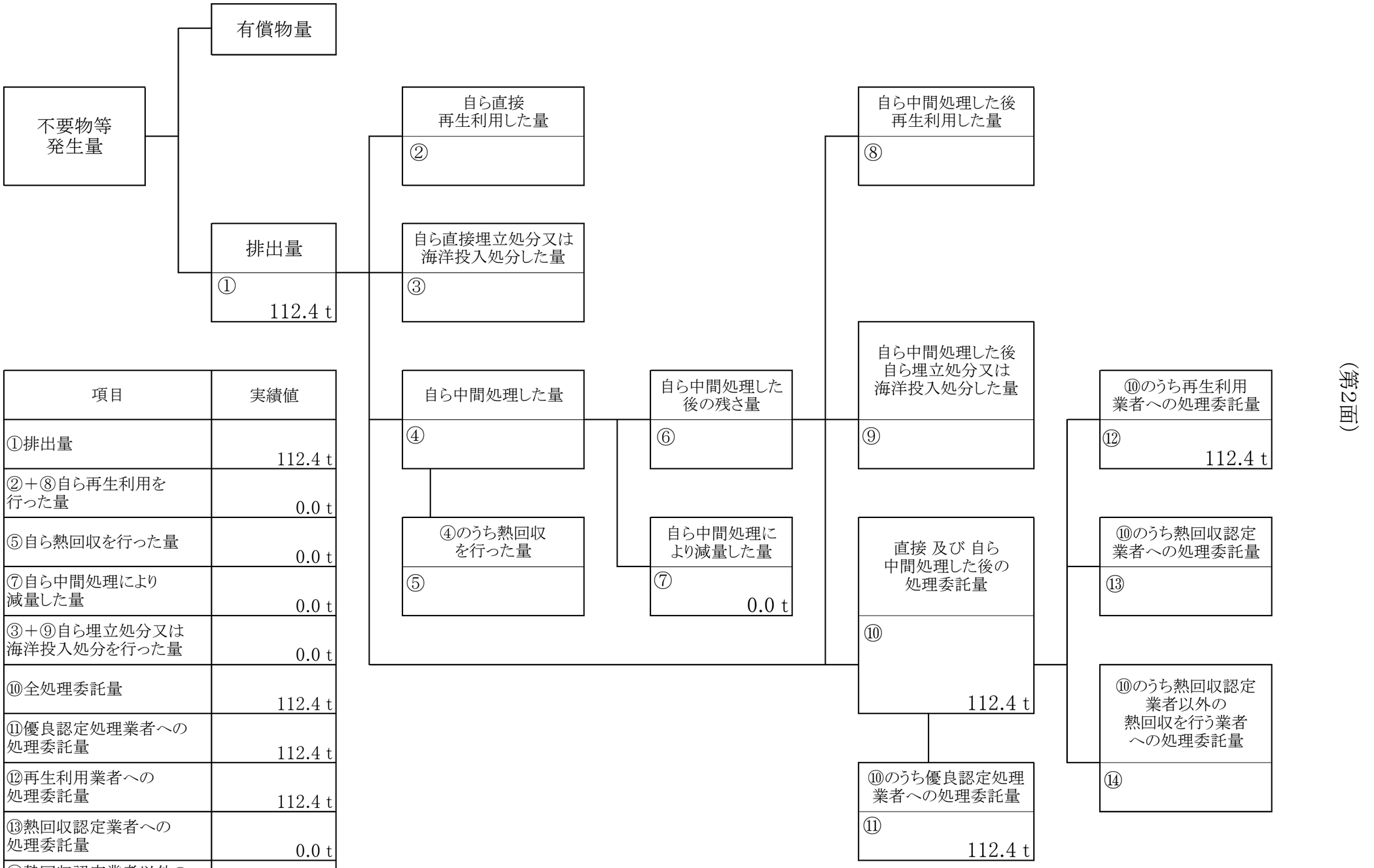


項目	実績値
①排出量	26.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**　）

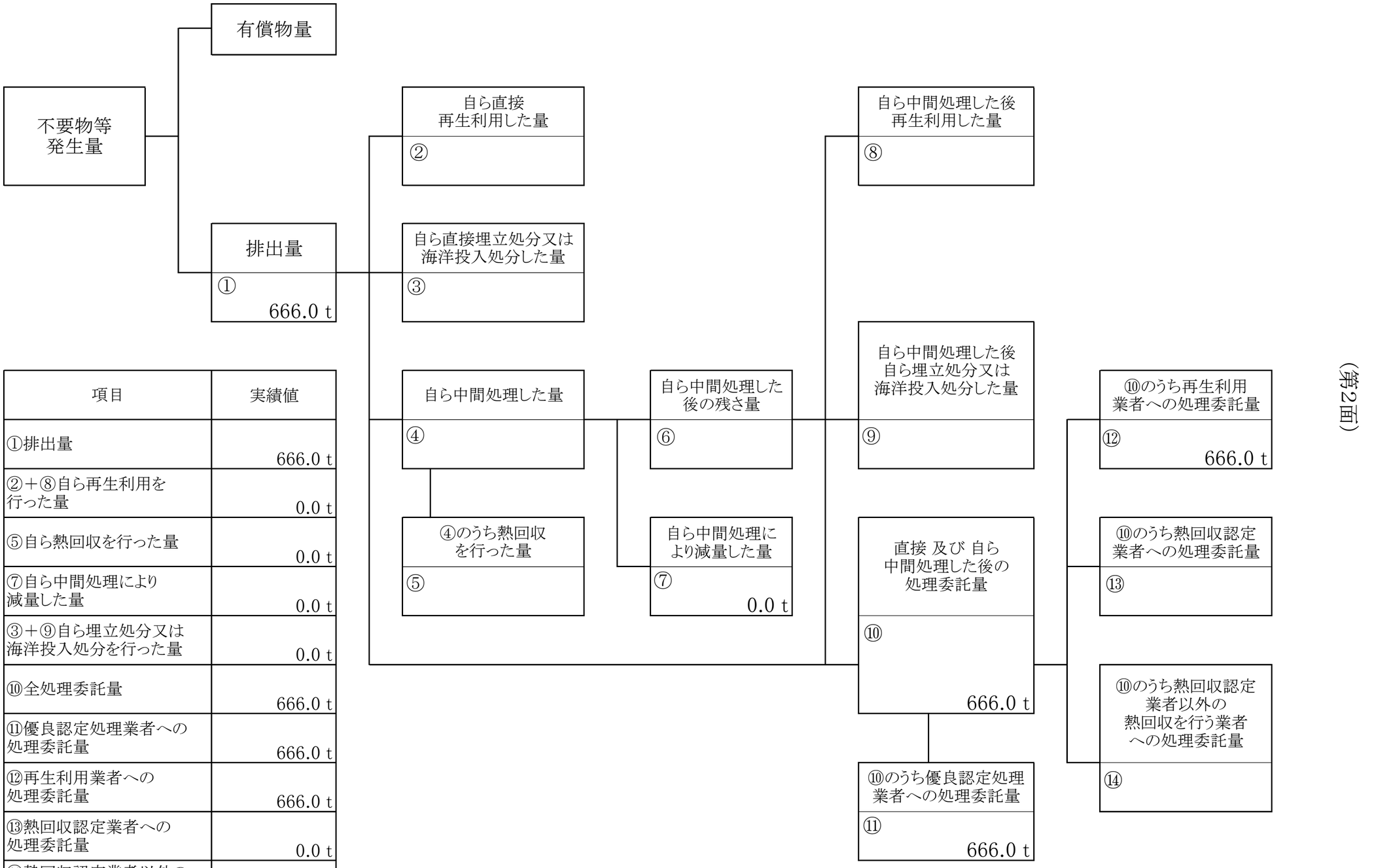


項目	実績値
①排出量	112.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	112.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	112.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	112.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**がれき類**　）

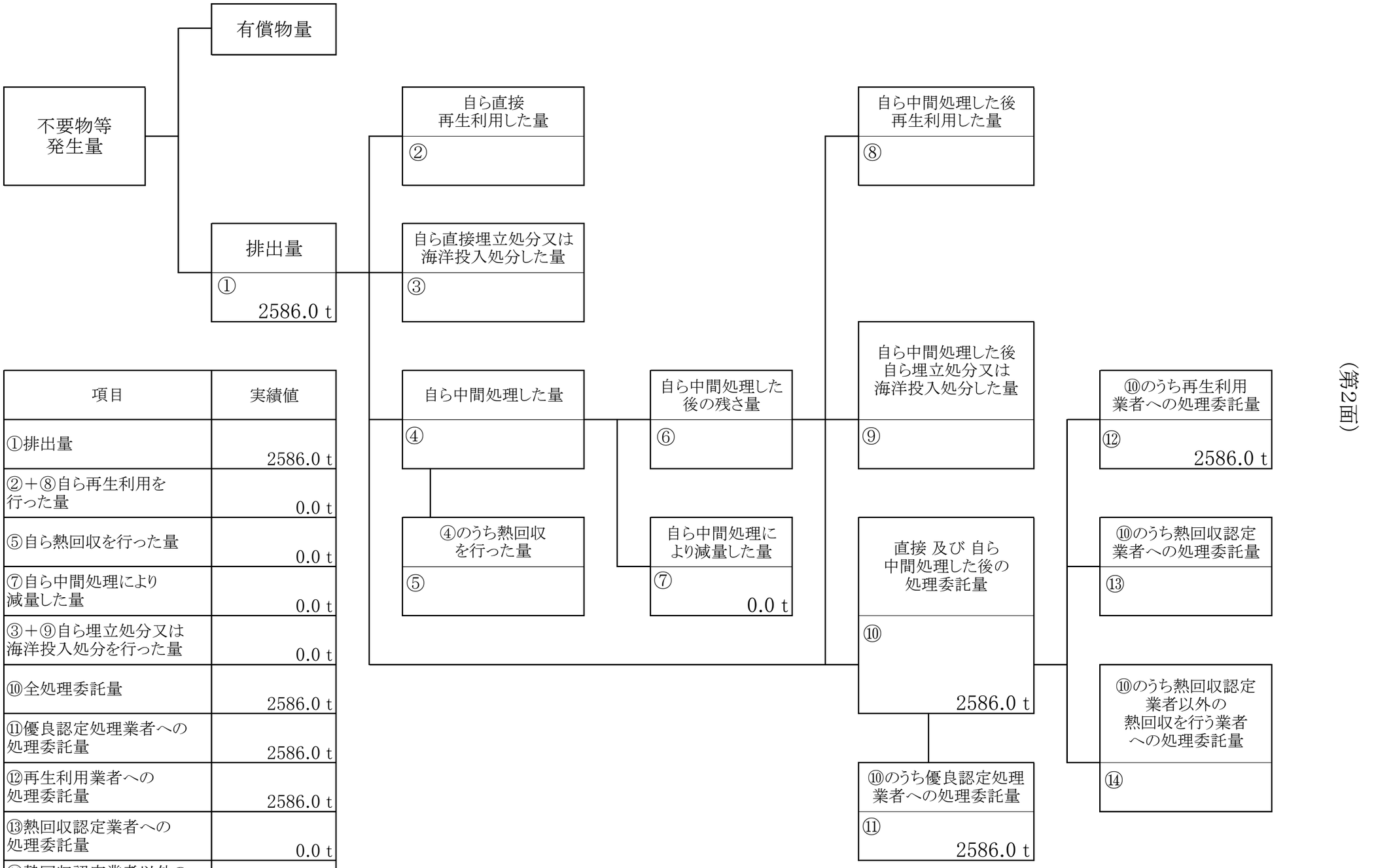


項目	実績値
①排出量	666.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	666.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	666.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	666.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリートがら　）

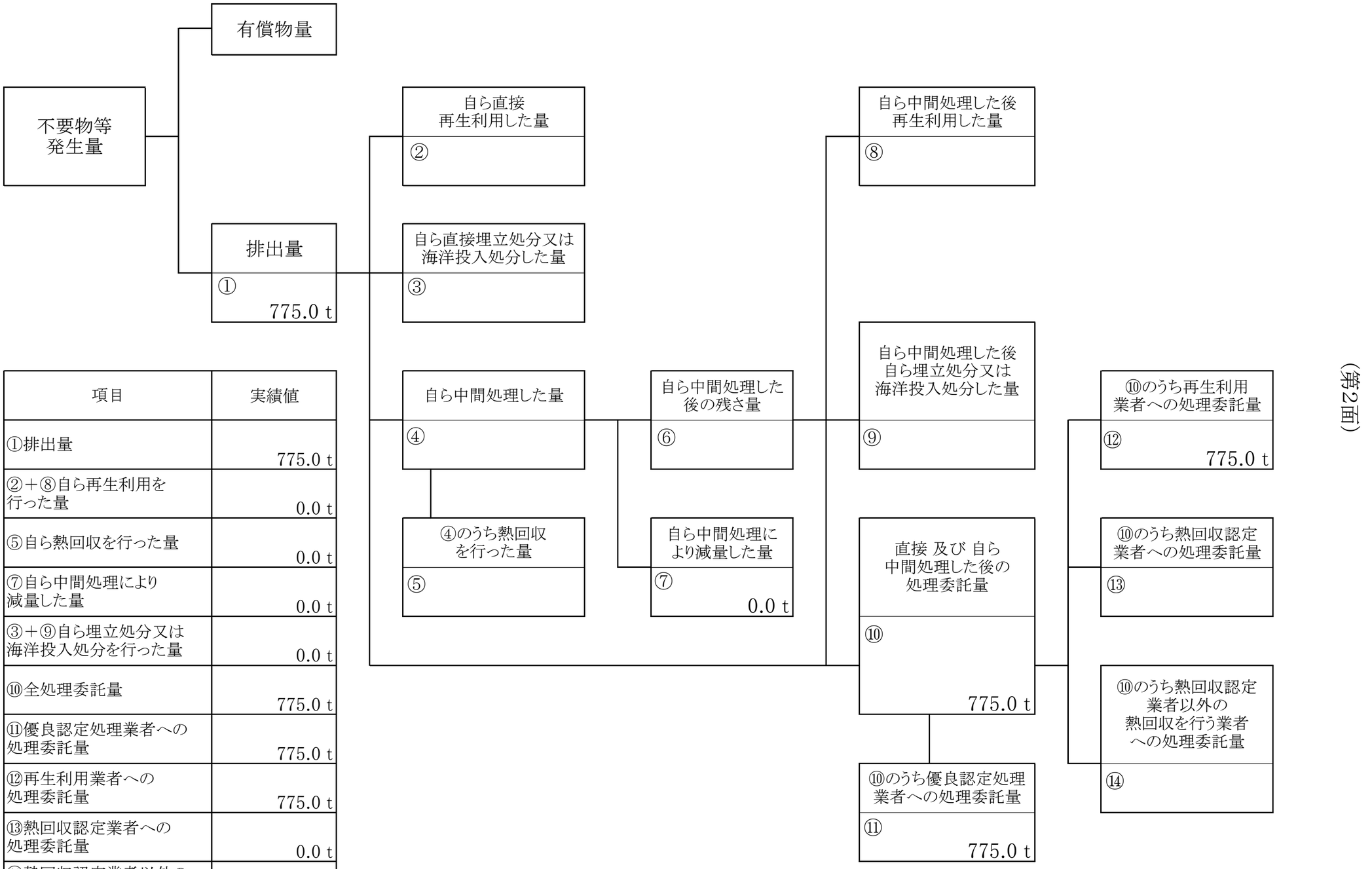


項目	実績値
①排出量	2586.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2586.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2586.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2586.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリートがら　）

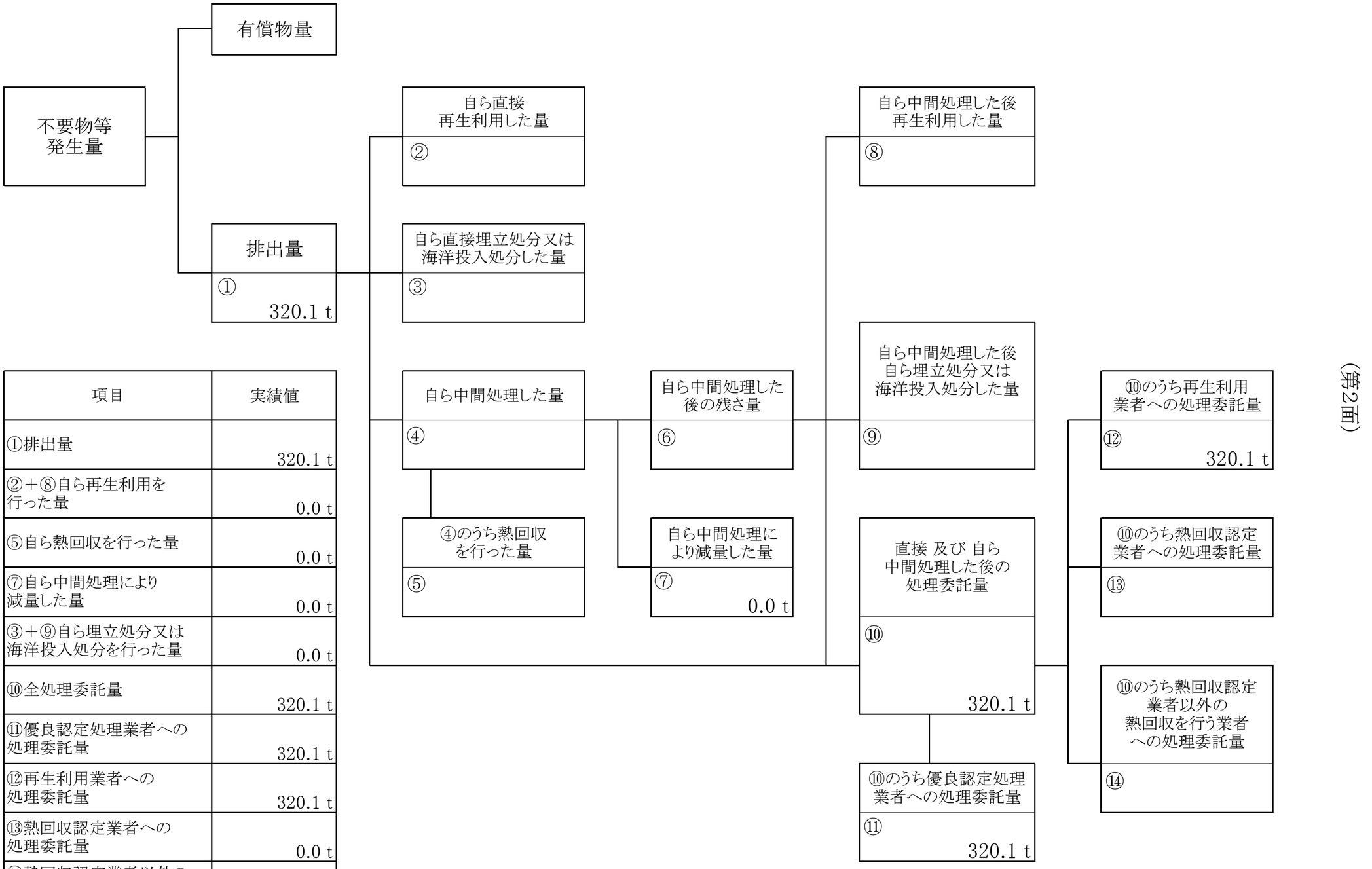


項目	実績値
①排出量	775.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	775.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	775.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	775.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設混合廃棄物**　）

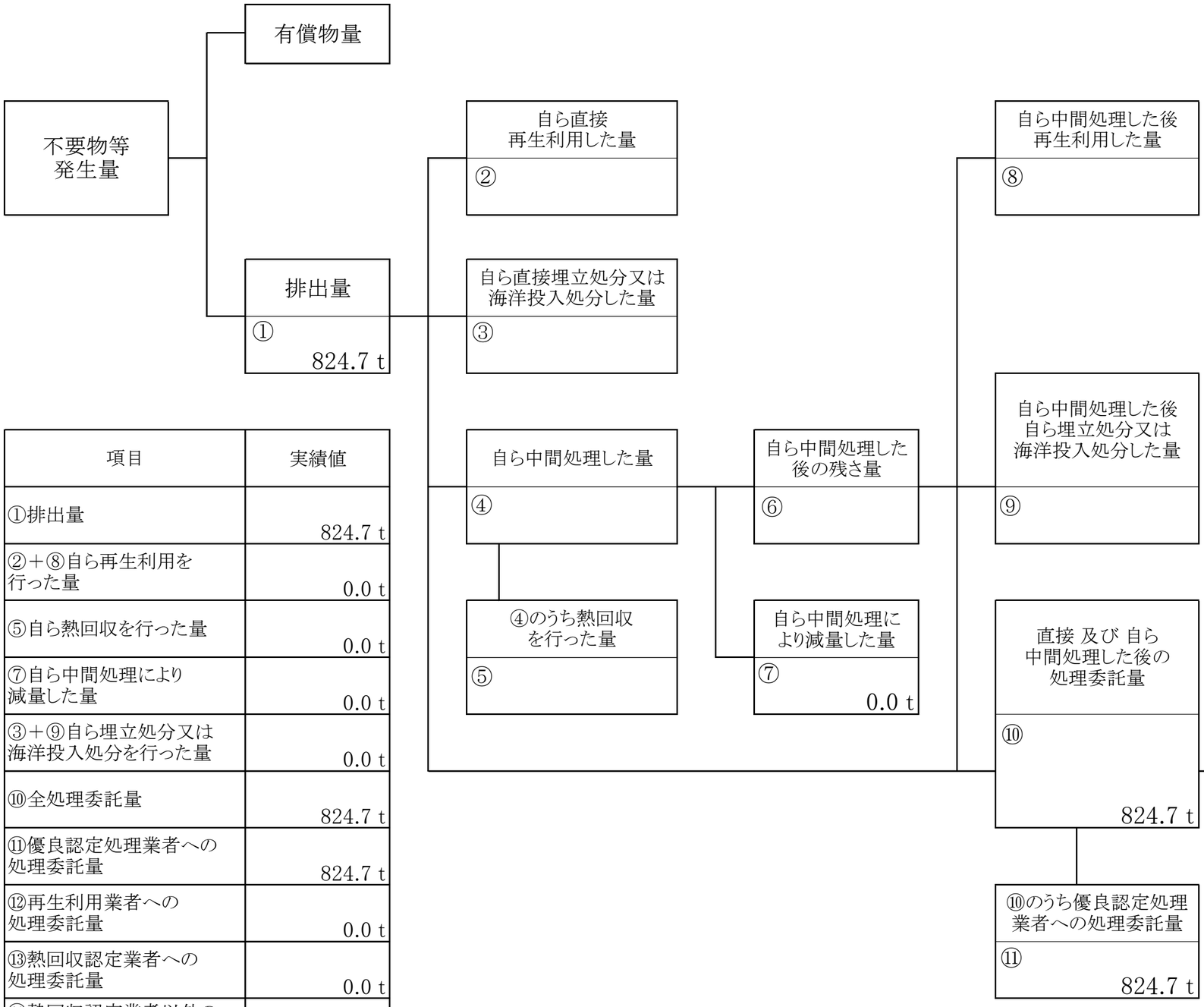


項目	実績値
①排出量	320.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	320.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	320.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	320.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有建材　）

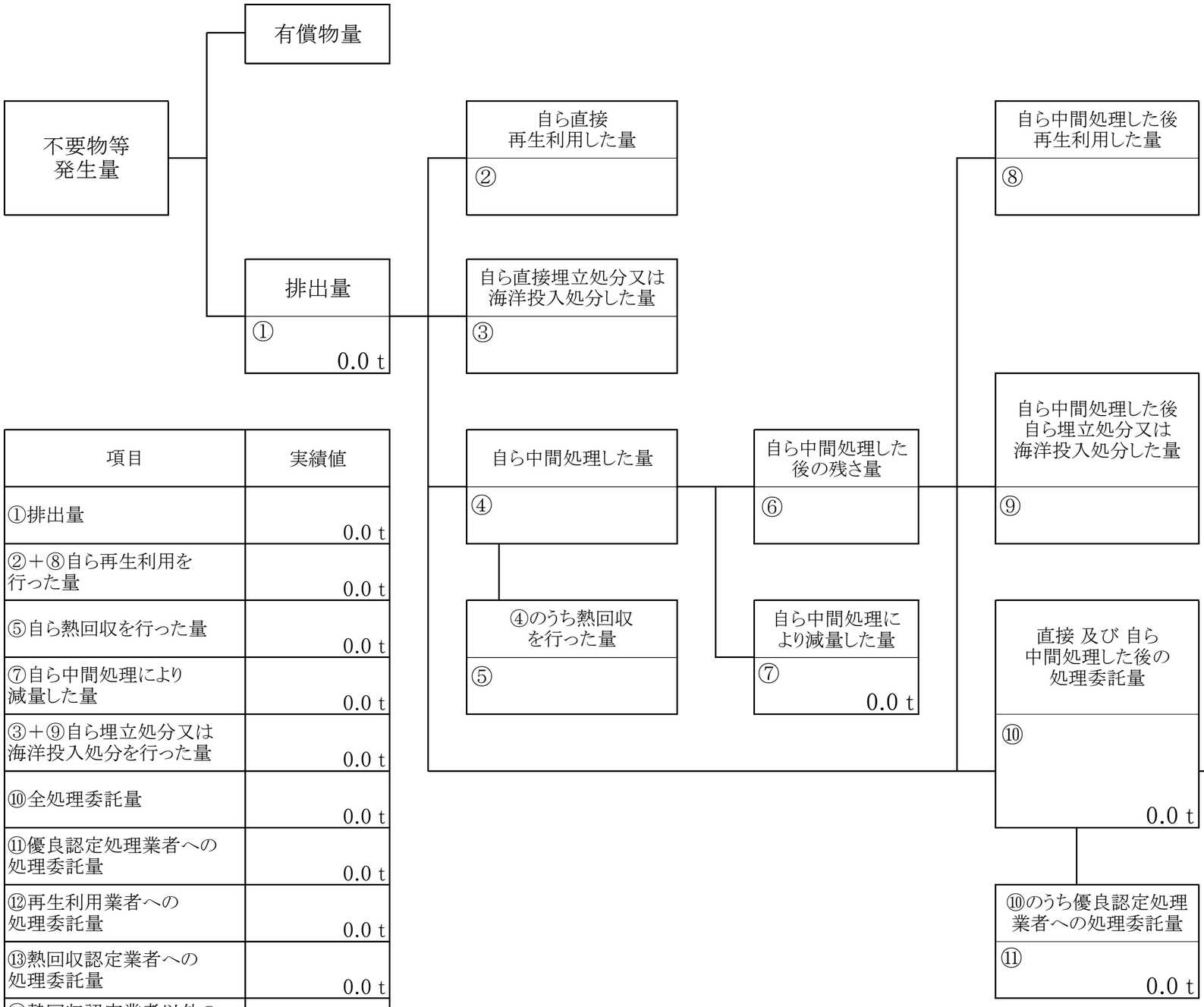


項目	実績値
①排出量	824.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	824.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	824.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃水銀灯**　）

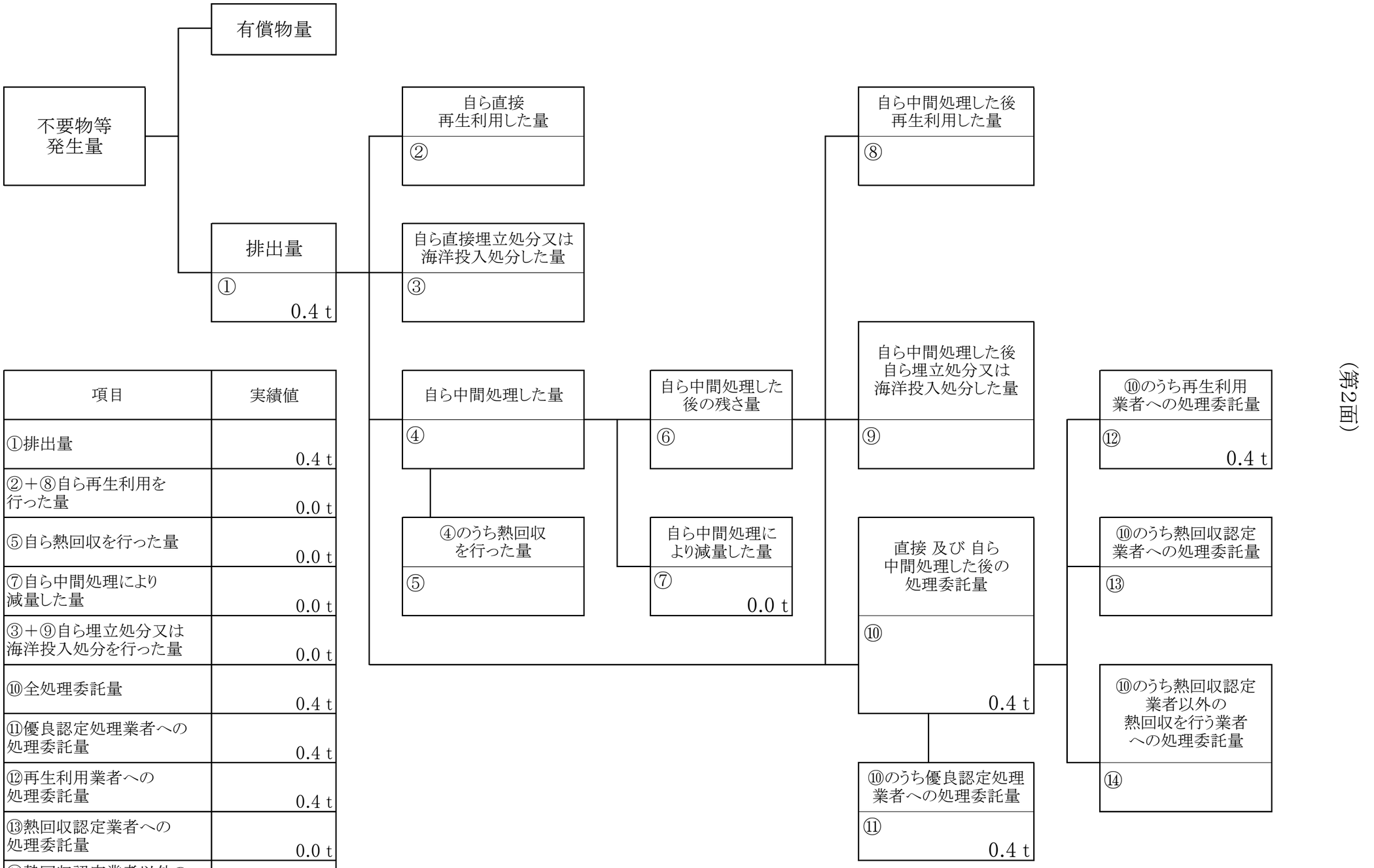


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃蛍光灯**　）

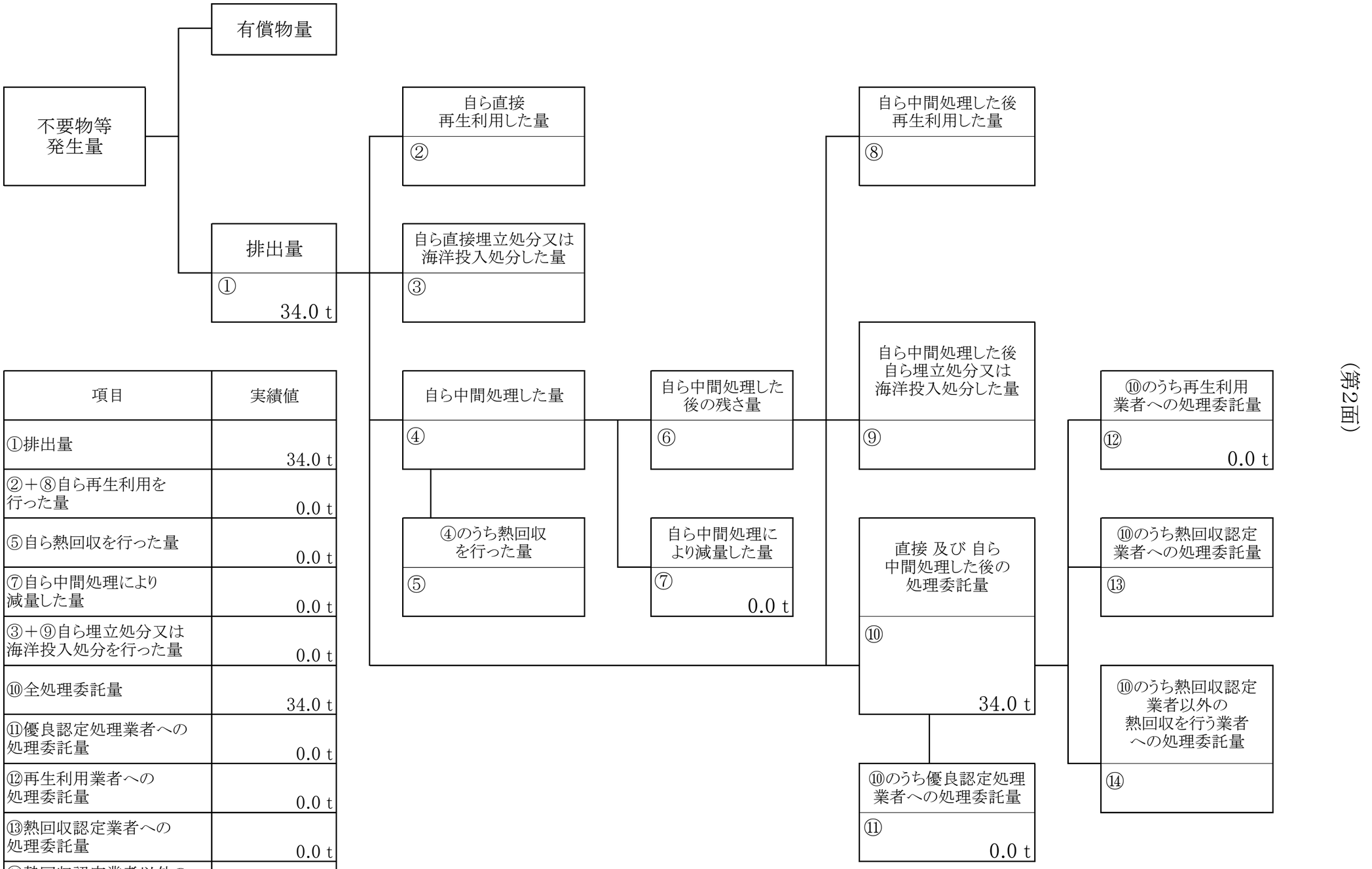


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃電池**　）



項目	実績値
①排出量	34.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	34.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 5月 23日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒136-0075
住 所　東京都江東区新砂一丁目3番3号
氏 名　株式会社竹中土木 東京本店
常務執行役員本店長 山田 敏昭
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-6810-6221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社竹中土木 東京本店
事業場の所在地	東京都江東区新砂一丁目3番3号 （作業所:習志野市）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

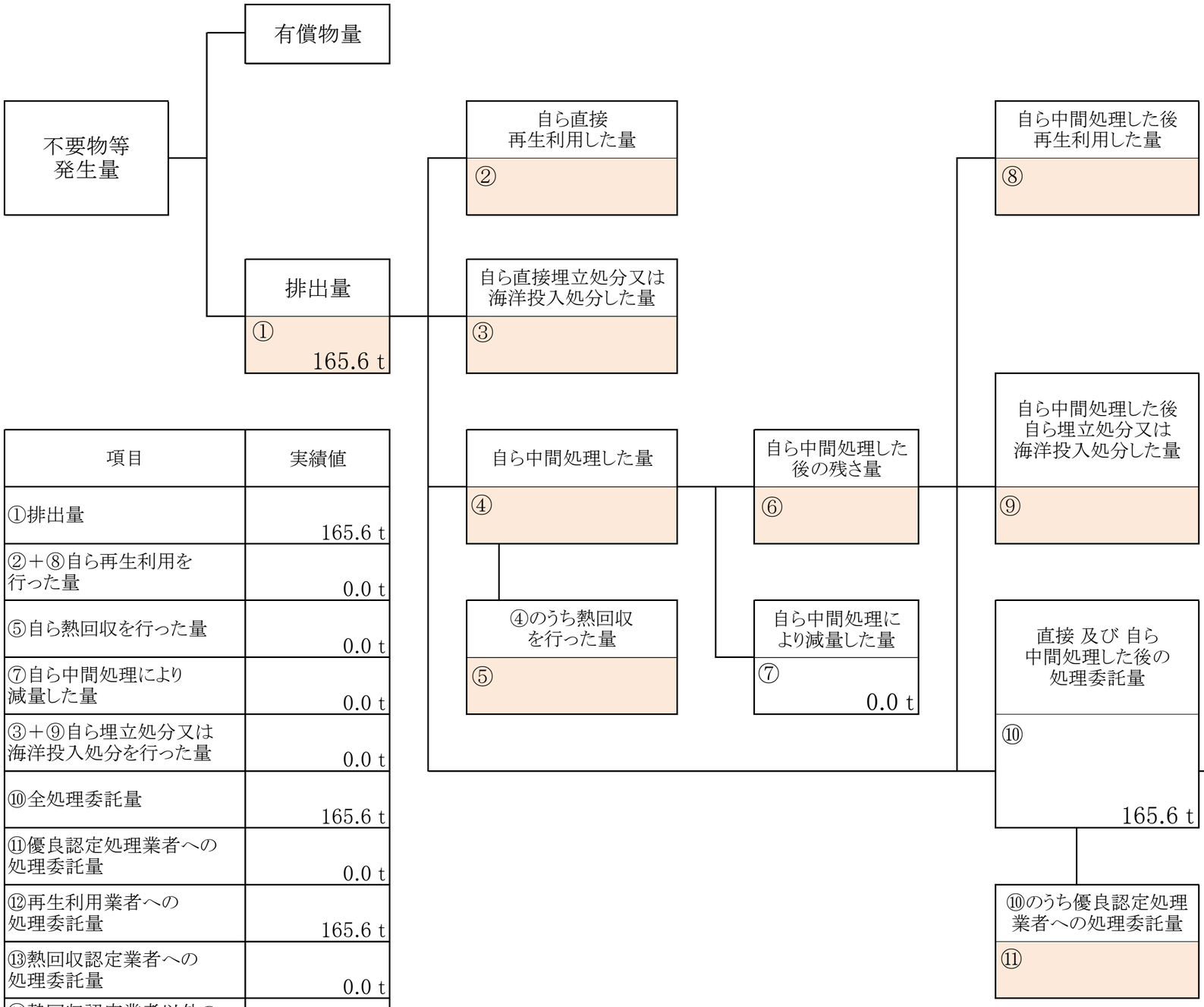
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1090.0 t	全処理委託量	1090.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	30.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1090.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

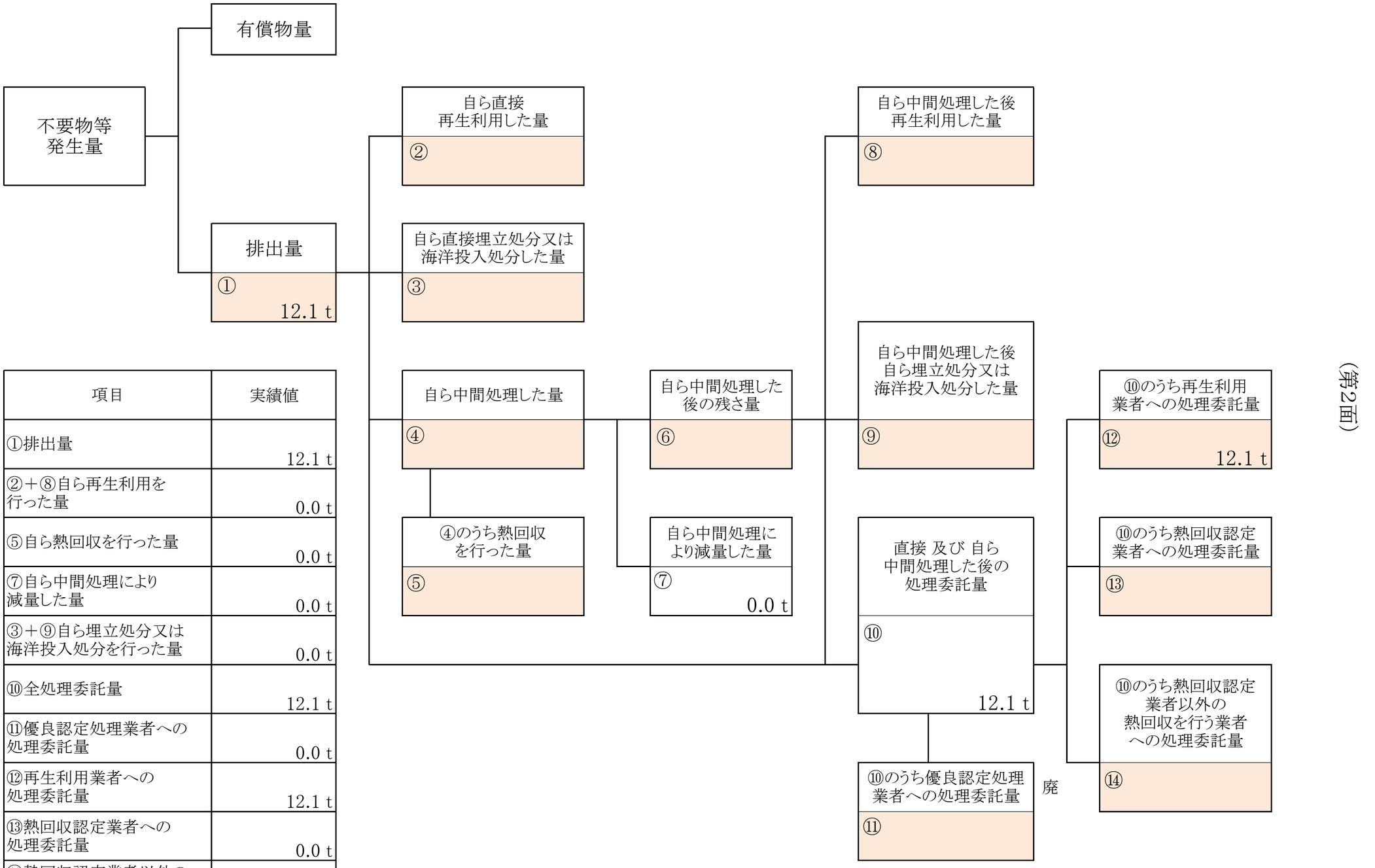


項目	実績値
①排出量	165.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	165.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	165.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

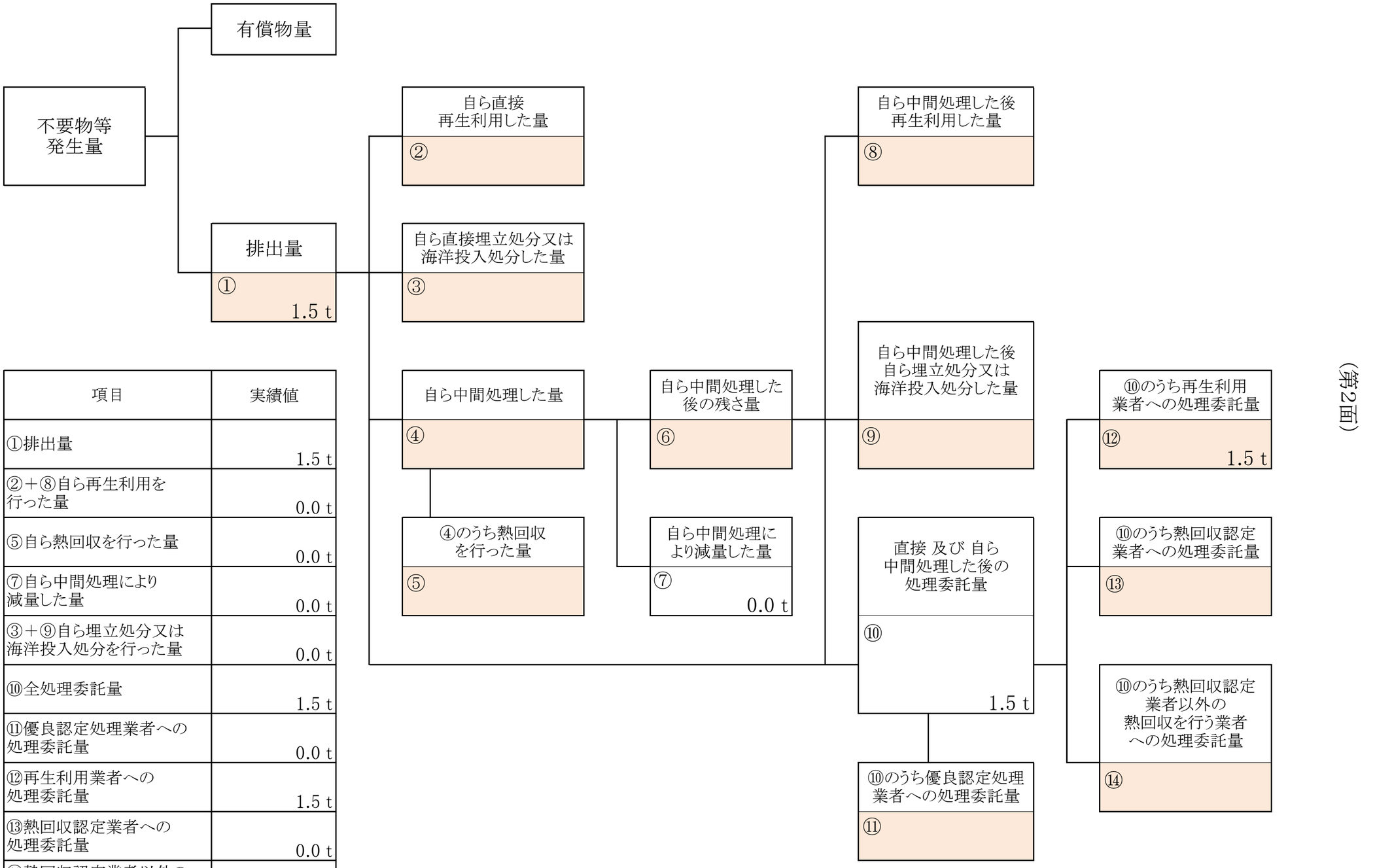


項目	実績値
①排出量	12.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

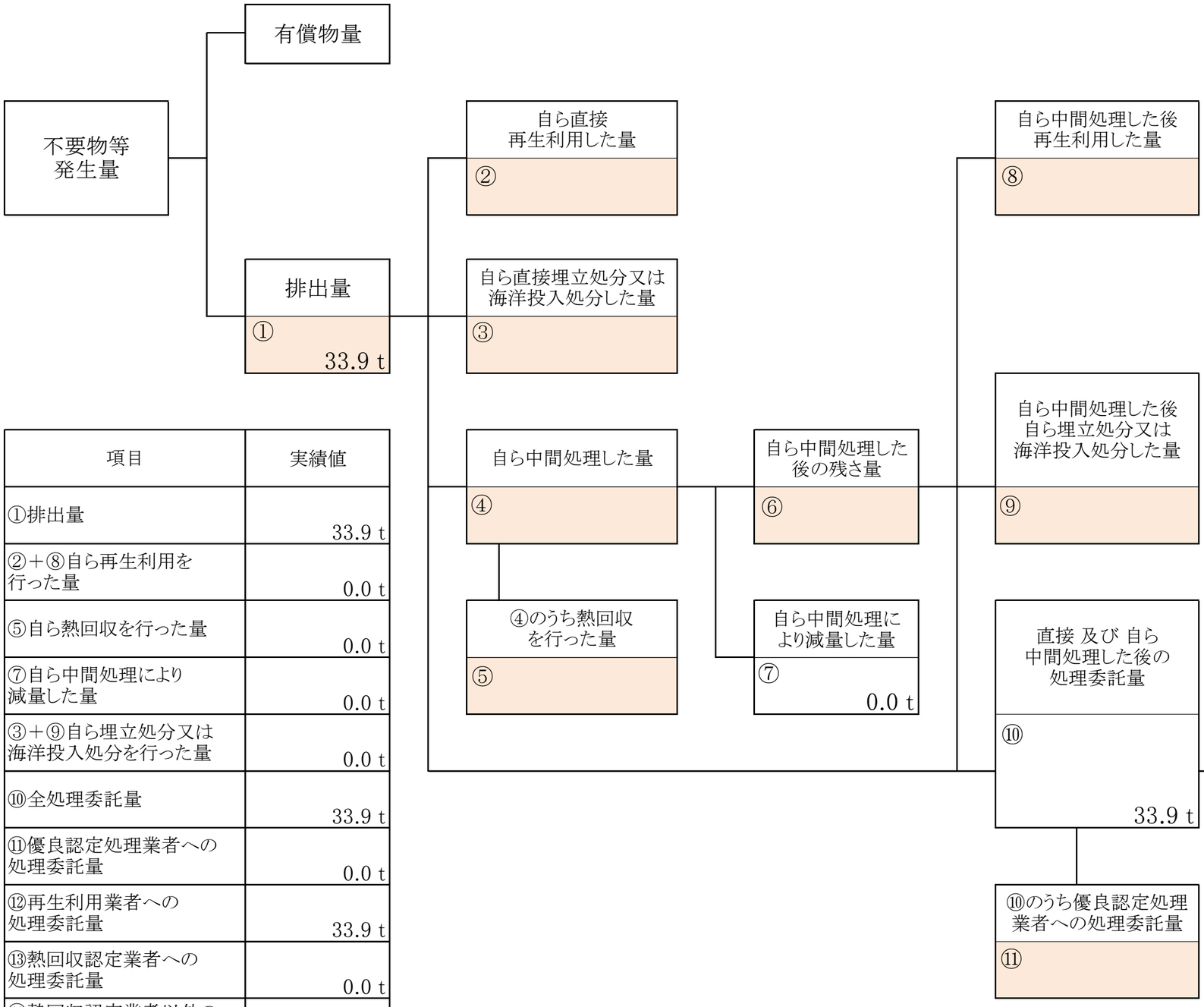


項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

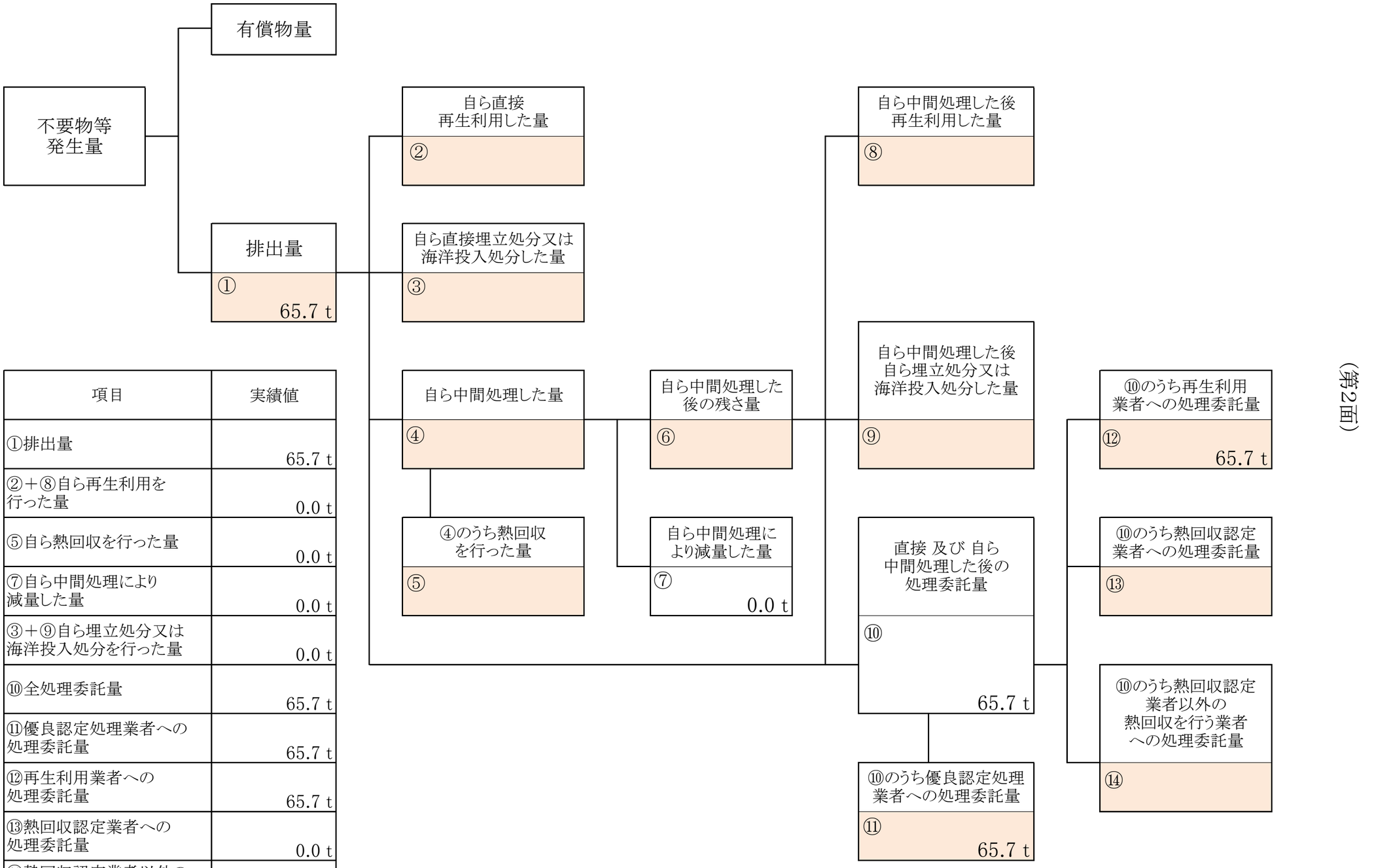


項目	実績値
①排出量	33.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	33.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）



項目	実績値
①排出量	65.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	65.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	65.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	65.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年8月8日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　130-0022

住　所　東京都墨田区江東橋4-15-8

法人名　株式会社タジマコーポレーション

代表者　田嶋 久士

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3635-0911

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社タジマコーポレーション
事業場の所在地	東京都墨田区江東橋4-15-8
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　工事業（設備工事業を除
②事業の規模	元請完成工事高　397,000千円
③従業員数	25名
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別紙1（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙2（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
排出量	０ｔ	ｔ

（これまでに実施した取組）

・現場での分別解体及び廃棄物の分別排出に努めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
排出量	ｔ	ｔ

（今後実施する予定の取組）

・今後も分別解体及び分別排出を継続し、出来る限り再利用できるものについては再資源化できる処分業者へ処理を委託するようにする。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

コンクリートがら、アスファルトコンクリートがら、ガラスくず・コンクリートくず陶磁器くず、蛍光灯、廃プラスチック、繊維くず、混合廃棄物（安定型）、混合廃棄物（管理型）、廃石膏ボード、紙くず、木くず

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・上記同様の分別
・今後も分別解体・分別排出を継続し、出来る限り再利用できるものについては再資源化できる処分業者へ処理を委託するようにする。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・特になし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・特になし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・特になし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・適正な処理を行える業者を選別し、委託契約を締結するようにしている。
・現場での分別解体及び分別排出の徹底。</td></tr>
</table>

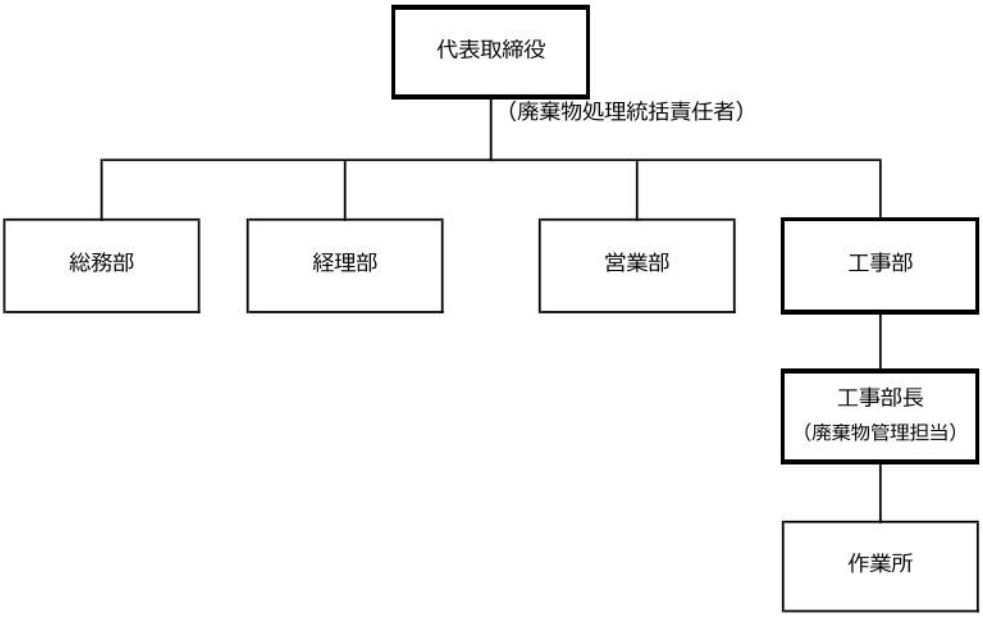
<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・再生処理を行える業者や優良認定処理業者の選定して委託契約を締結するよう努力する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別紙1 処理工程

・コンクリートガラ ⇒ 破砕 ⇒ 再生利用
・アスファルトガラ ⇒ 破砕 ⇒ 再生利用
・がれき類⇒破砕⇒再資源化
・廃プラスチック類 ⇒ 破砕・溶解・圧縮梱包 ⇒ 燃料原料
・繊維くず ⇒ 圧縮梱包 ⇒ 燃料原料
・木くず ⇒ 破砕・焼却 ⇒ 代替燃料・再生利用
・紙くず⇒破砕⇒再資源化
・ガラスおよび陶磁器 ⇒ 破砕 ⇒ 再資源化
・蛍光灯 ⇒ 破砕 ⇒ 再生利用
・混合廃棄物 ⇒ 圧縮・破砕・焼却 ⇒ 代替燃料・再生利用
・がれき類（石綿含有）⇒安定型埋立処分

別添２ 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
		排　出　量	9.28 t	82.78 t	1.00 t	6.00 t	3,187.60 t	14.80 t	33.80 t	7.35 t	0.15 t									
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
		排　出　量	8.35 t	74.50 t	0.90 t	5.40 t	2,868.84 t	13.32 t	30.42 t	6.62 t	0.14 t									
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
全処理委託量	9.28 t	82.78 t	1.00 t	6.00 t	3,187.60 t	14.80 t	33.80 t	7.35 t	0.15 t									
優良認定処理業者への処理委託量	9.28 t	0.00 t	1.00 t	6.00 t	72.00 t	14.80 t	33.80 t	7.35 t	0.00 t									
再生利用業者への処理委託量	9.28 t	82.78 t	1.00 t	6.00 t	3,187.60 t	14.80 t	33.80 t	0.00 t	0.15 t									
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品									
全処理委託量	8.35 t	74.50 t	0.90 t	5.40 t	2,868.84 t	13.32 t	30.42 t	6.62 t	0.14 t									
優良認定処理業者への処理委託量	8.35 t	0.00 t	0.90 t	5.40 t	64.80 t	13.32 t	30.42 t	6.62 t	0.00 t									
再生利用業者への処理委託量	8.35 t	74.50 t	0.90 t	5.40 t	2,868.84 t	13.32 t	30.42 t	0.00 t	0.14 t									
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月4日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　136-0071

住　所　東京都江東区亀戸1-39-7

法人名　多田建設株式会社

代表者　佐藤 俊也

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3683-3247

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	多田建設株式会社
事業場の所在地	東京都江東区亀戸1-39-7
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	36,706百万円(令和6年度完成工事高)
③従業員数	280名（令和7年3月1日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添2　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	694.9 t	46.9 t

（これまでに実施した取組）

・発生抑制のため、工程内での取組み
・原材料や資材の効率的利用の取組み
・発生抑制のため、調達方法の工夫

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	660.1 t	44.6 t

（今後実施する予定の取組）

・発生抑制のため、工程内での取組み
・原材料や資材の効率的利用の取組み
・発生抑制のため、調達方法の工夫
・発生抑制に関する教育・研修の取組み

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・8品目：汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、ガラス・コンクリート
・陶磁器くず、金属くず、がれき類、建設混合廃棄物
・分別に関する作業、分別の方法、体制の改善
・分別施設の設置状況の改善

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・8品目：汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、ガラス・コンクリート
・陶磁器くず、金属くず、がれき類、建設混合廃棄物
・分別に関する作業、分別の方法、体制の改善
・分別施設の設置状況の改善

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量		694.9 t	46.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	46.9 t
	再生利用業者への処理委託量	694.9 t	46.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

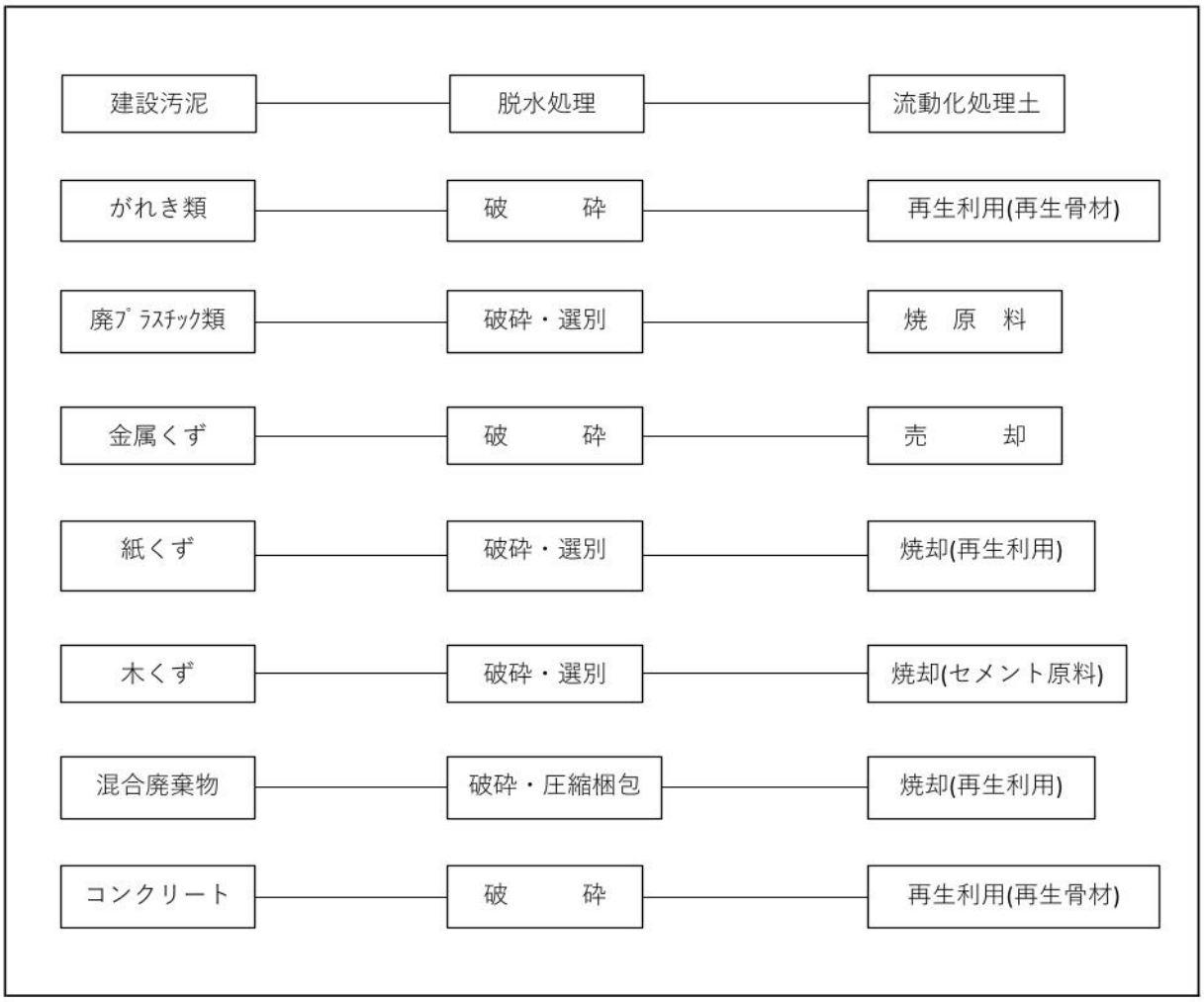
（これまでに実施した取組）

・製品納入業者にあっては、梱包材や養生材を必要最小限にしてもらう。
・混合廃棄物を分別して委託量を減少する。
・再生処理を念頭に於いた分別を徹底する。
・分別ボックスを小口化する。（エコパレットを使用）
・委託業者の選定にあっては、再生利用。熱回収をおこなっている「産廃エ

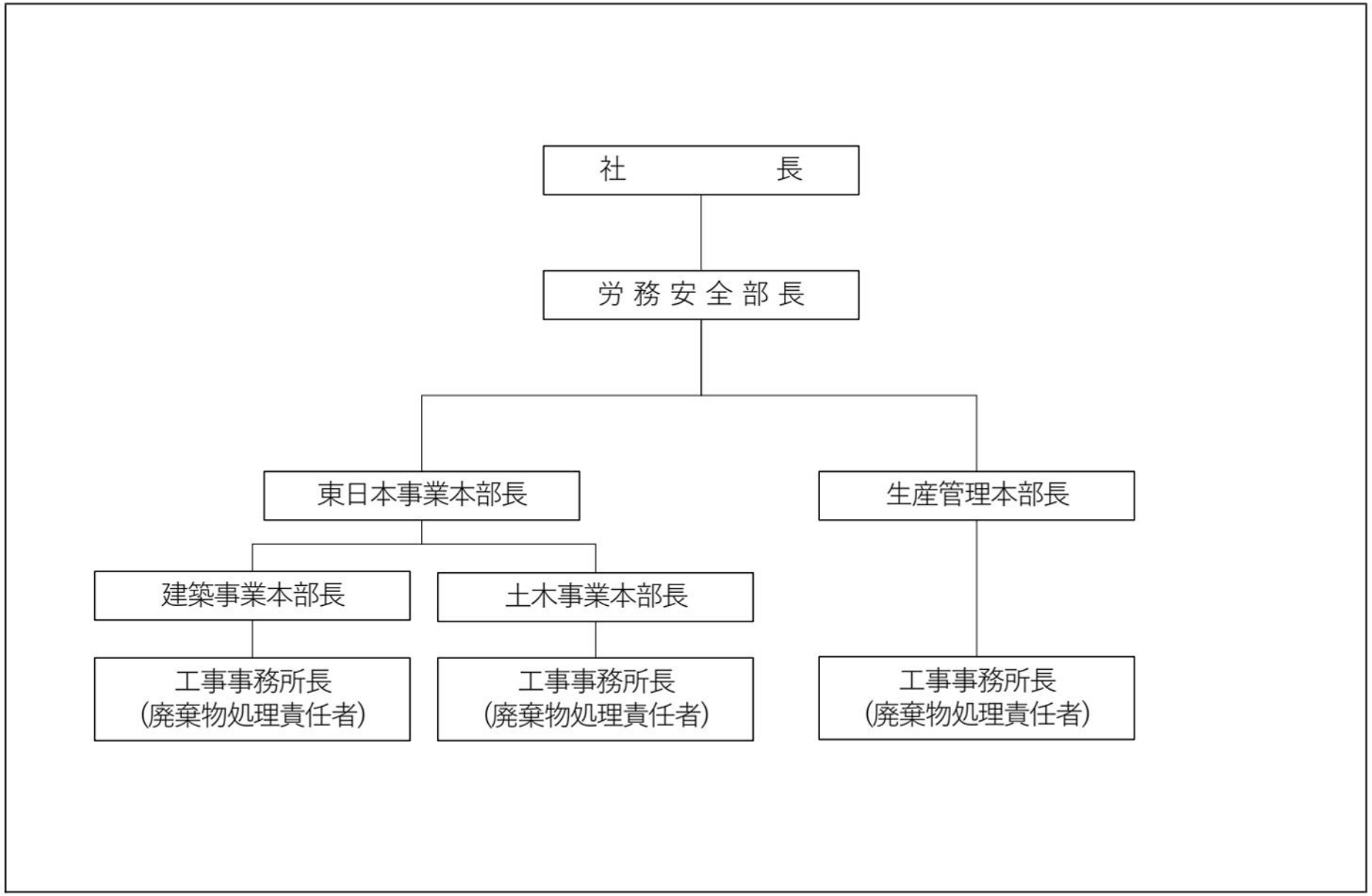
<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>660.1 t</td><td>44.6 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>198 t</td><td>44.6 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>660.1 t</td><td>44.6 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・製品納入業者にあっては、梱包材や養生材を必要最小限にしてもらう。
・混合廃棄物を分別して委託量を減少する。
・再生処理を念頭に於いた分別を徹底する。
・分別ボックスを小口化する。（エコパレットを使用）
・委託業者の選定にあっては、再生利用。熱回収をおこなっている「産廃エ</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図


建設汚泥
脱水処理
流動化処理土
がれき類
破　　砕
再生利用(再生骨材)
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
破砕・選別
焼　原　料
金属くず
破　　砕
売　　却
紙くず
破砕・選別
焼却(再生利用)
木くず
破砕・選別
焼却(セメント原料)
混合廃棄物
破砕・圧縮梱包
焼却(再生利用)
コンクリート
破　　砕
再生利用(再生骨材)

別添2 管理体制図


社　　長
労 務 安 全 部 長
東日本事業本部長
生産管理本部長
建築事業本部長
土木事業本部長
工事事務所長
(廃棄物処理責任者)
工事事務所長
(廃棄物処理責任者)
工事事務所長
(廃棄物処理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
		排　出　量	24.3 t	181.8 t	7.6 t	29 t	1597.9 t	46.3 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
		排　出　量	23.1 t	172.7 t	7.2 t	27.6 t	1518 t	44 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	24.3 t	181.8 t	7.6 t	29 t	1597.9 t	46.3 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	24.3 t	38.8 t	7.6 t	9.5 t	170.2 t	46.3 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	24.3 t	181.8 t	7.6 t	29 t	1597.9 t	46.3 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	23.1 t	172.7 t	7.2 t	27.6 t	1518 t	44 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	23.1 t	86.3 t	7.2 t	13.8 t	303.6 t	44 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	23.1 t	172.7 t	7.2 t	27.6 t	1518 t	44 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月24日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区東新橋1-9-1　東京汐留ビルディング9階

氏 名 ＴＡＮＡＫＥＮ株式会社

安全環境管理部長　鈴木正毅

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6264-5087

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ＴＡＮＡＫＥＮ株式会社
事業場の所在地	本社所在地：東京都港区東新橋1-9-1　東京汐留ビルディング9階 主な現場所在地：千葉県八千代市大和田新田
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　368,600,000円
③従業員数	102名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　出　量	t	t

（これまでに実施した取組）
・現場での分別強化、混合廃棄物の発生抑制、リサイクル率向上等の取り組みを通して、排出抑制に努める

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　出　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・現状の取組を継続し、排出量の削減に努める

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・コンクリート、アスコン、木くず、石膏ボード、廃プラ、ガラスくず、ALC、金属くず等、がれき、建設系混合廃棄物は分別を徹底している

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・現状の取組を継続し、混合廃棄物の排出量の削減に努める
・各現場において分別の教育および分別実施状況の確認を徹底し、分別の推進を図る

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・実施予定なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・実施予定なし</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	t

（これまでに実施した取組）
・実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	t

（今後実施する予定の取組）
・実施予定なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
・できる限り電子マニフェスト登録されている業者を採用した
・電子契約の取組の開始

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
・現状の取組を継続し、排出量の削減に努める
・電子契約の推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

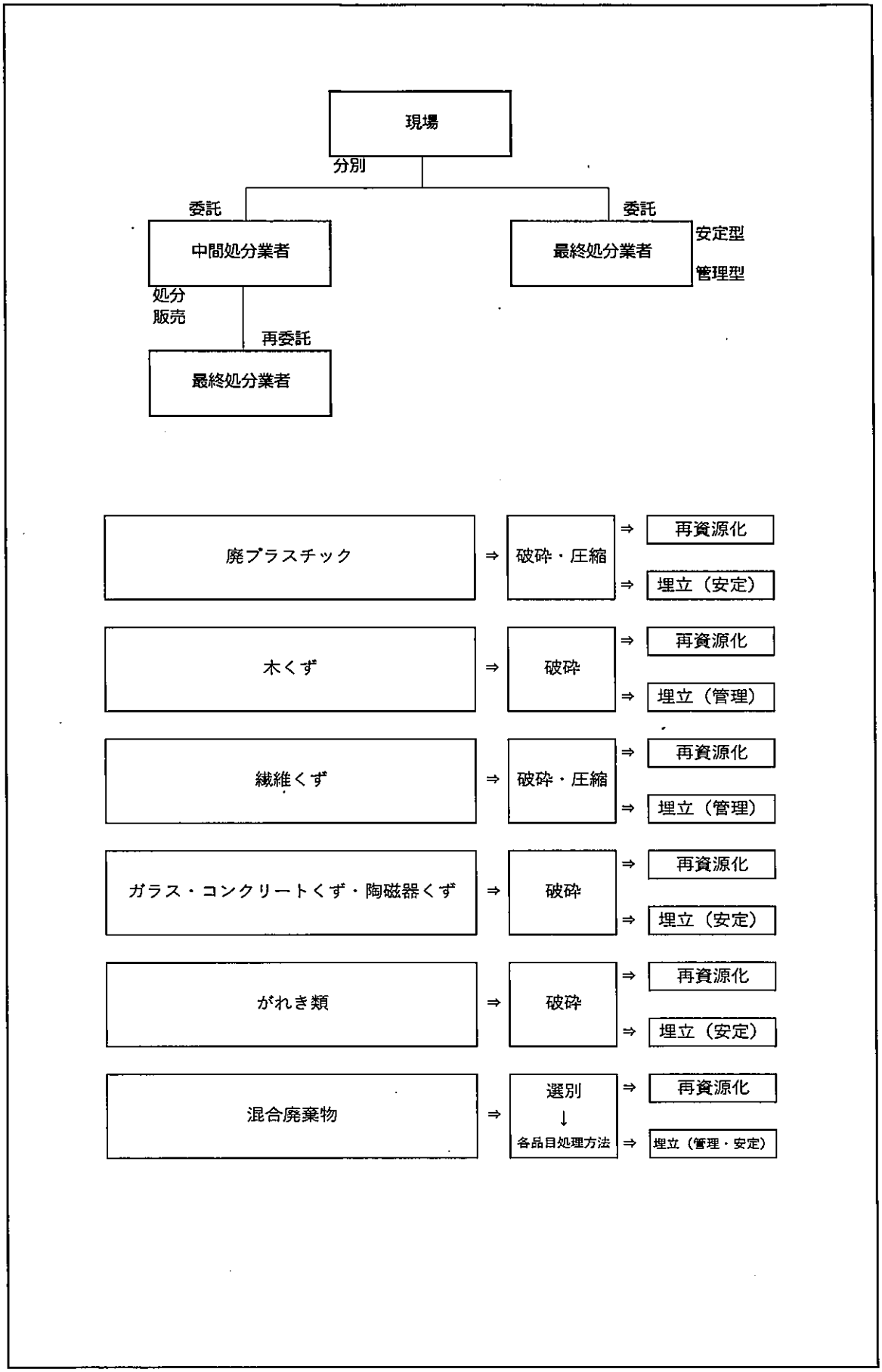
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

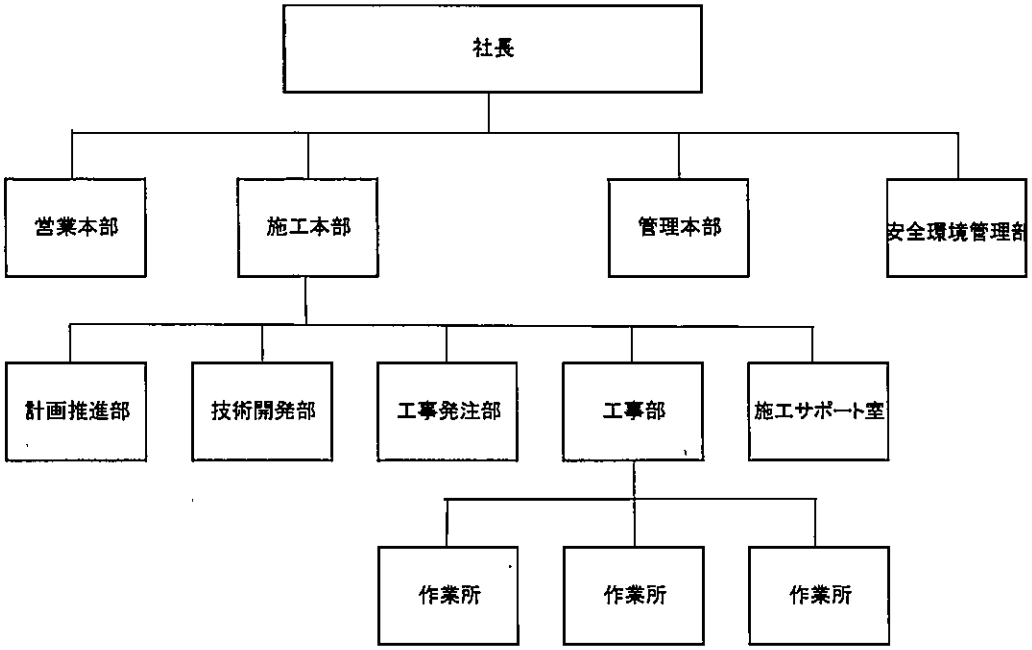
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図


現場
分別
委託
委託
中間処分業者
最終処分業者
安定型
管理型
処分
販売
再委託
最終処分業者
廃プラスチック
⇒
破砕・圧縮
⇒
再資源化
⇒
埋立（安定）
木くず
⇒
破砕
⇒
再資源化
⇒
埋立（管理）
繊維くず
⇒
破砕・圧縮
⇒
再資源化
⇒
埋立（管理）
ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず
⇒
破砕
⇒
再資源化
⇒
埋立（安定）
がれき類
⇒
破砕
⇒
再資源化
⇒
埋立（安定）
混合廃棄物
⇒
選別
↓
各品目処理方法
⇒
再資源化
⇒
埋立（管理・安定）

別添２ 管理体制図



各部の主な役割

安全環境管理部	教育・指導、委託契約、マニフェスト管理、報告書作成、処分場視察
施工本部	教育・指導
作業所	廃棄物保管、委託契約、マニフェスト管理、処分場視察

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
排出量	11.00 t	0.18 t	6.31 t	15.13 t	0.12 t	66.00 t	16.65 t	969.60 t	120.00 t	18.33 t	37.58 t	0.08 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
排出量	9.90 t	0.16 t	5.68 t	13.62 t	0.11 t	59.40 t	14.99 t	872.64 t	108.00 t	16.50 t	33.82 t	0.07 t						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
全処理委託量	11.00 t	0.18 t	6.31 t	15.13 t	0.12 t	66.00 t	16.65 t	969.60 t	120.00 t	18.33 t	37.58 t	0.08 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	6.31 t	15.13 t	0.12 t	66.00 t	16.65 t	0.00 t	0.00 t	18.33 t	37.58 t	0.00 t						
再生利用業者への処理委託量	11.00 t	0.18 t	6.31 t	15.13 t	0.12 t	66.00 t	16.65 t	969.60 t	120.00 t	0.00 t	0.00 t	0.08 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品						
全処理委託量	9.90 t	0.16 t	5.68 t	13.62 t	0.11 t	59.40 t	14.99 t	872.64 t	108.00 t	16.50 t	33.82 t	0.07 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	5.68 t	13.62 t	0.11 t	59.40 t	14.99 t	0.00 t	0.00 t	16.50 t	33.82 t	0.00 t						
再生利用業者への処理委託量	9.90 t	0.16 t	5.68 t	13.62 t	0.11 t	59.40 t	14.99 t	872.64 t	108.00 t	0.00 t	0.00 t	0.07 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階

氏 名 ＴＡＮＡＫＥＮ株式会社

安全環境管理部長 鈴木正毅

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6264-5087

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ＴＡＮＡＫＥＮ株式会社（旧社名：田中建設工業(株)）
事業場の所在地	本社所在地：東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階 主な現場所在地：千葉県八千代市大和田新田
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

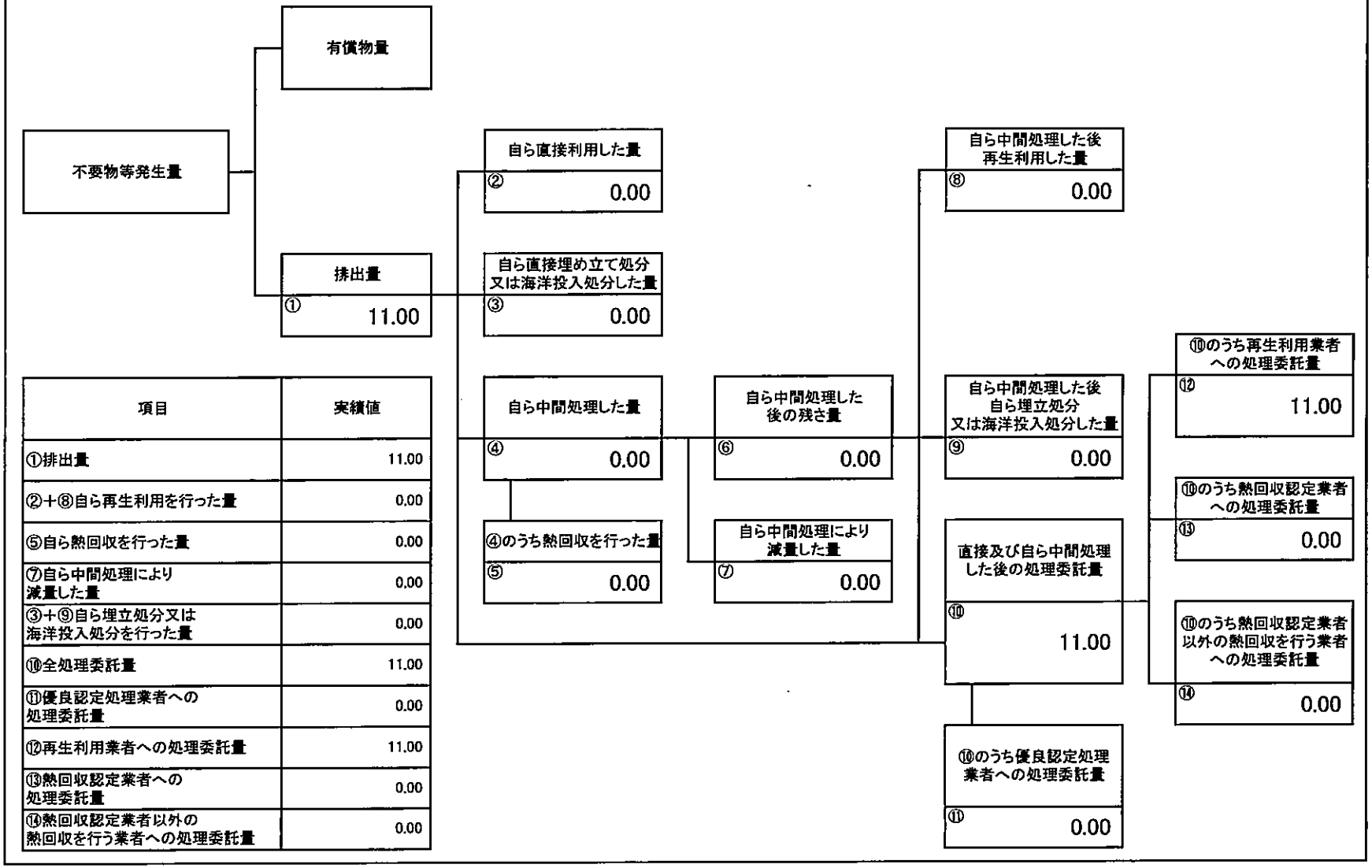
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,407.13 t	全処理委託量	3,407.13 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	2,674.20 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	2,849.55 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）

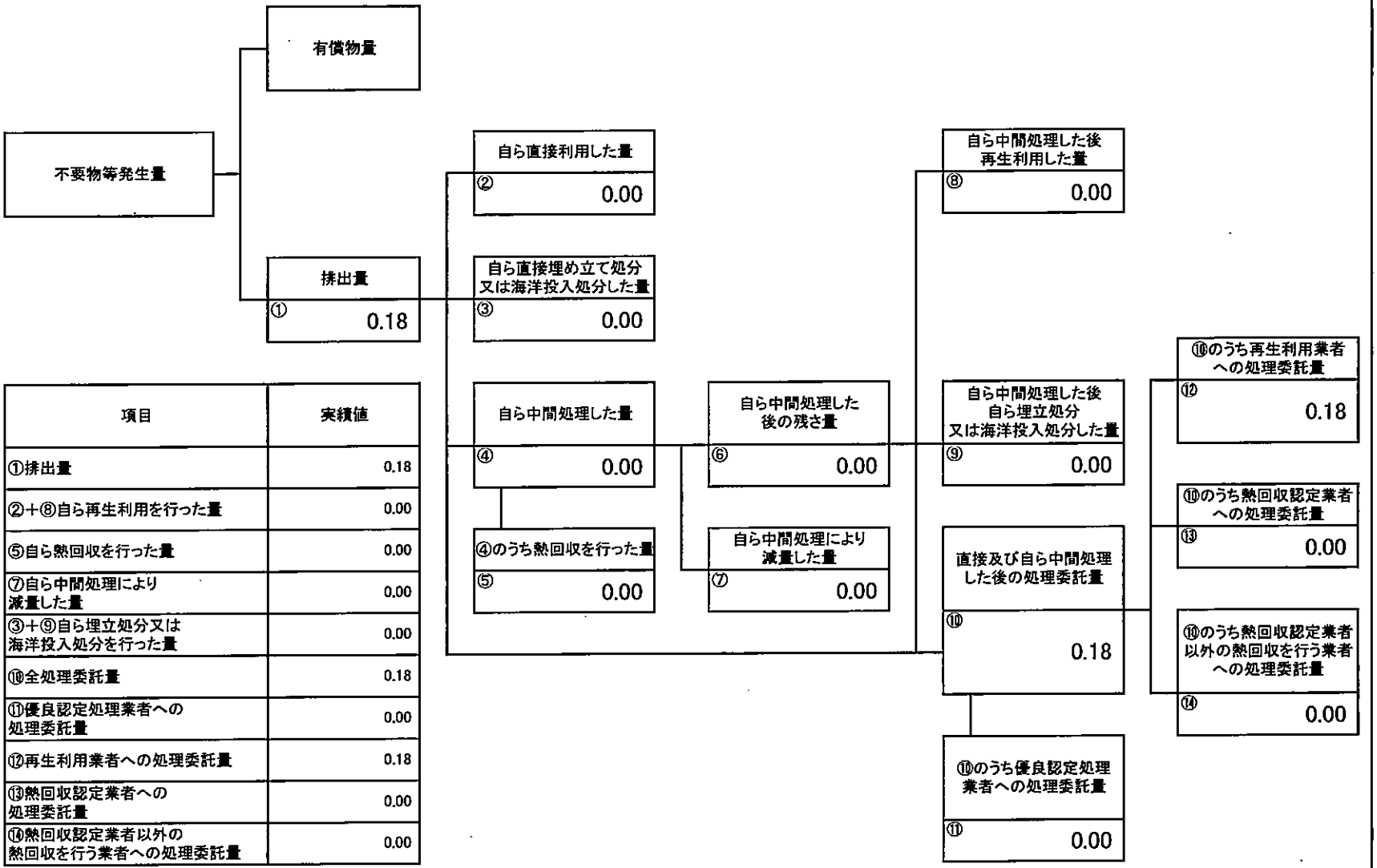


項目	実績値
①排出量	11.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	11.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	11.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃油　　）

（単位：トン）

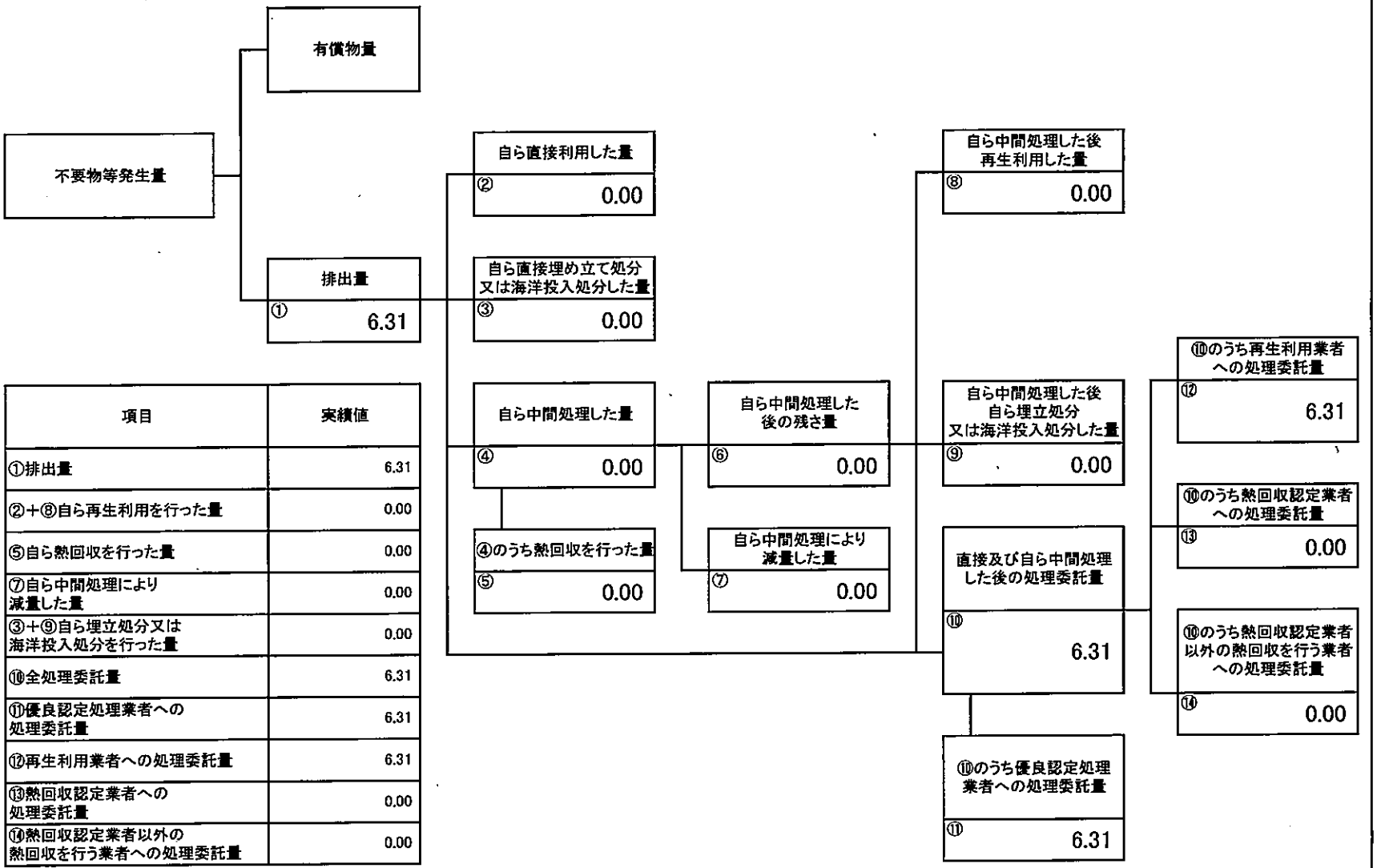


項目	実績値
①排出量	0.18
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.18
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.18
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

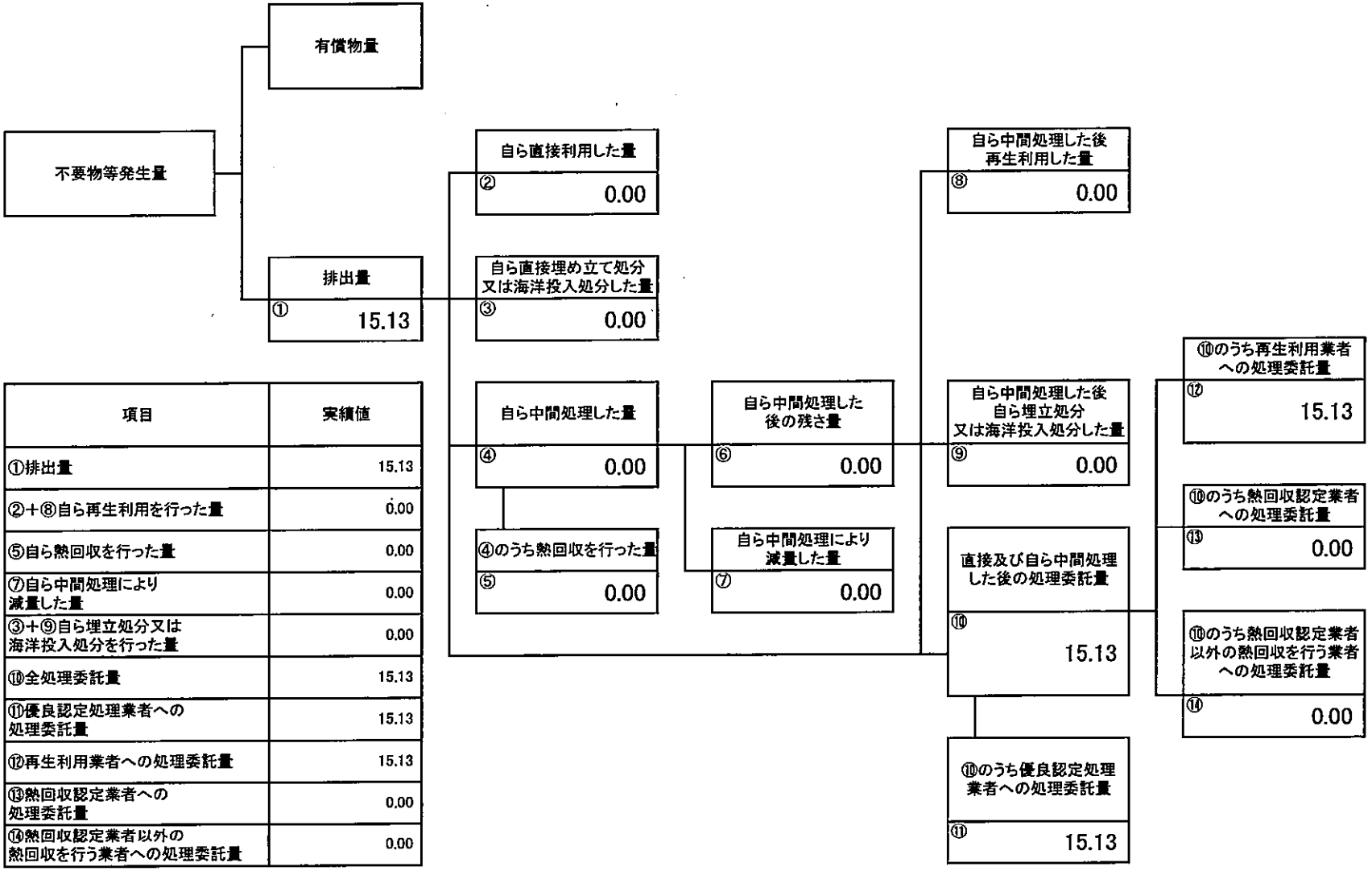


項目	実績値
①排出量	6.31
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	6.31
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.31
⑫再生利用業者への処理委託量	6.31
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず ）

（単位：トン）

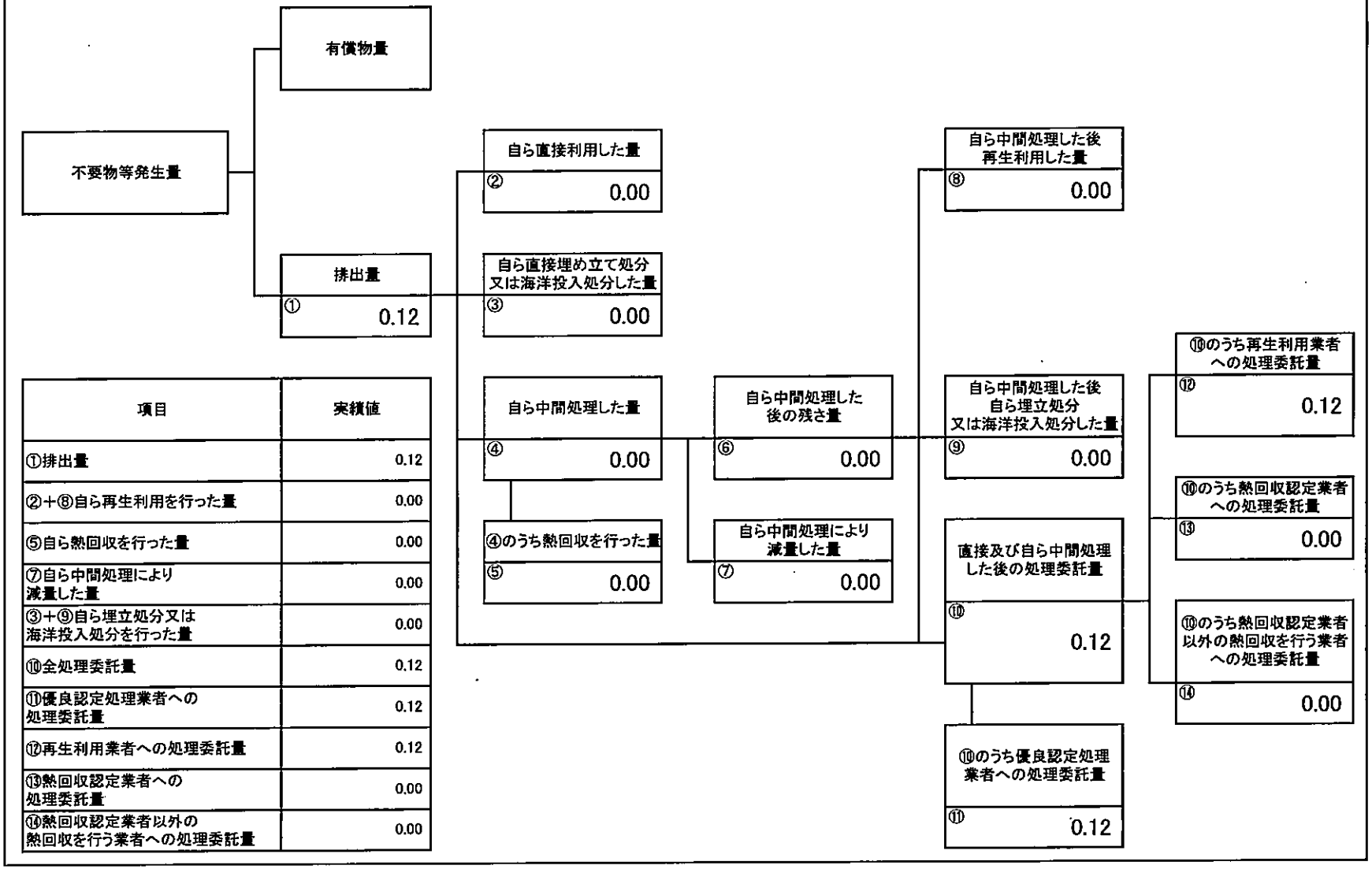


項目	実績値
①排出量	15.13
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	15.13
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.13
⑫再生利用業者への処理委託量	15.13
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類繊維くず　　）

（単位：トン）

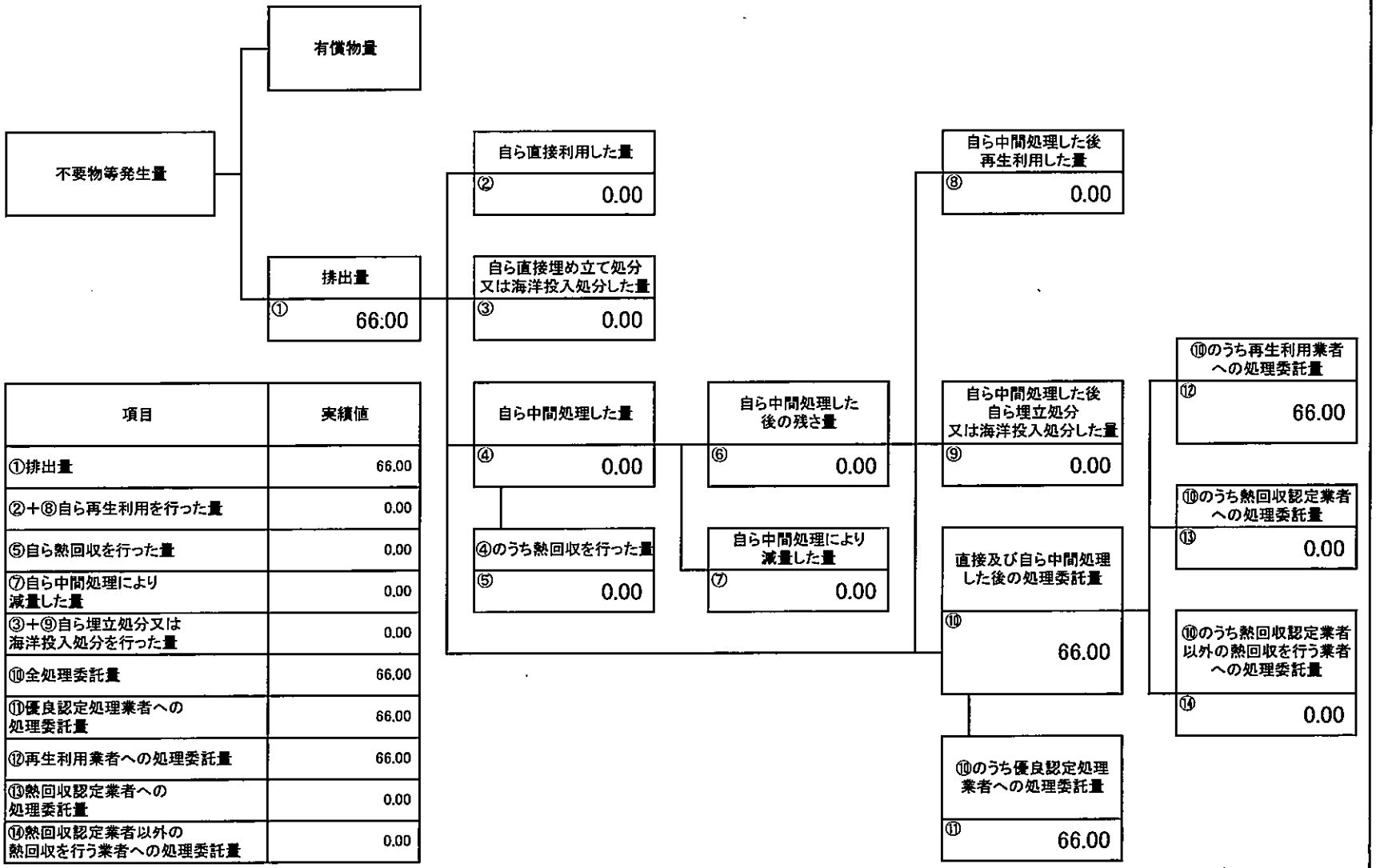


項目	実績値
①排出量	0.12
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.12
⑫再生利用業者への処理委託量	0.12
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

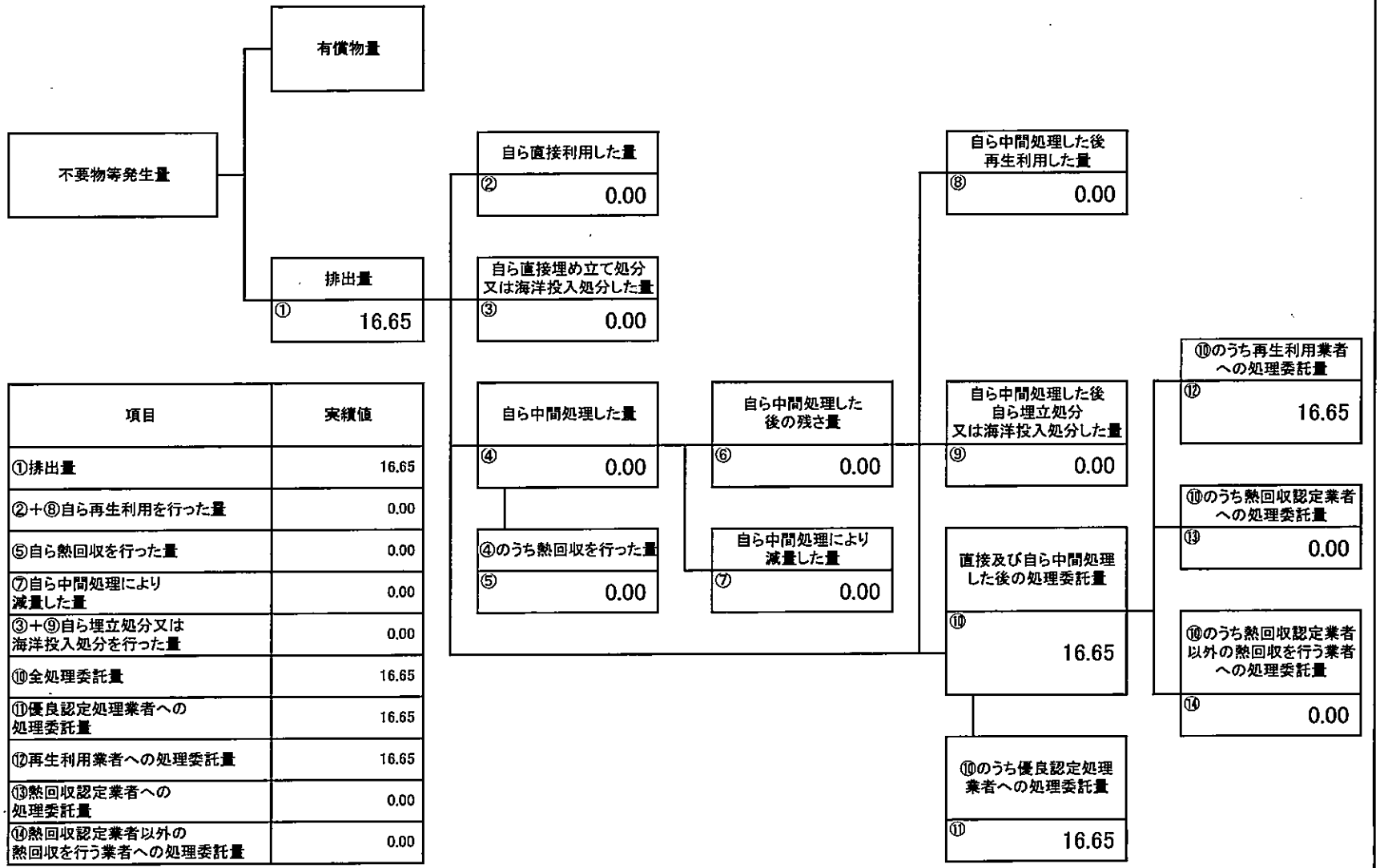


項目	実績値
①排出量	66.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	66.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.00
⑫再生利用業者への処理委託量	66.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃石膏ボード　　）

（単位：トン）



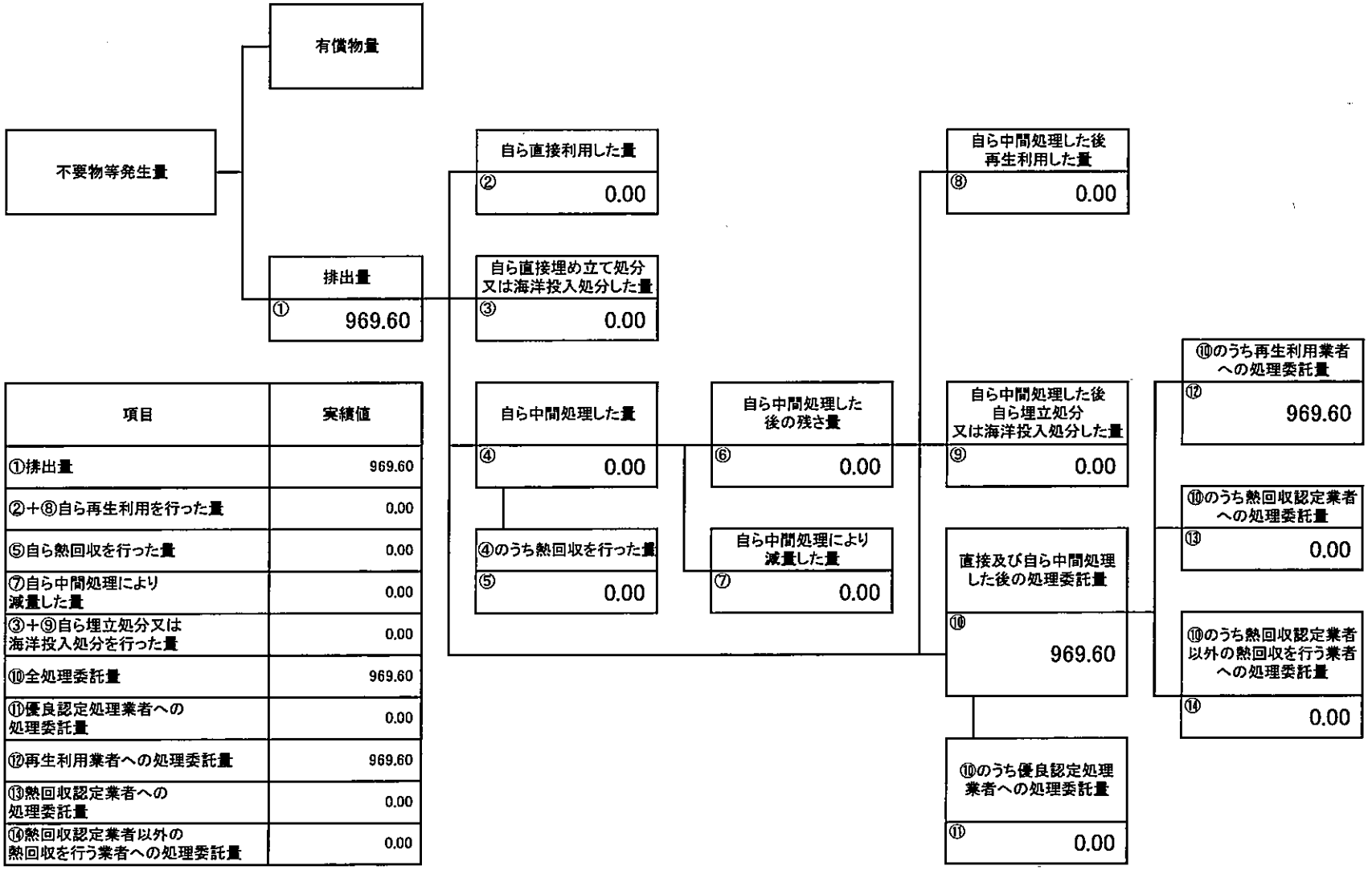
項目	実績値
①排出量	16.65
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16.65
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.65
⑫再生利用業者への処理委託量	16.65
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

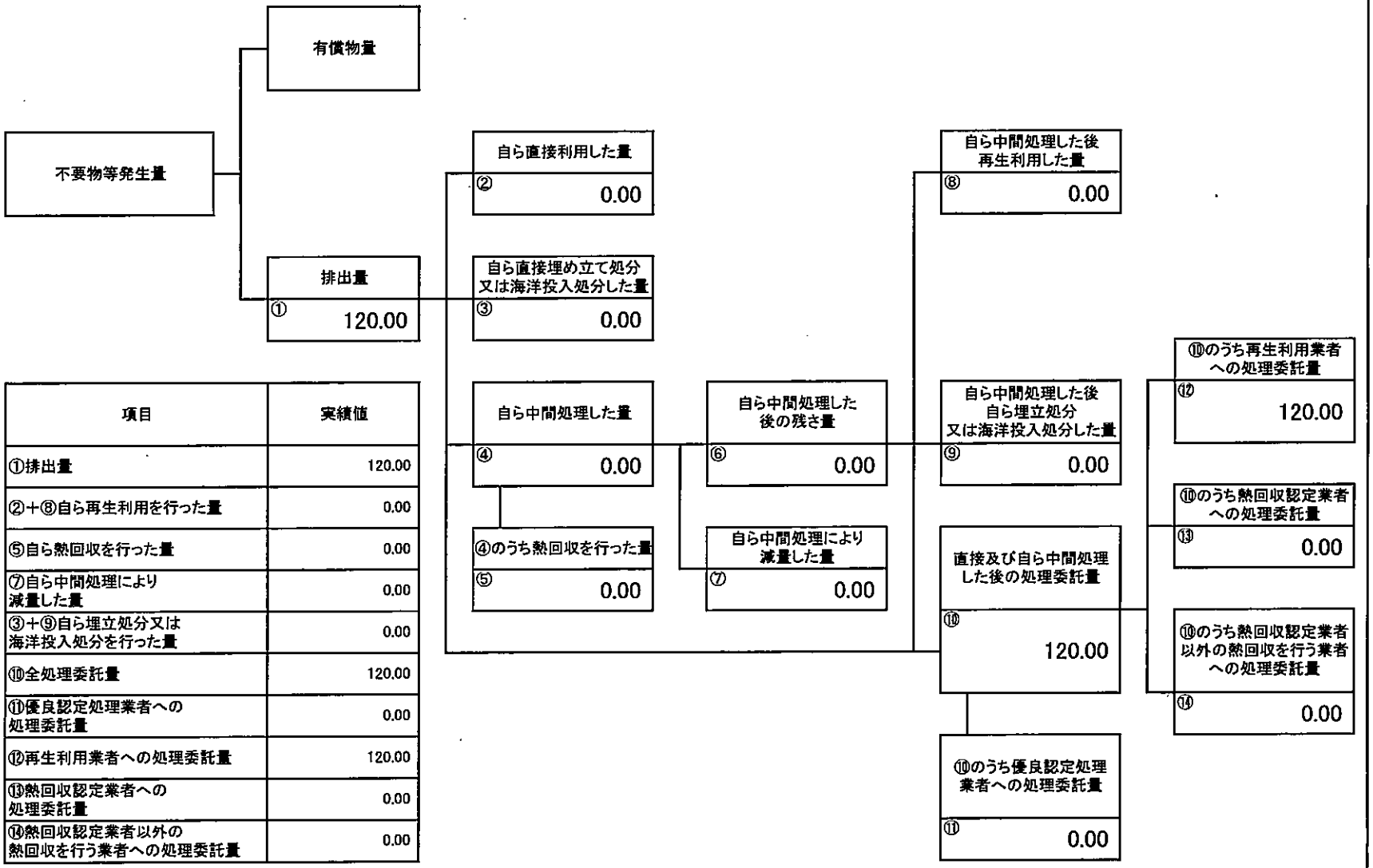


項目	実績値
①排出量	969.60
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	969.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	969.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

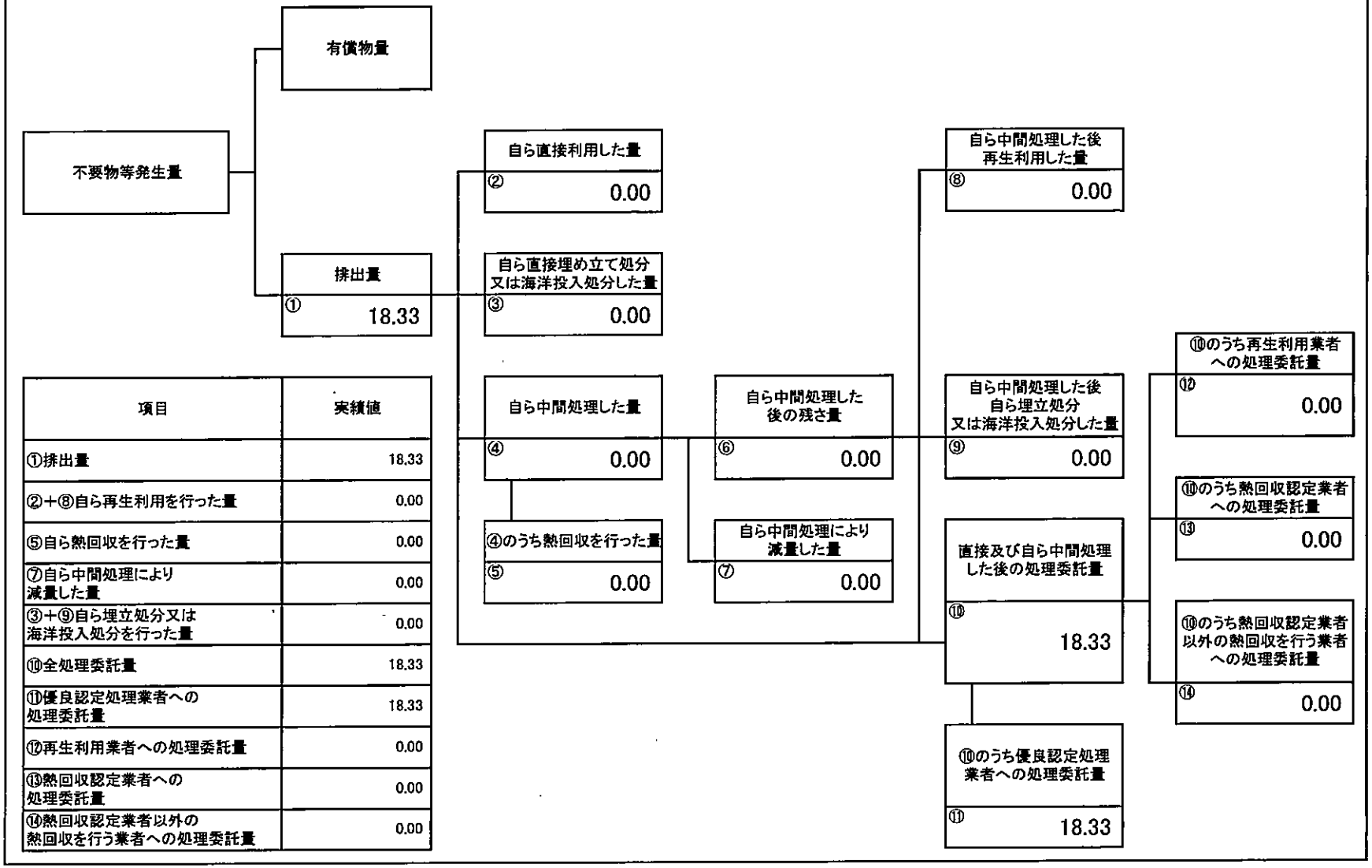


項目	実績値
①排出量	120.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	120.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	120.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

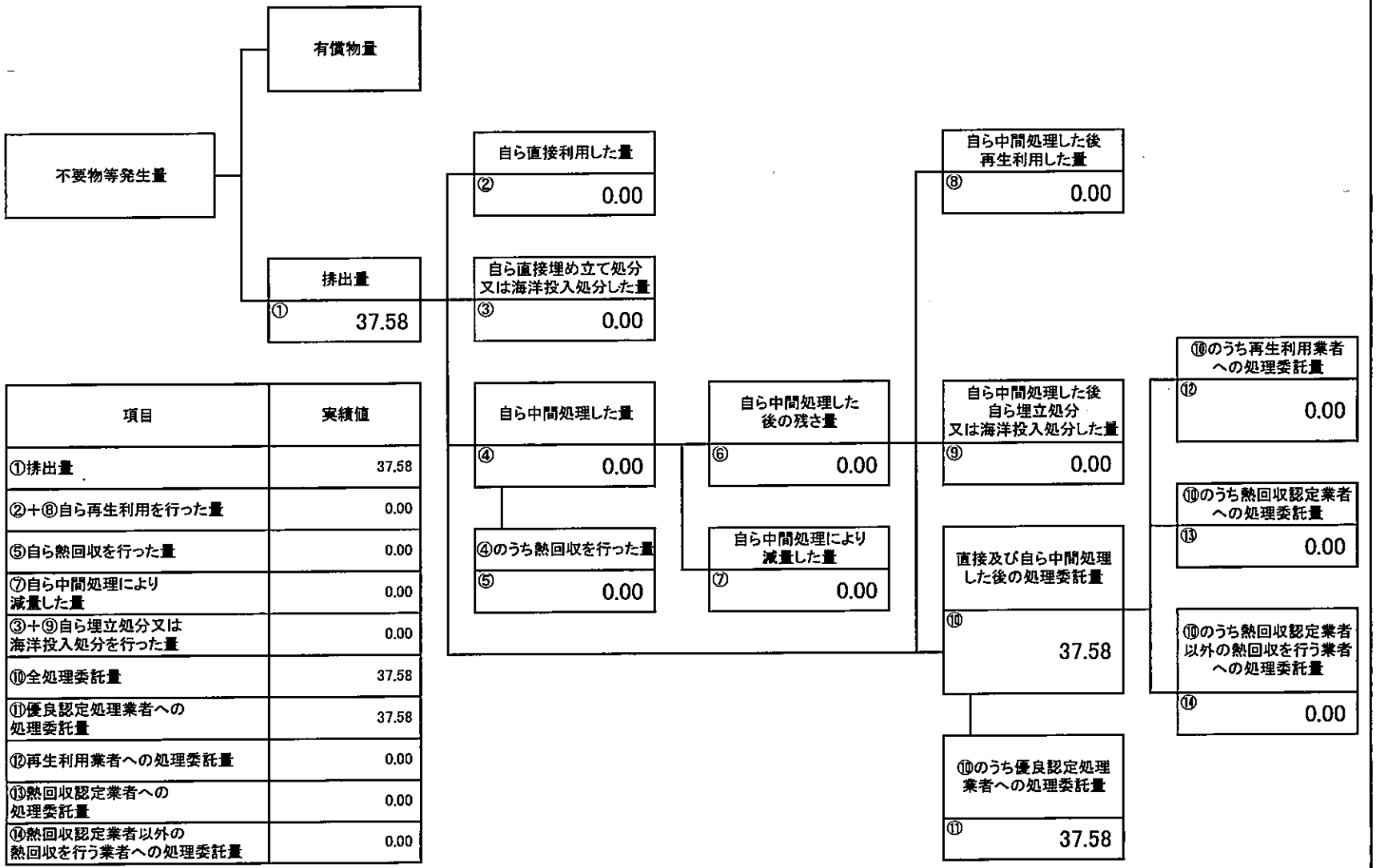


項目	実績値
①排出量	18.33
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	18.33
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.33
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物 ）

（単位：トン）



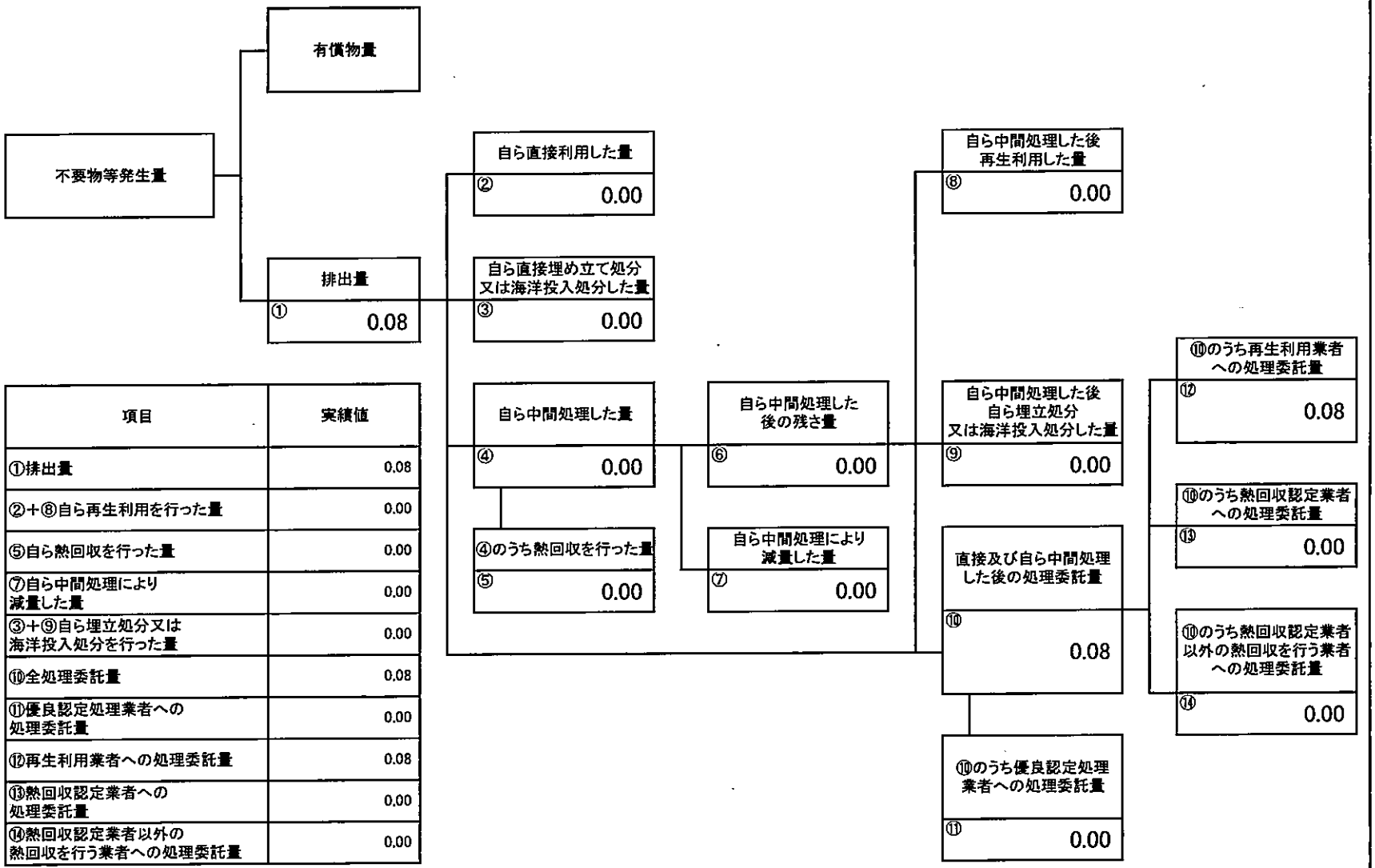
項目	実績値
①排出量	37.58
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	37.58
⑪優良認定処理業者への処理委託量	37.58
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類水銀使用製品　　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	0.08
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.08
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.08
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者 260-0825

住所 千葉県千葉市中央区村田町893-945

法人名 タマホーム株式会社 千葉支店

代表者 戸澤 政人

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-305-0328

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タマホーム株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区村田町893-945
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

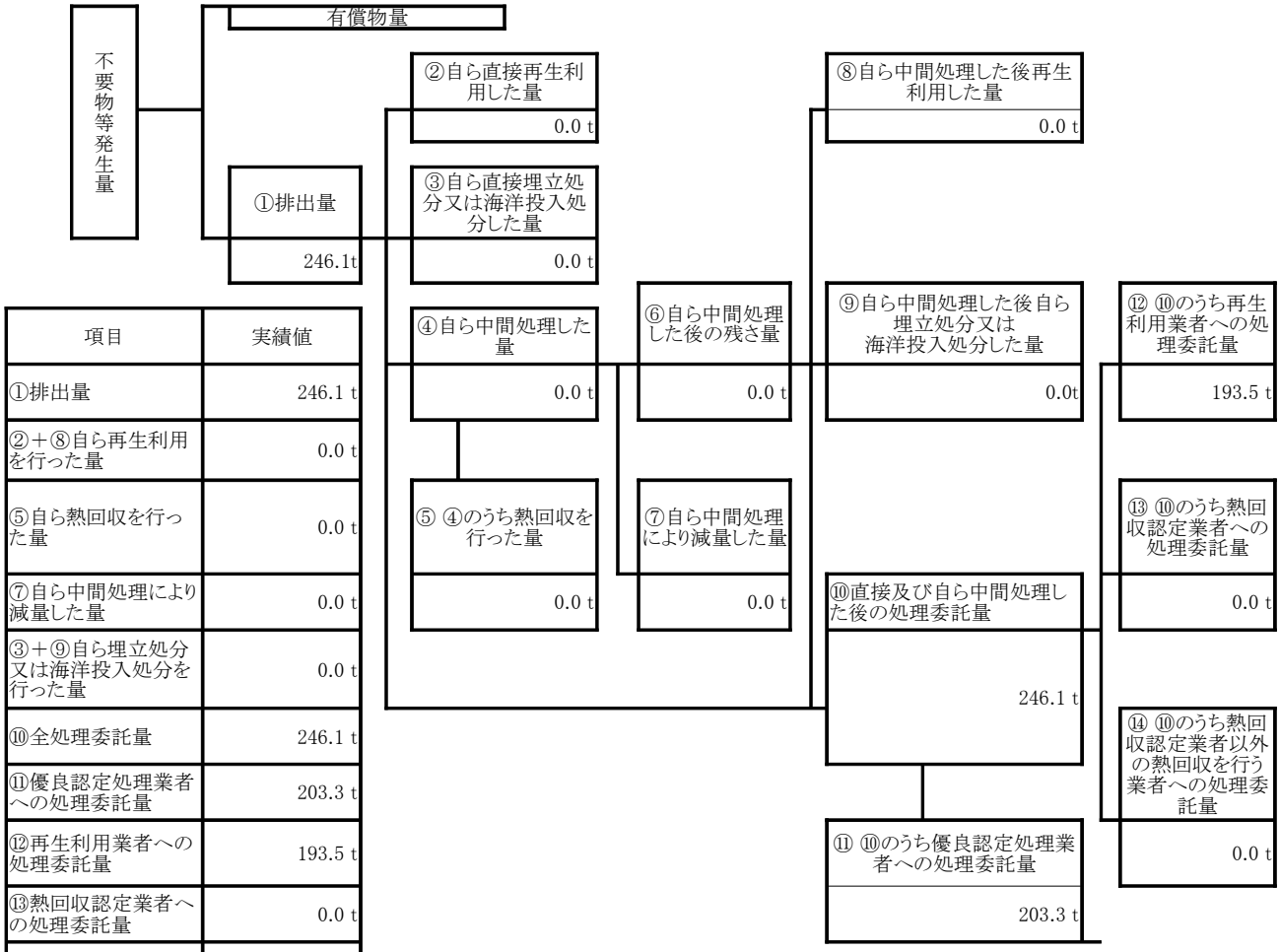
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1174.7 t	全処理委託量	1174.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	58.7 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	644.4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格 A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　ガラス・陶磁器くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

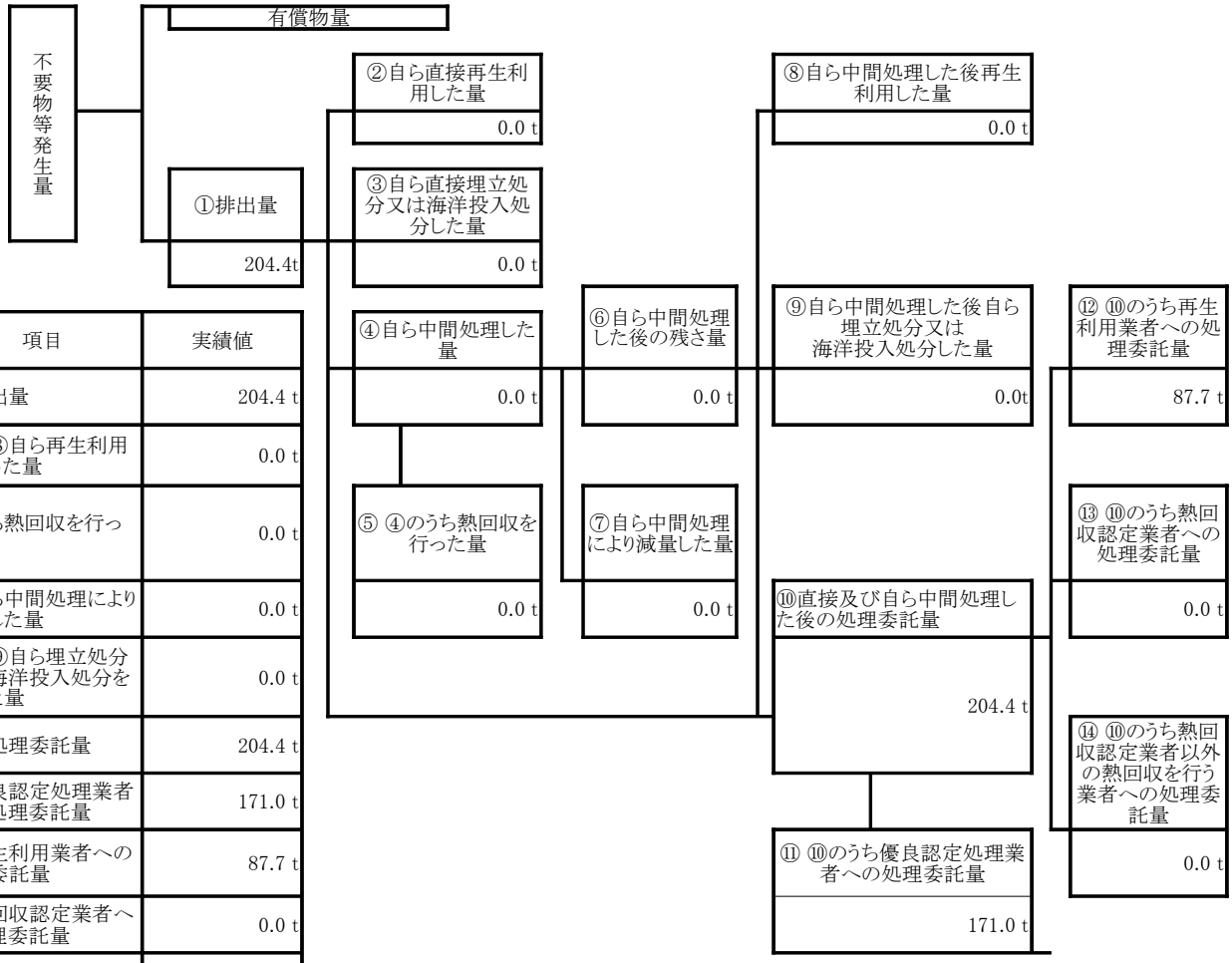


項目	実績値
①排出量	246.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	246.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	203.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	193.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃プラ　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

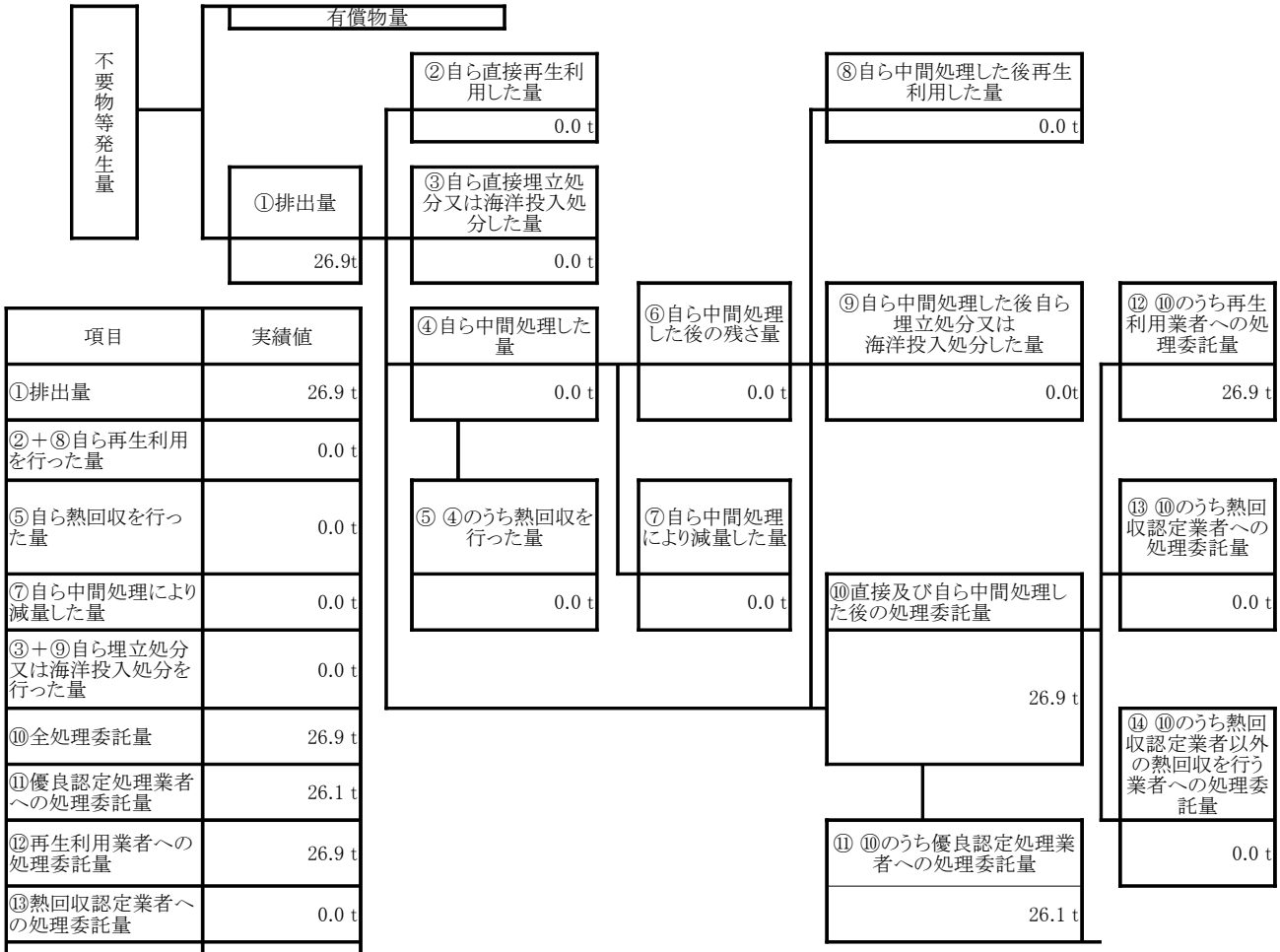


項目	実績値
①排出量	204.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	204.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	171.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	87.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

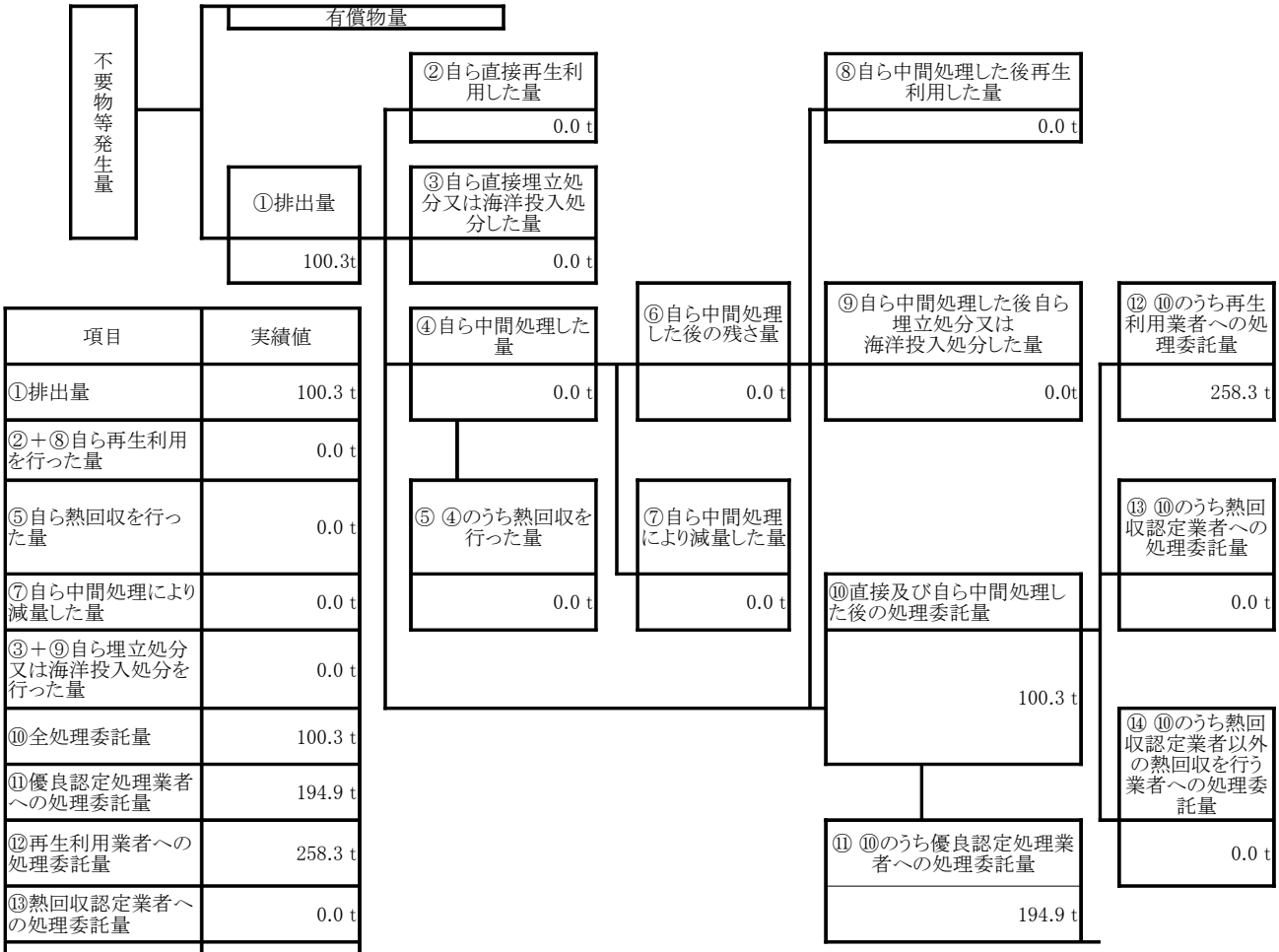


項目	実績値
①排出量	26.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

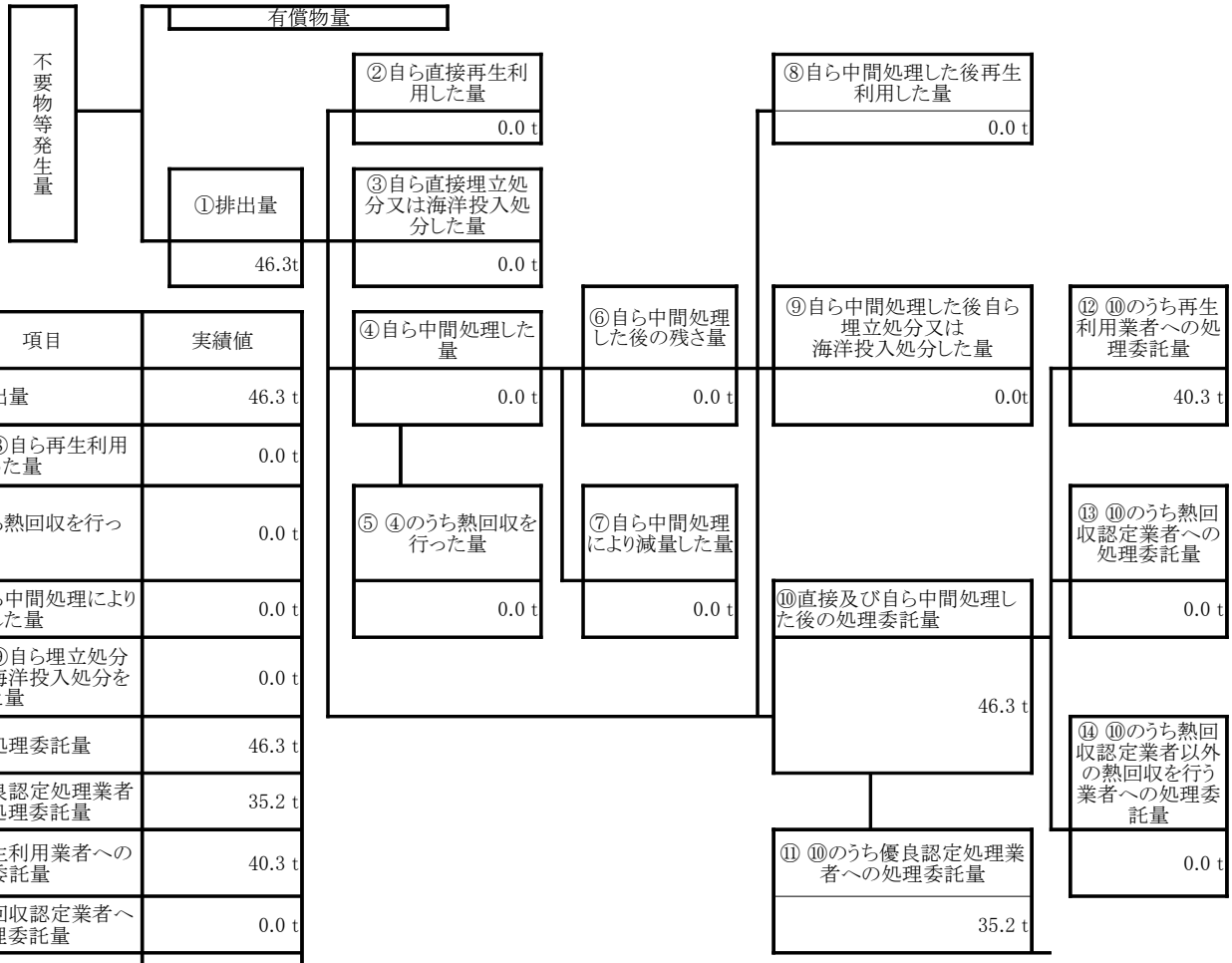


項目	実績値
①排出量	100.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	100.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	194.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	258.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

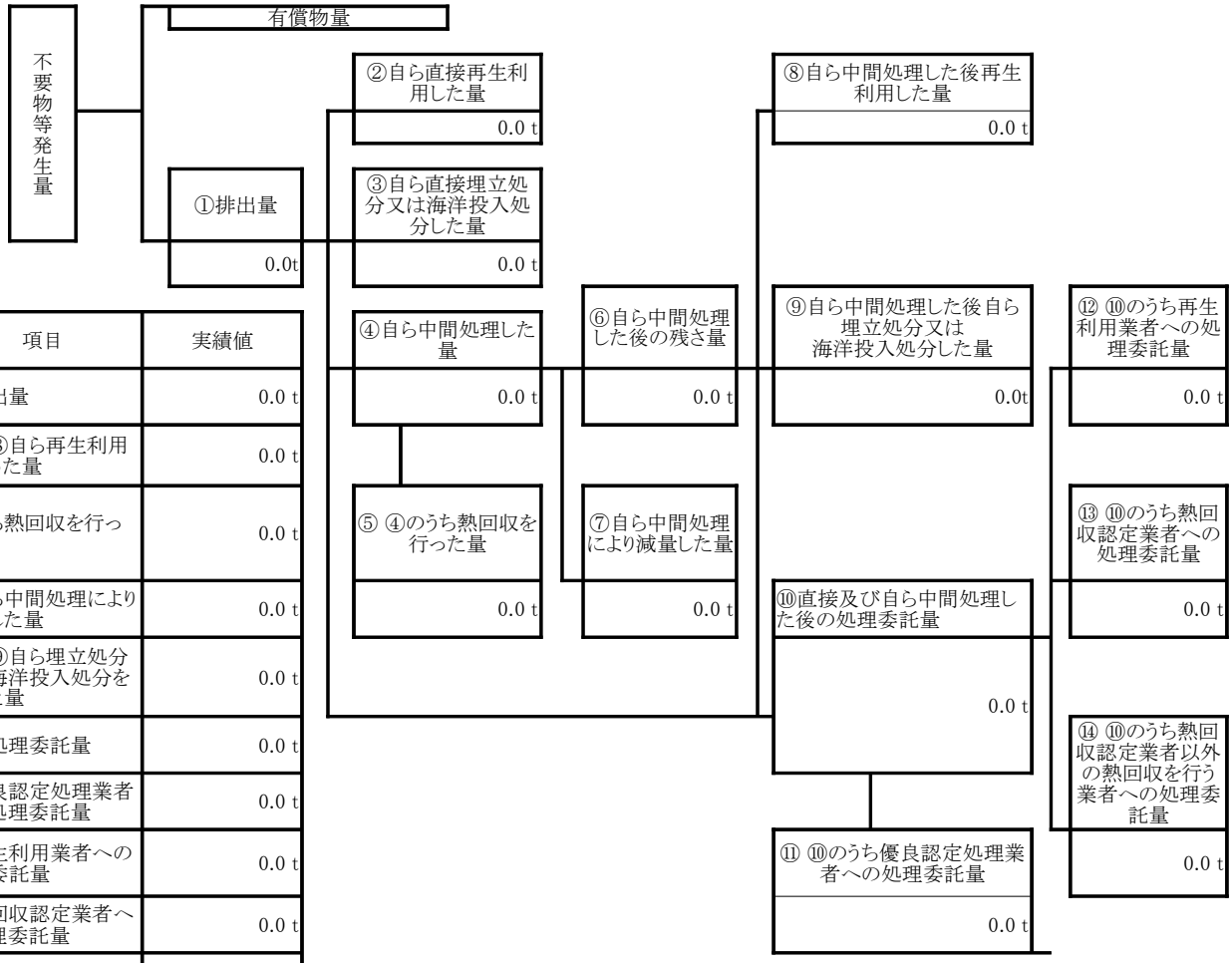


項目	実績値
①排出量	46.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	40.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設汚泥**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

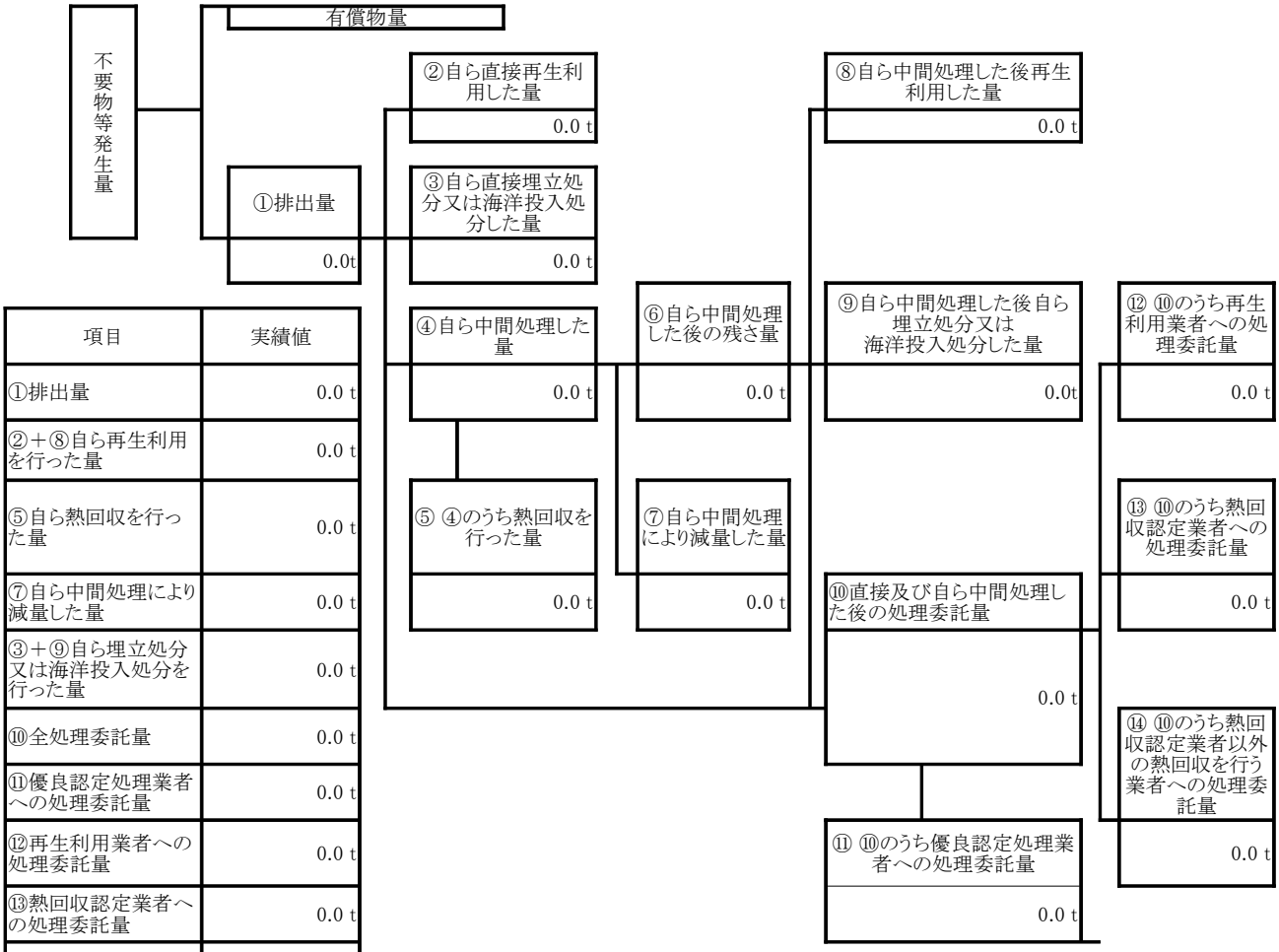


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**安定型混廃**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

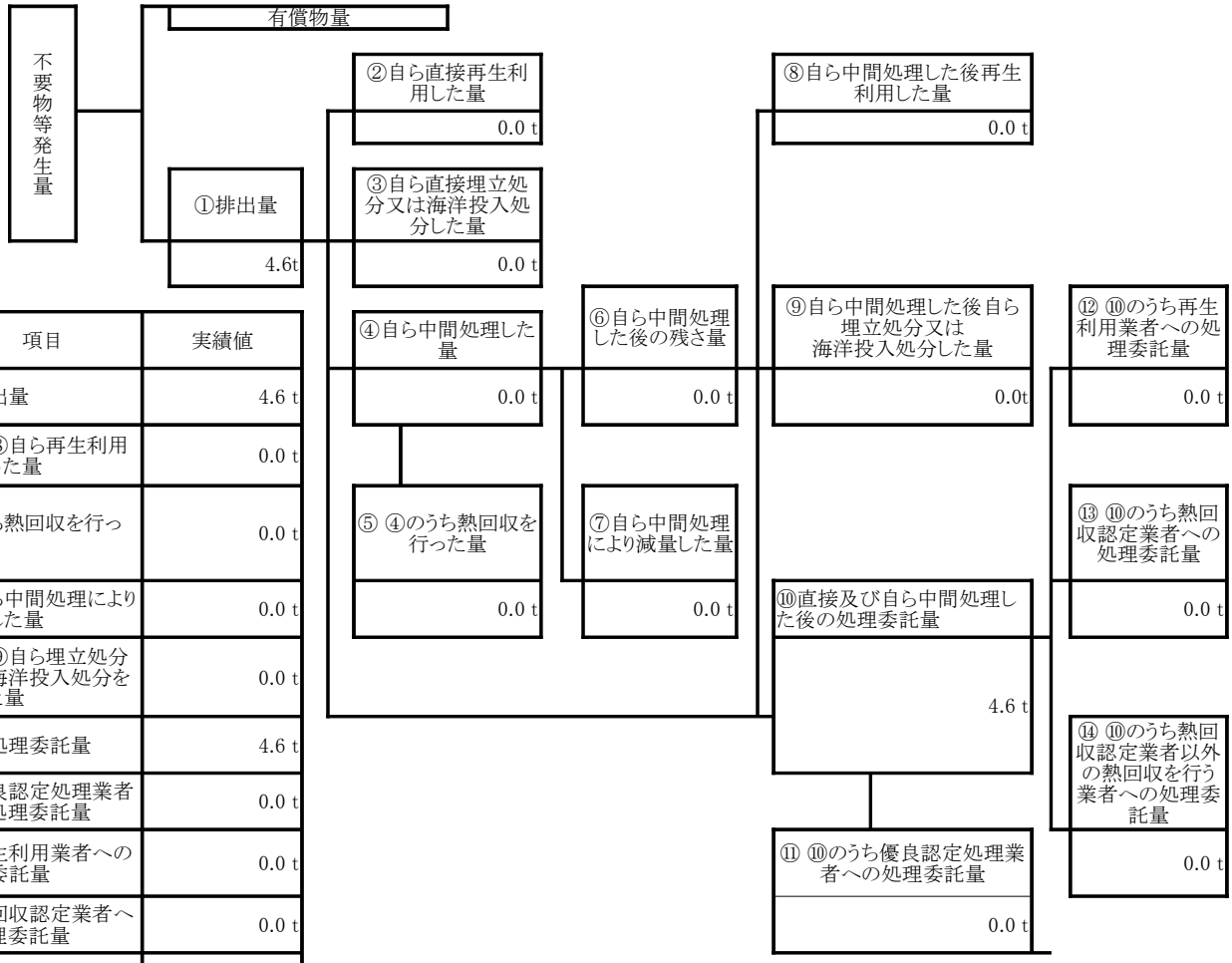


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **管理型混廃** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

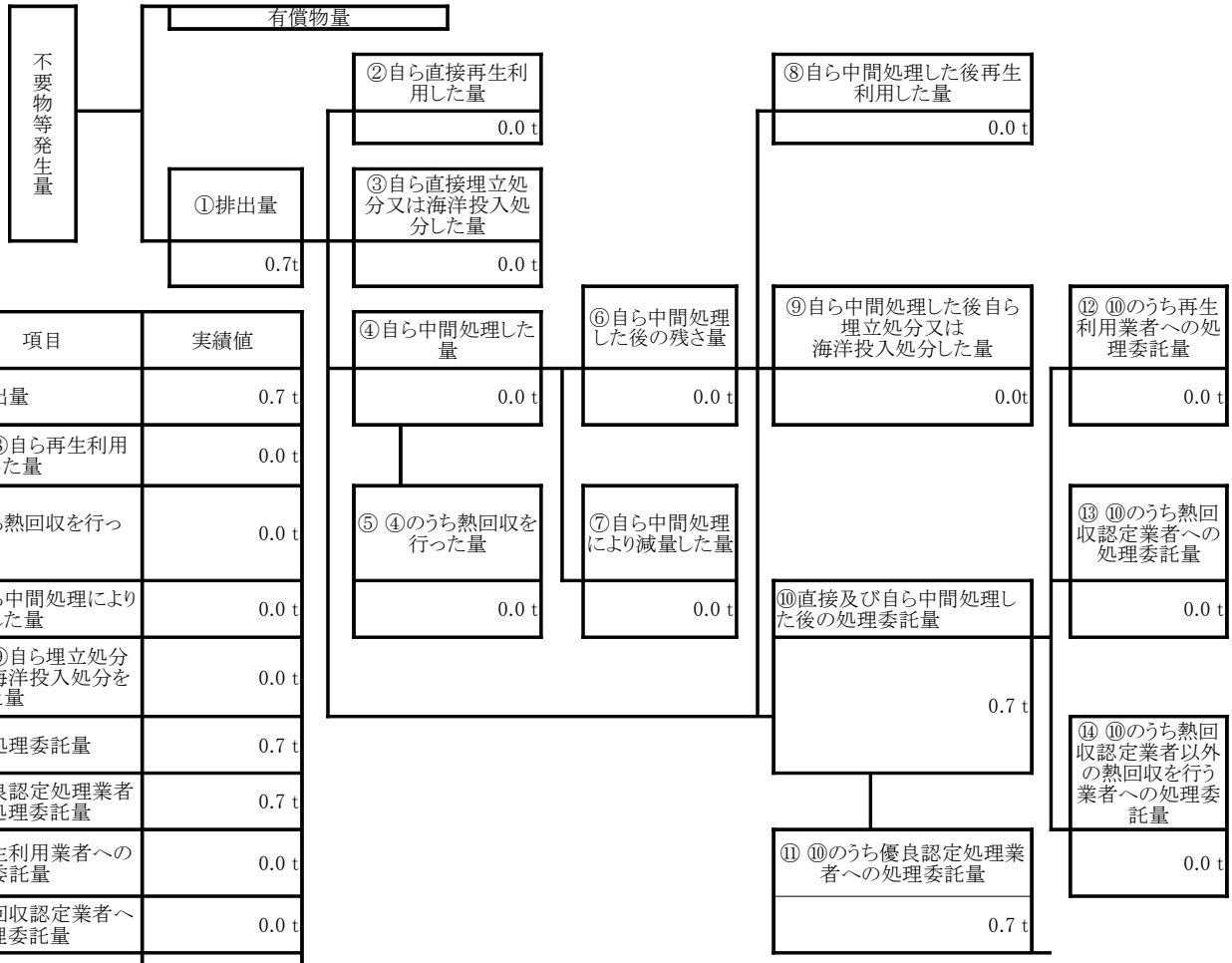


項目	実績値
①排出量	4.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



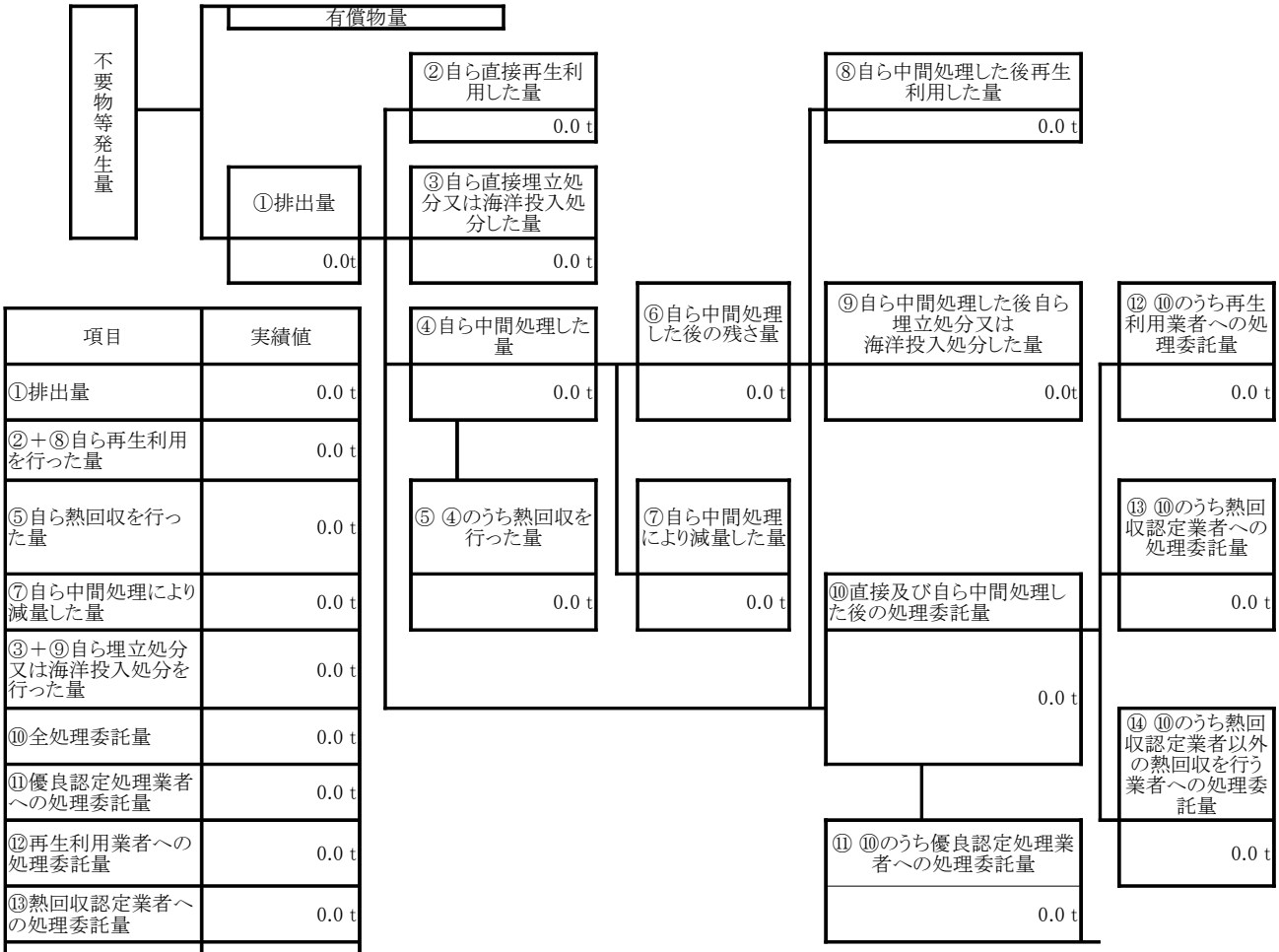
項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**繊維くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

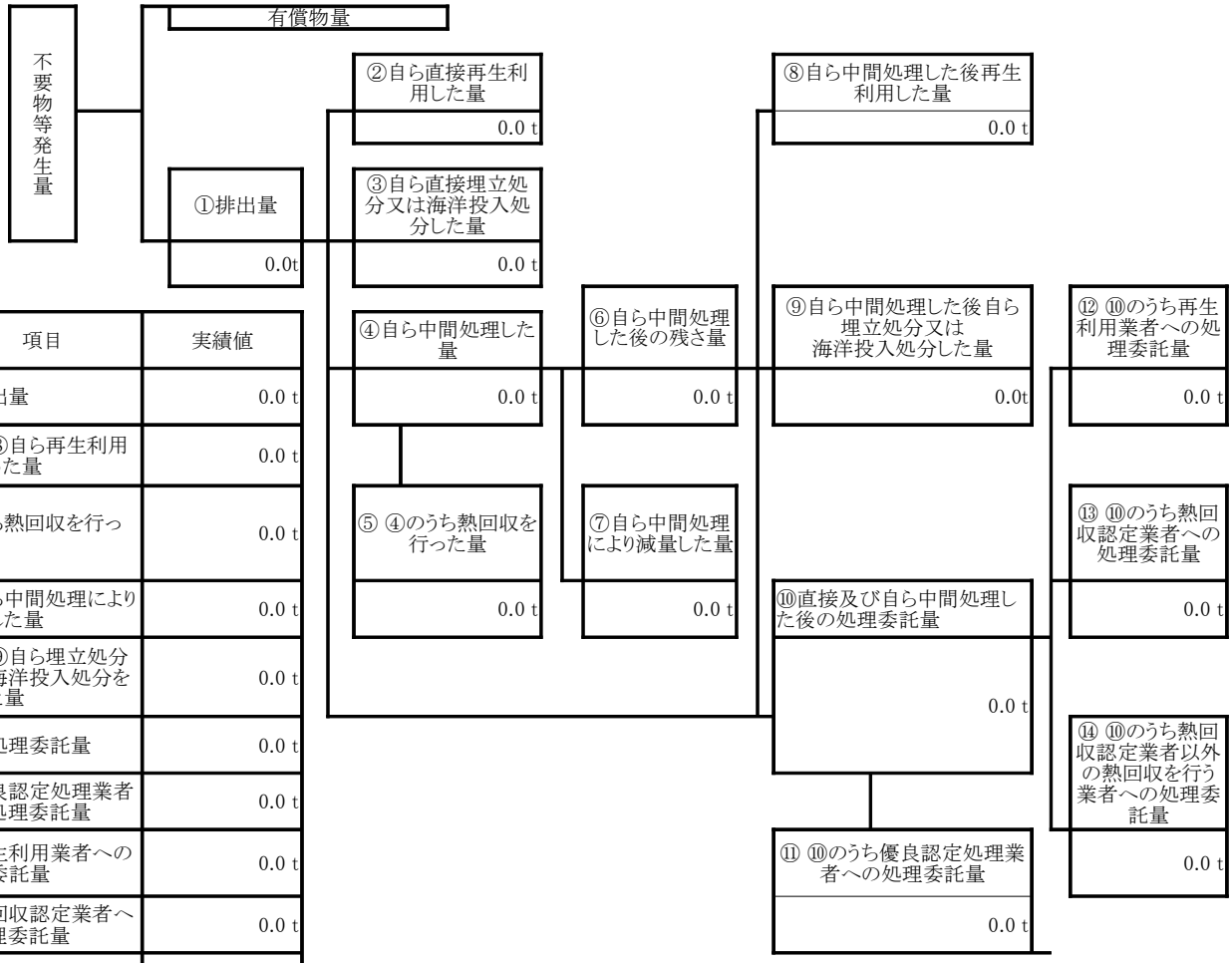


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月　24日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒270-1334
住 所　千葉県印西市西の原5丁目2番
氏 名　タマホーム株式会社 千葉ニュータウン支店
支店長　丸山 将平
電話番号 0476-48-5681

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タマホーム株式会社 千葉ニュータウン支店
事業場の所在地	千葉県印西市西の原5丁目2番
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

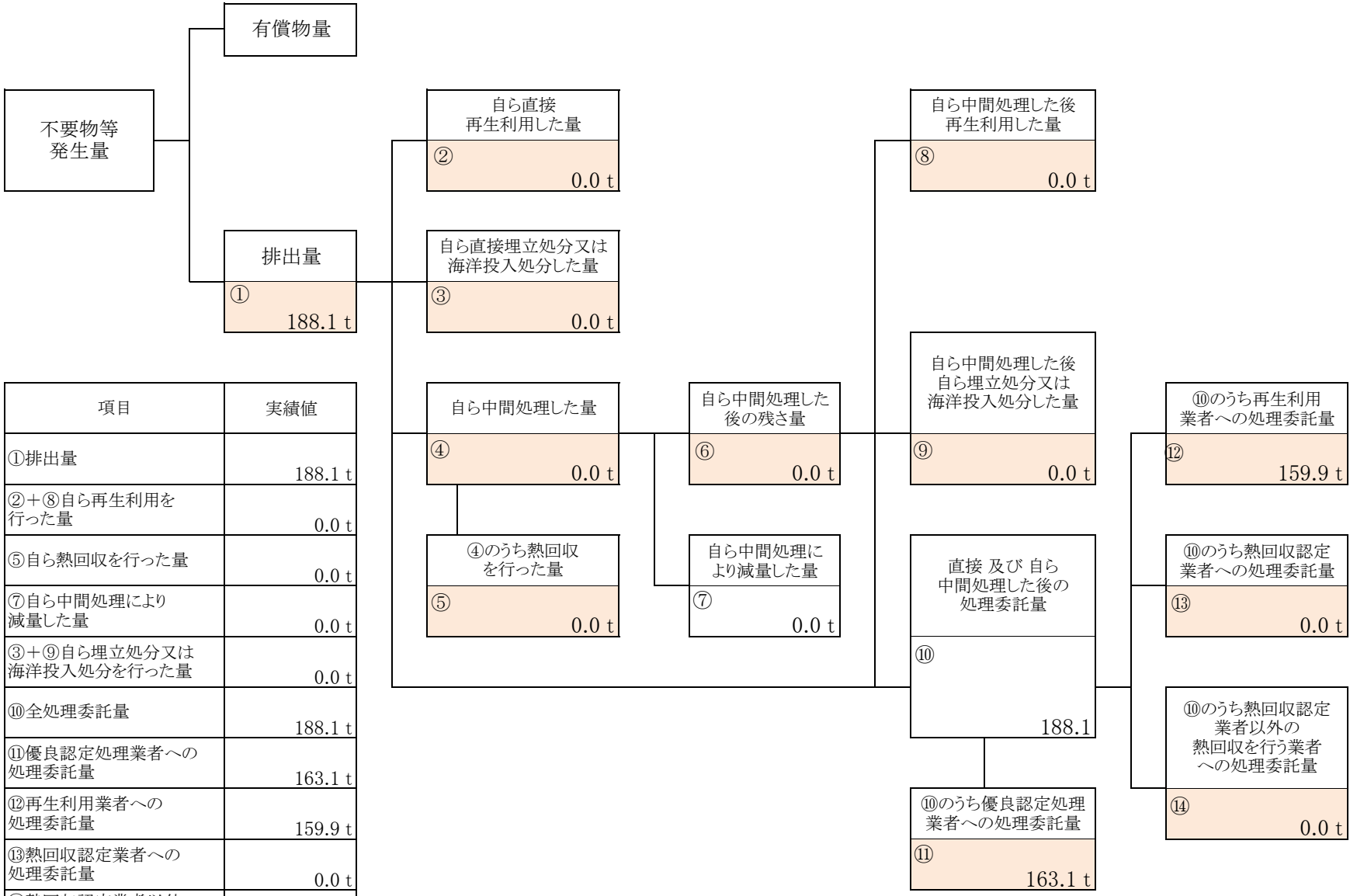
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1744.5ｔ	全処理委託量	1744.5ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	87.4ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 ｔ	再生利用業者への処理委託量	1600.4ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **ガラス陶磁器**）

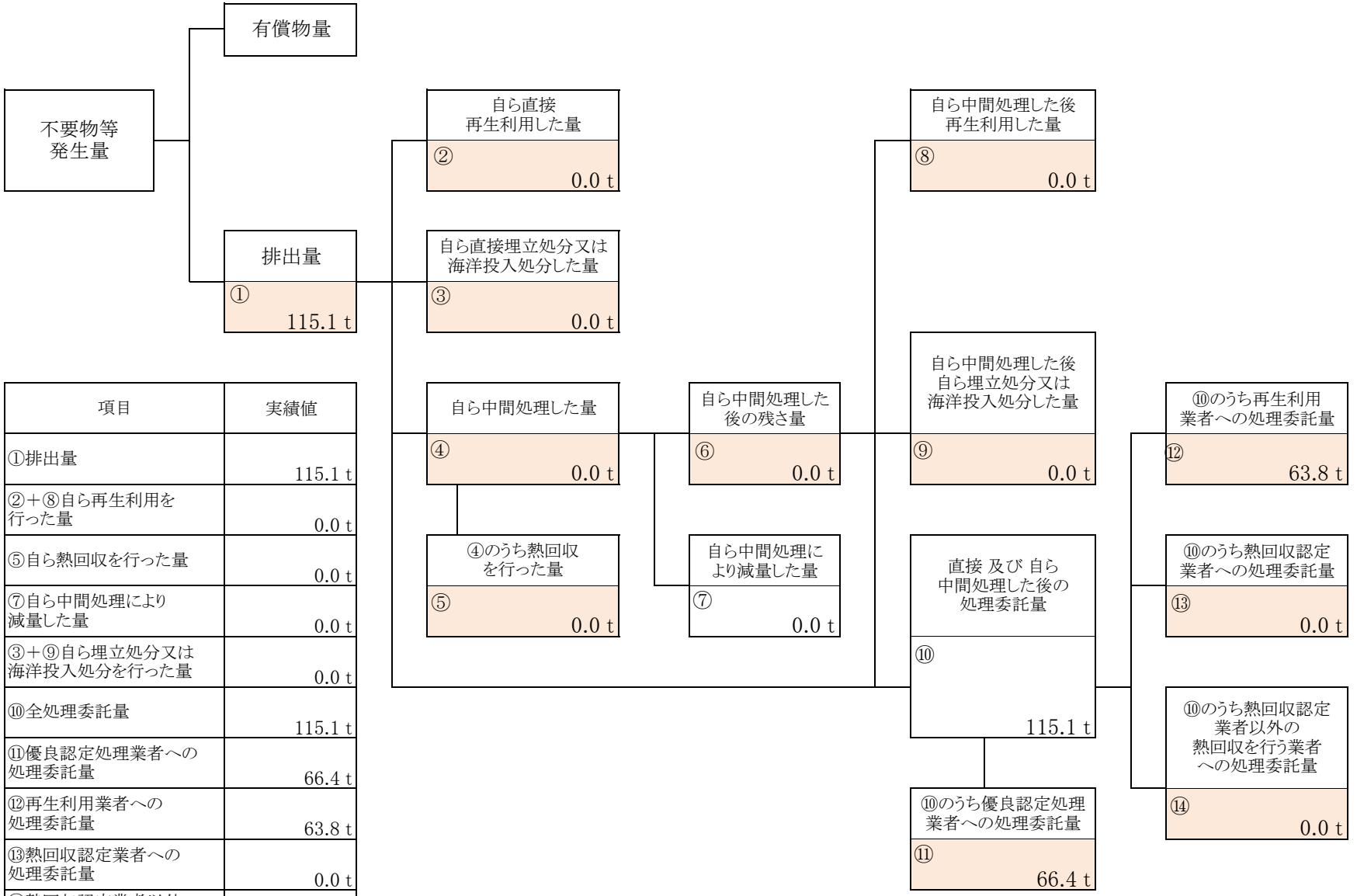


項目	実績値
①排出量	188.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	188.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	163.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	159.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 廃プラ ）

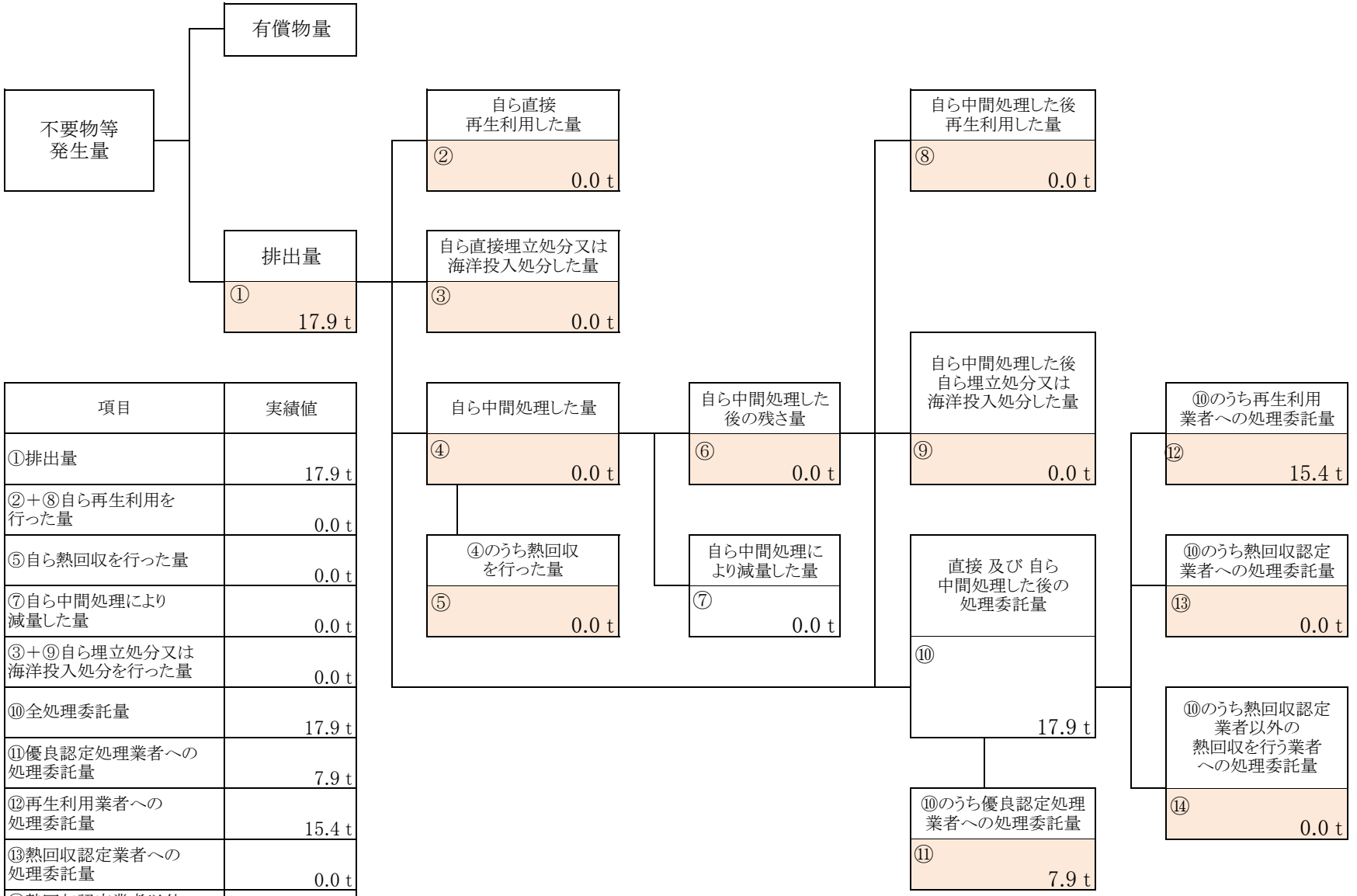


項目	実績値
①排出量	115.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	115.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	63.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **金属くず** ）

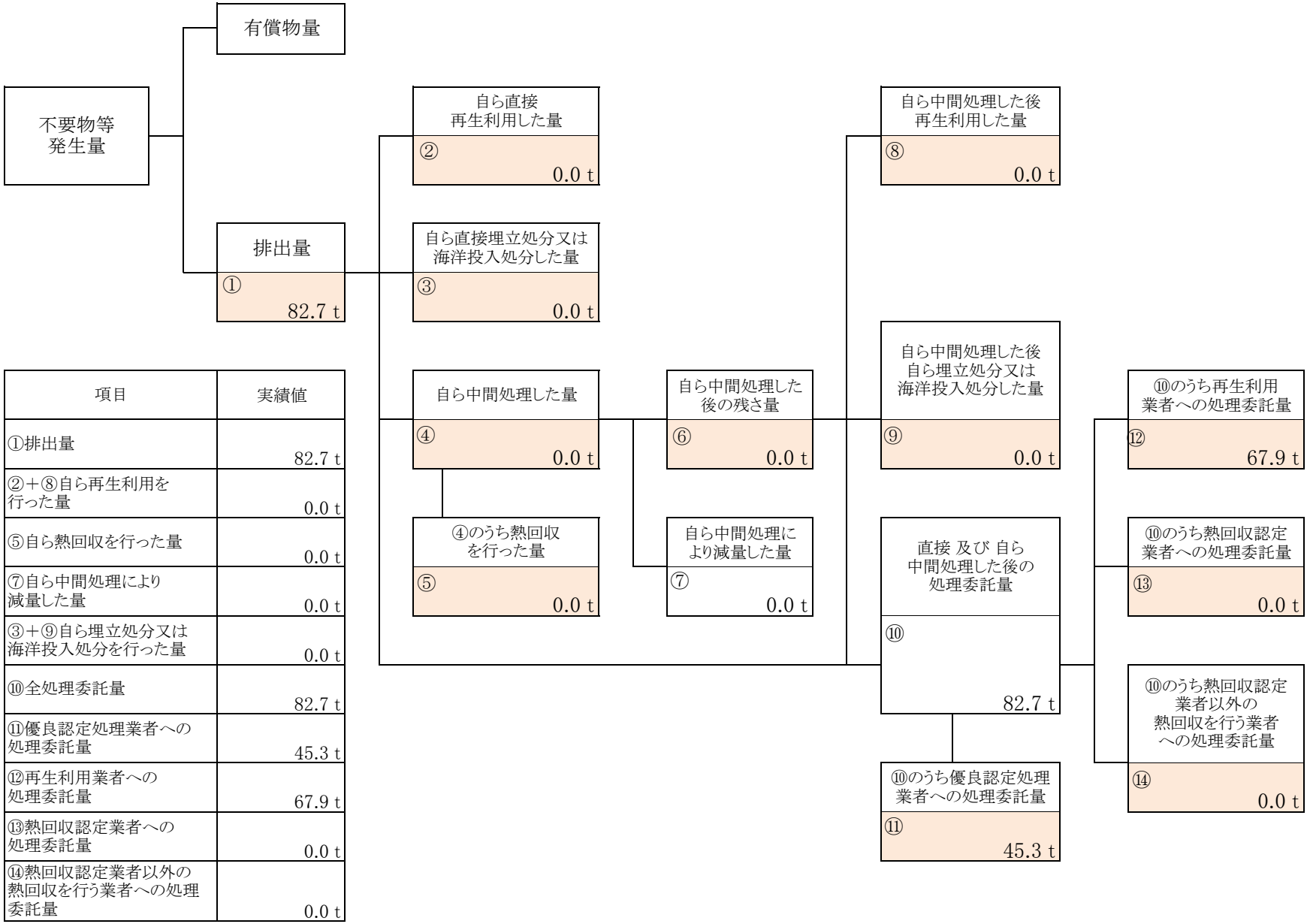


項目	実績値
①排出量	17.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

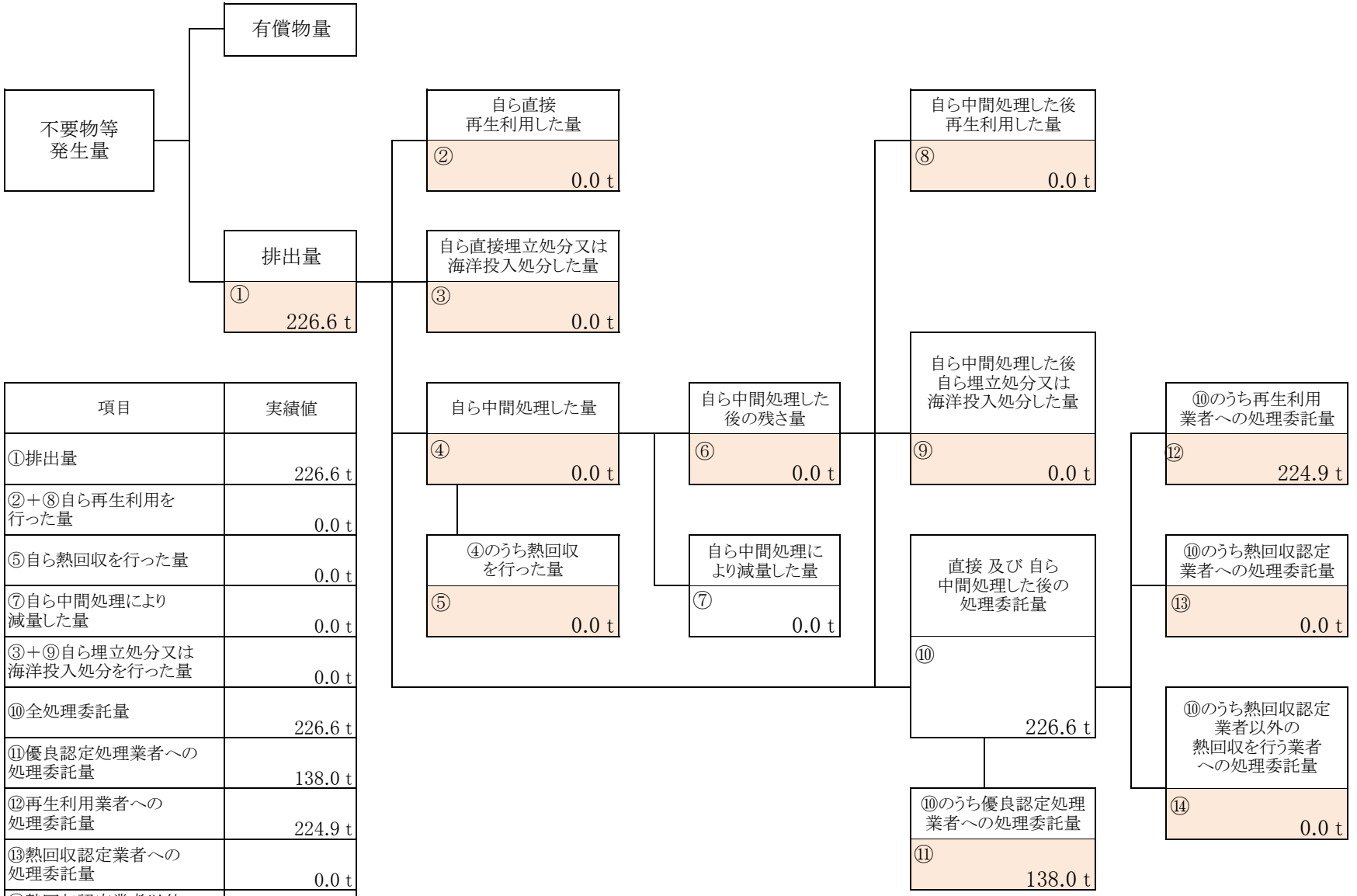


項目	実績値
①排出量	82.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	82.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	67.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

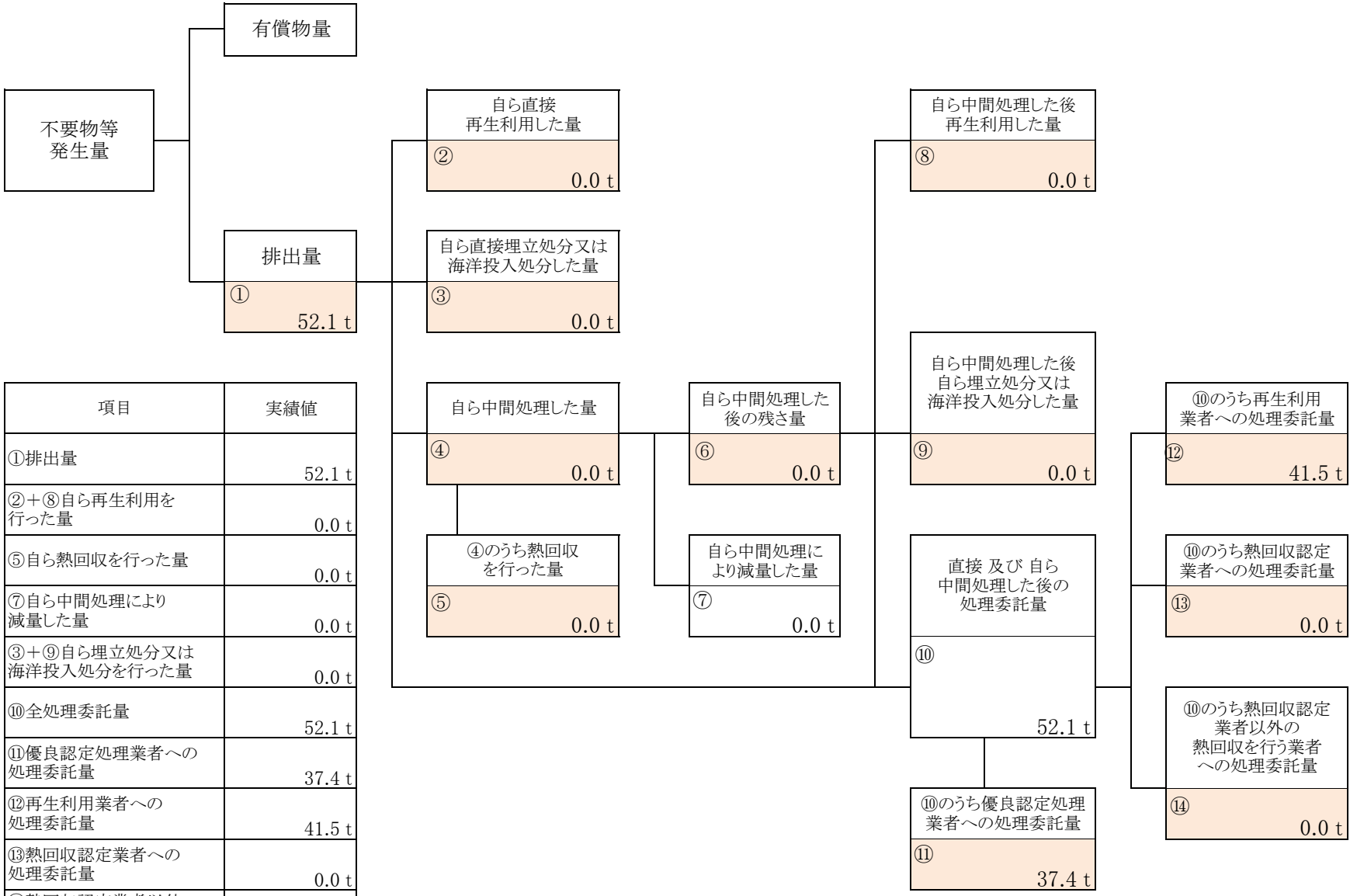


項目	実績値
①排出量	226.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	226.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	138.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	224.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **石膏ボード** ）

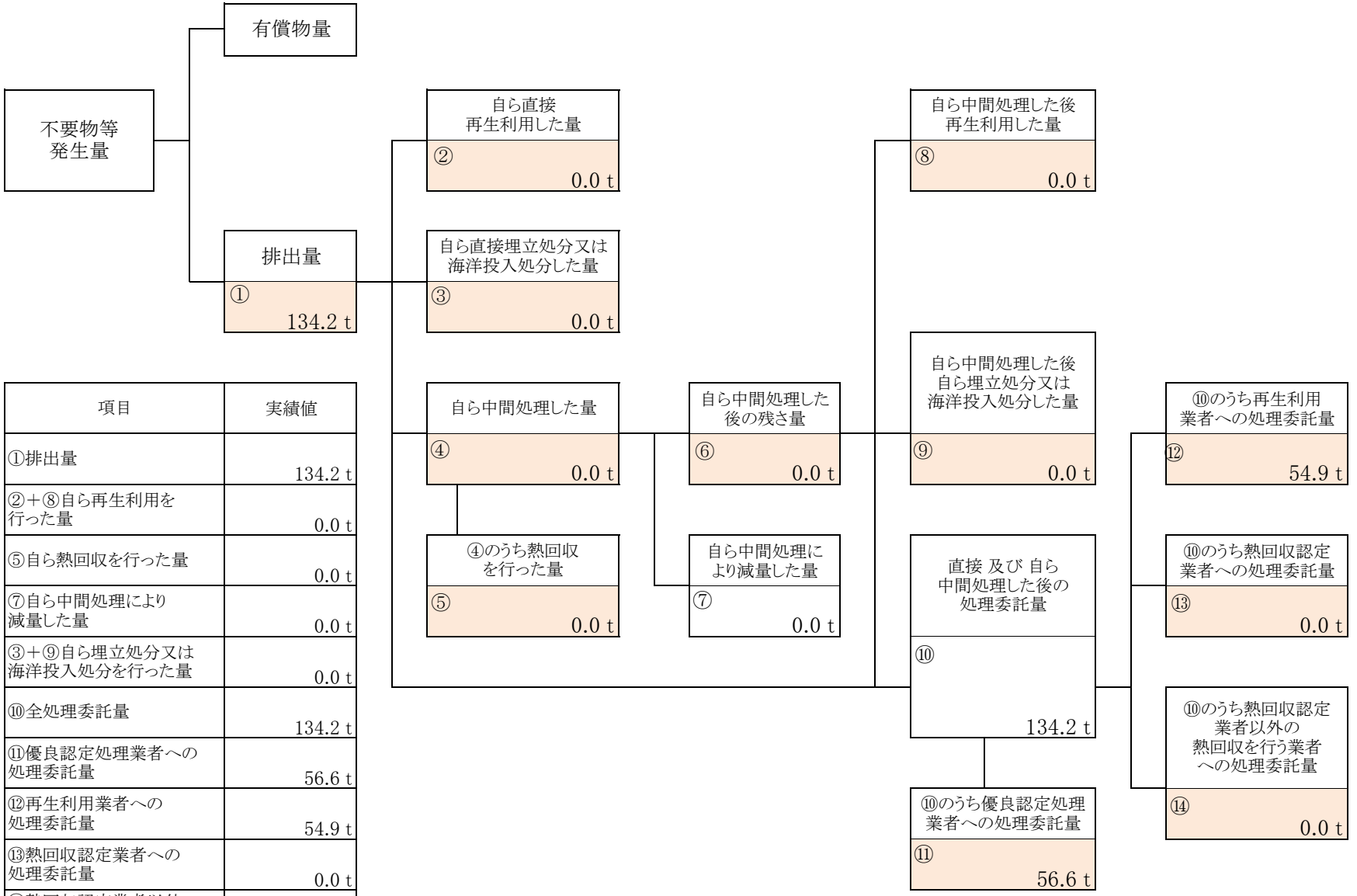


項目	実績値
①排出量	52.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	52.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	37.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	41.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **管理型混廃** ）

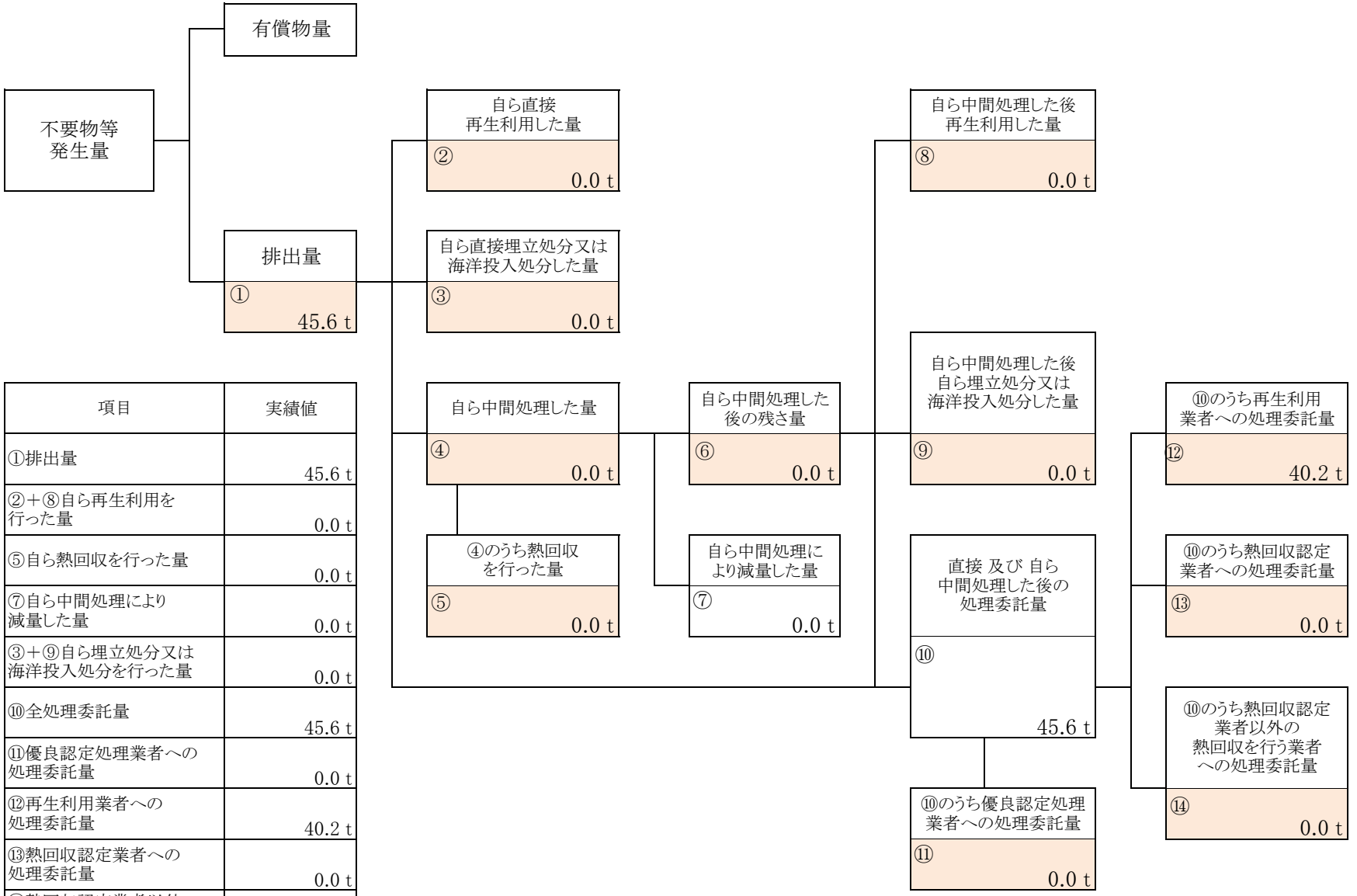


項目	実績値
①排出量	134.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	134.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	54.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **がれき類** ）

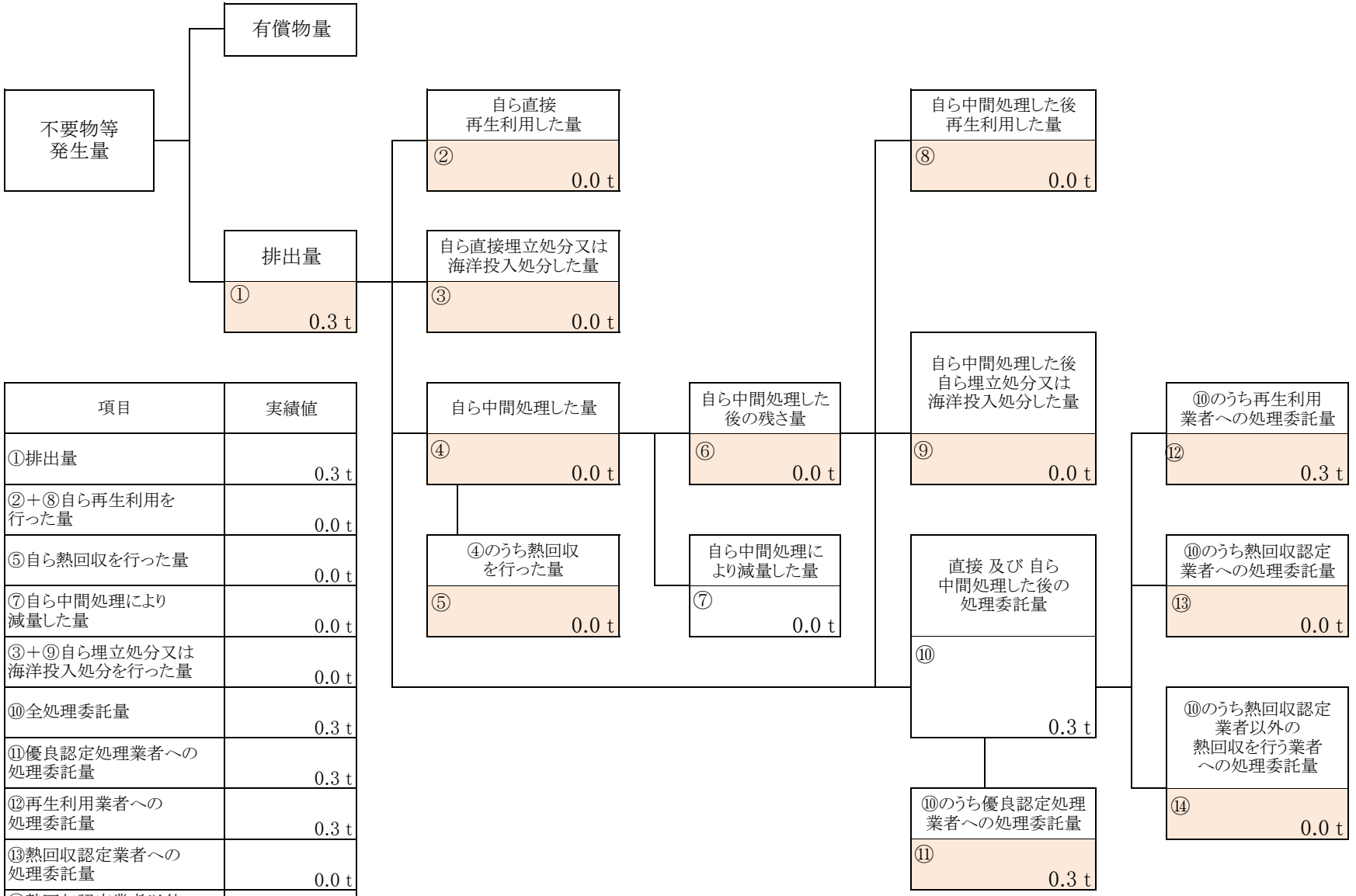


項目	実績値
①排出量	45.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	45.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	40.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **繊維くず** ）



項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒171-0033

住　所　東京都豊島区高田２－１７－２２
目白中野ビル５F

氏　名　株式会社タワーライン・ソリューション
代表取締役　大石　祐司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03－6371－8900

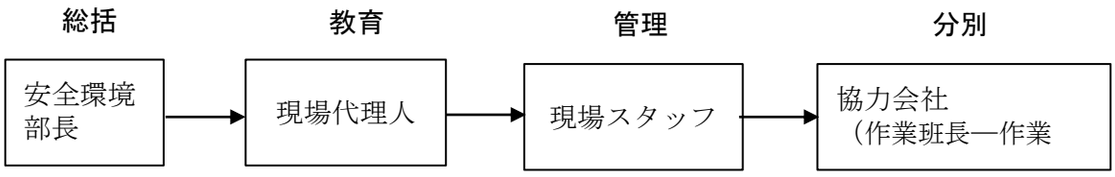
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社タワーライン・ソリューション　千葉県内の有期事業場
事業場の所在地	東京都豊島区高田２－１７－２２目白中野ビル５F（現場：富津市）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D08－設備工事業
②　事業の規模	完成工事高　２，７２９百万円　（令和６度実績　千葉県分）
③　従業員数	441名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥→脱水(委託)→再生土材として再利用 ・廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類→破砕,圧縮(委託)→再生ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ原料，固形燃料として再生利用 ・紙くず→破砕，圧縮(委託)→段ﾎﾞｰﾙ，紙原料として再生利用 ・木くず→破砕(委託)→製紙･ﾎﾞｰﾄﾞ原料，固形燃料として再生利用 ・金属くず→圧縮(委託)→鋼材原料として再生利用 ・ガラス・陶磁器くず→選別・破砕(委託）→再生路盤材、ガラス原料として再生利用 ・がれき類，ｶﾞﾗｽ･陶磁器くず→破砕(委託)→再生路盤材，埋戻材として再生利用 ・建設混合廃棄物→選別・破砕(委託）→鋼材原料・再生路盤材として再生利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	656.7 t	62.67 t
	（これまでに実施した取組） ・廃棄物の分別による混合廃棄物の削減 ・分別置き場の設置 ・下請会社作業員への廃棄物削減、分別の教育実施 ・個人ごみの持ち帰りの推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	800 t	20 t
	（今後実施する予定の取組） ・現状の取組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 発生廃棄物の分別保管・分別処理を基本行動として、やむを得ない物を除き分別不良による混合廃棄物発生させないよう取り組んでいる。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の取組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量＿	656.7 t	62.67 t
優良認定処理業者への処理委託量	3.3 t	60.39 t
再生利用業者への処理委託量	656.7 t	62.67 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・現状の取組みを継続する。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿	汚泥		廃プラスチック類	
		全処理委託量＿	800	t	20	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0	t	20	t
		再生利用業者への処理委託量	800	t	20	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0	t
		（今後実施する予定の取組） ・現状の取組みを継続する				
※事務処理欄						

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
		排　出　量	7.2　t	588.24　t	10.18　t	3　t	0.5　t	2067.14　t	525.48　t	60　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
		排　出　量	5　t	74　t	12　t	0　t	0　t	32　t	155　t	0　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
	全処理委託量	7.2 t	588.24 t	10.18 t	3 t	0.5 t	2067.14 t	525.48 t	60 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.65 t	510.46 t	9.05 t	0.5 t	0 t	11.62 t	2.22 t	60 t
	再生利用業者への処理委託量	7.2 t	588.24 t	10.18 t	3 t	0.5 t	2067.14 t	525.48 t	60 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず	廃ｱﾙｶﾘ	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	その他がれき類
	全処理委託量	5 t	74 t	12 t	0 t	0 t	32 t	155 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2 t	60 t	10 t	0 t	0 t	2 t	25 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	5 t	74 t	12 t	0 t	0 t	32 t	155 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
		排　　出　　量	43.94　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
		排　　出　　量	12　t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
	全処理委託量	43.94 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	29.64 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	43.94 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物							
	全処理委託量	12 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	6 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	12 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月19日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒171－0033
住 所　東京都豊島区高田2－17－22 目白中野ビル5F
氏 名　株式会社タワーライン・ソリューション
代表取締役 大石 祐司
電話番号 03－6371－8900

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社タワーライン・ソリューション 千葉県内の有期事業場
事業場の所在地	東京都豊島区高田2－17－22 目白中野ビル5F （現場：千葉県市原市）
事業の種類	D08－設備工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

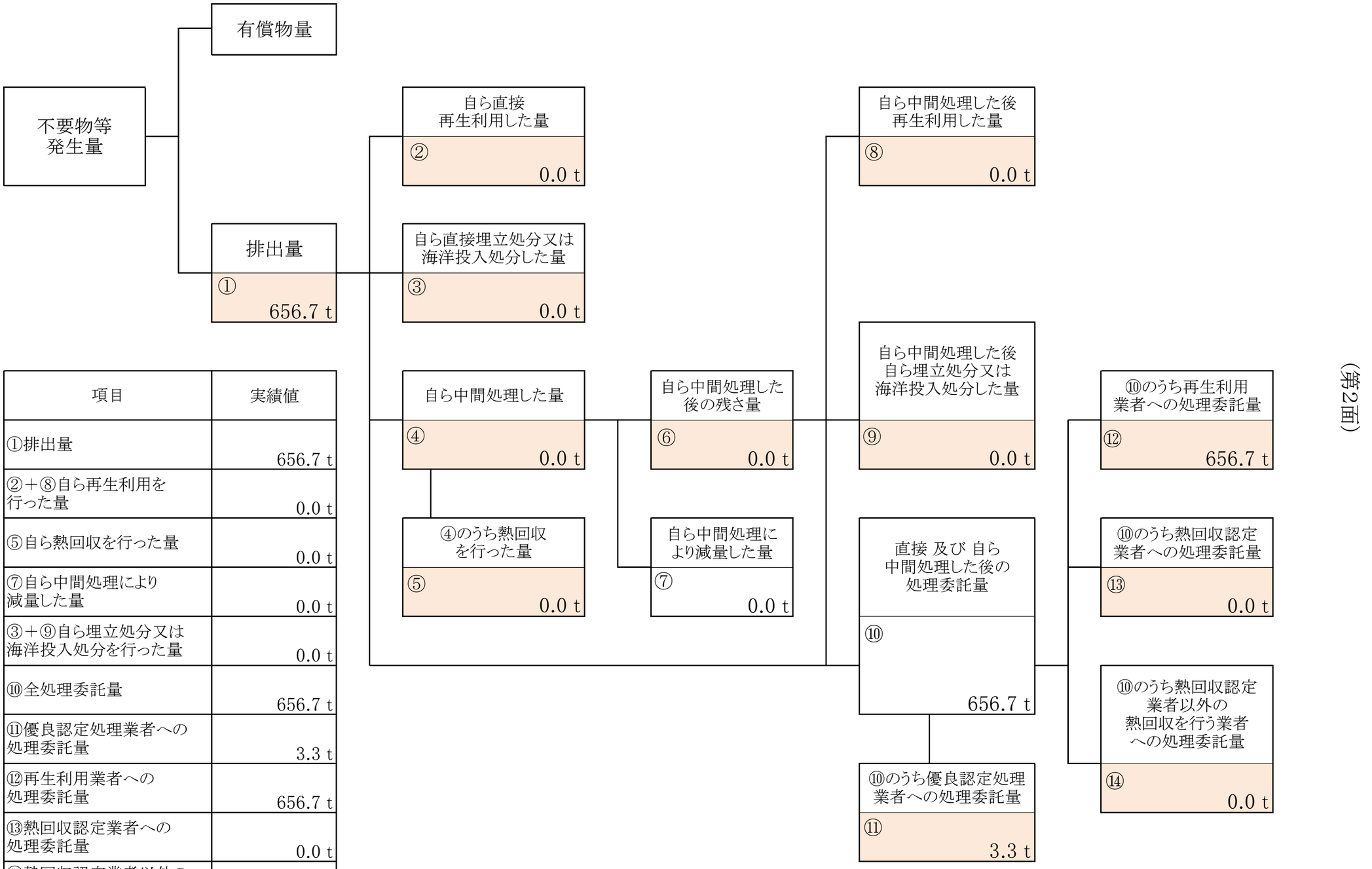
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1030.0 t	全処理委託量	1030.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	160.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1030.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

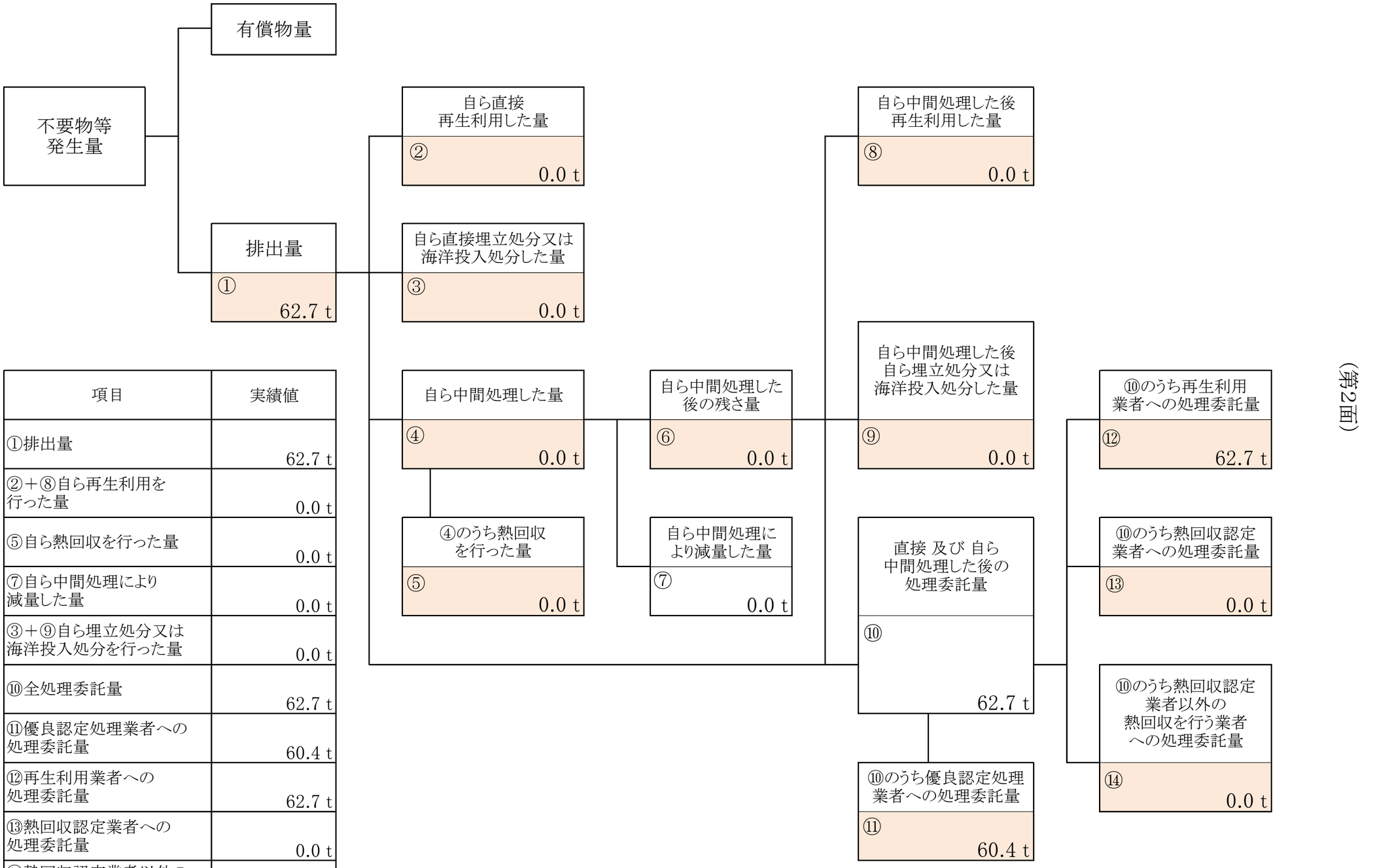


項目	実績値
①排出量	656.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	656.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	656.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

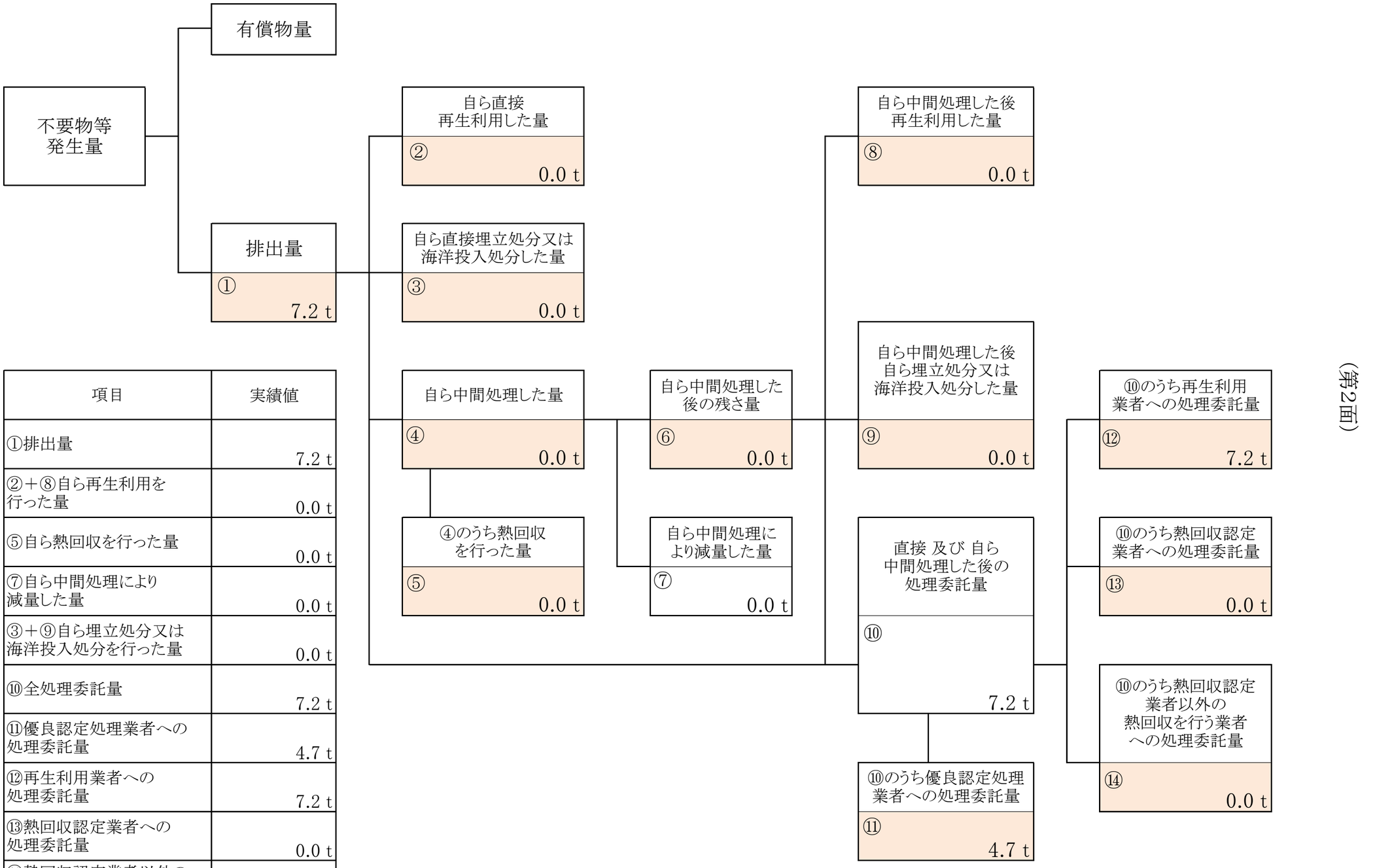


項目	実績値
①排出量	62.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	62.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	60.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	62.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

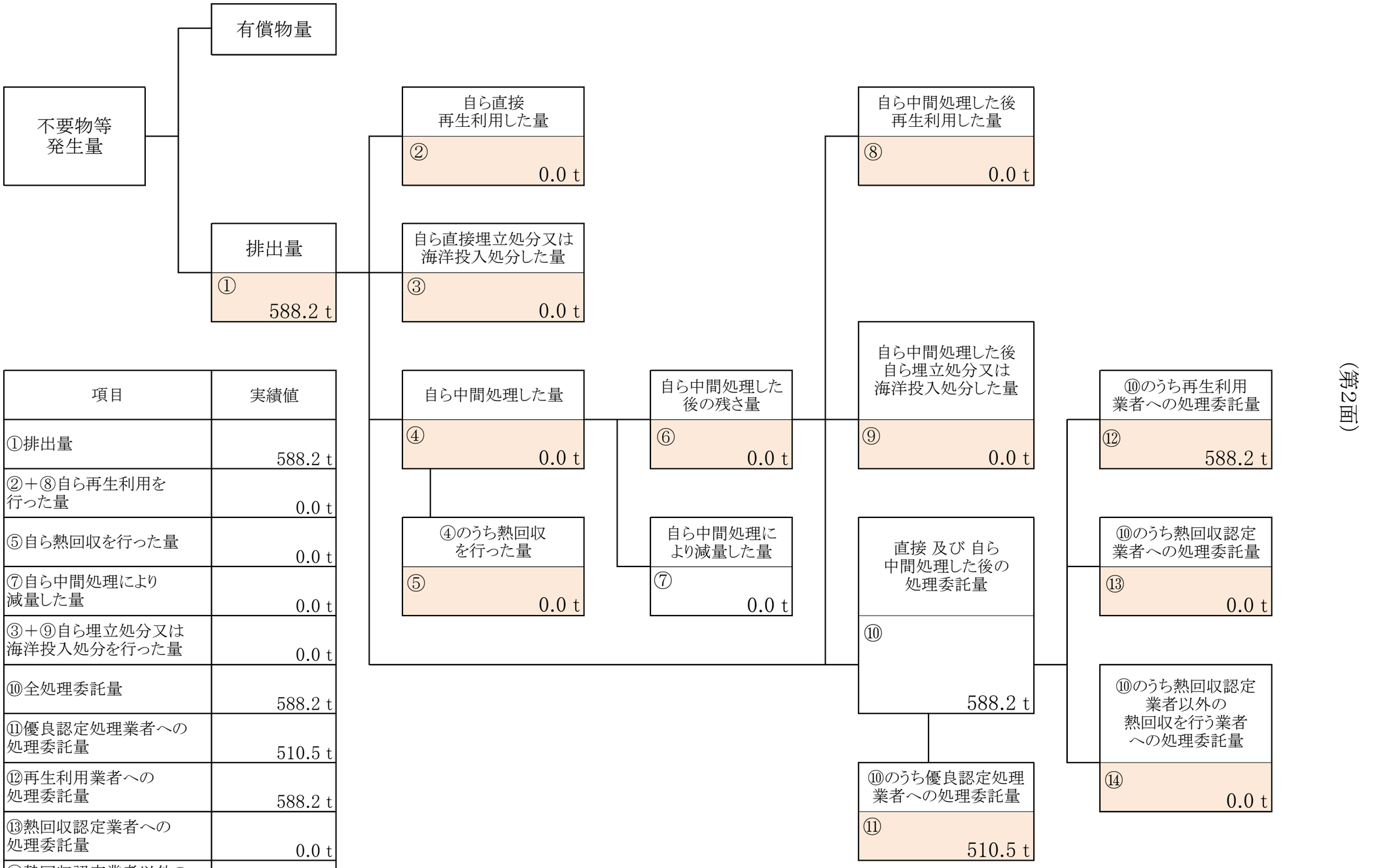


項目	実績値
①排出量	7.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

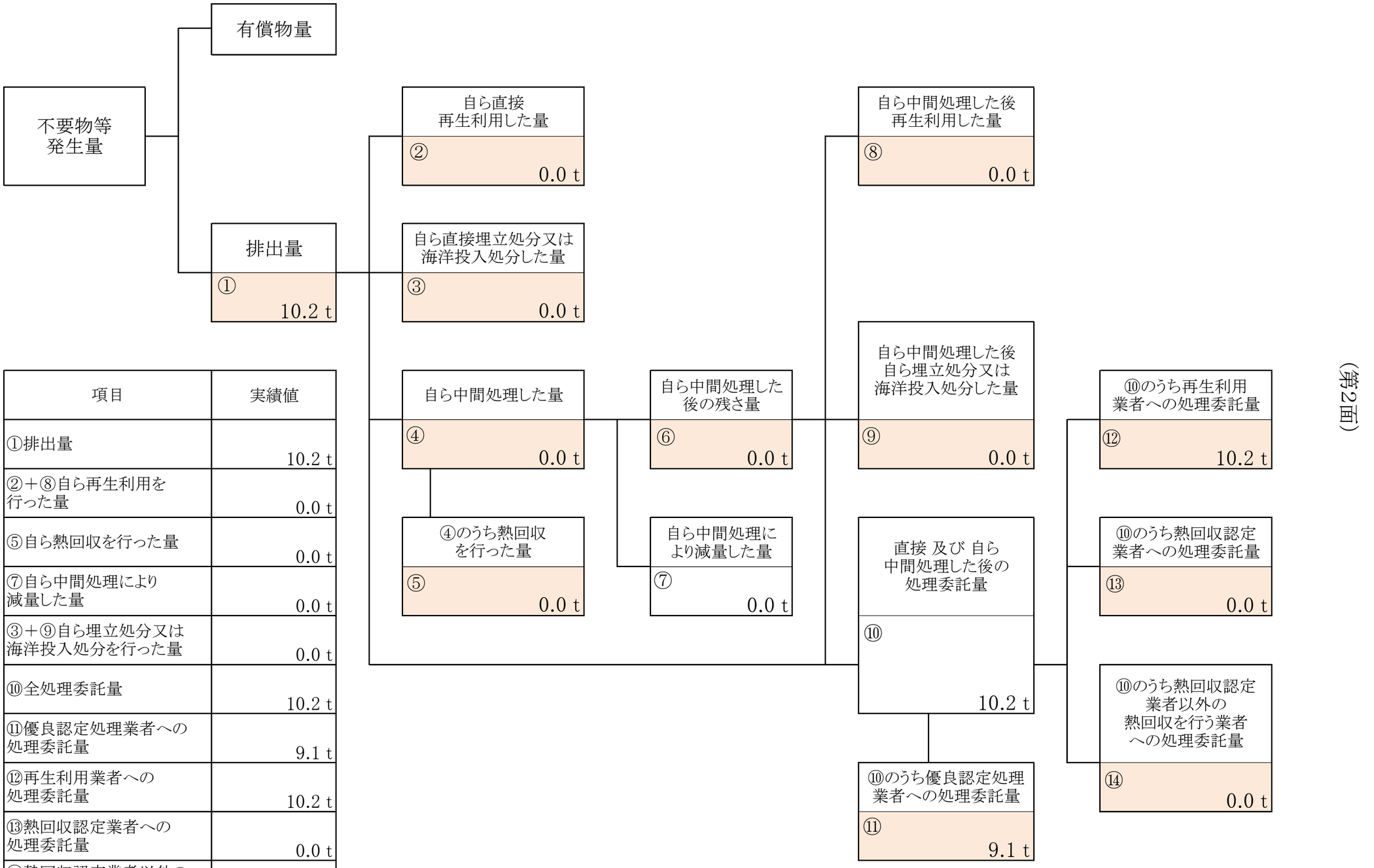


項目	実績値
①排出量	588.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	588.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	510.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	588.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

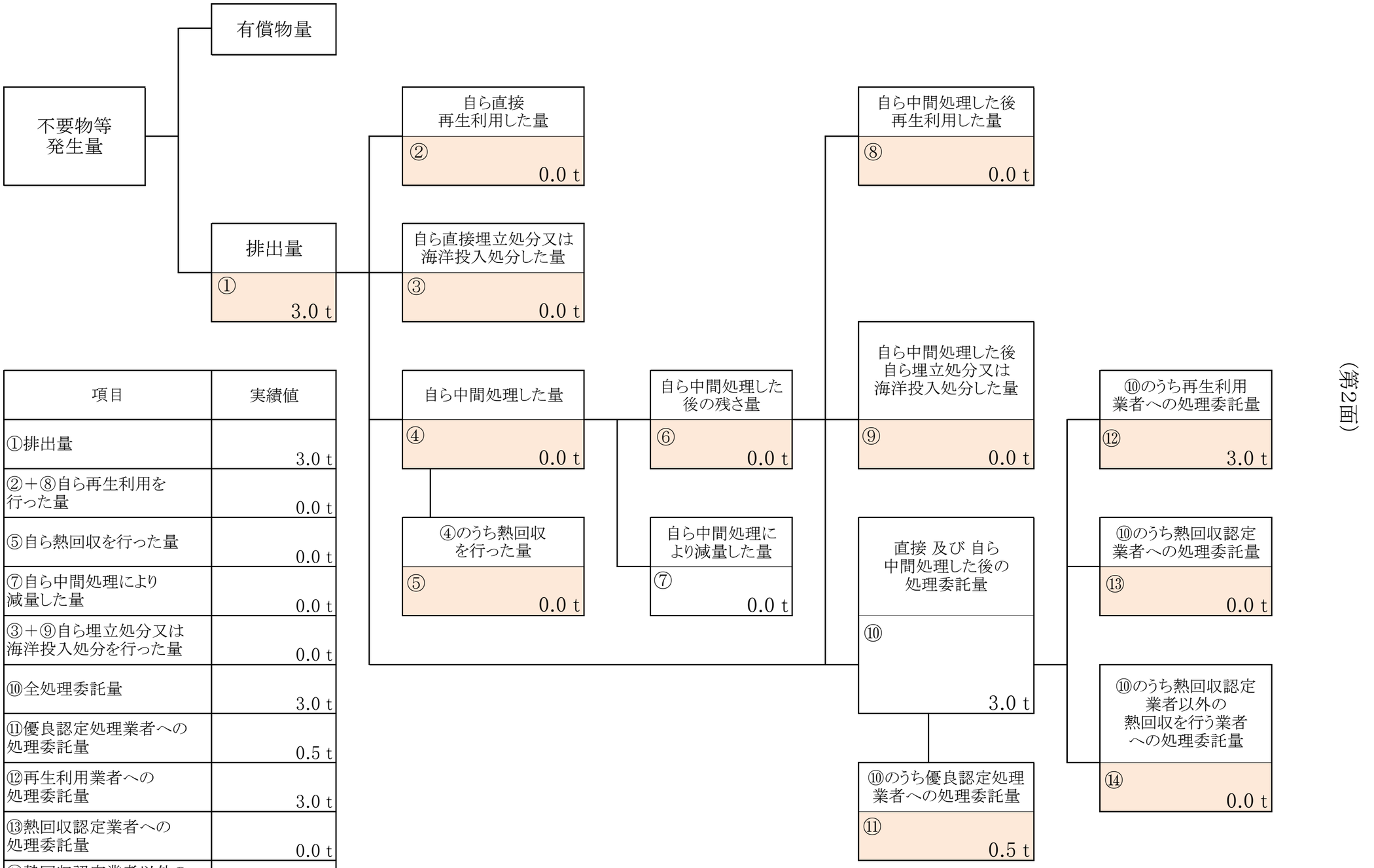


項目	実績値
①排出量	10.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

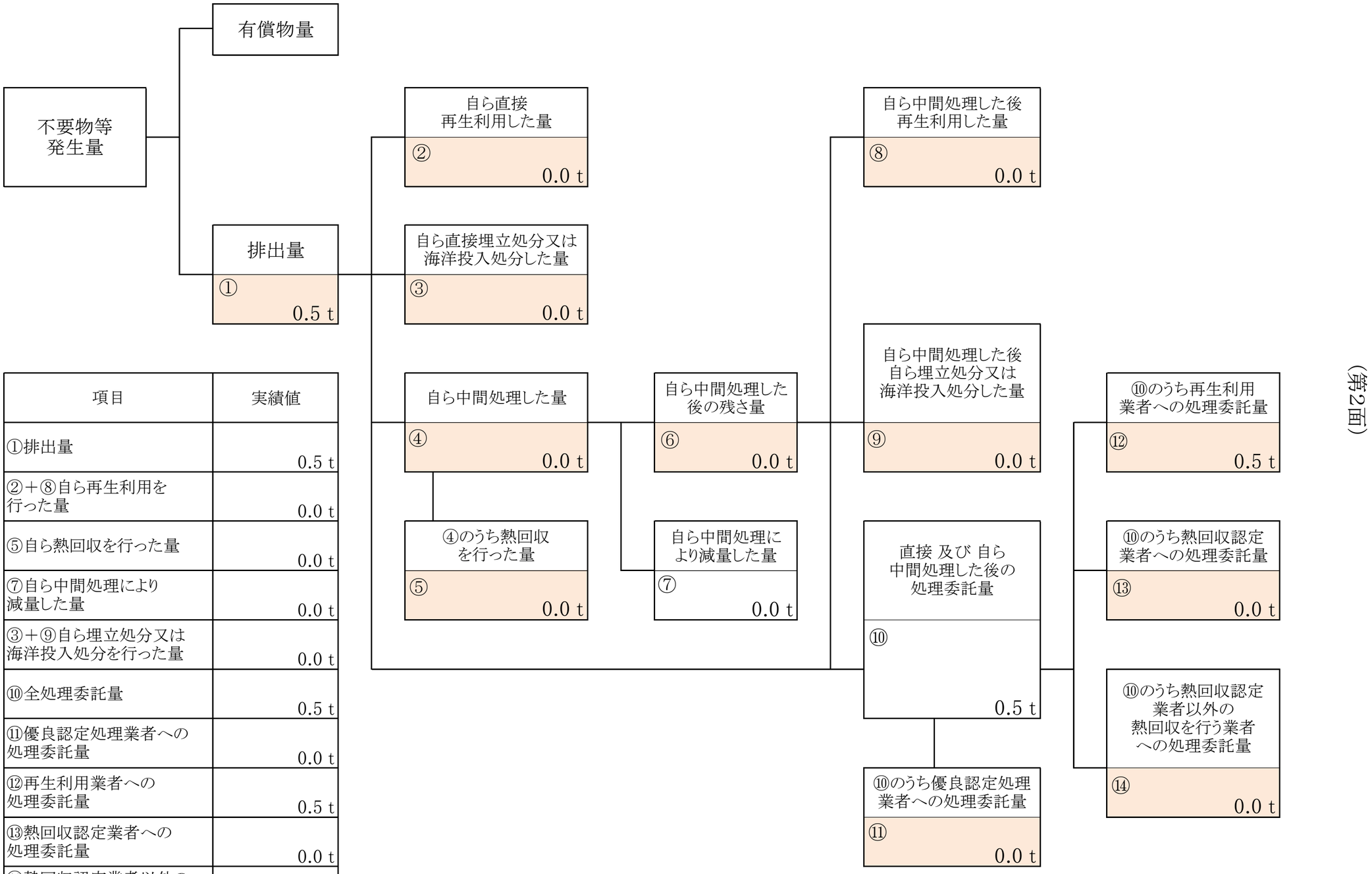


項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃アルカリ**）

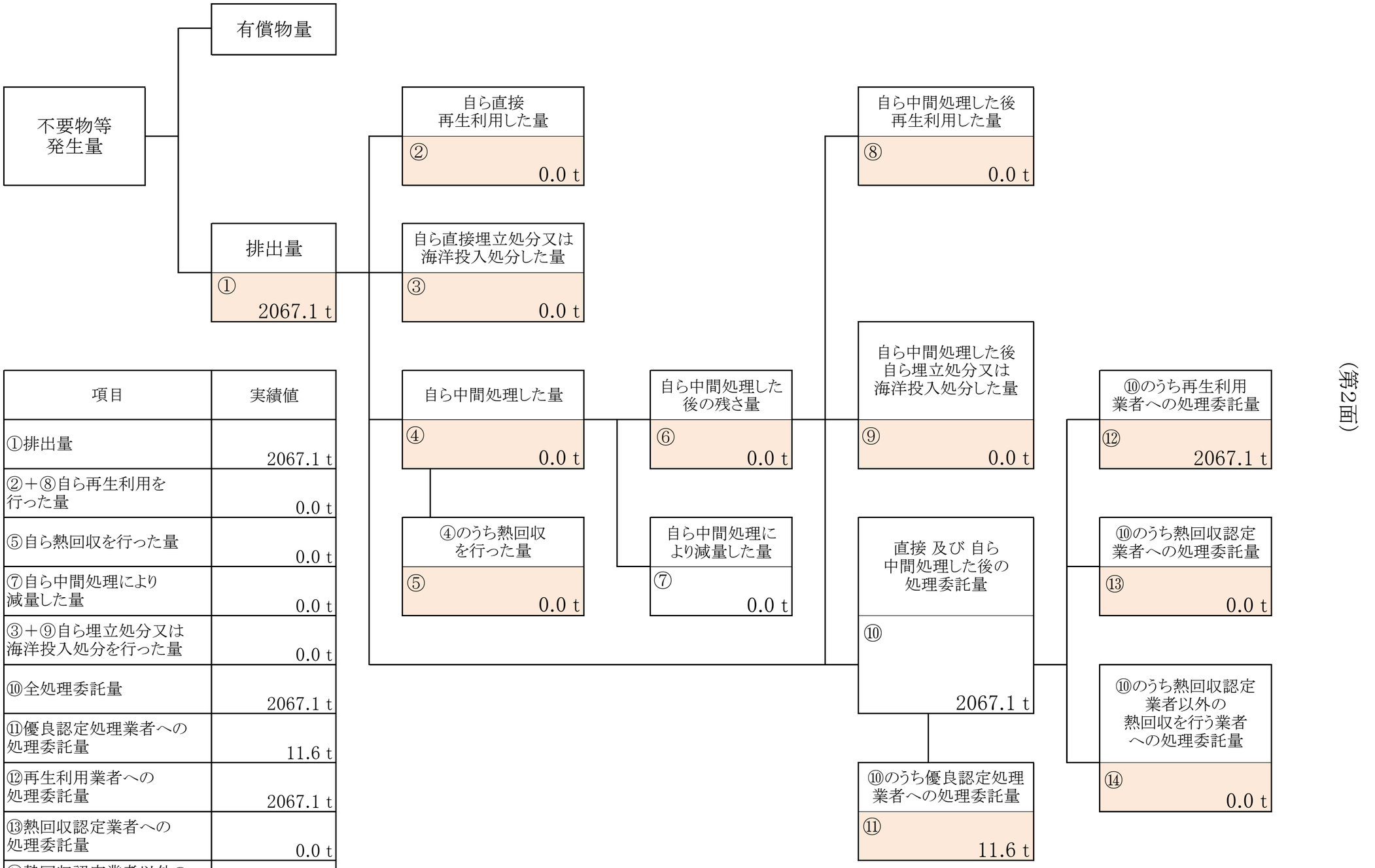


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

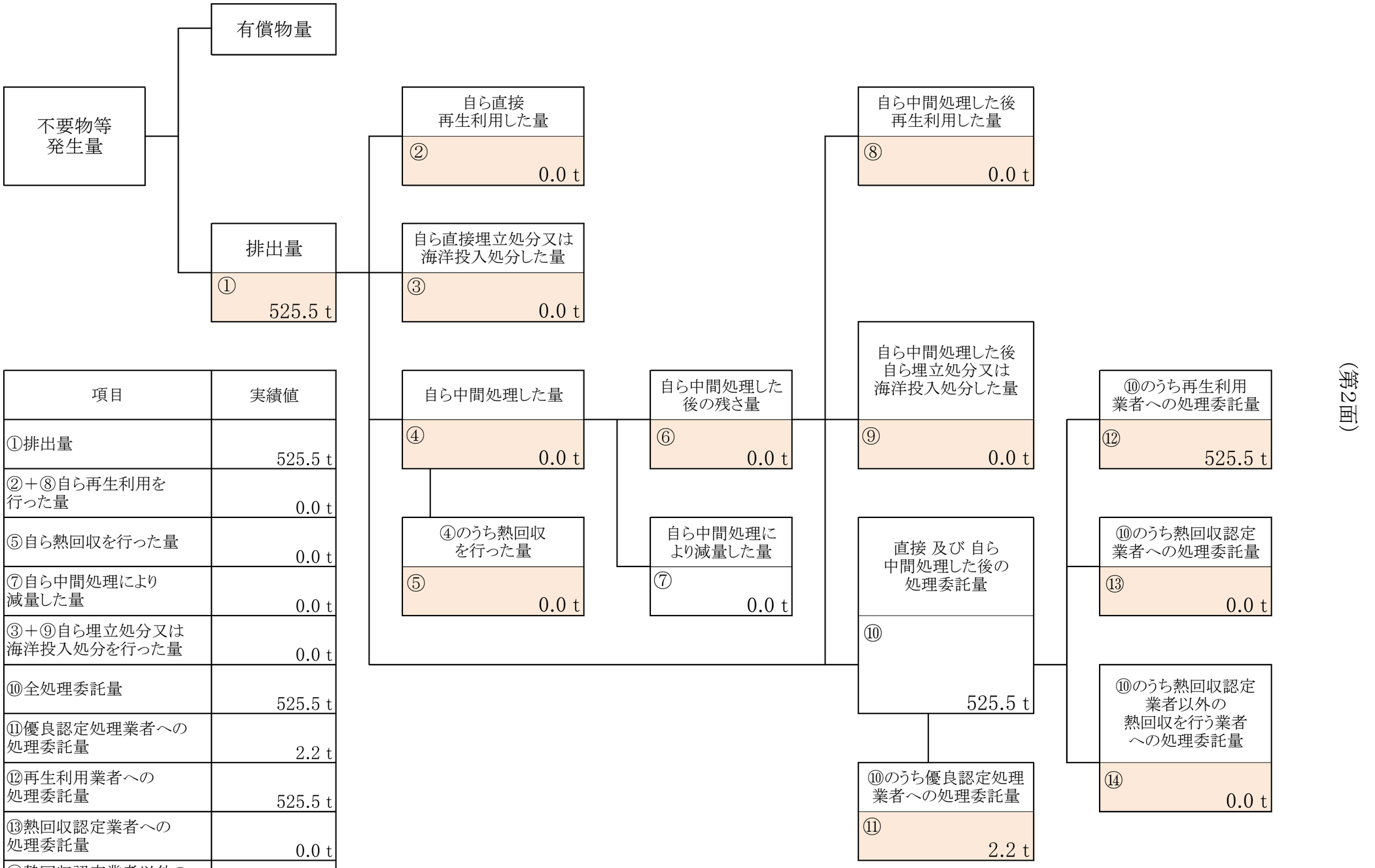


項目	実績値
①排出量	2067.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2067.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2067.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

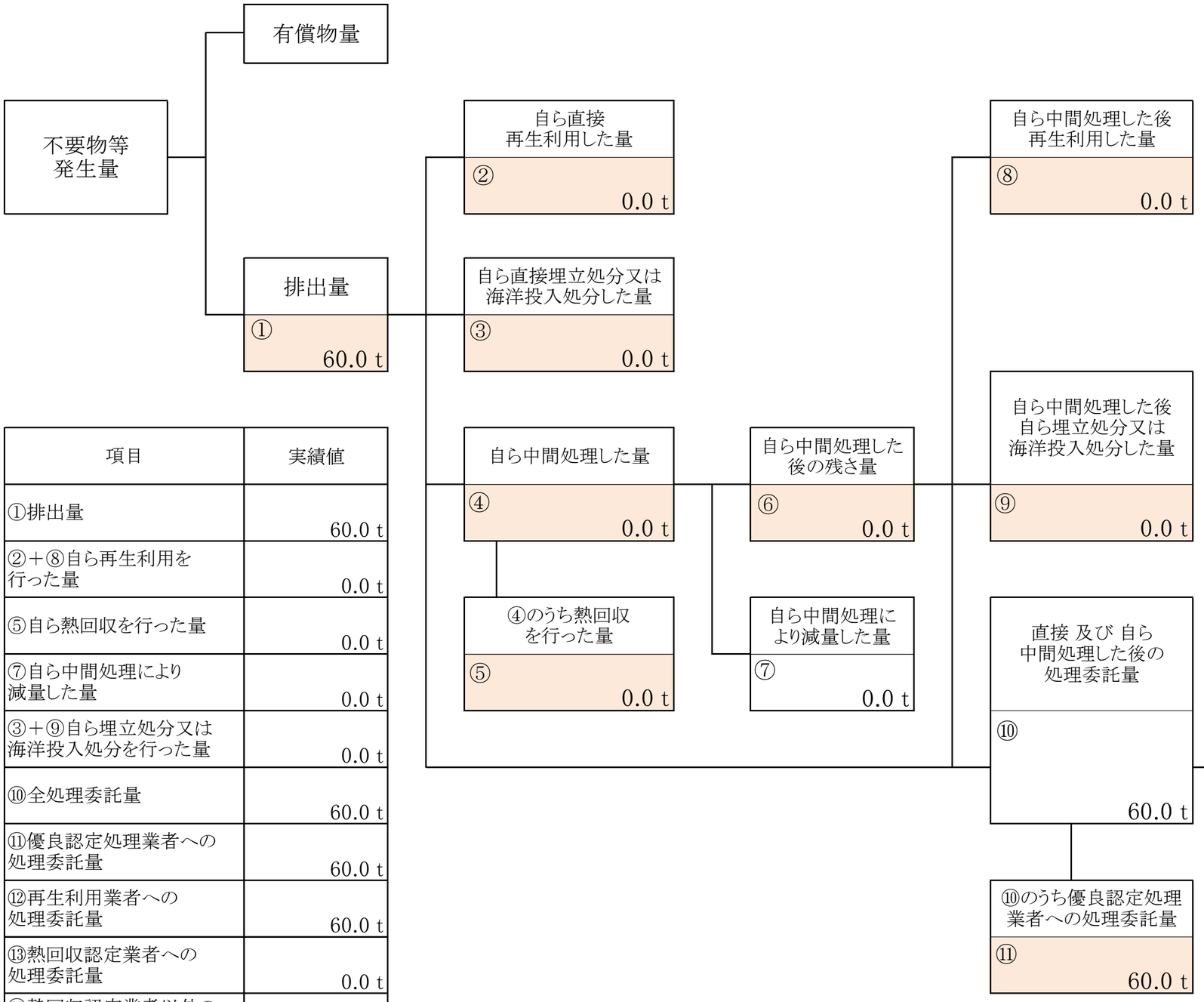


項目	実績値
①排出量	525.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	525.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	525.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**その他がれき類**）

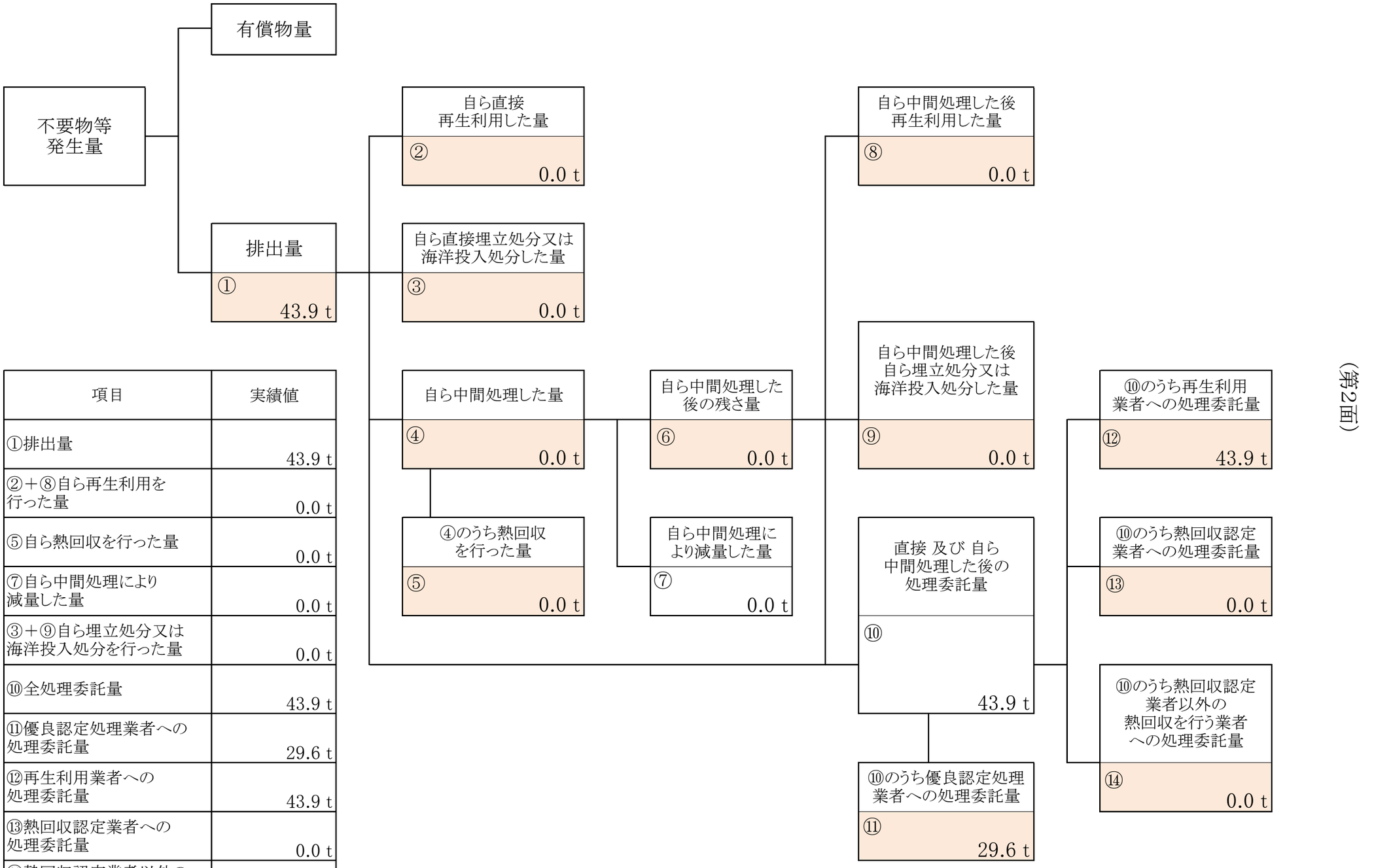


項目	実績値
①排出量	60.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	60.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	60.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	43.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	43.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　6月　27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者

住　所　　千葉県柏市南柏1丁目14番5号

氏　名　　千葉グランディハウス株式会社

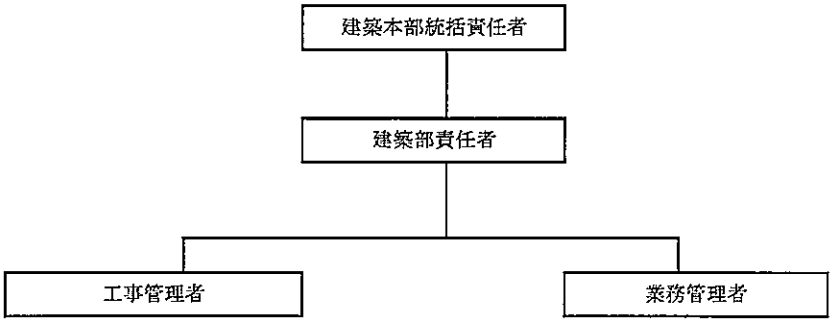
代表取締役社長　増川　篤史

電話番号　04-7142-8846

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉グランディハウス株式会社 建築部
事業場の所在地	千葉県柏市南柏1丁目14番5号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	売上高　67億7千3百万円
③従業員数	社員数　44名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①　参照

（日本工業規格　A列4番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">（管理体制図）
 
</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　出　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙②　参照</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　出　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙②　参照</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙③　参照</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙③　参照</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

無し</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

無し</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙④　参照		

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）

別紙④ 参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

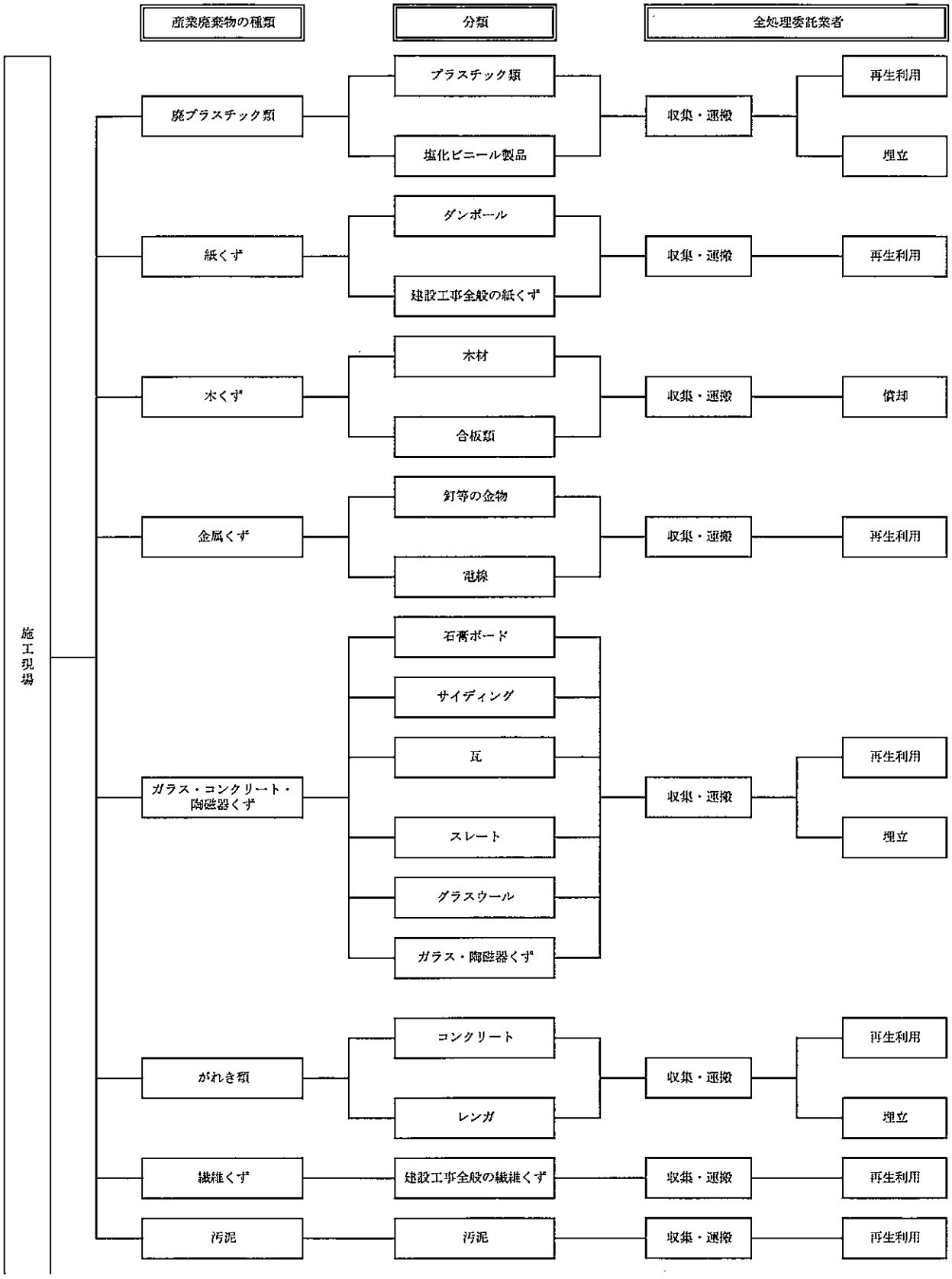
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙①

産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙②

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	合計
排出量	33.11 t	33.33 t	48.23 t	9.94 t	931.30 t	47.21 t	2.88 t	0.00 t	20.33 t	1,126.33 t

（これまでに実施した取組）

□ 木材・造作材プレカットの実施

□ 積算精度向上による余剰材の減少

□ 余剰材の転用が容易になるよう、汎用性の高い資材を選定

計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	合計
排出量	32.12 t	32.33 t	46.78 t	9.64 t	903.36 t	45.79 t	2.79 t	0.00 t	19.72 t	1,092.54 t
前年比削減量	0.99 t	1.00 t	1.45 t	0.30 t	27.94 t	1.42 t	0.09 t	0.00 t	0.61 t	33.79 t

（今後実施する予定の取組）

□ 資材搬入時の梱包材・架台等の再利用化の推進

□ 発注数量の精度を向上させ、余剰材の発生を削減

□ 現場作業員に現場分別の教育・指導を実施

別紙④

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
全処理委託量	33.11 t	33.33 t	48.23 t	9.94 t	931.30 t	47.21 t	2.88 t	0.00 t	20.33 t
優良認定業者への処理委託量	27.09 t	30.09 t	41.63 t	9.94 t	922.20 t	47.21 t	1.50 t	0.00 t	20.33 t
再生利用業者への処理委託量	18.32 t	27.31 t	44.07 t	9.94 t	7.62 t	42.71 t	1.38 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

□ 優良認定処理業者・再生利用業者への処理委託の推進
□ 委託業者への更なる再生利用率向上及び埋立処理削減の推進
□ 電子マニフェスト利用の推進

計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
全処理委託量	32.12 t	32.33 t	46.78 t	9.64 t	903.36 t	45.79 t	2.79 t	0.00 t	19.72 t
優良認定業者への処理委託量	26.28 t	29.19 t	40.38 t	9.64 t	894.53 t	45.79 t	1.46 t	0.00 t	19.72 t
再生利用業者への処理委託量	17.77 t	26.49 t	42.75 t	9.64 t	7.39 t	41.43 t	1.34 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）

□ 上記項目の継続

別紙③

産業廃棄物の分別に関する事項

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の種類	種別	分別方法
廃プラスチック類	プラスチック類	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、種類ごとに袋詰しコンテナにて保管
	塩化ビニール製品	
紙くず	ダンボール	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、袋詰しコンテナにて保管
	建設工事全般の紙くず	
木くず	木材	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、裁断したうえで種類ごとに袋詰しコンテナにて保管
	合板類	
金属くず	釘等の金物	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、種類ごとに袋詰し入れコンテナにて保管
	電線	
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、専用コンテナにて保管
	サイディング	種類ごとにまとめたうえで、コンテナ内にて保管
	瓦	
	スレート	
	グラスウール	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、種類ごとに袋詰し入れコンテナにて保管
	ガラス・陶磁器くず	
がれき類	コンクリート	袋詰しコンテナ内にて保管
	レンガ	
繊維くず	建設工事全般の繊維くず	雨濡れ、汚れの付着を防ぐため、種類ごとに袋詰し入れコンテナにて保管
汚泥	汚泥	袋詰しコンテナ内にて保管

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

□ 再生・リサイクルにあたり、必要に応じて更なる分別の細分化

□ 保管状況の向上を図り再生可能資源として保持

□ 適正な分別が行われているか定期的な巡回によるチェック

□ 協力業者への分別に対する意識向上のための勉強会を実施

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 24日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者
住 所 千葉県千葉市中央区村田町888番地4
氏 名 千葉ニチレキ株式会社
代表取締役 安井 由喜夫

電話番号 043-309-6974

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	千葉ニチレキ株式会社
事業場の所在地	千葉市中央区村田町888－4
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

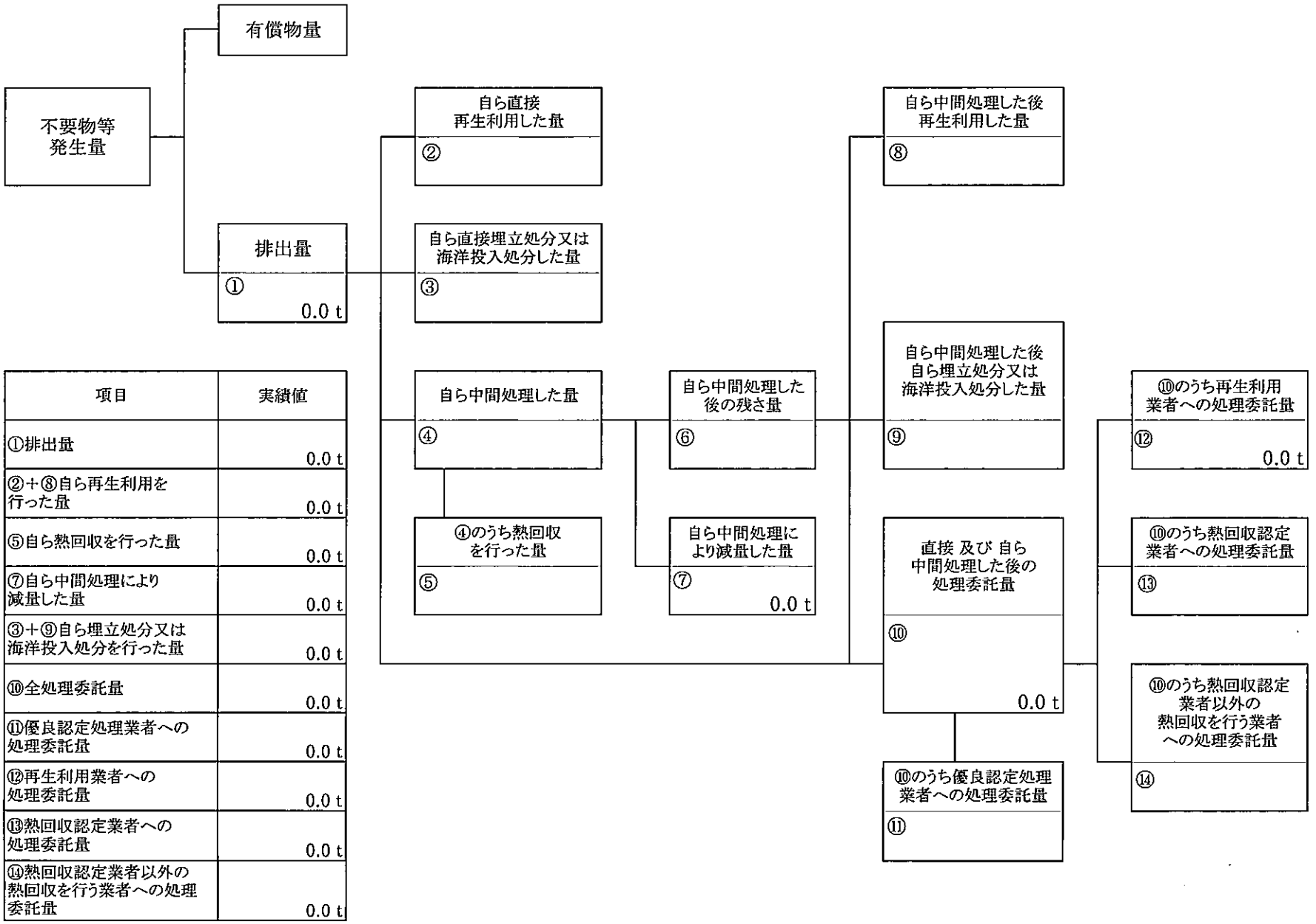
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	990.0 t	全処理委託量	990.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	990.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　アスファルト・コンクリートがら　　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月13日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　103-0027

住所 東京都中央区日本橋ニュー八重州ビル5階

法人名 中部土木株式会社 東京支店

代表者 今枝 龍司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6262-7501

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	R4国道16号市原地区(その9)電線共同溝工事
事業場の所在地	290-0056　千葉県市原市五井南海岸地内
事業の種類	大分類　D06　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

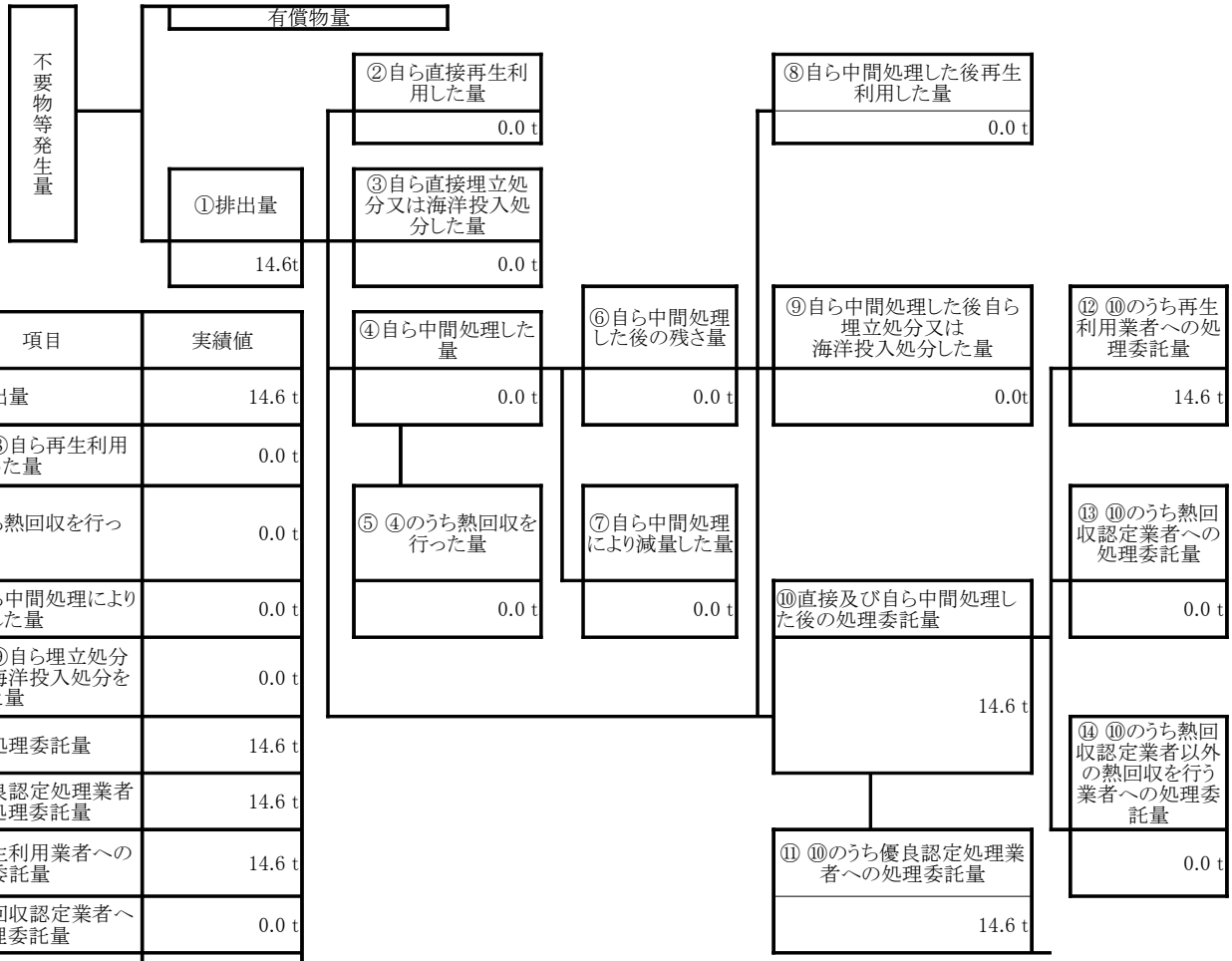
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2511 t	全処理委託量	2511 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	3 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2508 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	14.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月　16日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒220-8765
住　所　神奈川県横浜市西区みなとみらい4-6-2
みなとみらいグランドセントラルタワー
氏　名　千代田化工建設株式会社
代表取締役社長　太田 光治
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　045-225-7253（担当）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	千代田化工建設株式会社　袖ヶ浦出張所／姉崎コースト出張所ほか
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖1番地富士石油㈱袖ヶ浦製油所構内／ 千葉県市原市姉崎海岸2-1出光興産㈱千葉事業所構内
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

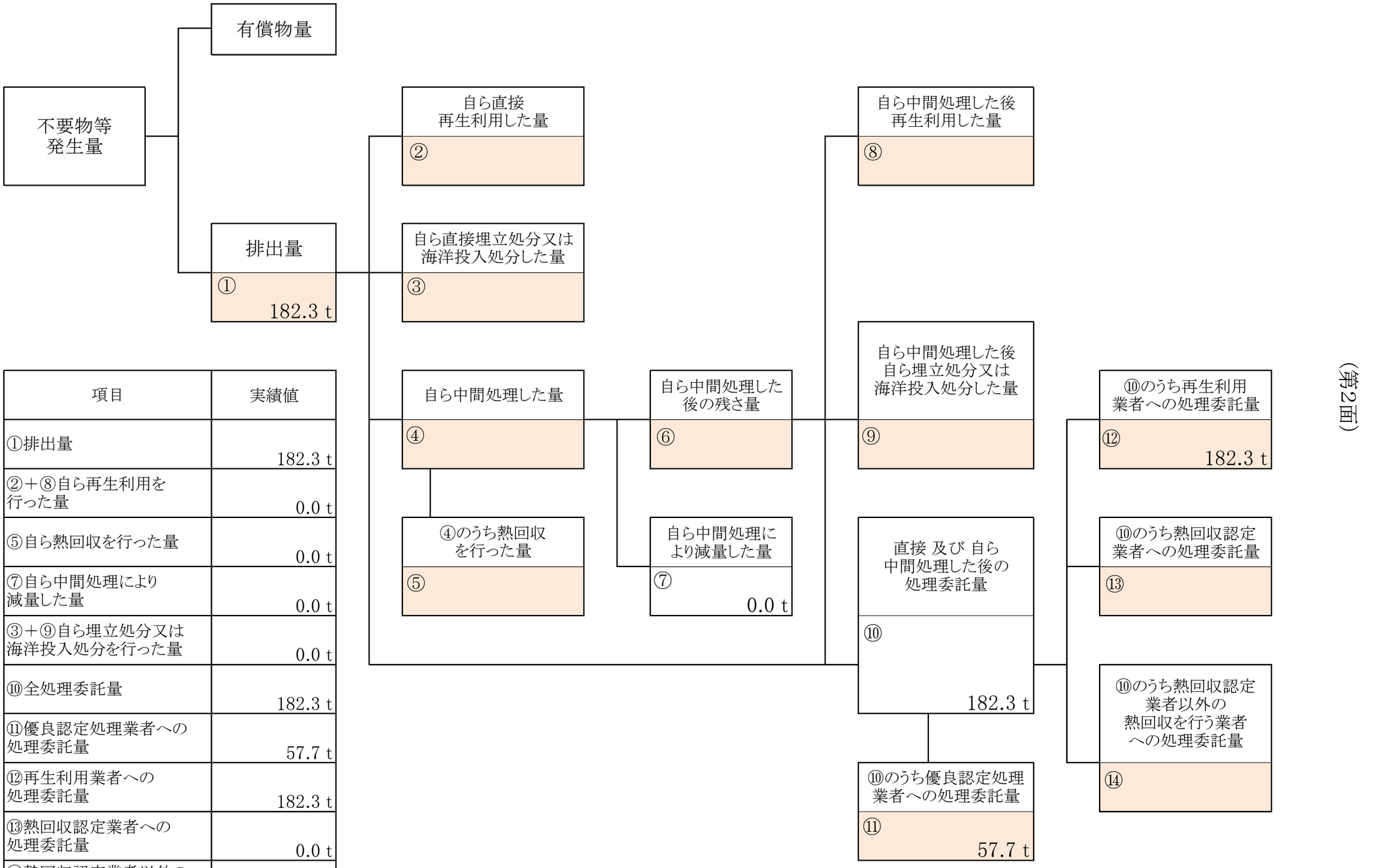
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	810.0ｔ	全処理委託量	810.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	210.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	740.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

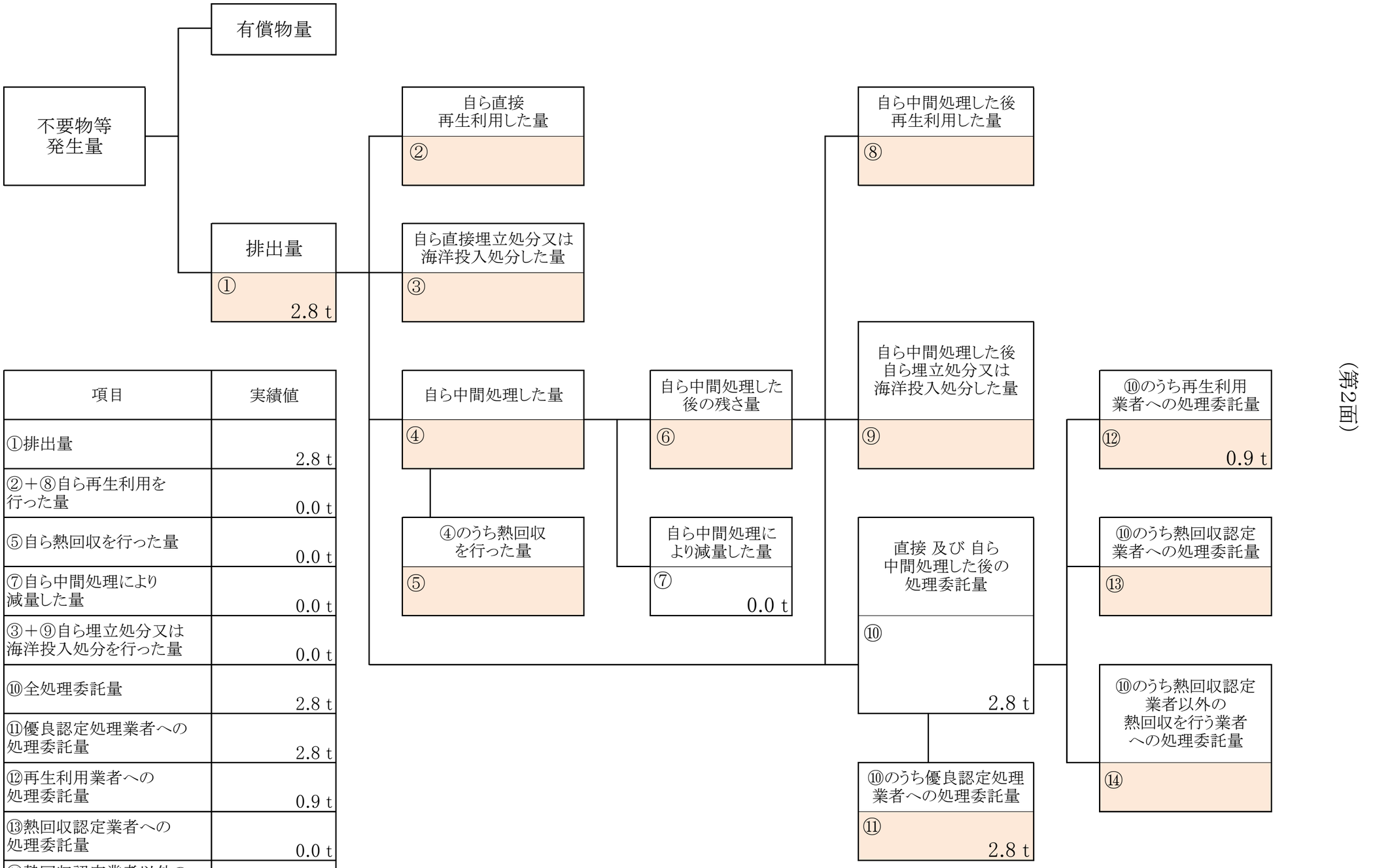


項目	実績値
①排出量	182.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	182.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	57.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	182.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

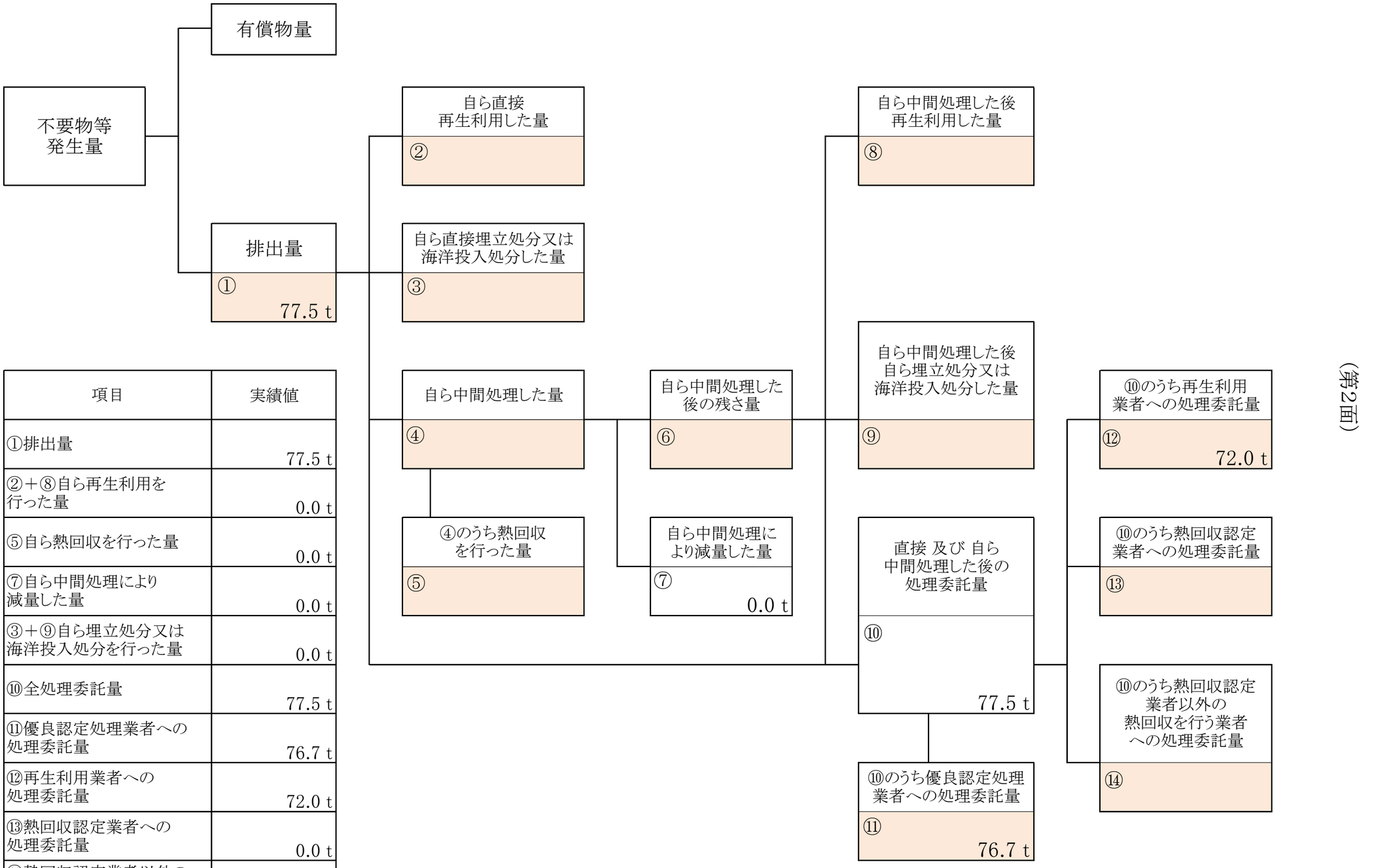


項目	実績値
①排出量	2.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

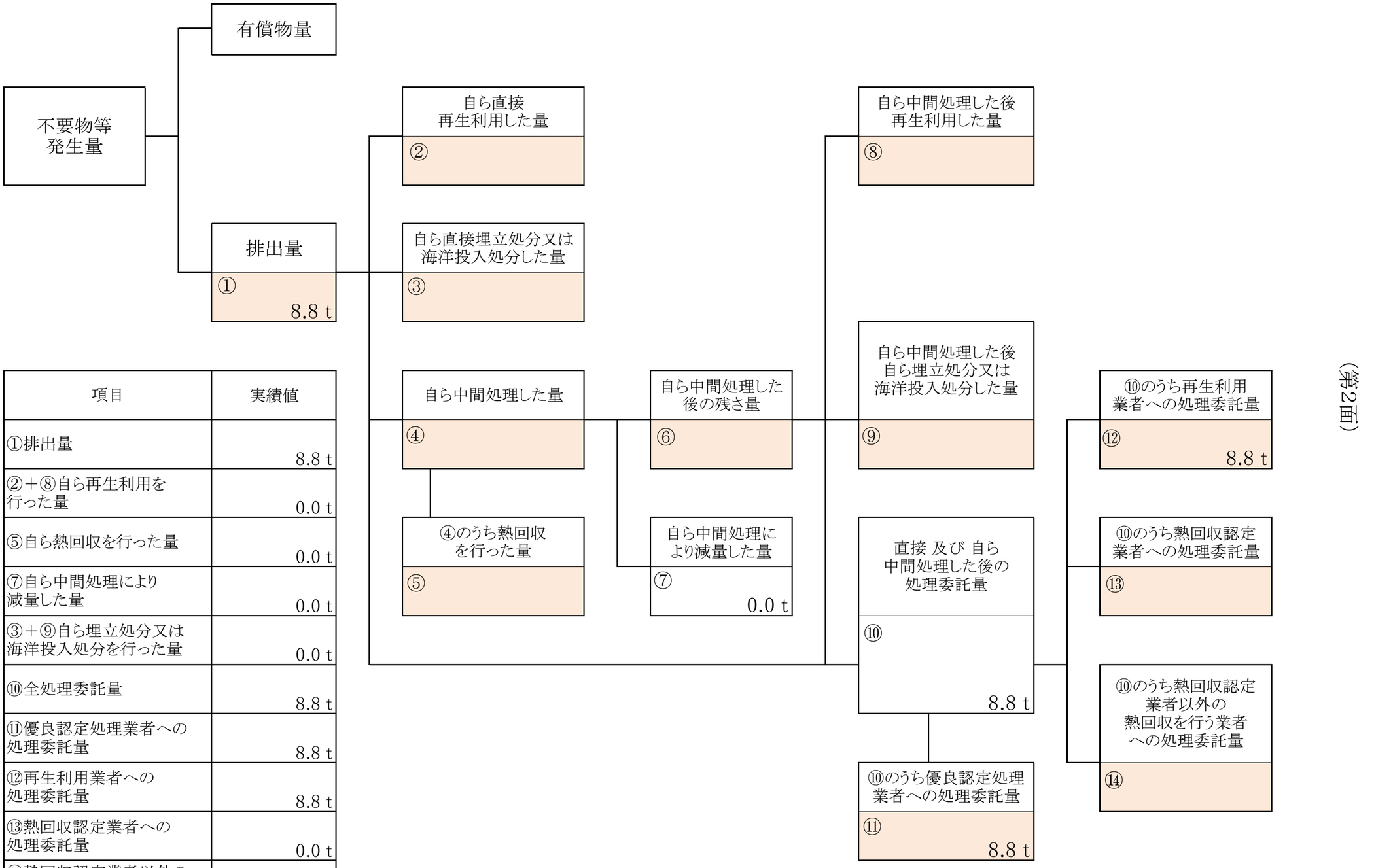


項目	実績値
①排出量	77.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	77.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	76.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	72.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）

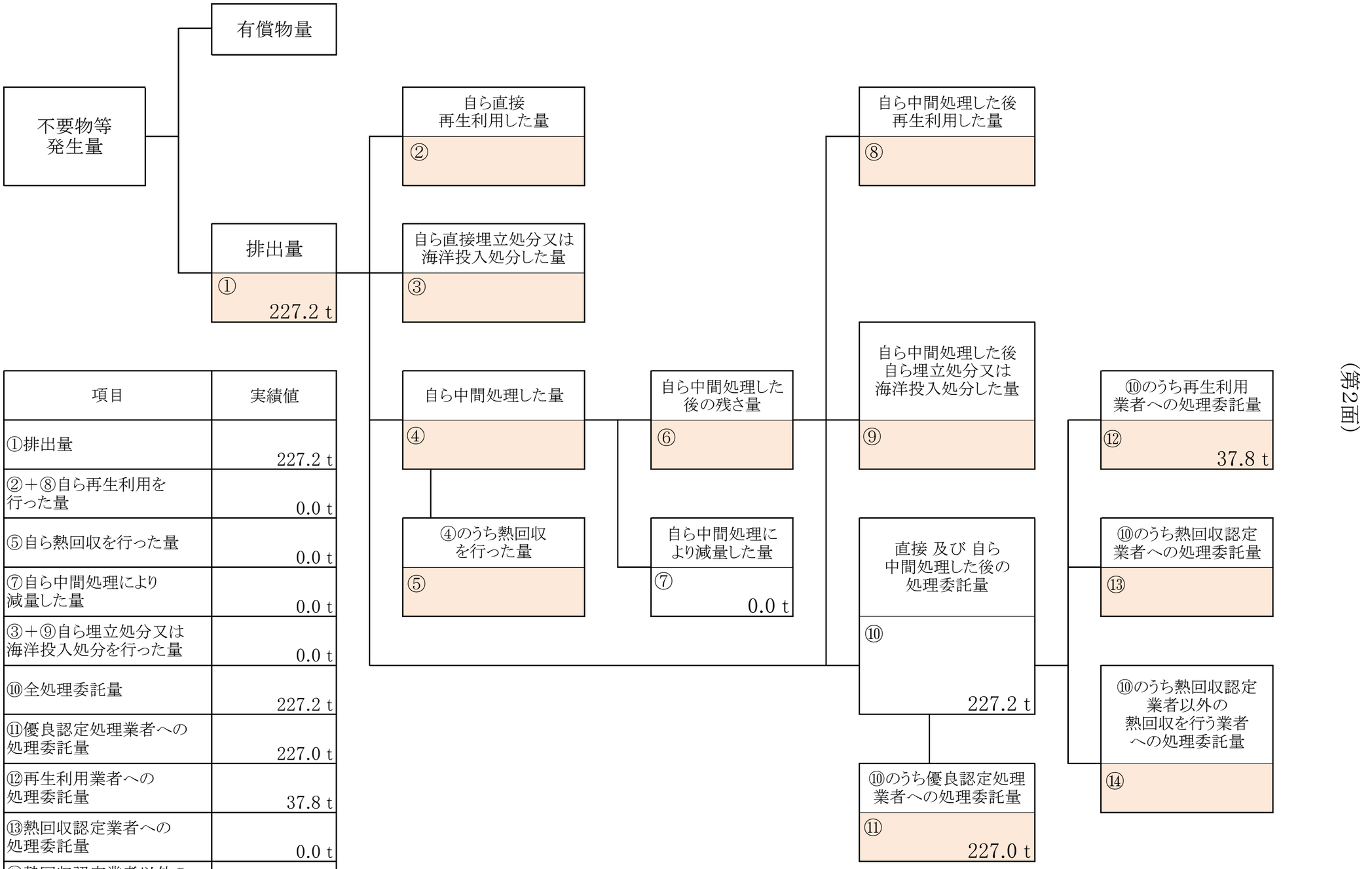


項目	実績値
①排出量	8.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

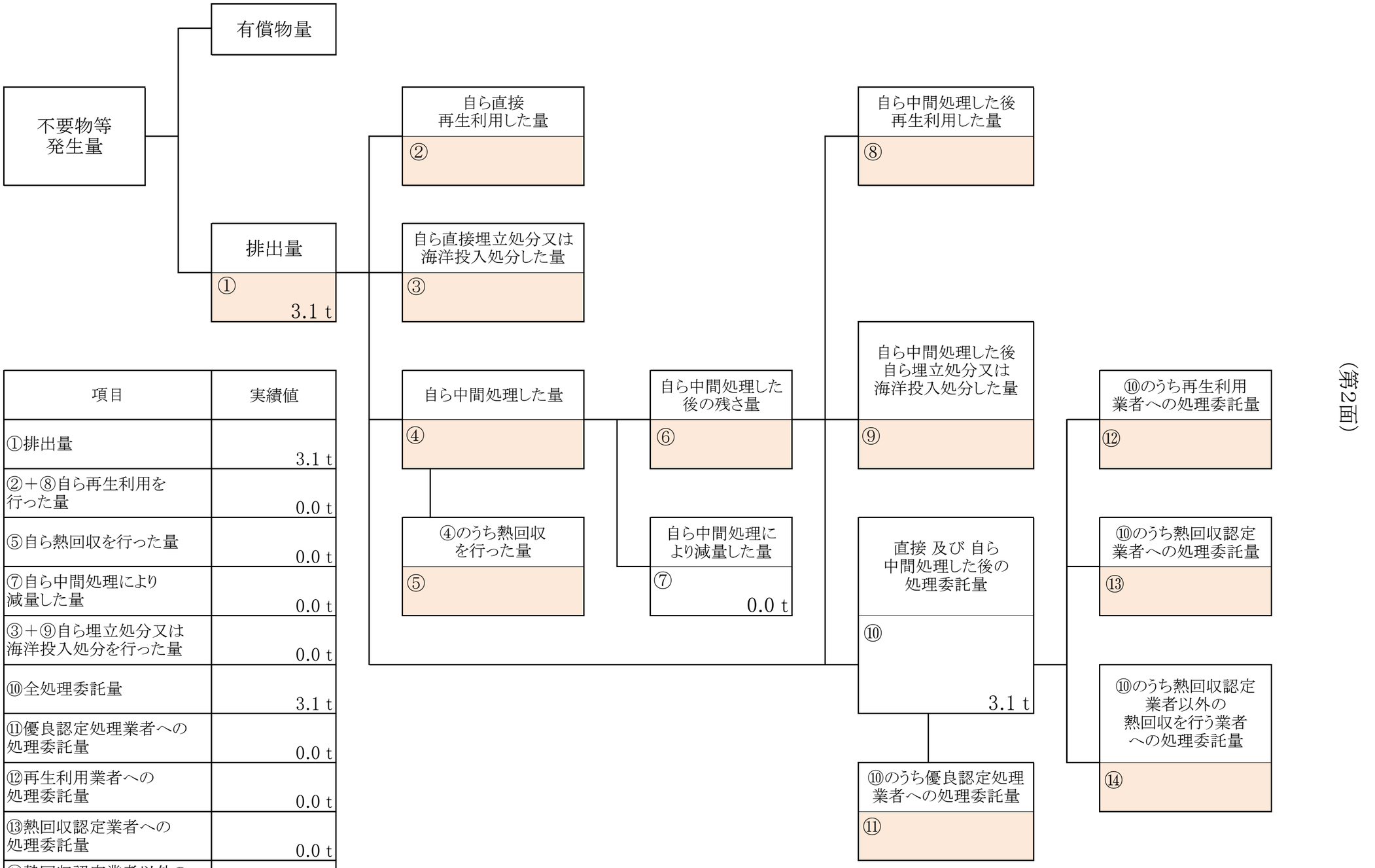


項目	実績値
①排出量	227.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	227.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	227.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	37.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）

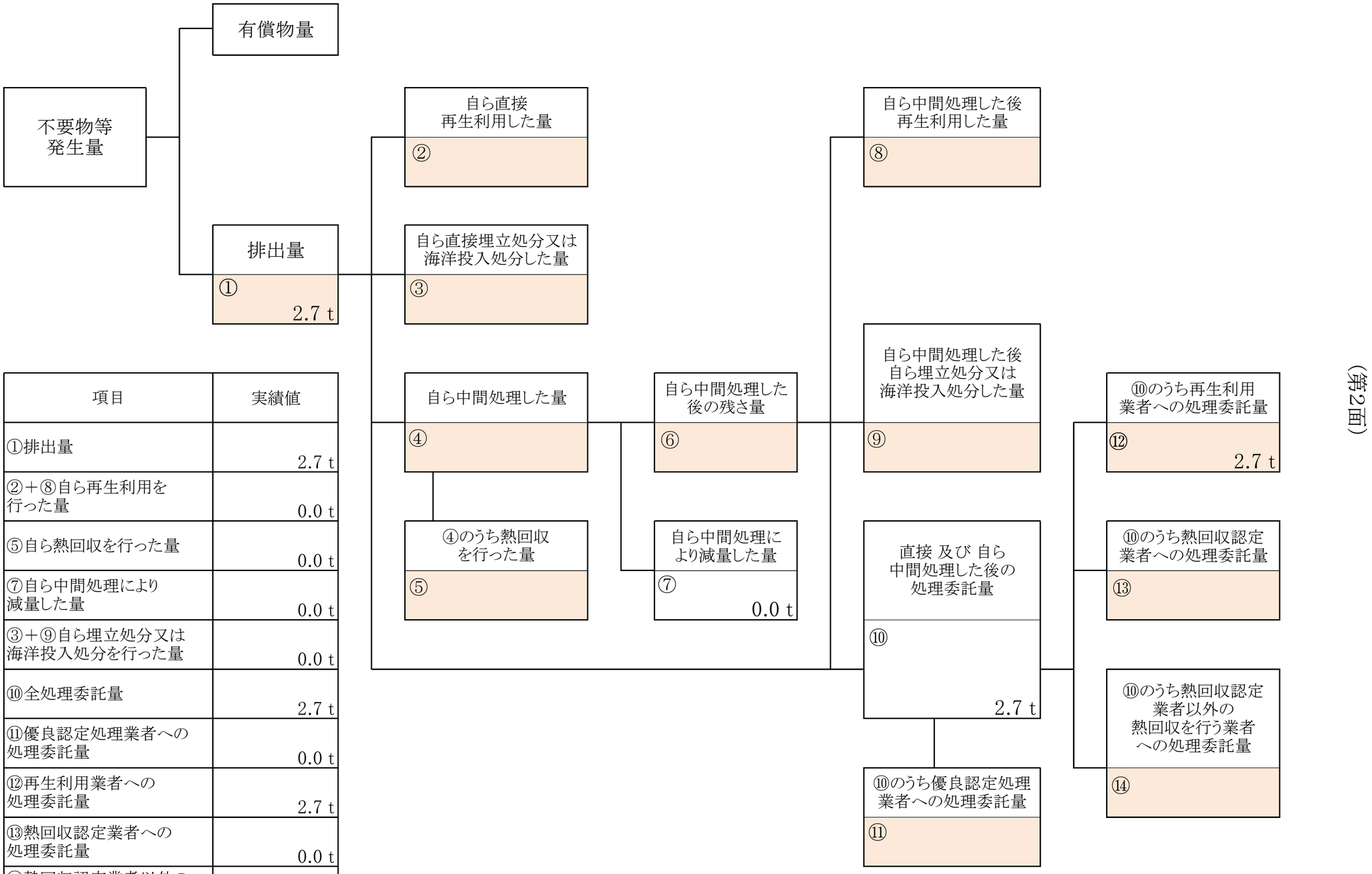


項目	実績値
①排出量	3.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃アルカリ**）

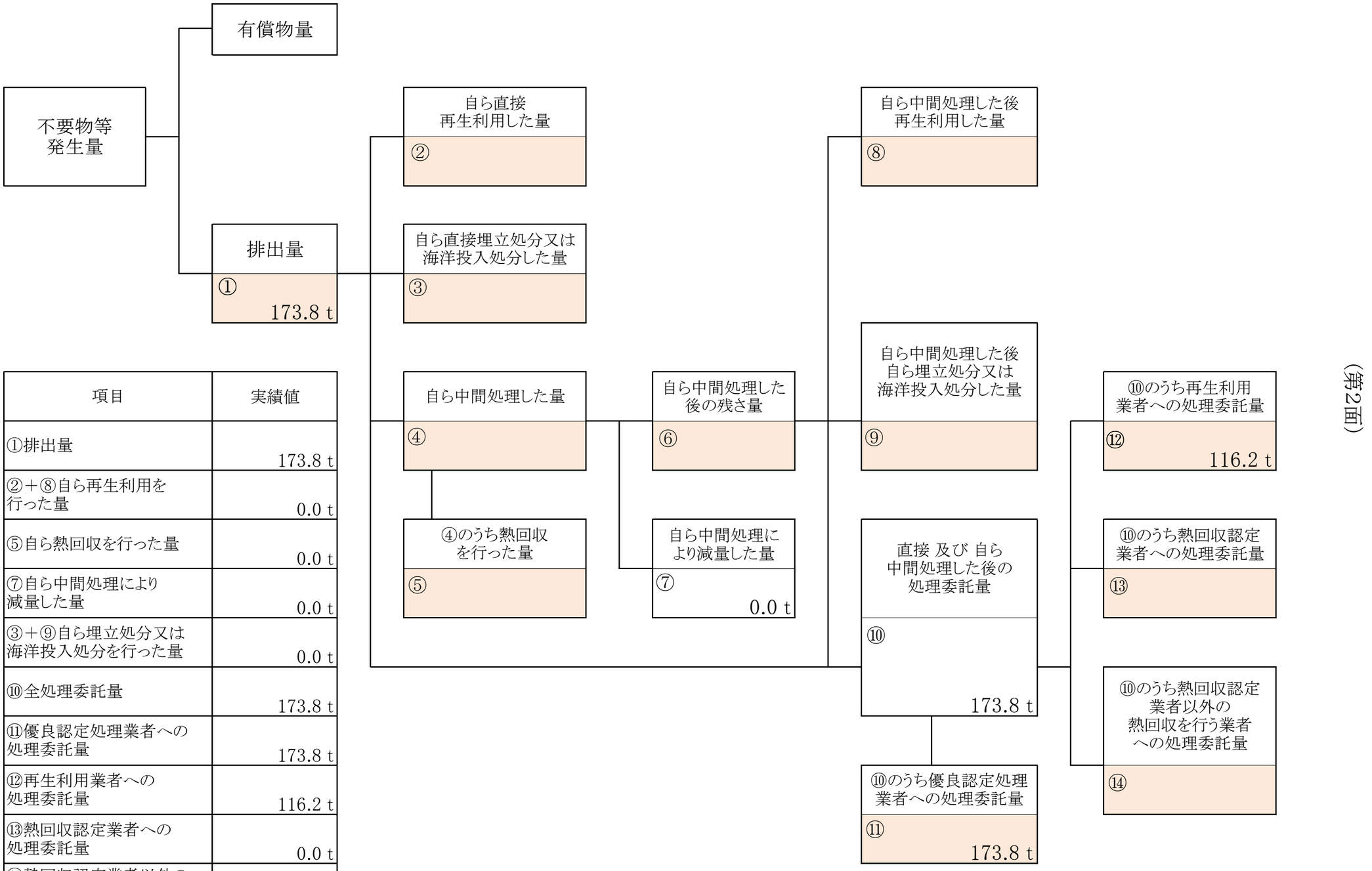


項目	実績値
①排出量	2.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	173.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	173.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	173.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	116.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月22日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　104-0061

住所 東京都中央区銀座2-9-17

法人名 坪井工業株式会社

代表者 坪井 晴雅

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3563-4202

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	坪井工業株式会社
事業場の所在地	東京都中央区銀座2-9-17
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3303.99 t	全処理委託量	3303.99 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	740.18 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3303.99 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

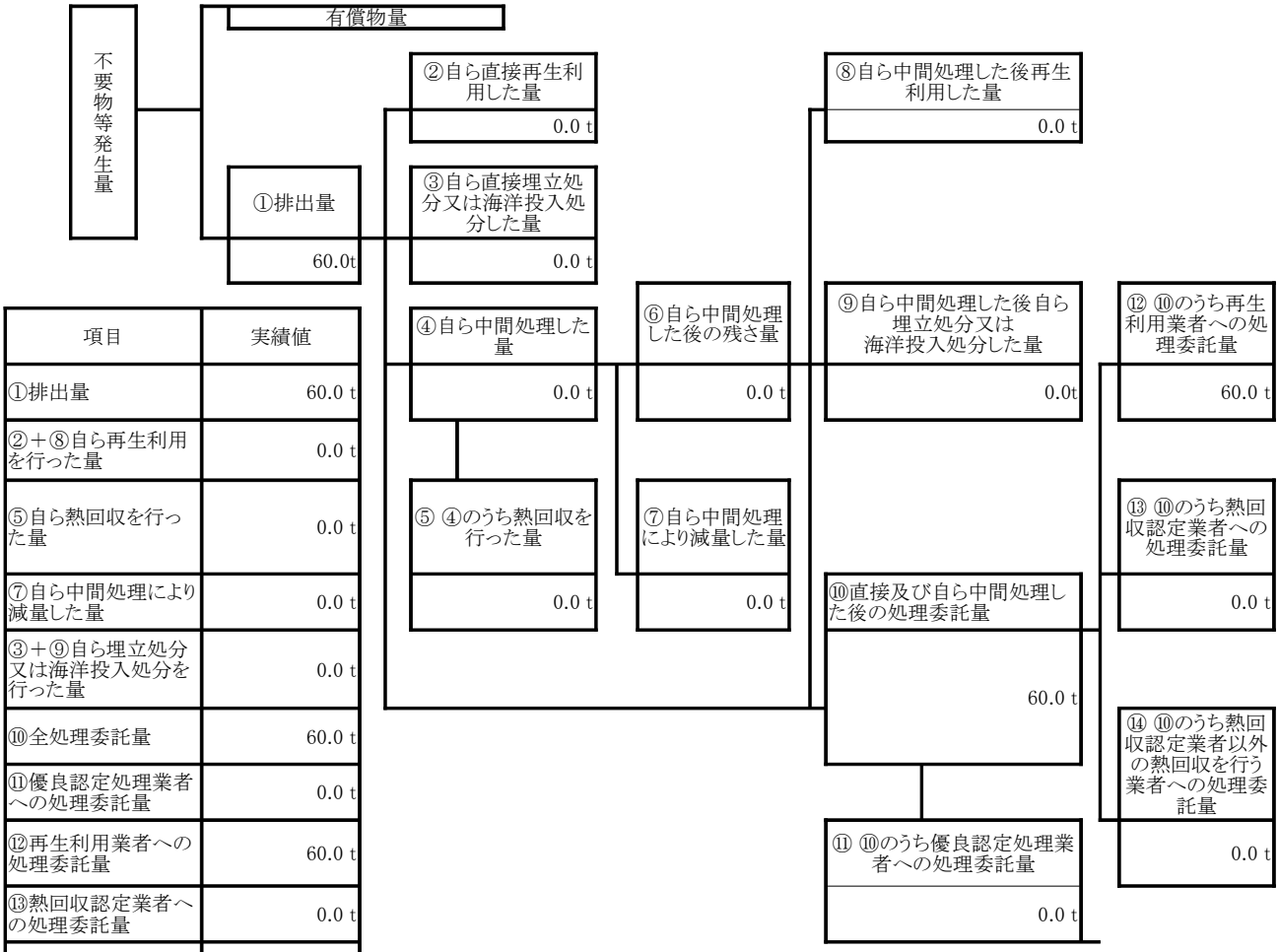
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 汚泥 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

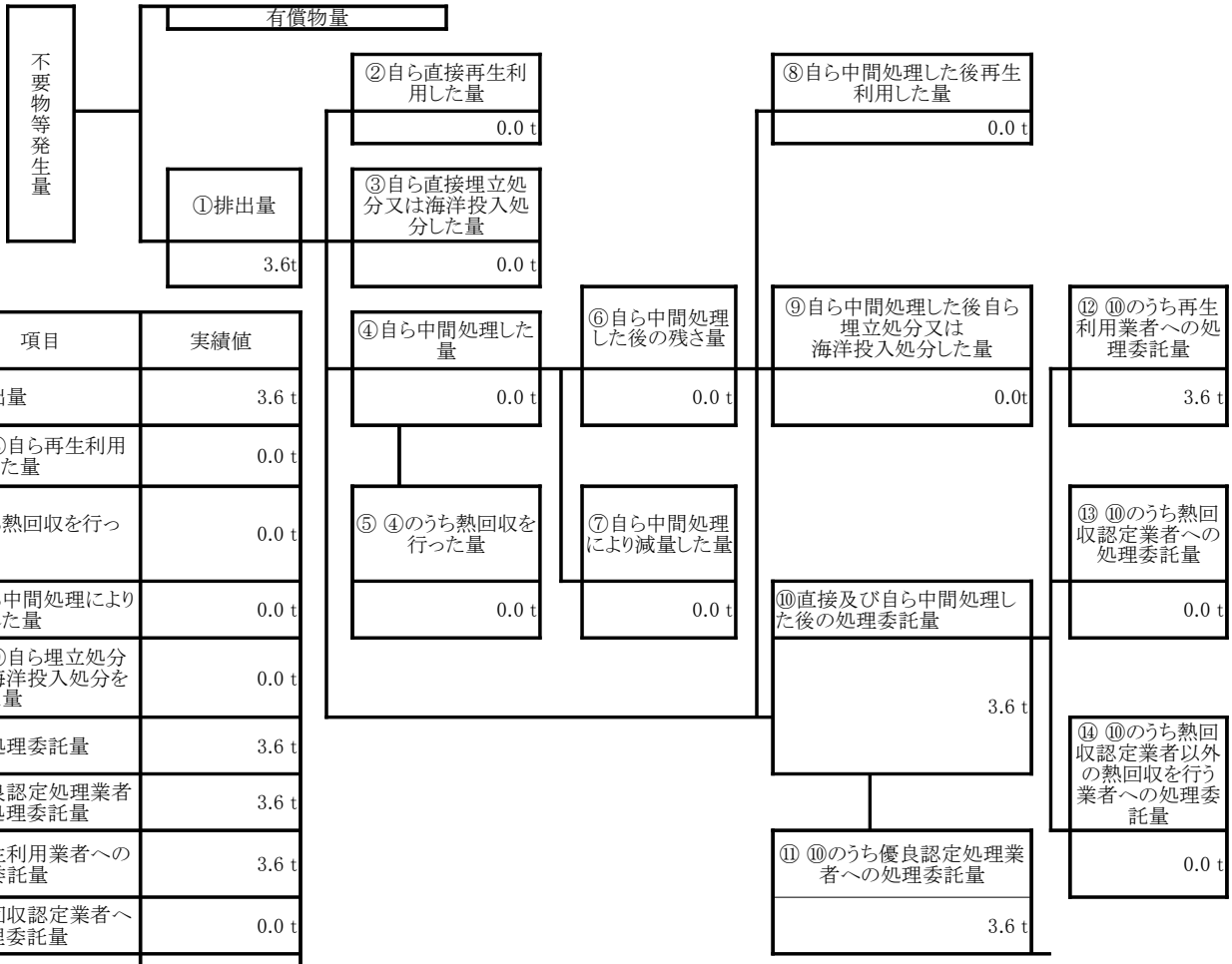


項目	実績値
①排出量	60.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	60.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

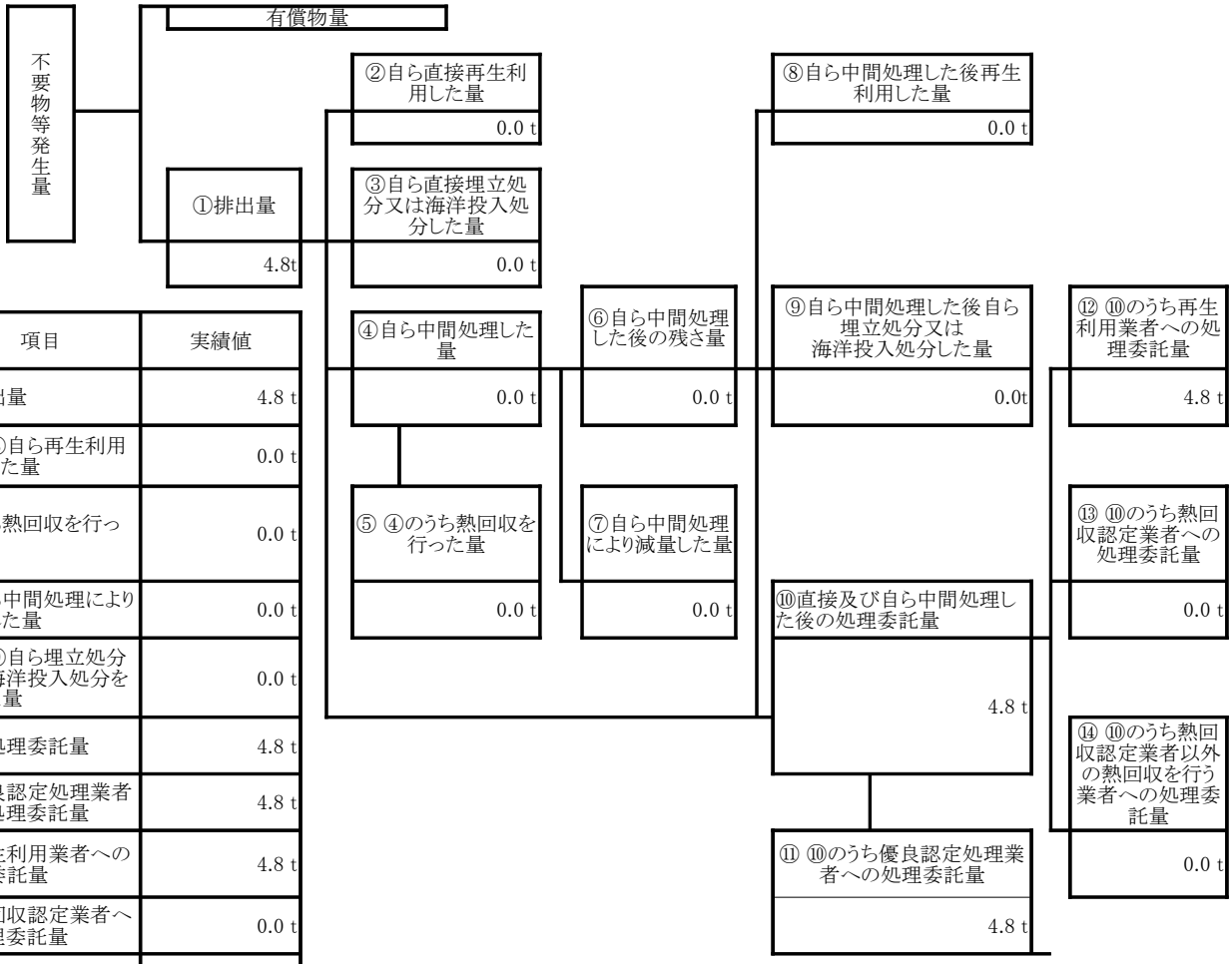


項目	実績値
①排出量	3.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

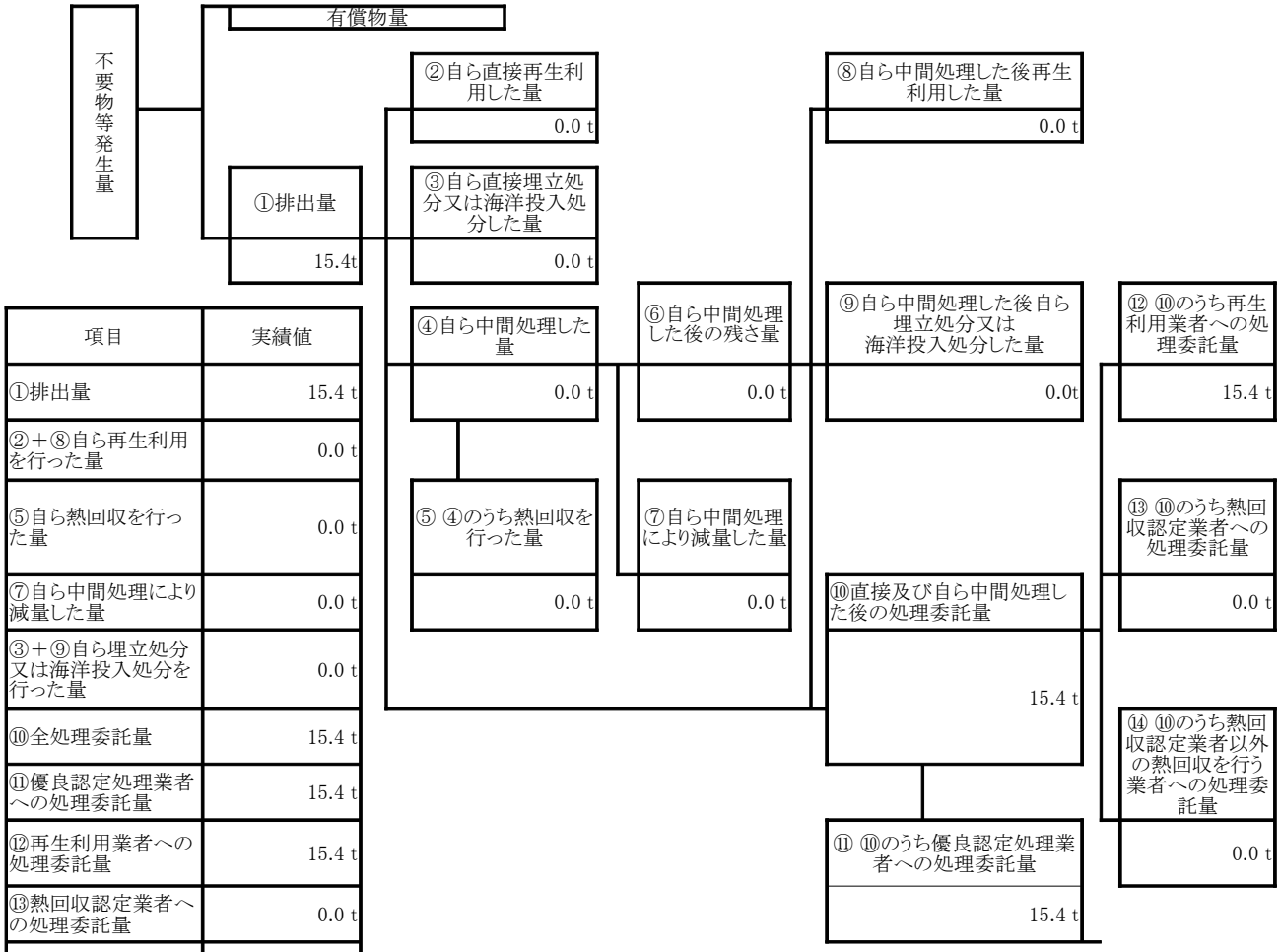


項目	実績値
①排出量	4.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



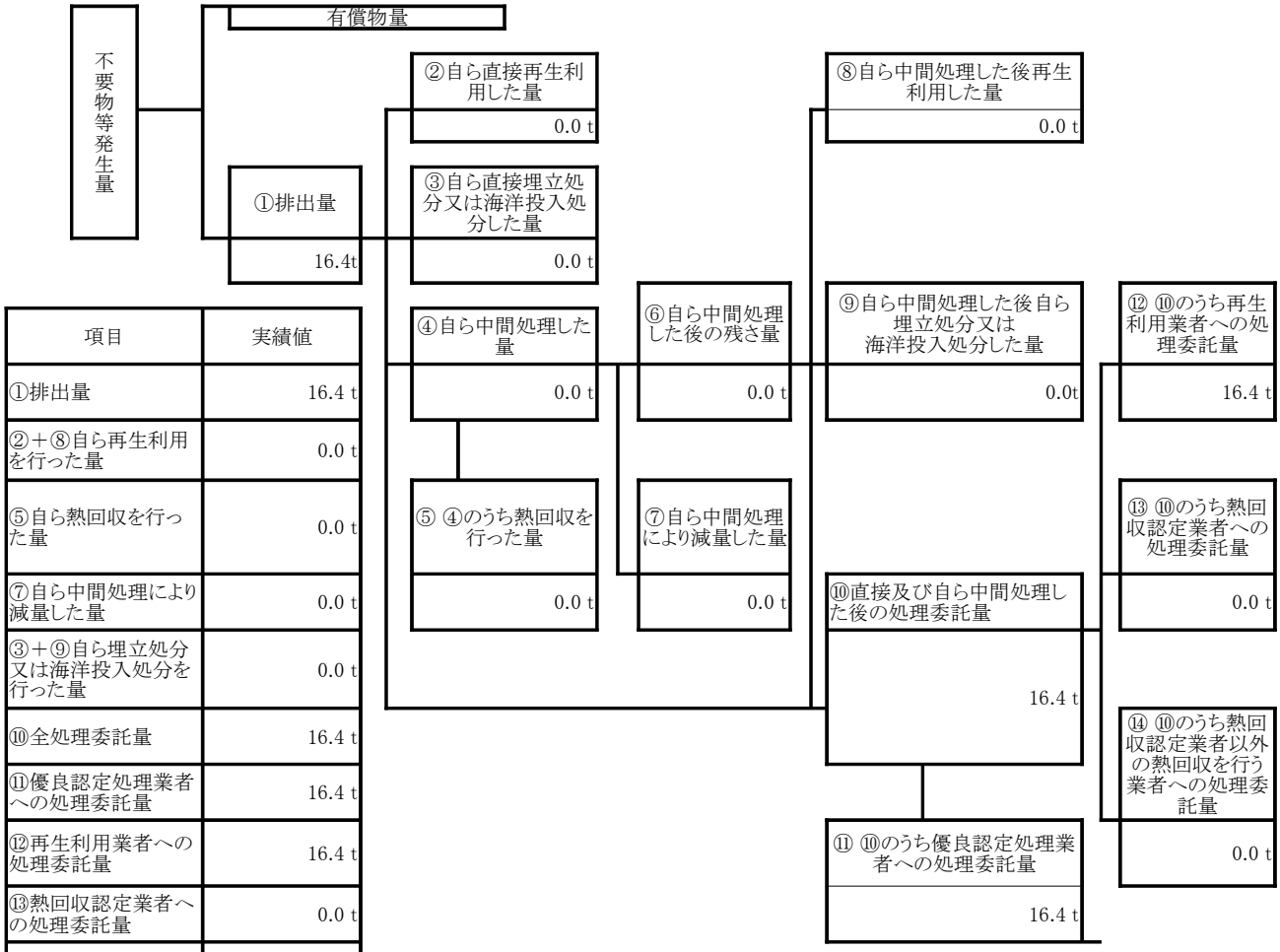
項目	実績値
①排出量	15.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

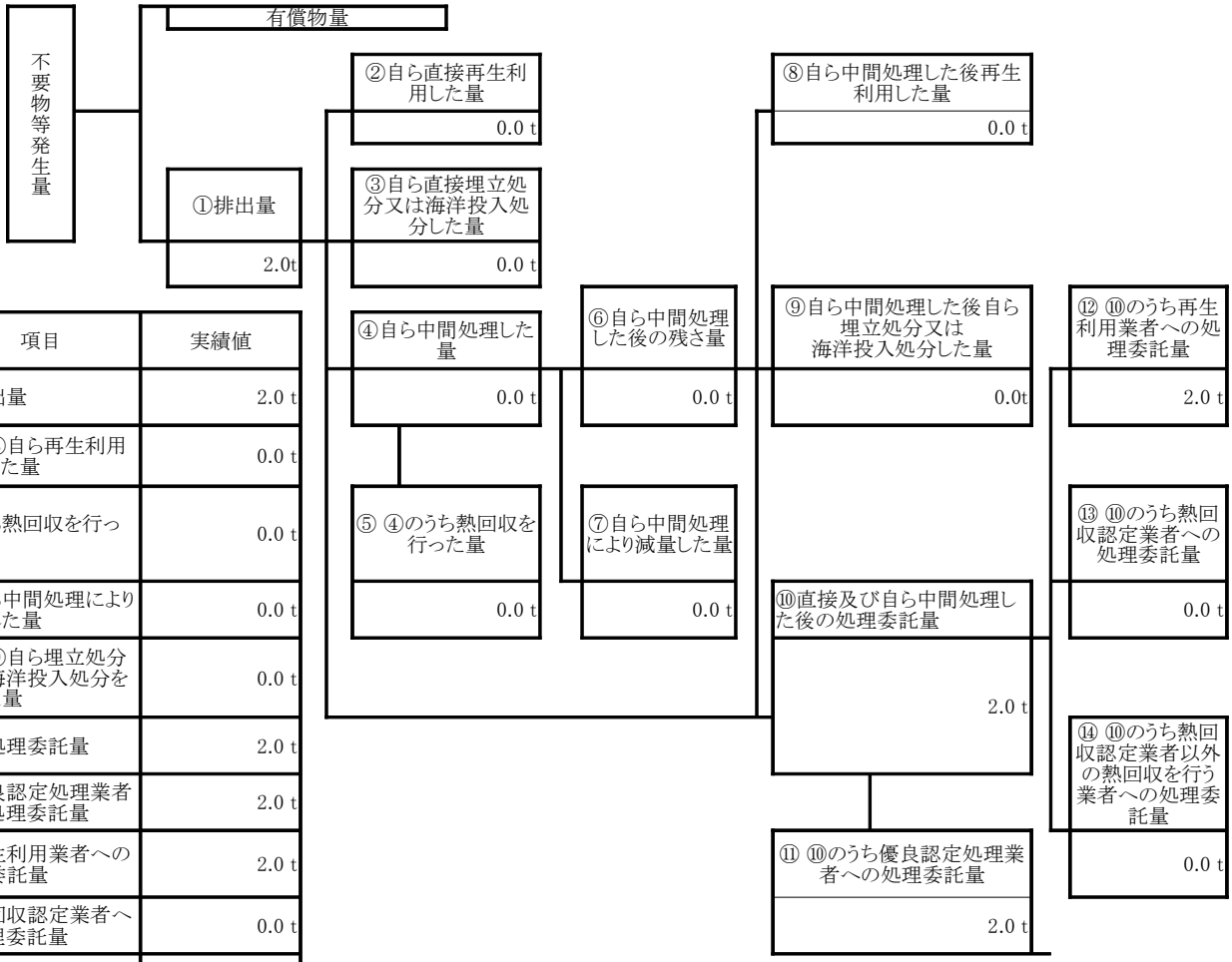


項目	実績値
①排出量	16.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	16.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	16.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　ガラス陶磁器等くず　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

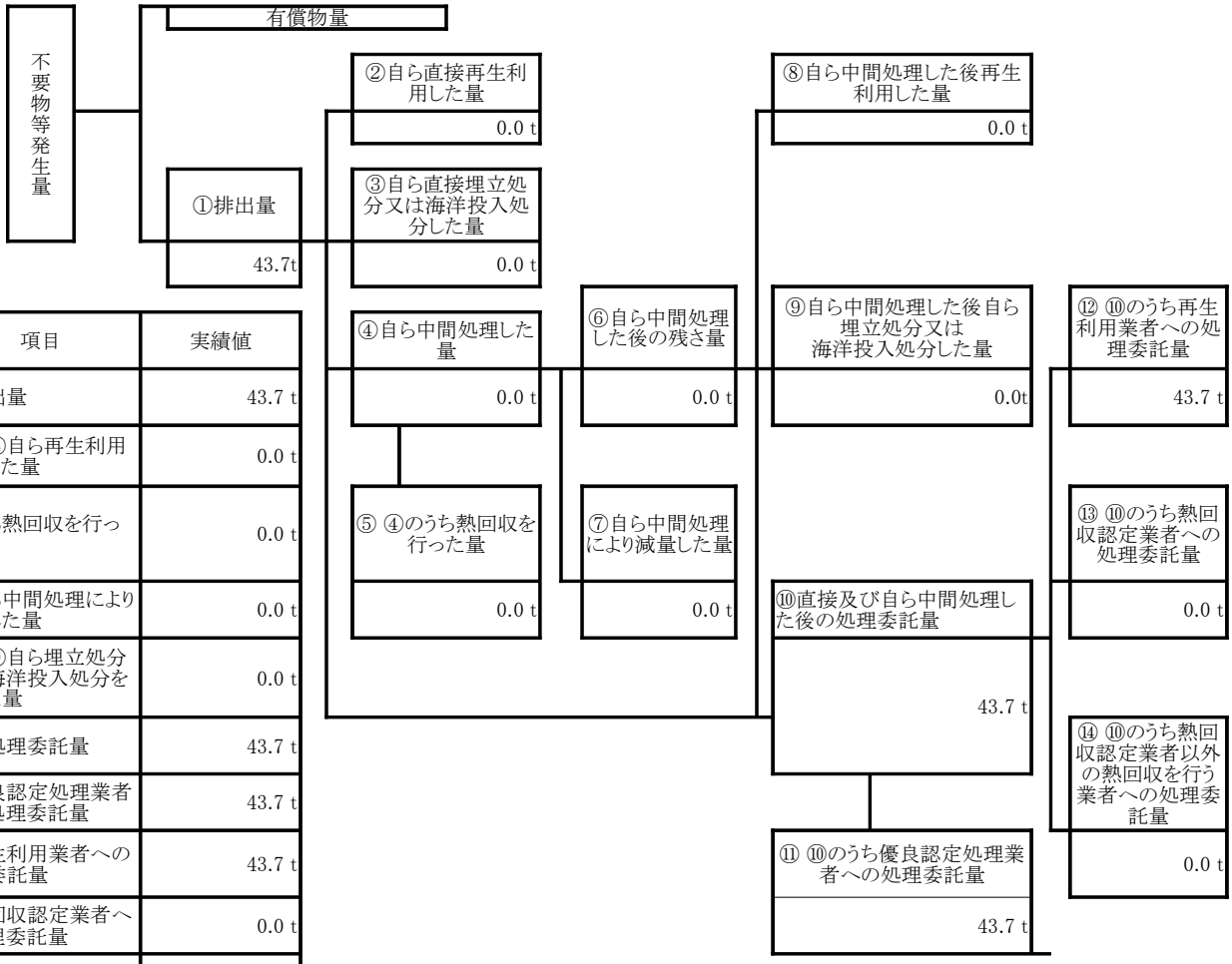


項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



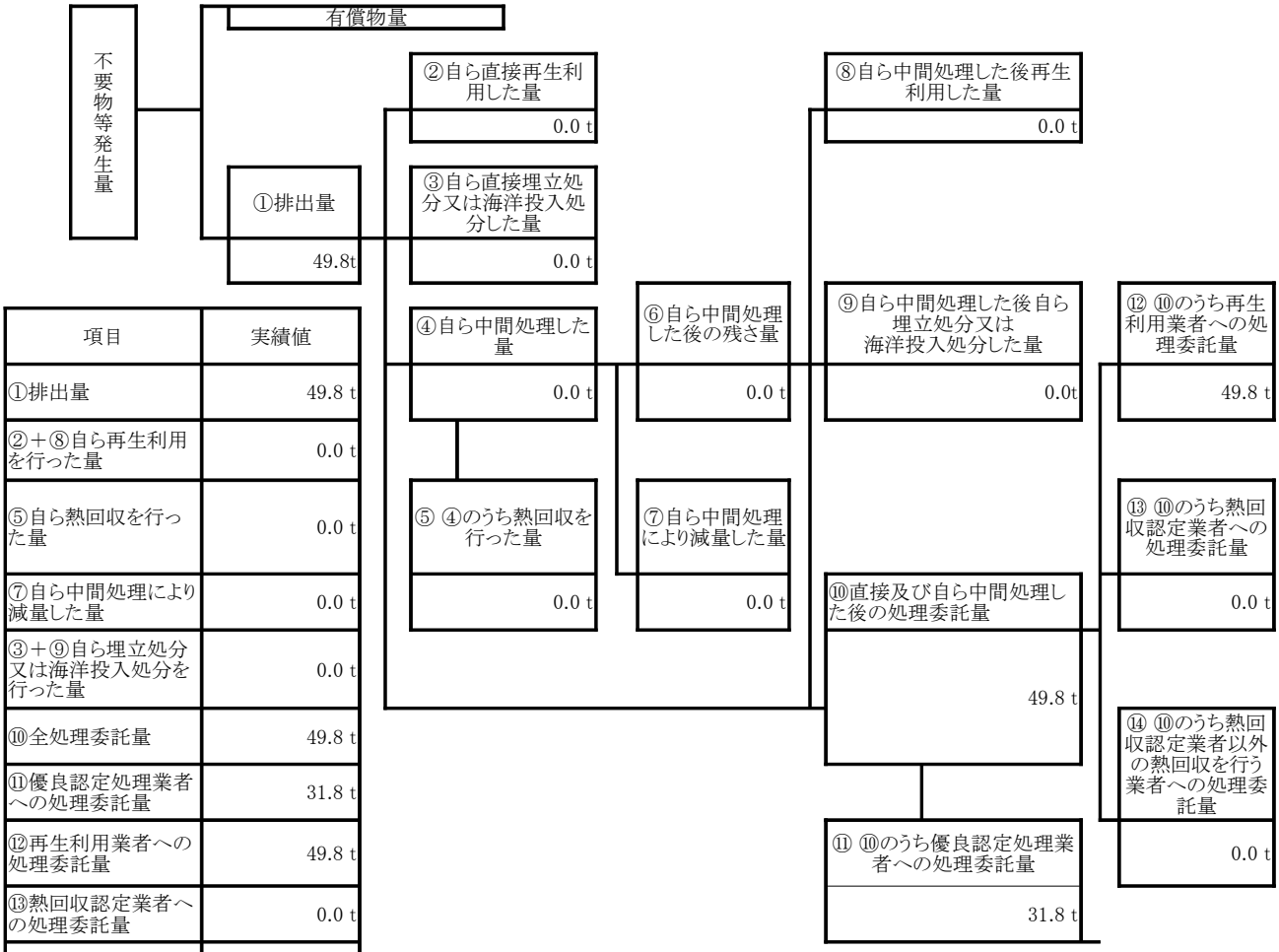
項目	実績値
①排出量	43.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	43.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	43.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

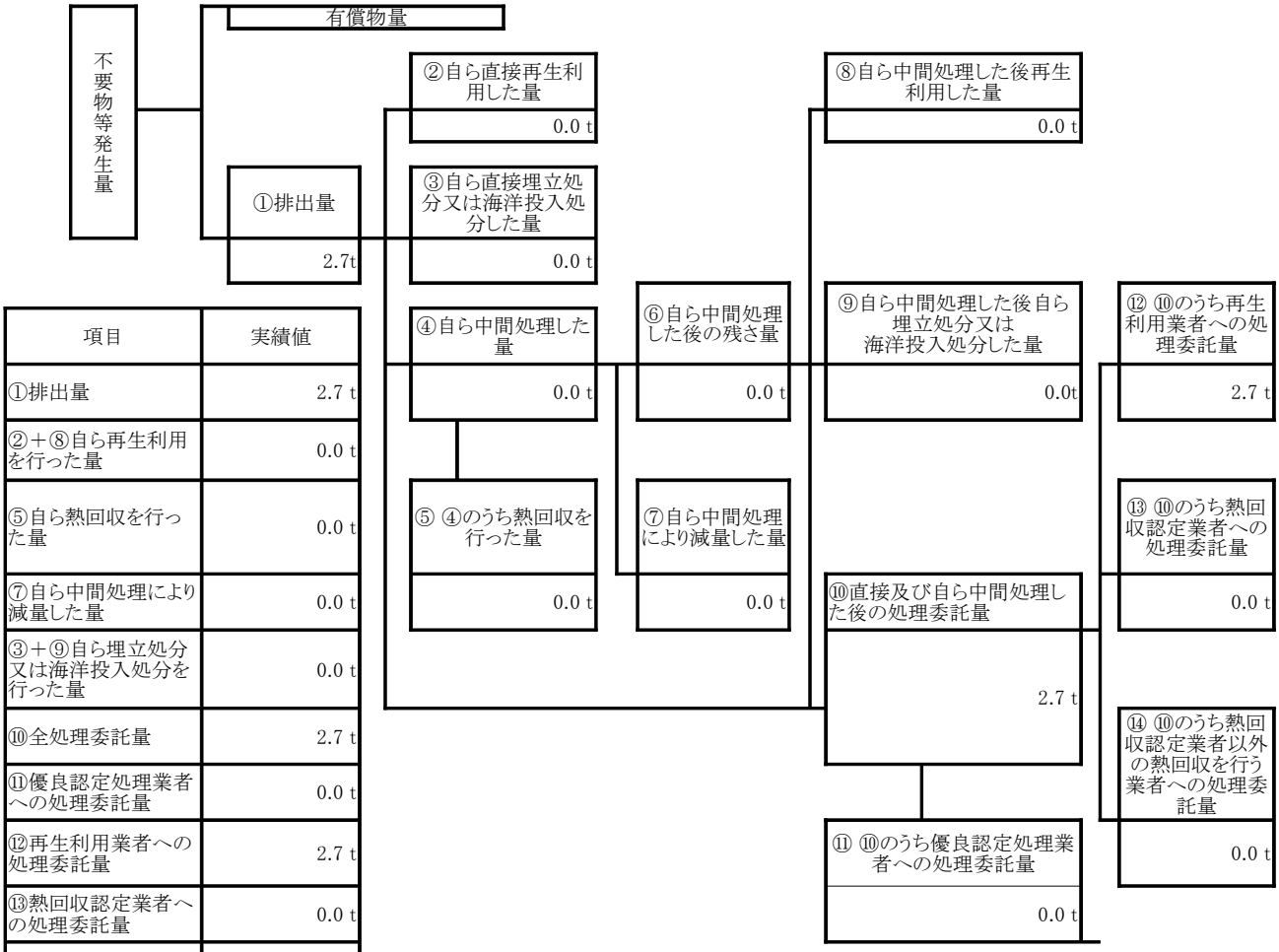


項目	実績値
①排出量	49.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	49.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	49.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アス・コン片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

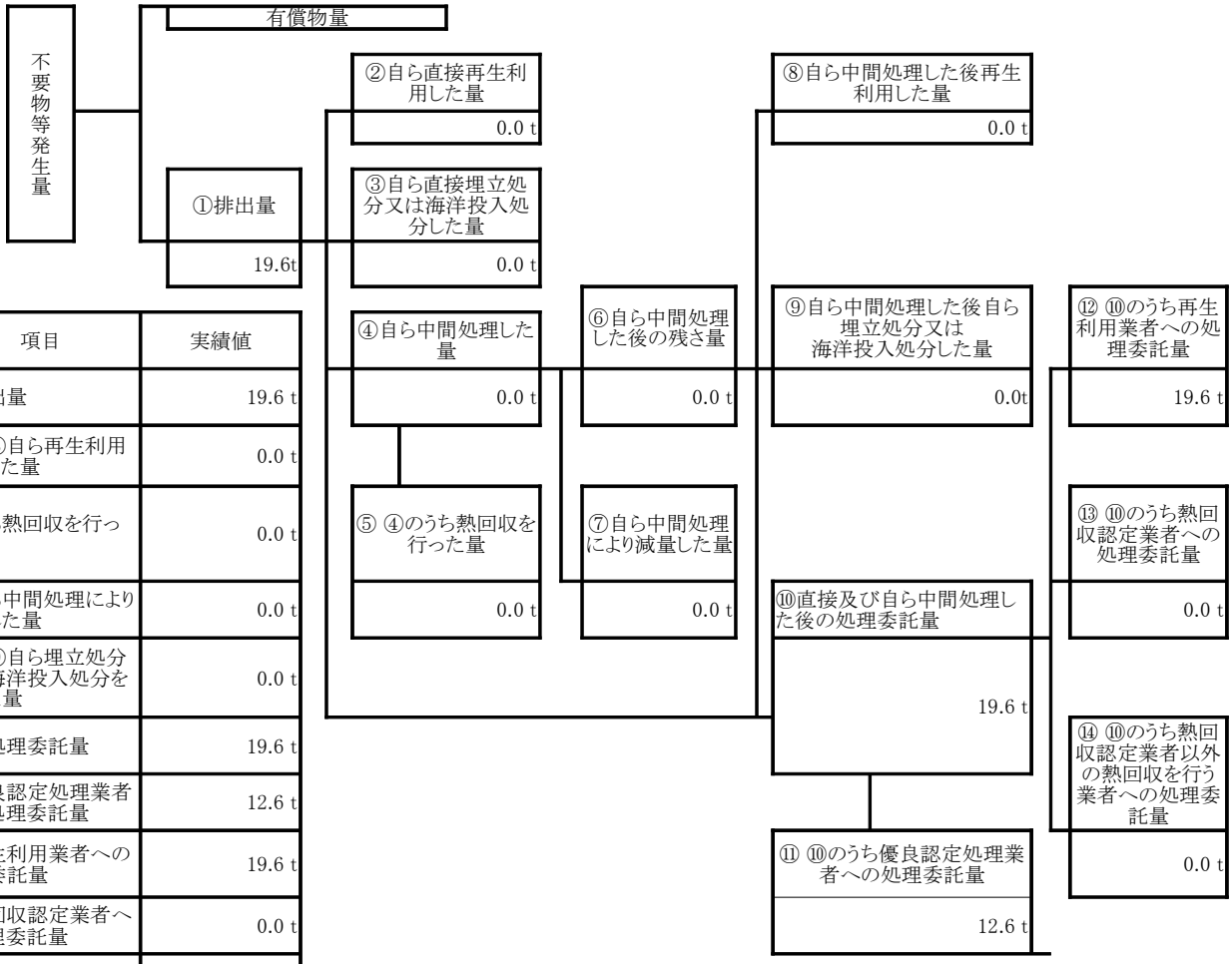


項目	実績値
①排出量	2.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

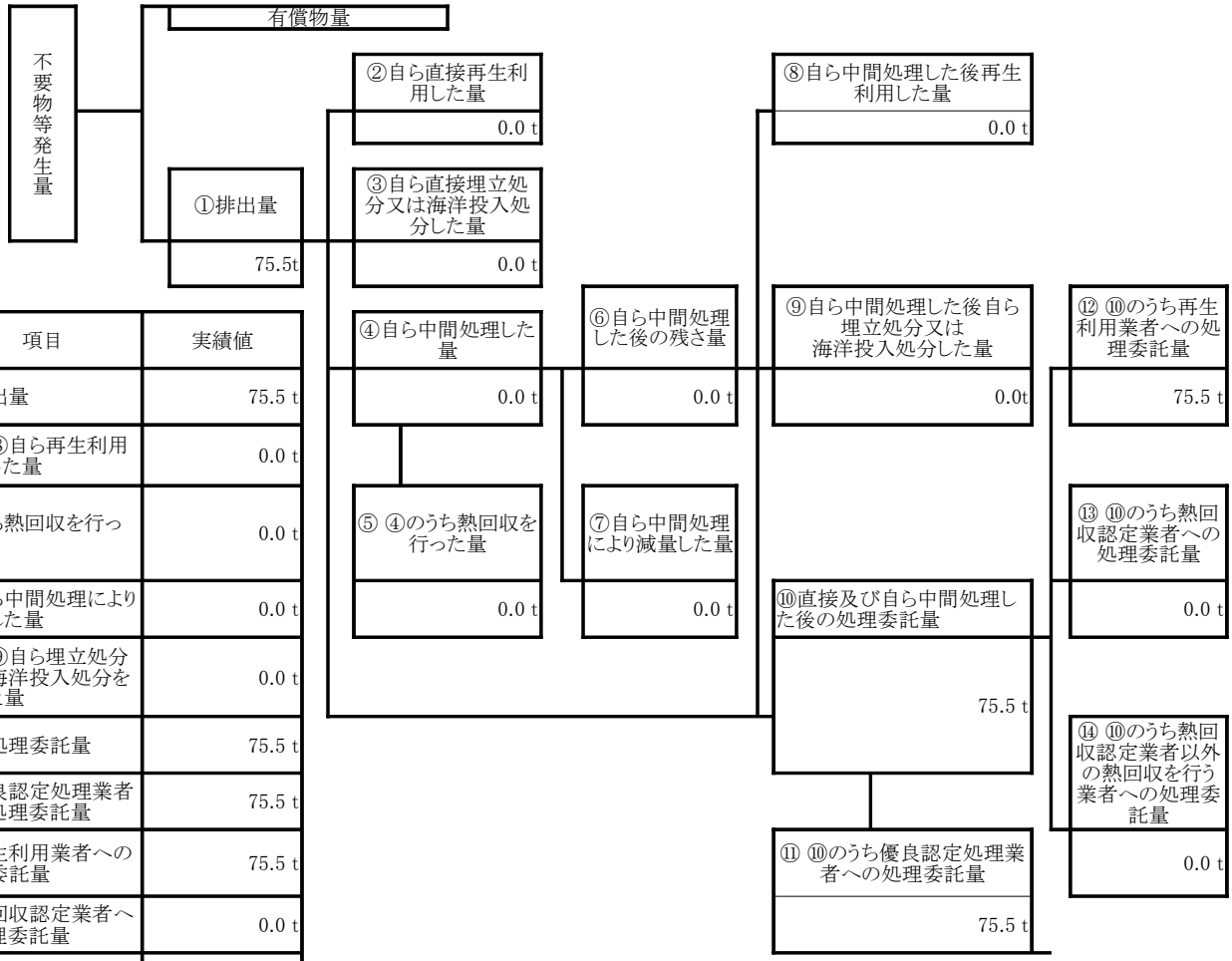


項目	実績値
①排出量	19.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	75.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	75.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	75.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	75.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6 月 7 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒299-5504
住 所　千葉県鴨川市浜荻430番地1
氏 名　有限会社 妻本商店
代表取締役 妻本竜志
電話番号 04-7094-2610

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社 妻本商店
事業場の所在地	千葉県鴨川市浜荻430番地1 現場:鴨川市
事業の種類	D07－職別工事業(設備工事業を除く)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

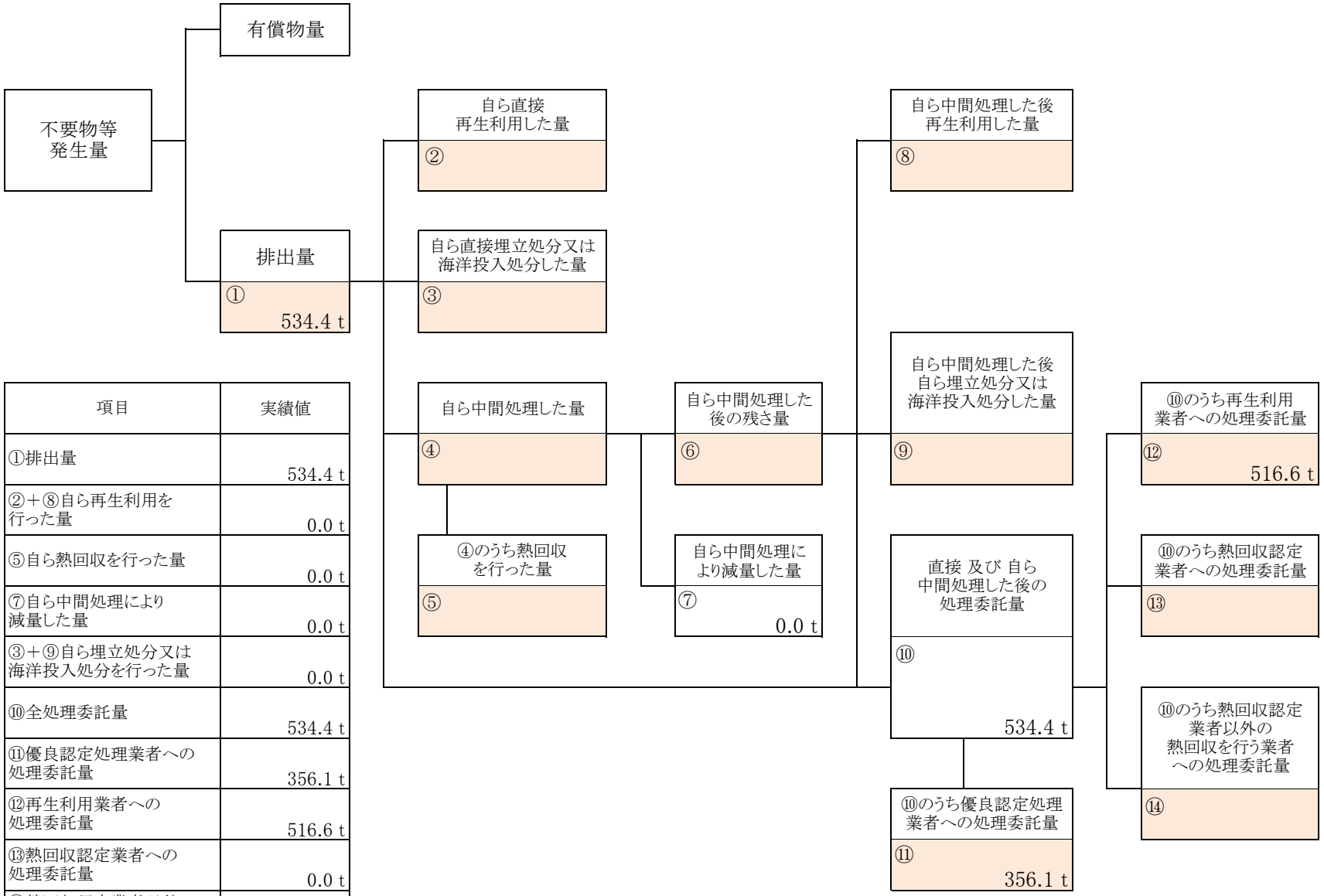
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1660.0 t	全処理委託量	1610.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	40.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1343.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1320.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	10.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	70.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格　A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **がれき類** ）

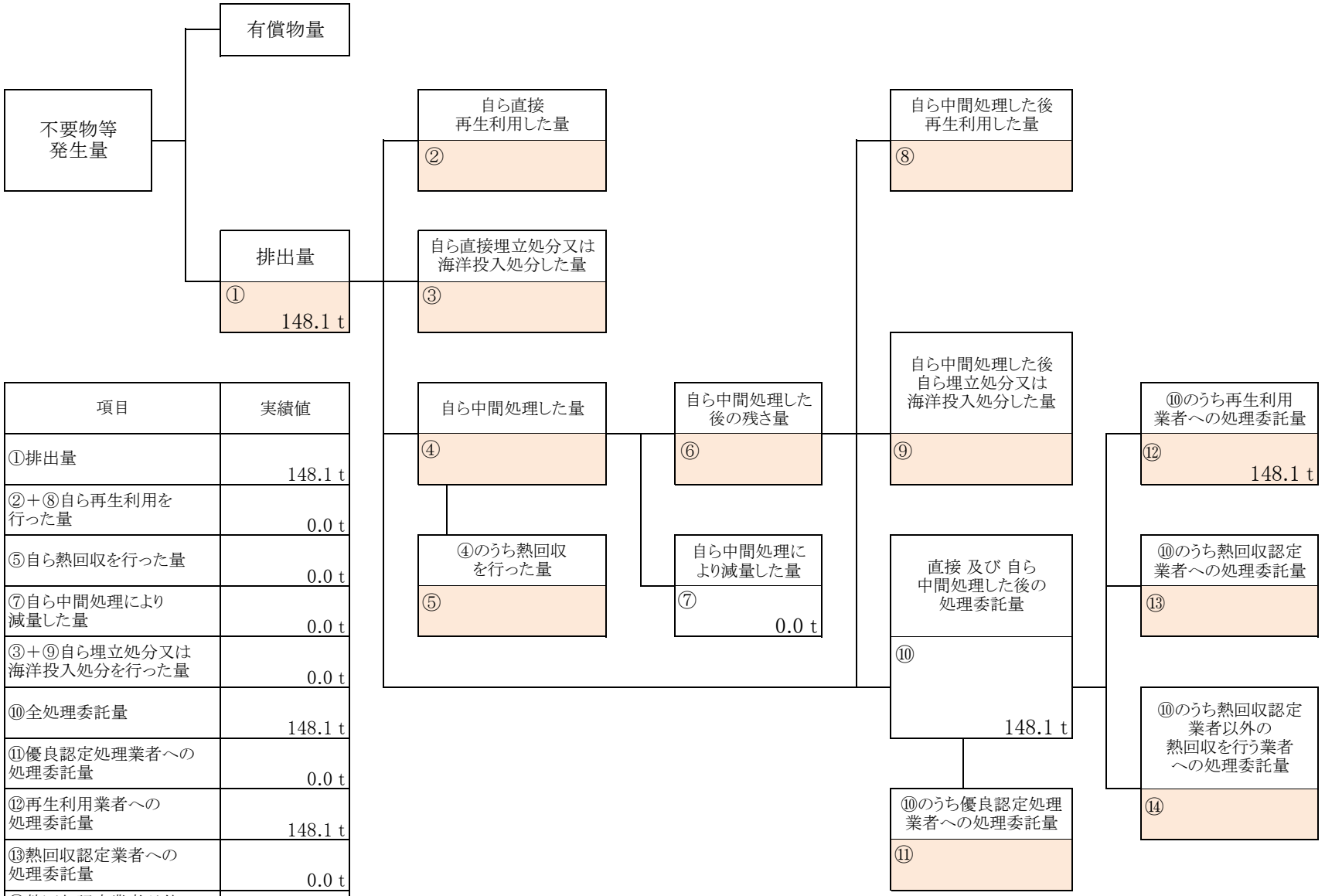


項目	実績値
①排出量	534.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	534.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	356.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	516.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

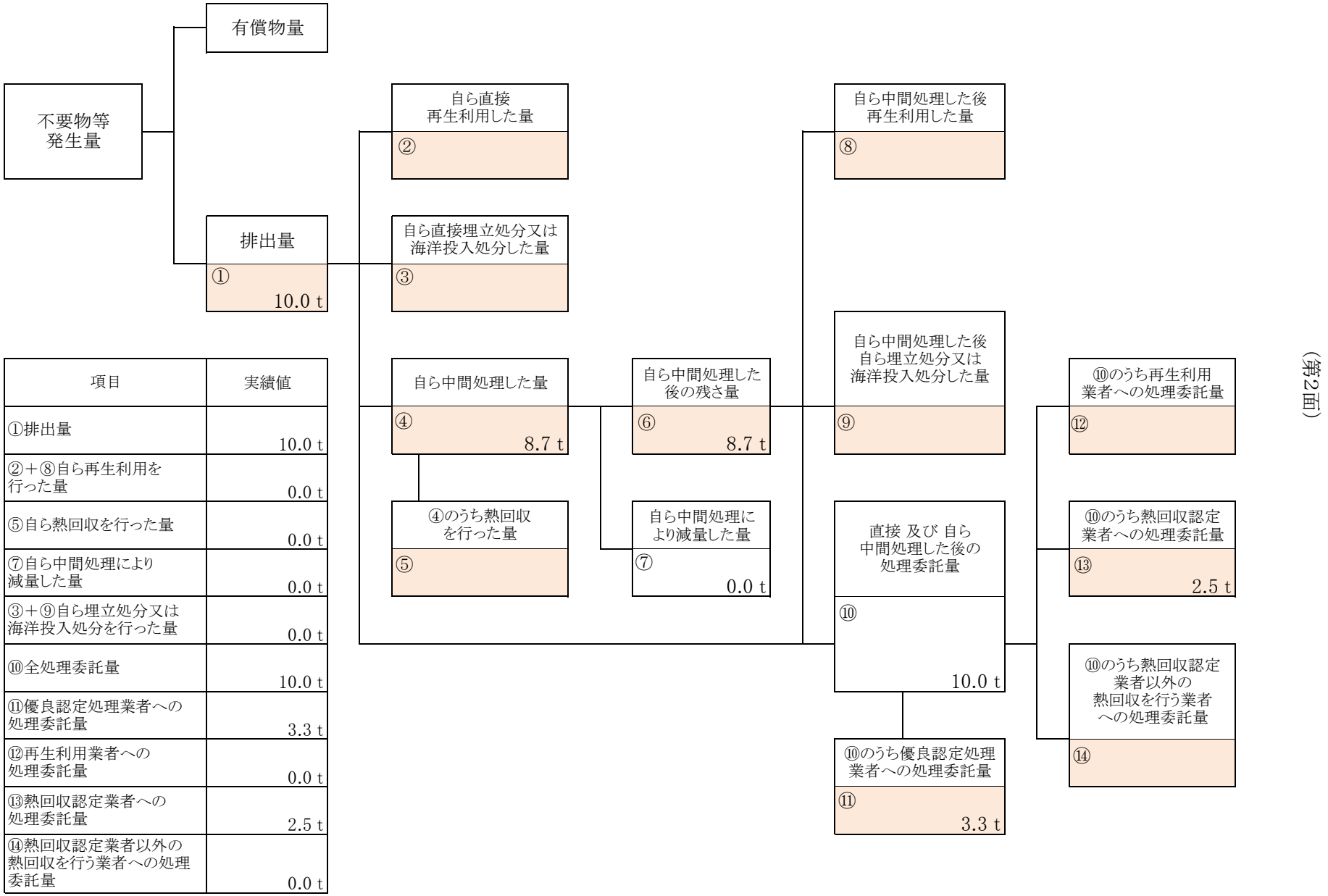


項目	実績値
①排出量	148.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	148.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	148.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃プラスチック類**　）

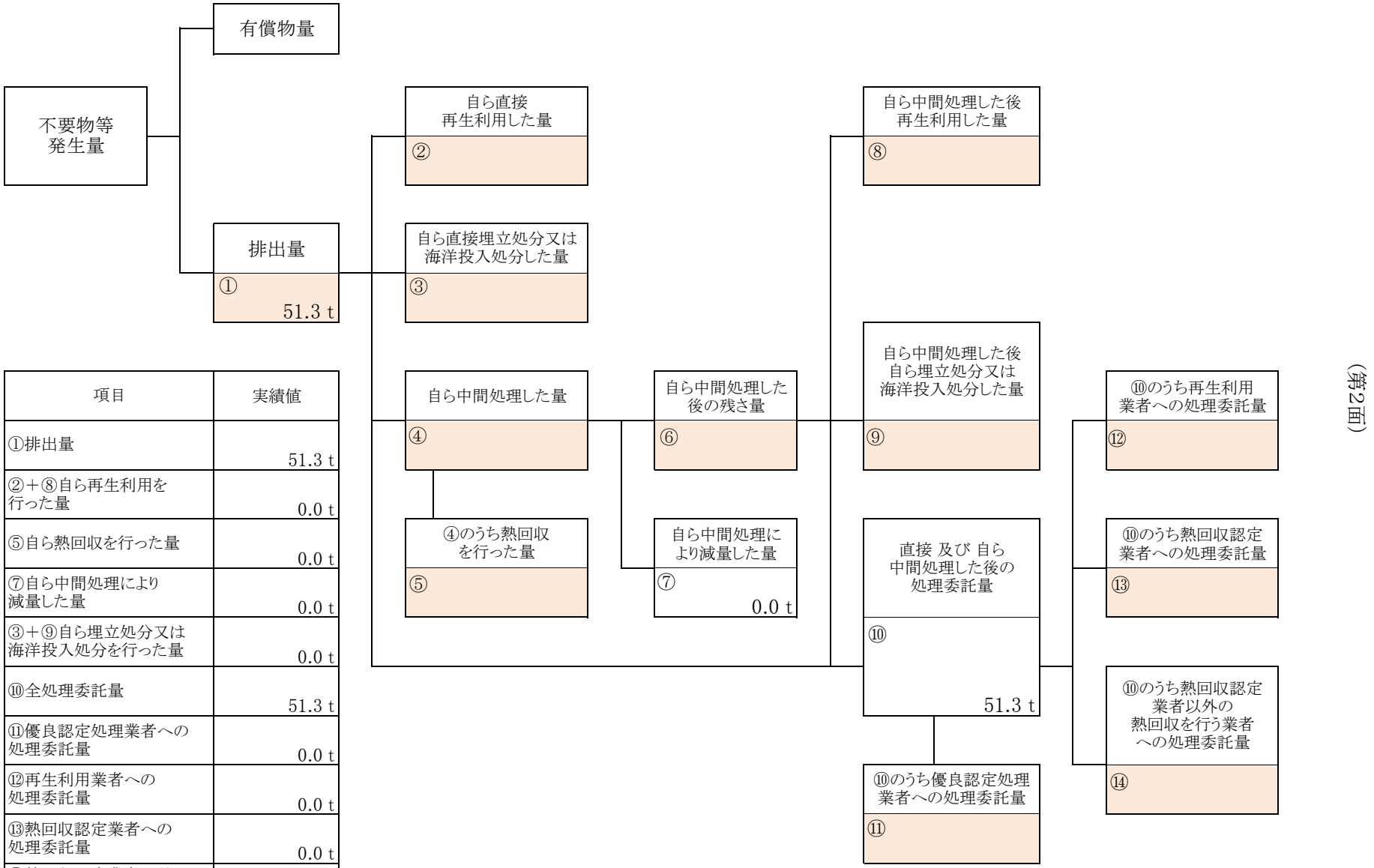


項目	実績値
①排出量	10.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	2.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **建設混合廃棄物** ）

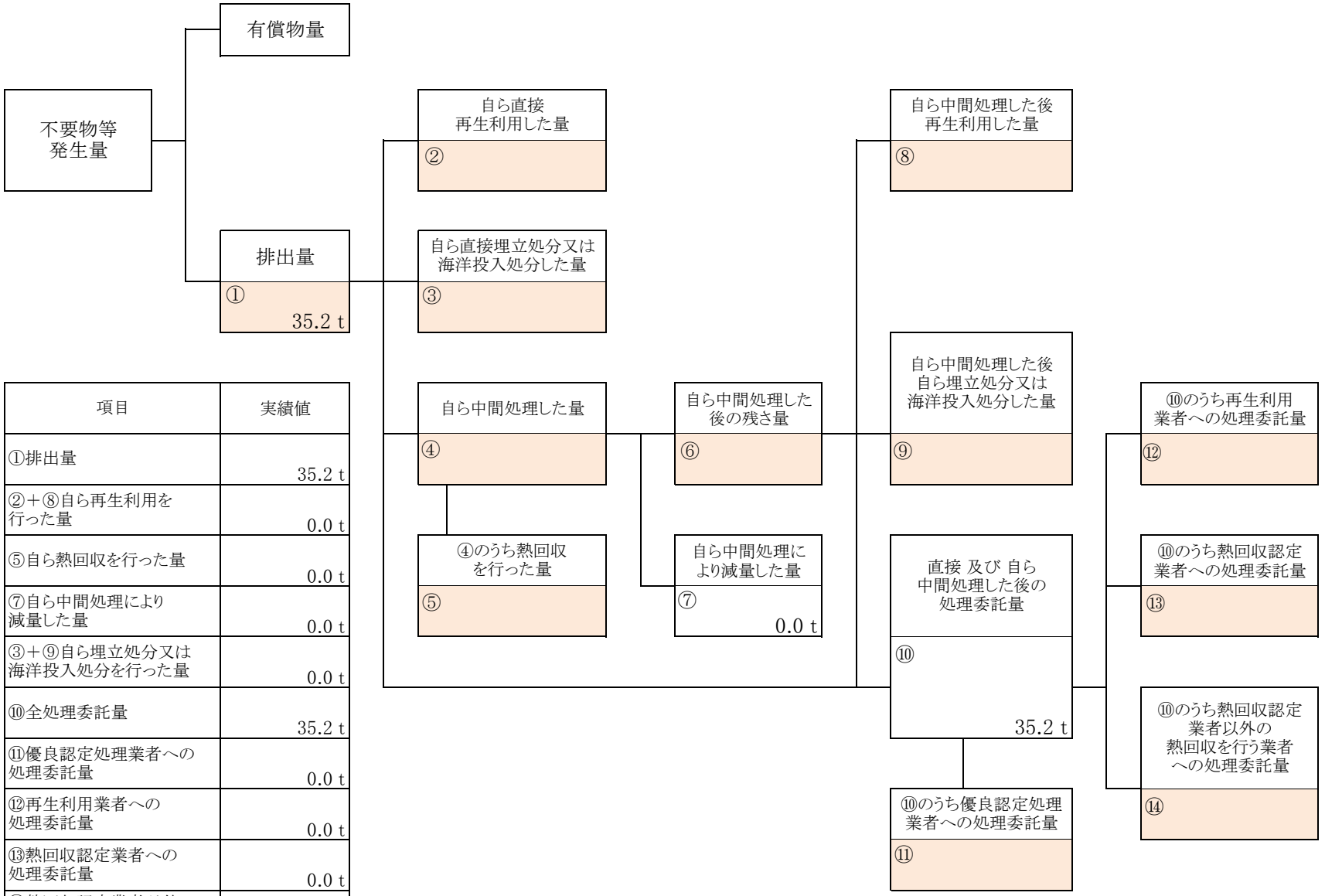


項目	実績値
①排出量	51.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	51.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**ガラス陶磁器屑**　）

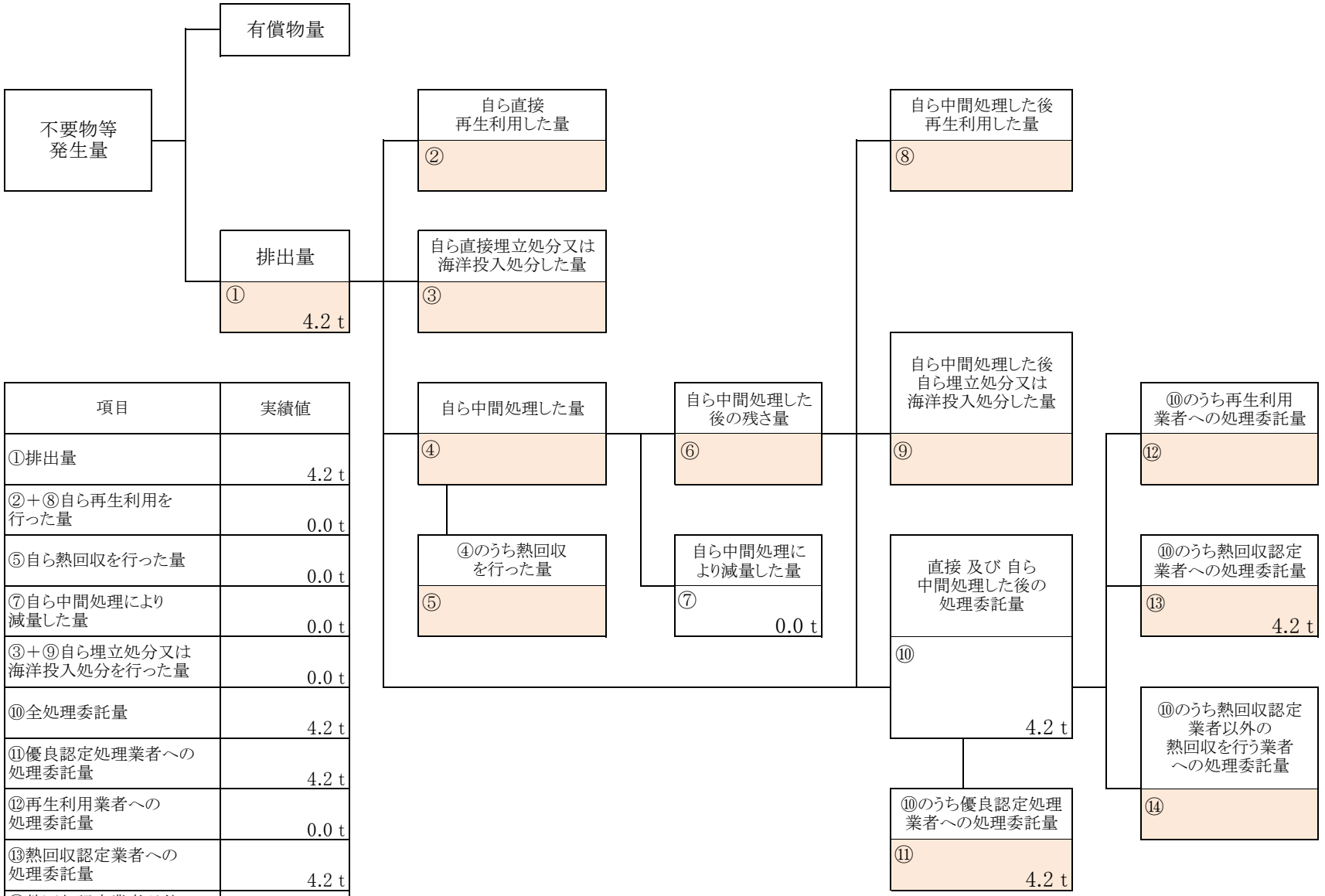


項目	実績値
①排出量	35.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **繊維屑** ）

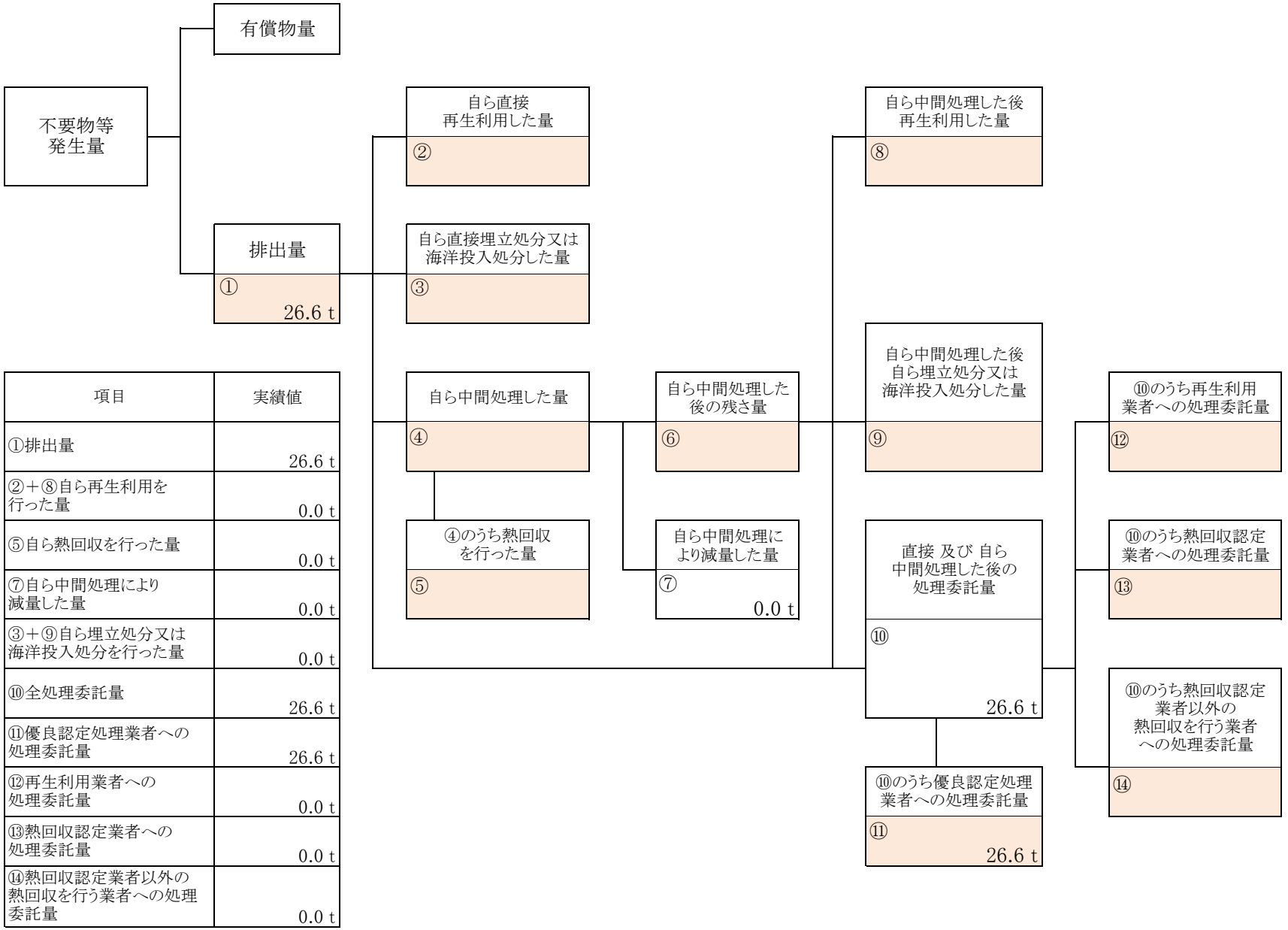


項目	実績値
①排出量	4.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	4.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**がれき類（石綿含有）**　）

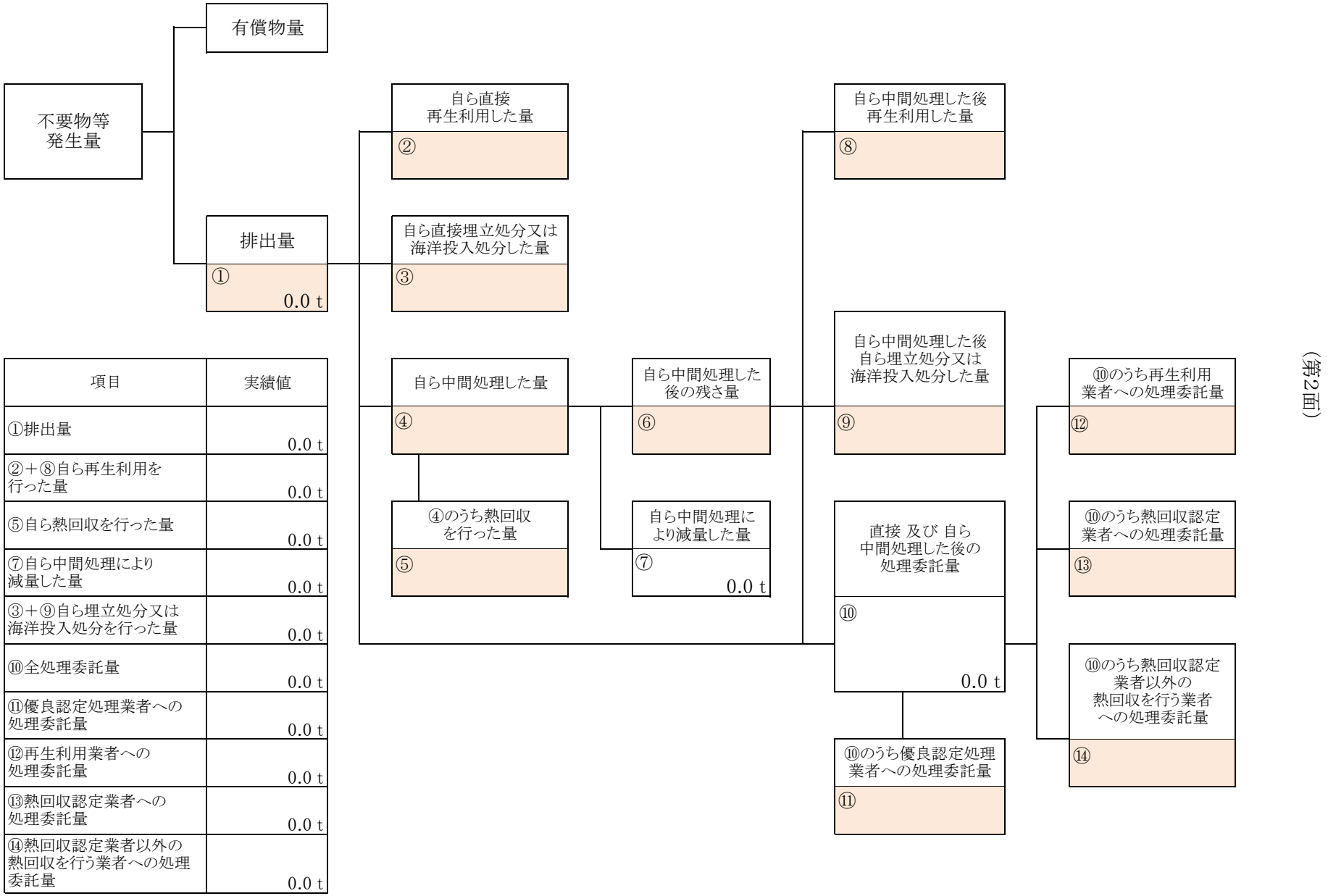


項目	実績値
①排出量	26.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

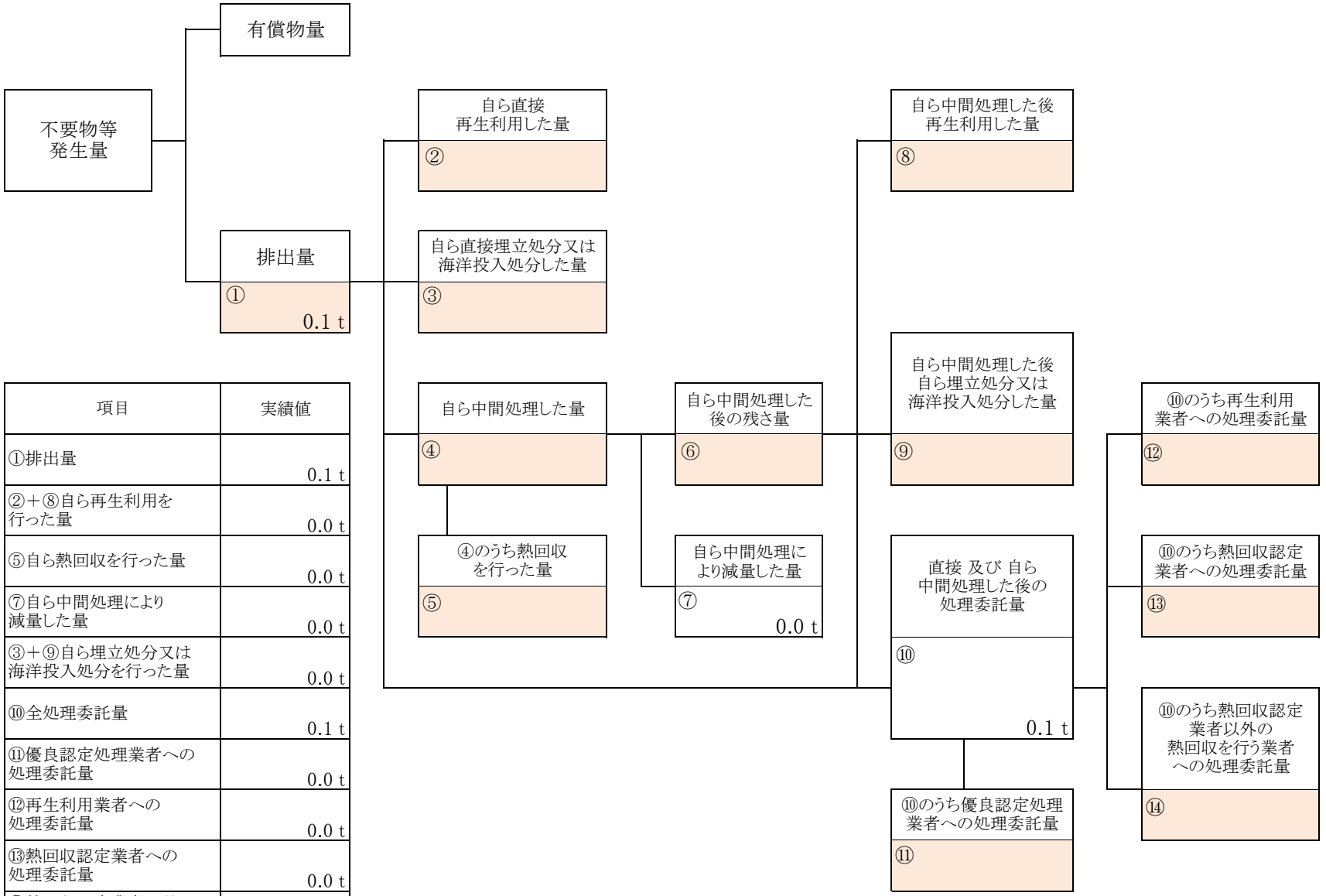


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**水銀使用製品産業廃棄物**　）

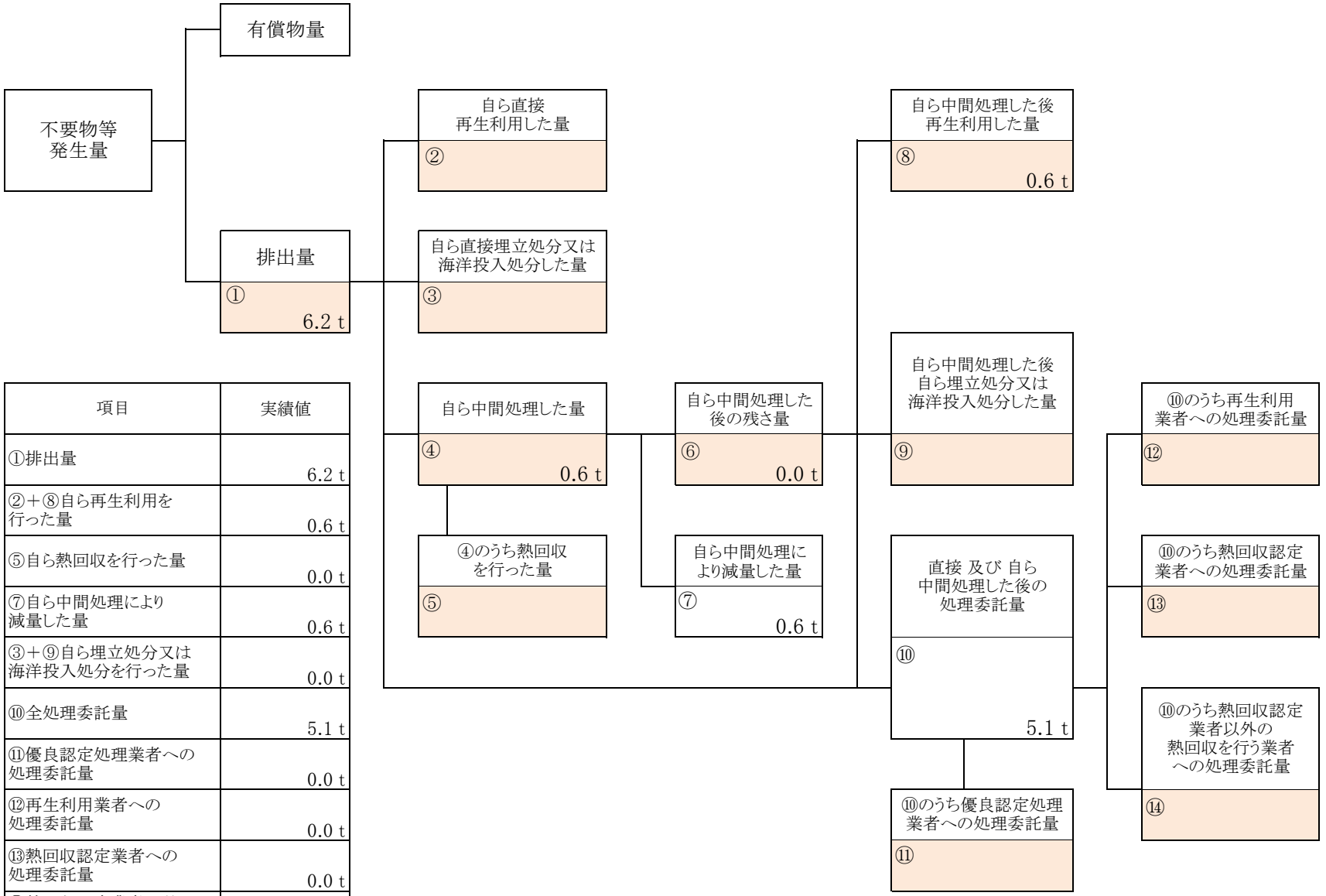


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属屑**）



項目	実績値
①排出量	6.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.6 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.6 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　101-8366

住　所　東京都千代田区神田三崎町２－５－３

法人名　鉄建建設株式会社東京鉄道支店

代表者　田中 耕司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3221-2250

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鉄建建設株式会社東京鉄道支店
事業場の所在地	東京都千代田区神田三崎町２－５－３
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：
②事業の規模	元請完成工事高　3,770,000万円
③従業員数	387名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリート→破砕、アスコン→破砕、その他がれき類→破砕、ガラス・陶磁器くず→破砕・埋立、廃プラスチック類→破砕・圧縮梱包、金属くず→破砕・切断、混合廃棄物(安定型のみ)→選別・破砕・埋立、建設汚泥→天日乾燥・脱水・固形化、紙くず→選別・圧縮・破砕、木くず→破砕、繊維くず→破砕・圧縮梱包、廃石膏ボード→選別・破砕・広域認定、混合廃棄物(管理型含む)→選別・破砕・埋立、石綿含有廃棄物→埋立

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥他	
排出量	29,028.73 t	t

（これまでに実施した取組）

令和6年度「環境管理計画書」に則り以下具体的な適正処置を推進する。排出量を抑制する為、前年度同様省梱包、リターナブル容器や梱包材の使用に努め、木材等は加工したものを搬入し、端材による排出物の減量化に努める。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥他	
排出量	26,125.9 t	t

（今後実施する予定の取組）

令和7年度「環境管理計画書」に則り以下具体的な適正処置を推進する。排出量を抑制する為、前年度同様省梱包、リターナブル容器や梱包材の使用に努め、木材等は加工したものを搬入し、端材による排出物の減量化に努める。建築の新築工事における建設混合廃棄物の排出量：9.0kg/施工床以内(新築工事の床面積あたりの原単位排出量。但し施工面積の確定が難しい工事は対象

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

作業所内は分別しやすいように整理し保管場所を定め、分別状況も所長以下職員全員で確認する。また啓蒙教育も随時実施。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

前年度同様、分別に関する取り組みを継続し実施していく。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥他</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥他</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥他</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥他</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥他	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥他	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥他	
全処理委託量		29,028.73 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	141.94 t	t
	再生利用業者への処理委託量	29.92 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

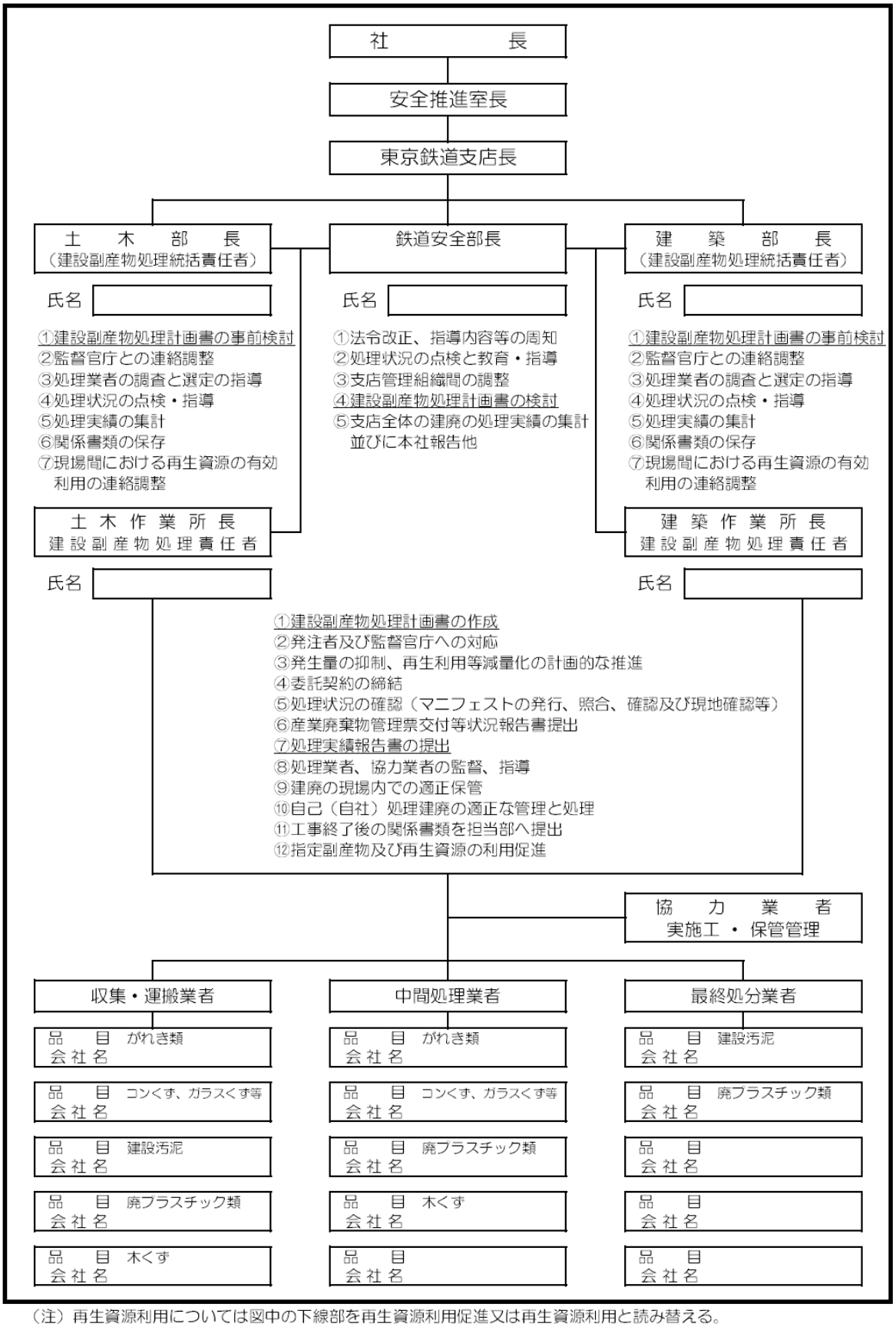
産業廃棄物処理委託契約書締結の際には、業者の許可証、許可品目、登録許可車両、任意保険の有無、運搬経路、処理場の能力、処理場の確認を行った後に契約する。また、マニフェストの適切な発行・保管、及び電子マニフェストの対応可能な業者との契約を推奨し、当社管理システムによる還流状況のチェックを行っている。優良認定業者を業者選定の際に推奨している。

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥他</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>26,125.86 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>150 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>35 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
【支店・現場での実施施策】建設汚泥の発生の少ない工法・技術の採用及び発注者への提案。産業廃棄物の発生を抑制する方策を実施する。産業廃棄物を再利用する方策を実施する。産業廃棄物を再利用する為の方策を実施する。上記の努力によって発生した産業廃棄物を法に基づき適正処理をする。掘削時に昔からの廃棄物等が出てきた場合にはそれが当社のものであっても直</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添２　管理体制図

建　設　副　産　物　管　理　組　織　表



（注）再生資源利用については図中の下線部を再生資源利用促進又は再生資源利用と読み替える。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状①現	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類										
	出　量排　出	27,817.79 t	37.10 t	1.44 t	34.10 t	1,048.48 t	19.24 t	33.30 t	37.18 t	0.10 t										
②計画②計	【目標】【目標】																			
	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類										
	出　量排　出	25,036.01 t	33.39 t	1.30 t	30.69 t	943.63 t	17.32 t	29.97 t	33.46 t	0.09 t	26,125.86 t									

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状①現	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
②計画②計	【目標】【目標】																			
	棄物の種類産業廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類										
	ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類										
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類									
①現状①	自ら埋立処分又は自ら海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

【目標】【目標】【目標】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類									
②計画②	埋立処分又は海洋投入処分を行う海洋産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類									
①現状①	全処理委託量	27,817.79 t	37.10 t	1.44 t	34.10 t	1,048.48 t	19.24 t	33.30 t	37.18 t	0.10 t	29,028.73 t								
	認定処理業者への優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	37.10 t	1.44 t	12.10 t	1.48 t	19.24 t	33.30 t	37.18 t	0.10 t									
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	1.40 t	0.60 t	10.45 t	1.48 t	0.00 t	0.00 t	15.99 t	0.00 t									
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

【目標】【目標】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類									
②計画②	全処理委託量	25,036.01 t	33.39 t	1.30 t	30.69 t	943.63 t	17.32 t	29.97 t	33.46 t	0.09 t	26,125.86 t								
	認定処理業者への優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	33.39 t	1.30 t	10.89 t	1.33 t	17.32 t	29.97 t	33.46 t	0.09 t	127.75 t								
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	1.26 t	0.54 t	9.41 t	1.33 t	0.00 t	0.00 t	14.39 t	0.00 t	26.93 t								
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月29日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都千代田区神田三崎町二丁目５番３号

氏 名　鉄建建設株式会社　東京支店

常務執行役員支店長　白井　稔久

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3221-2291

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鉄建建設株式会社東京支店
事業場の所在地	東京都千代田区神田三崎町二丁目５番３号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	Ｄ－建設業　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　33,536,00万円
③従業員数	293名　（東京支店　令和7年4月1日）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　Ａ列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
「環境管理計画書」に則り以下の具体的な適正処置活動を推進した。
①混合廃棄物の発生抑制　②建設廃棄物のリサイクル率向上　③建設汚泥リサイクル率向上

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
「環境管理計画書」に則り以下の具体的な適正処置活動を引き続き推進する。
①混合廃棄物の発生抑制　②建設廃棄物のリサイクル率向上　③建設汚泥リサイクル率向上

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
作業所内は分別しやすいように整理し保管場所を定め、分別状況も所長以下職員全員で確認している。また啓蒙教育も随時実施中。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
前年度同様、分別に関する取組を継続し実施していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
①産廃処理委託契約書締結の際には、業者の許可、許可品目、登録車両、任意保険の有無、運搬経路、処理場の能力、処理場の確認を行った後に締結する。また、紙マニフェストの適切な発行及び電子マニフェストの対応可能な業者との契約を推奨し、当社管理システムによる還流状況のチェックを行っている。②優良認定業者を委託契約の際に推奨している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）
①「環境管理計画書」に則り適正な取組を推進する。 ②電子マニフェストの導入を更に推進していく。③優良認定業者への委託を引き続き推奨していく。④可能な限り再生利用を促進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

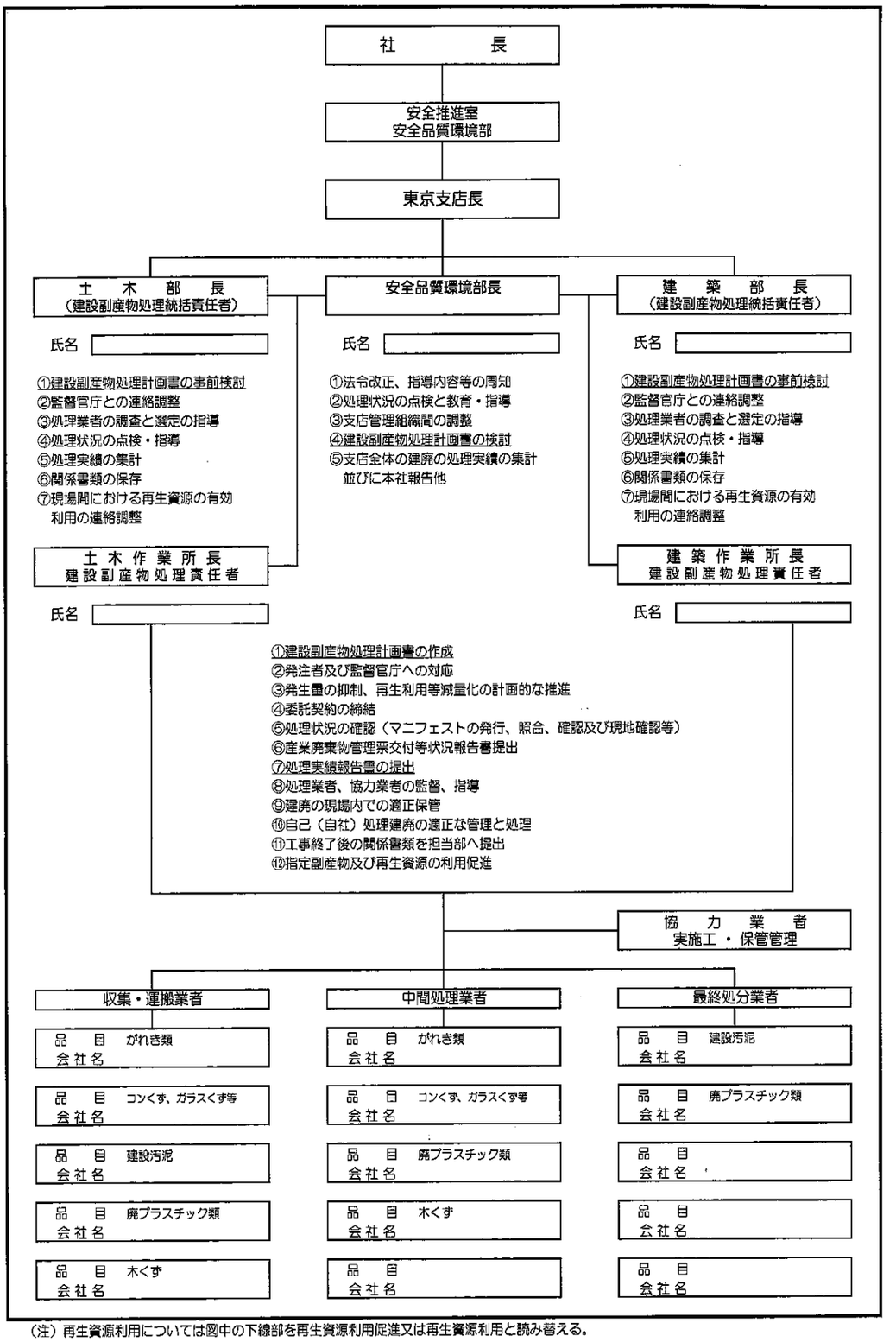
7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

コンクリート→破砕、アスファルトコンクリート→破砕、その他がれき類→破砕、
ガラス・陶磁器くず→破砕・埋立、廃プラスチック類→破砕・圧縮梱包、金属くず→破砕・切断、
混合廃棄物(安定型のみ)→選別・破砕・埋立、建設汚泥→天日乾燥・脱水・固形化、
紙くず→選別・圧縮・破砕、木くず→破砕、繊維くず→破砕・圧縮梱包、
廃石膏ボード→選別・破砕・広域認定、混合廃棄物(管理型含む)→選別・破砕・埋立、
石綿含有廃棄物→埋立、廃石綿→埋立　　(可能な限り再生利用へ)

別添２ 管理体制図

建 設 副 産 物 管 理 組 織 表



（注）再生資源利用については図中の下線部を再生資源利用促進又は再生資源利用と読み替える。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
排　出　量	1,287.00 t	0.23 t	12.43 t	1.20 t	115.83 t	1.13 t	201.35 t	0.31 t	720.40 t	828.00 t	1,377.74 t	24.96 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
排　出　量	1,222.65 t	0.22 t	11.81 t	1.14 t	110.04 t	1.07 t	191.28 t	0.29 t	684.38 t	786.60 t	1,308.85 t	23.71 t						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
全処理委託量	1,287.00 t	0.23 t	12.43 t	1.20 t	115.83 t	1.13 t	201.35 t	0.31 t	720.40 t	828.00 t	1,377.74 t	24.96 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.23 t	12.43 t	1.20 t	20.90 t	1.13 t	0.00 t	0.31 t	0.00 t	0.00 t	0.74 t	24.96 t						
再生利用業者への処理委託量	1,287.00 t	0.00 t	12.43 t	1.20 t	20.90 t	1.13 t	201.35 t	0.31 t	144.40 t	0.00 t	0.74 t	24.96 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
全処理委託量	1,222.65 t	0.22 t	11.81 t	1.14 t	110.04 t	1.07 t	191.28 t	0.29 t	684.38 t	786.60 t	1,308.85 t	23.71 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.22 t	11.81 t	1.14 t	19.86 t	1.07 t	0.00 t	0.29 t	0.00 t	0.00 t	0.70 t	23.71 t						
再生利用業者への処理委託量	1,222.65 t	0.00 t	11.81 t	1.14 t	19.86 t	1.07 t	191.28 t	0.29 t	137.18 t	0.00 t	0.70 t	23.71 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 23日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

君津
地域振興事務所
-7.6.23
収受

提出者　〒103-0022
住所　東京都中央区日本橋室町4-1-6
クアトロ室町ビル8階
氏名　東亜建設工業株式会社東京支店
執行役員支店長 岡本 智
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03-6214-1303

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社東京支店
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市長浦地先
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

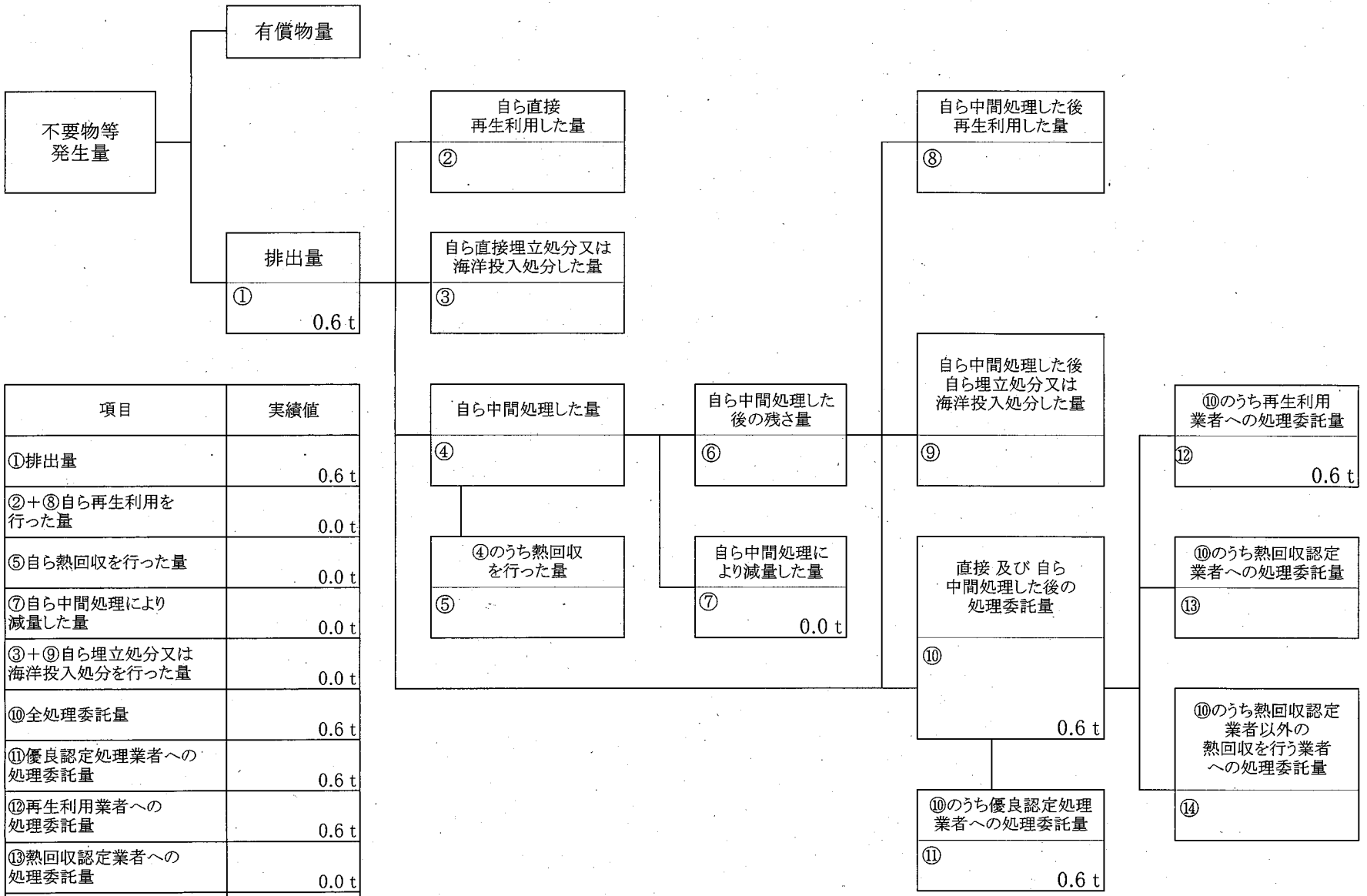
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	860.0 t	全処理委託量	860.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

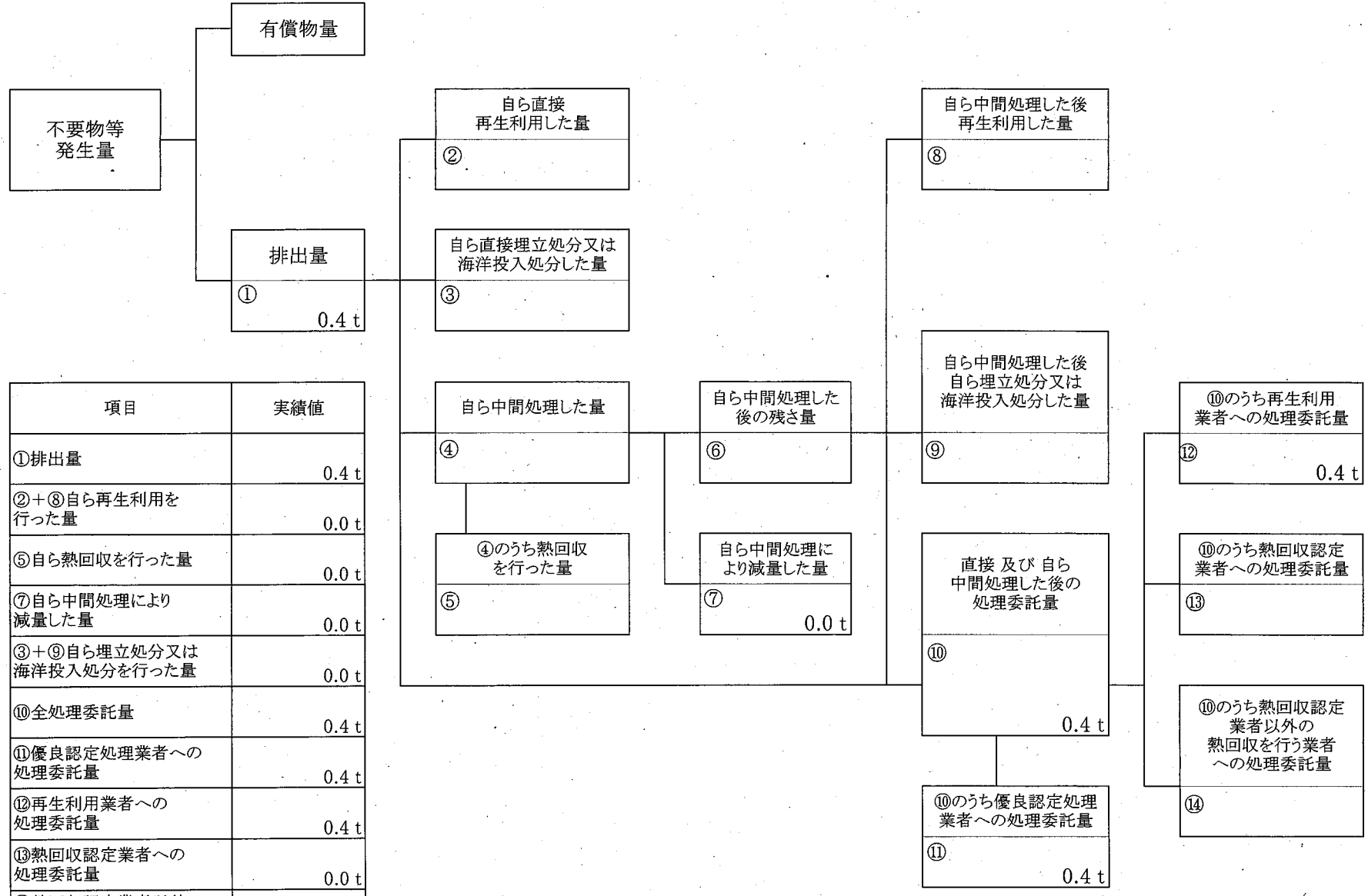


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック　　）

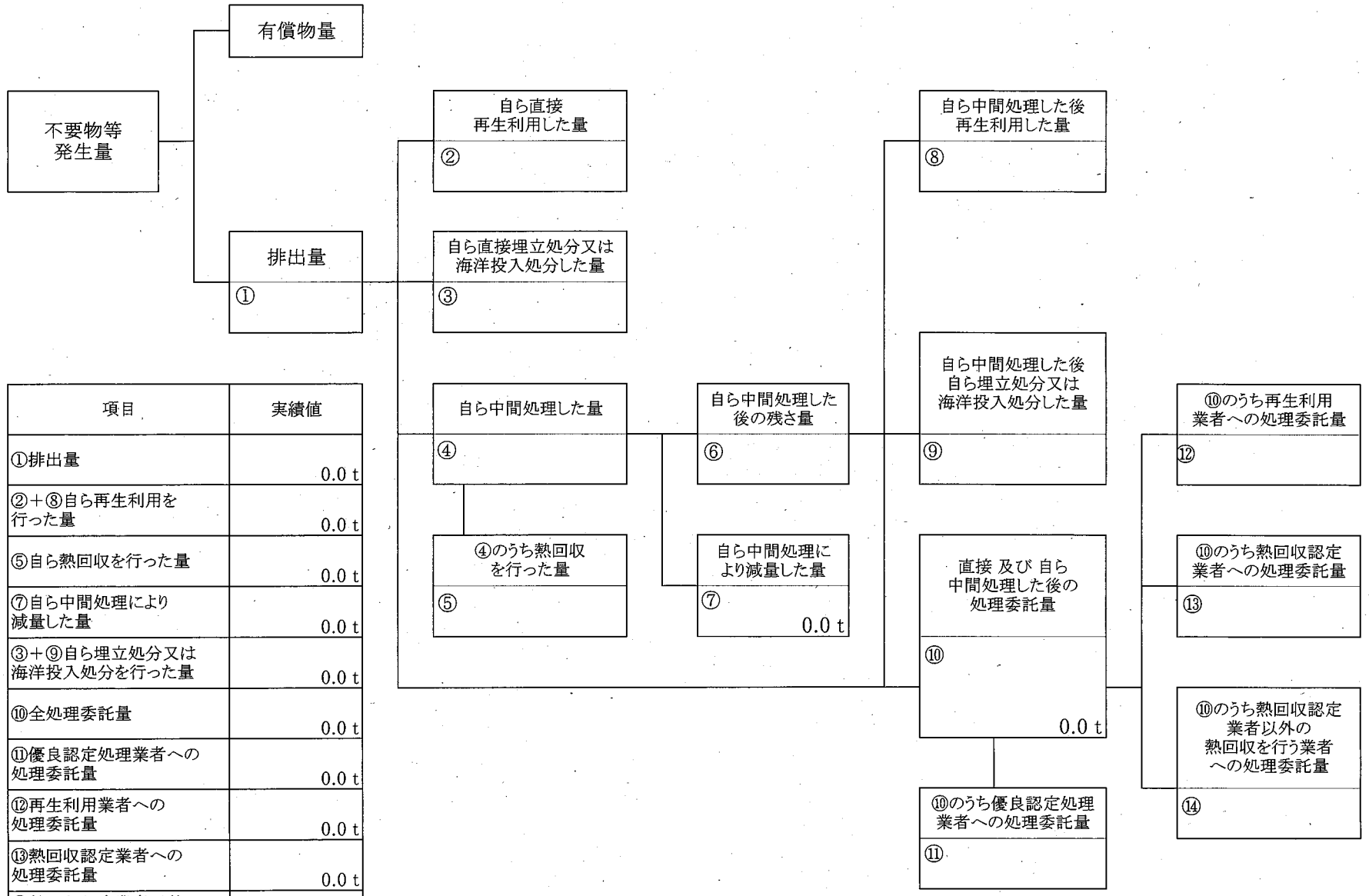


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年4月14日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　260-0024

住　所　千葉県千葉市中央区中央港1-12-3

法人名　東亜建設工業株式会社千葉支店

代表者　川島 仁

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　[redacted]

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県管轄区域内(千葉市、船橋市、柏市を除く)
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　添付資料参照　　中分類：
②事業の規模	添付資料参照（様式２号の８）
③従業員数	添付資料参照（様式２号の８）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙３　参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）
添付資料参照（様式２号の８）第２面

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙１参照	
	排出量	1908.5 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙１参照	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙１参照	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（ 令和6年度）実績】

	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	鉱さい	建設混合廃棄物												計
① 現状 産業廃棄物の種類																								
排 出 量	112.0t	7.7t	1.5t	62.0t	2.2t	95.0t	3.4t	17.0t	1,031.8t	550.6t	9.7t	15.6t												1,908.5t

【目標】

	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	鉱さい	建設混合廃棄物												計
②計画 産業廃棄物の種類																								
排 出 量	100.0t	10.0t	2.0t	50.0t	5.0t	400.0t	5.0t	20.0t	1,000.0t	600.0t	10.0t	20.0t												2,222.0t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 令和6年度）実績】

① 現状 産業廃棄物の種類																								計
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t																							0.0t

【目標】

②計画 産業廃棄物の種類																								計
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t																							0.0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 令和6年度）実績】

① 現状 産業廃棄物の種類																								計
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t																							0.0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t																							0.0t

【目標】

②計画 産業廃棄物の種類																								計
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t																							0.0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t																							0.0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 令和6年度）実績】

① 現状 産業廃棄物の種類																								計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t																							0.0t

【目標】

②計画 産業廃棄物の種類																								計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t																							0.0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 令和6年度）実績】

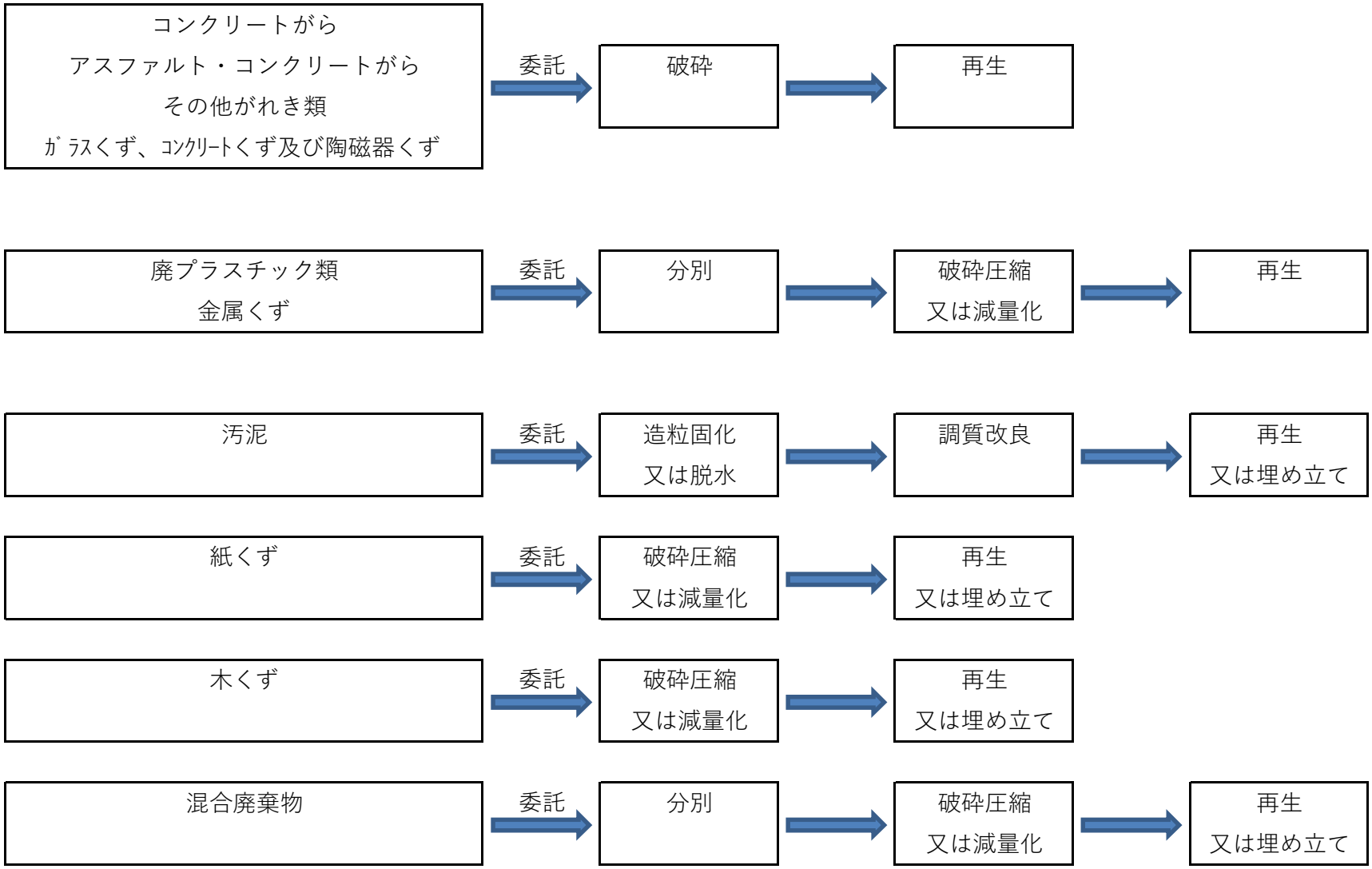
	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	鉱さい	建設混合廃棄物												計
① 現状 全 処 理 委 託 量	112.0t	7.7t	1.5t	62.0t	2.2t	95.0t	3.4t	17.0t	1,031.8t	550.6t	9.7t	15.6t												1,908.5t
優良認定処理業者への処 理 委 託 量	3.6t	7.7t	1.5t	61.3t	2.2t	51.4t	3.4t	17.0t	431.1t	9.0t	9.7t	15.6t												613.5t
再生利用業者への処 理 委 託 量	108.4t	0.0t	0.0t	0.7t	0.0t	43.6t	0.0t	0.0t	600.7t	541.6t	0.0t	0.0t												1,295.0t
認定熱回収業者への処 理 委 託 量																								0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量																								0.0t

【目標】

	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	鉱さい	建設混合廃棄物												計
②計画 全 処 理 委 託 量	100.0t	10.0t	2.0t	50.0t	5.0t	400.0t	5.0t	20.0t	1,000.0t	600.0t	10.0t	20.0t												2,222.0t
優良認定処理業者への処 理 委 託 量	10.0t	10.0t	2.0t	45.0t	5.0t	100.0t	5.0t	20.0t	500.0t	15.0t	10.0t	20.0t												742.0t
再生利用業者への処 理 委 託 量	90.0t	0.0t	0.0t	5.0t	0.0t	300.0t	0.0t	0.0t	500.0t	585.0t	0.0t	0.0t												1,480.0t
認定熱回収業者への処 理 委 託 量																								0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量																								0.0t

産業廃棄物の一連の処理工程

別紙３



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年4月14日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0024

住所 千葉県千葉市中央区中央港1-12-3

法人名 東亜建設工業株式会社千葉支店

代表者 川島 仁

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 [redacted]

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県管轄区域内(千葉市、船橋市、柏市を除く)
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4911 t	全処理委託量	4911 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	81 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4830 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

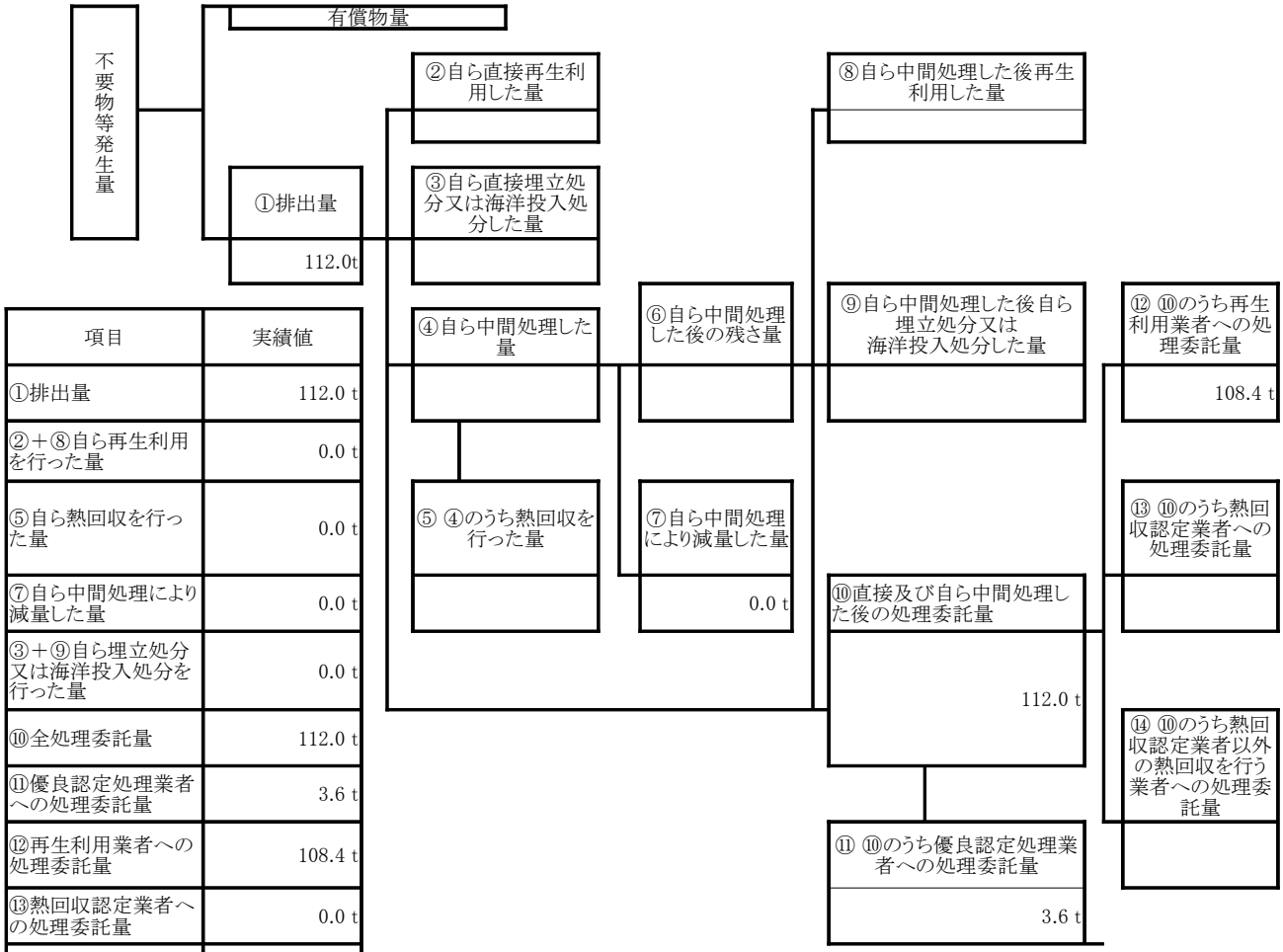
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

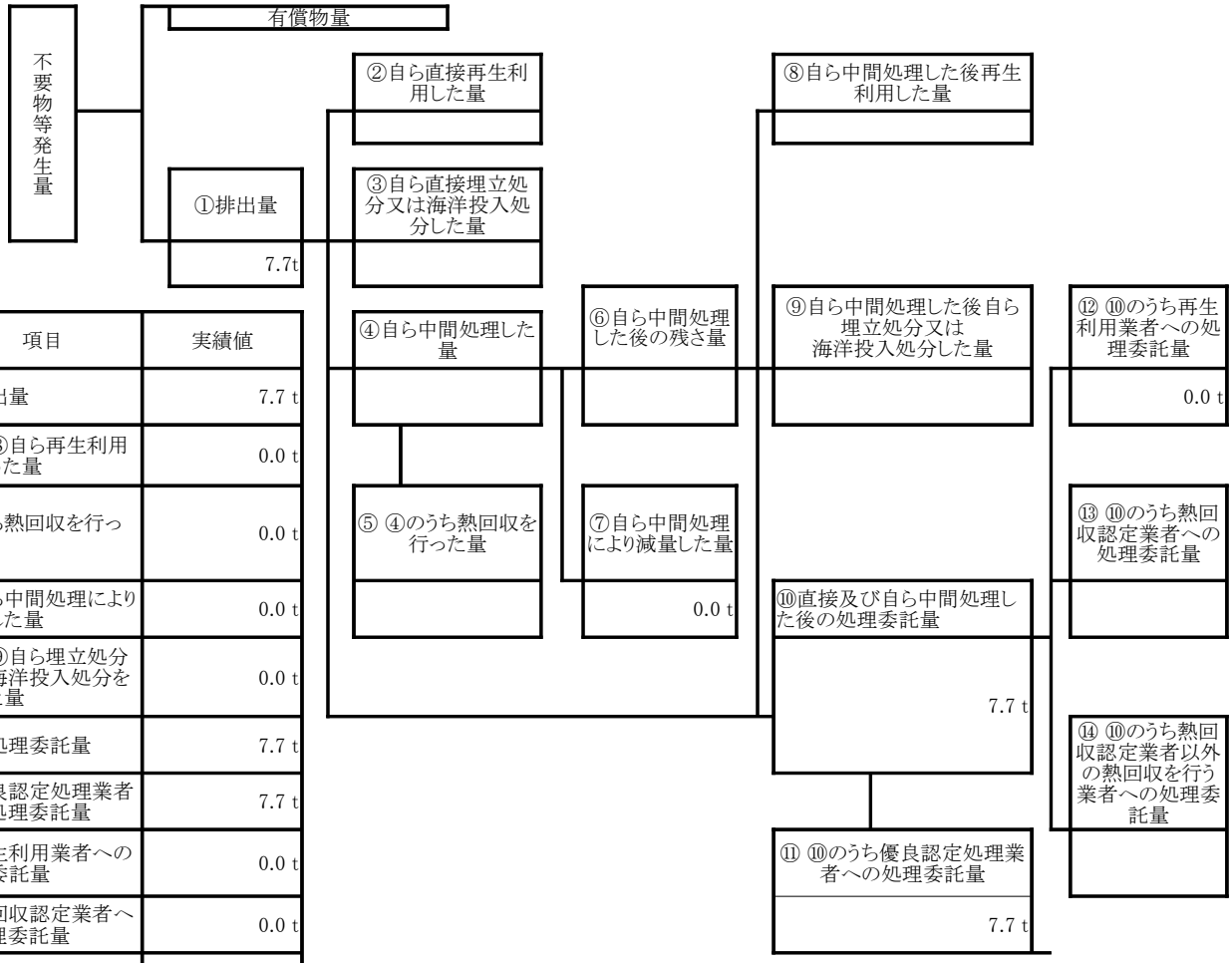


項目	実績値
①排出量	112.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	112.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	108.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃油**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

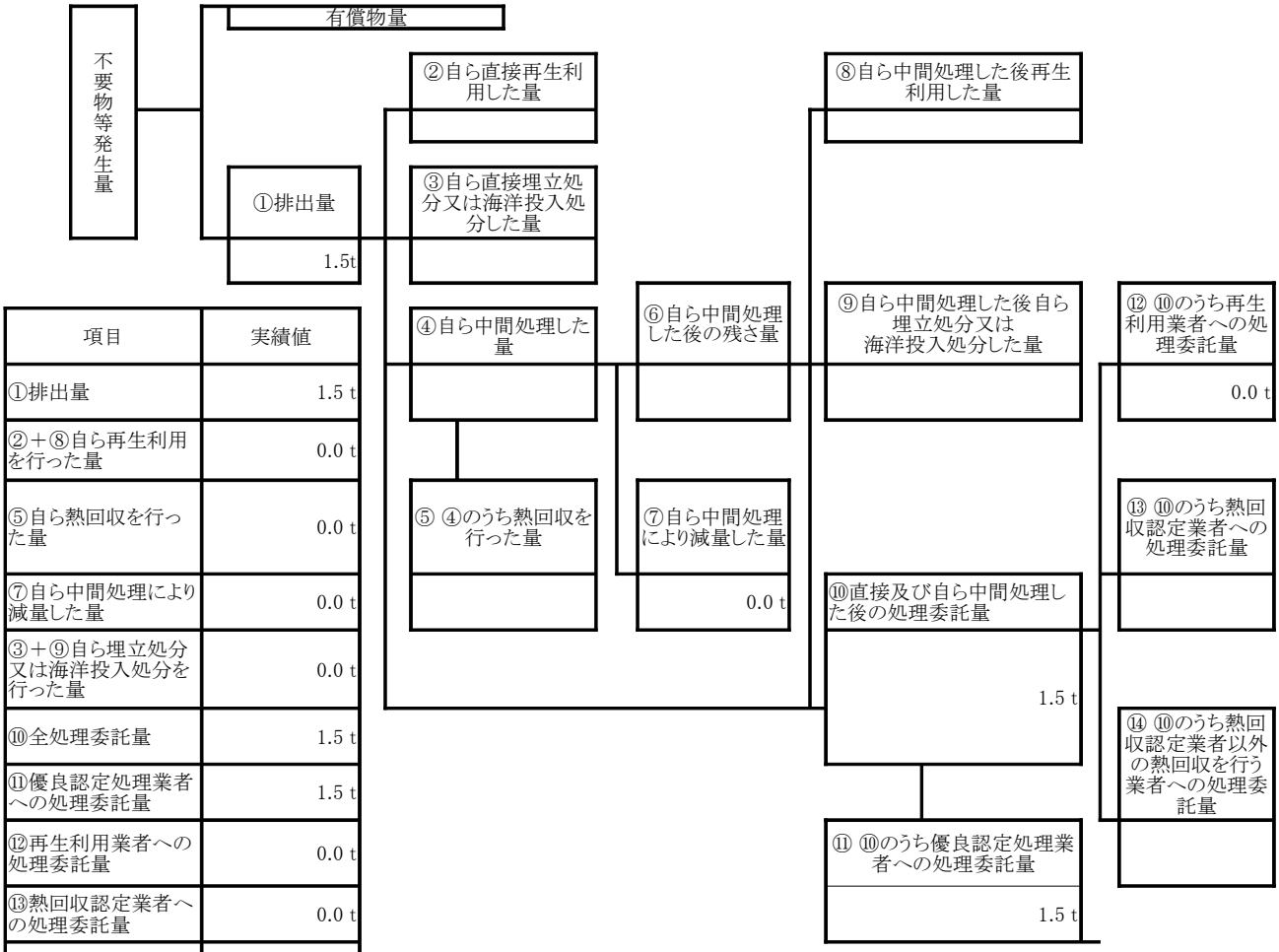


項目	実績値
①排出量	7.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　**廃アルカリ**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

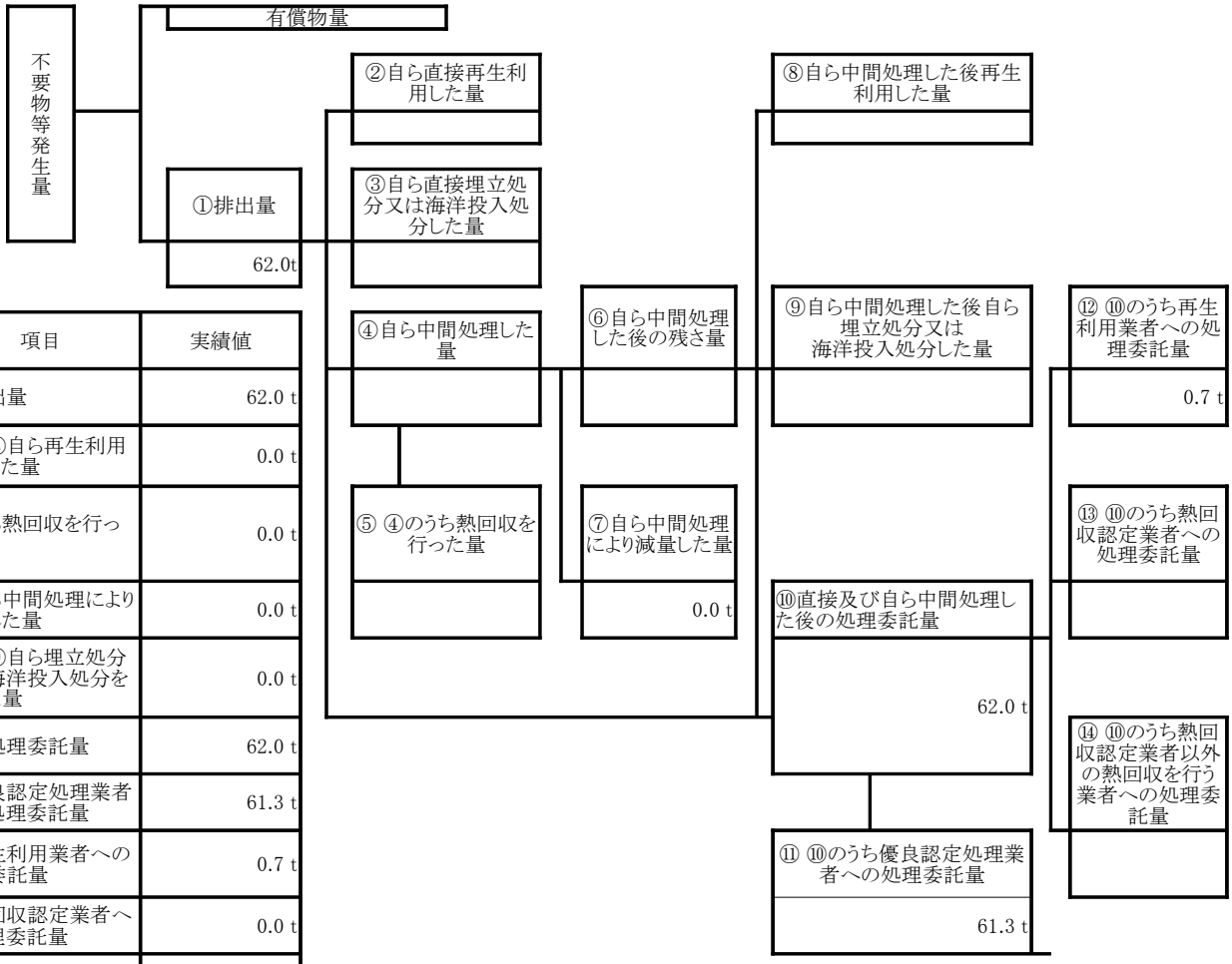


項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



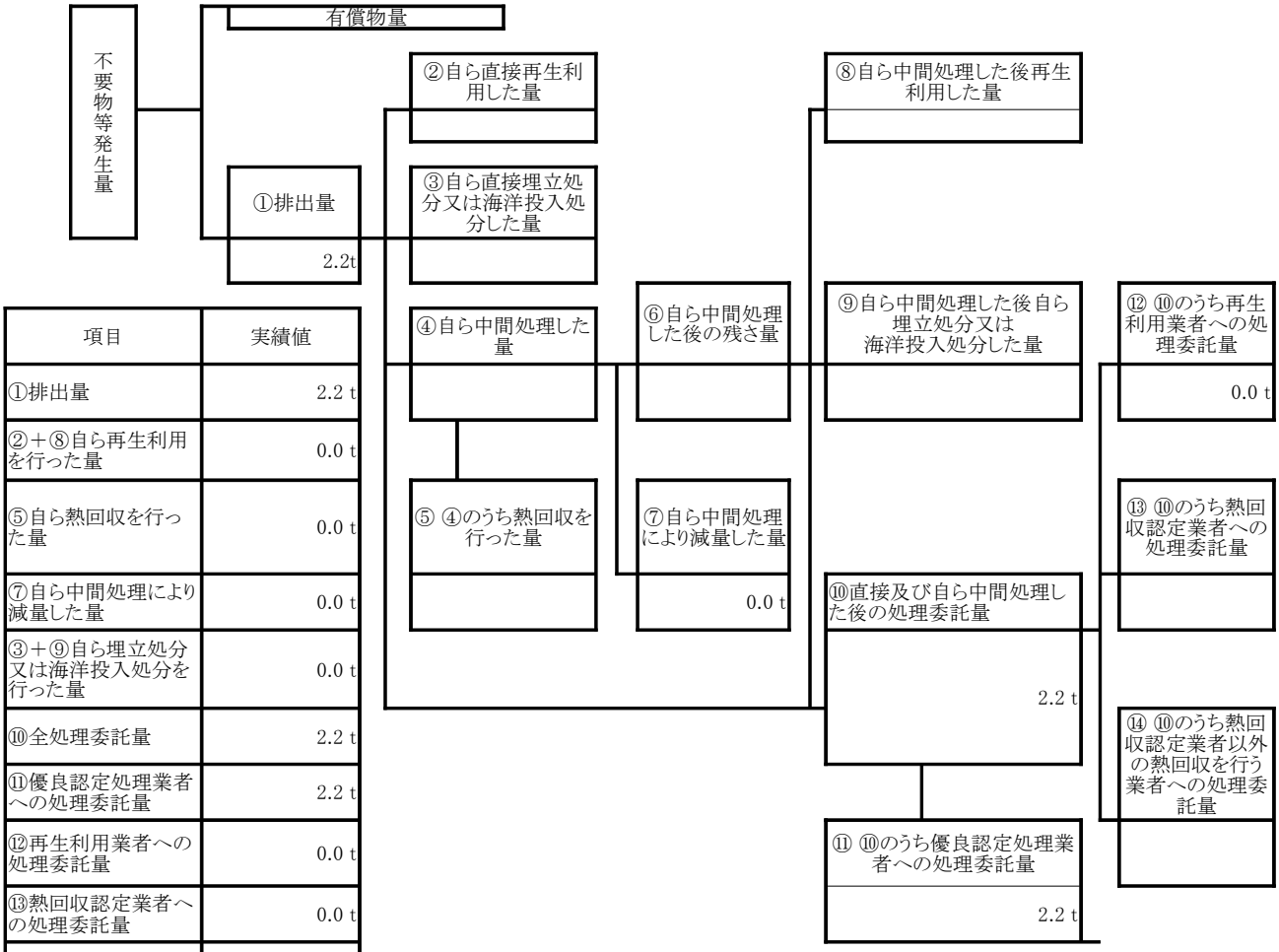
項目	実績値
①排出量	62.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	62.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	61.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

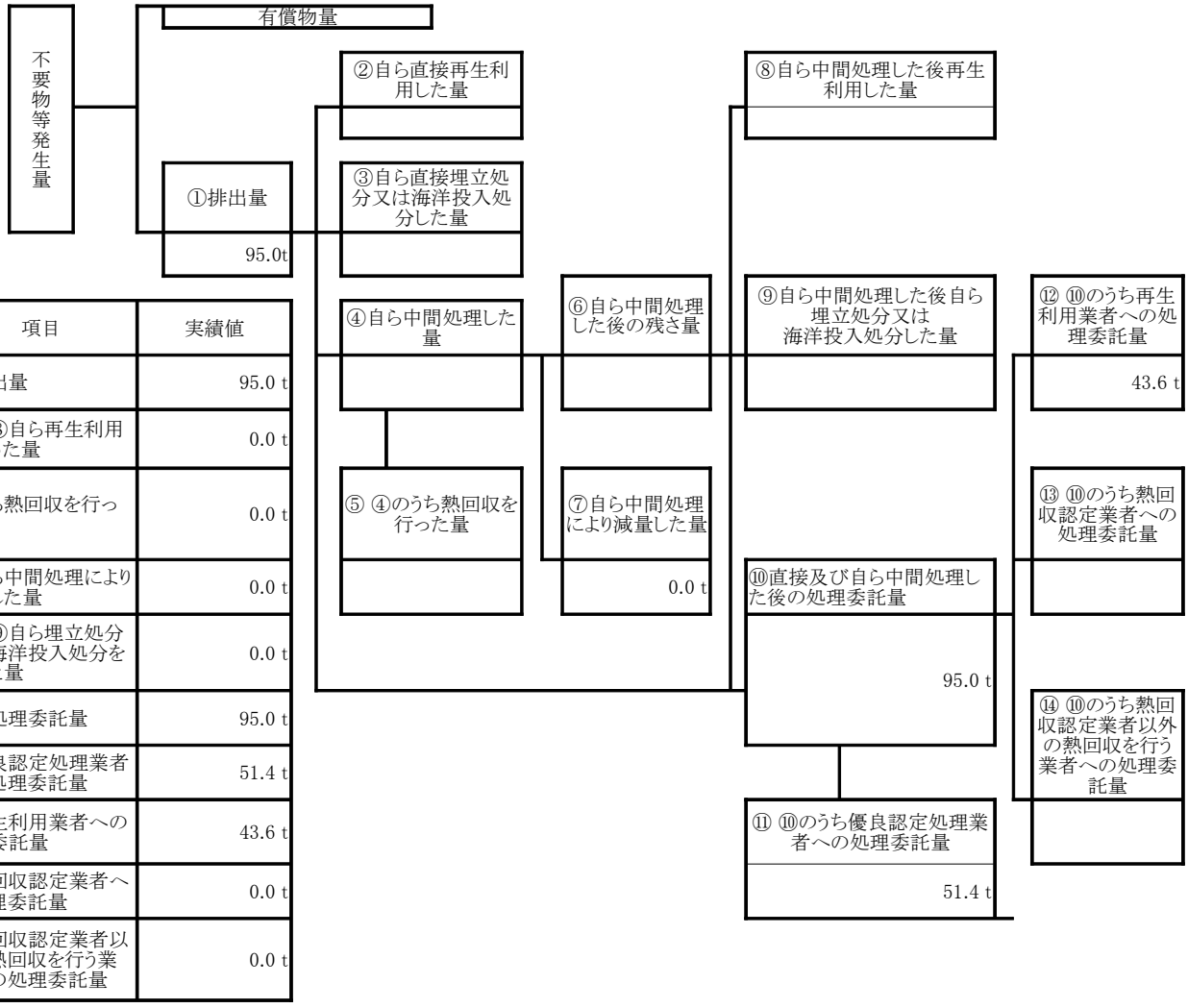


項目	実績値
①排出量	2.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

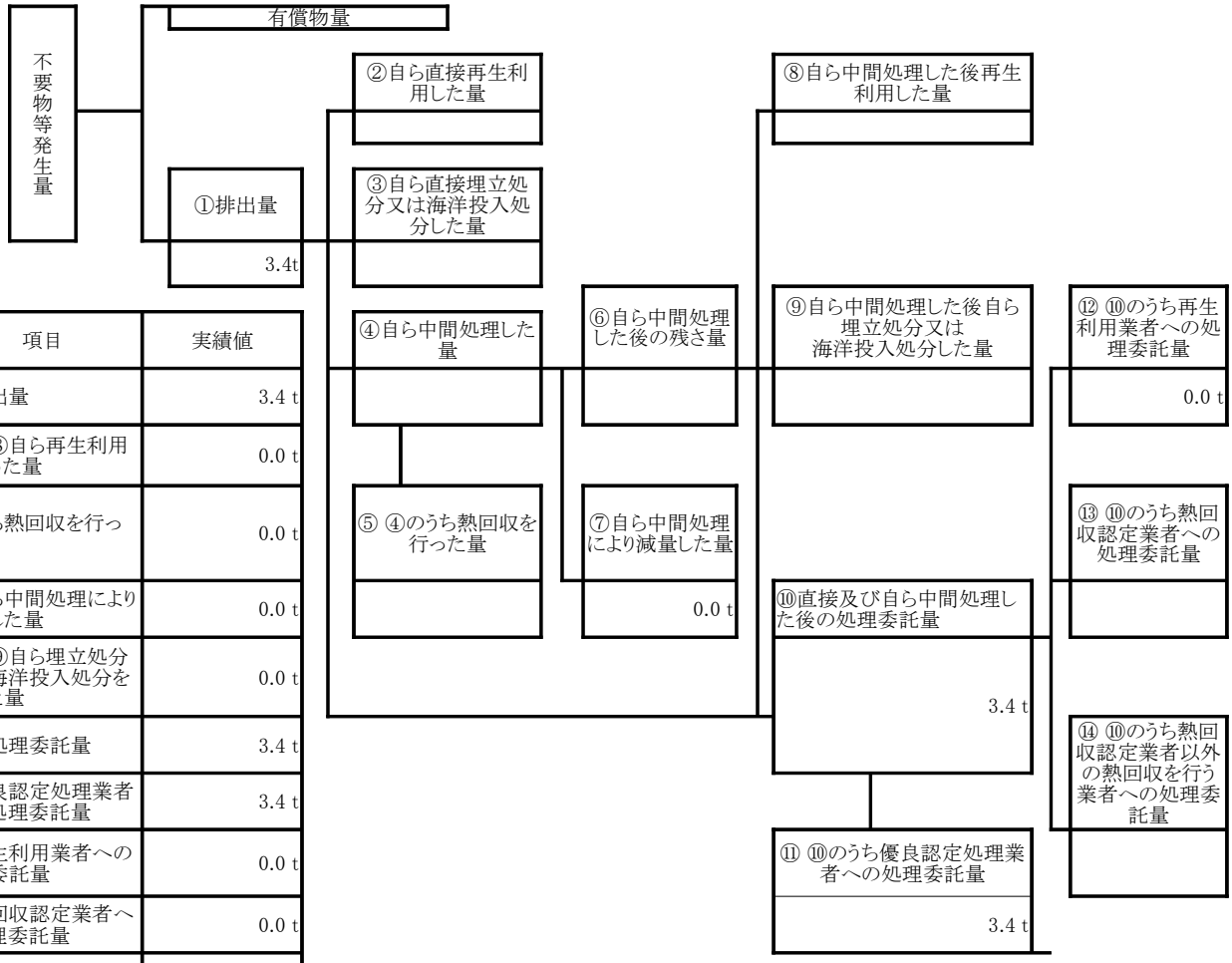


項目	実績値
①排出量	95.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	95.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

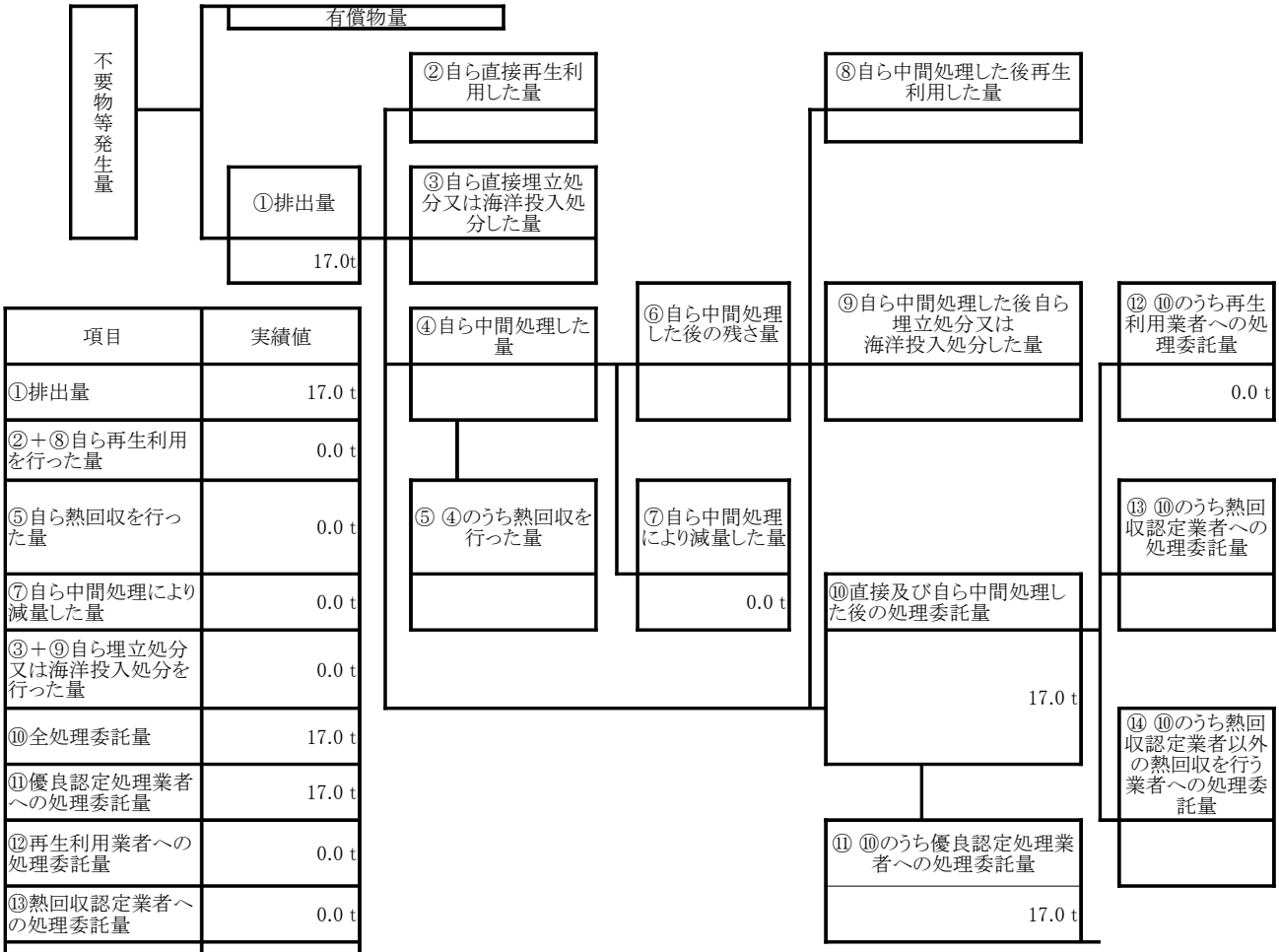


項目	実績値
①排出量	3.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

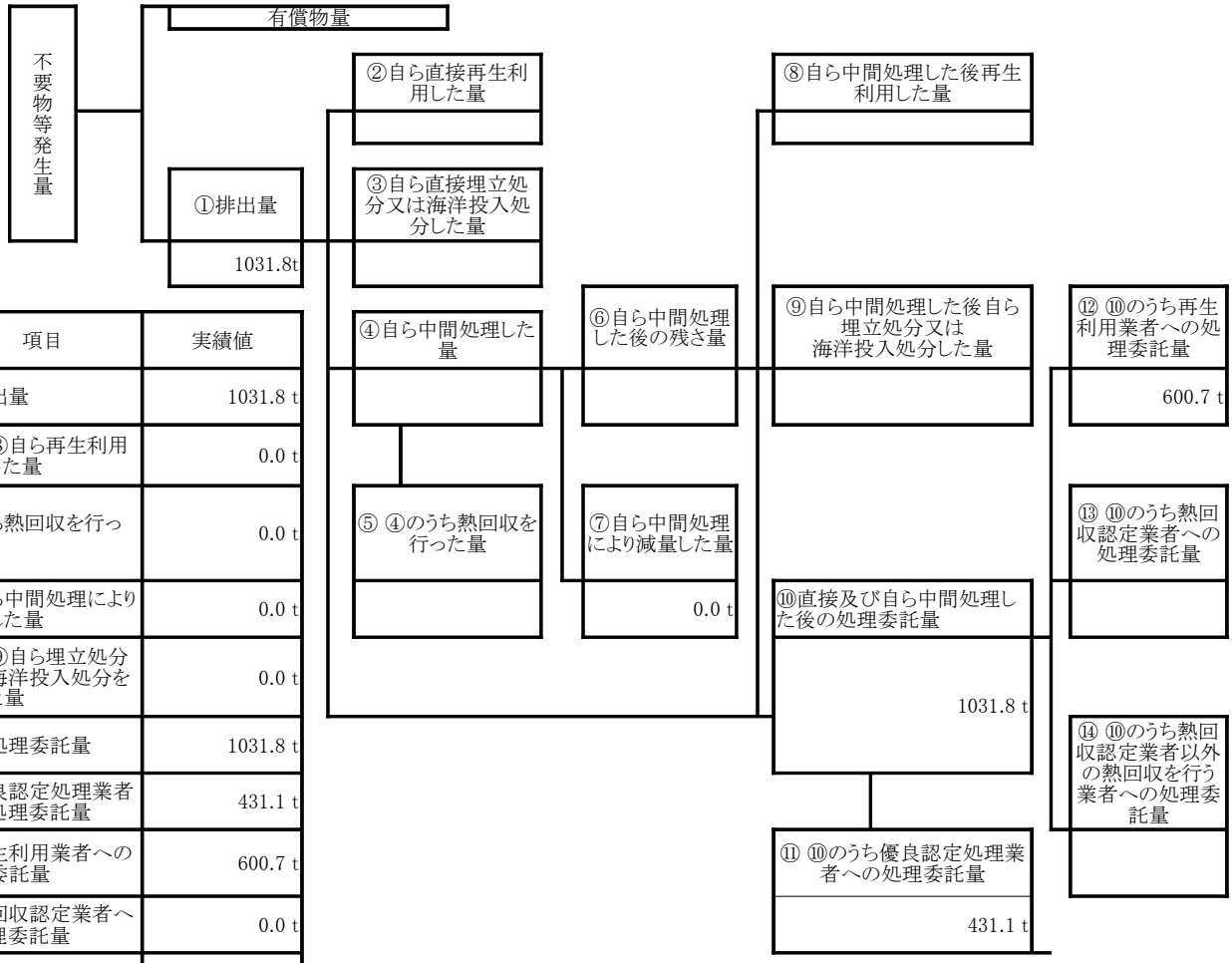


項目	実績値
①排出量	17.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



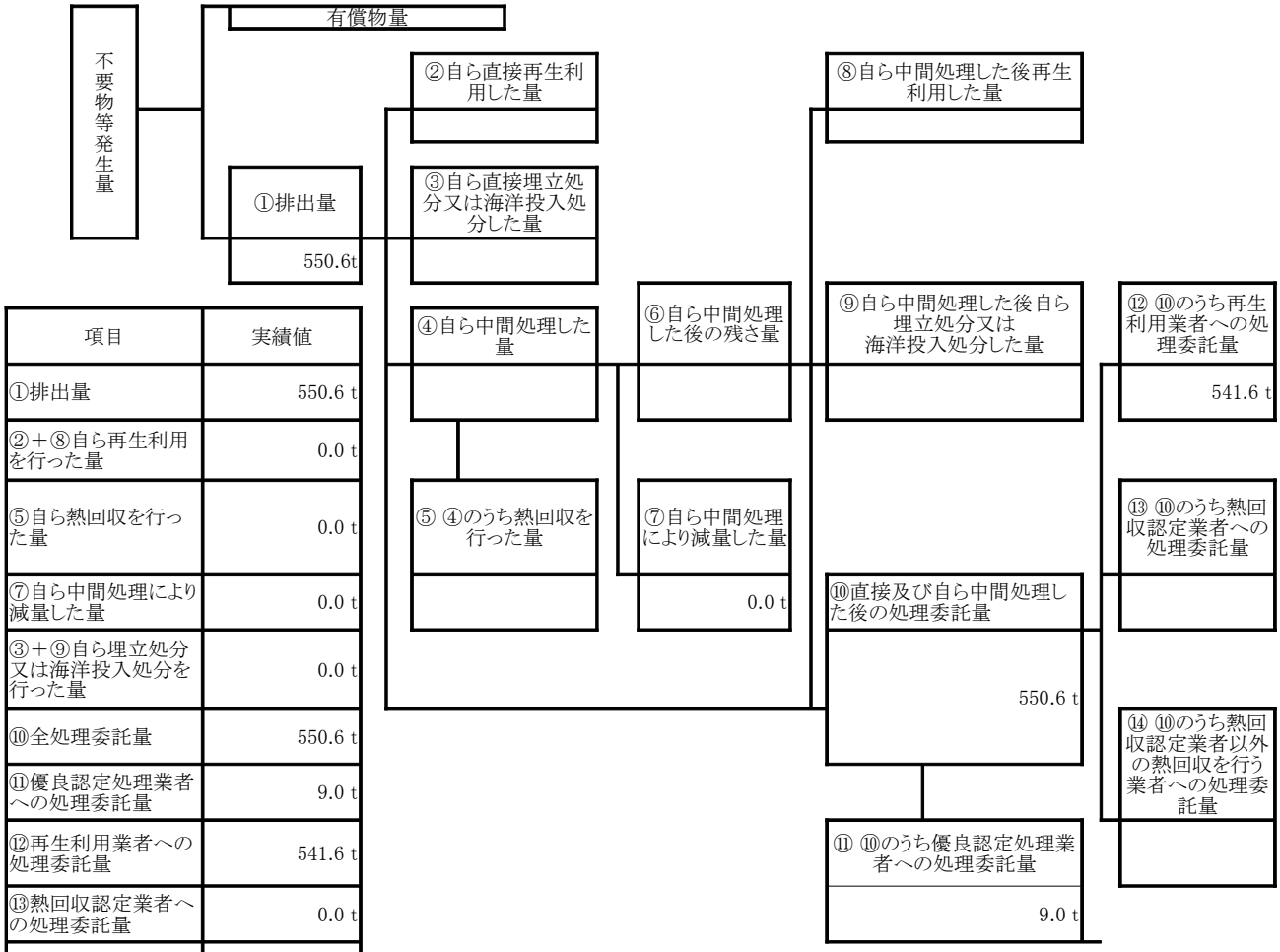
項目	実績値
①排出量	1031.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1031.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	431.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	600.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルトがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

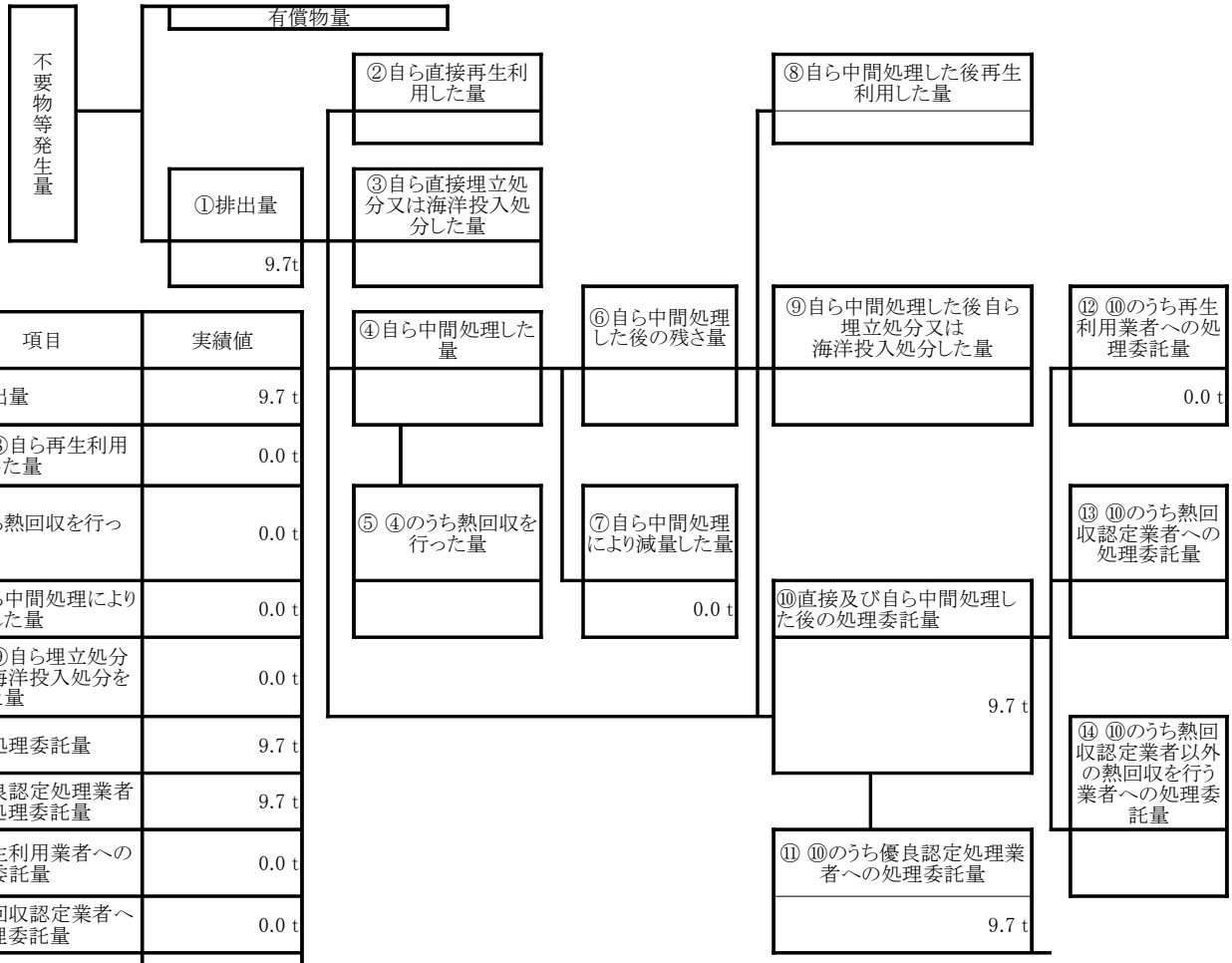


項目	実績値
①排出量	550.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	550.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	541.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　鉱さい　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



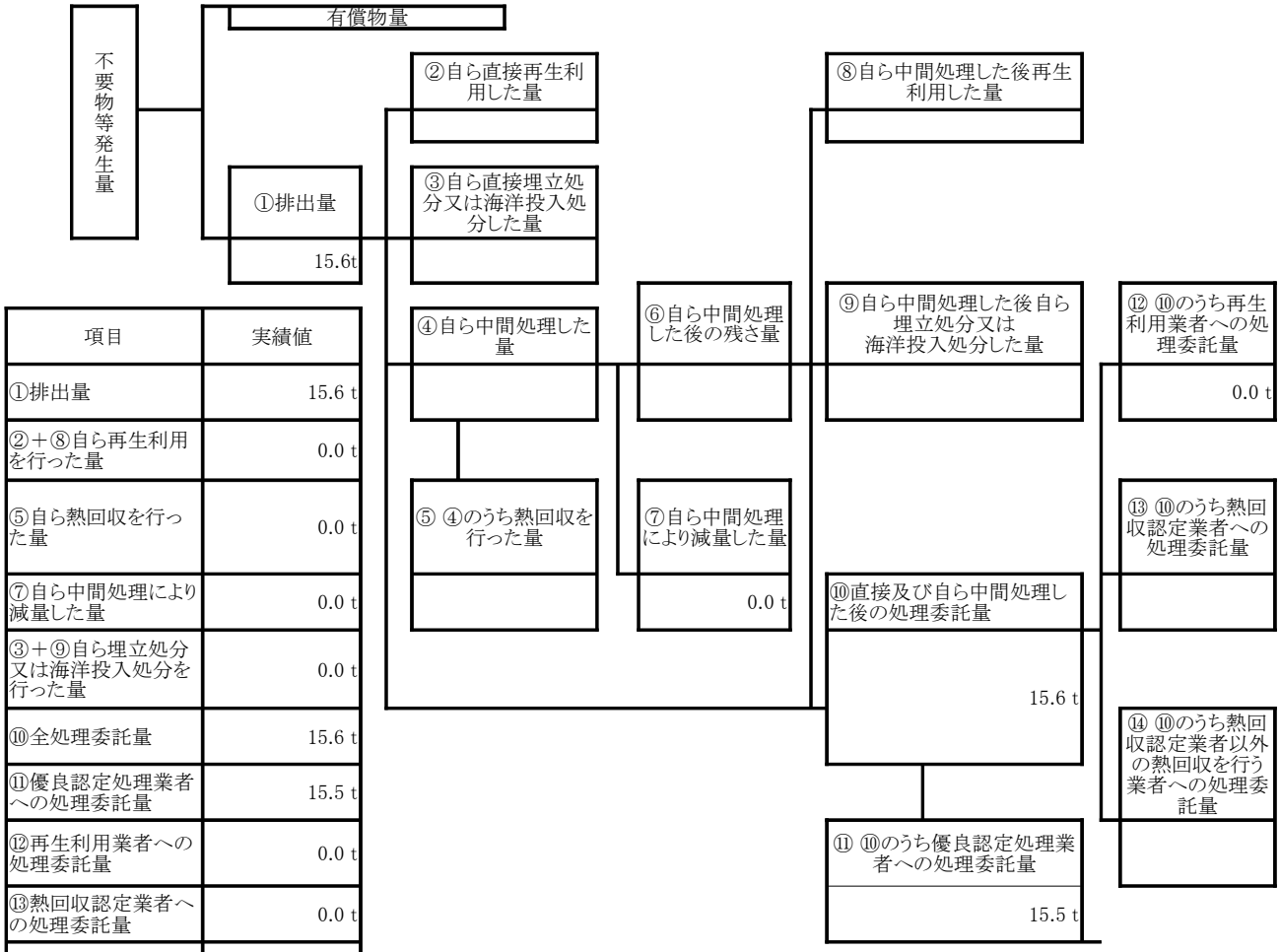
項目	実績値
①排出量	9.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	15.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月2日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　163-1031

住所　東京都新宿区西新宿3-7-1　新宿パークタワー31階

法人名 東亜建設工業株式会社

代表者 北林 勇武

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6758-2606

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社 東日本建築支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿3－7－1 新宿パークタワー31階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

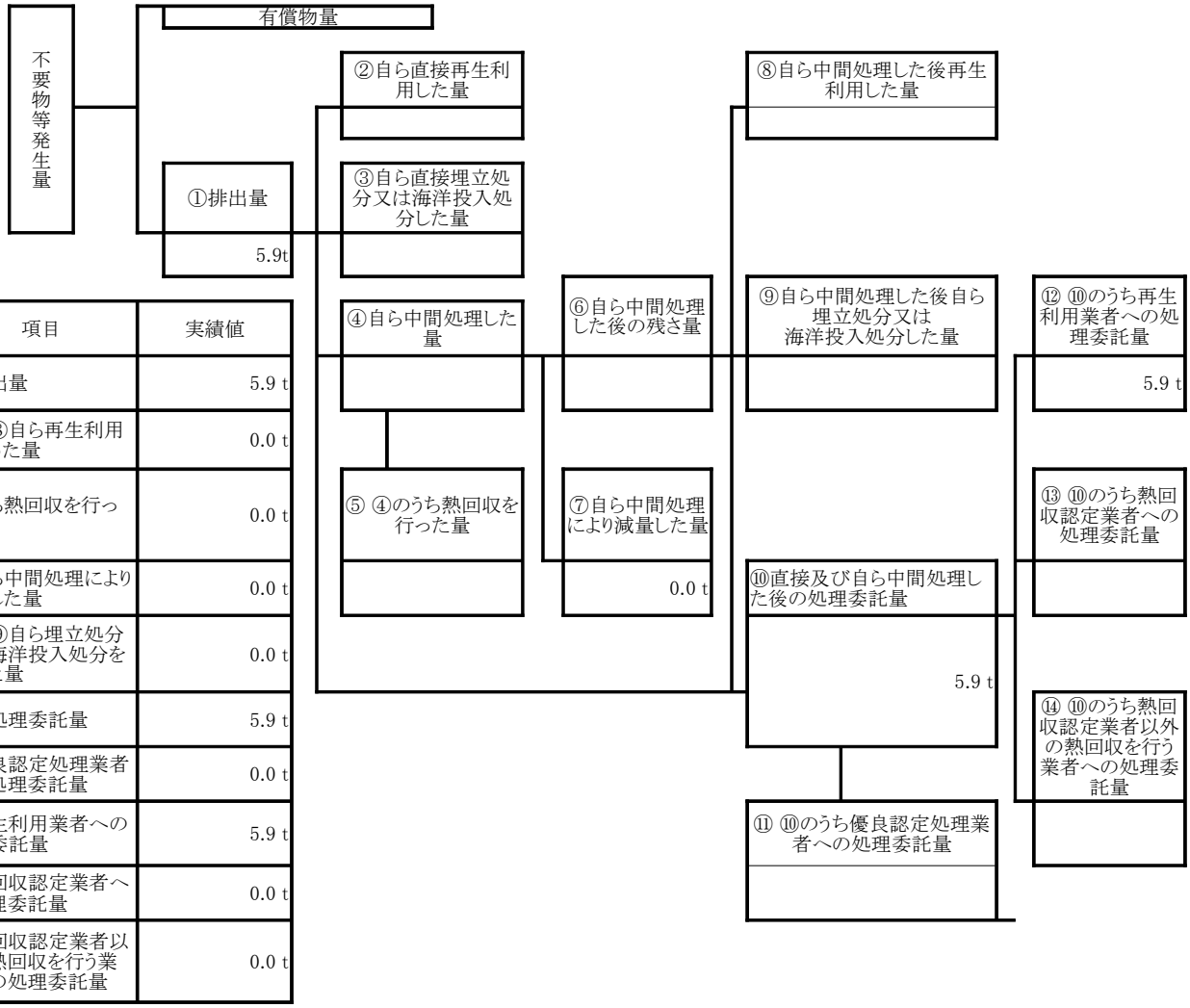
項目	目標値	項目	目標値
排出量	280 t	全処理委託量	280 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	280 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



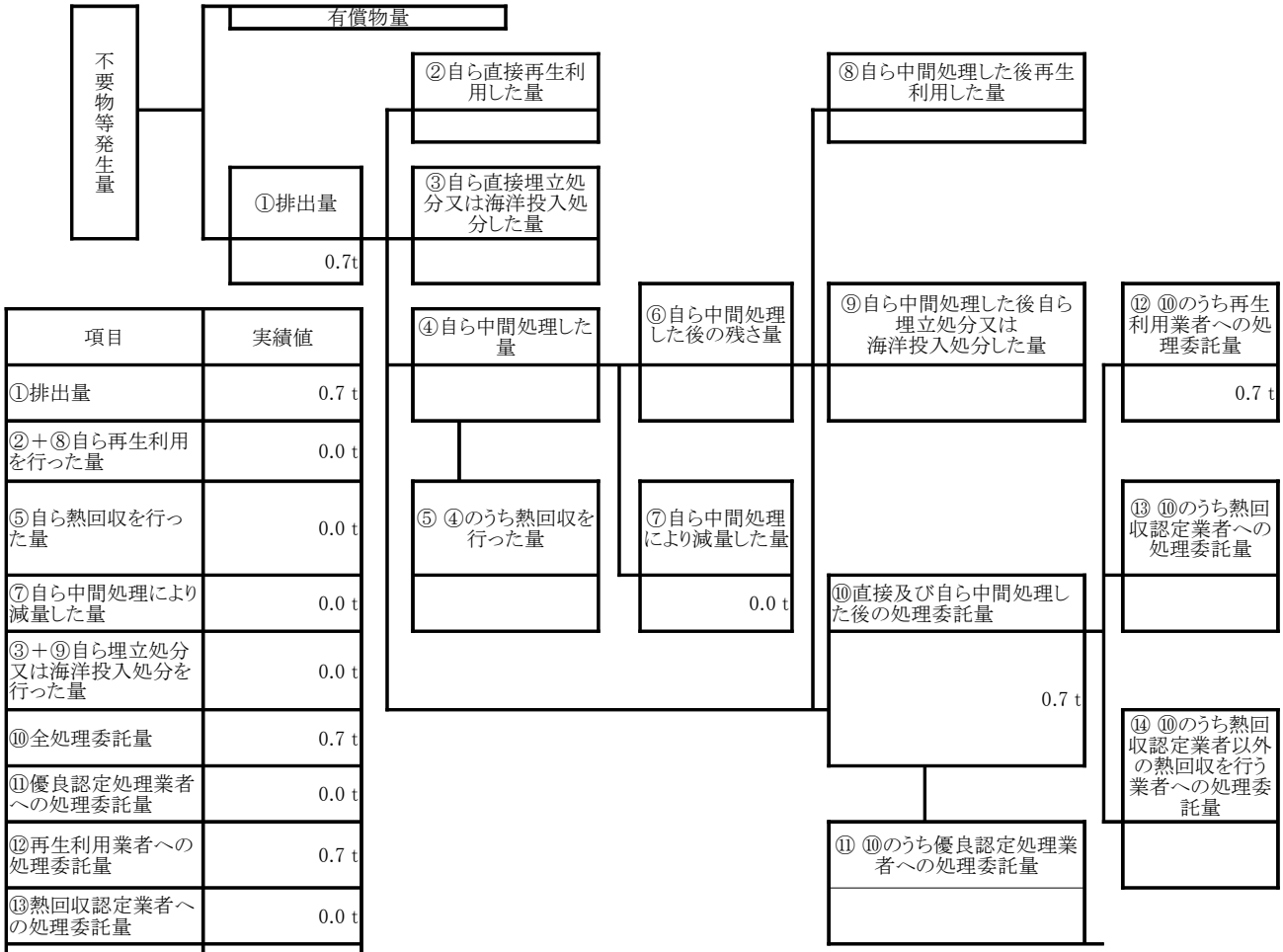
項目	実績値
①排出量	5.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

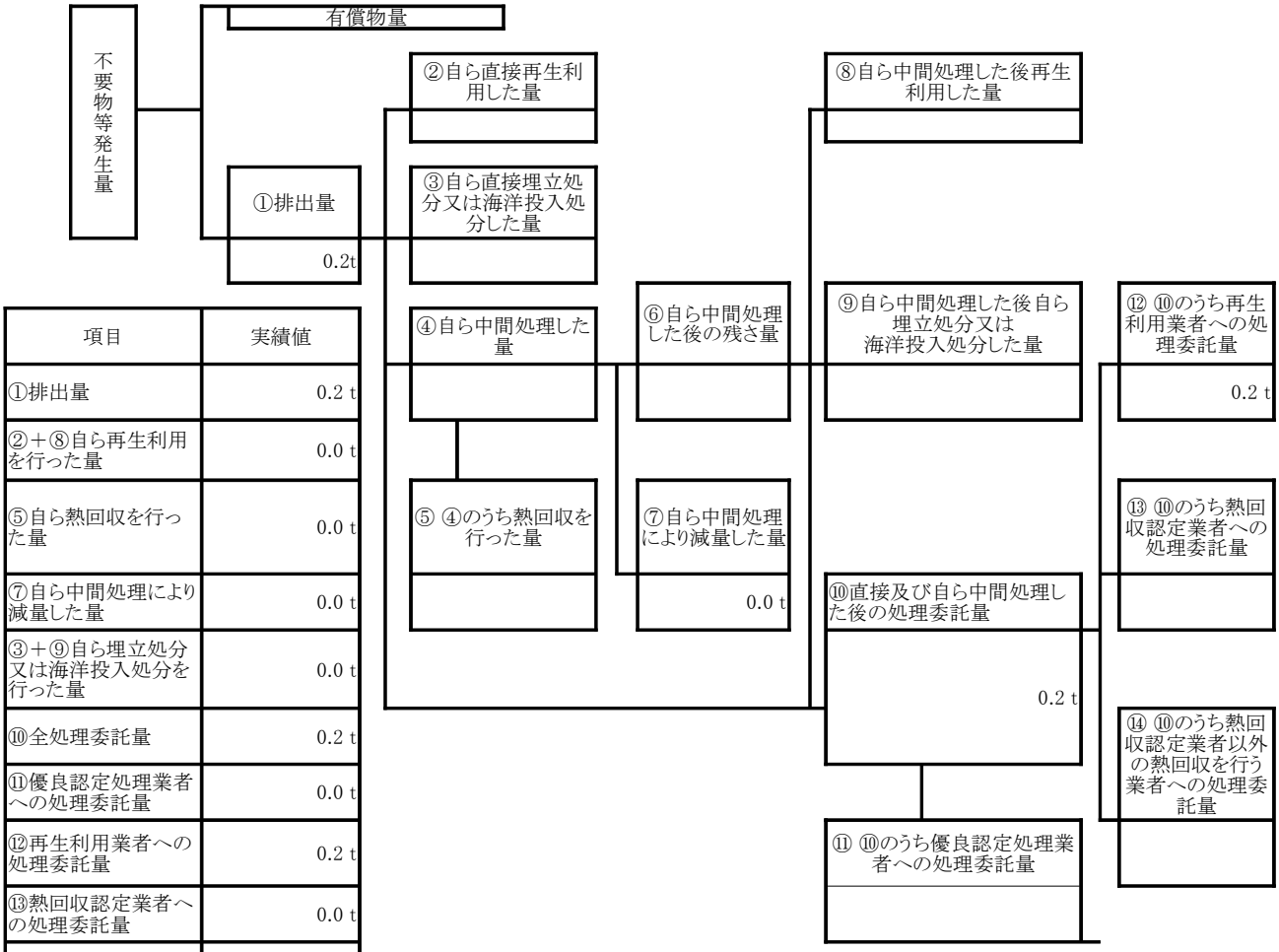


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

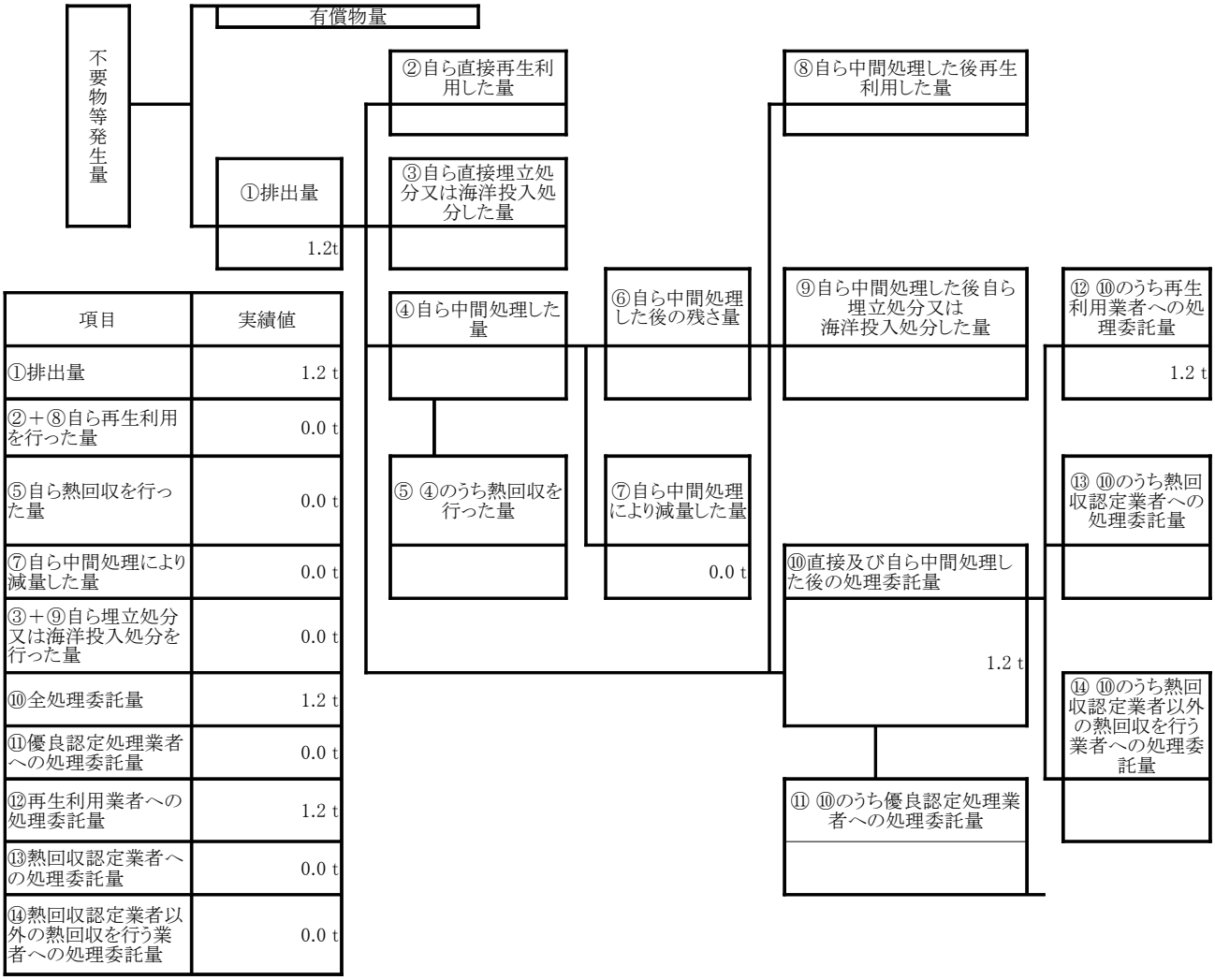


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

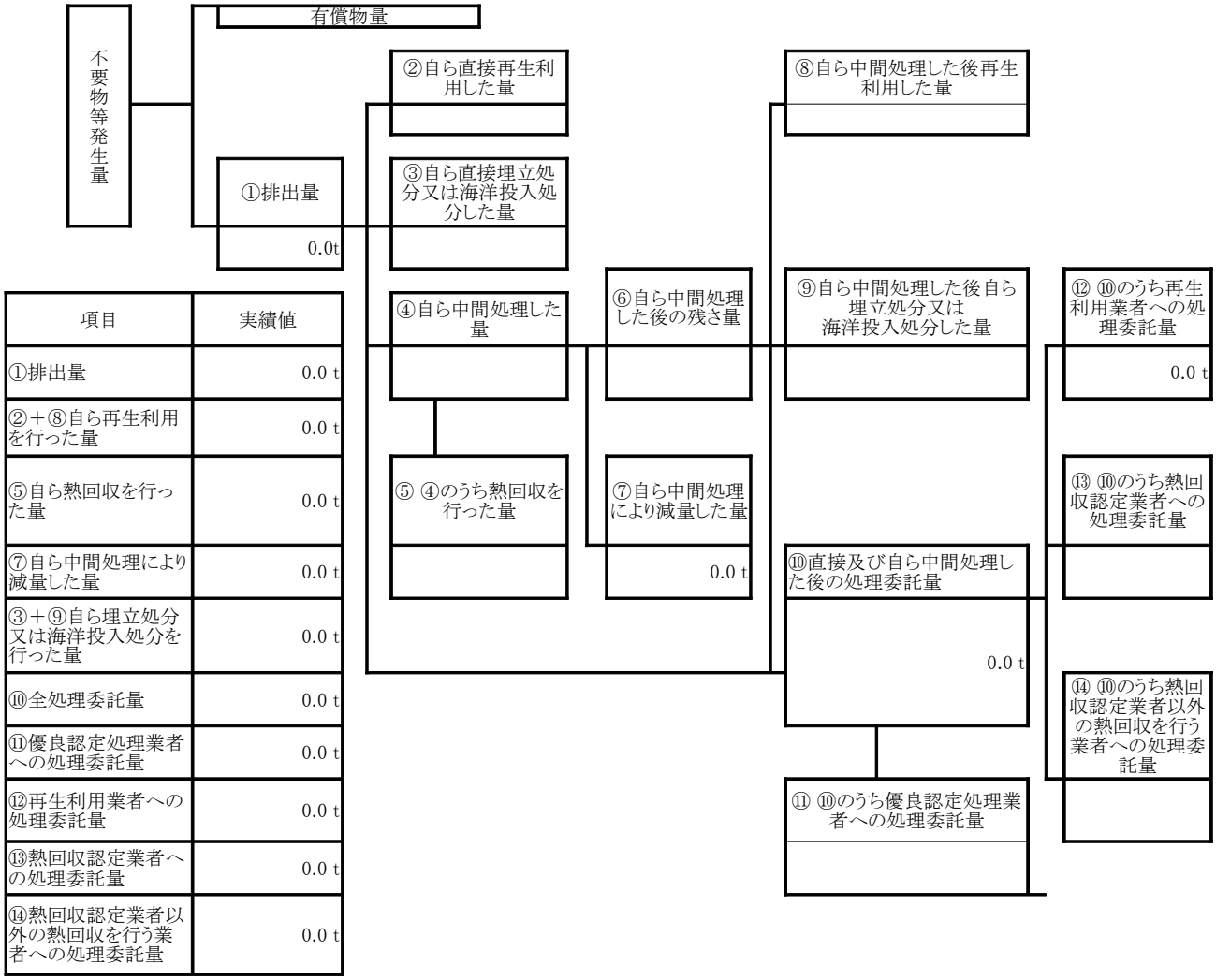


項目	実績値
①排出量	1.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　277-0941

住　所　千葉県柏市高柳485-2

法人名　東亜道路工業株式会社　千葉支店

代表者　山田 直志

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　04-7190-1600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東亜道路工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県柏市高柳485-2
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	3億円
③従業員数	23名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 現況調査等を行い適切な補修工法の検討し、必要以上の施工を抑制する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 同上		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類、汚泥、管理型混合廃棄物 発生時の段階で細かく分別し、中間処理施設へ運搬、再資源化する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
		（これまでに実施した取組）	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
		（今後実施する予定の取組）	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
		（これまでに実施した取組）	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	別紙の通り
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
		（今後実施する予定の取組）	

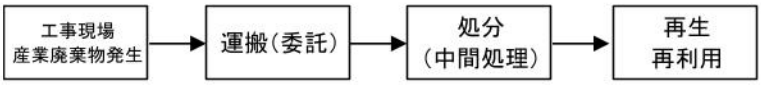
t	t
t	t
t	t
t	t
t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
処理業者と委託契約締結時には現場位置、搬出時期、運搬業者等を確認する。</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・処理業者と委託契約締結時には現場位置、搬出時期、運搬業者等を確認する。 ・マニュフェスト伝票の管理を徹底する。 ・処理業者と委託後の定期的確認を行う。		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物　一連の処理工程



（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃			
		排　出　量	786　t	36.5　t	1296　t	0.06　t	28.34　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃			
		排　出　量	1000　t	50　t	100　t	0　t	20　t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃				
	全処理委託量	786 t	36.5 t	1296 t	0.06 t	28.34 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	786 t	36.5 t	1296 t	0.06 t	28.34 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	アス・コンがら	コンがら	がれき類	汚泥	管理型混廃				
	全処理委託量	1000 t	50 t	100 t	0 t	20 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	1000 t	50 t	100 t	0 t	20 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月16日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　188-0014

住　所　東京都西東京市芝久保町4-26-3

法人名　株式会社東栄住宅

代表者　代表取締役社長　佐藤 千尋

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　042-463-8178

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東栄住宅
事業場の所在地	東京都西東京市芝久保町4-26-3
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	売上高188,952百万円（前年度実績）
③従業員数	797人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	処理工程参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙1-1・1-2・1-3参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	任意様式参照
排出量	229.04 t	t

（これまでに実施した取組）

・産業廃棄物の発生抑制と現場分別の徹底を図ること及び委託業者の選定・指導・教育を中心に進めることにより、排出量の削減及び再資源化率の向上を図っている。

・工程別に余剰材の管理を行い建設廃棄物の発生量の削減を図っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	任意様式参照
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、産業廃棄物の発生抑制と現場分別の徹底を図ること及び委託業者の選定・指導・教育を中心に進めることにより、排出量の削減及び再資源化率の向上を図る。

・引き続き、工程別に余剰材の管理を行い建設廃棄物の発生量の削減を図る

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・大工・下請業者の指導・教育を中心に進め、工程別に発生した建設廃棄物を再資源化可能な品目毎に分別して保管することに努めている。
・別紙2分別ルール参照

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・引き続き、大工・下請業者の指導・教育を中心に進め、工程別に発生した建設廃棄物を再資源化可能な品目毎に分別して保管することに努める。
・別紙2分別ルール参照

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>任意様式参照</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>任意様式参照</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>任意様式参照</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>任意様式参照</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	任意様式参照
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	任意様式参照
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	任意様式参照
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・東京都の優良業者認定制度の認定業者（産廃エキスパート・産廃プロフェッショナル）に委託している。
・処理業者と委託契約を結ぶに当たっての事前の現地確認（経営状況、経営者の人柄、処理状況、維持管理状況、周辺状況）と委託後の定期的な確認を行っている。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>任意様式参照</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・引き続き、東京都の優良業者認定制度の認定業者（産廃エキスパート・産廃プロフェッショナル）に委託する。
・引き続き、処理業者と委託契約を結ぶに当たっての事前の現地確認（経営状況、経営者の人柄、処理状況、維持管理状況、周辺状況）と委託後の定期的な確認をする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程

木くず⇒破砕・焼却⇒破砕後に再生利用、焼却は溶融固化して埋立

紙くず⇒圧縮・焼却⇒再生利用、焼却は溶融固化して埋立

金属くず⇒破砕・切断⇒再生利用

廃プラスチック類⇒破砕圧縮・焼却⇒再生利用、焼却は溶融固化して埋立

石膏ボード⇒破砕・切断⇒再生利用

その他のガラス陶磁器くず⇒破砕⇒埋立

がれき類⇒再生利用

混合廃棄物⇒選別・破砕・焼却⇒選別・破砕後に各品目に振り分け、焼却は溶融固化して埋立

繊維くず⇒圧縮・焼却⇒再生利用、焼却は溶融固化して埋立

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	ガラ陶	廃プラ	金属くず	がれき類		
		排　出　量	229.038 t	149.755 t	661.847 t	53.812 t	270.185 t	60.828 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	ガラ陶	廃プラ	金属くず	がれき類		
		排　出　量	225.000 t	145.000 t	650.000 t	53.000 t	265.000 t	60.000 t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	ガラ陶	廃プラ	金属くず	がれき類		
		全処理委託量	229.038 t	149.755 t	661.847 t	53.812 t	270.185 t	60.828 t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	167.522 t	109.534 t	484.085 t	39.359 t	197.617 t	44.491 t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	229.028 t	135.788 t	459.983 t	35.811 t	270.185 t	16.431 t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.010 t	13.967 t	0.027 t	12.303 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	ガラ陶	廃プラ	金属くず	がれき類		
		全処理委託量	225.000 t	145.000 t	650.000 t	53.000 t	265.000 t	60.000 t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	165.000 t	110.000 t	480.000 t	38.000 t	195.000 t	45 t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	225.000 t	135.000 t	450.000 t	36.000 t	265.000 t	15 t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	10.000 t	t	12.000 t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月16日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　188-0014

住所 東京都西東京市芝久保町4-26-3

法人名 株式会社東栄住宅

代表者 代表取締役社長　佐藤 千尋

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 042-463-2231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東栄住宅
事業場の所在地	東京都西東京市芝久保町4-26-3
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1282 t	全処理委託量	1282 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	832 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1041 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	29 t

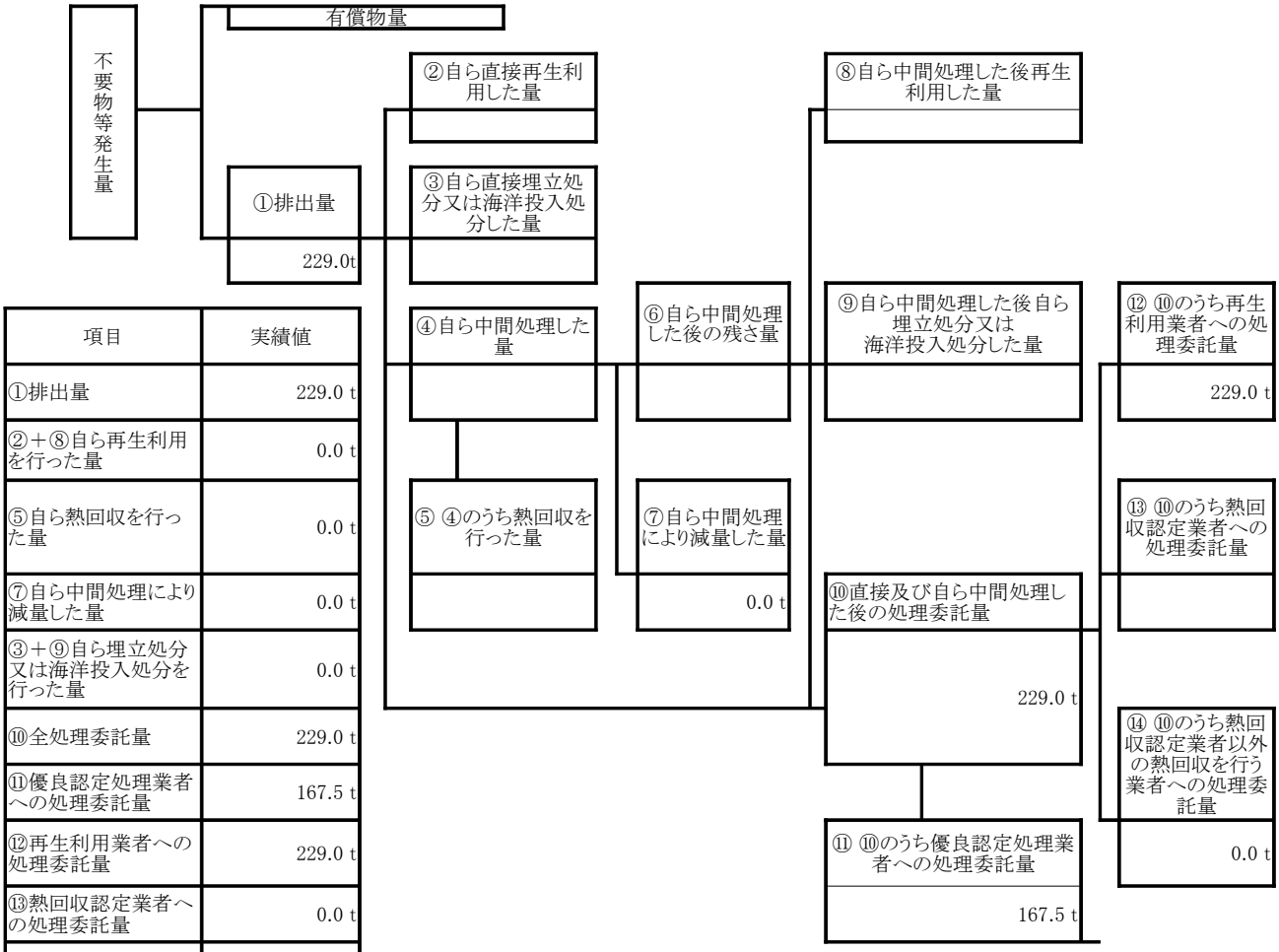
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

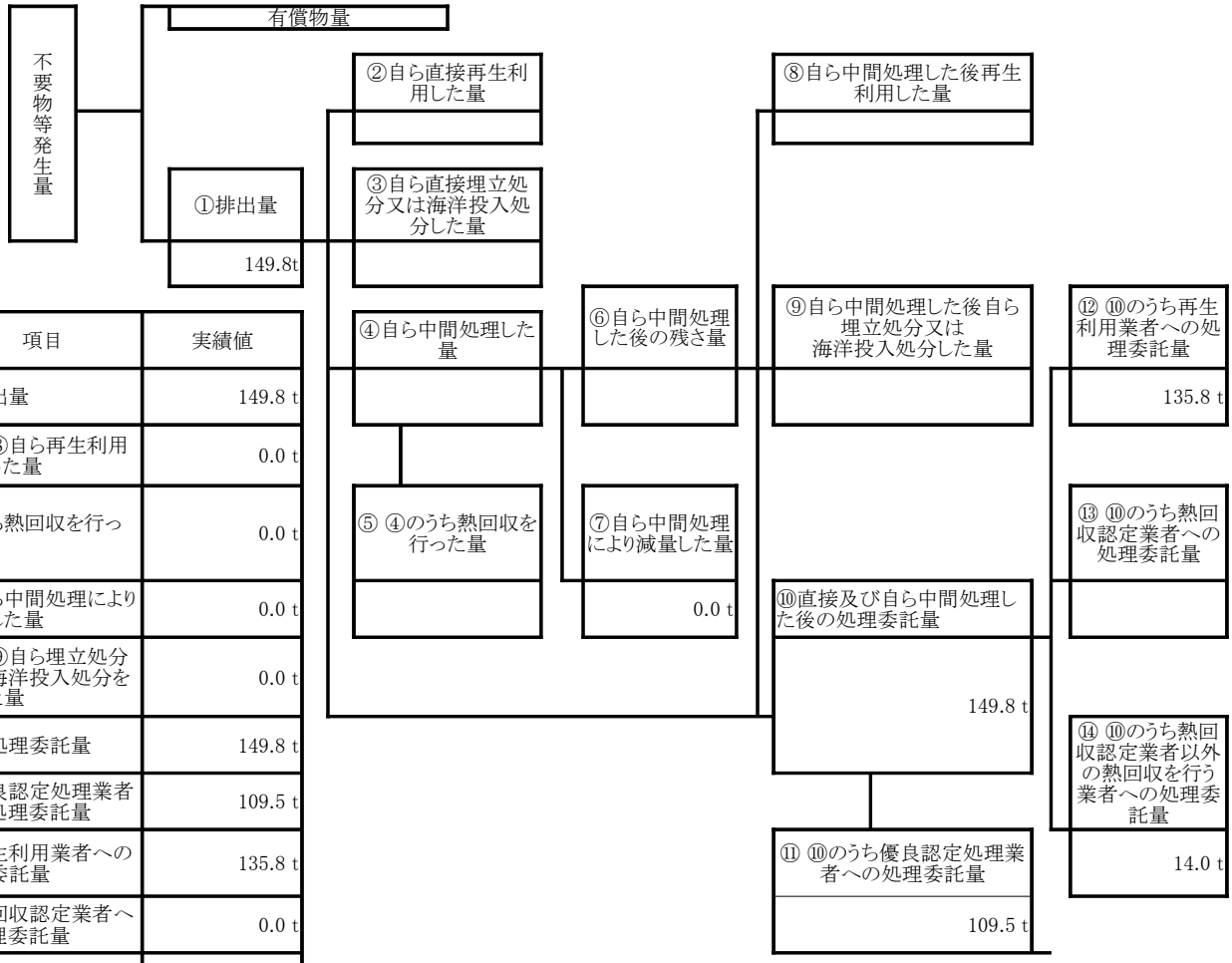


項目	実績値
①排出量	229.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	229.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	167.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	229.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

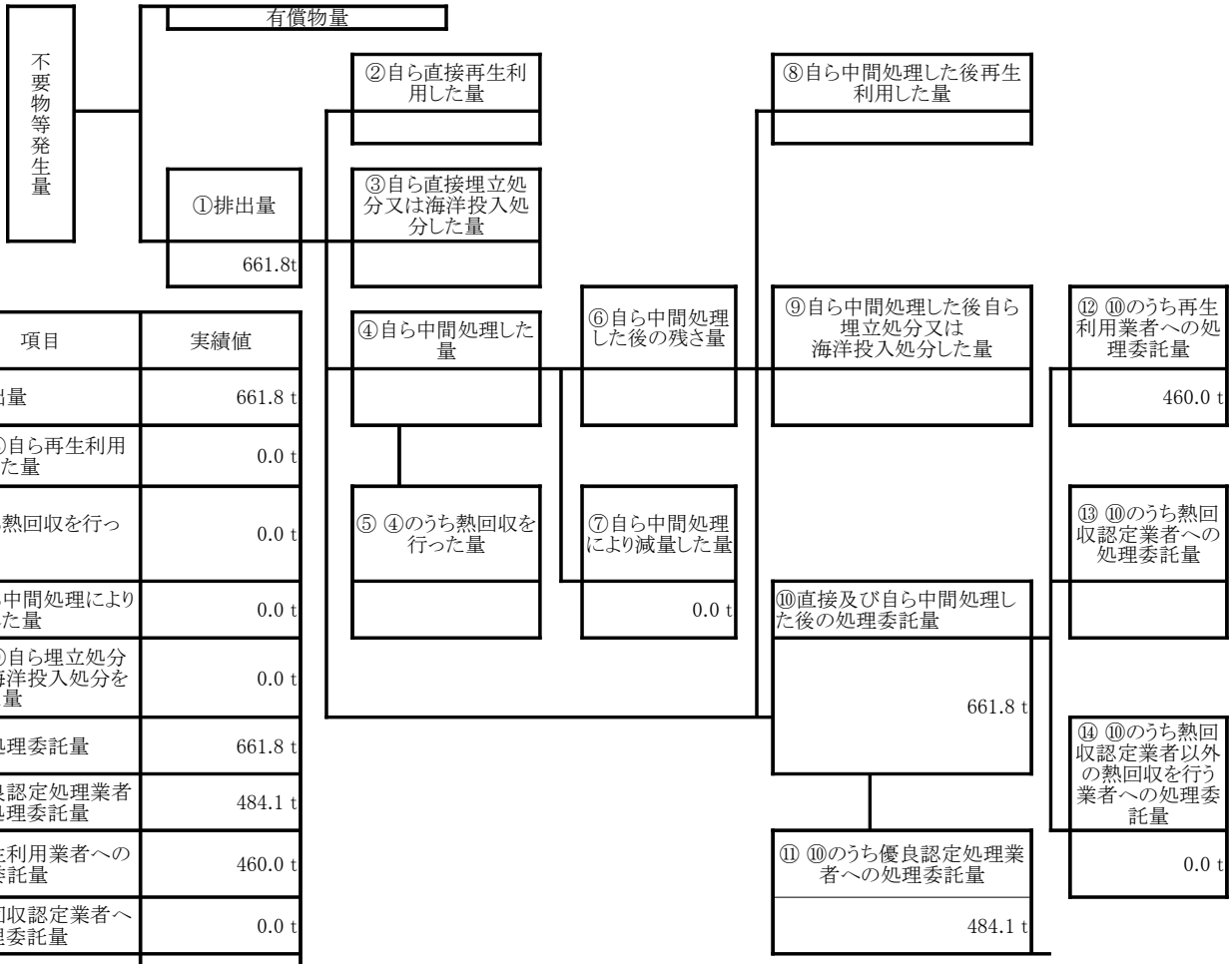


項目	実績値
①排出量	149.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	149.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	109.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	135.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	14.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**ガラ陶**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

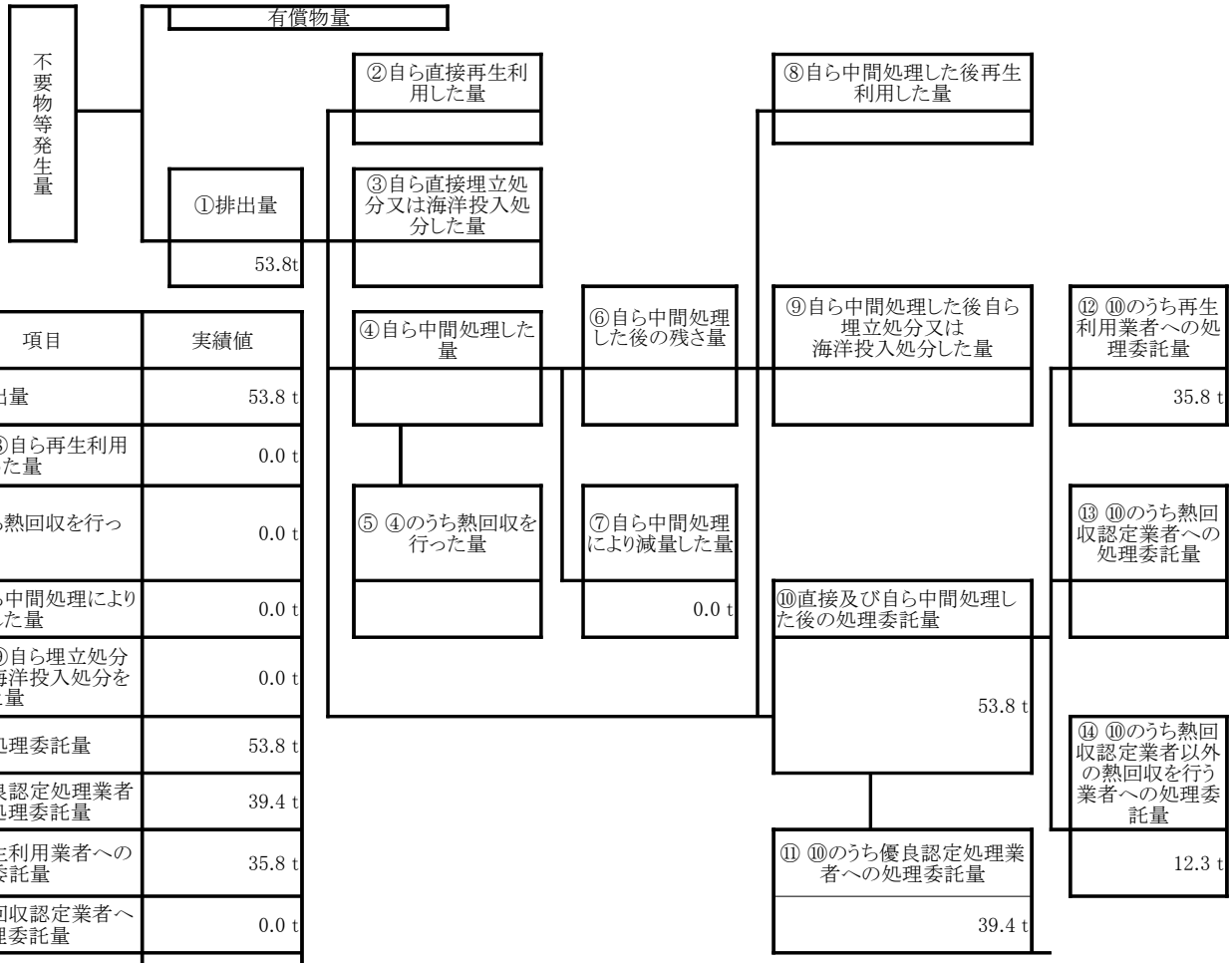


項目	実績値
①排出量	661.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	661.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	484.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	460.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃プラ　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

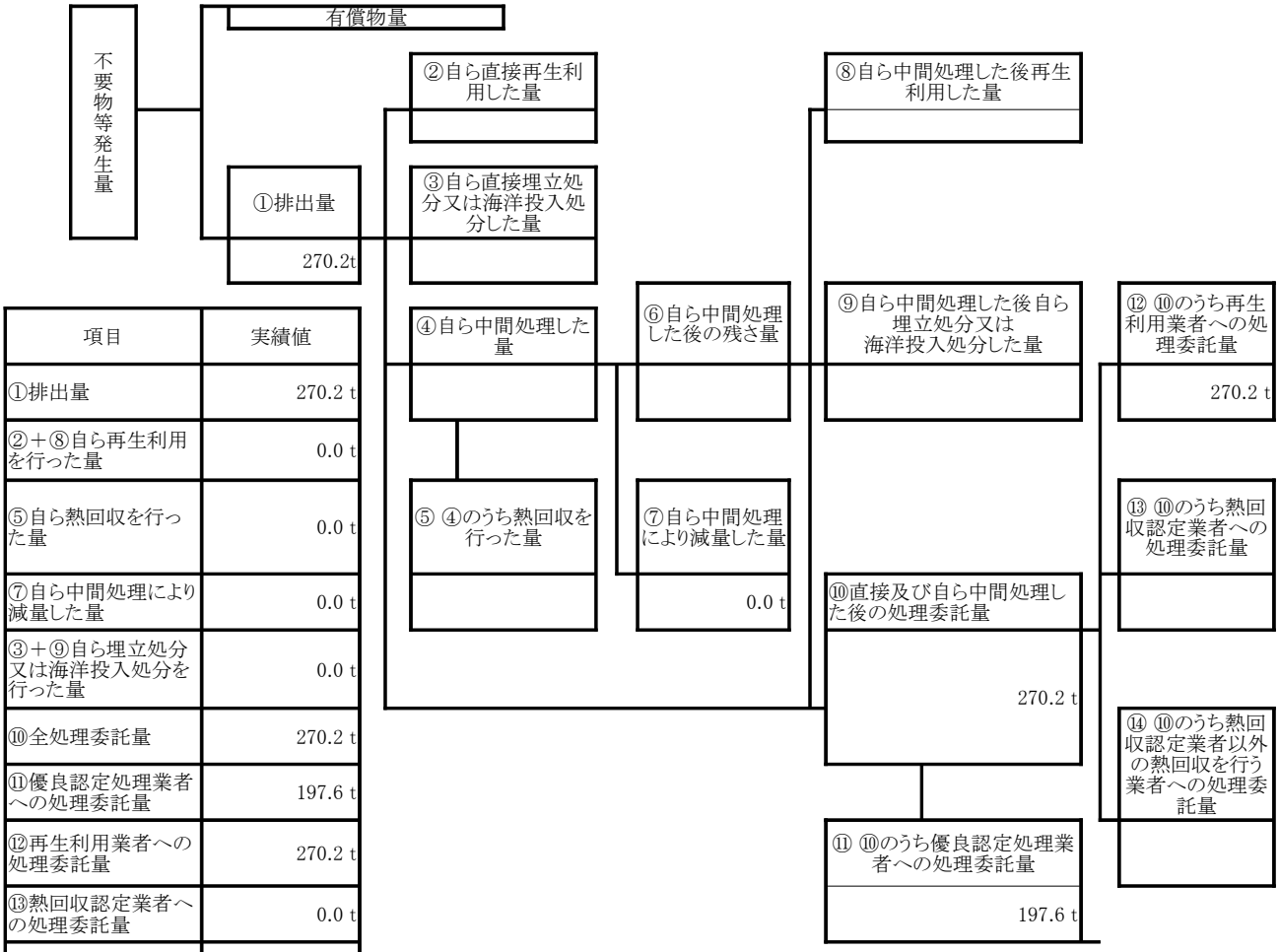


項目	実績値
①排出量	53.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	53.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	35.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	12.3 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

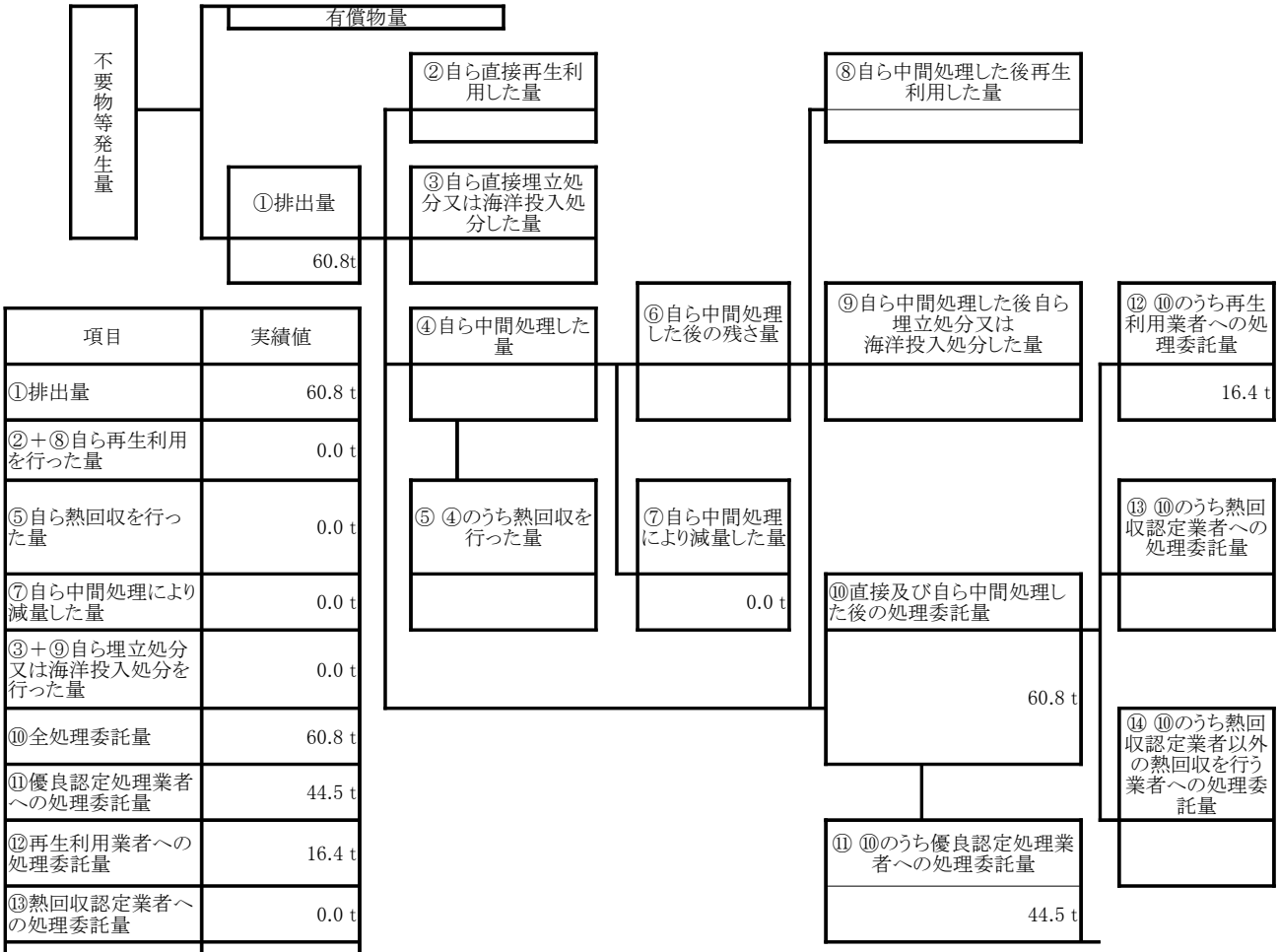


項目	実績値
①排出量	270.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	270.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	197.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	270.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	60.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	16.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 5月22日

千葉県知事　熊 谷 俊 人 殿

提出者

住 所　千葉県南房総市久枝1244番地1リバージュ202

東 海 建 設 株 式 会 社

氏 名　代表取締役　平 田 剛 久

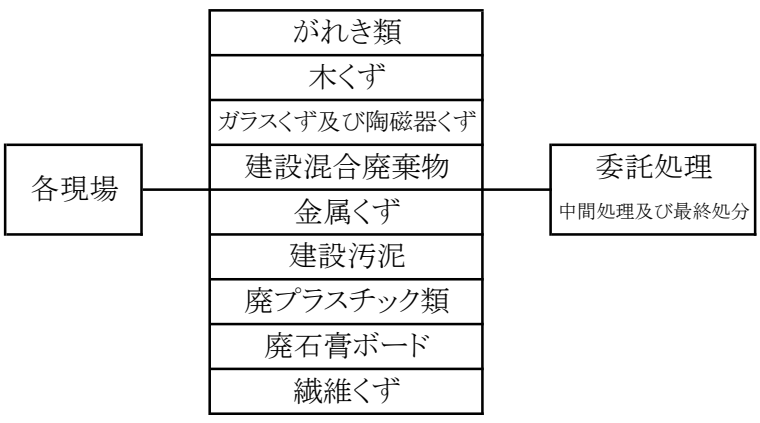
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0470－57－4050

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

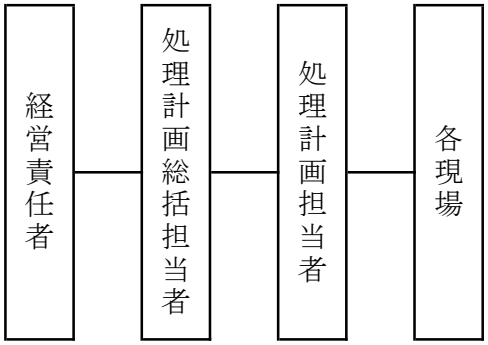
事 業 場 の 名 称	東海建設株式会社
事 業 場 の 所 在 地	千葉県南房総市久枝1244番地1リバージュ202　現場:南房総市
計　画　期　間	令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類:建設業、中分類:総合工事業
② 事業の規模	30億円
③ 従業員数	47人（正社員40人、常勤関係職員7人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 （ 6年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排　出　量	31.02 t	264.72 t
	（これまでに実施した取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排　出　量	2,100.00 t	330.00 t
	（今後実施する予定の取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。		

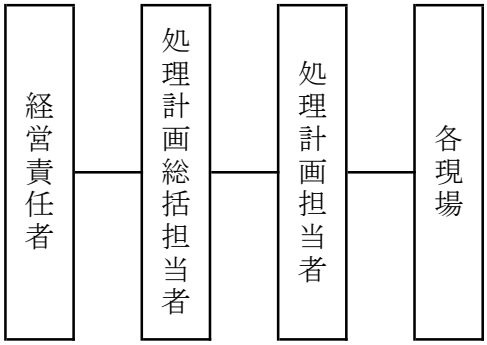
産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

（別紙1）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 （ 6年度） 実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	建設混合廃棄物
排　　出　　量	1.01　t	53.38　t

（これまでに実施した取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	建設混合廃棄物
排　　出　　量	30.00　t	80.00　t

（今後実施する予定の取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

② 計画

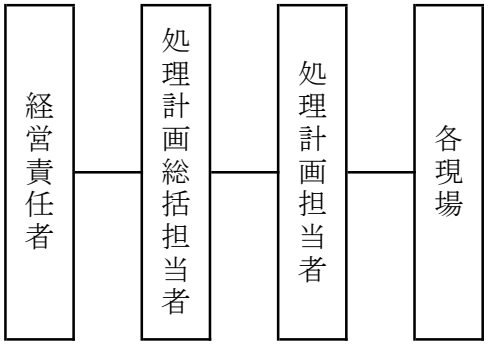
（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

（別紙2）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 （ 6年度） 実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥
排　　出　　量	10.94　t	0.06　t

（これまでに実施した取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥
排　　出　　量	5.00　t	3.00　t

（今後実施する予定の取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

② 計画

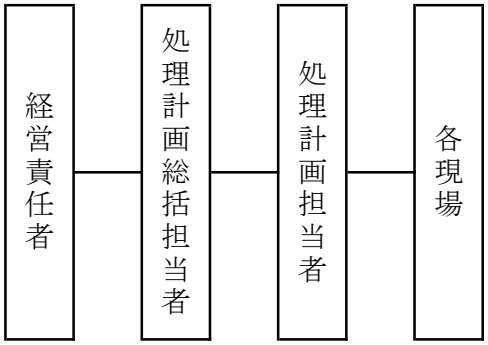
（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

（別紙3）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 （ 6年度） 実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃石膏ボード
排　出　量	14.70 t	9.23 t

（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃石膏ボード
排　出　量	16.00 t	18.00 t

（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

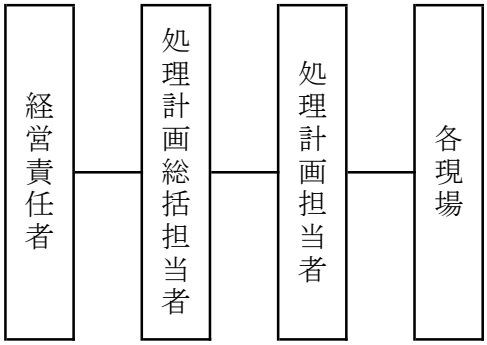
産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

（別紙4）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 （ 6年度） 実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類(石綿含有)
排　　出　　量	0.00　t	6.50　t

（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類(石綿含有)
排　　出　　量	1.00　t	10.00　t

（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を種類ごとに分別する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度 （ 6年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度 （ 6年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	31.02 t	264.72 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組） 受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。		

（別紙1）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず及び陶磁器くず</td><td>建設混合廃棄物</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>1.01 t</td><td>53.38 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
</table>

（別紙2）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>金属くず</td><td>建設汚泥</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>10.94 t</td><td>0.06 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
</table>

（別紙3）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>廃石膏ボード</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>14.70 t</td><td>9.23 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
</table>

（別紙4）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度 （ 6年度） 実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>繊維くず</td><td>がれき類(石綿含有)</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>6.5 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">② 計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>2,100.00 t</td><td>330.00 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

（別紙1）

<table>
<tr><td></td><td>② 計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず及び陶磁器くず</td><td>建設混合廃棄物</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">全処理委託量</td><td>30.00 t</td><td>80.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

（別紙2）

<table>
<tr><td></td><td>② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>金属くず</td><td>建設汚泥</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>5.00 t</td><td>3.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

（別紙3）

<table>
<tr><td></td><td>② 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>廃石膏ボード</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>16.00 t</td><td>18.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

（別紙4）

<table>
<tr><td></td><td>① 計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>繊維くず</td><td>がれき類(石綿含有)</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>1.00 t</td><td>10.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>0.00 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
受注工事の設計内容に基づき発生する、産業廃棄物を全て許可業者に委託処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ 事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1，000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 5月22日

千葉県知事　熊 谷 俊 人 殿

提出者

住 所　千葉県南房総市久枝1244番地1リバージュ202
東 海 建 設 株 式 会 社

氏 名　代表取締役　平 田 剛 久
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0470－57－4050

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

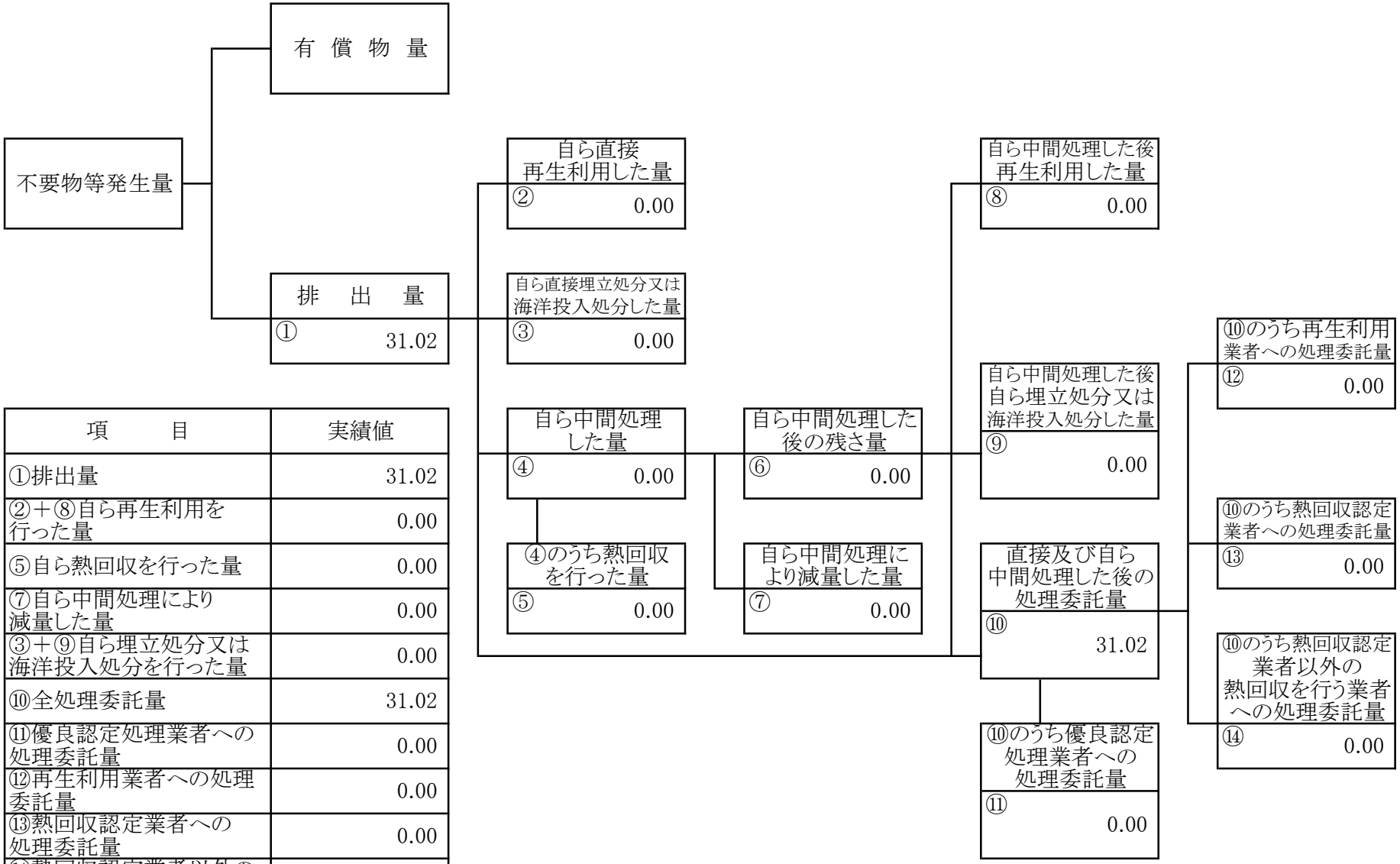
事 業 場 の 名 称	東海建設株式会社
事 業 場 の 所 在 地	千葉県南房総市久枝1244番地1リバージュ202　現場:南房総市
事 業 の 種 類	大分類:建設業、中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計 画 期 間	令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項 目	目 標 値	項 目	目 標 値
排 出 量	2,593.00 t	全処理委託量	2,593.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	再生利用業者への処 理 委 託 量	— t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t

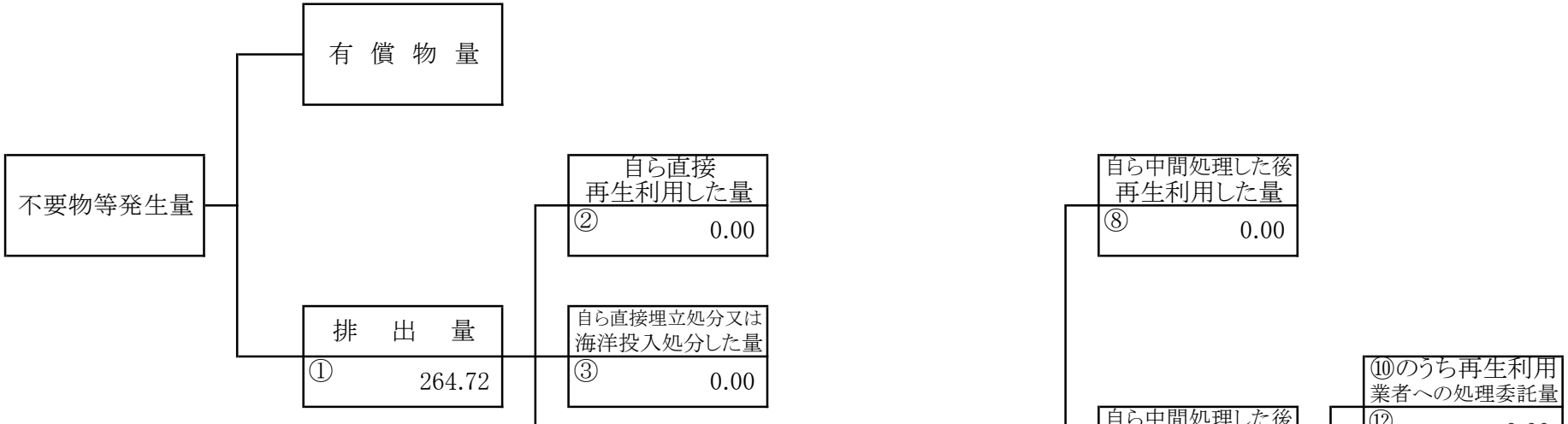
※ 事務処理欄	

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：がれき類　　）



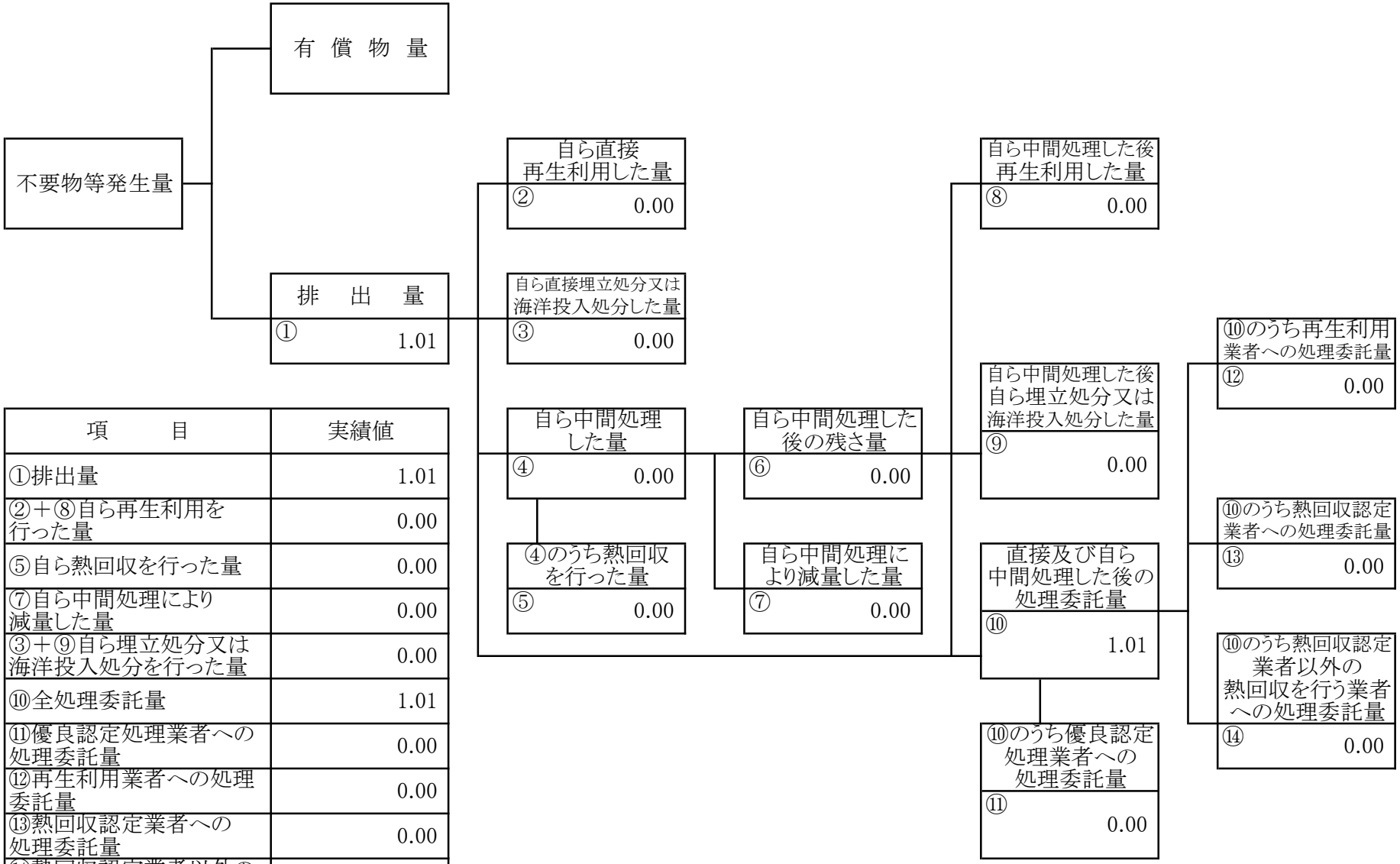
項　　目	実績値
①排出量	31.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	31.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：木くず　　）



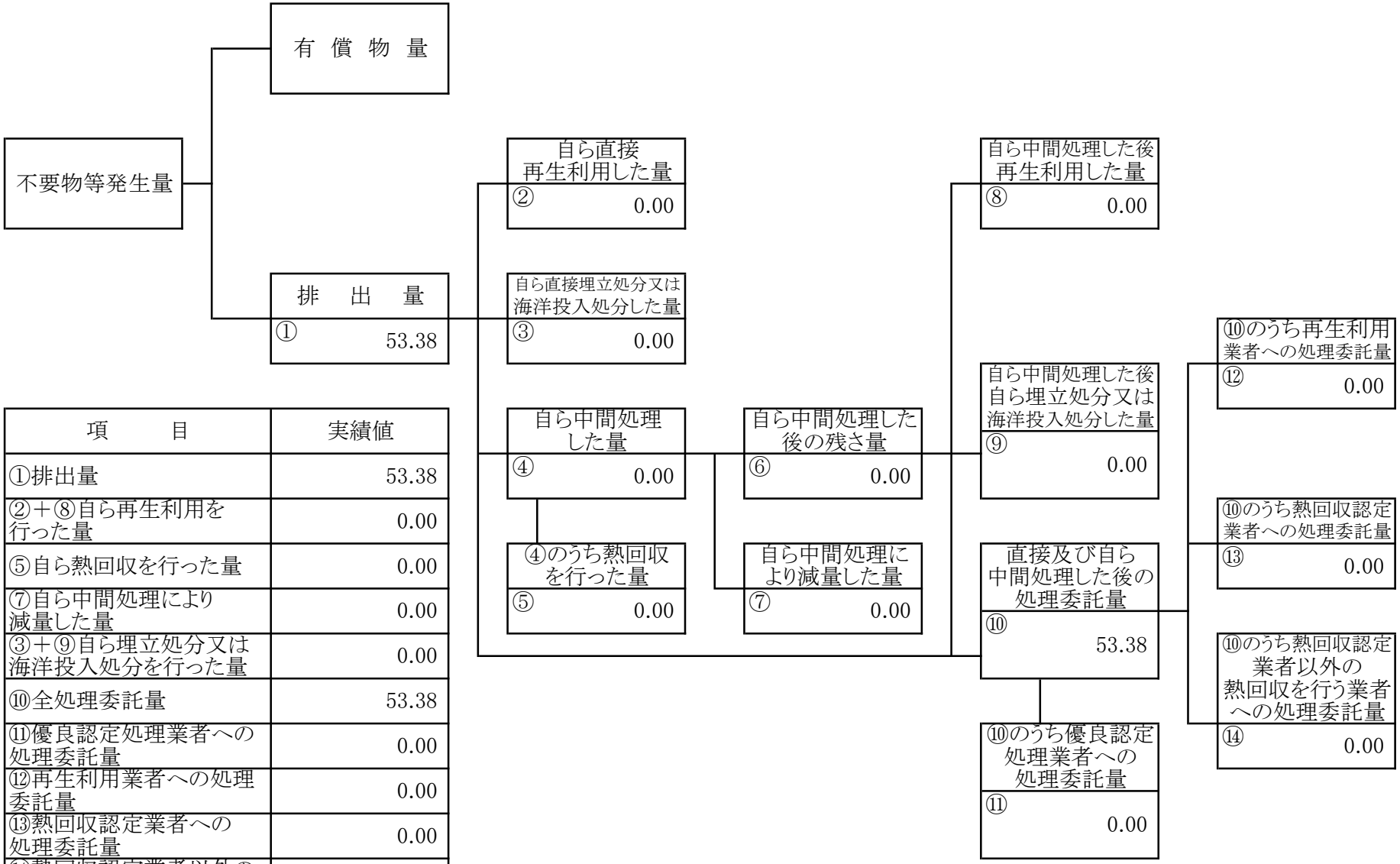
項　　目	実績値
①排出量	264.72
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	264.72
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類 ： ガラスくず及び陶磁器くず　　）



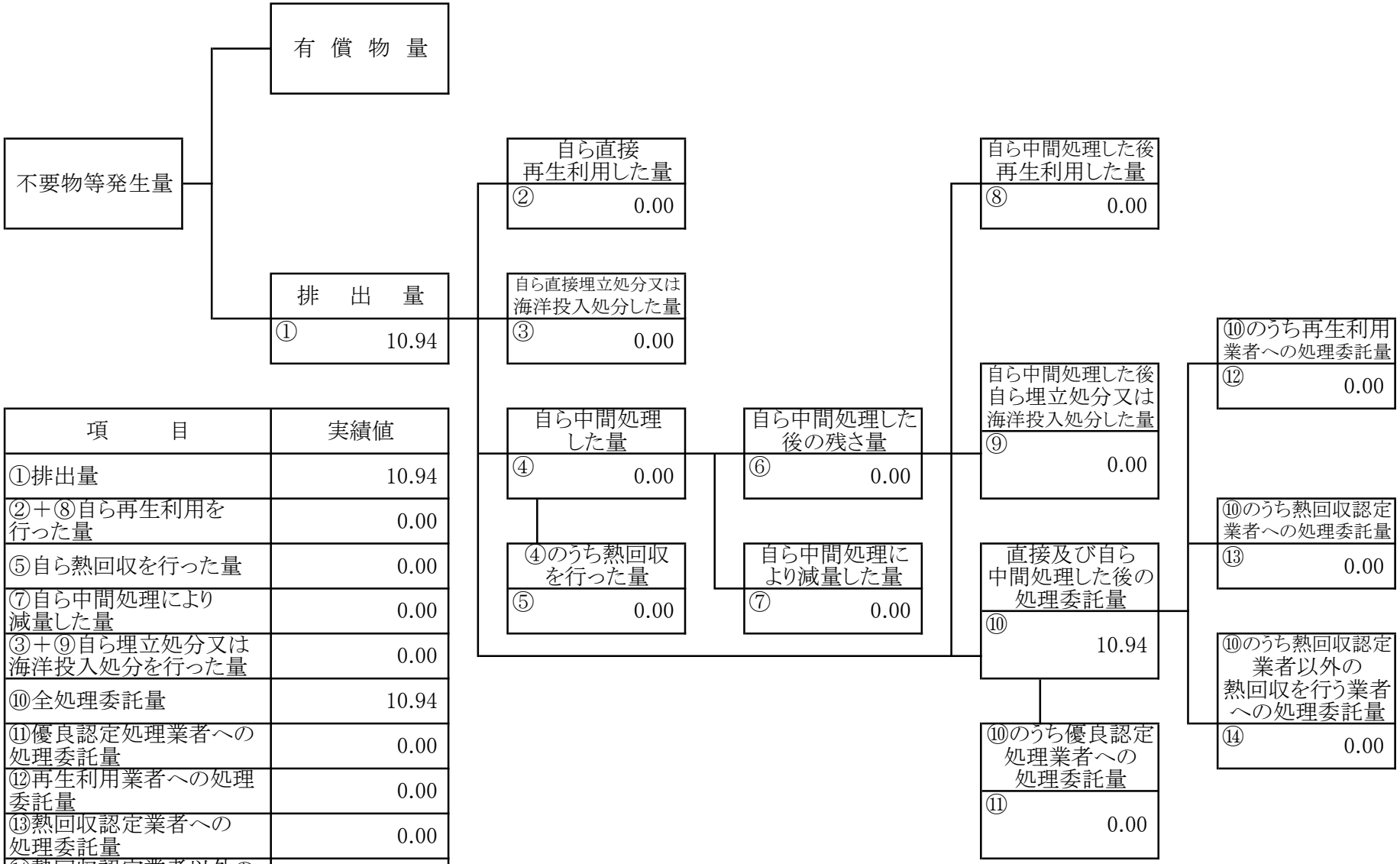
項　　目	実績値
①排出量	1.01
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.01
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物　　）



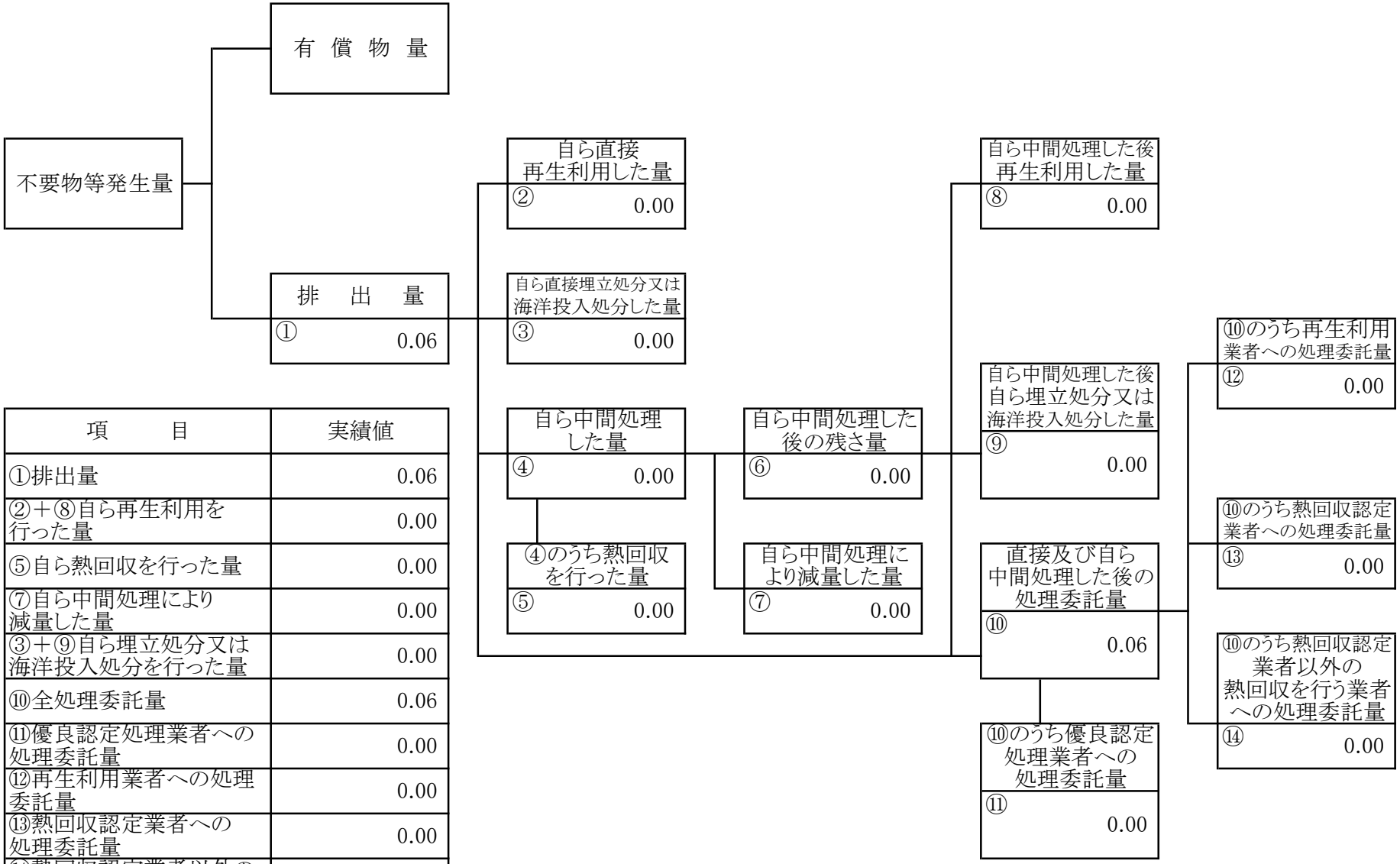
項　　目	実績値
①排出量	53.38
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	53.38
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）



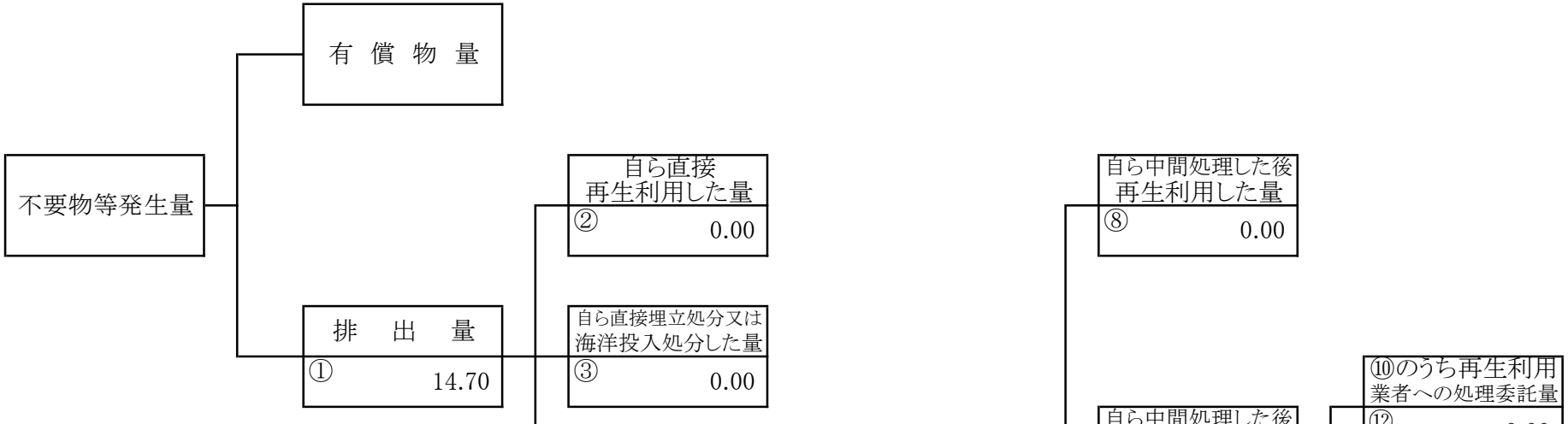
項　　目	実績値
①排出量	10.94
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	10.94
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：建設汚泥　　）



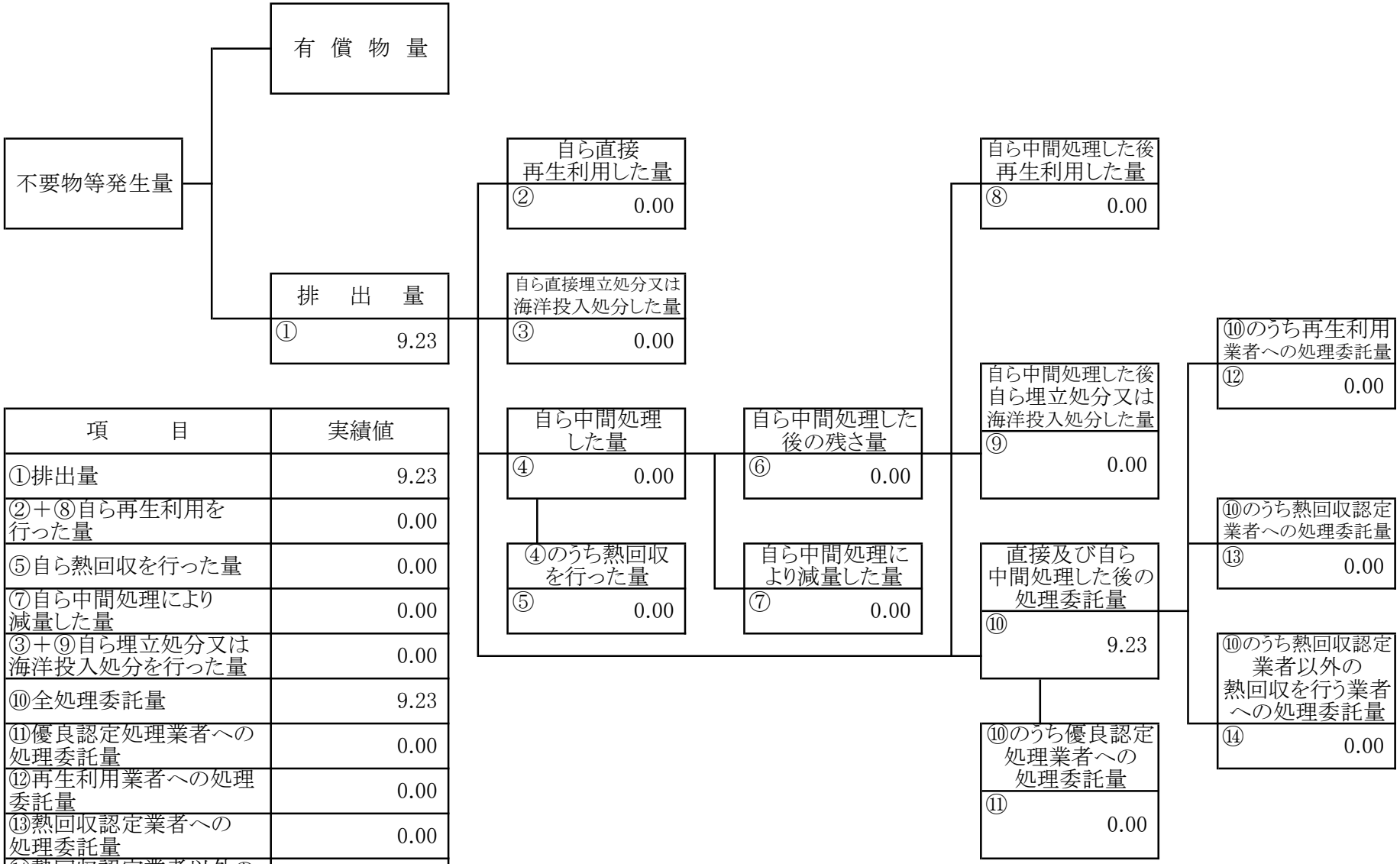
項　　目	実績値
①排出量	0.06
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.06
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類　　）



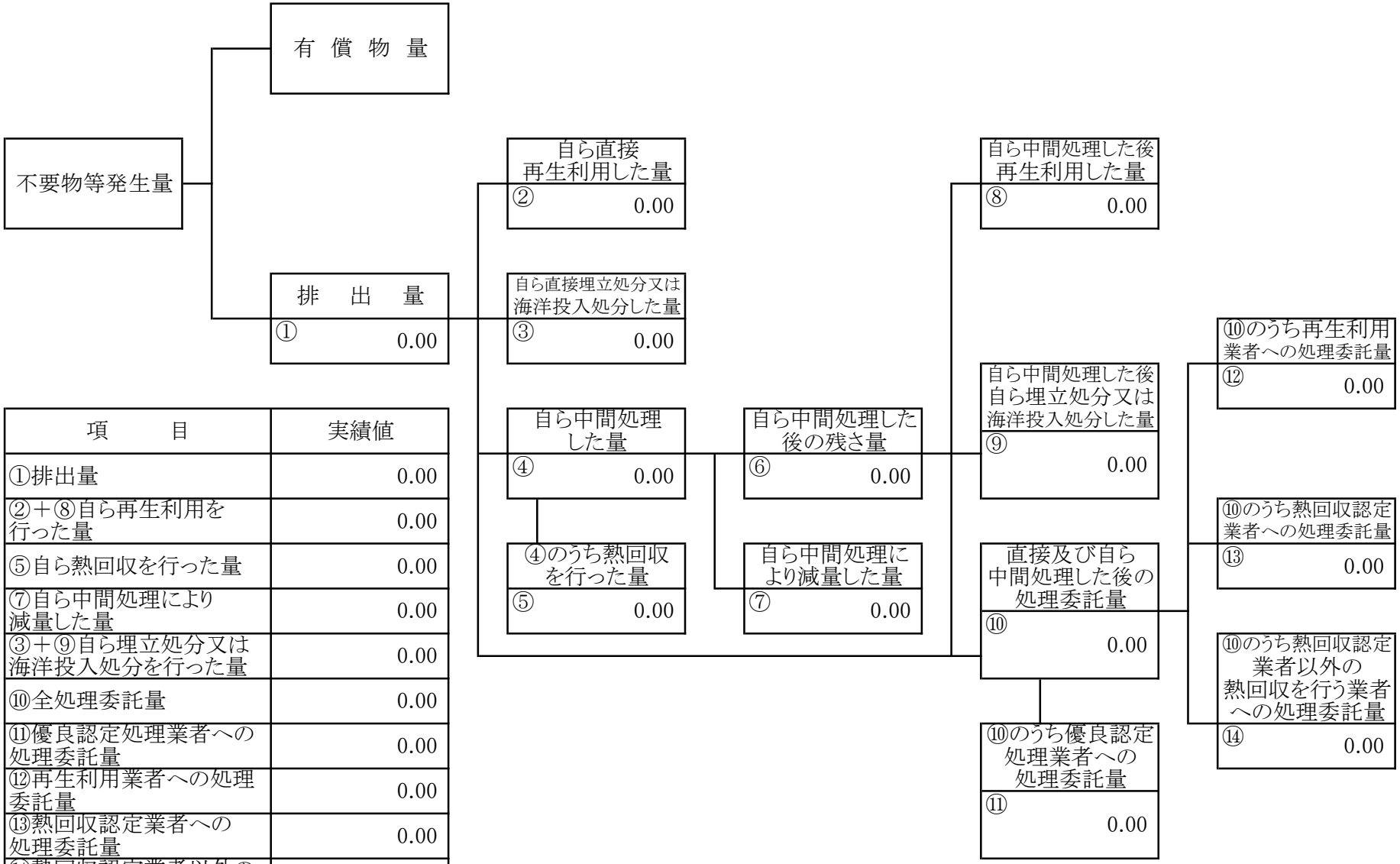
項　　目	実績値
①排出量	14.70
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	14.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃石膏ボード　　）



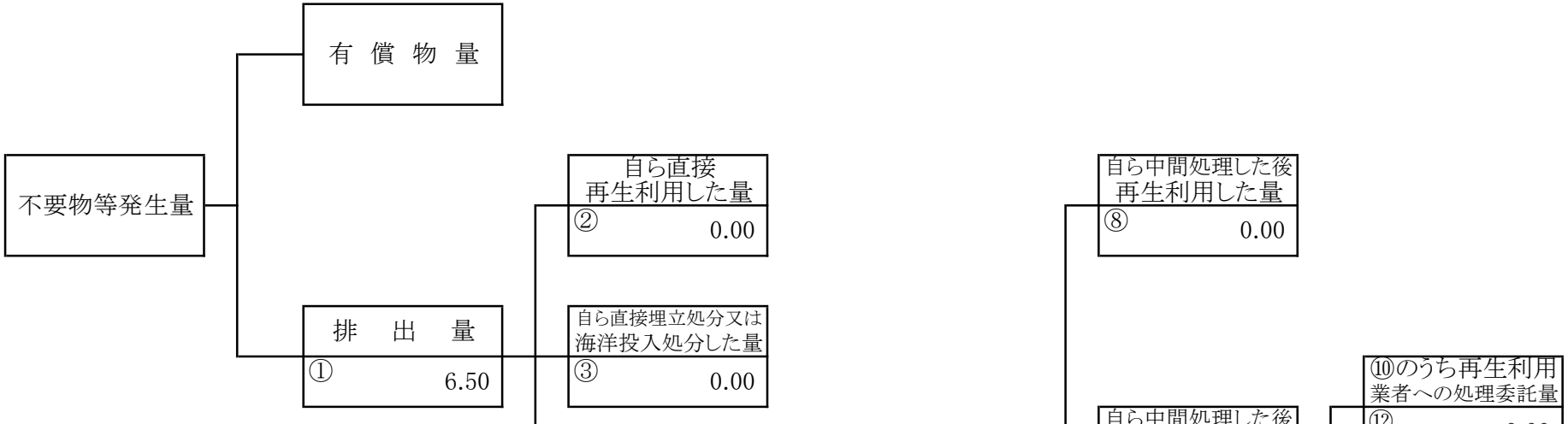
項　　目	実績値
①排出量	9.23
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	9.23
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）



項　　目	実績値
①排出量	0.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類 ： がれき類(石綿含有) ）



項　　目	実績値
①排出量	6.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	6.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに⑴から⑭に掲げる量を記入すること。

⑴　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

⑵　②欄　⑴の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

⑶　③欄　⑴の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑷　④欄　⑴の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

⑸　⑤欄　⑷の量のうち、熱回収を行った量

⑹　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

⑺　⑦欄　⑷の量から⑹の量を差し引いた量

⑻　⑧欄　⑹の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

⑼　⑨欄　⑹の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

⑽　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

⑾　⑪欄　⑽の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

⑿　⑫欄　⑽の量のうち、処理業者への再生利用委託量

⒀　⑬欄　⑽の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

⒁　⑭欄　⑽の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 5月 23日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者
住 所 東京都渋谷区渋谷1-16-14

氏 名 東急建設株式会社東日本建築支店
執行役員支店長 中村 淳

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5466-5943

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東急建設株式会社 東日本建築支店
事業場の所在地	東京都渋谷区渋谷1-16-14 （千葉県内の作業所(千葉市,船橋市,柏市を除く)より排出の廃棄物が対象）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D：建設業 06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 3523（百万円）
③従業員数	216人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・産業廃棄物発生フロー （別表－１）参照 ・産廃処理フロー （別表－２）参照 ・管理組織図 （別表－３）参照

（日本産業規格 A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
・建設副産物対策管理組織図　（別表－３）参照
・作業所は、廃棄物責任者（作業所長又は常駐する上位の社員とする）を定め、
建設副産物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理に関する業務を行う。
・現業部門社員を対象とし、昇格に伴う年次研修にて「建設副産物の減量及び適正処理に関する教育」を実施している。
（研修内容）
・経営上の方針、計画・目標について
・適正な分別・保管の徹底について
・ルール及び社員の役割について
・関係法令の概要について

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排　出　量	6,296.00　t	1.60　t

（これまでに実施した取組）
・各支店・事業部にて廃棄物量削減目標を設定し、以下の項目等を実施
（ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ化、ﾕﾆｯﾄ化、ﾊﾟﾈﾙ化、ﾌﾟﾚｶｯﾄ化等の推進）（鋼製型枠・樹脂型枠、ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ等の使用）（分別の徹底による有価物の売却等）
（広域認定、再生利用指定制度の積極活用）（新規ﾙｰﾄの開拓）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排　出　量	2,000.00　t	－　t

（今後実施する予定の取組）
・ﾒｰｶｰﾘｻｲｸﾙである広域認定制度の利用促進
・建設資材等の納入事業者を含めた排出抑制の取組推進
（納入時の荷姿、梱包材の簡略化）（可能な限り工場加工をし、作業所での端材の発生抑制）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・重点分別品目の設定（金属、木、ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ、廃ﾌﾟﾗ、紙、ｺﾝがら、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ塩ﾋﾞ、その他がれき、ｶﾞﾗｽ陶磁器）等を設定して分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・廃棄物分別ﾔｰﾄﾞを出来る限り拡大し、品目を増やし分別に努める。
・廃棄物に関する教育（混合廃棄物の再分別ﾃﾞﾓ）を実施し、分別意識の向上を図る。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
排　出　量	471.50 t	76.90 t	297.60 t	16.20 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
排　出　量	100.00 t	－ t	100.00 t	－ t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
排　出　量	1,310.50　t	8,433.60　t	198.00　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
排　出　量	500.00　t	3,000.00　t	50.00　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
排　出　量	46.50 t	0.10 t	207.50 t	6.50 t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
排　出　量	50.00 t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
設計・施工条件が合えば、がれき汚泥等の再生利用を行っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）
引続き、積極的に再生利用に努めていきたい。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）
自社で中間処理を行う予定はない。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）
今後も、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
全処理委託量	6,296.00 t	1.60 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	0.30 t
再生利用業者への処理委託量	6,296.00 t	0.30 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
・業者選定をする際に過去の取引実績を確認している。
・複数の業者の処理料金を比較している。
・委託する品目の処分方法や処分実績を確認している。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
全処理委託量	471.50 t	76.90 t	297.60 t	16.20 t
優良認定処理業者への処理委託量	471.50 t	76.90 t	295.30 t	8.50 t
再生利用業者への処理委託量	471.50 t	76.90 t	297.60 t	8.50 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
全処理委託量	1,310.50 t	8,433.60 t	198.00 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	1,305.60 t	6,768.27 t	198.00 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	1,310.50 t	8,433.60 t	198.00 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
全処理委託量	46.50 t	0.10 t	207.50 t	6.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	39.50 t	0.10 t	171.45 t	6.50 t
再生利用業者への処理委託量	46.50 t	0.10 t	207.50 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

	②計画	【目標】 産業廃棄物の種類：汚泥／廃油 全処理委託量：2,000.00 t／－ t 優良認定処理業者への処理委託量：－ t／－ t 再生利用業者への処理委託量：2,000.00 t／－ t 認定熱回収業者への処理委託量：－ t／－ t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量：－ t／－ t （今後実施する予定の取組） ・優良認定処理業者の積極活用 ・認定熱回収業者の積極活用 ・メーカーリサイクルである広域認定制度の利用促進 ・最終処分場の現地確認を極力実施する。
※事務処理欄		

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
全処理委託量	100.00 t	－ t	100.00 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	100.00 t	－ t	100.00 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	100.00 t	－ t	100.00 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ陶磁器等くず	がれき類	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	繊維くず
全処理委託量	500.00 t	3,000.00 t	50.00 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	500.00 t	－ t	50.00 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	500.00 t	3,000.00 t	50.00 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	水銀使用製品	その他がれき類	石綿含有廃棄物
全処理委託量	50.00 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	50.00 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	50.00 t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

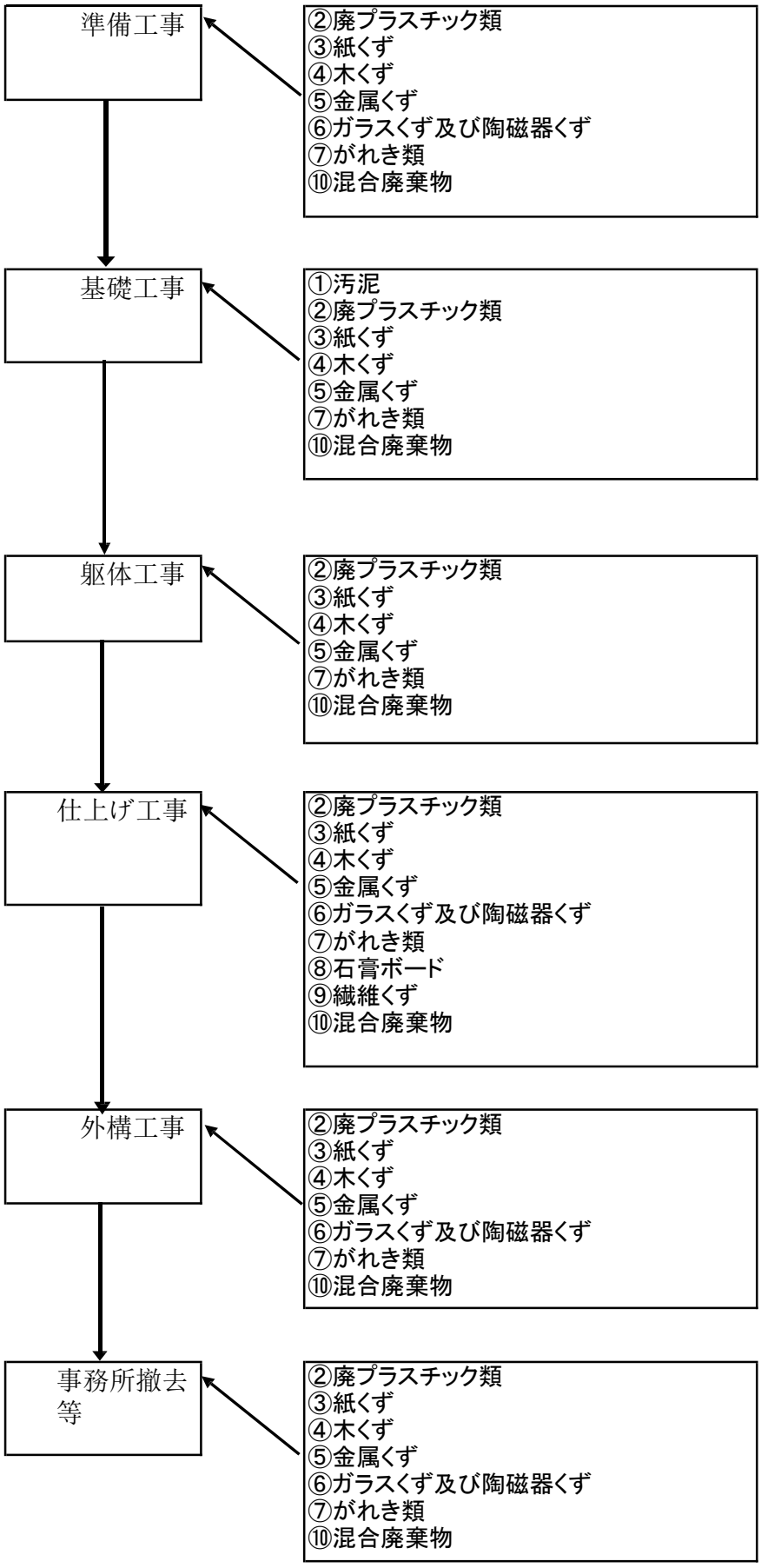
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別表－1

産業廃棄物発生フロー

建物新築工事（一般的な建築作業所での産業廃棄物発生フローを示す）



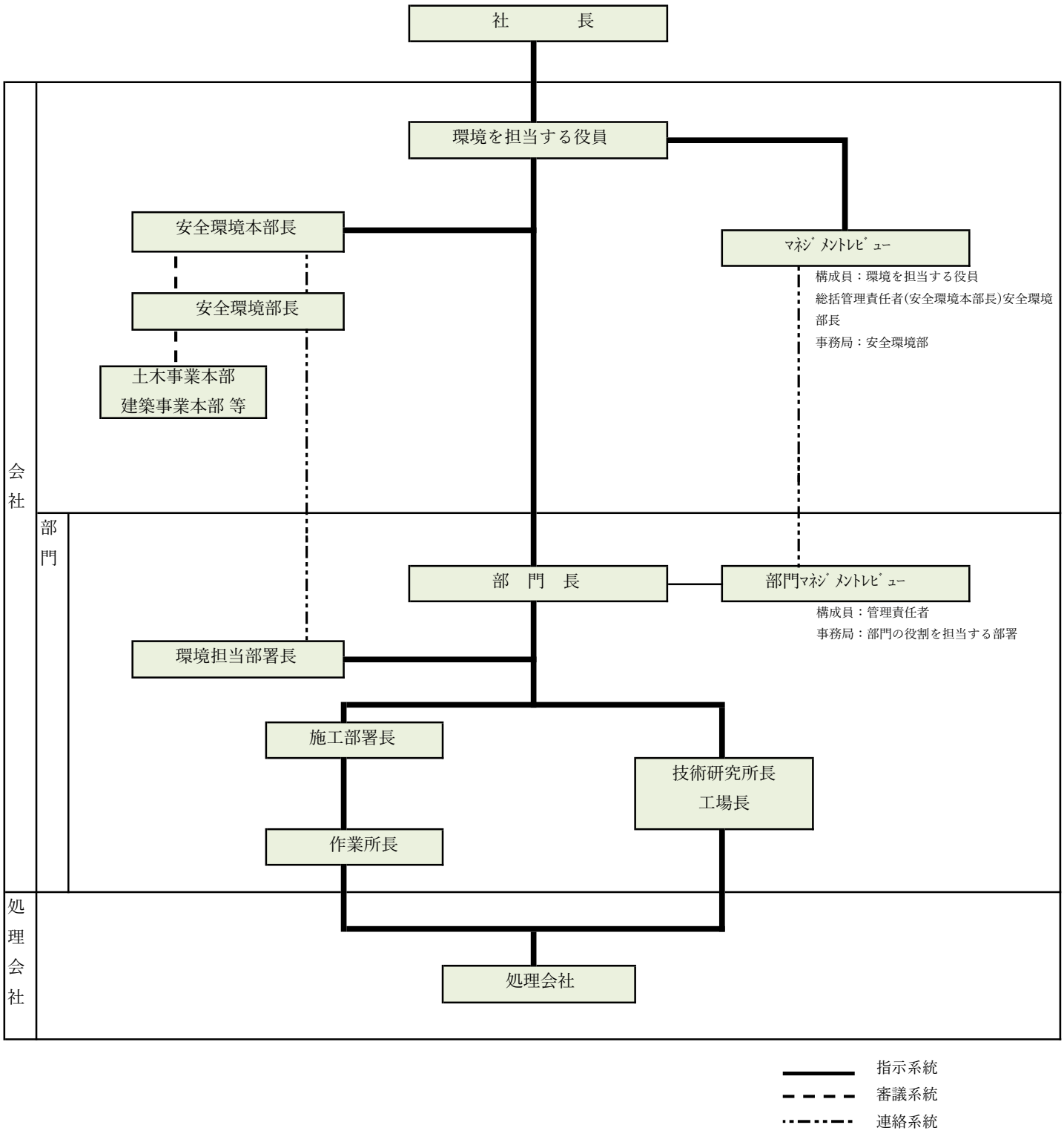
別表－2

処理等工程図

廃棄物種類	処理工程
① 汚泥	収集運搬→委託処理【中間処理(脱水・凝集固化、天日乾燥)】 →再生(建設資材)
② 廃プラスチック類	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】 →再生(原料・燃料)→最終処分(安定型埋立)
③ 紙くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料)
④ 木くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料)
⑤ 金属くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料)
⑥ガラスくず及び陶磁器くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】 →再生(原料・建設資材)→最終処分(安定型埋立)
⑦ がれき類	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(建設資材)
⑧ 石膏ボード	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料)
⑨ 繊維くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料・燃料)
⑩ 混合廃棄物	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】 →再生(原料・燃料)→最終処分(管理型埋立)

別表－3

建設副産物対策管理組織



様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 5月 23日

千葉県知事　　熊谷 俊人 殿

提出者
住 所　東京都渋谷区渋谷1-16-14
氏 名　東急建設株式会社 東日本建築支店
執行役員支店長　中村 淳
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5466-5943

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東急建設株式会社 東日本建築支店
事業場の所在地	東京都渋谷区渋谷1-16-14 (千葉県内の作業所(千葉市,船橋市,柏市を除く)排出の廃棄物が対象)
事業の種類	D:建設業　06:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	詳細別紙の通り 3,590 t	全処理委託量	詳細別紙の通り 3,590 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	詳細別紙の通り 0 t	優良認定処理業者への処理委託量	詳細別紙の通り 1,860 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	詳細別紙の通り 0 t	再生利用業者への処理委託量	詳細別紙の通り 3,590 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	詳細別紙の通り 0 t	認定熱回収業者への処理委託量	詳細別紙の通り 0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	詳細別紙の通り 0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	詳細別紙の通り 0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

（ 実施状況詳細 別紙）

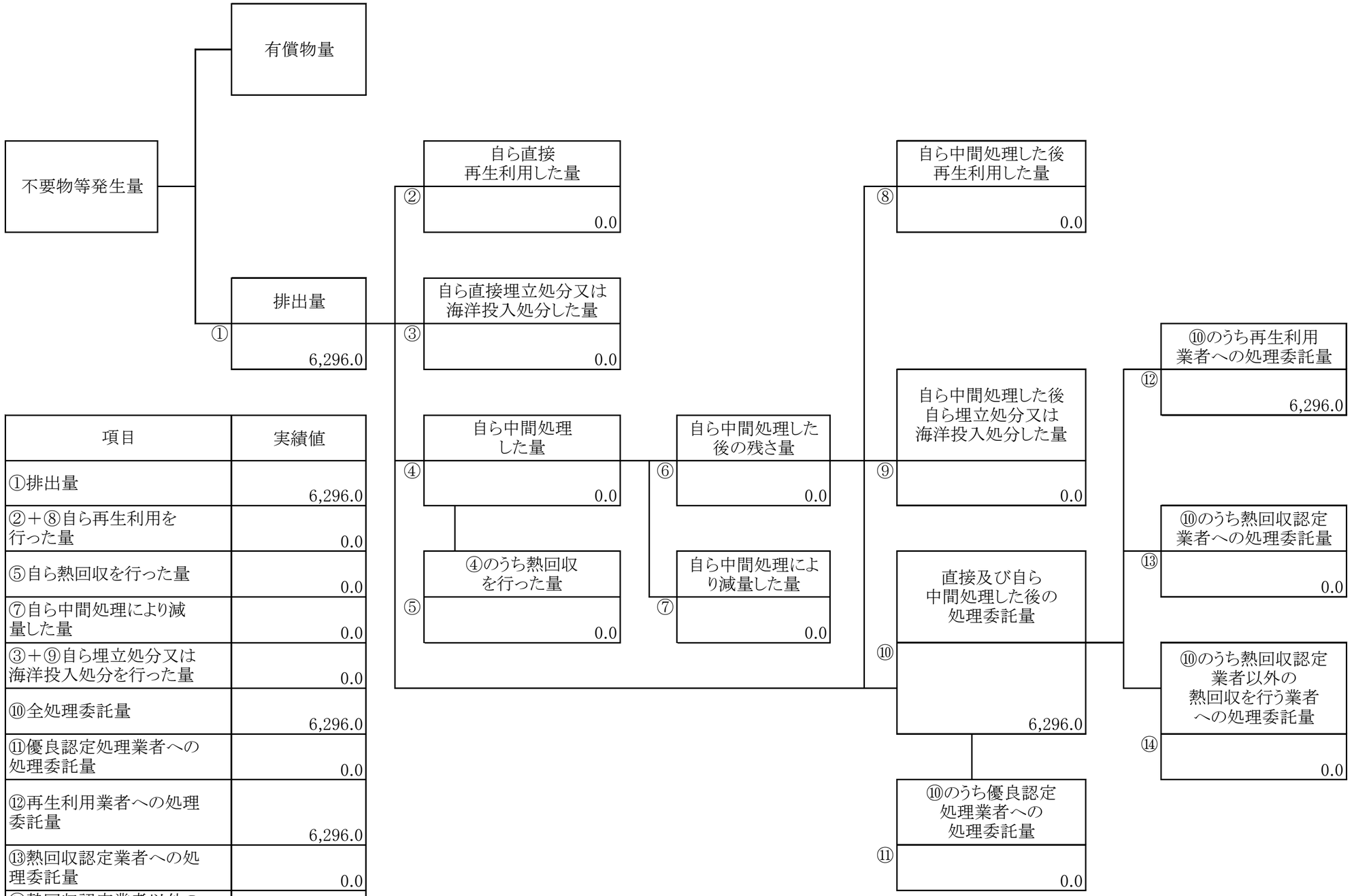
R6年度目標及び実績値

千葉県

廃棄物の種類及び 実績、目標の / 排出・処理の区別	汚泥		廃油		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類		紙くず		木くず		金属くず		ｶﾞﾗｽ陶磁器くず		がれき類		石膏ボード		繊維くず		混合廃棄物		水銀使用製品		その他がれき類		石綿含有廃棄物		計	
	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度	目標(t) R6年度	実績(t) R6年度
排出量	1200.0	6296.0	0.0	1.6	190.0	471.5	40.0	76.9	350.0	297.6	50.0	16.2	370.0	1310.5	530.0	8433.6	40.0	198.0	0.0	0.0	820.0	46.5	0.0	0.0	0.0	207.5	0.0	6.5	3590.0	17362.4
自己再生利用量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己熱回収量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己中間処理減量化量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己埋立処分又は海洋	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全処理委託量	1200.0	6296.0	0.0	1.6	190.0	471.5	40.0	76.9	350.0	297.6	50.0	16.2	370.0	1310.5	530.0	8433.6	40.0	198.0	0.0	0.0	820.0	46.5	0.0	0.0	0.0	207.5	0.0	6.5	3590.0	17362.4
優良認定処理業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.3	190.0	471.5	40.0	76.9	350.0	295.3	50.0	8.5	370.0	1305.6	0.0	6768.3	40.0	198.0	0.0	0.0	820.0	39.5	0.0	0.0	0.0	171.5	0.0	6.5	1860.0	9341.8
再生処理業者への処理委託量	1200.0	6296.0	0.0	0.3	190.0	471.5	40.0	76.9	350.0	297.6	50.0	8.5	370.0	1310.5	530.0	8433.6	40.0	198.0	0.0	0.0	820.0	46.5	0.0	0.0	0.0	207.5	0.0	0.0	3590.0	17346.9
認定熱回収処理業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

計画の実施状況

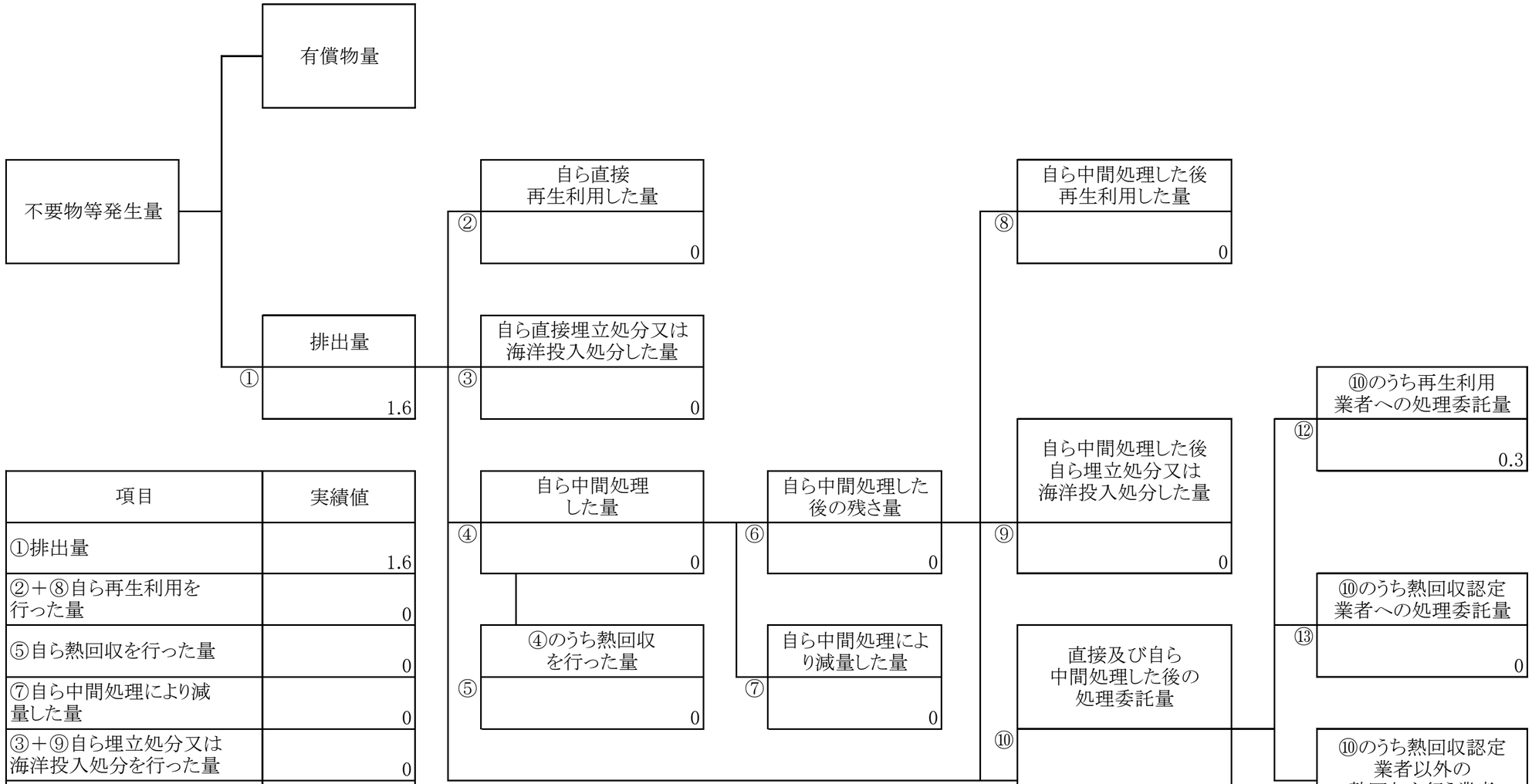
（産業廃棄物の種類：汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	6,296.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	6,296.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	6,296.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃油　）

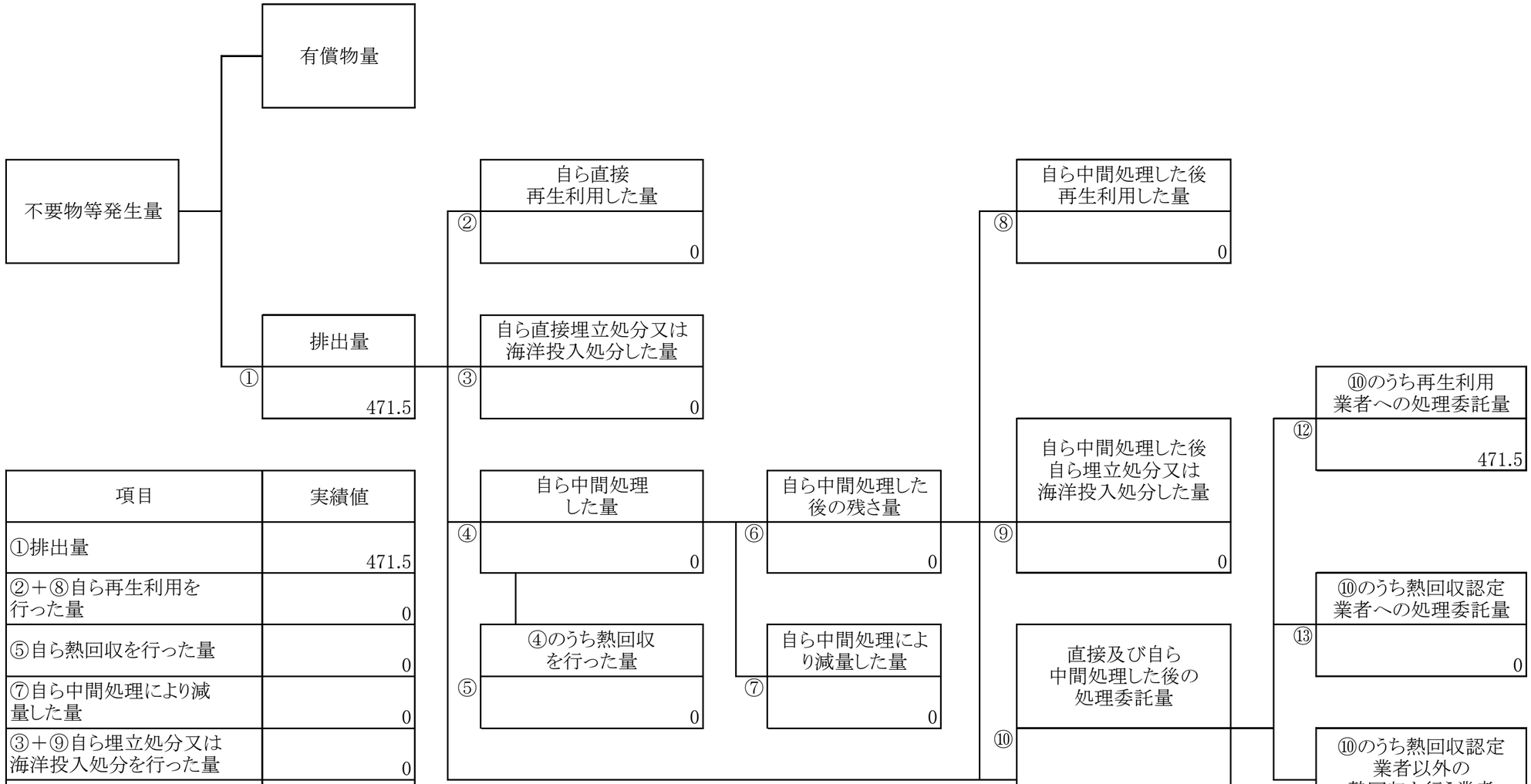


項目	実績値
①排出量	1.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類　　）

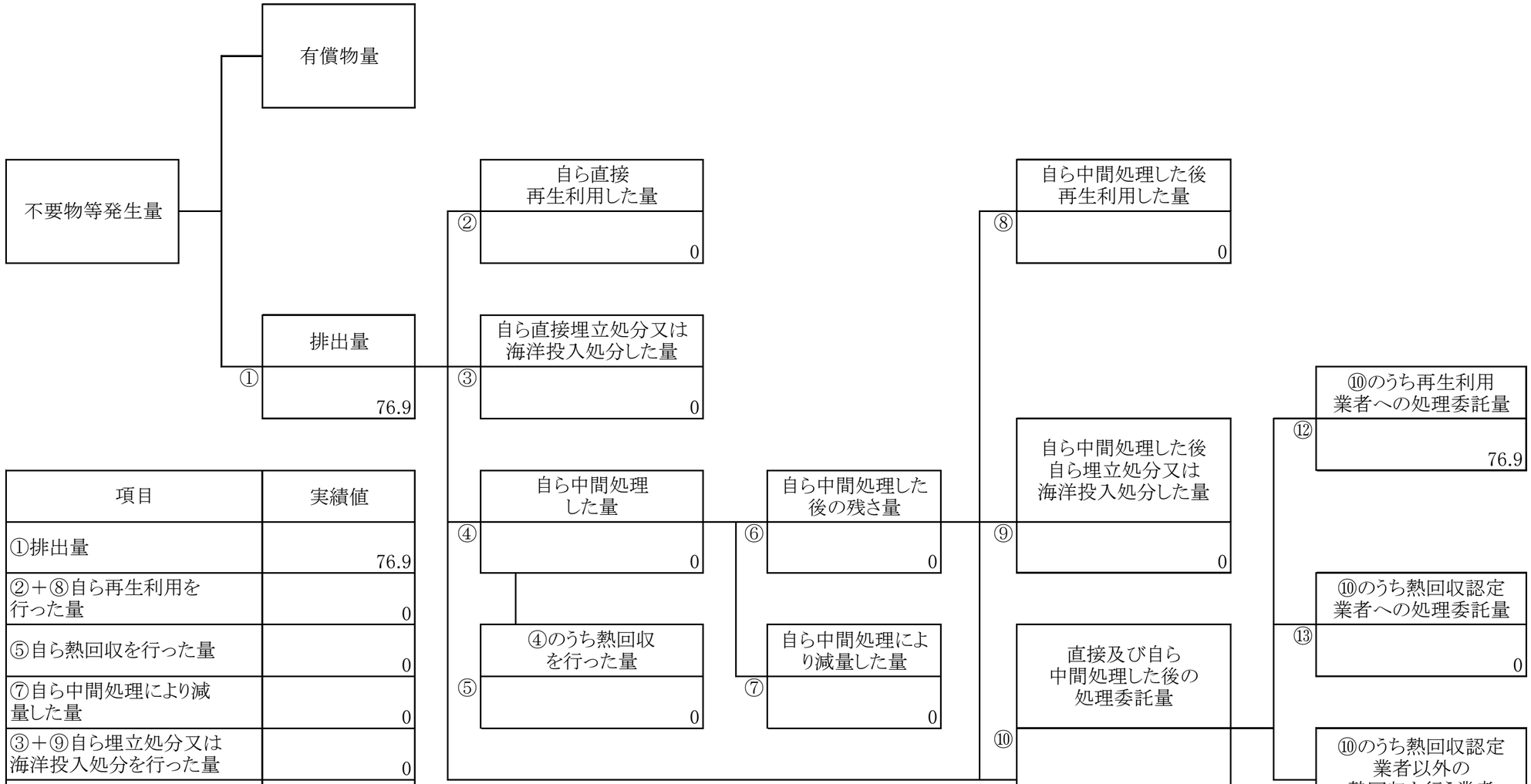


項目	実績値
①排出量	471.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	471.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	471.5
⑫再生利用業者への処理委託量	471.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

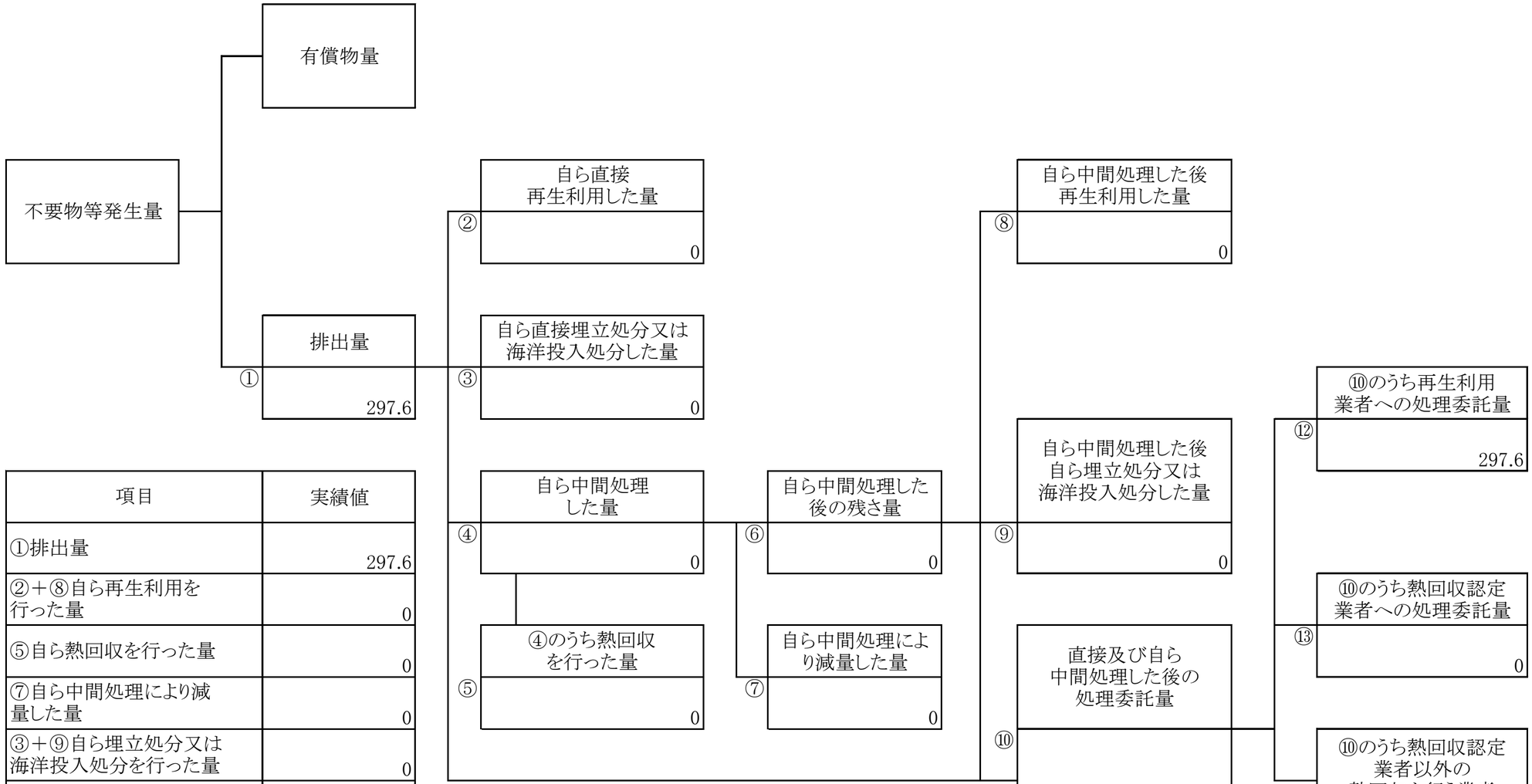
（産業廃棄物の種類：紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	76.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	76.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	76.9
⑫再生利用業者への処理委託量	76.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

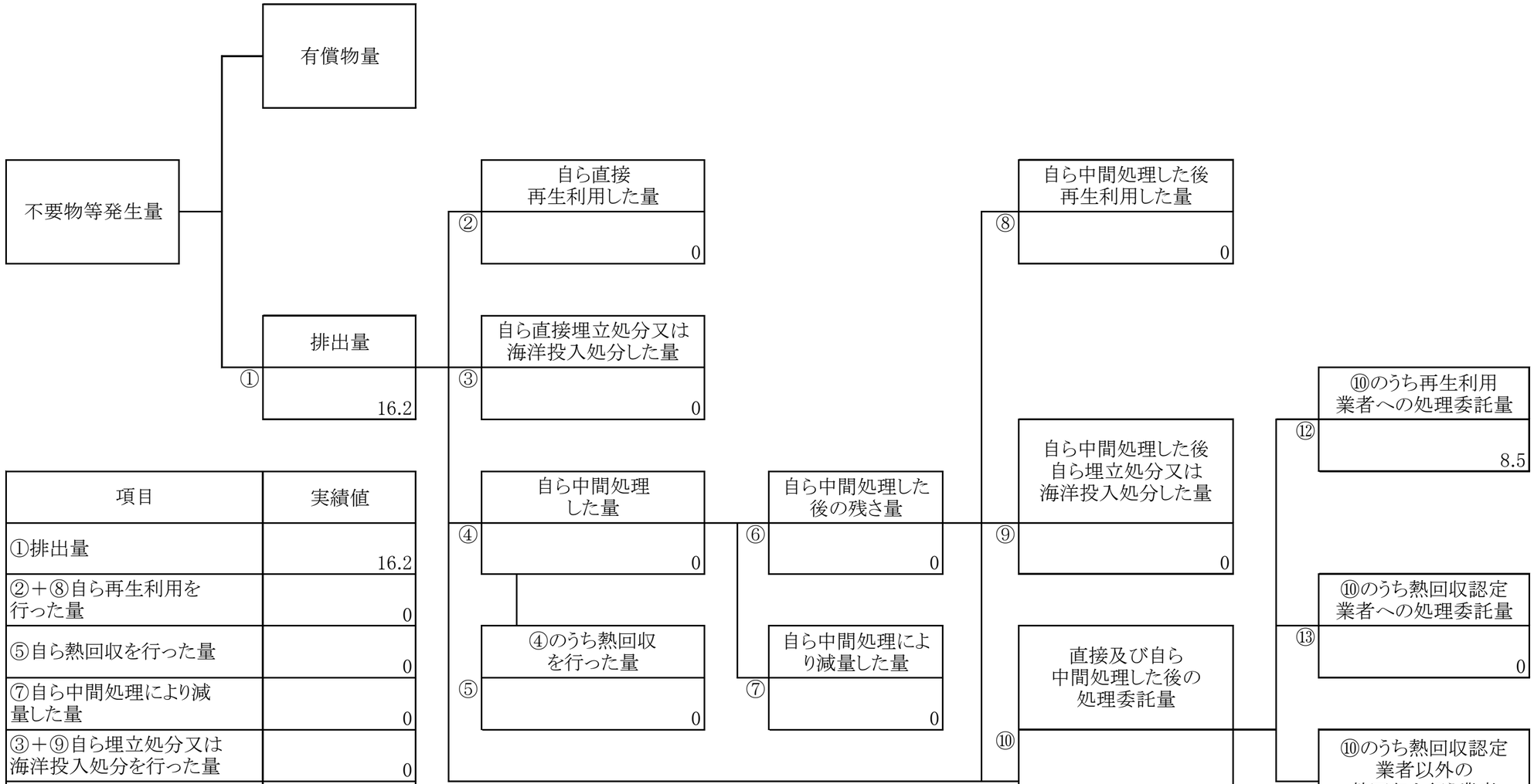
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	297.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	297.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	295.3
⑫再生利用業者への処理委託量	297.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

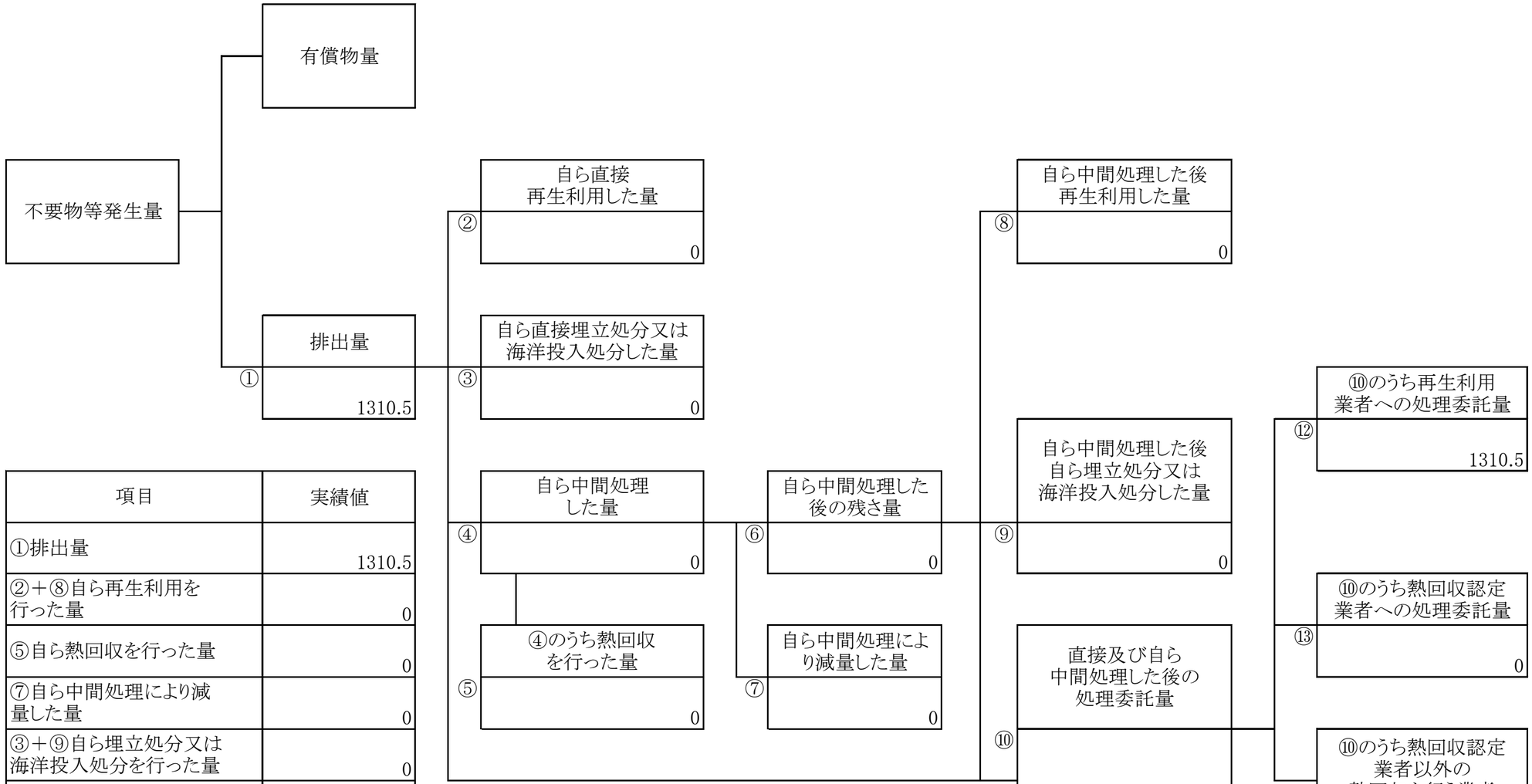
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	16.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	16.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.5
⑫再生利用業者への処理委託量	8.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

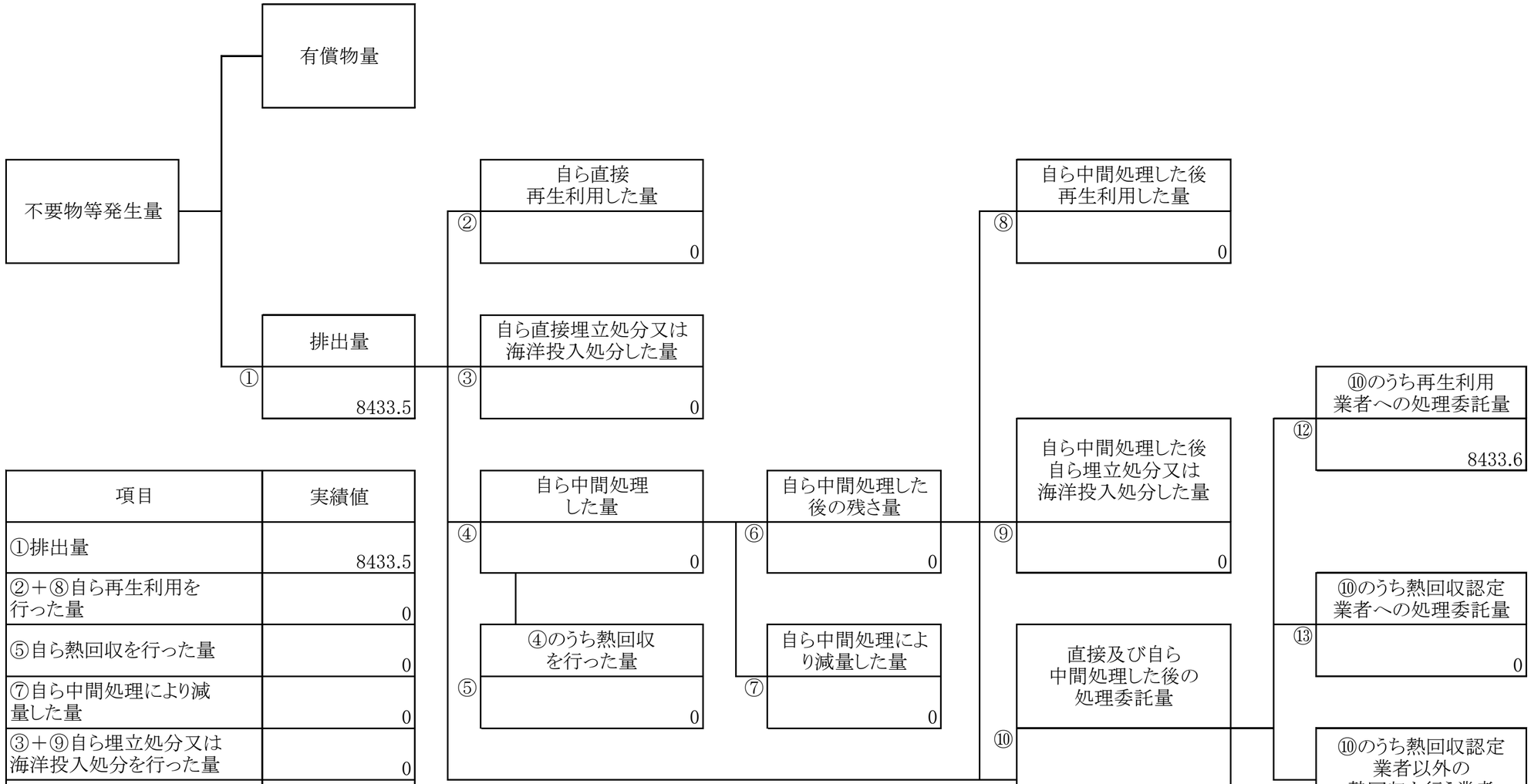
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず　）



項目	実績値
①排出量	1310.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1310.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1305.6
⑫再生利用業者への処理委託量	1310.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

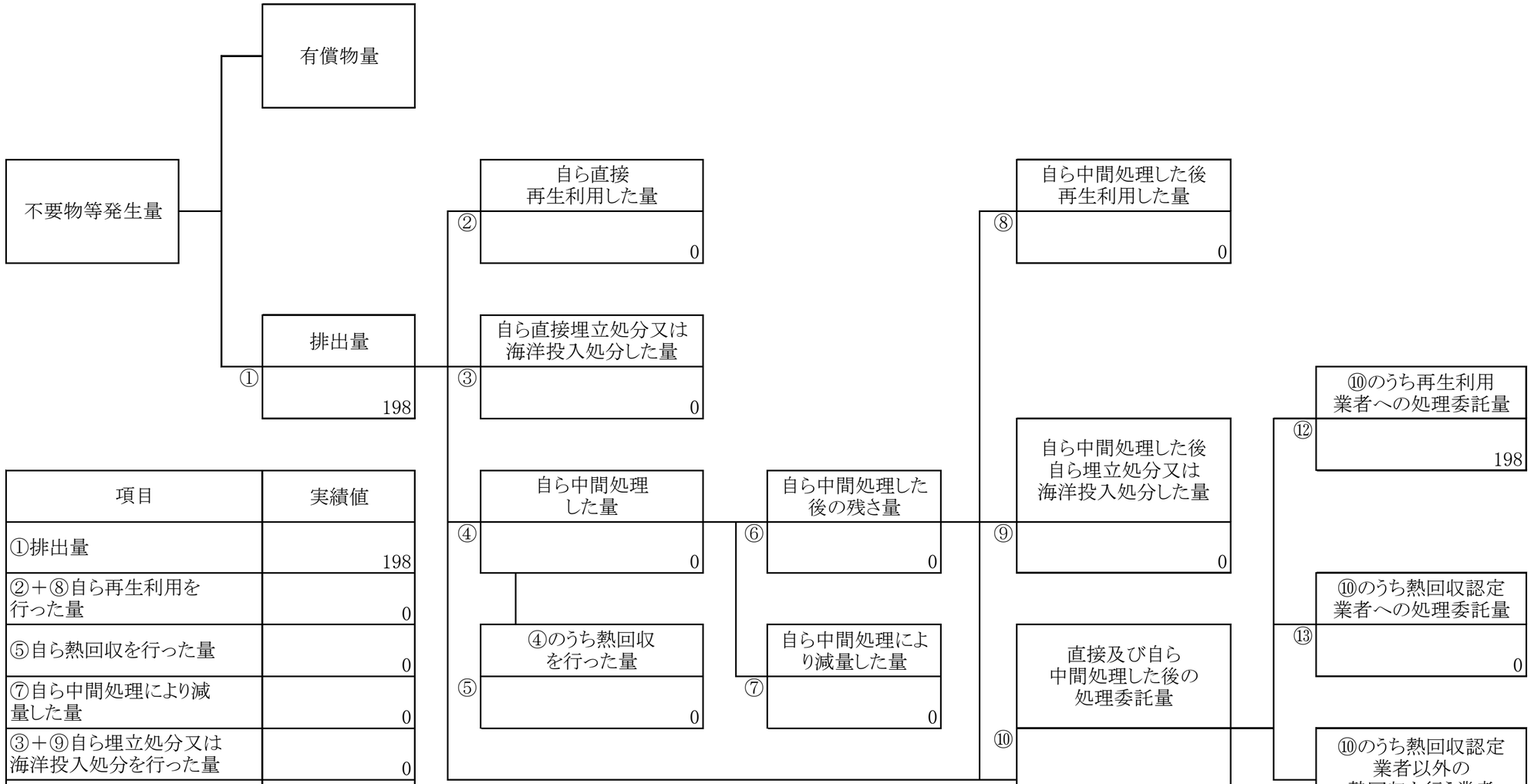
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：がれき類　）



項目	実績値
①排出量	8433.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	8433.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6768.25
⑫再生利用業者への処理委託量	8433.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

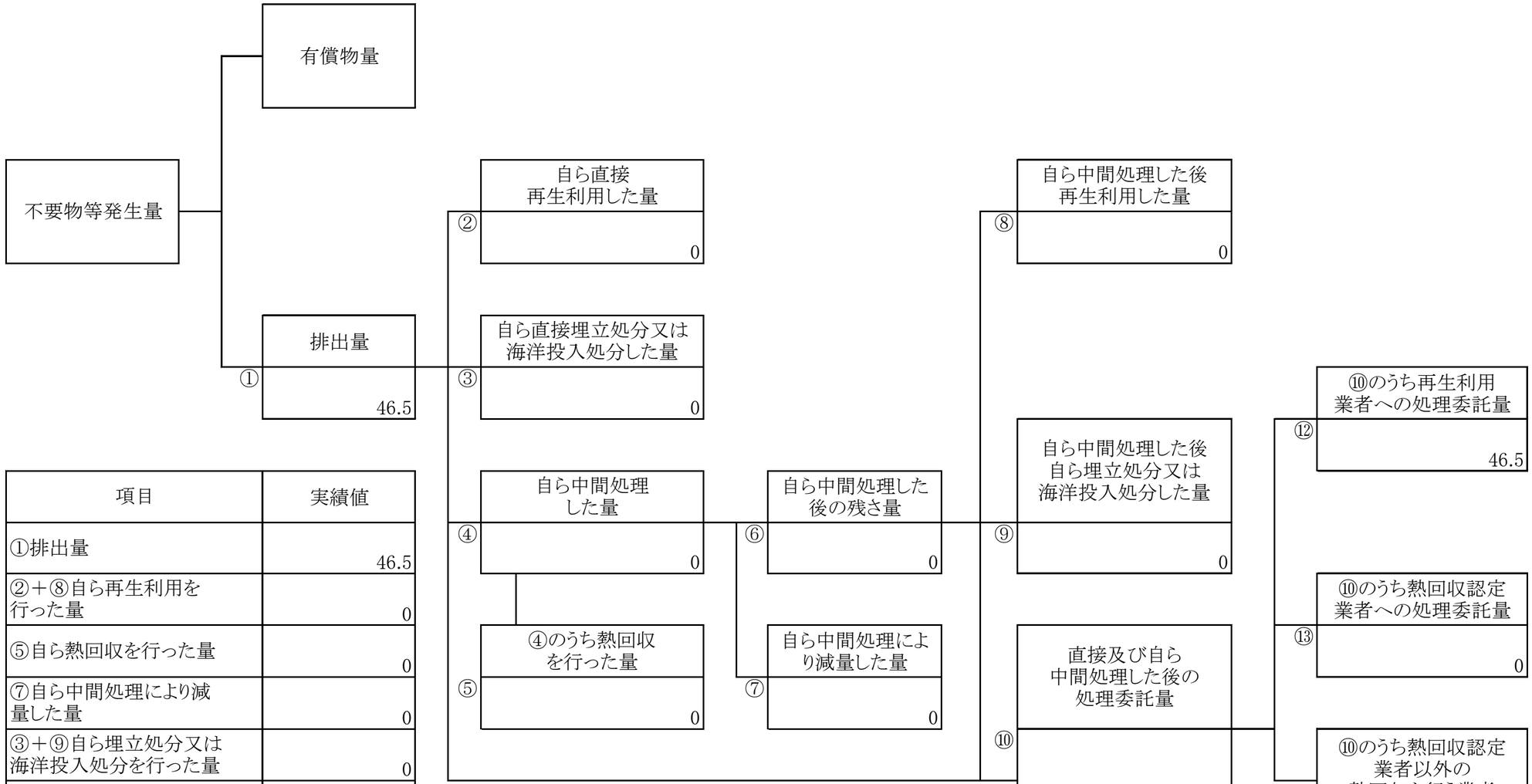
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：石膏ボード　）



項目	実績値
①排出量	198
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	198
⑪優良認定処理業者への処理委託量	198
⑫再生利用業者への処理委託量	198
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：混合廃棄物　　）

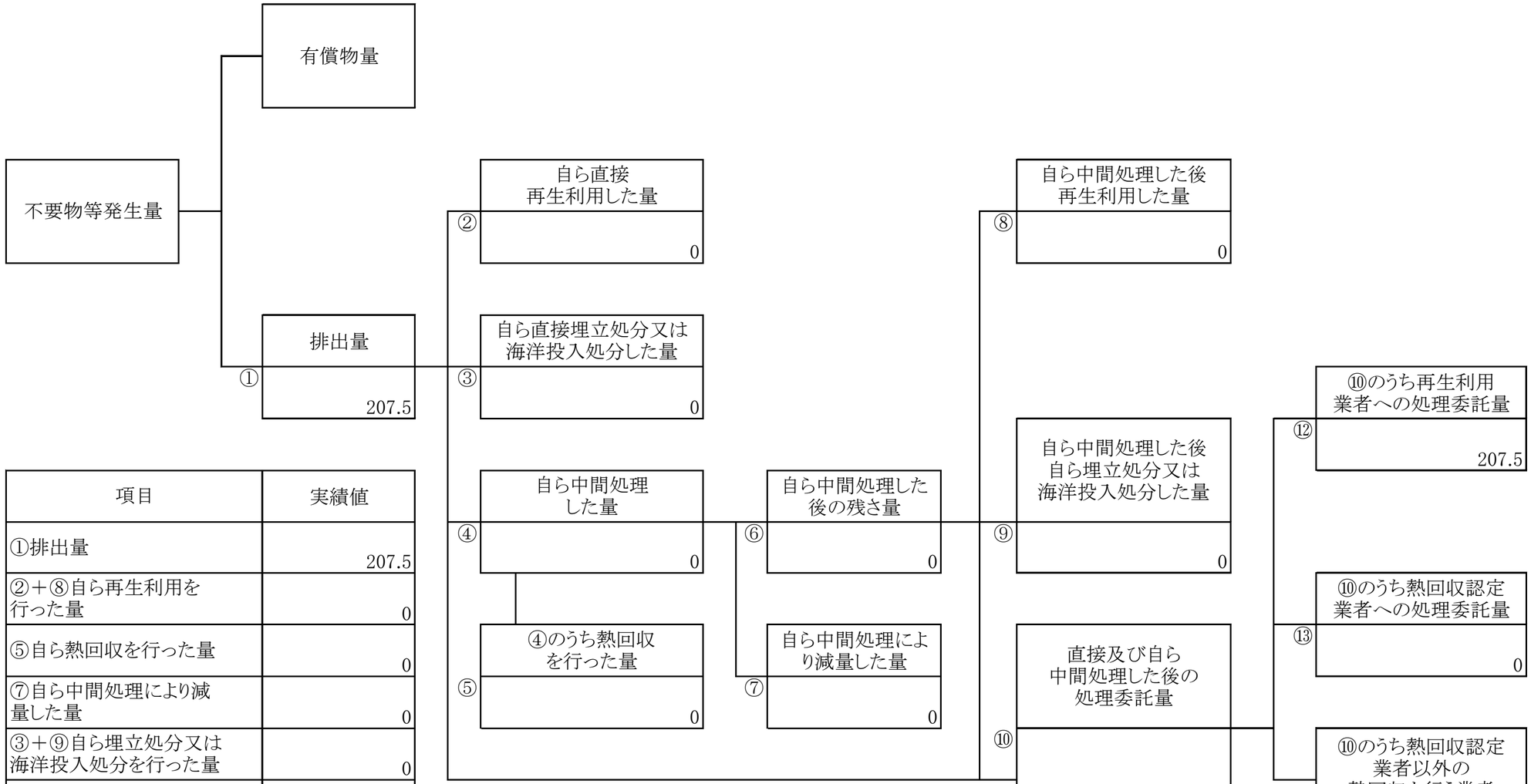


項目	実績値
①排出量	46.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	46.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.5
⑫再生利用業者への処理委託量	46.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

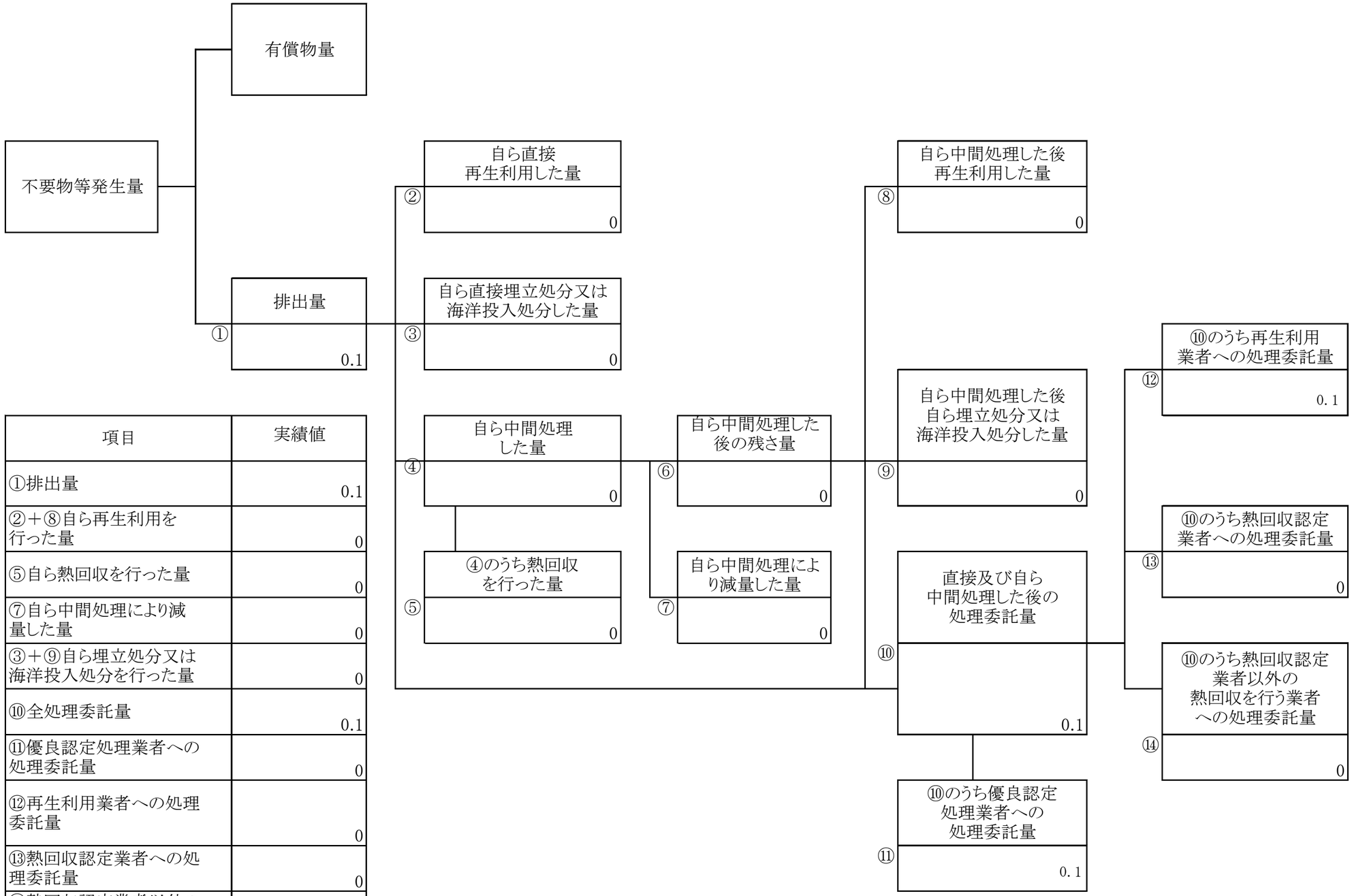
（産業廃棄物の種類：その他がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	207.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	207.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	171.45
⑫再生利用業者への処理委託量	207.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

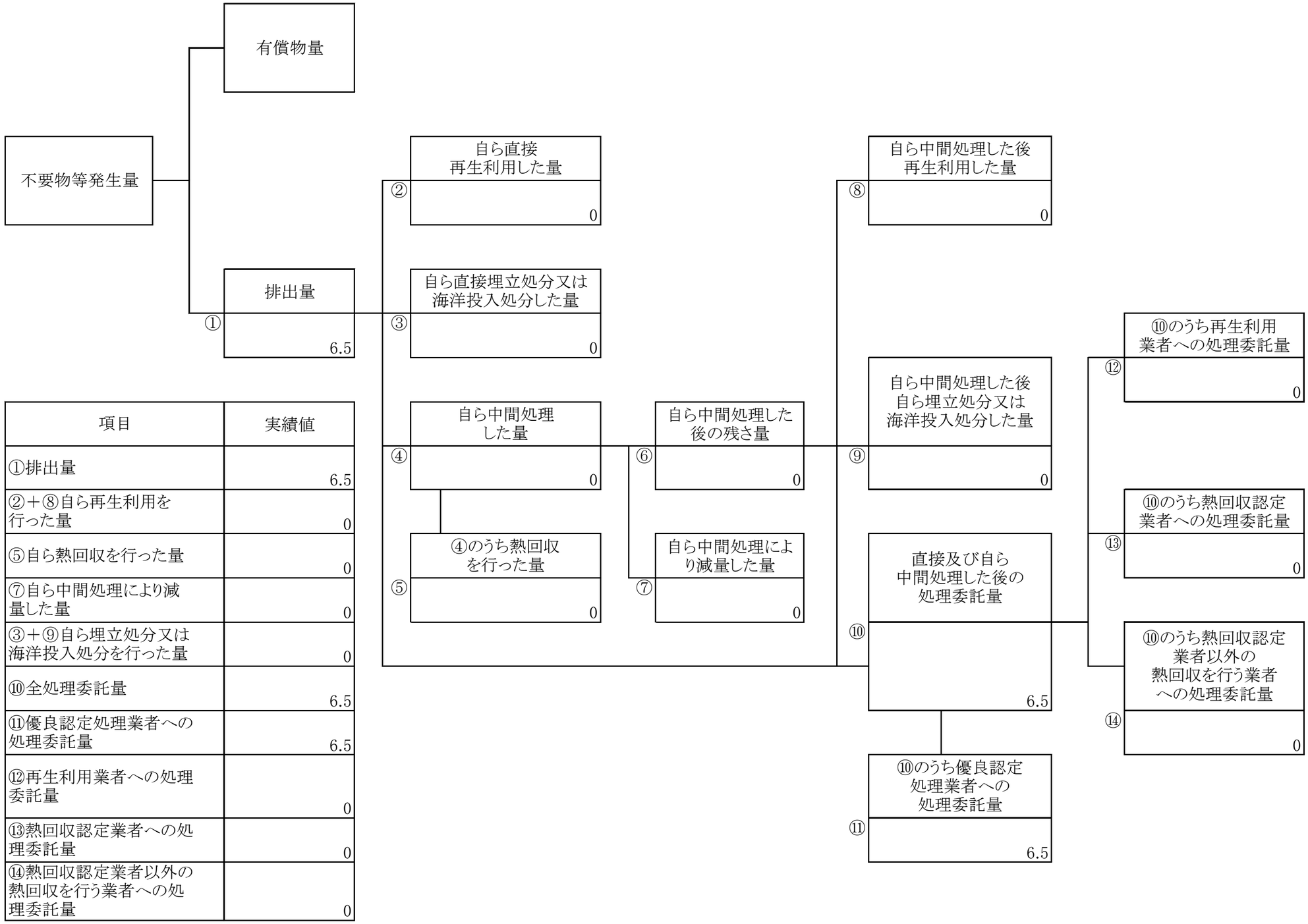
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：水銀使用製品　）



項目	実績値
①排出量	0.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	6.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年4月22日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　150-8340

住　所　東京都渋谷区渋谷1-16-14　渋谷地下鉄ビル

法人名　東急建設株式会社　東日本土木支店

代表者　三輪 昌義

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-5466-5023

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東急建設株式会社　東日本土木支店（習志野鷺沼放流幹線建設工事他）
事業場の所在地	千葉県習志野市鷺沼台４丁目地内他
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　1,408（百万円）
③従業員数	172人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	・産業廃棄物発生フロー　（別表－1）参照 ・処理等工程図　（別表－2）参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

（管理体制図）
・建設副産物対策管理組織図　（別表－3）参照
・作業所は、廃棄物責任者(作業所長又は常駐する上位の社員とする)を定め、建設副産物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理に関する業務を行う。
・現業部門社員を対象とし、定期的に研修にて「建設副産物の減量及び適正処理に関する教育」を実施している。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別表－4のとおり	
排出量	2073.9 t	t

（これまでに実施した取組）

・支店にて廃棄物量削減目標を設定し、以下の項目等を実施
(ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ化、ﾕﾆｯﾄ化、ﾊﾟﾈﾙ化、ﾌﾟﾚｶｯﾄ化等の推進)(鋼製型枠・樹脂型枠、ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ等の使用)(分別の徹底による有価物の売却等)
(広域認定、再生利用指定制度の積極活用)(新規ﾙｰﾄの開拓)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別表－4のとおり	
排出量	1400 t	t

（今後実施する予定の取組）

・ﾒｰｶｰﾘｻｲｸﾙである広域認定制度の利用促進
・建設資材等の納入事業者を含めた排出抑制の取組推進
（納入時の荷姿、梱包材の簡略化)(可能な限り工場加工をし、作業所での端材の発生抑制)
・発生削減重点品目を「廃プラ類」「混合廃棄物」の2品目とし、年度

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・重点品目の分別徹底(廃プラ類の多品目分別)を設定して管理している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・作業所に応じた分別品目を設定し、可能な限り分別に努める。
・廃棄物に関する教育を実施し、分別意識の向上を図る。
・廃棄物に関する好取組事例等を作業所に水平展開する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表－4のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 設計・施工条件が合えば、がれき類・建設汚泥等の再生利用を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表－4のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 積極的に再生利用に努めていきたい。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表－4のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で熱回収・中間処理を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表－4のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 今後も、自社で熱回収・中間処理を行う予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別表－4のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別表－4のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

今後も、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		別表－4のとおり	
全処理委託量		2073.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	188.1 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1885.8 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

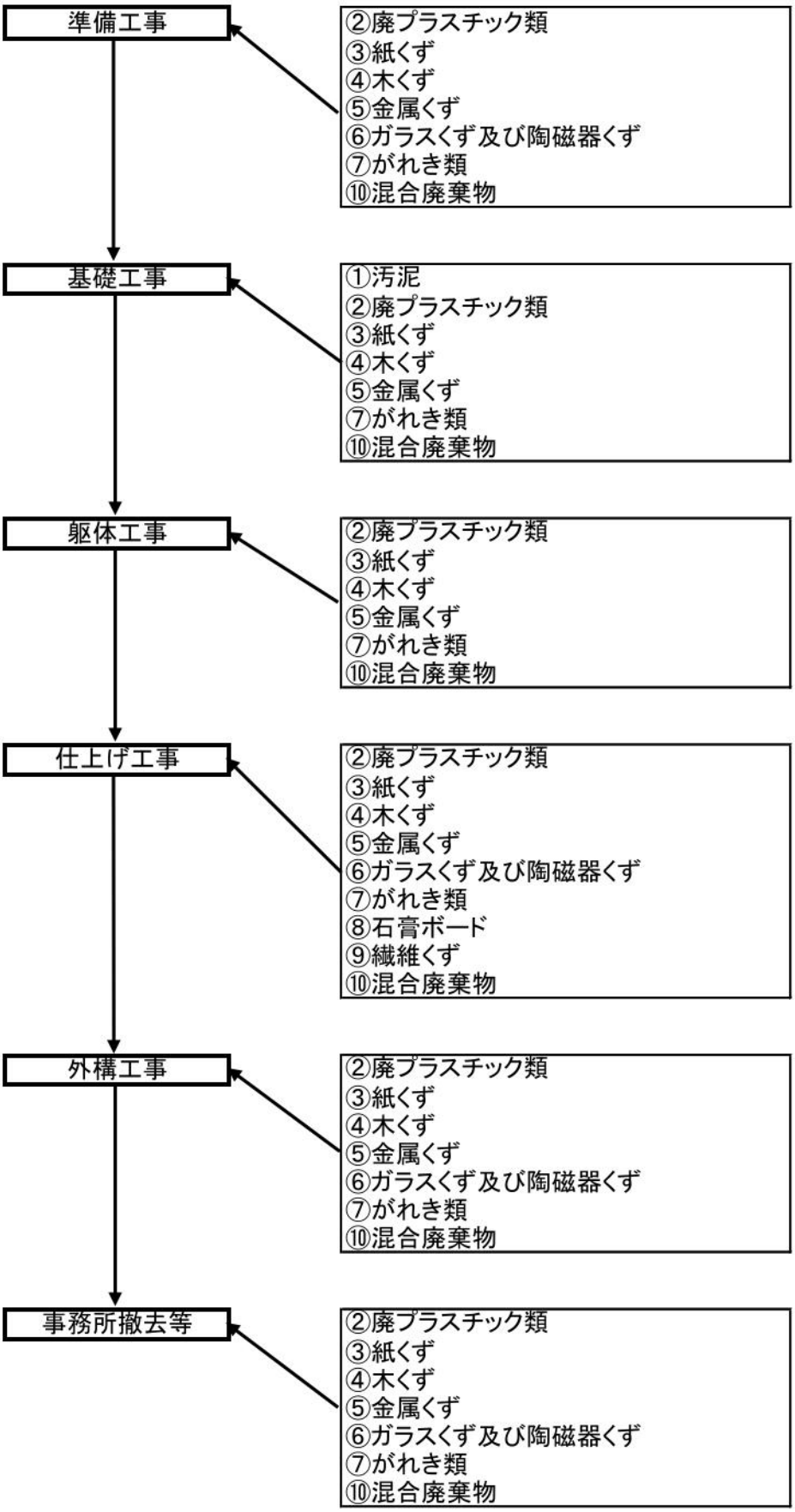
・定期的に処理施設視察を実施し、その情報を関係者で共有している。
・業者選定をする際に過去の取引実績を確認している。
・複数の業者の処理料金を比較している。
・処理業者と定期的に意見交換をしている。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別表－4のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1400 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>121 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1279 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・積極的に優良認定処理業者を活用していきたい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物発生フロー　　（別表－1）

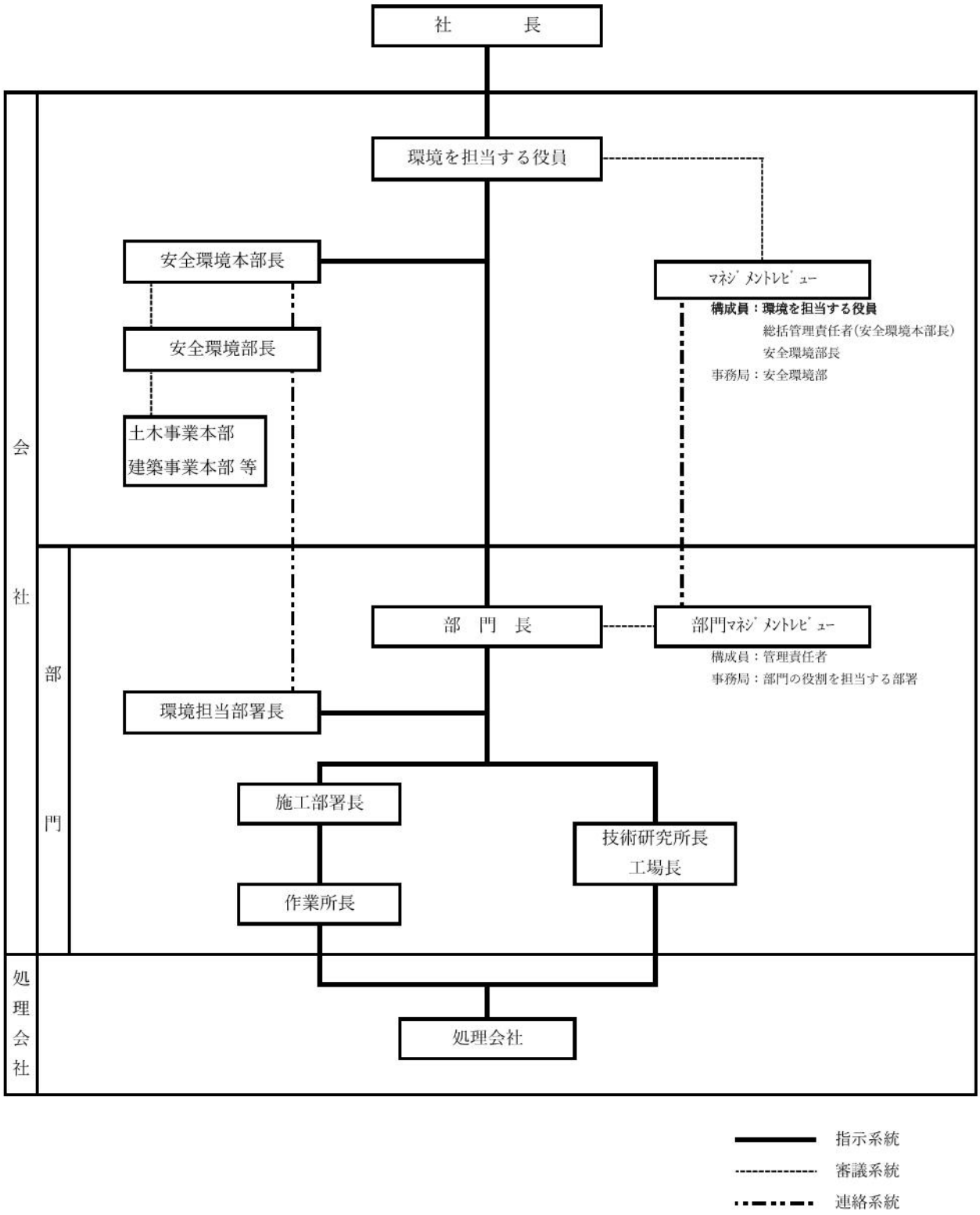
建設工事　　（一般的な建設工事での産業廃棄物発生フローを示す）



処理等工程図　　（別表-2）

	廃棄物の種類	処理等工程	備考
①	汚泥	収集運搬→委託処理【中間処理(脱水・凝集固化、天日乾燥)】→再生(建設資材)	
②	廃プラスチック類	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料・燃料)→最終処分(安定型埋立)	
③	紙くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料)	
④	木くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料)	
⑤	金属くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料)	
⑥	ガラスくず及び陶磁器くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料・建設資材)→最終処分(安定型埋立)	
⑦	がれき類	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(建設資材)→最終処分(安定型埋立)	
⑧	石膏ボード	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料)	
⑨	繊維くず	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕・圧縮)】→再生(原料・燃料)	
⑩	混合廃棄物	収集運搬→委託処理【中間処理(破砕)】→再生(原料・燃料)→最終処分(管理型埋立)	

別表－3　建設副産物対策管理組織



別表－4

令和6年度実績及び令和7年度目標

廃棄物の種類及び 実績、目標の / 排出・処理の区別	汚泥		廃プラスチック類		紙くず		木くず		がれき類		混合廃棄物		繊維くず		金属くず		ガラス・陶磁器くず		廃油		計	
	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度	実績(t) R6年度	目標(t) R7年度
排出量	1615.9	950.0	25.2	30.0	4.1	5.0	54.3	50.0	371.0	357.0	0.1	1.0	0.1	1.0	0.0	1.0	3.0	3.0	0.2	2.0	2073.9	1400.0
自己再生利用量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己熱回収量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己中間処理減量化量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全処理委託量	1615.9	950.0	25.2	30.0	4.1	5.0	54.3	50.0	371.0	357.0	0.1	1.0	0.1	1.0	0.0	1.0	3.0	3.0	0.2	2.0	2073.9	1400.0
優良認定処理業者への処理委託量	0.0	0.0	25.2	30.0	2.4	3.0	40.6	50.0	116.6	30.0	0.1	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	3.0	3.0	0.2	2.0	188.1	121.0
再生処理業者への処理委託量	1615.9	950.0	0.0	0.0	1.7	2.0	13.7	0.0	254.4	327.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1885.8	1279.0
認定熱回収処理業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年4月21日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　150-8340

住所 東京都渋谷区渋谷1-16-14 渋谷地下鉄ビル

法人名 東急建設株式会社 東日本土木支店

代表者 三輪 昌義

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5466-5023

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東急建設株式会社 東日本土木支店(習志野鷺沼放流幹線建設工事他)
事業場の所在地	千葉県習志野市鷺沼台4丁目地内他
事業の種類	大分類　建設業　中分類 06:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

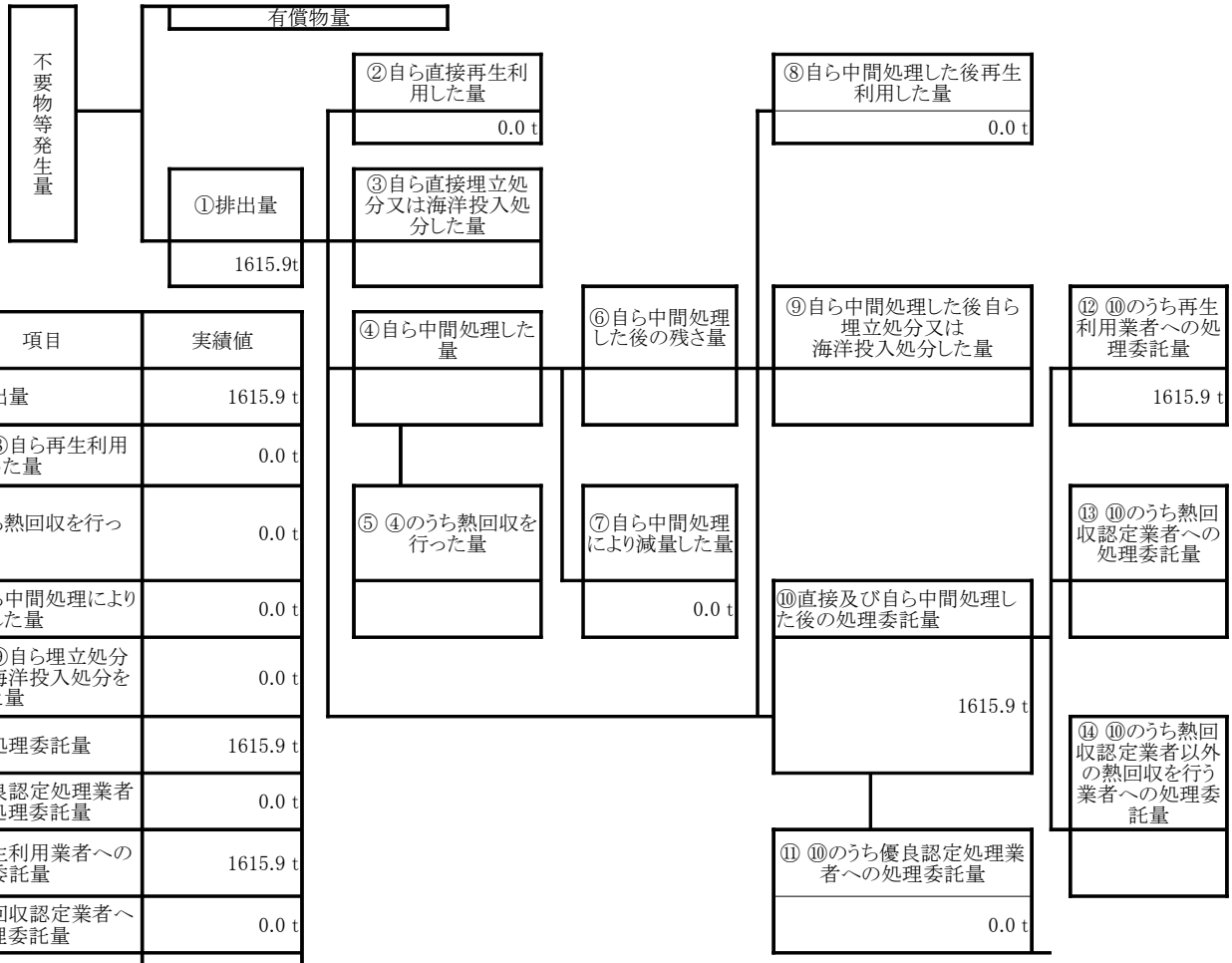
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3000 t	全処理委託量	3000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	310 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2690 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

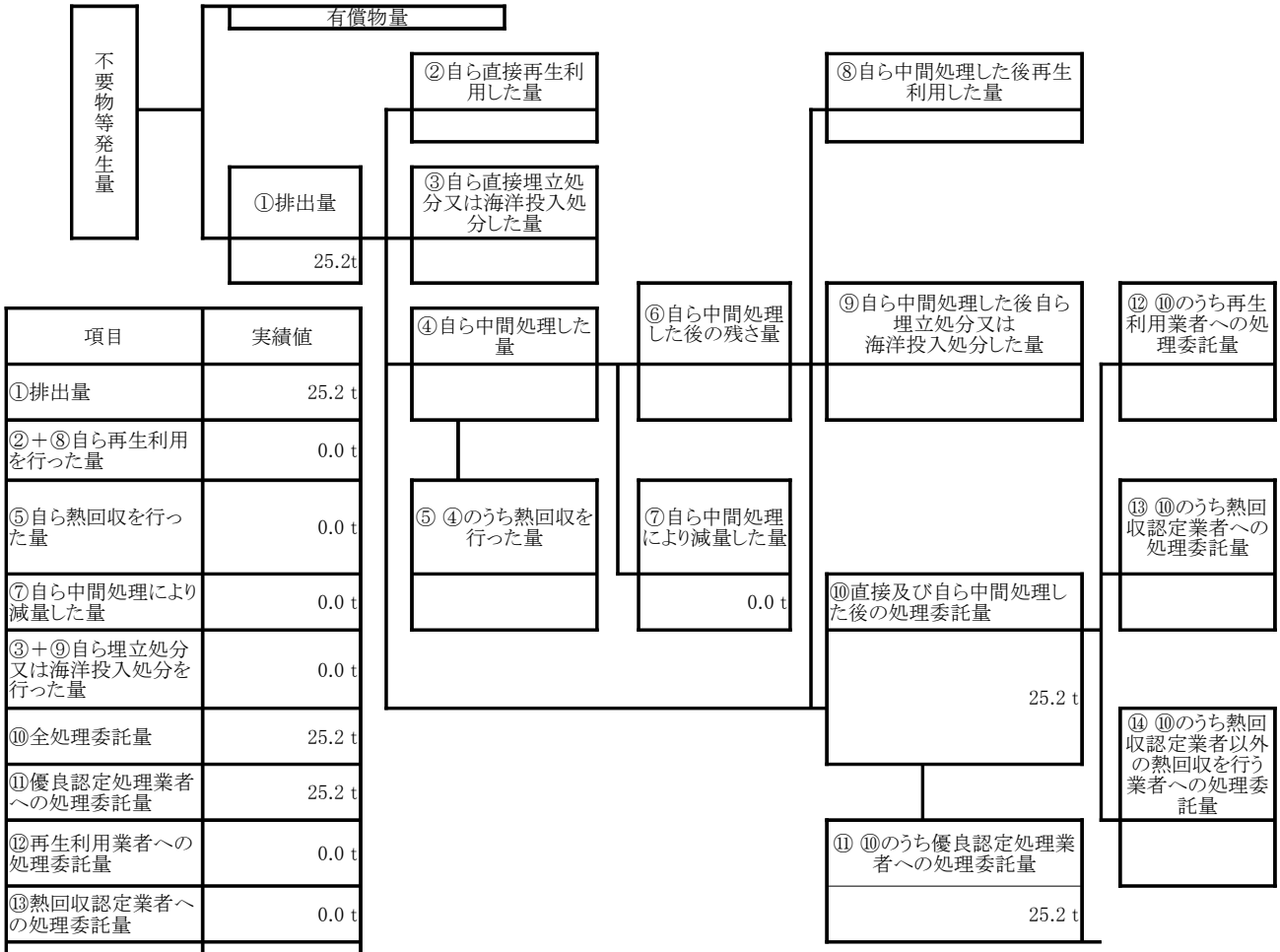


項目	実績値
①排出量	1615.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1615.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1615.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



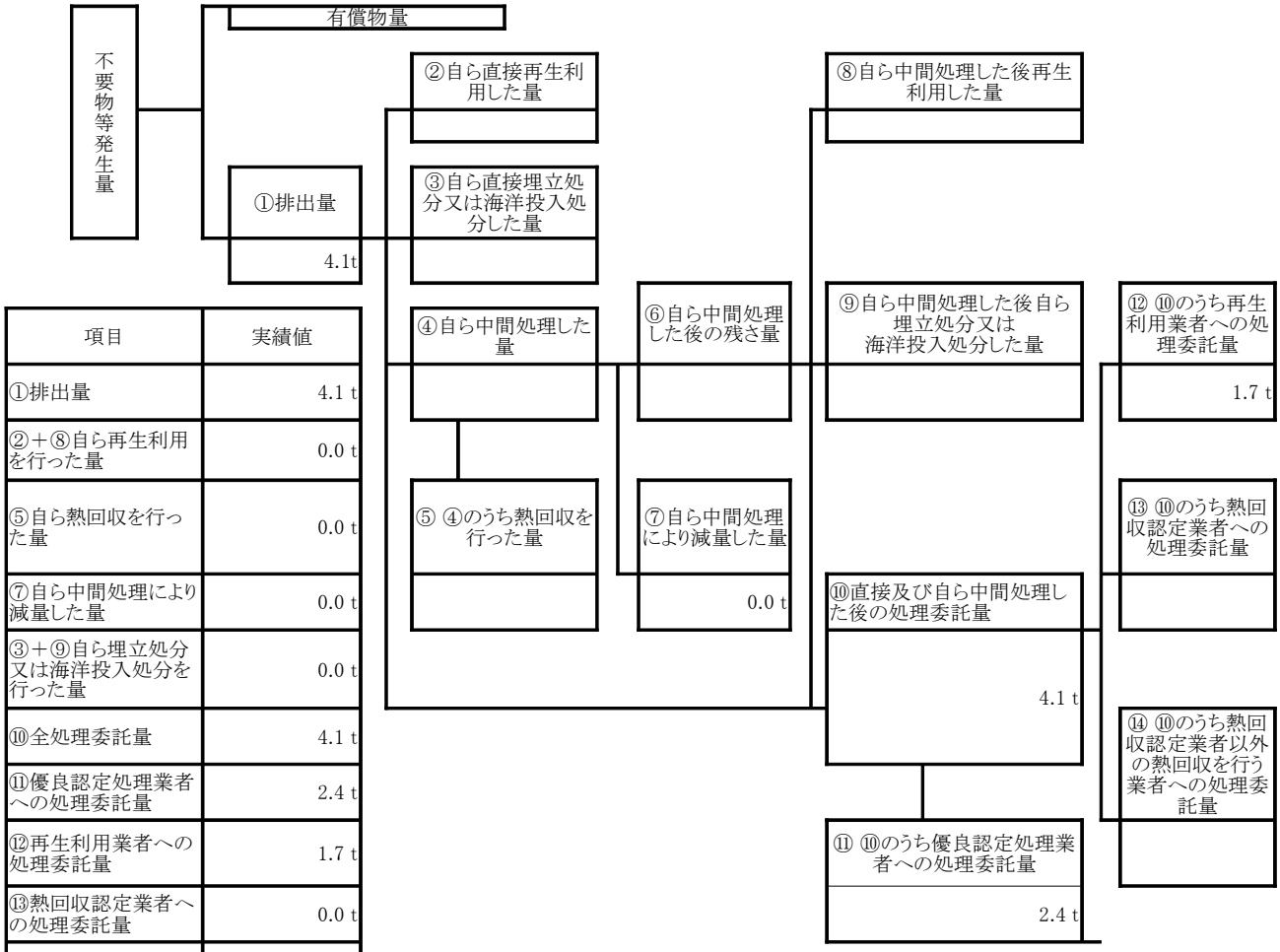
項目	実績値
①排出量	25.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	25.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



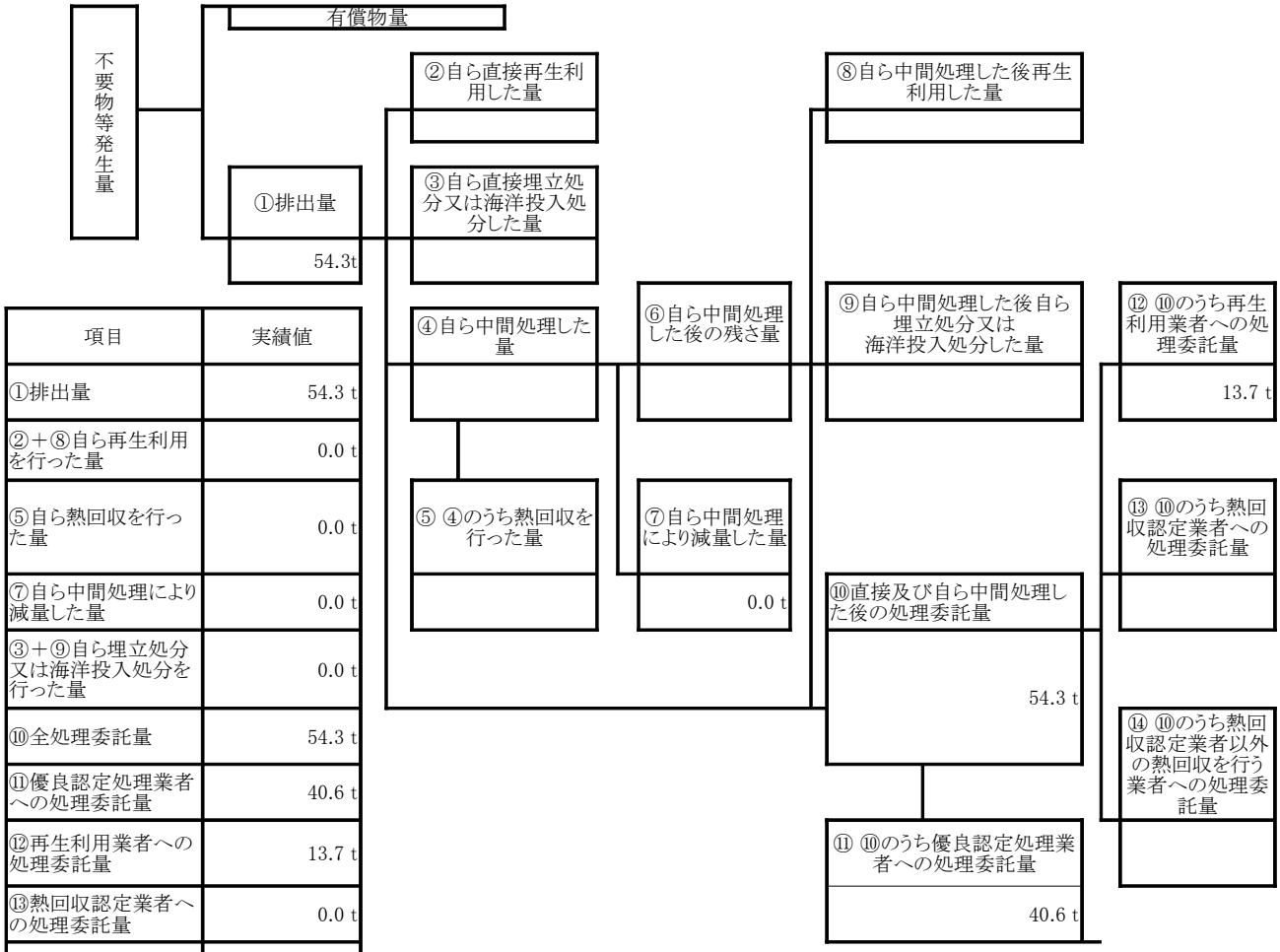
項目	実績値
①排出量	4.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



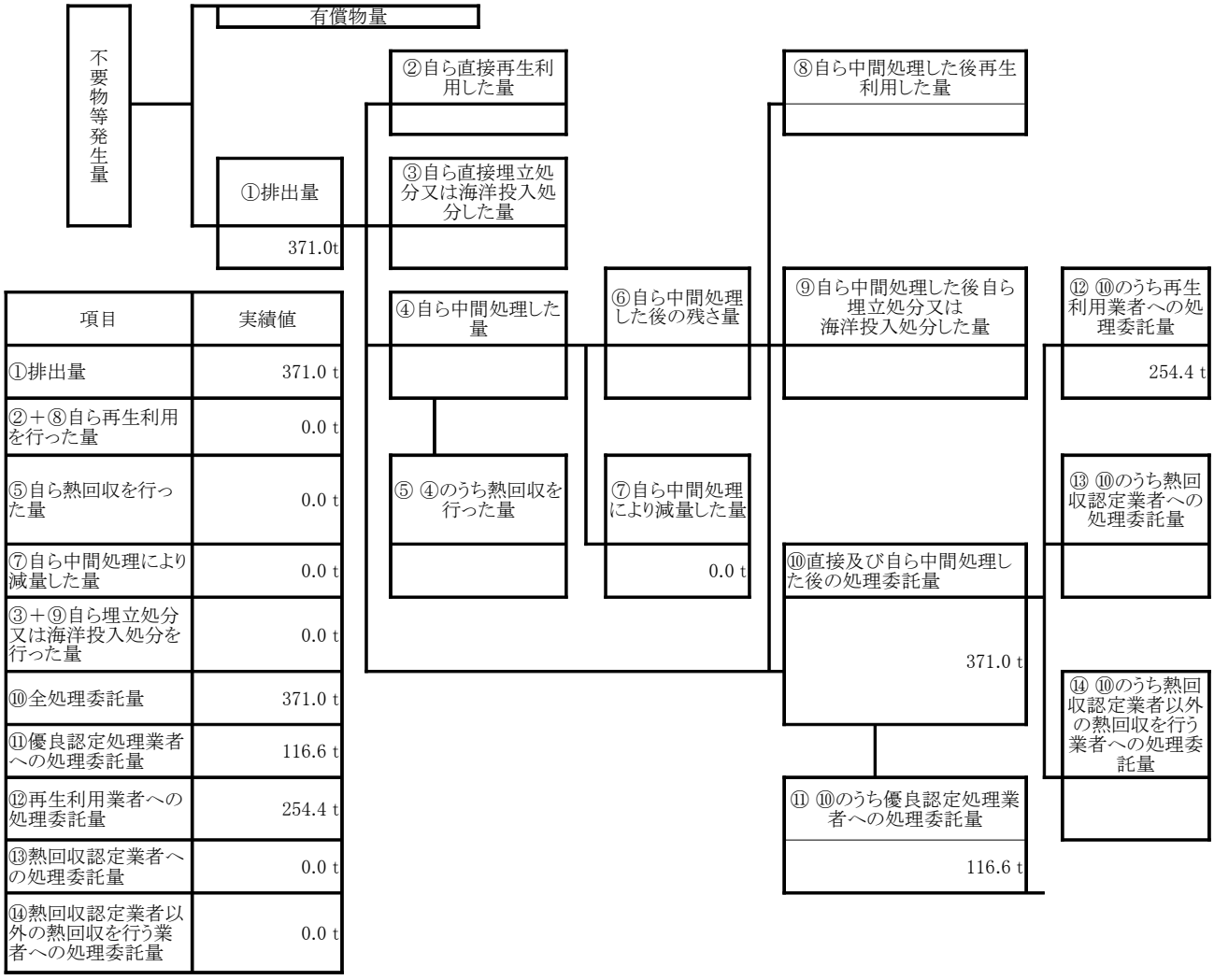
項目	実績値
①排出量	54.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	54.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

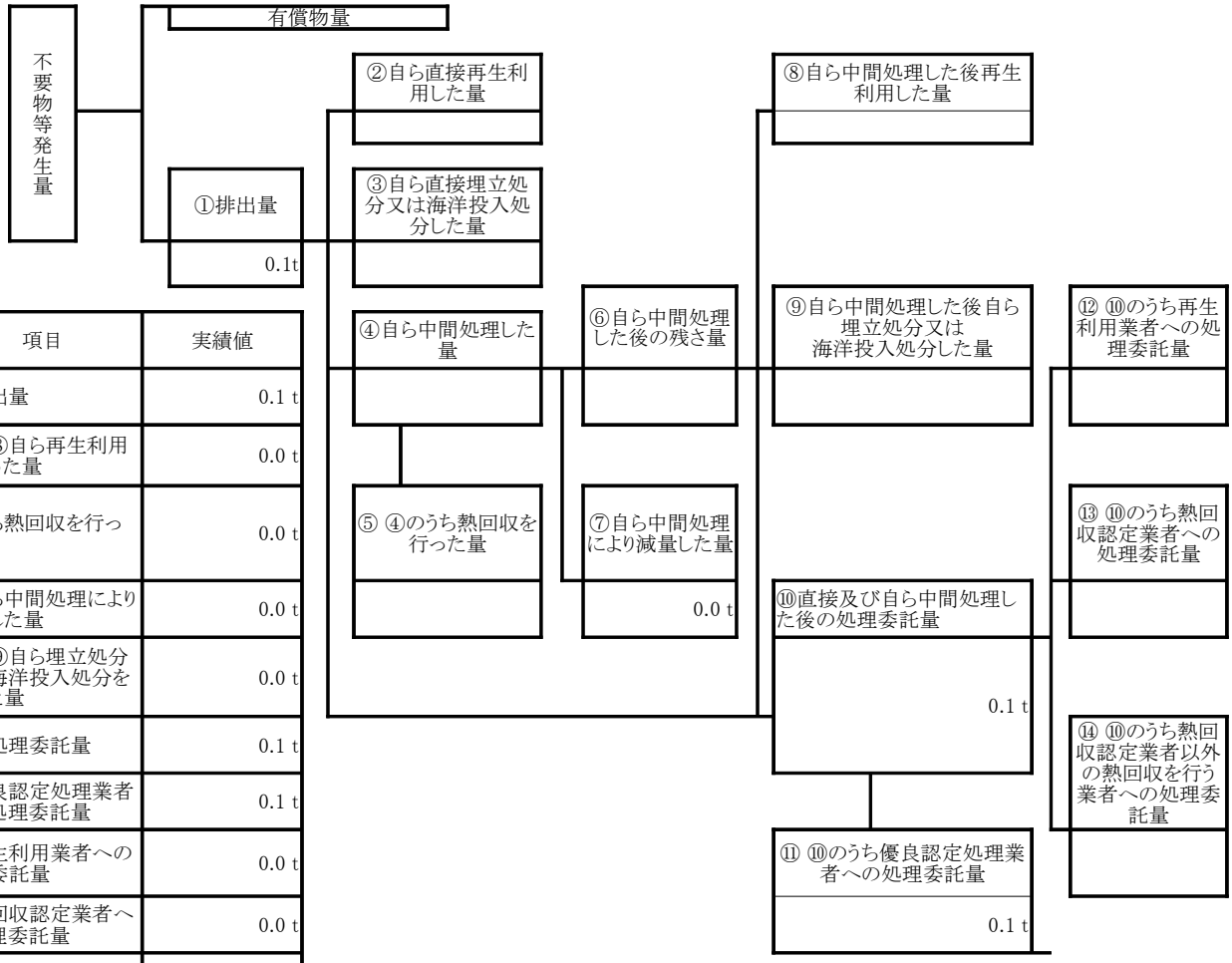


項目	実績値
①排出量	371.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	371.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	116.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	254.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**混合廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

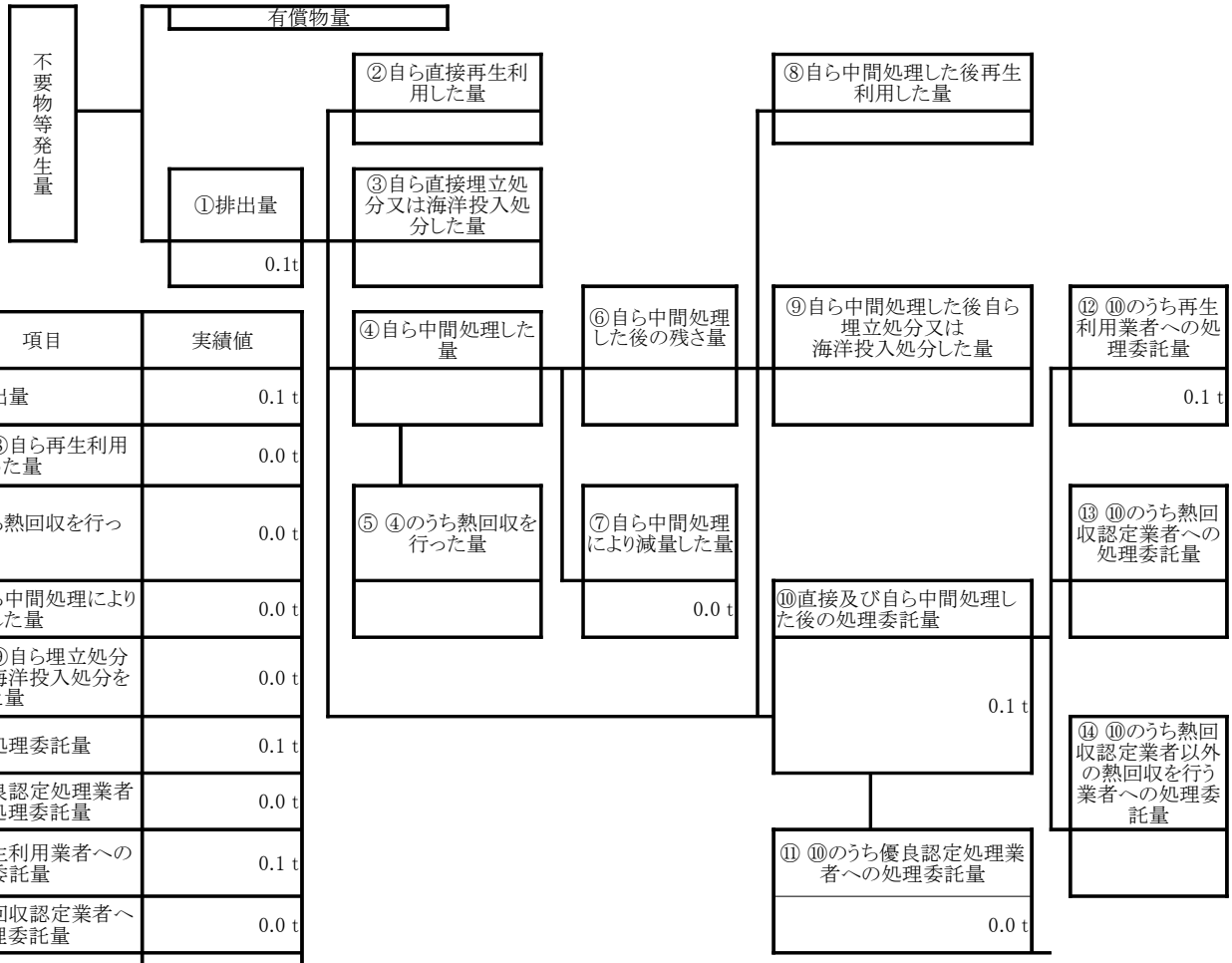


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



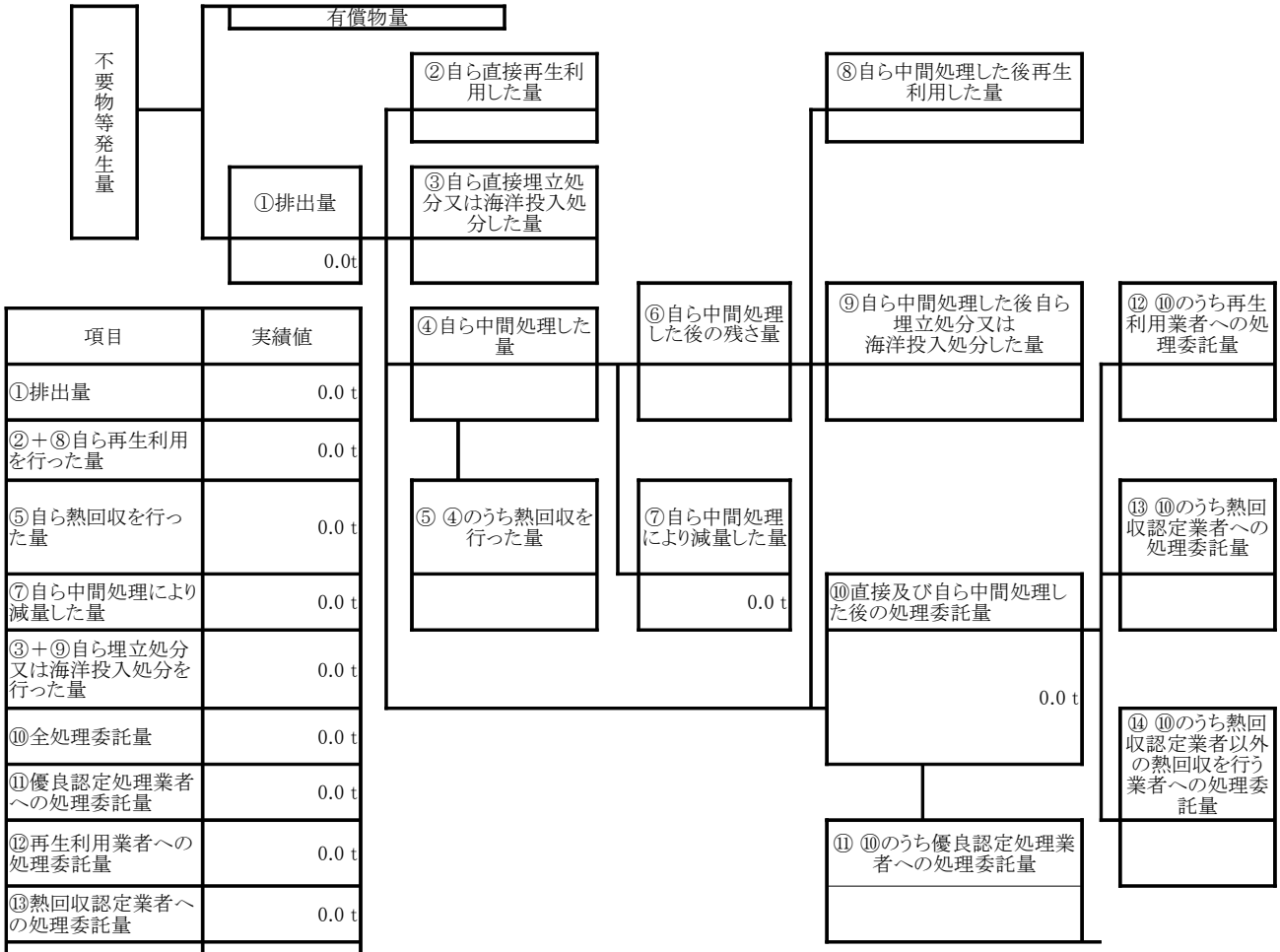
項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

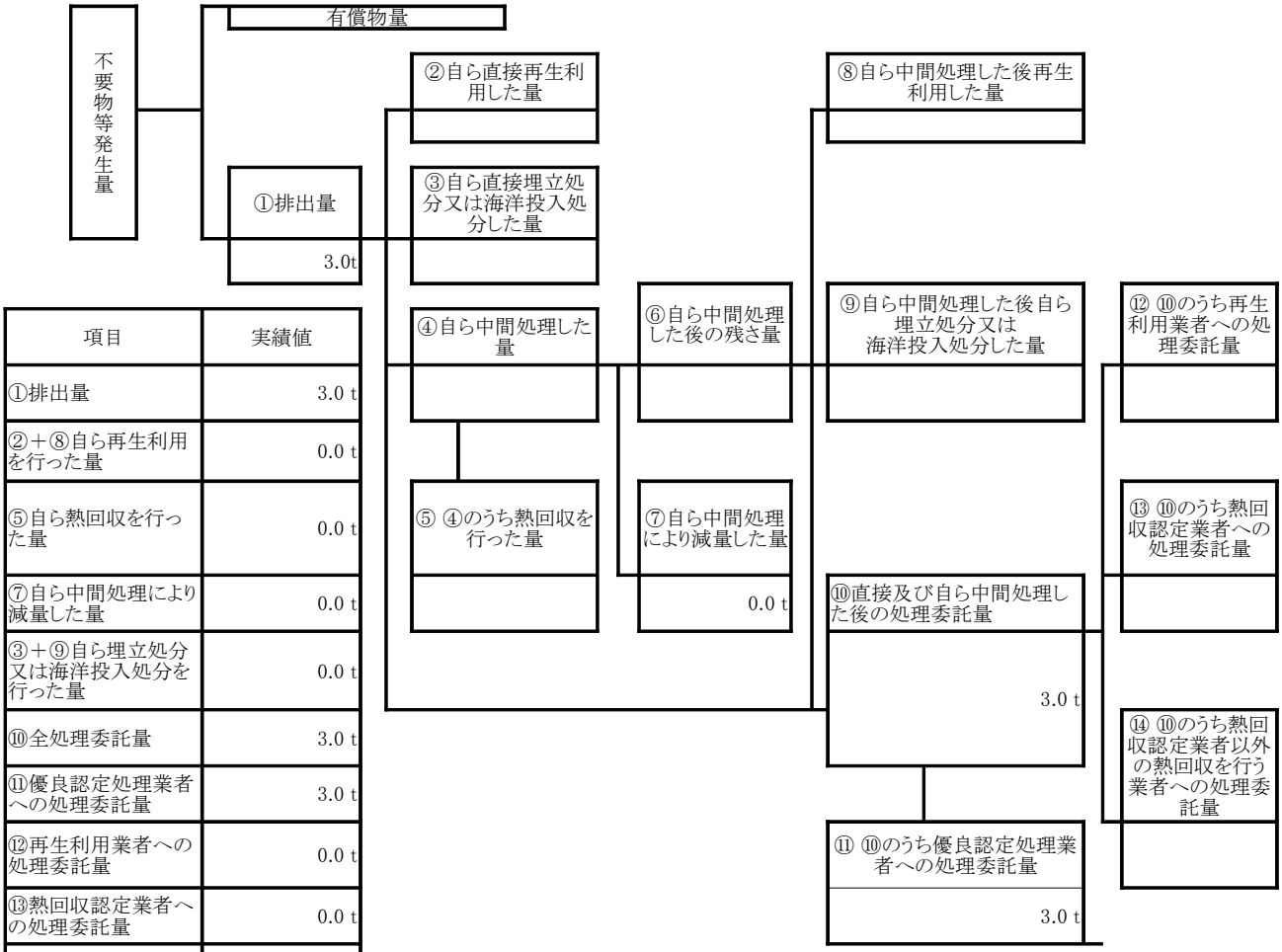


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　ガラス・陶磁器くず　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

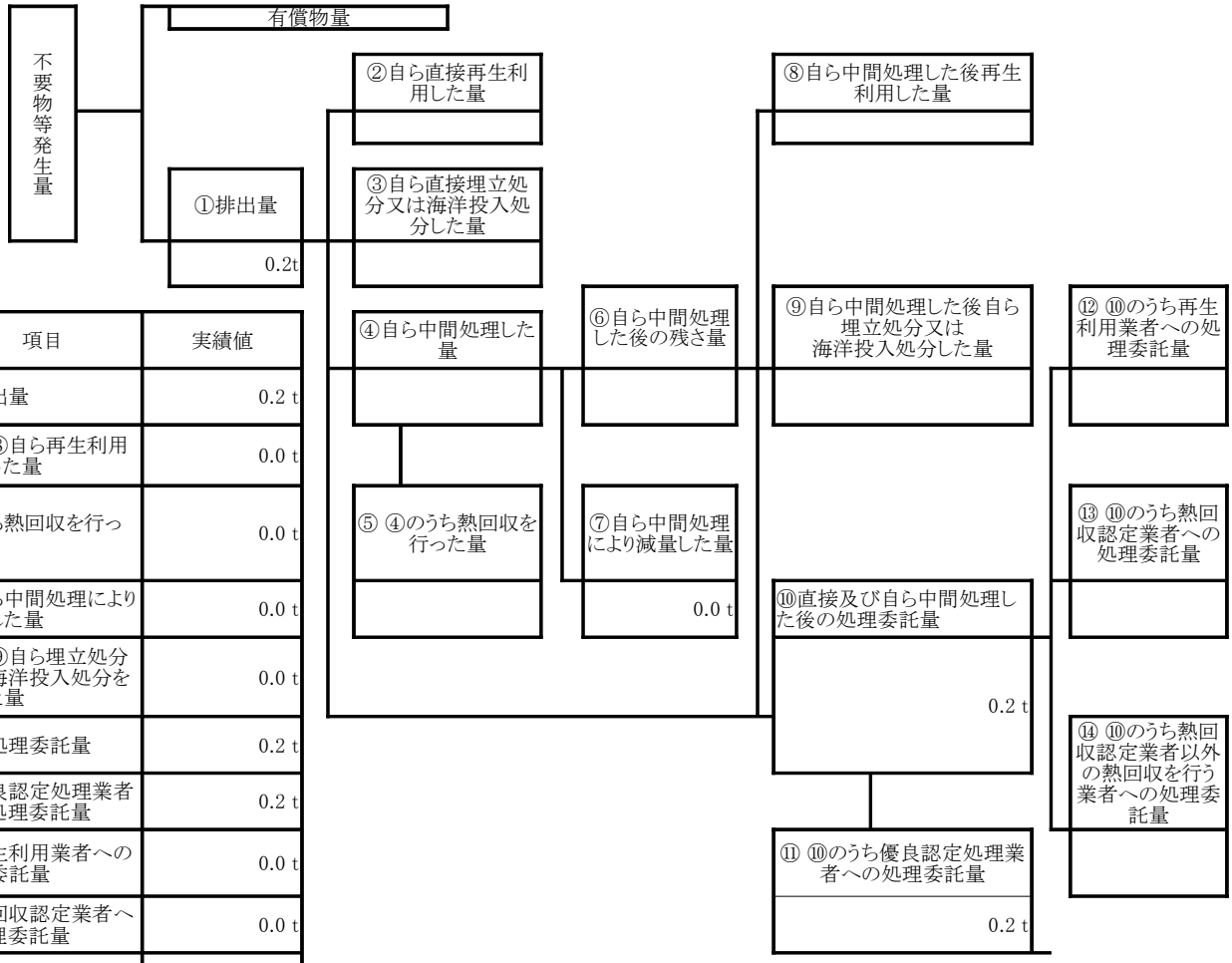


項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃油**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月　30日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒103-0025
住　所　東京都中央区日本橋茅場町1-3-1
氏　名　株式会社東京エネシス
エネルギー本部 工事統括部 変電工事部長 中川直樹
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-6371-5354

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	変電工事部（旧 水力・変電部） 新野田工事事務所
事業場の所在地	千葉県野田市西三ヶ尾281
事業の種類	D08－設備工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

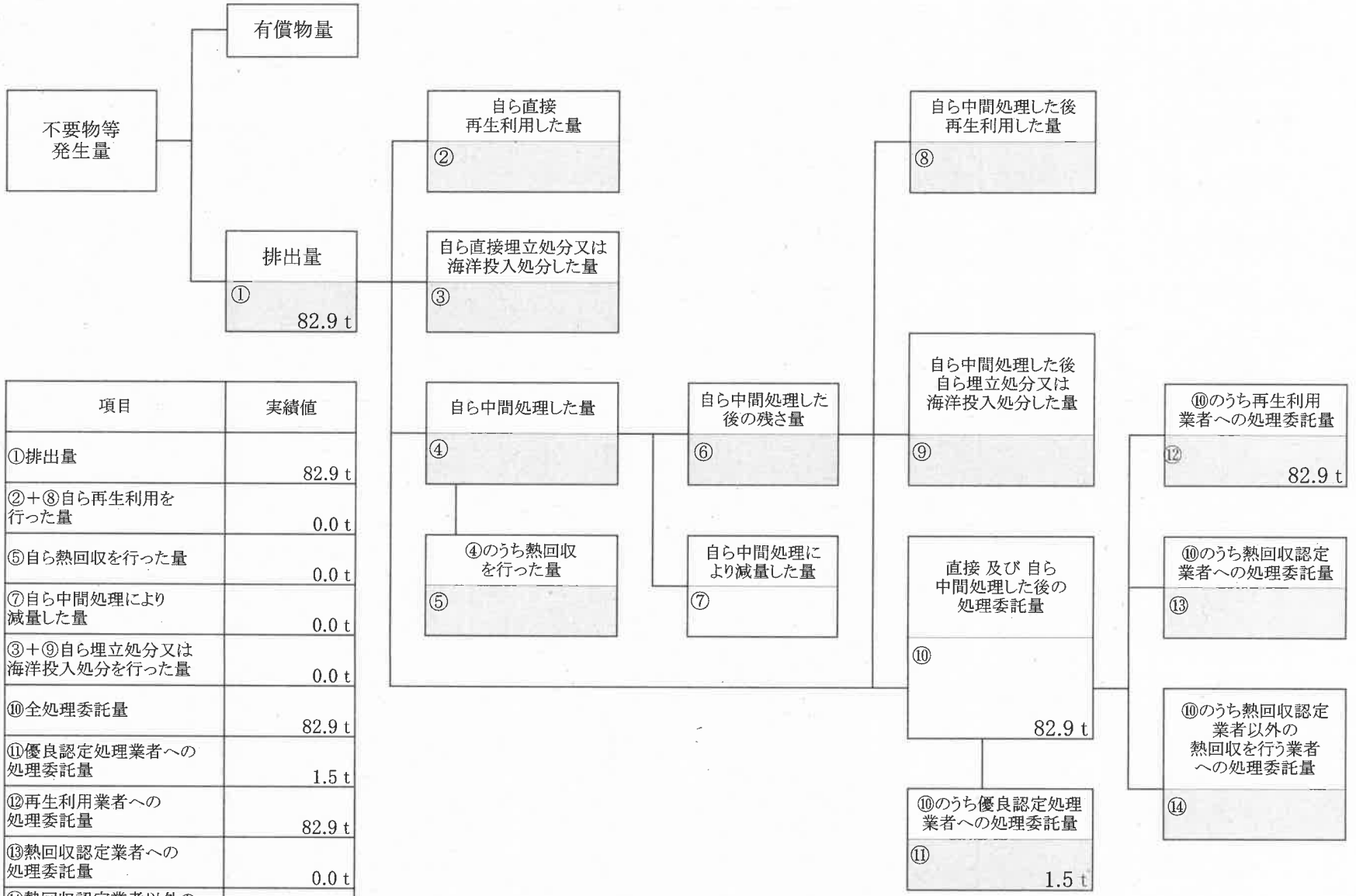
項目	目標値	項目	目標値
排出量	102.0 t	全処理委託量	102.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	102.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	102.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

千葉県 産業循環型社会推進課 -7.6.12 収受

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

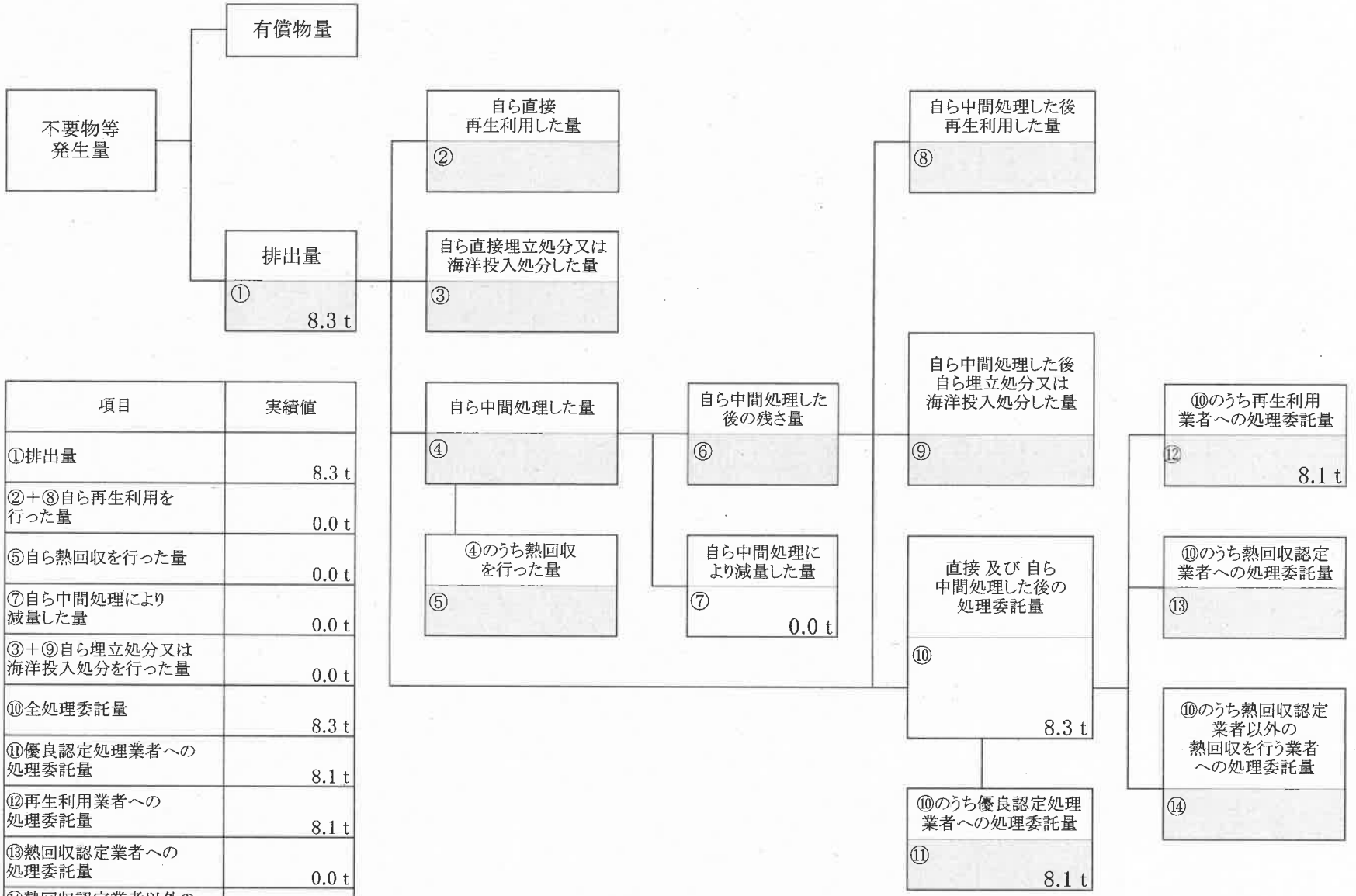


項目	実績値
①排出量	82.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	82.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	82.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

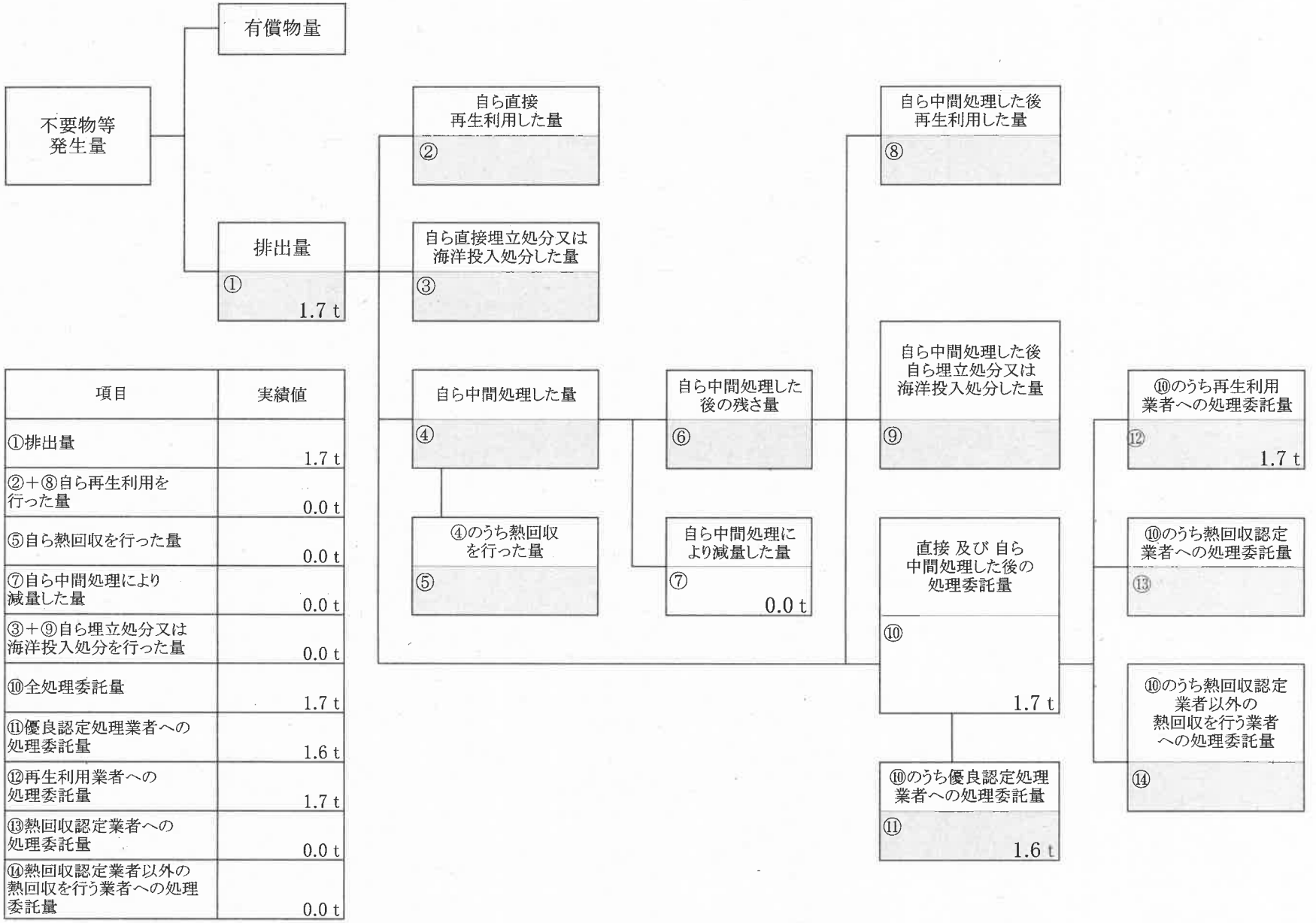


項目	実績値
①排出量	8.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

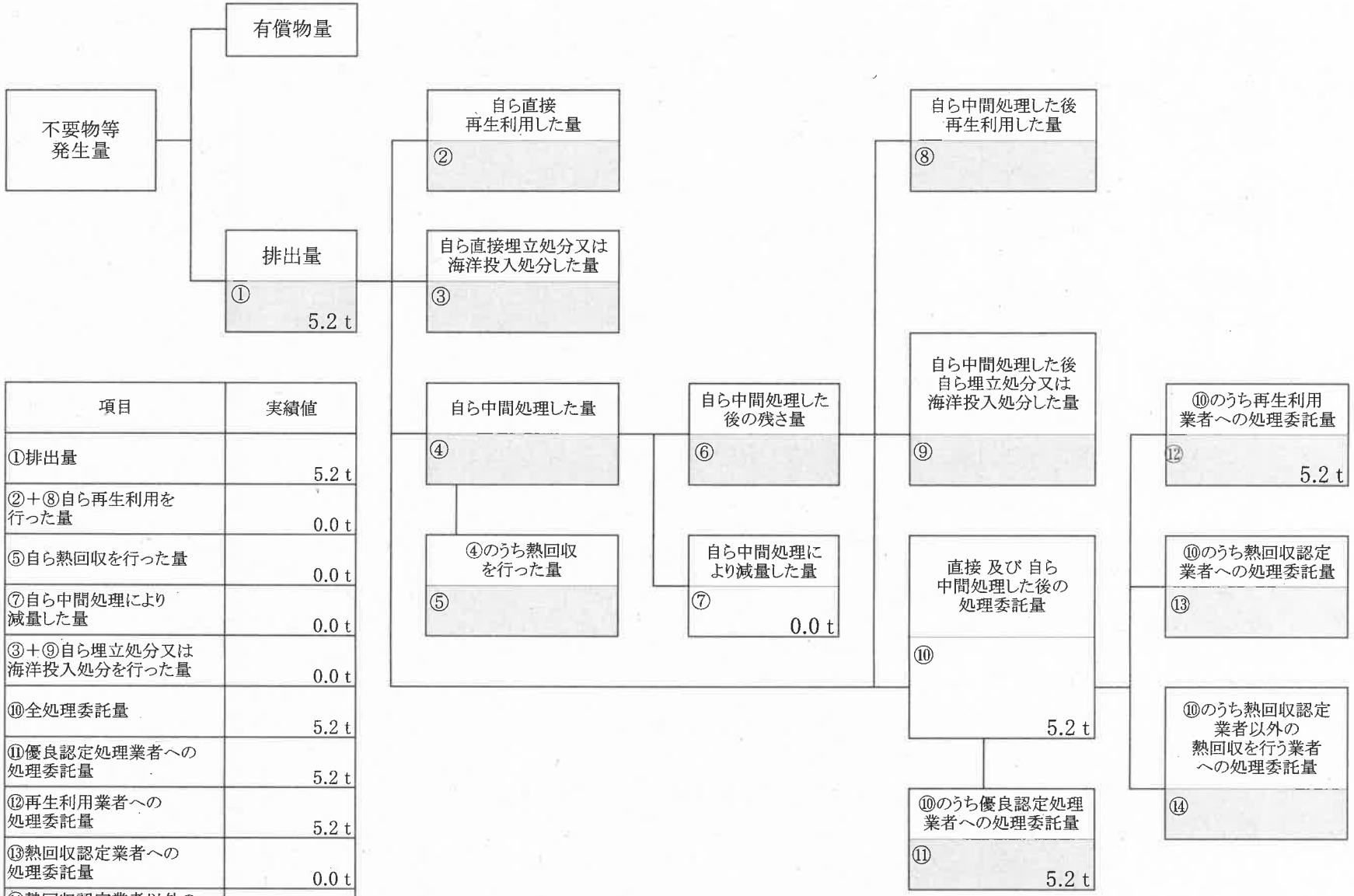


項目	実績値
①排出量	1.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

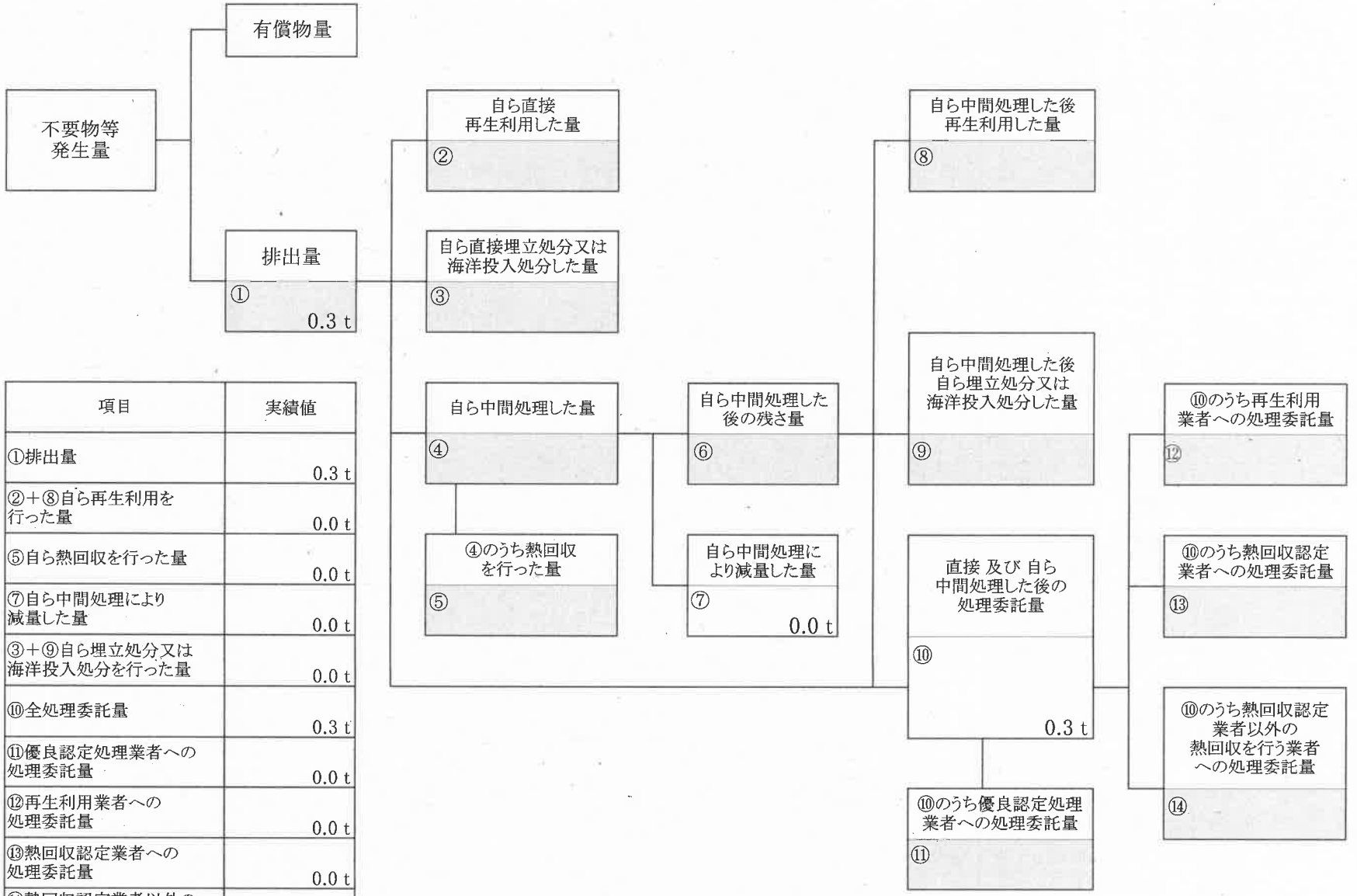


項目	実績値
①排出量	5.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　）

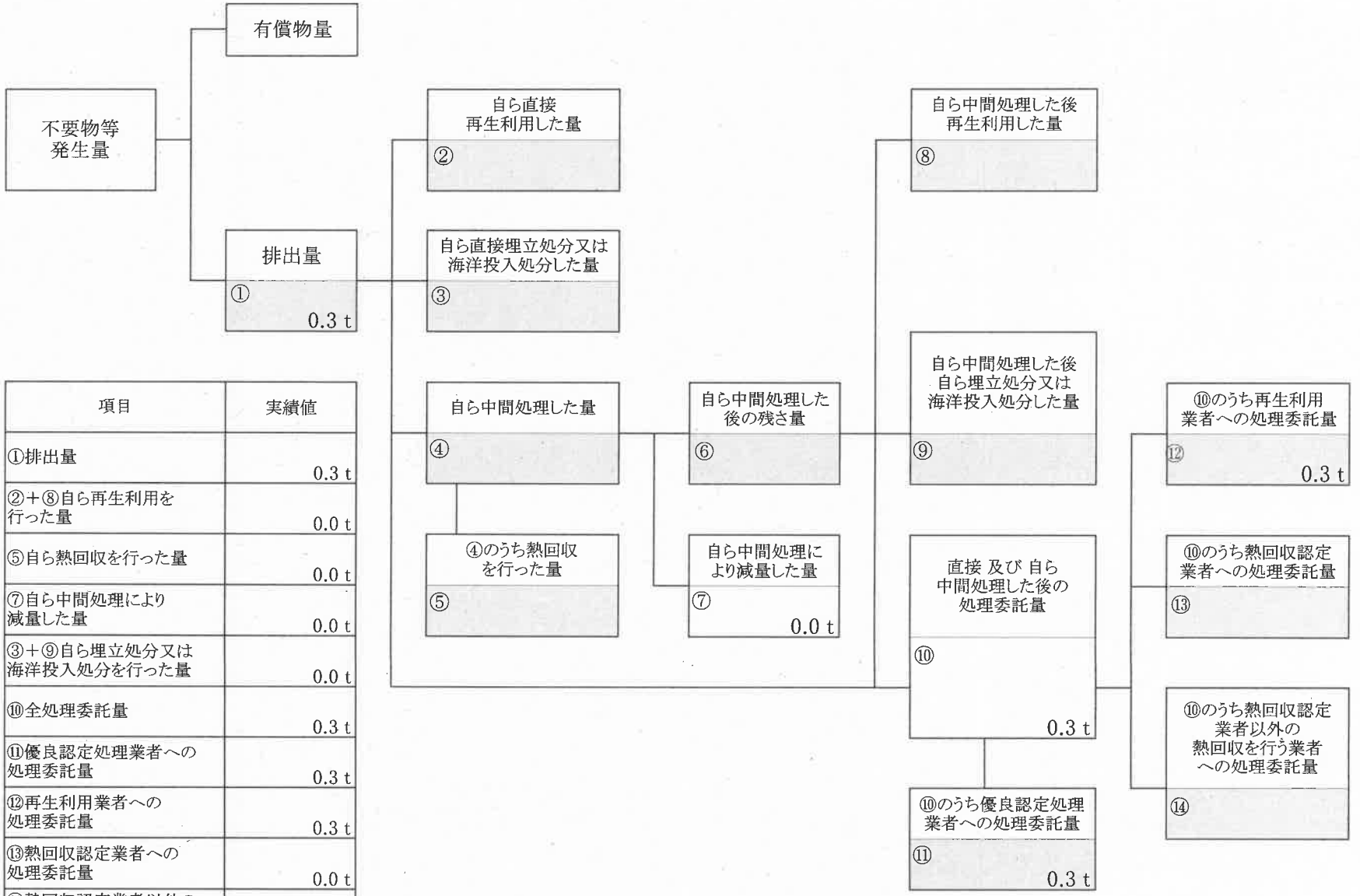


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

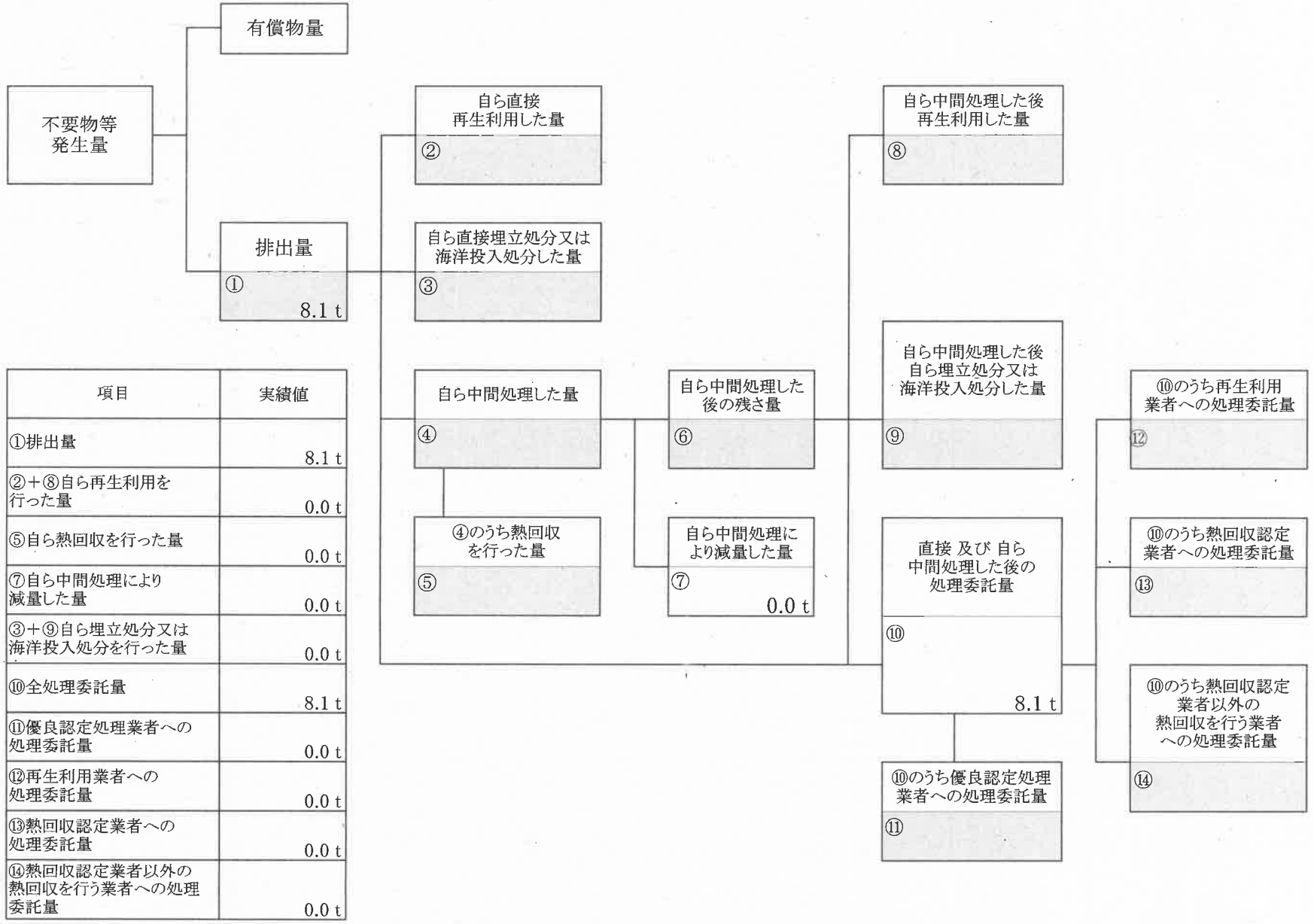


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：汚泥）

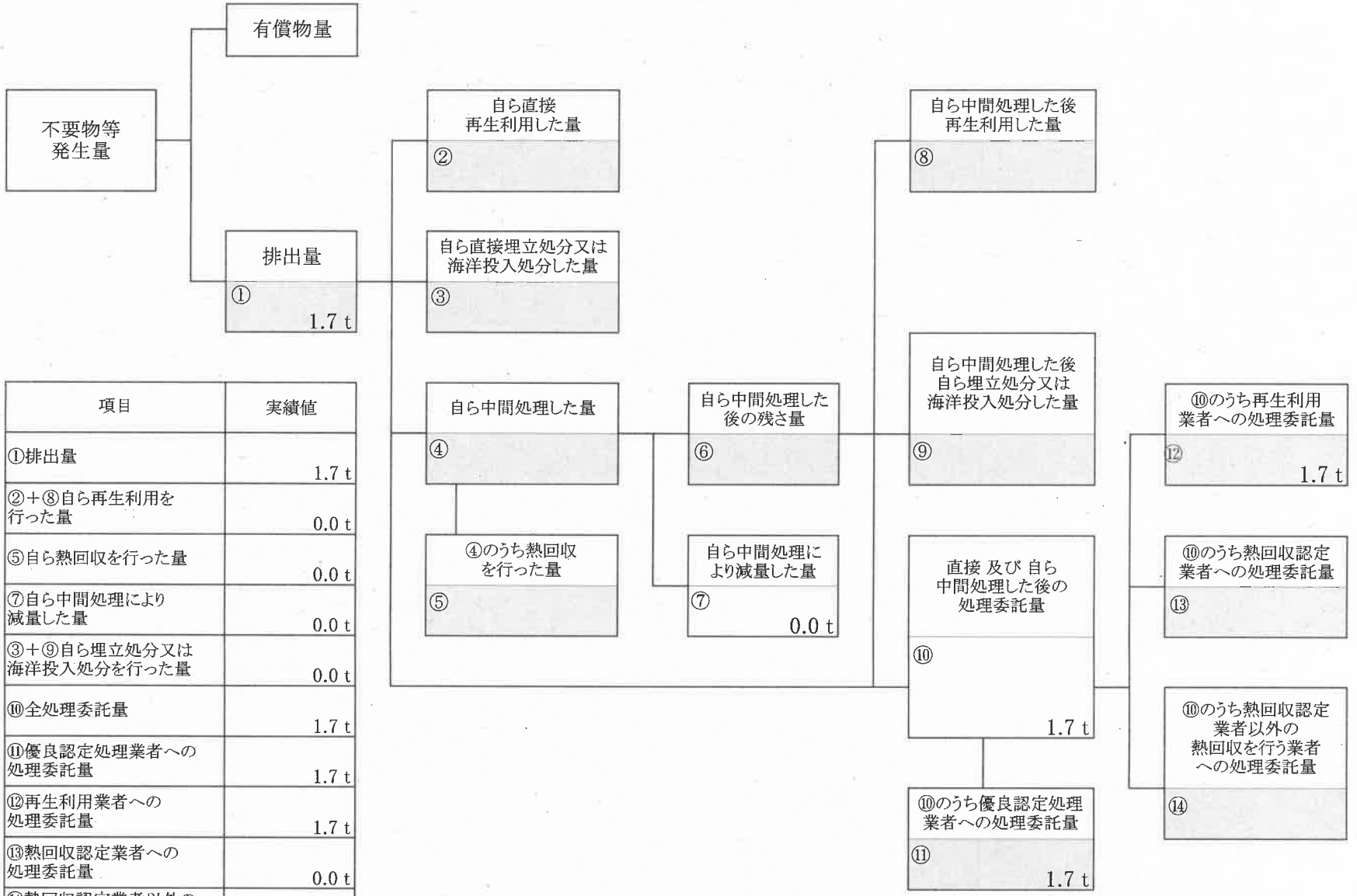


項目	実績値
①排出量	8.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

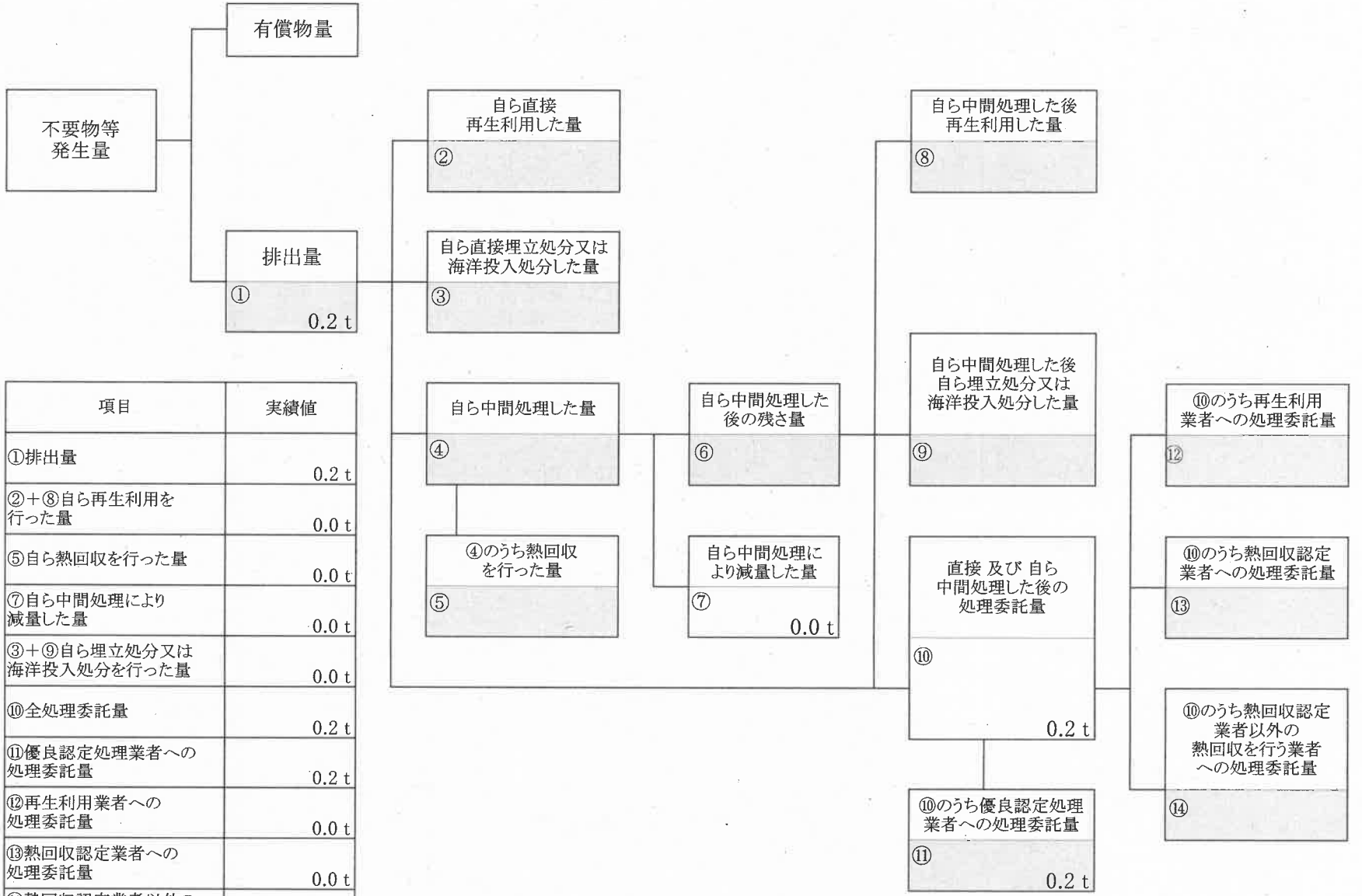


項目	実績値
①排出量	1.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）

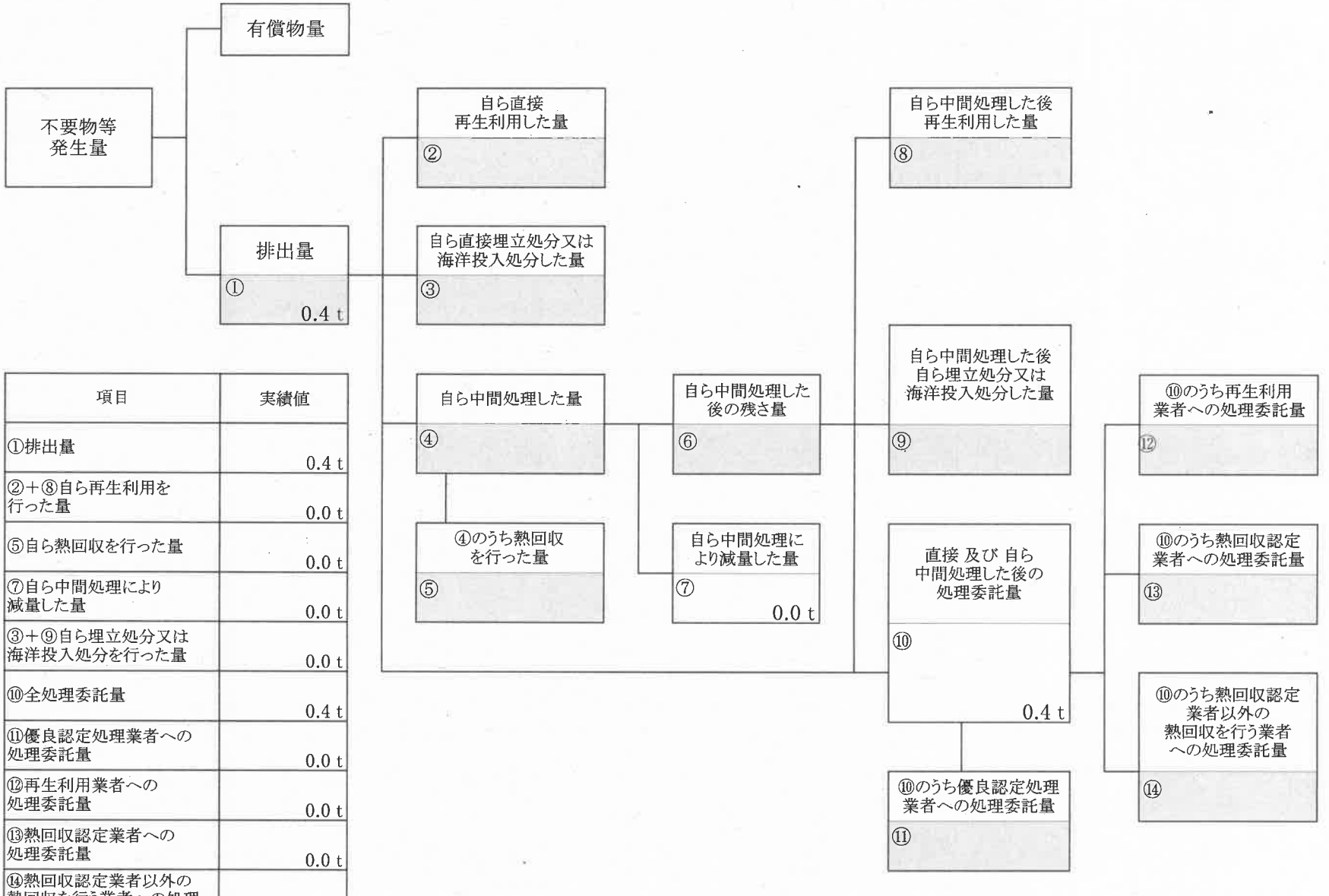


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石綿含有廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月　30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒103-0025
住 所　東京都中央区日本橋茅場町1-3-1
氏 名　株式会社東京エネシス
エネルギー本部 工事統括部 変電工事部長 中川直樹
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-6371-5354

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	変電工事部（旧 水力・変電部） 房総工事事務所
事業場の所在地	千葉県市原市萩作71
事業の種類	D08－設備工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

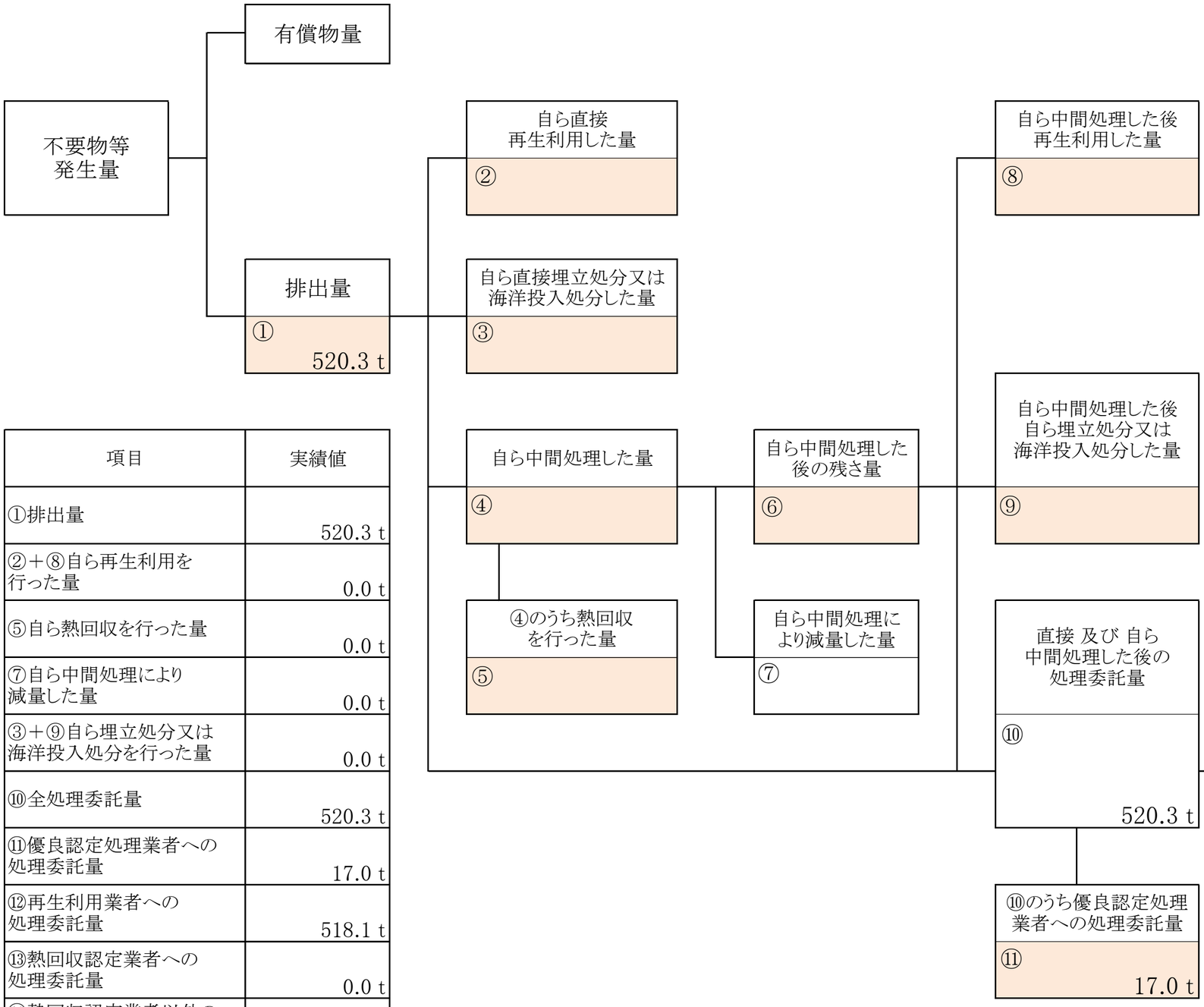
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	527.0ｔ	全処理委託量	527.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	527.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	527.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

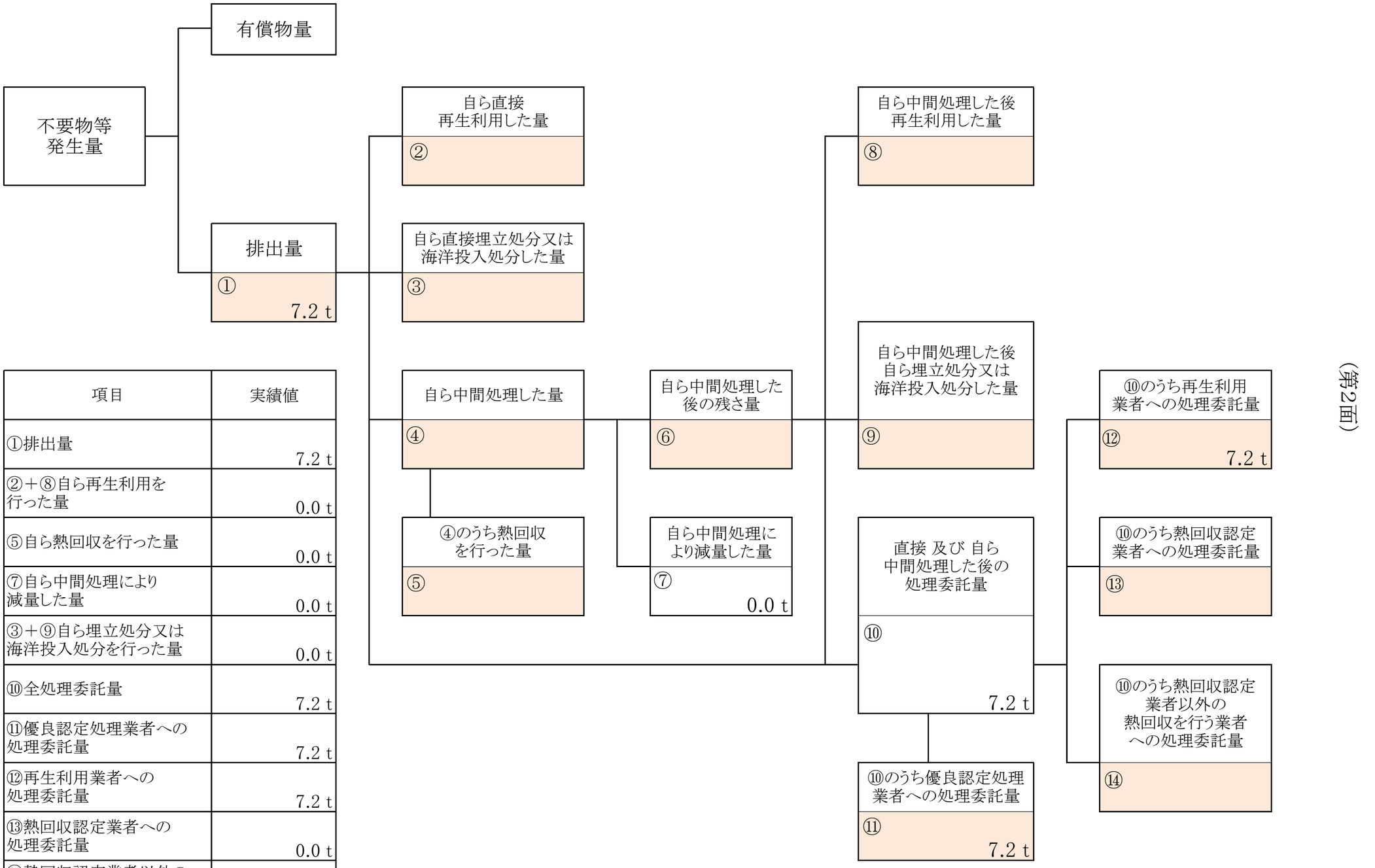


項目	実績値
①排出量	520.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	520.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	518.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

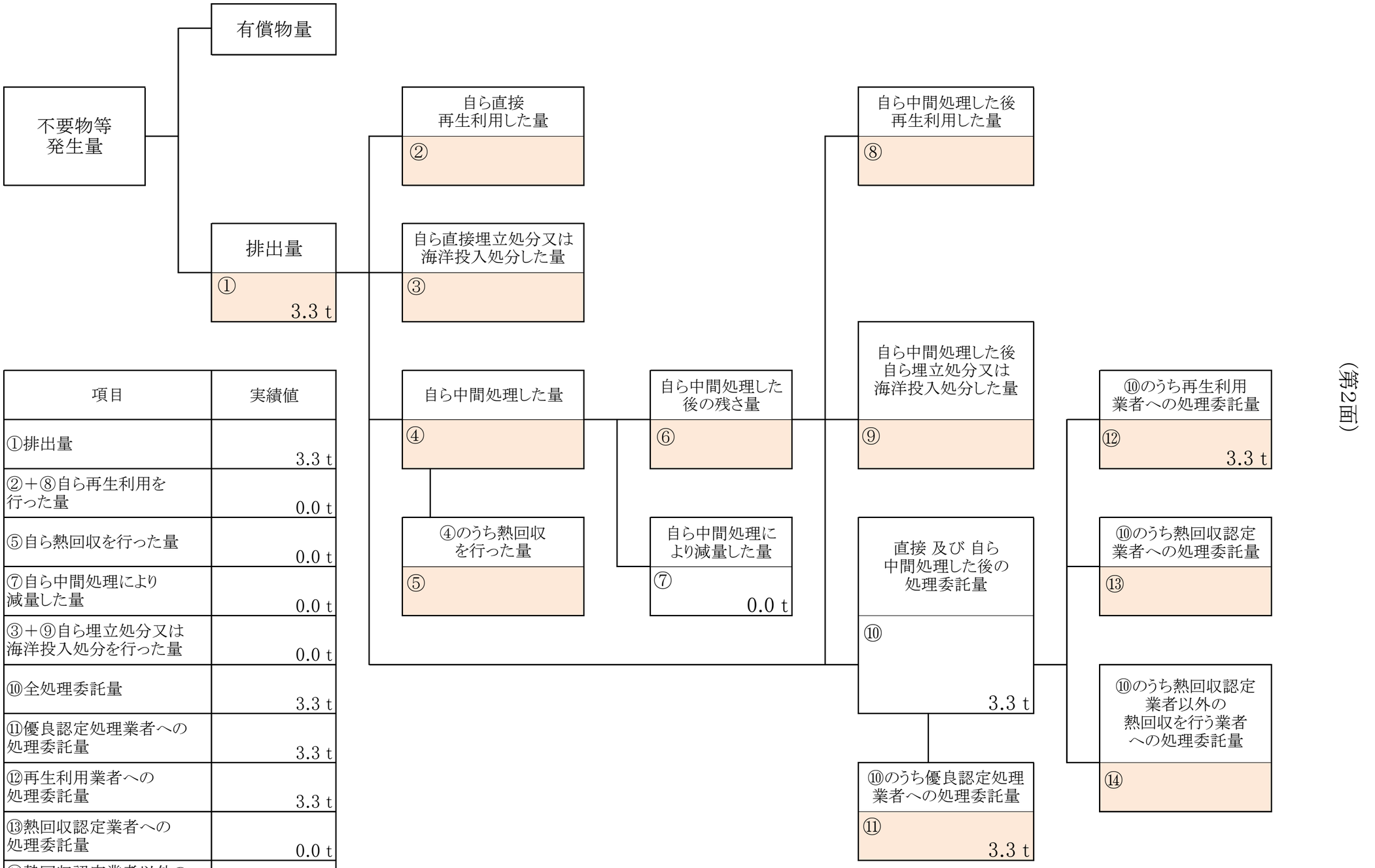


項目	実績値
①排出量	7.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**紙くず**）

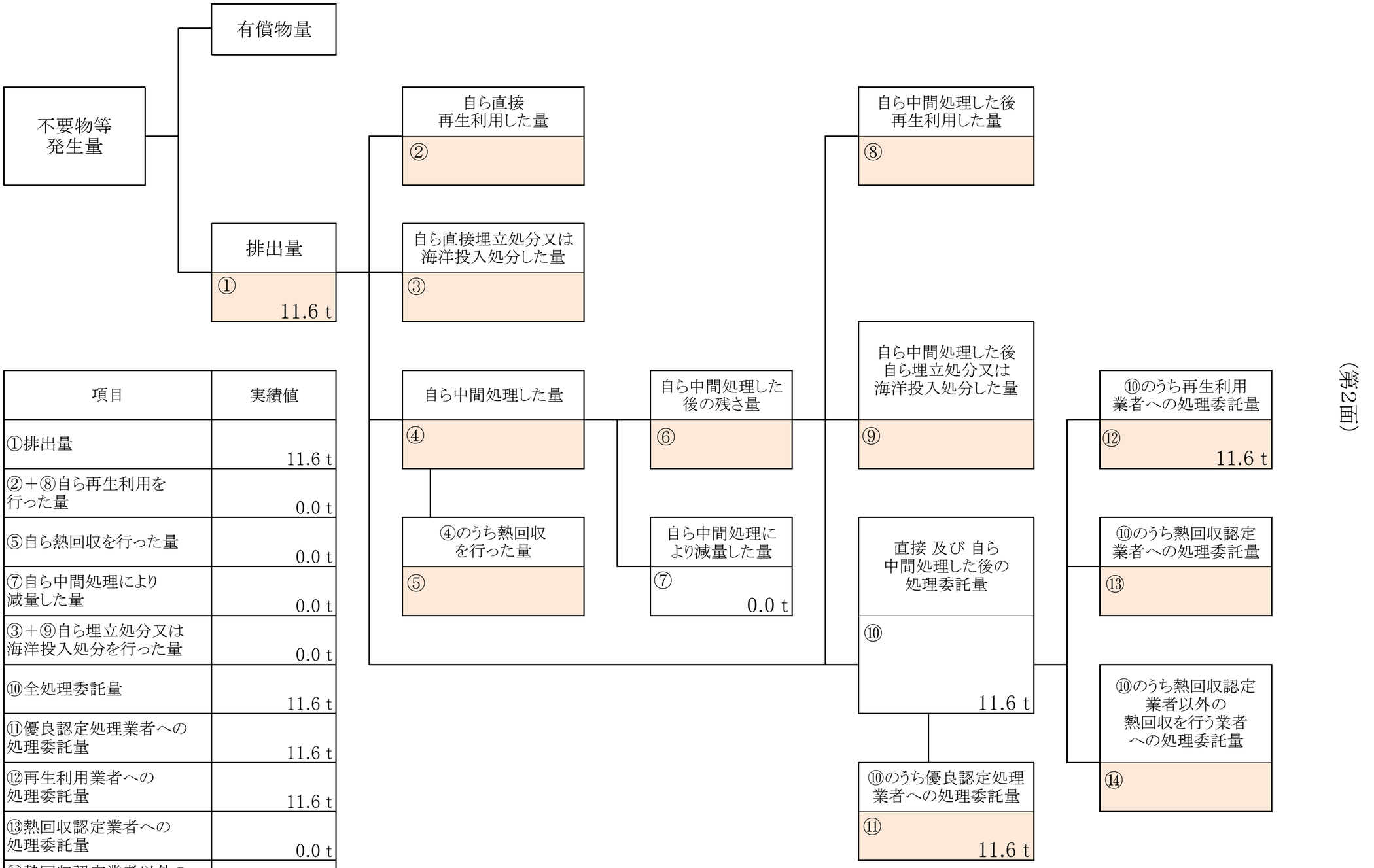


項目	実績値
①排出量	3.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

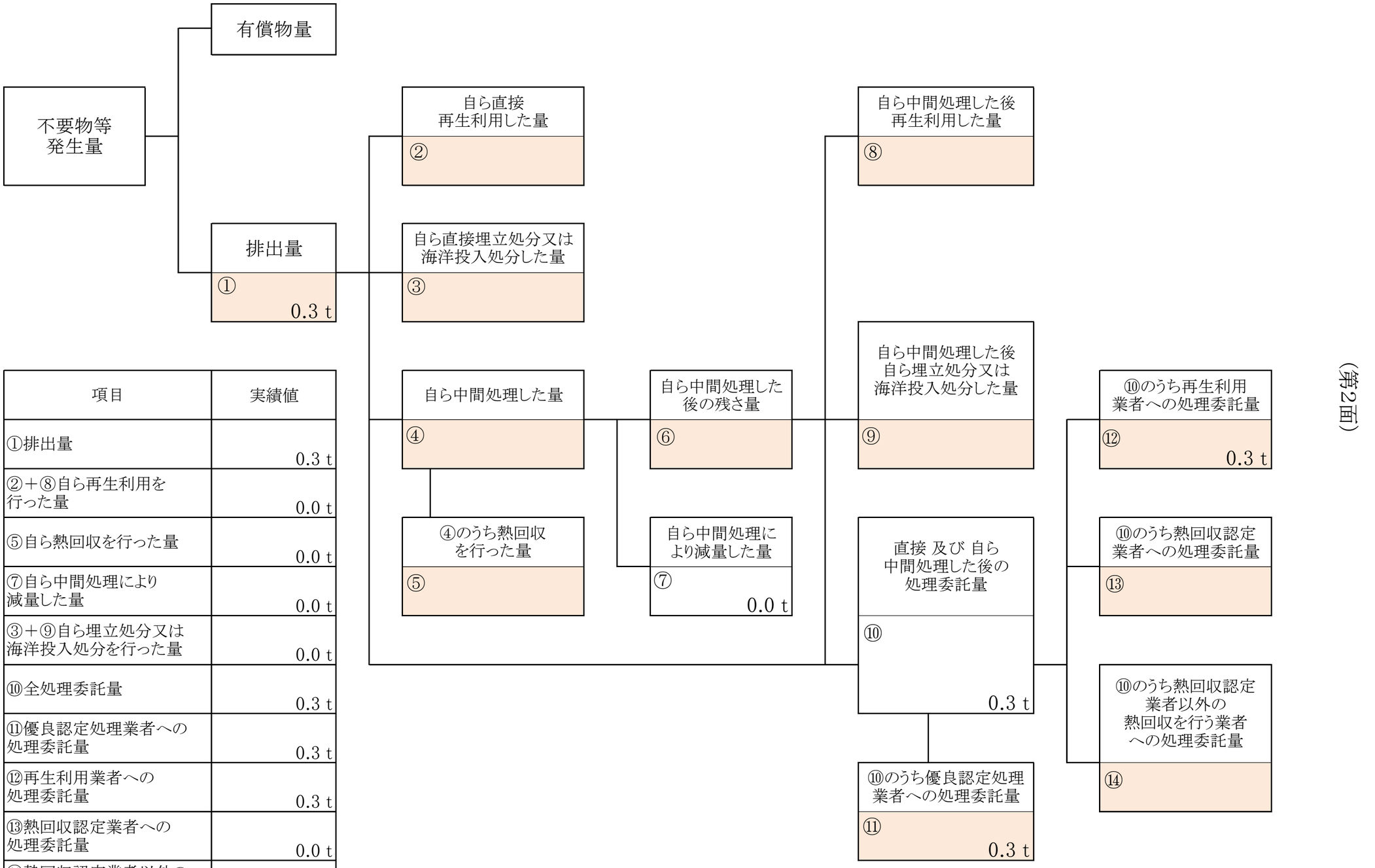


項目	実績値
①排出量	11.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

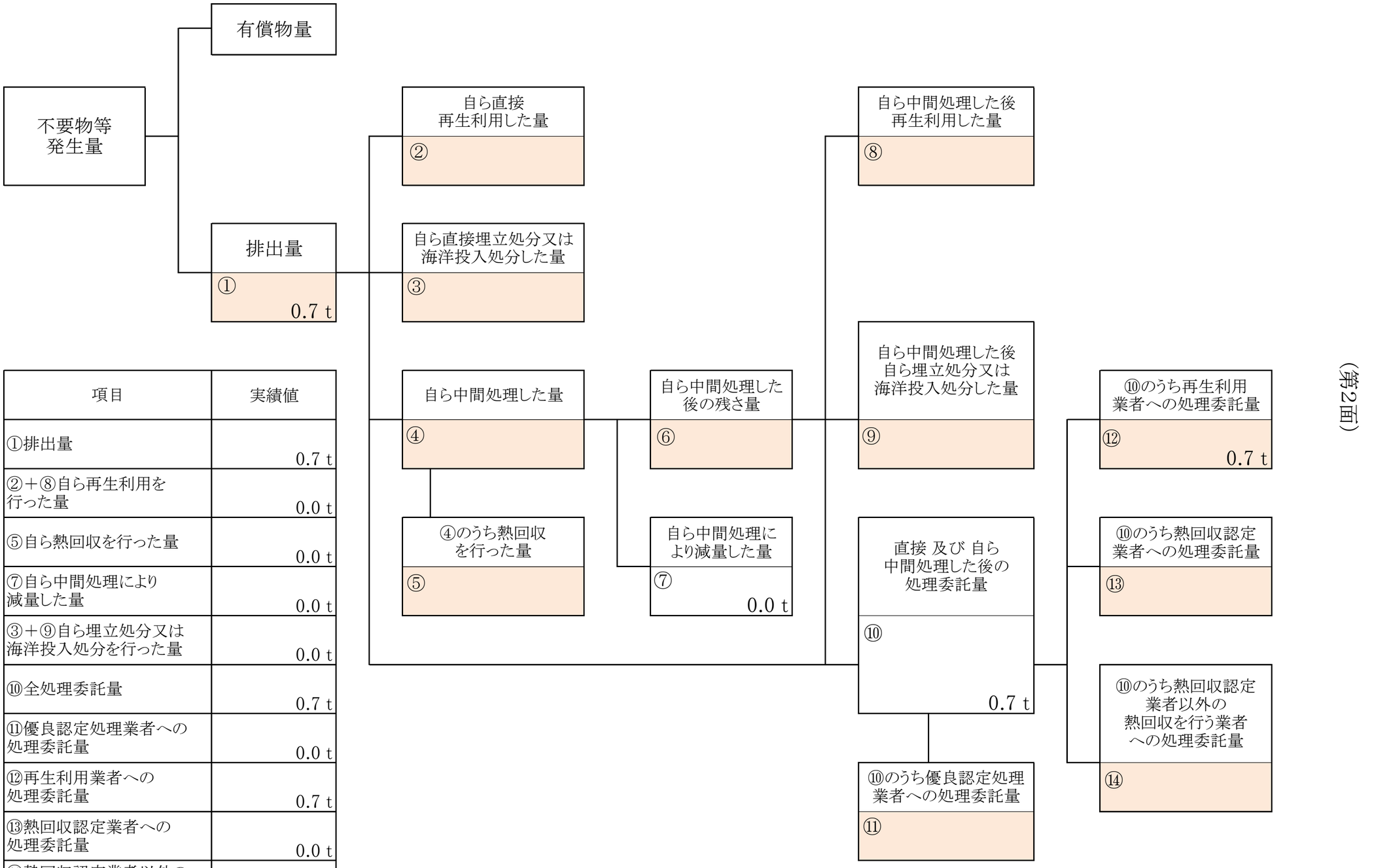


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

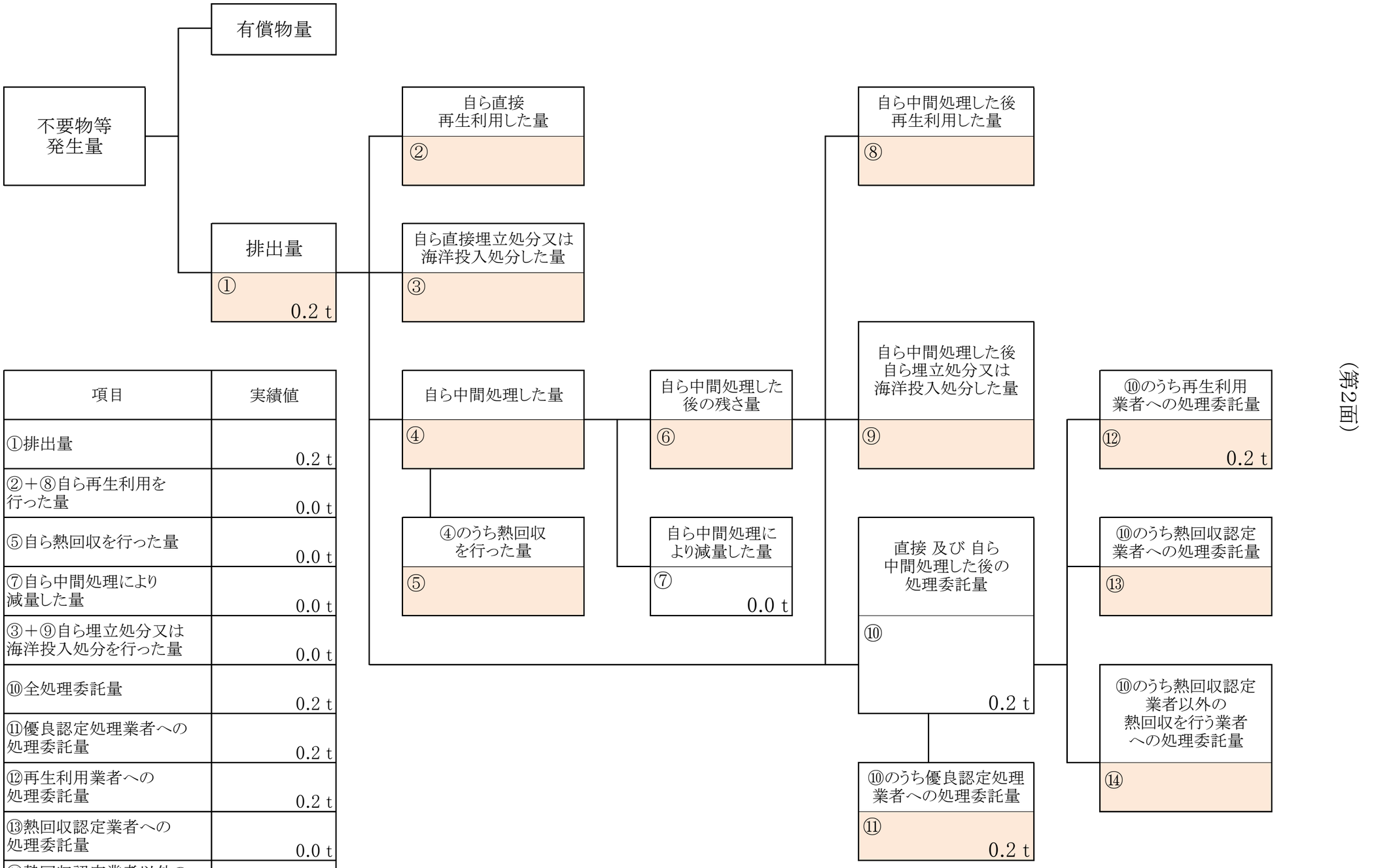


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）

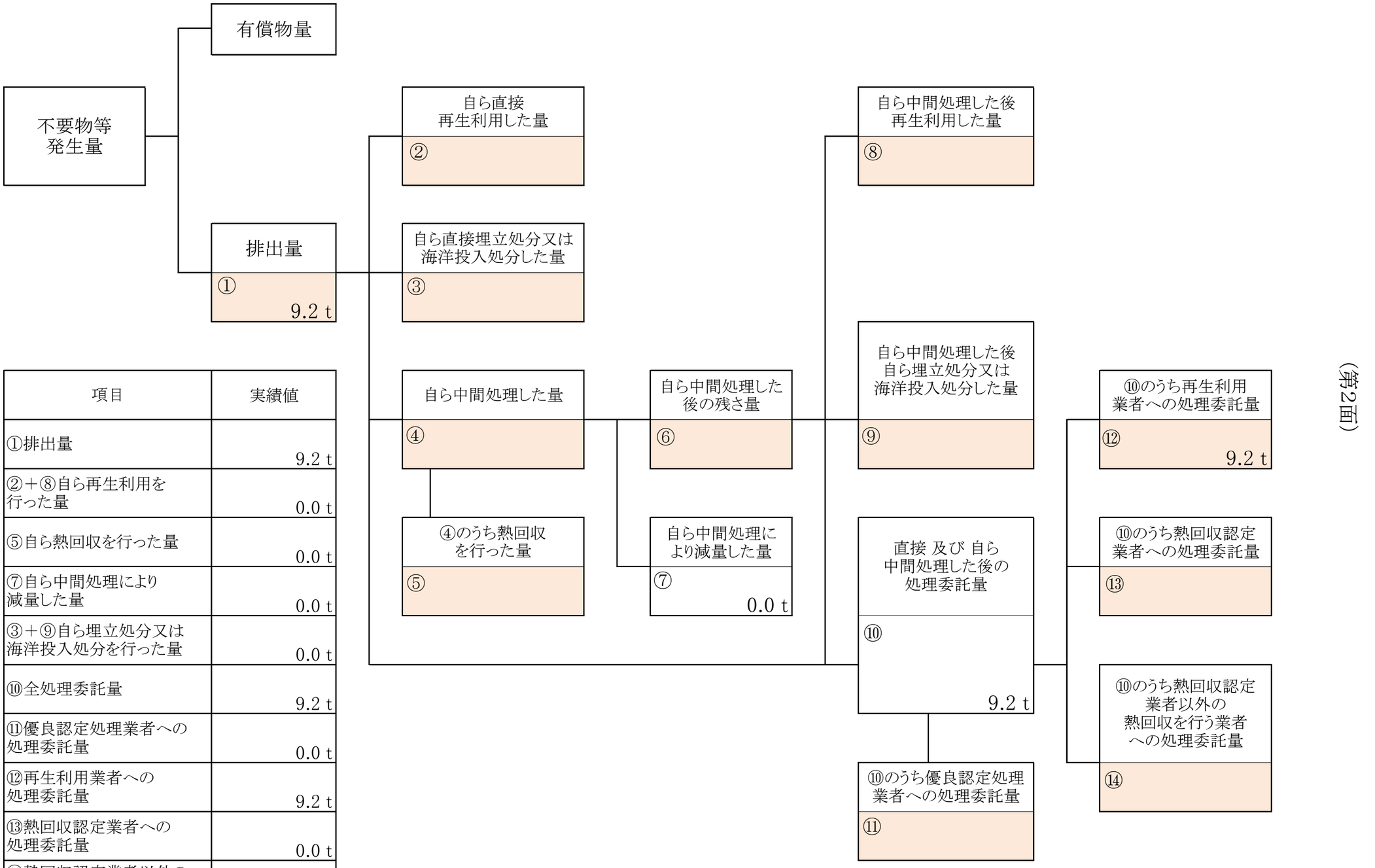


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

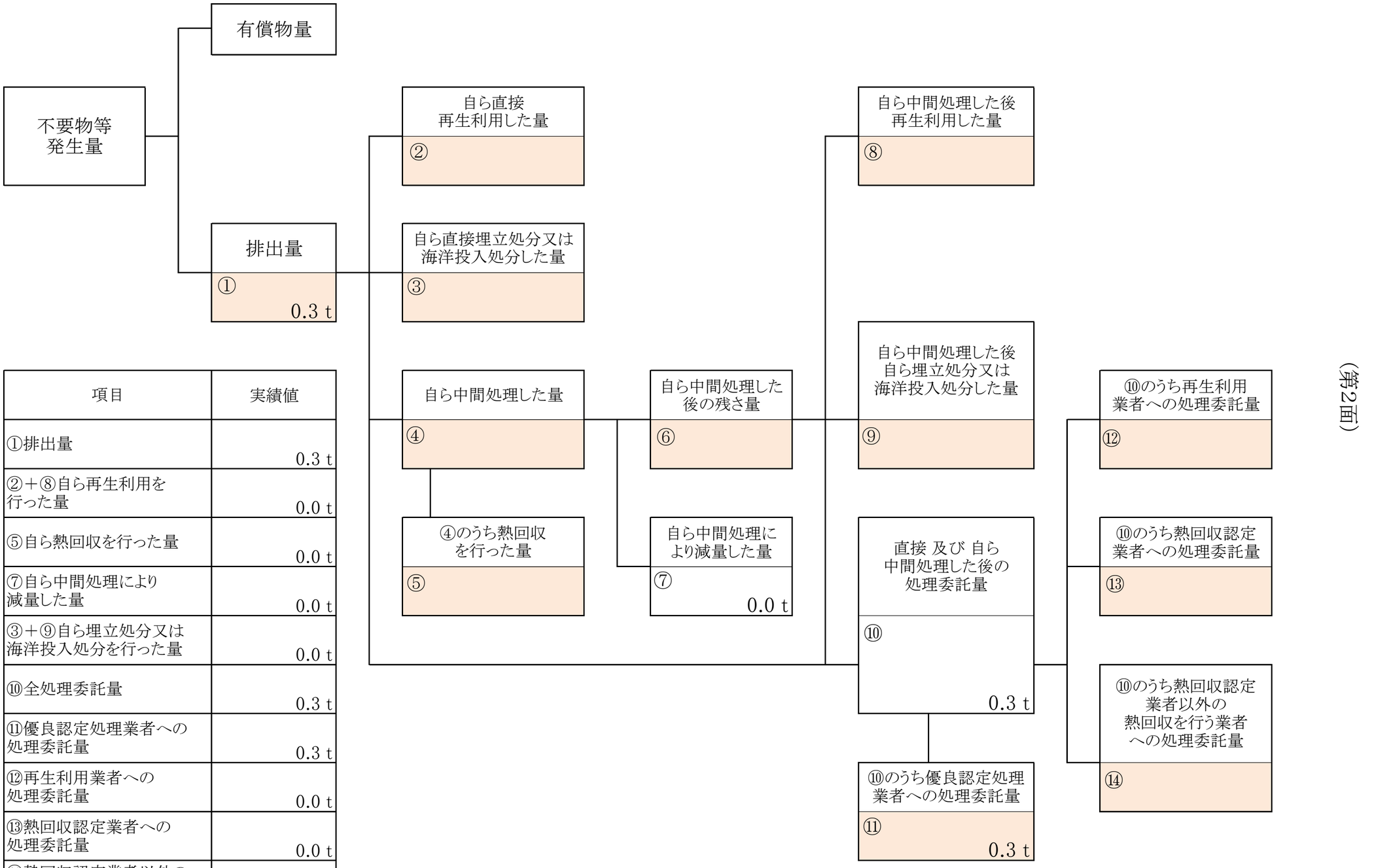


項目	実績値
①排出量	9.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃石綿等**）



項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 27日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒105-0022
住 所　東京都港区海岸1－2－3
汐留芝離宮ビルディング
氏 名　東京ガスエンジニアリング
ソリューションズ株式会社
代表取締役社長　小西　康弘
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03－6452－8400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	千葉県管轄建設工事事業場
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

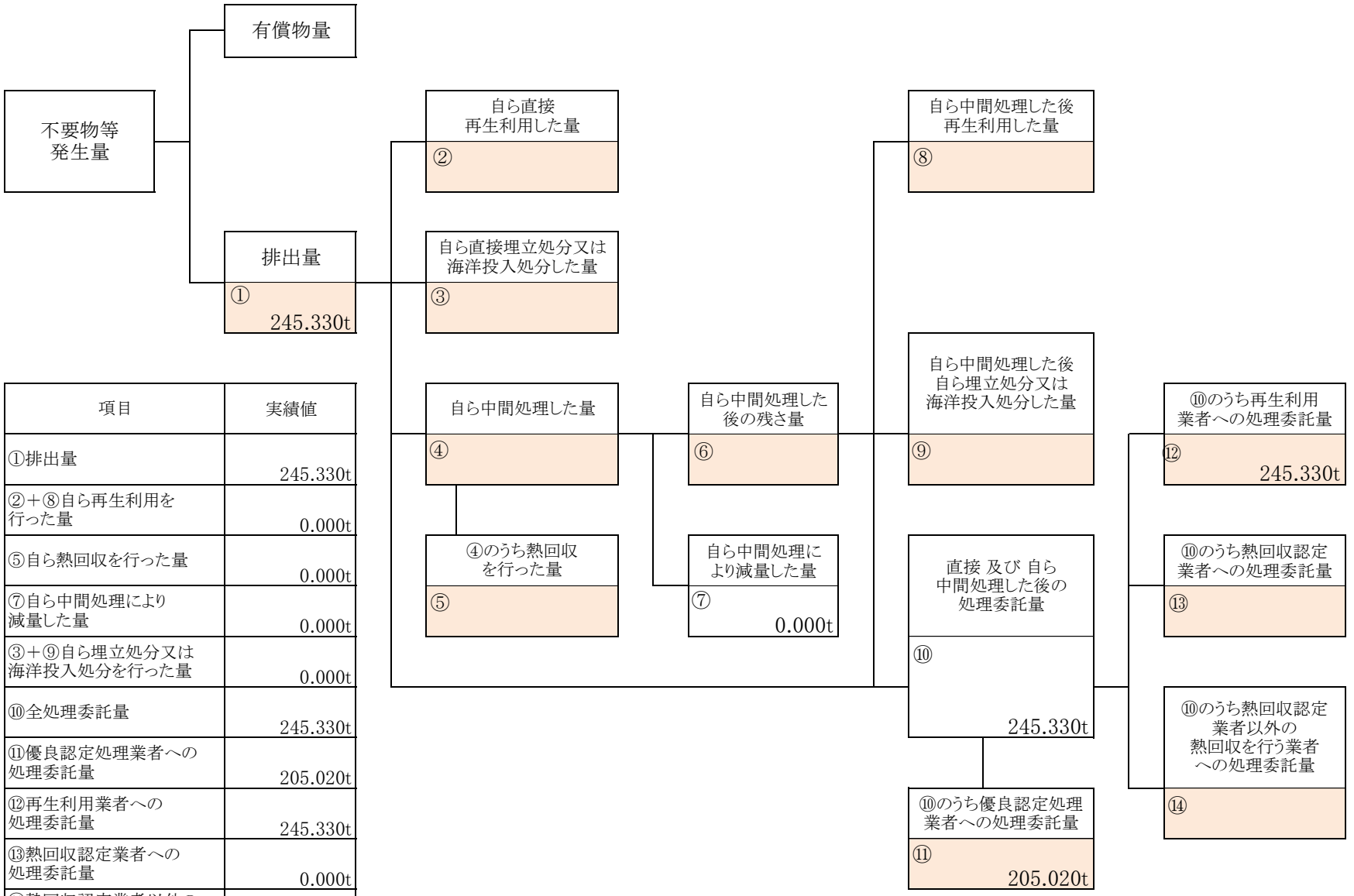
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	555.100t	全処理委託量	555.100t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000t	優良認定処理業者への処理委託量	511.100t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000t	再生利用業者への処理委託量	424.465t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000t	認定熱回収業者への処理委託量	0.000t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.000t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **建設汚泥** ）

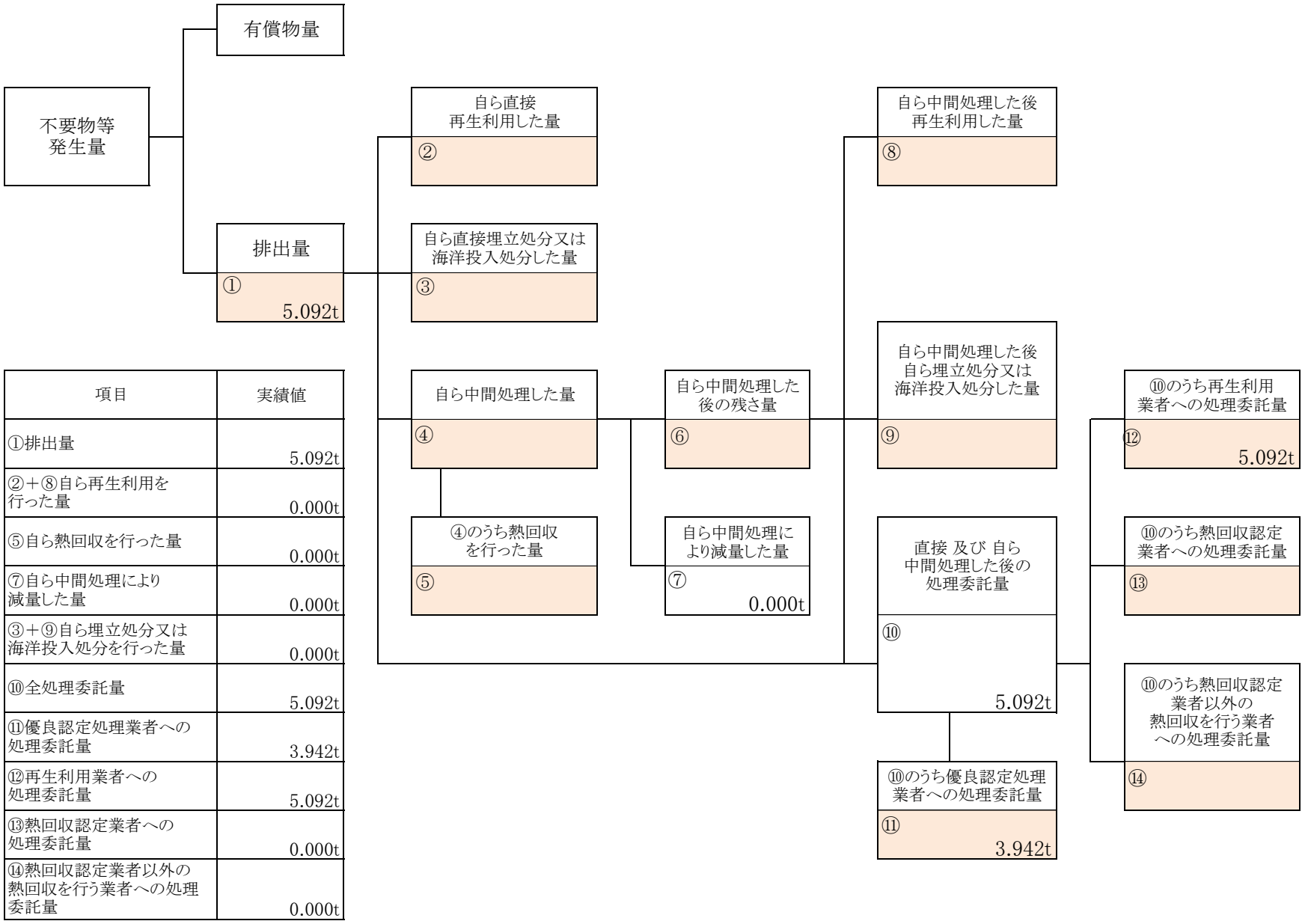


項目	実績値
①排出量	245.330t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	245.330t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	205.020t
⑫再生利用業者への処理委託量	245.330t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

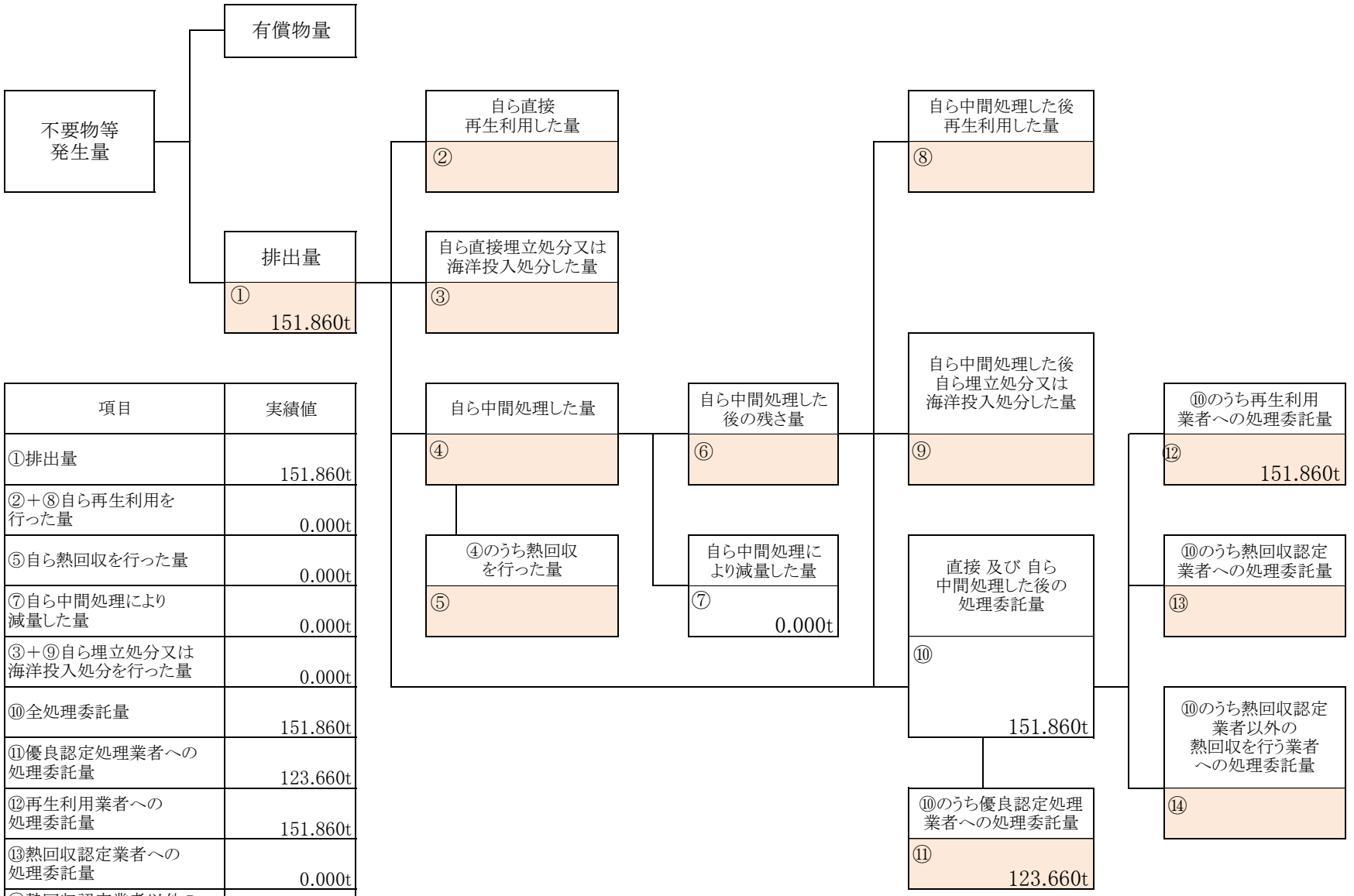


項目	実績値
①排出量	5.092t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	5.092t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.942t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.092t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃アルカリ** ）

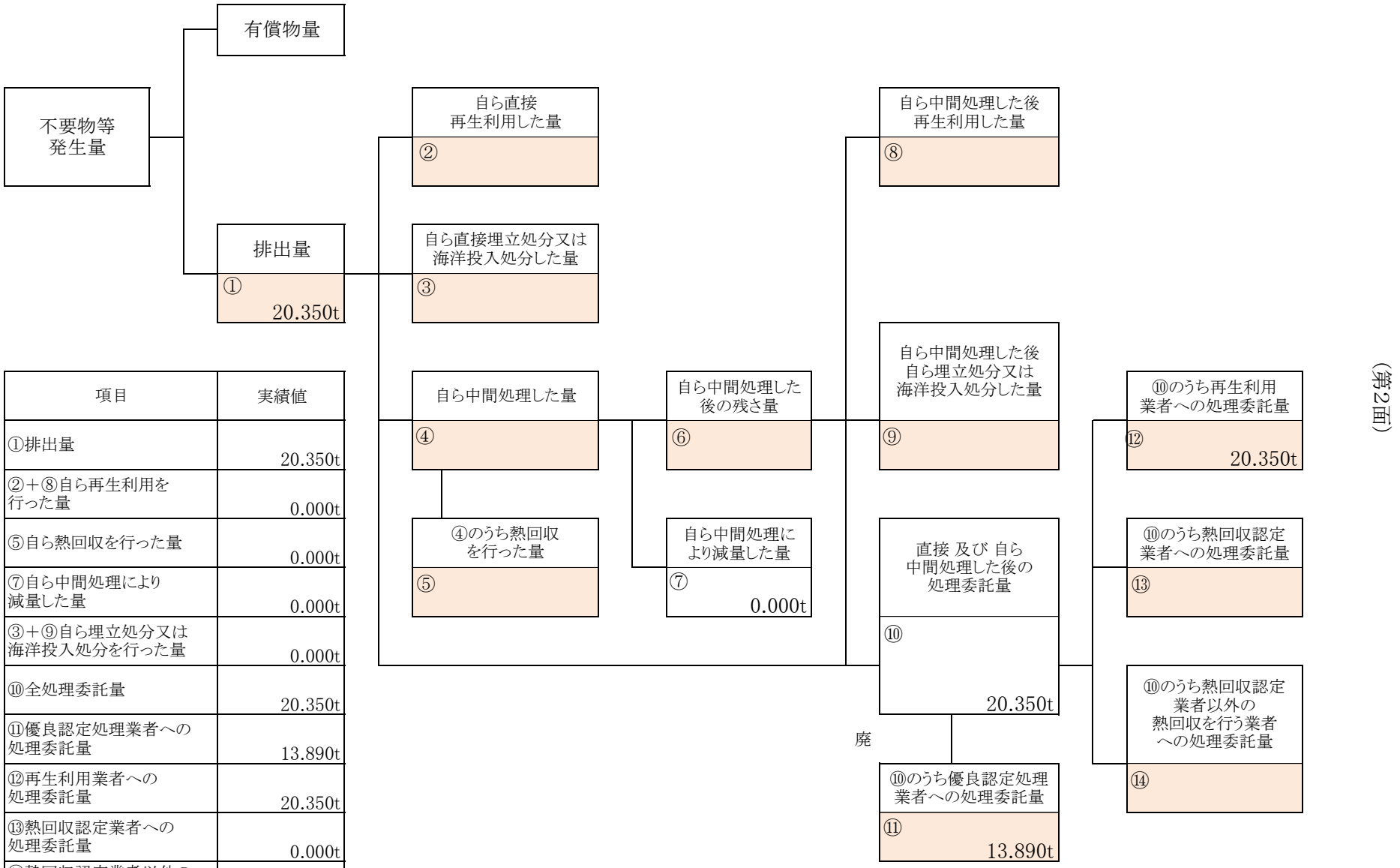


項目	実績値
①排出量	151.860t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	151.860t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	123.660t
⑫再生利用業者への処理委託量	151.860t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 廃プラスティック ）

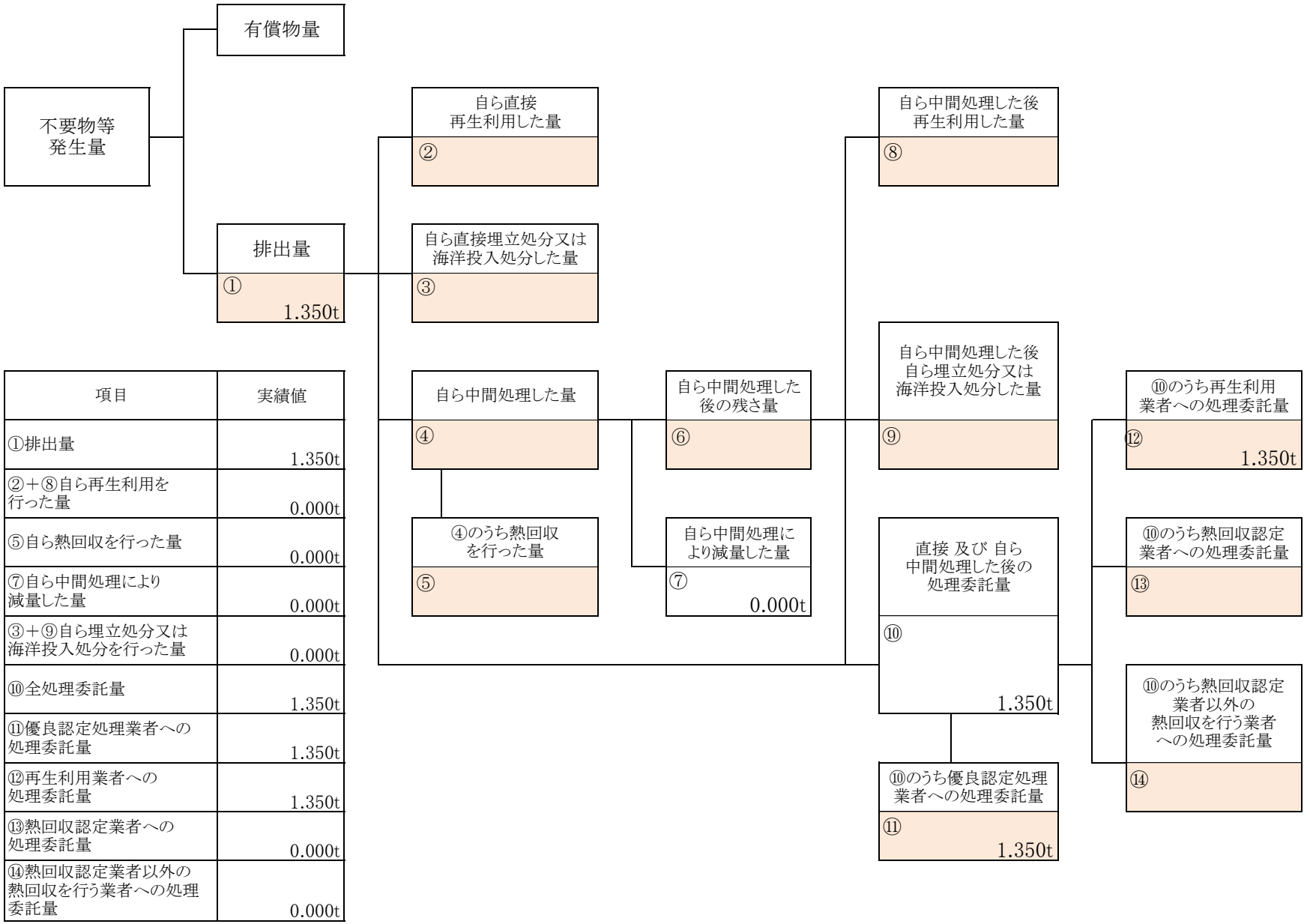


項目	実績値
①排出量	20.350t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	20.350t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.890t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.350t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

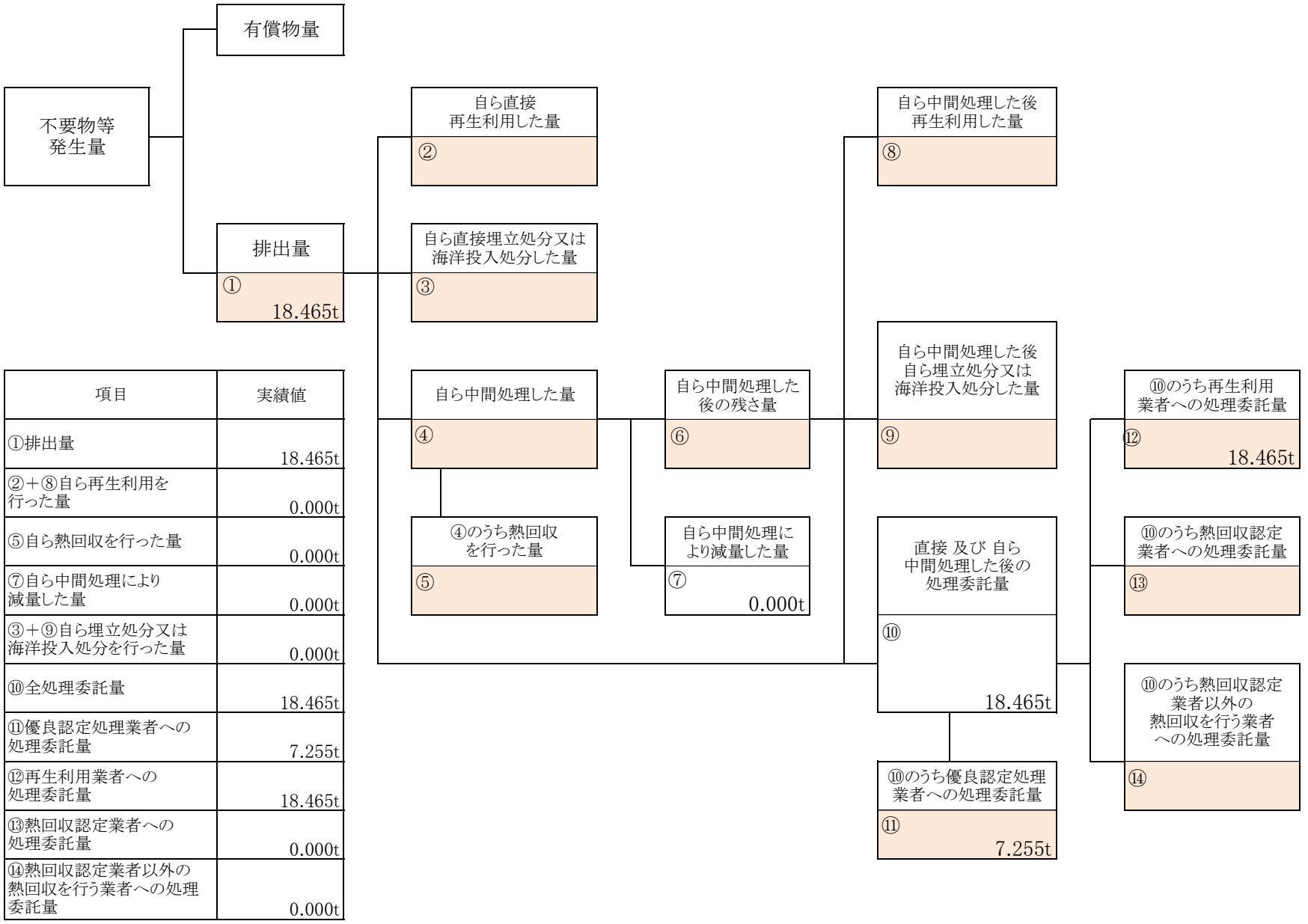


項目	実績値
①排出量	1.350t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	1.350t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.350t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.350t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

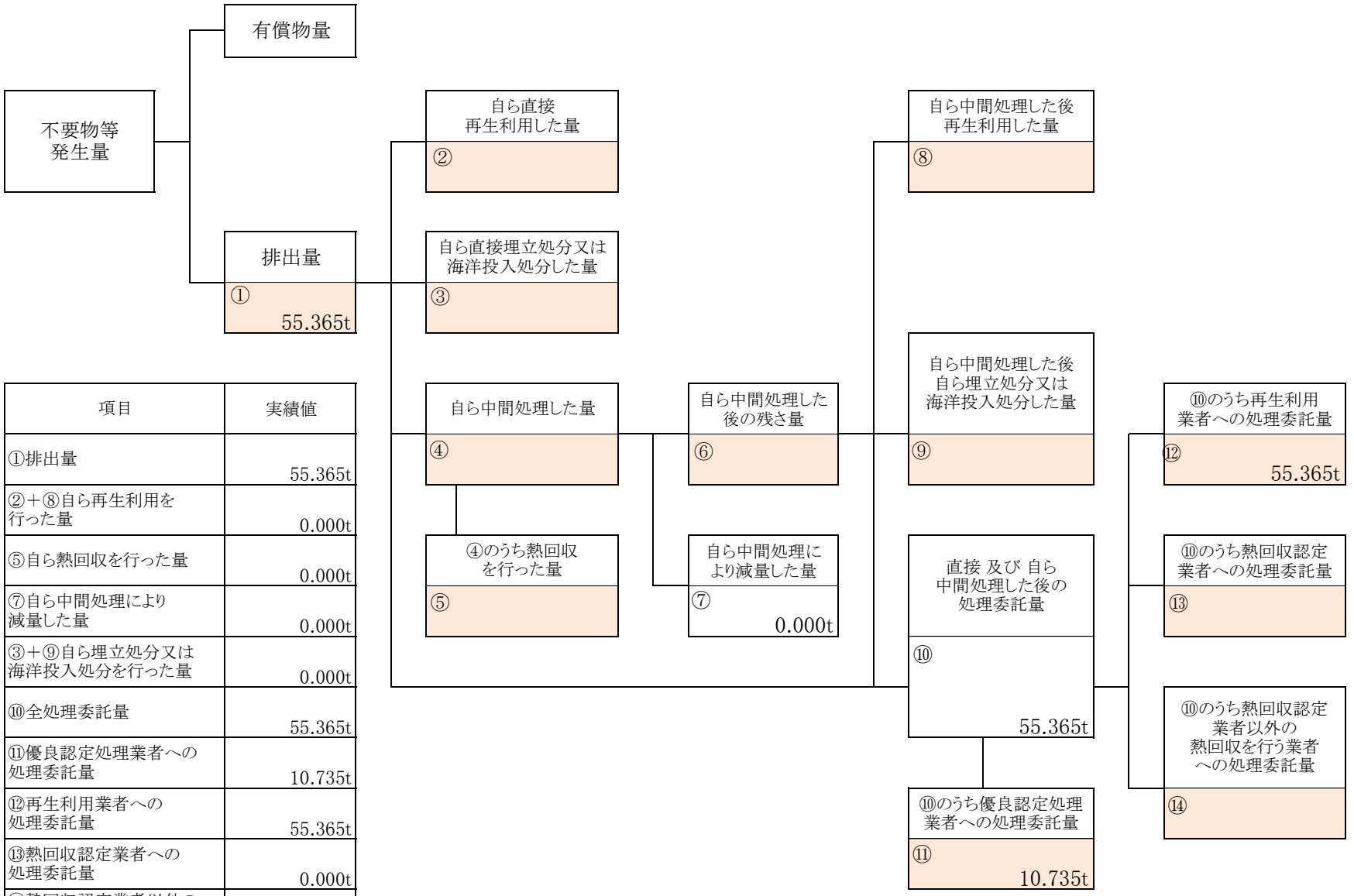


項目	実績値
①排出量	18.465t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	18.465t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.255t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.465t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **金属くず** ）

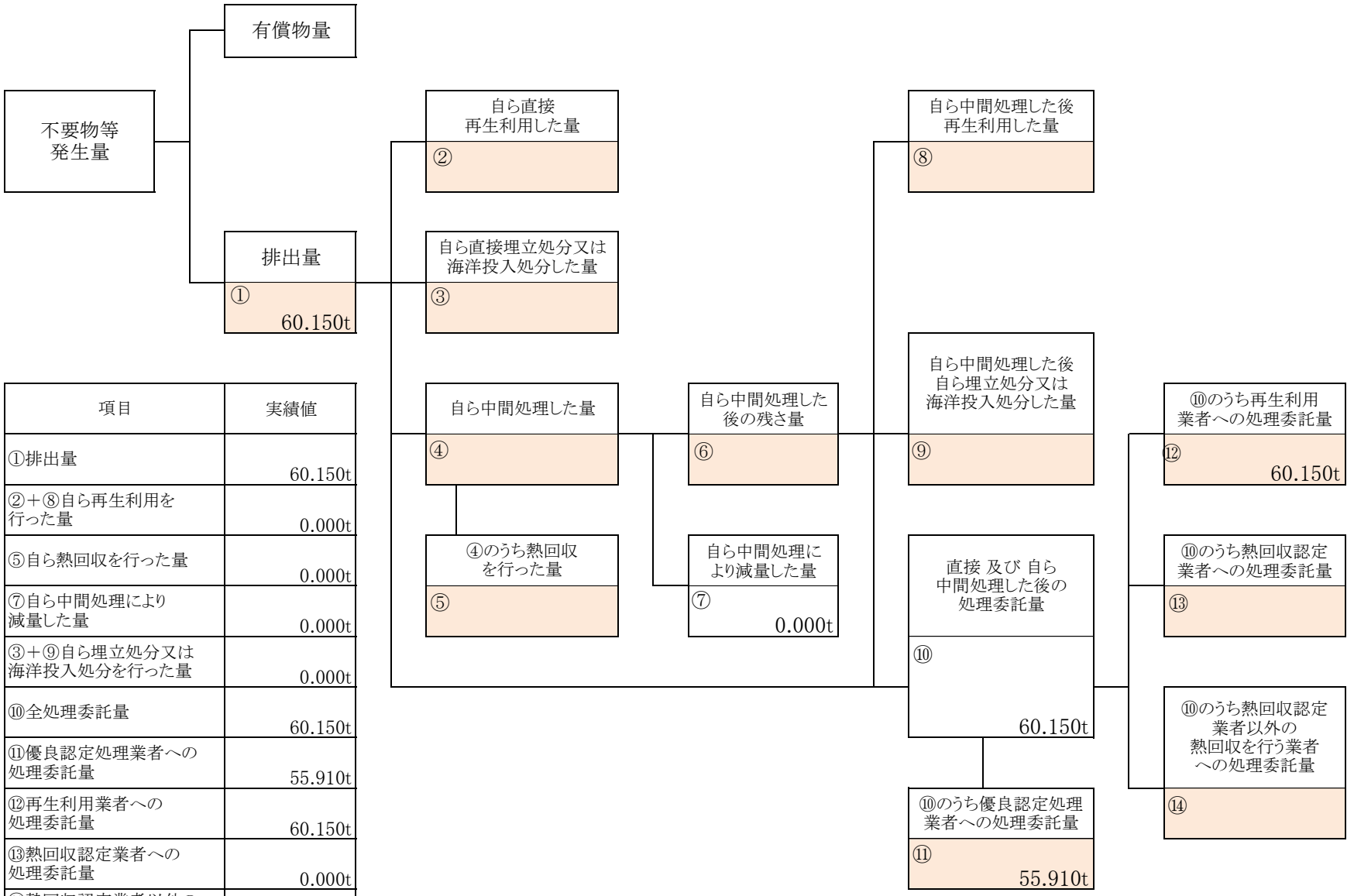


項目	実績値
①排出量	55.365t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	55.365t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.735t
⑫再生利用業者への処理委託量	55.365t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **ガラス陶磁器等くず**）

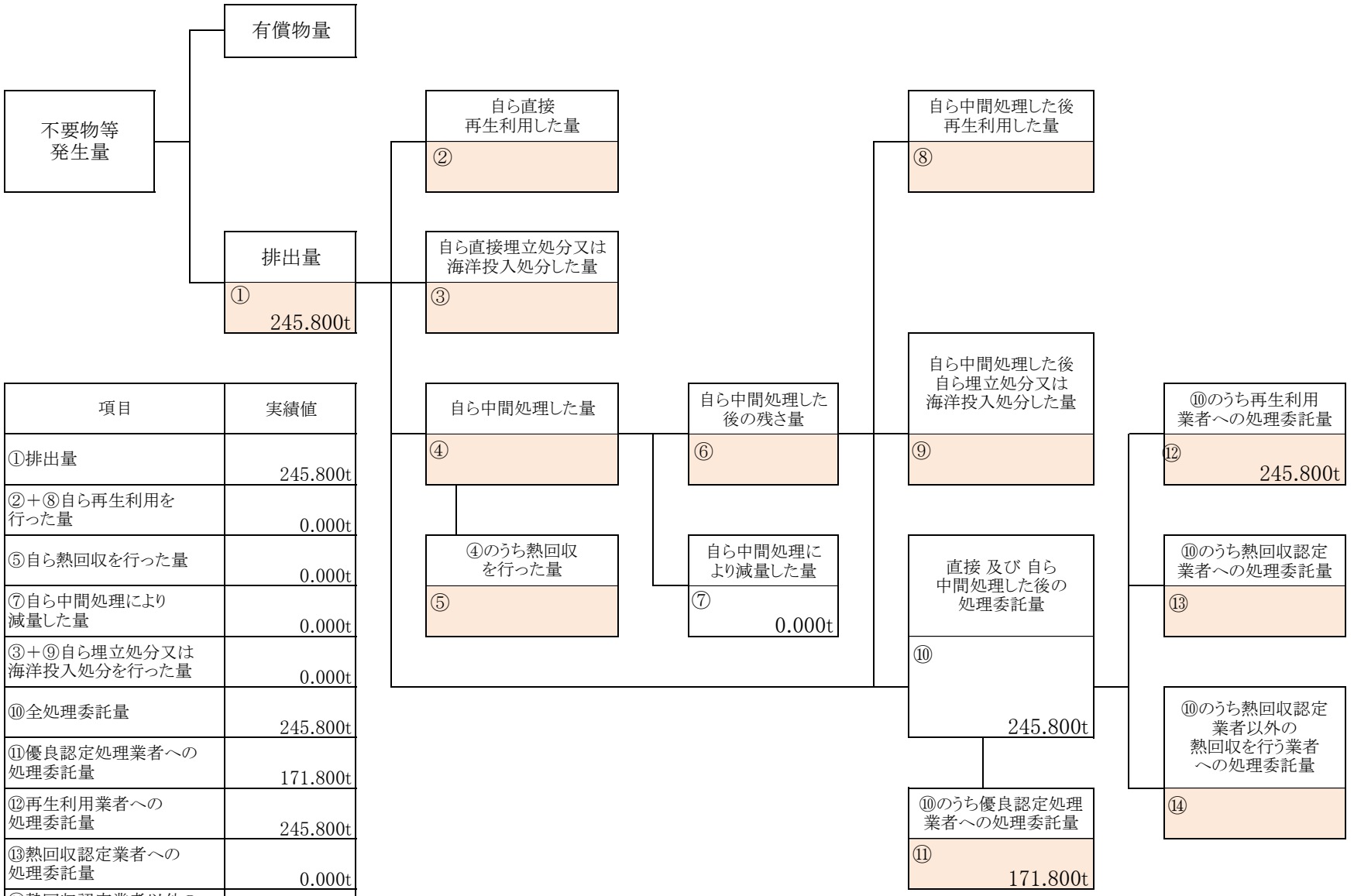


項目	実績値
①排出量	60.150t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	60.150t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.910t
⑫再生利用業者への処理委託量	60.150t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **がれき類** ）

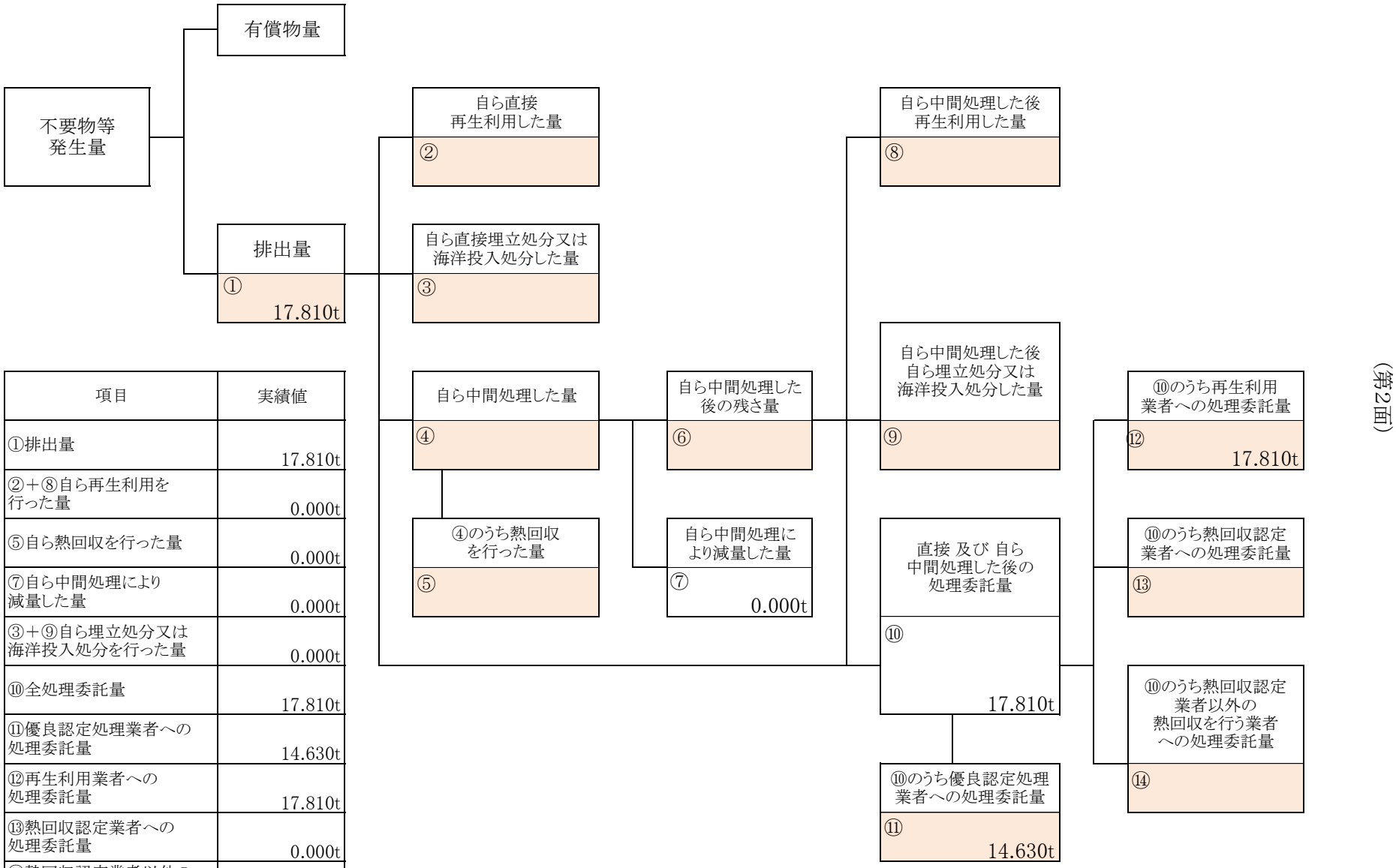


項目	実績値
①排出量	245.800t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	245.800t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	171.800t
⑫再生利用業者への処理委託量	245.800t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **建設混合廃棄物** ）

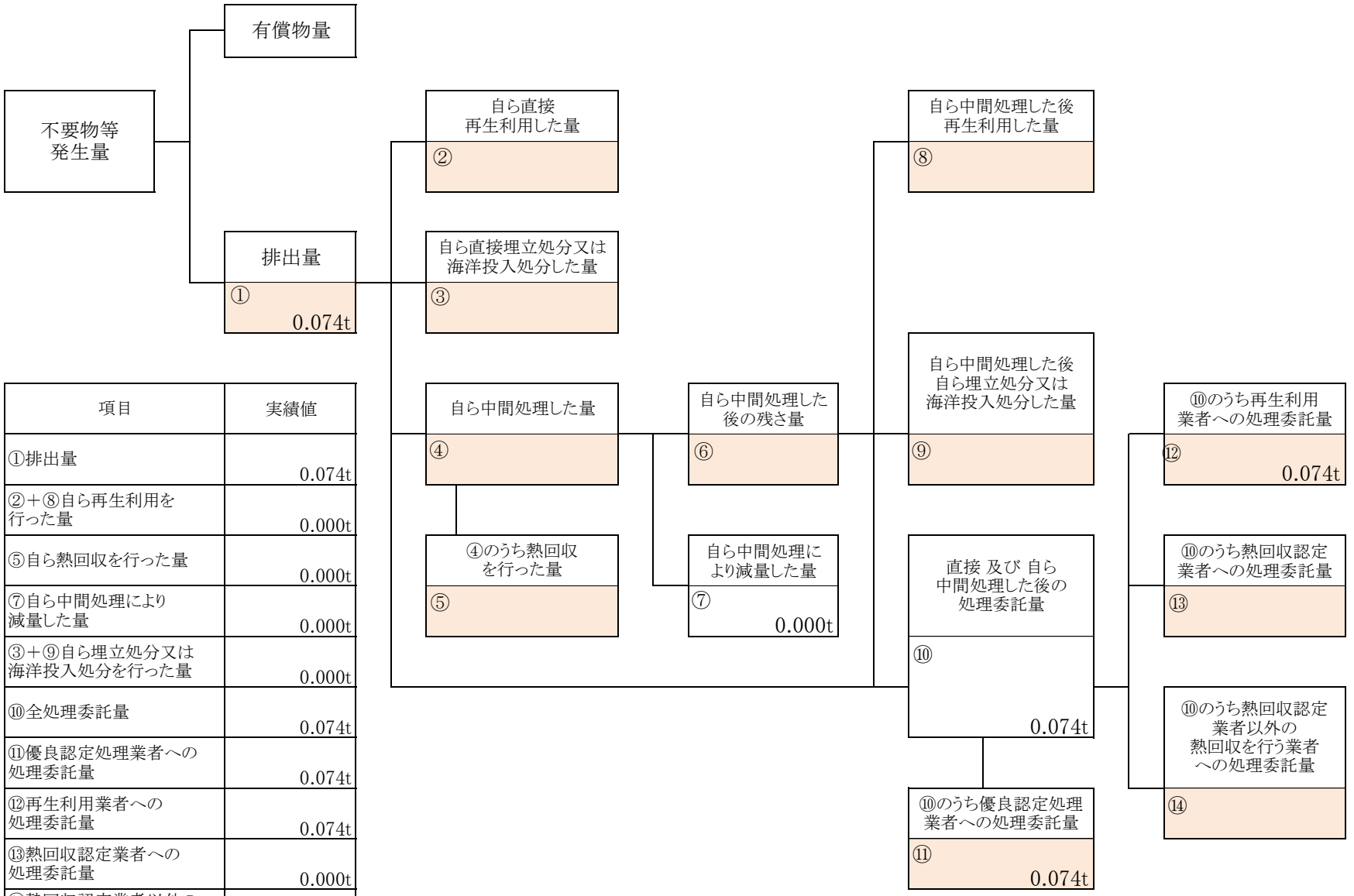


項目	実績値
①排出量	17.810t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	17.810t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.630t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.810t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **石綿含有産業廃棄物** ）



項目	実績値
①排出量	0.074t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	0.074t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.074t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.074t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月24日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ25階

氏 名　東京セキスイハイム㈱　千葉支店

取締役本部長　河崎　司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-212-8127

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東京セキスイハイム株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ25階
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業　小分類：建設工事業
②事業の規模	前年度売上高　173億円
③従業員数	196人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
■解体工事から発生する廃棄物の再資源化率の向上
解体時の混合廃棄物率を削減する（手分別により、細かく選別させる）
■新築施工現場廃棄物の発生抑制
余剰部材の削減（積込部材の石膏ボードや合板の積込数量の見直し）
梱包材の削減（工場へ梱包を極力減らすよう提案）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
■解体工事から発生する廃棄物の再資源化率の向上の継続
混合廃棄物量が多い解体業者への指導と解体パトロールを強化する
■新築施工現場廃棄物の発生抑制の継続
余剰部材の削減（積込部材の石膏ボードや合板の積込数量の見直し）
梱包材の削減（工場へ梱包を極力減らすよう提案）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
■現状７品目分別に対しての分別解体教育
■解体廃棄物分別基準の策定
■適正処理状況の確認
月1回の解体現場パトロールによる監視と指導
中間処理場の視察による監視と指導

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
■解体廃棄物分別基準の運用監視
■新築廃棄物分別基準の運用監視
■巡回巡視及び解体施工報告書による監視の継続
■解体パトロール巡視による評価

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自己処理実績無し</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自己処理実績無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙のとおり（第4面第5面別紙一１）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙のとおり（第4面第5面別紙一１）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

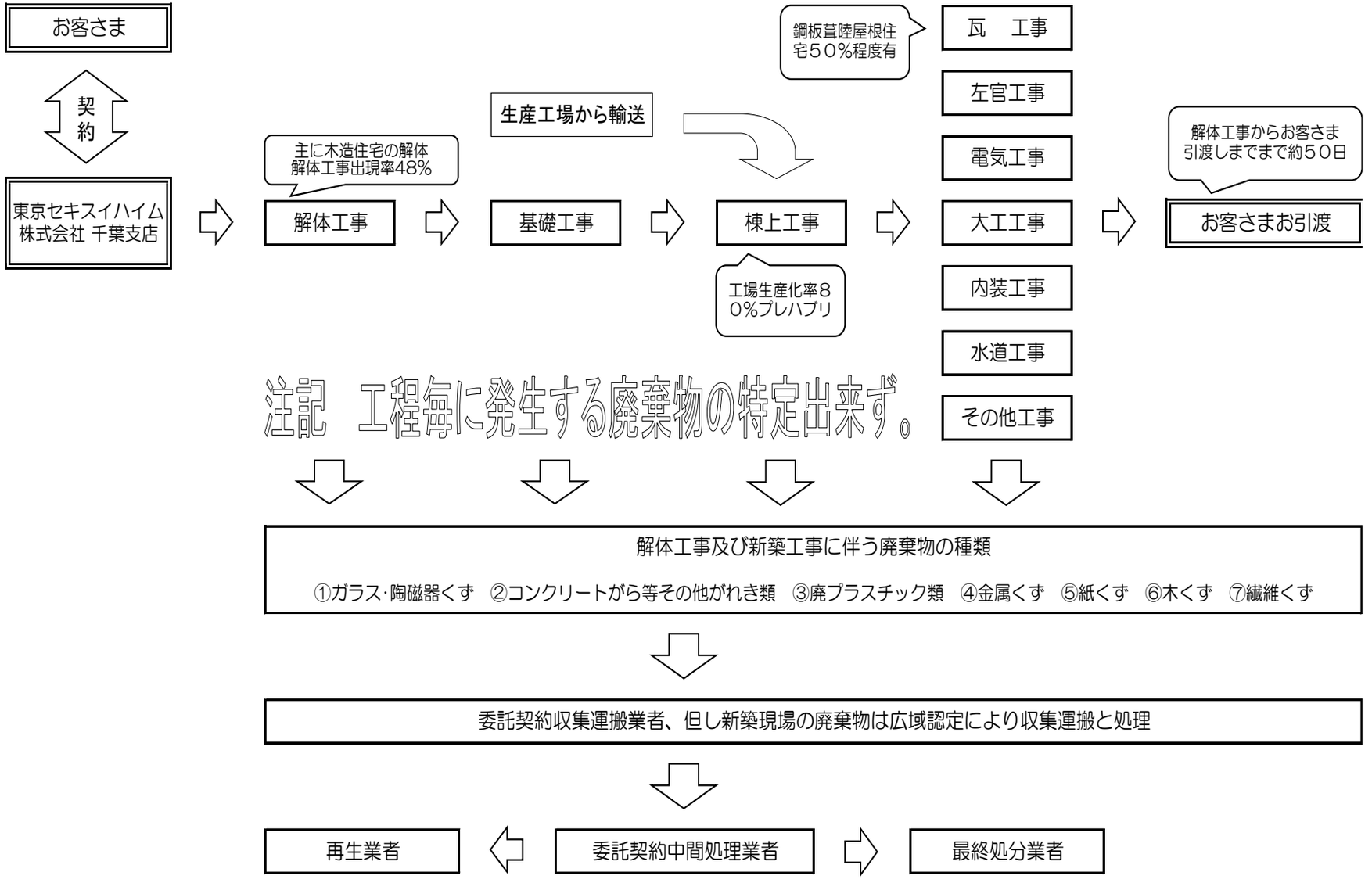
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

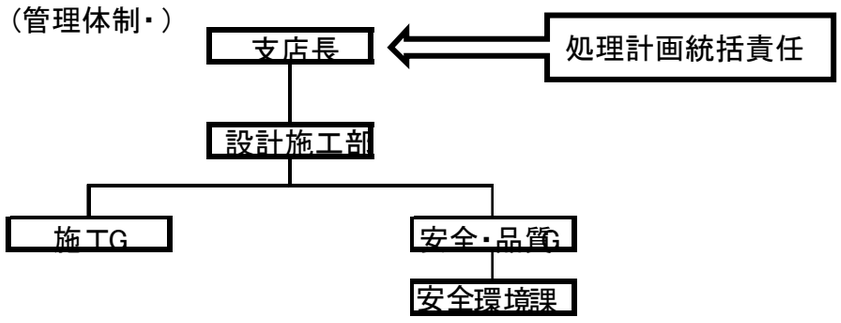
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

④. 産業廃棄物の一連の処理工程



別添２ 管理体制図



廃棄物担当処理計画作成担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		排　出　量	140.18 t	78.10 t	1,375.82 t	31.07 t	169.73 t	138.85 t	122.99 t	2,662.96 t	198.93 t	889.05 t	5.34 t	165.97 t	156.00 t					
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		排　出　量	126.16 t	70.29 t	1,238.24 t	27.96 t	152.76 t	124.97 t	110.69 t	2,396.66 t	179.04 t	800.15 t	4.81 t	149.37 t	140.41 t					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	140.18 t	78.10 t	1,375.82 t	31.07 t	169.73 t	138.85 t	122.99 t	2,662.96 t	198.93 t	889.05 t	5.34 t	165.97 t	156.00 t					
優良認定処理業者への処理委託量	22.26 t	0.69 t	540.09 t	1.45 t	0.57 t	16.70 t	25.92 t	220.10 t	2.96 t	333.89 t	0.00 t	83.69 t	98.87 t					
再生利用業者への処理委託量	137.37 t	78.10 t	1,375.82 t	6.22 t	169.73 t	138.85 t	122.69 t	2,595.32 t	198.93 t	873.51 t	0.00 t	128.17 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	126.16 t	70.29 t	1,238.24 t	27.96 t	152.76 t	124.97 t	110.69 t	2,396.66 t	179.04 t	800.15 t	4.81 t	149.37 t	140.41 t					
優良認定処理業者への処理委託量	20.03 t	0.62 t	486.08 t	1.31 t	0.51 t	15.03 t	23.33 t	198.09 t	2.66 t	300.50 t	0.00 t	75.32 t	88.99 t					
再生利用業者への処理委託量	123.63 t	70.29 t	1,238.24 t	5.60 t	152.76 t	124.97 t	110.42 t	2,335.79 t	179.04 t	786.16 t	0.00 t	115.35 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ25階

氏 名　東京セキスイハイム㈱　千葉支店

取締役本部長　河崎　司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-212-8127

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東京セキスイハイム株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ25階
事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業　小分類：建設工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

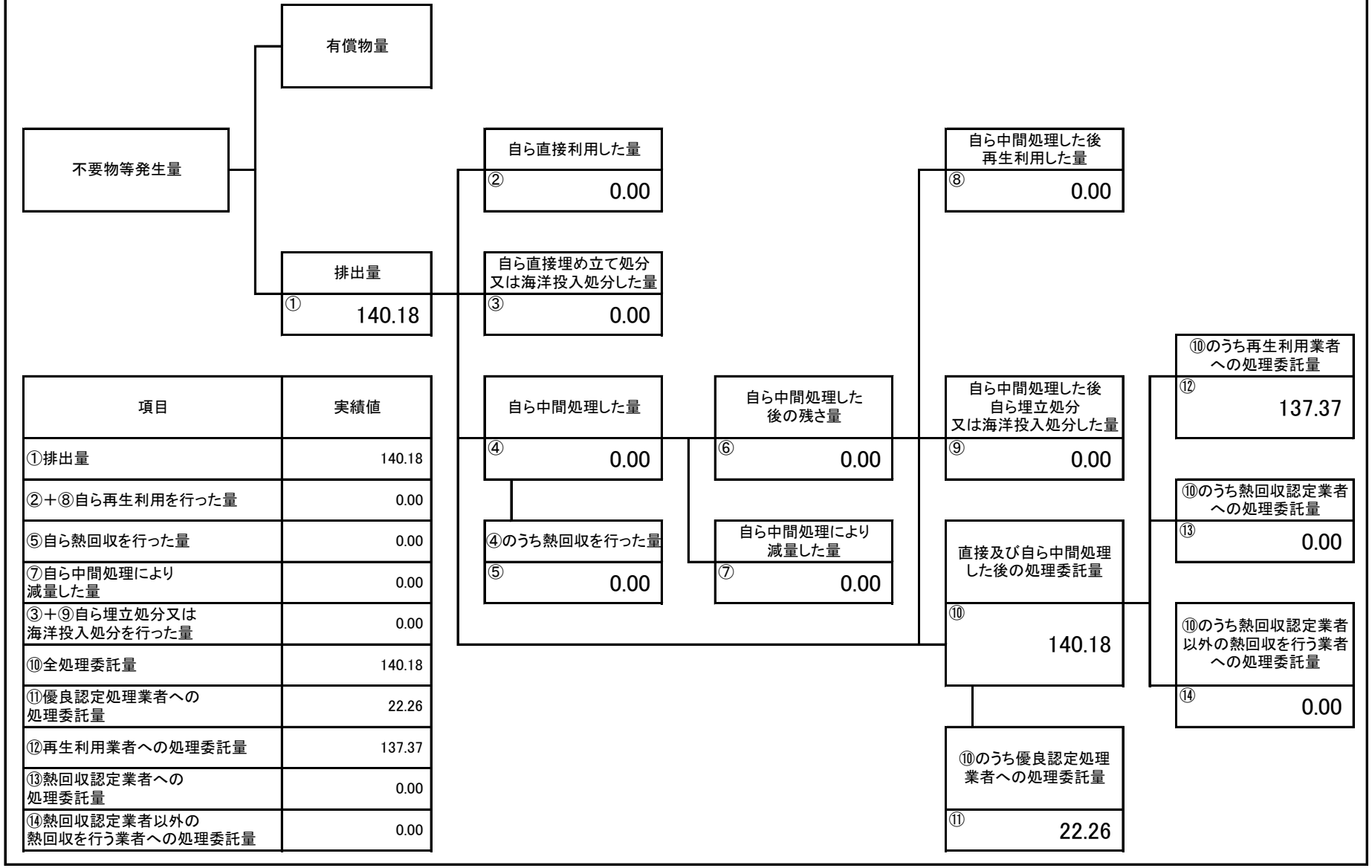
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,901.07　t	全処理委託量	3,901.07　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00　t	優良認定処理業者への処理委託量	1,627.47　t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00　t	再生利用業者への処理委託量	3,822.45　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00　t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00　t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00　t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00　t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 ）

（単位：トン）

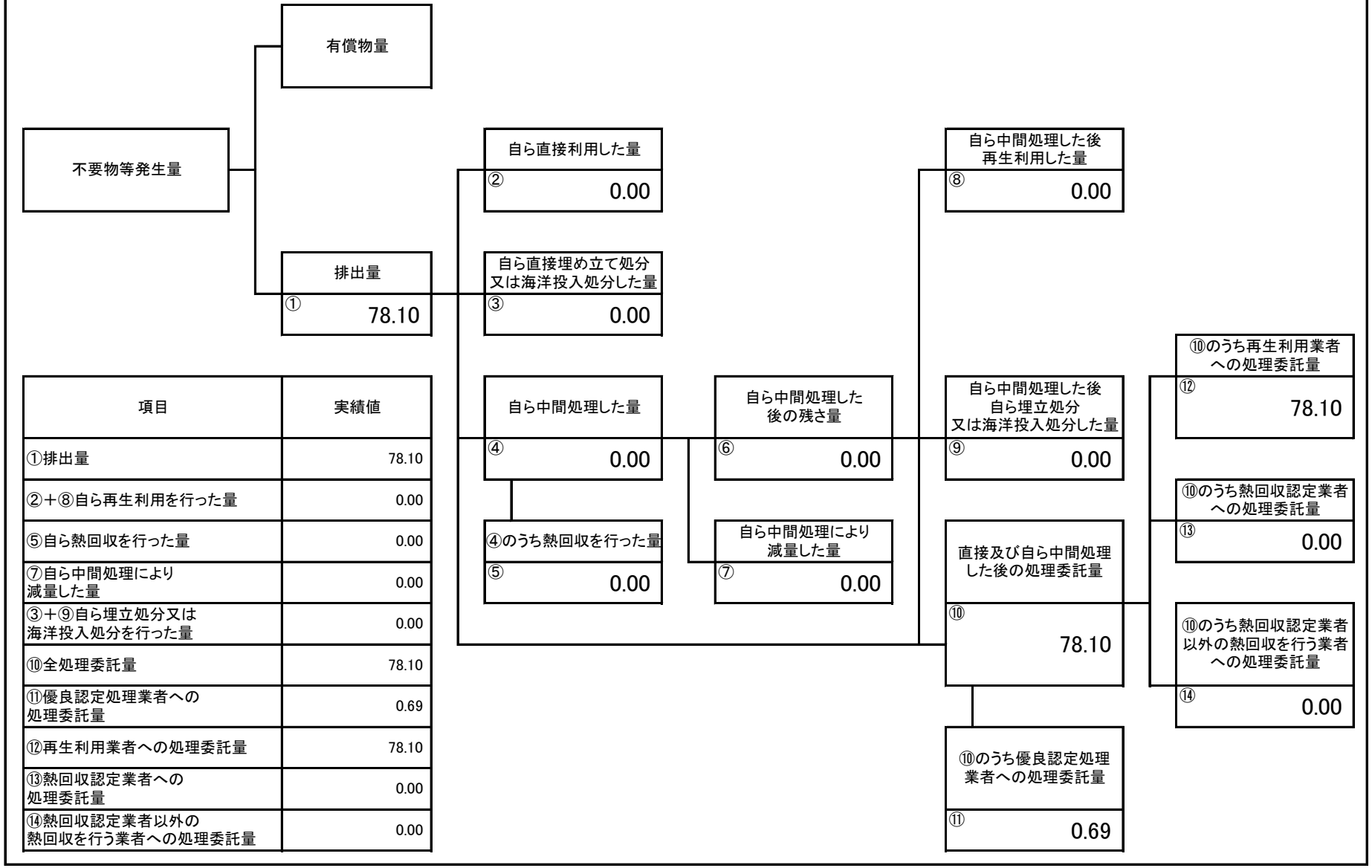


項目	実績値
①排出量	140.18
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	140.18
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.26
⑫再生利用業者への処理委託量	137.37
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）

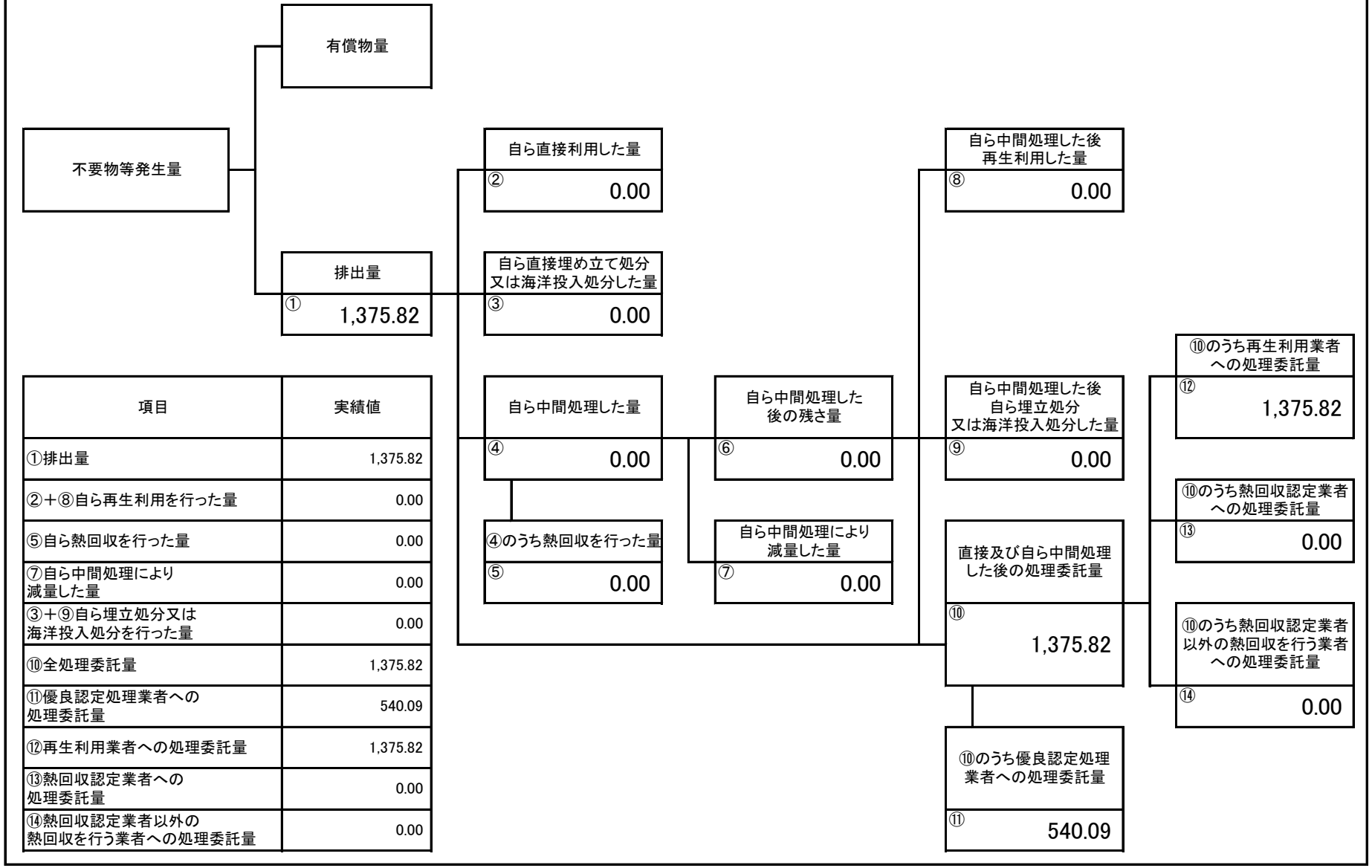


項目	実績値
①排出量	78.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	78.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.69
⑫再生利用業者への処理委託量	78.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

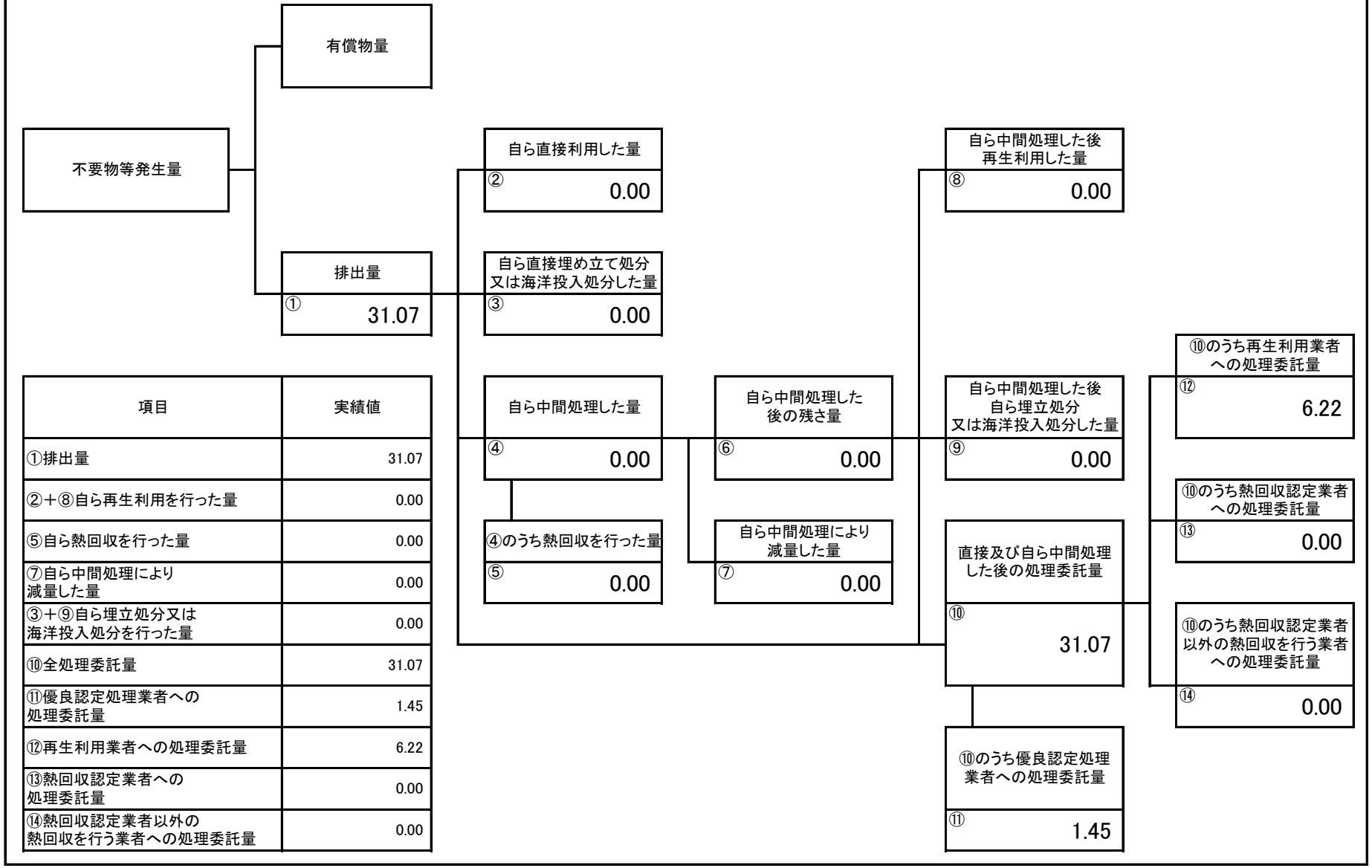


項目	実績値
①排出量	1,375.82
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,375.82
⑪優良認定処理業者への処理委託量	540.09
⑫再生利用業者への処理委託量	1,375.82
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 繊維くず ）

（単位：トン）

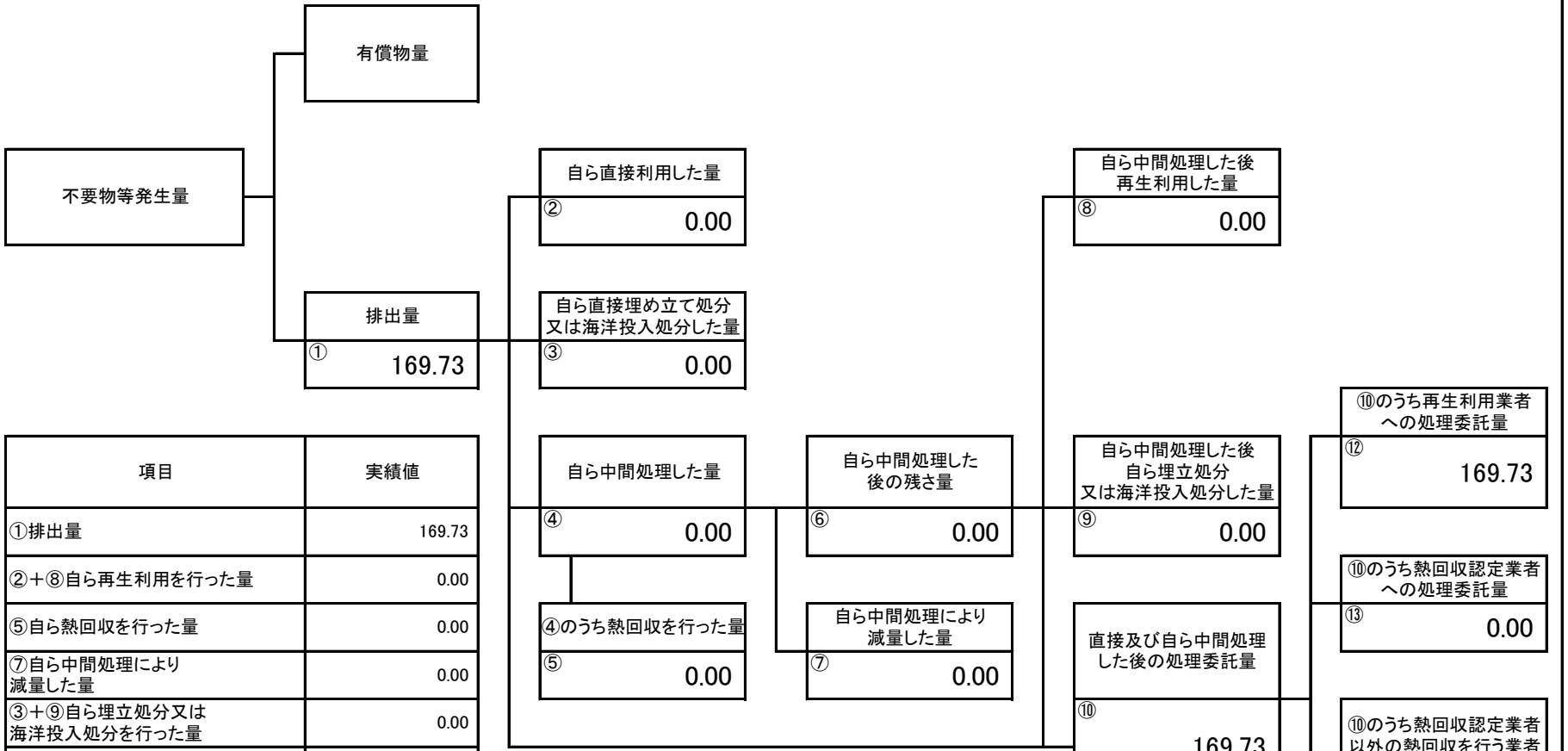


項目	実績値
①排出量	31.07
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	31.07
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.45
⑫再生利用業者への処理委託量	6.22
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず ）

（単位：トン）

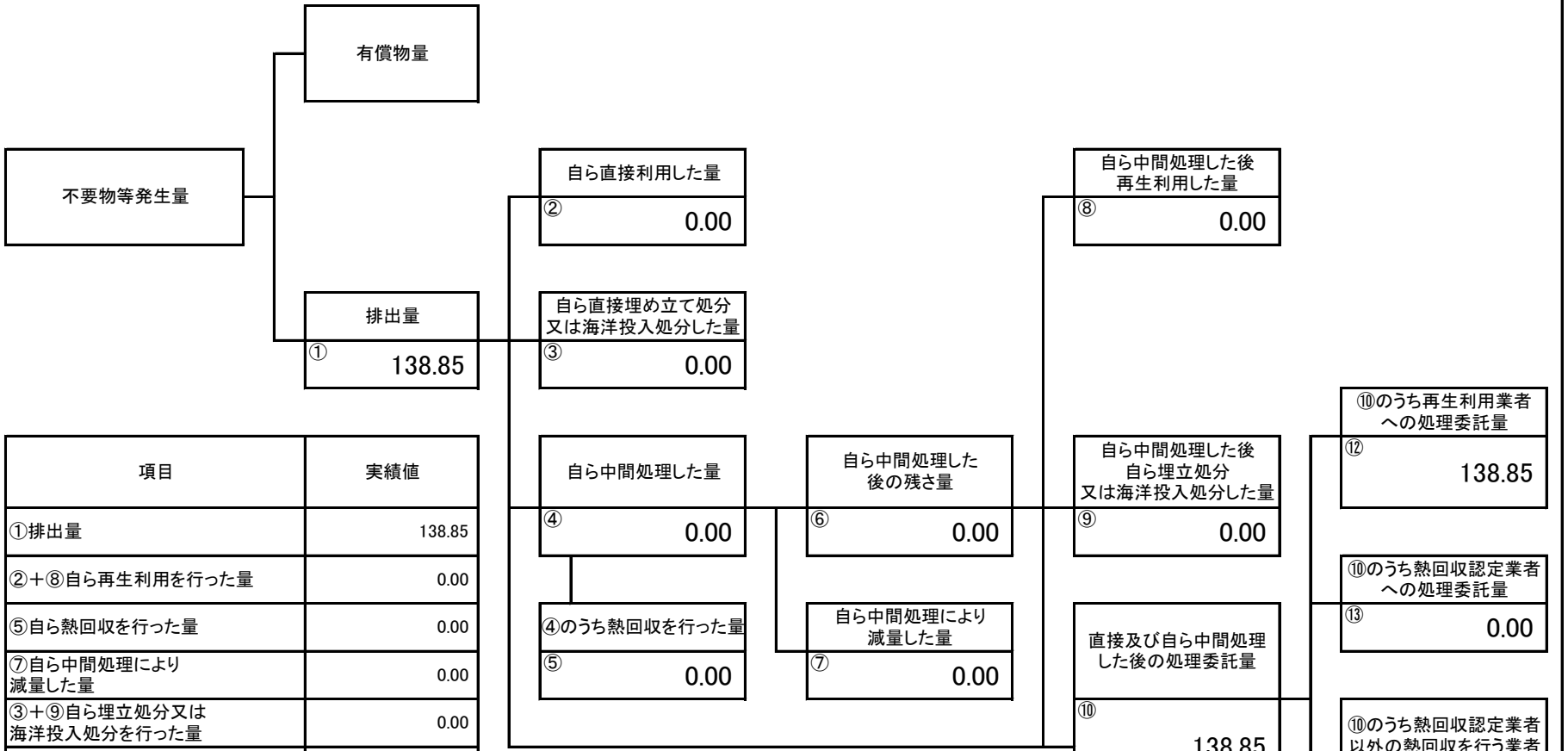


項目	実績値
①排出量	169.73
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	169.73
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.57
⑫再生利用業者への処理委託量	169.73
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

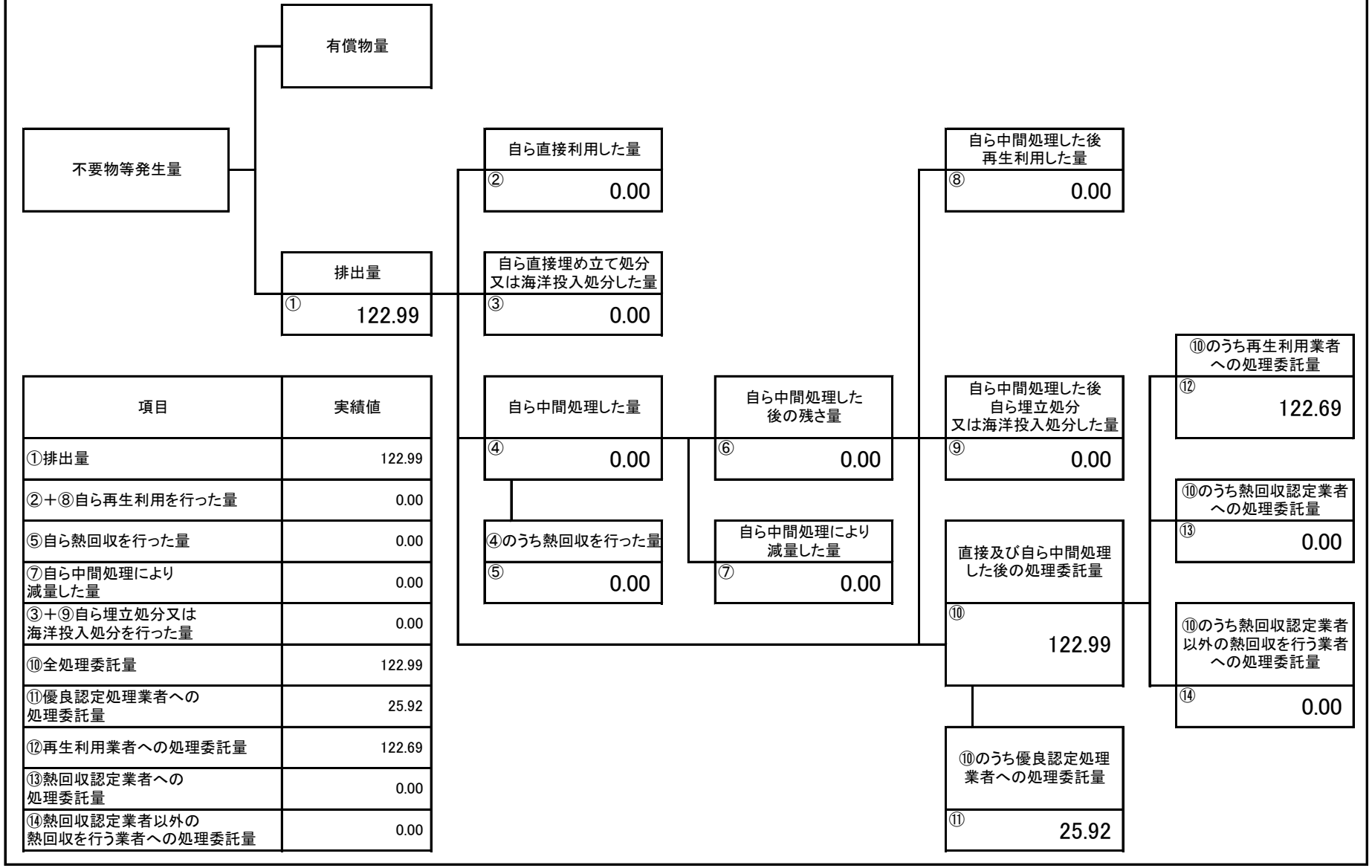


項目	実績値
①排出量	138.85
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	138.85
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.70
⑫再生利用業者への処理委託量	138.85
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

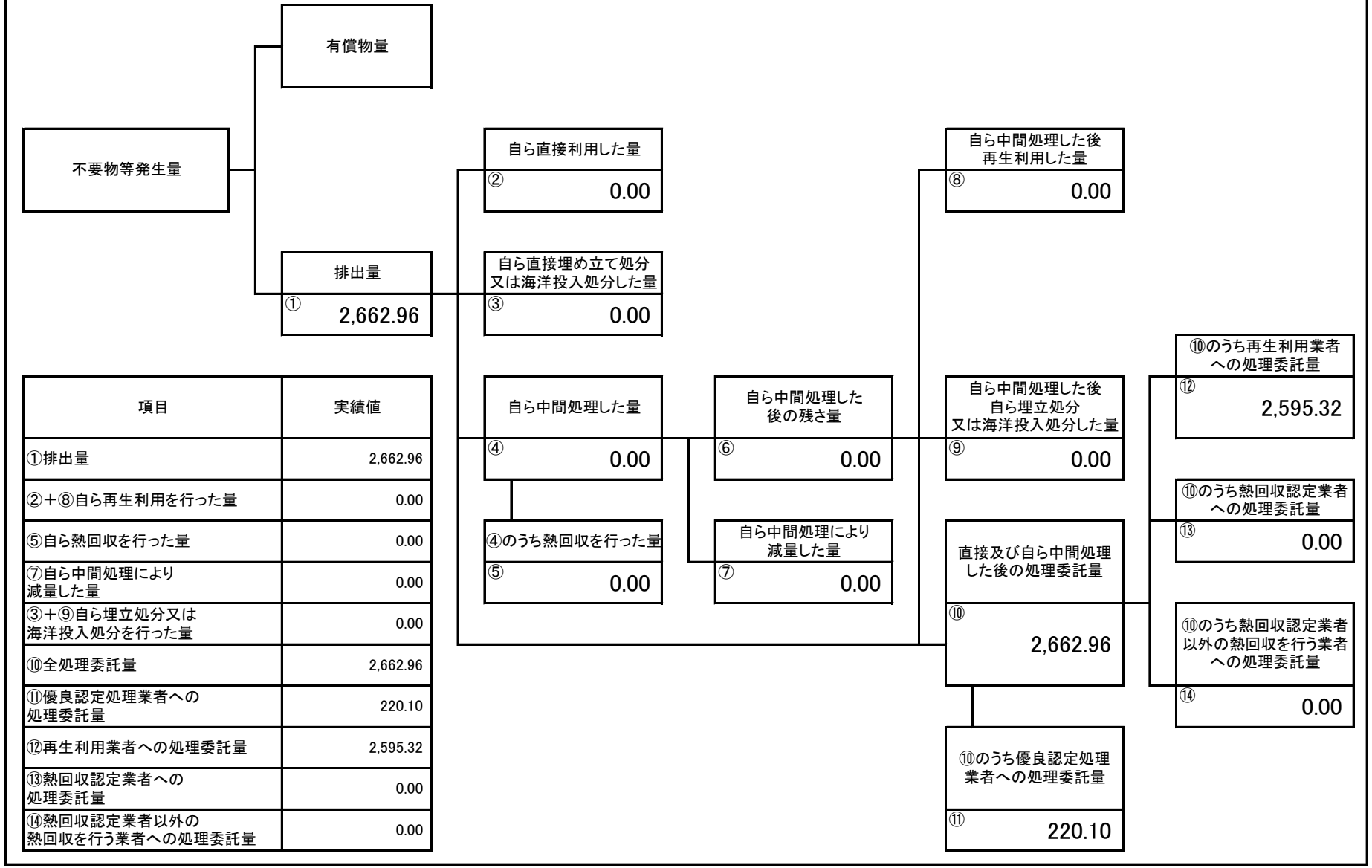


項目	実績値
①排出量	122.99
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	122.99
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.92
⑫再生利用業者への処理委託量	122.69
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

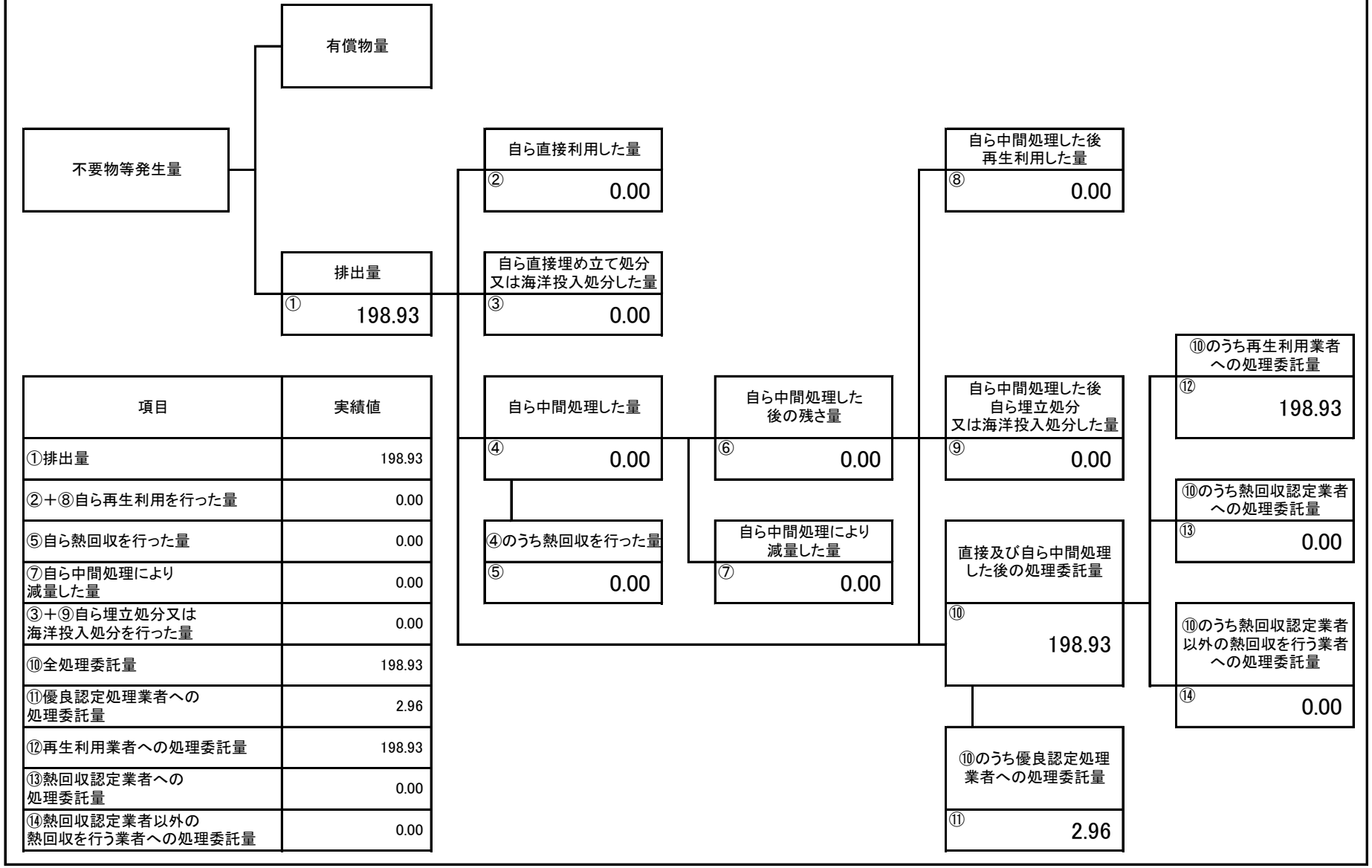


項目	実績値
①排出量	2,662.96
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2,662.96
⑪優良認定処理業者への処理委託量	220.10
⑫再生利用業者への処理委託量	2,595.32
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

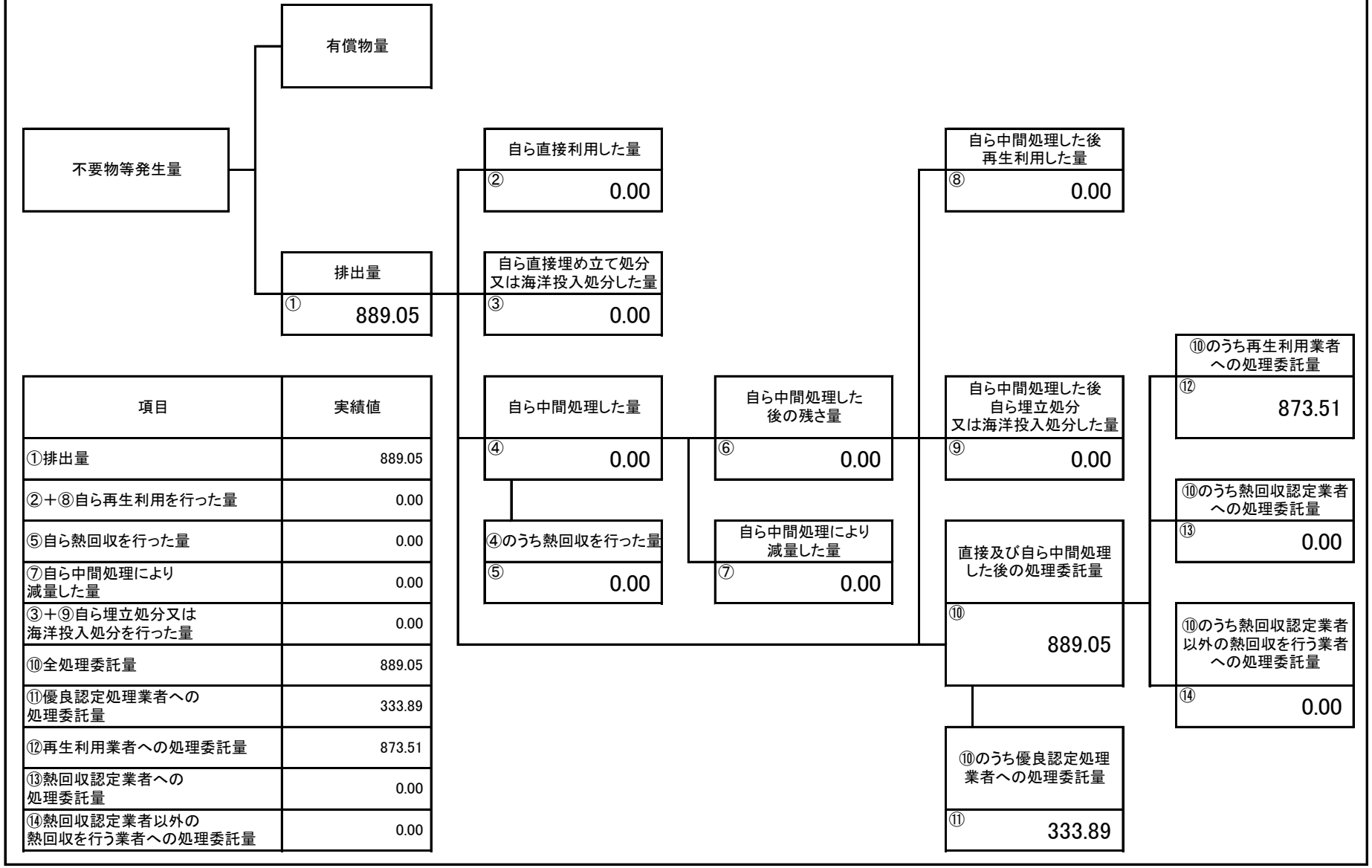


項目	実績値
①排出量	198.93
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	198.93
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.96
⑫再生利用業者への処理委託量	198.93
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

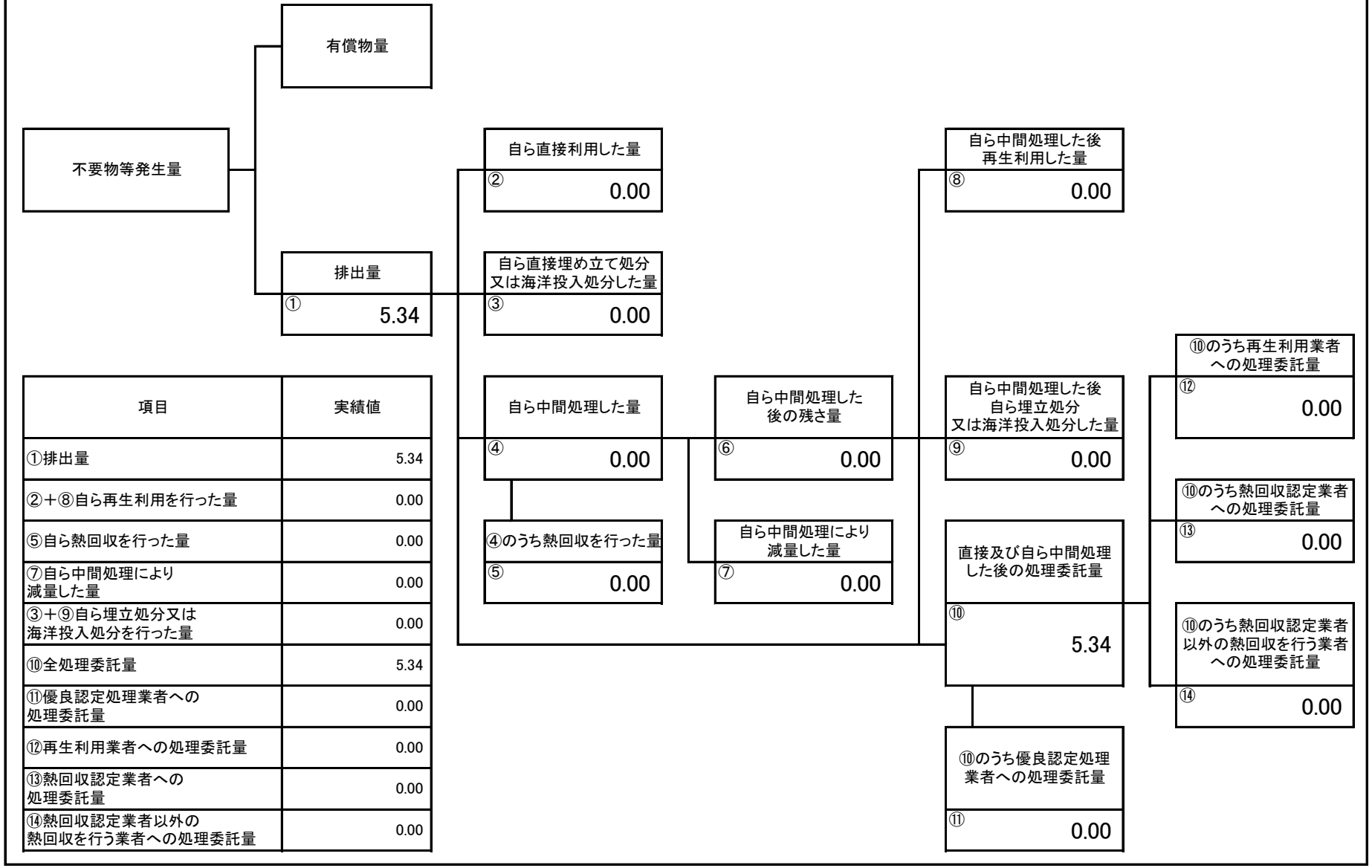


項目	実績値
①排出量	889.05
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	889.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	333.89
⑫再生利用業者への処理委託量	873.51
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（安定型））

（単位：トン）

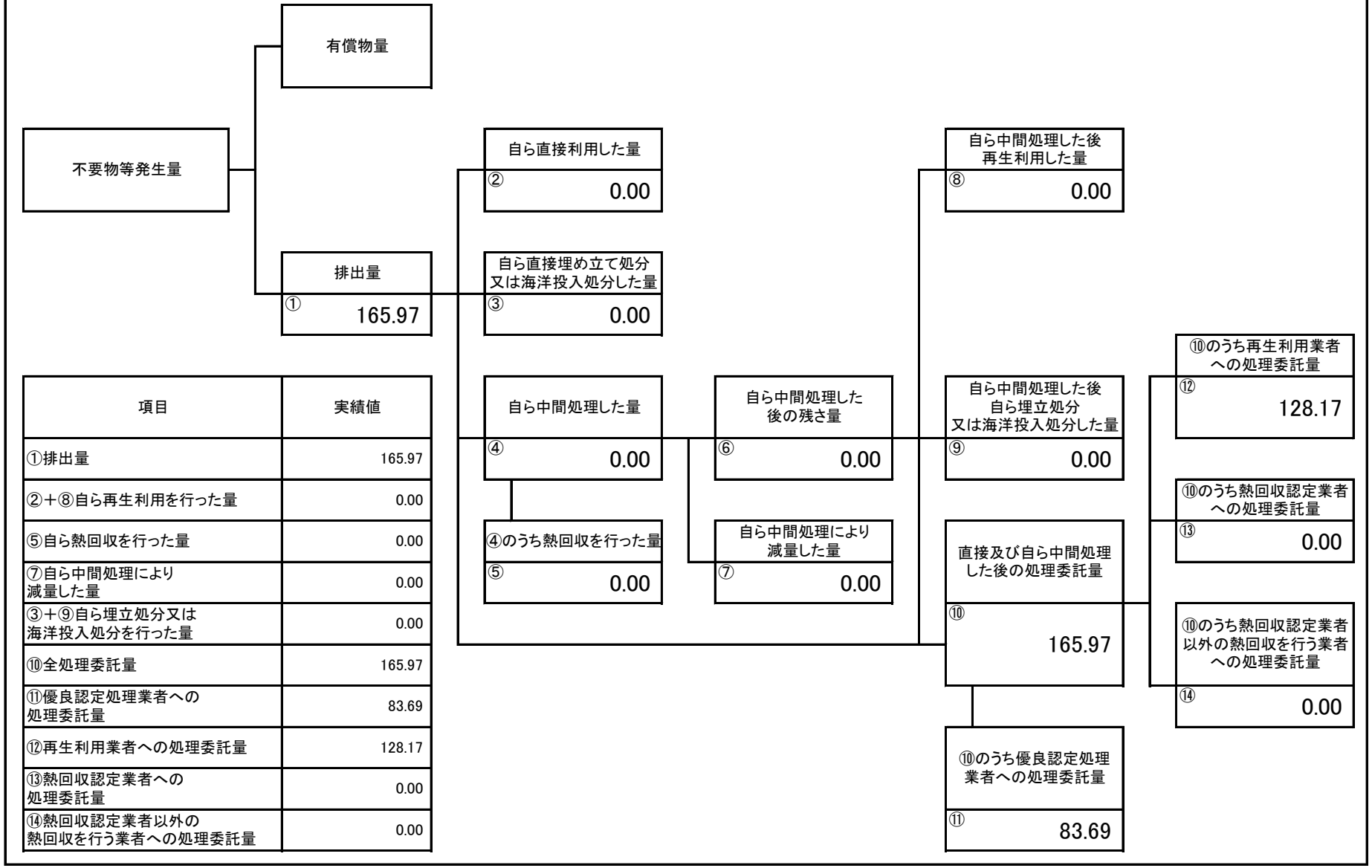


項目	実績値
①排出量	5.34
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5.34
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

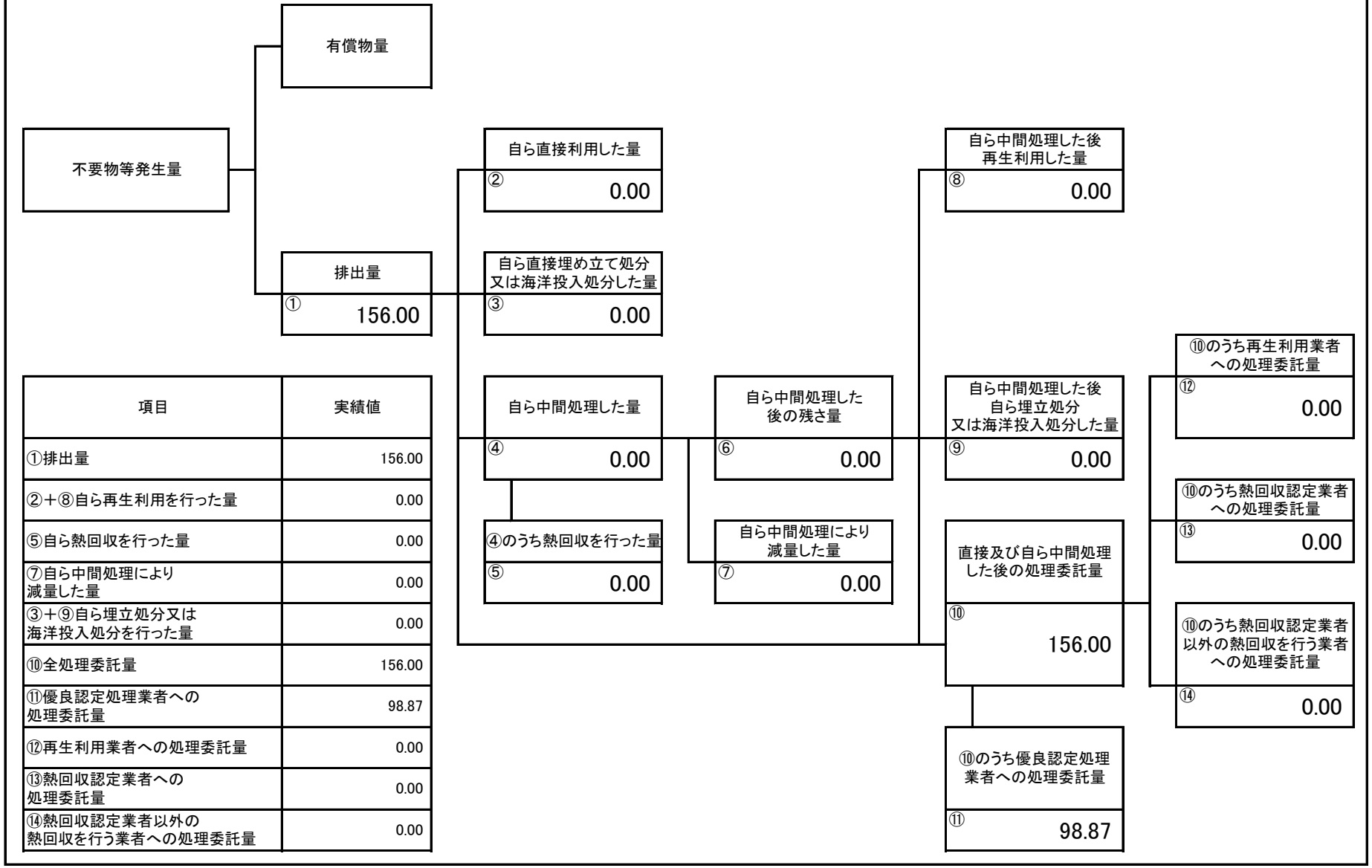


項目	実績値
①排出量	165.97
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	165.97
⑪優良認定処理業者への処理委託量	83.69
⑫再生利用業者への処理委託量	128.17
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	156.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	156.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	98.87
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒293-0011

住　所　千葉県富津市新富２８－１

氏　名　東京パワーテクノロジー株式会社

富津火力総括事務所長　　柳川　稔

電話番号　　0439-87-6405

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富津火力総括事務所　他9事務所
事業場の所在地	千葉県富津市新富28-1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	218億円
③　従業員数	232名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	ガラスコンクリート陶磁器くず ⇒ 破砕、選別処理 ⇒ 再生利用又は埋立処理 ガラスコンクリート陶磁器くず ⇒ 直接埋立処理 がれき類 ⇒ 破砕処理 ⇒ 再生利用 汚泥 ⇒ 焼却、中和、脱水処理 ⇒ 再生利用。 金属くず ⇒ 破砕、選別、焼却処理 ⇒ 再生利用 廃プラスチック類 ⇒ 破砕、選別、焼却処理 ⇒ 再生利用又は埋立処理 廃アルカリ ⇒ 中和処理 ⇒ 再生利用（沈殿物）、下水道放流（水分） 廃酸 ⇒ 中和処理 ⇒ 再生利用（沈殿物）、下水道放流（水分） 廃油 ⇒ 油水分離処理 ⇒ 再生利用 廃油 ⇒ 焼却処理 ⇒ 再生利用又は埋立処理 木くず ⇒ 破砕、選別処理 ⇒ 再生利用 混合廃棄物⇒ 破砕、選別、圧縮処理 ⇒ 再生利用又は埋立処理

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

廃棄物総括責任者　（本社）
廃棄物総括管理担当者　（本社）
　　↓
　　←――――― 環境管理事務局（本社）
　　↓
環境管理単位（総括事務所及び各事務所）　　富津火力総括事務所
廃棄物管理責任者　（各所属長）　　千葉事務所
廃棄物管理担当者　（各所担当）　　千葉事務所（姉崎地点）
　　袖ヶ浦事務所
　　君津共火事務所
　　技術センター（富津）
　　技能訓練グループ
　　内製化技術グループ
　　エンジンメンテナンスＳＣ

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	がれき類	ガラス・コンクリート・陶器くず
排出量	772.0　t	71.5　t

（これまでに実施した取組）
県内の各事務所でリサイクル率向上のため、環境管理組織を構築し、リサイクル 向上及び適正処理の運用を行っている 。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	がれき類	ガラス・コンクリート・陶器くず
排出量	400　t	50　t

（今後実施する予定の取組）
今後も可能な限り再生利用業者への処理委託を継続する。
工事の種類により発生する廃棄物が異なるが、種類に応じた排出量の抑制を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別可能な廃棄物については 、分別後保管している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
混合廃棄物は、出来るだけ分別し再生及びリサイクル処理へ委託する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶器くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶器くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶器くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶器くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶器くず
全処理委託量	772.0 t	71.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	185.5 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	709.1 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

再生およびリサイクル率の高い会社にお願いしている。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>がれき類</td><td>ガラス・コンクリート・陶器くず</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量＿</td><td>400 t</td><td>50 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>300 t</td><td>30 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>400 t</td><td>50 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
これまでの取り組みを継続して実施。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

事業の種（建設業・製造業・電ガスのみ中分類）
A－農業，林業
B－漁業
C－鉱業，採石業，砂利採取業
D06－総合工事業
D07－職別工事業（設備工事業を除く）
D08－設備工事業
E09－食料品製造業
E10－飲料・たばこ・飼料製造業
E11－繊維工業
E12－木材・木製品製造業（家具を除く）
E13－家具・装備品製造業
E14－パルプ・紙・紙加工品製造業
E15－印刷・同関連業
E16－化学工業
E17－石油製品・石炭製品製造業
E18－プラスチック製品製造業（別掲を除く）
E19－ゴム製品製造業
E20－なめし皮・同製品・毛皮製造業
E21－窯業・土石製品製造業
E22－鉄鋼業
E23－非鉄金属製造業
E24－金属製品製造業
E25－はん用機械器具製造業
E26－生産用機械器具製造業
E27－業務用機械器具製造業
E28－電子部品・デバイス・電子回路製造業
E29－電気機械器具製造業
E30－情報通信機械器具製造業
E31－輸送用機械器具製造業
E32－その他の製造業
F33－電気業
F34－ガス業
F35－熱供給業
F36－水道業
G－情報通信業
H－運輸業，郵便業
I－卸売業，小売業
J－金融業，保険業
K－不動産業，物品賃貸業
L－学術研究，専門・技術サービス業
M－宿泊業，飲食サービス業
N－生活関連サービス業，娯楽業
O－教育，学習支援業
P－医療，福祉
Q－複合サービス事業
R－サービス業（他に分類されないもの）
S－公務（他に分類されるものを除く）
T－分類不能の産業

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
		排　出　量	139.7　t	17.0　t	212.0　t	0.9　t	62.1　t	130.7　t	6.7　t	162.4　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
		排　出　量	100　t	10　t	140　t	0　t	30　t	100　t	5　t	50　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
	全処理委託量	139.7 t	17.0 t	212.0 t	0.9 t	62.1 t	130.7 t	6.7 t	162.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	89.4 t	3.1 t	78.2 t	0.9 t	41.4 t	8.6 t	6.7 t	145.5 t
	再生利用業者への処理委託量	t	2.3 t	147.1 t	0.9 t	t	2.3 t	t	131.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	9 t	t	t	t	20.7 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	混合廃棄物	紙くず	廃アルカリ	廃プラスチック	廃酸	木くず
	全処理委託量	100 t	10 t	140 t	0 t	30 t	100 t	5 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	90 t	5 t	80 t	t	20 t	20 t	5 t	50 t
	再生利用業者への処理委託量	t	4 t	140 t	t	t	10 t	t	40 t
	認定熱回収業者への処理委託量	10 t	t	t	t	15 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃油							
		排　　出　　量	40.4　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃油							
		排　　出　　量	20　t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃油							
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃油							
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃油							
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃油							
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油							
	全処理委託量	40.4 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	40.4 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	2 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油							
	全処理委託量	20 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	20 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月25日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒293-0011
住 所　千葉県富津市新富２８－１
氏 名　東京パワーテクノロジー株式会社
富津火力総括事務所長　柳川 稔
電話番号　0439-87-6405

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	富津火力総括事務所 他11事務所
事業場の所在地	千葉県富津市新富28-1
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

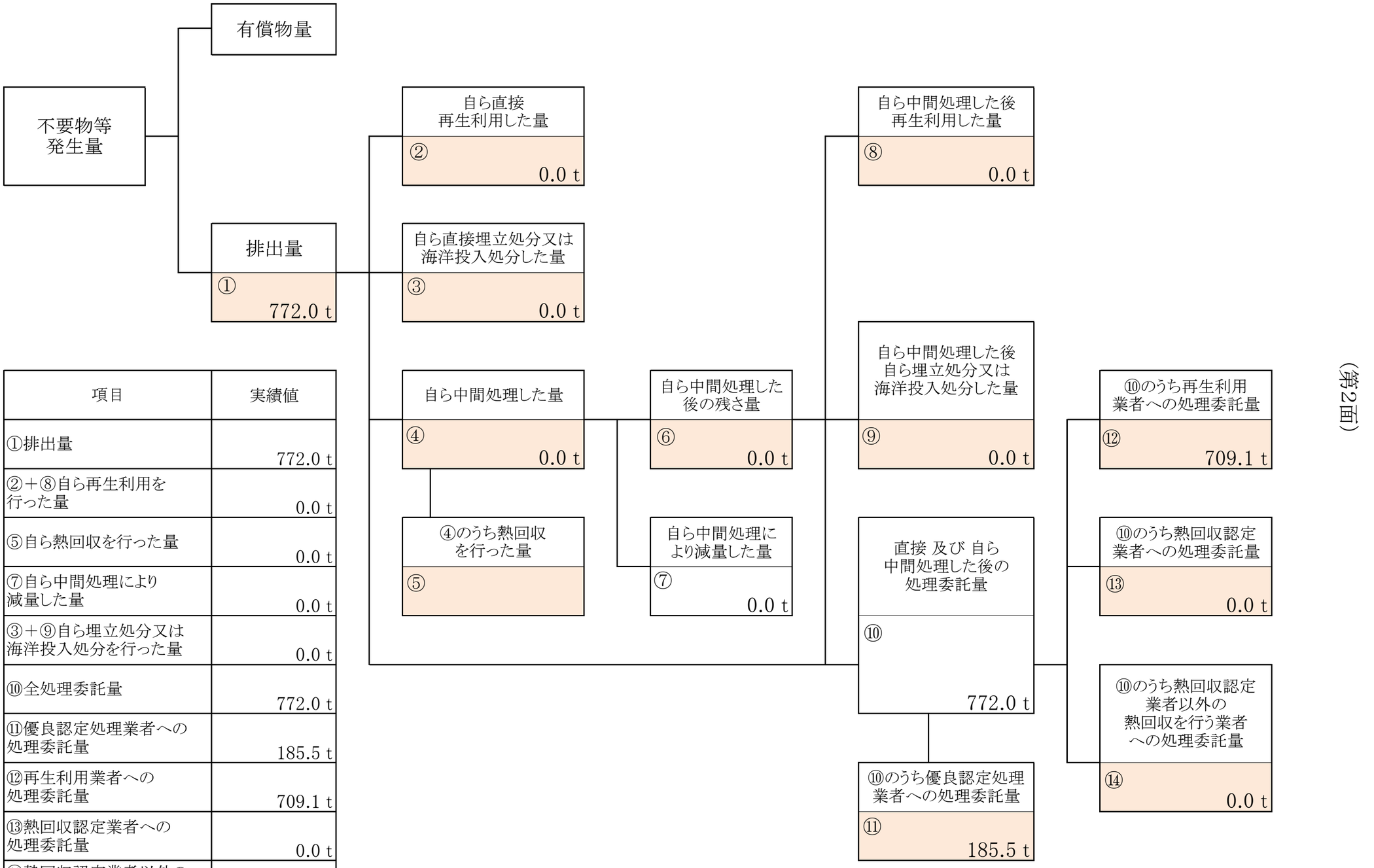
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	950.0ｔ	全処理委託量	950.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	240.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	605.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	8.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

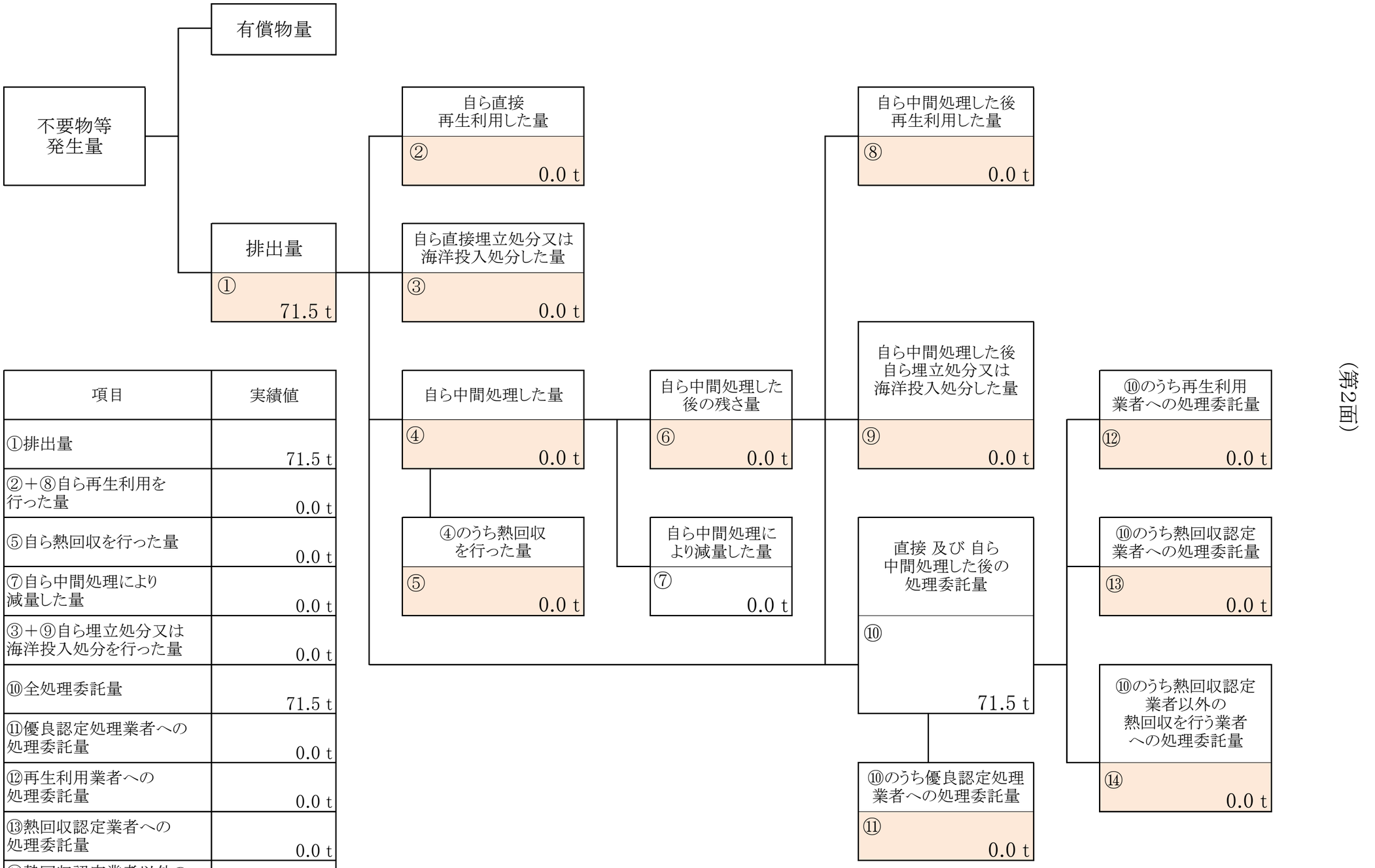


項目	実績値
①排出量	772.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	772.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	185.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	709.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶器くず**）

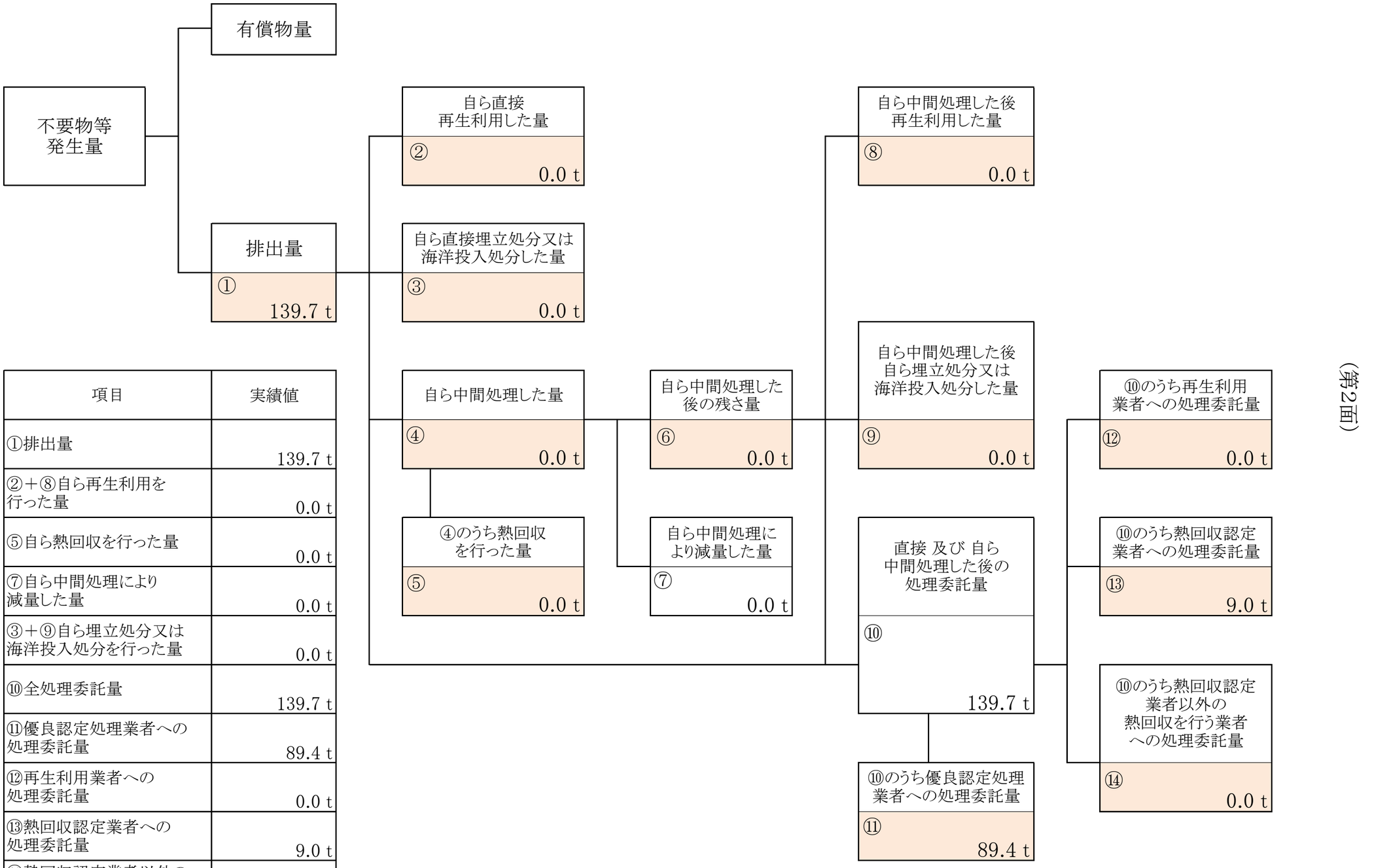


項目	実績値
①排出量	71.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	71.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

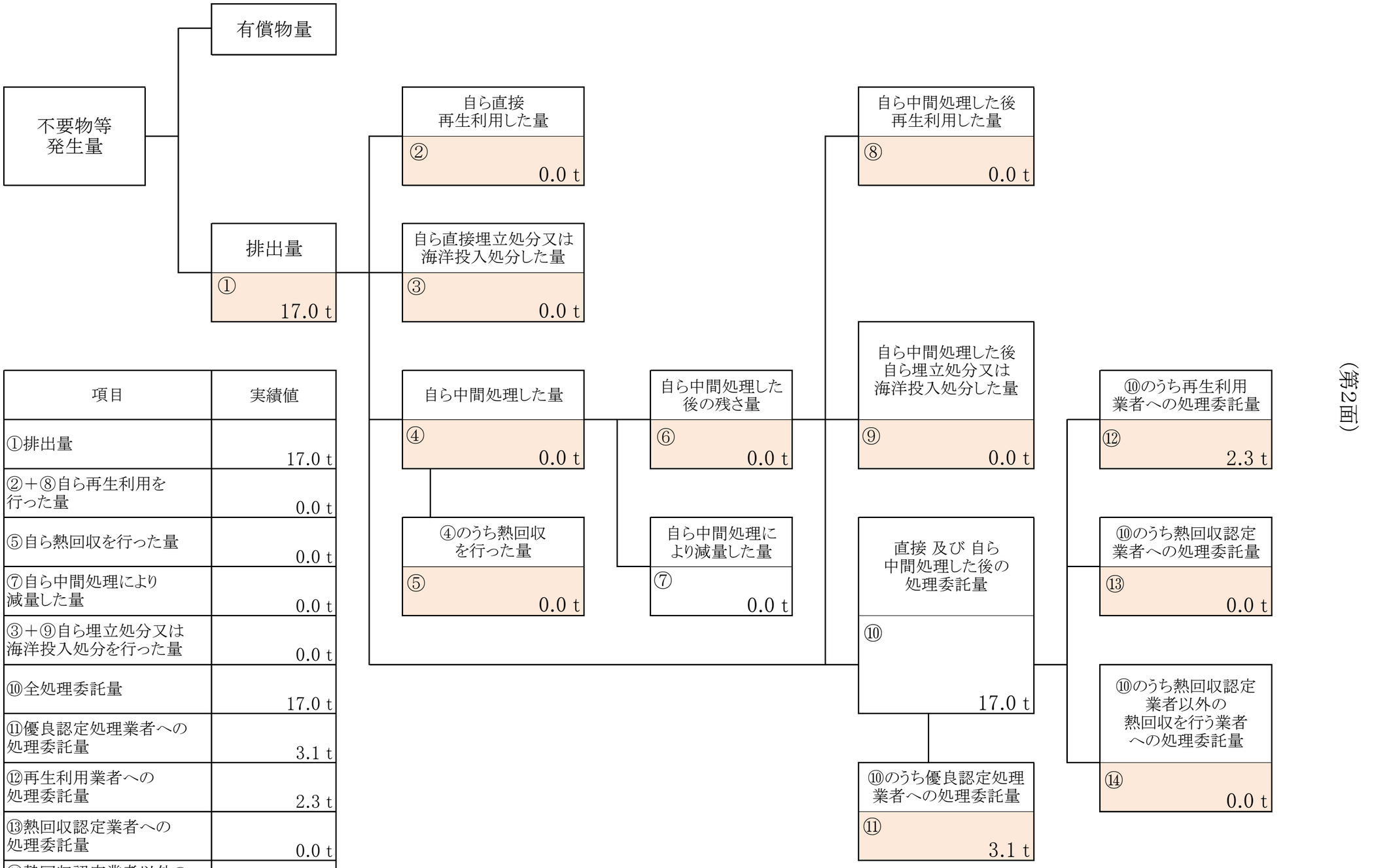


項目	実績値
①排出量	139.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	139.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	89.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	9.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

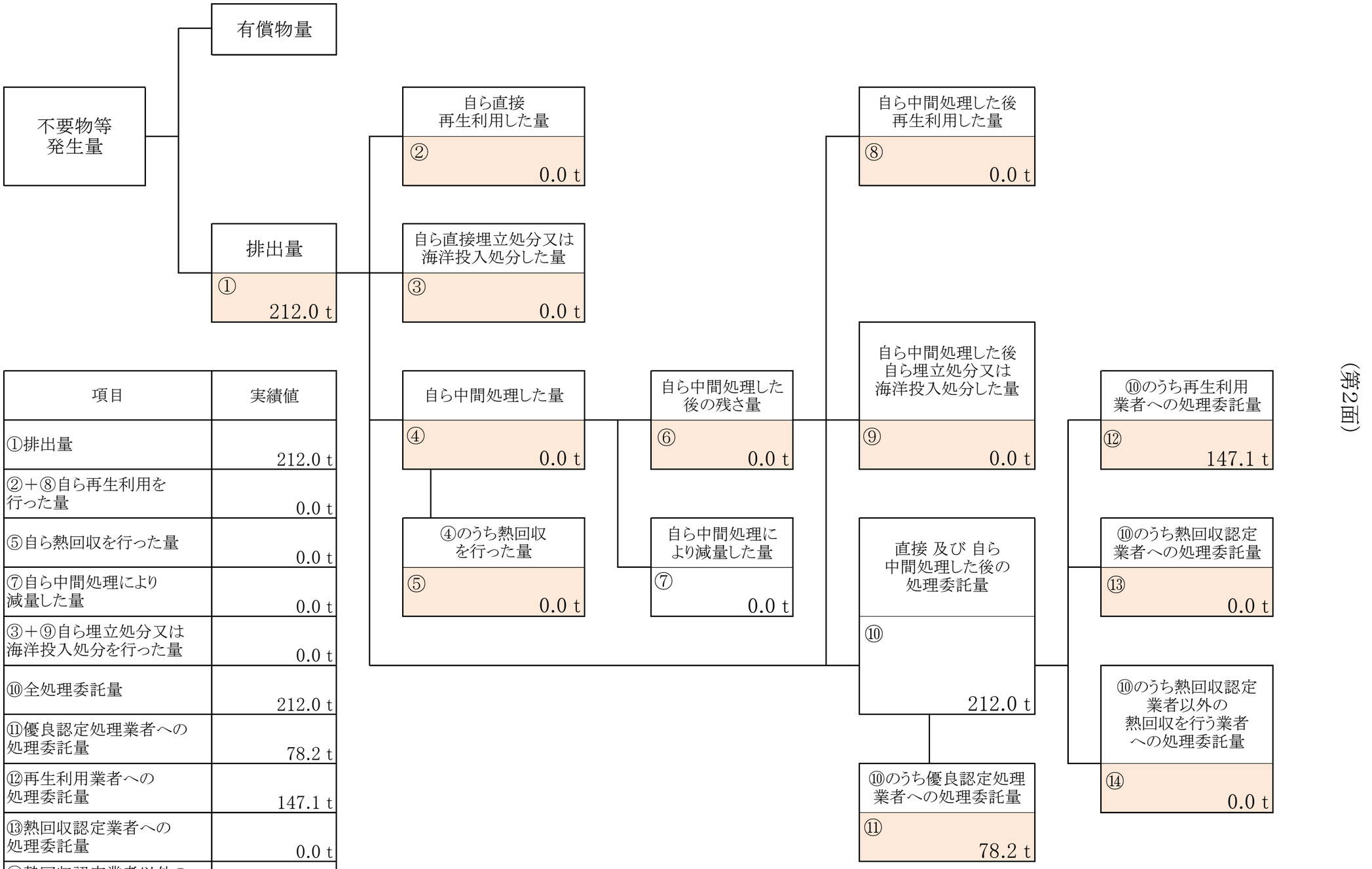


項目	実績値
①排出量	17.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

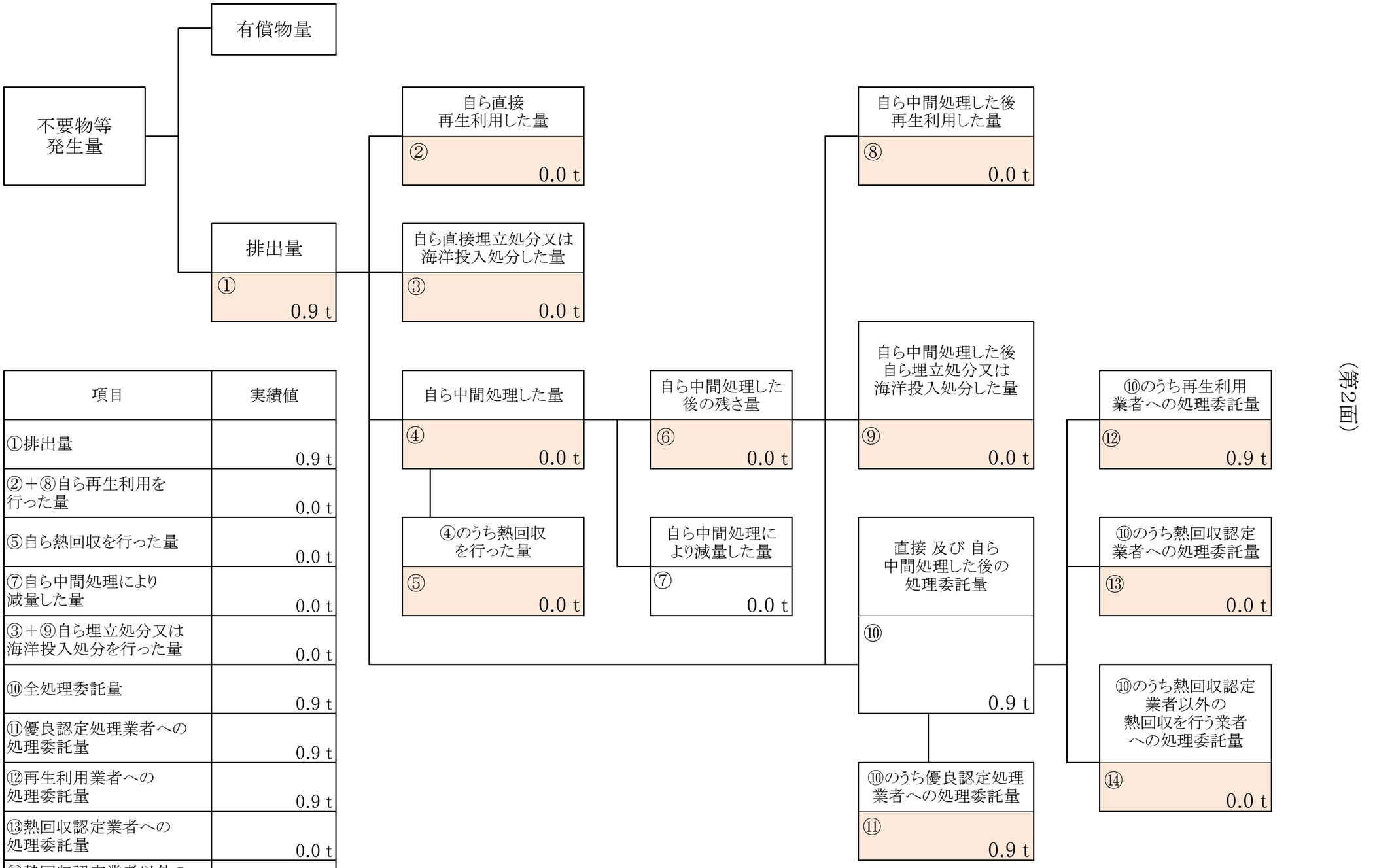


項目	実績値
①排出量	212.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	212.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	78.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	147.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

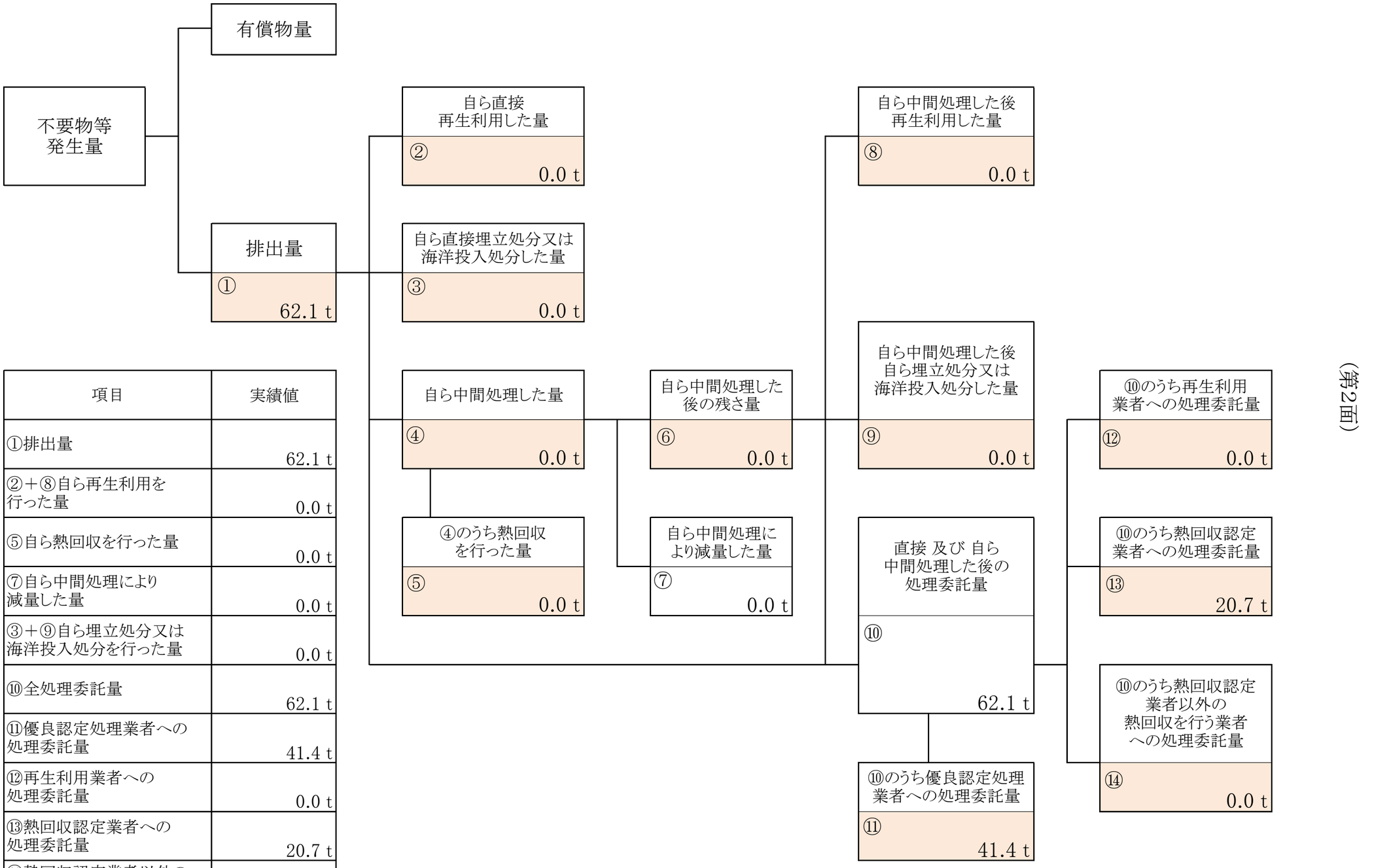


項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃アルカリ**）

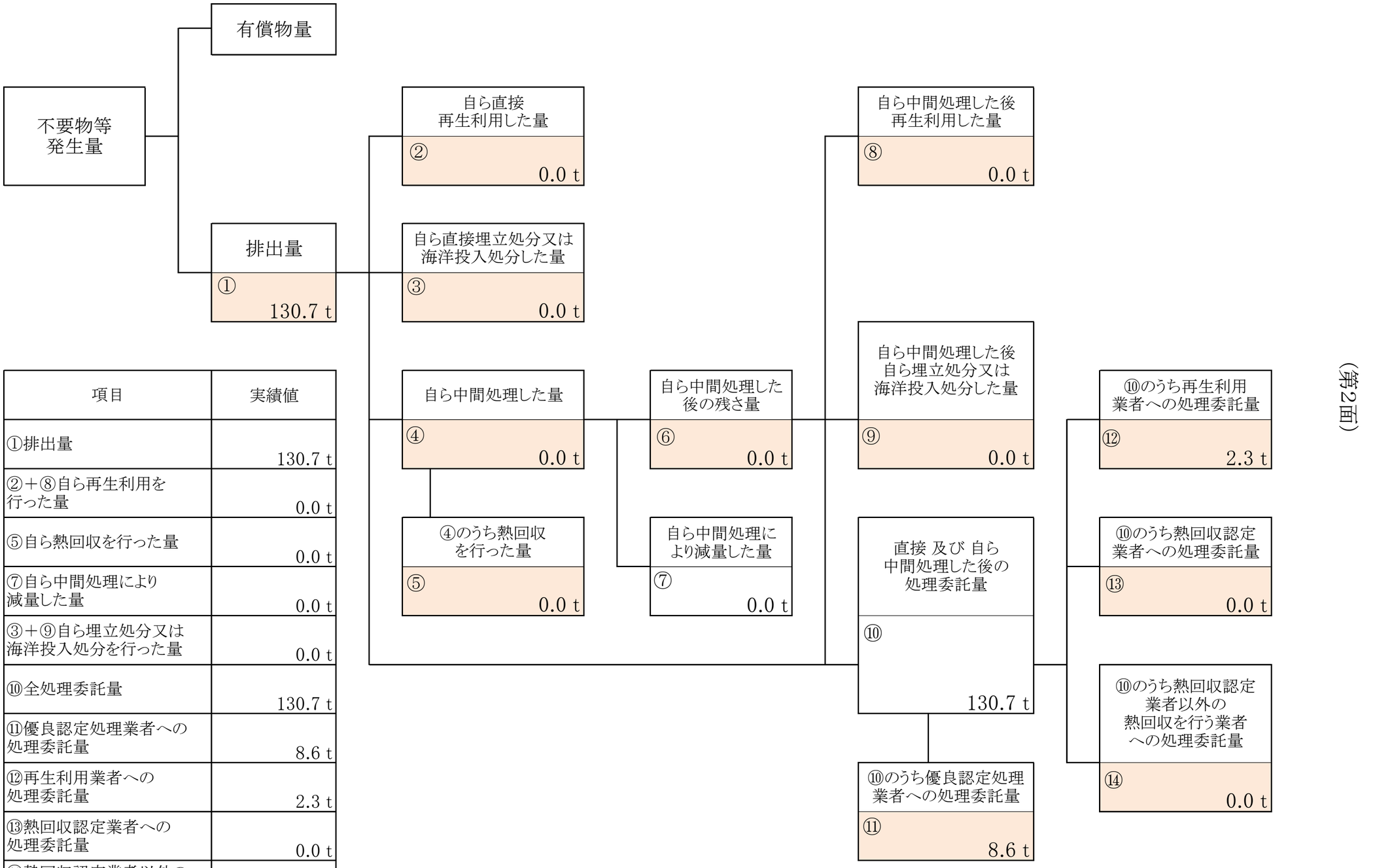


項目	実績値
①排出量	62.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	62.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	20.7 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック**）

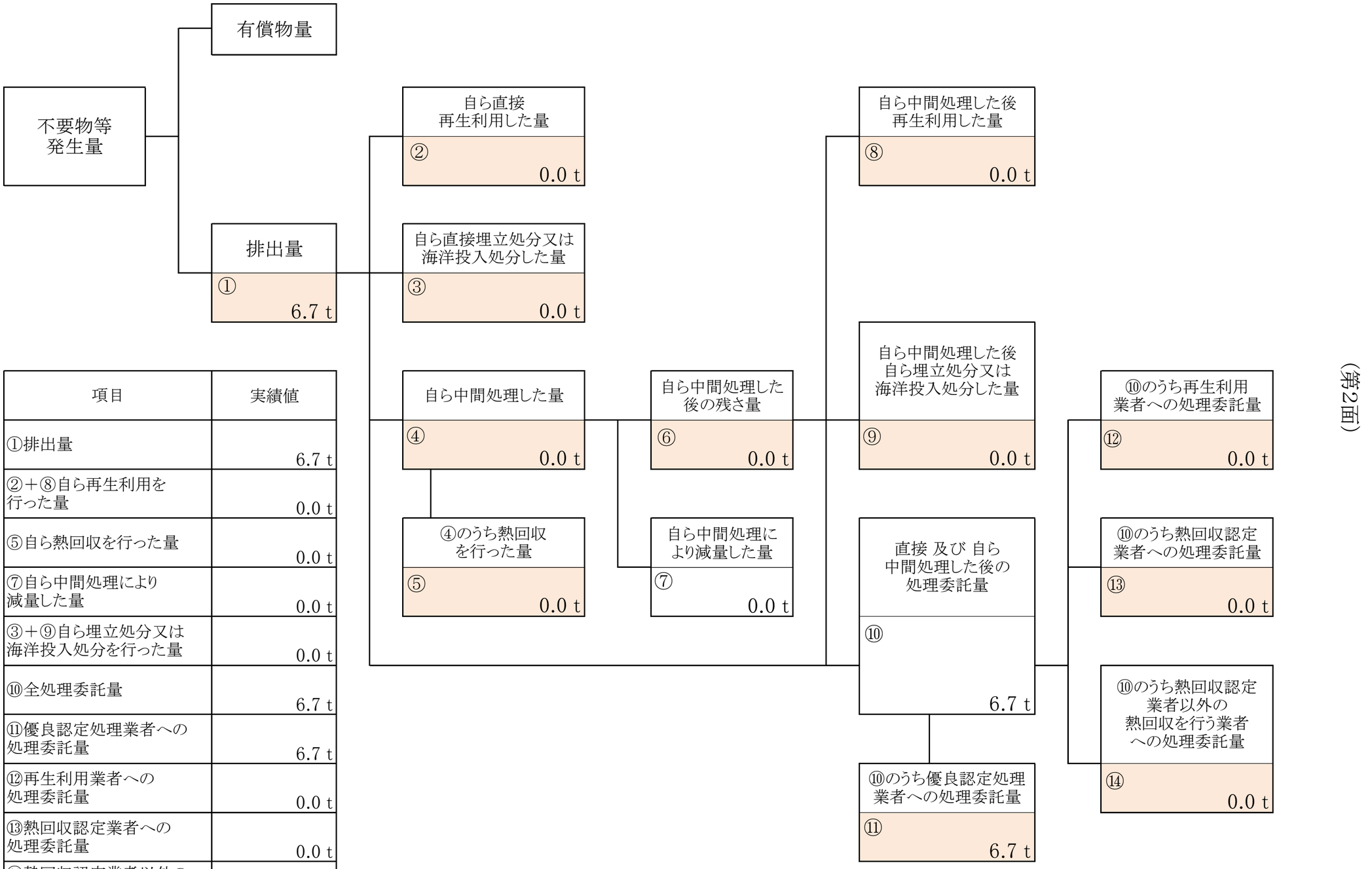


項目	実績値
①排出量	130.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	130.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃酸**）

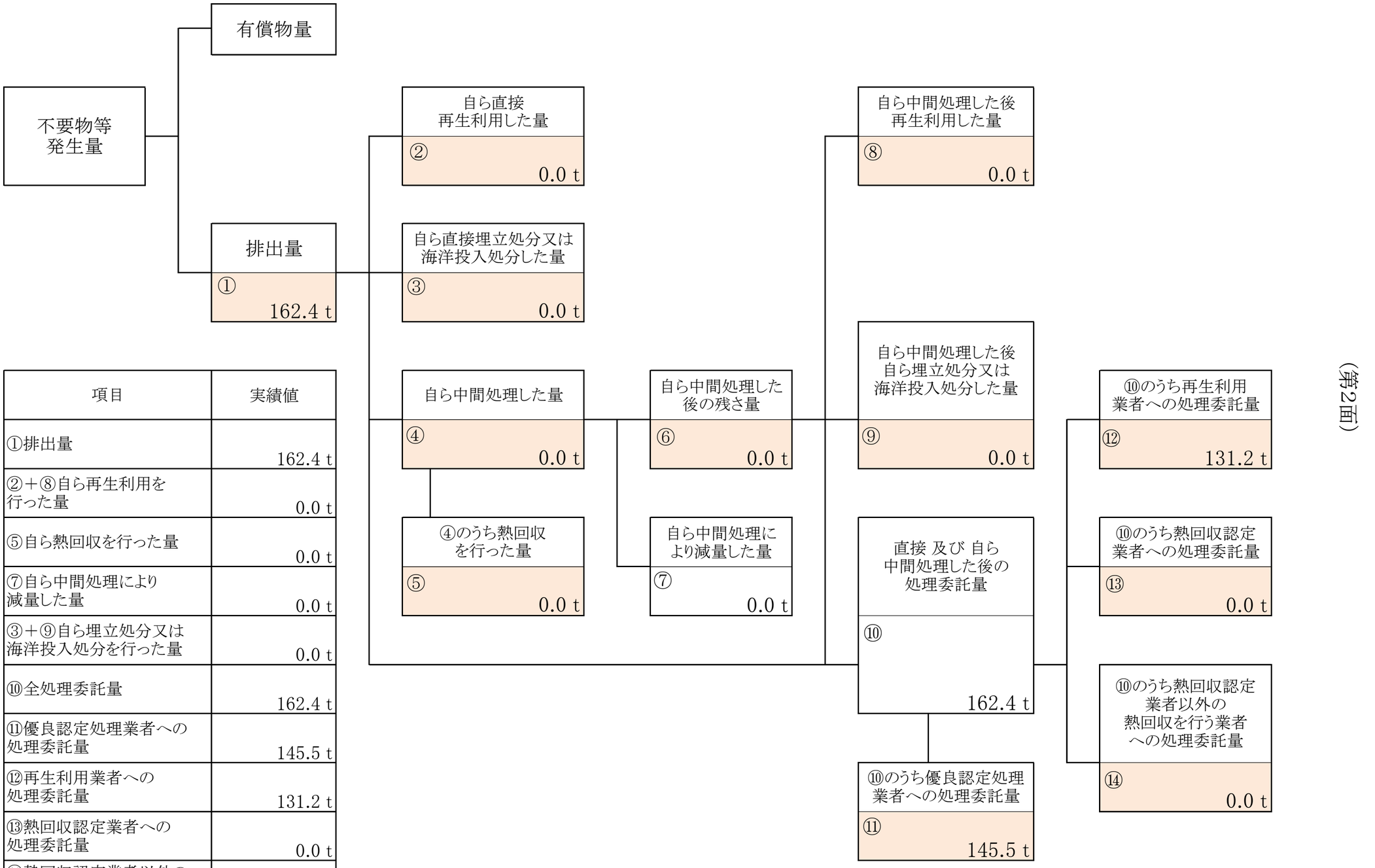


項目	実績値
①排出量	6.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

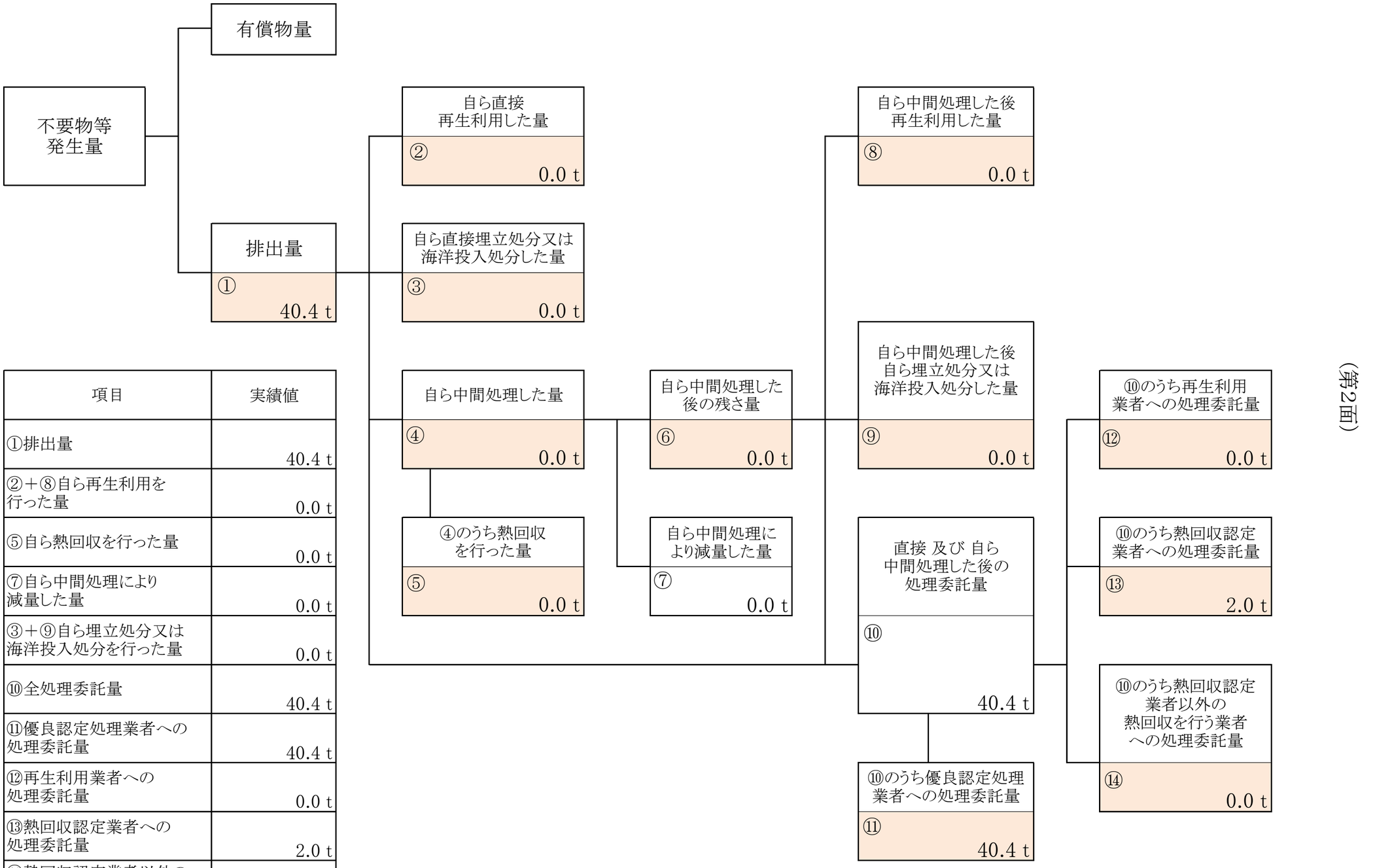


項目	実績値
①排出量	162.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	162.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	145.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	131.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）



項目	実績値
①排出量	40.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	40.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	2.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月3日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　千葉県千葉市中央区弁天2-23-1

氏 名　東鉄工業株式会社 千葉支店

執行役員支店長　諏江　弘之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　043-251-8221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東鉄工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区弁天2-23-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類 建設業　　中分類 総合工事業　小分類 一般土木建築工事業
②事業の規模	完成工事高　158億
③従業員数	179人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	ー
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
排出量を抑制するために梱包材を簡素化すると共に再生利用可能資材のこまめな分別などにより排出量を抑制した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	ー
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
受注した工事内容により排出量は大幅に変動するが、これまでの取組のほか、一般廃棄物との分別の徹底や金属くずのスクラップ処理など、不必要な排出を抑えるように現場担当者を教育・指導する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
建設リサイクル法で定める特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、アスファルト・コンクリート、木材)について、再資源化を促進するために分別を行っている。また、その他の廃棄物についても再生利用しやすいよう、フレコンバック等を利用し分別を行っている。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現在実施している取り組みのほかに、混合廃棄物についても可能な限り再利用しやすいように分別化を進める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・産業廃棄物処理委託先については、当社にて選別した、経営体力があり適切な設備を保有し処理実績のある業者を利用することで、適切な処分を行っている。
・電子マニフェストを利用することで、リアルタイムい産業廃棄物の処理過程を把握している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
現在実施ている取組のほかに、
・委託先に対し契約前に実地確認を行い、不適と判断される委託先を排除する。
・「優良認定処理業者」を積極的に利用することで、産業廃棄物の適正処理を推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

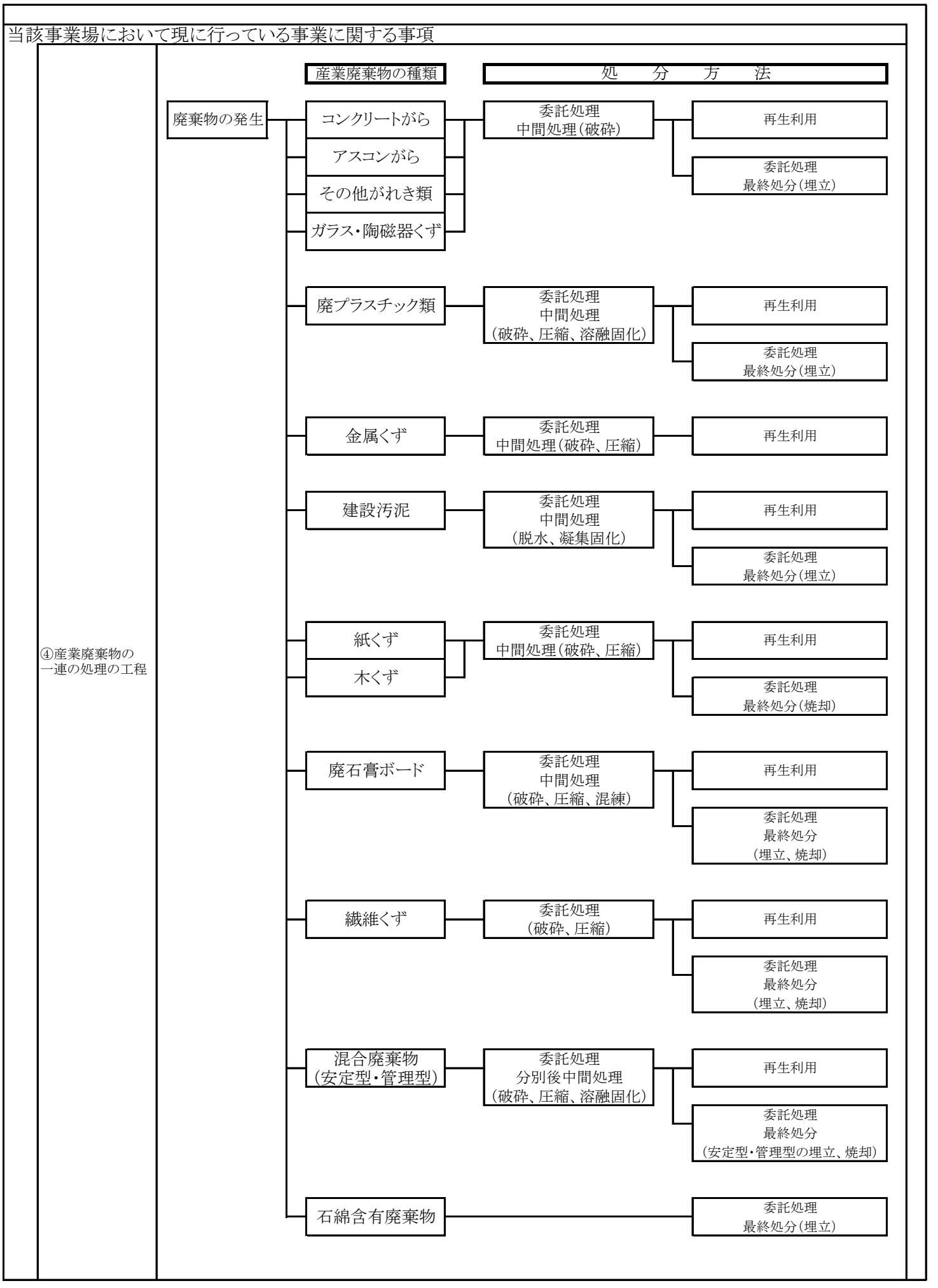
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

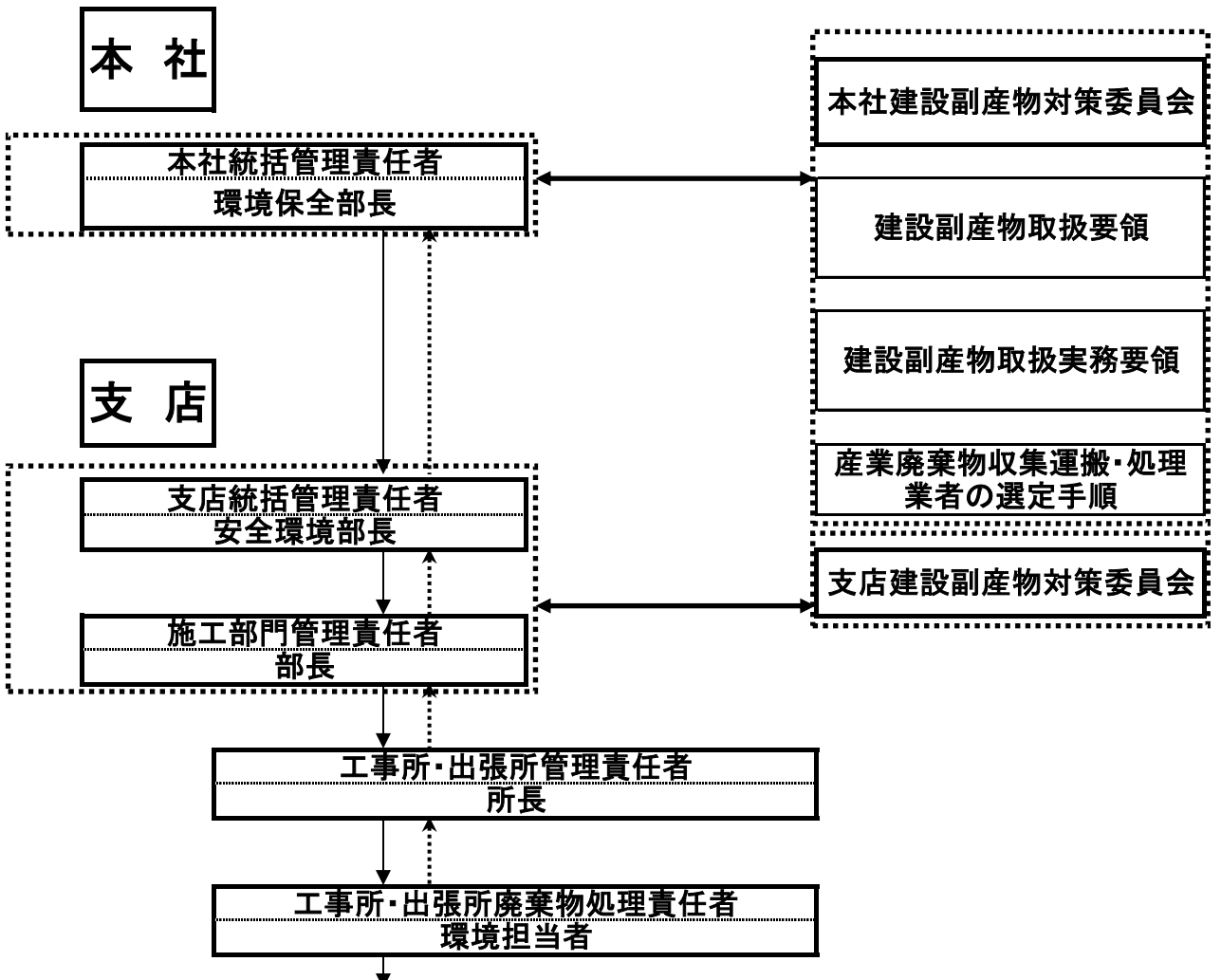

当該事業場において現に行っている事業に関する事項
④産業廃棄物の
一連の処理の工程
産業廃棄物の種類
処　分　方　法
廃棄物の発生
コンクリートがら
アスコンがら
その他がれき類
ガラス・陶磁器くず
委託処理
中間処理（破砕）
再生利用
委託処理
最終処分（埋立）
廃プラスチック類
委託処理
中間処理
（破砕、圧縮、溶融固化）
再生利用
委託処理
最終処分（埋立）
金属くず
委託処理
中間処理（破砕、圧縮）
再生利用
建設汚泥
委託処理
中間処理
（脱水、凝集固化）
再生利用
委託処理
最終処分（埋立）
紙くず
木くず
委託処理
中間処理（破砕、圧縮）
再生利用
委託処理
最終処分（焼却）
廃石膏ボード
委託処理
中間処理
（破砕、圧縮、混練）
再生利用
委託処理
最終処分
（埋立、焼却）
繊維くず
委託処理
（破砕、圧縮）
再生利用
委託処理
最終処分
（埋立、焼却）
混合廃棄物
（安定型・管理型）
委託処理
分別後中間処理
（破砕、圧縮、溶融固化）
再生利用
委託処理
最終処分
（安定型・管理型の埋立、焼却）
石綿含有廃棄物
委託処理
最終処分（埋立）

別添２ 管理体制図

建 設 副 産 物 管 理 組 織 図

作成日　　年　月　日

所



中間処理･最終処分		収集･運搬業者		廃棄物名
社名		社名		
社名		社名		
社名		社名		
社名		社名		
社名		社名		
社名		社名		

※全ての発生品、業者を記入

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
排出量	143.88 t	0.51 t	38.13 t	1.65 t	238.87 t	0.18 t	4.52 t	2.70 t	16.50 t	536.32 t	743.15 t	1,164.19 t	275.31 t	8.50 t	0.30 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
排出量	129.49 t	0.46 t	34.32 t	1.49 t	214.98 t	0.16 t	4.07 t	2.43 t	14.85 t	482.69 t	668.84 t	1,047.77 t	247.78 t	7.65 t	0.27 t			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
全処理委託量	143.88 t	0.51 t	38.13 t	1.65 t	238.87 t	0.18 t	4.52 t	2.70 t	16.50 t	536.32 t	743.15 t	1,164.19 t	275.31 t	8.50 t	0.30 t			
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	38.13 t	1.65 t	225.78 t	0.18 t	4.52 t	2.50 t	16.50 t	65.12 t	55.50 t	757.02 t	273.75 t	8.50 t	0.30 t			
再生利用業者への処理委託量	143.88 t	0.51 t	34.13 t	1.65 t	238.87 t	0.18 t	4.52 t	2.70 t	16.50 t	536.32 t	737.09 t	1,164.19 t	275.31 t	0.00 t	0.30 t			
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	4.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品			
全処理委託量	129.49 t	0.46 t	34.32 t	1.49 t	214.98 t	0.16 t	4.07 t	2.43 t	14.85 t	482.69 t	668.84 t	1,047.77 t	247.78 t	7.65 t	0.27 t			
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	34.32 t	1.49 t	203.20 t	0.16 t	4.07 t	2.25 t	14.85 t	58.61 t	49.95 t	681.32 t	246.38 t	7.65 t	0.27 t			
再生利用業者への処理委託量	129.49 t	0.46 t	30.72 t	1.49 t	214.98 t	0.16 t	4.07 t	2.43 t	14.85 t	482.69 t	663.38 t	1,047.77 t	247.78 t	0.00 t	0.27 t			
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	3.60 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月3日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　千葉県千葉市中央区弁天2-23-1

氏 名　東鉄工業株式会社 千葉支店

執行役員支店長　諏江　弘之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-251-8221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東鉄工業株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区弁天2-23-1
事業の種類	大分類 建設業　　中分類 総合工事業　小分類 一般土木建設工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

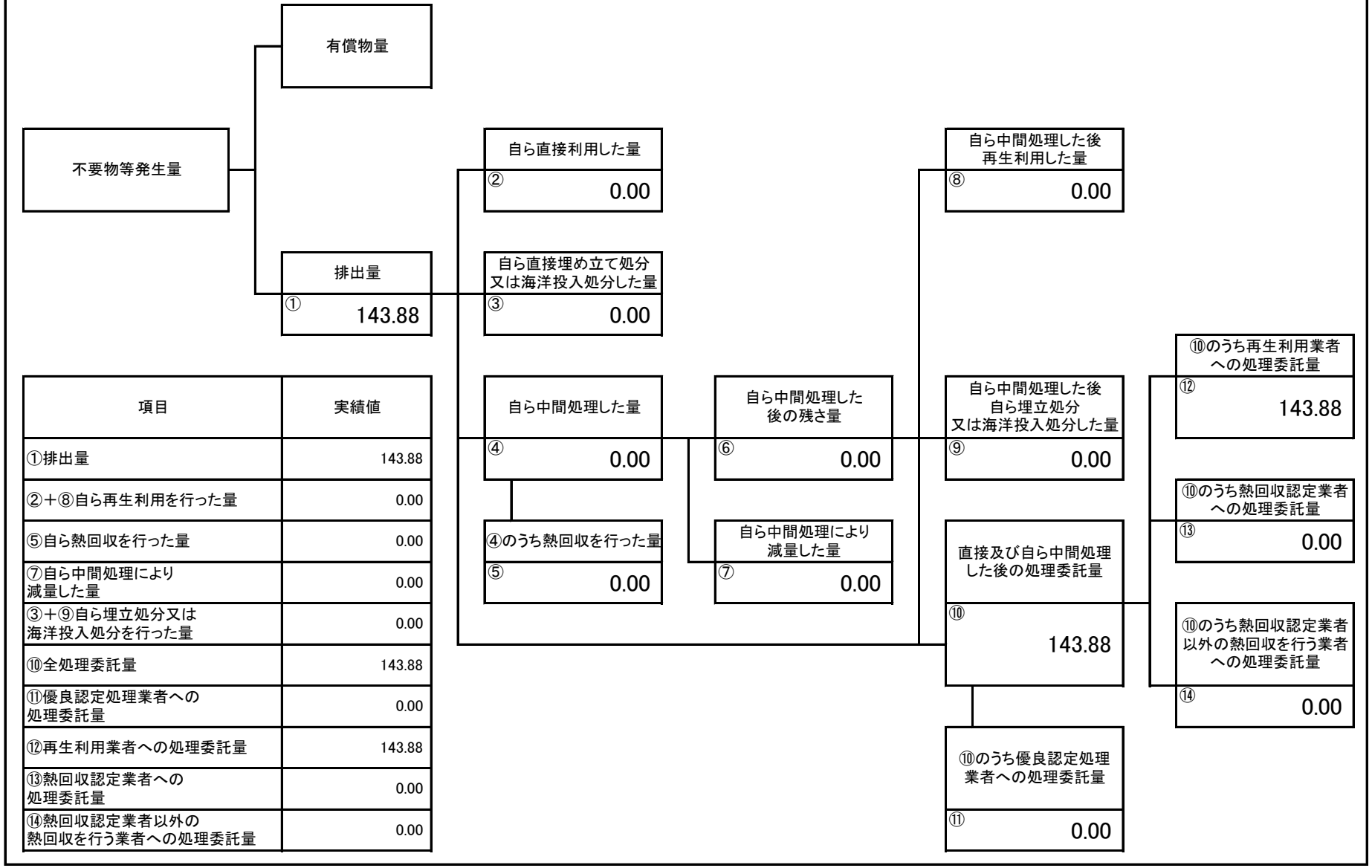
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,718.40　t	全処理委託量	3,718.40　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00　t	優良認定処理業者への処理委託量	1,814.20　t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00　t	再生利用業者への処理委託量	3,247.01　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00　t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00　t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00　t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00　t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）

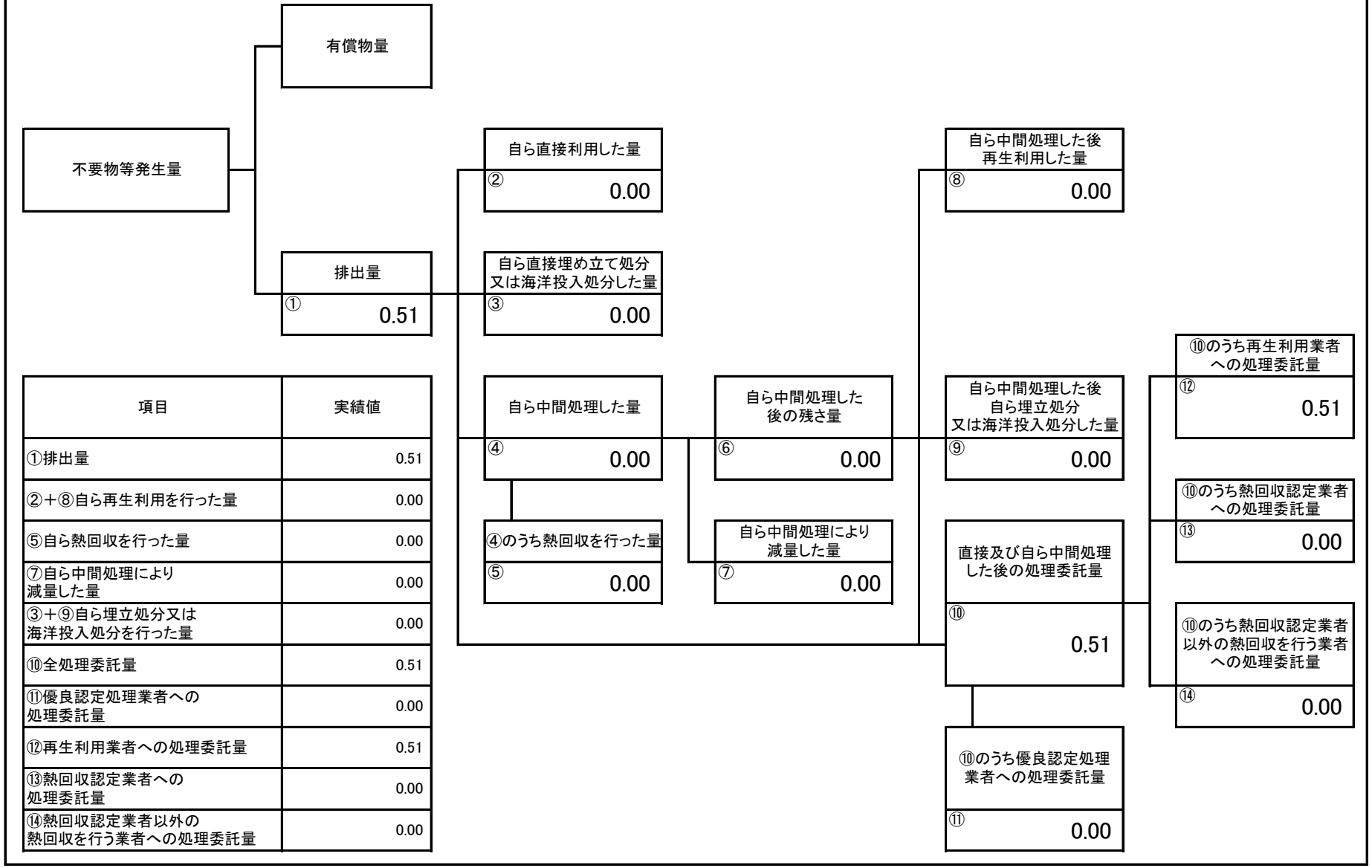


項目	実績値
①排出量	143.88
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	143.88
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	143.88
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃アルカリ　　）

（単位：トン）

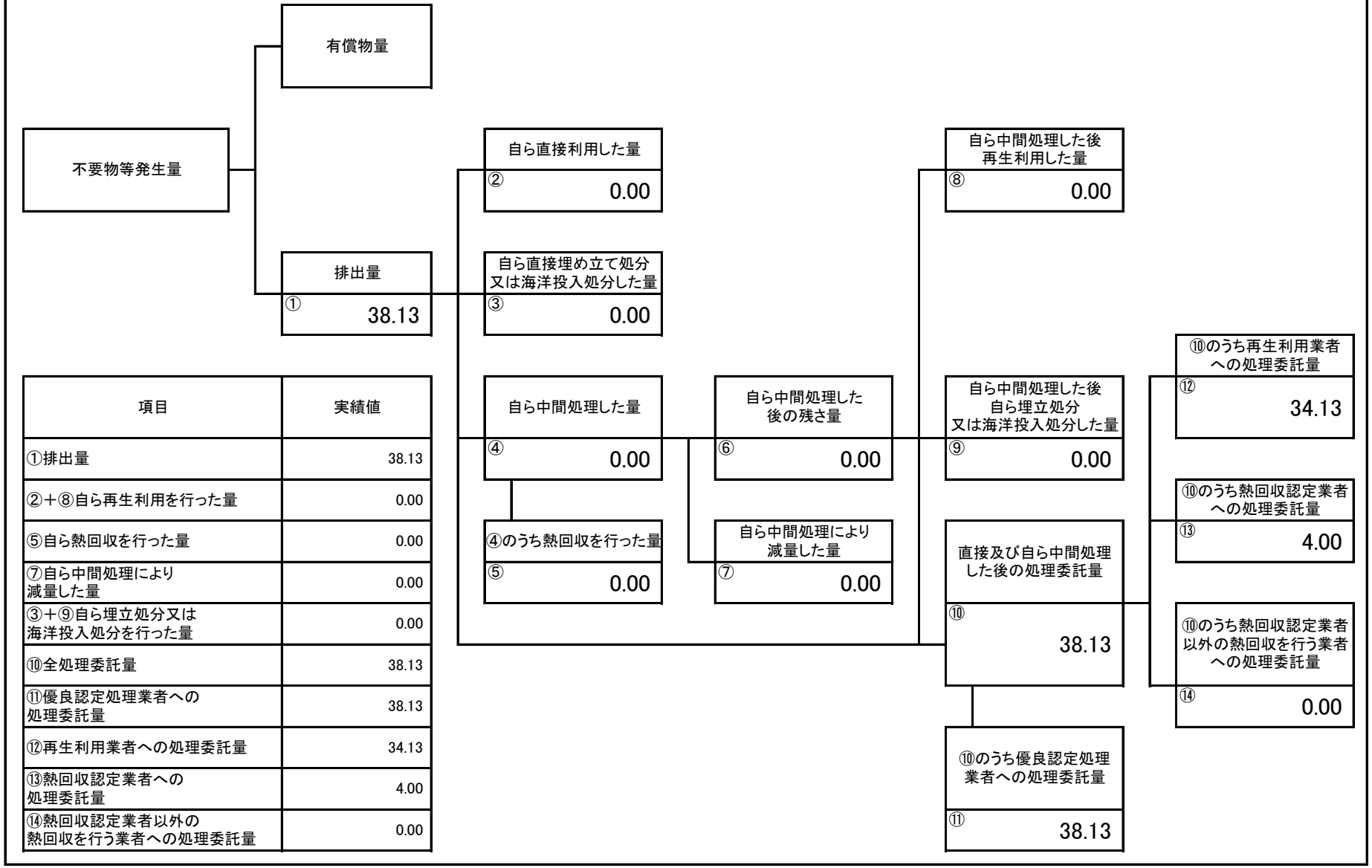


項目	実績値
①排出量	0.51
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.51
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.51
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 ）

（単位：トン）

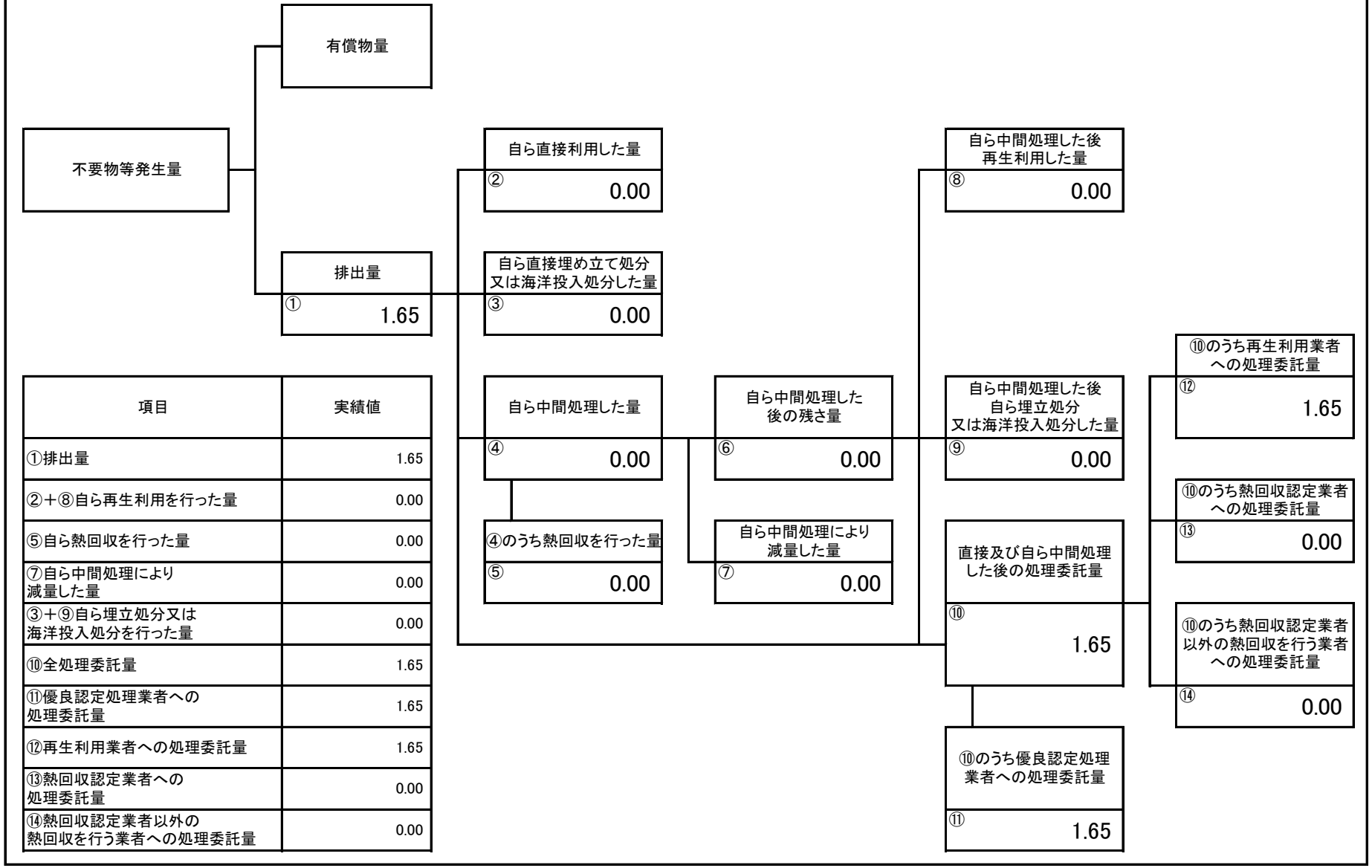


項目	実績値
①排出量	38.13
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	38.13
⑪優良認定処理業者への処理委託量	38.13
⑫再生利用業者への処理委託量	34.13
⑬熱回収認定業者への処理委託量	4.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）

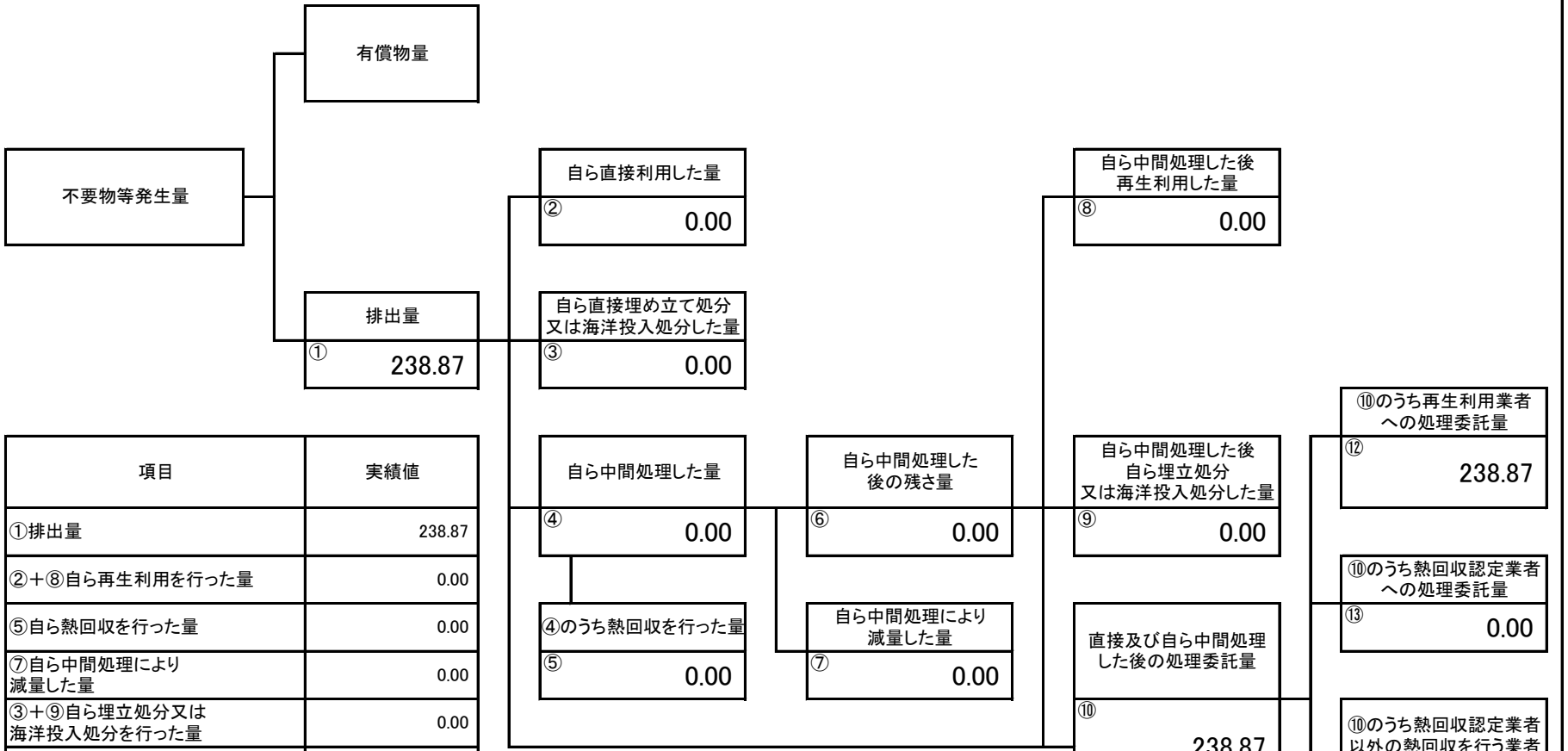


項目	実績値
①排出量	1.65
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.65
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.65
⑫再生利用業者への処理委託量	1.65
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず ）

（単位：トン）

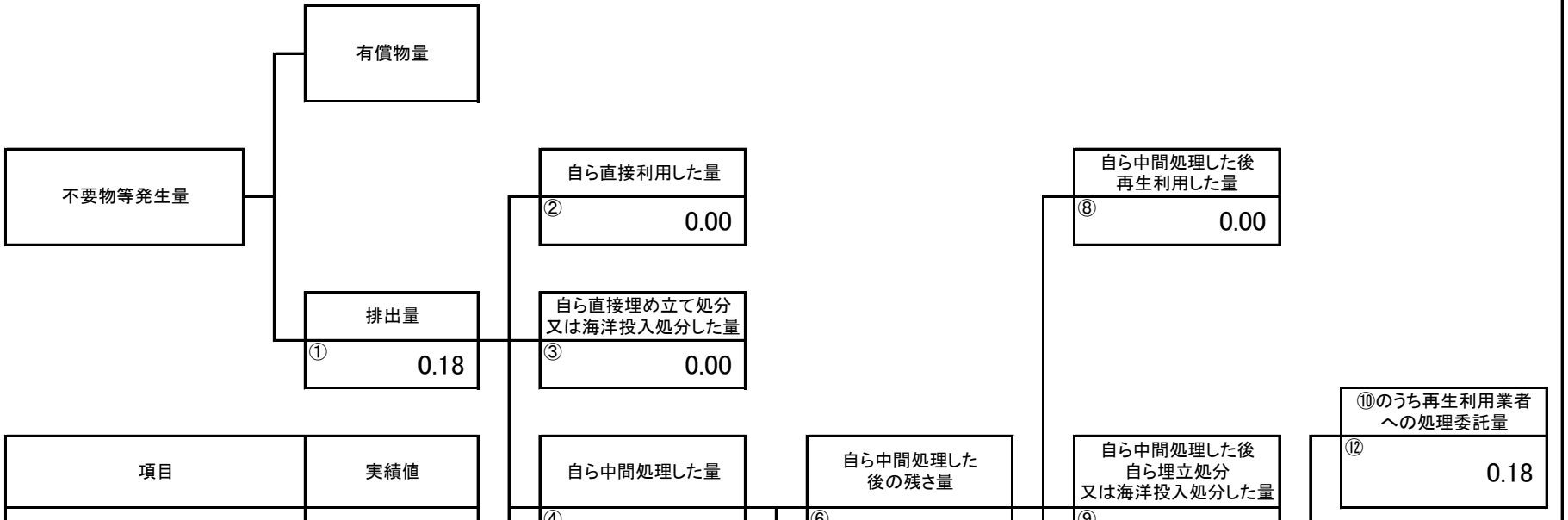


項目	実績値
①排出量	238.87
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	238.87
⑪優良認定処理業者への処理委託量	225.78
⑫再生利用業者への処理委託量	238.87
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類繊維くず　　）

（単位：トン）

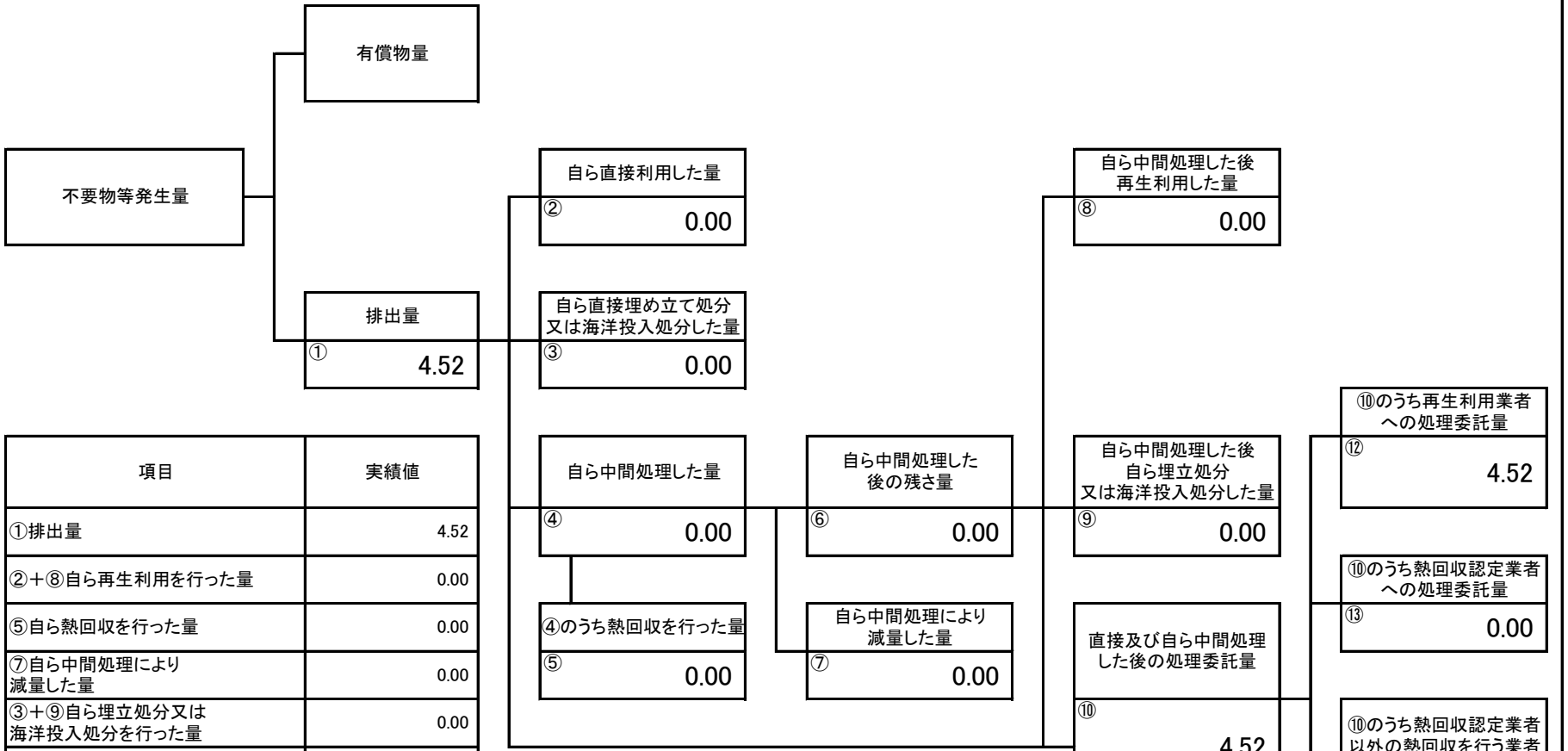


項目	実績値
①排出量	0.18
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.18
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.18
⑫再生利用業者への処理委託量	0.18
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず ）

（単位：トン）

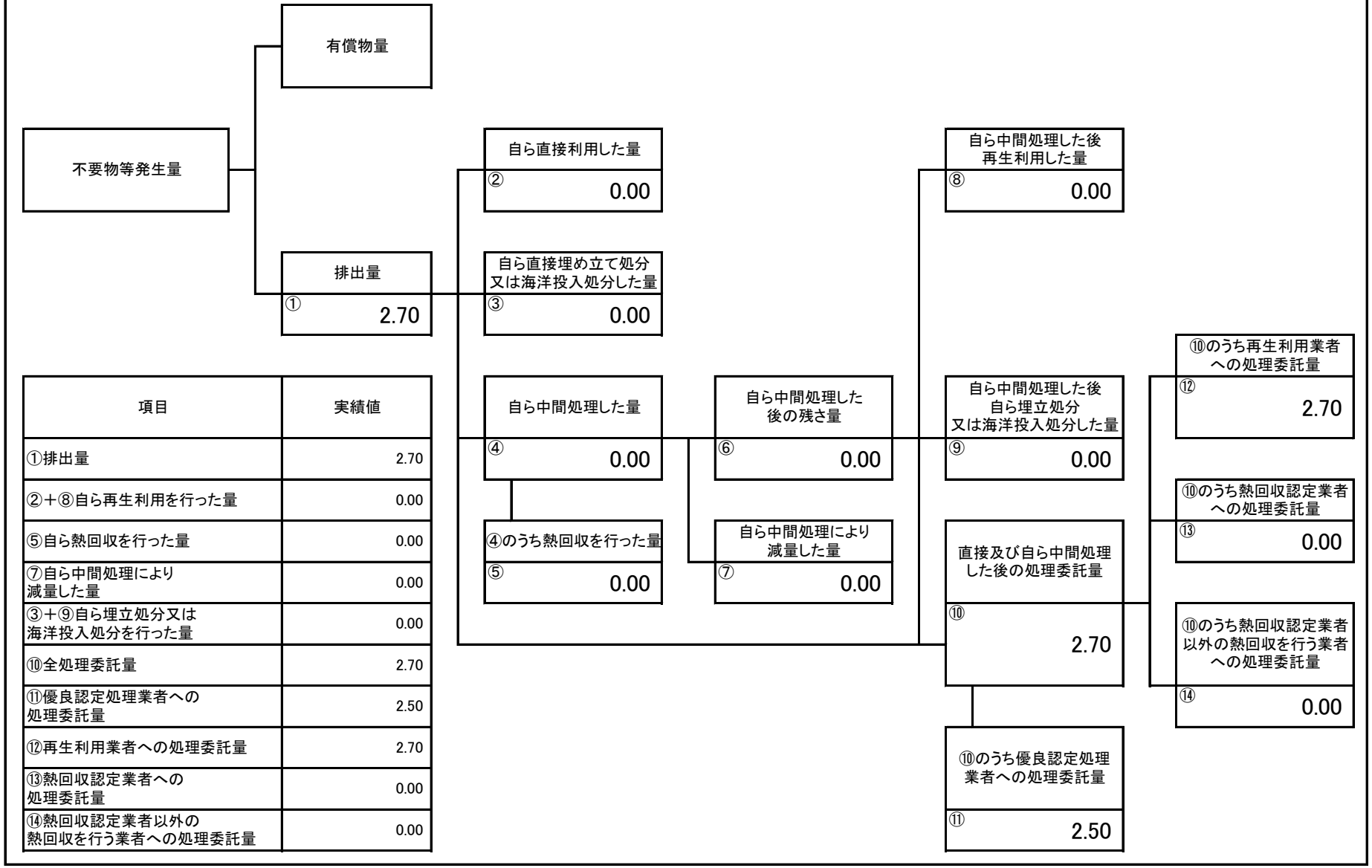


項目	実績値
①排出量	4.52
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.52
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.52
⑫再生利用業者への処理委託量	4.52
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

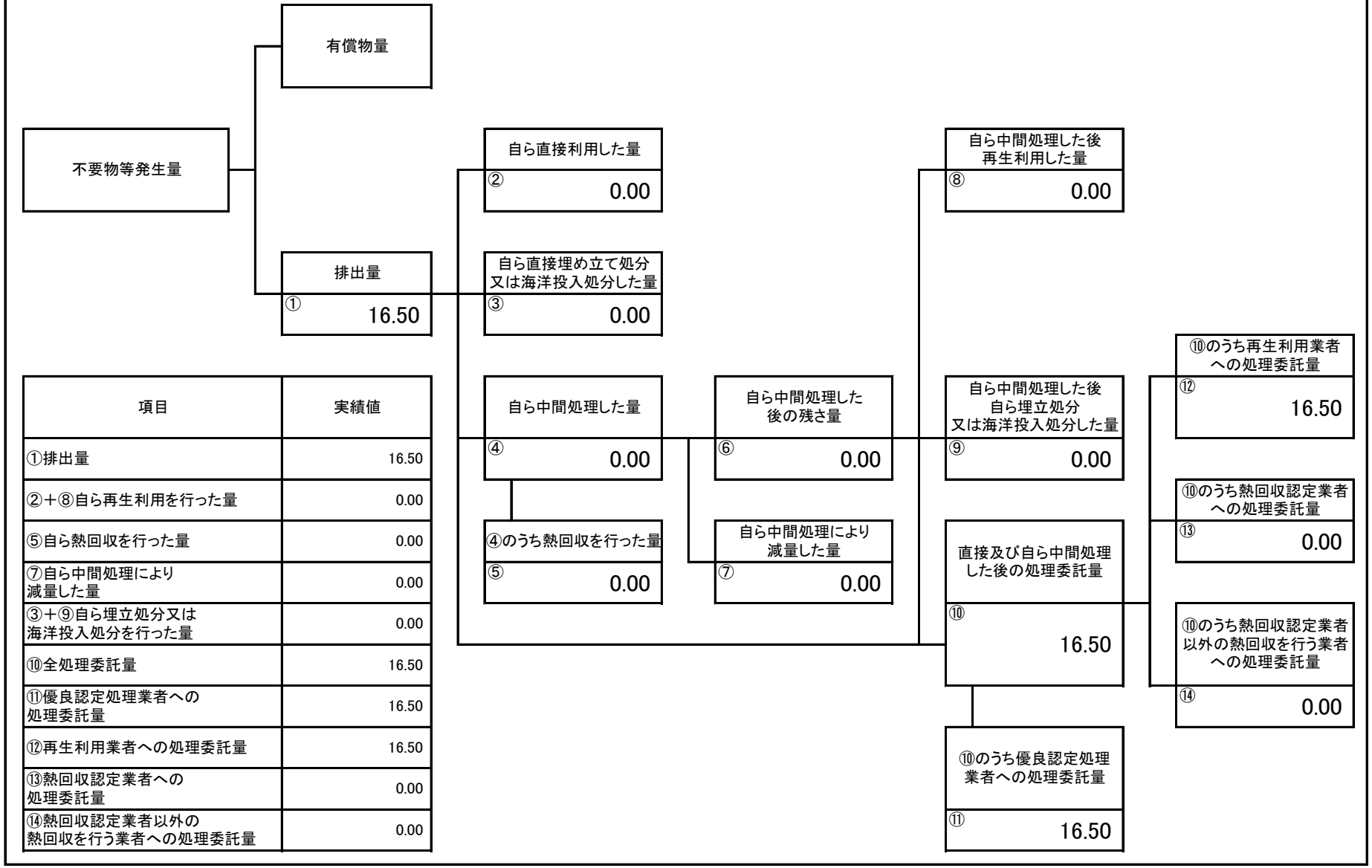


項目	実績値
①排出量	2.70
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.50
⑫再生利用業者への処理委託量	2.70
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

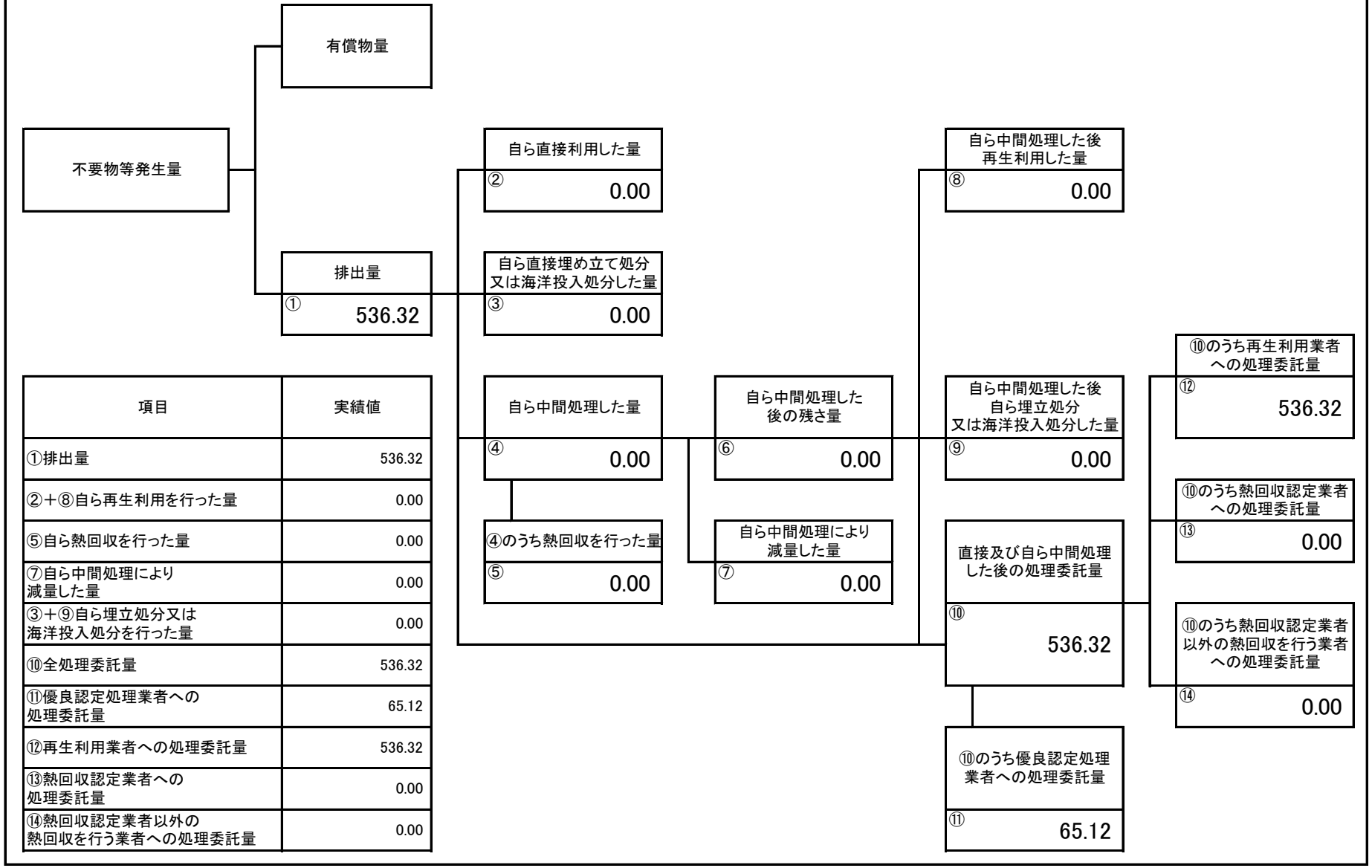


項目	実績値
①排出量	16.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.50
⑫再生利用業者への処理委託量	16.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

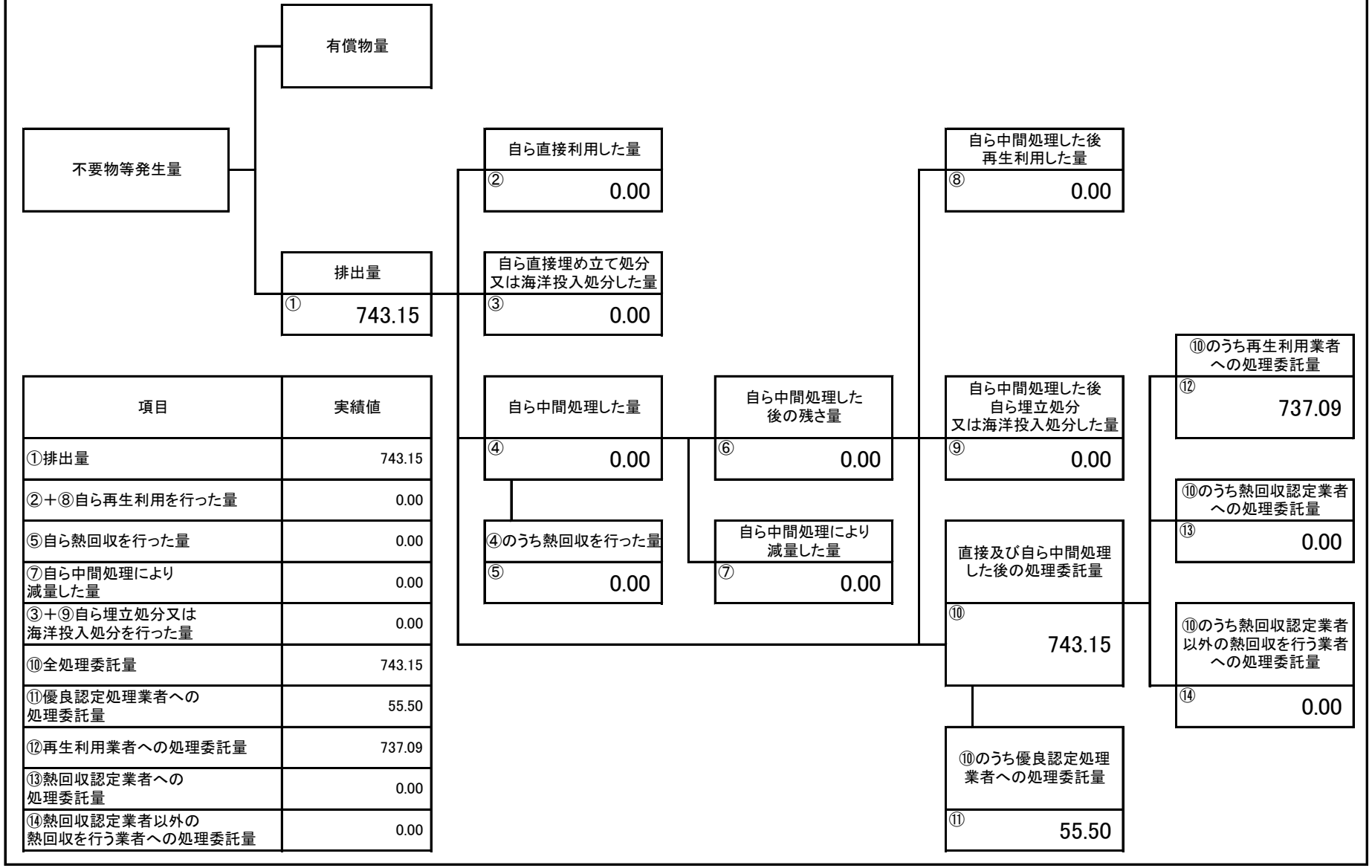


項目	実績値
①排出量	536.32
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	536.32
⑪優良認定処理業者への処理委託量	65.12
⑫再生利用業者への処理委託量	536.32
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

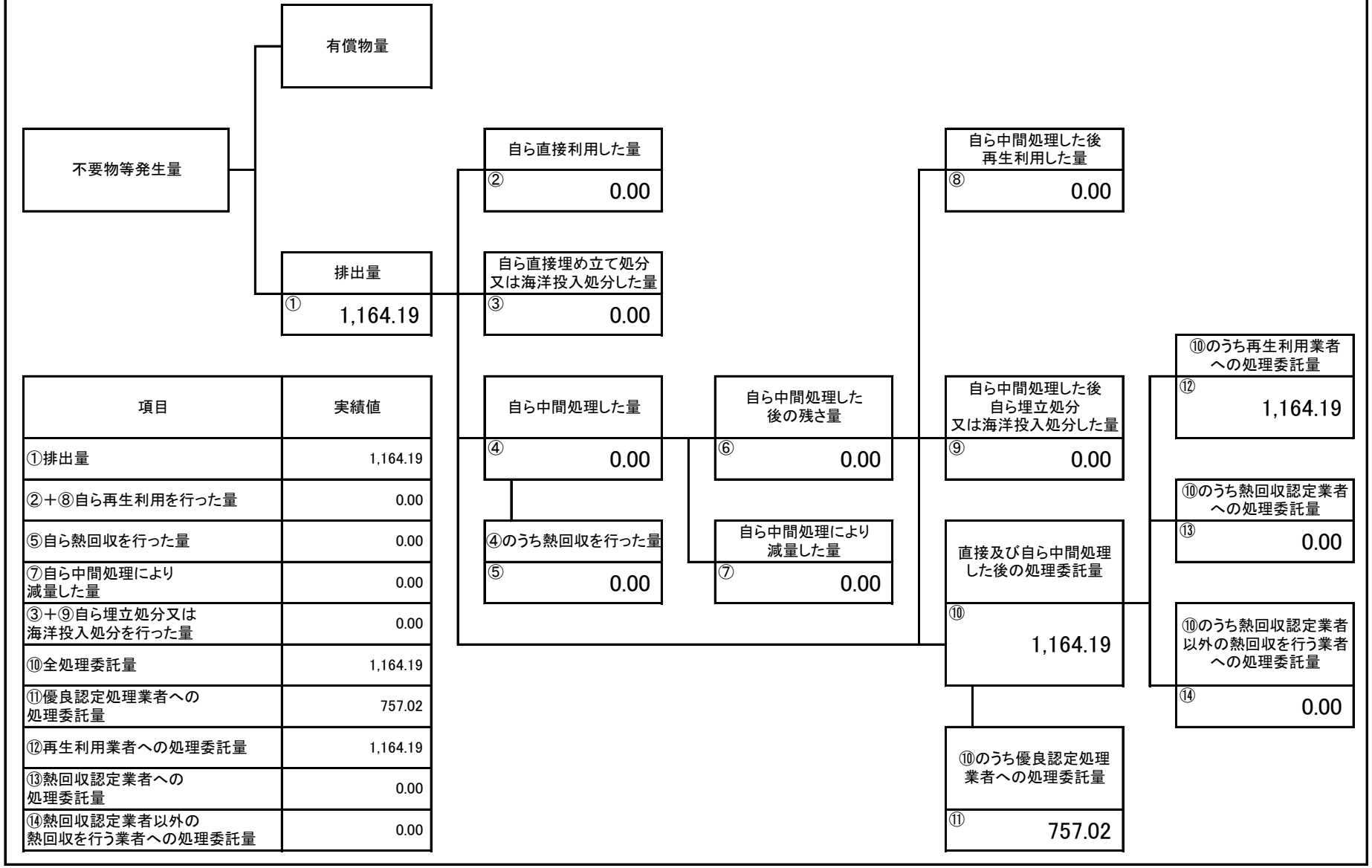


項目	実績値
①排出量	743.15
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	743.15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.50
⑫再生利用業者への処理委託量	737.09
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

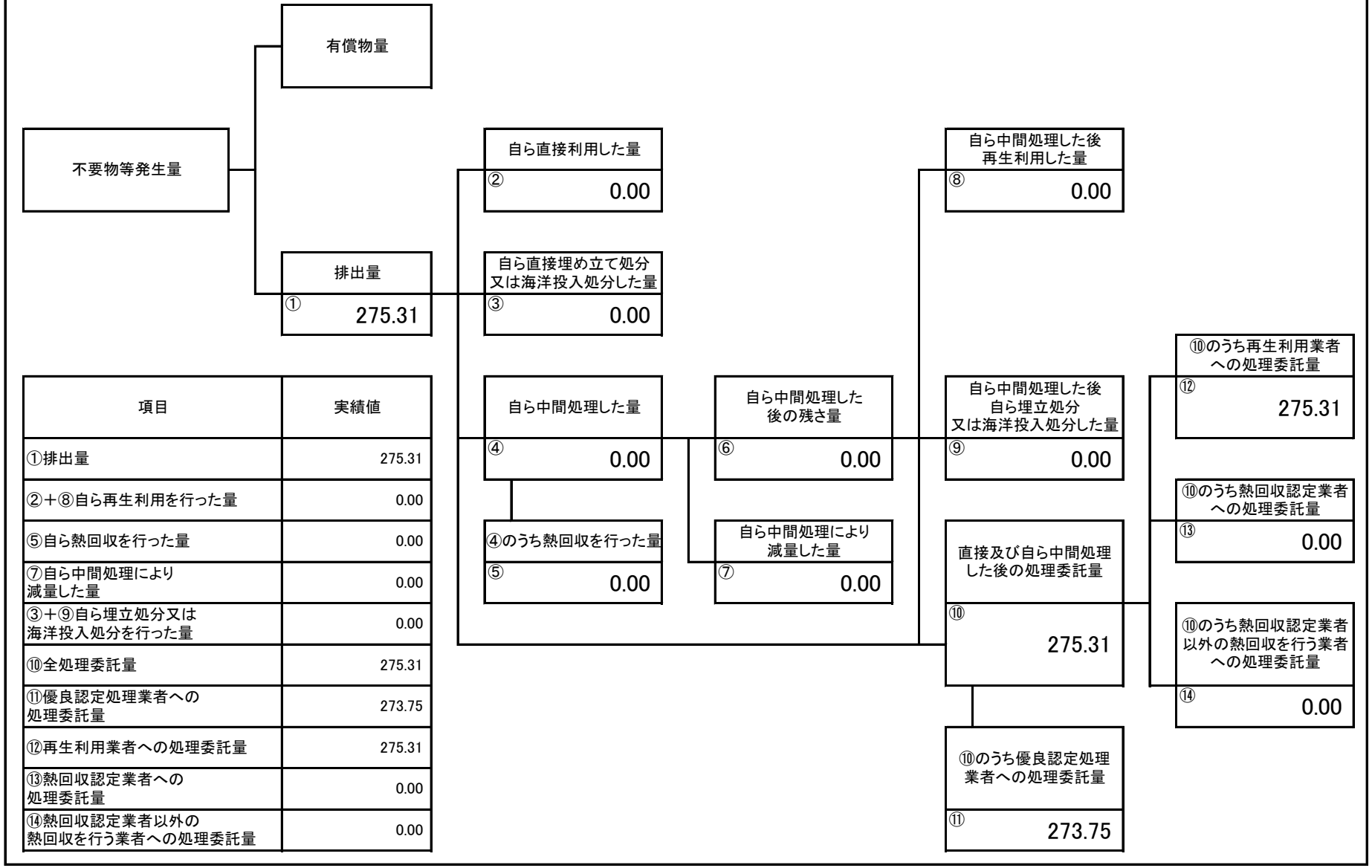


項目	実績値
①排出量	1,164.19
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,164.19
⑪優良認定処理業者への処理委託量	757.02
⑫再生利用業者への処理委託量	1,164.19
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

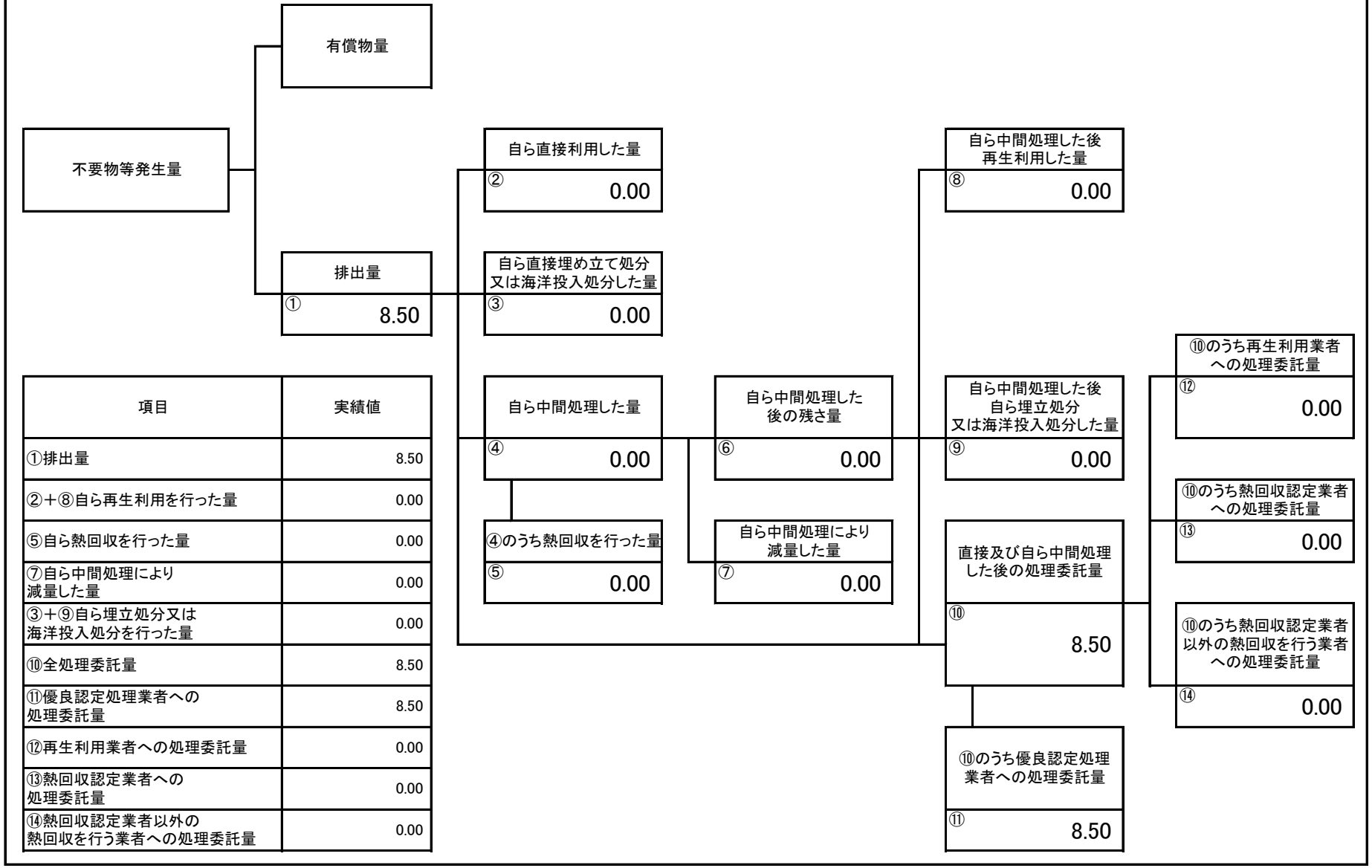


項目	実績値
①排出量	275.31
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	275.31
⑪優良認定処理業者への処理委託量	273.75
⑫再生利用業者への処理委託量	275.31
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）

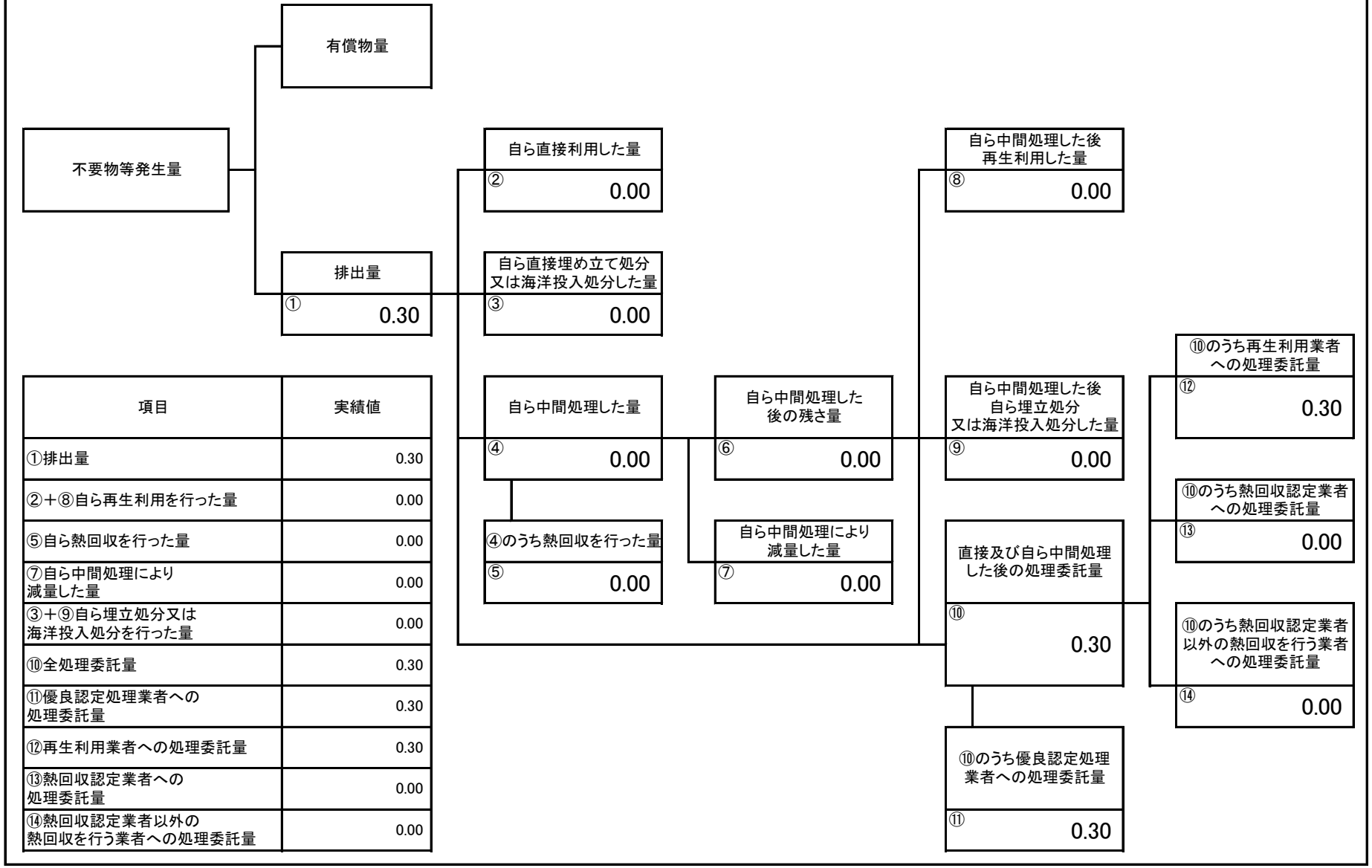


項目	実績値
①排出量	8.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	8.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.50
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 水銀使用製品 ）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	0.30
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.30
⑫再生利用業者への処理委託量	0.30
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月17日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 栃木県宇都宮市今泉町531番地13

氏 名 東鉄創建株式会社 宇都宮支店

支店長 和 気 照 美

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 028-621-1456

印旛地域振興事務所 7.6.17 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東鉄創建株式会社 宇都宮支店
事業場の所在地	千葉県印西市西の原1丁目1-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	資本金 3000万円
③従業員数	６０名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１ 処理工程図のとおり

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　出　量	t	t

（これまでに実施した取組）
排出量を抑制するために梱包材を簡素化すると共に再生利用可能資材のこまめな分別などにより排出量を抑制しました。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　出　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
受注した工事内容により排出量は大幅に変動するが、これまでの取組のほか、一般廃棄物との分別の徹底や金属くずのスクラップ処理など、不必要な排出を抑えるように現場担当者を教育・指導を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
建設リサイクル法で定める特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、アスファルト・コンクリート、木材）について、再資源化を促進するために分別を行っている。また、その他の廃棄物についても再生利用しやすいよう、フレコンバック等を利用し分別を行っている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現在実施している取組のほかに、混合廃棄物についても可能な限り再利用しやすいように分別化を進める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度・(令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・産業廃棄物処理委託先については、当社にて選別した経営体力があり、適切な設備を保有し処理実績のある業者を利用することで、適切な処分を行っている。
・電子マニフェストを利用することで、リアルタイムに産業廃棄物の処理過程を把握している。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="3"><table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
現在実施している取組のほかに、委託先に対し契約前に実地確認を行い、不適と判断される委託先を排除する。
「優良認定処理業者」を積極的に利用することで、産業廃棄物の適正処理を推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

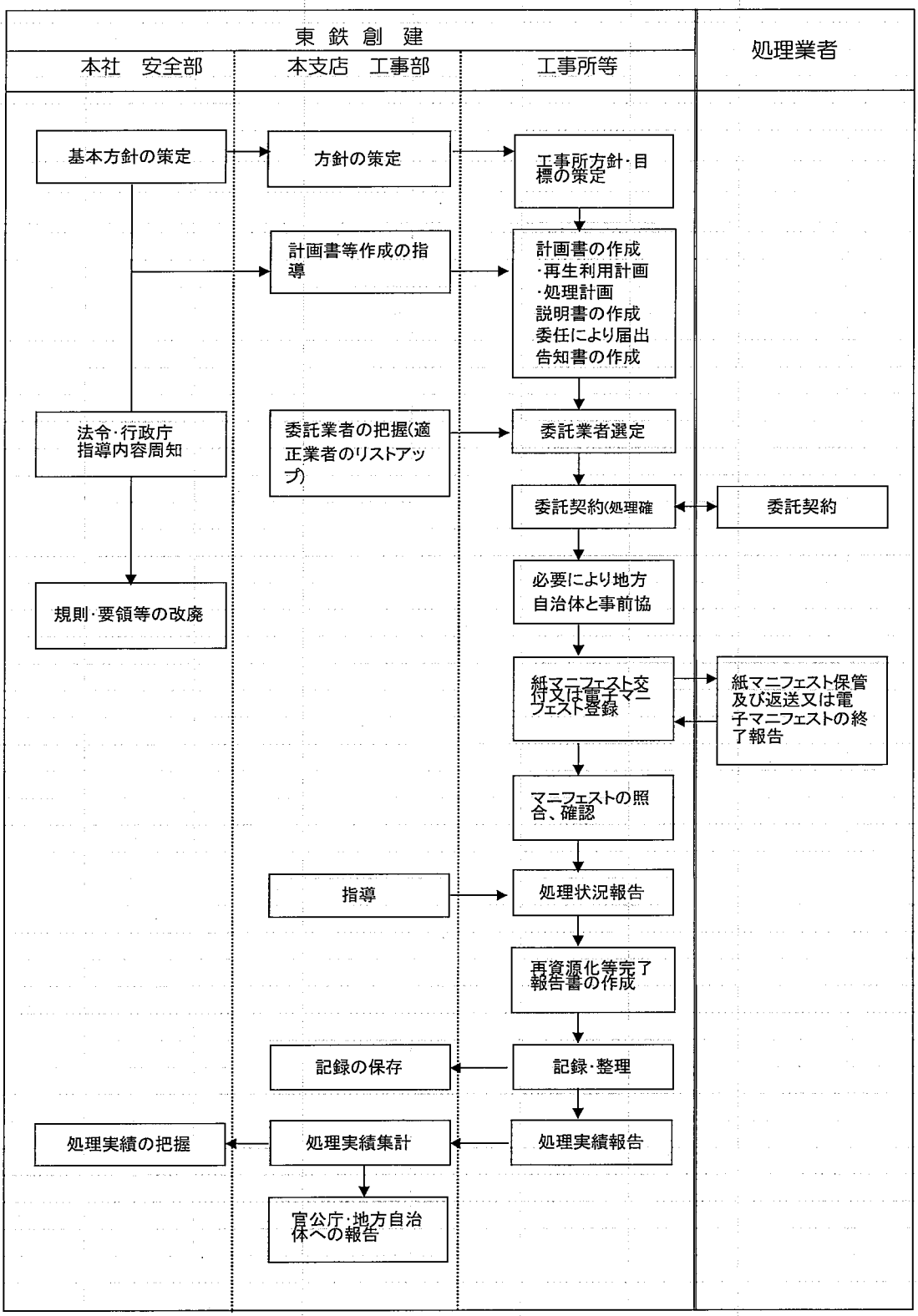
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

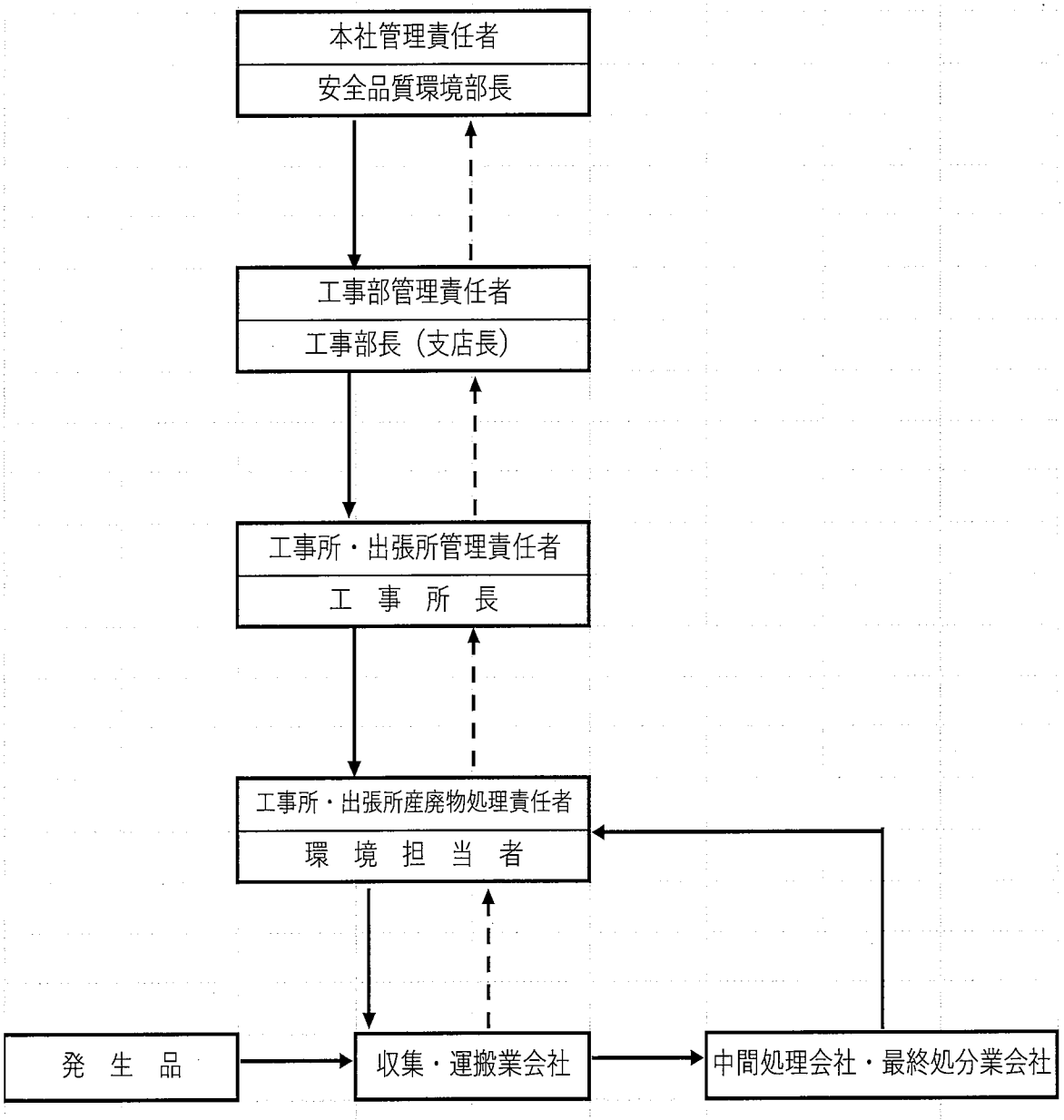
12-3.建設副産物の管理フロー

本社・支店・工事所（出張所）の管理は、次のフロー図に示す。



別添２ 管理体制図

建設副産物管理組織図



※　委託契約書で契約する

※　マニフェストによる管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
	排出量	6.30 t	0.30 t	6.60 t	303.50 t	69.00 t	6,346.47 t	1,972.48 t	918.74 t	275.28 t	9.10 t	25.50 t						
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
	排出量	5.67 t	0.27 t	5.94 t	273.15 t	62.10 t	5,711.82 t	1,775.23 t	826.87 t	247.75 t	8.19 t	22.95 t						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
全処理委託量	6.30 t	0.30 t	6.60 t	303.50 t	69.00 t	6,346.47 t	1,972.48 t	918.74 t	275.28 t	9.10 t	25.50 t						
優良認定処理業者への処理委託量	1.05 t	0.30 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2,050.29 t	1.48 t	0.74 t	0.00 t	3.25 t	25.50 t						
再生利用業者への処理委託量	6.30 t	0.30 t	6.60 t	303.50 t	69.00 t	4,296.18 t	1,972.48 t	918.74 t	275.28 t	9.10 t	0.00 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	鉱さい	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
全処理委託量	5.67 t	0.27 t	5.94 t	273.15 t	62.10 t	5,711.82 t	1,775.23 t	826.87 t	247.75 t	8.19 t	22.95 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.95 t	0.27 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	1,845.26 t	1.33 t	0.67 t	0.00 t	2.93 t	22.95 t						
再生利用業者への処理委託量	5.67 t	0.27 t	5.94 t	273.15 t	62.10 t	3,866.56 t	1,775.23 t	826.87 t	247.75 t	8.19 t	0.00 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月27日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都墨田区向島三丁目44番4号

氏 名　東武谷内田建設株式会社

代表取締役社長 谷内田 昌克

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3625-1011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東武谷内田建設株式会社
事業場の所在地	東京都墨田区向島三丁目44番4号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	16,406百万円
③従業員数	205
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	－
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
現場での分別の実施
・産業廃棄物の再利用を指導・推進
・搬入時の梱包の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	－
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・資材調達について、簡易な梱包を推進して、梱包材の削減に
　取り組む

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場での産業廃棄物の置場で余裕の有る場所では小さいサイズの
コンテナを置き分別収集をした

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
建設混合廃棄物について、現場での分別を推進する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
紙マニフェストの交付及び照合・保管
集合教育による建設副産物等の知識の向上</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
電子マニフェストの積極的展開を図り、普及率の向上を目指す
継続的な集合教育を行い、建設副産物の知識の向上を行う
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

コンクリート破片　→　破砕　→　再生利用

アスファルト・
コンクリート破片　→　破砕　→　再生利用

がれき類　→　破砕　→　再生利用

ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず　→　破砕　→　再利用

木くず　→　破砕　→　再生利用

紙くず　→　圧縮・梱包　→　再生利用

金属くず　→　破砕　→　再生利用

繊維くず　→　破砕　→　再生利用

廃プラスチック類　→　破砕　→　再生利用

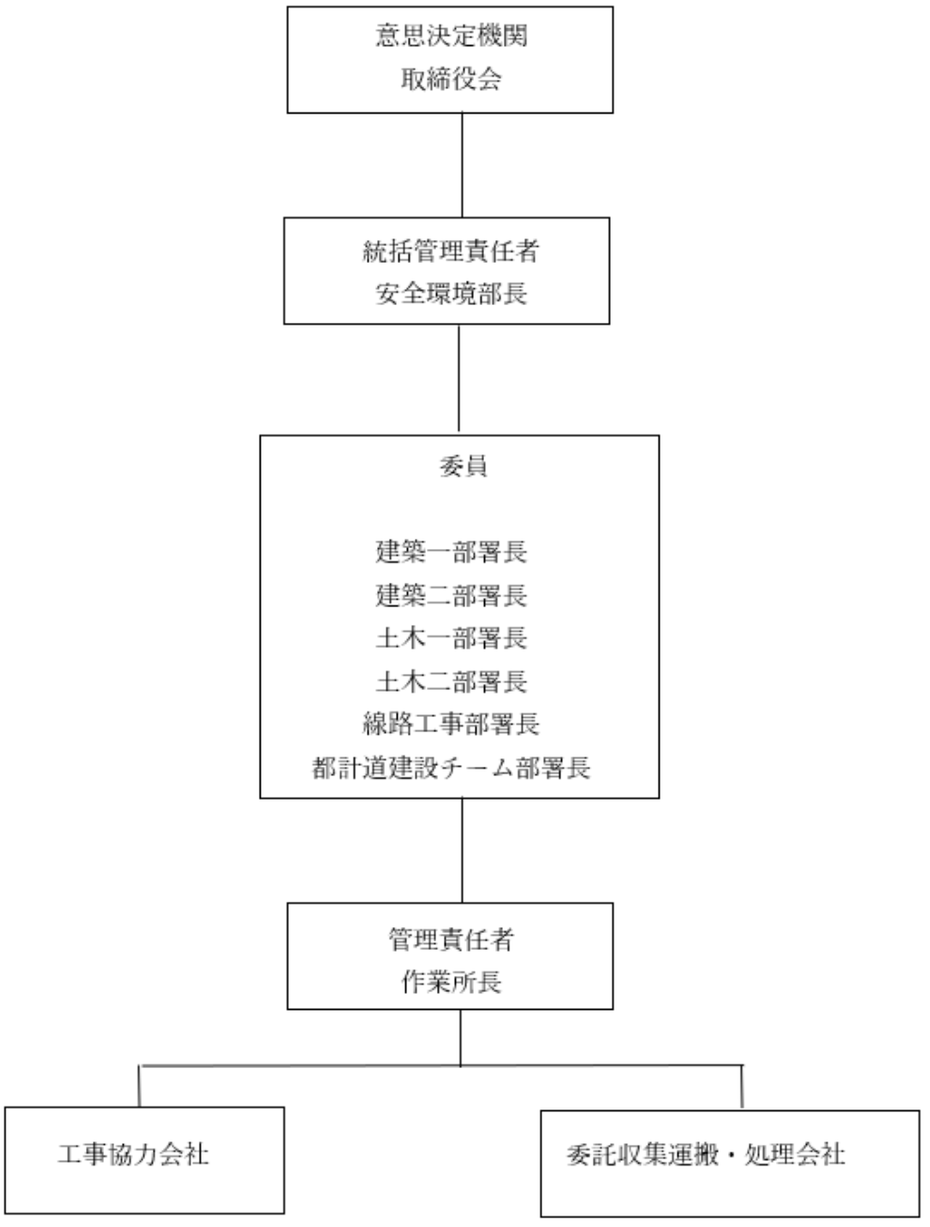
汚泥　→　脱水・固化　→　再利用

混合廃棄物　→　選別　→　破砕　→　再利用

石綿含有建材　→　埋立

別添２ 管理体制図

建設副産物に関する組織体制



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		排　出　量	2,332.00 t	3.33 t	1.65 t	30.26 t	0.24 t	0.57 t	7.50 t	8.40 t	1,340.96 t	344.74 t	92.38 t	55.25 t	52.28 t	0.08 t				
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		排　出　量	2,681.80 t	3.83 t	1.90 t	34.80 t	0.28 t	0.66 t	8.63 t	9.66 t	1,542.10 t	396.45 t	106.24 t	63.54 t	60.13 t	0.09 t				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
全処理委託量	2,332.00 t	3.33 t	1.65 t	30.26 t	0.24 t	0.57 t	7.50 t	8.40 t	1,340.96 t	344.74 t	92.38 t	55.25 t	52.28 t	0.08 t				
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	23.93 t	0.24 t	0.00 t	2.50 t	5.20 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	24.96 t	52.28 t	0.00 t				
再生利用業者への処理委託量	2,332.00 t	3.33 t	1.65 t	30.26 t	0.24 t	0.57 t	7.50 t	8.40 t	1,340.96 t	344.74 t	92.38 t	55.25 t	0.00 t	0.08 t				
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
全処理委託量	2,681.80 t	3.83 t	1.90 t	34.80 t	0.28 t	0.66 t	8.63 t	9.66 t	1,542.10 t	396.45 t	106.24 t	63.54 t	60.13 t	0.09 t				
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	27.52 t	0.28 t	0.00 t	2.88 t	5.98 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	28.70 t	60.13 t	0.00 t				
再生利用業者への処理委託量	2,681.80 t	3.83 t	1.90 t	34.80 t	0.28 t	0.66 t	8.63 t	9.66 t	1,542.10 t	396.45 t	106.24 t	63.54 t	0.00 t	0.09 t				
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　286-0133

住　所　千葉県成田市吉倉150-18

法人名　東邦建設株式会社

代表者　宮村 亮祐

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0476-22-7301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東邦建設株式会社
事業場の所在地	千葉県成田市吉倉150-18
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	元請工事完成工事高　1,500,000,000円
③従業員数	45
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場で発生した産業廃棄物→委託処理（中間処理、再資源化施設）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

社長（処理計画統括責任者）→専務取締役（処理計画作成担当）→現場代理人（各現場担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト・コンクリート殻
排出量	627 t	3688 t

（これまでに実施した取組）

混合廃棄物を現場で分別し、混合廃棄物の発生量を抑制するとともに、適正な資材の発注を行い、余剰材の発生を防いだ。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト・コンクリート殻
排出量	600 t	3500 t

（今後実施する予定の取組）

混合廃棄物を現場で分別し、混合廃棄物の発生量を抑制するとともに、適正な資材の発注を行い、余剰材の発生を防ぐ。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

混合廃棄物の発生量を抑制するために、各現場で分別を行った。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

混合廃棄物の発生量を抑制するために、各現場で分別を行う。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト・コンクリート殻</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト・コンクリート殻</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト・コンクリート殻</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト・コンクリート殻</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト・コンクリート殻
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト・コンクリート殻
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト・コンクリート殻
全処理委託量	627 t	3688 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	627 t	3688 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

混合廃棄物の発生量を抑制するために、各現場で分別を行った。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート殻</td><td>アスファルト・コンクリート殻</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>600 t</td><td>3500 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>600 t</td><td>3500 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
混合廃棄物の発生量を抑制するために、各現場で分別を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
		排　出　量	1296　t	7　t	14　t	43　t	2　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
		排　出　量	1000　t	10　t	20　t	40　t	10　t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
	全処理委託量	1296 t	7 t	14 t	43 t	2 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1296 t	7 t	14 t	43 t	2 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	建設混合廃棄物	木くず			
	全処理委託量	1000 t	10 t	20 t	40 t	10 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1000 t	10 t	20 t	40 t	10 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月28日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　286-0133

住所 千葉県成田市吉倉150-18

法人名 東邦建設株式会社

代表者 宮村 亮祐

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0476-22-7301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東邦建設株式会社
事業場の所在地	千葉県成田市吉倉150-18
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

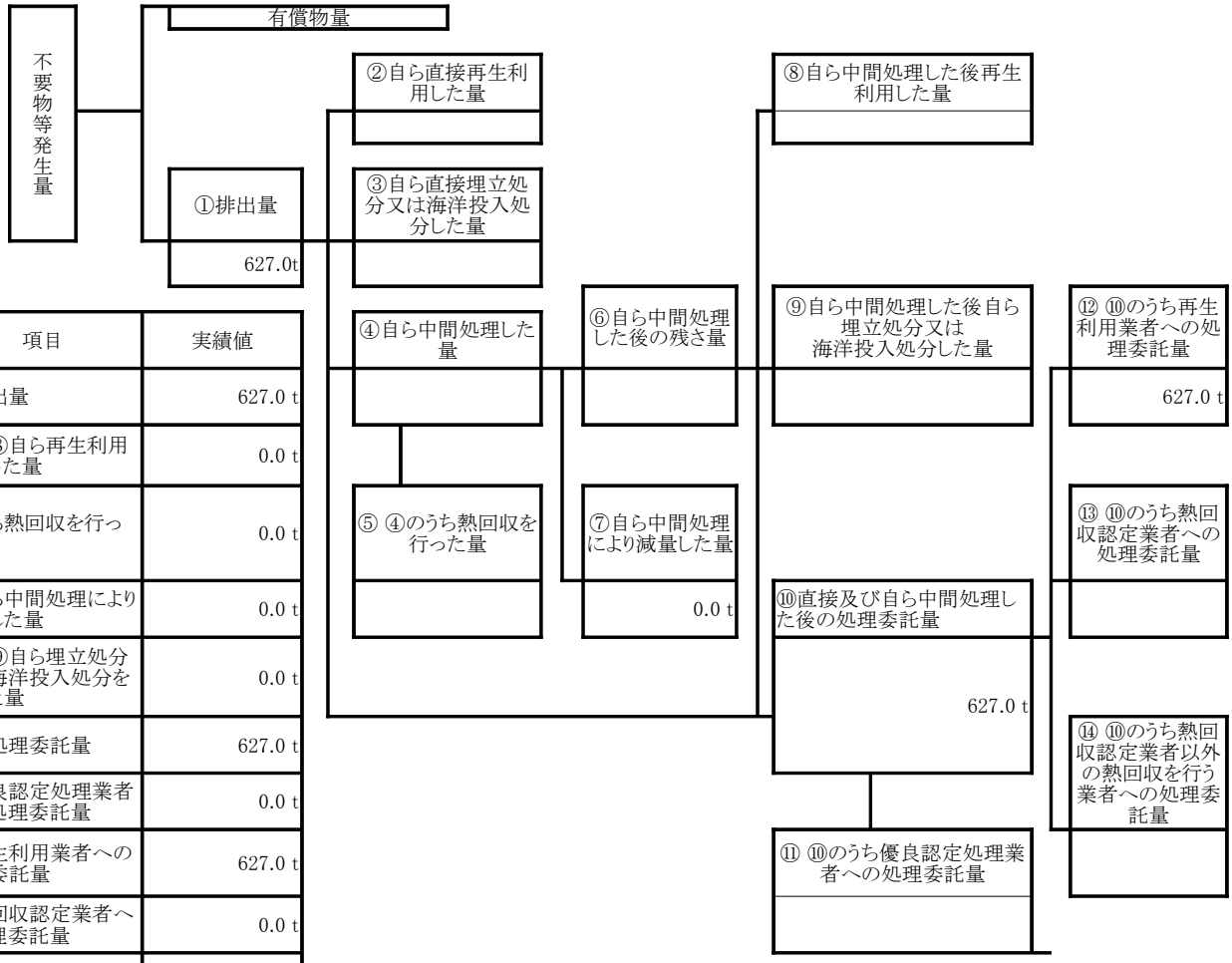
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2160 t	全処理委託量	2160 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2160 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **コンクリート殻** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



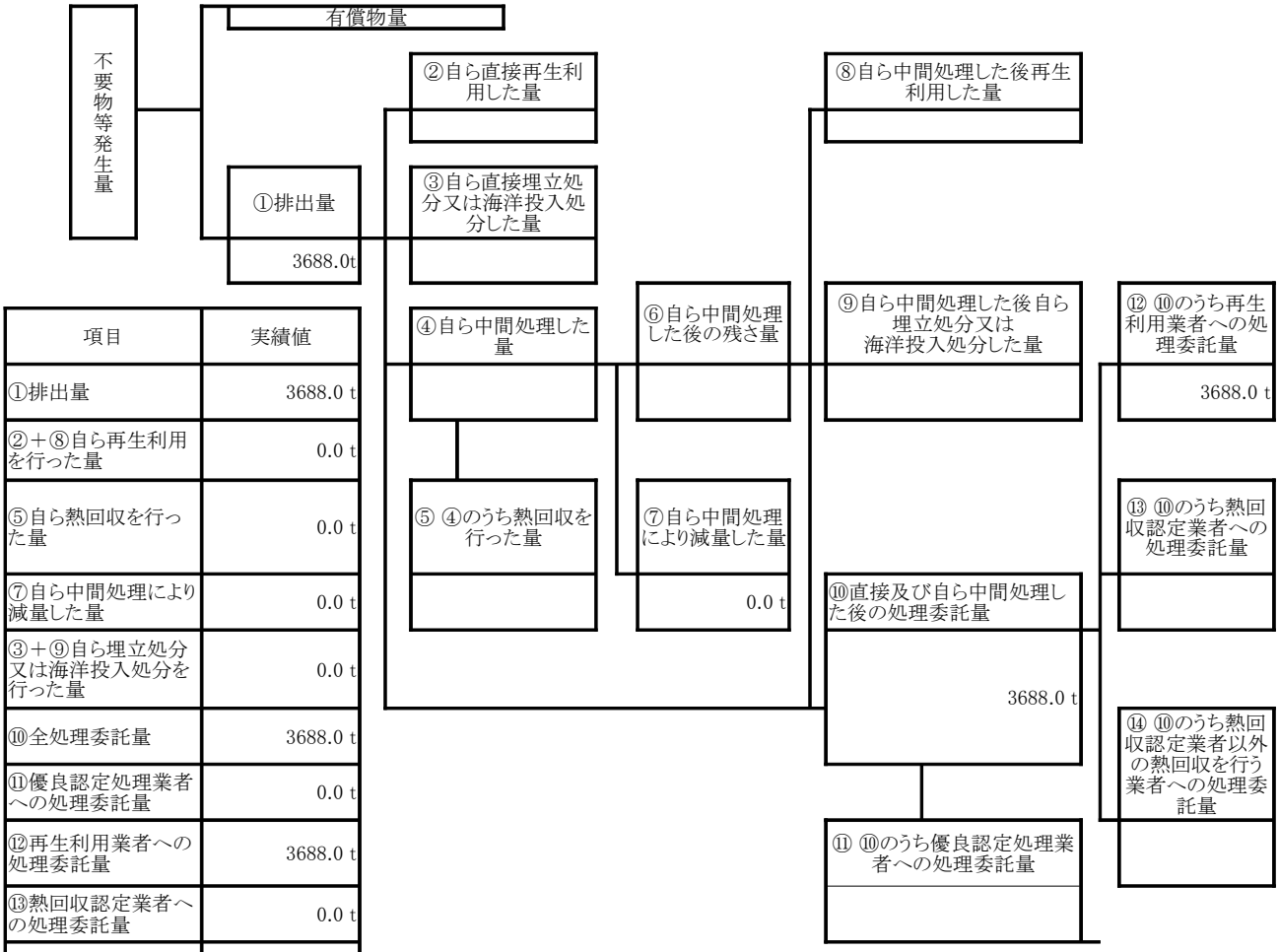
項目	実績値
①排出量	627.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	627.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	627.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　アスファルト・コンクリート殻　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



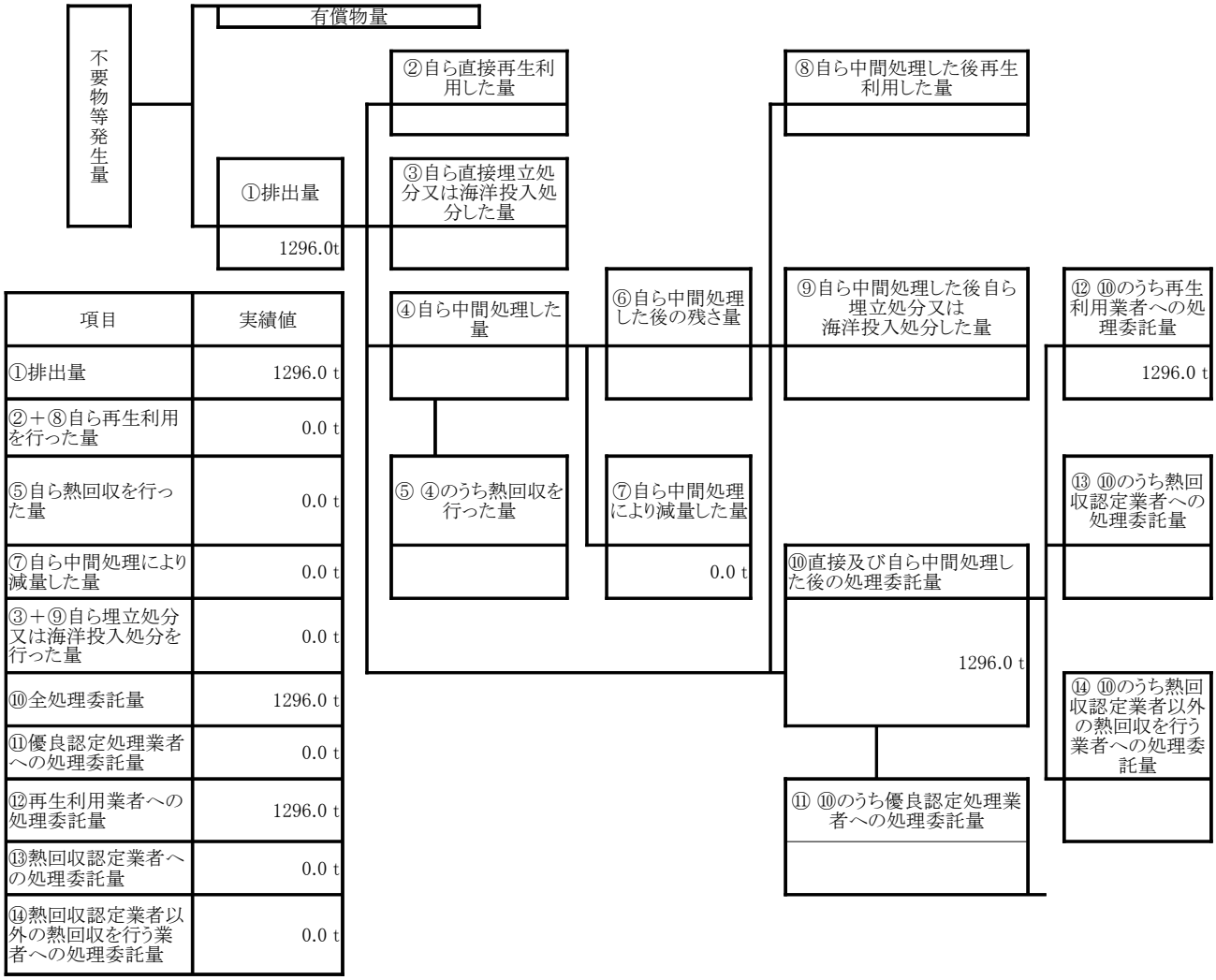
項目	実績値
①排出量	3688.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3688.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3688.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

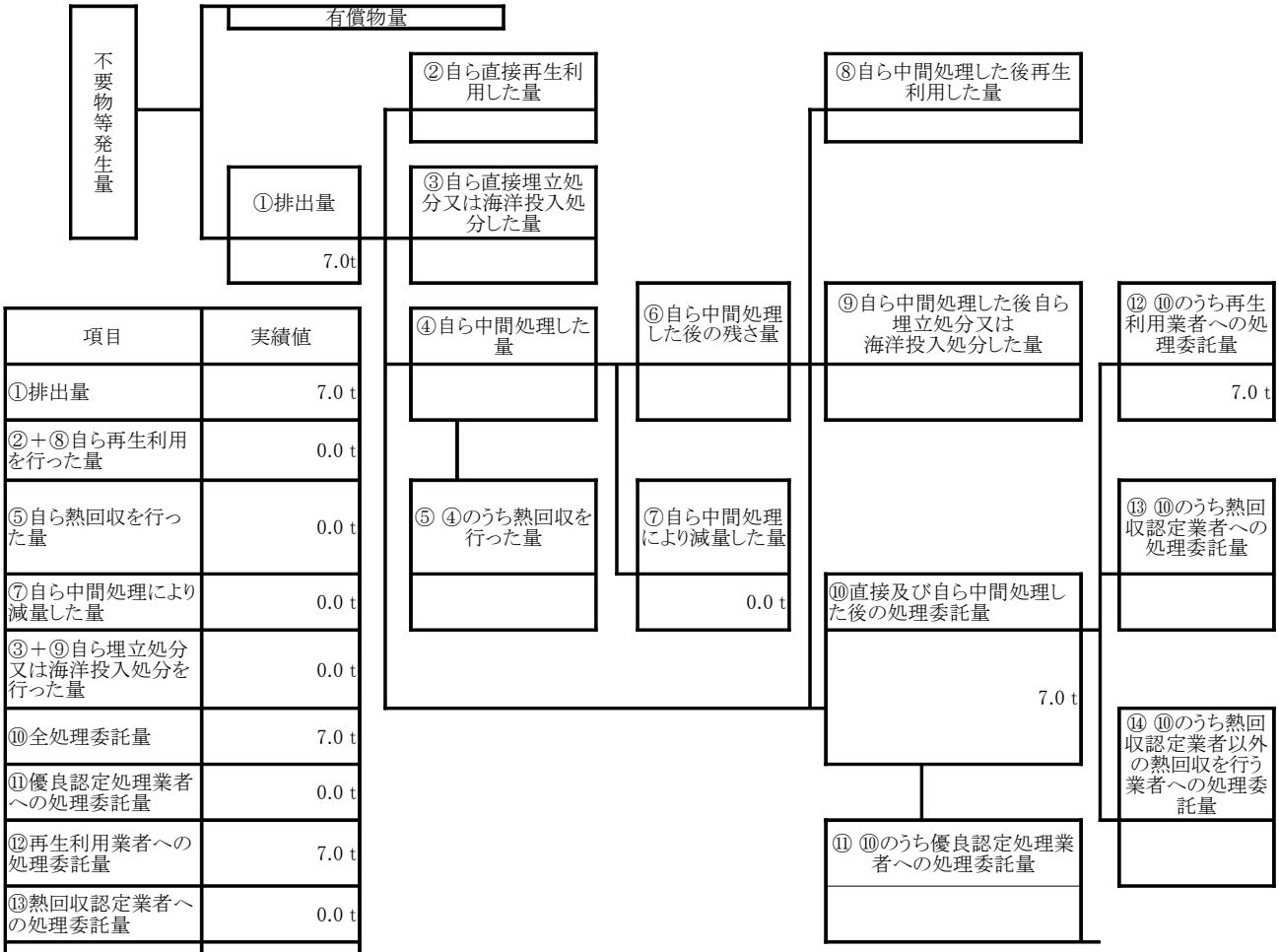


項目	実績値
①排出量	1296.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1296.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1296.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設汚泥**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

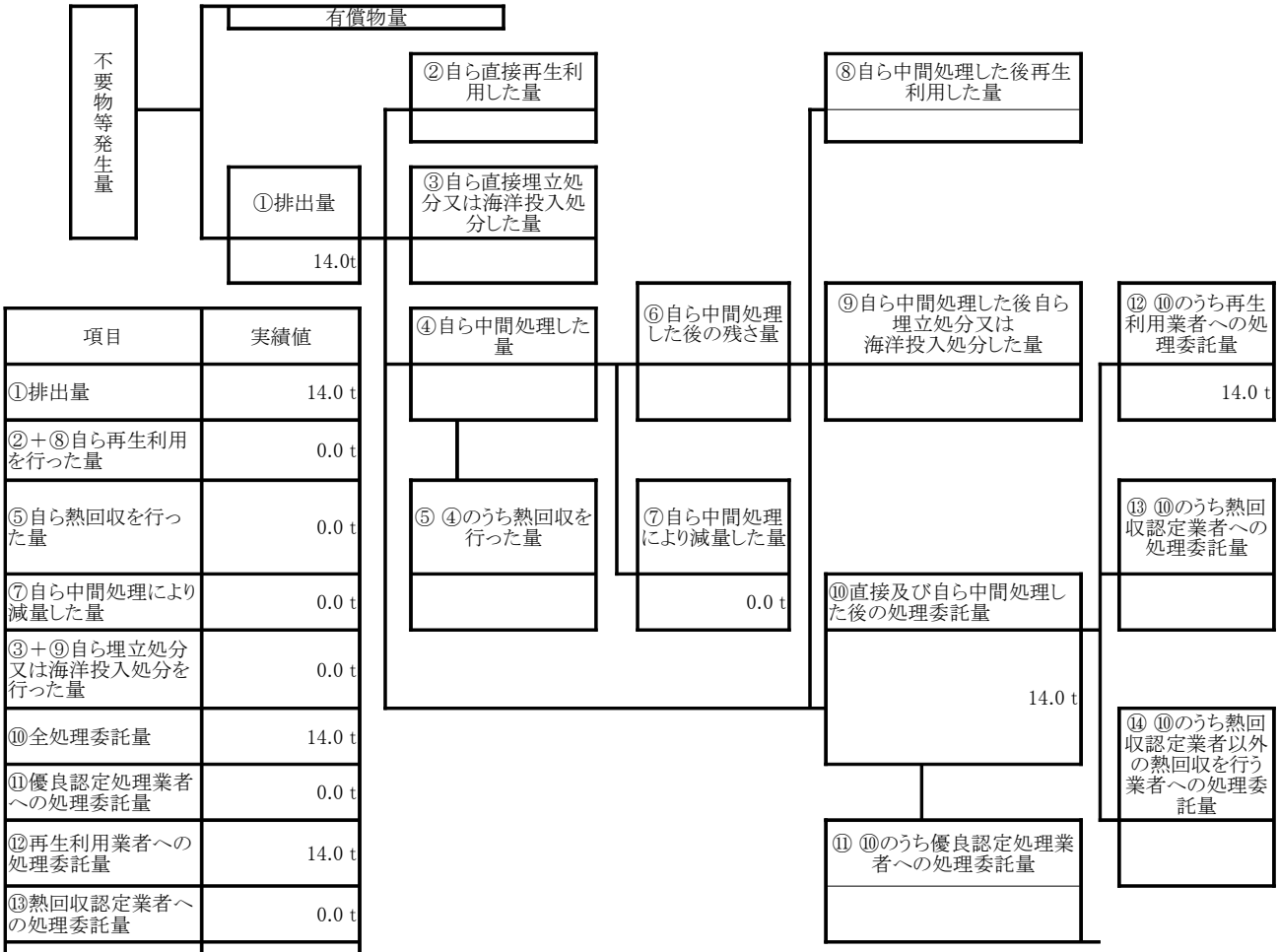


項目	実績値
①排出量	7.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

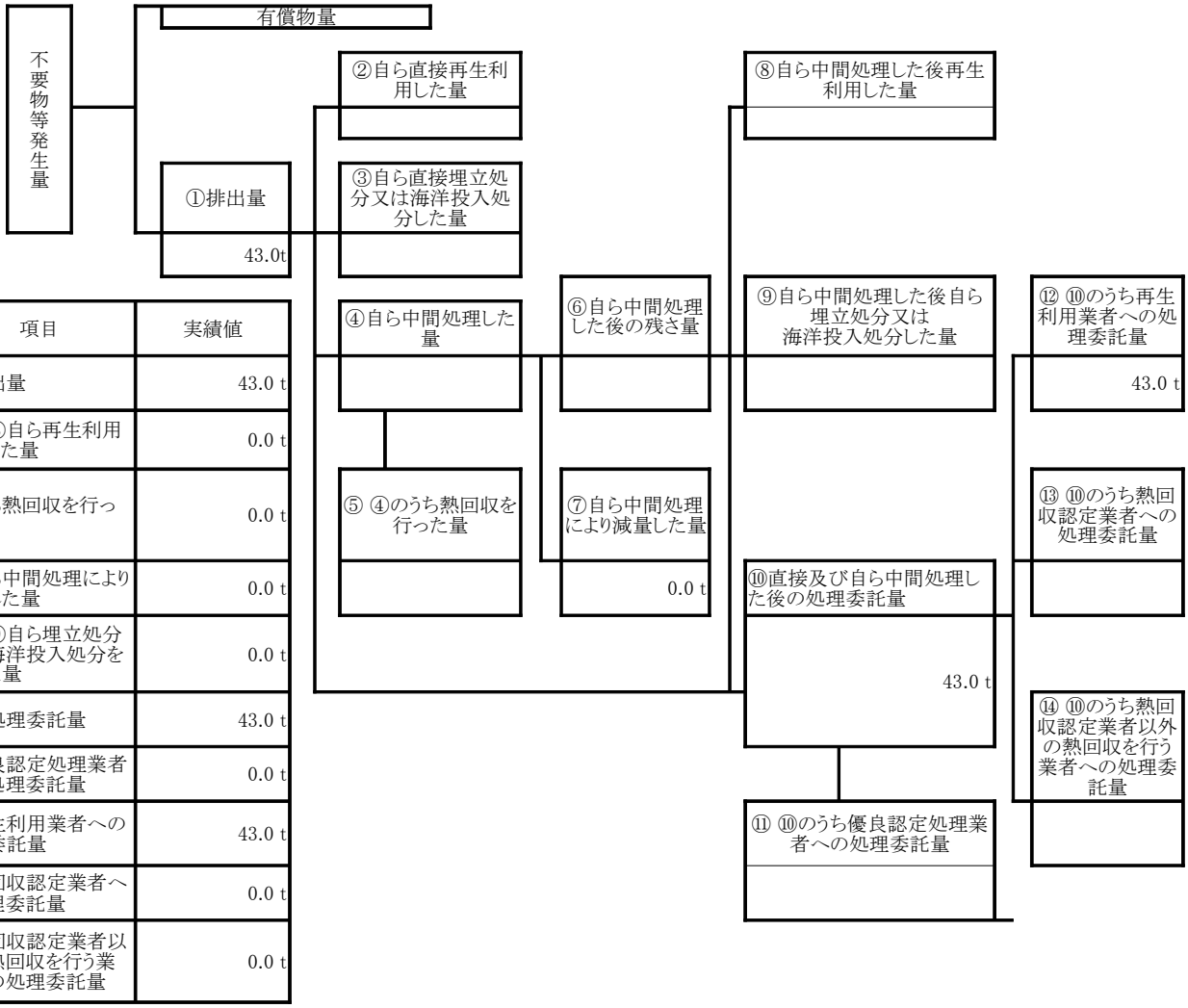


項目	実績値
①排出量	14.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

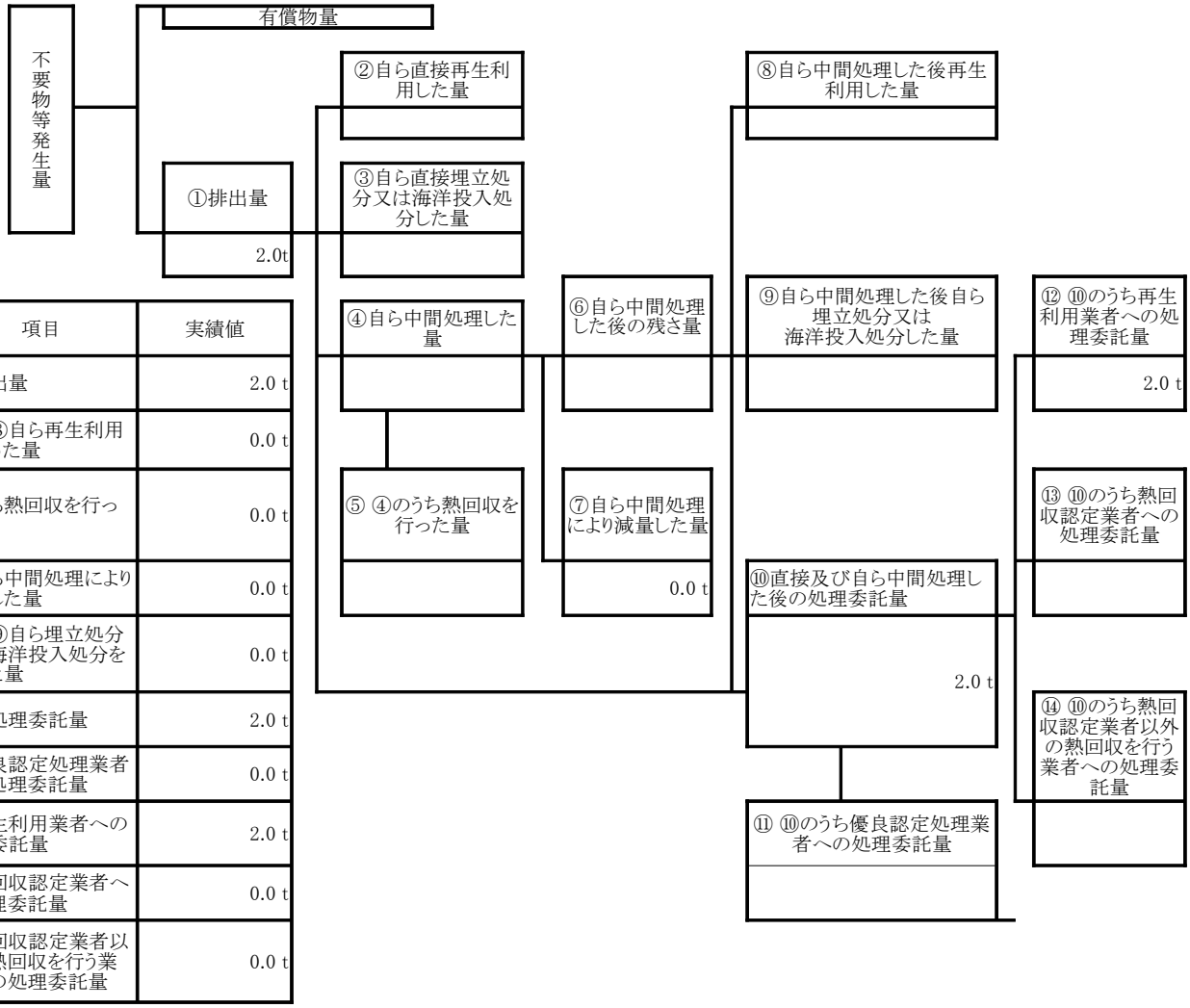


項目	実績値
①排出量	43.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	43.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒285-0025

住　所　千葉県佐倉市鏑木町４８３

氏　名　東豊土木工業株式会社　吉田幸弘

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

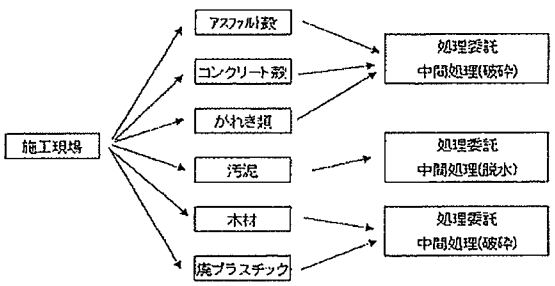
電話番号　　043-485-4131

印旛地域振興事務所 7.6.26 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東豊土木工業株式会社
事業場の所在地	千葉県佐倉市鏑木町４８３
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

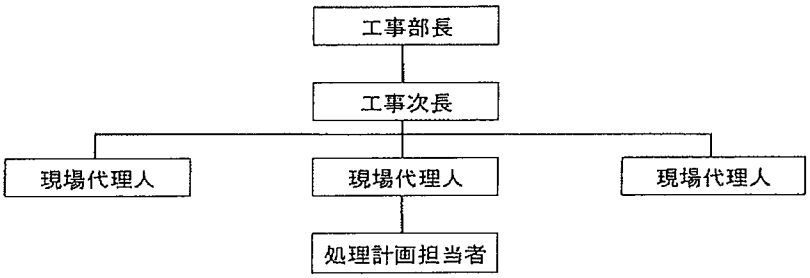
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高　21.8億円
③従業員数	22人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類＿		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類＿		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項　別紙のとおり

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） その他がれき（路盤廃材）：土砂の混入を極力避ける
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリート殻：付着した土を極力落とし処分する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 官公庁の入札物件のため、処分業許可場にて全数量を処分する設計		
②計画	【目標】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 官公庁の入札物件のため、指定処分以外については、自ら再生利用が可能か発注者側と協議を行う		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自社に中間処理施設は無く、計画も無し		
②計画	別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類＿		
	全処理委託量＿	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 官公庁指定の処分先にて全数処分		

	②計画	【目標】	別紙のとおり	
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 官公庁指定の処分先にて全数処分		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
		排　出　量	1614.8 t	479.8 t	1496 t	0.44 t	32 t	67.62 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
		排　出　量	2000 t	500 t	1800 t	20 t	30 t	50 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
	全処理委託量	1614.8 t	479.8 t	1496 t	0.44 t	32 t	67.62 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1614.8 t	479.8 t	1496 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1614.8 t	479.8 t	1496 t	0.44 t	32 t	67.62 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	がれき類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木材		
	全処理委託量	2000 t	500 t	1800 t	20 t	30 t	50 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1900 t	450 t	1750 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2000 t	500 t	1800 t	20 t	30 t	50 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 25日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒285-0025
住 所　千葉県佐倉市鏑木町483
氏 名　東豊土木工業株式会社 吉田幸弘
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-485-4131

印旛地域振興事務所 7.6.26 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東豊土木工業株式会社
事業場の所在地	千葉県佐倉市鏑木町483
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

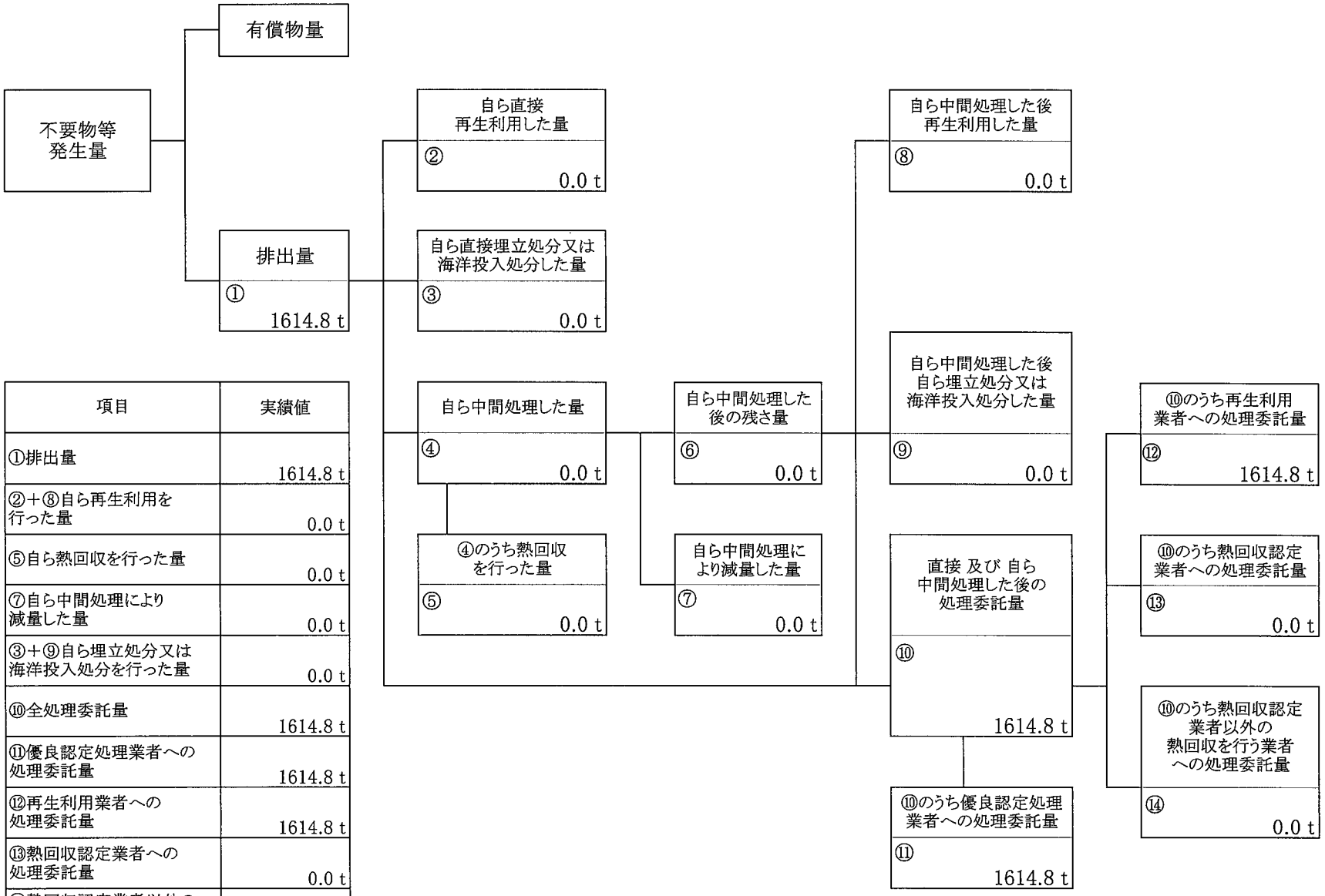
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6113.0 t	全処理委託量	6113.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	4950.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	6113.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト殻　）

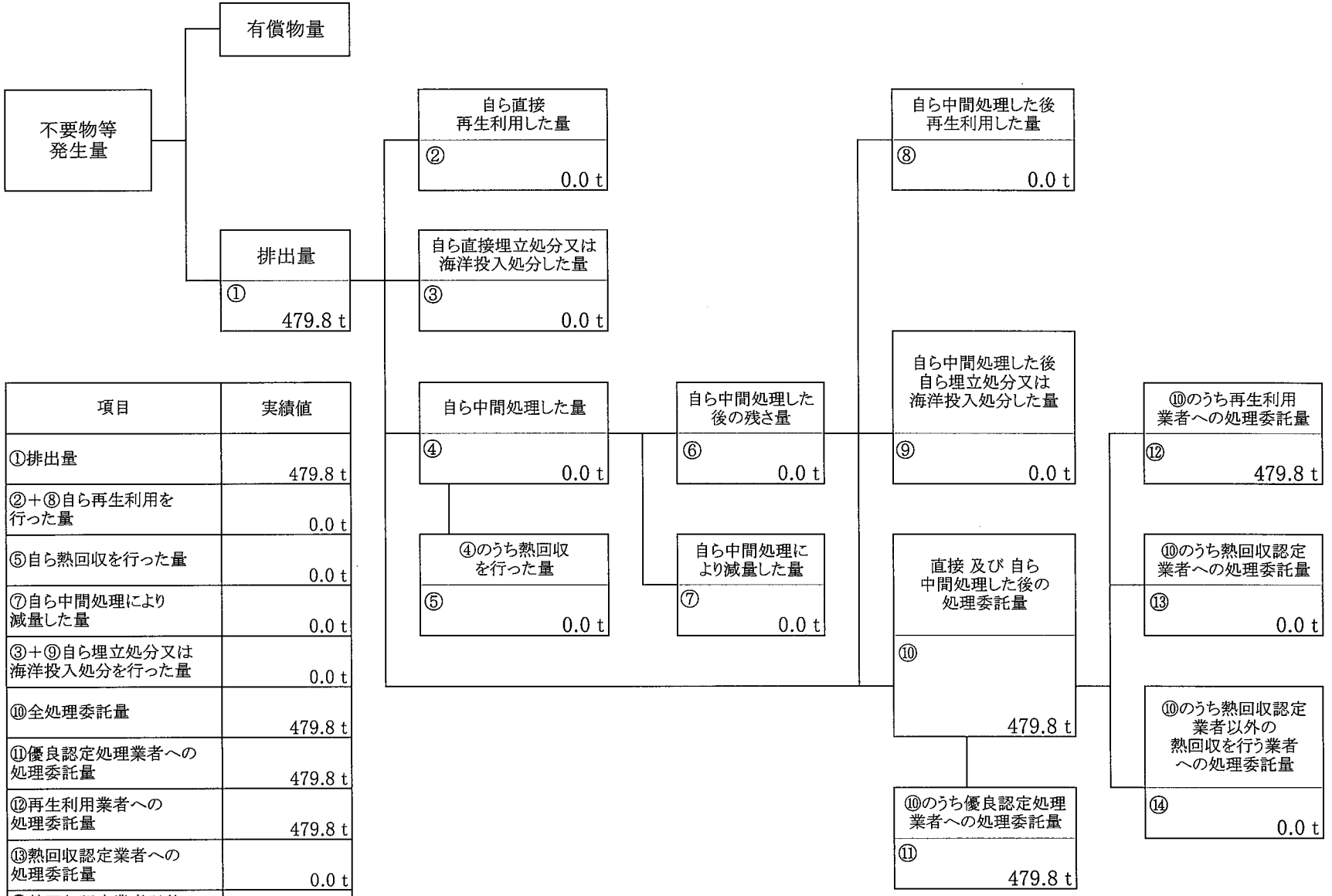


項目	実績値
①排出量	1614.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1614.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1614.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1614.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリート殻　）

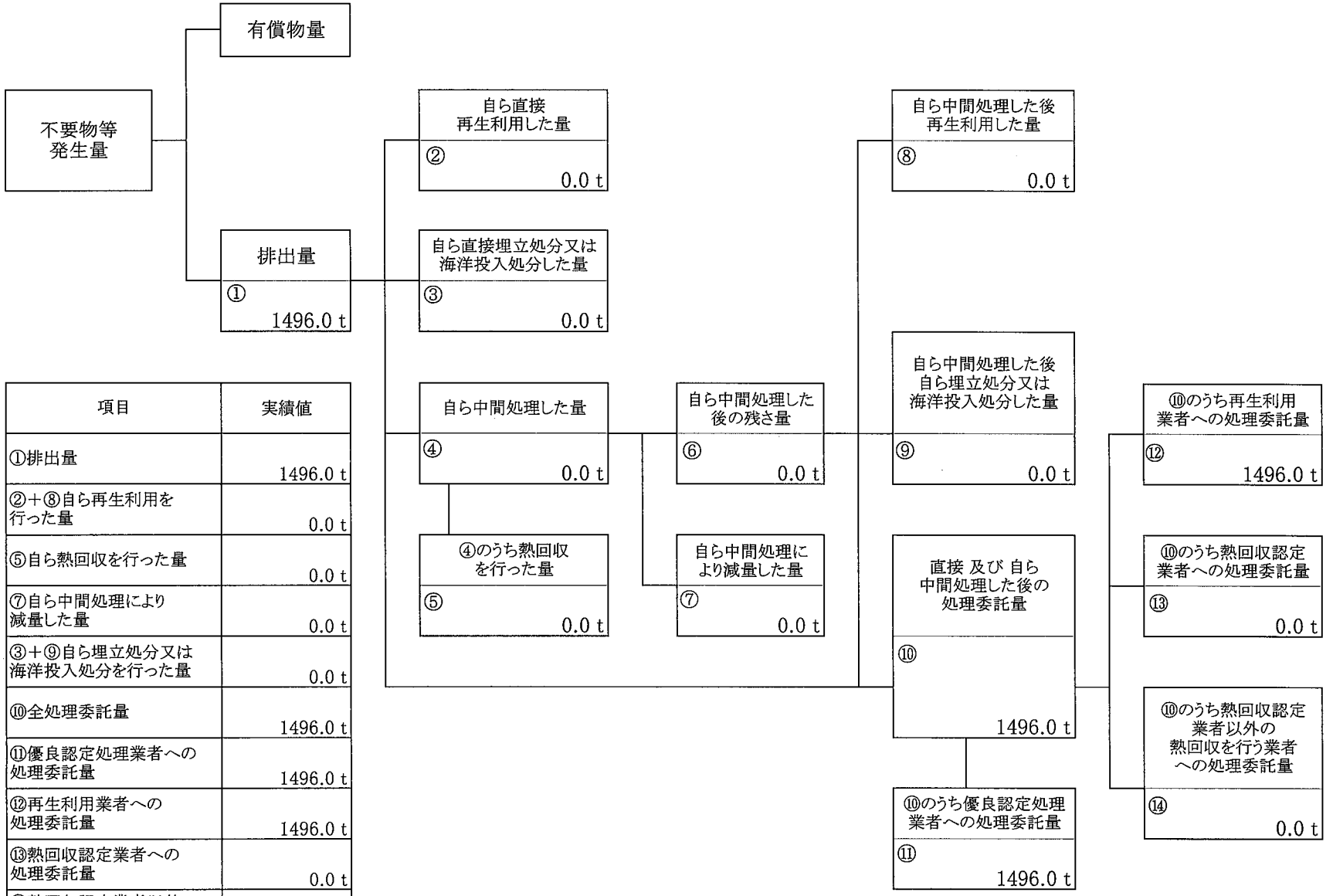


項目	実績値
①排出量	479.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	479.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	479.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	479.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

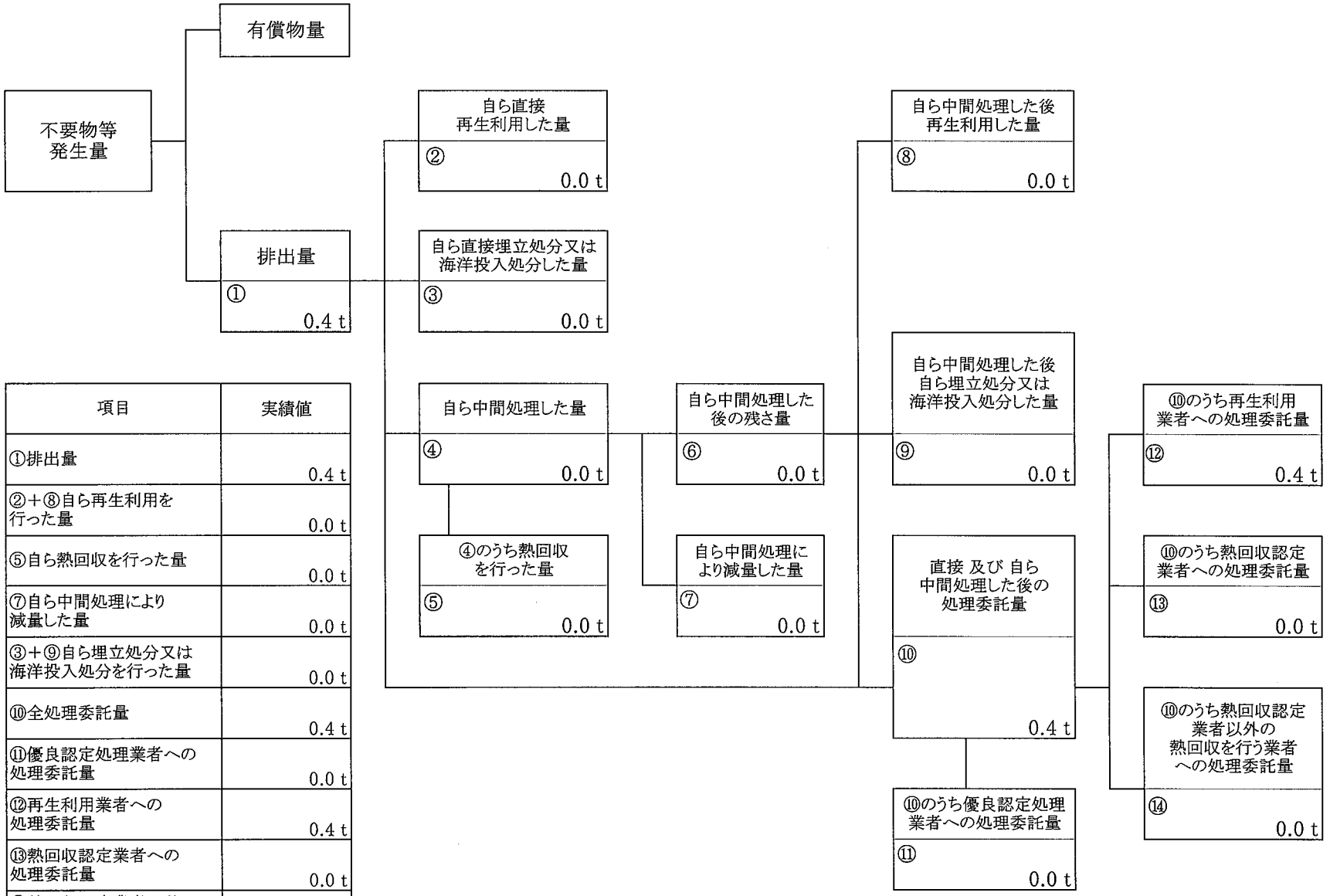


項目	実績値
①排出量	1496.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1496.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1496.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1496.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

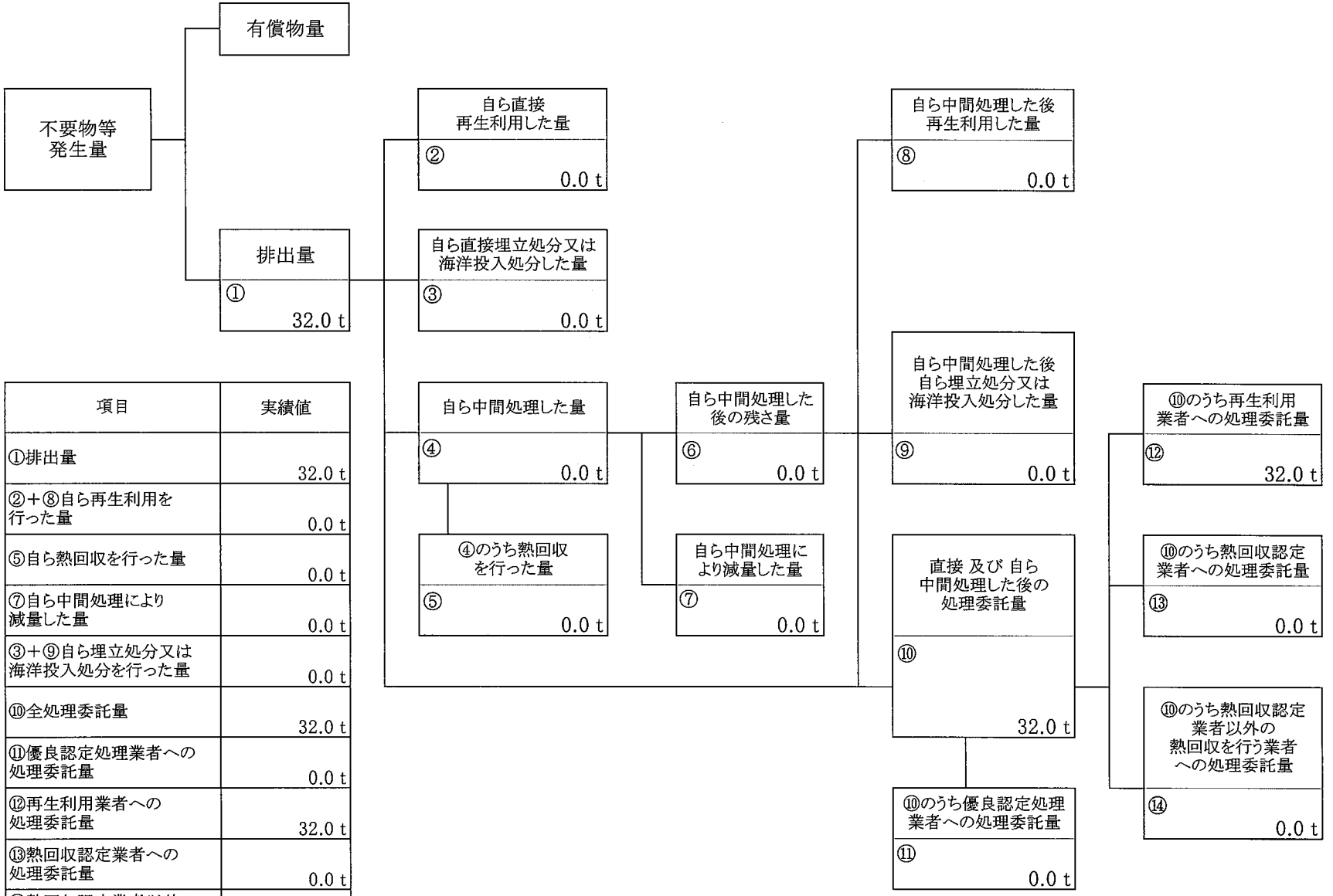


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック　）

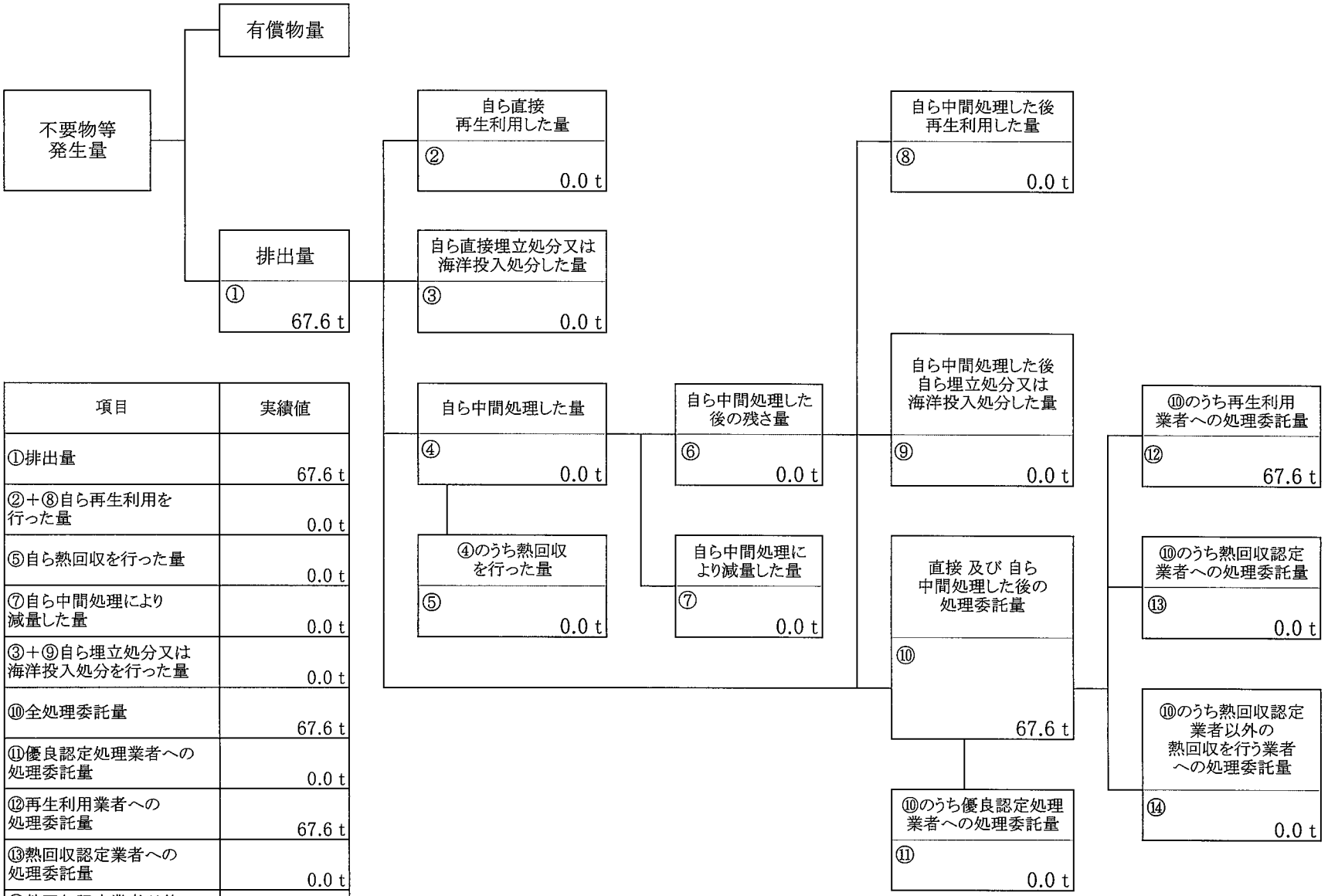


項目	実績値
①排出量	32.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木材　）



項目	実績値
①排出量	67.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	67.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	67.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月30日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　261-8601

住所　千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目1番地 幕張テクニカルセンター

法人名 東洋エンジニアリング株式会社

代表者 細井 栄治

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-274-1000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	市原八幡埠頭バイオマス発電所建設工事
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目1番地 幕張テクニカルセンター
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

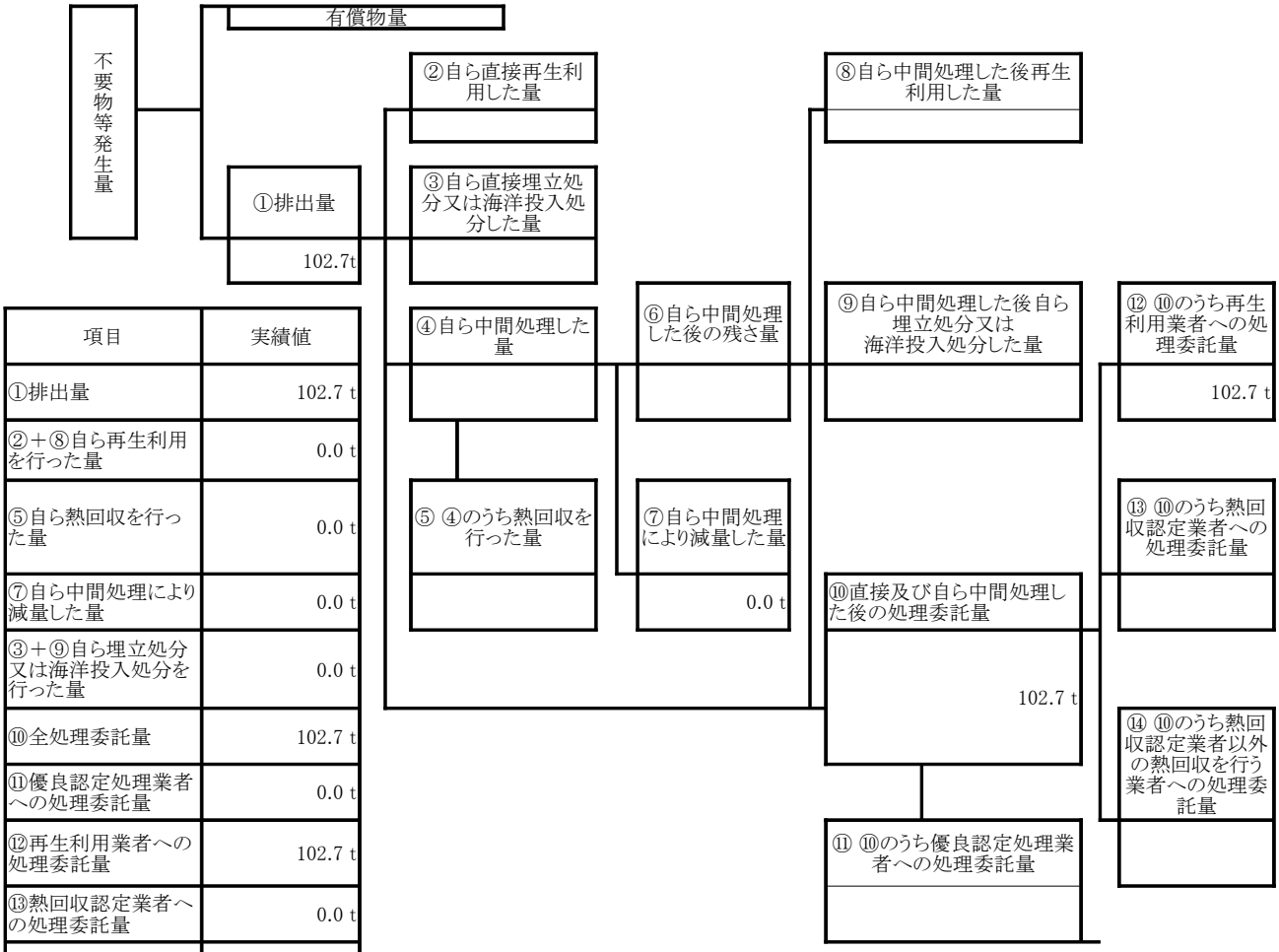
項目	目標値	項目	目標値
排出量	112 t	全処理委託量	112 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	112 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　建設工事の木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

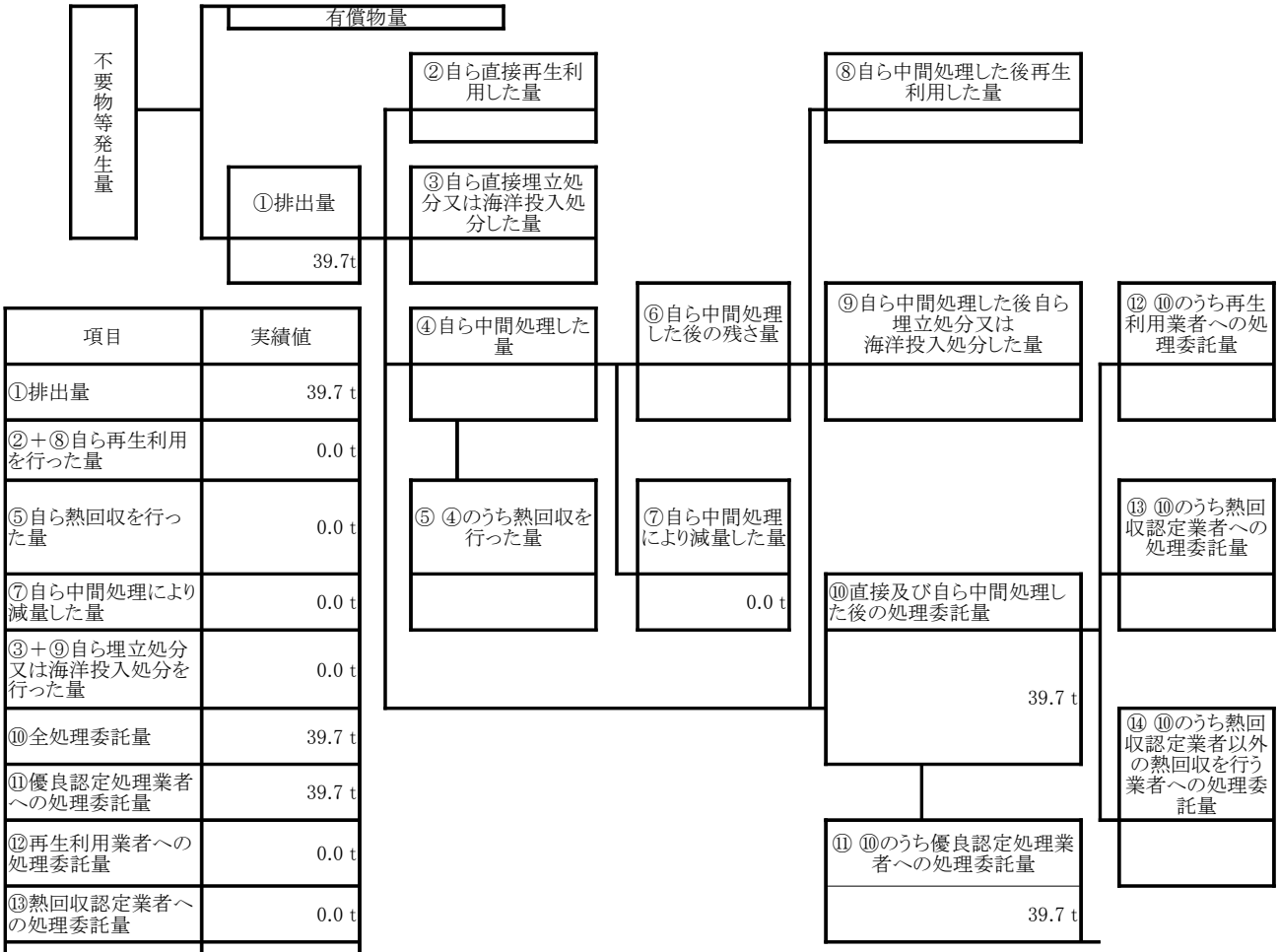


項目	実績値
①排出量	102.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	102.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	102.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

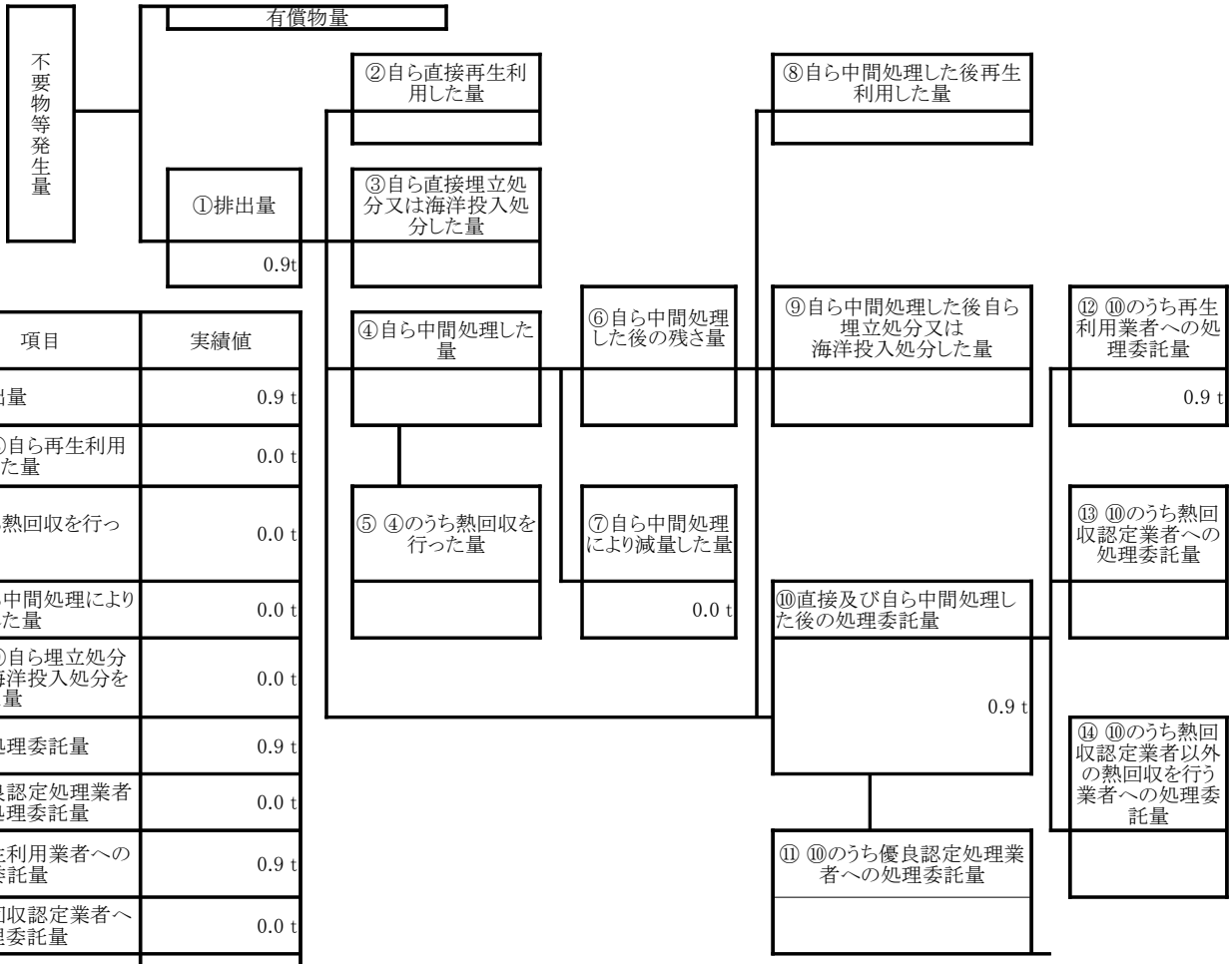


項目	実績値
①排出量	39.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	39.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



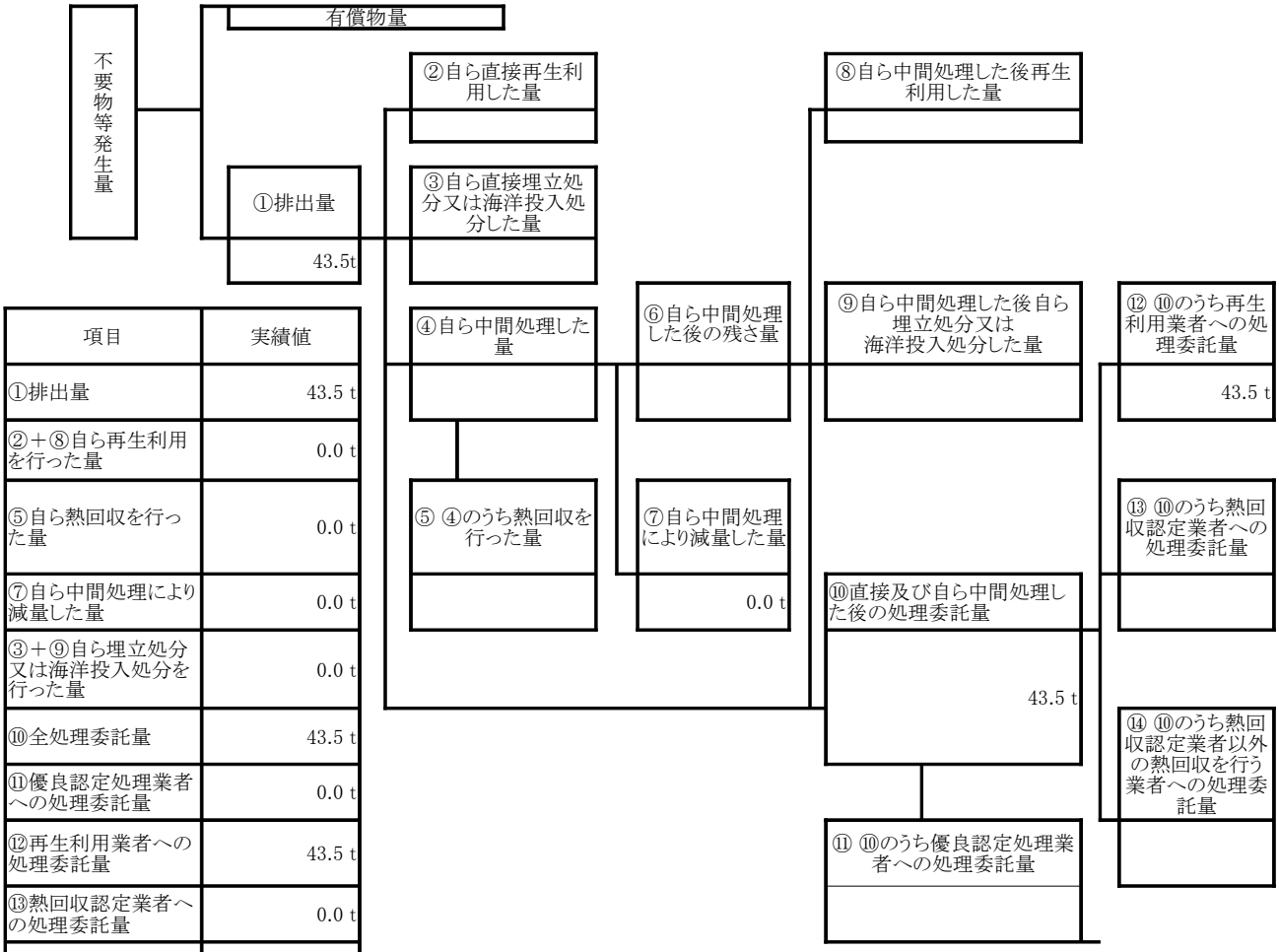
項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　くず、コンクリートくず及び陶磁器）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



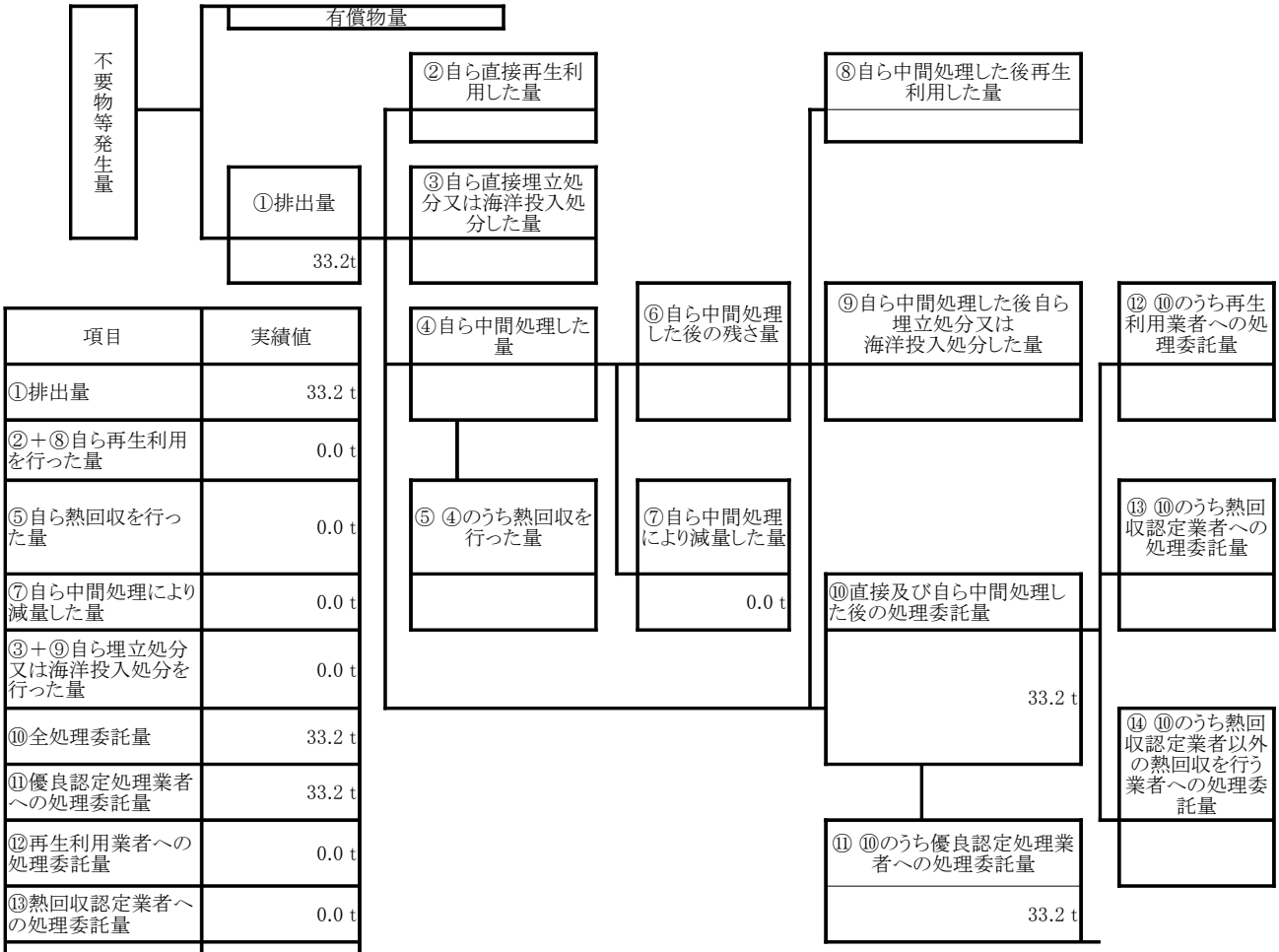
項目	実績値
①排出量	43.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	43.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**汚泥（泥状のもの）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

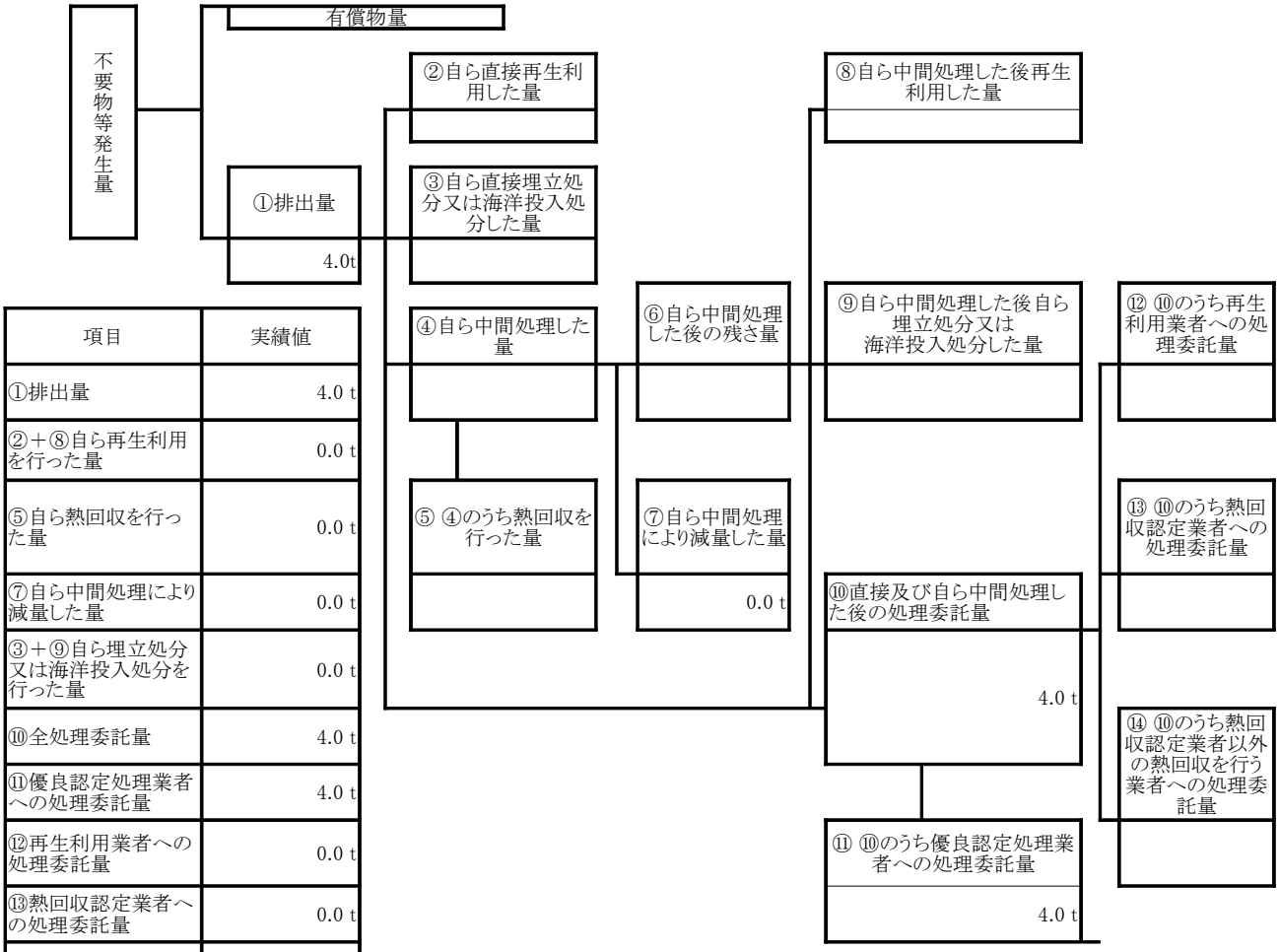


項目	実績値
①排出量	33.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	33.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　廃アルカリ　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

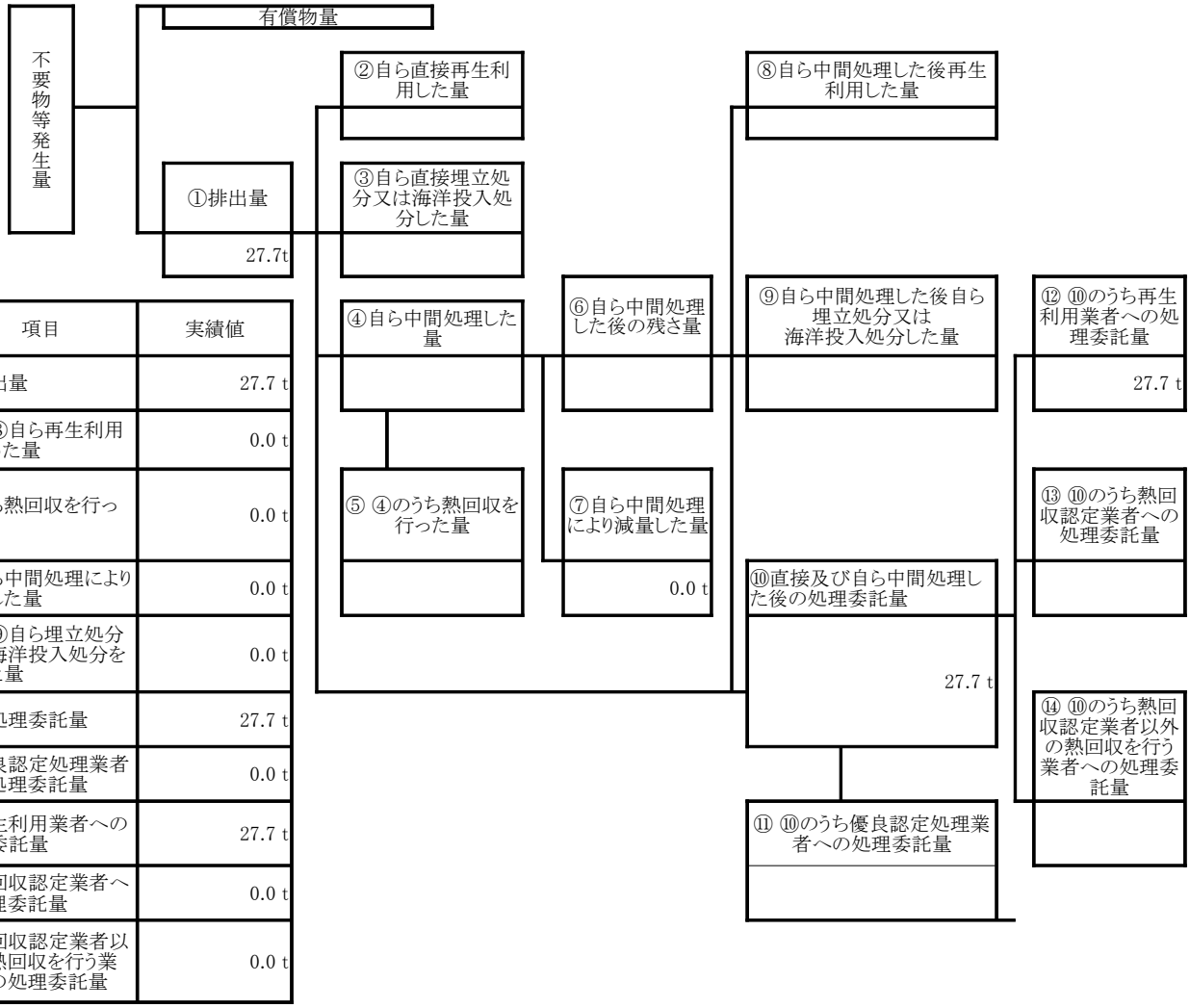


項目	実績値
①排出量	4.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　物の新築、改築又は除去に伴って

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

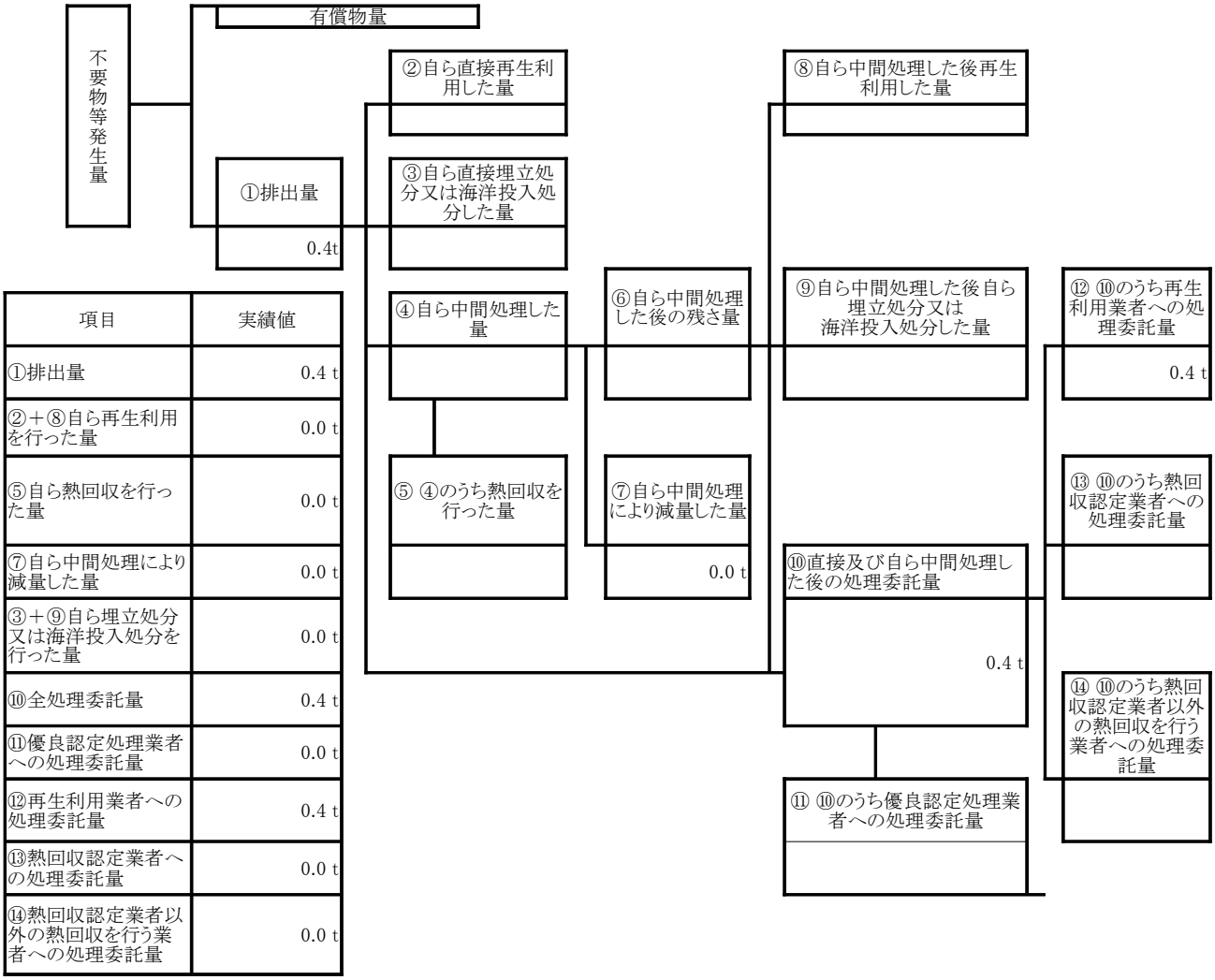


項目	実績値
①排出量	27.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	27.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　101-0051

住所　東京都千代田区神田神保町1-105神保町三井ビルディング10階

法人名 東洋建設株式会社

代表者 安部田 英宣

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6361-5554

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋建設株式会社関東建築支店
事業場の所在地	東京都千代田区神田神保町1-105
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

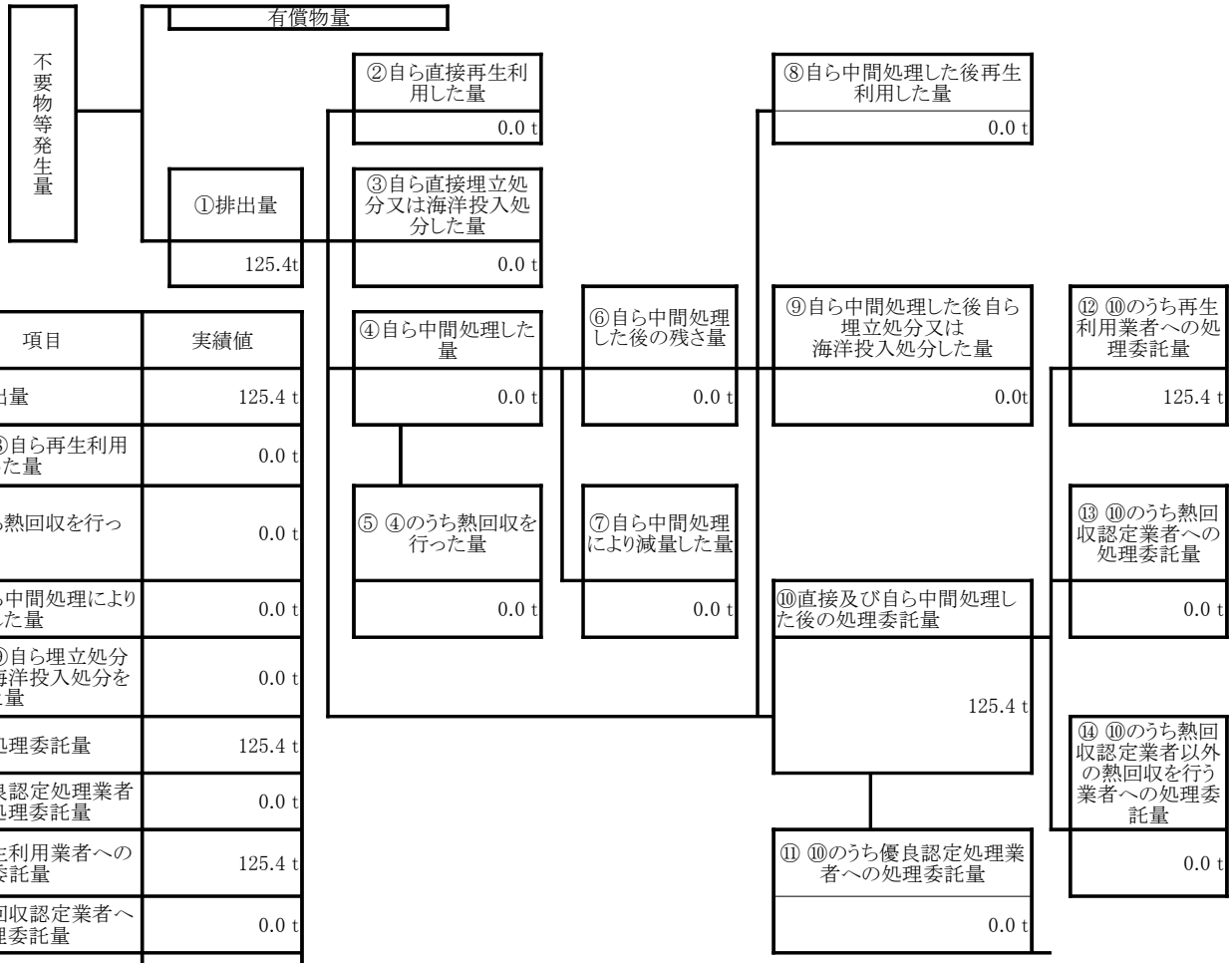
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6235.97 t	全処理委託量	6235.97 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	984.89 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	6235.97 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

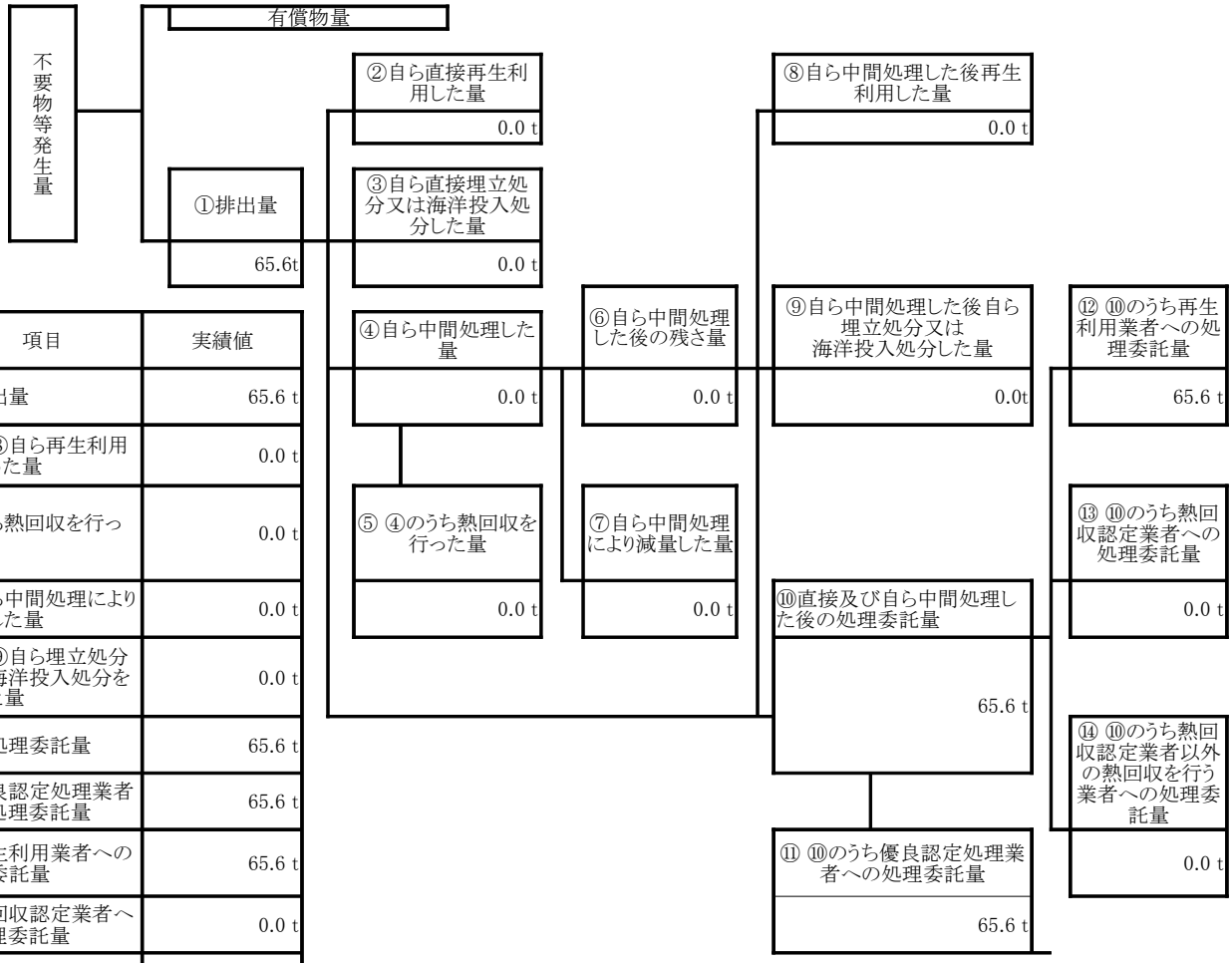


項目	実績値
①排出量	125.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	125.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	125.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

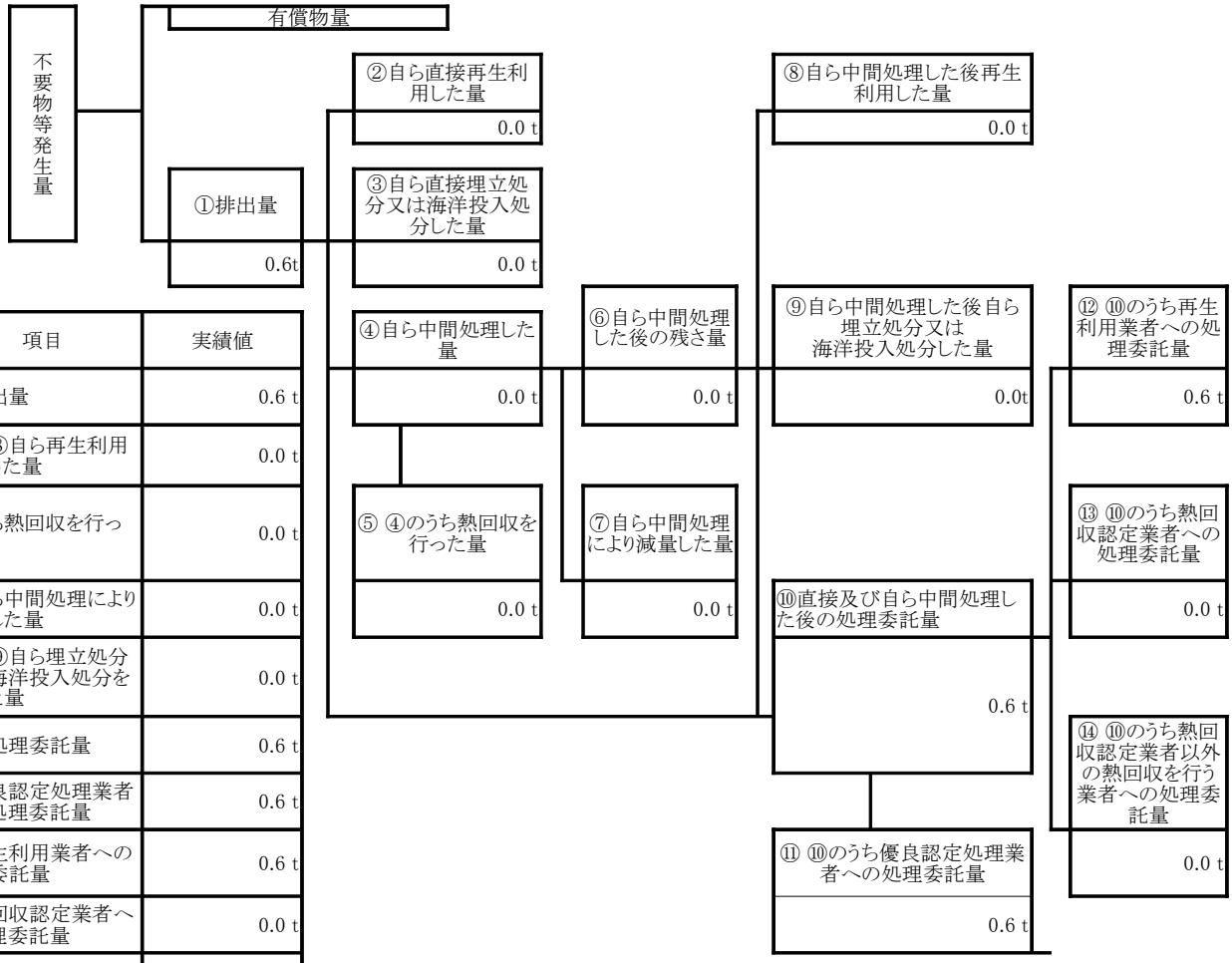


項目	実績値
①排出量	65.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	65.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	65.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	65.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



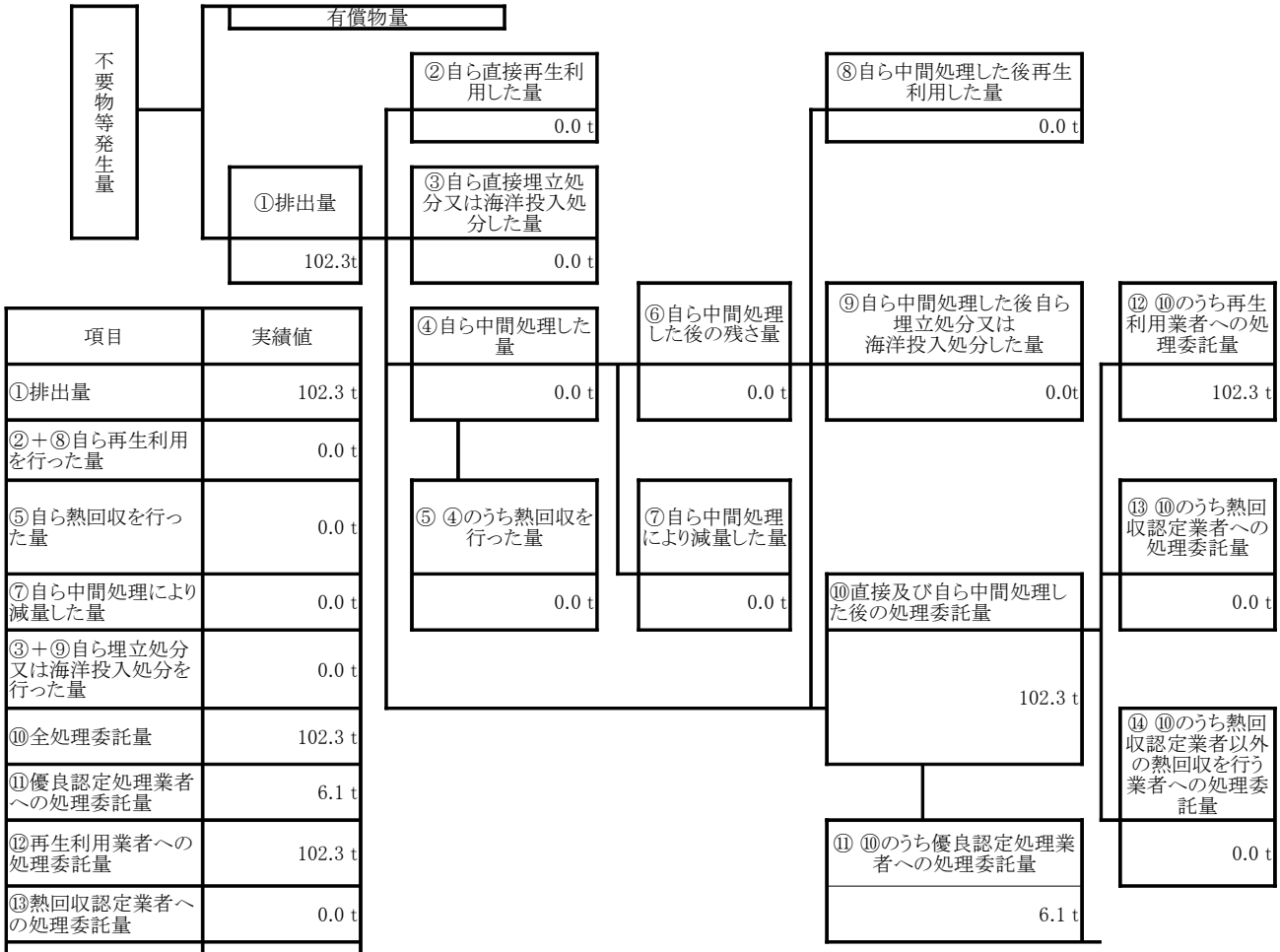
項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

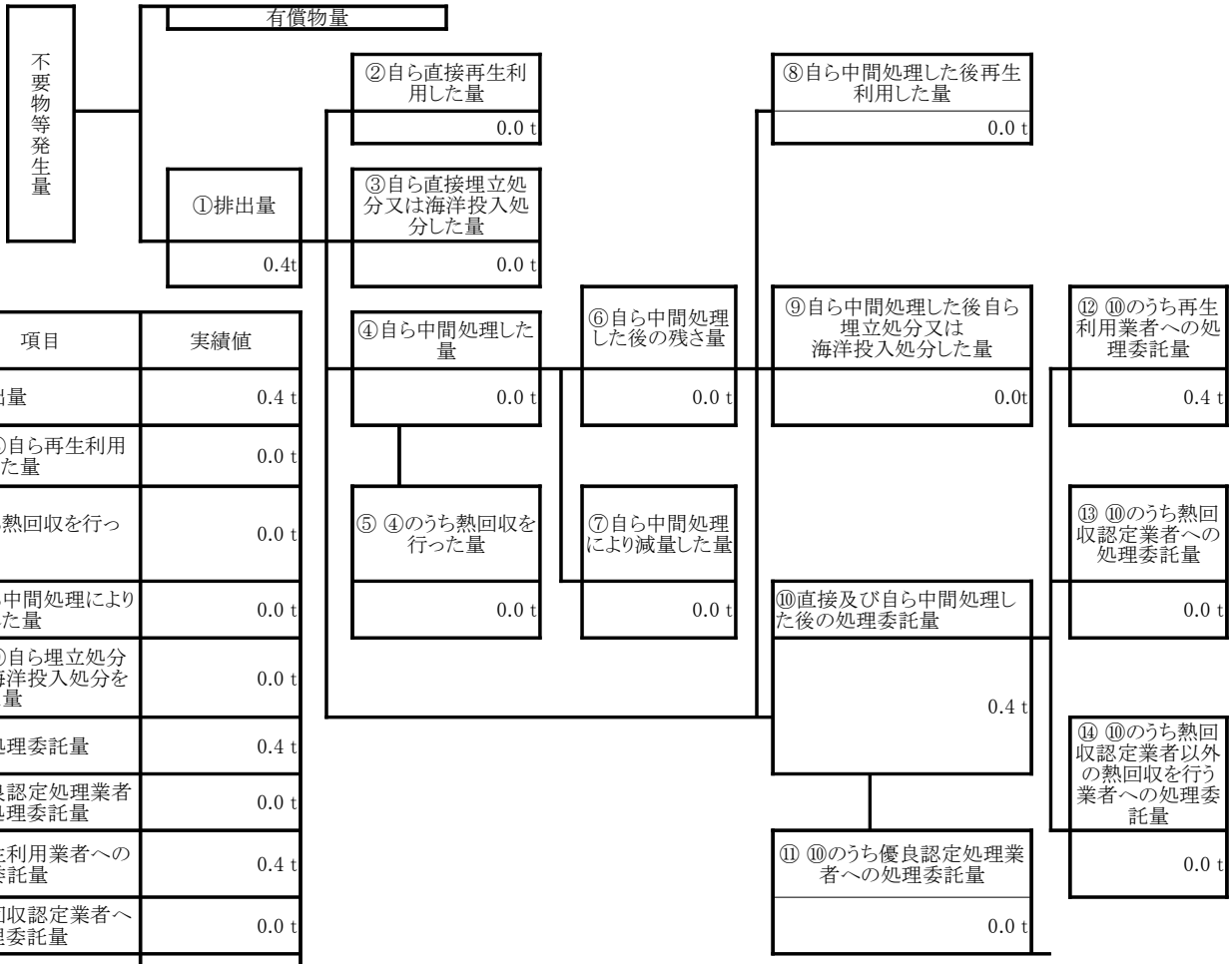


項目	実績値
①排出量	102.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	102.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	102.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　ガラス・陶磁器くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



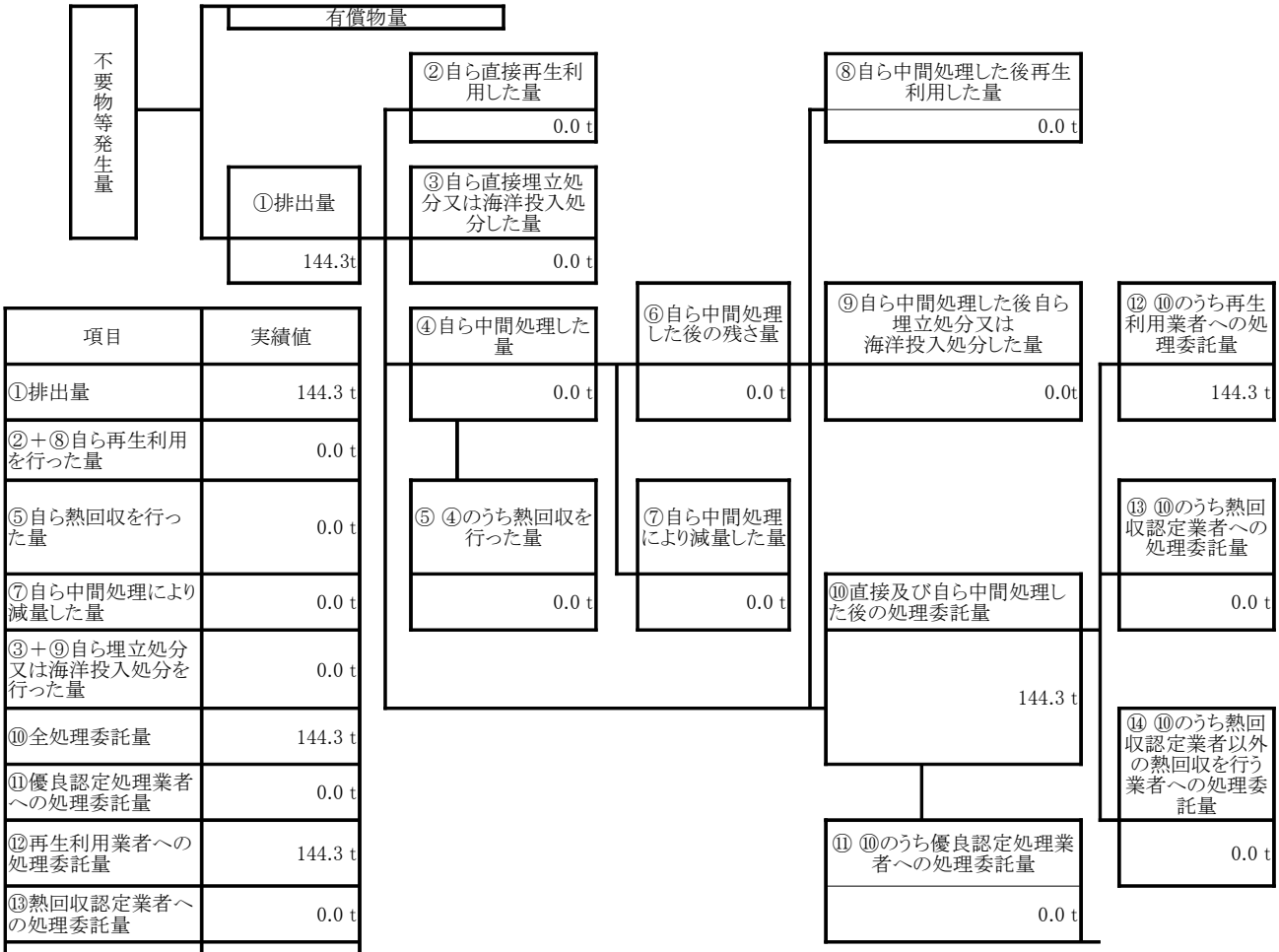
項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

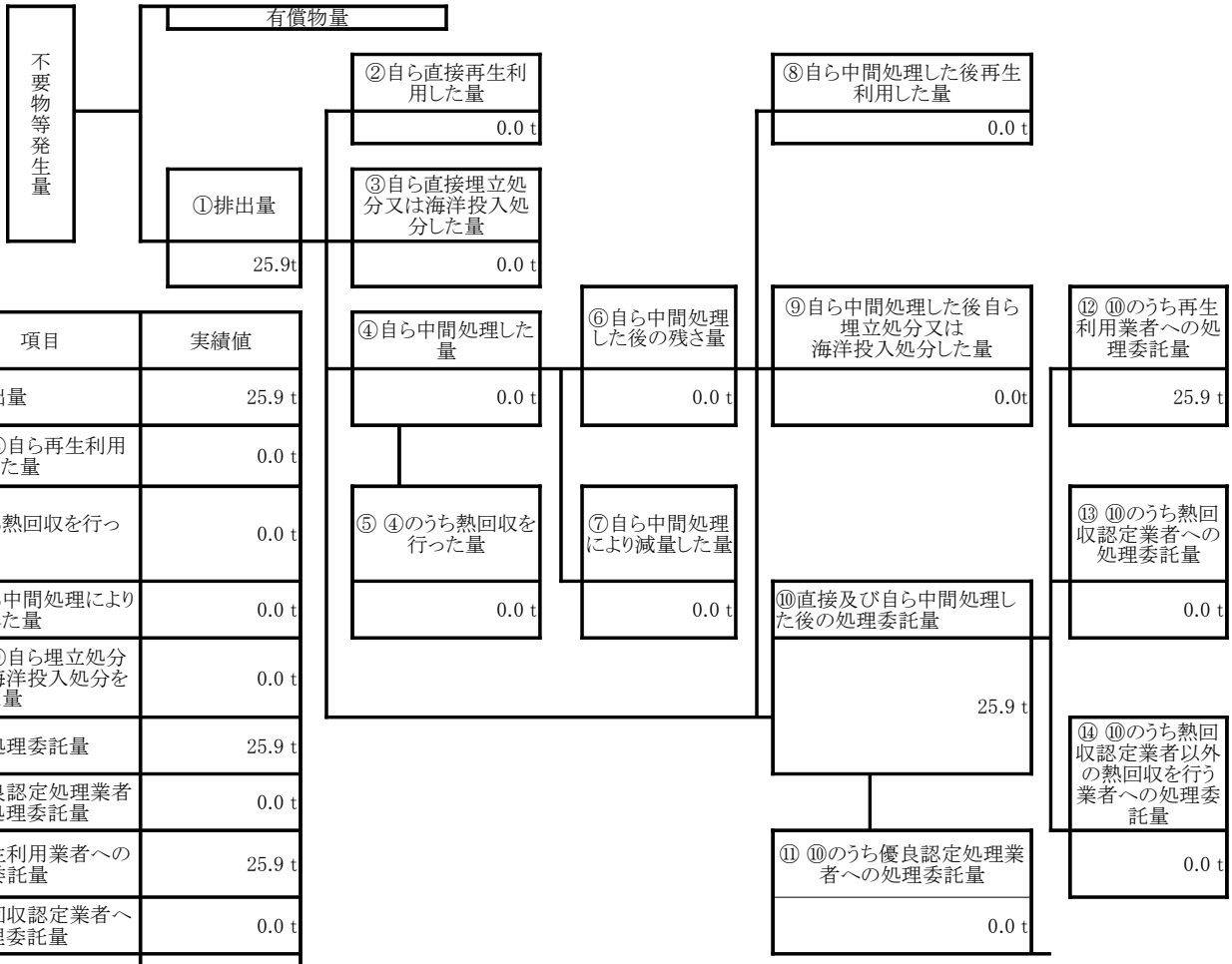


項目	実績値
①排出量	144.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	144.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	144.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



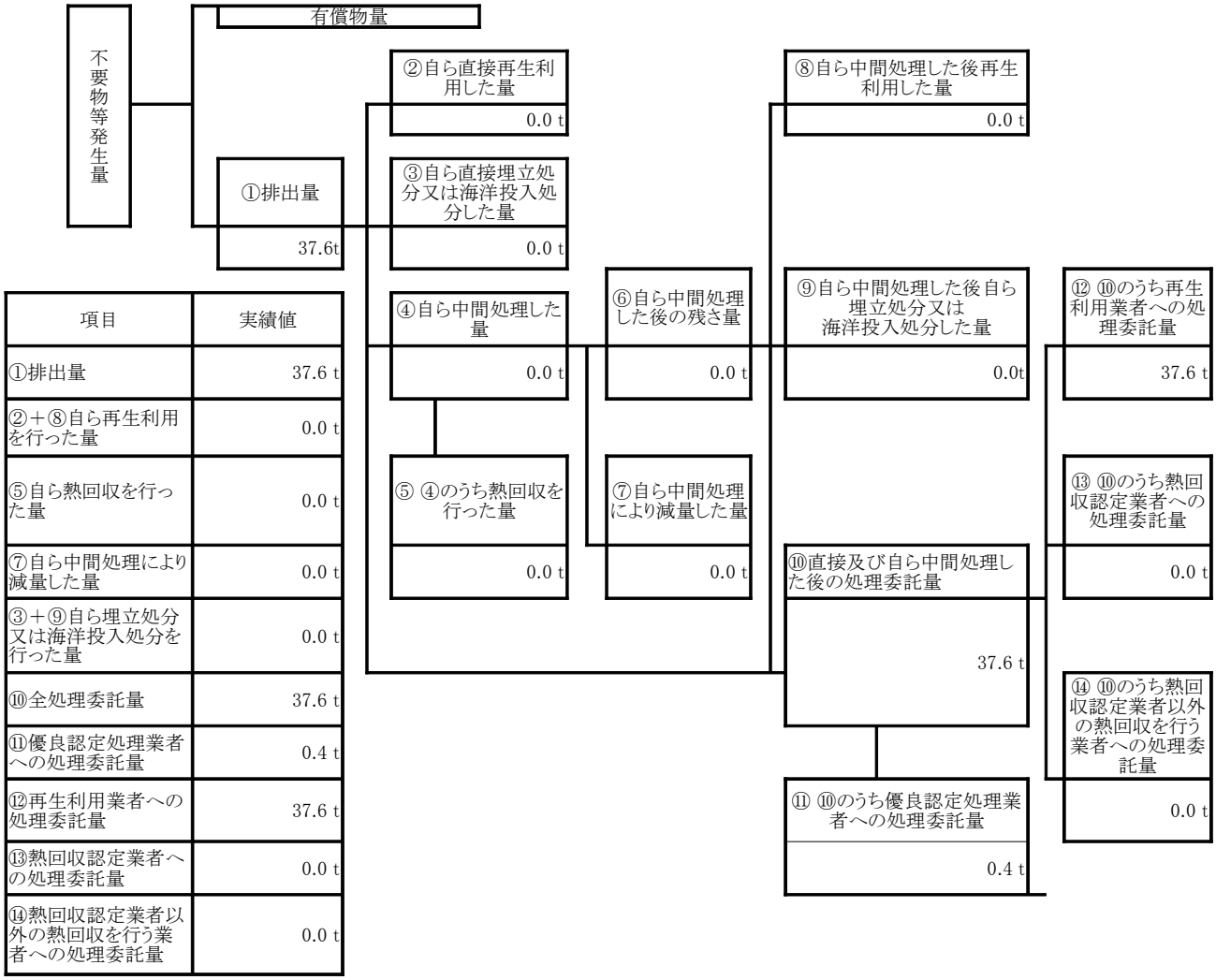
項目	実績値
①排出量	25.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	25.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	25.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	37.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	37.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	37.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　101-0051

住　所　東京都千代田区神田神保町1丁目105番地

法人名　東洋建設株式会社　関東支店

代表者　佐藤 眞一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-6361-5500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋建設株式会社　関東支店
事業場の所在地	東京都千代田区神保町1丁目105番地　神保町三井ビルディング10F
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　１５，０２５百万円（前年度実績）
③従業員数	１７４人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・ｺﾝｶﾞﾗｰｱｽｶﾞﾗ→再生処理業者へ委託→破砕→再生砕石として再利用 ・廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類→破砕・圧縮→燃料原料 ・金属くず→再生事業者へ委託 ・汚泥→中間処理業者へ委託→流動化原料 ・木くず→中間処理業者へ委託→破砕→チップとして再資源化 ・紙くず→再生事業へ委託→製紙原料及び発電用原料

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	排出量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） ・梱包材の簡素化を指導している。 ・搬入資材の事前の数量確認による予備材の制限等で発生の抑制を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	
	排出量	ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） ・協力会社が持込む資材については計画数量を正確に把握し、定着材のままでなく現場に合わせて加工した資材として持込むように指導を継続する。 ・発生抑制の好事例の情報収集を行い水平展開を継続して行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別している産業廃棄物の種類[ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ、ｱｽｺﾝｶﾞﾗ、がれき類、ｶﾞﾗｽ陶磁器くず、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、金属くず、建設汚泥、紙くず、木くず、廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ] ・各現場とも分別に関する意識は向上してきているが工事用地等の条件により現場によるバラツキもあるので引き続きの指導が必要である。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別している産業廃棄物の種類[上記の現状と同じ] ・着工前の施工方針会議において仮設計画図等を基に分別ボックスの設置場所と分別品目を確認し、着工時より分別を進める。 ・新規入場時教育時に廃棄物の分別に関しても教育指導し、協力会社の作業員へも協力要請を継続する。

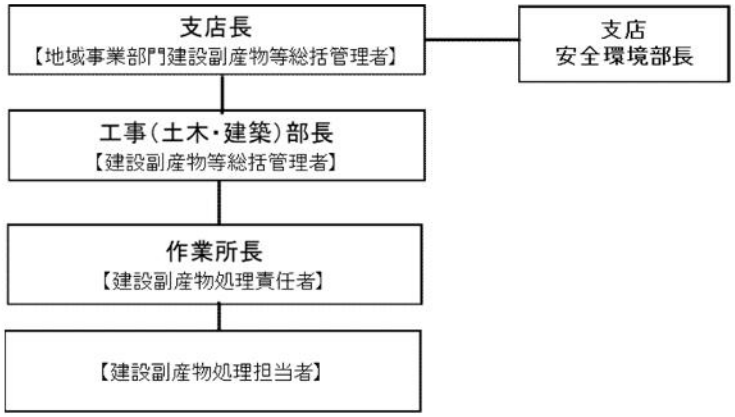
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・当社は産業廃棄物の処理施設を有していない為、発生した廃棄物の処理については全てを処理業者へ委ねている。処理業者へ委託する場合は許可証を確認のうえ委託契約書を締結し、写しを支店へ提出させ委託先や契約内容を確認している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別表参照</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・法改正や新法の制定については、その都度作業所へ通知し委託契約上の不備が生じないよう周知を継続する。
・解体廃材や汚泥については排出期間中に最低１回は収集運搬車両の追跡調査を実施し、併せて中間処理施設の状況の確認を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添２ 管理体制図


支店長
【地域事業部門建設副産物等総括管理者】
支店
安全環境部長
工事（土木・建築）部長
【建設副産物等総括管理者】
作業所長
【建設副産物処理責任者】
【建設副産物処理担当者】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																					
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）										
		排出量	2,317.70 t	97.48 t	5.85 t	2,342.32 t	0.50 t	1,034.22 t	3,113.03 t	378.60 t	19.63 t										
	②計画	【目標】																			
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）										
		排出量	2,085.93 t	87.73 t	5.27 t	2,108.09 t	0.45 t	930.80 t	2,801.73 t	340.74 t	17.67 t										
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																					
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）										
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
	②計画	【目標】																			
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）										
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																					
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）										
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
	②計画	【目標】																			
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）										
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器 等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器 等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器 等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
全処理委託量	2,317.70 t	97.48 t	5.85 t	2,342.32 t	0.50 t	1,034.22 t	3,113.03 t	378.60 t	19.63 t									
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	96.08 t	5.85 t	330.83 t	0.50 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	8.19 t									
再生利用業者への処理委託量	2,317.70 t	97.48 t	5.85 t	2,342.32 t	0.50 t	1,034.22 t	3,113.03 t	378.60 t	19.63 t									
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ガラス陶磁器 等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
全処理委託量	2,085.93 t	87.73 t	5.27 t	2,108.09 t	0.45 t	930.80 t	2,801.73 t	340.74 t	17.67 t									
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	86.47 t	5.27 t	297.75 t	0.45 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	7.37 t									
再生利用業者への処理委託量	2,085.93 t	87.73 t	5.27 t	2,108.09 t	0.45 t	930.80 t	2,801.73 t	340.74 t	17.67 t									
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　101-0051

住所 東京都千代田区神田神保町1丁目105番地

法人名 東洋建設株式会社 関東支店

代表者 佐藤 眞一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6361-5500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東洋建設株式会社 関東支店
事業場の所在地	東京都千代田区神保町1丁目105番地 神保町三井ビルディング10F
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6053.73 t	全処理委託量	6053.73 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	282.9 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3669.26 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

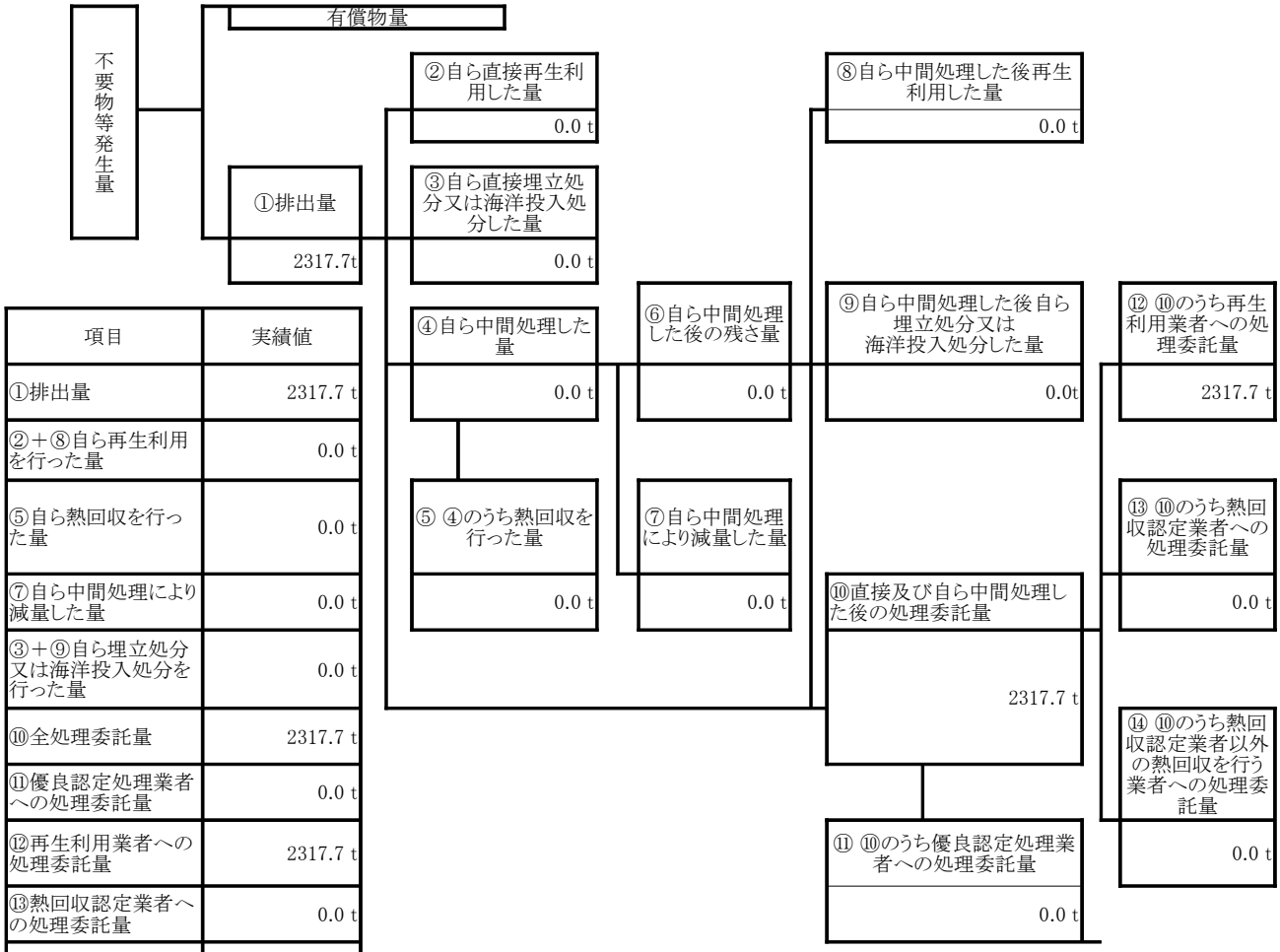
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

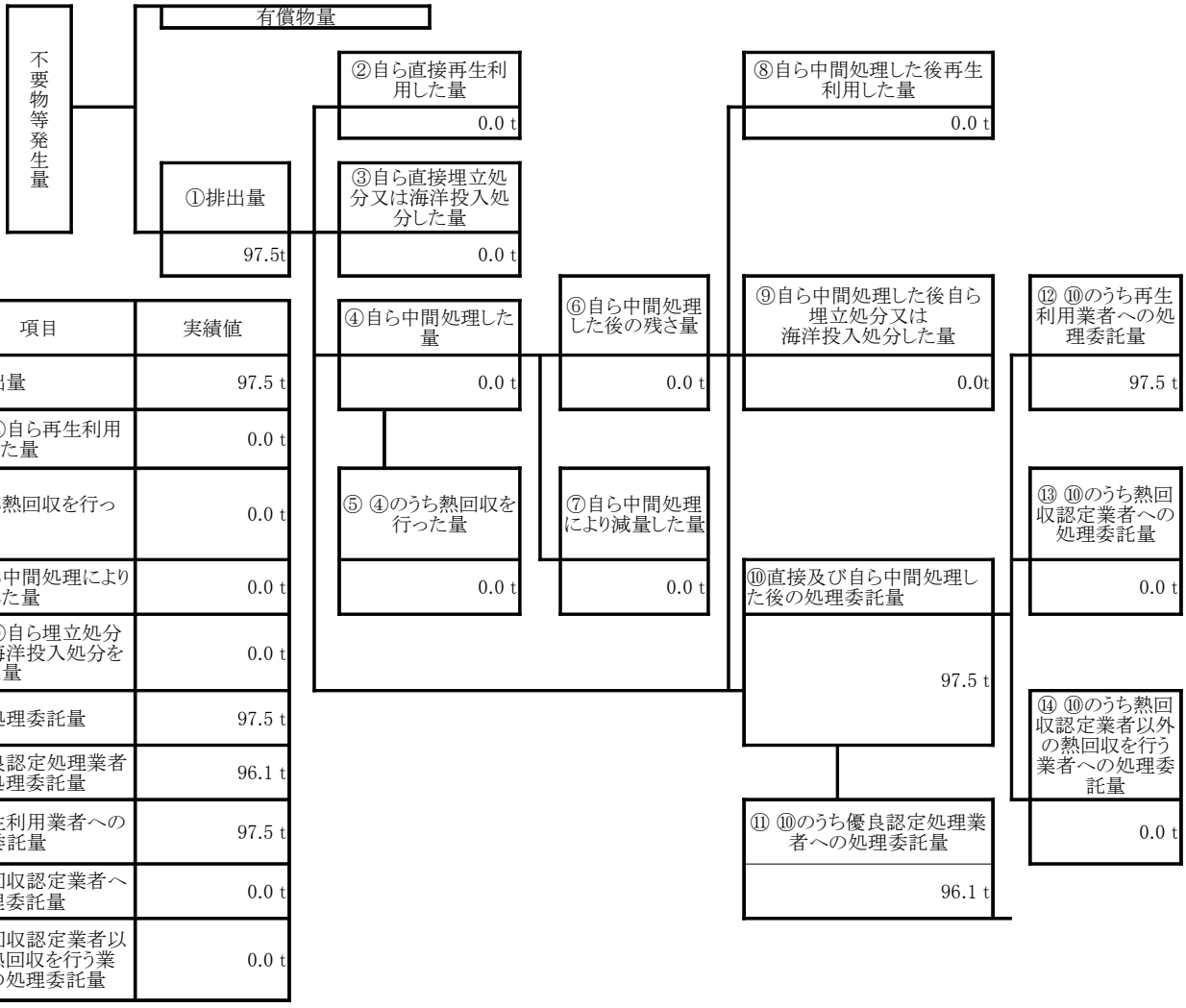


項目	実績値
①排出量	2317.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2317.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2317.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

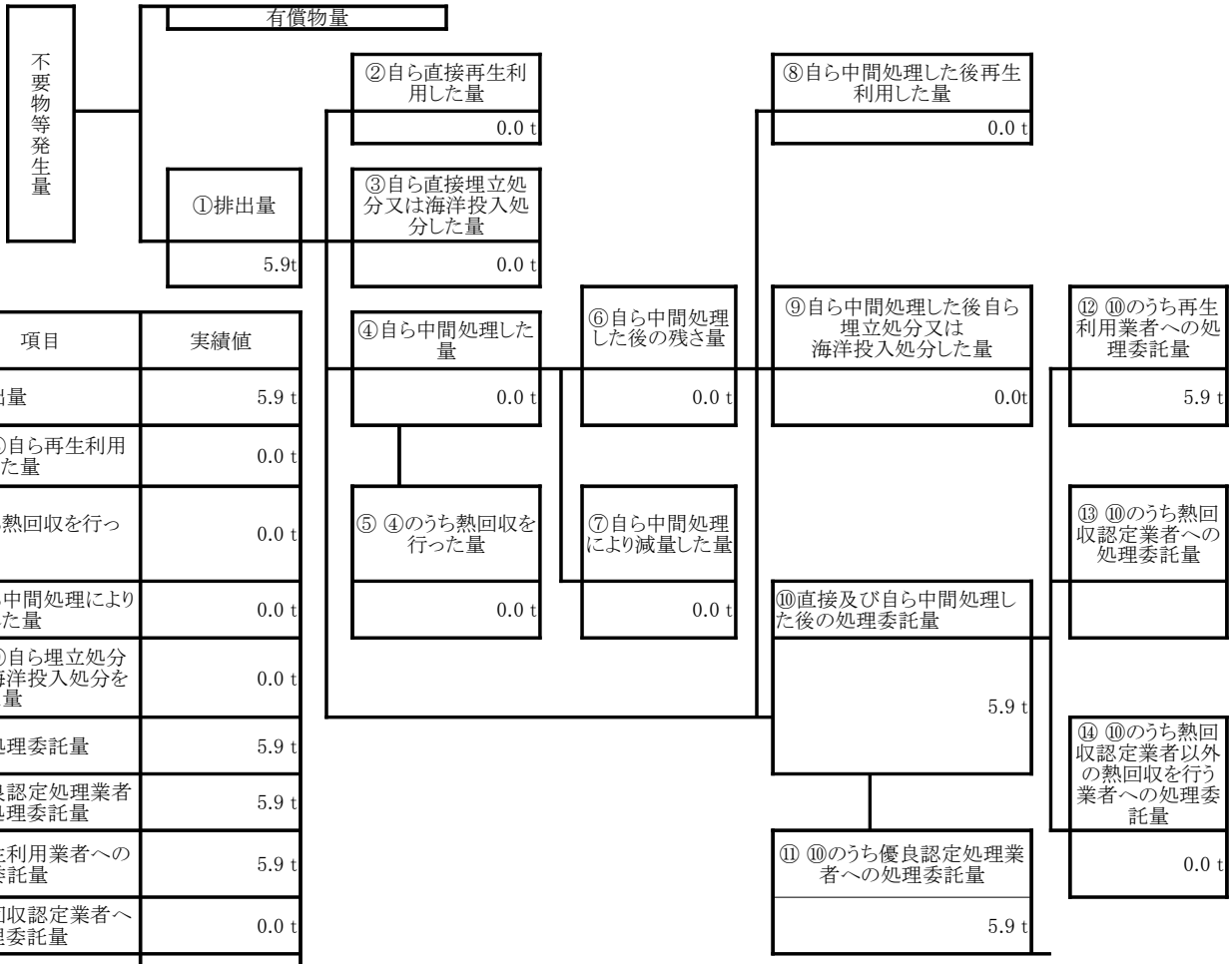


項目	実績値
①排出量	97.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	97.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	96.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	97.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

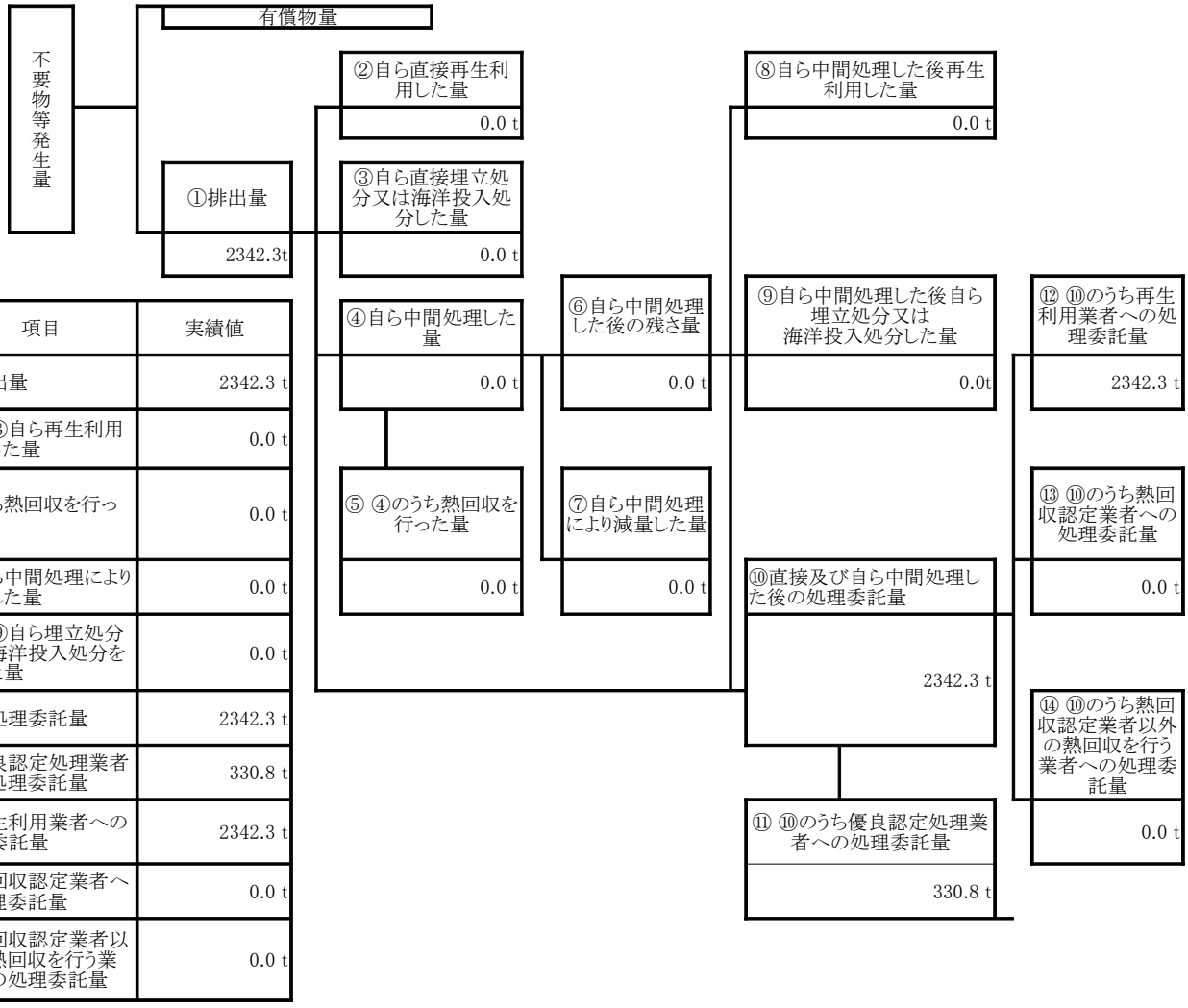


項目	実績値
①排出量	5.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



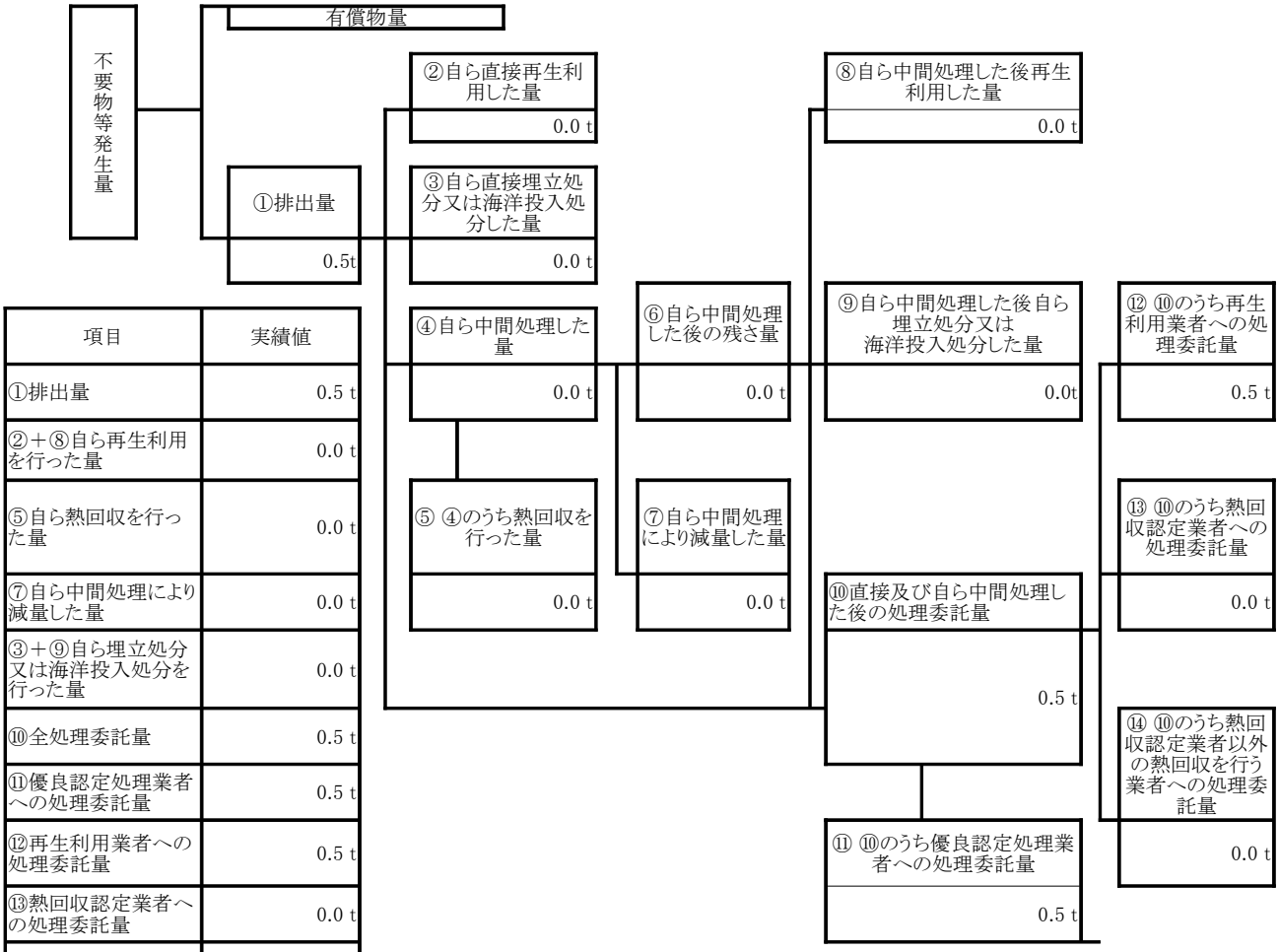
項目	実績値
①排出量	2342.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2342.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	330.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2342.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラス陶磁器等くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



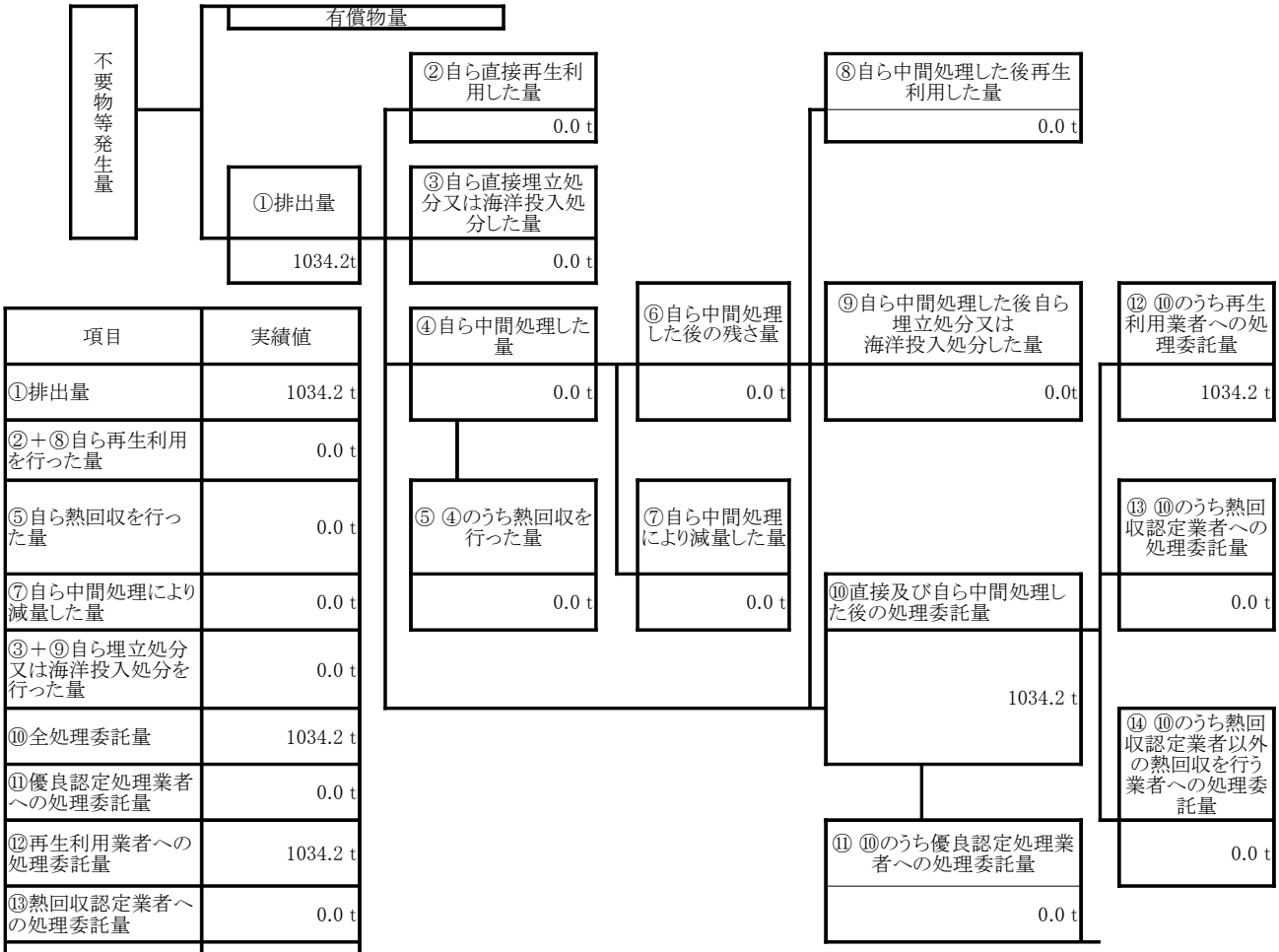
項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



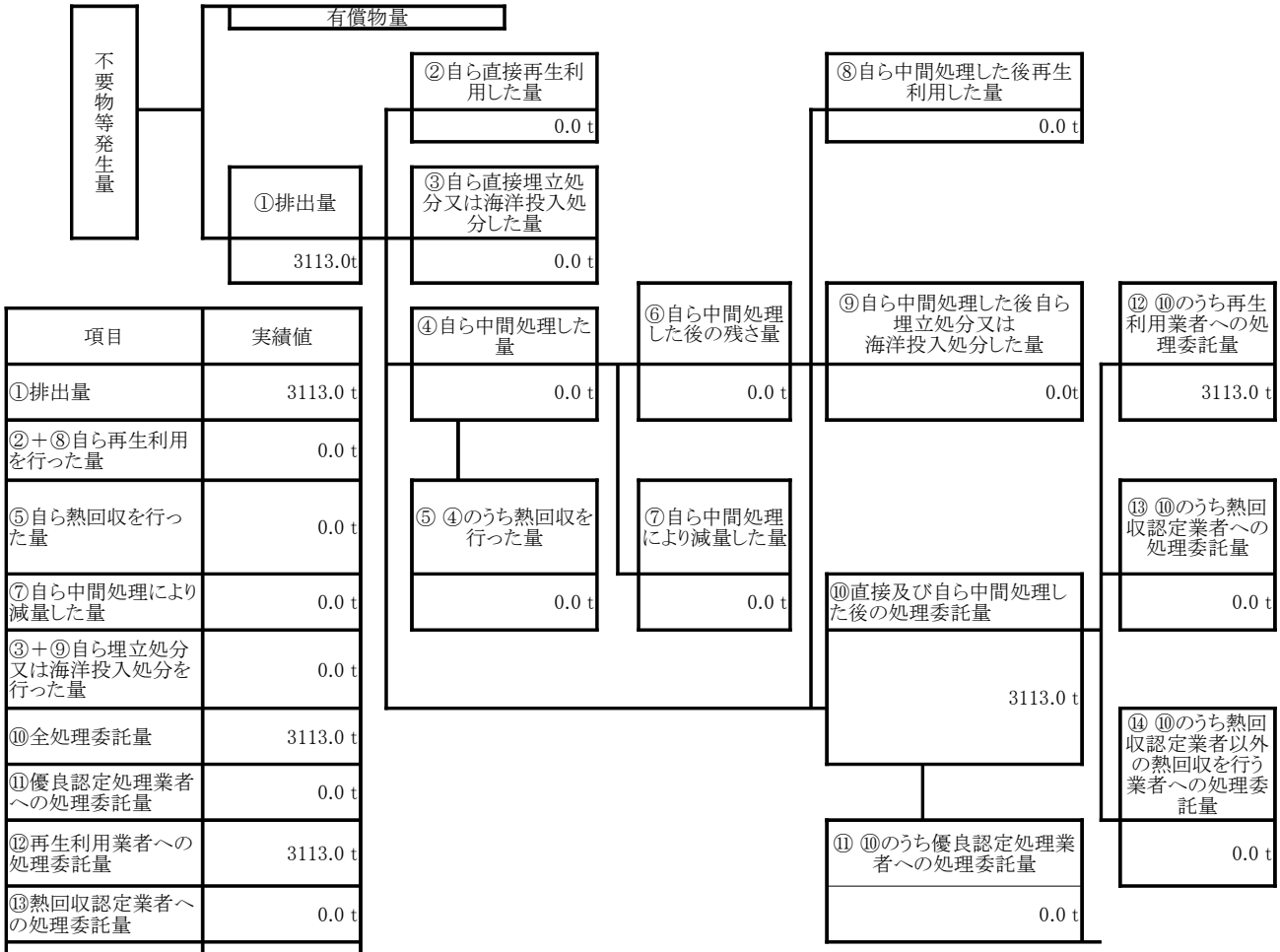
項目	実績値
①排出量	1034.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1034.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1034.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アス・コン片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

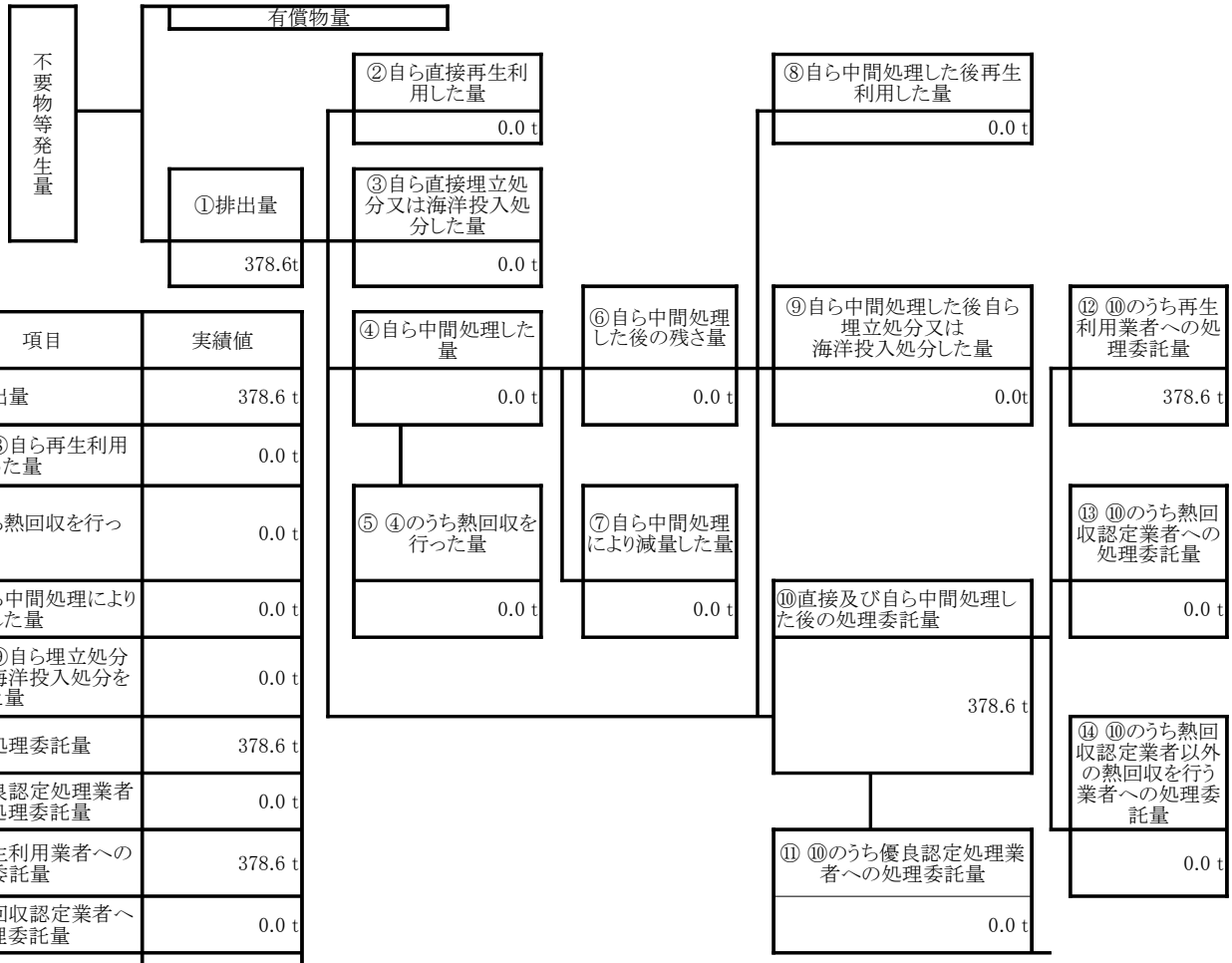


項目	実績値
①排出量	3113.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3113.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3113.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

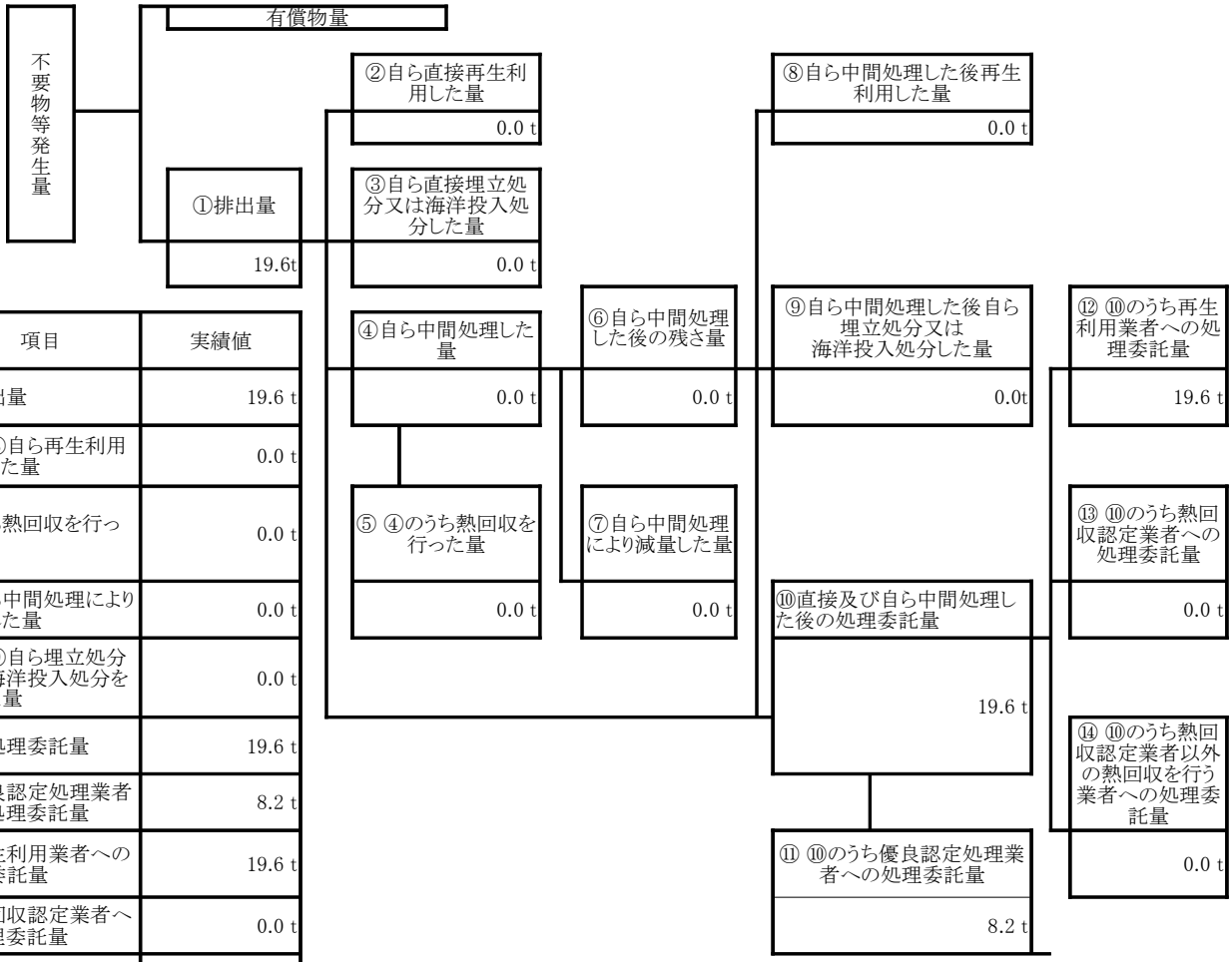


項目	実績値
①排出量	378.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	378.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	378.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	19.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　341-0038

住　所　埼玉県三郷市中央2-40-4

法人名　常盤工業株式会社関東支店

代表者　古谷 斉

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　048-952-3755

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉県内管轄工事
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　総合工事業　中分類：　建設業
②事業の規模	令和6年度　元請完成工事高　1，935百万円
③従業員数	38人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルトがら→破砕→再生骨材→再生合材として再資源化 コンクリートがら→破砕→再生骨材→再生路盤材として再資源化 がれき類→破砕→再生骨材→再生路盤材として再資源化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリートがら
排出量	2113.8 t	22.5 t

（これまでに実施した取組）
発生がれきはすべて再生処理施設に搬出する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリートがら
排出量	1300 t	20 t

（今後実施する予定の取組）
発生廃棄物を最小限にとどめる

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
アスコンがらとコンクリートがらを分別して適切な再生処理工場に搬出しすべて再生砕石、再生合材として処理する

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現状を維持する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリートがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	68.8 t	19.5 t

（これまでに実施した取組）

できるだけ自社工場にて処理する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリートがら
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	200 t	10 t

（今後実施する予定の取組）

再生処理に関する情報収集を行う

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリートがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリートがら
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		アスファルト殻	コンクリートがら
全処理委託量		2045 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2045 t	3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト殻</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1100 t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1100 t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
できるだけ自社工場で処理する</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		排　出　量	9.3 t	6.7 t	211.1 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		排　出　量	10 t	5 t	8 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥						
	全処理委託量	9.3 t	6.7 t	211.1 t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	9.3 t	6.7 t	211.1 t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	がれき類	汚泥						
	全処理委託量	10 t	5 t	8 t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	10 t	5 t	8 t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　341-0038

住所 埼玉県三郷市中央2-40-4

法人名 常盤工業株式会社関東支店

代表者 古谷 斉

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 048-952-3755

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	千葉県内管轄工事
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
事業の種類	大分類　総合工事業　中分類 建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4600 t	全処理委託量	4320 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	280 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

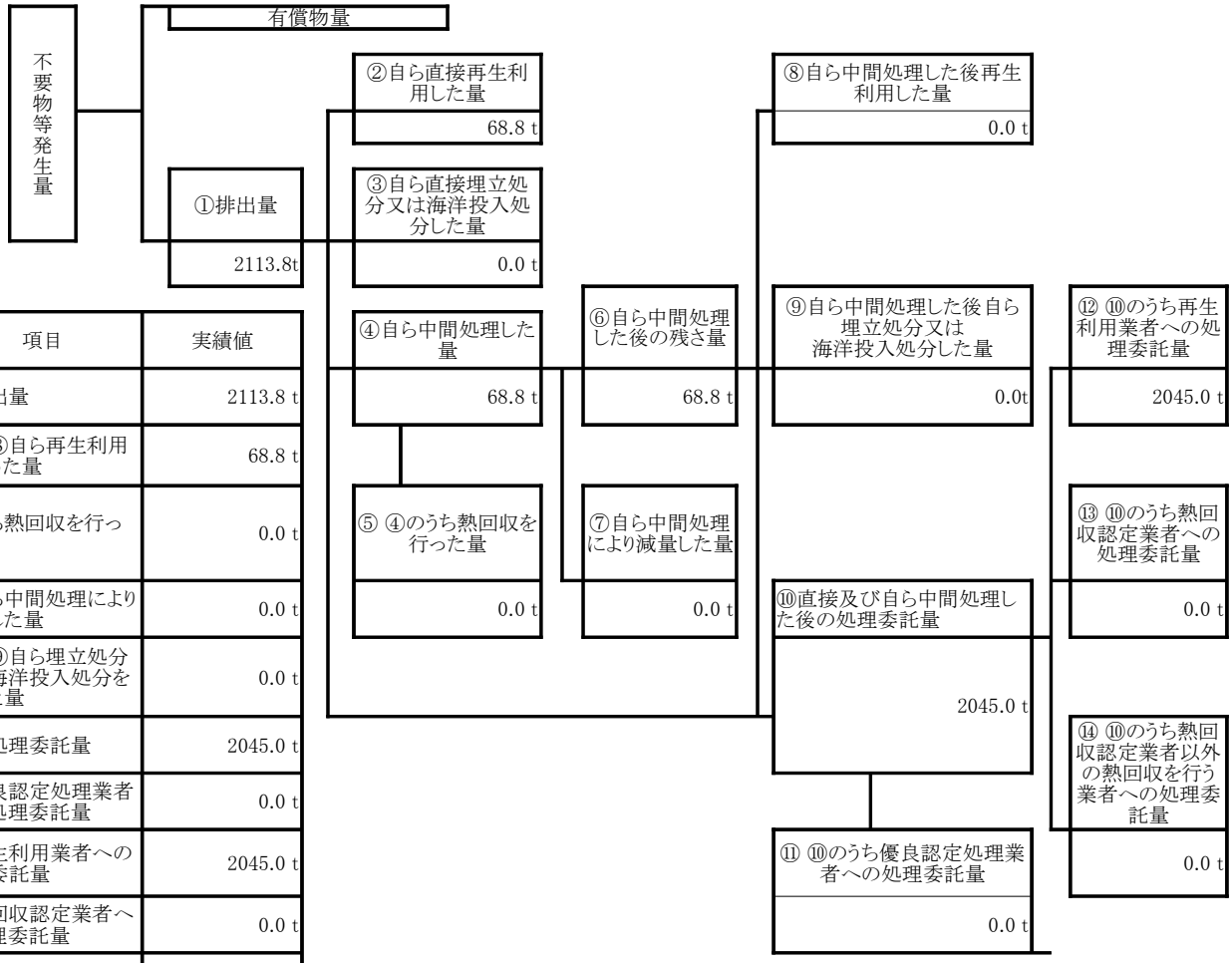
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト殻　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

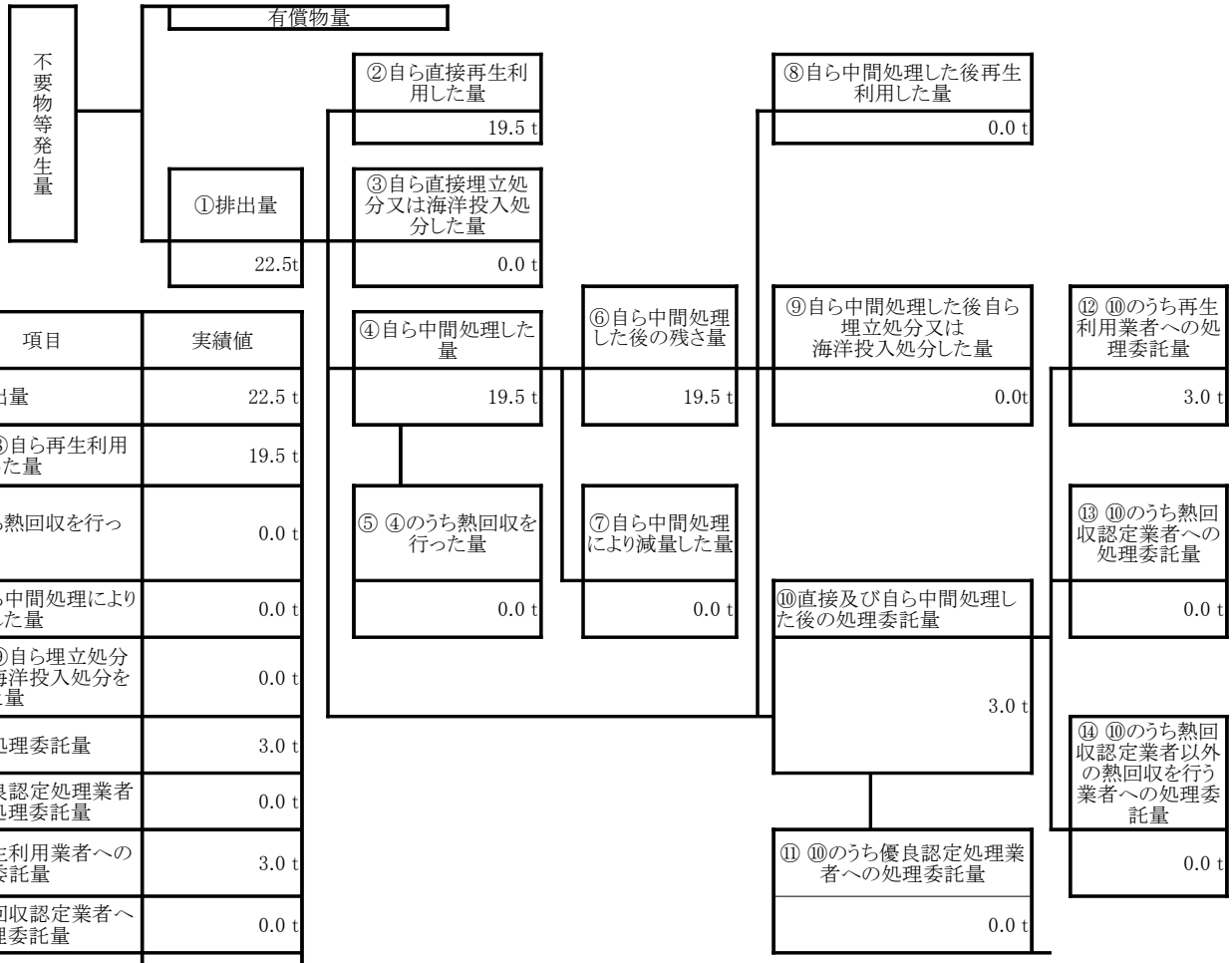


項目	実績値
①排出量	2113.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	68.8 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2045.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2045.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

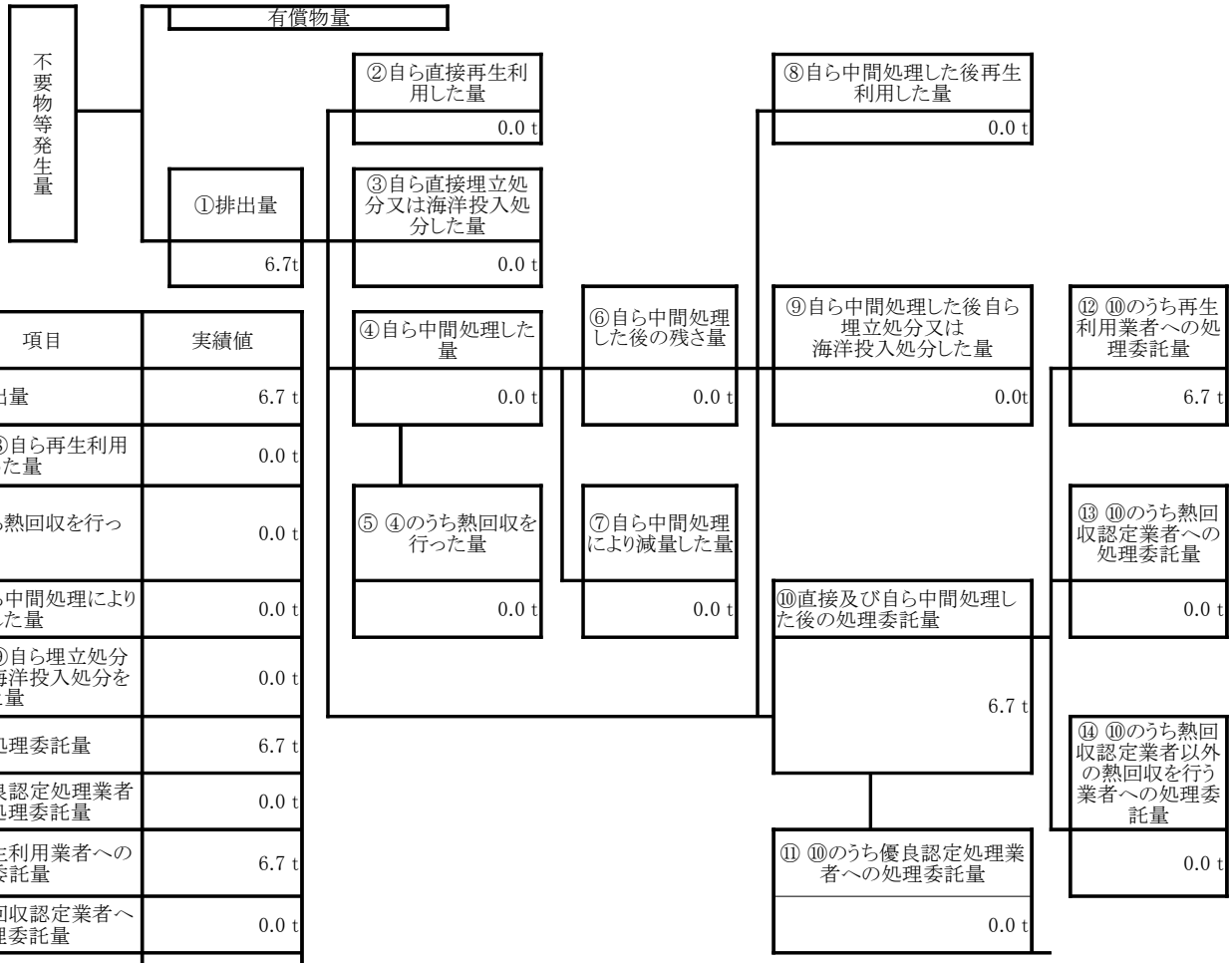


項目	実績値
①排出量	22.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	19.5 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

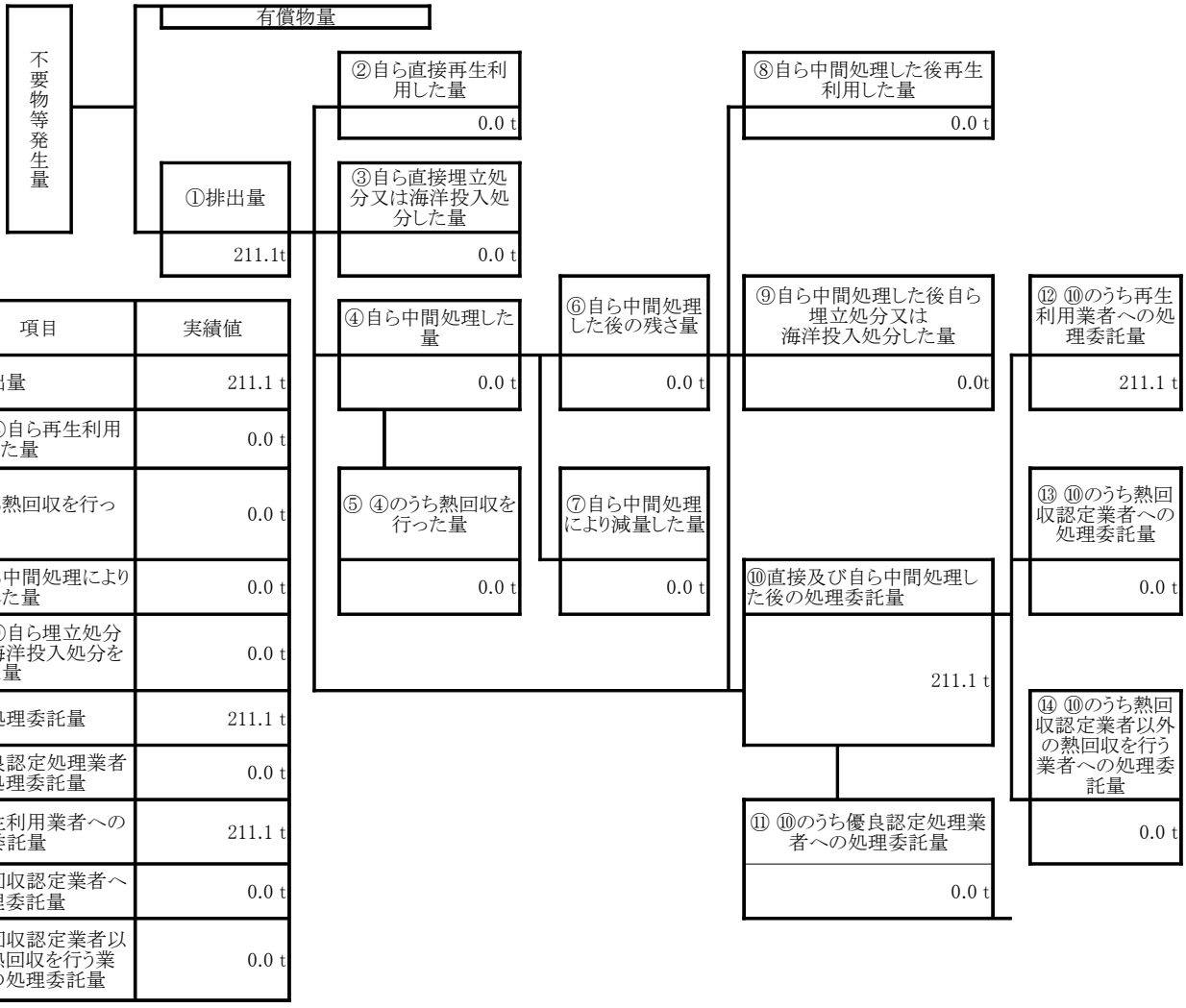


項目	実績値
①排出量	6.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 汚泥 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

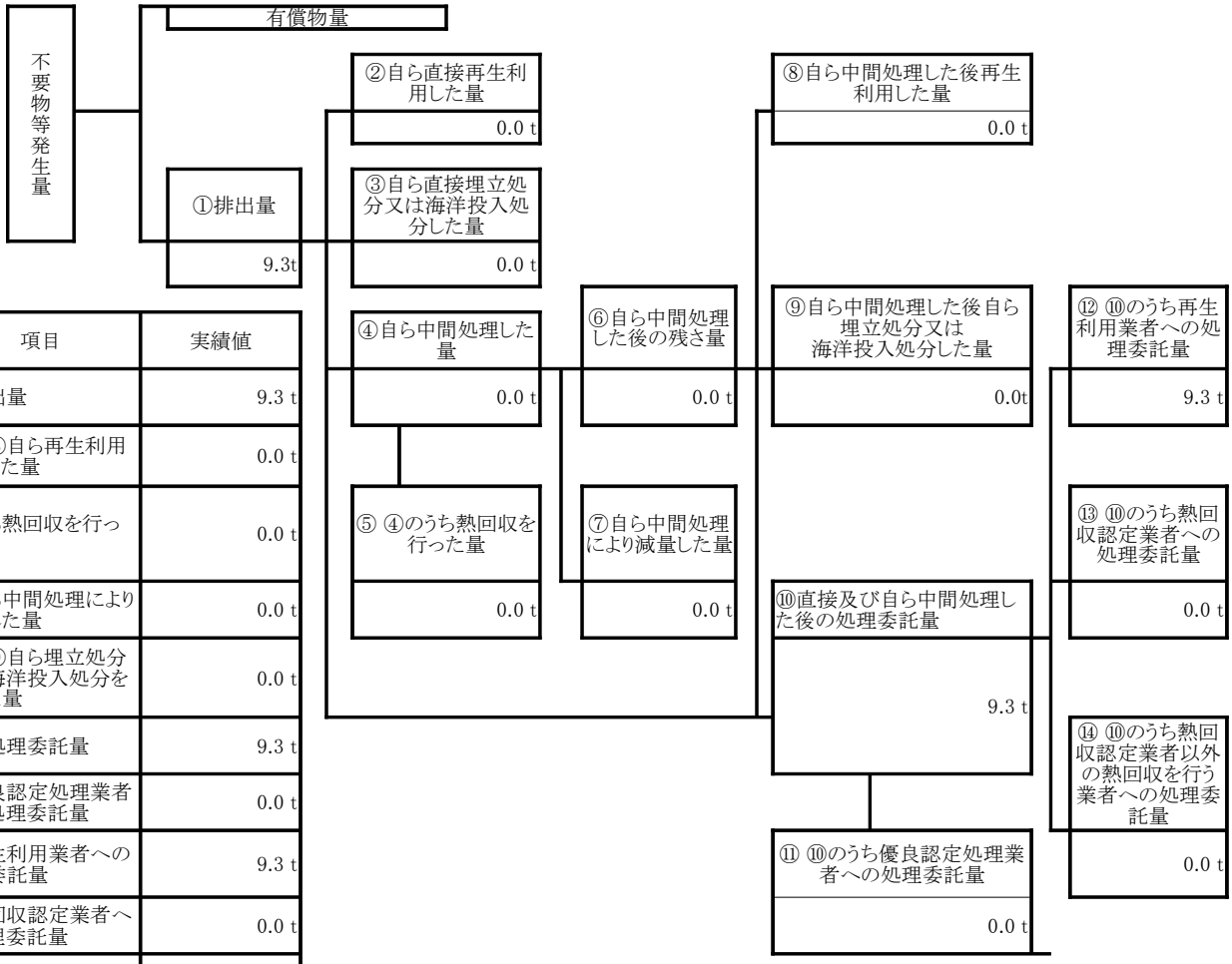


項目	実績値
①排出量	211.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	211.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	211.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	9.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　105-0014

住　所　東京都港区芝2丁目5-6　芝256スクエアビル5階

法人名　株式会社都市テクノ

代表者　島村 智之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-5446-1388

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社都市テクノの解体工事現場
事業場の所在地	東京都港区芝二丁目5-6　芝256スクエアビル5階
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　職別工事業
②事業の規模	元請完成工事高：2,389百万円/年
③従業員数	39人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・石綿含有産業廃棄物→埋立 ・廃プラスチック→破砕・圧縮→再生資源・熱回収 ・木くず→破砕→再資源化 ・ガラス・コンクリート・陶磁器くず→破砕→再資源化・埋立 ・がれき類→破砕→再資源化 ・混合廃棄物その他→破砕・圧縮・圧縮梱包→埋立・再資源化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
工事部統括部長―現場代理人―現場の各作業員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
排出量	284 t	70 t

（これまでに実施した取組）
現場での分別を徹底する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
排出量	284 t	70 t

（今後実施する予定の取組）
引き続き現場分別を徹底する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
内装解体時における手作業での分別
重機を用いたコンクリートガラと付着土のふるい分け

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引き続き現場分別を徹底する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
全処理委託量		284 t	70 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	70 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

現場での分別を徹底し、再生利用業者へ委託する
業者選定時に優良認定業者を優遇し、認定業者の利用を拡大する
電子委託契約の利用を推進する

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td><td>がれき類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>284 ｔ</td><td>70 ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>70 ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
電子委託契約の利用をさらに推進する
また、事業計画段階での発生材排出抑制の提案や、
発生材の自ら利用についても模索する</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　105-0014

住所　東京都港区芝二丁目5-6　芝256スクエアビル5階

法人名 株式会社都市テクノ

代表者 島村 智之

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5446-1388

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社都市テクノの解体工事現場
事業場の所在地	東京都港区芝二丁目5-6　芝256スクエアビル5階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 職別工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7318.8 t	全処理委託量	7318.8 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	337.6 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	7184.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

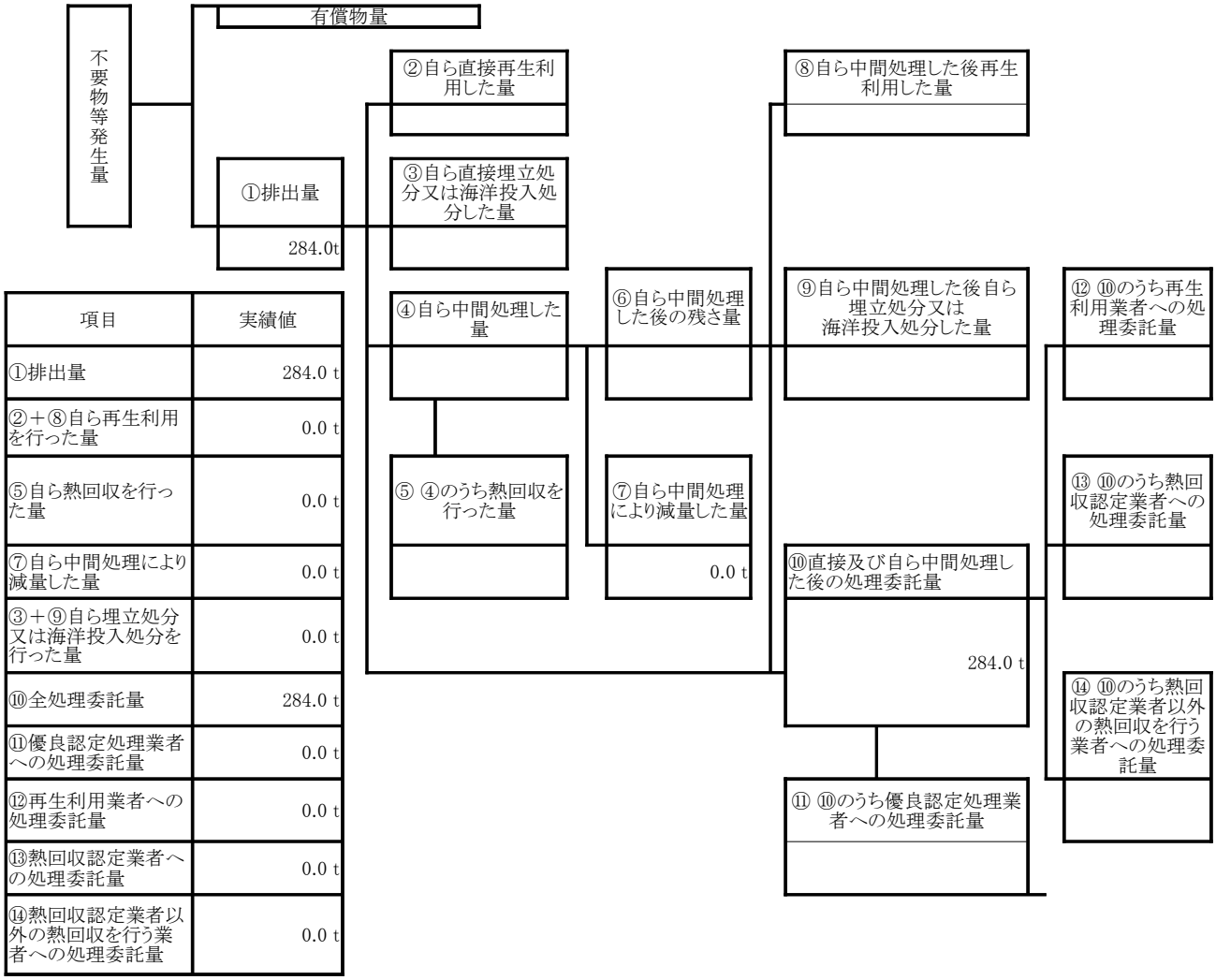
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

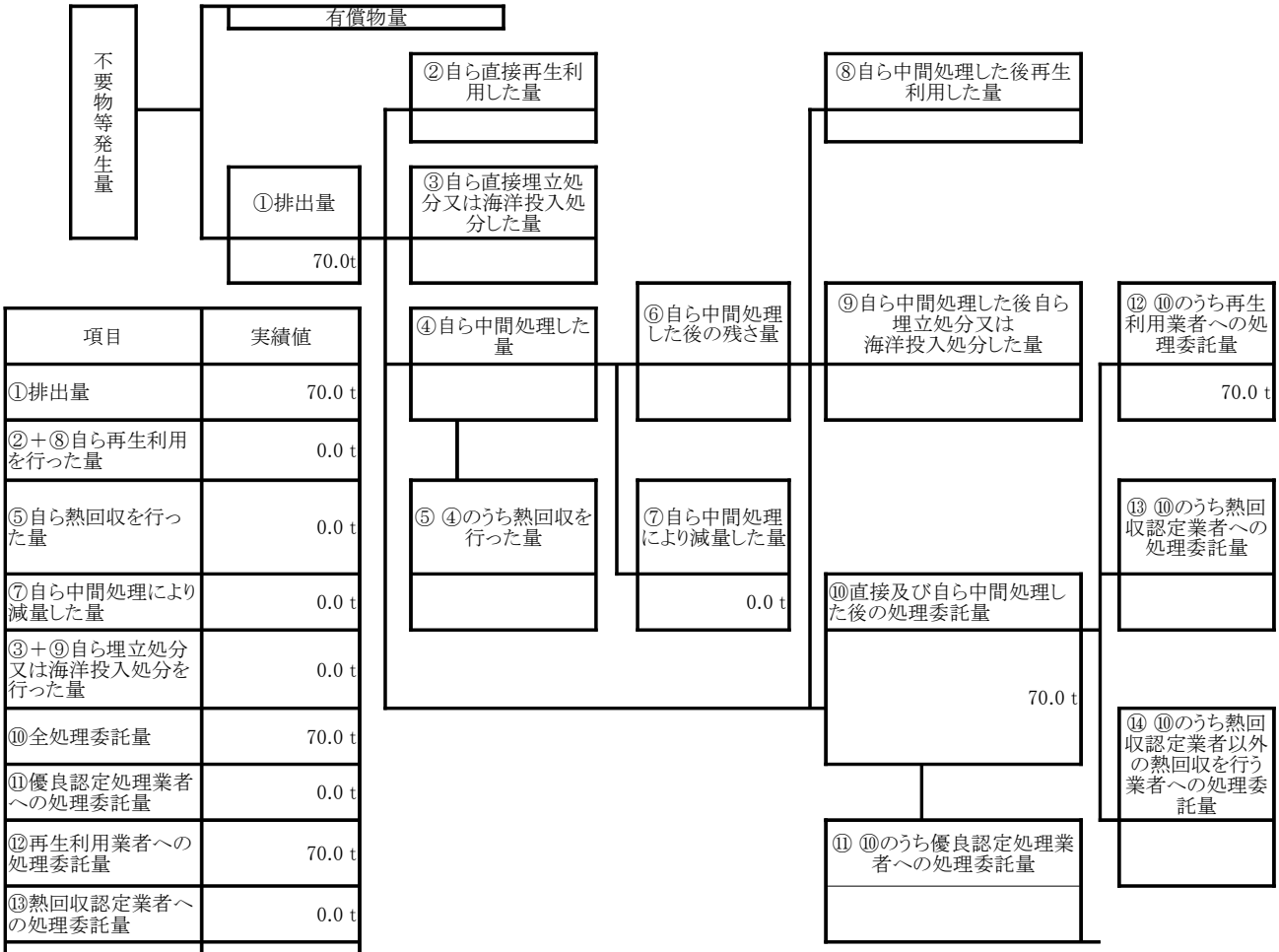


項目	実績値
①排出量	284.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	284.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	70.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	70.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	70.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月9日

千葉県知事　殿

提出者
住　所　千葉市中央区本千葉町１５－１
京成千葉中央ビル　６階
氏　名　戸田建設株式会社千葉支店
支店長　近藤　修介

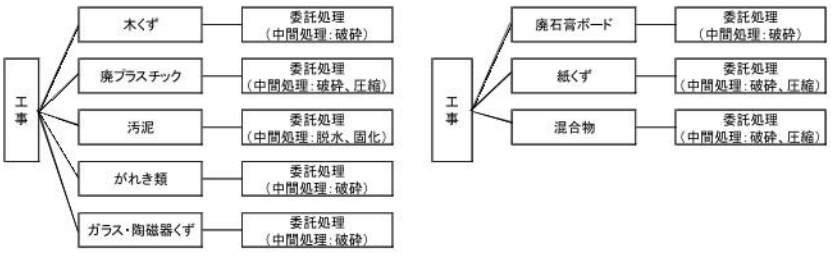
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０４３－３０７－８５７９

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	戸田建設株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区本千葉町１５－１　京成千葉中央ビル６階
計画期間	令和７年４月１日から令和８年３月３１日

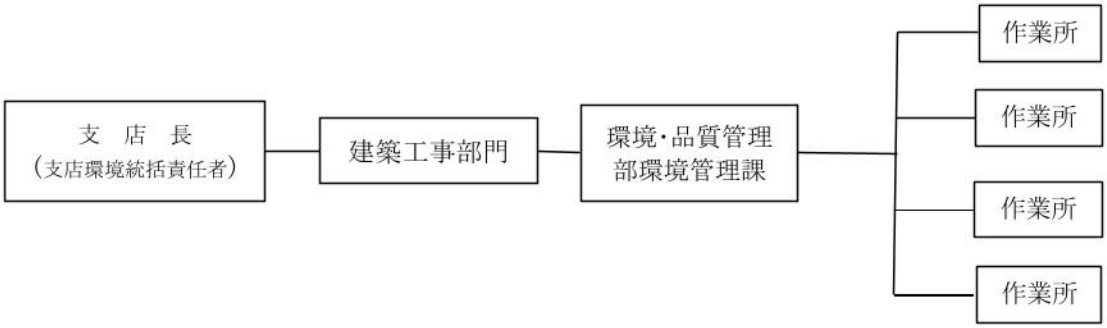
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類:建設業　中分類：総合工事業 小分類:一般土木建築工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　12,174百万円
③従業員数	１４５人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
排　　出　　量	18,795.45　t	t

（これまでに実施した取組）
環境管理システムで以下の計画について管理を実施した。
・施工方法の検討、産廃処理計画、有価物等で削減の計画を管理。
・種類毎の排出量を計画、排出総量とリサイクル率の目標値を設定
【評価】
排出総量の実績は目標値の130%と超過してしまった。要因としては、汚泥が計画値より多く発生してしまったため。リサイクル率は目標85.0%に対し91.8%であり、達成した。また、電子マニフェスト率100%、電子契約普及率93.1%であった。

②計画

【目標】

＞	別紙の通り	
排　　出　　量	14,660.00　t	t

（今後実施する予定の取組）
・今年度も引続き簡易包装、スクラップ等の有価物での排出、メーカーリサイクル、プレカットの推進、繰返使用が可能な容器での産廃回収等の削減計画を環境システムで目標管理する。
・前年度は目標達成出来たので、リサイクル率については87.5%以上を目標とする。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
石膏ボード･木屑･プラスチック類･金属･段ボール･コンクリート塊
ｶﾞﾗｽ及び陶磁器等の分別保管を徹底し、再資源化施設での処理を推進した。金属、段ボールの有価物業者への排出を推奨した。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
前年同様に分別保管を徹底する。特に廃プラは再資源化に適した分別を重点的に指導し、メーカーリサイクル、金属屑、段ボールの有価物業者への排出を推進する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>該当なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>該当なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>該当なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>該当なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当なし</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	該当なし	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

該当なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	該当なし	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

該当なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
全処理委託量	18,795.46 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	878.10 t	t
再生利用業者への処理委託量	28.20 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

前年度同様、実績が有る処理業者の中から以下の内容を審査し選定し、委託可能な業者として環境管理システムに登録した。
・許可証で事業の範囲等の審査、施設の処理状況を確認。
・適切な二次処理先、再生委託先及び最終処分先を複数確保し、適正処理が出来る施設を有した処理業者。
・電子マニフェストを利用している業者に限定。
・リサイクル率が高く電子契約が可能な業者を優先した。
委託状況は環境管理システムで管理した。
処理状況の確認は電子マニフェスト情報を随時、監視し管理した。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>14,660.46 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>684.92 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>22.0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

前年同様、環境管理システムにより委託契約締結、処理施設の現地調査の確認等、法的要求事項及び下記の管理を行う。
・審査により適正と判断された業者との処理委託。
・電子マニフェスト利用率100%を継続。（前年度は100%達成）
・電子委託契約の推進を継続し、利用率９２%以上を目標とする。
・電子マニフェスト情報を監視し、現場毎の処理状況や実績を管理。
・建設リサイクル法届出の確認、関係法令の確認と厳守。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	全体	廃プラ	金属	ガラス陶磁器	がれき類	紙くず	木	混合	石綿含有廃棄物	その他廃棄物	汚泥
	排　出　量	18795.46t	106.57t	3.72t	320.88t	2448.10t	21.11t	142.87t	188.38t	21.99t	5.44t	15536.40t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	全体	廃プラ	金属	ガラス陶磁器	がれき類	紙くず	木	混合	石綿含有廃棄物	その他廃棄物	汚泥
	排　出　量	14660.46t	83.12t	2.90t	250.29t	1909.52t	16.47t	111.44t	146.94t	17.15t	4.24t	12118.39t

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	該当なし										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	該当なし										
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	該当なし										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	該当なし										
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	該当なし										
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	該当なし										
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	全体	廃プラ	金属	ガラス陶磁器	がれき類	紙くず	木	混合	石綿含有廃棄物	その他廃棄物	汚泥
	全処理委託量	18795.46t	106.57t	3.72t	320.88t	2448.10t	21.11t	142.87t	188.38t	21.99t	5.44t	15536.40t
	優良認定処理業者への処理委託量	878.10t	104.07t	3.72t	221.13t	271.10t	18.96t	55.26t	181.63t	21.99t	0.24t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	28.20t	t	t		t	0.90t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	全体	廃プラ	金属	ガラス陶磁器	がれき類	紙くず	木	混合	石綿含有廃棄物	その他廃棄物	汚泥
	全処理委託量	14660.46t	83.12t	2.90t	250.29t	1909.52t	16.47t	111.44t	146.94t	17.15t	4.24t	12118.39t
	優良認定処理業者への処理委託量	684.92t	81.17t	2.90t	172.48t	211.46t	14.79t	43.10t	141.67t	17.15t	0.19t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	22.00t	t	t		t	0.70t	21.29t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月9日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0014

住所　千葉県千葉市中央区本千葉町15-1 京成千葉中央ビル6F

法人名 戸田建設株式会社千葉支店

代表者 近藤 修介

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-307-8579

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	戸田建設株式会社千葉支店
事業場の所在地	千葉市中央区本千葉町　15－1　京成千葉中央ビル6階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

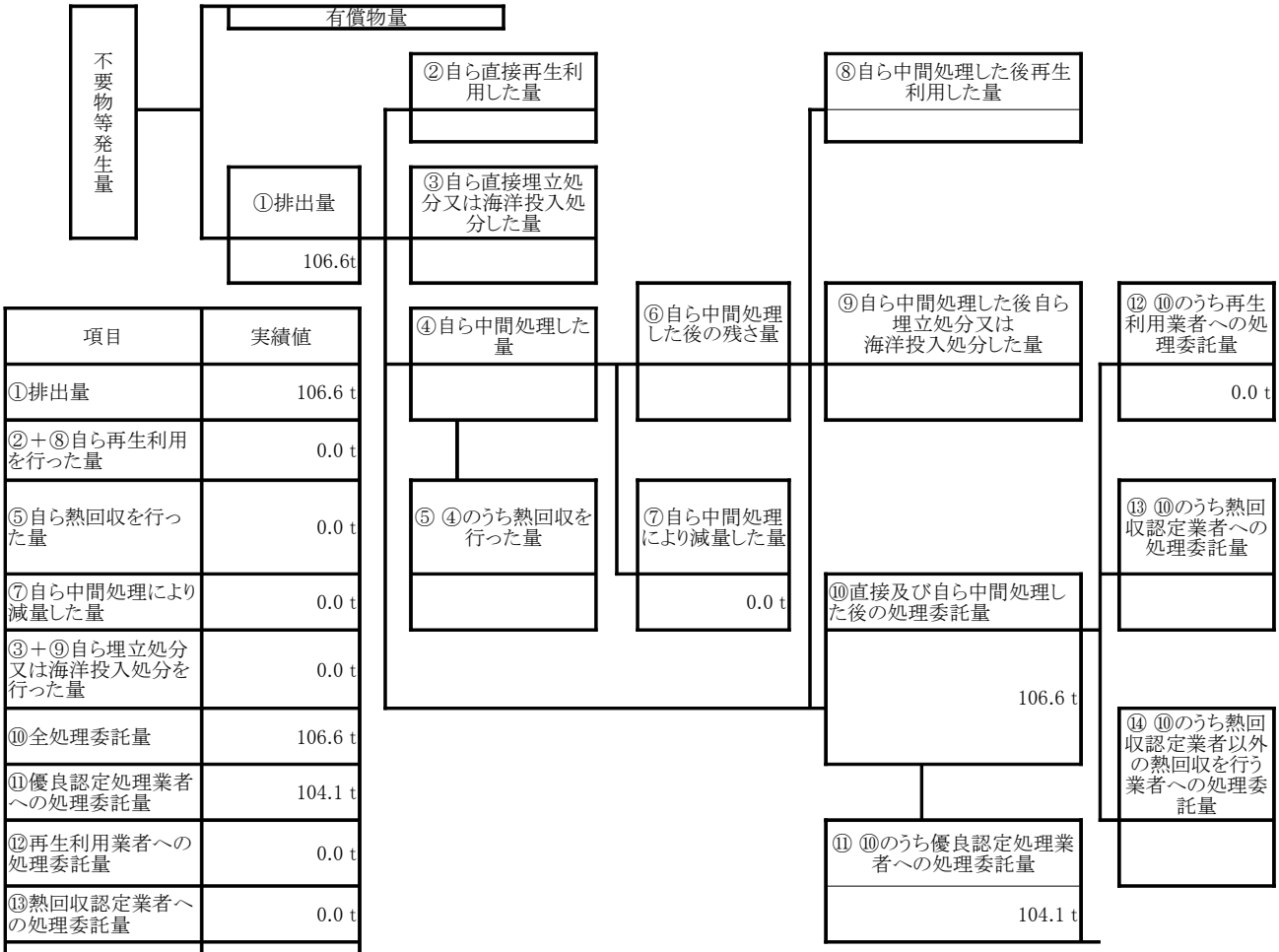
項目	目標値	項目	目標値
排出量	14405 t	全処理委託量	14405 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1510 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	80 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

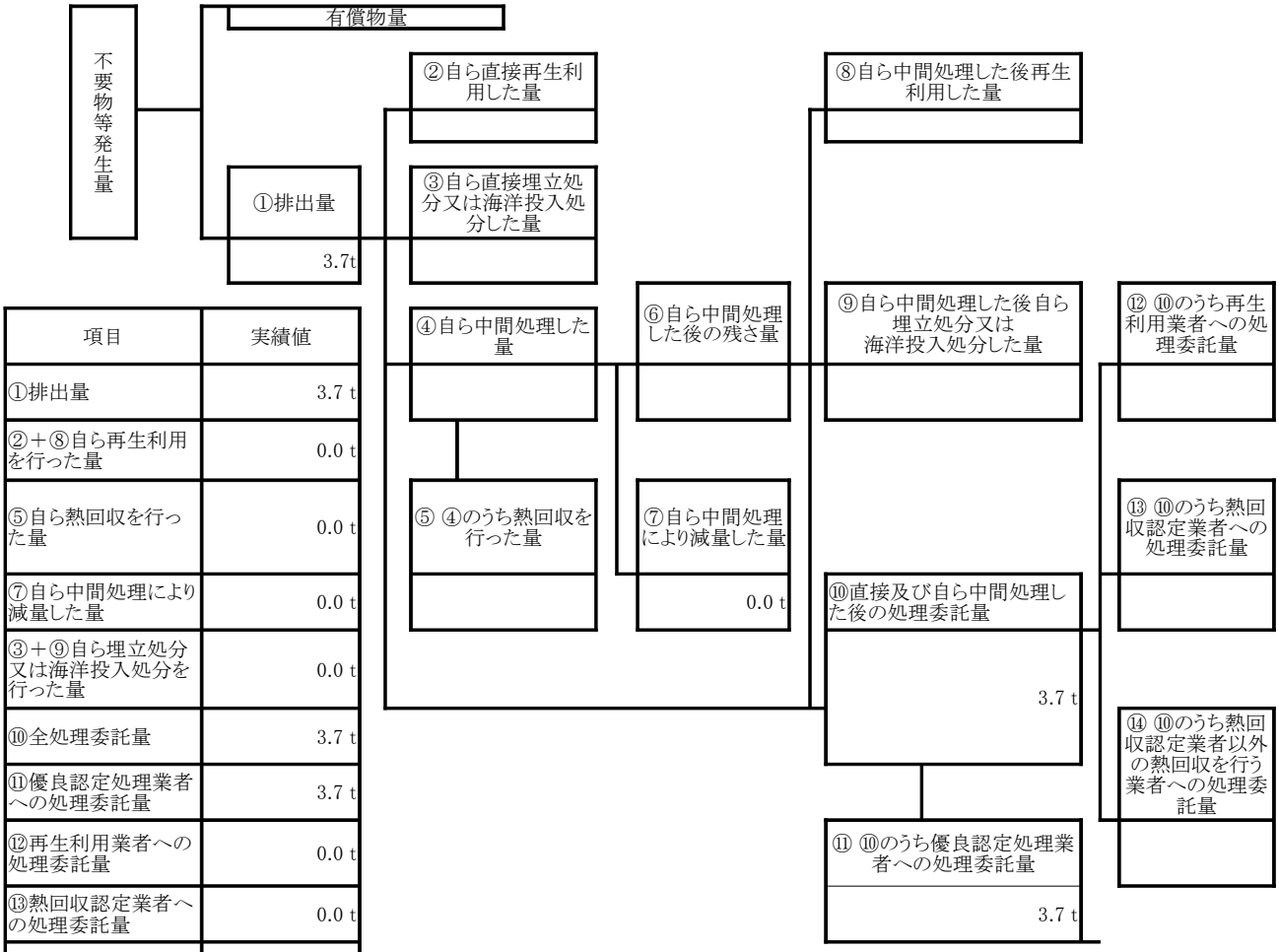


項目	実績値
①排出量	106.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	106.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	104.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



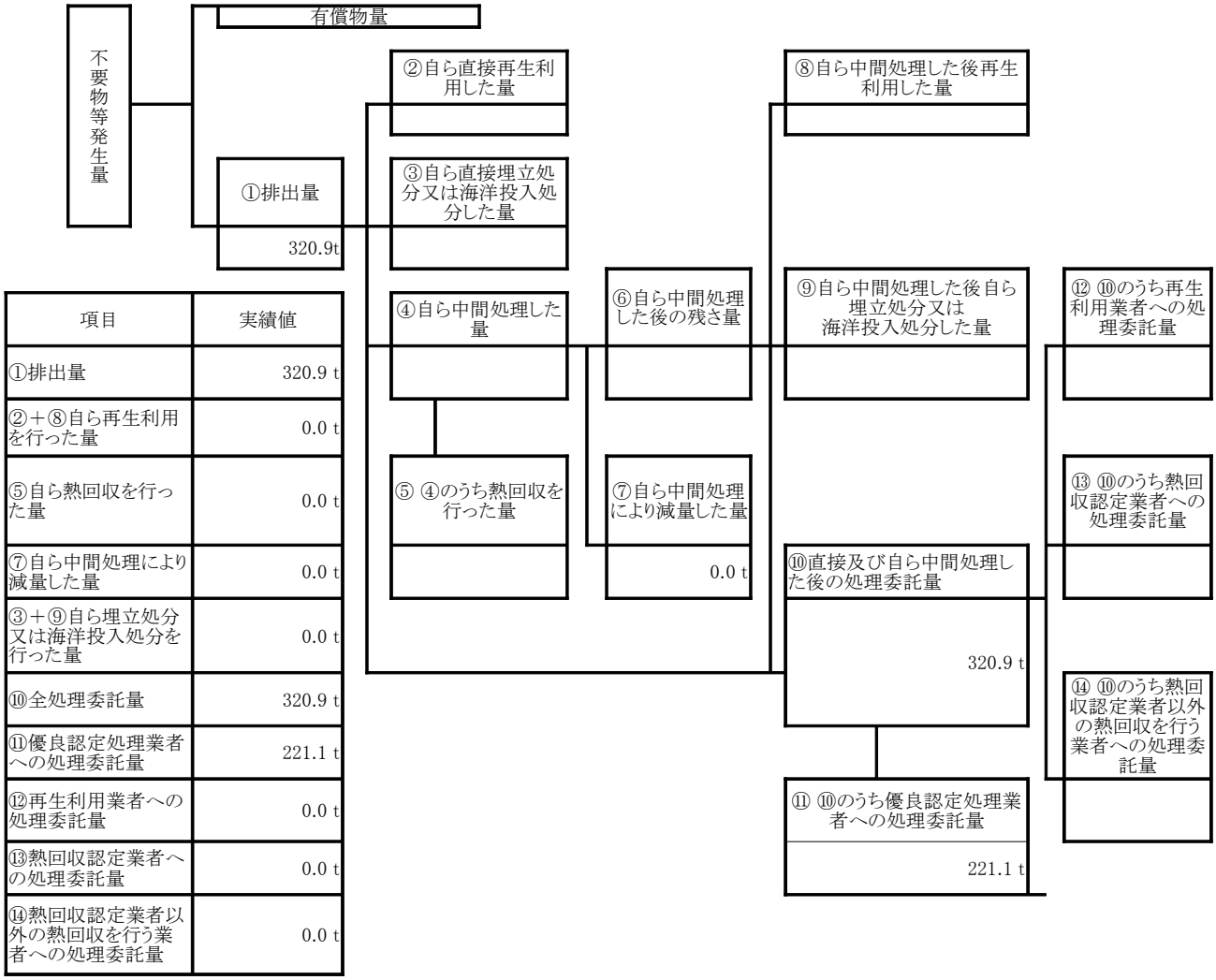
項目	実績値
①排出量	3.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



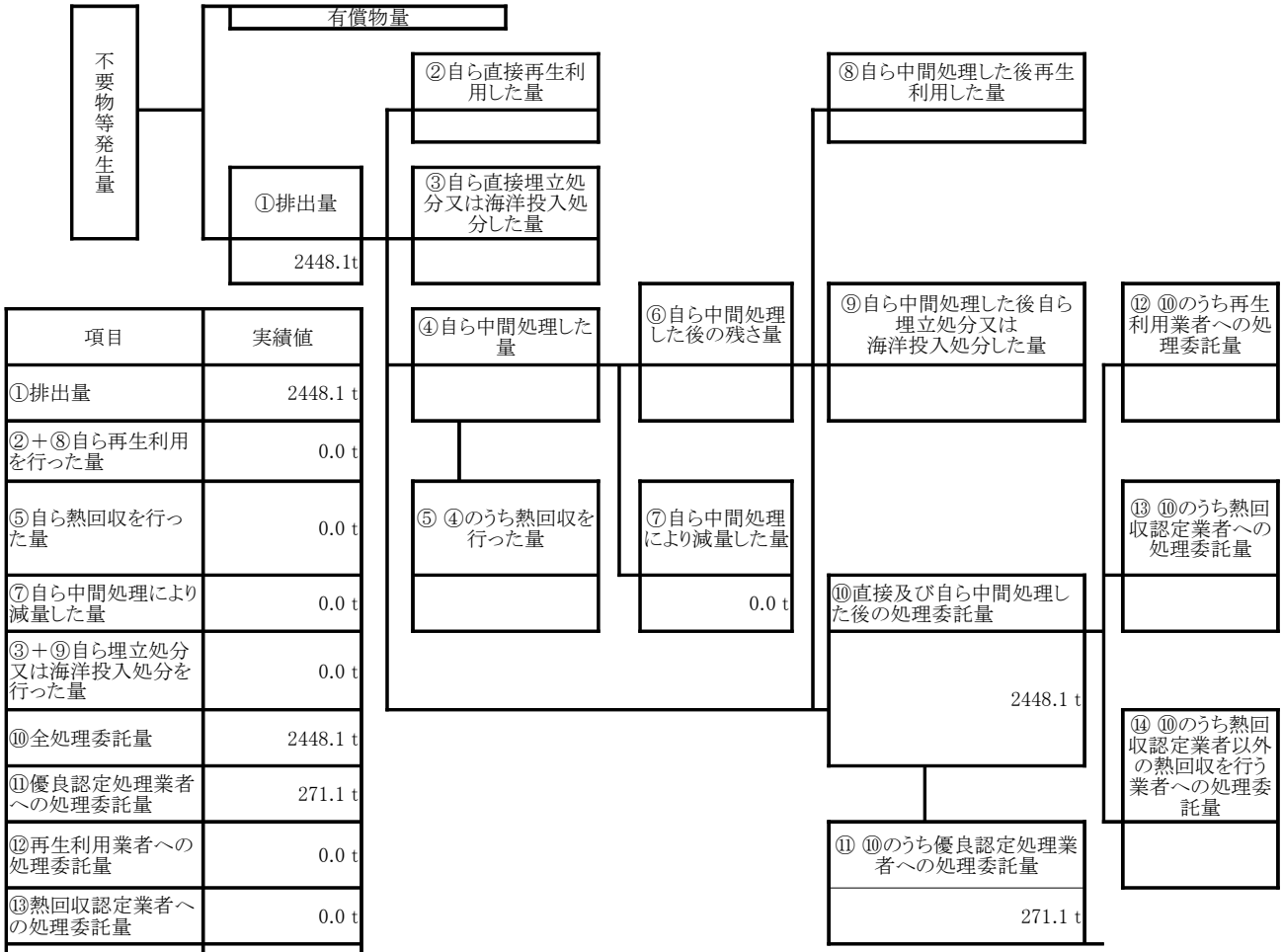
項目	実績値
①排出量	320.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	320.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	221.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



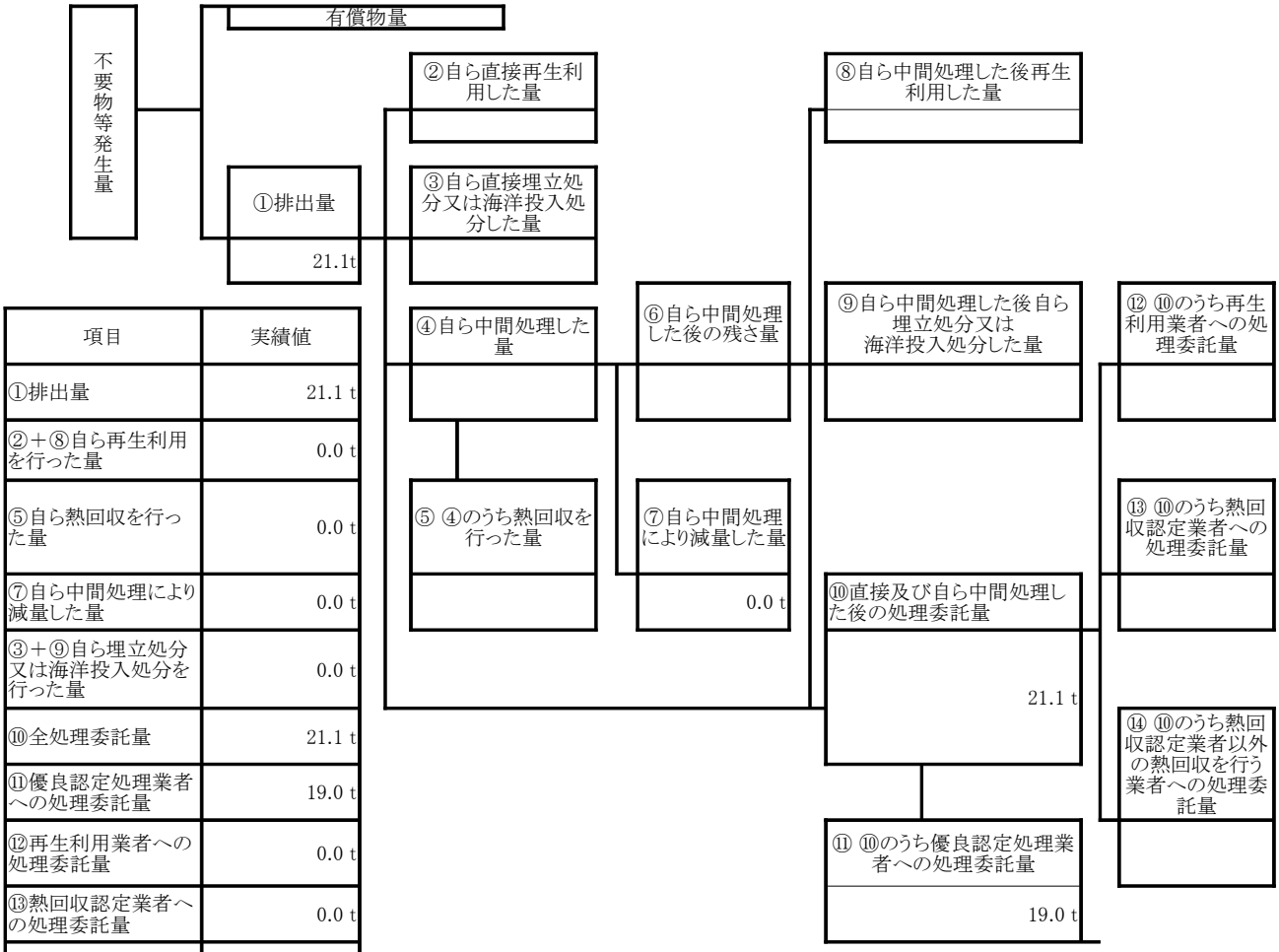
項目	実績値
①排出量	2448.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2448.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	271.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



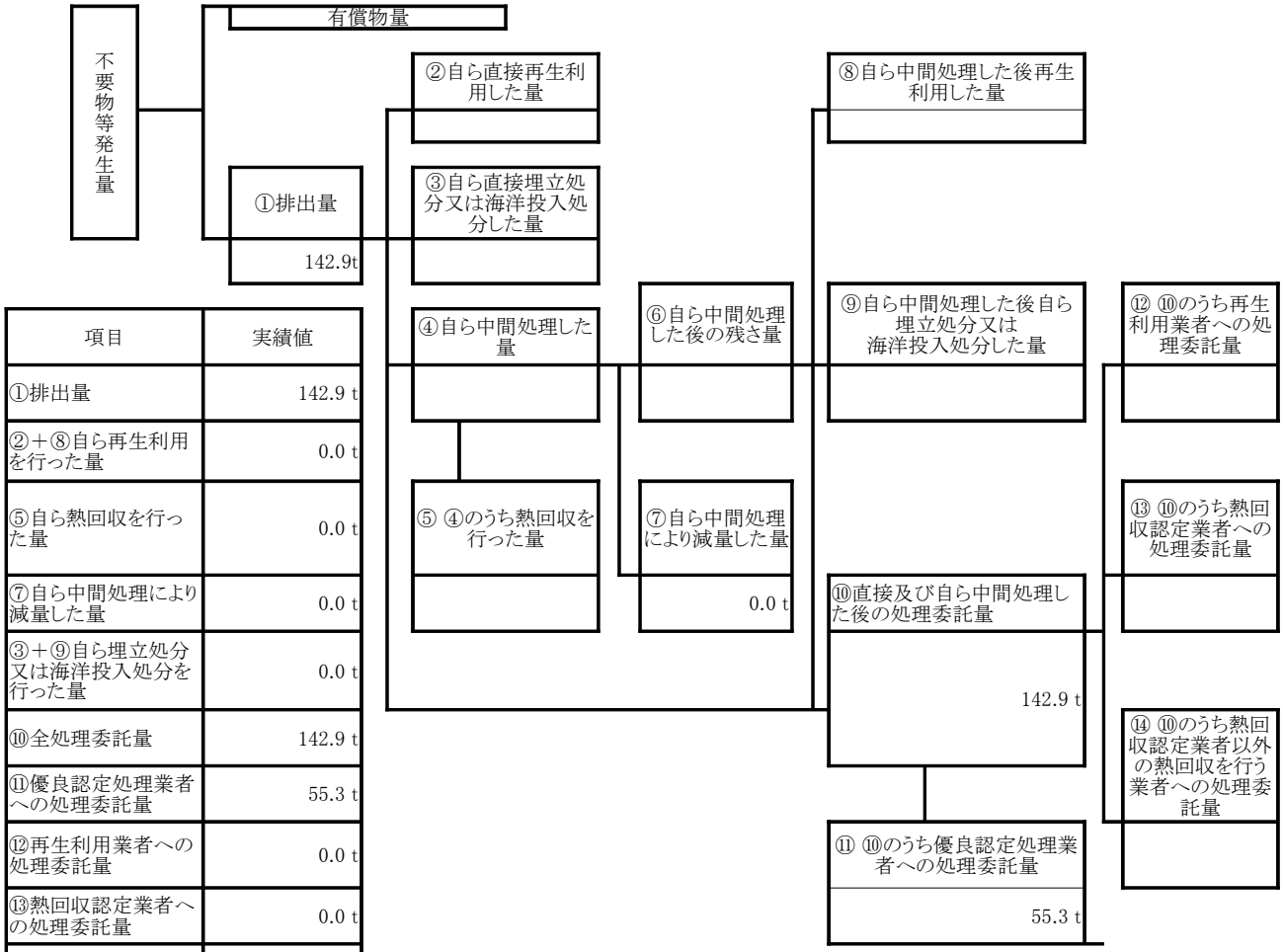
項目	実績値
①排出量	21.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



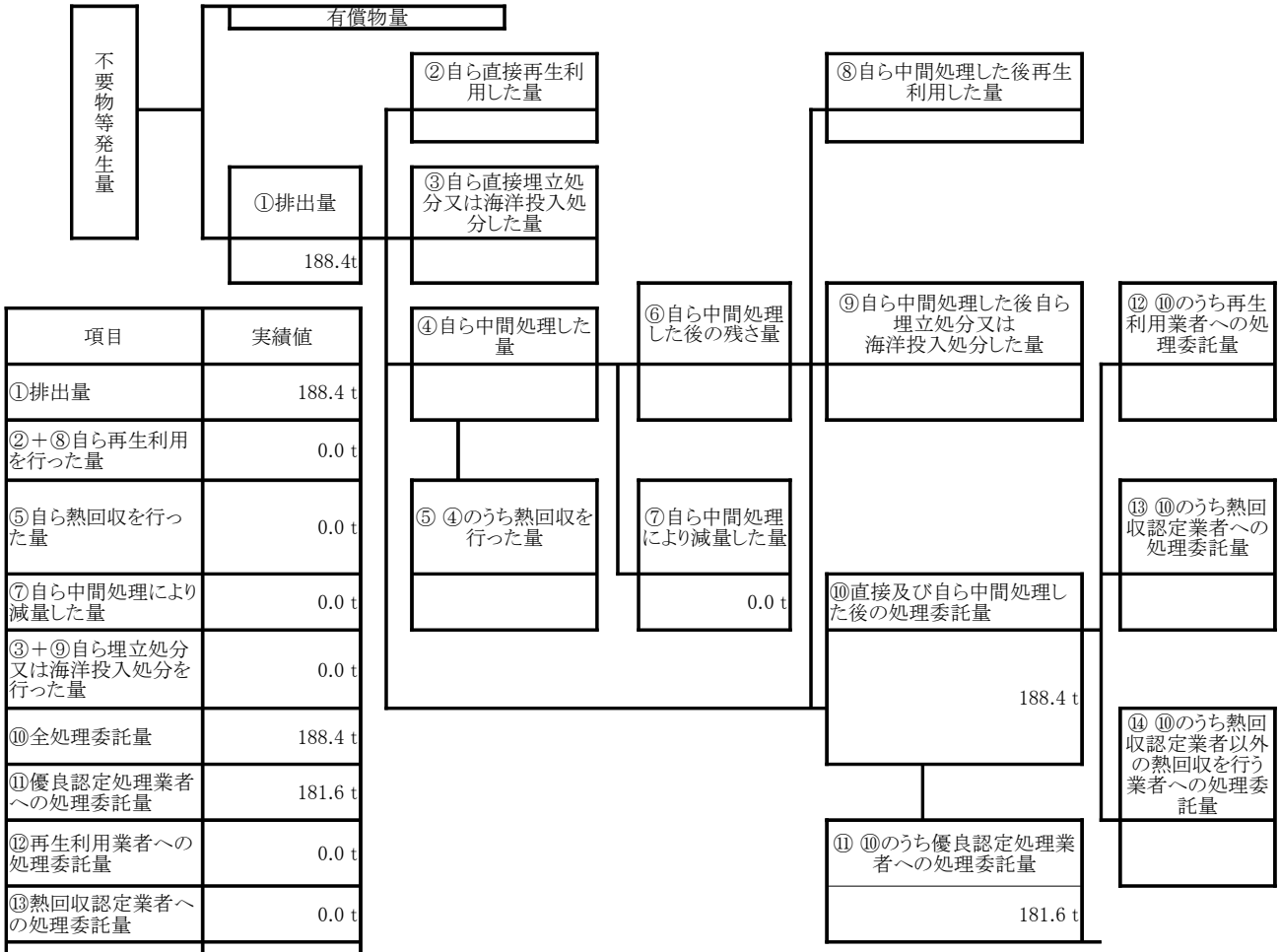
項目	実績値
①排出量	142.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	142.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



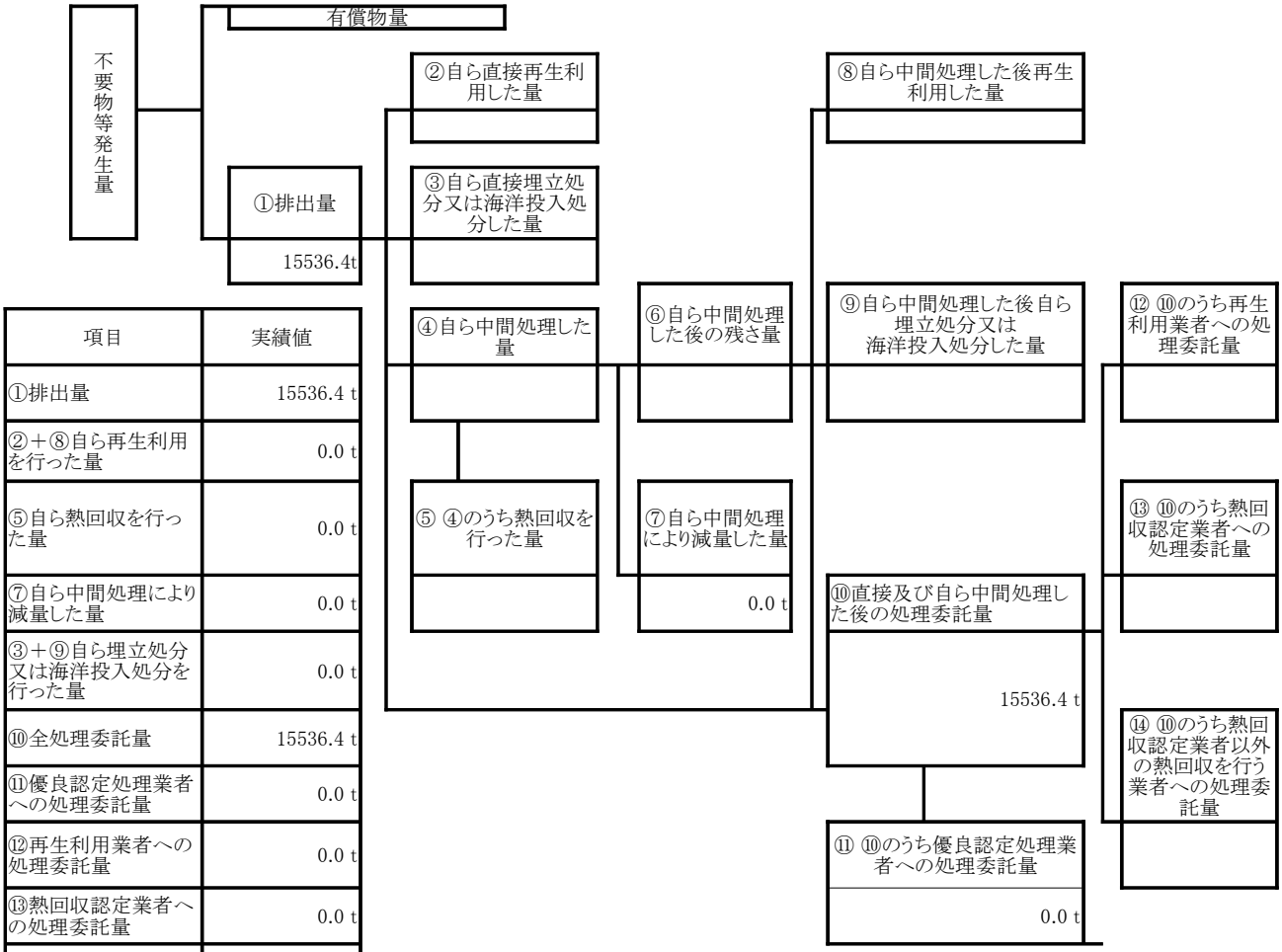
項目	実績値
①排出量	188.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	188.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	181.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

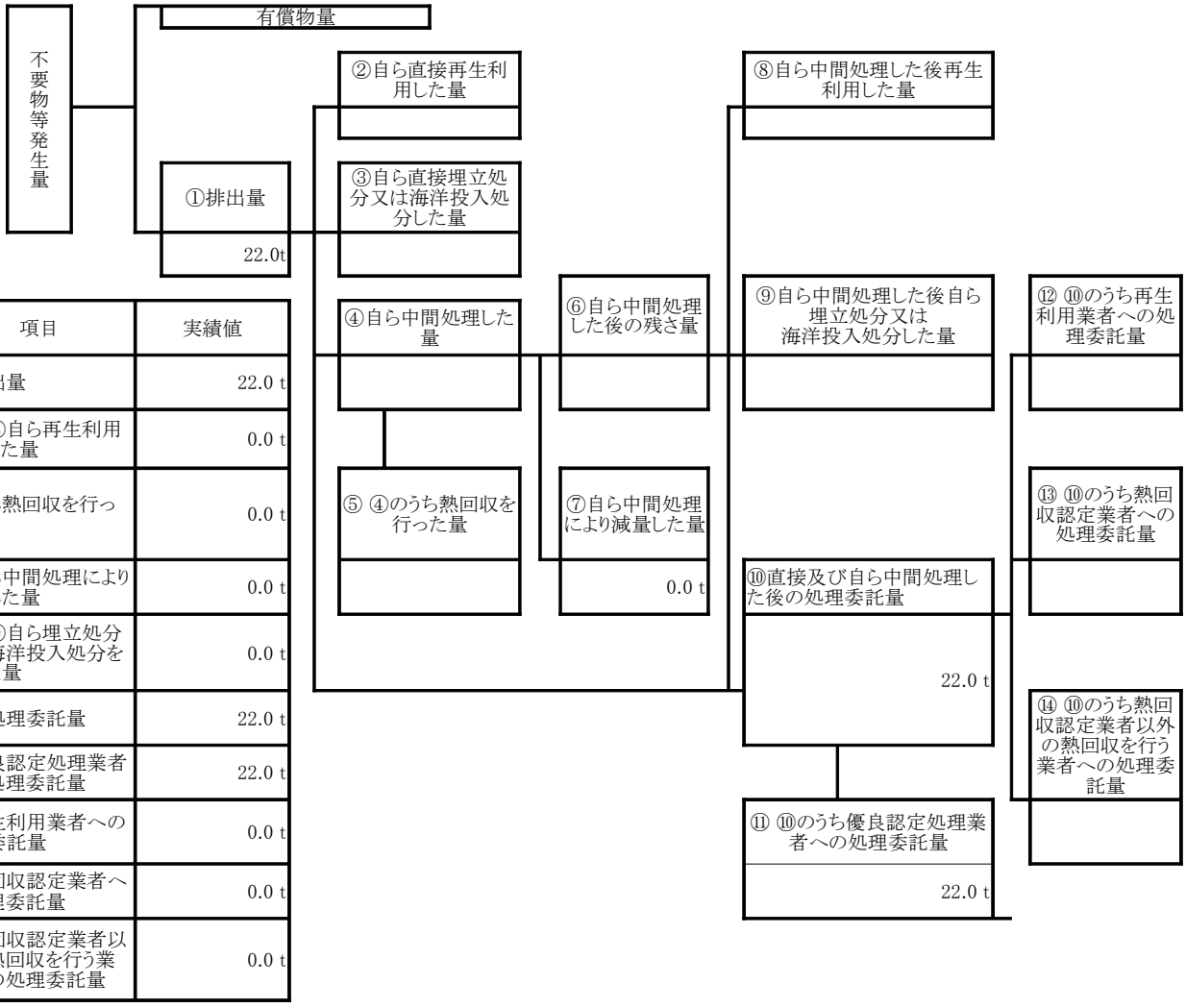


項目	実績値
①排出量	15536.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15536.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石綿含有産業廃棄物　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



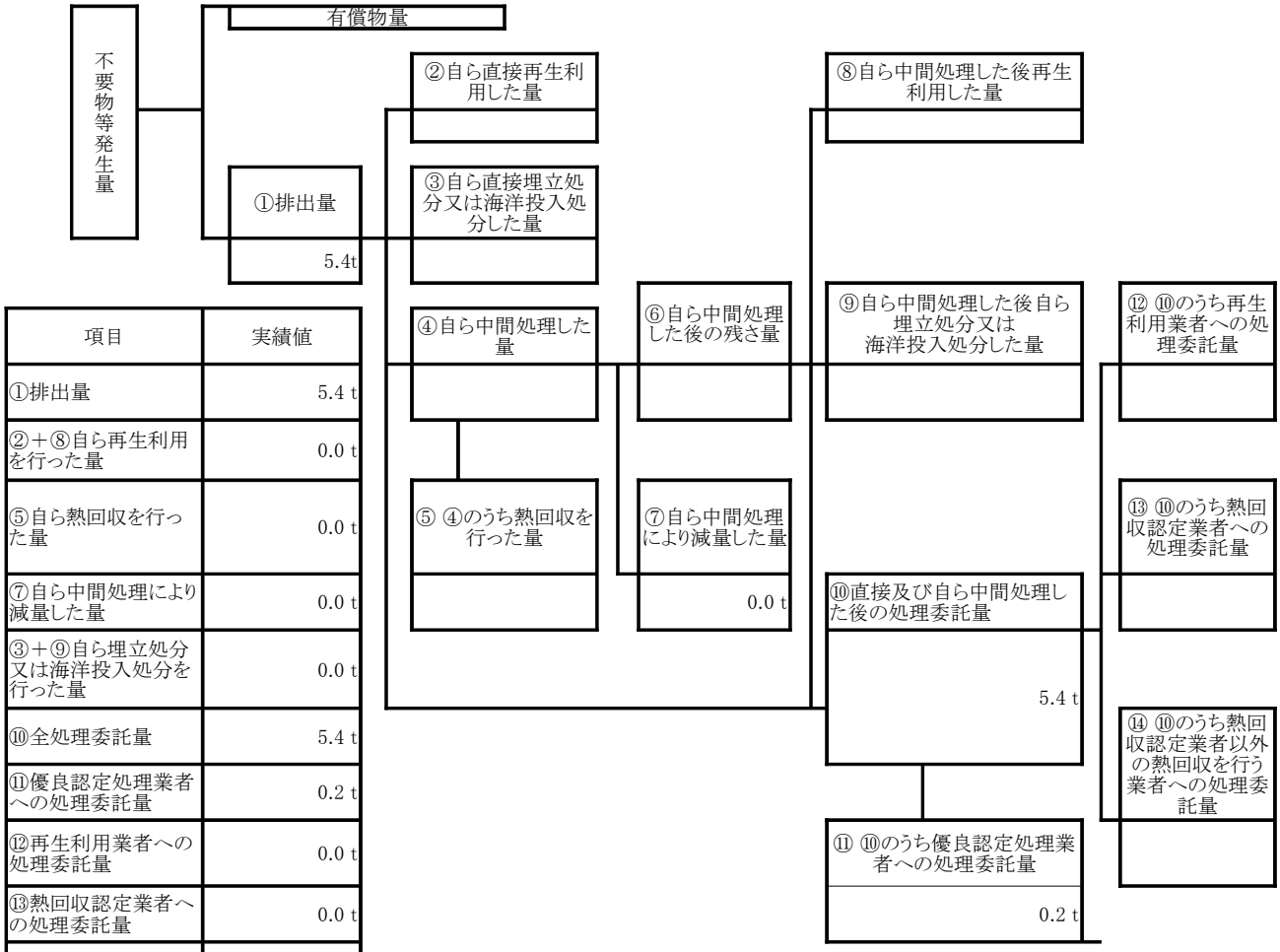
項目	実績値
①排出量	22.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	5.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月20日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都中央区京橋１－７－１

氏 名　戸田建設株式会社首都圏土木支店

常務執行役員支店長　福島博夫

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3535-1585

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	戸田建設株式会社　首都圏土木支店
事業場の所在地	東京都中央区京橋１－７－１
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類→建設業、中分類→総合工事業
②事業の規模	31,967百万円　　（2024年度完成工事高）
③従業員数	290名　（2025年3月31日）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
・建設資材のプレキャスト化等による廃材発生の削減
・搬入資機材の梱包材の削減
・資材の転用
・現場での分別

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・建設資材のプレキャスト化等による廃材発生の削減
・搬入資機材の梱包材の削減
・資材の転用
・現場での分別

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、廃プラ、金属、木くず、
現場での分別の徹底

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、廃プラ、金属、木くず、
現場での分別の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組） 同利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も同利用は行わない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組） 同処理は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組） 今後も同処理は行わない。		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

同処理は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

今後も同処理は行わない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・作業所に近い処分場を事前により確認して、信頼性、実績、規模、リサイクル率などの条件を満足する施設に処理委託した。
・優良業者に優先して委託した。
・電子マニフェストを運用し処理の管理状況を向上する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・処理委託施設の定期的な視察実施、最終処分先の確認する。（継続実施）
・電子マニフェスト対応業者を優先的に採用する。（継続実施）
・電子委託契約の推進。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

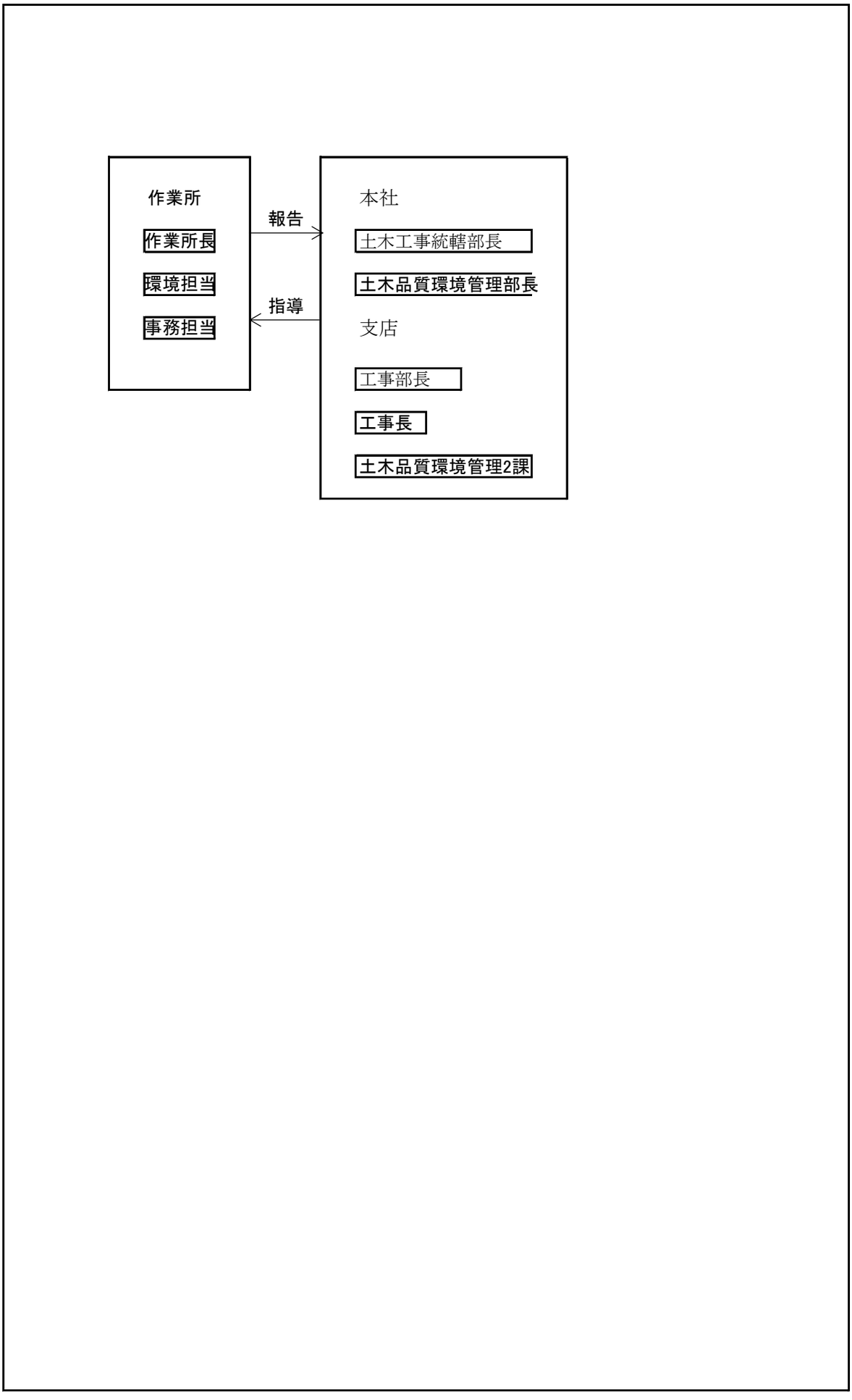
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

	品目	処理工程
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事	
	廃油（重油）	中間処理業者へ委託して燃料（重油）として再生
	廃プラスチック	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	紙くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	木くず	再生処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	繊維くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化
	がれき類（コンクリート塊）（アスファルト・コンクリート塊）	再生処理業者へ委託して破砕して再生砕石として再資源化
	建設系混合廃棄物	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化及び最終処分
	石綿含有産業廃棄物	安定型最終処分場へ埋立（管理型となる付着物がないもの） 管理型最終処分場へ埋立（石膏ボード、木など付着物）
	新築工事	
	汚泥	再生処理業者へ委託して脱水処理して再資源化
	廃プラスチック	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	紙くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	木くず	再生処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	繊維くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	金属くず	中間処理業者へ委託して再生原料、燃料用として再資源化
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化
	がれき類	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化
	建設系混合廃棄物	中間処理業者へ委託して選別破砕して再資源化

別添２ 管理体制図


作業所
作業所長
環境担当
事務担当
報告
指導
本社
土木工事統轄部長
土木品質環境管理部長
支店
工事部長
工事長
土木品質環境管理2課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		排　出　量	16,611.20 t	20.95 t	6.91 t	4,603.83 t	0.30 t	1,037.60 t	543.60 t	213.60 t	56.26 t									
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		排　出　量	14,950.08 t	18.86 t	6.22 t	4,143.45 t	0.27 t	933.84 t	489.24 t	192.24 t	50.63 t									
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
全処理委託量	16,611.20 t	20.95 t	6.91 t	4,603.83 t	0.30 t	1,037.60 t	543.60 t	213.60 t	56.26 t									
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	20.35 t	6.91 t	42.60 t	0.30 t	4.00 t	1.60 t	4.50 t	55.63 t									
再生利用業者への処理委託量	16,611.20 t	20.95 t	6.91 t	4,603.83 t	0.30 t	1,037.60 t	543.60 t	213.60 t	56.26 t									
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）									
全処理委託量	14,950.08 t	18.86 t	6.22 t	4,143.45 t	0.27 t	933.84 t	489.24 t	192.24 t	50.63 t									
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	18.32 t	6.22 t	38.34 t	0.27 t	3.60 t	1.44 t	4.05 t	50.07 t									
再生利用業者への処理委託量	14,950.08 t	18.86 t	6.22 t	4,143.45 t	0.27 t	933.84 t	489.24 t	192.24 t	50.63 t									
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t									

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月20日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都中央区京橋１－７－１

氏 名 戸田建設株式会社首都圏土木支店

常務執行役員支店長 福島博夫

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-3535-1585

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	戸田建設株式会社 首都圏土木支店
事業場の所在地	東京都中央区京橋１－７－１
事業の種類	大分類→建設業、中分類→総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

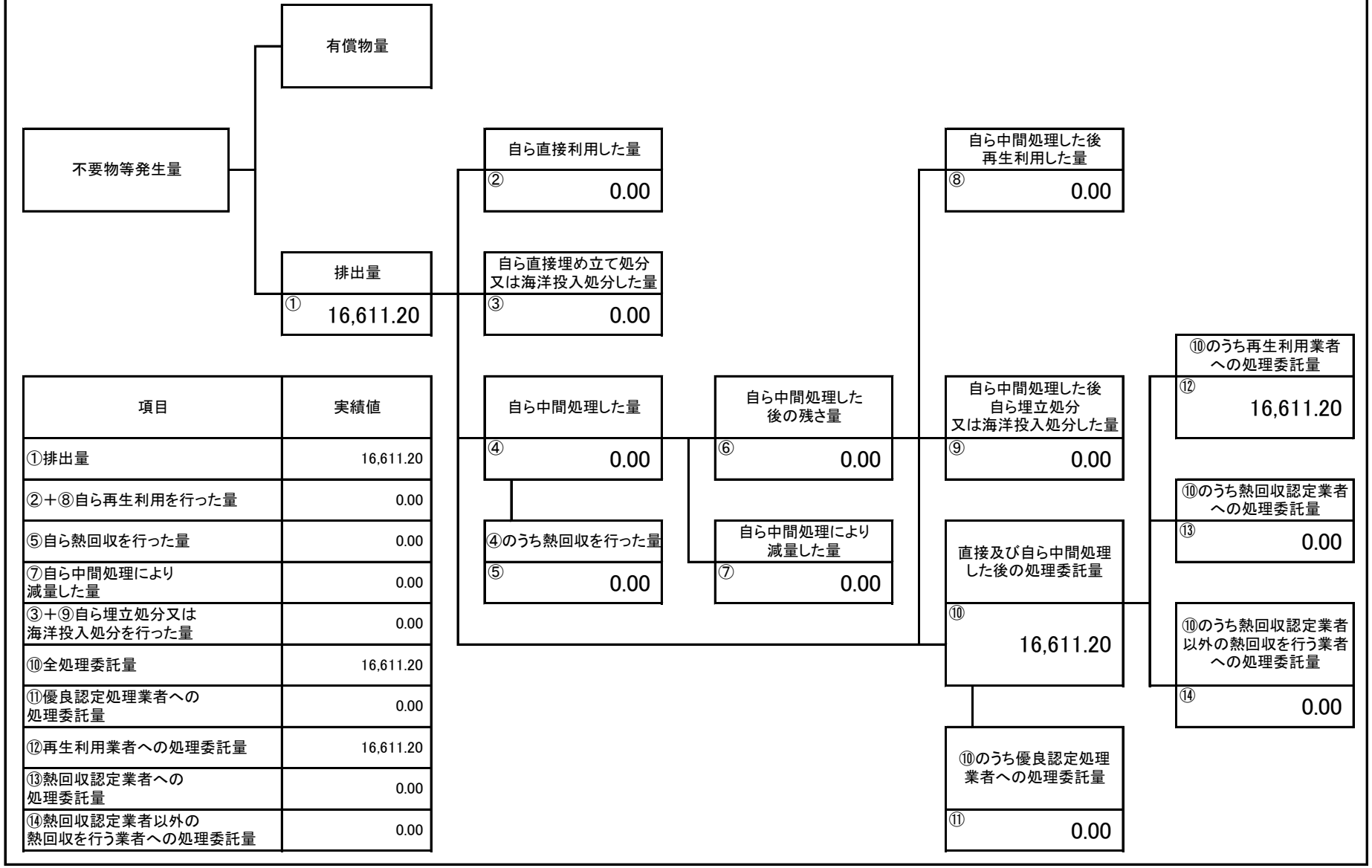
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,479.42 t	全処理委託量	1,479.42 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	37.21 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	37.21 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 汚泥 ）

（単位：トン）

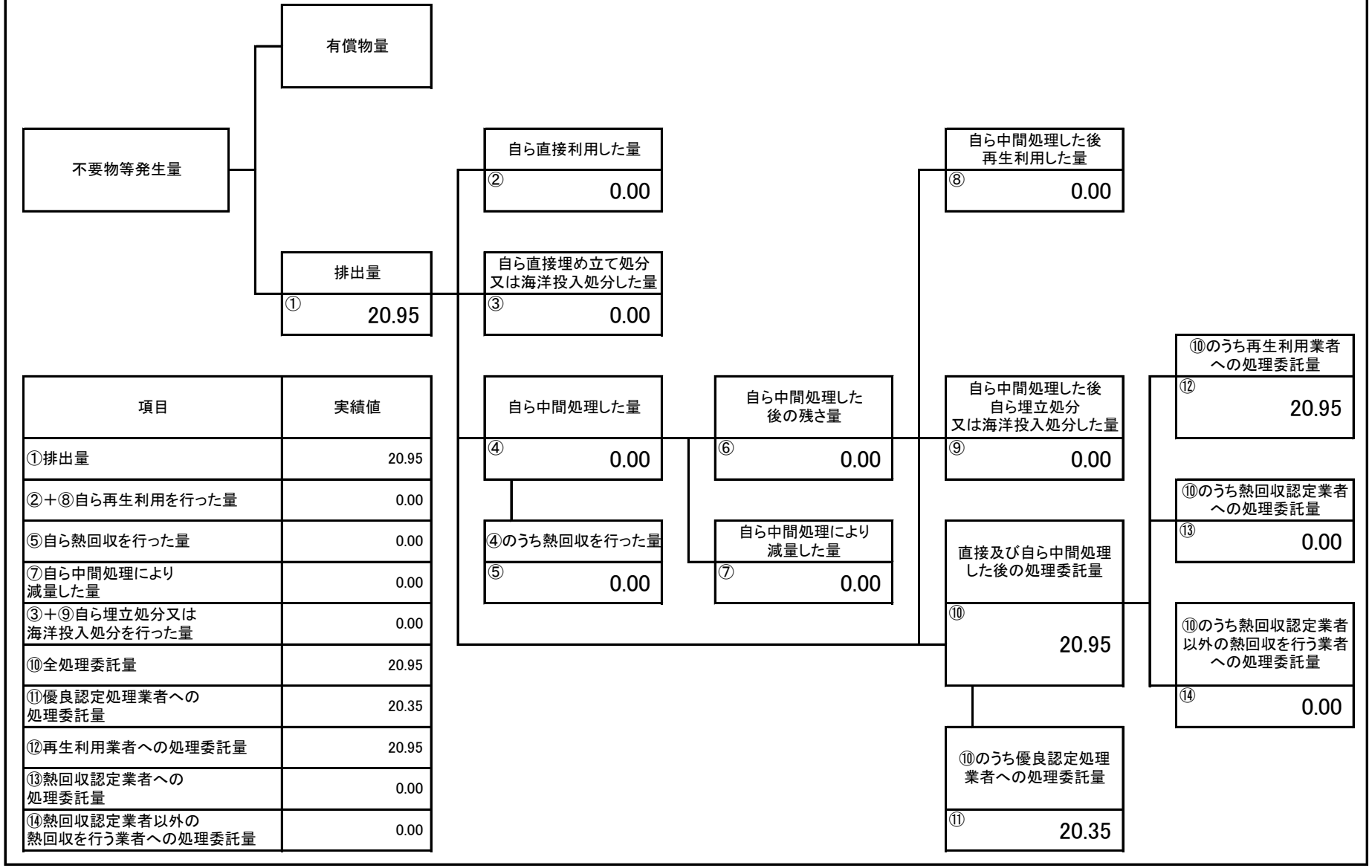


項目	実績値
①排出量	16,611.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16,611.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	16,611.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 ）

（単位：トン）

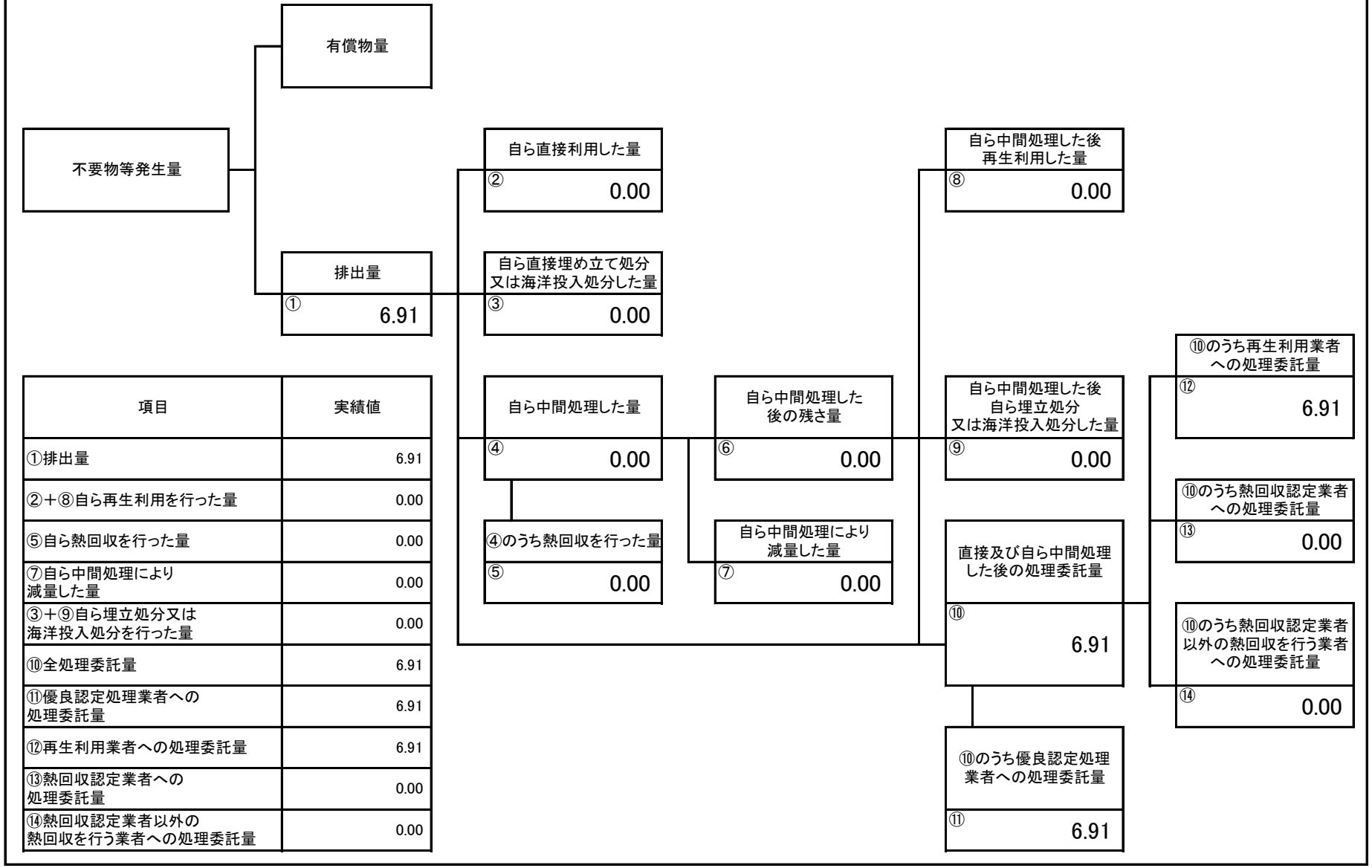


項目	実績値
①排出量	20.95
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	20.95
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.35
⑫再生利用業者への処理委託量	20.95
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）

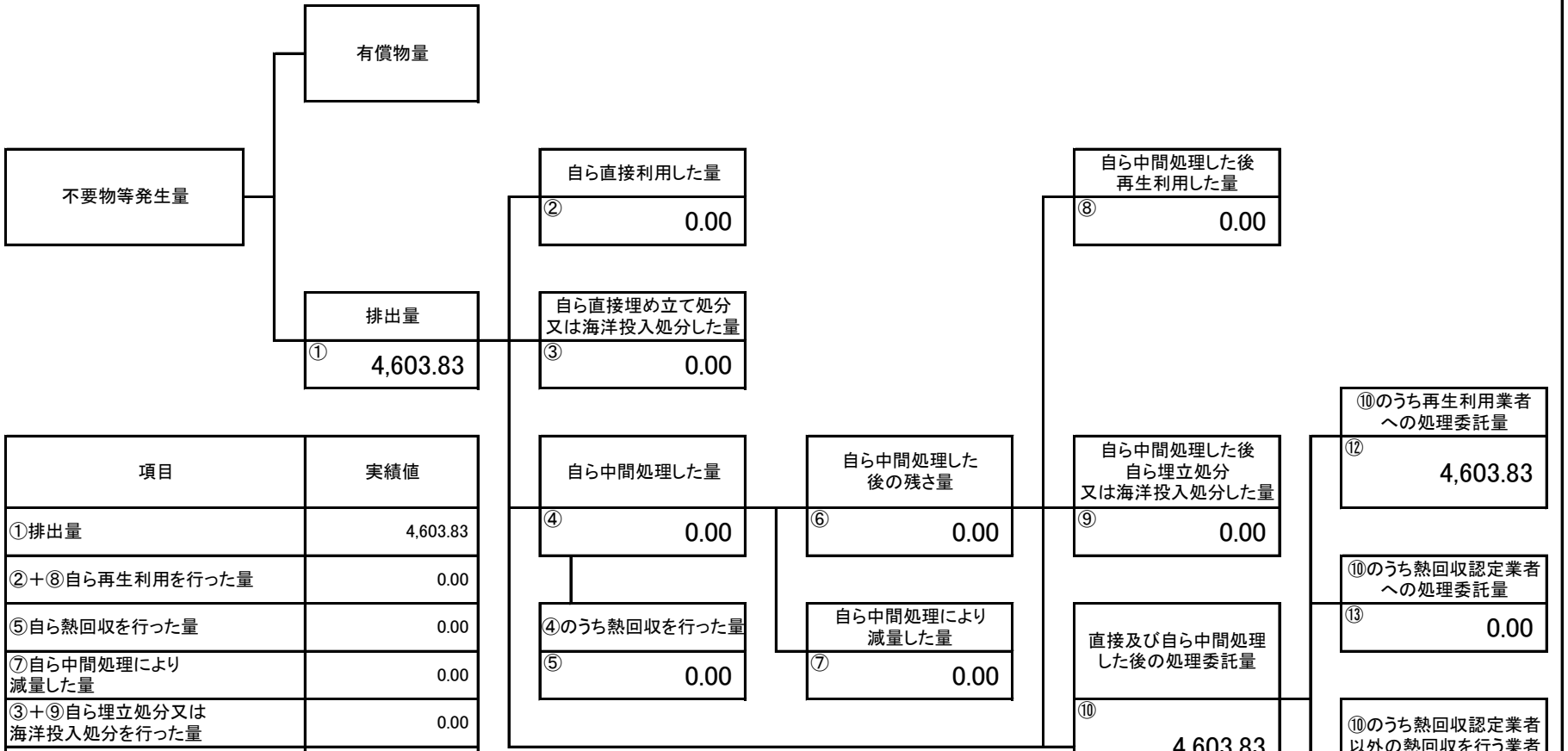


項目	実績値
①排出量	6.91
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	6.91
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.91
⑫再生利用業者への処理委託量	6.91
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

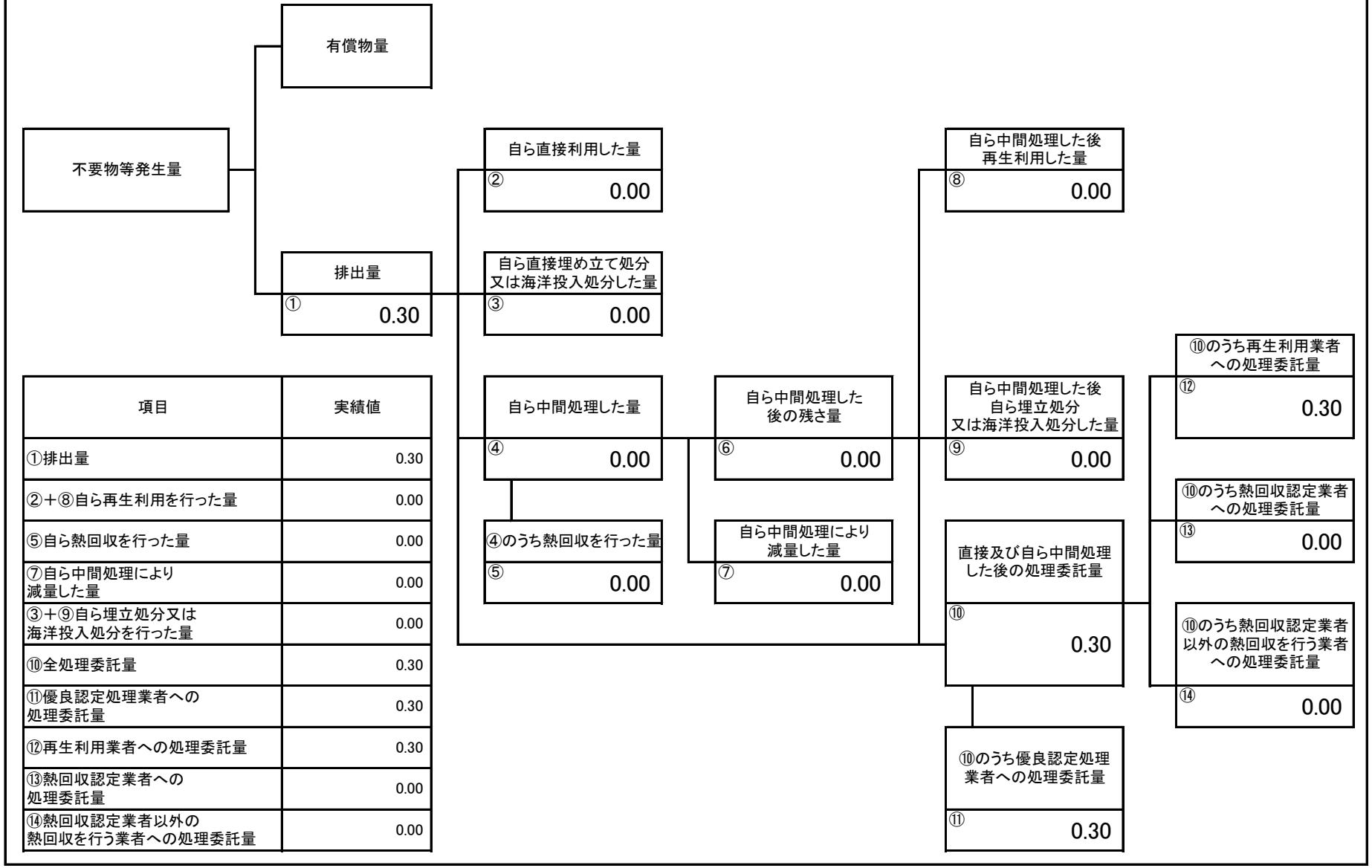


項目	実績値
①排出量	4,603.83
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4,603.83
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.60
⑫再生利用業者への処理委託量	4,603.83
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず ）

（単位：トン）

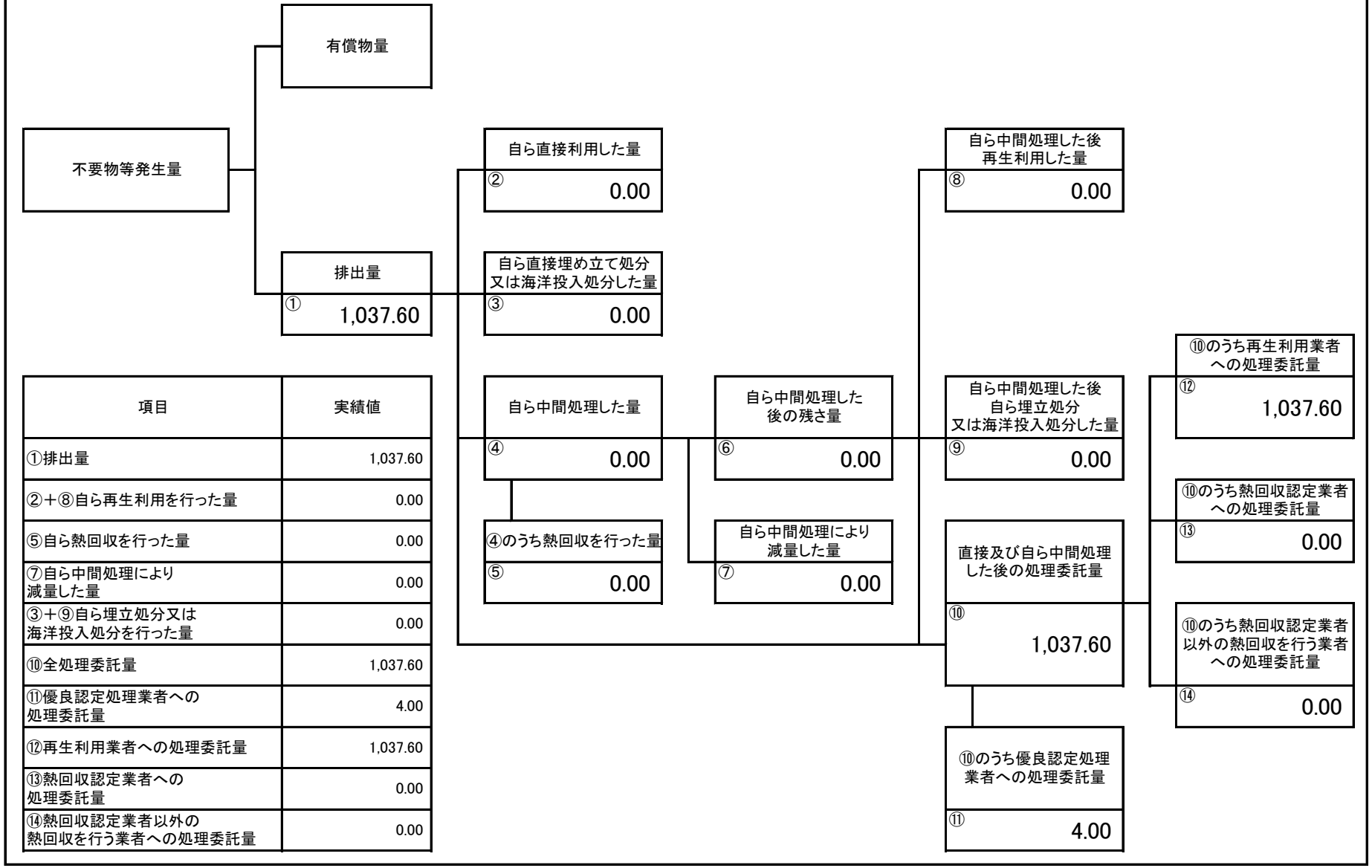


項目	実績値
①排出量	0.30
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.30
⑫再生利用業者への処理委託量	0.30
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

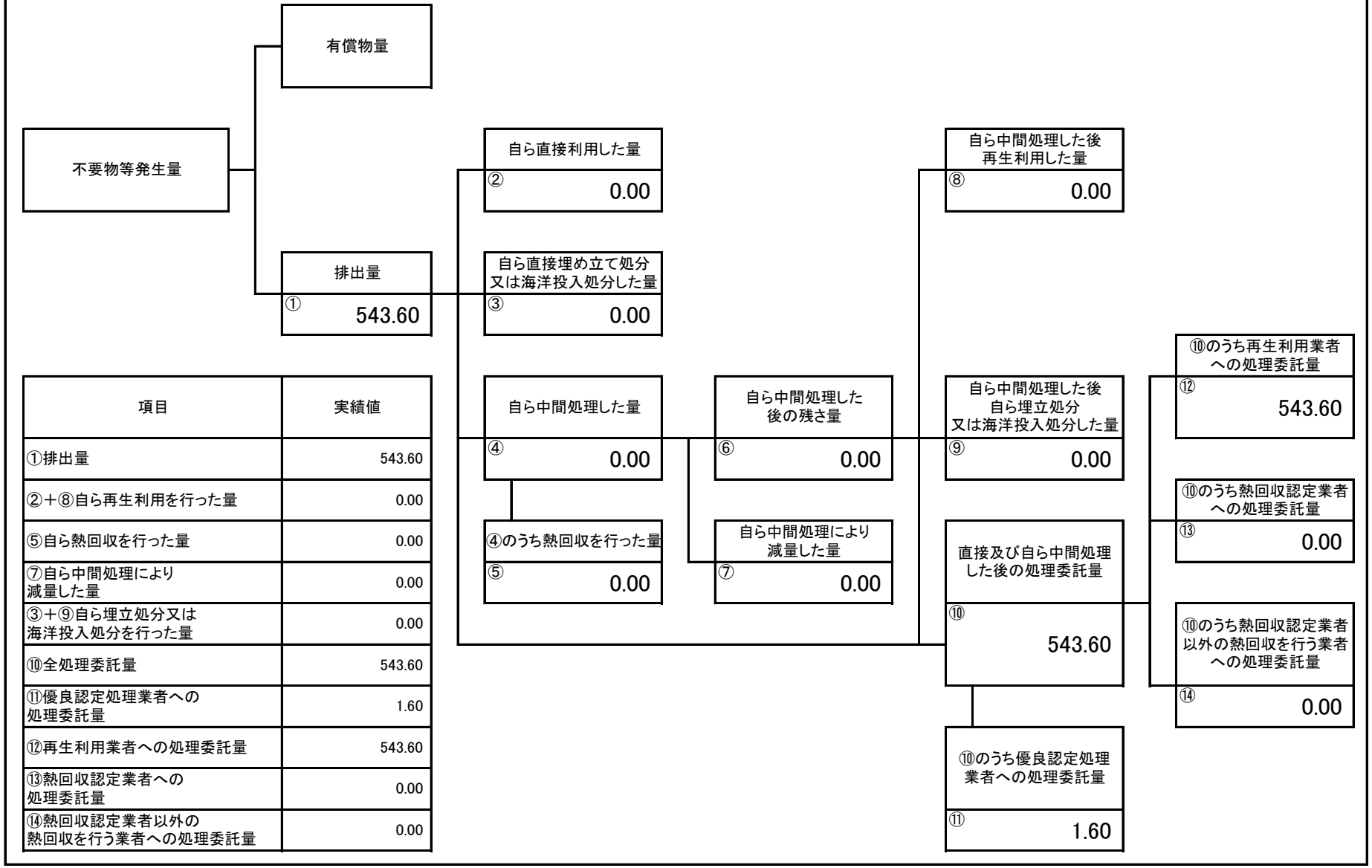


項目	実績値
①排出量	1,037.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,037.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.00
⑫再生利用業者への処理委託量	1,037.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

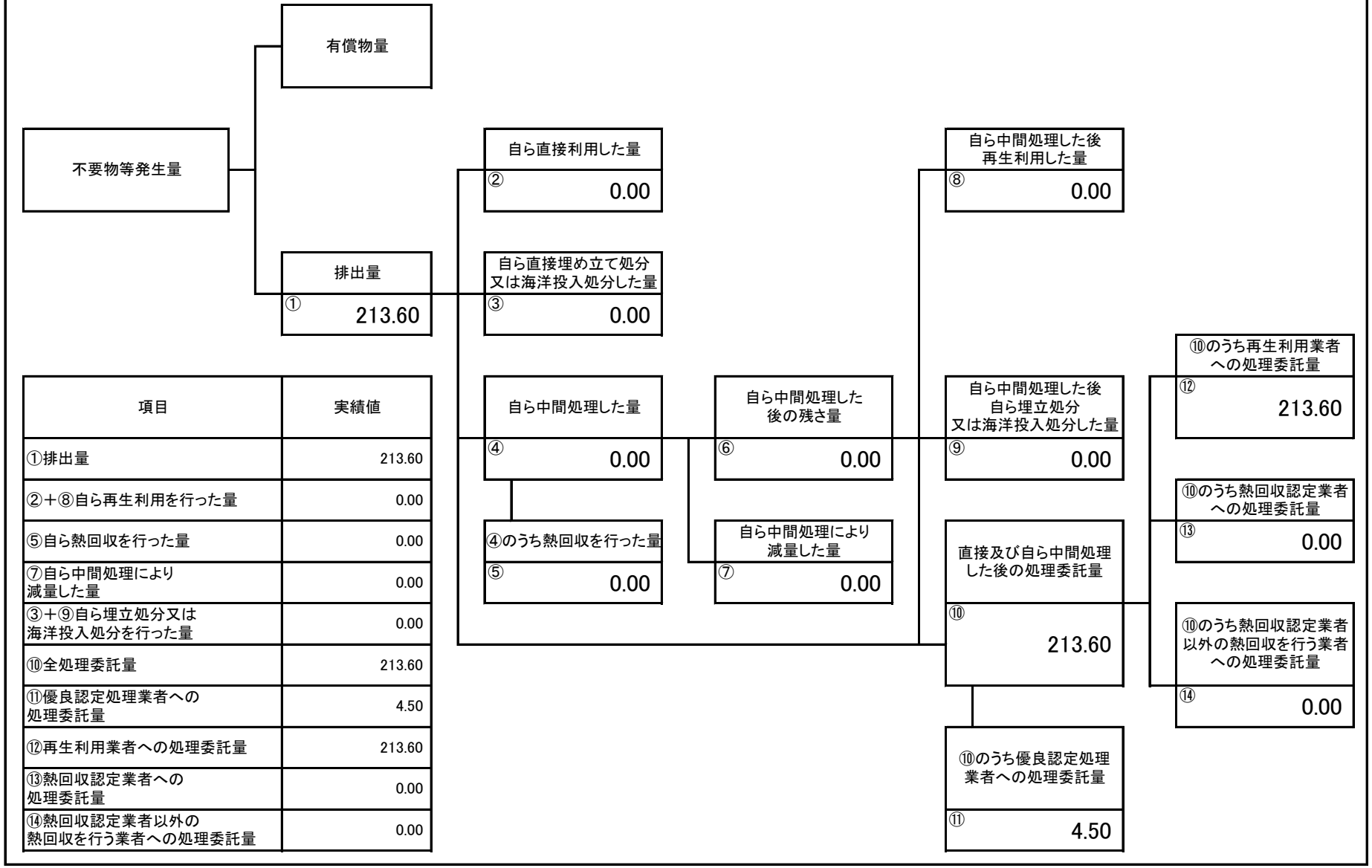


項目	実績値
①排出量	543.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	543.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.60
⑫再生利用業者への処理委託量	543.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

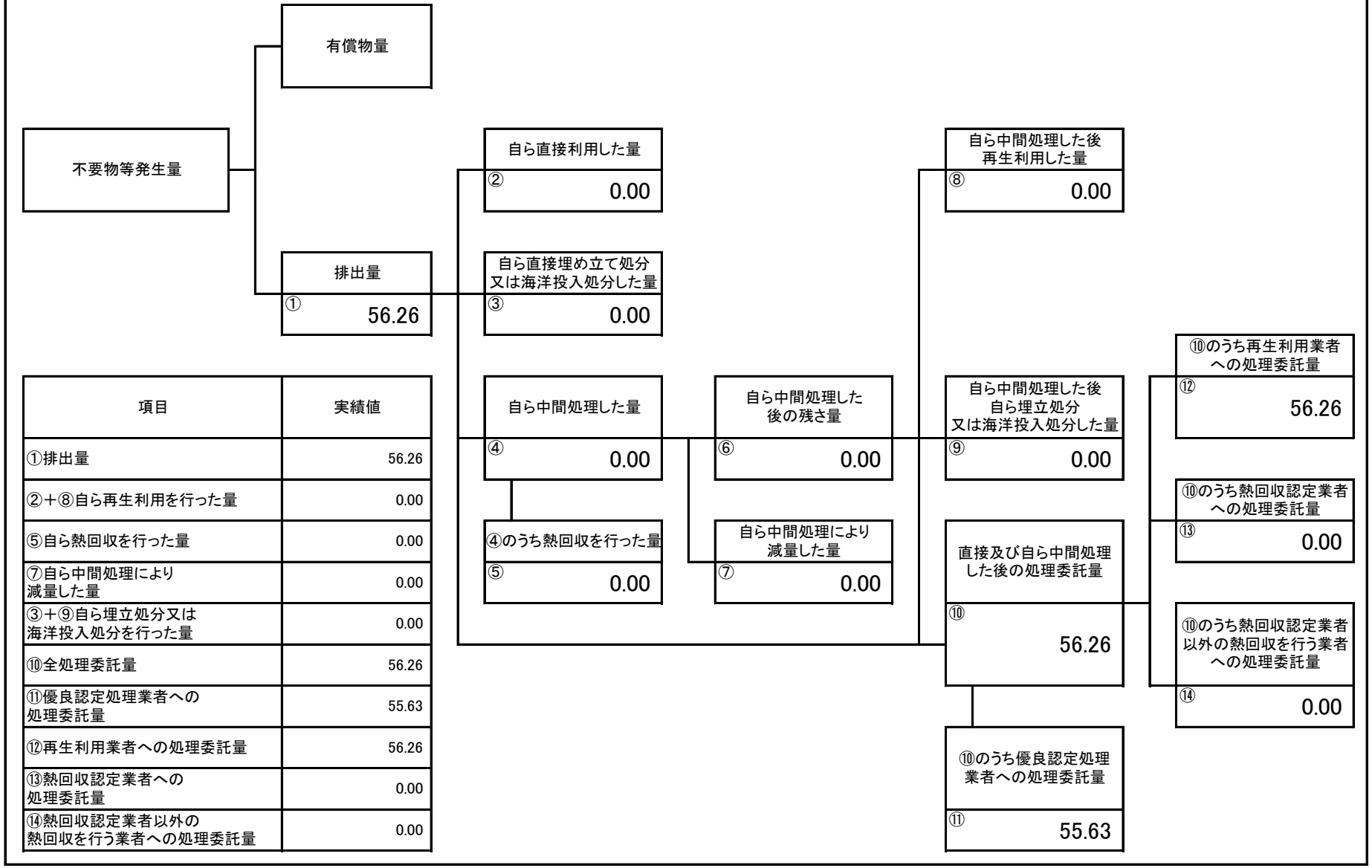


項目	実績値
①排出量	213.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	213.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.50
⑫再生利用業者への処理委託量	213.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	56.26
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	56.26
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.63
⑫再生利用業者への処理委託量	56.26
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒104-0054

住　所　東京都中央区勝どき4-6-2

氏　名　株式会社巴コーポレーション　東京支店
執行役員　支店長　成重　須美子

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3533-7801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社巴コーポレーション　東京支店
事業場の所在地	〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-2（現場：成田市、市原市）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	売上高34,670百万円（令和6年度）
③　従業員数	387名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	排出事業者(現場)→収集・運搬委託業者→処分委託業者(中間又は最終) がれき類(コンクリート破片)は再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くずは再生処理業者に委託してチップとして再資源化 建設汚泥は再生処理業者に委託して土として再資源化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
工事統括（統括責任者）
｜
建設工事部長（廃棄物管理担当部長）
｜
建設工事グループ長（廃棄物管理担当課長）
｜
建設工事現場作業所所長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
排出量	27.1 t	282.4 t

（これまでに実施した取組）
混合廃棄物を削減するため分別を徹底
搬入資材の過剰梱包を無くし排出量を抑制

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
排出量	20.0 t	140.0 t

（今後実施する予定の取組）
取組継続

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別している種類：廃プラ、紙くず、木くず、金属くず、石膏ボード、がれき類
分別に関する取組：種類ごとに専用のコンテナ等を用意し混合廃棄物の排出量を抑制

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
取組継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック類	木くず
全処理委託量＿	27.1 t	282.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	27.1 t	282.4 t
再生利用業者への処理委託量	27.1 t	282.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

発生時に分別を徹底し、再生を前提として委託業者を選定

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック類		木くず	
		全処理委託量＿	20.0	t	140.0	t
		優良認定処理業者への処理委託量	20.0	t	140.0	t
		再生利用業者への処理委託量	20.0	t	140.0	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	0.0	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t	0.0	t
		（今後実施する予定の取組） 取組継続				
※事務処理欄						

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
		排　出　量	0.7　t	143.7　t	648.2　t	30.7　t	5.0　t	5.9　t	0.03　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
		排　出　量	0.0　t	70.0　t	1800.0　t	15.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
②計画	**【目標】**								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
	全処理委託量	0.7 t	143.7 t	648.2 t	30.7 t	5.0 t	5.9 t	0.03 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t	143.7 t	552.0 t	30.7 t	5.0 t	5.9 t	0.03 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.7 t	143.7 t	648.2 t	30.7 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラ陶	がれき類	建設混合廃棄物	ガラ陶（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	蛍光灯	
	全処理委託量	0.0 t	70.0 t	1800.0 t	15.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	70.0 t	1800.0 t	15.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	70.0 t	1800.0 t	15.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月20日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒104-0054
住 所　東京都中央区勝どき4-6-2
氏 名　株式会社巴コーポレーション 東京支店
執行役員 支店長 成重 須美子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-3533-7801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社巴コーポレーション 東京支店
事業場の所在地	〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-2（現場：成田市、市川市）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

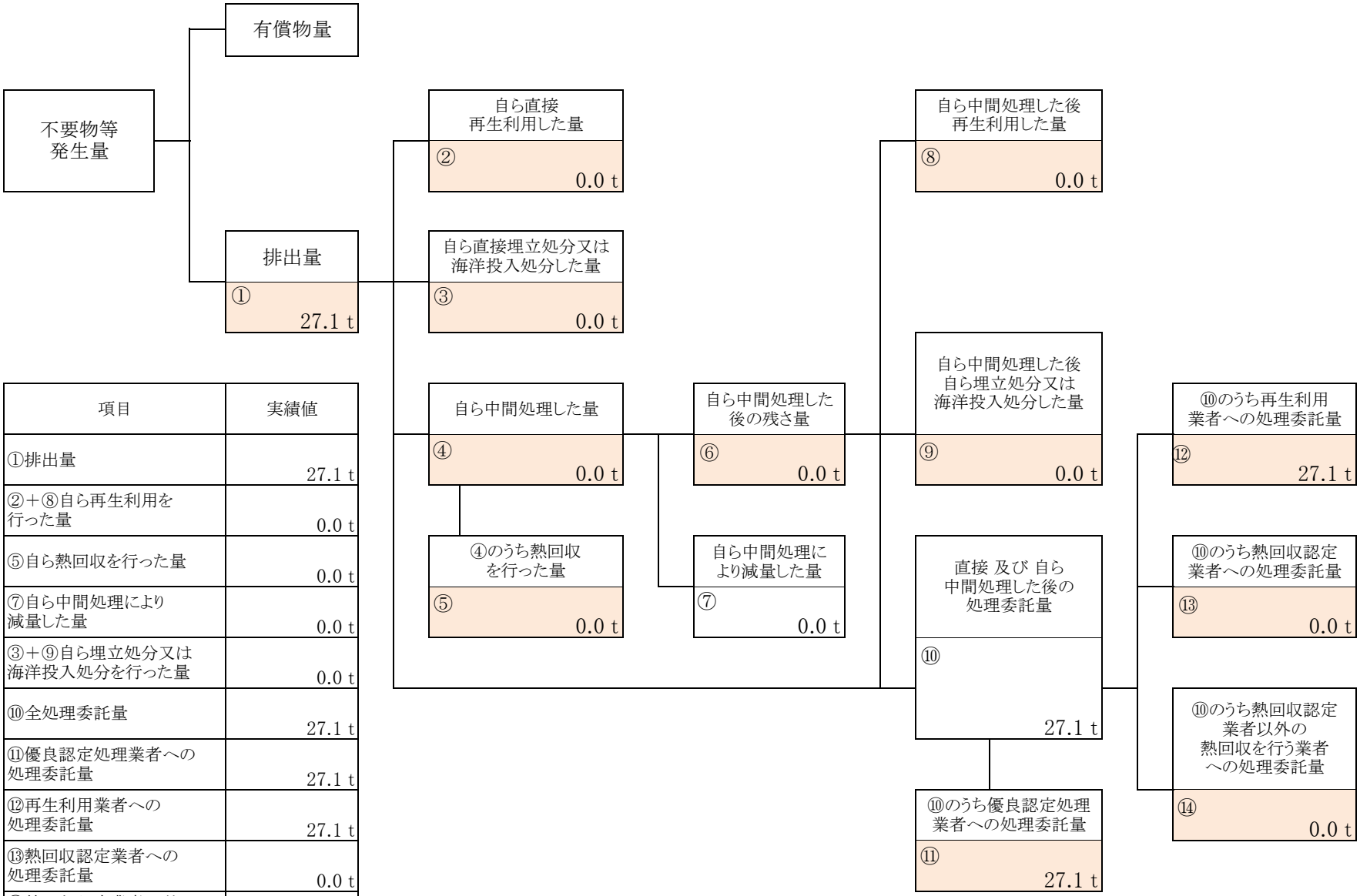
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	170.0 t	全処理委託量	170.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	170.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

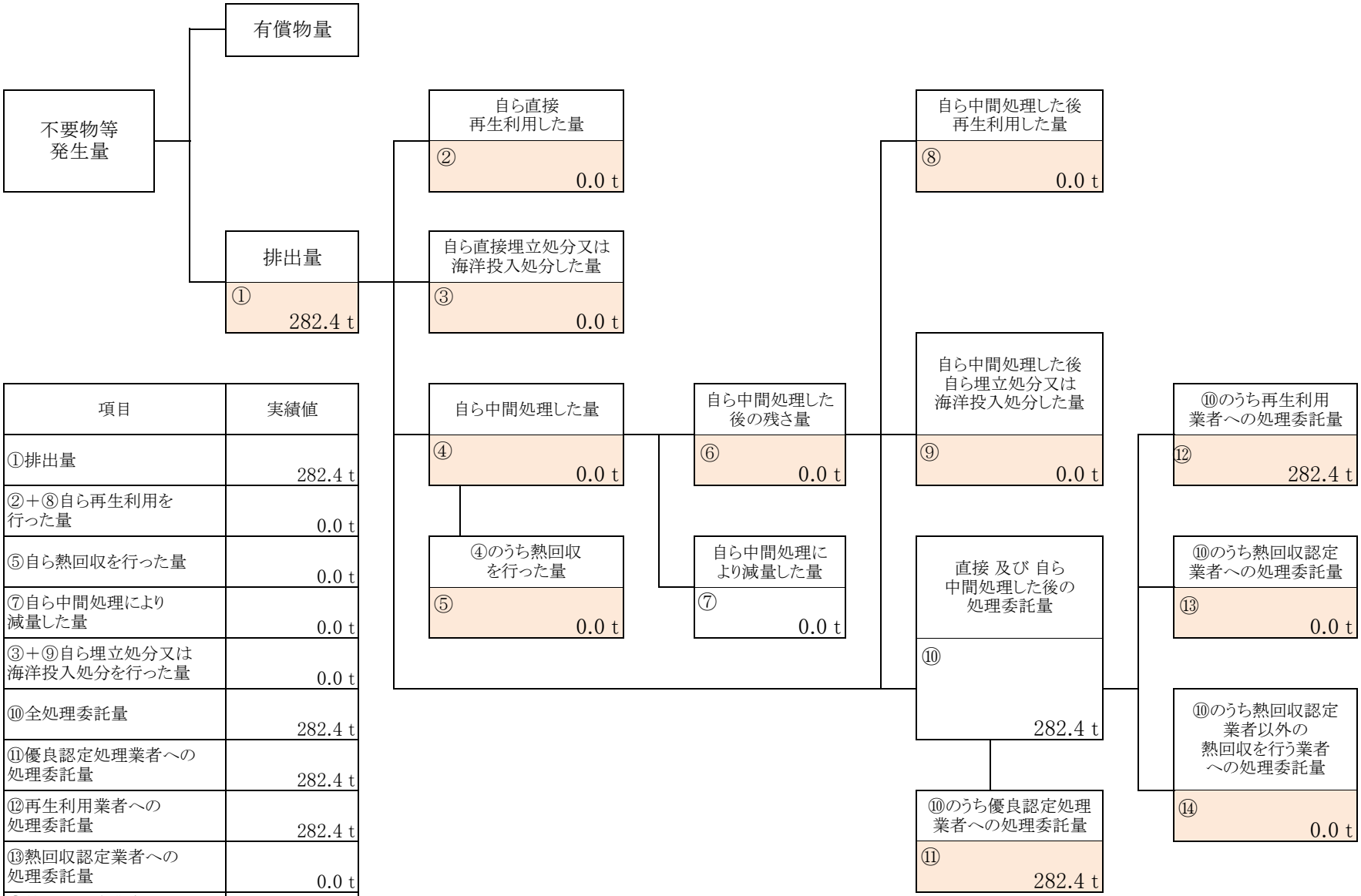


項目	実績値
①排出量	27.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	27.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

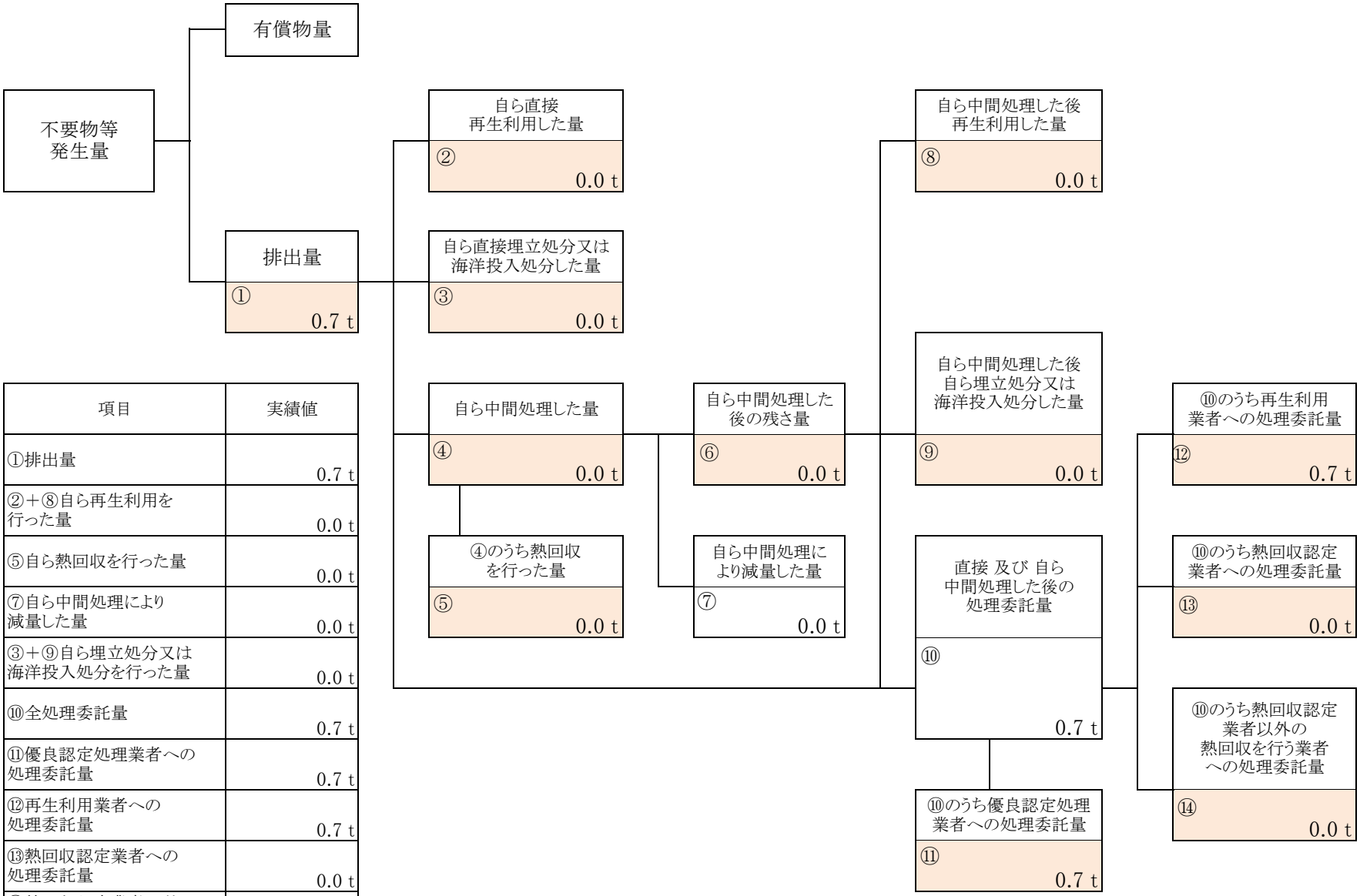


項目	実績値
①排出量	282.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	282.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	282.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	282.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**繊維くず**）

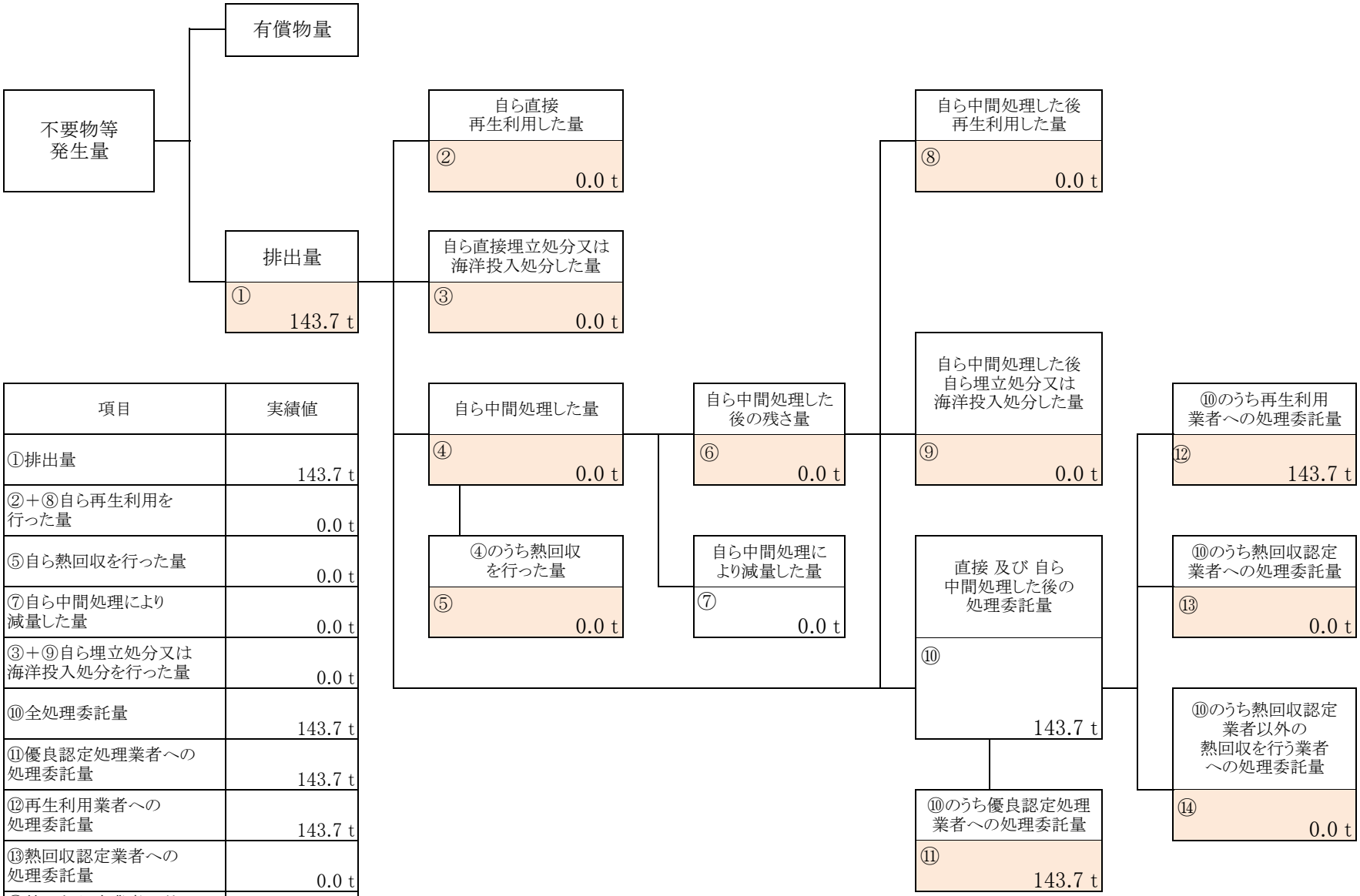


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

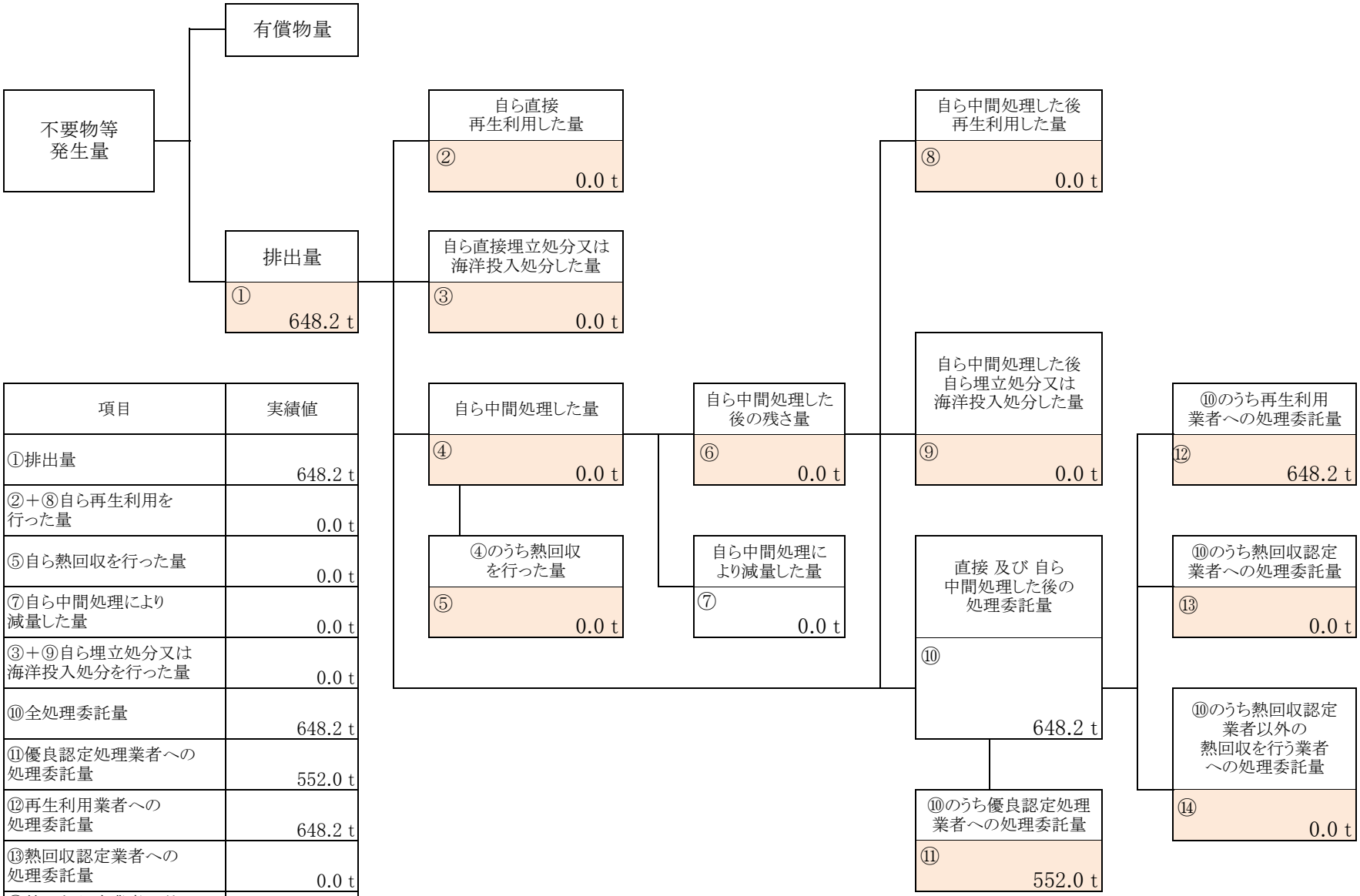


項目	実績値
①排出量	143.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	143.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	143.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	143.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **がれき類** ）

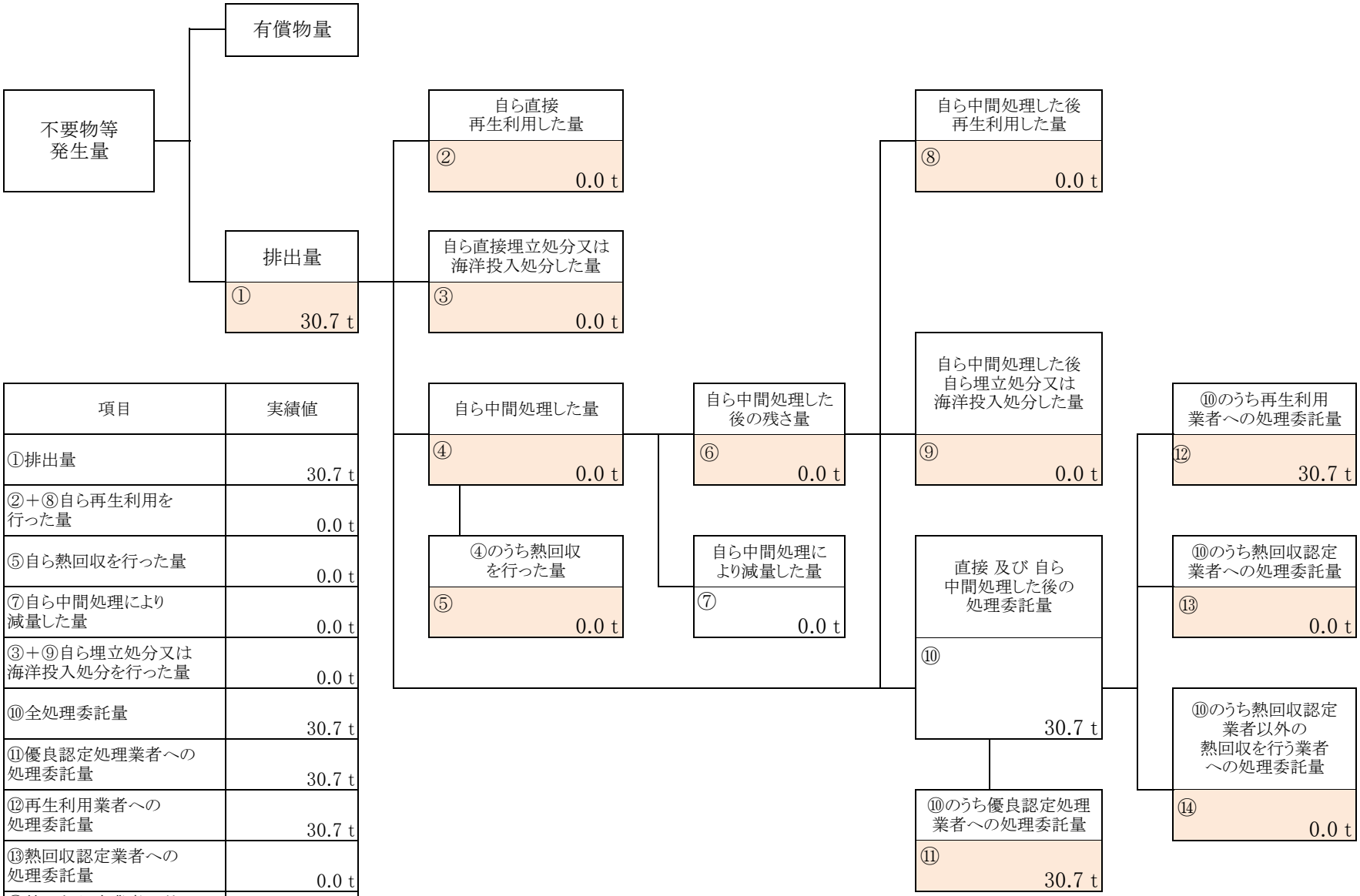


項目	実績値
①排出量	648.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	648.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	552.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	648.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

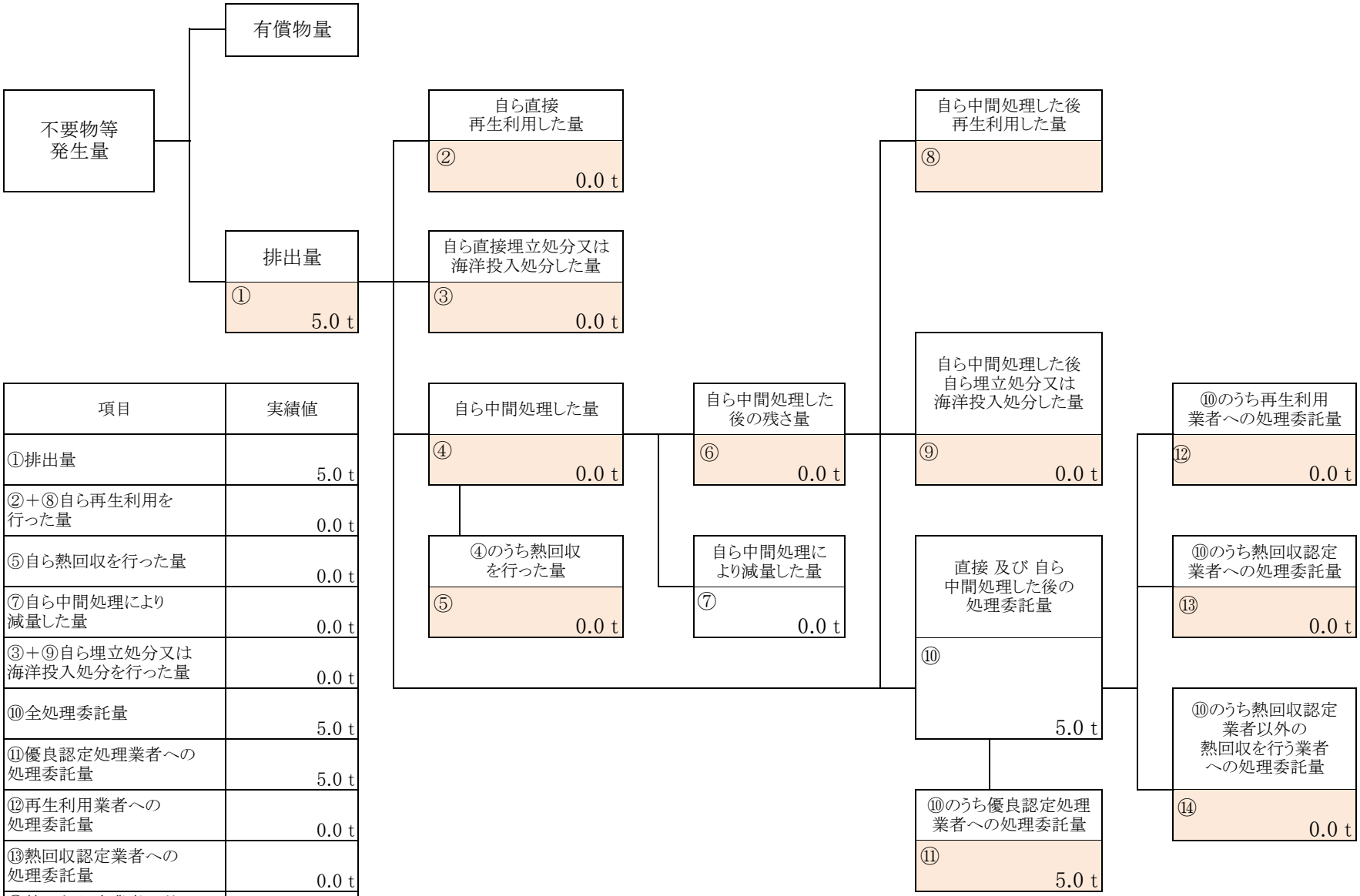


項目	実績値
①排出量	30.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	30.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有）**）

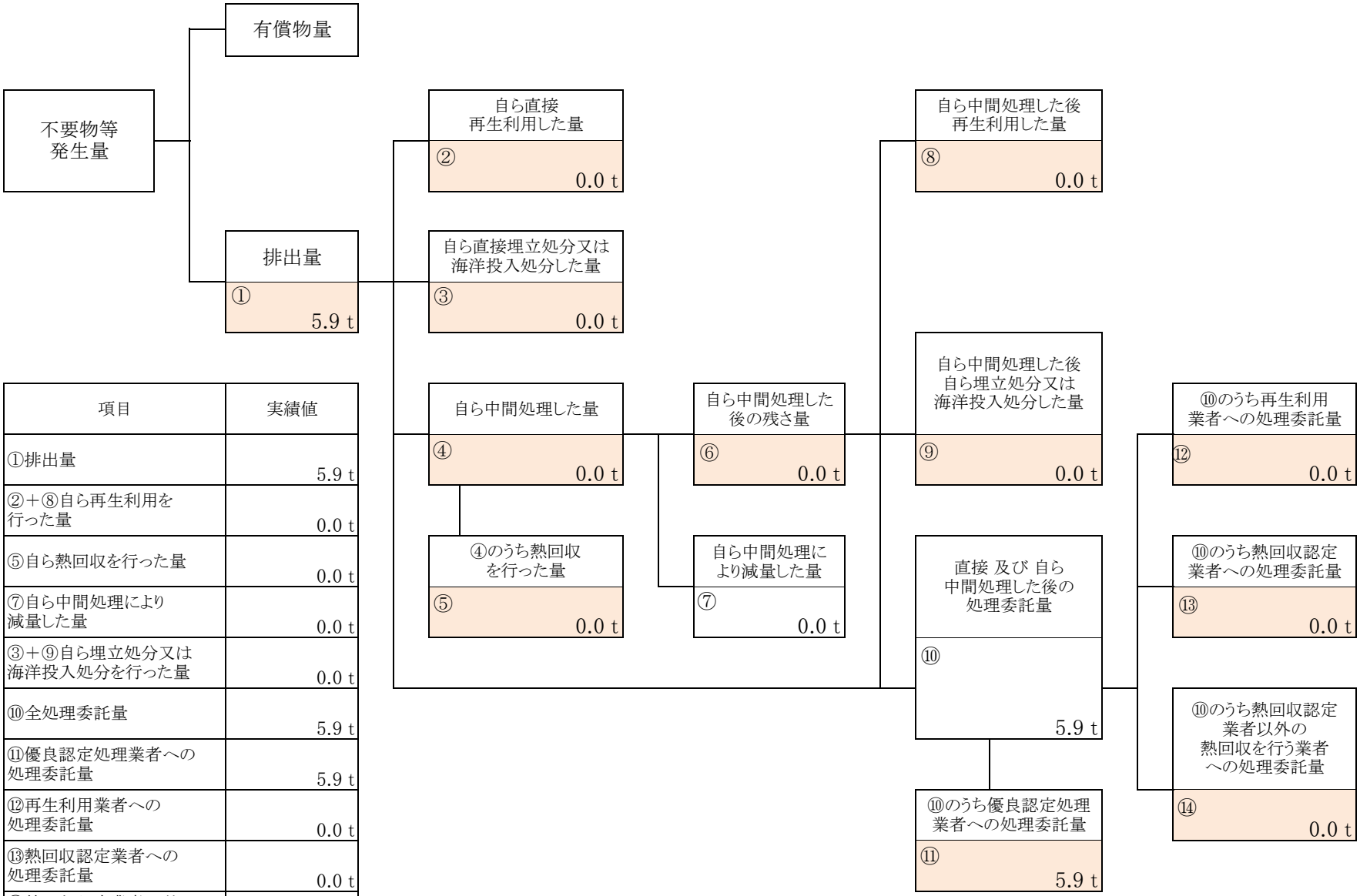


項目	実績値
①排出量	5.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（石綿含有）**）

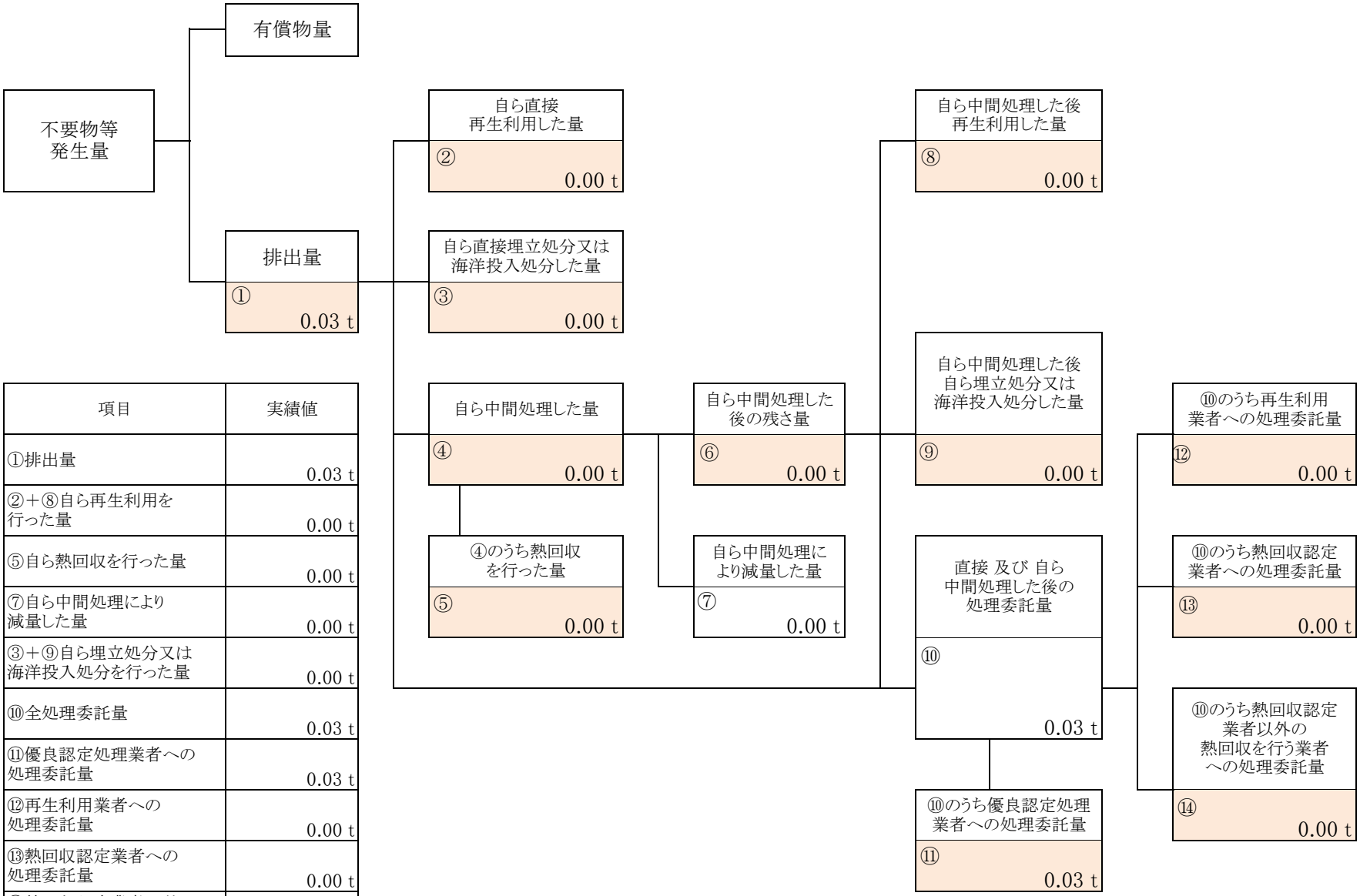


項目	実績値
①排出量	5.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 蛍光灯 ）



項目	実績値
①排出量	0.03 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.03 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.03 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。